



文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」

日本版 General Social Surveys  
基礎集計表・コードブック  
JGSS 累積データ 2000-2010

---

編集・発行  
日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター  
2012 年 3 月

この基礎集計表・コードブックは、  
日本版 General Social Surveys<JGSS 累積データ 2000-2010>  
データセット Version 1.0 から作成したものです。

## はじめに - JGSS 10 年の軌跡 -

大阪商業大学と東京大学との協力体制で 1998 年にスタートした JGSS (Japanese General Social Surveys) は、10 年の節目を過ぎ、順調に発展推移しています。1999 年 4 月、当時としては例外的な長期 (5 年) にわたる研究予算として設けられた「学術フロンティア推進拠点」に指定されたのは、時期的に幸運であったと思います。

JGSS がお手本としたアメリカの GSS (General Social Survey) は、ご存知のようにイリノイ州のシカゴ大学が 1972 年にスタートしたプロジェクトで、現在は世界各地で類似のデータが集められ、発信されています。日本でも同じような研究やプロジェクトが、過去にも計画され、何度も申請されたことを仄聞していますが、その頃は研究予算が 2 年間の基準としていたこともあり、また他の理由もあって、具体化するまでに至らなかったと聞いています。

大阪商業大学の申請はそうした先人たちの努力の上で、いわば「おいしい部分」をいただいたものと感謝するべきでしょう。過去に計画を進めていた方々に感謝と敬意をまず捧げたいと思います。その上で JGSS を発展・進化させ、日本の社会学の発展に寄与することが、幸運であった我々に課せられた責務であることも確認せざるをえないと信じます。

### 東アジア諸国との協調スタート

JGSS がスタートして間もなく、韓国と中国が同様の計画をスタートしました。韓国は成均館大学を中心とする KGSS、中国は香港科技大学と中国人民大学を中心とする CGSS です。これに我々の先輩格で、ずっと以前にスタートしていた台湾の TSCS というデータを加え、東アジア圏における社会科学汎用データの幅が急速に増えたわけです。

どうせ手間をかけるなら、互換性のあるモジュールを加えることはできないか、という思いはそれらの国々の関係者によって一致し、現実に行なわれることになりました。興味のある方は EASS (East Asian Social Survey) で調べてみて下さい。

このように、東アジア諸国がデータの収集と発信に興味を示し始めたことが次のステップにつながったことも、我々 JGSS チームの幸運な点であったと考えています。

### 共同利用・共同研究拠点へ

学術フロンティアとして、第 1 期 (1999-2003 年度)、第 2 期 (2004-2008 年度) と 10 年にわたり活動を続けている中で、「累積データを発信するべきだ」と考え始めるようになりました。それが、このコードブックであり、皆様に使用していただくデータです。

累積データにおいては、この 10 年の変化を時系列で分析することができます。むろんすべての変数がすべての回で尋ねられているわけではありませんが、たとえ数年置きであっても変化は分析可能です。加えて、単年度のデータでは分析するだけの十分な数がないようなケースでも、この累積データで可能になるかもしれません。いろいろな面で活用していただきたいと望んでいます。

2 期 10 年の最後の年に、それまで自然科学にのみ設定されていた共同利用・共同研究拠点の予算が、人文・社会系の研究所にも開放され、募集がありました。JGSS はスタート時より良きパートナーの東京大学 (社会科学研究所) をはじめ、京都大学、神戸大学、首都大学東京、中央大学、明治大学、敬愛大学など、多くの大学や研究所の方々に参加していただいていたので、共同利用や研究の環境

は整っておりました。加えて東アジア圏での新たな活動・取組みなどが評価されました結果、JGSS は正式に文部科学大臣により認定された「大阪商業大学 JGSS 研究センター」として再スタートを切ることができました。これもすべて研究に参加して下さった各大学の関係者の皆様、そしてデータを使用して下さった皆様のおかげだと改めて感謝する次第です。

#### JGSS データ

おかげをもちまして JGSS データは研究に、そして教育に使用されるデータに成長いたしました。2012 年 1 月末の数字で、延べデータ利用は 2 万 5 千件を越え、海外の 154 大学、国内の 188 大学、国内外の 54 研究機関（大学以外）がデータの申請・使用手続を行なうまでになっています。

10 年を期に累積データをここにお届けすることができ、少し安心していますが、むろんこれで終わりではありません。更なる発展を遂げることが、皆様のご恩にお応えする方法であり、義務だと考えています。

最後になりましたが、東京大学の皆様をはじめ、関係各位にもう一度感謝申し上げます。これからの 10 年、20 年もおつき合いいただけますように。

JGSS 研究センター運営委員会  
委員長 谷岡 一郎

## 本拠点設立までの経緯と JGSS プロジェクトの歩み

JGSS プロジェクトは、1999 年度～2003 年度、そして 2004 年度～2008 年度までの 2 期 10 年間にわたり、文部科学省「私立大学学術研究高度化推進事業（学術フロンティア推進事業）」に選定されてきた。この 10 年間の実績の蓄積と共同研究・共同利用の参加者に対する支援体制の整備が評価され、2008 年 6 月に文部科学省「人文学及び社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業」の拠点に採択された。この事業は、人文学及び社会科学分野の研究者だけではなく、異分野の知を集結した共同研究・共同利用を促進し、人文学及び社会科学分野の研究水準の向上と、異分野融合による新たな学問領域の創出を図ることを目指して、2008 年度にスタートしたものである。さらに、2010 年度からは、「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」として、研究水準の向上と異分野融合による新たな学問領域の創出を担う研究拠点としての役割を期待されている。

JGSS プロジェクトは、1999 年から大阪商業大学比較地域研究所の下位組織である JGSS 部門が遂行してきたが、2008 年 6 月に共同研究拠点に採択されたことを受けて、2008 年 7 月に比較地域研究所から独立し、「日本版総合的社会調査共同研究拠点 大阪商業大学 JGSS 研究センター」として新たなスタートを切ることになった。

さらに文部科学省の審査を経て、2008 年 10 月に文部科学大臣より「共同利用・共同研究拠点」に認定された。「共同利用・共同研究拠点」の制度は、我が国全体の学術研究のさらなる発展のために、国立公立私立大学を問わず、高いポテンシャルをもつ研究施設を共同利用・共同研究拠点として整備することを目指して、2008 年 7 月に学校教育施行規則を改正し、新たに創設された制度である。本センターは、共同研究拠点としての研究体制をさらに充実・強化し、国内外の研究機関・研究者との共同研究を推進している。

JGSS プロジェクトの経過については、後掲の付表 2 に示すとおりであるが、1999 年以来、社会科学の多岐に亘る分野の研究者の研究課題を集約して、数千人規模の全国調査を 9 回実施し、36 冊に上る研究論文集・研究書・統計テキスト・報告書・コードブックを刊行している。収集したデータは、調査を企画した研究者だけのものとするのではなく、東京大学社会科学研究所 SSJ データアーカイブ（SSJDA）やミシガン大学の ICPSR（Inter-university Consortium for Political and Social Research）ならびにドイツのデータ・アーカイブ（German Social Science Infrastructure Services: GESIS）から速やかに公開しており、これまでに国内外ののべ 2 万 5,000 人を超える研究者と学生に利用されている。JGSS を利用する研究者の分野は、社会学、経済学、人口学、統計学、政治学、心理学、教育学、言語学、公衆衛生学、農学と多彩である。巻末に掲載した「JGSS / EASS 関連の文献」リストは、これまでの研究発表を内容で分類したものである。このリストを見ても、JGSS データがいかにさまざまな分野の多くの研究者に利用されているかがわかりいただけるはずである。

JGSS-2005 以降は、調査で検証する研究課題を公募している。この公募と、2003 年に始めた公募論文の募集を通して、可能性のある若手研究者を見出し、その育成を図る「JGSS 調査研究奨励プログラム」を 2005 年にスタートさせた。さらに、JGSS-2006 からは、台湾・韓国・中国との共同研究「東アジア社会調査（East Asian Social Survey: EASS）プロジェクト」を開始した。共通設問群を、4 つの国と地域の全国調査に組み込むものであり、EASS の第 1 回モジュールのテーマ（2006 年）は「家族」、第 2 回（2008 年）は「グローバル化と文化」、第 3 回（2010 年）は「健康と社会」、第 4 回（2012）は「社会的ネットワークと社会関係資本」である。「家族」モジュールと「文化」モジュールの 4 チームの統合データは、すでに、EASS のデータ・アーカイブ（EASSDA）から公開されている。JGSS-2010 に組み込んだ「健康」モジュールのデータについては、2012 年末に EASSDA から公開の予定である。「社会関係資本」モジュールは、2 回のプリテストを経て 4 チームによる設問の絞り込みを終え、2012 年 2 月に調査を開始する JGSS-2012 を皮切りとして、他の 3 チームは 6 月から 9 月にかけて調査を実施する予定としている。

JGSS 研究センターのモットーの1つである「革新性」は、調査デザインへのあくなき挑戦に表れている。JGSS は、1人の調査対象者に対して、面接調査と留置調査を本格的に併用した日本で最初の全国調査である。また、社会調査全般で、回収率の低下に悩んでいる状況の改善を目指して、回収率を向上させるさまざまな工夫を重ね、その成果は JGSS-2006 に現れた。「個人情報保護法」が施行された 2005 年には、「閲覧と抽出に関する調査」を行い、閲覧制度をめぐる自治体の動きを把握し、複雑化した名簿の配列に対応できる抽出要領を作成した。JGSS-2003 では、調査対象者のネットワークについて、「悩みの相談」「仕事の相談」「政治の話」の3つの分野の重なりを全国調査でとらえるという世界でも初の試みを行った。EASS 2006 では、意識設問に関して、意見への賛否が明確な社会とそうではない社会で共通して用いることができる選択肢を採用した。2009年1月に実施した JGSS-2009 ライフコース調査 (JGSS-2009LCS) では、多様化する就業の実態を現実に即してとらえる試みを行った。JGSS-2010 では医学分野で広く用いられている「Medical Outcomes Study 12-item Short Form (SF-12)」を組み込んだ。現在調査中の JGSS-2012 には、EASS 2012 の「社会関係資本」モジュールに加えて、2011年3月に起きた東日本大地震と9月の台風災害をうけて、震災や災害関連の設問を入れている。

### JGSS データの公開と利用状況

このように、JGSS プロジェクトは着実に進展してきた。これまでに東京大学社会科学研究所 SSJ データ・アーカイブ (SSJDA) から、JGSS データを利用した研究者および学生数は、2012年1月末時点でデータセットの利用数は延べ 12,965 である。SSJDA では、2005年10月からリモート集計システムを導入しており、JGSS の本調査のデータは、そこでも活用されている。大学に所属する研究者や学生は、オンラインで、単純集計、相関、クロス表分析、t-検定のプログラムを用いて、JGSS のデータ分析が可能である。2012年1月末までのログイン件数は 12,174 件にのぼる。

上述したように、JGSS のデータセットは、国内のアーカイブだけではなく、ミシガン大学の ICPSR およびドイツの GESIS にも寄託している。2005年3月に、英語版のデータセットを日本語版とセットで、寄託し始めたところ、海外の研究者によるデータの利用が飛躍的に増大した。ICPSR を通じたデータセットの利用数は、2012年1月末時点で延べ 12,484 に上る。

SSJDA と ICPSR を通じて JGSS を利用した研究者などが所属する機関は、付表 1 に示すように、国内の国公立大学や研究機関・行政機関のみならず、アメリカ、カナダ、イギリス、韓国、中国、ドイツ、オーストラリア、スウェーデン、オランダ、フランス、台湾、シンガポール、スペイン、ベルギー、イタリアなど世界各国の大学や研究機関において利用されている。国内 188 大学、海外 154 大学、国内研究機関 39、海外研究機関 15 にわたり、総数にして 2010 年度より 70 (国内 13、海外 57) 増えた。海外で利用できる日本の最新のデータが非常に限られている中で、本プロジェクトは、海外の研究者に分析の機会を提供し、国際比較研究を促進する役割を果たしている。

JGSS の調査票(日本語版と英語版)は、大阪大学大学院人間科学研究科 SRDQ 事務局の運営する「質問紙法による社会調査データベース (Social Research Database on Questionnaires)」にも収録されており、SRDQ のホームページにおいても閲覧することができる。

JGSS プロジェクトは、このようにして、「公開性・継続性・国際性・革新性」をモットーにして、前向きにかつ堅実に研究実績、調査についての知識・学術資料・データベース、他大学との共同研究・共同利用の実績を蓄積してきた。今後も、「日本版総合的社会調査共同研究拠点」として、国内外の研究者が温めている研究課題を広く公募し、JGSS にその研究課題を集約して検証していくことで、日本ならびに東アジア社会に関する理解の深化に貢献することをお約束する。

謝辞

本センターの事業は、文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」の委託を受けて可能になりました。このプログラムのディレクターである北原保雄 独立行政法人日本学生支援機構前理事長、プログラム・オフィサーである永井順國 政策研究大学院大学客員教授、ならびに文部科学省の担当部局の方々にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。また、本センターの事業は、大阪商業大学からもさまざま形の支援を受けています。これらの支援に心より感謝いたします。

JGSS 研究センターの運営にあたっては、多忙な時間を割いて運営委員会に駆けつけて、共同研究課題の審査をはじめ共同研究事業の展開について審議を尽くして下さる運営委員の皆様、ならびに本センターの事業についての評価を寄せてくださる外部評価委員の皆様に、厚く御礼申し上げます。最後に何よりも、センターの実施する調査に協力して下さっている調査対象者の皆様に心からの謝意を申し述べたいと存じます。

2012年3月

文部科学大臣認定  
日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター  
センター長 岩井 紀子

付表1 JGSS 公開データ利用者の所属機関一覧 (SSJDA と ICPSR を通した利用 : 2012年1月末)

国内188大学

1 お茶の水女子大学	39 九州産業大学	77 信州大学	115 大東文化大学	153 日本女子体育大学
2 テンプル大学ジャパンキャンパス	40 九州大学	78 新潟医療福祉大学	116 拓殖大学	154 日本女子大学
3 ビジネス・ブレイクスルー大学	41 熊本大学	79 新潟県立大学	117 筑波大学	155 日本赤十字広島看護大学
4 亜細亜大学	42 群馬大学	80 新潟国際情報大学	118 中央大学	156 日本大学
5 愛知医科大学	43 慶応義塾大学	81 新潟大学	119 中部学院大学	157 日本福祉大学
6 愛知淑徳大学	44 敬愛大学	82 神戸学院大学	120 中部大学	158 比治山大学
7 愛知大学	45 県立高知短期大学	83 神戸国際大学	121 朝日大学	159 浜松医科大学
8 声屋大学	46 呉大学	84 神戸山手大学	122 鳥取大学	160 富山国際大学
9 一橋大学	47 広島国際大学	85 神戸松蔭女子学院大学	123 追手門学院大学	161 富山大学
10 茨城キリスト教大学	48 広島大学	86 神戸大学	124 帝京大学	162 武蔵大学
11 茨城大学	49 弘前大学	87 神奈川大学	125 帝塚山大学	163 武蔵野大学
12 宇都宮大学	50 甲子園大学	88 福山女学園大学	126 都留文科大学	164 福井県立大学
13 羽衣国際大学	51 甲南大学	89 成城大学	127 鳥根大学	165 福岡教育大学
14 横浜国立大学	52 高崎商科大学	90 成蹊大学	128 東亜大学	166 福岡大学
15 横浜国立大学	53 高千穂大学	91 政策研究大学院大学	129 東海学園大学	167 仏教大学
16 岡山大学	54 国学院大学	92 聖カタリナ大学	130 東海大学	168 文教大学
17 沖縄国際大学	55 国際基督教大学	93 西南学院大学	131 東京外国語大学	169 兵庫教育大学
18 嘉悦大学	56 国際短期大学	94 西武文理大学	132 東京学芸大学	170 平成国際大学
19 学習院大学	57 桜美林大学	95 青山学院大学	133 東京工業大学	171 法政大学
20 関西学院大学	58 三重大学	96 青森公立大学	134 東京女子体育短期大学	172 北海道大学
21 関西大学	59 山形大学	97 青森大学	135 東京女子大学	173 北里大学
22 関西福祉科学大学	60 山口大学	98 静岡県立大学	136 東京大学	174 名古屋産業大学
23 関東学院大学	61 山梨学院大学	99 静岡大学	137 東京福祉大学	175 名古屋商科大学
24 岩手県立大学	62 四国学院大学	100 千葉商科大学	138 東京未来大学	176 名古屋大学
25 岩手大学	63 四日市大学	101 千葉大学	139 東京理科大学	177 名城大学
26 久留米大学	64 滋賀県立大学	102 専修大学	140 東北学院大学	178 明海大学
27 宮城教育大学	65 鹿児島大学	103 創価大学	141 東北大学	179 明治学院大学
28 宮城大学	66 実践女子大学	104 早稲田大学	142 東洋大学	180 明治大学
29 京都学園大学	67 芝浦工業大学	105 相模女子大学	143 同志社大学	181 明星大学
30 京都光華女子大学	68 首都大学東京	106 総合研究大学院大学	144 同朋大学	182 立教大学
31 京都工芸繊維大学	69 十文字学園女子大学	107 大妻女子大学	145 徳島大学	183 立命館大学
32 京都産業大学	70 淑徳大学	108 大阪学院大学	146 徳島文理大学	184 琉球大学
33 京都大学	71 昭和女子大学	109 大阪経済大学	147 奈良県立大学	185 龍谷大学
34 京都府立医科大学	72 松阪大学	110 大阪市立大学	148 奈良女子大学	186 麗澤大学
35 京都府立大学	73 樟蔭東女子短期大学	111 大阪商業大学	149 奈良大学	187 和光大学
36 近畿大学	74 湘南工科大学	112 大阪大学	150 南山大学	188 和洋女子大学
37 金城学院大学	75 上智大学	113 大阪府立大学	151 日本橋学園大学	
38 金沢大学	76 上智短期大学	114 大正大学	152 日本社会事業大学	

海外の大学154(アメリカの大学は国名を省略)

1	Appalachian State University	71	Queens College	141	University of Toronto (カナダ)
2	Auburn University at Auburn	72	Rice University	142	University of Vienna (オーストリア)
3	Australian National University (オーストラリア)	73	Rutgers-The State University	143	University of Virginia
4	Baruch College	74	Saint Louis University	144	University of Washington
5	Baylor University	75	Saint Olaf College	145	University of Western Ontario (カナダ)
6	Brandeis University	76	San Diego State University	146	University of Wisconsin at Madison
7	Brigham Young University	77	Seoul National University (韓国)	147	University of Wisconsin at Oshkosh
8	Bryn Mawr College	78	Singapore Management University (シンガポール)	148	University of Wisconsin at Whitewater
9	California State University at Bakersfield	79	Smith College	149	Virginia Polytechnic Institute and State University
10	California State University at Northridge	80	Sookmyung Women's University (韓国)	150	Washington State University
11	California State University at San Bernardino	81	Southern Illinois University at Carbondale	151	Western Kentucky University
12	California State University at Stanislaus	82	Southern Illinois University at Edwardsville	152	Western Washington University
13	California State University Channel Islands	83	Stanford University	153	Wilfrid Laurier University (カナダ)
14	Central Michigan University	84	State University of New York at Buffalo	154	Yale University
15	Chapman University	85	State University of New York at Stony Brook		
16	Christopher Newport University	86	Stockholm School of Economics (スウェーデン)		
17	Chung Ang University (韓国)	87	Stockholm University (スウェーデン)		
18	Claremont Colleges	88	Temple University		
19	Columbia University	89	Texas Tech University		
20	Complutense University of Madrid (スペイン)	90	The American University		
21	Concordia University (カナダ)	91	The Hong Kong University (香港)		
22	Cornell College	92	The University of Chicago		
23	Cornell University	93	The University of Western Australia (オーストラリア)		
24	Creighton University	94	Trinity University		
25	Danish Data Archives (オランダ)	95	Universita Commerciale L. Bocconi (イタリア)		
26	Deakin University (オーストラリア)	96	Universite De Paris I (フランス)		
27	DePaul University	97	University Catholique de Louvain (ベルギー)		
28	Eastern Illinois University	98	University College London (イギリス)		
29	Eastern Michigan University	99	University Duisburg-Essen (ドイツ)		
30	Elon University	100	University of Arizona		
31	Emory University	101	University of Birmingham (イギリス)		
32	Erasmus University Rotterdam (オランダ)	102	University of British Columbia (カナダ)		
33	Ewha Womans University (韓国)	103	University of California at Berkeley		
34	Florida State University	104	University of California at Davis		
35	Free University Berlin (ドイツ)	105	University of California at Irvine		
36	Fu-Jen Catholic University (台湾)	106	University of California at Los Angeles		
37	George Mason University	107	University of California at San Diego		
38	Georgia State University	108	University of Cincinnati		
39	Grinnell College	109	University of Colorado, Denver		
40	Hartwick College	110	University of Connecticut		
41	Harvard University	111	University of Groningen (オランダ)		
42	Hong Kong University of Science and Technology (香港)	112	University of Hawaii at Manoa		
43	Indiana University	113	University of Houston		
44	Institut D Etudes Politiques (フランス)	114	University of Illinois at Urbana-Champaign		
45	James Madison University	115	University of Iowa		
46	Keele University (イギリス)	116	University of Lethbridge (カナダ)		
47	Kenyon College	117	University of London (イギリス)		
48	King's College London (イギリス)	118	University of Louisville		
49	Korea University (韓国)	119	University of Michigan		
50	La Trobe University (オーストラリア)	120	University of Minnesota		
51	Lake Forest College	121	University of Missouri at Columbia		
52	Manchester Business School (イギリス)	122	University of Montana		
53	McGill University (カナダ)	123	University of Montreal (カナダ)		
54	McMaster University (カナダ)	124	University of Mount Union		
55	Michigan State University	125	University of Nevada at Reno		
56	Middlebury College	126	University of North Carolina at Charlotte		
57	Morehouse College	127	University of North Texas		
58	Mount Holyoke College	128	University of Notre Dame		
59	Mount St. Mary's College Los Angeles	129	University of Nottingham (イギリス)		
60	National University of Singapore (シンガポール)	130	University of Oregon		
61	Occidental College	131	University of Osnabrueck (ドイツ)		
62	Ohio University	132	University of Ottawa (カナダ)		
63	Oklahoma State University	133	University of Pennsylvania		
64	Oregon State University	134	University of Pittsburgh		
65	Peking University (中国)	135	University of Sheffield (イギリス)		
66	Pennsylvania State University	136	University of Southern California		
67	Phillips-University of Marburg (ドイツ)	137	Sungkyunkwan University (韓国)		
68	Portland State University	138	University of Texas at Austin		
69	Princeton University	139	University of Texas at San Antonio		
70	Purdue University	140	University of Tilburg (オランダ)		

研究機関 54機関(海外15/国内39)

1	Academia Sinica (台湾)
2	China Population and Development Research Center (中国)
3	Chinese Academy of Social Sciences (中国)
4	Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales (フランス)
5	German Institute for Japanese Studies Tokyo (ドイツ)
6	International Institute for Applied Systems Analysis (オーストリア)
7	Institute of Psychology, Chinese Academy of Sciences (中国)
8	Korea Labor Institute (韓国)
9	Max Planck Institute for Demographic Research (ドイツ)
10	National Centre for Scientific Research (フランス)
11	Pew Research Center (アメリカ)
12	Sweden National Institute for working life (スウェーデン)
13	Swedish National Data Service (スウェーデン)
14	The World Bank (アメリカ)
15	UC Riverside Economics (アメリカ)
16	WHO健康開発総合研究センター
17	アジア経済研究所
18	科学警察研究所
19	株式会社モデリスト
20	株式会社第一生命経済研究所
21	株式会社日本リサーチセンター
22	株式会社日本総合研究所
23	金融庁総務企画局市場課
24	経済産業研究所
25	経済産業省大臣官房政策企画室
26	経済産業省中小企業庁事業環境部企画課調査室
27	厚生労働省
28	国際日本文化研究センター
29	国民生活金融公庫
30	国立社会保障・人口問題研究所
31	国立精神・神経センター精神保健研究所
32	国立長寿医療センター研究所
33	国立保険医療科学院
34	財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
35	財団法人家計経済研究所
36	財団法人日本興亜福祉財団社会老年学研究所
37	財団法人日本情報処理開発協会
38	財団法人連合総合生活開発研究所
39	三菱総合研究所
40	産業技術総合研究所
41	総務省
42	第一生命経済研究所
43	東京都老人総合研究所
44	統計数理研究所
45	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
46	独立行政法人労働政策研究研修機構
47	内閣府経済社会総合研究所
48	内閣府国民生活局総務課調査室
49	内閣府男女共同参画局
50	日本郵政公社郵政総合研究所
51	農林水産省農林水産政策研究所
52	文部科学省
53	兵庫県こころのケアセンター
54	連合総合生活開発研究所



付表 2 プロジェクトの経過

1999.3	第 1 回予備調査実施	調査地域：大阪府下と首都圏（各 20 地点） 調査対象：20 歳代から 60 歳代の男女個人 抽出方法：大阪府 層化 2 段無作為抽出法 首都圏 2 段無作為抽出法 調査方法：面接法と留置法を併用 有効回収数（率）：大阪府 151（43.3%）；首都圏 159（43.8%） 特徴：split-ballot により 1) 留置票を 2 種類用いて調査項目を検討 2) 面接票と留置票の実施順序を検討
1999.10.10	日本社会学会でセッションを組み報告	テーマ：日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題 上智大学
1999.10.20	JGSS 研究発表会 1999	JGSS の研究計画と第 1 回予備調査の結果報告 大阪商業大学
1999.11	第 1 回予備調査データ公開	SSJDA ( <a href="http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/">http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/</a> )
	第 2 回予備調査実施	調査地域：全国（81 地点） 調査対象：18 歳以上の男女個人 1,200 人 抽出方法：層化 2 段無作為抽出法 調査方法：面接法と留置法を併用 有効回収数（率）：790（65.0%） 特徴：split-ballot により 1) 留置票を 2 種類用いて調査項目を検討 2) 謝礼を渡すタイミングが回収率に与える影響を検討
2000.3	第 1 回予備調査 基礎集計表発行	『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 1 回予備調査 基礎集計表・コードブック』
2000.11	JGSS-2000 実施	調査地域：全国（300 地点） 調査対象：20～89 歳の男女個人 4,500 人 抽出方法：層化 2 段無作為抽出法 調査方法：面接法と留置法を併用 有効回収数（率）：2,893（64.9%）
2000.11.11	日本社会学会でセッションを組み報告	テーマ：日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題 広島国際大学
2000.11.29	JGSS 研究発表会 2000	JGSS の背景と第 2 回予備調査の結果報告 大阪商業大学
2001.3	第 2 回予備調査データ公開	SSJDA
	第 2 回予備調査基礎集計表発行	『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査 基礎集計表・コードブック』
	JGSS の HP 開設	<a href="http://jgss.daishodai.ac.jp">http://jgss.daishodai.ac.jp</a>
2001.11	JGSS-2001 実施	調査地域：全国（300 地点） 調査対象：20～89 歳の男女個人 4,500 人 抽出方法：層化 2 段無作為抽出法 調査方法：面接法と留置法を併用 調査内容：JGSS-2000 を一部改変 有効回収数（率）：2,790（63.1%）
2001.11.24	日本社会学会でセッションを組み報告	テーマ：社会調査データの保存と 2 次分析への公開に関する現状と課題 一橋大学
2002.3	JGSS-2000 データ公開	SSJDA
	JGSS-2000 基礎集計表発行	『JGSS-2000 基礎集計表・コードブック』
	JGSS 研究論文集発行	『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』
2002.4	JGSS-2000 解説本発行	『日本人の姿 JGSS にみる意識と行動』岩井紀子・佐藤博樹編（有斐閣）

2002.5.15	JGSS 研究発表会 2002	JGSS-2000 の分析例 大阪商業大学
2002.11	JGSS-2002 実施	調査地域：全国（341 地点） 調査対象：20～89 歳の男女個人 5,000 人 抽出方法：層化 2 段無作為抽出法 調査方法：面接法と留置法を併用 調査内容：基本設問を残して改変 有効回収数（率）：2,953（62.3%）
2002.11.16	日本社会学会でセッションを組み報告	テーマ：公開データを活用した社会調査 データ分析に関する教育の方法と課題 大阪大学
2003.3	JGSS-2001 データ公開	SSJDA
	JGSS-2001 基礎集計表発行	『JGSS-2001 基礎集計表・コードブック』
	JGSS 研究論文集[2]発行	『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]』
	JGSS 公募論文 2003 募集	
2003.6.21-22	JGSS 国際シンポジウム 2003 - Birth of JGSS and its Fruit -	優秀論文 5 本表彰 大阪商業大学
2003.11	JGSS-2003 実施	調査地域：全国（489 地点） 調査対象：20～89 歳の男女個人 7,200 人 抽出方法：層化 2 段無作為抽出法 調査方法：面接法と留置法を併用；留置票は 2 種類 調査内容：基本設問を残して改変；留置 B 票はネットワーク設問中心 有効回収数（率）：留置 A 票 1,957（55.0%）；留置 B 票 1,706（48.0%）
2003.11.21-22	Thematic Lecture Series で報告 / Workshop on East Asian Studies で EASS について協議	成均館大学社会学部・Survey Research Center（ソウル）
2003.11.28	統計活動奨励賞受賞	（財）日本統計協会（ <a href="http://www.jstat.or.jp/activity">http://www.jstat.or.jp/activity</a> ）
2003.12.24	Thematic Lecture on Japanese and Korean Social Surveys で報告	中央研究院社会学研究所・調査研究工作室（台北）
	EASS General Meeting	
2004.2	ICPSR から JGSS-2000 データ公開	Inter-university Consortium for Political and Social Research（ <a href="http://www.icpsr.umich.edu/">http://www.icpsr.umich.edu/</a> ）
2004.3	JGSS-2002 データ公開	SSJDA
	JGSS-2002 基礎集計表発行	『JGSS-2002 基礎集計表・コードブック』
	JGSS 研究論文集[3]発行	『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]』
	国際シンポジウム 2003 報告書発行	『JGSS 国際シンポジウム 2003 報告書』
	JGSS 公募論文 2004 募集	
2004.6.19	JGSS 研究発表会 2004	優秀論文 2 本表彰 大阪商業大学
2004.7.7-11	第 36 回世界社会学機構で EASS のセッションを組み報告	中国社会科学院（北京）
	EASS General Meeting	
2004.9	JGSS-2005 設問募集	
	EASS 2006 設問募集	
2004.11.18-19	EASS Conference 2004	成均館大学 Survey Research Center（ソウル）
	EASS General Meeting	
2005.1	ポストドクトラル研究員募集	
2005.3	JGSS-2000/2001/2002/2003 データ（日本語版・英語版）の寄託	SSJDA/ICPSR/ZA（Zentralarchiv für Empirische Sozialforschung： <a href="http://www.gesis.org/en/za/">http://www.gesis.org/en/za/</a> ）
	JGSS-2000/2001/2002/2003 調査票（日本語版・英語版）の寄託	SRDQ（質問紙法にもとづく社会調査データベース： <a href="http://srdq.hus.osaka-u.ac.jp/">http://srdq.hus.osaka-u.ac.jp/</a> ）
	JGSS-2003 基礎集計表発行	『基礎集計表・コードブック JGSS-2003』
	JGSS Research Series No.1 発行	『日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]』
	JGSS 公募論文 2005 募集	
2005.4-5	EASS 2006 第 1 回プリテスト実施	TSCS は無作為抽出、KGSS と JGSS は有意抽出

2005.6	Women's Worlds 2005 : International Interdisciplinary Congress on Women で EASS のセッションを組み報告 EASS General Meeting	Asian Center for Women's Studies, Ewha Womans University (ソウル) 成均館大学 Survey Research Center (ソウル)
2005.7-8	EASS 2006 第 2 回プリテスト実施	調査地域：東大阪市 (25 地点) 調査対象：20 ~ 89 歳の男女個人 1,000 人 抽出方法：2 段無作為抽出法 調査方法：郵送法 調査内容：EASS-2006 のうち「家族に関する意識の設問」 有効回収数 (率) : 544 (54.8%)
2005.8-11	JGSS-2005 実施	調査地域：全国 (307 地点) 調査対象：20 ~ 89 歳の男女個人 4,500 人 抽出方法：層化 2 段無作為抽出法 調査方法：面接法と留置法を併用 調査内容：基本設問とモジュール (公募設問を含む) 有効回収数 (率) : 2,023 (50.5%)
2005.9	JGSS-2006 設問募集	
2005.10.22	日本社会学会でセッションを組み報告	テーマ：ソーシャル・ネットワークの調査方法と分析法 法政大学
2005.10.30-31	JGSS 研究発表会 2005 / EASS 国際会議 2005 EASS General Meeting	優秀論文 2 本表彰 大阪商業大学
2006.2	ポスト・ドクトラル研究員募集	
2006.3	JGSS 累積データ 2000-2003 (日本語版・英語版) の寄託	SSJDA/ICPSR/ZA
	JGSS 累積データ 2000-2003 基礎集計表発行	『基礎集計表・コードブック JGSS 累積データ 2000-2003』
	JGSS Research Series No.2 発行	『日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]』
	JGSS Colloquium 2005 報告書発行	『JGSS Colloquium 2005 報告書 - 東アジアの社会調査 - 』
	JGSS 公募論文 2006 募集	
2006.4	EASS 2008 設問募集	
2006.6.17	JGSS 研究発表会 2006	優秀論文 3 本表彰 大阪商業大学
2006.7	2 次分析の発展に対する感謝状	東京大学社会科学研究所より
2006.10.28	日本社会学会でセッションを組み報告	テーマ：国際比較調査の課題 立命館大学
2006.10	JGSS-2006 実施 (EASS 2006 「家族」モジュールを含む)	調査地域：全国 調査対象：20 ~ 89 歳の男女個人 8,000 人 抽出方法：層化 2 段無作為抽出法 調査方法：面接法と留置法を併用;留置票は 2 種類 調査内容：留置 A 票：基本設問とモジュール (公募設問を含む) ; 留置 B 票：KGSS-2006、TSCS-2006、CGSS-2006 と共通する EASS 「家族」モジュールを組み込む 有効回収数 (率) : 留置 A 票 2,124 (59.8%) ; 留置 B 票 2,130 (59.8%)
2006.11	EASS Conference 2006 EASS General Meeting 2006	中央研究院社会学研究所 (台北)
2007.2	ポスト・ドクトラル研究員募集	
2007.3	JGSS 統計テキストの刊行	『調査データ分析の基礎 - JGSS データとオンライン集計の活用』岩井紀子・保田時男 (有斐閣)
	JGSS-2005 データ (日本語版・英語版) の寄託	SSJDA/ICPSR/ZA
	JGSS-2005 調査票 (日本語版・英語版) の寄託	SRDQ
	JGSS-2005 基礎集計表発行	『基礎集計表・コードブック JGSS-2005』
	JGSS Research Series No.3 発行	『日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]』
	JGSS 公募論文 2007 募集	

2007.5.3-4	EASS 2008 Drafting Group Meeting	中央研究院社会学研究所（台北）
2007.6.30	JGSS 研究発表会 2007	優秀論文 3 本表彰 大阪商業大学
2007.7	2 次分析の発展に対する感謝状	東京大学社会科学研究所より
2007.7.17-19	EASS Conference 2007 EASS General Meeting 2007	香港科技大学（香港）
2007.8-9	EASS 2008 第 1 回プリテスト実施	調査地域：藤井寺市（15 地点） 調査対象：20～89 歳の男女個人 300 人 抽出方法：2 段無作為抽出法 調査方法：郵送法 調査内容：文化とグローバリゼーションに関する設問 有効回収数（率）：141（48.1%）
2007.8.20-24	専門社会調査士取得希望者のための講習会	社会調査士資格認定機構（現：一般社団法人 社会調査協会）主催 講師：岩井紀子・保田時男 大阪商業大学
2007.9	JGSS-2008 設問募集	
2007.9.3-4	JGSS 統計分析セミナー 2007	テーマ：ログリニア回帰モデル・潜在クラスモデル 講師：山口一男（シカゴ大学教授） 大阪商業大学
2007.11.10-12	JGSS 国際会議 2007 EASS 2008 Drafting Group Meeting	大阪商業大学
2008.1	JGSS 研究書刊行	『日本人の意識と行動』谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編（東京大学出版会）
2008.2	ポスト・ドクトラル研究員募集	
2008.2-3	EASS 2008 第 2 回プリテスト実施	調査地域：藤井寺市（15 地点） 調査対象：20～89 歳の男女個人 300 人 抽出方法：2 段無作為抽出法 調査方法：郵送法 調査内容：文化とグローバリゼーションに関する設問 有効回収数（率）：170（57.0%）
2008.3.14-15	東アジアのデータアーカイブに関する国際シンポジウム：Collaborative Data Collection, Dissemination, and Data Sharing EASS 2008/2010 Drafting Group Meeting	東京大学社会科学研究所
2008.3.7	JGSS リサーチ・セミナー（1）	テーマ：The Democratic Mind: Mapping Policy Concepts of Political Leaders 講師：Ekkehard Mochmann [Administrative Director of the Central Archive for Empirical Social Research at the University of Cologne (ZA) and Director of GESIS (German Social Science Infrastructure Services)] 大阪商業大学
2008.3	JGSS-2006 調査票（日本語版・英語版）の寄託	SRDQ
	JGSS-2006 基礎集計表発行	『基礎集計表・コードブック JGSS-2006』
	JGSS Research Series No.4 発行	『日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]』
	JGSS Colloquium 2007 報告書発行	『JGSS Colloquium 2007 報告書 - 東アジアの家族 - 』
	JGSS 公募論文 2008 募集	
2008.4	研究課題の募集：EASS 2010	8 月締切
	調査結果速報の作成：JGSS-2006/EASS 2006	各新聞社へ郵送
2008.5.10	EASS 2010 研究会（1）	大阪商業大学
2008.6.7-8	JGSS 国際シンポジウム 2008 - Families in East Asia -	優秀論文 2 本表彰 大阪商業大学
2008.6.9	EASS 2008/2010 Drafting Group Meeting	大阪商業大学

2008.6.25	文部科学省「平成 20 年度人文学及び社会科学における共同研究拠点整備の推進事業」に採択	平成 22 年度より「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」に移行
2008.7.1	JGSS 研究センター発足	
2008.7.5	第 1 回運営委員会	大阪商業大学
2008.7	研究課題の募集：JGSS-2009 ライフコース調査	8 月締切
	分析研究課題の募集：JGSS-2006	2009 年 2 月締切
	JGSS 研究センター主任研究員の募集	
2008.8.1-4	アメリカ社会学会で JGSS-2006 分析報告	ボストン
2008.8.8	第 2 回運営委員会	大阪商業大学
2008.8.25	JGSS ライフコース研究会 ( 1 )	大阪商業大学
2008.8.26-27	JGSS 統計分析セミナー2008	テーマ：イベントヒストリー分析 講師：山口一男 (シカゴ大学教授) 大阪商業大学
2008.9.6-7	日本家族社会学会の国際セッションで EASS 2006 報告	大正大学
2008.9.9-13	国際社会学会 Family Research ( RC06 ) で報告	リスボン (ポルトガル)
2008.9.14-18	専門社会調査士取得希望者のための講習会	社会調査士資格認定機構 ( 現：一般社団法人 社会調査協会 ) 主催 講師：岩井紀子・保田時男・宍戸邦章 大阪商業大学
2008.9.28	JGSS ライフコース研究会 ( 2 )	大阪商業大学
2008.10.1	文部科学大臣より「共同利用・共同研究拠点」の認定	
2008.10	JGSS-2008 実施 ( EASS 2008 「文化」モジュールを含む )	調査地域：全国 調査対象：20～89 歳の男女個人 8,000 人 抽出方法：層化 2 段無作為抽出法 調査方法：面接法と留置法を併用；留置票は 2 種類 調査内容：留置 A 票：基本設問とモジュール ( 公募設問を含む ) ；留置 B 票：日韓中台で共通の EASS 「文化」モジュールを組み込む 有効回収数 ( 率 ) : 留置 A 票 2,060 ( 58.2% ) ；留置 B 票 2,160 ( 60.6% )
2008.10.11	JGSS-2009 ライフコース調査プリテスト	調査地域：大阪府 調査対象：28-42 歳の男女個人 30 名 抽出方法：割当法 調査方法：面接法と留置法を併用 調査内容：学歴・職歴・結婚歴・ワークライフバランスなど
2008.11.1	第 3 回運営委員会	大阪商業大学
	JGSS 分析研究会 ( 1 )	
	EASS 2010 研究会 ( 2 )	
	JGSS ライフコース研究会 ( 3 )	
2008.11.2	JGSS リサーチ・セミナー ( 1 )	テーマ：New Directions in Life-course Research 講師：Karl Ulrich Mayer ( イェール大学教授、Max Planck Institute for Human Development 所長 ) 大阪商業大学
2008.11 19-21	EASS Conference 2008 EASS General Meeting	成均館大学 Survey Research Center ( ソウル )
2008.12	研究課題の募集：JGSS-2010	2009 年 2 月締切
	EASS 2006 家族モジュール国際統合データ公開	EASSDA
2008.12.21	JGSS 分析研究会 ( 2 )	大阪商業大学
2008.12.22	JGSS 研究センター開所式	大阪商業大学
	第 4 回運営委員会	

2009.1	JGSS-2006 データ（日本語版・英語版）の寄託	SSJDA
	EASS 2010 プリテストの実施	調査地域：東大阪市 調査対象：20～89歳の男女個人 300人 抽出方法：2段無作為抽出法 調査方法：郵送法 調査内容：EASS「健康」モジュール 有効回収数（率）：170（57.4%）
	JGSS-2009 ライフコース調査の実査	調査地域：全国 調査対象：28～42歳の男女個人 6,000人 抽出方法：層化2段無作為抽出法 調査方法：面接法と留置法を併用 調査内容：職歴・結婚歴・ワークライフバランス 有効回収数（率）：2,727（51.1%）
2009.2	分析研究課題の募集：EASS 2006 ポスト・ドクトラル研究員募集	2009年8月まで継続募集
	JGSS-2006 データ（日本語版・英語版）の寄託	ICPSR/GESIS（旧ZA）
2009.2.25	JGSS-2010 研究会（1）	大阪商業大学
2009.2.27	JGSS リサーチ・セミナー（2）	テーマ：世界価値観調査の概要と蓄積 報告：山崎聖子（電通総研研究企画室スーパーバイザー） 大阪商業大学
	EASS 2010 研究会（3） 第5回運営委員会	大阪商業大学
	JGSS-2010 研究会（2）	大阪商業大学
2009.3.4	JGSS-2010 研究会（2）	大阪商業大学
2009.3	EASS 2006 解説本発行	『データで見る東アジアの家族観 東アジア社会調査による日韓中台の比較』岩井紀子・保田時男編（ナカニシヤ出版）
	JGSS Research Series No.5 発行	『日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]』
	JGSS Research Series No.6 発行	『日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』
	EASS 2006 家族モジュール国際統合データ基礎集計表発行	『East Asian Social Survey: EASS 2006 Family Module Codebook』
	国際シンポジウム 2008 報告書発行	『JGSS Symposium 2008 報告書 - Development of East Asian Social Surveys: Results of EASS 2006 Family Module』
	JGSS 公募論文 2009 募集	
2009.4.16	第1回運営委員会	東京大学社会科学研究所
2009.4.14-17	職業・産業コーディング研究会（国内コード）	東京大学社会科学研究所
2009.5	調査結果速報の作成：JGSS-2008	各新聞社へ郵送
2009.5.10	JGSS 分析研究会（1）	大阪商業大学
	EASS 2010 研究会（1）	
	JGSS-2010 研究会（1）	
2009.5.25-27	EASS 2010 Drafting Group Meeting	人民大学（北京）
2009.6.21	JGSS 研究発表会 2009	優秀論文1本表彰 大阪商業大学
	EASS 2008 研究会（1）	大阪商業大学
	JGSS-2008 研究会（1）	
	EASS 2010 研究会（2）	
	JGSS-2010 研究会（2）	
	第2回運営委員会	
2009.7	分析研究課題の募集：JGSS-2008	2010年12月まで継続募集
2009.8.1-6	職歴コーディング研究会（1）	大阪商業大学

2009.8	JGSS-2010 (EASS 2010「健康」モジュールを含む) プリテスト実施	調査地域：東大阪市 調査対象：20～89歳の男女個人 400人 抽出方法：2段無作為抽出法 調査方法：郵送法 調査内容：モジュール(公募設問を含む)、EASS「健康」モジュール 有効回収数(率)：196(49.0%)
2009.8.8-11	アメリカ社会学会でEASS 2006分析報告	サンフランシスコ
2009.8.24-26	職歴コーディング研究会(2)	大阪商業大学
2009.8.26	JGSS ライフコース研究会(1)	大阪商業大学
2009.8.27-28	JGSS 統計分析セミナー2009	テーマ：カテゴリー従属変数の回帰モデルと傾向スコアを用いる因果分析 講師：山口一男(シカゴ大学教授) 大阪商業大学
2009.10.25	JGSS 分析研究会(2)	大阪商業大学
	EASS 2010 研究会(3)	
	JGSS-2010 研究会(3)	
	第3回運営委員会	
	ポスト・ドクトラル研究員募集	
2009.10.31	計量分析セミナー(1)	テーマ：Mplus を用いたマルチレベル分析 講師：赤枝尚樹(大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程) 大阪商業大学
2009.11.14	JGSS 分析研究会(3)	大阪商業大学
2009.11.18-20	EASS Conference 2009 EASS General Meeting	中央研究院社会学研究所(台北)
2009.11.23	計量分析セミナー(2)	テーマ：Stata と R を用いた Negative Binominal Logit 分析 講師：宮田尚子(大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程) 大阪商業大学
2009.11.29	JGSS 分析研究会(4)	大阪商業大学
2009.12.17-18	JGSS リサーチ・セミナー(1)	テーマ：中国におけるグローバル化と社会関係の変容 講師：邊燕杰(ミネソタ大学教授・西安交通大学人文社会科学学院院长) 大阪商業大学
2009.12	研究課題の募集：EASS 2012	2010年2月締切
2010.1.11-14	JGSS リサーチ・セミナー(2)	テーマ：台湾と中国におけるグローバル化と社会関係資本 講師：蔡明璋(國立臺北大學教授/社会科学学院院长)、王衛東(中国人民大学社会学系准教授) 大阪商業大学
2010.2	JGSS-2010 (EASS 2010「健康」モジュールを含む) 実施	調査地域：全国 調査対象：20～89歳の男女個人 9,000人 抽出方法：層化2段無作為抽出法 調査方法：面接法と留置法を併用；留置票は2種類 調査内容：留置A票：基本設問とモジュール(公募設問を含む)；留置B票：KGSS-2010、CGSS-2010と共通するEASS「健康」モジュールを組み込む 有効回収数(率)：留置A票 2,507(62.2%)；留置B票 2,496(62.1%)
	ポスト・ドクトラル研究員募集	
	分析研究課題の募集：EASS 2008	2010年12月まで継続募集

2010.2.28	第 4 回運営委員会	大阪商業大学
	JGSS リサーチ・セミナー ( 3 )	テーマ：沖縄と青森における GSS 型社会調査 報告：安藤由美 ( 琉球大学法文学部教授 )、鈴木規之 ( 琉球大学法文学部教授 )、野入直美 ( 琉球大学法文学部准教授 )、白井こころ ( 琉球大学法文学部准教授 )、吉村治正 ( 青森大学社会学部准教授 )、澁谷泰秀 ( 青森大学社会学部教授・社会学科長 ) 大阪商業大学
2010.3	JGSS-2008 調査票 ( 日本語版・英語版 ) の寄託	SRDQ
	JGSS-2008 基礎集計表発行	『基礎集計表・コードブック JGSS-2008』
	EASS 2008 国際チーム統合データ基礎集計表発行	『East Asian Social Survey: EASS 2008 Culture Module Codebook』
	JGSS Research Series No.7 発行	『日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』
	JGSS 公募論文 2010 募集	
2010.4.17	EASS 2012 研究会 ( 1 )	大阪商業大学
2010.5.20-22	EASS Conference Spring 2010 EASS 2010 Drafting Group Meeting	成均館大学 Survey Research Center ( ソウル )
2010.6.5	JGSS 研究発表会 2010	優秀論文 2 本表彰
	第 1 回運営委員会	大阪商業大学
	JGSS 分析研究会 ( 1 )	
2010.7.11-17	国際社会学会 2010 で EASS のセッションを組み報告	Integrative Session 11: Globalization and changing East Asian societies: China, Japan, South Korea, and Taiwan Research Committee on Family Research (RC06): East Asian families in comparative perspectives イエテボリ ( スウェーデン )
2010.8.23-24	JGSS 統計分析セミナー 2010	テーマ：社会的ネットワーク分析 講師：山口一男 ( シカゴ大学教授 ) 大阪商業大学
2010.8	EASS 2012 研究会 ( 2 )	東京大学
	JGSS 分析研究会 ( 2 )	大阪商業大学
	ポスト・ドクトラル研究員募集	
2010.9.12	日本家族社会学会のシンポジウムで報告 ライフコース調査についての一連の報告	JGSS-2000 ~ 2010 からみた家族の変化と現状 ゼロ年代のライフコース 成城大学
2010.9.18	日本教育社会学会でライフコース調査についての一連の報告	ゼロ年代の教育と初期キャリア - JGSS-2009 ライフコース調査の分析 - 関西大学
2010.10.17	第 2 回運営委員会	大阪商業大学
	JGSS リサーチ・セミナー ( 1 )	テーマ：JGSS データを用いた学際的な研究 報告：會田陽久 ( 農林水産政策研究所国際領域 上席主任研究官 ) 大阪商業大学
2010.11.6	日本社会学会でライフコース調査についての一連の報告	JGSS-2009 ライフコース調査の設計・実施・分析 名古屋大学
2010.11.14	社会調査協会特別シンポジウムで報告	「日本の全国調査の系譜 - JGSS ( 日本版総合的社会調査 ) - 」 如水会館 ( 東京 )
2010.11	EASS Conference 2010	大阪商業大学
	EASS General Meeting	
	EASS 2012 研究会 ( 3 )	
	ポスト・ドクトラル研究員募集	
2010.12	JGSS 分析研究会 ( 3 )	大阪商業大学
	JGSS 分析研究会 ( 4 )	
	EASS 2008 グローバリゼーションと文化モジュール国際統合データの公開	EASSDA



2011.1	JGSS-2008 データ (日本語版・英語版) の寄託 研究課題の募集: JGSS-2012 JGSS-2012 (EASS 2012 モジュールを含む) 第 1 回プリテスト実施	SSJDA/ICPSR/GESIS  調査地域: 東大阪市 調査対象: 20~89 歳の男女個人 400 人 抽出方法: 2 段無作為抽出法 調査方法: 郵送法 調査内容: モジュール (公募設問を含む)、EASS 「社会関係資本」モジュール 有効回収数 (率): 196 (49.0%)
2011.2.11	JGSS リサーチ・セミナー (2)	テーマ: 日本人の宗教意識と墓問題 報告: 岩井紀子 (大阪商業大学総合経営学部教授)、木村雅文 (大阪商業大学総合経営学部教授)、大岡頼光 (中京大学現代社会学部准教授)、渡辺秀樹 (慶應義塾大学文学部教授) 大阪商業大学
2011.2	第 3 回運営委員会 ポスト・ドクトラル研究員募集	大阪商業大学
2011.3	JGSS Research Series No.8 発行 JGSS-2009 ライフコース調査基礎集計表発行 JGSS-2010 基礎集計表発行 EASS Conference 2010 報告書発行 JGSS-2009 ライフコース調査 調査票 (日本語版・英語版) の寄託 JGSS-2010 調査票 (日本語版・英語版) の寄託 JGSS 公募論文 2011 募集 分析研究課題の募集: JGSS-2009 ライフコース調査 EASS 2008 解説本発行	『日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[11]』 『基礎集計表・コードブック JGSS-2009LCS』 『基礎集計表・コードブック JGSS-2010』 『East Asian Social Survey: EASS Conference 2010 報告書』 SRDQ  2012 年 2 月まで継続募集 『データで見る東アジアの文化と価値観 東アジア社会調査による日韓中台の比較 2』 岩井紀子・上田光明編 (ナカニシヤ出版)
2011.3.31-4.3	Joint Conference of the Association of Asian Studies & International Convention of Asian Scholars で報告	ホノルル
2011.5.19-21	EASS Conference Spring 2011 EASS Drafting Group Meeting	大阪商業大学
2011.5.29	関西社会学会 第 62 回大会シンポジウムで報告	「社会調査とデータ・アーカイブ: 公開調査データの作成と寄託 JGSS(日本版総合的社会調査)の経験」 甲南女子大学
2011.6.22	JGSS リサーチ・セミナー (1)	テーマ: 世界価値観調査に基づく長期志向・放縦と節制・ビジネスモデルの比較・文化のエボリューション 報告: ヘールト・ホフステード (Emeritus Professor at Maastricht University) 大阪商業大学
2011.6.25	第 1 回運営委員会 JGSS 分析研究会 (1) JGSS 研究発表会 2011	大阪商業大学  優秀論文 1 本表彰 大阪商業大学
2011.8.29	JGSS 分析研究会 (2)	大阪商業大学
2011.9.1-2	JGSS 統計分析セミナー 2011	テーマ: 線形従属変数の場合の傾向スコアを用いるセミ・パラメトリックな統計的因果分析 講師: 山口一男 (シカゴ大学教授) 大阪商業大学

2011.9.12-14	ISA RC06 (CFR) Workshop on [Reconstruction of Intimate and Public Spheres in a Global Perspective]で EASS のセッションを組み報告	Special Session 1: EASS & GCOE: Asian Families in Transition: Based on East Asian Social Survey 2006 and its Expansion 京都大学
2011.9.21-23	WAPOR 2011 で EASS のセッションを組み報告	East Asian Panel アムステルダム (オランダ)
2011.10	EASS 2006 解説本 (英語版) 発行	『Family Values in East Asia: A Comparison among Japan, South Korea, China, and Taiwan based on East Asian Social Survey 2006』 岩井紀子・保田時男編 (ナカニシヤ出版)
	JGSS-2012 (EASS 2012 モジュールを含む) 第 2 回プリテスト実施	調査地域: 全国 調査対象: 20~69 歳の男女個人 300 人 抽出方法: 割当法 調査方法: 郵送法 調査内容: モジュール (公募設問を含む)、EASS 「社会関係資本」モジュール 有効回収数 (率): 162 (54.0%)
2011.10.30	第 2 回運営委員会	大阪商業大学
2011.11.4-5	カリフォルニア社会学会で報告	パークレー
2011.11.11	日本世論調査協会研究大会のシンポジウムで報告	長期継続調査の現状と課題 - JGSS (日本版総合的社会調査) の経験 - 中央大学
2011.11.17-19	EASS Conference 2011 EASS General Meeting	中央研究院社会学研究所 (台北)
2012.2	JGSS-2012 (EASS 2012 NSC モジュールを含む) 実施	調査地域: 全国 調査対象: 20~89 歳の男女個人 9,000 人 抽出方法: 層化 2 段無作為抽出法 調査方法: 面接法と留置法を併用; 留置票は 2 種類 調査内容: 留置 A 票: 基本設問とモジュール (公募設問を含む); 留置 B 票: KGSS-2012、TSCS-2012、CGSS-2012 と共通する EASS モジュールを組み込む
	ポスト・ドクトラル研究員募集	
2012.2.17	JGSS 分析研究会 (3)	大阪商業大学
2012.2.25	第 3 回運営委員会	大阪商業大学
2012.2.27	JGSS 分析研究会 (4)	大阪商業大学
2012.2.29	JGSS リサーチ・セミナー (2)	テーマ: 経済学研究と JGSS の融合 報告: 野崎華世 (大阪商業大学 JGSS 研究センター PD 研究員)、大橋正彦 (大阪商業大学総合経営学部教授)、佐野晋平 (神戸大学大学院経済学研究科准教授)、川口大司 (一橋大学大学院経済学研究科准教授)、小塩隆士 (一橋大学経済研究所教授) 大阪商業大学
2012.3	JGSS Research Series No.9 発行	『日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[12]』
	JGSS 累積データ 2000-2010 基礎集計表 発行	『基礎集計表・コードブック JGSS 累積データ 2000-2010』
	EASS 2010 国際チーム統合データ基礎集計表発行	『East Asian Social Survey: EASS 2010 Health Module Codebook』
	EASS Conference 2011 報告書発行	『East Asian Social Survey: EASS Conference 2011 報告書』
	JGSS-2009 ライフコース調査データの公開	大阪商業大学 JGSS 研究センター
	JGSS 公募論文 2012 募集	
2012.3.12	JGSS 分析研究会 (5)	大阪商業大学
2012.3.17-18	日本行動計量学会「春の合宿セミナー」 (共催: 大阪商業大学 JGSS 研究センター)	大阪商業大学
2012.6.9-10	JGSS 国際シンポジウム 2012	大阪商業大学
2012.6.11-12	EASS Drafting Group Meeting	大阪商業大学
2012.6.14-16	WAPOR 2012 で EASS のセッションを組み報告	East Asian Social Survey Panel 香港

2012.7	分析研究課題の募集：JGSS-2010、EASS 2010	2013 年 12 月まで継続募集
2012.8.1-4	世界社会学会 Forum of Sociology で報告	ブエノスアイレス（アルゼンチン）
2012.12	EASS 2010 健康モジュール国際統合データの公開	EASSDA
2013.1	JGSS-2010 データ（日本語版・英語版）の寄託	SSJDA/ICPSR/GESIS
2013.3	JGSS Research Series No.10 発行	『日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[13]』
	JGSS-2012 基礎集計表発行	『基礎集計表・コードブック JGSS-2012』
	JGSS 国際シンポジウム 2012 報告書発行	『JGSS 国際シンポジウム 2012 報告書』
	JGSS-2012 調査票（日本語版・英語版）の寄託	SRDQ
2014.3	JGSS Research Series No.11 発行	『日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[14]』
	EASS 2012 国際チーム統合データ基礎集計表発行	『East Asian Social Survey: EASS 2012 Social Network and Social Capital Module Codebook』
2014.12	EASS 2012 国際統合データの寄託	EASSDA
2015.1	JGSS-2012 データ（日本語版・英語版）の寄託	SSJDA/ICPSR/GESIS
2015.3	JGSS Research Series No.12 発行	『日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[15]』

## 目 次

はじめに - JGSS 10 年の軌跡 -	谷岡 一郎 .....
本拠点設立までの経緯と JGSS プロジェクトの歩み	岩井 紀子 .....
. 調査概要	
1. プロジェクトメンバー .....	1
2. 調査の内容 .....	11
3. 調査の方法 .....	23
4. 回収率ならびに欠票の分析 .....	59
5. データセットのウエイトについて .....	93
6. データの公開状況と入手方法 .....	159
. 集計と索引	
1. 基礎集計・コード表 .....	163
2. 事項索引 .....	437
3. 変数名索引 .....	473
. 資料	
1. 抽出地点リスト .....	523
2. 産業コード .....	555
3. 職業コード .....	557
4. 国際標準産業分類 (ISIC) .....	563
5. 国際標準職業分類 (ISCO) .....	567
6. GSS・世論調査と調査項目の対応表 .....	581
7. フローチャート .....	659
8. 面接調査票	
9. 面接調査票 回答票 (サンプル) JGSS-2010	
10. 留置調査票	
11. 依頼状 (調査へのご協力をお願い)	
12. パンフレット	
13. 調査要領	
14. 欠票調査票	
15. JGSS / EASS 関連の文献	

## . 調査概要

## .1 プロジェクトメンバー：JGSS 累積データ 2000-2010

JGSS 研究センター長	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
JGSS 研究センター運営委員会委員長	谷岡 一郎	大阪商業大学総合経営学部 教授・学長
JGSS 研究センター運営委員会副委員長	前田 幸男	東京大学社会科学研究所 准教授

### 運営委員

平尾 桂子	上智大学大学院地球環境学研究科 教授
岩井 八郎	京都大学大学院教育学研究科 教授
小島 宏	早稲田大学社会科学総合学院 教授
仁田 道夫	国土館大学経営学部 教授
岡太 彬訓	多摩大学大学院経営情報学研究科 教授
佐々木 尚之	JGSS 研究センター 主任研究員
篠崎 武久	早稲田大学理工学術院創造理工学部 准教授
宍戸 邦章	大阪商業大学総合経営学部 准教授

### JGSS 研究センター研究員

野崎 華世	JGSS 研究センター PD 研究員
柴田 由己	JGSS 研究センター PD 研究員
林 光	JGSS 研究センター PD 研究員
篠原 さやか	JGSS 研究センター PD 研究員

### 研究メンバー

花岡 和聖	立命館大学文学部 助教
埴淵 知哉	日本学術振興会 研究員
木村 雅文	大阪商業大学総合経営学部 教授
村中 亮夫	立命館大学文学部 講師
中谷 友樹	立命館大学文学部 准教授
杉田 陽出	大阪商業大学経済学部 准教授
田辺 俊介	東京大学社会科学研究所 准教授
保田 時男	大阪商業大学総合経営学部 准教授
吉田 崇	東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センター 助教

2012年3月現在の所属

## . 1 プロジェクトメンバー：JGSS-2000

研究代表	谷岡 一郎	大阪商業大学 教授・学長
	仁田 道夫	東京大学 教授・社会科学研究所 所長
代表幹事	佐藤 博樹	東京大学 教授
	岩井 紀子	大阪商業大学 助教授
研究メンバー		
	安藏 伸治	明治大学 教授
	池田 謙一	東京大学 教授
	稲葉 太一	神戸大学 専任講師
	石田 浩	東京大学 教授
	岩井 八郎	京都大学 助教授
	木村 雅文	大阪商業大学 教授
	小島 宏	国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部部長
	林 妙音	大阪商業大学 助教授
	宮田 由紀夫	大阪府立大学 教授
	中尾 啓子	東京都立大学 助教授
	西本 望	大阪商業大学 助教授
	西村 幸満	東京大学 助手
	大井 方子	東京大学 助手
	清水 誠	東京大学 助教授
	篠原 健一	大阪商業大学 助教授
	杉田 陽出	大阪商業大学 助教授
	高橋 和子	敬愛大学 助教授
	豊山 宗洋	大阪商業大学 助教授
	閻 和平	大阪商業大学 助教授
	安野 智子	香川大学 助教授

2002 年 3 月現在の所属

## . 1 プロジェクトメンバー：JGSS-2001

研究代表	谷岡 一郎	大阪商業大学総合経営学部 教授・学長
	仁田 道夫	東京大学社会科学研究所 教授・所長
代表幹事	佐藤 博樹	東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター 教授
	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
研究メンバー		
	安藏 伸治	明治大学政治経済学部 教授
	本田 由紀	東京大学社会科学研究所 助教授
	池田 謙一	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部 教授
	稲葉 太一	神戸大学発達科学部 専任講師
	石田 浩	東京大学社会科学研究所 教授
	岩井 八郎	京都大学大学院教育学研究科 助教授
	木村 雅文	大阪商業大学総合経営学部 教授
	小島 宏	国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部部長
	林 妙音	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	楨田 直木	東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター 助教授
	宮田 由紀夫	大阪府立大学経済学部 教授
	中尾 啓子	東京都立大学人文学部 助教授
	西本 望	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	西村 幸満	東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター 助手
	大橋 正彦	大阪商業大学総合経営学部 教授
	篠原 健一	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	杉田 陽出	大阪商業大学経済学部 助教授
	高橋 和子	敬愛大学国際学部 助教授
	豊山 宗洋	大阪商業大学経済学部 助教授
	閻 和平	大阪商業大学経済学部 助教授
	安野 智子	中央大学文学部 助教授

2003年3月現在の所属



## . 1 プロジェクトメンバー：JGSS-2002

研究代表	谷岡 一郎	大阪商業大学総合経営学部 教授・学長
	仁田 道夫	東京大学社会科学研究所 教授・所長
代表幹事	佐藤 博樹	東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター 教授
	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
研究メンバー	安藏 伸治	明治大学政治経済学部 教授
	本田 由紀	東京大学大学院情報学環 助教授
	池田 謙一	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部 教授
	稲葉 太一	神戸大学発達科学部 専任講師
	石田 浩	東京大学社会科学研究所 教授
	岩井 八郎	京都大学大学院教育学研究科 教授
	木村 雅文	大阪商業大学総合経営学部 教授
	小磯 かをる	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	小島 宏	国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部 部長
	林 妙音	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	槇田 直木	東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター 助教授
	中尾 啓子	東京都立大学人文学部 助教授
	西村 幸満	国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部 第二室長
	大橋 正彦	大阪商業大学総合経営学部 教授
	奥野 久雄	大阪商業大学総合経営学部 教授
	佐野 茂	大阪商業大学経済学部 助教授
	篠原 健一	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	杉田 陽出	大阪商業大学経済学部 助教授
	高橋 和子	敬愛大学国際学部 助教授
	田崎 公司	大阪商業大学経済学部 助教授
	豊山 宗洋	大阪商業大学経済学部 助教授
	閻 和平	大阪商業大学経済学部 助教授
	保田 時男	甲子園大学人間文化学部ほか 非常勤講師
	安野 智子	中央大学文学部 助教授

2004年3月現在の所属

## . 1 プロジェクトメンバー：JGSS-2003

研究代表	谷岡 一郎	大阪商業大学総合経営学部 教授・学長
	仁田 道夫	東京大学社会科学研究所 教授・所長
代表幹事	佐藤 博樹	東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター 教授
	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
幹事	佐藤 香	東京大学社会科学研究所 助教授
	保田 時男	大阪商業大学総合経営学部 講師
研究メンバー	本田 由紀	東京大学大学院情報学環 助教授
	池田 謙一	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部 教授
	稲葉 太一	神戸大学発達科学部 専任講師
	石田 浩	東京大学社会科学研究所 教授
	岩井 八郎	京都大学大学院教育学研究科 教授
	木村 雅文	大阪商業大学総合経営学部 教授
	小磯かをる	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	小島 宏	国立社会保障・人口問題研究所 国際関係部 部長
	林 妙音	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	村山 紀文	東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士 2 年
	中尾 啓子	東京都立大学人文学部 助教授
	大橋 正彦	大阪商業大学総合経営学部 教授
	奥村 学	東京工業大学精密工学研究所 助教授
	佐野 茂	大阪商業大学経済学部 助教授
	佐藤 朋彦	東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター 助教授
	篠崎 武久	東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター 助手
	孫 飛舟	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	杉田 陽出	大阪商業大学経済学部 助教授
	須山 敦	東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士 2 年
	高橋 和子	敬愛大学国際学部 助教授
	高村 大也	東京工業大学精密工学研究所 助手
	田崎 公司	大阪商業大学経済学部 助教授
	安野 智子	中央大学文学部 助教授

2005 年 3 月現在の所属

## . 1 プロジェクトメンバー：JGSS-2005

研究代表	谷岡 一郎	大阪商業大学総合経営学部 教授・学長
	仁田 道夫	東京大学社会科学研究所 教授
代表幹事	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
幹事	佐藤 香	東京大学社会科学研究所 助教授
	保田 時男	大阪商業大学総合経営学部 講師
研究メンバー		
	池田 謙一	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部 教授
	稲葉 太一	神戸大学発達科学部 講師
	岩井 八郎	京都大学大学院教育学研究科 教授
	片山 隆男	大阪商業大学経済学部 教授
	木村 雅文	大阪商業大学総合経営学部 教授
	小磯 かをる	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	小島 宏	国立社会保障・人口問題研究所国際関係部 部長
	林 妙音	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	前田 幸男	東京大学大学院情報学環 助教授（社会科学研究所と兼任）
	裕永 佳甫	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	三輪 哲	東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター 助教授
	中尾 啓子	首都大学東京都市教養学部 教授
	大橋 正彦	大阪商業大学総合経営学部 教授
	岡本 政人	東京大学社会科学研究所教授（客員）総務省統計研修所 所長
	佐野 茂	大阪商業大学経済学部 助教授
	宍戸 邦章	大阪商業大学 JGSS ポスト・ドクトラル研究員
	篠崎 武久	早稲田大学理工学部複合領域 講師
	杉田 陽出	大阪商業大学経済学部 助教授
	孫 飛舟	大阪商業大学総合経営学部 助教授
	高橋 和子	敬愛大学国際学部 助教授
	田崎 公司	大阪商業大学経済学部 助教授
	安野 智子	中央大学文学部 助教授

### JGSS-2005 公募設問採択者

松本 涉	統計数理研究所データ科学研究系調査解析グループ 助手
松沢 陽子	京都大学大学院文学研究科 大学院生
小川 雅司	羽衣国際大学産業社会学部 講師
田中 豊	大阪学院大学情報学部 助教授
保田 直美	大阪大学大学院人間科学研究科 大学院生

2007年3月現在の所属

## . 1 プロジェクトメンバー：JGSS-2006

研究代表	谷岡 一郎 仁田 道夫	大阪商業大学総合経営学部 教授・学長 東京大学社会科学研究所 教授
代表幹事	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
副代表幹事	保田 時男	大阪商業大学総合経営学部 講師
幹事	前田 幸男 穴戸 邦章	東京大学大学院情報学環 准教授（社会科学研究所と兼任） 大阪商業大学総合経営学部 講師

### 研究メンバー

榎木 美樹	大阪商業大学 JGSS ポスト・ドクトラル研究員
本田 由紀	東京大学大学院教育学研究科 准教授
池田 謙一	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部 教授
稲葉 太一	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 講師
岩井 八郎	京都大学大学院教育学研究科 教授
片山 隆男	大阪商業大学経済学部 教授
木村 雅文	大阪商業大学総合経営学部 教授
小磯 かをる	大阪商業大学総合経営学部 准教授
小島 宏	早稲田大学社会科学総合学術院 教授
林 妙音	大阪商業大学総合経営学部 准教授
松井 博	東京大学社会科学研究所 准教授
松永 佳甫	大阪商業大学総合経営学部 准教授
湊 邦生	大阪大学外国語学部 非常勤講師
三輪 哲	東京大学社会科学研究所 准教授
中尾 啓子	首都大学東京都市教養学部 教授
大橋 正彦	大阪商業大学総合経営学部 教授
佐野 茂	大阪商業大学経済学部 准教授
篠崎 武久	早稲田大学理工学術院創造理工学部 講師
杉田 陽出	大阪商業大学経済学部 准教授
孫 飛舟	大阪商業大学総合経営学部 准教授
高橋 和子	敬愛大学国際学部 准教授
田辺 俊介	東京大学社会科学研究所 助教
田崎 公司	大阪商業大学経済学部 准教授
都村 聞人	大阪商業大学 JGSS ポスト・ドクトラル研究員
安野 智子	中央大学文学部 准教授

### JGSS-2006 / EASS 2006 期間限定メンバー

相澤 真一	東京大学社会科学研究所 研究支援推進員
平尾 桂子	上智大学文学部 教授
菊地 真理	奈良女子大学大学院人間文化研究科 大学院生
南部 広孝	長崎大学アドミッションセンター 准教授
野崎 祐子	広島大学地域経済研究センター 助教
田淵 六郎	上智大学総合人間科学部 准教授
筒井 淳也	立命館大学産業社会学部 准教授

2008年3月現在の所属

## . 1 プロジェクトメンバー：JGSS-2008

JGSS 研究センター長	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
JGSS 研究センター運営委員会委員長	谷岡 一郎	大阪商業大学総合経営学部 教授・学長
JGSS 研究センター運営委員会副委員長	仁田 道夫	東京大学社会科学研究所 教授

### 運営委員

平尾 桂子	上智大学大学院地球環境学研究科 教授
岩井 八郎	京都大学大学院教育学研究科 教授
小島 宏	早稲田大学社会科学総合学術院 教授
前田 幸男	東京大学大学院情報学環 准教授（社会科学研究所と兼任）
岡太 彬訓	多摩大学大学院経営情報学研究科 教授
篠崎 武久	早稲田大学理工学術院創造理工学部 准教授
穴戸 邦章	大阪商業大学総合経営学部 講師
保田 時男	大阪商業大学総合経営学部 准教授

### JGSS 研究センター研究員

佐々木 尚之	JGSS 研究センター 主任研究員
三輪 加奈	JGSS 研究センター PD 研究員
湊 邦生	大阪大学外国語学部 非常勤講師（元 JGSS 研究センター主任研究員）
菅澤 貴之	九州大学キャリア支援センター テクニカルスタッフ （元 JGSS 研究センターPD 研究員）
埴淵 知哉	日本学術振興会 特別研究員 PD（元 JGSS 研究センターPD 研究員）

### 研究メンバー

池田 謙一	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部 教授
木村 雅文	大阪商業大学総合経営学部 教授
小磯 かをる	大阪商業大学総合経営学部 教授
三澤 仁平	東北大学大学院医学系研究科 大学院生
村田 千代栄	浜松医科大学健康社会医学 助教
直井 恵	カリフォルニア大学サンディエゴ校政治学科 准教授
大橋 正彦	大阪商業大学総合経営学部 教授
杉田 陽出	大阪商業大学経済学部 准教授
孫 郁雯	中央研究院社会学研究所（台湾）博士後研究員
田辺 俊介	東京大学社会科学研究所 准教授

2010 年 3 月現在の所属

## . 1 プロジェクトメンバー：JGSS-2010

JGSS 研究センター長	岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
JGSS 研究センター運営委員会委員長	谷岡 一郎	大阪商業大学総合経営学部 教授・学長
JGSS 研究センター運営委員会副委員長	仁田 道夫	東京大学社会科学研究所 教授

### 運営委員

平尾 桂子	上智大学大学院地球環境学研究科 教授
岩井 八郎	京都大学大学院教育学研究科 教授
小島 宏	早稲田大学社会科学総合学術院 教授
前田 幸男	東京大学大学院情報学環 准教授（社会科学研究所と兼任）
岡太 彬訓	多摩大学大学院経営情報学研究科 教授
篠崎 武久	早稲田大学理工学術院創造理工学部 准教授
穴戸 邦章	大阪商業大学総合経営学部 講師
佐々木 尚之	JGSS 研究センター 主任研究員

### JGSS 研究センター研究員

野崎 華世	JGSS 研究センター PD 研究員
柴田 由己	JGSS 研究センター PD 研究員
上田 光明	JGSS 研究センター PD 研究員
曹 陽	中国科学院心理研究所応用研究与发展部 助教 （元 JGSS 研究センター PD 研究員）
李 秀眞	弘前大学教育学部 講師（元 JGSS 研究センター PD 研究員）
三輪 加奈	釧路公立大学経済学部 講師（元 JGSS 研究センター PD 研究員）
小川 直人	福岡国際大学国際コミュニケーション学部 講師 （元 JGSS 研究センター PD 研究員）

### 研究メンバー

カレイラ松崎 順子	東京未来大学こども心理学部 専任講師
花岡 和聖	立命館大学文学部 助教
埴淵 知哉	日本学術振興会 特別研究員 PD
林 幸史	大阪国際大学人間科学部 講師
岩井 紀子	大阪商業大学総合経営学部 教授
小島 宏	早稲田大学社会科学総合学術院 教授
松本 みゆき	名古屋大学大学院教育発達科学研究科 大学院生
村中 亮夫	立命館大学文学部 講師
村田 千代栄	浜松医科大学健康社会医学 助教
中谷 友樹	立命館大学文学部 准教授
斉藤 豊治	大阪商業大学経済学部 教授
穴戸 邦章	大阪商業大学総合経営学部 講師
鈴木 公啓	東京未来大学こども心理学部 助教
竹上 未紗	京都大学大学院医学研究科 特定助教
谷岡 一郎	大阪商業大学総合経営学部 教授・学長
寺沢 拓敬	東京大学大学院総合文化研究科 大学院生
山本 洋介	京都大学大学院医学研究科 特定講師
保田 時男	大阪商業大学総合経営学部 准教授

2011 年 3 月現在の所属

## . 2 調査の内容

JGSS プロジェクトは、第 1 回本調査 (JGSS-2000) から数えると、JGSS-2010 までに 8 回の調査を実施し、さらに 2012 年 1 月からは JGSS-2012 の調査に入った。本稿では、JGSS 調査票の出発点となる JGSS-2000 の調査票が確定されるまでの経緯と、その後 JGSS-2010 までの調査項目の変遷や、組み込んだ調査項目の内容について紹介する。

### 1. JGSS の調査方法と調査票の確定まで

#### 1.1 2 回の予備調査による検討

JGSS は、GSS に範を取り、国際比較を視野に入れているが、日本の社会と人々の意識や行動の実態を把握することに主眼をおいている。調査対象者の世帯構成、就業や生計の状況、両親や配偶者の職業、対象者の政治意識、家族観、人生観、死生観、宗教、余暇活動、犯罪被害など広範囲の調査項目を網羅し、さまざまな問題関心から分析ができる調査データの構築を目指している。

第 1 回本調査である JGSS-2000 に組み込む項目の選択にあたっては、GSS の 1996 年度の Cumulative Codebook を基に、過去に使用された全調査項目を検討した上で、1990 年以降の 5 回の調査における出現頻度や重要性から判断して、必要な項目を抽出した。さらに、日本における近年の各種の世論調査を参照し、関心が高い項目、あるいは時系列の観察が必要と思われる項目を加えている。JGSS の調査データは、社会科学の多くの問題について基礎的な資料を提供し、多岐にわたる変数の関連を分析することを可能にする。その反面、GSS と同様に、一つの問題関心について詳細な情報を提供することは出来ない。ただし、調査年によってトピックを設定して、その関連の設問を増やす場合もある。

JGSS プロジェクトでは、調査項目と調査方法論上の検討を行うために、第 1 回予備調査を 1999 年 3 月に首都圏と大阪府において、さらに同年 11 月に第 2 回予備調査を全国規模で実施した。第 1 回予備調査と第 2 回予備調査から得た結果の概要は以下のとおりである。

#### 1.2 面接調査と留置調査の併用の可能性・実施順序

GSS は平均 90 分を要する面接調査で、途中 15 分ほど、自記式 (対象者自身が調査票に記入する) の部分がある。これは、International Social Survey Programme (ISSP) のための調査票を GSS に組み込んでいるからである。日本の調査環境を考えると、GSS のやり方をそのまま持ち込むことは難しい。そこで JGSS では、面接調査法と留置調査法を併用し、それぞれの所要時間を約 20 分とし、全体として 40 分ほどで調査が終了することを目指した。

日本では、面接と留置を組み合わせた全国調査は少なく、ほとんどの場合、どちらか一方が採用されていた。JGSS では、GSS や NSFH (National Survey of Families and Households) を参照して、面接法と自記式を併用することにした。ただし、自記式を面接の途中に組み込むのではなく、面接調査の前あるいは後に、留め置いた調査票への記入を依頼する形をとった。就労状況、政党支持、婚姻歴、世帯構成など、設問が複雑であったり、枝分かれの多い調査項目は、面接調査票に入れている。一方、面接で尋ねると、社会的望ましさの方向へ回答が振れやすい設問は、留置調査票に入れている。

第 1 回予備調査では、面接調査と留置調査のどちらを先に実施するのがよいかを検討した。split-ballot の方法を用いて、対象者の半数には面接 留置、残りの半数には留置 面接の順に依頼した。ただし、対象者の都合や希望で順序を変更してもよいこととし、調査員には実際に実施した順序を記録させた。

この結果、58.7% のケースでは面接を先に、41.3% のケースでは留置を先に行っており、どちらかという、面接調査を先に実施する方が、調査がスムーズに運ぶようであった。調査終了後に調査員が

ら聞き取りを行ったところ、対象者の都合や希望に任せる方が調査を実施しやすいという意見が少なくなかった。

そこで第 2 回予備調査からは、実施順序は、調査員の状況判断に任せている。どの年度においても、面接を先に行うケースがほぼ 4 分の 3 を占める。また、面接と留置のうちの片方しか実施できなかったケースは非常に少ない。結論として、面接法と留置法の併用は成功したといえよう。

### 1.3 測定尺度と選択肢の検討

GSS と共通する質問項目を JGSS に組み込むに際しては、GSS で採用されている測定尺度をそのまま採用するのか、あるいは日本の世論調査でなじみのある測定尺度に変更すべきなのかを検討する必要がある。また、尺度そのものの特性や分析方法との兼合いなどについても検討する必要がある。そこで、第 1 回予備調査と第 2 回予備調査では、選択肢やスケール、回答の方法などが一部異なる A 票と B 票の 2 種類の留置調査票を用意して、split-ballot の方法で調査を実施した。全体の半分では A 票を、残りの半分では B 票を使用した。面接調査票は 1 種類である。A 票には GSS と互換性がある選択肢とスケールを、B 票には日本の調査でよく用いられる選択肢やスケールを組み込んだ。

第 1 回予備調査は都市部のサンプル、第 2 回予備調査は全国サンプルという違いはあるが、2 つの調査はいずれも共通した傾向を示した。第 2 回予備調査では、第 1 回予備調査で検討した項目に加えて、選択肢における「中の中」(階層帰属意識)の有無と選択肢の呈示順序(昇順/降順、性別)についても検討している。

この 2 つの予備調査で得た知見に基づいて、JGSS-2000 の調査票の選択肢やスケールを確定した。すなわち、選択肢の用語については、「強く」という言葉を使わずに、日本の調査で使われることの多い「どちらかといえば」という表現を用いる。日本で選択率の高い「場合による」は用いない。「わからない」に関しては、法律の知識を必要とする設問についてはこのカテゴリーを設け、それ以外の設問では設けない。スケールの対称性の問題とスケールが用語かという問題については、両端にのみカテゴリーを記入する左右対称のスケールを採用する。選択肢の数については、3 点尺度ではなく 5 点尺度を用いる。中間値の有無については、意見項目に関しては「どちらともいえない」を設けない 4 点尺度とし、階層帰属意識に関しては「中の中」を設けて 5 点尺度とする。選択肢の呈示順序については、支配的なカテゴリーを最後にもってくる。選択式か記述式かについては、具体的な情報を得られる記述式を用いる。家事の測定に関する絶対尺度と相対尺度については、頻度を尋ねる絶対尺度を用いる。このように JGSS では、GSS の選択肢やスケールをそのまま用いるのではなく、JGSS 独自の選択肢やスケールを組み込むことにした。

予備調査の結果の詳細は、『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 1 回予備調査 基礎集計表・コードブック』と『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査 基礎集計表・コードブック』に記録している。

## 2. JGSS の調査項目の変遷

第 1 回本調査となる JGSS-2000 の調査票は、時系列の変化を見るために継続的に組み込む設問と、調査年度において社会の争点となっている問題について尋ねるいくつかの時事的な設問群から構成された。JGSS-2000、JGSS-2001、JGSS-2002 をへて JGSS-2003 では、留置調査票を 2 種類に分け、A 票には継続設問と時事設問を、B 票にはネットワーク設問を組み込んだ。JGSS-2005 からは、JGSS にふさわしい設問を、広く国内外の研究者に呼びかけて公募し、採択した設問を組み込んでいる。JGSS-2006 からはさらに、EASS (東アジア社会調査: East Asian Social Survey) プロジェクトの開始により、留置 B 票に台湾・韓国・中国と共通する設問を組み込んでいる。このように、JGSS の調査内容は現在では、



継続設問、時事設問、公募設問、東アジア共通設問（EASS モジュール）から構成されている。

JGSS-2000 から JGSS-2010 に至るまでの調査項目の具体的な変遷をたどる前に、JGSS の設問内容を構成する「公募設問」「EASS プロジェクト」についてふれておく。

## 2.1 公募設問の開始

JGSS-2005 以降は、調査票に組み込む設問の公募を行っている。募集の目的は、研究者が関心のあ  
る設問を組み込むことで、JGSS の調査票をさらに充実させ、活用しやすいものとする  
こと、また、全国調査の企画に参加する機会を少しでも広げるためである。設問のテーマ・条件、応募資格、選考方法  
などは、表 1 のとおりである。JGSS プロジェクトに過去に参加したメンバーであっても、設問の組み  
込みを希望する場合は、募集要項に沿って応募しなければならない。

表 1 JGSS の設問の公募

### 〈設問のテーマ・条件〉

テーマは総合的社会調査にふさわしいもの。設問は質問文・選択肢ともに完成したもの。設問の量  
は 1 問から可能。分量に特別な上限は設けないが、分量が多い場合、全体ではなく一部が採択される  
ことがある。

### 〈応募資格〉

大学または研究機関の研究者、大学院生。

### 〈応募方法〉

指定の用紙を JGSS の HP からダウンロードし、氏名、所属、連絡先、研究課題、設問案、設問を挿  
入する目的、想定する分析、分析に必要な他の変数、参照文献・調査、JGSS データの利用経験、これ  
までの調査経験を明記して、メールに添付して提出。

### 〈選考方法と発表〉

選考にあたっては、主催者において選考委員会を設け、中立なる審査・選考を行う。選考では、設  
問の内容だけでなく、調査票全体のバランスや他の設問との関連性を考慮する。

### 〈採択者の義務〉

JGSS 研究センターの共同研究者として、嘱託研究員（無給）（大学院生の場合は、JGSS 調査研究奨  
励プログラムに参加）となり、採択された設問に関連するデータのアフター・コーディングやクリー  
ニングを担当する。調査票全体のバランスや他の設問との関連から、質問文・選択肢の調整を行うこと  
があり、設問の調整・調査票の作成のために、指定された日時に大阪商業大学で行う研究会に参加す  
る。日時は約 1 ヶ月前に連絡する（センターで開催する研究会は交通費の一部が支給されるほか、セ  
ンターの施設・設備が利用できる）。一般公開前に分析可能となるデータを使い、研究会に参加・報告、  
最初の成果を JGSS 研究論文集に掲載する論文として提出する（論文集：毎年 3 月 31 日に刊行、原稿  
✓切：毎年 1 月中旬）。

### 〈留意事項〉

採択者は、データの一般公開前の特別利用が認められる。ただし、JGSS 研究論文集刊行までの間、  
研究成果の発表は学会大会等での口頭報告に限り、他の雑誌等に当該研究課題の成果論文を掲載する  
ことはできない。採択された設問は、JGSS の調査票に帰属する（考案者の名前は明記しない）。

JGSS-2005 では、研究者 4 名、大学院生 8 名、JGSS 委員会メンバー（当時）5 名からの応募があり、  
研究者 3 名、大学院生 2 名、JGSS メンバー 3 名（2 名は過去の設問の復活）の設問を採択した。その

結果、「自動車の保有・利用」、「カウンセリング」、「遺伝子組換え食品」、「クレジットカード・消費者金融」、「寄付・募金」、「高齢期の過ごし方」などの設問が組み込まれた。

JGSS-2006 では、研究者 2 名、大学院生 16 名（1 名は在米日本人）、JGSS メンバー 5 名から応募があり、大学院生 2 名、JGSS メンバー 3 名（2 名は過去設問の復活・アレンジ）の設問を採択した。「中学 3 年時になりたかった職業」、「離婚後の親子関係」、「海外援助」などの設問が組み込まれた。

JGSS-2008 では、研究者 5 名（1 名は在米日本人；1 名はアメリカ人）、大学院生 2 名（1 名は在米日本人）、JGSS メンバー 3 名から応募があり、研究者 1 名（在米日本人）、大学院生 1 名、JGSS メンバー 2 名（1 名は過去設問の復活・拡張）の設問を採択した。「貿易に対する態度の規定要因」、「経済的不安感」、「知事の任期と支持率」、「エコ行動の変化」などの設問が組み込まれた。

JGSS-2010 では、研究者 10 名、大学院生 5 名、JGSS メンバー 4 名から応募があり、研究者 9 名、大学院生 3 名、JGSS メンバー 4 名（3 名は過去設問の復活・アレンジ）の設問を採択した。採択した設問の概要は、「裁判員制度」、「身体についての意識と行動」、「観光行動」、「英語の必要性」、「英語教育への意識」、「組織風土」、「耽溺行動」、「中高年の地域活動・ボランティア活動」、「インフルエンザの流行に関する意識と保健行動」、「皮膚のそう痒感」、「将来への希望」、「癒し行動」である。それぞれ JGSS の基本設問や EASS モジュールとのバランスを考慮して留置 A 票、B 票に組み込んだ。「運動習慣」の設問も採択したが、EASS モジュールと重なる部分の整合性がつかず、応募者が希望するほど詳細に尋ねることもできないために、途中で組み込むことをあきらめた。

## 2.2 EASS プロジェクトの開始

JGSS-2006 以降は、留置票を常に 2 種類作成し、そのうちの一方（留置 B 票）に EASS モジュールを組み込むことになった。EASS とは、East Asian Social Survey（東アジア社会調査）の略であり、欧米の研究者が中心になりがちな国際比較調査において、東アジア社会に特有な問題や関心に基づいて、共通の設問を設定し、国際比較分析を行おうとするプロジェクトである。

このプロジェクトは 2003 年 6 月に大阪商業大学において開催した「JGSS 国際シンポジウム 2003」を契機として立ち上がった。JGSS 以外に、GSS に範を取る台湾の TSCS（中央研究院社会学研究所チーム）、韓国の KGSS（成均館大学 Survey Research Center（SRC）チーム）、中国の CGSS（中国人民大学・西安交通大学チーム）がこのプロジェクトに参加している。

EASS プロジェクトの方法的な特徴は、独自の国際比較調査を新たに作り出すのではなく、それぞれの国・地域ですでに継続的に実施されている社会調査の中に、共通の設問群（モジュール）を組み入れることで国際比較を行うという点にある。2006 年を初めとしてその後 2 年に 1 度、継続的にこのモジュールの組み入れを行っている。すでに実績のある継続調査を活用することで効果的・安定的に国際比較調査が継続できることを狙っている。第 1 回となる EASS 2006 のテーマは「家族（Families in East Asia）」であり、第 2 回目の EASS 2008 は「東アジアの文化とグローバリゼーション（Globalization and Culture in East Asia）」、第 3 回目の EASS 2010 は「東アジアにおける健康と社会（Health and Society in East Asia）」である。これらのモジュールを、JGSS-2006、JGSS-2008、JGSS-2010 の留置 B 票にそれぞれ組み込んで調査を行った。調査の詳細については、『EASS 2006 Family Module Codebook』『EASS 2008 Culture Module Codebook』『EASS 2010 Health Module Codebook』を参照されたい。

第 4 回となる EASS 2012 は、「東アジアのネットワーク・社会関係資本（Network Social Capital in East Asia）」をテーマとしている。過去 3 回と同様に、EASS プロジェクトに参加している 4 チームは、各々が行ったプリテストの結果を踏まえたうえで、5 回のミーティング（台北、ソウル、大阪、大阪、台北）で議論を重ね、EASS 2012 のモジュールを完成させた。EASS 2012 のモジュールは、主として JGSS-2012 の留置 B 票に組み込んでいる。

### 2.3 JGSS-2000 の内容

表 2 は、JGSS-2000 から JGSS-2010 までの設問内容の変遷を示している。JGSS の面接調査票は、調査対象者の属性に関する設問、留置調査票は、調査対象者の意識や行動に関する設問が中心となっている。

ここではまず、第一回本調査となった JGSS-2000 の内容を紹介する。

JGSS-2000 (面接調査票：19 頁 143 問 354 変数、留置調査票：15 頁 156 問 186 変数) の面接調査票では、対象者の属性に関する設問を中心として、以下のような項目について尋ねている。

対象者の属性：就労の有無、学歴、教育訓練や研修の受講経験、専門学校・専修学校への通学経験、中学 3 年生の成績、給与形態、年収 (主な仕事、世帯収入) 現在の収入源、結婚状況、婚姻歴 (初婚年齢・離婚歴の有無・離婚年齢・離婚後再婚の有無・死別経験の有無・死別回数・死別後再婚の有無) 15 歳の頃の居住地、家庭での家事分担、仕事に関する意識、自分の位置する階層、政党支持、好ましいと思う政党、政権担当能力がある政党、住居形態・規模、など

現職：就労形態、職種、事業所規模、女性従業員割合、事業所形態、事業内容、企業規模、就労日数 / 週、就労時間 / 週、残業時間 / 週、副業の有無、副業就労時間 / 週、就労年数、現在の仕事への満足感、就業継続意向、失業・再雇用の可能性、契約期間、労働組合の有無、労働組合加入の有無、上司の有無、部下の有無、など

初職：就労形態、職種、事業内容、企業規模

現在就労していない対象者：不就労期間、求職期間、転職数、不就労の理由、家事労働の満足度、過去の就労経験、今後の就労意向、求職の有無

前職：離職時期、離職理由、就労形態、職種、事業内容、企業規模、年収

家族：世帯員 (続柄、性別、年齢、別居理由) 同居家族人数、一時的な別居家族の人数、世帯主、きょうだいの数

配偶者：就労の有無、就労形態、職種、事業内容、企業規模、就労日数 / 週、就労時間 / 週、就労年数、年収、学歴

子ども：人数、生年、性別、生死、年齢

両親：学歴、対象者が 15 歳の頃の職業 (父親：就労形態、職種、企業規模、母親：就労形態)

調査員に対して：対象者の調査への協力度、質問への理解度、調査の実施に際して気づいた点  
一方、留置調査票は、調査対象者の意識や行動に関する設問が中心であり、それぞれの分野に関連して以下のような項目がある。

生活習慣：喫煙、飲酒、テレビの視聴時間、新聞の購読、読書量、家族そろった夕食の頻度、友人との会食や集まりの頻度、夕食の用意・洗濯・買い物・家の掃除などの家事に従事する頻度、幸福感、など

団体への所属：政治団体、業界団体、ボランティア・グループ、市民団体、宗教の団体、スポーツ・クラブ、趣味の会などへの所属の有無、など

余暇活動：将棋、囲碁、麻雀、ナンバーズ・ミニロト、宝くじ、競馬、パチンコ・パチスロ、カラオケ、釣り、スポーツ、友人との会食、旅行、読書、テレビの視聴時間、余暇の過ごし方に対する満足感、教養・実務講座の受講経験、利用通信媒体、ペットの保有・種類・存在意義、など

人間観・信頼観：人間の本性、他人への信頼観、官僚、学者などの職業集団に対する信頼観、ならびに学校、医療機関、警察、金融機関などの機関に対する信頼観、など

死生観、信仰、宗教活動：死後の世界観、自分の墓、共同墓または散骨希望の理由、信仰している宗教、家の宗教、宗教の団体や会への所属の有無、信仰の程度、など

家族・ジェンダー：定位家族と生殖家族の家計の状況、性別役割分業観、結婚・離婚観、三世代同

居観、理想的な子どもの数と性別、家庭生活に対する満足感、家族そろった夕食の頻度、家事（夕食の用意・選択・買い物・家の掃除）、セックスの頻度、家族から暴力を受けた経験、夫婦別姓、墓、婚外セックス、女性知事候補への投票、など。配偶者のいる対象者には、配偶者の健康状態、信仰している宗教、家の宗教、信仰の程度、家事、家計の管理、結婚生活での幸福感、など

政治や政府に対する意識と評価：国民と選挙や政治との関わり、政治的態度、高齢者問題（生活保障、医療・介護）における政府の役割、所得税の負担感、自分の年金額予想、所得格差の是正、政府の歳出への評価（環境問題、犯罪の取締、教育、安全保障、海外援助、土木事業、社会保障・年金、雇用・失業対策）など

社会階層：階層帰属意識、この2～3年に生じた経済状態の変化、世帯収入のレベル、家計に対する満足感、生活水準を向上させる機会への期待、対象者が15歳の頃の家族の生活水準、など

医療関係：健康状態、心理的トラウマの経験、健康状態に対する満足感、高齢者の医療・介護の責任の所在、「臓器提供意思表示カード」の保有と署名の有無、など

法律関係：親や教師からの体罰、安楽死、夫婦別姓、ポルノの規制、少年法の改正、死刑制度、裁判所の判決に対する態度、家庭の内外で殴られたり暴行をうけた経験の有無、など

社会道徳や性道徳：ポルノの規制、10代の売春、配偶者以外との性的関係、同性間の性的関係への態度、など

生活環境：自宅周辺の危険な場所の有無、空き巣やひったくり・強盗の被害経験の有無、住んでいる地域に対する満足感、地域に外国人が増えることへの賛否、外国人とのさまざまな形での交流の有無、など

#### 2.4 調査項目の主な変更点

JGSS-2000 から JGSS-2008 までの調査項目の主な変更点は以下の通りである。JGSS-2000 と JGSS-2001（面接調査票：19頁146問346変数、留置調査票：15頁158問189変数）の調査票は、ほぼ同一である。これは、JGSS-2000 のデータと JGSS-2001 のデータを合わせることによって、性別、年齢、地域、職業などについて、より詳細な分析が可能となるためである。JGSS-2001 での変更は、面接票に「初職に就いた時期」、「初職の求職方法」、「配偶者のきょうだいの数」の設問を加え、留置票に「サッカーくじ」、本人と配偶者が「家族を介護した経験」の設問を追加、「少年法の改正」の設問を除いた点のみである。

JGSS-2002（面接調査票：19頁110問360変数、留置調査票：15頁160問261変数）では、面接調査票の一部と留置調査票のかなりの部分を変えている。JGSS の中心的な設問を残し、争点となっている時事的な設問を組み込んだ。面接票では、「教育訓練や研修」についての設問を除き、新たに、「高校の学科」、「進学率」、「大学の専攻分野」、「教育費の支出」、「住宅関連の支出」の設問を加えた。留置票では、JGSS の基本設問を残し、その他は新規設問群「英語学習」、「ボランティア活動」、「環境と消費行動」、「ギャンブル」、「カジノ」、「多様な余暇活動」、「アレルギー疾患」、「購読新聞」、「学校教育から得たもの」と入れ替えた。

JGSS-2003（面接調査票：12頁56問237変数、留置調査票 A 票：14頁153問250変数、留置調査票 B 票：22頁251問505変数）では、面接調査票の設問数を大幅に減らし、留置調査票を2種類用いている。JGSS の基本形を踏襲した留置 A 票と、対象者のネットワークについての設問を中心とする留置 B 票である。後者は、悩み事、政治、仕事のそれぞれに関して相談する相手（最大4人）について詳しく尋ね、この3つのネットワークの重なりについても把握するという、大規模調査では、世界でも初めての試みである。JGSS-2003 の面接票は、JGSS-2002 までと比較して、設問数を思い切って削減している。これは、面接調査票を短くすることにより、対象者に対する負担を少しでも減らそうと考え

たからである。ネットワークについて尋ねる留置 B 票は、冒頭部分を面接で行う必要があり、記入に関する説明にも時間を要し、対象者への負担が従来よりも大きくなるのではないかと思われたからである。一方、留置 A 票においても、一部の設問は「いじめ」、「代理母」、「女性知事による相撲の表彰」、「消費行動」、「英語を学習する意欲」などの新規設問群との入れ替えを行い、「少年法の改正」の設問を復活した。

JGSS-2005 (面接調査票：15 頁 77 問 201 変数、留置調査票：15 頁 183 問 263 変数) では、面接調査票において、世帯員と家族について尋ねる設問の形式を変更した。これまでは、「同居家族 (一時的に別居している家族を含む)」と「子ども (同別居に関わらず)」について尋ねていたが、JGSS-2005 では、「配偶者」、「父母」、「子ども」、「その他の同居家族」、「一時別居家族」の順に尋ねている。また、JGSS-2003 で外していた「初職」と「配偶者のきょうだい」の設問を復活した。「住居形態・住居の所有形態」については、面接調査票から留置調査票に移した。設問の公募を通して、「自動車の保有・利用」、「カウンセリング」、「遺伝子組換え食品」、「クレジットカード・消費者金融」、「寄付・募金」、「高齢期の過ごし方」を新たに加えた。「寄付・募金」の設問については、JGSS-2002 に組み込んだ「ボランティア活動」の設問に変更を加えて復活させた。また、JGSS-2000 以来組み込んでいる「情報機器の利用」に関する設問を 3 問に分けて、これまでよりも詳細に尋ねるようにした。なお、JGSS-2005 で使用した留置調査票は 1 種類である。

JGSS-2006 (面接調査票：16 頁 86 問 259 変数、留置調査票 A 票：14 頁 165 問 198 変数、留置調査票 B 票：14 頁 37 問 161 変数) では、面接調査票において、世帯員と家族について尋ねる設問の形式を再び変更した。これは、EASS 2006 のテーマである「Family」モジュールの一部を面接調査票に組み込んだことによる。JGSS-2006 では、「同居家族」、「一時的に別居している家族」、「父母 (配偶者の父母を含む)」、「子ども」の順に尋ね、それぞれの属性だけではなく、婚姻状態、就労の有無、調査対象者との居住距離、接触頻度、連絡頻度も尋ねている。また、JGSS-2002 で尋ねた「子どもの教育費」の設問を復活した。

JGSS-2006 では 2 種類の留置調査票を用いている。JGSS の基本形を踏襲した留置 A 票と、EASS 2006 のテーマである「Family」モジュールを組み込んだ留置 B 票である。留置 A 票には、設問の公募を通して「中学 3 年時になりたかった職業」、「開発途上国への援助」を、また、調査研究奨励プログラムの大学院生が取り組む設問として「監視社会」、「自殺についての意識」を新たに加えた。また、JGSS-2002 で尋ねた「学歴観」の設問の一部を復活させ、新規設問として「教育観」を加えた。「監視社会」については、「監視カメラ」や「ネットの書き込み内容の監視」だけでなく「防犯意識と防犯行動」まで広げて尋ねている。さらに、EASS 2008 モジュールの一部のプリテストとして、JGSS-2002 と 2003 に組み込んだ「英語学習」の設問を復活させ、「国別好感度」の設問を新たに追加した。ほかに時事設問として「憲法第 9 条の改正」、「女性・女系天皇」、「地域での清掃・リサイクル・見守り活動」の設問を組み込んだ。

一方、EASS 2006 「Family」モジュールを組み込んだ留置 B 票では、韓国・中国・台湾との共通設問として、「結婚観・離婚観」、「家族観・性別役割観」、「家意識・扶養意識」、「理想の子ども数と性別」、「配偶者との出会い」、「夫婦間の意思決定」、「家事遂行」、「夫婦の情緒的關係」、「家族行動」、「世代間援助」などを尋ねている。JGSS の中心設問としてこれまでに継続的に尋ねてきた設問と重なる内容もあるが、他のチームとの比較を考えて、選択肢の表現や設問のワーディングを変更した。「Family」モジュール以外には、公募設問のうち「離婚後の親子関係」、「介護の経験と対象」、「ペットの死」を組み込み、調査研究奨励プログラムの大学院生が取り組む設問として「食の外部位化」を加えた。このほかに、調査対象者の意識と行動にかかわる JGSS の中心設問を組み込んでいる。

JGSS-2008 (面接調査票：15 頁 86 問 197 変数、留置調査票 A 票：14 頁 152 問 202 変数、留置調査票

B 票：14 頁 163 問 198 変数）では、基本的には JGSS-2006 の面接調査票を引き継ぎ、回答者と配偶者の就労形態が「派遣社員」「自営業主・自由業者」の場合の実態や、「通常労働時間数」を追加して尋ねている。EASS に関連して、JGSS-2006 から面接調査票に加えた「回答者と配偶者の主な仕事以外からの収入を含む年収（非就労者も含む）」、「同居家族員・子ども・父母（配偶者の父母含む）の婚姻状態や就労の有無」は、引き続き尋ねている。また、「配偶者・両親・子ども以外の同居家族」についての設問を復活し、「勤務先と海外との取引の有無」と「15 歳時点での対象者に対する父親と母親の接し方」を加えている。

JGSS-2008 の留置 A 票に新たに組み込んだ設問は、「知事の任期と支持率」、「経済的不安感」、「子どものしつけに関する意識」、「父親・母親の存在感の変化」、「子どもの道徳意識の変化」、「受診頻度」、「通院障害要因」、「健康診断」、「医療不安」、「地域の救急医療体制」である。医療に関する設問は、JGSS-2010 に組み込みを予定していた EASS 2010 の「Health」モジュールから設問の一部を試験的に加えた。「環境問題」に関しては、JGSS-2002 の設問の一部を復活し、「地球環境と経済成長・利便性」、「環境保護に資するエネルギー利用」、「環境保護のためのボイコット・ボイコット行動」、「国産食品の購入」の設問を新たに加えている。「暴行被害経験」については、JGSS-2000 / 2001 の設問を基に、暴言被害についても尋ね、「体罰意識」の設問も復活した。さらに、JGSS-2000 / 2001 で尋ねた「少年法の改正」、「死刑制度への賛否」、「政府の役割の範囲」の設問、JGSS-2003 で尋ねた「福祉と税負担」の設問を復活した。

JGSS-2008 の留置 B 票には、JGSS の基本設問の一部と、EASS 2008 の「Culture」モジュールを組み込んだ。EASS モジュールに関連して、一部、JGSS 独自の設問も取り入れている。「環境保護に資するエネルギー利用」は、その普及を広くとらえるために、留置 A 票だけでなく、B 票にも組み込んだ。

復活設問は、「婚外交渉」、「同性間の性的関係」、「ポルノの規制」、「ポルノと社会道徳」（以上、JGSS-2000 / 2001）、「カジノの合法化」（JGSS-2002 / 2003）である。

JGSS-2010（面接調査票：15 頁 84 問 184 変数、留置調査票 A 票：14 頁 150 問 193 変数、留置調査票 B 票：14 頁 155 問 224 変数）の面接調査票は、JGSS-2008 とほぼ同一である。JGSS-2008 の面接調査票から「勤務先と海外との取引の有無」と「15 歳時点での対象者に対する父親と母親の接し方」を除いたが、それ以外の部分は、JGSS-2008 と設問の内容・順番ともに同じである。

留置調査票 A 票では、継続設問に加えて、「回答者・同居家族の耽溺行動」、「英語の必要性」、「英語教育の開始学年への意見」、「中学校以前の英語教育経験」、「裁判員制度」、「政策への意見：子ども手当・高校無償化・高速道路無料化・二酸化炭素排出量削減・最低賃金の引き上げ・同一労働同一賃金・配偶者控除の廃止」、「適切な消費税率への意見」、「マニフェスト順守への意見」、「夫婦別姓のもとでの子どもの名字への意見」、「町内会加入の有無」、「町内会での活動頻度」、「ボランティア活動」を新たに組み込んだ。「耽溺行動」については、EASS 2010 の「Health」モジュールにも採用され、留置 A 票とともに B 票にも組み込んでいる。また、新規設問に関連して、JGSS-2006 から「英会話のレベル」、「英語読解力のレベル」、「英語の使用」、「政府の支出」、「夫婦別姓意識」を、また JGSS-2001 から、「最近の判決について」、「ドナーカードの所持」、「自分の墓について」、「共同墓または散骨希望の理由」を復活させた。

留置調査票 B 票には、JGSS の基本設問のほか、EASS の「Health」モジュールが組み込まれている。EASS モジュールには、アメリカの Quality Metric 社が開発し、「認定 NPO 法人 健康医療評価研究機構 iHope International」が日本語版のライセンスを管理している「SF 健康調査票 SF-12v2™」を、ライセンス契約をした上で組み込んでいる。具体的には、「主観的健康状態」、「健康上の理由による日常活動の困難」、「身体的健康の問題」、「精神的健康の問題」、「痛みによる仕事の困難」、「精神的健康状態」、「健康問題による人つきあいの困難」に関する 12 の設問であり、健康関連 QOL (Health-related Quality

of Life) 指標として利用している。韓国・台湾・中国との共通設問は、このほかに、「慢性的な病気の有無と種類」、「受診頻度」、「通院阻害要因」、「健康診断」、「東洋医療の受診経験」、「加入している医療保険の種類」、「医療不安」、「予防接種の経験」、「新型インフルエンザの流行への不安」、「身長・体重・体型に関する意識」、「飲酒・喫煙・運動頻度などの生活習慣」、「飲酒・喫煙・ギャンブル・ゲームなどの耽溺行動」、「近隣の環境と環境被害」、「介護を必要とする家族の存在」、「将来への希望の有無」、「歳をとることへの不安」、「人間の本性」、「他人への信頼観」である。

EASS モジュールのうち、「心配事を聞いてくれた人」、「経済的な面で助けてくれた人」、「その他の手助けをしてくれた人」については、JGSS 独自の設問形式をとっている。また、「環境被害」の中の「日照被害」は、JGSS のみが追加した設問である。

EASS モジュールに関連する設問としては、「体型が気になる程度・理由」、「体型管理」、「日常生活での精神状態(時間的・心のゆとり、孤独感)」、「心身のリラクゼーション行動の頻度」、「生活の享受」、「同居家族のインフルエンザ感染の有無」を新たに加えている。また、耽溺行動の設問と関連して、継続設問である余暇活動に関して、「ナンバーズ・ミニロト・ロト6」、「サッカーくじ(toto)」、「公営ギャンブル」の項目を JGSS-2001 から復活させ、「ドライブ」、「カラオケ」、「映画鑑賞」、「音楽鑑賞」、「園芸・庭いじり」、「将棋・囲碁」を今回は削除した。また、健康の設問と関連して、「アレルギー関連の症状の有無」を JGSS-2006 から復活させた。

さらに EASS モジュール以外の JGSS 設問として、「国内・海外旅行頻度」、「国内・海外旅行頻度に関する希望」、「旅行で重視すること」、「職場の連帯感」を新たに組み込んでいる。

岩井 紀子

#### [参考文献]

- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2000, 『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第1回予備調査基礎集計表・コードブック』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2001, 『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第2回予備調査基礎集計表・コードブック』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2002, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2000 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第19集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2003, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2001 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第21集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2005, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2003』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2007, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2005』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2008, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2006』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2009, 『East Asian Social Survey: EASS 2006 Family Module Codebook』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2010, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2008』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2010, 『East Asian Social Survey: EASS 2008 Culture Module Codebook』.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2011, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2010』.

表2 JGSS の中心的な設問と時事的な設問

面接調査票

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
現職	○	○	○	○	○	○	○	○
副業(時間)	○	○	○	○	○	○	○	○
初職	○	+時期/求職方法	+時期/求職方法	-	+時期	+時期	+時期	+時期
最終職	○	○	○	-	-	-	-	-
学歴	○	○	○	○	○	+専門学校通学	+専門学校通学	+専門学校通学
収入	○	○	○	○	○	+仕事以外の収入	+仕事以外の収入	+仕事以外の収入
婚姻上の地位	○	○	○	○	○	○	○	○
配偶者の職業・学歴・収入	○	○	○	○	○	+仕事以外の収入	+仕事以外の収入	+仕事以外の収入
父母の学歴	○	○	○	○	○	○	○	○
世帯構成/世帯収入	○	○	○	○	○	+就労・婚姻状態	+就労・婚姻状態	+就労・婚姻状態
きょうだいの数	○	+配偶者兄弟姉妹	+配偶者兄弟姉妹	-	+配偶者兄弟姉妹	+配偶者兄弟姉妹	+配偶者兄弟姉妹	+配偶者兄弟姉妹
政党支持	○	○	○	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)
婚姻歴	○	○	○	-	-	○(留置B)	-	-
子の年齢	+出生年	+出生年	+出生年	○(同居子のみ)	○	○	○	○
15歳時の両親の職業	○	○	○	○	○	○	○	○
15歳時の居住地域	○	○	○	○	○	○	○	○
居住形態	+面積	+面積	+面積	○	○(留置)	○(留置)	○(留置)	○(留置)
社会的地位	○	○	○	○	○	○	○	○
労働組合	○	○	加入の有無のみ	加入の有無のみ	○	加入の有無のみ	加入の有無のみ	加入の有無のみ
居住地域の特徴 (調査員記入)	-	-	-	○	○	○	○	○
時事的な設問群	職業訓練	職業訓練	学部・学科、進学率、教育費、住宅関連の支出	通勤手段・時間、休日	通勤手段・時間、休日、自動車の保有、働き方の意識、父母(同別居・年齢)	親や子どもとの居住距離・接触頻度・連絡頻度、教育費、父母/義父母(同別居・年齢)	勤務先と海外との取引、15歳時の父親と母親の接し方など、父母(同別居・年齢)	父母(同別居・年齢)

○: 設問あり、◎: 設問多い、+: ○に加えて、-: 設問なし



留置調査票

調査項目	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003		JGSS-2005	JGSS-2006		JGSS-2008		JGSS-2010	
				A票	B票		A票	B票	A票	B票	A票	B票
幸福感/満足感	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS
結婚幸福感/配偶関係満足度	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	○	○	○
健康状態	+配偶者の健康状態	+配偶者の健康状態	+配偶者の健康状態	○	○	○	○	EASS	○	○	○	EASS
トラウマの経験	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
家計の状態	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS
社会階層	○	○	○	○	○	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS
宗教	○	○	○	○	-	○	○	EASS	○	EASS	○	EASS
性別役割分業観	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	EASS	◎	EASS	◎	○
理想の子ども数・性別	○	○	○	○	-	○	○	EASS	○	-	○	-
家事頻度	+配偶者の家事頻度	+配偶者の家事頻度	+配偶者の家事頻度	○	-	○	○	EASS	○	○	○	○
夫婦別姓	○	○	○	○	-	-	-	○	-	-	+子どもの名字	-
政治についての考え方	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○
所属集団	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
一般的信頼感/組織への信頼	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	EASS
余暇活動	○	○	◎	◎	-	○	○	○	○	EASS	○	◎
犯罪被害	○	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○	-
飲酒/喫煙	○	○	○	○	-	-	○	-	○	-	○	EASS
読書頻度(本、新聞)	○	○	+新聞名	+新聞名	-	+新聞名	○	○	○	○	○	○
情報機器の利用	○	○	○	○	-	○	◎	-	○	○	○	○
安楽死	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	-
外国人	○	○	○	◎	-	○	+国別好感度	-	○	EASS	○	-
環境問題	○	○	◎	◎	○	-	○	-	◎	○	○	EASS
高齢化/社会保障	○	○	○	○	-	○	○	EASS	○	-	○	EASS
アレルギー性疾患	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	-	○
居住年数/永住意識	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○
時事的な設問群	墓、ベットの援助交際、裁判所の判決、少年法の改正、死刑制度、女性知事、臓器提供意思表示カード、死後の世界、暴行被害、体罰、道徳/倫理観(ポルノ/婚外関係)	JGSS-2000に加えて、介護経験(本人/配偶者)、サッカーくじ[少年法の改正は除いた]	環境と消費行動、ボランティア活動、英語学習、学歴観、学校教育から得たもの、ギャンブル、カジノの合法化	消費行動、英語学習、いじめ、少年法、カンゾノの合法化、代理母、女性知事と相談	社会的ネットワーク(悩み事・政治・仕事について相談する相手とその属性)、政治についての考え	ボランティア活動、寄付・募金活動、クレジットカード、消費者金融、カウンセリング、少年少女による凶悪犯罪、遺伝子組換え食品、自動車保有・利用、高齢期の過ごし方	中学3年時になりなかった職業、学歴・教育観、外国語学習、開発途上国への援助、憲法第9条改正、女性・女系天皇、防犯意識・行動、監視社会、自殺、地域での清掃・リサイクル、見守り活動	EASS 2006 Familyモジュール、結婚観・離婚観、家族観・性別役割観、家意識・扶養意識、配偶者との出会い、夫婦の意思決定・情緒関係、家族行動、世代間援助	知事任期・支持率、経済的不安感、しつけ、父親・母親の存在感/道徳意識、暴行・暴言被害経験、体罰、少年法、死刑制度、受診頻度、通院阻害要因、健康診断、医療不安、救急医療体制、地球環境と経済成長・利便性、エコ・エネルギー利用、ポイコット・バイコット行動、国産製品の購入	EASS 2008 Cultureモジュール:文化接触、贈り物、友人に望む資質、価値観、好きな音楽、海外経験・知人、英語能力、社会的距離観、ネットワーク、外国人労働者・花嫁、グローバリゼーション、ナショナリズム、国際問題	経済的不安感、耽溺行動(飲酒、喫煙、ギャンブル、ネットゲーム)、英語教育・能力・学習、エコ・エネルギー利用、ポイコット・バイコット行動、マニフェスト(子ども手当、高校無償化、高速道路無料化、CO2排出量削減、最低賃金引き上げ、同一労働同一賃金、配偶者控除廃止)、消費税率、臓器提供の意思、移植を受けたいか、裁判所の判決、死刑制度、裁判員制度、墓	EASS 2010 Healthモジュール:SF-12v2™ Health Survey、Hopelessness、慢性的な病気の有無と種類、身長・体重、体型管理、耽溺行動、運動習慣、健康診断、受診頻度、通院阻害要因、医療保険、東洋医学、医療不安、相談相手、近隣環境、時間・心のゆとり、孤独感、リラクゼーション行動、生活の享受、インフルエンザ、妻介護の家族、加齢への不安

○:設問あり、◎:設問多い、+:○に加えて、-:設問なし、EASS: EASSモジュール

### . 3 調査の方法：JGSS-2000

JGSS-2000 は、2000 年 10 月下旬から 11 月下旬にかけて、全国において実施した。

#### <調査設計>

母集団：2000 年 6 月 25 日時点で全国に居住する満 20～89 歳の男女個人

(明治 43 年 6 月 26 日～昭和 55 年 6 月 25 日までに生まれた男女)

標本数：4,500

調査地点数：300 地点

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

抽出台帳：選挙人名簿

抽出間隔：抽出台帳の並び順が地番順の場合

有権者数が 4 万人以上の区と市では、21

有権者数が 4 万人未満の市郡では、11

抽出台帳の並び順が 50 音順の場合は、11

#### <層化の方法>

1. 全国の市町村を、以下のような 6 ブロックに分類した。

北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州

2. 各ブロック内において、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。計 18 層となる。

1) 13 大都市：札幌市、仙台市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、名古屋市、  
京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市

2) その他の市

3) 郡部

#### <標本数の配分>

各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳以上人口 (1999 年度の推定値：1998 年 3 月 31 日時点での住民基本台帳人口を 1995 年 10 月 1 日時点での国勢調査比率で補正) の大きさにより 4,500 の標本を比例配分した。

#### <地点の抽出方法>

1. 平成 7 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第 1 次抽出単位として使用した。

2. 調査地点数については、各層ごとに 1 調査地点の標本数が 15 になるように設定した。

3. 各層ごとに抽出間隔 (層における基本単位区数の合計 ÷ 層で算出された調査地点数) を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番目の基本単位区を抽出した。

4. 抽出に際しての各層における区市町村の配列順序は、自治省設定の市区町村コードの順序に従った。

以上の結果、ブロック・市郡規模別 (18 層) の母集団数・標本数・調査地点数は、次のとおりである。

	13 大都市	その他の市	郡部	計
北海道・東北	2,102,960 90(6)	6,020,350 285(19)	3,739,209 180(12)	11,862,519 555(37)
関東	10,700,400 495(33)	16,508,164 765(51)	3,740,719 180(12)	30,949,283 1,440(96)
中部	1,634,257 75(5)	11,290,158 525(35)	4,906,146 225(15)	17,830,561 825(55)
近畿	4,195,429 195(13)	9,523,335 450(30)	2,110,274 105(7)	15,829,038 750(50)
中国・四国	834,684 45(3)	5,528,151 255(17)	2,824,111 135(9)	9,186,946 435(29)
九州	1,742,678 75(5)	5,407,678 255(17)	3,611,327 165(11)	10,761,683 495(33)
計 母集団数	21,210,408	54,277,836	20,931,786	96,420,030
標本数(地点数)	975(65)	2,535(169)	990(66)	4,500(300)

#### <対象者の抽出方法>

各地点において、等間隔抽出法により、正規対象者 15 名を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。各地点において、正規対象に続いて、予備対象を 5 名ずつ抽出した。

##### 1. 調査する地域の人が続けて記載されている（地番順）場合

- ・指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（明治 43 年 6 月 26 日～昭和 55 年 6 月 25 日生まれ）であれば、第 1 対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に関係なくすべての人を数えて、抽出間隔 21 または 11 番目にあたる人に注目し、適格者であれば抽出する。
- ・第 1 対象者が決まれば、第 1 対象者の次の人から、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出、不適格であれば次の人から数えて...を繰り返す。
- ・以下同様に、正規対象を抽出し、続いて予備対象を抽出する。
- ・該当の投票区の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する投票区に移り、先の投票区と一連のものとして抽出を続ける。

##### 2. 調査する地域の人とそれ以外の人が入り混じっている（50 音順）場合

- ・指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人を起点として、年齢条件と指定地域に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（明治 43 年 6 月 26 日～昭和 55 年 6 月 25 日生まれで、指定地域に居住する）であれば、第 1 対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件と指定地域に関係なくすべての人を数えて、抽出間隔 11 番目にあたる人に注目し、適格者であれば抽出する。
- ・第 1 対象者が決まれば、第 1 対象者の次の人から、年齢条件と指定地域に関係なくすべての人を数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出、不適格であれば次の人から数えて...を繰り返す。
- ・以下同様に、正規対象を抽出し、続いて予備対象を抽出する。

- ・該当する投票区の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、該当の投票区の最初に戻って抽出を続ける。
- ・該当する投票区を一巡して 抽出の起点に戻って も抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する投票区に移り、先の投票区と一連のものとして抽出を続ける。

注1) 同一世帯内で2人目(ないしそれ以上)が抽出されそうになった場合には、2人目以降は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

#### 2) 抽出台帳が男女別に記載されている場合

- ・スタート番号が偶数の場合は、正規対象15名のうち、男性を8名、女性を7名とする。予備対象の5名は、男性を3名、女性を2名とする(男、女、男、女、男)。
- ・スタート番号が奇数の場合は、正規対象15名のうち、男性を7名、女性を8名とする。予備対象の5名は、男性を2名、女性を3名とする(女、男、女、男、女)。
- ・男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性のスタート番号は、男性のスタート番号を2倍したものとする。抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順または50音順の方法に従う。

なお、300地点のうち、選挙人名簿の閲覧が許可されなかった4地点では、住民基本台帳から抽出を行った。

#### <謝礼の先渡し原則>

謝礼は先渡しとする。すべての正規対象者に対して、調査の実施前に、「『生活と意識についての国際比較調査』へのご協力をお願い」の依頼状と謝礼(500円の図書券2枚)を入れた封書を郵送する。後日、調査員が訪問し、調査を実施するが、依頼状が届く日と調査員の訪問日の間が空き過ぎないように、依頼状と謝礼は、調査員が実施時期の頃合いを見計らって投函する。調査への協力が得られない場合にも、対象者に謝礼の返却を求めない。

#### <留置調査と面接調査の実施順序>

留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せる。調査員には、面接調査票の末尾に、面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか(面接 留置)、留置を先に実施し面接を後から実施したか(留置 面接)を記録させる。

#### <予備対象の使用>

予備対象は、正規対象が「住所不明」「転居」「死亡」の時のみに使用する。正規対象と予備対象の年齢の対応はとらずに、予備対象は名簿の上から順番に使用する。予備対象が「住所不明」「転居」「死亡」の時には、さらに次の予備対象を使用する。

予備対象を使用する場合には、飛び込みではなく、調査員があらかじめ依頼状と謝礼を郵送した上で訪問する。

#### <欠票調査票>

欠票理由のいかんにかかわらず、欠票となったすべてのケースについて、欠票調査票を作成することを調査員に依頼した。

<実査>

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、社団法人中央調査社に委託した。実査は、中央調査社の調査員により、2000年の10月下旬から11月下旬にかけて実施された。

岩井 紀子

### . 3 調査の方法：JGSS-2001

JGSS-2001 は、2001 年 10 月下旬から 11 月下旬にかけて、全国において実施した。

#### <調査設計>

母集団：2001 年 9 月 1 日時点で全国に居住する満 20～89 歳の男女個人

(明治 44 年 9 月 2 日～昭和 56 年 9 月 1 日までに生まれた男女)

標本数：4,500

調査地点数：300 地点

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

抽出台帳：選挙人名簿

抽出間隔：抽出台帳の並び順が地番順の場合

有権者数が 4 万人以上の区と市では、21

有権者数が 4 万人未満の市郡では、11

抽出台帳の並び順が 50 音順の場合は、11

#### <層化の方法>

1. 全国の市町村を、以下のような 6 ブロックに分類した。

北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州

2. 各ブロック内において、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。計 18 層となる。

1) 13 大都市：札幌市、仙台市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、名古屋市、  
京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市

2) その他の市

3) 郡部

#### <標本数の配分>

各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳までの人口の規模により 4,500 の標本を比例配分した。2000 年 3 月 31 日時点での男女・年齢階級（5 歳階級）別住民基本台帳登録者数を母集団とし、一部は、1995 年 10 月 1 日時点での国勢調査の各市区町村男女各歳人口比率で補正した。

#### <地点の抽出方法>

1. 平成 7 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第 1 次抽出単位として使用した。

2. 調査地点数については、各層ごとに 1 調査地点の標本数が 15 になるように設定した。

3. 各層ごとに抽出間隔（層における基本単位区数の合計 ÷ 層で算出された調査地点数）を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番目の基本単位区を抽出した。

4. 抽出に際しての各層における市区町村の配列順序は、総務省設定の市区町村コードの順序に従った。

以上の結果、ブロック・市郡規模別（18 層）の母集団数・標本数・調査地点数は、次のとおりである。

	13 大都市	その他の市	郡部	計
北海道・東北	2,199,106 105 ( 7 )	6,195,110 285 ( 19 )	3,823,384 165 ( 11 )	12,217,600 555 ( 37 )
関東	10,999,069 495 ( 33 )	17,138,198 780 ( 52 )	3,805,192 165 ( 11 )	31,942,459 1,440 ( 96 )
中部	1,678,685 75 ( 5 )	11,619,542 525 ( 35 )	5,002,788 225 ( 15 )	18,301,015 825 ( 55 )
近畿	4,310,465 195 ( 13 )	9,799,730 450 ( 30 )	2,166,563 90 ( 6 )	16,276,758 735 ( 49 )
中国・四国	863,645 45 ( 3 )	5,669,310 255 ( 17 )	2,875,526 135 ( 9 )	9,408,481 435 ( 29 )
九州	1,806,228 75 ( 5 )	5,878,028 270 ( 18 )	3,707,182 165 ( 11 )	11,391,438 510 ( 34 )
計 母集団数 標本数(地点数)	21,857,198 990 ( 66 )	56,299,918 2,565 ( 171 )	21,380,635 945 ( 63 )	99,537,751 4,500 ( 300 )

#### <対象者の抽出方法>

各地点において、等間隔抽出法により、正規対象者 15 名を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。各地点において、正規対象に続いて、予備対象を 5 名ずつ抽出した。

##### 1. 調査する地域の人が続けて記載されている（地番順）場合

- ・指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（明治 44 年 9 月 2 日～昭和 56 年 9 月 1 日生まれ）であれば、第 1 対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に関係なくすべての人を数えて、抽出間隔 21 または 11 番目にあたる人に注目し、適格者であれば抽出する。
- ・第 1 対象者が決まれば、第 1 対象者の次の人から、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出、不適格であれば次の人から数えて・・・繰り返す。
- ・以下同様に、正規対象を抽出し、続いて予備対象を抽出する。
- ・該当の投票区の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、その投票区の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。
- ・該当の投票区を一巡して 抽出の起点に戻って も指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する投票区に移り、先の投票区と一連のものとして抽出を続ける。

##### 2. 調査する地域の人とそれ以外の人が入り混じっている（50 音順）場合

- ・指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人を起点として、年齢条件と指定地域に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（明治 44 年 9 月 2 日～昭和 56 年 9 月 1 日生まれで、指定地域に居住する）であれば、第 1 対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件と指定地域に関係なくすべての人を数えて、抽出間隔 11 番目にあたる人に注目し、適格者であれば抽出する。
- ・第 1 対象者が決まれば、第 1 対象者の次の人から、年齢条件と指定地域に関係なくすべての人を数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出、不適格であ

ば次の人から数えて・・・を繰り返す。

- ・以下同様に、正規対象を抽出し、続いて予備対象を抽出する。
- ・該当する投票区の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、その投票区の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。
- ・該当する投票区を一巡して 抽出の起点に戻って も抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する投票区に移り、先の投票区と一連のものとして抽出を続ける。

注1) 同一世帯内で2人目(ないしそれ以上)が抽出されそうになった場合には、2人目以降は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

2) 抽出台帳が男女別に記載されている場合

- ・スタート番号が偶数の場合は、正規対象15名のうち、男性を8名、女性を7名とする。予備対象の5名は、男性を3名、女性を2名とする(男、女、男、女、男)。
- ・スタート番号が奇数の場合は、正規対象15名のうち、男性を7名、女性を8名とする。予備対象の5名は、男性を2名、女性を3名とする(女、男、女、男、女)。
- ・男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性のスタート番号は、男性のスタート番号を2倍したものとする。抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順または50音順の方法に従う。

なお、300地点のうち、選挙人名簿の閲覧が許可されなかった12地点では、住民基本台帳から抽出を行なった。

#### <謝礼の先渡し原則>

謝礼は先渡しとする。すべての正規対象者に対して、調査の実施前に、「『生活と意識についての国際比較調査』へのご協力をお願い」の依頼状と謝礼(500円の図書券2枚)を入れた封書を郵送する。後日、調査員が訪問し、調査を実施するが、依頼状が届く日と調査員の訪問日の間が空き過ぎないように、依頼状と謝礼は、調査員が実施時期の頃合いを見計らって投函する。調査への協力が得られない場合にも、対象者に謝礼の返却を求めない。

#### <留置調査と面接調査の実施順序>

留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せる。調査員には、面接調査票の末尾に、面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか(面接 留置)、留置を先に実施し面接を後から実施したか(留置 面接)を記録させる。

#### <予備対象の使用>

予備対象は、正規対象が「住所不明」「転居」「死亡」の時のみに使用する。正規対象と予備対象の年齢の対応はとらずに、予備対象は名簿の上から順番に使用する。予備対象が「住所不明」「転居」「死亡」の時には、さらに次の予備対象を使用する。

予備対象を使用する場合には、飛び込みではなく、調査員があらかじめ依頼状と謝礼を郵送した上で訪問する。



<欠票調査票>

欠票理由のいかんにかかわらず、欠票となったすべてのケースについて、欠票調査票を作成することを調査員に依頼した。

<実査>

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、社団法人中央調査社に委託した。実査は、中央調査社の調査員により、2001年の10月下旬から11月下旬にかけて実施された。

岩井 紀子

### . 3 調査の方法：JGSS-2002

JGSS-2002 は、2002 年 10 月下旬から 11 月下旬にかけて、全国において実施した。

#### <調査設計>

母集団：2002 年 9 月 1 日時点で全国に居住する満 20～89 歳の男女個人

(大正元年 9 月 2 日～昭和 57 年 9 月 1 日までに生まれた男女)

標本数：5,000

調査地点数：341 地点

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

抽出台帳：選挙人名簿

抽出間隔：抽出台帳の並び順が地番順の場合

有権者数が 4 万人以上の区と市では、21

有権者数が 4 万人未満の市郡では、11

抽出台帳の並び順が 50 音順の場合は、11

#### <層化の方法>

1. 全国の市町村を、以下のような 6 ブロックに分類した。

北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州

2. 各ブロック内において、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。計 18 層となる。

1) 13 大都市：札幌市、仙台市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、名古屋市、  
京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市

2) その他の市

3) 郡部

#### <標本数の配分>

各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳以上人口の大きさにより 5,000 の標本を比例配分した。2001 年 3 月 31 日時点での男女・年齢階級(5 歳階級)別住民基本台帳登録者数を母集団とし、一部は、1995 年 10 月 1 日時点での国勢調査の各区市町村男女各歳人口比率で補正した。

#### <地点の抽出方法>

1. 1995 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第 1 次抽出単位として使用した。

2. 調査地点数については、各層ごとに 1 調査地点の標本数が最大 15 になるように設定した。

3. 各層ごとに抽出間隔(層における基本単位区数の合計÷層で算出された調査地点数)を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番目の基本単位区を抽出した。

4. 抽出に際しての各層における市区町村の配列順序は、自治省設定の市区町村コードの順序に従った。

以上の結果、ブロック・市郡規模別(18 層)の母集団数・標本数・調査地点数は、次のとおりである。

	13 大都市	その他の市	郡部	計
北海道・東北	2,223,215	6,221,752	3,813,825	12,258,792
	111 (8)	311 (21)	191 (13)	613 (42)
関東	11,107,332	17,356,662	3,750,094	32,214,088
	555 (37)	867 (58)	187 (13)	1,609 (108)
中部	1,686,505	11,680,882	5,021,794	18,389,181
	84 (6)	584 (39)	251 (17)	919 (62)
近畿	4,331,721	9,881,446	2,132,168	16,345,335
	216 (15)	494 (33)	107 (8)	817 (56)
中国・四国	869,263	5,733,388	2,826,200	9,428,851
	43 (3)	286 (20)	141 (10)	470 (33)
九州	1,820,217	5,947,470	3,682,712	11,450,399
	91 (7)	297 (20)	184 (13)	572 (40)
計 母集団数	22,038,253	56,821,600	21,226,793	100,086,646
標本数(地点数)	1,100 (76)	2,839 (191)	1,061 (74)	5,000 (341)

#### <対象者の抽出方法>

各地点において、等間隔抽出法により、正規対象者（13～15名）を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。各地点において、正規対象に続いて、予備対象を5名ずつ抽出した。正規対象は対象番号01～15までに、予備対象は対象番号21～25に記入する。

##### 1. 調査する地域の人が続けて記載されている（地番順）場合

- ・指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人（台帳の一番初めの人ではなく、指定地域内居住の最初の人）を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正元年9月2日～昭和57年9月1日生まれ）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（21または11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。
- ・第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出、...を繰り返す。
- ・以下同様に、正規対象を抽出し、続いて予備対象を抽出する。
- ・指定の町・丁目・字の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。
- ・抽出の起点（スタート番号の数え始め直前に人）まで一巡しても指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する町・丁目・字に移り、先と一連のものとして抽出を続ける。

##### 2. 調査する地域の人とそれ以外の人が入り混じっている（50音順）場合

- ・指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人（台帳の一番初めの人ではなく、指定地域内居住の最初の人）を起点として、年齢条件と地番条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正元年9月2日～昭和57年9月1日生まれで、指定地域に居住する）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件と地

番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。

- ・第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出...を繰り返す。
- ・以下同様に、正規対象を抽出し、続いて予備対象を抽出する。
- ・指定の町・丁目・字（番地範囲）の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。
- ・抽出の起点（スタート番号の教え始め直前に人）まで一巡しても抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する町・丁目・字（番地範囲）を設定し、先と一連のものとして抽出を続ける。

注1) 同一世帯内で2人目が抽出されそうになった場合には、2人目は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

2) 抽出台帳が男女別に記載されている場合

スタート番号が偶数の場合

正規対象が15名の地点：男8名(対象番号01~08)、女7名(対象番号09~15)

正規対象が14名の地点：男7名(対象番号01~07)、女7名(対象番号08~14)

正規対象が13名の地点：男7名(対象番号01~07)、女6名(対象番号08~13)

正規対象者の数に関わらず、予備対象21を男、22を女、23を男、24を女、25を男とする。

スタート番号が奇数の場合

正規対象が15名の地点：男7名(対象番号01~07)、女8名(対象番号08~15)

正規対象が14名の地点：男7名(対象番号01~07)、女7名(対象番号08~14)

正規対象が13名の地点：男6名(対象番号01~06)、女7名(対象番号07~13)

正規対象者の数に関わらず、予備対象21を女、22を男、23を女、24を男、25を女とする。

抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順または50音順の方法に従う。

予備対象は 〃の指定のとおり、男の台帳と女の台帳から別々に抽出する。

男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性の抽出は、以下を適用する。

地番順の場合：男性の最終対象（予備対象含む）の番地の次の番地以降で抽出  
間隔を数えて行なう

50音順の場合：男性の最終対象（予備対象含む）の姓の次の姓以降で抽出  
間隔を数えて行なう

なお、341地点のうち、選挙人名簿の閲覧が許可されなかった6地点では、住民基本台帳から抽出を行なった。

<留置調査と面接調査の実施順序>

留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せる。調査員には、面接調査票の末尾に、面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか（面接 留置）、留置を先に実施し面接を後から実施したか（留置 面接）を記録させる。

#### <謝礼を渡すタイミング>

JGSS-2002 では、謝礼を 2 つ用意した。図書券（500 円×2 枚）とペンセット（3 本組）である。図書券は先渡し、ペンセットは面接調査終了時に渡した。

すべての正規対象者に対して、調査の実施前に、『『生活と意識についての国際比較調査』へのご協力をお願い』の依頼状と図書券を入れた封書を郵送する。後日、調査員が訪問し、調査を実施するが、依頼状が届く日と調査員の訪問日の間が空き過ぎないように、依頼状と図書券は、調査員が実施時期の頃合いを見計らって投函する。調査への協力が得られない場合にも、対象者に図書券の返却を求めない。

ペンセットは、面接調査が終った時点で、対象者に手渡しした。ペンセットについては、対象者に事前に送付する依頼状では触れていない。JGSS-2002 でペンセットを導入したのは、回収率を高めるためというよりは、調査に協力してくれた対象者に対して、調査の途中においても謝意を表して、調査全体をスムーズに終えるためである。

#### <調査の所要時間>

JGSS のこれまでの調査（第 1 回予備調査～JGSS-2001）では、対象者に事前に送付する依頼状には、調査の所要時間を明記せず、対象者から尋ねられた場合にのみ回答していた。しかしながら、JGSS-2002 では、調査の実施前に対象者へ送付する挨拶状の中に、面接は 20～30 分程度、留置は 20 分程度と明記した。

#### <予備対象の使用>

予備対象は、正規対象が「住所不明」「転居」「死亡」の時のみに使用する。正規対象と予備対象の年齢の対応はとらずに、予備対象は名簿の上から順番に使用する。予備対象が「住所不明」「転居」「死亡」の時には、さらに次の予備対象を使用する。

予備対象を使用する場合には、飛び込みではなく、調査員があらかじめ依頼状と図書券を郵送した上で訪問する。

#### <欠票調査票>

欠票理由のいかんにかかわらず、欠票となったすべてのケースについて、欠票調査票を作成することを調査員に依頼した。

#### <実査>

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、社団法人中央調査社に委託した。実査は、中央調査社の調査員により、2002 年の 10 月下旬から 11 月下旬にかけて実施された。

岩井 紀子

### . 3 調査の方法：JGSS-2003

JGSS-2003 は、2003 年 10 月下旬から 11 月下旬にかけて、全国において実施した。

#### <調査設計>

母集団：2003 年 9 月 1 日時点で全国に居住する満 20～89 歳の男女個人

(大正 2 年 9 月 2 日～昭和 58 年 9 月 1 日までに生まれた男女)

標本数：7,200

調査地点数：489 地点

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

抽出台帳：選挙人名簿

抽出間隔：抽出台帳の並び順が地番順の場合

有権者数が 4 万人以上の区と市では、21

有権者数が 4 万人未満の市郡では、11

抽出台帳の並び順が 50 音順の場合は、11

#### <層化の方法>

1. 全国の市町村を、以下のような 6 ブロックに分類した。

北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州

2. 各ブロック内において、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。計 18 層となる。

1) 14 大都市：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、  
名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市

2) その他の市

3) 郡部

#### <標本数の配分>

各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳以上人口の大きさにより 7,200 の標本を比例配分した。2002 年 3 月 31 日時点での男女・年齢階級（5 歳階級）別住民基本台帳登録者数を母集団とした。ただし、80 歳以上は一括表示となっているため、80～89 歳の人口は、2000 年 10 月 1 日時点での国勢調査の各区市町村男女各歳別（1 歳刻み）人口比率で補正した。

#### <地点の抽出方法>

1. 平成 12 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第 1 次抽出単位として使用した。

2. 調査地点数については、各層ごとに 1 調査地点の標本数が最大 15 になるように設定した。

3. 各層ごとに抽出間隔（層における基本単位区数の合計 ÷ 層で算出された調査地点数）を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番目の基本単位区を抽出した。

4. 抽出に際しての各層における区市町村の配列順序は、自治省設定の市区町村コードの順序に従った。

以上の結果、ブロック・市郡規模別（18 層）の母集団数・標本数・調査地点数は、次のとおりである。

	14 大都市	その他の市	郡部	計
北海道・東北	2,243,968 161(11)	6,225,256 446(30)	3,799,807 272(19)	12,269,031 879(60)
関東	12,026,511 862(58)	16,707,301 1,198(80)	3,716,041 266(18)	32,449,853 2,326(156)
中部	1,693,173 121(9)	11,886,403 852(57)	4,848,325 348(24)	18,427,901 1,321(90)
近畿	4,347,801 312(21)	9,896,906 710(48)	2,130,730 153(11)	16,375,437 1,175(80)
中国・四国	873,484 63(5)	5,818,074 417(28)	2,730,907 196(14)	9,422,465 676(47)
九州	1,831,757 131(9)	5,979,526 429(29)	3,673,848 263(18)	11,485,131 823(56)
計 母集団数	23,016,694	56,513,466	20,899,658	100,429,818
標本数(地点数)	1,650(113)	4,052(272)	1,498(104)	7,200(489)

#### <対象者の抽出方法>

各地点において、等間隔抽出法により、正規対象者（12～15名）を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。各地点において、正規対象に続いて、予備対象を5名ずつ抽出した。正規対象は対象番号01～15までに、予備対象は対象番号21～25に記入する。

##### 1. 調査する地域の人が続けて記載されている（地番順）場合

- ・指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人（台帳の一番初めの人ではなく、指定地域内居住の最初の人）を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正2年9月2日～昭和58年9月1日生まれ）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（21または11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。
- ・第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出...を繰り返す。
- ・以下同様に、正規対象を抽出し、続いて予備対象を抽出する。
- ・指定の町・丁目・字の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。
- ・抽出の起点（スタート番号の数え始め直前に人）まで一巡しても指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する町・丁目・字に移り、先と一連のものとして抽出を続ける。

##### 2. 調査する地域の人とそれ以外の人が入り混じっている（50音順）場合

- ・指定の町・丁目・字（番地範囲）が含まれている台帳を用いて、あらかじめランダムに決定した「スタートの文字（カタカナ）」と同じ音で始まる姓の先頭の人から、年齢条件と地番条件に関係なくすべての人を数えて、「スタート番号（数字）」番目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正2年9月2日～昭和58年9月1日生まれで、指定地

域に居住する)であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔(11)番目にあたる人を第1対象者として抽出する。

- ・第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件と地番条件に該当するのみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に(順次)注目し、適格者を抽出、不適格であれば、次の人から数えて...を繰り返す。
- ・以下同様に、正規対象を抽出し、続いて予備対象を抽出する。
- ・指定の町・丁目・字(番地範囲)の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。
- ・抽出の起点(スタート番号の数え始め直前の人)まで一巡しても抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する町・丁目・字(番地範囲)を設定し、先と一連のものとして抽出を続ける。

注 1) 同一世帯内で2人目が抽出されそうになった場合には、2人目は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

2) 抽出台帳が男女別に記載されている場合

スタート番号が偶数の場合

正規対象が15名の地点：男8名(対象番号01~08)、女7名(対象番号09~15)

正規対象が14名の地点：男7名(対象番号01~07)、女7名(対象番号08~14)

正規対象が13名の地点：男7名(対象番号01~07)、女6名(対象番号08~13)

正規対象が12名の地点：男6名(対象番号01~06)、女6名(対象番号07~12)

正規対象者の数に関わらず、予備対象21を男、22を女、23を男、24を女、25を男とする。

スタート番号が奇数の場合

正規対象が15名の地点：男7名(対象番号01~07)、女8名(対象番号08~15)

正規対象が14名の地点：男7名(対象番号01~07)、女7名(対象番号08~14)

正規対象が13名の地点：男6名(対象番号01~06)、女7名(対象番号07~13)

正規対象が12名の地点：男6名(対象番号01~06)、女6名(対象番号07~12)

正規対象者の数に関わらず、予備対象21を女、22を男、23を女、24を男、25を女とする。

抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順または50音順の方法に従う。

予備対象は 〃の指定のとおり、男の台帳と女の台帳から別々に抽出する。

男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性の抽出は、以下を適用する。

地番順の場合：男性の最終対象(予備対象含む)の番地の次の番地以降で抽出  
間隔を数えて行なう

50音順の場合：男性の最終対象(予備対象含む)の姓の次の姓以降で抽出間隔を  
数えて行なう

なお、489地点のうち、選挙人名簿の閲覧が許可されなかった15地点では、住民基本台帳から抽出を行なった。



### <2種類の留置調査票の使い分け>

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行なうが、留置調査票は、A票（青色）またはB票（ふじ色）のどちらかを用いる。A票とB票を対象者全体の約半数ずつにランダムに配付するために、下記のような手続きを用いた。

1. 地点番号が奇数の場合：対象者番号順に、A、B、A、B、...で振り分ける。
2. 地点番号が偶数の場合：対象者番号順に、B、A、B、A、...で振り分ける。

あらかじめ対象者名簿に、どちらの票を使うかを記入している。予備は、正規対象に振り当てられた票を使用する。

### <面接調査と留置調査の実施順序>

留置調査においてA票を用いる場合には、面接調査と留置調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せる。調査員には、面接調査票の末尾に、面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか（面接 留置）留置を先に依頼し面接を後から実施したか（留置 面接）を記録させる。

一方、留置調査においてB票を用いる場合には、必ず面接調査を先に行ない、続いて留置B票の冒頭部分を面接で質問した後、残りの部分について、対象者に留置での回答を求める。

### <謝礼を渡すタイミング>

JGSS-2003では、謝礼を2つ用意した。図書券（500円×2枚）とペンセット（3本組）である。図書券は面接調査と留置調査が共に終了した時点で、ペンセットは調査の過程で調査員が適切と判断した時に渡した。

まず、すべての正規対象者に対して、調査の実施前に、『生活と意識についての国際比較調査』へのご協力をお願いの依頼状（封書）を郵送する。後日、調査員が訪問し、調査を実施するが、依頼状が届く日と調査員の訪問日の間が空き過ぎないように、依頼状は、調査員が実施時期の頃合いを見計らって投函する。依頼状には、「ご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが図書券千円分をご用意しております。」と記載している。

ペンセットは、調査の過程で調査員が適切と判断した時に、対象者に手渡した。ペンセットについては、対象者に事前に送付する依頼状では触れていない。ペンセットを渡すのは、回収率を高めるためというよりは、調査に協力してくれた対象者に対して、調査の途中においても謝意を表して、調査全体をスムーズに終えるためである。

### <予備対象の使用>

予備対象は、正規対象が「拒否」「一時不在」以外の理由で欠票になった場合に使用する。正規対象と予備対象の年齢の対応はとらずに、予備対象は名簿の上から順番に使用する。予備対象が「拒否」「一時不在」以外の理由で欠票になった時には、さらに次の予備対象を使用する。

予備対象を使用する場合には、飛び込みではなく、調査員があらかじめ依頼状を郵送した上で訪問する。

### <欠票調査票>

欠票理由のいかんにかかわらず、欠票となったすべてのケースについて、欠票調査票を作成することを調査員に依頼した。

<実査>

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、社団法人中央調査社に委託した。実査は、中央調査社の調査員により、2003年の10月下旬から11月下旬にかけて実施された。

岩井 紀子

### . 3 調査の方法：JGSS-2005

JGSS-2005 は、2005 年 8 月下旬から 11 月上旬にかけて、全国において実施した。JGSS では例年は、10 月半ばから 11 月末にかけて調査を実施しているが、2005 年度は国勢調査が 10 月 1 日に予定されていたので、調査の開始時期を早めた。個人情報保護法が 2005 年 4 月に施行されて間もないこともあり、国民が調査全般に対して非常に慎重になっていると予測されたので、調査が重なることを避けた。

#### <調査設計>

母集団：2005 年 9 月 1 日時点で全国に居住する満 20～89 歳の男女個人

(大正 4 年 9 月 2 日～昭和 60 年 9 月 1 日までに生まれた男女)

標本数：4,500

調査地点数：307 地点

抽出方法：層化 2 段無作為抽出法

抽出台帳：選挙人名簿

抽出間隔：抽出台帳の並び順が地番順の場合

有権者数が 4 万人以上の区と市では、21

有権者数が 4 万人未満の市郡では、11

抽出台帳の並び順が 50 音順の場合は、11

#### <層化の方法>

1. 全国の市町村を、以下のような 6 ブロックに分類した。
  - 北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州
2. 各ブロック内において、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。計 18 層となる。
  - 1) 15 大都市：札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、静岡市、名古屋市、京都市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市
  - 2) その他の市
  - 3) 郡部

#### <標本数の配分>

各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳以上人口の大きさにより 4,500 の標本を比例配分した。2004 年 3 月 31 日時点での男女・年齢階級（5 歳階級）別住民基本台帳登録者数を母集団とした。ただし、80 歳以上は一括表示となっているため、80～89 歳の人口は、2000 年 10 月 1 日時点での国勢調査の各区市町村男女各歳別（1 歳刻み）人口比率で補正した。

#### <地点の抽出方法>

1. 平成 12 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第 1 次抽出単位として使用した。
2. 調査地点数については、各層ごとに 1 調査地点の標本数が最大 15 になるように設定した。
3. 各層ごとに抽出間隔（層における基本単位区数の合計 ÷ 層で算出された調査地点数）を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番目の基本単位区を抽出した。
4. 抽出に際しての各層における区市町村の配列順序は、自治省設定の市区町村コードの順序に従っ

た。

以上の結果、ブロック・市郡規模別(18層)の母集団数・標本数・調査地点数は、次のとおりである。

	15大都市	その他の市	郡部	計
北海道・東北	2,291,974 102(7)	6,826,090 303(21)	3,200,566 142(10)	12,318,630 547(38)
関東	12,352,335 548(37)	17,564,510 780(52)	3,051,729 135(9)	32,968,574 1,463(98)
中部	2,280,105 101(7)	13,311,946 591(40)	2,983,473 132(9)	18,575,524 824(56)
近畿	4,391,021 195(13)	10,623,674 471(32)	1,480,831 66(5)	16,495,526 732(50)
中国・四国	892,297 40(3)	6,946,976 308(21)	1,611,950 72(5)	9,451,223 420(29)
九州	1,859,531 83(6)	6,925,822 307(21)	2,802,930 124(9)	11,588,283 514(36)
計 母集団数 標本数(地点数)	24,067,263 1,069(73)	62,199,018 2,760(187)	15,131,479 671(47)	101,397,760 4,500(307)

#### <対象者の抽出方法>

各地点において、等間隔抽出法により、対象者(13~15名)を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。なお、予備対象は用いないので、抽出しない。

##### 1. 調査する地域の人が続けて記載されている(地番順)場合

- ・指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人(台帳の一番初めの人ではなく、指定地域内居住の最初の人)を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者(大正4年9月2日~昭和60年9月1日生まれ)であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔(21または11)番目にあたる人を第1対象者として抽出する。
- ・第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に(順次)注目し、適格者を抽出...を繰り返す。
- ・指定の町・丁目・字の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。
- ・抽出の起点(スタート番号の数え始め直前の人)まで一巡しても指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する町・丁目・字に移り、先と一連のものとして抽出を続ける。

##### 2. 調査する地域の人とそれ以外の人が入り混じっている(50音順)場合

- ・指定の町・丁目・字(番地範囲)が含まれている台帳を用いて、あらかじめランダムに決定した「スタートの文字(カタカナ)」と同じ音で始まる姓の先頭の人から、年齢条件と地番条件に関係なくすべての人を数えて、「スタート番号(数字)」番目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者(大正4年9月2日~昭和60年9月1日生まれで、指定地域に居住する)であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の

人から改めて年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。

- ・第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出、不適格であれば、次の人から数えて...を繰り返す。
- ・指定の町・丁目・字（番地範囲）の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。
- ・抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する町・丁目・字（番地範囲）を設定し、先と一連のものとして抽出を続ける。

注1) 同一世帯内で2人目が抽出されそうになった場合には、2人目は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

## 2) 抽出台帳が男女別に記載されている場合

### スタート番号が偶数の場合

対象者が15名の地点：男8名(対象番号01～08)、女7名(対象番号09～15)

対象者が14名の地点：男7名(対象番号01～07)、女7名(対象番号08～14)

対象者が13名の地点：男7名(対象番号01～07)、女6名(対象番号08～13)

### スタート番号が奇数の場合

対象者が15名の地点：男7名(対象番号01～07)、女8名(対象番号08～15)

対象者が14名の地点：男7名(対象番号01～07)、女7名(対象番号08～14)

対象者が13名の地点：男6名(対象番号01～06)、女7名(対象番号07～13)

抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順または50音順の方法に従う。

男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性の抽出は、以下を適用する。

地番順の場合：男性の最終対象の番地の次の番地以降で抽出間隔を数えて行う

50音順の場合：男性の最終対象の姓の次の姓以降で抽出間隔を数えて行う

なお、307地点のうち、選挙人名簿の閲覧が許可されなかった26地点では、住民基本台帳から抽出を行った（兵庫県では13のすべての地点で、住民基本台帳からの抽出となった）。

## <留置調査と面接調査の実施順序>

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行なうが、留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せる。調査員には、面接調査票の末尾に、面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか（面接 留置）、留置を先に実施し面接を後から実施したか（留置 面接）を記録させる。

## <謝礼を渡すタイミング>

JGSS-2005では、謝礼を2つ用意した。図書券（500円×2枚）とペンセット（3本組）である。図書券は面接調査と留置調査が共に終了した時点で、ペンセットは調査の過程で調査員が適切と判断した時に渡した。

まず、すべての対象者に対して、調査の実施前に、「『生活と意識についての国際比較調査』へのご協力をお願い」の依頼状（封書）を郵送する。後日、調査員が訪問し、調査を実施するが、依頼状が届く日と調査員の訪問日の間が空き過ぎないように、依頼状は、調査員が実施時期の頃合いを見計らって投函する。依頼状には、「ご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが図書券 1,000 円分をご用意しております。」と記載している。

ペンセットは、調査の過程で調査員が適切と判断した時に、対象者に手渡した。ペンセットについては、対象者に事前に送付する依頼状では触れていない。ペンセットを渡すのは、回収率を高めるためというよりは、調査に協力してくれた対象者に対して、調査の途中においても謝意を表して、調査全体をスムーズに終わらせるためである。

#### <調査員の訪問回数・訪問日・訪問記録>

JGSS のこれまでの調査では、「一時不在」などの理由で調査対象者に会えない場合でも、最低 4 回は対象者宅を訪問して、対象者に会えるように努力することを調査員に求めてきた。調査員の多くは、4 回以上に亘って対象者宅を訪問している。しかし、同じ日の午前中と午後には訪問する、あるいは平日ばかり 4 回訪問しても、対象者に会える確率は高まらないかもしれない。そこで、JGSS-2005 では、1) 対象者と会えるまで 4 日以上訪問する、2) 平日と休日（土日祝）の両方に訪問する、というルールを加えた。1 日に 2 回訪問してもかまわないが、この場合は 1 日としか数えないことにした。

JGSS ではこれまで、欠票となったすべてのケースについて「欠票調査票」を作成することを調査員に依頼してきたが、JGSS-2005 ではこれを取りやめた。その代わりに、調査員に、回収の有無に関係なくすべてのケースについて、面接調査票の表紙に、回収状況と訪問記録を記入することを求めた。訪問記録には、対象者に会えるまでのすべての訪問について、訪問日、訪問時間、話をした人（本人、家族のみ、不在）の記録を求めた。ただし、訪問が 10 回を超えた場合は、11 回以上の記録は残さなくてよいことにした。

さらに、面接調査票と留置調査票のどちらか一方でも回収できなかったケース（調査不能のケース）については、面接調査票の表紙の裏の頁（2 頁目）に、調査不能と決定した日時、調査不能の理由、その具体的な状況、対象者の家の種類（一戸建て、集合住宅など）を記載することを調査員に求めた。対象者の家の種類を記録するのは、オートロックマンションの増加によって、集合住宅での調査不能件数が、一戸建て以上に増えているかどうかを確認するためである。

#### <実査>

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、社団法人中央調査社に委託した。なお、307 地点のうち、首都圏 11 地点と近畿圏 21 地点では、JGSS プロジェクト委員会メンバーを中心とする研究者が抽出を行った。これは、住民基本台帳ならびに選挙人名簿の閲覧制度をめぐる自治体の動きを把握し、名簿が特殊な配列の場合にも適切に抽出する方法を検討するためであった\*。

実査は、中央調査社の調査員により、2005 年の 8 月下旬から 11 月上旬にかけて実施された。

\* 「閲覧と抽出に関する調査」については、『JGSS 研究論文集』[5]「住民基本台帳の閲覧制度と社会調査 JGSS-2005 での抽出からみた問題点と対応」(岩井紀子・稲葉太一)に詳しい。

([http://jgss.daishodai.ac.jp/japanese/5research/jgssm5pdf/jgssm5\\_13.pdf](http://jgss.daishodai.ac.jp/japanese/5research/jgssm5pdf/jgssm5_13.pdf))

### . 3 調査の方法：JGSS-2006

JGSS-2006 の調査方法について、調査設計、層化の方法、標本数の配分、地点の抽出方法、対象者の抽出方法、2種類の留置調査票の割り振り方、留置調査と面接調査の実施順序、対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方、調査員の訪問回数・訪問日・訪問記録の観点に分けて、以下にまとめる。

#### <調査設計>

- 実査時期 : 2006年10～12月
- 母集団 : 2006年9月1日時点で全国に居住する満20～89歳の男女個人  
(大正5年9月2日～昭和61年9月1日に生まれた男女)
- 標本数 : 8,000
- 地点数 : 526地点
- 抽出方法 : 層化2段無作為抽出法
- 抽出台帳 : 選挙人名簿
- 抽出間隔 : 抽出台帳の並び順が地番順の場合  
有権者数が4万人以上の区と市では、21  
有権者数が4万人未満の市郡では、11  
抽出台帳の並び順が50音順の場合は、11

#### <層化の方法>

全国の市町村を6つの地域ブロックに区分した。さらに、各ブロック内の市郡規模によって4つに区分した。計24層となる。JGSS-2005までの市郡規模は、「大都市(東京都区部と政令指定都市)」、「その他の市」、「郡部」の3区分であったが、平成の市町村合併によって「その他の市」の割合が増加したため、JGSS-2006以降は「その他の市」を「人口20万人以上の市」と「人口20万人未満の市」の2つに分けている。地域ブロックと市郡規模の区分の仕方は下記のとおりである。

#### <地域ブロック>

- 1) 北海道・東北 : 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 2) 関東 : 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
- 3) 中部 : 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 4) 近畿 : 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 5) 中国・四国 : 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
- 6) 九州 : 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

#### <市郡規模>

- 1) 大都市 : 札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、静岡市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市
- 2) 人口20万人以上の市
- 3) 人口20万人未満の市
- 4) 郡部

<標本数の配分>

各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳以上人口の大きさにより 8,000 の標本を比例配分した。2005 年 3 月 31 日時点での男女・年齢階級（5 歳階級）別住民基本台帳登録者数を母集団とした。ただし、80 歳以上は一括表示となっているため、80～89 歳の人口は、2000 年 10 月 1 日時点での国勢調査の各区市町村男女各歳別（1 歳刻み）人口比率で補正した。

<地点の抽出方法>

- 1) 平成 12 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第 1 次抽出単位として使用した。
- 2) 調査地点数については、各層ごとに 1 調査地点の標本数が 15 前後になるように設定した。
- 3) 各層ごとに抽出間隔（層における母集団人口の合計 ÷ 層で算出された調査地点数）を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の人が属する基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番目の人が属する基本単位区を抽出した。
- 4) 抽出に際しての各層における区市町村の配列順序は、自治省設定の市区町村コードの順序に従った。

以上の結果、ブロック・市郡規模別（24 層）の母集団人口・標本数・調査地点数は、表 1 のとおりであり、各層の母集団人口の構成割合は表 2 のとおりである。

表 1 各層の母集団人口・標本数・調査地点数

	大都市	人口 20 万 以上の市	人口 20 万 未満の市	郡 部	計
北海道・東北	2,310,246 182 (12)	2,457,687 193 (13)	5,017,226 395 (26)	2,535,841 199 (13)	12,321,000 969 (64)
関 東	12,458,419 979 (65)	7,909,757 622 (41)	10,775,255 847 (56)	2,040,742 160 (10)	33,184,173 2,608(172)
中 部	2,302,150 181 (12)	5,577,472 439 (29)	8,566,142 673 (44)	2,190,400 172 (11)	18,636,164 1,465 (96)
近 畿	5,070,114 399 (26)	4,999,758 393 (26)	5,368,792 422 (28)	1,097,468 86 (6)	16,536,132 1,300 (86)
中国・四国	898,558 71 (5)	2,909,760 229 (15)	4,481,513 352 (23)	1,167,603 92 (6)	9,457,434 744 (49)
九 州	1,871,381 147 (10)	2,840,154 223 (14)	4,916,094 387 (25)	1,998,384 157 (10)	11,626,013 914 (59)
計	母集団人口 24,910,868 標本数(地点数) 1,959(130)	26,694,588 2,099(138)	39,125,022 3,076(202)	11,030,438 866 (56)	101,760,916 8,000(526)

(市町村の合併状況は 2006 年 9 月末時点まで反映)

表 2 各層の母集団人口の構成割合（全体%）

	大都市	人口 20 万 以上の市	人口 20 万 未満の市	郡 部	計
北海道・東北	2.3	2.4	4.9	2.5	12.1
関 東	12.2	7.8	10.6	2.0	32.6
中 部	2.3	5.5	8.4	2.2	18.3
近 畿	5.0	4.9	5.3	1.1	16.2
中国・四国	0.9	2.9	4.4	1.1	9.3
九 州	1.8	2.8	4.8	2.0	11.4
計	24.5	26.2	38.4	10.8	100.0



### ＜対象者の抽出方法＞

各地点において、等間隔抽出法により、対象者（14～16名）を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。なお、予備対象は用いないので、抽出しない。

#### 1) 地番順（記載されている人々の住所によって配列されている）の場合

指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人（台帳の一番初めの人ではなく、指定地域内居住の最初の人）を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正5年9月2日～昭和61年9月1日生まれ）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（21または11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。

第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。

指定の町・丁目・字の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。

抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する町・丁目・字に移り、先と一連のものとして抽出を続ける。

#### 2) 50音順（記載されている人々の姓の読みによってアイウエオ順に配列されている）の場合

指定の町・丁目・字（番地範囲）が含まれている台帳を用いて、あらかじめランダムに決定した「スタートの文字（カタカナ）」と同じ音で始まる姓の先頭の人から、年齢条件と地番条件に関係なくすべての人を数えて、「スタート番号（数字）」番目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正5年9月2日～昭和61年9月1日生まれで、指定地域に居住する）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。

第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。

指定の町・丁目・字（番地範囲）の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。

抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する町・丁目・字（番地範囲）を設定し、先と一連のものとして抽出を続ける。

注1) 同一世帯内で2人目が抽出されそうになった場合には、2人目は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

#### 3) 男女別の台帳の場合

スタート番号が偶数の場合

対象者が16名の地点：男8名(対象番号01～08)、女8名(対象番号09～16)

対象者が15名の地点：男8名(対象番号01～08)、女7名(対象番号09～15)

対象者が 14 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 7 名(対象番号 08～14)  
スタート番号が奇数の場合

対象者が 16 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 8 名(対象番号 09～16)

対象者が 15 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 8 名(対象番号 08～15)

対象者が 14 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 7 名(対象番号 08～14)

抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順または 50 音順の方法に従う。

男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性の抽出は、以下を適用する。

- ・地番順の場合：男性の最終対象の番地の次の番地以降で抽出間隔を数えて行う
- ・50 音順の場合：男性の最終対象の姓の次の姓以降で抽出間隔を数えて行う

なお、526 地点のうち、選挙人名簿の閲覧が許可されなかった 43 地点（山口県・秋田県・神奈川県・東京都・奈良県で各 1 地点、北海道 2 地点、大阪府 4 地点、広島県 5 地点、京都府 6 地点、兵庫県 21 地点）では、住民基本台帳から抽出を行った。

#### <2 種類の留置調査票の割り振り方>

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行うが、留置調査票は、A 票（青色）または B 票（ふじ色）のどちらかを用いる。A 票と B 票を対象者全体の約半数ずつにランダムに配付するために、以下のような手続きを用いた。

地点番号が偶数の場合：対象者番号順に、A、B、A、B、...で振り分ける。

地点番号が奇数の場合：対象者番号順に、B、A、B、A、...で振り分ける。

各地点における留置調査票の使用順序は、地点ごとの対象者名簿にあらかじめ印刷している。

#### <留置調査と面接調査の実施順序>

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行うが、留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せる。調査員には、面接調査票の末尾に、面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか（面接 留置）、留置を先に実施し面接を後から実施したか（留置 面接）を記録させる。

#### <対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方>

JGSS-2006 では、対象者への謝礼の渡し方や調査の依頼の仕方について検討し、以下のような方策を実施した。

##### 1) 謝礼の渡し方の変更

謝礼は 2 つ用意している。図書カードとペンセット（3 本組）である。図書カードは 500 円のを 2 枚用意しており、1 枚は依頼状に貼り付けるかたちですべての対象者に先渡しした。もう 1 枚は面接調査と留置調査の両方に協力していただいた対象者のみに後渡しした。依頼状には、「調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらに図書カード（500 円分）とペンセットを御用意しております」と記している。ペンセットは調査の過程で調査員が適切と判断した時に渡した。

##### 2) 依頼状の変更

対象者への協力依頼の文書を親しみやすい文面とレイアウトに変更した。謝礼の先渡しに反発を招かないように、文面をさらに丁寧なものへと変更した。

### 3) パンフレットの作成

依頼状とは別に、図や写真を用いて、調査目的や調査の仕方を説明するカラー印刷のパンフレットを同封した。

### 4) 封筒の変更

依頼状とパンフレットの入った封筒がすぐに捨てられないように、A4 の入る淡いピンク色の定形外封筒を用い、封筒には記念切手を貼った。

#### <調査員の訪問ルール・訪問記録>

JGSS-2005 では、調査員に対して、1) 対象者と会えるまで 4 日以上訪問する、2) 平日と休日の両方に訪問する、という 2 つの訪問ルールを求めている。しかし、JGSS-2005 の回収状況を調べた結果、平日と休日の両方に訪問しても、回収の効果が認められなかったため、この制約を外した。したがって、JGSS-2006 では、「対象者と会えるまで 4 日以上訪問する」というルールのみを調査員に求めている。

また、調査員には回収の有無に関係なく、すべてのケースについて面接調査票の表紙に、回収状況と訪問記録を記入することを求めている。訪問記録には、対象者に会えるまでのすべての訪問について、訪問日、訪問時間、話をした人（本人、家族のみ、不在）の記録を求めている。ただし、訪問が 10 回を超えた場合は、11 回以上の記録は残さなくてよいことにしている。

さらに、面接調査票と留置調査票のどちらか一方でも回収できなかったケース（調査不能のケース）については、面接調査票の表紙の裏の頁（2 頁目）に、調査不能と決定した日時、調査不能の理由、その具体的な状況、対象者の家の種類（一戸建て、集合住宅など）を記載することを調査員に求めている。JGSS-2006 では、これらに加えて、集合住宅であった場合のオートロックの有無の記入を求めている。対象者の家の種類やオートロックの有無を調査員に記入してもらうのは、これらが調査不能の要因になっているかどうかを確認するためである。

#### <実査>

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、社団法人中央調査社に委託した。

岩井 紀子・穴戸 邦章

### . 3 調査の方法：JGSS-2008

JGSS-2008 の調査方法について、調査設計、層化の方法、標本数の配分、地点の抽出方法、対象者の抽出方法、2 種類の留置調査票の割り振り方、留置調査と面接調査の実施順序、対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方、調査員の訪問回数・訪問日・訪問記録の観点に分けて、以下にまとめる。

#### 1. 調査設計

- 実査時期 : 2008 年 10 ~ 12 月
- 母集団 : 2008 年 8 月 31 日時点で全国に居住する満 20 ~ 89 歳の男女個人  
(大正 7 年 9 月 1 日 ~ 昭和 63 年 8 月 31 日までに生まれた男女)
- 標本数 : 8,000
- 地点数 : 529 地点
- 抽出方法 : 層化 2 段無作為抽出法
- 抽出台帳 : 住民基本台帳
- 抽出間隔 : 抽出台帳の並び順が地番順の場合  
20 歳以上人口が 4 万人以上の区と市では、21  
20 歳以上人口が 4 万人未満の市郡では、11  
抽出台帳の並び順が 50 音順の場合は、11

#### 2. 層化の方法

全国の市町村を 6 つの地域ブロックに区分した。さらに、各ブロック内の市郡規模によって 4 つに区分した。計 24 層となる。JGSS-2005 までの市郡規模は、「大都市(東京都区部と政令指定都市)」、「その他の市」、「郡部」の 3 区分であったが、平成の市町村合併によって「その他の市」の割合が増加したため、JGSS-2006 以降は「その他の市」を「人口 20 万人以上の市」と「人口 20 万人未満の市」の 2 つに分けている。地域ブロックと市郡規模の区分の仕方は下記のとおりである。

##### <地域ブロック>

- 1) 北海道・東北 : 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 2) 関東 : 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
- 3) 中部 : 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 4) 近畿 : 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 5) 中国・四国 : 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
- 6) 九州 : 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

##### <市郡規模>

- 1) 大都市 : 札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市
- 2) 人口 20 万人以上の市
- 3) 人口 20 万人未満の市
- 4) 郡部

### 3. 標本数の配分

各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳以上人口の大きさにより 8,000 の標本を比例配分した。2007 年 3 月 31 日時点での男女・年齢階級（5 歳階級）別住民基本台帳登録者数を母集団とした。ただし、80 歳以上は一括表示となっているため、80～89 歳の人口は、2005 年 10 月 1 日時点での国勢調査の各区市町村男女各歳別（1 歳刻み）人口比率で補正した。

### 4. 地点の抽出方法

- 1) 平成 17 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第 1 次抽出単位として使用した。
- 2) 調査地点数については、各層ごとに 1 調査地点の標本数が 15 前後になるように設定した。
- 3) 各層ごとに抽出間隔（層における母集団人口の合計 ÷ 層で算出された調査地点数）を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の人が属する基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番目の人が属する基本単位区を抽出した。
- 4) 抽出に際しての各層における区市町村の配列順序は、総務省設定の市区町村コードの順序に従った。以上の結果、ブロック・市郡規模別（24 層）の母集団人口・標本数・調査地点数は、表 1 のとおりであり、各層の母集団人口の構成割合は表 2 のとおりである。

表 1 各層の母集団人口・標本数・調査地点数

	大都市	人口 20 万 以上の市	人口 20 万 未満の市	郡 部	計
北海道・東北	2,341,397 183(12)	2,461,564 193(13)	5,000,214 391(26)	2,473,776 194(13)	12,276,951 961(64)
関 東	12,679,178 992(66)	8,235,210 644(42)	10,703,873 838(55)	1,951,550 153(10)	33,569,811 2,627(173)
中 部	3,606,994 282(18)	4,354,733 341(22)	8,657,029 677(45)	2,092,110 164(11)	18,710,866 1,464(96)
近 畿	5,095,776 399(26)	5,021,348 393(26)	5,423,760 424(28)	1,041,450 81(6)	16,582,334 1,297(86)
中国・四国	907,911 71(5)	2,950,681 231(15)	4,458,090 349(23)	1,112,113 87(6)	9,428,795 738(49)
九 州	1,895,788 148(10)	2,894,985 227(15)	4,994,634 391(26)	1,878,534 147(10)	11,663,941 913(61)
計	母集団人口 26,527,044	25,918,521	39,237,600	10,549,533	102,232,698
	標本数(地点数) 2,075(137)	2,029(133)	3,070(203)	826(56)	8,000(529)

（市町村の合併状況は 2008 年 11 月 1 日時点まで反映）

表 2 各層の母集団人口の構成割合（全体％）

	大都市	人口 20 万 以上の市	人口 20 万 未満の市	郡 部	計
北海道・東北	2.3	2.4	4.9	2.4	12.0
関 東	12.4	8.1	10.5	1.9	32.8
中 部	3.5	4.3	8.5	2.0	18.3
近 畿	5.0	4.9	5.3	1.0	16.2
中国・四国	0.9	2.9	4.4	1.1	9.2
九 州	1.9	2.8	4.9	1.8	11.4
計	25.9	25.4	38.4	10.3	100.0

## 5. 対象者の抽出方法

各地点において、等間隔抽出法により、対象者（13～16名）を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。なお、予備対象は用いないので、抽出しない。

### 1) 地番順（記載されている人々の住所によって配列されている）の場合

指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人（台帳の一番初めの人ではなく、指定地域内居住の最初の人）を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正7年9月1日～昭和63年8月31日生まれ）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（21または11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。

第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。

指定の町・丁目・字の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。

抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する町・丁目・字に移り、先と一連のものとして抽出を続ける。

### 2) 50音順（記載されている人々の姓の読みによってアイウエオ順に配列されている）の場合

指定の町・丁目・字（番地範囲）が含まれている台帳を用いて、あらかじめランダムに決定した「スタートの文字（カタカナ）」と同じ音で始まる姓の先頭の人から、年齢条件と地番条件に関係なくすべての人を数えて、「スタート番号（数字）」番目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正7年9月1日～昭和63年8月31日生まれで、指定地域に居住する）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。

第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。

指定の町・丁目・字（番地範囲）の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。

抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する町・丁目・字（番地範囲）を設定し、先と一連のものとして抽出を続ける。

注1) 同一世帯内で2人目が抽出されそうになった場合には、2人目は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

### 3) 男女別の台帳の場合

#### スタート番号が偶数の場合

対象者が 16 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 8 名(対象番号 09～16)

対象者が 15 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 7 名(対象番号 09～15)

対象者が 14 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 7 名(対象番号 08～14)

対象者が 13 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 6 名(対象番号 08～13)

#### スタート番号が奇数の場合

対象者が 16 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 8 名(対象番号 09～16)

対象者が 15 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 8 名(対象番号 08～15)

対象者が 14 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 7 名(対象番号 08～14)

対象者が 13 名の地点：男 6 名(対象番号 01～06)、女 7 名(対象番号 07～13)

抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順または 50 音順の方法に従う。

男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性の抽出は、以下を適用する。

- ・地番順の場合：男性の最終対象の番地の次の番地以降で抽出間隔を数えて行う
- ・50 音順の場合：男性の最終対象の姓の次の姓以降で抽出間隔を数えて行う

### 6. 2種類の留置調査票の割り振り方

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行うが、留置調査票は、A 票（青色）または B 票（ふじ色）のどちらかを用いる。A 票と B 票を対象者全体の約半数ずつにランダムに配付するために、以下のような手続きを用いた。

地点番号が偶数の場合：対象者番号順に、A、B、A、B、...で振り分ける。

地点番号が奇数の場合：対象者番号順に、B、A、B、A、...で振り分ける。

各地点における留置調査票の使用順序は、地点ごとの対象者名簿にあらかじめ印刷している。

### 7. 留置調査と面接調査の実施順序

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行なうが、留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せる。調査員には、面接調査票の末尾に、面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか（面接 留置）、留置を先に実施し面接を後から実施したか（留置 面接）を記録させる。

### 8. 対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方

JGSS-2008 では、対象者への謝礼の渡し方や調査の依頼の仕方について検討し、以下のような方策を実施した。

#### 1) 謝礼の渡し方の変更

謝礼は 2 つ用意している。図書カードとペンセット（3 本組）である。図書カードは 500 円のもの 2 枚用意しており、1 枚は依頼状に貼り付けるかたちですべての対象者に先渡した。もう一枚は面接調査と留置調査の両方に協力していただいた対象者のみに後渡しした。依頼状には、「調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらに図書カード（500 円分）とペンセットを御用意しております」と記している。ペンセットは調査の過程で調査員が適切と判断した時に渡した。

#### 2) 依頼状の変更

対象者への協力依頼の文書を親しみやすい文面とレイアウトに変更した。謝礼の先渡しに反発を

招かないように、文面をさらに丁寧なものへと変更した。

### 3) パンフレットの作成

依頼状とは別に、図や写真を用いて、調査目的や調査の仕方を説明するカラー印刷のパンフレットを同封した。

### 4) 封筒の変更

依頼状とパンフレットの入った封筒がすぐに捨てられないように、A4 の入る淡いピンク色の定形外封筒を用い、封筒には記念切手を貼った。

## 9. 調査員の訪問ルール・訪問記録

JGSS-2005 では、調査員に対して、1) 対象者と会えるまで 4 日以上訪問する、2) 平日と休日の両方に訪問する、という 2 つの訪問ルールを求めている。しかし、JGSS-2005 の回収状況を調べた結果、平日と休日の両方に訪問しても、回収の効果が認められなかったため、この制約を外した。したがって、JGSS-2006 以降では、「対象者と会えるまで 4 日以上訪問する」というルールのみを調査員に求めている。

また、調査員には回収の有無に関係なく、すべてのケースについて面接調査票の表紙に、回収状況と訪問記録を記入することを求めている。訪問記録には、対象者に会えるまでのすべての訪問について、訪問日、訪問時間、話をした人（本人、家族のみ、不在）の記録を求めている。ただし、訪問が 10 回を超えた場合は、11 回以上の記録は残さなくてよいことにしている。

さらに、面接調査票と留置調査票のどちらか一方でも回収できなかったケース（調査不能のケース）については、面接調査票の表紙の裏の頁（2 頁目）に、調査不能と決定した日時、調査不能の理由、その具体的な状況、対象者の家の種類（一戸建て、集合住宅など）を記載することを調査員に求めている。JGSS-2006 以降では、これらに加えて、集合住宅であった場合のオートロックの有無の記入を求めている。対象者の家の種類やオートロックの有無を調査員に記入してもらうのは、これらが調査不能の要因になっているかどうかを確認するためである。

## 10. 実査

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、社団法人中央調査社に委託した。

岩井 紀子・宍戸 邦章



### . 3 調査の方法：JGSS-2010

JGSS-2010 の調査方法について、調査設計、層化の方法、標本数の配分、地点の抽出方法、対象者の抽出方法、2種類の留置調査票の割り振り方、留置調査と面接調査の実施順序、対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方、調査員の訪問回数・訪問日・訪問記録の観点に分けて、以下にまとめる。

#### 1. 調査設計

- 実査時期 : 2010年2~4月
- 母集団 : 2009年12月31日時点で全国に居住する満20~89歳の男女個人  
(大正9年1月1日~平成元年12月31日までに生まれた男女)
- 標本数 : 9,000
- 地点数 : 600地点
- 抽出方法 : 層化2段無作為抽出法
- 抽出台帳 : 住民基本台帳
- 抽出間隔 : 抽出台帳の並び順が地番順の場合  
20歳以上人口が4万人以上の区と市では、21  
20歳以上人口が4万人未満の市郡では、11  
抽出台帳の並び順が50音順の場合は、11

#### 2. 層化の方法

全国の市町村を6つの地域ブロックに区分した。さらに、各ブロック内の市郡規模によって4つに区分した。計24層となる。JGSS-2005までの市郡規模は、「大都市(東京都区部と政令指定都市)」、「その他の市」、「郡部」の3区分であったが、平成の市町村合併によって「その他の市」の割合が増加したため、JGSS-2006以降は「その他の市」を「人口20万人以上の市」と「人口20万人未満の市」の2つに分けている。地域ブロックと市郡規模の区分の仕方は下記のとおりである。

##### <地域ブロック>

- 1) 北海道・東北 : 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 2) 関東 : 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
- 3) 中部 : 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 4) 近畿 : 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 5) 中国・四国 : 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
- 6) 九州 : 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

##### <市郡規模>

- 1) 大都市 : 札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京都区部、横浜市、川崎市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市
- 2) 人口20万人以上の市
- 3) 人口20万人未満の市
- 4) 郡部

### 3. 標本数の配分

各ブロック、市郡規模別の層における 20～89 歳人口の大きさにより 9,000 の標本を比例配分した。2008 年 3 月 31 日時点での男女・年齢階級（5 歳階級）別住民基本台帳登録者数を母集団とした。ただし、80 歳以上は一括表示となっているため、80～89 歳の人口は、2005 年 10 月 1 日時点での国勢調査の各区市町村男女各歳別（1 歳刻み）人口比率で補正した。

### 4. 地点の抽出方法

- 1) 平成 17 年国勢調査時に設定された調査区の基本単位区を、第 1 次抽出単位として使用した。
- 2) 調査地点数については、各層ごとに 1 調査地点の標本数が 15 前後になるように設定した。
- 3) 各層ごとに抽出間隔（層における母集団人口の合計 ÷ 層で算出された調査地点数）を算出し、ランダムに決定した「スタート番号」目の人が属する基本単位区を起点として、等間隔抽出法によって抽出間隔番目の人が属する基本単位区を抽出した。
- 4) 抽出に際しての各層における区市町村の配列順序は、総務省設定の市区町村コードの順序に従った。以上の結果、ブロック・市郡規模別（24 層）の母集団人口・標本数・調査地点数は、表 1 のとおりであり、各層の母集団人口の構成割合は表 2 のとおりである。

表 1 各層の母集団人口・標本数・調査地点数

	大都市	人口 20 万以上 の市	人口 20 万未満 の市	郡 部	計
北海道・東北	2,353,612 207(13)	2,454,854 216(14)	4,982,613 438(29)	2,439,470 215(14)	12,230,549 1,076(70)
関東	12,800,859 1,125(76)	8,162,246 717(47)	11,089,416 975(65)	1,727,164 152(10)	33,779,685 2,969(198)
中部	3,621,974 318(21)	4,390,079 386(26)	8,826,351 776(52)	1,903,836 167(11)	18,742,240 1,647(110)
近畿	5,106,657 449(30)	5,031,383 442(30)	5,465,871 480(32)	994,188 87(6)	16,598,099 1,458(98)
中国・四国	1,455,715 128(9)	2,408,300 212(14)	4,440,999 390(26)	1,096,107 96(6)	9,401,121 826(55)
九州	1,902,952 167(11)	2,969,717 261(18)	5,107,601 449(30)	1,674,249 147(10)	11,654,519 1,024(69)
計	母集団人口 27,241,769 標本数（地点数） 2,394(160)	25,416,579 2,234(149)	39,912,851 3,508(234)	9,835,014 864(57)	102,406,213 9,000(600)

市町村の合併状況は 2010 年 3 月 1 日時点まで反映

表 2 各層の母集団人口の構成割合（全体％）

	大都市	人口 20 万以上 の市	人口 20 万未満 の市	郡 部	計
北海道・東北	2.3	2.4	4.9	2.4	11.9
関東	12.5	8.0	10.8	1.7	33.0
中部	3.5	4.3	8.6	1.9	18.3
近畿	5.0	4.9	5.3	1.0	16.2
中国・四国	1.4	2.4	4.3	1.1	9.2
九州	1.9	2.9	5.0	1.6	11.4
計	26.6	24.8	39.0	9.6	100.0

## 5. 対象者の抽出方法

各地点において、等間隔抽出法により、対象者（14～16名）を抽出した。抽出間隔は、抽出台帳の配列方法によって異なる。なお、予備対象は用いないので、抽出しない。

### 1) 地番順（記載されている人々の住所によって配列されている）の場合

指定の町・丁目・字、番地に居住する最初の人（台帳の一番初めの人ではなく、指定地域内居住の最初の人）を起点として、年齢条件に関係なくすべての人を数えて、あらかじめランダムに決定した「スタート番号」目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正9年1月1日～平成元年12月31日生まれ）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（21または11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。

第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。

指定の町・丁目・字の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。

抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても指定の抽出数に達しない場合は、地理的に隣接する町・丁目・字に移り、先と一連のものとして抽出を続ける。

### 2) 50音順（記載されている人々の姓の読みによってアイウエオ順に配列されている）の場合

指定の町・丁目・字（番地範囲）が含まれている台帳を用いて、あらかじめランダムに決定した「スタートの文字（カタカナ）」と同じ音で始まる姓の先頭の人から、年齢条件と地番条件に関係なくすべての人を数えて、「スタート番号（数字）」番目にあたる人に注目する。その人が、抽出対象適格者（大正9年1月1日～平成元年12月31日生まれで、指定地域に居住）であれば、第1対象者として抽出する。適格者でなければ、次の人から改めて年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔（11）番目にあたる人を第1対象者として抽出する。

第1対象者が決まれば、第1対象者の次の人から、年齢条件と地番条件に該当する人のみを数えて、抽出間隔番目にあたる人に（順次）注目し、適格者を抽出する。このことを各地点に割り振られた人数に達するまで繰り返す。

指定の町・丁目・字（番地範囲）の最後までいっても指定の抽出数に達しない場合は、台帳の最初に戻り、先と一連のものとして抽出を続ける。

抽出の起点（スタート番号の数え始め直前の人）まで一巡しても抽出数が不足する場合には、地理的に隣接する町・丁目・字（番地範囲）を設定し、先と一連のものとして抽出を続ける。

注1) 同一世帯内で2人目が抽出されそうになった場合には、2人目は不適格とし、改めて次の人から数えて、抽出間隔番目の人を対象者とする。

### 3) 男女別の台帳の場合

スタート番号が偶数の場合

対象者が16名の地点：男8名(対象番号01～08)、女8名(対象番号09～16)

対象者が15名の地点：男8名(対象番号01～08)、女7名(対象番号09～15)

対象者が14名の地点：男7名(対象番号01～07)、女7名(対象番号08～14)

#### スタート番号が奇数の場合

対象者が 16 名の地点：男 8 名(対象番号 01～08)、女 8 名(対象番号 09～16)

対象者が 15 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 8 名(対象番号 08～15)

対象者が 14 名の地点：男 7 名(対象番号 01～07)、女 7 名(対象番号 08～14)

抽出方法は、台帳の並びに応じて、地番順または 50 音順の方法に従う。

男性の台帳と女性の台帳から別々に抽出するが、スタート番号は男性のみに適用し、女性の抽出は、以下を適用する。

- ・地番順の場合：男性の最終対象の番地の次の番地以降で抽出間隔を数えて行う
- ・50 音順の場合：男性の最終対象の姓の次の姓以降で抽出間隔を数えて行う

#### 6. 2種類の留置調査票の割り振り方

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行うが、留置調査票は、A 票（青色）または B 票（ふじ色）のどちらかを用いる。A 票と B 票を対象者全体の約半数ずつにランダムに配付するために、以下のような手続きを用いた。

地点番号が偶数の場合：対象者番号順に、A、B、A、B、...で振り分ける。

地点番号が奇数の場合：対象者番号順に、B、A、B、A、...で振り分ける。

各地点における留置調査票の使用順序は、地点ごとの対象者名簿にあらかじめ印刷している。

#### 7. 留置調査と面接調査の実施順序

各対象者に対して、面接調査と留置調査の両方を行うが、留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せる。調査員には、面接調査票の末尾に、面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか（面接 留置）、留置を先に実施し面接を後から実施したか（留置 面接）を記録させる。

#### 8. 対象者への謝礼の渡し方・依頼の仕方

JGSS-2010 では、対象者への謝礼の渡し方や調査の依頼の仕方について検討し、以下のような方策を実施した。

##### 1) 謝礼の渡し方

謝礼は 2 つ用意している。図書カードとペンセット（2 本組）である。図書カードは 500 円のもの を 2 枚用意しており、1 枚は依頼状に貼り付けるかたちですべての対象者に先渡した。もう一枚は面接調査と留置調査の両方に協力していただいた対象者のみに後渡しした。依頼状には、「調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらに図書カード（500 円分）とペンセットをご用意しております」と記している。ペンセットは調査の過程で調査員が適切と判断した時に渡した。

##### 2) 依頼状

対象者への協力依頼の文書を親しみやすい文面とレイアウトにした。謝礼の先渡しに反発を招かないように、文面を丁寧なものにしている。

##### 3) パンフレット

依頼状とは別に、図や写真を用いて、調査目的や調査の仕方を説明するカラー印刷のパンフレット（A3 判用紙 2 枚折り両面）を同封した。

##### 4) 封筒

依頼状とパンフレットの入った封筒がすぐに捨てられないように、A4 判用紙の入る淡いピンク色の定形外封筒を用い、封筒には記念切手を貼った。

## 9. 調査員の訪問ルール・訪問記録

JGSS-2005 では、調査員に対して、1) 対象者と会えるまで 4 日以上訪問する、2) 平日と休日の両方に訪問する、という 2 つの訪問ルールを求めていた。しかし、JGSS-2005 の回収状況を調べた結果、平日と休日の両方に訪問しても、回収の効果が認められなかったため、この制約を外した。したがって、JGSS-2006 以降では、「対象者と会えるまで 4 日以上訪問する」というルールのみを調査員に求めている。

また、調査員には回収の有無に関係なく、すべてのケースについて面接調査票の表紙に、回収状況と訪問記録を記入することを求めている。訪問記録には、対象者に会えるまでのすべての訪問について、訪問日、訪問時間、話をした人（本人、家族のみ、不在）の記録を求めている。ただし、訪問が 10 回を超えた場合は、11 回以上の記録は残さなくてよいことにしている。

さらに、面接調査票と留置調査票のどちらか一方でも回収できなかったケース（調査不能のケース）については、面接調査票の表紙の裏の頁（2 頁目）に、調査不能と決定した日時、調査不能の理由、その具体的な状況、対象者の家の種類（一戸建て、集合住宅など）を記載することを調査員に求めている。JGSS-2006 以降では、これらに加えて、集合住宅であった場合のオートロックの有無の記入を求めている。対象者の家の種類やオートロックの有無を調査員に記入してもらうのは、これらが調査不能の要因になっているかどうかを確認するためである。

## 10. 実査

調査地点の抽出、各地点における対象者の抽出、対象者への依頼状の発送、面接調査と留置調査の実施ならびに調査票の点検・回収は、社団法人中央調査社に委託した。

穴戸邦章・岩井紀子

#### 4 回収率ならびに欠票の分析：JGSS-2000

##### <回収率>

アタック総数：4,719 ケース（うち転居 197、住所不明 56、死亡 5）

有効回収数：2,893 ケース

回収率：64.9%

正規対象の回収率：2,766/(4,500-10代2-転居178-住所不明53-死亡5)=2,766/4,262=64.9%

予備対象の回収率：127/(221-転居19-住所不明3)=127/199=63.8%

正規対象の回収率と予備対象の回収率との間には、有意差がない。第2回予備調査の際には違いが見られたが、調査会社への指示や働きかけが巧く作用したのか、今回は予備対象に対する回収状況が改善されたことを示唆していると思われる。

##### 1) 調査対象者の年齢分布

第1回本調査（JGSS-2000）では、選挙人名簿を抽出台帳としている。ここで、人口分布と調査対象者の年齢分布を比較する。年齢条件に反した10代の2名を除く、全調査対象者4,719名を比較検討の対象とする。人口分布は、総務庁統計局が発表している、2000年10月1日現在の国勢調査の1%抽出データを基に、その20歳以上の合計に対する比率を求めて、年代毎の推定人口比率として用いた。

表1によると、80代以上では母集団における比率に比べて標本数が少なく、50代は若干多い傾向が感じられる。第2回予備調査では、20代と80代の割り当て不足が見られたが、20代に関しては改善が見られる。高齢層に対する割り当て不足は、依然として存在するようにも思われるが、国勢調査の1%抽出にも若干の誤差があるので断定できない程度である。

表1 母集団と標本数の年齢別分布

年齢	推定人口比率 (2000.10)	標本数	期待人数	残差
20-29	0.1778	809	839.04	-1.04
30-39	0.1669	762	787.60	-0.91
40-49	0.1676	793	790.90	0.07
50-59	0.1935	972	913.13	1.95
60-69	0.1507	752	711.15	1.53
70-79	0.1013	468	478.03	-0.46
80-89	0.0422	163	199.14	-2.56
合計	1.0000	4719	4718.99	

$\chi^2=12.9^*$

表2 回答者の年齢別分布

年齢	回答者数	期待人数	残差
20-29	393	514.50	-5.36
30-39	416	482.84	-3.04
40-49	495	484.78	0.46
50-59	634	559.79	3.14
60-69	535	435.93	4.74
70-79	332	293.17	2.27
80-89	88	121.98	-3.08
合計	2893	2892.99	

$\chi^2=85.1^{**}$

##### 計算式

$$\text{残差} = \{(\text{標本数}) - (\text{期待人数})\} \div (\text{期待人数})$$

確率変数  $u$  が、標準正規分布に従う場合、 $P(|u|>2.57)=0.01$ 、 $P(|u|>1.96)=0.05$  を参考に6つの階層で検定を繰り返している事を考慮し、残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する3シグマルール（日本規格協会、1998）を準用している。

2) 回答者の年齢別分布

回答者の年齢別分布(表2)を見ると、20歳代、30歳代と80歳代で回答者の割合が低く、50歳代、60歳代、70歳代で回答者の割合が多い傾向が見られる。

<欠票調査票の分析>

正規対象と予備対象のいずれの場合にも、回収が出来なかったケースでは欠票調査票を作成した。

1) 欠票数：1,826 ケース

正規欠票：1,732 ケース(4,500 ケース中、回収数が2,766 ケース、年齢対象外が2 ケース)

予備欠票：94 ケース(221 ケース中、回収数が127 ケース)

表3 欠票理由：全体

単位：ケース数(%)

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・ 入所中	病気・ケガ、 聴力・ 言語障害	その他	合計
正規対象	178(10.3)	53(3.1)	5(0.3)	76(4.4)	320(18.5)	948(54.7)	57(3.3)	88(5.1)	7(0.4)	1732
予備対象	19(20.2)	3(3.2)		1(1.1)	23(24.5)	44(46.8)	1(1.1)	3(3.2)		94
合計	197(10.8)	56(3.1)	5(0.3)	77(4.2)	343(18.8)	992(54.3)	58(3.2)	91(5.0)	7(0.4)	1826

表4 欠票の性別・年齢階級別分布

単位：ケース数(%)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	223(22.2)	209(20.8)	175(17.4)	193(19.2)	108(10.7)	65(6.5)	33(3.3)	1006
女性	193(23.5)	137(16.7)	123(15.0)	145(17.7)	109(13.3)	71(8.7)	42(5.1)	820
合計	416(22.8)	346(18.9)	298(16.3)	338(18.5)	217(11.9)	136(7.4)	75(4.1)	1826

2) 欠票の理由

男性と女性の各々について、年齢階級別にみた欠票理由は、以下の通りである。

表5 年齢階級別欠票理由比率(男性)

単位：ケース数(年齢階級別%)

年齢	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・ 入所中	病気・ケガ、 聴力・ 言語障害	その他	合計
20-29	43(19.3)	8(3.6)		21(9.4)	73(32.7)	76(34.1)		1(0.4)	1(0.4)	223
30-39	31(14.8)	10(4.8)		7(3.3)	57(27.3)	100(47.8)		3(1.4)	1(0.5)	209
40-49	15(8.6)	4(2.3)		6(3.4)	36(20.6)	106(60.6)	1(0.6)	7(4.0)		175
50-59	17(8.8)	5(2.6)		18(9.3)	37(19.2)	104(53.9)	5(2.6)	7(3.6)		193
60-69	8(7.4)	3(2.8)	1(0.9)	4(3.7)	10(9.3)	69(63.9)	4(3.7)	8(7.4)	1(0.9)	108
70-79	2(3.1)	2(3.1)	2(3.1)	1(1.5)	3(4.6)	34(52.3)	7(10.8)	14(21.5)		65
80-89	4(12.1)		1(3.0)		2(6.1)	12(36.4)	7(21.2)	7(21.2)		33
合計	120(11.9)	32(3.2)	4(0.4)	57(5.7)	218(21.7)	501(49.8)	24(2.4)	47(4.7)	3(0.3)	1006

表 6 年齢階級別欠票理由比率（女性）

単位：ケース数（年齢階級別%）

年齢	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
20-29	30(15.5)	4(2.1)		11(5.7)	52(26.9)	94(48.7)		2(1.0)		193
30-39	15(10.9)	4(2.9)		3(2.2)	24(17.5)	86(62.8)	3(2.2)	1(0.7)	1(0.7)	137
40-49	9(7.3)	8(6.5)			12(9.8)	89(72.4)	2(1.6)	2(1.6)	1(0.8)	123
50-59	14(9.7)	3(2.1)		3(2.1)	23(15.9)	96(66.2)	2(1.4)	3(2.1)	1(0.7)	145
60-69	7(6.4)	2(1.8)		3(2.8)	11(10.1)	76(69.7)	3(2.8)	7(6.4)		109
70-79		2(2.8)			1(1.4)	37(52.1)	13(18.3)	17(23.9)	1(1.4)	71
80-89	2(4.8)	1(2.4)	1(2.4)		2(4.8)	13(31.0)	11(26.2)	12(28.6)		42
合計	77(9.4)	24(2.9)	1(0.1)	20(2.4)	125(15.2)	491(59.9)	34(4.1)	44(5.4)	4(0.5)	820

若年層では、転居や一時不在によって欠票になるケースが多い。特に男性において顕著である。拒否に関しては、それほど年齢による違いは少ない。入院中・入所中、病気等は高齢層で多い。

<面接調査と留置調査の実施順序>

面接調査 留置調査 : 2,138 ケース (73.9%)

留置調査 面接調査 : 657 ケース (22.7%)

無回答 : 98 ケース (3.4%)

留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せたところ、面接を先に行うケースが全体の4分の3を占めた。

<回答者の性別・年齢別分布>

表 7 回答者の性別・年齢階級別分布

単位：ケース数 (%)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	181(13.7)	184(14.0)	226(17.1)	289(21.9)	260(19.7)	150(11.4)	28(2.1)	1318
女性	212(13.5)	232(14.7)	269(17.1)	345(21.9)	275(17.5)	182(11.6)	60(3.8)	1575
合計	393(13.6)	416(14.4)	495(17.1)	634(21.9)	535(18.5)	332(11.5)	88(3.0)	2893

[参考文献]

日本規格協会, 1998 「シューハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J).

稲葉 太一



## 4 回収率ならびに欠票の分析：JGSS-2001

### <回収率>

アタック総数：4,822 ケース（うち転居 249、住所不明 84、死亡 16 で 349 ケース）

有効回収数：2,790 ケース

回収率：62.4%

正規対象の回収率：2,638/(4,500-年齢<sup>2</sup>\*-転居 232-住所不明 70-死亡 14)=2,638/4,182=63.1%

予備対象の回収率：152/(324-転居 17-住所不明 14-死亡 2)=152/291=52.2%

正規対象の回収率と予備対象の回収率との間には、有意差がある。しかし、そもそも予備対象の発生する前提として転居、住所不明、死亡があるわけで、相対的に回収率の低い地域に予備対象は起こりやすいと考えられるため、この程度の差はありえろと考える。

### 1) 調査対象者の年齢分布

第2回本調査（JGSS-2001）では、選挙人名簿を抽出台帳としている。ここで、人口分布と調査対象者の年齢分布を比較する。年齢条件に反した2名\*（10歳代1名、90歳代1名）を除く、全調査対象者4,822名を比較検討の対象とする。人口分布は、総務庁統計局が発表している、2000年10月1日現在の国勢調査と、1995年10月1日現在の国勢調査のデータを基に、5年間の人口変動率を計算し2001年10月の人口を推定した。そのうち20歳以上の合計に対する比率を求めて、年代毎の推定人口比率として用いた。

表1によると、20歳代と80歳代のずれは特に問題になる程度ではない。ただ、50歳代が多いように思われる。ただし、この尺度は調査が多段抽出であることを考慮していない目安であることから、即断はできないが、傾向としてはあると考えられる。

表1 母集団と標本数の年齢階級別分布

年齢	推定人口比率 (2001.10)	標本数	期待 人数	残差
20-29	0.17583	807	847.85	-1.40
30-39	0.17037	777	821.51	-1.55
40-49	0.16143	735	778.40	-1.56
50-59	0.19289	1028	930.14	3.21
60-69	0.15165	743	731.26	0.43
70-79	0.10487	530	505.66	1.08
80-89	0.04296	202	207.18	-0.36
合計	1.00000	4822	4822.00	

<sup>2</sup>=18.6\*\*

表2 回答者の年齢階級別分布

年齢	回答 者数	期待 人数	残差
20-29	331	490.57	-7.20
30-39	394	475.32	-3.73
40-49	460	450.38	0.45
50-59	615	538.17	3.31
60-69	509	423.11	4.18
70-79	362	292.57	4.06
80-89	119	119.87	-0.08
合計	2790	2789.99	

<sup>2</sup>=110.9\*\*

### 計算式

$$\text{残差} = \{(\text{標本数}) - (\text{期待人数})\} \div (\text{期待人数})$$

確率変数  $u$  が、標準正規分布に従う場合、 $P(|u|>2.57)=0.01$ ,  $P(|u|>1.96)=0.05$  を参考に6つの階層で検定を繰り返している事を考慮し、残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する3シグマルルール（日本規格協会、1998）を準用している。

2) 回答者の年齢別分布

回答者の年齢階級別分布(表2)を見ると、20歳代、30歳代で回答者の割合が低く、50歳代、60歳代、70歳代で回答者の割合が多い傾向が見られる。この傾向は第1回本調査(JGSS-2000)と変わらない。

<欠票調査票の分析>

正規対象と予備対象のいずれの場合にも、回収が出来なかったケースでは欠票調査票を作成した。

1) 欠票数：2,032 ケース

正規欠票：1,860 ケース(4,500 ケース中、回収数が2,638 ケース、年齢対象外が2 ケース)

予備欠票：172 ケース(324 ケース中、回収数が152 ケース)

面接調査・留置調査ともに欠票：1,978 ケース(97.3%)

面接調査のみ欠票：35 ケース(1.7%)

留置調査のみ欠票：19 ケース(0.9%)

表3 欠票理由：全体

単位：ケース数(%)

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・ 入所中	病気・ケガ、 聴力・ 言語障害	その他	合計
正規対象	232(12.5)	70(3.8)	14(0.8)	62(3.3)	424(22.8)	940(50.5)	36(1.9)	72(3.9)	10(0.5)	1860
予備対象	17(9.9)	14(8.1)	2(1.2)	3(1.7)	38(22.1)	85(49.4)	5(2.9)	7(4.1)	1(0.6)	172
合計	249(12.3)	84(4.1)	16(0.8)	65(3.2)	462(22.7)	1025(50.4)	41(2.0)	79(3.9)	11(0.5)	2032

表4 欠票の性別・年齢階級別分布

単位：ケース数(%)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	248(23.5)	205(19.4)	152(14.4)	228(21.6)	120(11.4)	76(7.2)	28(2.6)	1057
女性	228(23.4)	178(18.3)	123(12.6)	185(19.0)	114(11.7)	92(9.4)	55(5.6)	975
合計	476(23.4)	383(18.8)	275(13.5)	413(20.3)	234(11.5)	168(8.3)	83(4.1)	2032

2) 欠票の理由

男性と女性の各々について、年齢階級別にみた欠票理由は、以下の通りである。

表5 年齢階級別欠票理由比率(男性)

単位：ケース数(年代別%)

年齢	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・ 入所中	病気・ケガ、 聴力・ 言語障害	その他	合計
20-29	53(21.4)	14(5.6)		7(2.8)	100(40.3)	72(29.0)		2(0.8)		248
30-39	20(9.8)	7(3.4)		10(4.9)	82(40.0)	80(39.0)		5(2.4)	1(0.5)	205
40-49	15(9.9)	5(3.3)		11(7.2)	42(27.6)	78(51.3)			1(0.7)	152
50-59	27(11.8)	7(3.1)	1(0.4)	12(5.3)	53(23.2)	120(52.6)	2(0.9)	5(2.2)	1(0.4)	228
60-69	6(5.0)	8(6.7)	5(4.2)	5(4.2)	16(13.3)	68(56.7)	7(5.8)	3(2.5)	2(1.7)	120
70-79	6(7.9)	1(1.3)	3(3.9)	1(1.3)	5(6.6)	38(50.0)	7(9.2)	15(19.7)		76
80-89	8(28.6)		2(7.1)			6(21.4)	2(7.1)	10(35.7)		28
合計	135(12.8)	42(4.0)	11(1.0)	46(4.4)	298(28.2)	462(43.7)	18(1.7)	40(3.8)	5(0.5)	1057

表 6 年齢階級別欠票理由比率（女性）

単位：ケース数（年代別％）

年齢	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
20-29	56(24.6)	10(4.4)		10(4.4)	56(24.6)	89(39.0)	4(1.8)	1(0.4)	2(0.9)	228
30-39	19(10.7)	11(6.2)		4(2.2)	38(21.3)	105(59.0)	1(0.6)			178
40-49	10(8.1)	7(5.7)		2(1.6)	21(17.1)	80(65.0)	1(0.8)	1(0.8)	1(0.8)	123
50-59	12(6.5)	6(3.2)	2(1.1)		28(15.1)	132(71.4)	1(0.5)	4(2.2)		185
60-69	4(3.5)	4(3.5)		2(1.8)	12(10.5)	82(71.9)	2(1.8)	5(4.4)	3(2.6)	114
70-79	7(7.6)	3(3.3)			5(5.4)	55(59.8)	8(8.7)	14(15.2)		92
80-89	6(10.9)	1(1.8)	3(5.5)	1(1.8)	4(7.3)	20(36.4)	6(10.9)	14(25.5)		55
合計	114(11.7)	42(4.3)	5(0.5)	19(1.9)	164(16.8)	563(57.7)	23(2.4)	39(4.0)	6(0.6)	975

若年層では、転居や一時不在によって欠票になるケースが多い。特に男性において顕著である。拒否に関しては、それほど年齢による違いはない。入院中・入所中、病気等は高齢層で多い。

<面接調査と留置調査の実施順序>

面接調査 留置調査：2,115 ケース（75.8％）

留置調査 面接調査：555 ケース（19.9％）

無回答：120 ケース（4.3％）

留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せたとこる、面接を先に行うケースが全体の4分の3を占めた。

<回答者の性別・年齢別分布>

表 7 回答者の性別・年齢階級別分布

単位：ケース数（％）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	170(13.3)	182(14.2)	212(16.5)	276(21.5)	232(18.1)	169(13.2)	42(3.3)	1283
女性	161(10.7)	212(14.1)	248(16.5)	339(22.5)	277(18.4)	193(12.8)	77(5.1)	1507
合計	331(11.9)	394(14.1)	460(16.5)	615(22.0)	509(18.2)	362(13.0)	119(4.3)	2790

[参考文献]

日本規格協会,1998「シューハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J).

稲葉 太一

## 4 回収率ならびに欠票の分析：JGSS-2002

### <回収率>

アタック総数：5,354 ケース（うち正規対象 5,000 ケース、予備対象 354 ケース）

有効回収数：2,953 ケース（うち正規対象 2,780 ケース、予備対象 173 ケース）

回収率（正規対象のみ）：62.3%

2,780/(5,000-住所不明 90-転居 232-死亡 11-長期不在 71-病気 102-入院 28

-その他 6)=2,780/4,460=62.3%

第3回本調査（JGSS-2002）では、回収率の計算式の分母において、拒否と一時不在以外の場合は、調査対象として適していなかったと考え、従来の住所不明、転居、死亡のみならず、長期不在 71 名、病気 102 名、入院 28 名、その他 6 名の 4 つの理由も減ずることに変更した。

また、第3回本調査（JGSS-2002）では、正規対象の回収率のみを記述することとした。予備対象は、そもそも正規対象が採りにくい地点に発生することから、その回収率は正規対象における回収率と比べ低くなる傾向があるので、集計する意味がないと考えた。

### 1) 調査対象者の年齢分布

第3回本調査（JGSS-2002）では、選挙人名簿を抽出台帳としている。ここで、人口分布と調査対象者の年齢分布を比較する。まず、調査設計の妥当性の観点から、正規対象者 5,000 名を比較検討の対象とする。人口分布は、総務庁統計局が発表している、2000 年 10 月 1 日現在の国勢調査と、1995 年 10 月 1 日現在の国勢調査のデータを基に、5 年間の人口変動率を計算し 2002 年 10 月の人口を推定した。これらのデータの 20 歳以上の合計に対する比率を求めて、年代毎の推定人口比率として用いた。

表 1 母集団と標本数の年齢階級別分布

年齢	推定人口比率 (2002.10)	標本数	期待人数	残差
20-29	0.17031	799	851.54	-1.80
30-39	0.17381	811	869.03	-1.97
40-49	0.15745	807	787.23	0.70
50-59	0.19168	1070	958.41	3.60
60-69	0.15413	817	770.66	1.67
70-79	0.10837	520	541.86	-0.94
80-89	0.04425	176	221.27	-3.04
合計	1.00000	5000	5000.00	

カイ二乗値=33.5\*\*

表 2 回答者の年齢階級別分布

年齢	回答者数	期待人数	残差
20-29	342	502.92	-7.18
30-39	428	513.25	-3.76
40-49	501	464.94	1.67
50-59	653	566.04	3.66
60-69	555	455.15	4.68
70-79	366	320.02	2.57
80-89	108	130.68	-1.98
合計	2953	2953.00	

カイ二乗値=114.3\*\*

### 計算式

$$\text{残差} = \{(\text{標本数}) - (\text{期待人数})\} \div (\text{期待人数})$$

確率変数  $u$  が、標準正規分布に従う場合、 $P(|u|>2.57)=0.01$ ,  $P(|u|>1.96)=0.05$  を参考に 7 つの階層で検定を繰り返している事を考慮し、残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する 3 シグマルルール(参考：日本規格協会, 1998「シューハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J)) を準用している。

表 1 によると、50 歳代が多く、80 歳代が少ないという傾向が見られる。ただし、この尺度は、調査

が多段抽出であることを考慮していない目安であることから、即断はできない。

2) 回答者の年齢別分布

回答者の年齢階級別分布を見ると(表2) 20歳, 30歳代で回答者の割合が低く、50歳, 60歳, 70歳代で回答者の割合が多い傾向が見られる。この傾向は、第1回本調査(JGSS-2000)や第2回本調査(JGSS-2001)と変わらない。

<欠票調査票の分析>

正規対象と予備対象のいずれの場合にも、回収が出来なかったケースでは欠票調査票を作成した。

1) 欠票数：2,401 ケース

正規欠票：2,220 ケース (5,000 ケース中、回収数が 2,780 ケース)

予備欠票：181 ケース (354 ケース中、回収数が 173 ケース)

表3 欠票理由：全体

単位：ケース数(%)

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
正規対象	232(10.5)	90(4.1)	11(0.5)	71(3.2)	459(20.7)	1221(55.0)	28(1.3)	102(4.6)	6(0.3)	2220
予備対象	25(13.8)	9(5.0)	1(0.6)	3(1.7)	42(23.2)	93(51.4)	3(1.7)	3(1.7)	2(1.1)	181
合計	257(10.7)	99(4.1)	12(0.5)	74(3.1)	501(20.9)	1314(54.7)	31(1.3)	105(4.4)	8(0.3)	2401

表4 欠票の性別・年齢階級別分布

単位：ケース数(%)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	287(23.0)	230(18.5)	199(16.0)	264(21.2)	159(12.8)	81(6.5)	26(2.1)	1246
女性	229(19.9)	215(18.7)	163(14.1)	223(19.4)	163(14.1)	110(9.5)	49(4.3)	1152
合計	516(21.5)	445(18.6)	362(15.1)	487(20.3)	322(13.4)	191(8.0)	75(3.1)	2398

注：抽出原簿より対象者名簿への転記漏れ(年齢)が3名あったので、この表の合計は2,401名から3名を減じた2,398名である。

2) 欠票の理由

男性と女性の各々について、年齢階級別にみた欠票理由は、以下の通りである。

表5 年齢階級別欠票理由比率(男性)

単位：ケース数(年代別%)

年齢	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
20-29	54(18.8)	17(5.9)		14(4.9)	98(34.1)	100(34.8)	1(0.3)	2(0.7)	1(0.3)	287
30-39	27(11.7)	17(7.4)		10(4.3)	64(27.8)	109(47.4)		3(1.3)		230
40-49	19(9.5)	5(2.5)		12(6.0)	55(27.6)	104(52.3)		4(2.0)		199
50-59	21(8.0)	6(2.3)	1(0.4)	12(4.5)	63(23.9)	155(58.7)	4(1.5)	2(0.8)		264
60-69	11(6.9)	11(6.9)	3(1.9)	5(3.1)	22(13.8)	95(59.7)	3(1.9)	9(5.7)		159
70-79	3(3.7)	1(1.2)	4(4.9)		4(4.9)	50(61.7)	3(3.7)	16(19.8)		81
80-89	2(7.7)	1(3.8)	1(3.8)		2(7.7)	6(23.1)	2(7.7)	12(46.2)		26
合計	137(11.0)	58(4.7)	9(0.7)	53(4.3)	308(24.7)	619(49.7)	13(1.0)	48(3.9)	1(0.1)	1246

表 6 年齢階級別欠票理由比率（女性）

単位：ケース数（年代別％）

年齢	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
20-29	41(17.9)	14(6.1)		6(2.6)	58(25.3)	103(45.0)		6(2.6)	1(0.4)	229
30-39	22(10.2)	11(5.1)		5(2.3)	36(16.7)	136(63.3)	2(0.9)	1(0.5)	2(0.9)	215
40-49	10(6.1)	7(4.3)		4(2.5)	32(19.6)	108(66.3)		2(1.2)		163
50-59	12(5.4)	5(2.2)	1(0.4)	3(1.3)	30(13.5)	162(72.6)	4(1.8)	6(2.7)		223
60-69	16(9.8)	3(1.8)		2(1.2)	22(13.5)	100(61.3)	3(1.8)	16(9.8)	1(0.6)	163
70-79	11(10.0)		1(0.9)	1(0.9)	7(6.4)	72(65.5)	2(1.8)	15(13.6)	1(0.9)	110
80-89	8(16.3)	1(2.0)	1(2.0)		5(10.2)	14(28.6)	7(14.3)	11(22.4)	2(4.1)	49
合計	120(10.4)	41(3.6)	3(0.3)	21(1.8)	190(16.5)	695(60.3)	18(1.6)	57(4.9)	7(0.6)	1152

若年層では、転居や一時不在によって欠票になるケースが多い。特に男性において顕著である。拒否に関しては、それほど年齢による違いはない。入院中・入所中、病気等は高齢層で多い。

<面接調査と留置調査の実施順序>

面接調査 留置調査 : 2,244 ケース (76.0%)

留置調査 面接調査 : 681 ケース (23.1%)

無回答 : 28 ケース (0.9%)

留置調査と面接調査の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮し、調査員の状況判断に任せたとこる、面接を先に行うケースが全体の4分の3を占めた。

<回答者の性別・年齢別分布>

表 7 回答者の性別・年齢階級別分布

単位：ケース数（％）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	166(12.1)	186(13.6)	219(16.0)	327(23.9)	269(19.7)	161(11.8)	39(2.9)	1367
女性	176(11.1)	242(15.3)	282(17.8)	326(20.6)	286(18.0)	205(12.9)	69(4.4)	1586
合計	342(11.6)	428(14.5)	501(17.0)	653(22.1)	555(18.8)	366(12.4)	108(3.7)	2953

[参考文献]

日本規格協会, 1998 「シューハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J).

稲葉 太一

#### 4 回収率ならびに欠票の分析：JGSS-2003

##### <回収率>

アタック総数：8,083 ケース（うち正規対象 7,200 ケース、予備対象 883 ケース）

有効回収数：3,663 ケース（うち正規対象 3,279 ケース、予備対象 384 ケース）

回収率（正規対象のみ）：51.5%

3,279/(7,200-住所不明 135-転居 251-長期不在 170-病気 149-入院 88-死亡 16

-その他 18)=3,279/6,373=51.5%

第4回本調査（JGSS-2003）では、前回調査と同様に、拒否と一時不在以外の理由による場合は、すべて調査対象として適していなかったと考えた。そのため、回収率の計算式の分母から、住所不明・転居・長期不在・病気・入院・死亡・その他の理由による対象者を減じている。

今回の調査でも前回と同様に、正規対象の回収率のみを記述する。予備対象は、そもそも正規対象が採りにくい地点に発生することから、その回収率は正規対象における回収率と比べ低くなる傾向があるので、集計する意味がないという判断である。

##### 1) 調査対象者の年齢分布

第4回本調査（JGSS-2003）では、選挙人名簿を抽出台帳としている。ここで、人口分布と調査対象者の年齢分布を比較する。まず、調査設計の妥当性の観点から、正規対象者 7,200 名を比較検討の対象とする。人口分布は、総務庁統計局が発表している、2000年10月1日現在の国勢調査と、1995年10月1日現在の国勢調査のデータを基に、5年間の人口変動率を計算し2003年10月の人口を推定した。これらのデータの20歳以上の合計に対する比率を求めて、年代毎の推定人口比率として用いた。

表1 母集団と標本数の年齢階級別分布

年齢	推定人口比率 (2003.10)	標本数	期待人数	残差
20-29	0.16452	1054	1184.52	-3.79
30-39	0.17719	1211	1275.75	-1.81
40-49	0.15506	1133	1116.43	0.50
50-59	0.19011	1436	1368.77	1.82
60-69	0.15581	1261	1121.80	4.16
70-79	0.11158	807	803.36	0.13
80-89	0.04575	298	329.37	-1.73
合計	1.00000	7200	7200.00	

$\chi^2=41.5^{**}$

表2 回答者の年齢階級別分布

年齢	回答者数	期待人数	残差
20-29	382	602.62	-8.99
30-39	547	649.04	-4.01
40-49	549	567.98	-0.80
50-59	705	696.36	0.33
60-69	804	570.72	9.76
70-79	534	408.71	6.20
80-89	142	167.57	-1.98
合計	3663	3663.00	

$\chi^2=235.2^{**}$

##### 計算式

$$\text{残差} = \{(\text{標本数}) - (\text{期待人数})\} \div (\text{期待人数})$$

確率変数  $u$  が、標準正規分布に従う場合、 $P(|u|>2.57)=0.01$ ,  $P(|u|>1.96)=0.05$  を参考に7つの階層で検定を繰り返している事を考慮し、残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する3シグマルール(参考：日本規格協会, 1998「シューハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J))を準用している。

表1によると、20歳代が少なく、60歳代が多いという傾向が見られる。ただし、この尺度は、調査が多段抽出であることを考慮していない目安であることから、即断はできない。

2) 回答者の年齢別分布

回答者の年齢階級別分布を見ると(表2)、20歳、30歳代で回答者の割合が低く、60歳、70歳代で回答者の割合が多い傾向が見られる。この傾向は、第1回本調査(JGSS-2000)からほぼ変わらず続いている。

3) 留置調査票の種類による回収率の違い

第4回本調査(JGSS-2003)では、留置調査票をA票とB票の2種類用意し、ほぼ半数ずつの割合でそれぞれの調査票の対象者に割り当てた。留置調査票の種類によって回収率に違いがあるかどうかを確認したところ、以下のようにB票の場合に回収率が低いことが確かめられた。

留置調査票B票は、第3回本調査(JGSS-2002)までの留置調査票とは大きく形式の異なる特殊なものである。したがって、JGSSの時系列的な回収率の推移を検討するためには、むしろ留置調査票がA票の場合の回収率を観察すべきであろう。

留置調査票がA票の場合の回収率(正規対象のみ): 55.0%

1,733/(3,578-住所不明 61-転居 124-長期不在 98-病気 81-入院 45-死亡 8  
-その他 11) = 1,733/3,150 = 55.0%

留置調査票がB票の場合の回収率(正規対象のみ): 48.0%

1,546/(3,622-住所不明 74-転居 127-長期不在 72-病気 68-入院 43-死亡 8  
-その他 7) = 1,546/3,223 = 48.0%

<欠票調査票の分析>

正規対象と予備対象のいずれの場合にも、回収が出来なかったケースでは欠票調査票を作成し、欠票状況の分析に役立てた。

1) 欠票数

欠票調査票を作成した欠票のケース数は以下のとおりである。また、表3は欠票の性別・年齢階級の分布を表している。回答者の性別・年齢階級の分布(表4)と比較すると、欠票には男性および20歳~30歳代の若年者が多いことが分かる。

全欠票: 4,420 ケース (8,083 ケース中、回収数が 3,663 ケース)

正規欠票: 3,921 ケース (7,200 ケース中、回収数が 3,279 ケース)

予備欠票: 499 ケース (883 ケース中、回収数が 384 ケース)

表3 欠票の性別・年齢階級別分布

単位: ケース数 (%)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	437(18.7)	450(19.2)	399(17.0)	494(21.1)	326(13.9)	167(7.1)	70(3.0)	2343
女性	361(17.4)	383(18.4)	309(14.9)	424(20.4)	287(13.8)	200(9.6)	113(5.4)	2077
合計	798(18.1)	833(18.9)	708(16.0)	918(20.8)	613(13.9)	367(8.3)	183(4.1)	4420

表4 回答者の性別・年齢階級別分布

単位: ケース数 (%)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	188(11.8)	213(13.4)	221(13.9)	298(18.7)	375(23.6)	241(15.1)	55(3.5)	1591
女性	194(9.4)	334(16.1)	328(15.8)	407(19.6)	429(20.7)	293(14.1)	87(4.2)	2072
合計	382(10.4)	547(14.9)	549(15.0)	705(19.2)	804(21.9)	534(14.6)	142(3.9)	3663



2) 欠票の理由

欠票の理由の全体的な分布は、表5の通りである。欠票理由の分布に見られる傾向は、第1回本調査(JGSS-2000)以降大きな変化が見られない。拒否による欠票が過半数を占め、他の理由の中では一時不在による欠票が多数を占めている。

また、留置調査票の種類別に欠票の理由の分布を表したものが、表6である。先に留置調査票がB票の場合には回収率が低いことを示したが、欠票理由の分布には大きな違いが見られない。このことから、B票における回収率の低さは、内容の複雑さから対象者に拒否されることが多くなったのではなく、むしろ調査員の負担の大きさが回収率に反映されたものと考えられる(B票の配布に際しては、調査員に事前にいくらかの作業を課している)。

表5 欠票理由の分布：全体

単位：ケース数(%)

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
正規対象	251(6.4)	135(3.4)	16(0.4)	170(4.3)	806(20.6)	2288(58.4)	88(2.2)	149(3.8)	18(0.5)	3921
予備対象	45(9.0)	22(4.4)	0(0.0)	22(4.4)	141(28.3)	235(47.1)	13(2.6)	20(4.0)	1(0.2)	499
合計	296(6.7)	157(3.6)	16(0.4)	192(4.3)	947(21.4)	2523(57.1)	101(2.3)	169(3.8)	19(0.4)	4420

表6 欠票理由の分布：留置票の種類別

単位：ケース数(%)

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計	
A票	正規対象	124(6.7)	61(3.3)	8(0.4)	98(5.3)	357(19.3)	1060(57.5)	45(2.4)	81(4.4)	11(0.6)	1845
	予備対象	16(6.8)	15(6.3)	0(0.0)	11(4.6)	59(24.9)	119(50.2)	7(3.0)	10(4.2)	0(0.0)	237
	合計	140(6.7)	76(3.7)	8(0.4)	109(5.2)	416(20.0)	1179(56.6)	52(2.5)	91(4.4)	11(0.5)	2082
B票	正規対象	127(6.1)	74(3.6)	8(0.4)	72(3.5)	449(21.6)	1228(59.2)	43(2.1)	68(3.3)	7(0.3)	2076
	予備対象	29(11.1)	7(2.7)	0(0.0)	11(4.2)	82(31.3)	116(44.3)	6(2.3)	10(3.8)	1(0.4)	262
	合計	156(6.7)	81(3.5)	8(0.3)	83(3.6)	531(22.7)	1344(57.5)	49(2.1)	78(3.3)	8(0.3)	2338

さらに詳しく、男性と女性の各々について、年齢階級別にみた欠票理由は、以下の通りである。若年層では、転居や一時不在によって欠票になるケースが多い。特に男性において顕著である。拒否に関しては、それほど年齢による違いはない。入院中・入所中、病気等は高齢層で多い。これらの傾向は、前回調査と同様である。

表7 年齢階級別欠票理由比率(男性)

単位：ケース数(年代別%)

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
20-29	77(17.6)	18(4.1)		34(7.8)	128(29.3)	174(39.8)		4(0.9)	2(0.5)	437
30-39	36(8.0)	19(4.2)		31(6.9)	132(29.3)	222(49.3)	2(0.4)	4(0.9)	4(0.9)	450
40-49	15(3.8)	12(3.0)		16(4.0)	116(29.1)	233(58.4)	1(0.3)	3(0.8)	3(0.8)	399
50-59	16(3.2)	19(3.8)		28(5.7)	127(25.7)	286(57.9)	5(1.0)	9(1.8)	4(0.8)	494
60-69	10(3.1)	11(3.4)	4(1.2)	17(5.2)	54(16.6)	197(60.4)	14(4.3)	16(4.9)	3(0.9)	326
70-79	4(2.4)	2(1.2)	2(1.2)	4(2.4)	13(7.8)	113(67.7)	13(7.8)	16(9.6)		167
80-89	2(2.9)	2(2.9)	3(4.3)	1(1.4)	7(10.0)	28(40.0)	12(17.1)	15(21.4)		70
合計	160(6.8)	83(3.5)	9(0.4)	131(5.6)	577(24.6)	1253(53.5)	47(2.0)	67(2.9)	16(0.7)	2343

表 8 年齢階級別欠票理由比率（女性）

単位：ケース数（年代別％）

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・ 入所中	病気・ケガ、 聴力・ 言語障害	その他	合計
20-29	55(15.2)	17(4.7)		16(4.4)	94(26.0)	172(47.6)	2(0.6)	5(1.4)		361
30-39	35(9.1)	13(3.4)		10(2.6)	96(25.1)	218(56.9)	4(1.0)	6(1.6)	1(0.3)	383
40-49	12(3.9)	15(4.9)	2(0.6)	4(1.3)	70(22.7)	202(65.4)	2(0.6)	2(0.6)		309
50-59	13(3.1)	18(4.2)	1(0.2)	12(2.8)	66(15.6)	305(71.9)	3(0.7)	5(1.2)	1(0.2)	424
60-69	8(2.8)	7(2.4)	1(0.3)	9(3.1)	29(10.1)	209(72.8)	10(3.5)	14(4.9)		287
70-79	6(3.0)	3(1.5)	3(1.5)	8(4.0)	11(5.5)	120(60.0)	16(8.0)	32(16.0)	1(0.5)	200
80-89	7(6.2)	1(0.9)		2(1.8)	4(3.5)	44(38.9)	17(15.0)	38(33.6)		113
合計	136(6.5)	74(3.6)	7(0.3)	61(2.9)	370(17.8)	1270(61.1)	54(2.6)	102(4.9)	3(0.1)	2077

<面接調査と留置調査の実施順序>

面接調査票と留置調査票の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮した調査員の状況判断に任されている。ただし、留置調査票の種類が B 票の場合には、調査内容の都合から面接調査票を先に実施することを原則としている。

回収票に占める実施順序の内訳は以下の通りである。面接を先に行ったケースが 9 割以上の大多数を占めている。留置調査票が B 票の場合に限っても、面接を先に行ったケースの割合が多く、その比率は前回調査（JGSS-2002）よりも 10%以上高くなっている。これは調査員が B 票への制約を A 票にも同様に適用し、調査手順を単純化したものと考えられる。

表 9 調査票の順序の分布

単位：ケース数（％）

	面接が先	留置が先	無回答	合計
留置調査票が A 票	1712(87.5)	213(10.9)	32(1.6)	1957
留置調査票が B 票	1671(97.9)	4(0.2)	31(1.8)	1706
合計	3383(92.4)	217(5.9)	63(1.7)	3663

[参考文献]

日本規格協会, 1998, 「シューハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J).

稲葉 太一・保田 時男

## 4 回収率ならびに欠票の分析：JGSS-2005

### <回収率>

#### 1) 回収率の定義

JGSS では、回収率を次の式で算出している。

$$\text{回収率 (\%)} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{抽出標本数} - \text{調査対象者として不適格であった標本数}} \times 100$$

算出にあたっては正規対象のみを用い、予備対象は含めていない。「不適格であった標本」の定義は、住所不明・転居・死亡・長期不在・病気・入院・その他の理由（抽出間違いによる年齢範囲外を含む）による欠票である。なお、JGSS-2001 以前は、住所不明・転居・死亡・年齢範囲外のみを不適格としている。

#### 2) JGSS-2005 の回収率

JGSS-2005 の回収率は、以下のように算出される。

アタック数（計画標本サイズ）：4,500 ケース

有効回収数：2,023 ケース

回収率：50.5%

$$2,023 / (4,500 - \text{住所不明 } 79 - \text{転居 } 190 - \text{長期不在 } 53 - \text{病気 } 96 - \text{入院 } 54 - \text{死亡 } 11$$

$$- \text{その他 } 15) = 2,023 / 4,002 = 50.5\%$$

JGSS-2005 では、予備対象を用いない調査方法に変更された。欠票の理由が何であれ予備対象は全く使用していない。したがって、正規対象についての回収率と全体についての回収率はまったく同じである。

#### 3) 抽出標本の年齢層分布

JGSS では、抽出標本および回答者の年齢層分布が母集団から偏っていないかどうかを、国勢調査データをもとにした母集団人口の年齢層分布と比較することで確認している。総務省統計局が平成 17 年国勢調査の結果をもとに発表している、2005 年 10 月 1 日現在の人口分布を、母集団人口の分布と考え、期待標本サイズや期待回答者数を算出している。

抽出標本の偏りについては、年齢層ごとに以下の計算式で残差を算出し、その目安としている。

$$\text{残差} = \frac{\text{抽出標本サイズ} - \text{期待標本サイズ}}{\sqrt{\text{期待標本サイズ}}}$$

表 1 が抽出標本の偏りを示す集計結果である。なお、標本サイズが 4,498 と 4,500 よりも 2 少ないのは、抽出間違いによる年齢対象外（1 ケース）と年齢不詳者（1 ケース）を除いたためである。残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する 3 シグマルルール（参考：日本規格協会、1998「シューハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J)）を準用するならば、20 代の若年層が少ない傾向および、

60代の壮年層が多い傾向が見られる。これらの偏りの傾向は、これまでのJGSSの傾向と同じものである。

表1 母集団と標本数の年齢階級別分布

年齢	人口比率 (2005.10)	抽出標本 サイズ	期待標本 サイズ	残差
20-29	0.1531	607	688.48	-3.11
30-39	0.1811	769	814.45	-1.59
40-49	0.1548	708	696.22	0.45
50-59	0.1866	895	839.17	1.93
60-69	0.1565	804	703.75	3.78
70-79	0.1165	528	524.17	0.17
80-89	0.0515	187	231.76	-2.94
合計	1.0000	4498	4498.00	

表2 回答者の年齢階級別分布

年齢	回答者数	期待 回答者数	残差
20-29	222	309.65	-4.98
30-39	292	366.31	-3.88
40-49	304	313.13	-0.52
50-59	401	377.42	1.21
60-69	430	316.51	6.38
70-79	283	235.75	3.08
80-89	91	104.23	-1.30
合計	2023	2023.00	

4) 回答者の年齢層分布

回答者の偏りについては、年齢層ごとに以下の計算式で残差を算出している。期待回答者数は、期待標本サイズと同様の方法で、全回答者を各年齢層に比例配分して算出している。

$$\text{残差} = \frac{\text{回答者数} - \text{期待回答者数}}{\sqrt{\text{期待回答者数}}}$$

表2が回答者の偏りを表す集計結果である。3シグマルールに従うならば、20~30代の若年層の回答者が少なく、60~70代の回答者が多い。これらの偏りの傾向は、これまでのJGSSの傾向と同じものであるが、前回調査(JGSS-2003)に比べると、偏りは緩和されている。

<欠票の分析>

1) 欠票の性・年齢層分布

JGSS-2005では、面接調査票が留置調査票のいずれか一方でも回収できなかった場合を欠票とし、面接調査票の2頁目に回収不能と決定した日時やその理由などを記録している。回収不能状況を記録した欠票のケース数は、2,477である(計画標本サイズ4,500 - 回収票数2,023)。

欠票の性別・年齢層別の分布は表3のとおりである。全体的な傾向は、これまでのJGSSと同様である。なお、ここで示しているのは欠票の発生率ではなく絶対数なので、標本の人口構造に依存している。参考のために、回答者の性別・年齢層別の分布を表4に示しておく。

表3 欠票の性別・年齢層別分布

単位：ケース数(%)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	207(16.2)	261(20.5)	221(17.3)	257(20.1)	188(14.7)	106(8.3)	36(2.8)	1276
女性	178(14.8)	216(18.0)	183(15.3)	237(19.8)	186(15.5)	139(11.6)	60(5.0)	1199
合計	385(15.6)	477(19.3)	404(16.3)	494(20.0)	374(15.1)	245(9.9)	96(3.9)	2475

表 4 回答者の性別・年齢層別分布

単位：ケース数（％）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	90(9.8)	125(13.6)	136(14.8)	187(20.3)	206(22.4)	137(14.9)	39(4.2)	920
女性	132(12.0)	167(15.1)	168(15.2)	214(19.4)	224(20.3)	146(13.2)	52(4.7)	1103
合計	222(11.0)	292(14.4)	304(15.0)	401(19.8)	430(21.3)	283(14.0)	91(4.5)	2023

## 2) 欠票理由の分布

性別、年齢層別の欠票理由の分布は表 5、6 のとおりである。拒否を理由とする欠票が 6 割を超え、一時不在を理由とする欠票がこれに続く。細かく見ると、若年層に転居や一時不在による欠票が多く、高齢層に健康面での理由による欠票が多い。全体的な傾向は、これまでの JGSS の傾向と同じであるが、前回調査（JGSS-2003）と比べると、一時不在の割合が減り拒否の割合が増えている。

表 5 年齢層別欠票理由比率（男性）

単位：ケース数（年代別％）

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
20-29	43(20.8)	10(4.8)		4(1.9)	54(26.1)	92(44.4)		2(1.0)	2(1.0)	207
30-39	24(9.2)	11(4.2)		9(3.4)	76(29.1)	137(52.5)	1(0.4)	1(0.4)	2(0.8)	261
40-49	13(5.9)	3(1.4)		8(3.6)	42(19)	148(67.0)	2(0.9)	5(2.3)		221
50-59	13(5.1)	10(3.9)		10(3.9)	47(18.3)	170(66.1)	6(2.3)		1(0.4)	257
60-69	12(6.4)	6(3.2)			11(5.9)	146(77.7)	3(1.6)	9(4.8)	1(0.5)	188
70-79	1(0.9)	2(1.9)	4(3.8)	1(0.9)	4(3.8)	72(67.9)	6(5.7)	16(15.1)		106
80-89	1(2.8)		2(5.6)		4(11.1)	13(36.1)	8(22.2)	8(22.2)		36
合計	107(8.4)	42(3.3)	6(0.5)	32(2.5)	238(18.7)	778(61.0)	26(2.0)	41(3.2)	6(0.5)	1276

表 6 年齢層別欠票理由比率（女性）

単位：ケース数（年代別％）

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・入所中	病気・ケガ、聴力・言語障害	その他	合計
20-29	28(15.7)	8(4.5)		4(2.2)	43(24.2)	90(50.6)	1(0.6)	3(1.7)	1(0.6)	178
30-39	20(9.3)	8(3.7)		4(1.9)	45(20.8)	137(63.4)			2(0.9)	216
40-49	12(6.6)	4(2.2)		3(1.6)	25(13.7)	131(71.6)	3(1.6)	4(2.2)	1(0.5)	183
50-59	6(2.5)	3(1.3)	1(0.4)	3(1.3)	30(12.7)	182(76.8)	3(1.3)	7(3.0)	2(0.8)	237
60-69	8(4.3)	7(3.8)		3(1.6)	18(9.7)	138(74.2)	3(1.6)	8(4.3)	1(0.5)	186
70-79	6(4.3)	6(4.3)	2(1.4)	1(0.7)	8(5.8)	94(67.6)	8(5.8)	14(10.1)		139
80-89	3(5.0)	1(1.7)	2(3.3)	3(5.0)	1(1.7)	20(33.3)	10(16.7)	19(31.7)	1(1.7)	60
合計	83(6.9)	37(3.1)	5(0.4)	21(1.8)	170(14.2)	792(66.1)	28(2.3)	55(4.6)	8(0.7)	1199

## &lt;補足&gt;

## 1) 面接調査と留置調査の実施順序

面接調査票の裏表紙には、面接調査票と留置調査票の実施順序や、面接調査の所要時間などが記録されている。面接調査票と留置調査票の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮した調査員の状況判断に任されている。回収票に占める実施順序の内訳は表 7 の通りである。面接を先に行ったケースが 8 割以上の大多数を占めている。前回調査（JGSS-2003）に比べると、若干、留置が先の割合が増えている。

表 7 調査票の順序の分布

単位：ケース数（％）

面接が先	留置が先	無回答	合計
1688(83.4)	284(14.0)	51(2.5)	2023

## 2) 面接調査の調査時間

面接調査の所要時間の平均値および標準偏差は、表 8 のとおりである(時間が不明のケースを除く)。全体的に 20 分強が平均的な所要時間であるが、高齢者ほど時間が長くなる傾向がある。また、男性よりも女性の方が、若年者よりも高齢者の方が時間のばらつきが大きい傾向がある。

表 8 性別・年齢層別の面接調査の平均所要時間

単位：分

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	20.2(5.98)	19.9(5.72)	21.1(6.57)	22.9(7.91)	23.8(8.85)	25.1(9.45)	27.4(8.72)	22.7(8.06)
女性	20.0(6.61)	20.7(6.35)	21.5(6.52)	24.3(8.75)	24.2(8.61)	28.5(14.04)	28.8(15.09)	23.5(9.58)
合計	20.2(5.98)	19.9(5.72)	21.1(6.57)	22.9(7.91)	23.8(8.85)	25.1(9.45)	27.4(8.72)	22.7(8.06)

注：カッコ内は標準偏差

## 3) 訪問回数

JGSS-2005 では、回収票についても欠票についても面接調査票の表紙で訪問回数や日時などを記録している。表 9 は、回収票について、回答者本人に会える（または欠票が決定する）までの訪問回数の平均値および標準偏差の分布をまとめたものである。男女差はほとんど見られず、若年者に対する訪問回数が多い（なかなか会えない）ことが分かる。

また、表 10 は欠票について、同様に訪問回数の平均値と標準偏差をまとめたものである。当然ながら全体的に回収票よりも訪問回数が多い。性別、年齢層別の傾向は回収票とほぼ同様であるが、中年男性に対する訪問回数が中年女性よりも多い傾向がある。なお、集計からは、訪問回数が不明なケースおよび事前に断られたケースは除いている。

表 9 性別・年齢層別の平均訪問回数（回収票）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	3.0(1.94)	3.1(1.82)	2.8(1.73)	2.7(1.57)	2.4(1.44)	2.0(1.34)	1.8(1.00)	2.6(1.63)
女性	3.3(1.90)	2.4(1.57)	2.7(1.73)	2.6(1.83)	2.0(1.32)	1.8(1.15)	1.7(0.97)	2.4(1.64)
合計	3.2(1.92)	2.7(1.71)	2.8(1.73)	2.7(1.71)	2.2(1.39)	1.9(1.25)	1.7(0.98)	2.5(1.64)

注：カッコ内は標準偏差

表 10 性別・年齢層別の平均訪問回数（欠票）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	3.6(2.32)	4.1(2.46)	3.6(2.30)	3.4(2.34)	2.5(1.74)	2.2(1.69)	2.5(1.77)	3.4(2.29)
女性	3.7(2.39)	3.7(2.48)	3.0(2.01)	3.0(2.27)	2.8(2.21)	2.3(1.76)	2.1(1.25)	3.1(2.25)
合計	3.6(2.35)	3.9(2.48)	3.4(2.19)	3.3(2.31)	2.6(1.99)	2.3(1.73)	2.3(1.48)	3.2(2.28)

注：カッコ内は標準偏差

保田 時男・稲葉 太一

## 4 回収率ならびに欠票の分析：JGSS-2006

### <回収率>

#### 1) 回収率の定義

JGSS では、回収率を次の式で算出している。

$$\text{回収率 (\%)} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{抽出標本数} - \text{調査対象者として不適格であった標本数}} \times 100$$

算出にあたっては正規対象のみを用い、予備対象は含めていない。「不適格であった標本」の定義は、住所不明・転居・死亡・長期不在・病気・入院・その他の理由（抽出間違いによる年齢範囲外を含む）による欠票である。なお、JGSS-2002 以前は、住所不明・転居・死亡・年齢範囲外のみを不適格としている。

#### 2) JGSS-2006 の回収率

JGSS-2006 の回収率は、以下のように算出される。

アタック数（計画標本サイズ）：A 票 4,002 ケース

B 票 3,998 ケース

有効回収数：A 票 2,124 ケース

B 票 2,130 ケース

回収率：A 票 59.8%

2,124 / (4,002 - 住所不明 71 - 転居 164 - 長期不在 71 - 病気 76 - 入院 43 - 死亡 9

- その他 14) = 2,124 / 3,554 = 59.8%

B 票 59.8%

2,130 / (3,998 - 住所不明 83 - 転居 151 - 長期不在 60 - 病気 72 - 入院 48 - 死亡 8

- その他 16) = 2,130 / 3,560 = 59.8%

JGSS-2005 以降は、欠票の理由が何であれ予備対象は全く使用していない。したがって、正規対象についての回収率が全体についての回収率を表す。

#### 3) 抽出標本の年齢層分布

JGSS では、抽出標本および回答者の年齢層分布が母集団から偏っていないかどうかを、母集団人口の年齢層分布と比較することで確認している。母集団人口の分布は、総務省統計局が国勢調査の結果と他の人口関連資料による人口の動きをもとに公表している推計人口分布（2006年10月1日現在）と考え、この推計人口分布をもとに期待標本サイズや期待回答者数を算出している。

抽出標本の偏りについては、年齢層ごとに以下の計算式で残差を算出し、その目安としている。

$$\text{残差} = \frac{\text{抽出標本サイズ} - \text{期待標本サイズ}}{\sqrt{\text{期待標本サイズ}}}$$

表1が抽出標本の偏りを示す集計結果である。残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する3シグマルール（参考：日本規格協会，1998「シューハート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J)）を

準用するならば、80代が有意に少ない。判定の結果は調査年度ごとにやや異なるが、その違いは標本サイズの違いにも依存するので、傾向が変わったとはいえない。若年層と高齢層の抽出が少なく、50～60代の壮年層の抽出が多い傾向は共通している。

表1 母集団と標本数の年齢階級別分布表

年齢	推計人口比率 (2006.10)	抽出標本 サイズ	期待標本 サイズ	残差
20-29	.14915	1122	1193.22	-2.06
30-39	.18410	1429	1472.80	-1.14
40-49	.15256	1234	1220.47	0.39
50-59	.18728	1611	1498.26	2.91
60-69	.15344	1312	1227.55	2.41
70-79	.11897	962	951.79	0.33
80-89	.05449	330	435.91	-5.07
合計	1.00000	8000	8000.00	

表2 回答者の年齢階級別分布

年齢	回答者数	期待 回答者数	残差
20-29	436	634.49	-7.88
30-39	703	783.16	-2.86
40-49	644	648.98	-0.20
50-59	873	796.70	2.70
60-69	845	652.75	7.52
70-79	585	506.11	3.51
80-89	168	231.80	-4.19
合計	4254	4254.00	

4) 回答者の年齢層分布

回答者の偏りについては、年齢層ごとに以下の計算式で残差を算出している。期待回答者数は、期待標本サイズと同様の方法で、全回答者を各年齢層に比例配分して算出している。

$$\text{残差} = \frac{\text{回答者数} - \text{期待回答者数}}{\sqrt{\text{期待回答者数}}}$$

表2が回答者の偏りを表す集計結果である。3シグマルールに従うならば、20代の若年層と80代の高齢層の回答者が少なく、60～70代の回答者が多い。これらの偏りの傾向は、これまでのJGSSの傾向と同じである。前回調査(JGSS-2005)と比べれば偏りが大きい。これは標本サイズの違いによるものである。近い規模の標本サイズ(7,200)で実施したJGSS-2003と比べれば、偏りは緩和されており、回収率が向上した効果が表れているものと考えられる。

<欠票の分析>

1) 欠票の性・年齢層分布

JGSS-2006では、面接調査票が留置調査票のいずれか一方でも回収できなかった場合を欠票とし、面接調査票の2頁目に回収不能と決定した日時やその理由などを記録している。回収不能状況を記録した欠票のケース数は、3,746である(計画標本サイズ8,000 - 回収票数4,254)。

欠票の性別・年齢層別の分布は表3のとおりである。全体的な傾向は、これまでのJGSSと同様である。なお、ここで示しているのは欠票の発生率ではなく絶対数なので、標本の人口構造に依存している。参考のために、回答者の性別・年齢層別の分布を表4に示しておく。

表3 欠票の性別・年齢層別分布

単位：ケース数(%)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	349(18.1)	401(20.8)	337(17.4)	399(20.7)	228(11.8)	161(8.3)	57(3.0)	1932
女性	337(18.6)	325(17.9)	253(13.9)	339(18.7)	239(13.2)	216(11.9)	105(5.8)	1814
合計	686(18.3)	726(19.4)	590(15.8)	738(19.7)	467(12.5)	377(10.1)	162(4.3)	3746



表 4 回答者の性別・年齢層別分布

単位：ケース数（％）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	205(10.3)	325(16.4)	285(14.3)	413(20.8)	403(20.3)	288(14.5)	68(3.4)	1987
女性	231(10.2)	378(16.7)	359(15.8)	460(20.3)	442(19.5)	297(13.1)	100(4.4)	2267
合計	436(10.2)	703(16.5)	644(15.1)	873(20.5)	845(19.9)	585(13.8)	168(3.9)	4254

## 2) 欠票理由の分布

性別、年齢層別の欠票理由の分布は表 5、6 のとおりである。拒否を理由とする欠票が 5 割以上を占め、一時不在を理由とする欠票がこれに続く。細かく見ると、若年層に転居や一時不在による欠票が多く、高齢層に健康面での理由による欠票が多い。全体的な傾向は、これまでの JGSS の傾向と同じであるが、前回調査（JGSS-2005）と比べると拒否の割合が減っている。

表 5 年齢層別欠票理由比率（男性）

単位：ケース数（％）

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・ 入所中	病気・ケガ、 聴力・ 言語障害	その他	合計
20-29	66(18.9)	25(7.2)		13(3.7)	101(28.9)	138(39.5)		4(1.1)	2(0.6)	349
30-39	50(12.5)	25(6.2)		16(4.0)	109(27.2)	192(47.9)	1(0.2)	3(0.7)	5(1.2)	401
40-49	24(7.1)	15(4.5)		14(4.2)	72(21.4)	203(60.2)	3(0.9)	5(1.5)	1(0.3)	337
50-59	29(7.3)	14(3.5)		23(5.8)	81(20.3)	234(58.6)	2(0.5)	7(1.8)	9(2.3)	399
60-69	9(3.9)	8(3.5)	4(1.8)	10(4.4)	37(16.2)	142(62.3)	11(4.8)	7(3.1)		228
70-79	2(1.2)	2(1.2)	6(3.7)	2(1.2)	13(8.1)	109(67.7)	10(6.2)	16(9.9)	1(0.6)	161
80-89	2(3.5)	1(1.8)	4(7.0)		6(10.5)	21(36.8)	8(14.0)	15(26.3)		57
合計	182(9.4)	90(4.7)	14(0.7)	78(4.0)	419(21.7)	1039(53.8)	35(1.8)	57(3.0)	18(0.9)	1932

表 6 年齢層別欠票理由比率（女性）

単位：ケース数（％）

	転居	住所不明	死亡	長期不在	一時不在	拒否	入院中・ 入所中	病気・ケガ、 聴力・ 言語障害	その他	合計
20-29	58(17.2)	15(4.5)		23(6.8)	109(32.3)	127(37.7)		2(0.6)	3(0.9)	337
30-39	39(12.0)	14(4.3)		6(1.8)	77(23.7)	180(55.4)	4(1.2)	4(1.2)	1(0.3)	325
40-49	6(2.4)	6(2.4)		6(2.4)	51(20.2)	172(68.0)	4(1.6)	7(2.8)	1(0.4)	253
50-59	12(3.5)	8(2.4)	2(0.6)	6(1.8)	63(18.6)	228(67.3)	5(1.5)	9(2.7)	6(1.8)	339
60-69	10(4.2)	13(5.4)		6(2.5)	25(10.5)	168(70.3)	5(2.1)	12(5.0)		239
70-79	5(2.3)	7(3.2)	1(0.5)	4(1.9)	15(6.9)	141(65.3)	17(7.9)	25(11.6)	1(0.5)	216
80-89	3(2.9)	1(1.0)		2(1.9)	7(6.7)	39(37.1)	21(20.0)	32(30.5)		105
合計	133(7.3)	64(3.5)	3(0.2)	53(2.9)	347(19.1)	1055(58.2)	56(3.1)	91(5.0)	12(0.7)	1814

## &lt;補足&gt;

## 1) 面接調査と留置調査の実施順序

面接調査票の裏表紙には、面接調査票と留置調査票の実施順序や、面接調査の所要時間などが記録されている。面接調査票と留置調査票の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮した調査員の状況判断に任されている。回収票に占める実施順序の内訳は表 7 の通りである。面接を先に行ったケースが 8 割以上の大多数を占めている。留置票の種類による差異は認められない。前回調査（JGSS-2005）と比べても、ほぼ同じ分布である。

表 7 調査票の順序の分布

単位：ケース数（％）

面接が先	留置が先	無回答	合計
3573(84.0)	656(15.4)	25(0.6)	4254

## 2) 面接調査の調査時間

面接調査の所要時間の平均値および標準偏差は、表 8 のとおりである(時間が不明のケースを除く)。全体的に 20 分強が平均的な所要時間であるが、高齢者ほど時間が長くなる傾向がある。前回調査(JGSS-2005)と比べて、差異は認められない。

表 8 性別・年齢層別の面接調査の平均所要時間

単位：分

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	20.8(7.39)	21.3(6.80)	21.6(7.53)	23.1(7.48)	24.0(9.63)	27.5(11.80)	26.0(8.28)	23.3(8.87)
女性	19.8(7.20)	22.0(6.88)	23.1(7.20)	24.3(8.15)	24.3(8.22)	26.6(11.56)	28.5(12.37)	23.8(8.74)
合計	20.3(7.30)	21.7(6.85)	22.4(7.38)	23.7(7.86)	24.1(8.91)	27.1(11.68)	27.4(10.94)	23.5(8.80)

注：カッコ内は標準偏差

## 3) 訪問回数

JGSS-2005 以降は、回収票についても欠票についても面接調査票の表紙で訪問回数や日時などを記録している。表 9 は、回収票について、回答者本人に会える(または欠票が決定する)までの訪問回数の平均値および標準偏差の分布をまとめたものである。若年者に対する訪問回数が多い(なかなか会えない)ことが分かる。男女差は大きくないが、30~60代では男性の方が、やや訪問回数が多い。前回調査(JGSS-2005)と比べて、差異はほとんど認められない。

また、表 10 は欠票について、同様に訪問回数の平均値と標準偏差をまとめたものである。当然ながら全体的に回収票よりも訪問回数が多い。性別、年齢層別の傾向は回収票とほぼ同様である。前回調査(JGSS-2005)と比べると、大きな差異は認められないが、やや標準偏差が大きい。なお、訪問回数が不明なケースおよび事前に断られたケースは、訪問回数が 0 として記録されているが、ごく少数なので集計結果に対する影響はほとんどない。

表 9 性別・年齢層別の平均訪問回数(回収票)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	3.1(1.92)	2.9(1.72)	2.7(1.64)	2.7(1.70)	2.5(1.58)	1.9(1.22)	1.9(1.28)	2.6(1.66)
女性	3.0(1.90)	2.6(1.78)	2.5(1.61)	2.4(1.49)	2.2(1.49)	1.9(1.18)	1.8(1.18)	2.4(1.59)
合計	3.1(1.91)	2.7(1.76)	2.6(1.62)	2.5(1.60)	2.3(1.54)	1.9(1.2)	1.8(1.22)	2.5(1.63)

注：カッコ内は標準偏差

表 10 性別・年齢層別の平均訪問回数(欠票)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	3.6(2.56)	3.7(2.48)	3.4(2.33)	3.3(2.26)	3.1(2.36)	2.1(1.82)	2.2(2.39)	3.3(2.40)
女性	3.9(2.69)	3.3(2.29)	3.5(2.55)	3.0(2.30)	2.4(2.17)	2.0(1.89)	2.0(1.78)	3.0(2.41)
合計	3.8(2.63)	3.5(2.40)	3.4(2.42)	3.1(2.28)	2.7(2.29)	2.1(1.86)	2.0(2.01)	3.2(2.41)

注：カッコ内は標準偏差

保田 時男

## 4 回収率ならびに欠票の分析：JGSS-2008

### 1. 回収率

#### 1) 回収率の定義

JGSS では、回収率を次の式で算出している。

$$\text{回収率 (\%)} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{抽出標本数} - \text{調査対象者として不適格であった標本数}} \times 100$$

算出にあたっては正規対象のみを用い、予備対象は含めていない。「不適格であった標本」の定義は、住所不明・転居・死亡・長期不在・病気・入院・その他の理由（抽出間違いによる年齢範囲外を含む）による欠票である。なお、JGSS-2002 以前は、住所不明・転居・死亡・年齢範囲外のみを不適格としている。

#### 2) JGSS-2008 の回収率

JGSS-2008 の回収率は、以下のように算出される。

アタック数（計画標本サイズ）： A 票 3,997 ケース

B 票 4,003 ケース

有効回収数： A 票 2,060 ケース

B 票 2,160 ケース

回収率： A 票 58.2%

$$2,060 / (3,997 - \text{住所不明 } 84 - \text{転居 } 148 - \text{長期不在 } 75 - \text{病気 } 82 - \text{入院 } 45 - \text{死亡 } 7 - \text{その他 } 18) = 2,060 / 3,538 = 58.2\%$$

B 票 60.6%

$$2,160 / (4,003 - \text{住所不明 } 78 - \text{転居 } 154 - \text{長期不在 } 63 - \text{病気 } 86 - \text{入院 } 31 - \text{死亡 } 6 - \text{その他 } 19) = 2,160 / 3,566 = 60.6\%$$

JGSS-2005 以降は、欠票の理由が何であれ予備対象は全く使用していない。したがって、正規対象についての回収率が全体についての回収率を表す。

#### 3) AAPOR の標準定義との対応

回収率の算出方法については、The American Association for Public Opinion Research (AAPOR) が標準化の議論を進めており、一定の成果を収めている。参考のために、AAPOR の標準定義に照らし合わせた JGSS の回収状況を表 1 に整理しておく。

コードの定義は、*Standard Definitions: Final Dispositions of Case Codes and Outcome Rates for Surveys, Revised 2008* (<http://www.aapor.org/>) から「個別訪問調査 (In-Person Household Surveys)」用のものを参照した。ただし、このコードの定義は、世帯員の情報を事前に行うことができない状況を前提としている。日本のように世帯員個人の性別や年齢を名簿で把握できる状況を想定していないため、対応の悪い点があることには注意が必要である。

表 1 AAPOR 標準定義による回収状況

AAPOR コード <sup>1)</sup>	JGSS 欠票理由コードとの対応 <sup>2)</sup>	留置 A 票	留置 B 票
1.0 Interview: 回収	88	2060	2160
1.1 Complete: 完全回収【I】	88	2060	2160
1.2 Partial: 部分回収【P】	部分回収の理由による <sup>3)</sup>	(36)	(36)
2.0 Eligible, non-interview: 適格だが非回収		1831	1742
2.1 Refusal and break-off: 拒否・途中で中止【R】	5	1044	972
2.2 Non-contact: 接触不能【NC】	2, 3, 4	657	651
2.3 Other: その他の理由で接触不能【O】	6, 7, 8, 9(抽出間違い以外)	130	119
3.0 Unknown eligibility, non-interview: 適格か不明で非回収	1	84	78
3.1 Unknown if housing unit: 住宅かどうか不明【UH】	1	84	78
3.2 Housing unit/Unknown if eligible respondent: 住宅であるが適格者がいるか不明【UO】	-	-	-
3.9 Other: その他の理由で適格かどうか不明【UO】	-	-	-
4.0 Not eligible: 不適格	9のうち抽出間違い	4	4
4.1 Out of sample: 回答者が標本の範囲外	9のうち抽出間違い	4	4
4.5 Not a housing unit: 住宅ではない	-	-	-
4.6 Vacant housing unit: 居住者のいない住宅	-	-	-
4.7 No eligible respondent: 適格者のいない住宅	-	-	-
4.8 Quota filled: 割り当て量を越える	-	-	-

注 1) AAPOR ではさらに細かい下位分類が定義されているが、JGSS にはそぐわない場合や、ケース数が特定できない場合が多いので省略する。

注 2) JGSS 欠票理由コードの内容は以下のとおり。1 = 住所不明、2 = 転居、3 = 長期不在、4 = 一時不在、5 = 拒否、6 = 病気・ケガ・聴力/言語障害、7 = 入院中・入所中、8 = 死亡、9 = その他、88 = 非該当(回収票)。「-」は JGSS の抽出方法では起こりえない分類を指す。

注 3) 面接票か留置票の一方だけが回収できた場合が JGSS の部分回収ケースとみなせる。ただし、JGSS の部分回収ケースは公開データセットに含めず欠票として扱っているため、ここで示すケース数は参考値であり、集計上は、部分回収に至った理由によって他の分類コードに計上されている。部分回収ケースの内訳は、下の参考表のとおりである。

参考表 部分回収ケースの内訳

	留置 A 票		留置 B 票	
	面接のみ完了	留置のみ完了	面接のみ完了	留置のみ完了
2.0 Eligible, non-interview: 適格だが非回収	16	20	17	19
2.1 Refusal and break-off: 拒否・途中で中止	1	6	2	6
2.2 Non-contact: 接触不能	13	12	14	9
2.3 Other: その他の理由で接触不能	2	2	1	4

AAPOR 標準定義では、回収率(response rate: RR)の算出方法を RR1 ~ RR6 までの 6 種類示している。これらの回収率を算出した結果が表 2 である。

表 2 AAPOR 標準定義による各種の回収率

	留置 A 票	留置 B 票
$RR1 = I / ((I+P) + (R+NC+O) + (UH+UO))$	51.8%	54.3%
$RR2 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O) + (UH+UO))$	53.6%	56.1%
$RR3 = I / ((I+P) + (R+NC+O) + e(UH+UO))$	51.8%	54.3%
$RR4 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O) + e(UH+UO))$	53.6%	56.1%
$RR5 = I / ((I+P) + (R+NC+O))$	52.9%	55.4%
$RR6 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O))$	54.8%	57.2%

注 1) I、P、R、NC、O、UH、UO の記号は表 1 の分類コードに対応する。

注 2) e は、「適格 (eligible) かどうか不明なケース」に占める「適格であるケース」の推定割合であり、(分類コードが 1.0、2.0 のケース数) / (分類コードが 1.0、2.0、4.0 のケース数) が推定値となる。JGSS では、99% 以上が適格と推定されるので、ほぼ  $RR1 = RR3$ 、 $RR2 = RR4$  となる。

注 3) この表では、面接票が留置票の一方だけが回収できたケースを部分回収 (P) とみなして回収率を算出している。

## 2. データの偏りと欠票の分析

### 1) データの偏り

JGSS では、抽出標本および回答者の年齢層分布が母集団から偏っていないかどうかを、母集団人口の分布と比較することで確認している。今回からは、年齢層に加えて性別の分布を確認することにする。母集団人口の分布は、総務省統計局が国勢調査の結果と他の人口関連資料による人口の動きをもとに公表している日本人の人口推計 (2009 年 10 月 1 日現在) にもとづく。この母集団人口をもとに、性別・年齢層別の期待標本サイズと期待回答者数を算出すると、表 3 のようになる。

表 3 期待標本サイズおよび期待回答者数との残差

	年齢	推計人口 (千人)	推計人口 比率	抽出標本 サイズ	期待標本 サイズ	残差	回答者数	期待 回答者数	残差
男性	20-29	7302	.07189	530	575.10	-1.88	200	303.36	-5.93
	30-39	9241	.09098	718	727.81	-0.36	321	383.92	-3.21
	40-49	8020	.07896	629	631.65	-0.11	307	333.19	-1.43
	50-59	8690	.08555	744	684.41	2.28	396	361.03	1.84
	60-69	8169	.08042	713	643.38	2.74	434	339.38	5.14
	70-79	5663	.05575	469	446.01	1.09	265	235.27	1.94
	80-89	2204	.02170	138	173.58	-2.70	63	91.57	-2.99
女性	20-29	6945	.06837	528	546.98	-0.81	210	288.53	-4.62
	30-39	8967	.08828	694	706.23	-0.46	370	372.54	-0.13
	40-49	7887	.07765	647	621.17	1.04	378	327.67	2.78
	50-59	8806	.08669	752	693.55	2.22	445	365.85	4.14
	60-69	8729	.08594	663	687.49	-0.93	399	362.65	1.91
	70-79	6949	.06841	531	547.29	-0.70	323	288.70	2.02
	80-89	4004	.03942	244	315.35	-4.02	109	166.35	-4.45
合計		101576	1.00000	8000	8000.00		4220	4220.00	

抽出標本の偏りについては、性別・年齢層別に以下の計算式で残差を算出し、その目安としている。

$$\text{残差} = \frac{\text{抽出標本サイズ} - \text{期待標本サイズ}}{\sqrt{\text{期待標本サイズ}}}$$

残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する3シグマルール（参考：日本規格協会，1998「シュート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J)）を準用するならば、80代の女性が有意に少ない。判定の結果は調査年度ごとにやや異なるが、その違いは標本サイズの違いにも依存するので、傾向が変わったとはいえない。若年層と高齢層の抽出が少なめで、中年・壮年層の抽出が多めである傾向は共通している。

回答者の偏りについては、性別・年齢層別に以下の計算式で残差を算出している。

$$\text{残差} = \frac{\text{回答者数} - \text{期待回答者数}}{\sqrt{\text{期待回答者数}}}$$

3シグマルールに従うならば、20～30代の男性、20代の女性という若年層と、80代の女性という高齢層の回答者が少なく、60代男性、50代女性の回答者が多い。これらの偏りの傾向は、前回調査（JGSS-2006）の傾向と同様である。

## 2) 欠票の性別・年齢層別の分布

JGSS-2008では、面接調査票が留置調査票のいずれか一方でも回収できなかった場合を欠票とし、面接調査票の2頁目に回収不能と決定した日時やその理由などを記録している。回収不能状況を記録した欠票のケース数は、3,780である（計画標本サイズ8,000 - 回収票数4,220）。

欠票の性別・年齢層別の分布は表4のとおりである。全体的な傾向は、これまでのJGSSと同様である。なお、ここで示しているのは欠票の発生率ではなく絶対数なので、標本の人口構造にも依存している。

表4 欠票の性別・年齢層別分布

（括弧内は％）

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	330(16.9)	397(20.3)	322(16.5)	348(17.8)	279(14.3)	204(10.4)	75(3.8)	1955
女性	318(17.4)	324(17.8)	269(14.7)	307(16.8)	264(14.5)	208(11.4)	135(7.4)	1825
合計	648(17.1)	721(19.1)	591(15.6)	655(17.3)	543(14.4)	412(10.9)	210(5.6)	3780

## 3) 欠票理由の分布

性別・年齢層別の欠票理由の分布は表5、6のとおりである（前回調査までのコードブックとは項目の並び順が異なるので注意）。拒否を理由とする欠票が5割以上を占め、一時不在を理由とする欠票がこれに続く。細かく見ると、若年層に転居や一時不在による欠票が多く、高齢層に健康面での理由による欠票が多い。全体的な傾向は、これまでのJGSSの傾向と同じであるが、前回調査（JGSS-2006）と比べると拒否の割合が減っている。

表 5 欠票理由の年齢層別分布（男性）

単位：ケース数（％）

	住所不明	転居	長期不在	一時不在	拒否	病気・ケガ・ 聴力/ 言語障害	入院中・ 入所中	死亡	その他	合計
20-29	17(5.2)	63(19.1)	22(6.7)	110(33.3)	114(34.5)	3(0.9)	1(0.3)			330
30-39	20(5.0)	45(11.3)	16(4.0)	134(33.8)	172(43.3)	6(1.5)	1(0.3)		3(0.8)	397
40-49	14(4.3)	24(7.5)	17(5.3)	99(30.7)	154(47.8)	7(2.2)	4(1.2)		3(0.9)	322
50-59	16(4.6)	21(6.0)	19(5.5)	86(24.7)	194(55.7)	6(1.7)	1(0.3)	3(0.9)	2(0.6)	348
60-69	9(3.2)	9(3.2)	7(2.5)	54(19.4)	177(63.4)	10(3.6)	7(2.5)		6(2.2)	279
70-79	7(3.4)	3(1.5)	2(1.0)	13(6.4)	133(65.2)	31(15.2)	9(4.4)	2(1.0)	4(2.0)	204
80-89	1(1.3)	1(1.3)	2(2.7)	4(5.3)	35(46.7)	17(22.7)	10(13.3)	1(1.3)	4(5.3)	75
合計	84(4.3)	166(8.5)	85(4.3)	500(25.6)	979(50.1)	80(4.1)	33(1.7)	6(0.3)	22(1.1)	1955

表 6 欠票理由の年齢層別分布（女性）

単位：ケース数（％）

	住所不明	転居	長期不在	一時不在	拒否	病気・ケガ・ 聴力/ 言語障害	入院中・ 入所中	死亡	その他	合計
20-29	19(6.0)	55(17.3)	15(4.7)	102(32.1)	120(37.7)	5(1.6)			2(0.6)	318
30-39	22(6.8)	28(8.6)	14(4.3)	82(25.3)	165(50.9)	6(1.9)	2(0.6)		5(1.5)	324
40-49	11(4.1)	14(5.2)	6(2.2)	67(24.9)	168(62.5)	3(1.1)				269
50-59	9(2.9)	17(5.5)	6(2.0)	65(21.2)	199(64.8)	2(0.7)	4(1.3)		5(1.6)	307
60-69	6(2.3)	12(4.5)	7(2.7)	32(12.1)	191(72.3)	10(3.8)	5(1.9)		1(0.4)	264
70-79	5(2.4)	7(3.4)	1(0.5)	16(7.7)	140(67.3)	23(11.1)	11(5.3)	3(1.4)	2(1.0)	208
80-89	6(4.4)	3(2.2)	4(3.0)	4(3.0)	54(40.0)	39(28.9)	21(15.6)	4(3.0)		135
合計	78(4.3)	136(7.5)	53(2.9)	368(20.2)	1037(56.8)	88(4.8)	43(2.4)	7(0.4)	15(0.8)	1825

### 3. 補足

#### 1) 面接調査と留置調査の実施順序

面接調査票の裏表紙には、面接調査票と留置調査票の実施順序や、面接調査の所要時間などが記録されている。面接調査票と留置調査票の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮した調査員の状況判断に任されている。回収票に占める実施順序の内訳は表 7 の通りである。面接を先に行ったケースが 8 割以上の大多数を占めている。留置票の種類による差異は認められない。前回調査（JGSS-2006）と比べても、ほぼ同じ分布である。

表 7 調査票の順序の分布

単位：ケース数（％）

面接が先	留置が先	無回答	合計
3620 (85.8)	538 (12.7)	62 (1.5)	4220

## 2) 面接調査の調査時間

面接調査の所要時間の平均値および標準偏差は、表8のとおりである(時間が不明のケースを除く)。全体的に20分強が平均的な所要時間であるが、高齢者ほど時間が長くなる傾向がある。前回調査(JGSS-2006)と比べて、大きな差異は認められない。

表8 性別・年齢層別の面接調査の平均所要時間

単位：分

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	18.2(6.32)	20.1(6.14)	20.5(6.39)	22.7(8.88)	22.5(8.01)	26.2(12.83)	30.0(21.89)	22.1(9.48)
女性	19.8(7.38)	21.0(6.81)	21.2(6.58)	22.4(7.55)	23.5(8.45)	24.8(9.49)	26.4(10.43)	22.4(8.09)
合計	19.0(6.92)	20.6(6.52)	20.9(6.50)	22.6(8.20)	23.0(8.23)	25.4(11.14)	27.7(15.67)	22.3(8.77)

注：カッコ内は標準偏差

## 3) 訪問回数

JGSS-2005以降は、回収票についても欠票についても面接調査票の表紙で訪問回数や日時などを記録している。表9は、回収票について、回答者本人に会える(または欠票が決定する)までの訪問回数の平均値および標準偏差の分布をまとめたものである。若年者に対する訪問回数が多い(なかなか会えない)ことが分かる。男女差は大きくないが、30~60代では男性の方がやや訪問回数が多い。前回調査(JGSS-2006)と比べて、差異はほとんど認められない。

また、表10は欠票について、同様に訪問回数の平均値と標準偏差をまとめたものである。当然ながら全体的に回収票よりも訪問回数が多い。性別、年齢層別の傾向は回収票とほぼ同様である。前回調査(JGSS-2006)と比べて大きな差異は認められない。なお、訪問回数が不明なケースおよび事前に断られたケースは、訪問回数が0として記録されているが、ごく少数なので集計結果に対する影響はほとんどない。

表9 性別・年齢層別の平均訪問回数(回収票)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	3.0(1.85)	3.2(1.82)	2.8(1.80)	2.7(1.71)	2.4(1.57)	2.1(1.34)	1.6(0.96)	2.6(1.71)
女性	3.0(1.72)	2.8(1.88)	2.4(1.51)	2.6(1.72)	2.1(1.42)	1.9(1.29)	1.7(0.91)	2.4(1.62)
合計	3.0(1.78)	3.0(1.86)	2.6(1.65)	2.7(1.72)	2.3(1.50)	2.0(1.32)	1.7(0.93)	2.5(1.66)

注：カッコ内は標準偏差

表10 性別・年齢層別の平均訪問回数(欠票)

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	合計
男性	4.1(2.62)	3.7(2.42)	3.7(2.56)	3.2(2.37)	3.0(2.26)	2.1(1.65)	1.8(1.57)	3.3(2.44)
女性	3.8(2.64)	3.5(2.54)	3.3(2.31)	3.1(2.45)	2.5(2.24)	2.1(1.90)	1.8(1.48)	3.0(2.42)
合計	3.9(2.63)	3.6(2.47)	3.5(2.45)	3.2(2.41)	2.8(2.26)	2.1(1.78)	1.8(1.51)	3.2(2.43)

注：カッコ内は標準偏差

保田 時男



## 4 回収率ならびに欠票の分析：JGSS-2010

### 1. 回収率

#### 1) 回収率の定義

JGSS では、回収率を次の式で算出している。

$$\text{回収率 (\%)} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{抽出標本数} - \text{調査対象者として不適格であった標本数}} \times 100$$

算出にあたっては正規対象のみを用い、予備対象は含めていない。「不適格であった標本」の定義は、住所不明・転居・死亡・長期不在・病気・入院・その他の理由（抽出間違いによる年齢範囲外を含む）による欠票である。なお、JGSS-2002 以前は、住所不明・転居・死亡・年齢範囲外のみを不適格としている。

#### 2) JGSS-2010 の回収率

JGSS-2010 の回収率は、以下のように算出される。

アタック数（計画標本サイズ）： A 票 4,500 ケース

B 票 4,500 ケース

有効回収数： A 票 2,507 ケース

B 票 2,496 ケース

回収率： A 票 62.2%

$$2,507 / (4,500 - \text{住所不明 } 66 - \text{転居 } 168 - \text{長期不在 } 72 - \text{病気 } 77 - \text{入院 } 44 - \text{死亡 } 6 - \text{その他 } 35) = 2,507 / 4,032 = 62.2\%$$

B 票 62.1%

$$2,496 / (4,500 - \text{住所不明 } 77 - \text{転居 } 163 - \text{長期不在 } 71 - \text{病気 } 84 - \text{入院 } 61 - \text{死亡 } 6 - \text{その他 } 21) = 2,496 / 4,017 = 62.1\%$$

JGSS-2005 以降は、欠票の理由が何であれ予備対象は全く使用していない。したがって、正規対象についての回収率が全体についての回収率を表す。

#### 3) AAPOR の標準定義との対応

回収率の算出方法については、The American Association for Public Opinion Research (AAPOR) が標準化の議論を進めており、一定の成果を収めている。参考のために、AAPOR の標準定義に照らし合わせた JGSS の回収状況を表 1 に整理しておく。

コードの定義は、2009 年改訂の *Standard Definitions: Final Dispositions of Case Codes and Outcome Rates for Surveys, 6th edition* (AAPOR, 2009, <http://www.aapor.org/>) から「個別訪問調査 (In-Person Household Surveys)」用のものを参照した。ただし、このコードの定義は、世帯員の情報を事前に知ることができない状況を前提としている。日本のように世帯員個人の性別や年齢を名簿で把握できる状況を想定していないため、対応の悪い点があることには注意が必要である。また、JGSS-2008 のコードブックでは 2008 年版の 5th edition を参照しており、今回参照した 6th edition とは版が異なるが、ここでやっている集計の範囲では改訂の影響はない。

表 1 AAPOR 標準定義による回収状況

AAPOR コード <sup>1)</sup>	JGSS 欠票理由コードとの対応 <sup>2)</sup>	留置 A 票	留置 B 票
1.0 Interview: 回収	88	2507	2496
1.1 Complete: 完全回収【I】	88	2507	2496
1.2 Partial: 部分回収【P】	部分回収の理由による <sup>3)</sup>	(37)	(26)
2.0 Eligible, non-interview: 適格だが非回収		1927	1926
2.1 Refusal and break-off: 拒否・途中で中止【R】	5	1057	1064
2.2 Non-contact: 接触不能【NC】	2, 3, 4	708	691
2.3 Other: その他の理由で接触不能【O】	6, 7, 8, 9(抽出間違い以外)	162	171
3.0 Unknown eligibility, non-interview: 適格か不明で非回収	1	66	77
3.1 Unknown if housing unit: 住宅かどうか不明【UH】	1	66	77
3.2 Housing unit/Unknown if eligible respondent: 住宅であるが適格者がいるか不明【UO】	-	-	-
3.9 Other: その他の理由で適格かどうか不明【UO】	-	-	-
4.0 Not eligible: 不適格	9のうち抽出間違い	0	1
4.1 Out of sample: 回答者が標本の範囲外	9のうち抽出間違い	0	1
4.5 Not a housing unit: 住宅ではない	-	-	-
4.6 Vacant housing unit: 居住者のいない住宅	-	-	-
4.7 No eligible respondent: 適格者のいない住宅	-	-	-
4.8 Quota filled: 割り当て量を越える	-	-	-

注 1) AAPOR ではさらに細かい下位分類が定義されているが、JGSS にはそぐわない場合や、ケース数が特定できない場合が多いので省略する。

注 2) JGSS 欠票理由コードの内容は以下のとおり。1 = 住所不明、2 = 転居、3 = 長期不在、4 = 一時不在、5 = 拒否、6 = 病気・ケガ・聴力/言語障害、7 = 入院中・入所中、8 = 死亡、9 = その他、88 = 非該当(回収票)。「-」は JGSS の抽出方法では起こりえない分類を指す。

注 3) 面接票か留置票の一方だけが回収できた場合が JGSS の部分回収ケースとみなせる。ただし、JGSS の部分回収ケースは公開データセットに含めず欠票として扱っているため、ここで示すケース数は参考値であり、集計上は、部分回収に至った理由によって他の分類コードに計上されている。部分回収ケースの内訳は、下の参考表のとおりである。

参考表 部分回収ケースの内訳

	留置 A 票		留置 B 票	
	面接のみ完了	留置のみ完了	面接のみ完了	留置のみ完了
2.0 Eligible, non-interview: 適格だが非回収	22	15	16	10
2.1 Refusal and break-off: 拒否・途中で中止	17	11	11	5
2.2 Non-contact: 接触不能	3	4	3	4
2.3 Other: その他の理由で接触不能	2	0	2	1

AAPOR 標準定義では、回収率(response rate: RR)の算出方法を RR1 ~ RR6 までの 6 種類示している。これらの回収率を算出した結果が表 2 である。

表 2 AAPOR 標準定義による各種の回収率

	留置 A 票	留置 B 票
$RR1 = I / ((I+P) + (R+NC+O) + (UH+UO))$	55.7%	55.5%
$RR2 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O) + (UH+UO))$	56.5%	56.1%
$RR3 = I / ((I+P) + (R+NC+O) + e(UH+UO))$	55.7%	55.5%
$RR4 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O) + e(UH+UO))$	56.5%	56.1%
$RR5 = I / ((I+P) + (R+NC+O))$	56.5%	56.4%
$RR6 = (I+P) / ((I+P) + (R+NC+O))$	57.4%	57.0%

注 1) I、P、R、NC、O、UH、UO の記号は表 1 の分類コードに対応する。

注 2) e は、「適格 (eligible) かどうか不明なケース」に占める「適格であるケース」の推定割合であり、(分類コードが 1.0、2.0 のケース数) / (分類コードが 1.0、2.0、4.0 のケース数) が推定値となる。JGSS では、99% 以上が適格と推定されるので、ほぼ  $RR1 = RR3$ 、 $RR2 = RR4$  となる。

注 3) この表では、面接票か留置票の一方だけが回収できたケースを部分回収 (P) とみなして回収率を算出している。

## 2. データの偏りと欠票の分析

### 1) データの偏り

JGSS では、抽出標本および回答者の年齢層分布が母集団から偏っていないかどうかを、母集団人口の分布と比較することで確認している。JGSS-2008 以降は、年齢層に加えて性別の分布を確認している。母集団人口の分布は、総務省統計局が国勢調査の結果と他の人口関連資料による人口の動きをもとに公表している日本人の人口推計 (2009 年 10 月 1 日現在) にもとづく。この母集団人口をもとに、性別・年齢層別の期待標本サイズと期待回答者数を算出すると、表 3 のようになる。

表 3 期待標本サイズおよび期待回答者数との残差

	年齢	推計人口 (千人)	推計人口 比率	抽出標本 サイズ	期待標本 サイズ	残差	回答者数	期待 回答者数	残差
男性	20-29 歳	7157	.07042	565	633.80	-2.73	209	352.32	-7.64
	30-39 歳	9104	.08958	784	806.22	-0.78	352	448.17	-4.54
	40-49 歳	8137	.08006	746	720.58	0.95	362	400.56	-1.93
	50-59 歳	8307	.08174	791	735.64	2.04	408	408.93	-0.05
	60-69 歳	8560	.08423	841	758.04	3.01	523	421.39	4.95
	70-79 歳	5701	.05610	517	504.86	0.54	339	280.65	3.48
	80-89 歳	2351	.02313	185	208.20	-1.61	107	115.73	-0.81
女性	20-29 歳	6793	.06684	579	601.56	-0.92	264	334.40	-3.85
	30-39 歳	8822	.08681	760	781.25	-0.76	429	434.29	-0.25
	40-49 歳	7992	.07864	788	707.74	3.02	507	393.43	5.73
	50-59 歳	8408	.08273	774	744.58	1.08	471	413.91	2.81
	60-69 歳	9139	.08992	854	809.32	1.57	553	449.89	4.86
	70-79 歳	6969	.06857	564	617.15	-2.14	346	343.07	0.16
	80-89 歳	4190	.04123	252	371.05	-6.18	133	206.26	-5.10
合計		101630	1.00000	9000	9000.00		5003	5003.00	

抽出標本の偏りについては、性別・年齢層別に以下の計算式で残差を算出し、その目安としている。

$$\text{残差} = \frac{\text{抽出標本サイズ} - \text{期待標本サイズ}}{\sqrt{\text{期待標本サイズ}}}$$

残差の絶対値が「3」を越えると異常と判定する 3 シグマルール（参考：日本規格協会，1998「シュート管理図」『日本工業規格』JIS Z 9021:1998(J)）を準用するならば、60 代の男性と 40 代の女性が有意に多く、80 代の女性が有意に少ない。判定の結果は調査年度ごとにやや異なるが、その違いは標本サイズの違いにも依存するので、傾向が変わったとはいえない。若年層と高齢層の抽出が少なめで、中年・壮年層の抽出が多めである傾向は共通している。

回答者の偏りについては、性別・年齢層別に以下の計算式で残差を算出している。

$$\text{残差} = \frac{\text{回答者数} - \text{期待回答者数}}{\sqrt{\text{期待回答者数}}}$$

3 シグマルールに従うならば、20～30 代の男性、20 代の女性という若年層と、80 代の女性という高齢層の回答者が少なく、60～70 代男性、40 代および 60 代の女性の回答者が多い。これらの偏りの傾向も、調査年度ごとにやや異なるが、若年層と高齢者の回収が少なく、中年・壮年層の回収が多くなるこれまでの JGSS の傾向と同様である。

## 2) 欠票の性別・年齢層別の分布

JGSS-2010 では、面接調査票が留置調査票のいずれか一方でも回収できなかった場合を欠票とし、面接調査票の 2 頁目に回収不能と決定した日時やその理由などを記録している。回収不能状況を記録した欠票のケース数は、3,997 である（計画標本サイズ 9,000 - 回収票数 5,003）。

欠票の性別・年齢層別の分布は表 4 のとおりである。全体的な傾向は、これまでの JGSS と同様である。なお、ここで示しているのは欠票の発生率ではなく絶対数なので、標本の人口構造にも依存している。

表 4 欠票の性別・年齢層別分布

（括弧内は％）

	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	合計
男性	356(16.7)	432(20.3)	384(18.0)	383(18.0)	318(14.9)	178(8.4)	78(3.7)	2129
女性	315(16.9)	331(17.7)	281(15.0)	303(16.2)	301(16.1)	218(11.7)	119(6.4)	1868
合計	671(16.8)	763(19.1)	665(16.6)	686(17.2)	619(15.5)	396(9.9)	197(4.9)	3997

## 3) 欠票理由の分布

性別・年齢層別の欠票理由の分布は表 5、6 のとおりである（JGSS-2006 までのコードブックとは項目の並び順が異なるので注意）。拒否を理由とする欠票が 5 割以上を占め、一時不在を理由とする欠票がこれに続く。細かく見ると、若年層に転居や一時不在による欠票が多く、高齢層に健康面での理由による欠票が多い。全体的な傾向は、これまでの JGSS の傾向と同じである。

表 5 欠票理由の年齢層別分布（男性）

単位：ケース数（％）

	住所不明	転居	長期不在	一時不在	拒否	病気・ケガ・ 聴力/ 言語障害	入院中・ 入所中	死亡	その他	合計
20-29 歳	19 (5.3)	64 (18.0)	22 (6.2)	115 (32.3)	129 (36.2)	2 (0.6)	3 (0.8)		2 (0.6)	356
30-39 歳	22 (5.1)	48 (11.1)	20 (4.6)	136 (31.5)	191 (44.2)	9 (2.1)		1 (0.2)	5 (1.2)	432
40-49 歳	16 (4.2)	32 (8.3)	17 (4.4)	122 (31.8)	189 (49.2)	4 (1.0)		1 (0.3)	3 (0.8)	384
50-59 歳	15 (3.9)	20 (5.2)	17 (4.4)	77 (20.1)	232 (60.6)	6 (1.6)	7 (1.8)		9 (2.3)	383
60-69 歳	12 (3.8)	17 (5.3)	7 (2.2)	60 (18.9)	194 (61.0)	6 (1.9)	10 (3.1)	1 (0.3)	11 (3.5)	318
70-79 歳	3 (1.7)	6 (3.4)	3 (1.7)	15 (8.4)	116 (65.2)	19 (10.7)	12 (6.7)	1 (0.6)	3 (1.7)	178
80-89 歳	1 (1.3)	3 (3.8)	5 (6.4)	3 (3.8)	27 (34.6)	25 (32.1)	7 (9.0)	2 (2.6)	5 (6.4)	78
合計	88 (4.1)	190 (8.9)	91 (4.3)	528 (24.8)	1078 (50.6)	71 (3.3)	39 (1.8)	6 (0.3)	38 (1.8)	2129

表 6 欠票理由の年齢層別分布（女性）

単位：ケース数（％）

	住所不明	転居	長期不在	一時不在	拒否	病気・ケガ・ 聴力/ 言語障害	入院中・ 入所中	死亡	その他	合計
20-29 歳	16 (5.1)	54 (17.1)	13 (4.1)	102 (32.4)	120 (38.4)	6 (1.9)	1 (0.3)		2 (0.6)	315
30-39 歳	14 (4.2)	37 (11.2)	12 (3.6)	96 (29.0)	166 (50.2)	3 (0.9)	1 (0.3)		2 (0.6)	331
40-49 歳	9 (3.2)	20 (7.1)	4 (1.4)	78 (27.8)	160 (56.9)	6 (2.1)	1 (0.4)		3 (1.1)	281
50-59 歳	4 (1.3)	15 (5.0)	3 (1.0)	60 (19.8)	204 (67.3)	5 (1.7)	8 (2.6)		4 (1.3)	303
60-69 歳	6 (2.0)	9 (3.0)	6 (2.0)	32 (10.6)	218 (72.4)	13 (4.3)	12 (4.0)		5 (1.7)	301
70-79 歳	1 (0.5)	4 (1.8)	11 (5.0)	20 (9.2)	128 (58.7)	32 (14.7)	19 (8.7)	2 (0.9)	1 (0.5)	218
80-89 歳	5 (4.2)	2 (1.7)	3 (2.5)	9 (7.6)	46 (38.7)	25 (21.0)	24 (20.2)	4 (3.4)	1 (0.8)	119
合計	55 (2.9)	141 (7.5)	52 (2.8)	397 (21.3)	1043 (55.8)	90 (4.8)	66 (3.5)	6 (0.3)	18 (1.0)	1868

### 3. 補足

#### 1) 面接調査と留置調査の実施順序

面接調査票の裏表紙には、面接調査票と留置調査票の実施順序や、面接調査の所要時間などが記録されている。面接調査票と留置調査票の実施順序は、対象者の都合や希望を考慮した調査員の状況判断に任されている。回収票に占める実施順序の内訳は表 7 の通りである。面接を先に行ったケースが 8 割以上の大多数を占めている。留置票の種類による差異は認められない。これまでの調査と比べても、ほぼ同じ分布である。

表 7 調査票の順序の分布

単位：ケース数（％）

面接が先	留置が先	無回答	合計
4182(83.6)	746(14.9)	75(1.5)	5003

## 2) 面接調査の調査時間

面接調査の所要時間の平均値および標準偏差は、表8のとおりである(時間が不明のケースを除く)。全体的に20分強が平均的な所要時間であるが、高齢者ほど時間が長くなり、分散が大きくなる傾向がある。これまでの調査と比べて、大きな差異は認められない。

表8 性別・年齢層別の面接調査の平均所要時間

単位：分

	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	合計
男性	19.6(7.36)	20.6(7.17)	21.3(7.94)	22.0(9.24)	22.8(8.93)	24.2(10.45)	28.8(13.67)	22.3(9.19)
女性	20.0(7.32)	21.6(7.64)	20.9(6.93)	22.0(7.26)	23.5(9.70)	26.0(11.49)	27.3(12.72)	22.6(8.99)
合計	19.9(7.33)	21.2(7.44)	21.1(7.37)	22.0(8.23)	23.2(9.34)	25.1(11.02)	28.0(13.15)	22.5(9.08)

注：カッコ内は標準偏差

## 3) 訪問回数

JGSS-2005 以降は、回収票についても欠票についても面接調査票の表紙で訪問回数や日時などを記録している。表9は、回収票について、回答者本人に会える(または欠票が決定する)までの訪問回数の平均値および標準偏差の分布をまとめたものである。若年者に対する訪問回数が多い(なかなか会えない)ことが分かる。男女差は大きくないが、30~60代では男性の方がやや訪問回数が多い。これまでの調査と比べて、差異はほとんど認められない。

また、表10は欠票について、同様に訪問回数の平均値と標準偏差をまとめたものである。当然ながら全体的に回収票よりも訪問回数が多い。性別、年齢層別の傾向は回収票とほぼ同様である。この結果も、これまでの調査と比べて大きな差異は認められない。なお、訪問回数が不明なケースおよび事前に断られたケースは、訪問回数が0として記録されているが、ごく少数なので集計結果に対する影響はほとんどない。

表9 性別・年齢層別の平均訪問回数(回収票)

	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	合計
男性	3.0(1.83)	3.1(1.77)	2.8(1.65)	2.9(1.67)	2.4(1.52)	2.1(1.28)	1.8(1.22)	2.6(1.64)
女性	3.2(1.84)	2.8(1.74)	2.6(1.72)	2.6(1.64)	2.2(1.38)	2.0(1.44)	1.8(1.09)	2.5(1.64)
合計	3.1(1.83)	2.9(1.76)	2.7(1.69)	2.7(1.66)	2.3(1.45)	2.0(1.36)	1.8(1.15)	2.6(1.64)

注：カッコ内は標準偏差

表10 性別・年齢層別の平均訪問回数(欠票)

	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80-89 歳	合計
男性	3.9(2.62)	4.0(2.60)	3.8(2.53)	3.3(2.37)	3.1(2.38)	2.2(1.99)	2.0(1.57)	3.4(2.51)
女性	3.8(2.58)	3.7(2.61)	3.6(2.61)	3.2(2.40)	2.4(2.13)	2.1(2.09)	2.0(1.85)	3.1(2.49)
合計	3.9(2.60)	3.9(2.61)	3.7(2.57)	3.2(2.38)	2.8(2.28)	2.1(2.05)	2.0(1.75)	3.3(2.50)

注：カッコ内は標準偏差

佐々木 尚之

## 5 データセットのウエイトについて：JGSS-2000

### 1 ウエイト作成の考え方

JGSS-2000 では、あらかじめ設定された地域区分ごとに人口規模に比例するように 1995 年国勢調査（総務庁）の調査区<sup>1)</sup>を抽出し、そこからそれぞれ約 15 人の調査対象を無作為に抽出している<sup>2)</sup>ので、抽出率の逆数を掛けて加える線形推定の過程が単純化され、基本的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで属性（回答の選択肢）別構成比を推定することができる。

しかし、官公庁が標本調査により実施する指定統計調査では、結果の推定方法として、直近の全数調査などから得られた人口、従業者数等を基準とする比推定がよく用いられている。標本調査である以上、偶然に又は実務上の制約により偏った結果が現れることがあるので、少しでも精度を高めるために既存の情報を活用しようという試みである。

比推定には、線形推定と比較して 調査結果を単に構成比として比較するだけでなく、絶対量として意味を持たせることができる、 調査対象抽出に伴う偶然の偏りと未回収による情報の損失を補うことができる、 既存情報と基盤を合わせるにより、調査独自の結果を分析することに集中できる、などのメリットがある。

諸外国の GSS や類似の調査の結果をみても、カナダやイタリアなどのいくつかの国で国勢調査や労働力調査を基にした比推定が行われている。また、米国の GSS については、比推定は行われていないものの、結果の分布は全数調査などと大差がないことを確認しており、これらの調査と分布を比較・分析する視点は重視されている。

実際、JGSS-2000 においても、このような視点に基づく検証が行われたが、残念なことに、調査対象抽出に伴う偶然と実地調査における調査対象者の不在や拒否などにより年齢構成に偏りがある。

そこで、同調査においても調査対象の抽出に用いた地域区分を基に、男女と年齢という基本的な属性で区分した人口規模による比推定を試みることにした。この比推定の乗率をウエイトと呼ぶ。

ただし、ウエイトの作成方法は必ずしも一つに定まるものではなく、また、属性によっては既存情報に依存しないものもあり、その中にはウエイトを付与することにより却ってデータが現状から離れてしまう時もある。したがって、ウエイトの使用と選択は利用者が目的に応じて判断すべきものとした。ただし、ウエイトを付与することにより結果がどう変化するのか、既存情報と比較してどのような特徴があるのかを概観し、利用者が判断をする際の基礎情報として提供することとした。

なお、文中アルファベットを【 】で括った文字が登場するが、これはデータセットにおける変数名を意味する。

### 2 ウエイトの作成方法

地域別（6 区分）×市郡別（2 区分）×男女別（2 区分）×年齢 10 歳階級別<sup>3)</sup>（6 区分）に調査票 1 枚で代表する人口（人口÷回収数）を計算し、ウエイトとした。ウエイト作成の基準として用いた人口は、2000 年 10 月 1 日国勢調査（総務庁）の総人口である。

ウエイトは第 2 回予備調査のウエイトの作成方法を踏まえて作成した。第 2 回予備調査においては、地域別（6 区分）×男女別（2 区分）×年齢 10 歳階級別（6 区分）、市町村の規模別（3 区分）×東西地域別（2 区分）×男女別（2 区分）×年齢 10 歳階級別（6 区分）の 2 種類のウエイトを作成したが、JGSS-2000 では回答数が多いことに鑑み、両ウエイトの区分をクロスさせた精緻なものを作成することとした。つまり、区分は地域（6 区分）別×市町村の規模（3 区分）別に、男女別×年齢階級別をクロスするという調査対象の抽出方法を踏まえた分割の仕方を想定していた。しかし、これ

では標本数 0 となる箇所が出現し、ウエイトの作成が困難になることから、上記のように市町村の規模を少し大括りして調整を図ることとした。

ウエイトの大きさは表 1-1 及び表 1-2 のとおりである。

これらによると、ウエイトの大きさ、すなわち調査票 1 枚の価値（調査票 1 枚が代表する人数）は次の範囲に分布している。

最小 1.5 万（中国・四国・郡部 70～80 代女性）

最大 8.6 万（九州・市部 30 代男性）

最大/最小 5.8 倍

JGSS-2000 では、回答数が 2,893 と、第 2 回予備調査の回答数 776<sup>4)</sup> より多いため、区分を 144 と第 2 回予備調査の 72 より倍増させたが、ウエイトの格差（最大/最小）は第 2 回予備調査の 15 又は 19 倍よりもかなり縮小した。また、第 2 回予備調査においては 1 区分に回答数 1 の場合が生じていたが、JGSS-2000 では、回答数は 1 区分に最低 3 となっている。

### 3 ウエイトの有無による推定結果の比較

調査結果をウエイトのない原データとウエイトを付与したデータとで属性別構成比をとり比較してみた。ここで取り上げた属性は、調査日の前後（2 年以内）に実施された調査で JGSS-2000 よりも回収数の多い調査（仮にこれを大規模調査と呼ぶことにする。）においても調査しているもので、データの妥当性を比較するための基礎資料として併せて大規模調査の結果による構成比を対比させた。（表 2-1）

JGSS-2000 では、調査対象を個人単位で抽出しているため、世帯、家族、住宅などの単位で分析をする場合には、使用する変数について、各個人の値を当該個人の同居家族数（面接票問 18(1)）【SZFFHERE】の逆数で加重する必要がある。これは、ウエイトを使用しない場合でも留意すべき事項である。

いくつかの変数についてこの操作を施した結果を他の大規模調査の結果とともに表 2-2 に掲げた。

なお、世帯、家族、住宅などの単位で分析が想定される変数は以下のとおりである。

#### 面接票

問 11(10)	家事を中心に行う人【WH3HSWK】
問 16	住宅の種類【TP8DWEL】
問 17	住宅の広さ【SZDWEL】
問 18(1)	同居家族数【SZFFHERE】
問 18(2)	別居家族数【SZFFAWAY】
問 20	世帯主【FF01HEAD】～【FF10HEAD】
問 21	子供数【CCNUMTTL】
問 32	世帯の年間収入【SZHSINCM】【SZHSHINC】

#### 留置票

Q5	世帯の収入のレベル【OP5FFINX】
Q6	15 歳の頃の世帯の収入のレベル【OPFFIX15】
Q33	危険な場所の有無【FEARWALK】
Q34	空き巣の被害経験【XSTOLN1Y】





注

- 1) 国勢調査の調査区は基本単位区を2つ程度結合して作成されている。基本単位区とは、住居表示実施地域においては街区を、住居表示実施地域以外の地域においては、街区に準じた区画を単位として設定されており、そこに含まれる世帯数はおおむね25～30世帯である。
- 2) 実際には、調査区の抽出は当該地点の最初の調査対象者を決めるために行われ、当該地点の他の調査対象者は当該地点を含む投票区（又はそれに周辺投票区を加えた地域）の中から選挙人名簿に沿って一定の間隔ごとに抽出される。
- 3) 70～79歳と80～89歳は統合して1区分とした。また、年齢不詳は都道府県別・男女別に合計（市郡計）、市部についてそれぞれ按分し、郡部は合計から市部を引くことにより計算した。
- 4) 18及び19歳を除く。

[参考文献]

- 清水誠, 2001, 「JGSS 第2回予備調査 データセットのウエイトについて」 SSJ Data Archive Research Paper Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター
- 総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/>
- 総務省統計局, 2001, 「平成12年国勢調査報告 第2巻 人口の男女・年齢・配偶関係、世帯の構成・住居の状態」
- 総務省情報通信統計データベースシステム <http://www.johotsusintokei.soumu.go.jp/>
- 内閣総理大臣官房広報室, (2000), 「少子化に関する世論調査」
- 内閣総理大臣官房広報室, (2000), 「国民生活に関する世論調査」
- 厚生労働省大臣官房統計情報部 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html>
- 生命保険文化センター, 2000, 「平成12年度 生命保険に関する全国実態調査」

清水 誠

表 1-1 市部の人口、回答数及びウエイト

		全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
男性	人口							
	20～89歳	38,465,244	4,001,203	14,308,516	6,566,030	6,889,786	3,099,256	3,600,454
	20 ～ 29	7,736,085	744,139	3,073,542	1,254,391	1,406,654	568,178	689,181
	30 ～ 39	7,050,917	675,101	2,842,612	1,184,049	1,242,383	506,192	600,580
	40 ～ 49	6,527,955	740,878	2,350,768	1,114,668	1,100,967	542,466	678,208
	50 ～ 59	7,525,797	757,442	2,761,254	1,302,288	1,409,002	626,145	669,665
	60 ～ 69	5,497,927	591,820	1,956,797	951,749	1,026,098	453,979	517,483
	70 ～ 89	4,126,564	491,823	1,323,542	758,884	704,683	402,296	445,336
	回答数							
	20～89歳	989	125	314	196	177	86	91
	20 ～ 29	149	22	50	24	28	11	14
	30 ～ 39	140	20	50	26	24	13	7
	40 ～ 49	177	24	46	37	34	17	19
	50 ～ 59	210	20	78	42	35	13	22
	60 ～ 69	185	21	55	41	35	15	18
	70 ～ 89	128	18	35	26	21	17	11
	ウエイト							
	20～89歳							
	20 ～ 29		33,825	61,471	52,266	50,238	51,653	49,227
	30 ～ 39		33,755	56,852	45,540	51,766	38,938	85,797
	40 ～ 49		30,870	51,104	30,126	32,381	31,910	35,695
50 ～ 59		37,872	35,401	31,007	40,257	48,165	30,439	
60 ～ 69		28,182	35,578	23,213	29,317	30,265	28,749	
70 ～ 89		27,323	37,815	29,188	33,556	23,664	40,485	
女性	人口							
	20～89歳	40,577,752	4,435,628	14,227,706	6,873,640	7,449,947	3,458,535	4,132,295
	20 ～ 29	7,436,799	738,969	2,788,630	1,200,395	1,417,908	578,723	712,174
	30 ～ 39	6,860,000	701,541	2,574,267	1,134,202	1,266,573	527,655	655,763
	40 ～ 49	6,496,407	766,744	2,234,034	1,098,259	1,133,064	552,516	711,792
	50 ～ 59	7,710,584	811,926	2,750,015	1,302,519	1,469,867	650,403	725,855
	60 ～ 69	5,940,926	682,634	2,006,002	1,018,601	1,093,724	522,516	617,449
	70 ～ 89	6,133,034	733,814	1,874,758	1,119,666	1,068,811	626,723	709,263
	回答数							
	20～89歳	1,176	139	385	211	203	114	124
	20 ～ 29	172	18	59	31	33	16	15
	30 ～ 39	179	22	58	37	31	14	17
	40 ～ 49	205	18	71	34	39	20	23
	50 ～ 59	255	32	87	44	42	25	25
	60 ～ 69	213	32	65	34	34	26	22
	70 ～ 89	152	17	45	31	24	13	22
	ウエイト							
	20～89歳							
	20 ～ 29		41,054	47,265	38,722	42,967	36,170	47,478
	30 ～ 39		31,888	44,384	30,654	40,857	37,690	38,574
	40 ～ 49		42,597	31,465	32,302	29,053	27,626	30,947
50 ～ 59		25,373	31,609	29,603	34,997	26,016	29,034	
60 ～ 69		21,332	30,862	29,959	32,168	20,097	28,066	
70 ～ 89		43,166	41,661	36,118	44,534	48,209	32,239	

表 1-2 郡部の人口、回答数及びウエイト

		全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
男性	人口							
	20～89歳	10,144,132	1,791,085	1,898,339	2,419,718	1,019,207	1,315,739	1,700,046
	20 ～ 29	1,559,026	247,300	327,470	395,647	168,134	175,149	245,325
	30 ～ 39	1,503,006	252,698	297,901	387,312	155,021	168,651	241,424
	40 ～ 49	1,884,018	348,145	363,804	425,313	179,738	230,312	336,706
	50 ～ 59	1,997,225	333,343	397,594	479,311	207,813	263,425	315,739
	60 ～ 69	1,625,776	306,539	276,020	374,545	159,007	228,429	281,236
	70 ～ 89	1,575,081	303,060	235,549	357,591	149,495	249,772	279,615
	回答数							
	20～89歳	329	60	58	77	38	49	47
	20 ～ 29	32	4	7	6	4	6	5
	30 ～ 39	44	8	4	15	7	5	5
	40 ～ 49	49	8	12	11	4	7	7
	50 ～ 59	79	18	10	19	7	14	11
	60 ～ 69	75	14	12	14	9	12	14
	70 ～ 89	50	8	13	12	7	5	5
	ウエイト							
	20～89歳							
	20 ～ 29		61,825	46,781	65,941	42,033	29,192	49,065
	30 ～ 39		31,587	74,475	25,821	22,146	33,730	48,285
	40 ～ 49		43,518	30,317	38,665	44,934	32,902	48,101
50 ～ 59		18,519	39,759	25,227	29,688	18,816	28,704	
60 ～ 69		21,896	23,002	26,753	17,667	19,036	20,088	
70 ～ 89		37,883	18,119	29,799	21,356	49,954	55,923	
女性	人口							
	20～89歳	11,028,795	1,961,369	1,945,936	2,575,137	1,118,555	1,491,175	1,936,624
	20 ～ 29	1,513,725	230,696	309,146	379,646	167,587	175,522	251,128
	30 ～ 39	1,508,900	252,271	285,740	378,271	162,100	175,118	255,399
	40 ～ 49	1,838,240	336,305	346,370	413,724	182,598	228,059	331,184
	50 ～ 59	1,977,355	334,104	373,967	469,034	209,065	267,188	323,996
	60 ～ 69	1,803,584	355,167	279,576	405,888	171,045	262,975	328,933
	70 ～ 89	2,386,991	452,826	351,136	528,574	226,158	382,312	445,984
	回答数							
	20～89歳	399	71	58	95	39	72	64
	20 ～ 29	40	7	5	13	3	4	8
	30 ～ 39	53	9	10	12	7	6	9
	40 ～ 49	64	10	11	17	5	10	11
	50 ～ 59	90	18	17	14	10	18	13
	60 ～ 69	62	13	8	16	7	8	10
	70 ～ 89	90	14	7	23	7	26	13
	ウエイト							
	20～89歳							
	20 ～ 29		32,957	61,829	29,204	55,862	43,881	31,391
	30 ～ 39		28,030	28,574	31,523	23,157	29,186	28,378
	40 ～ 49		33,630	31,488	24,337	36,520	22,806	30,108
50 ～ 59		18,561	21,998	33,502	20,907	14,844	24,923	
60 ～ 69		27,321	34,947	25,368	24,435	32,872	32,893	
70 ～ 89		32,345	50,162	22,981	32,308	14,704	34,306	

表 2-1 構成比の推定値（個人属性）

（%）

	原データ	Weight	参考値	
<b>地域【BLOCK】</b>				
北海道・東北	13.7	12.2	12.2	2000年10月国勢調査(総務庁)
関東	28.2	32.3	31.9	
中部	20.0	18.4	18.5	
近畿	15.8	16.4	16.4	
中国・四国	11.1	9.3	9.4	
九州	11.3	11.3	11.6	
<b>市町村の規模【SIZE】</b>				
政令市等	18.5	20.4	21.9	2000年10月国勢調査(総務庁)
その他の市	56.3	58.5	56.8	
町村	25.2	21.1	21.3	
<b>性別【SEXA】</b>				
男	45.6	48.5	48.5	2000年10月国勢調査(総務庁)
女	54.4	51.5	51.5	
<b>年齢【AGEB】</b>				
20～29	13.6	18.2	18.2	2000年10月国勢調査(総務庁)
30～39	14.4	16.9	16.9	
40～49	17.1	16.7	16.7	
50～59	21.9	19.2	19.2	
60～69	18.5	14.8	14.8	
70～89	14.5	14.2	14.2	
<b>配偶関係【DOMARRY】</b>				
有配偶	72.6	69.5	65.3	2000年10月国勢調査(総務庁)
未婚	15.1	19.0	22.6	
離死別	12.3	11.5	12.0	
<b>教育の程度【XXLSTSCH】</b>				
小学・中学	25.9	23.2	23.5	2000年10月国勢調査(総務庁) 抽出速報集計結果
高校・旧中	46.6	45.9	46.4	
短大・高専	11.6	12.2	12.4	
大学・大学院	16.0	18.8	17.7	
				注2
<b>世帯属性【FF01HEAD】</b>				
世帯主	41.7	42.3	46.8	1999年12月国民生活に関する世論調査(総理府)
				注3
<b>就業状態【XJOB1WK, TP5UNEMP】</b>				
従業①	64.2	66.4	63.8	2000年10月労働力調査(総務庁)
休業②	0.8	0.8	0.9	
失業	1.9	2.0	3.0	
家事	20.3	18.9	18.0	
学生	0.0	0.1	2.1	
その他 注4	12.7	11.9	12.2	
				注1
<b>従業上の地位【TP12JOB】①+②</b>				
経営者・役員③	4.6	4.6	5.7	2000年10月国勢調査(総務庁) 抽出速報集計結果
常雇④	52.1	55.8	67.0	
臨時雇・パート・アルバイト⑤	21.3	19.8	10.2	
派遣社員⑥	1.0	1.1	-	
自営業主・内職	14.4	13.0	11.4	
家族従業者	6.5	5.8	5.6	
				注1
<b>企業の従業者数【SZTTLSTA】③～⑥注5</b>				
1～29人	31.8	31.1	32.7	2000年10月労働力調査(総務庁)
30～99人	16.1	15.5	16.5	
100～499人	17.4	18.3	17.1	
500～999人	5.4	5.3	5.7	
1000人以上	16.6	17.6	18.0	
官公庁	12.8	12.3	10.0	
				注6

表 2-1 構成比の推定値(個人属性)(続き)

(%)

	原データ	Weight	参考値			
産業【XXWPL】①+②						
第1次産業	6.8	5.5	5.4	2000年10月国勢調査(総務庁)	注1	
第2次産業	30.4	30.8	30.1	抽出速報集計結果	注7	
第3次産業	62.8	63.7	64.6			
職業【XXJOB】①+②						
専門的・技術的	14.1	14.5	14.1	2000年10月国勢調査(総務庁)	注1	
管理的	2.6	2.5	3.1	抽出速報集計結果		
事務	23.7	25.3	20.1			
販売	11.7	11.9	15.0			
サービス	8.4	8.1	8.6			
保安	1.3	1.3	1.6			
農林漁業	6.5	5.3	5.3			
運輸・通信	4.4	4.5	3.8			
生産工程・労務作業	27.3	26.6	28.5			
労働時間【XJOBHWK】①						
1～14時間	6.4	5.8	4.5	2000年10月労働力調査(総務庁)	注3	
15～34時間	21.9	19.7	17.3			
35～42時間	29.8	30.2	29.5			
43～48時間	17.2	18.1	19.9			
49～59時間	13.1	13.9	16.1			
60時間以上	11.5	12.3	12.7			
年間収入【SZINCOMX】①+②						
100万円未満	21.0	19.1	21.4	1999年12月国民生活に関する世論調査(総理府)	注3 注8	
100万円以上450万円未満	47.1	48.2	56.4			500万円未満
450万円以上1000万円未満	27.7	28.5	22.2			500万円以上
1000万円以上	4.2	4.2				
電子メールの利用(世帯主) 【DOEMAILJ】【DOEMAILP】	19.8	23.5	26.4	2000年11月通信利用動向調査(郵政省)	注3	
インターネットによるショッピング・バンキング (世帯主)【DONETSB】	5.1	6.1	7.8	2000年11月通信利用動向調査(郵政省)	注3 注9	
子供数【CCNUMTTL】(未婚者を除く)						
0人	7.6	9.0	7.4	1999年2月少子化に関する世論調査(総理府)	注3 注10	
1人	15.5	16.4	16.7			
2人	46.7	45.8	48.5			
3人	24.5	23.2	21.7			
4人	4.1	4.0	4.0			
5人以上	1.6	1.6	1.7			
生活の程度【OP5LEVK】						
上	0.6	0.6	0.8	1999年12月国民生活に関する世論調査(総理府)	注3	
中の上	10.0	9.9	9.6			
中の中	51.8	51.6	57.7			
中の下	30.7	30.9	25.2			
下	6.9	6.9	6.6			

注1 85～89歳を除く。

注2 在学者はすべて大学・大学院に含めて計算。

注3 90歳以上を含む。

注4 先週「仕事をしていない」と答えて先週の状況について回答しなかった者は「その他」に含めた。

注5 官公庁は【TP4WPLA】により区分。単独事業所は【SZSTAF A】により区分。

注6 15～19歳及び90歳以上を含む。

注7 新聞業及び出版業は、JGSS-2000では第3次産業に、国勢調査では第2次産業に分類。

注8 1998年の収入。「収入なし」を除外して計算。

注9 インターネットによるショッピングのみ。

注10 18及び19歳を含む。

表 2-2 構成比の推定値(世帯属性)  
各個人の値を当該個人の同居家族数の逆数で加重する場合

(%)

	原データ	Weight	参考値 注1		
<b>世帯人員数【SZLIVES】</b>					
単身	20.7	22.1	27.6	2000年10月国勢調査(総務庁)	
2人	33.2	31.6	25.1		注2
3人	20.2	20.1	18.8		
4人	14.4	15.0	16.9		
5人以上	11.6	11.2	11.5		
<b>住宅の種類【TP8DWEL】</b>					
持ち家・戸建て	68.5	64.4	53.2	2000年10月国勢調査(総務庁)	
持ち家・集合住宅	5.5	6.1	7.8		注2
借家・戸建て	3.7	3.9	5.4		注3
借家・集合住宅	21.7	25.0	33.4		
その他	0.7	0.7	0.2		
<b>住宅の広さ【SZDWEL】</b>					
50㎡未満	18.8	21.3	27.5	2000年10月国勢調査(総務庁)	
50㎡以上100㎡未満	31.4	32.3	36.5		注2
100㎡以上	49.8	46.4	35.9		
<b>世帯の年間収入【SZHSINCM】</b>					
100万円未満	7.6	7.4	4.5	37.5	注4
100万円以上450万円未満	40.1	39.0	44.3	500万円未満	
450万円以上1000万円未満	37.5	38.8	34.8	45.5	
1000万円以上	14.8	14.8	16.4	17.0	

注1 20歳未満又は90歳以上のみから構成される世帯を含む。

注2 施設等の世帯を除外。

注3 住宅の建て方が「その他」の持ち家及び借家は「その他」に区分。

注4 左から順に、2000年7月国民生活基礎調査(厚生省)による1999年の収入、2000年5月生命保険に関する全国実態調査(生命保険文化センター)による1999年の収入。後者は2人以上の一般世帯のみを対象。両調査とも金額区分がJGSS-2000と一致しないので比較の際には要注意。ここでは、JGSS-2000の450万円の区分に対して各調査は500万円の区分で比較。

## 5 比推定用ウエイト【WEIGHT】について：JGSS-2001

この節は、比推定の意義や、JGSS-2001 データセットに付属する変数【WEIGHT】の作成方法、線形推定・比推定による推定結果の違いを概観し、データセット利用者が【WEIGHT】使用の判断をするための情報を提供するものである。

なお、本文中アルファベットを【 】で括った文字は、データセットにおける変数名を指す。

### 1 線形推定と比推定

JGSS-2001 の標本設計では、全国の市町村を地域のブロック及び市郡規模により 18 の層に分け、その層の人口規模に応じて国勢調査（総務庁）の調査区<sup>1)</sup>を抽出、調査区からそれぞれ約 15 人の調査対象を無作為に抽出している<sup>2)</sup>。このため、抽出率の逆数を乗じて足し上げる線形推定の過程が単純化され、原理的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで属性（回答の選択肢）別構成比を推定することができる。

ところで、官公庁が標本調査により実施する指定統計調査などでは、結果の推定方法として、直近の全数調査などから得られた人口、従業者数等を補助情報として活用する比推定がよく用いられている。現実の標本調査である以上、偶然又は実務上の制約（不在や拒否）のため推定に偏りが生じることがあるので、少しでも精度を高めるために既存の情報を利用しようという試みである。

比推定には、線形推定と比較して(1)調査結果を単に構成比として比較するだけでなく、絶対量として意味を持たせることができる、(2)調査対象抽出に伴う偶然の偏りと未回収による情報の損失を補うことができる、(3)既存情報と基盤を合わせることで、調査独自の結果を分析することに集中できる、などのメリットがある。

諸外国の GSS や類似の調査の結果をみても、カナダやイタリアなどのいくつかの国で国勢調査や労働力調査を基にした比推定が行われている。また、米国の GSS については、比推定は行われていないものの、結果の分布は全数調査などと大差がないことを確認しており、これらの調査と分布を比較・分析する視点は重視されている（清水誠, 2001）。

なお、比推定で用いる乗率＝「ウエイト」の作成方法は必ずしも一つに定まるものではなく、また、属性によっては補助情報に依存しないものもあるので、場合によっては比推定により却って推定値が現状から離れてしまうこともある。したがって、比推定やそのためのウエイトの選択はデータセット利用者が目的に応じて判断すべきものである。

### 2 変数【WEIGHT】の作成方法

JGSS-2001 データセットには比推定用ウエイトとして変数【WEIGHT】が付属する。これは、調査票 1 枚が代表する人数「推計人口」/「JGSS-2001 回答者数」を、下のように母集団を 144 の区分に分割して計算することにより作成されたものである。

地域別（6 区分）×市郡別（2 区分）×男女別（2 区分）×年齢 10 歳階級別（6 区分）
--

（年齢 10 歳階級別のうち、70～79 歳と 80～89 歳は、統合して 1 区分とする）。

この方法は、前回 JGSS-2000 の【WEIGHT】のもの（清水誠, 2002）を基本的に踏襲しているが、後者は 2000 年国勢調査人口を利用しているのに対して、前者は 2001 年人口推計に基づいている。



## (1) 推計人口

【WEIGHT】の分子となる推計人口を上記の区分ごとに得るために、以下のように計算した。

## ア 地域別×市郡部×男女×年齢 10 歳階級別 2000 年人口

「2000 年国勢調査確定人口」（都道府県、総数・市部、男女、年齢各歳別）（総務省）を元に区分ごとに人口を算出する。

ここで、郡部は、総数から市部を引くことにより計算した。また年齢不詳人口は、各年齢階級に按分をすることで合計が総数と一致するようにする。

## イ 地域別×市郡部×男女×年齢 10 歳階級別 2001 年人口

「2001 年 10 月 1 日推計人口」（都道府県、男女、年齢 5 歳階級別推計人口と男女、年齢 5 歳階級別（全国）の 2 種類）を元に区分ごとに人口を算出する。

ここで、都道府県、男女、年齢 5 歳階級別推計人口では、80 歳以上が一括りに掲載されているため、80～89 歳人口を直接得ることができない。そこで、「80 歳以上人口に占める 80～89 歳人口の割合」の男女別全国値を使って、これを都道府県別 80 歳以上推計人口に男女ごとに乗じることにより独自に推計する。また、市郡別人口も、推計人口からは得られないが、(1)で算出した 2000 年市部人口割合を区分ごとに乗じることにより独自に推計する。

なお、都道府県、男女、年齢 5 歳階級別人口において、「年齢階級別を足し上げた数字」と「総数」との間に差が生じるが、便宜上これを「年齢不詳」としてア同様の按分をする。

## (2) JGSS-2001 回答者数

【WEIGHT】の分母は、回答者数 2,790 を上記の 144 の区分に分割することで求めた。

この分割の仕方では、区分「中国・四国、郡部男、20～29 歳」（推計人口 172,275 人）の回答者数が 0 となり、当該区分を代表する回答が存在しなくなるという問題が生じる。このため、この区分「郡部男」と、同じ地域、年齢階級の区分「市部男」（同 558,854 人）と合併させて作った大きな区分「中国・四国、市郡計男、20～29 歳」に対して【WEIGHT】を与えるという措置を取っている。

なお、区分「北海道・東北、郡部男、30～39 歳」（同 253,433 人）の回答者数は 1 であり、1 人の回答が当該区分を代表する形になっている。

## (3) 【WEIGHT】の分布

以上の方法により調査票 1 枚が代表する人数を算出して得られた【WEIGHT】は、表 1-1 及び表 1-2 のとおりである。線形推計では 1 人 1 人の回答は同じ重みでしか集計されないが、この【WEIGHT】を用いる比推計では、属する区分により回答の軽重が異なってくる。

【WEIGHT】の大きさの度数分布表を下に示す。【WEIGHT】の大きい上位 17 位までの区分は、すべて 20～29 歳又は 30～39 歳の若年層である。これは、実査の中で、若年層の回答者数の割合が推計人口に対して小さかったためである。この【WEIGHT】を用いて比推定すると、回答者数の少なかった若年層は重く評価され、「補正」が行われることになる。

【WEIGHT】の大きさ	度数
250,000 ~ 260,000	1
110,000 ~ 120,000	1
100,000 ~ 110,000	3
90,000 ~ 100,000	2
80,000 ~ 90,000	2
70,000 ~ 80,000	6
60,000 ~ 70,000	11
50,000 ~ 60,000	31
40,000 ~ 50,000	40
30,000 ~ 40,000	41
20,000 ~ 30,000	6
区分数計	144

最大 253,433 (北海道・東北、郡部男、30～39 歳)  
 次点 106,578 (関東、郡部男、20～29 歳)

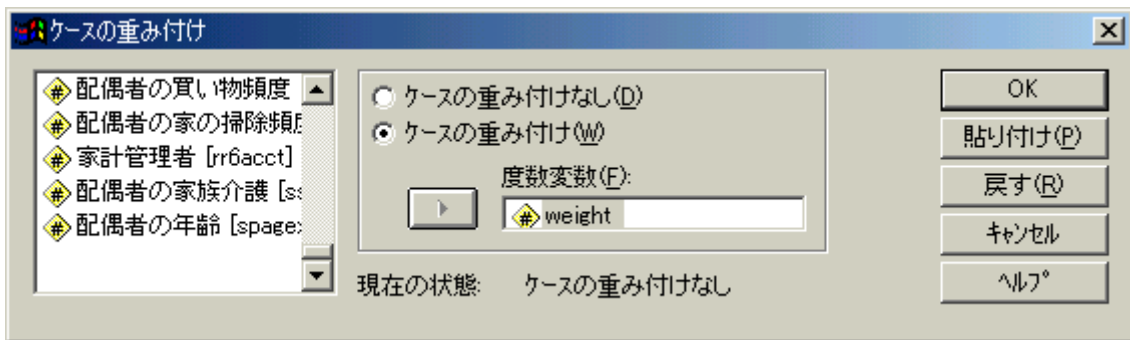
平均 40,261

最小 13,088 (中国・四国、市部男、70～89 歳)

### 3 SPSS 形式ファイルでの【WEIGHT】の使用方法

JGSS のデータセットは、SSJ データ・アーカイブの標準様式である SPSS 形式ファイルにより提供されている。SPSS のメニューバーによる以下の操作により、ウエイトが付与 (SPSS では「ケースの重み付け」) され、比推定ができる。

- (1) メニューバーから「データ (D)」→「ケースの重み付け (W)」
- (2) 「ケースの重み付け」ダイアログから「ケースの重み付け (W)」を選択、「度数変数 (F)」として変数【weight】を指定したのちに「OK」



重み付けがされると、SPSS ウィンドウのステータスバーに「重み付きオン」と表示される。なお、ウエイトを解除するには、ダイアログの「ケースの重み付けなし (D)」を選択する。



### 4 同居家族単位の推定に必要なケースの重み付け

JGSS-2001 では、個人を単位として等確率で標本抽出して調査対象を決めており、世帯、家族、住宅などが単位になっているわけではない。

そのため、JGSS-2001 データセットを使って家族を単位とする集計、分析を行うのであれば、2人以上の家族の「標本」は1人暮らしの「標本」よりも小さくして扱うべきである。すなわち、家族が大きい分、1人暮らしよりも標本として当たる確率が大きかったことを割り引くのである。

JGSS-2001 データセットには、変数「同居家族数」【SZFFHERE】が用意されているので、「同居家族数」の逆数 (1/【SZFFHERE】) によりケースを重み付けすることで、同居家族単位による推定が可

能となる。この重み付けは、比推定用ウエイト【WEIGHT】を使用するしないにかかわらず留意すべきことである。

【WEIGHT】を使用しつつ同居家族単位の推定をする場合には、利用者は独自に【WEIGHT】/【SZFFHERE】を計算して、この値を持つ変数によりケースを重み付けすればよい。

なお、世帯、家族、住宅などの単位で分析が想定される変数として、以下のものを挙げることができる。これらの変数を使用する場合であっても、個人又は世帯員単位で分析をする際にはこの操作は不要である。

JGSS-2001 における、世帯、家族、住宅などの単位で分析が想定される変数

面接票

問 12	家事分担【WH3HSWK】
問 17	住居形態【TP8DWEL】
問 18	住宅床面積【SZDWEL】
問 19(1)	同居家族人数【SZFFHERE】
問 19(2)	別居家族人数【SZFFAWAY】
問 22	子どもの人数【CCNUMTTL】
問 33	世帯年収【SZHSINCM】 【SZHSHINC】

留置票

Q5	世帯収入のレベル【OP5FFINX】
Q6	15歳の頃の世帯収入レベル【OPFFIX15】
Q32	自宅周辺の危険場所の有無【FEARWALK】
Q33	空き巣被害経験【XSTOLNIY】
Q41	介護経験（本人）【XCARE】
Q62	ペットの有無【DOPET】
Q62 付問(1)	ペットの種類【DODOGE】 【DODOGI】 【DOCAT】 【DOMAMMAL】 【DOBIRDA】 【DOFISHA】 【DOREPTL】 【DOINSECT】 【DOOTHER】 【DOPNOMK】
Q65	健康状態（配偶者）【SS5HLTHZ】
Q66	家事の頻度（配偶者）【SSFQ7CK】 【SSFQ7WSH】 【SSFQ7SHP】 【SSFQ7CLN】
Q67	家計管理【RR6ACCT】
Q68	介護経験（配偶者）【SSCARE】

5 線形推定と比推定による推定結果の比較

3で作成した【WEIGHT】を使用して、線形推定と比推定によるJGSS-2001の推定結果を属性別構成比にして比較してみる（表2-1、表2-2）。

参考として、JGSS-2001調査の前後に実施された回答者数の大きな他の調査の結果も、データの妥当性を見るために対比させている。なお、ここでの構成比は、無回答を欠損値として集計しており、基本的には構成要素をすべて合計すると100.0になる。

(1) 【WEIGHT】の作成方法により当然のことではあるが、地域×男女×年齢別構成は参考値と一致する。例えば、年齢「20～29歳」の占める割合は、線形推定によると11.9%しかなく、これは参

考値（17.8％）と比べて小さいものになっている。ところが、比推定では17.8％に膨らみ、参考値と一致する。

市町村の規模別（3分割）については、【WEIGHT】の作成が市郡別（2分割）であったことから、参考値には一致しないものの、「町村」の構成比は参考値にかなり近づく。

このように比推定は、線形推定に対して、補助情報として参照した属性に補正をした上で、その他の属性に関する分析を可能とする。

- (2) 配偶関係「未婚」（参考値 22.6％）は、線形推定では14.6％と低くなっているが、比推定による結果では19.4％となり、参考値に近くなる。これは、線形推定（原データ）では割合が小さかった未婚率の高い若年層が、比推定では参考値（現状）と同じ割合に膨らんで評価されるようになるからである。他にも、住宅の種類「持ち屋・戸建て」、「借家・集合住宅」（世帯属性）などは、比推定の方が差は縮小する。このように比推定により参考値との差が縮小する属性は、補助情報として用いた地域、市郡、男女、年齢の属性のいずれかと関係があるものと思われる。
- (3) 一方、比推定によりむしろ現状から離れることもある。例えば、職業について、線形推定では参考値よりも割合が低い「サービス」、「農林漁業」は、比推定でさらに低くなる。このような属性は、補助情報として用いた属性のいずれとも関係がもともと弱いことも考えられる。

#### 注

- 1) 国勢調査の調査区は基本単位区を2つ程度結合して作成されている。基本単位区とは、住居表示実施地域においては街区を、住居表示実施地域以外の地域においては、街区に準じた区画を単位として設定されており、そこに含まれる世帯数はおおむね25～30世帯である。
- 2) 実際には、調査区の抽出は当該地点の最初の調査対象者を決めるために行われ、当該地点の他の調査対象者は当該地点を含む投票区（又はそれに周辺投票区を加えた地域）の中から選挙人名簿に沿って一定の間隔ごとに抽出される。

表 1-1 市部の推計人口、JGSS-2001 回答者数及び【WEIGHT】（ = 推計人口 ÷ 回答者数）

		全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
市部男	推計人口							
	20～89歳	38,704,805	4,014,522	14,429,233	6,604,235	6,925,206	3,107,743	3,623,867
	20～29	7,588,672	737,450	3,000,918	1,225,686	1,375,581	558,854	690,184
	30～39	7,226,904	677,066	2,929,615	1,214,128	1,282,921	518,403	604,770
	40～49	6,351,191	718,117	2,299,631	1,089,537	1,066,834	520,952	656,120
	50～59	7,573,671	777,452	2,765,426	1,310,848	1,398,706	633,598	687,641
	60～69	5,634,711	591,901	2,031,848	971,081	1,060,640	457,114	522,126
	70～89	4,329,656	512,536	1,401,795	792,955	740,523	418,822	463,025
	回答者数							
	20～89歳	954	123	301	165	173	99	93
	20～29	136	18	50	27	22	8	11
	30～39	147	16	60	22	30	10	9
	40～49	155	15	41	36	27	14	22
	50～59	217	29	55	36	48	24	25
	60～69	164	29	49	27	33	11	15
	70～89	135	16	46	17	13	32	11
	【WEIGHT】							
	20～29		40,969	60,018	45,396	62,526	※ 91,391	62,744
	30～39		42,317	48,827	55,188	42,764	51,840	67,197
	40～49		47,874	56,089	30,265	39,512	37,211	29,824
	50～59		26,809	50,280	36,412	29,140	26,400	27,506
60～69		20,410	41,466	35,966	32,141	41,556	34,808	
70～89		32,033	30,474	46,644	56,963	13,088	42,093	
市部女	推計人口							
	20～89歳	40,857,211	4,448,310	14,377,711	6,906,315	7,499,662	3,466,512	4,158,700
	20～29	7,299,563	731,604	2,735,315	1,168,086	1,388,082	567,208	709,268
	30～39	7,040,736	703,886	2,668,375	1,162,732	1,307,765	537,759	660,219
	40～49	6,320,816	743,076	2,181,415	1,071,026	1,099,870	532,461	692,967
	50～59	7,758,966	827,491	2,761,947	1,312,109	1,465,685	653,739	737,996
	60～69	6,077,324	683,423	2,080,667	1,034,328	1,131,213	525,685	622,007
	70～89	6,359,807	758,831	1,949,992	1,158,034	1,107,047	649,660	736,242
	回答者数							
	20～89歳	1,173	135	372	223	214	114	115
	20～29	120	10	35	28	29	6	12
	30～39	174	16	70	24	31	13	20
	40～49	193	18	64	34	34	21	22
	50～59	276	34	79	60	54	28	21
	60～69	212	29	61	42	34	24	22
	70～89	198	28	63	35	32	22	18
	【WEIGHT】							
	20～29		73,160	78,152	41,717	47,865	94,535	59,106
	30～39		43,993	38,120	48,447	42,186	41,366	33,011
	40～49		41,282	34,085	31,501	32,349	25,355	31,499
	50～59		24,338	34,961	21,868	27,142	23,348	35,143
60～69		23,566	34,109	24,627	33,271	21,904	28,273	
70～89		27,101	30,952	33,087	34,595	29,530	40,902	

※ 同じ地域、年齢階級の郡部の区分と合併させて、大きな区分として計算している。

表 1-2 郡部の推計人口、JGSS-2001 回答者数及び【WEIGHT】（=推計人口÷回答者数）

		全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	
郡部男	推計人口								
	20～89歳	10,217,573	1,800,513	1,916,918	2,437,726	1,026,416	1,322,772	1,713,227	
	20～29	1,533,780	245,077	319,733	386,593	164,419	172,275	245,682	
	30～39	1,533,510	253,433	307,019	397,150	160,079	172,719	243,109	
	40～49	1,830,147	337,450	355,890	415,723	174,166	221,178	325,740	
	50～59	2,019,875	342,149	398,195	482,461	206,294	266,561	324,215	
	60～69	1,653,466	306,581	286,606	382,153	164,360	230,007	283,759	
	70～89	1,646,796	315,823	249,475	373,645	157,098	260,032	290,721	
	回答者数								
	20～89歳	329	46	50	92	26	48	67	
	20～29	34	6	3	10	2	0	13	
	30～39	35	1	5	9	4	7	9	
	40～49	57	16	8	12	3	8	10	
	50～59	59	6	11	20	4	9	9	
	60～69	68	10	12	19	4	13	10	
	70～89	76	7	11	22	9	11	16	
	【WEIGHT】								
	20～29		40,846	106,578	38,659	82,210	※ 91,391	18,899	
	30～39		253,433	61,404	44,128	40,020	24,674	27,012	
	40～49		21,091	44,486	34,644	58,055	27,647	32,574	
	50～59		57,025	36,200	24,123	51,573	29,618	36,024	
60～69		30,658	23,884	20,113	41,090	17,693	28,376		
70～89		45,118	22,680	16,984	17,455	23,639	18,170		
郡部女	推計人口								
	20～89歳	11,113,641	1,971,784	1,968,433	2,592,008	1,128,311	1,499,716	1,953,388	
	20～29	1,487,254	228,396	303,235	369,427	164,062	172,030	250,103	
	30～39	1,540,066	253,114	296,186	387,786	167,372	178,472	257,135	
	40～49	1,787,057	325,924	338,212	403,466	177,249	219,781	322,425	
	50～59	1,995,030	340,509	375,589	472,487	208,470	268,559	329,416	
	60～69	1,830,553	355,577	289,982	412,155	176,908	264,570	331,361	
	70～89	2,473,681	468,263	365,227	546,687	234,249	396,305	462,949	
	回答者数								
	20～89歳	334	60	68	75	36	45	50	
	20～29	41	9	8	6	7	5	6	
	30～39	38	3	5	14	7	4	5	
	40～49	55	10	13	10	5	8	9	
	50～59	63	12	15	16	5	6	9	
	60～69	65	11	13	12	7	12	10	
	70～89	72	15	14	17	5	10	11	
	【WEIGHT】								
	20～29		25,377	37,904	61,571	23,437	34,406	41,684	
	30～39		84,371	59,237	27,699	23,910	44,618	51,427	
	40～49		32,592	26,016	40,347	35,450	27,473	35,825	
	50～59		28,376	25,039	29,530	41,694	44,760	36,602	
60～69		32,325	22,306	34,346	25,273	22,047	33,136		
70～89		31,218	26,088	32,158	46,850	39,630	42,086		

同じ地域、年齢階級の市部の区分と合併させて、大きな区分として計算している。

表 2-1 構成比の推定値（個人属性）

回答者数 n=2,790

(%)

	JGSS-2001		参考値		
	線形推定	比推定			
<b>地域ブロック【BLOCK】</b>					
北海道・東北	13.0	12.1	12.1	2001年10月人口推計（総務省）	
関東	28.4	32.4	32.4		
中部	19.9	18.4	18.4		
近畿	16.1	16.4	16.4		
中国・四国	11.0	9.3	9.3		
九州	11.6	11.3	11.3		
<b>市郡規模【SIZE】</b>				2000年10月国勢調査（総務庁）	
政令市等	18.2	19.1	21.9		
その他の市町村	58.1	59.9	56.8		
<b>性別【SEXA】</b>				2001年10月人口推計（総務省）	
男	46.0	48.5	48.5		
女	54.0	51.5	51.5		
<b>年齢【AGEB】</b>				2001年10月人口推計（総務省）	注 1
20～29	11.9	17.8	17.8		
30～39	14.1	17.2	17.2		
40～49	16.5	16.1	16.1		
50～59	22.0	19.2	19.2		
60～69	18.2	15.1	15.1		
70～89	17.2	14.7	14.7		
<b>配偶者【DOMARRY】</b>				2000年10月国勢調査（総務庁）	
有配偶	73.9	70.4	65.3		
離死別 未婚	11.5 14.6	10.2 19.4	12.0 22.6		
<b>最終学校【XXLSTSCH, XNOWORK】</b>				2000年10月国勢調査（総務庁）	注 2
小学・中学	25.2	22.1	23.2		
高校・旧中	44.7	44.8	46.3		
短大・高専 大学・大学院	12.3 17.8	12.8 20.3	12.5 18.0		
<b>世帯主【FF01HEAD】</b>				2001年12月国民生活に関する世論調査（内閣府）	注 3 注 4
世帯主	45.7	45.2	48.6		
<b>就労状態</b> 【XJOB1WK, XNOWORK, TP5UNEMP】				2001年10月労働力調査（総務省）	注 3 注 5
従業①	60.7	63.7	61.0		
休業②	0.8	0.9	0.9		
失業	1.9	2.0	3.3		
家事	23.8	22.0	17.6		
学生	1.1	1.6	2.2		
その他	11.7	9.8	15.1		
<b>従労地位【TP12JOB】</b> (①+② n=1,698)				2001年10月労働力調査（総務省）	注 3
経営者・役員③	6.9	6.2	6.6		
常雇④	51.8	56.1	66.8		
臨時雇・パート・アルバイト⑤	20.7	19.4	10.5		
派遣社員⑥	1.0	1.2	-		
自営業主・内職 家族従業者	14.1 5.5	12.4 4.8	11.0 5.0		

表 2-1 構成比の推定値（個人属性）（続き）

(%)

	JGSS-2001		参考値		
	線形推定	比推定			
<b>企業規模</b> 【SZTTLSTA, TP4WPLA, SZSTAF A】 (③~⑥ n=1,333)					
1~29人	33.3	31.4	32.6	2001年10月労働力調査(総務省)	注3 注6
30~99人	17.4	17.6	16.5		
100~499人	15.5	15.7	17.4		
500~999人	5.7	6.3	5.7		
1000人以上	17.6	18.4	17.5		
官公庁	10.5	10.6	10.3		
<b>業種【XXWPL】①+②</b>					
第1次産業	4.4	3.5	5.2	2001年10月労働力調査(総務省)	注3 注7
第2次産業	31.8	32.4	30.3		
第3次産業	63.8	64.1	64.6		
<b>職種【XXJOB】+</b>					
専門的・技術的	13.9	15.0	13.8	2001年10月労働力調査(総務省)	注8
管理的	2.3	2.2	3.3		
事務	19.4	20.1	19.4		
販売	16.7	16.3	15.0		
サービス	8.0	7.8	9.1		
保安	1.0	0.9	1.7		
農林漁業	4.7	3.6	5.0		
運輸・通信	3.7	3.8	3.4		
生産工程・労務作業	30.4	30.3	29.3		
<b>就労時間【XJOBHWK】(① n=1,667)</b>					
1~14時間	6.8	6.4	4.7	2001年10月労働力調査(総務省)	注3
15~34時間	19.2	17.3	17.8		
35~42時間	30.4	30.7	29.4		
43~48時間	19.9	20.7	20.2		
49~59時間	13.0	13.7	15.4		
60時間以上	10.7	11.2	12.6		
<b>インターネットによるショッピング ・バンキング【DONETSB】</b>					
全回答者	7.1	8.6	10.7	2001年10月社会生活基本調査(総務省)	注3
うち、世帯主(n=1,224)	7.8	9.5	9.5	2001年10月通信利用動向調査(総務省)	注3 注9
<b>階層帰属意識【OP5LEVK】</b>					
上	0.6	0.7	0.8	2001年9月国民生活に関する世論調査 (内閣府)	注3
中の上	10.5	10.5	9.7		
中の中	48.6	48.2	57.2		
中の下	33.8	34.2	26.3		
下	6.5	6.5	6.1		

注1 人口推計から直接得られない都道府県別80~89歳人口は、全国の「80歳以上人口に占める80~89歳人口割合」を都道府県別80歳以上人口に男女別で乗じることにより独自に推計することにより、参考値とした。

注2 在学中の者はすべて「大学・大学院」に含めた。参考値では、85~89歳を除く。

注3 参考値では、90歳以上を含む。

注4 参考値では、「主として世帯を支えている」について尋ねている。

注5 JGSSでは、先週「仕事をしていない」と答えて先週の状況について回答しなかった者は、「その他」に含めた。

注6 JGSSでは、「官公庁」は【TP4WPLA】に、単独事業所は【SZSTAF A】に、それぞれ基づいて分類した。

注7 新聞業及び出版業は、JGSSでは第3次産業に、参考値では第2次産業に分類している。

注8 参考値では、15~19歳及び90歳以上を含む。

注9 参考値では、「オンラインショッピング」のみについて尋ねている。



表 2-2 構成比の推定値（世帯属性）

各個人の値を同居家族数の逆数（1/【SZFFHERE】）で加重している。

(%)

	JGSS-2001		参考値		
	線形推	比推定			
<b>同居家族人数【SZFFHERE】</b>					
単身	20.4	21.3	27.6	2000年10月国勢調査（総務庁）	注1 注2
2人	35.6	32.6	25.1		
3人	19.1	19.8	18.8		
4人	14.4	15.4	16.9		
5人以上	10.5	10.8	11.5		
<b>住居形態【TP8DWEL】</b>					
持ち家・戸建て	69.5	65.3	53.2	2000年10月国勢調査（総務庁）	注1 注2 注3
持ち家・集合住宅	5.8	6.0	7.8		
借家・戸建て	4.2	4.4	5.4		
借家・集合住宅	20.2	23.8	33.4		
その他	0.3	0.5	0.2		
<b>住宅床面積【SZDWEL】</b>					
50㎡未満	11.0	12.8	27.1	2000年10月国勢調査（総務庁）	注1 注2
50㎡以上100㎡未満	31.8	32.6	36.6		
100㎡以上	57.2	54.7	36.3		
<b>世帯収入【SZHSINCM】</b>					
250万円未満	14.0	12.9	21.9	2000年7月国民生活基礎調査 （厚生労働省）	注1
250万円以上450万円未満	20.9	20.9	23.1		
450万円以上1,000万円未満	48.9	49.7	39.1		
1,000万円以上	16.2	16.4	15.8		

注1 参考値では、20歳未満又は90歳以上のみから構成される世帯を含む。

注2 参考値では、施設等の世帯を除外している。

注3 住宅の建て方が「その他」の持ち家及び借家は、「その他」に分類している。

[参考文献]

清水誠, 2001, 「JGSS 第2回予備調査データセットのウエイトについて」SSJ Data Archive Research Paper

Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター

清水誠, 2002, 「データセットのウエイトについて」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学

研究所編『日本版 General Social Surveys (JGSS)JGSS-2000 基礎集計表・コードブック』

総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/> 「国勢調査」「人口推計」「労働力調査」「社会生活基本調査」

内閣府政府広報室 <http://www8.cao.go.jp/survey/index.html> 2001, 「国民生活に関する世論調査」

厚生労働省大臣官房統計情報部 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html> 「国民生活基礎調査」

槇田 直木

## 5 データセットの重み付けについて：JGSS-2002 (WEIGHT・家族を単位とする項目の推定)

この節では、JGSS-2002 データセットに付属する変数【WEIGHT】の作成方法、線形推定・比推定による推定結果の違いを概観し、データセット利用者が【WEIGHT】使用の判断をするための情報を提供する。また、家族、住宅を単位とする項目について集計する際に配慮すべき「家族の大きさ」の扱いについても説明する。

文中、アルファベットを【 】で括った文字は、データセットにおける変数名を意味する。

### 1 線形推定と比推定

JGSS の標本設計では、全国の市町村を地域のブロック及び市郡規模により 18 の層に分け、その層の人口規模に応じて国勢調査（総務省）の調査区<sup>1)</sup>を抽出、調査区からそれぞれ約 15 人の調査対象を無作為に抽出している<sup>2)</sup>。このため、抽出率の逆数を乗じて足し上げる線形推定の過程が単純化され、原理的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで属性（回答の選択肢）別構成比を推定することができる。

ところで、官公庁が標本調査により実施する指定統計調査などでは、結果の推定方法として、直近の全数調査などから得られた人口、従業者数等を補助情報として活用する比推定がよく用いられている。現実の標本調査である以上、偶然又は実務上の制約（不在や拒否）のため推定に偏りが生じることがあるので、少しでも精度を高めるために既存の情報を利用しようという試みである。

比推定には、線形推定と比較して（1）調査結果を単に構成比として比較するだけでなく、絶対量として意味を持たせることができる、（2）調査対象抽出に伴う偶然の偏りと未回収による情報の損失を補うことができる、（3）既存情報と基盤を合わせることで、調査独自の結果を分析することに集中できる、などのメリットがある。

諸外国の社会調査や類似の調査の結果をみても、カナダやイタリアなどのいくつかの国で国勢調査や労働力調査を基にした比推定が行われている。また、米国の GSS については、比推定は行われていないものの、結果の分布は全数調査などと大差がないことが確認されており、これらの調査と分布を比較・分析する視点は重視されている（清水誠, 2001）。

なお、比推定で用いる乗率＝「ウエイト」の作成方法は必ずしも一つに定まるものではなく、また、属性によっては補助情報に依存しないものもあるので、場合によっては比推定により却って推定値が現状から離れてしまうこともある。したがって、比推定やそのためのウエイトの選択はデータセット利用者が目的に応じて判断すべきものである。

### 2 変数【WEIGHT】の作成方法

JGSS-2002 データセットには比推定用ウエイトとして変数【WEIGHT】が付属する。これは、調査票 1 枚が代表する人数（推計人口 / JGSS-2002 回答者数）を、下のように母集団を 144 の区分に分割して計算することにより作成したものである。

地域別（6 区分）×市郡別（2 区分）×男女別（2 区分）×年齢 10 歳階級別（6 区分）

（年齢 10 歳階級別のうち、70～79 歳と 80～89 歳は、統合して 1 区分とする）。

この方法は、前回 JGSS-2001 の【WEIGHT】を踏襲している（槇田直木, 2003）。

(1) 推計人口

【WEIGHT】の分子となる推計人口を上記の区分ごとに得るために、以下のように計算した。

ア 地域別×市郡部×男女×年齢 10 歳階級別 2000 年人口

「2000 年国勢調査確定人口」(都道府県、総数・市部、男女、年齢各歳別)(総務省)を元に、区分ごとに人口を算出する。郡部は、総数から市部を引くことにより計算した。なお、年齢不詳人口は各年齢階級に按分を行い、人口の合計が総数と一致するようにした。

イ 地域別×市郡部×男女×年齢 10 歳階級別 2002 年人口

「2002 年 10 月 1 日推計人口」(都道府県、男女、年齢 5 歳階級別推計人口と男女、年齢 5 歳階級別(全国)の 2 種類)を元に、区分ごとに人口を算出した。

この都道府県、男女、年齢 5 歳階級別推計人口は、実際には 80 歳以上を一括りに掲載しており、ここから 80~89 歳人口を直接得られない。そこで、「80 歳以上人口に占める 80~89 歳人口の割合」の男女別全国値を計算し、これを都道府県別 80 歳以上推計人口に男女ごとに乗じることにより独自に推計した。また、市郡別人口も、推計人口からは得られないが、(1)で算出した 2000 年市郡人口割合を区分ごとに乗じることにより独自に推計した。

なお、都道府県、男女、年齢 5 歳階級別人口において、「年齢階級別を足し上げた数字」と「総数」との間に差が生じるが、便宜上これを「年齢不詳」としてア同様に按分した。

(2) 回答者数

【WEIGHT】の分母は、全国の回答者数 2,953 を上記の 144 の区分に分割することで求めた。

区分別回答者数の度数分布を見ると、1 枚の調査票だけで当該区分の人口を代表させるところが 2 区分発生している。このような事態を回避するために、便宜的に近隣の区分と統合してウエイトを作成することもできるが、ここでは行っていない。

回答者数	度数	区分
1	2	中国・四国郡部男 20~29,九州郡部男 30~39
2	2	九州郡部女 20~29,近畿郡部女 40~49
3	4	近畿郡部男 20~29,近畿郡部男 70~89 近畿郡部女 20~29,中国・四国郡部女 20~29
4	2	中部郡部女 20~29,近畿郡部男 30~39
5	5	略
6 ~	30	〃
10 ~	30	〃
15 ~	21	〃
20 ~	18	〃
30 ~	14	〃
40 ~	5	〃
50 ~	5	〃
60 ~	4	〃
70	2	関東郡部女 30~39,関東郡部女 50~59
計	144	

(3) 【WEIGHT】

(1) を (2) で除することにより得られる【WEIGHT】は、表 1-1 及び表 1-2 のとおりである。線形推計では調査票 1 枚 1 枚の回答は同じ重みで集計されるが、この【WEIGHT】を用いる比推計では、調査票が属する区分のウエイトにより回答の軽重が異なってくる。すなわち、推計人口に対して回答者数の少ない層の回答を重めにするように推計が補正される。

【WEIGHT】の度数分布を見ると、もっとも大きい【WEIGHT】を持つ区分は九州郡部男 30~39 歳であり、以降 20~29 歳の層を中心に続いている。

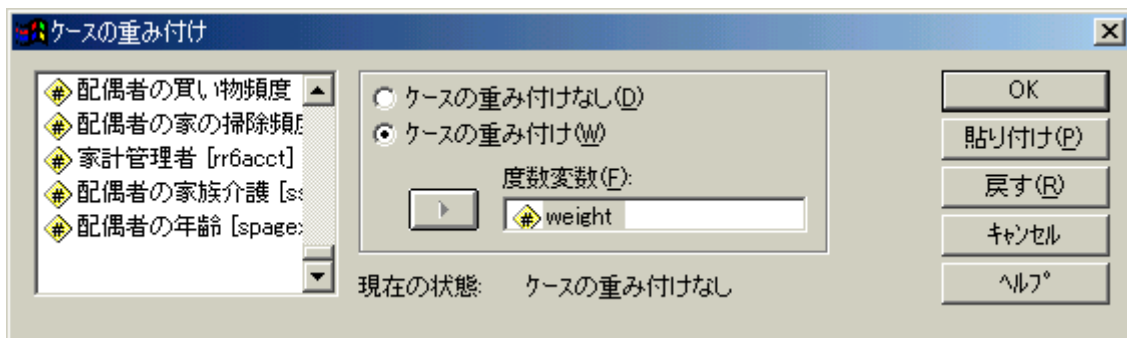
【WEIGHT】	度数	区分
200,000 ~	1	九州郡部男 30 ~ 39(=247,193)
150,000 ~	1	中国・四国郡部男 20 ~ 29(=168,770)
100,000 ~	1	九州郡部女 20 ~ 29(=124,059)
90,000 ~	0	-
80,000 ~	2	中部郡部女 20 ~ 29,近畿郡部女 40 ~ 49
70,000 ~	0	-
60,000 ~	3	九州市部男 20 ~ 29,中部市部男 20 ~ 29,関東市部女 20 ~ 29
50,000 ~	13	略
40,000 ~	30	(【WEIGHT】の平均 38,705) "
30,000 ~	38	"
20,000 ~	48	"
10,000 ~	7	最小は、中部郡部男 50 ~ 59(=17,151)
計	144	

### 3 SPSS において【WEIGHT】により重み付けをする方法

JGSS のデータセットは、SSJ データアーカイブから SPSS 形式ファイルで提供されている。SPSS の以下の操作により各ケースが【WEIGHT】で重み付けされる。

(1) メニューバーから「データ (D)」→「ケースの重み付け (W)」

(2) 「ケースの重み付け」ダイアログから「ケースの重み付け (W)」を選択、「度数変数 (E)」として変数【WEIGHT】を指定したのちに「OK」



重み付けがされると、SPSS ウィンドウのステータスバーに「重み付きオン」と表示される。重み付けを解除するには、ダイアログの「ケースの重み付けなし (D)」を選択する。



### 4 家族を単位とする項目の推定に必要な重み付け

JGSS では、個人を単位とした標本抽出により調査対象を決めており、家族、住宅などを抽出単位としているわけではない。そのため、JGSS データセットを使って家族を単位とする集計、分析を行うのであれば、2人以上の家族の「標本」は1人暮らしの「標本」よりも扱いを小さくするよう、単位を整える必要がある。

JGSS-2002 データセットには、変数「家族人数 (本人含む)」【SZFFTTL】(表 2-2 注 9 を参照) が用意されているので、この逆数 (1 ÷ 【SZFFTTL】) によりケースを重み付けすることで、家族を単位とする事項の推定を適切に行うことができる。

家族を単位として分析をする場合、この重み付けは、【WEIGHT】を使用するしないにかかわらず留意すべきことである（個人又は世帯員単位で分析をする際には、家族人数逆数の重み付けは不要である。）。

なお、【WEIGHT】を使用しつつ家族を単位とする項目の推定をする場合には、利用者は【WEIGHT】÷【SZFFTTTL】を計算して、この値を持つ変数によりケースを重み付けすればよい。

家族、住宅などの単位で分析が想定される変数として、以下のものを挙げることができる。

#### 面接票

問 24-1	住居形態【TP8DWEL】
問 24-2	住宅床面積【SZDWEL】
問 26-1	同居の有無（本人）【FFRESIDE】
問 26-3	家族人数（本人含む）【SZFFTTTL】
問 26-4	別居家族人数（本人除く）【SZFFOUT】
問 28	子どもの人数【CCNUMTTL】
問 37	世帯年収【SZHSINCM】
問 38	世帯支出：住宅費【SZEXHOUS】
問 39	世帯支出：教育費【SZEXED】

#### 留置票

Q4	世帯収入のレベル【OP5FFINX】
Q5	15歳の頃の世帯収入レベル【OPFFIX15】
Q6	生活水準向上機会の有無【OP5CHNCA】
Q11	家族そろった夕食：頻度【FQ7FFDNR】
Q20	介護経験（本人）【XCARE】
Q25	自宅周辺の危険場所の有無【FEARWALK】
Q26	空き巣被害経験【XSTOLNIY】
Q64	介護経験（配偶者）【SSCARE】

### 5 線形推定と比推定による推定結果の比較

2で作成した【WEIGHT】を使用して、線形推定と比推定によるJGSS-2002の推定結果を属性別構成比にして比較してみる（表2-1、表2-2）。

参考として、JGSS-2002調査の前後に実施された回答者数の大きな他の調査の結果も、データの妥当性を見るために対比させている。なお、ここでの構成比は、無回答を欠損値として集計しており、基本的には構成要素をすべて合計すると100.0になる。

- (1) 【WEIGHT】の作成方法により当然のことではあるが、地域×男女×年齢別構成は参考値と一致する。例えば、年齢「20～29歳」の占める割合は、線形推定によると11.6%しかなく、これは参考値17.2%と比べて小さいものになっている。ところが、比推定では17.2%に膨らみ、参考値と一致する。

なお、市町村の規模別については、線形推定による「その他の市」割合57.7%は参考値56.8%

よりも大きく、比推定 58.9%はそれをさらに上回ってしまっている。これは、調査設計段階では「13 大都市」、「その他の市」、「郡部」と3区分であるのを、【WEIGHT】の作成では前2者を統合して「市部」と「郡部」と2区分にしていることによる。

- (2) 配偶関係「未婚」(参考値 22.6%)は、線形推定では 14.3%と低くなっているが、比推定による結果では 18.7%となり、参考値に近くなる。これは、線形推定(原データ)では割合が小さかった未婚率の高い若年層が、比推定では参考値(現状)と同じ割合に膨らんで評価されるようになるからである。

家族を単位とする項目でも、比推定の方が参考値に近くなる場合が多い。

このように比推定は、線形推定に対して、補助情報として参照した属性に基づく補正をした分析を可能とする。比推定により参考値との差が縮小する属性は、補助情報として用いた地域、男女、年齢の属性のいずれかと関係があるものと思われる。

- (3) 一方、比推定によりむしろ現状から離れることもある。例えば、職業について、線形推定では参考値よりも割合が低い「サービス」、「生産工程・労務作業」は、比推定でさらに低くなる。このような属性は、補助情報として用いた属性のいずれとも関係がもともと弱いことも考えられる。

#### 注

- 1) 国勢調査の調査区は基本単位区を2つ程度結合して作成されている。基本単位区とは、住居表示実施地域においては街区を、住居表示実施地域以外の地域においては、街区に準じた区画を単位として設定されており、そこに含まれる世帯数はおおむね 25~30 世帯である。
- 2) 実際には、調査区の抽出は当該地点の最初の調査対象者を決めるために行われ、当該地点の他の調査対象者は当該地点を含む投票区(又はそれに周辺投票区を加えた地域)の中から選挙人名簿に沿って一定の間隔ごとに抽出される。

表 1-1 市部の推計人口、回答者数及び【WEIGHT】

		全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
市部男	推計人口							
	20～89歳	38,814,912	4,013,929	14,500,723	6,621,074	6,934,755	3,104,750	3,639,681
	20～29	7,386,893	726,155	2,905,724	1,192,024	1,330,289	547,483	685,218
	30～39	7,392,577	680,702	3,011,703	1,243,305	1,315,188	526,749	614,930
	40～49	6,221,440	696,267	2,271,690	1,066,910	1,048,129	504,192	634,252
	50～59	7,534,348	787,721	2,735,430	1,304,774	1,371,962	633,710	700,751
	60～69	5,749,180	589,290	2,099,136	990,289	1,090,294	459,192	520,979
	70～89	4,530,475	533,795	1,477,039	823,772	778,894	433,424	483,551
	回答者数							
	20～89歳	1,032	126	328	215	180	88	95
	20～29	135	14	55	19	27	10	10
	30～39	153	15	54	28	30	12	14
	40～49	163	16	46	38	33	11	19
	50～59	232	30	69	58	34	20	21
	60～69	206	31	61	39	37	19	19
	70～89	143	20	43	33	19	16	12
	【WEIGHT】							
	20～29		51,868	52,831	62,738	49,270	54,748	68,522
	30～39		45,380	55,772	44,404	43,840	43,896	43,924
	40～49		43,517	49,385	28,077	31,761	45,836	33,382
	50～59		26,257	39,644	22,496	40,352	31,686	33,369
60～69		19,009	34,412	25,392	29,467	24,168	27,420	
70～89		26,690	34,350	24,963	40,994	27,089	40,296	
市部女	推計人口							
	20～89歳	41,029,699	4,452,788	14,481,704	6,931,449	7,523,638	3,465,429	4,174,691
	20～29	7,107,242	717,303	2,655,092	1,133,890	1,346,940	550,379	703,638
	30～39	7,220,435	707,740	2,758,284	1,191,193	1,345,003	549,067	669,148
	40～49	6,193,058	723,793	2,145,691	1,051,433	1,078,337	518,339	675,464
	50～59	7,723,656	835,492	2,740,751	1,306,824	1,441,169	653,604	745,816
	60～69	6,200,780	681,620	2,154,139	1,053,654	1,164,077	526,336	620,955
	70～89	6,584,529	786,840	2,027,748	1,194,456	1,148,111	667,704	759,670
	回答者数							
	20～89歳	1,205	144	368	237	212	112	132
	20～29	152	17	43	23	39	13	17
	30～39	199	12	70	44	28	20	25
	40～49	218	31	65	34	30	29	29
	50～59	238	25	70	59	48	17	19
	60～69	218	34	65	39	39	13	28
	70～89	180	25	55	38	28	20	14
	【WEIGHT】							
	20～29		42,194	61,746	49,300	34,537	42,337	41,390
	30～39		58,978	39,404	27,073	48,036	27,453	26,766
	40～49		23,348	33,011	30,924	35,945	17,874	23,292
	50～59		33,420	39,154	22,150	30,024	38,447	39,253
60～69		20,048	33,141	27,017	29,848	40,487	22,177	
70～89		31,474	36,868	31,433	41,004	33,385	54,262	

表 1-2 群部の推計人口、回答者数及び【WEIGHT】

		全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
郡部男	推計人口							
	20～89歳	10,260,589	1,804,119	1,929,618	2,447,864	1,030,766	1,325,090	1,723,132
	20～29	1,498,580	241,324	309,590	375,976	159,006	168,770	243,915
	30～39	1,563,908	254,794	315,622	406,695	164,105	175,500	247,193
	40～49	1,785,896	327,182	351,566	407,090	171,112	214,062	314,884
	50～59	2,020,123	346,668	393,876	480,226	202,350	266,608	330,396
	60～69	1,674,180	305,228	296,098	389,711	168,955	231,052	283,136
	70～89	1,717,901	328,923	262,866	388,166	165,238	269,099	303,609
	回答者数							
	20～89歳	335	56	50	89	33	48	59
20～29	31	6	8	7	3	1	6	
30～39	33	7	6	10	4	5	1	
40～49	56	7	9	16	7	10	7	
50～59	95	16	10	28	9	13	19	
60～69	63	13	9	15	7	5	14	
70～89	57	7	8	13	3	14	12	
【WEIGHT】								
20～29		40,221	38,699	53,711	53,002	168,770	40,652	
30～39		36,399	52,604	40,669	41,026	35,100	247,193	
40～49		46,740	39,063	25,443	24,445	21,406	44,983	
50～59		21,667	39,388	17,151	22,483	20,508	17,389	
60～69		23,479	32,900	25,981	24,136	46,210	20,224	
70～89		46,989	32,858	29,859	55,079	19,221	25,301	
郡部女	推計人口							
	20～89歳	11,175,382	1,979,886	1,985,901	2,606,296	1,135,085	1,503,815	1,964,398
	20～29	1,451,129	223,932	294,342	358,612	159,199	166,926	248,118
	30～39	1,572,920	254,500	306,166	397,278	172,138	182,225	260,613
	40～49	1,748,236	317,466	332,673	396,085	173,779	213,952	314,281
	50～59	1,993,486	343,802	372,707	470,584	204,983	268,503	332,906
	60～69	1,852,462	354,639	300,222	419,855	182,048	264,898	330,801
	70～89	2,557,150	485,548	379,791	563,881	242,938	407,312	477,680
	回答者数							
	20～89歳	381	63	65	94	36	50	73
20～29	24	7	5	4	3	3	2	
30～39	43	8	9	9	5	5	7	
40～49	64	11	15	12	2	12	12	
50～59	88	14	15	22	8	11	18	
60～69	68	12	7	19	9	7	14	
70～89	94	11	14	28	9	12	20	
【WEIGHT】								
20～29		31,990	58,868	89,653	53,066	55,642	124,059	
30～39		31,813	34,018	44,142	34,428	36,445	37,230	
40～49		28,861	22,178	33,007	86,890	17,829	26,190	
50～59		24,557	24,847	21,390	25,623	24,409	18,495	
60～69		29,553	42,889	22,098	20,228	37,843	23,629	
70～89		44,141	27,128	20,139	26,993	33,943	23,884	



表 2-1 構成比の推定値（個人単位）

回答者数 n= 2953

(%)

	JGSS-2002		参考値		
	線形推定	比推定			
<b>地域ブロック【BLOCK】</b>					
北海道・東北	13.2	12.1	12.1	2002年10月人口推計(総務省)	注 1
関東	27.5	32.5	32.5		
中部	21.5	18.4	18.4		
近畿	15.6	16.4	16.4		
中国・四国	10.1	9.3	9.3		
九州	12.2	11.4	11.4		
<b>市郡規模【SIZE】</b>					
政令市等	18.0	19.9	21.9	2000年10月国勢調査(総務庁)	
その他の市	57.7	58.9	56.8		
町村（郡部）	24.2	21.2	21.3		
<b>性別【SEXA】</b>					
男	46.3	48.5	48.5	2002年10月人口推計(総務省)	
女	53.7	51.5	51.5		
<b>年齢【AGEB】</b>					
20～29	11.6	17.2	17.2	2002年10月人口推計(総務省)	
30～39	14.5	17.5	17.5		
40～49	17.0	15.7	15.7		
50～59	22.1	19.0	19.0		
60～69	18.8	15.3	15.3		
70～89	16.1	15.2	15.2		
<b>結婚状況【DOMARRY】</b>					
有配偶	73.9	70.3	65.3	2000年10月国勢調査(総務庁)	
離死別	11.8	10.9	12.0		
未婚	14.3	18.7	22.6		
<b>最終学校(本人)【XXLSTSCH, DOLSTSCH】</b>					
小学・中学	26.0	23.0	23.2	2000年10月国勢調査(総務庁)	注 2
高校・旧中	44.2	44.4	46.3		
短大・高専	11.8	12.2	12.5		
大学・大学院	18.0	20.3	18.0		
<b>世帯主【FFHEAD】</b>					
世帯主	51.1	51.0	49.2	2002年6月国民生活に関する世論調査(内閣府)	注 3 注 4
<b>就業状況【XJOB1WK, TP5UNEMP】</b>					
従業	60.4	63.1	60.2	2002年10月労働力調査(総務省)	注 3 注 5
休業	0.9	0.9	0.9		
失業	2.5	2.6	3.4		
家事	22.5	20.8	17.0		
学生	0.8	1.1	2.1		
その他 注 5	13.0	11.5	16.4		
<b>就労地位【TP12JOB】 +</b>					
経営者・役員	6.9	6.1	6.6	2002年10月労働力調査(総務省)	注 3
常雇	49.5	53.8	66.5		
臨時雇・パート・アルバイト	22.5	21.1	10.9		
派遣社員	1.7	1.9	-		
自営業主・内職	14.7	13.1	11.0		
家族従業者	4.7	4.0	5.0		

表 2-1 構成比の推定値（個人単位）（続き）

(%)

	JGSS-2002		参考値		
	線形推定	比推定			
<b>企業規模【SZTTLSTA】</b> ~					
1~29人	32.2	30.4	33.4	2002年10月労働力調査(総務省)	注3 注6
30~99人	14.0	13.4	16.3		
100~499人	18.8	18.9	17.7		
500~999人	5.7	5.5	6.0		
1000人以上	18.1	20.8	16.6		
官公庁	11.2	11.0	10.1		
<b>業種【XXWPL】</b> +					
第1次産業	5.1	4.5	4.8	2002年10月労働力調査(総務省)	注3 注7
第2次産業	29.6	29.6	29.4		
第3次産業	65.3	65.9	65.8		
<b>職種【XXJOB】</b> +					
専門的・技術的	14.7	15.4	14.1	2002年10月労働力調査(総務省)	注8
管理的	3.3	3.0	3.0		
事務	22.9	23.6	19.5		
販売	12.8	13.0	14.9		
サービス	8.1	7.9	9.8		
保安	1.3	1.4	1.7		
農林漁業	4.9	4.1	4.7		
運輸・通信	4.1	4.2	3.1		
生産工程・労務作業	27.8	27.4	29.2		
<b>就労時間数【XJOBHWK】</b>					
1~14時間	6.9	6.6	4.8	2002年10月労働力調査(総務省)	注3
15~34時間	19.4	17.8	17.7		
35~42時間	31.2	31.3	29.2		
43~48時間	16.4	16.2	17.6		
49~59時間	13.7	14.5	16.9		
60時間以上	12.4	13.7	13.8		
<b>インターネットによるショッピング ・バンキング【DONETSB】</b>	8.1	9.8	10.7	2001年10月社会生活基本調査(総務省)	注3
<b>階層帰属意識【OP5LEVK】</b>					
上	0.6	0.6	0.7	2002年6月国民生活に関する世論調査 (内閣府)	注3
中の上	9.9	10.0	10.0		
中の中	49.0	48.6	57.8		
中の下	33.1	33.3	24.7		
下	7.5	7.5	6.7		

注1 参考値では、人口推計から直接得られない都道府県別80~89歳人口を、「80歳以上人口に占める80~89歳人口割合」の男女別全国値を都道府県別80歳以上人口に乗じるにより独自に推計している(本文 2(1)参照)。

注2 在学中の者は、すべて「大学・大学院」に含めた。参考値では、85~89歳を除く。

注3 参考値では、90歳以上を含む。

注4 変数「世帯主」【FFHEAD】には、回答者の「同居の有無(本人)」【FFRESIDE】が「本人のみ(ひとり暮らし)」の場合、88(非該当)が代入されている。そのため、この集計をするには事前に【FFHEAD】の88を0(本人)に置換した。なお、JGSS-2000・JGSS-2001の「基礎集計表・コードブック」でのこの世帯主の集計では、「家族1:世帯主」【FF01HEAD】を使用して、世帯主の集計をしている(JGSS-2002調査票が変更されたことによる)。参考値では、「主として世帯を支えている」について尋ねている。

注5 JGSSでは、先週「仕事をしていない」と答えて先週の状況について回答しなかった者は「その他」に含めた。

注6 JGSSでは、【SZSTAF】【TP4WPLA】を使って、単独事業所の従業員規模及び官公庁を区分。

注7 新聞業及び出版業は、JGSSでは第3次産業に、参考値では第2次産業に分類。

注8 参考値では、15~19歳及び90歳以上を含む。

表 2-2 構成比の推定値(家族単位)

●各個人の値を当該個人の「家族の大きさ」の逆数(1÷【SZFFTTL】)で加重する場合

(%)

	JGSS-2002		参考値		
	線形推定	比推定			
<b>家族人数(本人含む)【SZFFTTL】</b>					
単身	21.6	23.2	27.6	2000年10月国勢調査(総務庁)	注9 注10
2人	31.3	29.0	25.1		
3人	18.4	19.0	18.8		
4人	14.9	15.4	16.9		
5人以上	13.8	13.5	11.5		
<b>住居形態【TP8DWEL】</b>					
持ち家・戸建て	67.6	63.6	53.2	2000年10月国勢調査(総務庁)	注9 注10 注11
持ち家・集合住宅	5.6	5.8	7.8		
借家・戸建て	4.9	5.3	5.4		
借家・集合住宅	20.9	24.2	33.4		
その他	0.9	1.2	0.2		
<b>住宅床面積【SZDWEL】</b>					
50㎡未満	19.3	22.1	27.5	2000年10月国勢調査(総務庁)	注9 注10
50㎡以上100㎡未満	31.6	32.7	36.5		
100㎡以上	49.1	45.2	35.9		
<b>世帯収入【SZHSINCM】</b>					
250万円未満	26.7	26.3	22.7	2002年7月国民生活基礎調査 (厚生労働省)	注9 注12
250万円以上450万円未満	27.6	27.6	23.2		
450万円以上1,000万円未満	35.1	35.5	38.7		
1,000万円以上	10.7	10.6	15.5		

注9 変数「家族人数(本人含む)【SZFFTTL】」には、回答者の「同居の有無(本人)【FFRESIDE】が「本人のみ(ひとり暮らし)」の場合、888(非該当)が代入される。そのため、この集計をするには事前に【SZFFTTL】の888を1に置換した。

JGSSでは、家族人数は一時的に自宅を出ている者も含んで数えるが、参考値では除いている。

また、参考値では、20歳未満又は90歳以上のみから構成される世帯を含む。

なお、JGSS-2000・JGSS-2001の「基礎集計表・コードブック」のこの稿では、「同居家族人数【SZFFHERE】の逆数を使用して、家族を単位とする項目の推計の重み付けをしている(JGSS-2002調査票が変更されたことによる)。

注10 参考値では、施設等の世帯を除外。

注11 参考値では、一戸建を「戸建て」に、長屋建及び共同住宅を「集合住宅」に、その他を「その他」に区分。

注12 参考値のもととの階級は100～200万円、200～300万円、…となっており、JGSSのそれとは異なる。

そのため、参考値では、100～200万円に属する割合の半分を100～150万円に、もう半分を150～200万円に便宜的に配分することで擬似的に階級を合わせた。

[参考文献]

清水誠, 2001, 「JGSS 第2回予備調査データセットのウエイトについて」SSJ Data Archive Research Paper Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター

槇田直木, 2003, 「比推定用ウエイト【WEIGHT】について」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys JGSS-2001 基礎集計表・コードブック』

総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/> 「国勢調査」「人口推計」「労働力調査」「社会生活基本調査」

内閣府政府広報室 <http://www8.cao.go.jp/survey/index.html> 「国民生活に関する世論調査」

厚生労働省大臣官房統計情報部 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html> 「国民生活基礎調査」

槇田 直木

## 5 データセットの重み付けについて：JGSS-2003 (WEIGHT・家族を単位とする項目の推定)

この節では、JGSS-2003 データセットに付属する変数【WEIGHT】の作成方法、線形推定・比推定による推定結果の違いを概観し、データセット利用者が【WEIGHT】を使用するか否かを判断するための情報を提供する。また、家族、住宅を単位とする項目について集計する際に配慮すべき「家族の大きさ」の扱いについても説明する。

文中、アルファベットを【 】で括った文字は、データセットにおける変数名を意味する。

### 1 線形推定と比推定

JGSS の標本設計では、全国の市町村を地域のブロック及び市郡規模により 18 の層に分け、その層の人口規模に応じて国勢調査（総務省）の調査区<sup>1)</sup>を抽出、調査区からそれぞれ約 15 人の調査対象を無作為に抽出している<sup>2)</sup>。このため、抽出率の逆数を乗じて足し上げる線形推定の過程が単純化され、原理的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで属性（回答の選択肢）別構成比を推定することができる。

ところで、官公庁が標本調査により実施する指定統計調査などでは、結果の推定方法として、直近の全数調査などから得られた人口、従業者数等を補助情報として活用する比推定がよく用いられている。現実の標本調査である以上、偶然又は実務上の制約（不在や拒否）のため推定に偏りが生じることがあるので、少しでも精度を高めるために既存の情報を利用しようという試みである。

比推定には、線形推定と比較して(1)調査結果を単に構成比として比較するだけでなく、絶対量として意味を持たせることができる、(2)調査対象抽出に伴う偶然の偏りと未回収による情報の損失を補うことができる、(3)既存情報と基盤を合わせることにより、調査独自の結果を分析することに集中できる、などのメリットがある。

諸外国の社会調査や類似の調査の結果を見ても、カナダやイタリアなどのいくつかの国では国勢調査や労働力調査を基にした比推定が行われている。また、米国の GSS については、比推定は行われていないものの、結果の分布は全数調査などと大差がないことが確認されており、これらの調査と分布を比較・分析する視点は重視されている（清水誠, 2001）。

なお、比推定で用いる乗率＝「ウエイト」の作成方法は必ずしも一つに定まるものではなく、また、属性によっては補助情報に依存しないものもあるので、場合によっては比推定によりかえって推定値が現状から離れてしまうこともある。したがって、比推定やそのためのウエイトの選択はデータセット利用者が目的に応じて判断すべきものである。

2 変数【WEIGHT】の作成方法

JGSS-2003 データセットには比推定用ウエイトとして変数【WEIGHT】が付属する。これは、調査票1枚が代表する人数(「推計人口」/「JGSS-2003 回答者数」)を、次のように母集団を144の区分に分割して計算することにより作成されたものである。

地域別(6区分)×市郡別(2区分)×男女別(2区分)×年齢10歳階級別(6区分)

(年齢10歳階級のうち、70~79歳と80~89歳は、統合して1区分とする)

この方法は、前回JGSS-2002の【WEIGHT】を踏襲している(槇田直木、2004)。

(1) 推計人口

【WEIGHT】の分子となる推計人口を上記の区分ごとに得るために、以下のように計算した。

ア 地域別×市郡部×男女×年齢10歳階級別 2000年人口

「2000年国勢調査確定人口」(都道府県、総数・市部、男女、年齢各歳別)(総務省)を元に、区分ごとに人口を算出する。郡部は、総数から市部を引くことにより計算した。

なお、年齢不詳人口は各年齢階級に按分を行い、人口の合計が総数と一致するようにした。

イ 地域別×市郡部×男女×年齢10歳階級別 2003年人口

「2003年10月1日推計人口」(都道府県、男女、年齢5歳階級別推計人口と男女、年齢5歳階級別(全国)の2種類)を元に、区分ごとに人口を算出した。

この都道府県、男女、年齢5歳階級別推計人口は、実際には80歳以上が一括して掲載されており、80~89歳人口を直接得ることはできない。そこで、「80歳以上人口に占める80~89歳人口の割合」の男女別全国値を計算し、これを都道府県別80歳以上推計人口に男女ごとに乗じることにより推計した。また、市郡別人口も、推計人口からは得られないが、上記アで算出した2000年市部人口割合を区分ごとに乗じる方法で推計した。

なお、都道府県、男女、年齢5歳階級別人口において、「年齢階級別を足し上げた数字」と「総数」との間に差が生じるが、便宜上これは「年齢不詳」として、上記アと同様に按分した。

(2) 回答者数

【WEIGHT】の分母は、全国の回答者数3,663を上記の144の区分に分割することで求めた。

区分別回答者数の度数分布を見ると、1枚の調査票だけで当該区分の人口を代表させるところが1区分発生している。このような事態を回避するために、便宜的に近隣の区分と統合してウエイトを作成することもできるが、ここでは行っていない。

回答者数	度数	区分
1	1	近畿郡部(女)20~29
2	1	中国・四国郡部(男)20~29
3	1	近畿郡部(女)30~39
4	4	関東郡部(男)70~89、関東郡部(女)60~69 近畿郡部(男)40~49、九州郡部(女)20~29
5 ~	23	略
10 ~	43	"
20 ~	29	"
30 ~	14	"
40 ~	10	"
50 ~	10	"
60 ~	6	"
100 ~	2	関東市部(女)50~59、関東市部(女)30~39
計	144	

(3) 【WEIGHT】

(1)を(2)で除することにより得られる【WEIGHT】は、表1-1及び表1-2のとおりである。線形推計では調査票1枚1枚の回答は同じ重みで集計されるが、この【WEIGHT】を用いる比推計では、調査票が属する区分のウエイトにより回答の軽重が異なってくる。すなわち、推計人口に対して回

答者数の少ない層の回答を重めにするように推計が補正される。

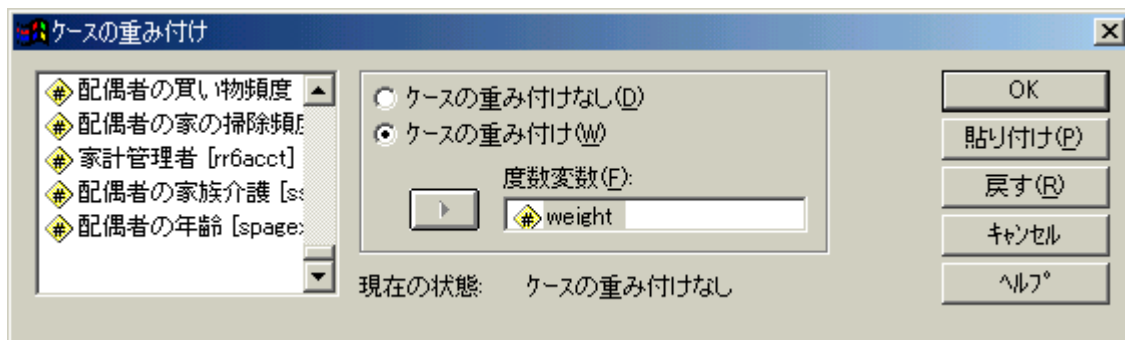
【WEIGHT】の度数分布を見ると、もっとも大きい【WEIGHT】を持つ区分は近畿郡部(女)20~29歳であり、以降20~29歳の層を中心に続いている。

【WEIGHT】	度数	区分
150,000 ~	1	近畿郡部(女)20~29(=152,779)
100,000 ~	0	-
90,000 ~	0	-
80,000 ~	2	中国・四国郡部(男)20~29、中部市部(男)20~29
70,000 ~	1	関東郡部(女)60~69
60,000 ~	3	関東郡部(男)70~89、九州郡部(女)20~29、近畿市部(男)20~29
50,000 ~	5	略
40,000 ~	15	(【WEIGHT】の平均 30,901) "
30,000 ~	28	"
20,000 ~	56	"
15,000 ~	26	"
10,000 ~	7	最小は、九州郡部(男)60~69(=11,258)
計	144	

### 3 SPSS において【WEIGHT】により重み付けをする方法

JGSS のデータセットは、SSJ データアーカイブから SPSS 形式ファイルで提供されている。SPSS の以下の操作により各ケースが【WEIGHT】で重み付けされる。

- (1) メニューバーから「データ (D)」→「ケースの重み付け (W)」
- (2) 「ケースの重み付け」ダイアログから「ケースの重み付け (W)」を選択、「度数変数 (F)」として変数【WEIGHT】を指定したのちに「OK」



重み付けがされると、SPSS ウィンドウのステータスバーに「重み付きオン」と表示される。重み付けを解除するには、ダイアログの「ケースの重み付けなし (D)」を選択する。



### 4 家族を単位とする項目の推定に必要な重み付け

JGSS では、個人を単位とした標本抽出により調査対象を決めており、家族、住宅などを抽出単位としてはいない。そのため、JGSS データセットを使って家族を単位とする集計、分析を行うのであれば、2人以上の家族の「標本」は1人暮らしの「標本」よりも扱いを小さくするよう、単位を整える必要がある。

JGSS-2003 データセットには、変数「家族人数 (本人含む)」【SZFFTTL】(表 2-2 注 10 を参照) が用意されているので、この逆数 ( $1 \div \text{【SZFFTTL】}$ ) によりケースを重み付けすることで、家族を単位とする事項の推定を適切に行うことができる。

家族を単位として分析をする場合、この重み付けは、【WEIGHT】を使用するしないにかかわらず留意すべきことである（個人又は世帯員単位で分析をする際には、家族人数の逆数による重み付けは不要である。）。

なお、【WEIGHT】を使用しつつ家族を単位とする項目の推定をする場合には、利用者は【WEIGHT】÷【SZFFTTL】を計算して、この値を持つ変数によりケースを重み付けすればよい。

家族、住宅などの単位で分析が想定される変数として、以下のものを挙げるができる。

<b>面接票</b>	
問 19	住居形態【TP8DWEL】
問 20-1	同居の有無（本人）【FFRESIDE】
問 20-3	家族人数（本人含む）【SZFFTTL】
問 20-4	別居家族人数（本人除く）【SZFFOUT】
問 22	子どもの人数【CCNUMTTL】
問 27	世帯年収【SZHSINCM】
<b>留置 A 票</b>	
Q4	世帯収入のレベル【OP5FFINX】
Q5	15歳の頃の世帯収入レベル【OPFFIX15】
Q6	生活水準向上機会の有無【OP5CHNCA】
Q11	家族そろった夕食：頻度【FQ7FFDNR】
Q30	自宅周辺の危険場所の有無【FEARWALK】
Q31	空き巣被害経験【XSTOLN1Y】
<b>留置 B 票</b>	
問 11	生活水準向上機会の有無【OP5CHNCA】(留置 A 票の Q6 と同じ)

## 5 線形推定と比推定による推定結果の比較

3で作成した【WEIGHT】を使用して、線形推定と比推定による JGSS-2003 の推定結果を属性別構成比にして比較してみる（表 2-1、表 2-2）。

参考として、JGSS-2003 調査の前後に実施された回答者数の大きな他の調査の結果も、データの妥当性を見るために対比させている。

なお、ここでの構成比は、無回答を欠損値として集計しており、基本的には構成要素をすべて合計すると 100.0 になる。

- (1) 地域、男女、年齢の 3 項目は、【WEIGHT】作成の際の補助情報として用いているので、【WEIGHT】を用いたこれらの項目の集計結果（比推定による結果）は、必然的に参考値と一致する。例えば、年齢「20～29 歳」の占める割合は、線形推定によると 10.4% しかなく、これは参考値（16.7%）と比べて 6.3% ポイント低くなっているが、比推定では 16.7% に膨らみ、参考値と一致する。

なお、市町村の規模別については、線形推定による「その他の市」割合（57.3%）は参考値（56.8%）よりも大きい。比推定による結果（58.7%）はそれをさらに上回っている。これは、調査設計段階では「14 大都市」、「その他の市」、「郡部」と 3 区分であったのを、【WEIGHT】作成においては、前 2 区分を統合して「市部」と「郡部」にしたことによる。

- (2) 配偶関係の「未婚」の割合は、線形推定では 13.7%と参考値（22.6%）に比べてかなり低くなっているが、比推定による結果では 19.1%となり、参考値に近くなる。これは、線形推定（原データ）では割合が小さかった未婚率の高い若年層が、比推定では参考値（現状）に近い割合に調整されるからである。家族を単位とする項目でも、比推定の方が参考値に近くなる場合が多い。このように比推定は、線形推定に対して、補助情報として参照した属性に基づく補正を行った分析を可能とする。比推定により参考値との差が縮小する属性は、補助情報として用いた地域、男女、年齢の属性のいずれかと関係があるものと考えられる。
- (3) 一方、比推定によりむしろ現状から離れてしまうこともある。例えば、職業の中の「事務」と「運輸・通信」の構成比を見ると、線形推定は参考値よりも高いが、比推定ではさらに高くなっている。このように比推定により参考値との差が拡大する属性は、補助情報として用いた属性のいずれとも関係が弱いものと見られる。

注

- 1) 国勢調査の調査区は基本単位区を 2 つ程度結合して作成されている。基本単位区とは、住居表示実施地域においては街区を、住居表示実施地域以外の地域においては、街区に準じた区画を単位として設定されており、そこに含まれる世帯数はおおむね 25～30 世帯である。
- 2) 実際には、調査区の抽出は当該地点の最初の調査対象者を決めるために行われ、当該地点の他の調査対象者は当該地点を含む投票区（又はそれに周辺投票区を加えた地域）の中から選挙人名簿に沿って一定の間隔ごとに抽出される。



表 1-1 市部の推計人口、回答者数及び【WEIGHT】

		全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
市部男	推計人口							
	20～89歳	38,989,850	4,025,841	14,577,690	6,660,367	6,946,964	3,118,089	3,660,899
	20～29	7,189,282	719,597	2,792,747	1,167,798	1,283,835	541,366	683,938
	30～39	7,562,590	689,614	3,085,026	1,273,556	1,348,933	542,506	622,955
	40～49	6,167,569	677,410	2,277,752	1,059,039	1,041,389	492,254	619,725
	50～59	7,489,083	796,957	2,701,334	1,293,190	1,346,623	633,711	717,268
	60～69	5,846,600	587,472	2,162,241	1,009,033	1,109,443	460,523	517,887
	70～89	4,734,726	554,792	1,558,590	857,750	816,741	447,728	499,125
	回答者数							
	20～89歳	1,176	139	381	218	184	119	135
	20～29	149	18	56	14	21	15	25
	30～39	158	20	57	26	28	13	14
	40～49	160	17	47	37	30	14	15
	50～59	222	26	80	43	29	22	22
	60～69	276	26	83	54	54	29	30
	70～89	211	32	58	44	22	26	29
	【WEIGHT】							
	20～29		39,978	49,870	83,414	61,135	36,091	27,358
	30～39		34,481	54,123	48,983	48,176	41,731	44,497
	40～49		39,848	48,463	28,623	34,713	35,161	41,315
	50～59		30,652	33,767	30,074	46,435	28,805	32,603
60～69		22,595	26,051	18,686	20,545	15,880	17,263	
70～89		17,337	26,872	19,494	37,125	17,220	17,211	
市部女	推計人口							
	20～89歳	41,225,292	4,463,502	14,580,292	6,964,629	7,548,706	3,473,834	4,194,328
	20～29	6,894,905	706,631	2,554,530	1,104,639	1,292,622	540,326	696,157
	30～39	7,397,753	713,625	2,840,411	1,219,336	1,384,270	560,977	679,134
	40～49	6,136,610	707,107	2,143,435	1,040,888	1,075,091	508,356	661,734
	50～59	7,681,721	841,162	2,709,274	1,300,642	1,420,419	651,373	758,852
	60～69	6,301,458	681,620	2,221,187	1,067,591	1,188,513	525,586	616,962
	70～89	6,812,844	813,357	2,111,456	1,231,534	1,187,791	687,217	781,490
	回答者数							
	20～89歳	1,591	199	485	284	275	164	184
	20～29	160	13	58	19	31	18	21
	30～39	276	28	103	48	39	27	31
	40～49	257	31	86	52	41	22	25
	50～59	318	41	102	68	52	27	28
	60～69	322	44	81	58	63	36	40
70～89	258	42	55	39	49	34	39	
【WEIGHT】								
20～29		54,356	44,044	58,139	41,697	30,018	33,150	
30～39		25,487	27,577	25,403	35,494	20,777	21,908	
40～49		22,810	24,924	20,017	26,222	23,107	26,469	
50～59		20,516	26,562	19,127	27,316	24,125	27,102	
60～69		15,491	27,422	18,407	18,865	14,600	15,424	
70～89		19,366	38,390	31,578	24,241	20,212	20,038	

表 1-2 群部の推計人口、回答者数及び【WEIGHT】

		全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	
郡部男	推計人口								
	20～89歳	10,326,520	1,812,476	1,944,708	2,466,239	1,035,583	1,332,938	1,734,576	
	20～29	1,468,829	239,144	297,553	368,335	153,453	166,884	243,459	
	30～39	1,597,510	258,130	323,306	416,590	168,316	180,750	250,419	
	40～49	1,761,589	318,321	352,504	404,087	170,011	208,994	307,672	
	50～59	2,019,066	350,733	388,966	475,962	198,612	266,608	338,184	
	60～69	1,691,474	304,287	304,999	397,088	171,923	231,722	281,455	
	70～89	1,788,053	341,861	277,380	404,177	173,268	277,979	313,387	
	回答者数								
	20～89歳	415	70	58	101	39	63	84	
	20～29	39	7	8	9	5	2	8	
	30～39	55	11	12	8	6	9	9	
	40～49	61	13	11	10	4	12	11	
	50～59	76	9	11	19	6	14	17	
	60～69	99	19	12	23	12	8	25	
	70～89	85	11	4	32	6	18	14	
	【WEIGHT】								
	20～29		34,163	37,194	40,926	30,691	83,442	30,432	
	30～39		23,466	26,942	52,074	28,053	20,083	27,824	
	40～49		24,486	32,046	40,409	42,503	17,416	27,970	
	50～59		38,970	35,361	25,051	33,102	19,043	19,893	
60～69		16,015	25,417	17,265	14,327	28,965	11,258		
70～89		31,078	69,345	12,631	28,878	15,443	22,385		
郡部女	推計人口								
	20～89歳	11,247,914	1,990,049	2,004,261	2,623,290	1,142,434	1,511,207	1,976,673	
	20～29	1,415,291	220,600	283,194	349,361	152,779	163,877	245,480	
	30～39	1,606,406	256,617	315,282	406,664	177,164	186,177	264,502	
	40～49	1,725,563	310,147	332,323	392,112	173,256	209,831	307,892	
	50～59	1,991,263	346,135	368,427	468,358	202,032	267,587	338,725	
	60～69	1,868,677	354,639	309,567	425,409	185,869	264,520	328,673	
	70～89	2,640,714	501,911	395,469	581,385	251,334	419,215	491,401	
	回答者数								
	20～89歳	481	96	69	122	38	70	86	
	20～29	34	8	6	8	1	7	4	
	30～39	58	9	11	15	3	12	8	
	40～49	71	15	11	16	9	8	12	
	50～59	89	15	19	27	8	10	10	
	60～69	107	21	4	31	7	19	25	
70～89	122	28	18	25	10	14	27		
【WEIGHT】									
20～29		27,575	47,199	43,670	152,779	23,411	61,370		
30～39		28,513	28,662	27,111	59,055	15,515	33,063		
40～49		20,676	30,211	24,507	19,251	26,229	25,658		
50～59		23,076	19,391	17,347	25,254	26,759	33,872		
60～69		16,888	77,392	13,723	26,553	13,922	13,147		
70～89		17,925	21,971	23,255	25,133	29,944	18,200		

表 2-1 構成比の推定値 (個人単位)

回答者数 n= 3663

(%)

	JGSS-2003		参考値		
	線形推定	比推定			
<b>地域【BLOCK】</b>					
北海道・東北	13.8	12.1	12.1	2003年10月人口推計(総務省)	注1
関東	27.1	32.5	32.5		
中部	19.8	18.4	18.4		
近畿	14.6	16.4	16.4		
中国・四国	11.4	9.3	9.3		
九州	13.3	11.4	11.4		
<b>市町村の規模【SIZE】</b>					
政令市等	18.2	20.1	21.9	2000年10月国勢調査(総務庁)	
その他の市	57.3	58.7	56.8		
町村(郡部)	24.5	21.2	21.3		
<b>男女【SEXA】</b>					
男	43.4	48.4	48.4	2003年10月人口推計(総務省)	
女	56.6	51.6	51.6		
<b>年齢【AGEB】</b>					
20～29	10.4	16.7	16.7	2003年10月人口推計(総務省)	
30～39	14.9	17.8	17.8		
40～49	15.0	15.5	15.5		
50～59	19.2	18.8	18.8		
60～69	21.9	15.4	15.4		
70～89	18.5	15.7	15.7		
<b>配偶関係【DOMARRY】</b>					
有配偶	73.8	70.4	65.3	2000年10月国勢調査(総務庁)	
離死別	12.5	10.6	12.0		
未婚	13.7	19.1	22.6		
<b>最終学校(本人)【XXLSTSCH, DOLSTSCH】</b>					
小学・中学	26.6	22.0	23.2	2000年10月国勢調査(総務庁)	注2
高校・旧中	44.4	44.3	46.3		
短大・高専	13.1	14.0	12.5		
大学・大学院	15.9	19.8	18.0		
<b>世帯属性【FFHEAD】</b>					
世帯主	45.0	45.5	47.1	2003年6月国民生活に関する世論調査 (内閣府)	注3 注4
<b>就業状態【XJOB1WK, TP5UNEMP】</b>					
従業①	57.5	62.6	59.9	2003年10月労働力調査(総務省)	注3 注5
休業②	0.7	0.7	0.8		
失業	2.0	2.5	3.2		
家事	23.0	19.9	16.8		
学生	0.8	1.4	2.2		
その他 注5	15.9	13.0	17.1		
<b>従業上の地位【TP12JOB】①+②</b>					
経営者・役員③	6.7	6.0	6.4	2003年10月労働力調査(総務省)	注3
常雇④	46.1	52.6	66.8		
臨時雇・パート・アルバイト⑤	23.5	20.8	11.1		
派遣社員⑥	1.9	2.0	-		
自営業主・内職	16.1	13.7	10.8		
家族従業者	5.7	5.0	4.9		

表 2-1 構成比の推定値（個人単位）（続き）

(%)

	JGSS-2003		参考値		
	線形推定	比推定			
企業の従業者数【SZTTLSTA】③～⑥					
1～29人	33.6	31.9	32.9	2003年10月労働力調査(総務省)	注6 注8
30～99人	16.0	15.4	16.2		
100～499人	17.1	17.5	17.7		
500～999人	4.9	5.7	6.0		
1000人以上	15.5	17.5	16.9		
官公庁	12.9	11.9	10.4		
産業【XXWPL】①+②					
第1次産業	6.9	5.3	4.9	2003年10月労働力調査(総務省)	注3 注7
第2次産業	28.9	29.5	28.6		
第3次産業	64.2	65.2	66.5		
職業【XXJOB】①+②					
専門的・技術的	12.8	13.6	14.4	2003年10月労働力調査(総務省)	注8
管理的	2.7	2.6	2.9		
事務	22.5	24.0	19.5		
販売	11.9	11.8	14.4		
サービス	11.6	10.6	10.0		
保安	1.2	1.2	1.8		
農林漁業	6.9	5.3	4.7		
運輸・通信	4.3	4.7	3.3		
生産工程・労務作業	26.1	26.1	29.0		
労働時間【XJOBHWK】①					
1～14時間	7.7	6.7	4.9	2003年10月労働力調査(総務省)	注3
15～34時間	23.7	20.4	17.8		
35～42時間	30.2	31.6	29.1		
43～48時間	15.0	15.7	17.5		
49～59時間	12.2	12.7	17.2		
60時間以上	11.2	12.8	13.4		
インターネットによるショッピング ・バンキング【DONETSB】	9.9	11.9	10.7	2001年10月社会生活基本調査(総務省)	注3 注9
生活の程度【OP5LEVK】					
上	0.4	0.4	1.0	2003年6月国民生活に関する世論調査 (内閣府)	注3
中の上	9.7	10.0	10.3		
中の中	48.3	47.8	56.0		
中の下	34.5	34.6	26.3		
下	7.1	7.1	6.5		

注1 参考値では、人口推計から直接得られない都道府県別80～89歳人口を、「80歳以上人口に占める80～89歳人口割合」男女別全国値を都道府県別80歳以上人口に乗じるにより独自に推計している(本文 2(1)ア 参照)。

注2 在学中の者は、すべて「大学・大学院」に含めた。参考値では、85～89歳を除く。

注3 参考値では、90歳以上を含む。

注4 変数「世帯主」【FFHEAD】には、回答者の「同居の有無(本人)」【FFRESIDE】が「本人のみ(ひとり暮らし)」の場合、88(非該当)が代入されている。そのため、この集計をするには事前に【SZFFTTL】の88を0(本人)に置換する必要がある。

なお、JGSS-2000・JGSS-2001の「基礎集計表・コードブック」でのこの世帯主の集計では、「家族1:世帯主」【FF01HEAD】を使用して、世帯主の集計をしている(JGSS-2002調査票から変更された)。

参考値では、「主として世帯を支えている」について尋ねている。

注5 JGSSでは、先週「仕事をしていない」と答えて先週の状況について回答しなかった者は「その他」に含めた。

注6 JGSSでは、【TP4WPLA】を使って官公庁を区分。

注7 新聞業及び出版業は、JGSSでは第3次産業に、参考値では第2次産業に分類。

注8 参考値では、15～19歳及び90歳以上を含む。

注9 留置のA票による集計

表 2-2 構成比の推定値(家族単位)

●各個人の値を当該個人の「家族の大きさ」の逆数(1÷【SZFFTTL】)で加重する場合

(%)

	JGSS-2003		参考値		
	線形推定	比推定			
家族人数(本人含む)【SZFFTTL】					
単身	21.1	21.2	23.3	2003年7月国民生活基礎調査 (厚生労働省)	注10
2人	34.0	30.5	27.1		
3人	18.3	19.3	19.5		
4人	14.5	16.3	18.2		
5人以上	12.1	12.6	11.8		
住宅の種類【TP8DWEL】					
持ち家・戸建て	70.9	67.1	52.8	2003年10月住宅・土地統計調査(総務省)	注10 注11 注12
持ち家・集合住宅	4.4	4.7	9.5		
借家・戸建て	4.0	4.0	4.6		
借家・集合住宅	20.0	23.5	32.7		
その他	0.6	0.6	0.3		
世帯の年間収入【SZHSINCM】					
250万円未満	31.0	27.3	23.5	2003年7月国民生活基礎調査 (厚生労働省)	注10 注12
250万円以上450万円未満	26.9	27.2	23.1		
450万円以上1000万円未満	33.2	36.3	38.9		
1000万円以上	8.9	9.2	15.0		

注10 変数「家族人数(本人含む)【SZFFTTL】」には、回答者の「同居の有無(本人)【FFRESIDE】が「本人のみ(ひとり暮らし)」の場合、888(非該当)が代入される。そのため、この集計をするには事前に【SZFFTTL】の888を1に置換する必要がある。

JGSSでは、家族人数は一時的に自宅を出ている者も含んで数えるが、参考値では除いている。

また、参考値では、20歳未満又は90歳以上のみから構成される世帯を含む。

なお、JGSS-2000・JGSS-2001の「基礎集計表・コードブック」のこの稿では、「同居家族人数【SZFFHERE】の逆数を使用して、家族を単位とする項目の推計の重み付けをしている(JGSS-2002から調査票が変更されているため)。

注11 参考値では、一戸建を「戸建て」に、長屋建及び共同住宅を「集合住宅」に、その他を「その他」に区分。

注12 参考値の調査結果の階級の刻みは100～200万円、200～300万円、…となっており、JGSSのそれとは異なる。

そのため、参考値では、100～200万円に属する割合の半分を100～150万円に、もう半分を150～200万円に便宜的に配分することで擬似的に刻みを合わせた。

## [参考文献]

清水誠, 2001, 「JGSS 第2回予備調査データセットのウエイトについて」SSJ Data Archive Research Paper Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター。

槇田直木, 2003, 「日本版 General Social Surveys JCSS-2001 基礎集計表・コードブック」東京大学社会科学研究所。

槇田直木, 2004, 「日本版 General Social Surveys JGSS-2002 基礎集計表・コードブック」東京大学社会科学研究所。

総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/> 「国勢調査」「人口推計」「労働力調査」「社会生活基本調査」「住宅・土地統計調査」

内閣府政府広報室 <http://www8.cao.go.jp/survey/index.html> 「国民生活に関する世論調査」

厚生労働省大臣官房統計情報部 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html> 「国民生活基礎調査」

佐藤 朋彦

## 5 データセットの重み付けについて：JGSS-2005 (WEIGHT・家族を単位とする項目の推定)

この節では、JGSS-2005 データセットに付属する変数【WEIGHT】の作成方法、線形推定・比推定による推定結果の違いを概観し、データセット利用者が【WEIGHT】を使用するか否かを判断するための情報を提供する。また、家族、住宅を単位とする項目について集計する際に配慮すべき「家族の大きさ」の扱いについても説明する。

文中、アルファベットを【 】で括った文字は、データセットにおける変数名を意味する。

### 1 線形推定と比推定

JGSS の標本設計では、全国の市町村を地域のブロック及び市郡規模により 18 の層に分け、その層の人口規模に応じて国勢調査（総務省）の調査区<sup>1)</sup>を抽出、調査区からそれぞれ約 15 人の調査対象を無作為に抽出している<sup>2)</sup>。このため、抽出率の逆数を乗じて足し上げる線形推定の過程が単純化され、原理的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで属性（回答の選択肢）別構成比を推定することができる。

ところで、官公庁が標本調査により実施する指定統計調査などでは、結果の推定方法として、直近の全数調査などから得られた人口、従業者数等を補助情報として活用する比推定がよく用いられている。現実の標本調査である以上、偶然又は実務上の制約（不在や拒否）のため推定に偏りが生じることがあるので、少しでも精度を高めるために既存の情報を利用しようという試みである。

比推定には、線形推定と比較して（1）調査結果を単に構成比として比較するだけでなく、絶対量として意味を持たせることができる、（2）調査対象抽出に伴う偶然の偏りと未回収による情報の損失を補うことができる、（3）既存情報と基盤を合わせることで、調査独自の結果を分析することに集中できる、などのメリットがある。

諸外国の社会調査や類似の調査の結果を見ても、カナダやイタリアなどのいくつかの国では国勢調査や労働力調査を基にした比推定が行われている。また、米国の GSS については、比推定は行われていないものの、結果の分布は全数調査などと大差がないことが確認されており、これらの調査と分布を比較・分析する視点は重視されている（清水誠, 2001）。

なお、比推定で用いる乗率＝「ウエイト」の作成方法は必ずしも一つに定まるのではなく、また、属性によっては補助情報に依存しないものもあるので、場合によっては比推定によりかえって推定値が現状から離れてしまうこともある。したがって、比推定やそのためのウエイトの選択はデータセット利用者が目的に応じて判断すべきものである。

注 1) 国勢調査の調査区は基本単位区を 2 つ程度結合して作成されている。基本単位区とは、住居表示実施地域においては街区を、住居表示実施地域以外の地域においては、街区に準じた区画を単位として設定されており、そこに含まれる世帯数はおおむね 25～30 世帯である。

注 2) 実際には、調査区の抽出は当該地点の最初の調査対象者を決めるために行われ、当該地点の他の調査対象者は当該地点を含む投票区（又はそれに周辺投票区を加えた地域）の中から選挙人名簿に沿って一定の間隔ごとに抽出される。

## 2 変数【WEIGHT】の作成方法

JGSS-2005 データセットには比推定用ウエイトとして変数【WEIGHT】が付属する。これは、調査票1枚が代表する人数「基準人口」/「JGSS-2005 回答者数」を、次のように母集団を144の区分に分割（そのうち回答者がいない郡部の4区分を各々対応する市部の区分に統合）して計算することにより作成されたものである。

地域別（6区分）×市郡別（2区分）×男女別（2区分）×年齢10歳階級別（6区分）

（年齢10歳階級別のうち、70～79歳と80～89歳は、統合して1区分とする）

この方法は、前回 JGSS-2003 の【WEIGHT】を踏襲している（佐藤朋彦、2005）

### (1) 基準人口

【WEIGHT】の分子となる基準人口を上記の区分ごとに得るために、以下のように計算した。

#### ア 地域別×男女×年齢10歳階級別 2005年人口

「2005年国勢調査確定人口」（都道府県、男女、年齢各歳別）（総務省）を元に、区分ごとに人口を算出する。

なお、年齢不詳人口は各年齢階級に按分を行い、人口の合計が総数と一致するようにした。

#### イ 地域別×市郡部×男女×年齢10歳階級別 2005年人口

2005年は、多くの市町村再編が行われたため、JGSS-2005の市部・郡部の区分と2005年国勢調査の市部・郡部の区分には乖離が生じており、2005年国勢調査の市部・郡部人口を直接利用することができない。そこで2000年国勢調査人口を2005年3月31日現在の市郡別に組み替えることにより、地域別×男女×年齢10歳階級別の市郡別人口割合を求め、上記アで算出した2005年人口に区分ごとに乗じる方法で推計した。

### (2) 回答者数

【WEIGHT】の分母は、全国の回答者数2,023を上記の144の区分に分割することで求めた。

区分別回答者数の度数分布を見ると、回答者が存在しないところが4区分、1枚の調査票だけで当該区分の人口を代表させるところが4区分発生している。前者4区分については、各々市部の対応する区分に統合してウエイトを作成している。後者4区分についても便宜的に近隣の区分と統合することもできるが、ここでは行っていない。

回答者数	度数	区分
0	4	近畿郡部（男）30～39、近畿郡部（男）70～89 近畿郡部（女）30～39 中国・四国郡部（男）20～29
1	4	関東郡部（男）40～49 中国・四国郡部（女）20～29 中国・四国郡部（女）40～49 九州郡部（男）30～39
2	9	北海道・東北郡部（女）20～29 など郡部
3	7	略
4	8	〃
5～	36	〃
10～	40	〃
20～	19	〃
30～	7	〃
40～	7	〃
50～	3	関東市部（女）30～39、関東市部（女）50～59 関東市部（女）60～69
計	144	

(3)【WEIGHT】

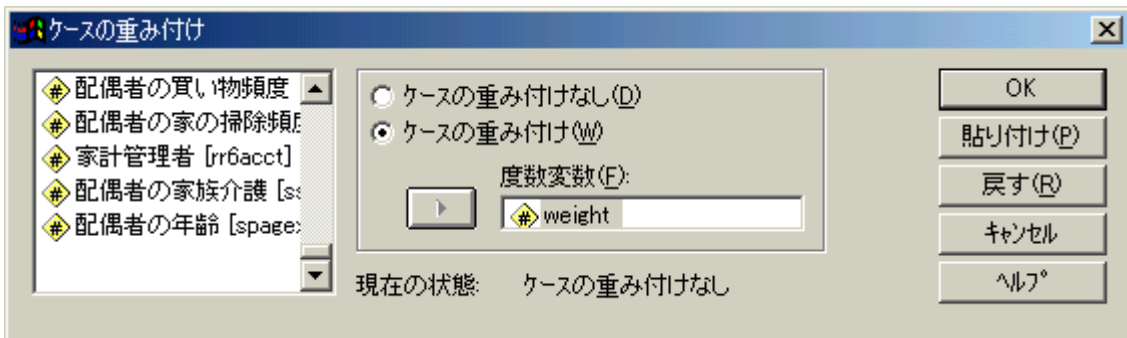
(1)を(2)で除することにより得られる【WEIGHT】は、表 1-1 及び表 1-2 のとおりである。なお、回答者がゼロとなった郡部の 4 区分を各々対応する市部の 4 区分に統合してから【WEIGHT】を算出している。線形推計では調査票 1 枚 1 枚の回答は同じ重みで集計されるが、この【WEIGHT】を用いる比推計では、調査票が属する区分のウエイトにより回答の軽重が異なってくる。すなわち、推計人口に対して回答者数の少ない層の回答を重めにするように推計が補正される。【WEIGHT】の度数分布を見ると、もっとも大きい【WEIGHT】を持つ区分は関東郡部(男)40～49歳であり、以降郡部を中心に続いている。

【WEIGHT】	度数	区分
300,000～	1	関東郡部(男)40～49(=323,336)
200,000～	1	九州郡部(男)30～39
150,000～	3	関東郡部(女)60～69 中国・四国市部(女)20～29、中国・四国郡部(女)40～49
100,000～	8	略
90,000～	3	"
80,000～	10	"
70,000～	10	"
60,000～	18	(【WEIGHT】の平均 62,374) "
50,000～	28	"
40,000～	18	"
30,000～	29	"
20,000～	11	最小は、北海道・東北市部(女)60～69(=21,041)
計	140	

3 SPSS において【WEIGHT】により重み付けをする方法

JGSS のデータセットは、SSJ データアーカイブから SPSS 形式ファイルで提供されている。SPSS の以下の操作により各ケースが【WEIGHT】で重み付けされる。

- (1)メニューバーから「データ(D)」→「ケースの重み付け(W)」
- (2)「ケースの重み付け」ダイアログから「ケースの重み付け(W)」を選択、「度数変数(F)」として変数【WEIGHT】を指定したのちに「OK」



重み付けがされると、SPSS ウィンドウのステータスバーに「重み付きオン」と表示される。重み付けを解除するには、ダイアログの「ケースの重み付けなし(D)」を選択する。





#### 4 家族を単位とする項目の推定に必要な重み付け

JGSS では、個人を単位とした標本抽出により調査対象を決めており、家族、住宅などを抽出単位としてはいない。そのため、JGSS データセットを使って家族を単位とする集計、分析を行うのであれば、2人以上の家族の「標本」は1人暮らしの「標本」よりも扱いを小さくするよう、単位を整える必要がある。

JGSS-2005 データセットには、変数「家族人数（本人含む）」【SZFFTTTL】が用意されているので、この逆数（ $1 \div$ 【SZFFTTTL】）によりケースを重み付けすることで、家族を単位とする事項の推定を適切に行うことができる。

家族を単位として分析をする場合、この重み付けは、【WEIGHT】を使用するしないにかかわらず留意すべきことである（個人又は世帯員単位で分析をする際には、家族人数の逆数による重み付けは不要である。）。

なお、【WEIGHT】を使用しつつ家族を単位とする項目の推定をする場合には、利用者は【WEIGHT】 $\div$ 【SZFFTTTL】を計算して、この値を持つ変数によりケースを重み付けすればよい。

家族、住宅などの単位で分析が想定される変数として、以下のものを挙げることができる。

<b>面接票</b>	
問 25-1	子どもの人数【CCNUMTTL】
問 27	家族人数（本人含む）【SZFFTTTL】
問 28-1	別居家族人数（本人除く）【SZFFOUT】
問 30	世帯年収【SZHSINCM】
<b>留置票</b>	
Q8	家族そろった夕食：頻度【FQ7FFDNR】
Q28-1	住居の所有関係【OWNHOUSE】
Q28-2	住居の建て方【TPHOUSE】
Q32	世帯収入のレベル【OP5FFINX】
Q33	15歳の頃の世帯収入レベル【OPFFIX15】
Q34	生活水準向上機会の有無【OP5CHNCA】
Q44	自宅周辺の危険場所の有無【FEARWALK】
Q45	空き巣被害経験【XSTOLN1Y】

#### 5 線形推定と比推定による推定結果の比較

3で作成した【WEIGHT】を使用して、線形推定と比推定による JGSS-2005 の推定結果を属性別構成比にして比較してみる（表 2-1、表 2-2）。

参考として、JGSS-2005 調査の前後に実施された回答者数の大きな他の調査の結果も、データの妥当性を見るために対比させている。

なお、ここでの構成比は、無回答を欠損値として集計しており、基本的には構成要素をすべて合計すると 100.0 になる。

（1）地域、男女、年齢の3項目は、【WEIGHT】作成の際の補助情報として用いているので、【WEIGHT】

を用いたこれらの項目の集計結果（比推定による結果）は、必然的に参考値と一致する。例えば、年齢「20～29歳」の占める割合は、線形推定によると11.0%しかなく、これは参考値(15.3%)と比べて4.3%ポイント低くなっているが、比推定では15.3%に膨らみ、参考値と一致する。

なお、市町村の規模別については、調査設計段階では「大都市」、「その他の市」、「郡部」と3区分であったのを、【WEIGHT】作成においては、前2区分を統合して「市部」と「郡部」にしたことと、市町村再編の影響によって、参考値とは一致しない。

- (2) 配偶関係の「未婚」の割合は、線形推定では15.4%と参考値(23.1%)に比べてかなり低くなっているが、比推定による結果では19.9%となり、参考値に近くなる。これは、線形推定(原データ)では割合が小さかった未婚率の高い若年層が、比推定では参考値(現状)に近い割合に調整されるからである。家族を単位とする項目でも、比推定の方が参考値に近くなる場合が多い。このように比推定は、線形推定に対して、補助情報として参照した属性に基づく補正を行った分析を可能とする。比推定により参考値との差が縮小する属性は、補助情報として用いた地域、男女、年齢の属性のいずれかと関係があるものと考えられる。
- (3) 一方、比推定によりむしろ現状から離れてしまうこともある。例えば、職業の中の「販売」と「運輸・通信」の構成比を見ると、線形推定は参考値よりも高いが、比推定ではさらに高くなっている。このように比推定により参考値との差が拡大する属性は、補助情報として用いた属性のいずれとも関係が弱いものと見られる。

表 1-1 市部の推計人口、回答者数及び【WEIGHT】

		全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州
市部男	基準人口							
	20～89歳	39,802,269	4,002,571	14,985,101	6,942,096	6,969,601	3,182,648	3,720,252
	20～29	6,705,317	655,611	2,647,165	1,113,527	1,154,676	499,268	635,070
	30～39	7,837,534	700,411	3,188,257	1,353,447	1,370,445	571,961	653,013
	40～49	6,338,759	650,597	2,423,115	1,108,500	1,062,019	490,448	604,080
	50～59	7,547,274	813,115	2,705,955	1,319,658	1,311,554	645,698	751,294
	60～69	6,101,931	586,098	2,269,155	1,075,123	1,154,914	485,945	530,696
	70～89	5,271,454	596,739	1,751,454	971,841	915,993	489,328	546,099
	回答者数							
	20～89歳	746	91	210	173	116	80	76
	20～29	73	6	21	13	18	7	8
	30～39	109	14	34	23	18	9	11
	40～49	112	17	42	20	12	9	12
	50～59	153	17	36	45	18	18	19
	60～69	163	21	40	43	29	16	14
	70～89	136	16	37	29	21	21	12
	【WEIGHT】							
	20～89歳							
	20～29		109,268	126,055	85,656	64,149	91,747	79,384
	30～39		50,029	93,772	58,846	85,284	63,551	59,365
	40～49		38,270	57,693	55,425	88,502	54,494	50,340
50～59		47,830	75,165	29,326	72,864	35,872	39,542	
60～69		27,909	56,729	25,003	39,825	30,372	37,907	
70～89		37,296	47,337	33,512	52,424	23,301	45,508	
市部女	基準人口							
	20～89歳	42,050,956	4,460,261	14,954,739	7,233,301	7,600,486	3,536,934	4,265,235
	20～29	6,452,565	652,109	2,411,480	1,050,054	1,177,925	501,562	659,435
	30～39	7,648,131	718,548	2,952,652	1,281,954	1,408,267	585,007	701,703
	40～49	6,286,036	684,301	2,255,006	1,080,898	1,102,308	509,892	653,631
	50～59	7,693,785	857,732	2,674,476	1,324,892	1,384,033	661,137	791,515
	60～69	6,524,045	673,308	2,325,660	1,128,441	1,234,199	542,364	620,073
	70～89	7,446,394	874,263	2,335,465	1,367,062	1,293,754	736,972	838,878
	回答者数							
	20～89歳	902	118	270	200	129	91	94
	20～29	114	16	38	24	21	3	12
	30～39	146	21	51	27	15	21	11
	40～49	138	15	43	28	23	8	21
	50～59	172	17	50	48	27	17	13
	60～69	186	32	50	42	24	19	19
	70～89	146	17	38	31	19	23	18
	【WEIGHT】							
	20～89歳							
	20～29		40,757	63,460	43,752	56,092	167,187	54,953
	30～39		34,217	57,895	47,480	105,330	27,857	63,791
	40～49		45,620	52,442	38,604	47,926	63,736	31,125
50～59		50,455	53,490	27,602	51,260	38,890	60,886	
60～69		21,041	46,513	26,868	51,425	28,545	32,635	
70～89		51,427	61,460	44,099	68,092	32,042	46,604	

表 1-2 群部の推計人口、回答者数及び【WEIGHT】

		全国	北海道・東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	
郡部男	基準人口								
	20～89歳	9,889,568	1,806,305	1,870,757	2,253,661	1,021,677	1,262,236	1,674,932	
	20～29	1,288,512	217,400	264,490	309,979	137,490	142,962	216,191	
	30～39	1,545,937	259,665	314,506	387,367	164,669	175,491	244,239	
	40～49	1,631,916	304,022	323,336	364,966	166,038	191,142	282,412	
	50～59	1,956,304	359,115	374,133	433,266	195,635	253,273	340,882	
	60～69	1,633,715	300,689	304,596	366,587	172,937	221,124	267,782	
	70～89	1,833,184	365,414	289,696	391,496	184,908	278,244	323,426	
	回答者数								
	20～89歳	174	40	26	47	14	16	31	
	20～29	17	3	5	5	2	-	2	
	30～39	16	3	4	5	-	3	1	
	40～49	24	5	1	6	2	2	8	
	50～59	34	6	5	10	5	3	5	
	60～69	43	9	5	11	5	3	10	
	70～89	40	14	6	10	-	5	5	
	【WEIGHT】								
	20～89歳								
	20～29		72,467	52,898	61,996	68,745	-	108,096	
	30～39		86,555	78,626	77,473	-	58,497	244,239	
	40～49		60,804	323,336	60,828	83,019	95,571	35,302	
50～59		59,852	74,827	43,327	39,127	84,424	68,176		
60～69		33,410	60,919	33,326	34,587	73,708	26,778		
70～89		26,101	48,283	39,150	-	55,649	64,685		
郡部女	基準人口								
	20～89歳	10,766,841	1,992,661	1,920,765	2,389,253	1,129,010	1,426,965	1,908,187	
	20～29	1,249,140	203,831	248,586	294,996	137,461	141,737	222,529	
	30～39	1,535,605	256,201	301,010	373,195	171,686	178,574	254,939	
	40～49	1,610,589	298,779	303,319	354,691	171,803	194,222	287,775	
	50～59	1,924,526	353,569	355,597	425,009	199,400	252,503	338,448	
	60～69	1,778,018	343,886	307,091	386,854	185,284	247,336	307,567	
	70～89	2,668,963	536,395	405,162	554,508	263,376	412,593	496,929	
	回答者数								
	20～89歳	201	38	38	47	20	19	39	
	20～29	18	2	7	2	2	1	4	
	30～39	21	5	3	7	-	2	4	
	40～49	30	4	10	7	4	1	4	
	50～59	42	9	11	8	5	5	4	
	60～69	38	7	2	9	5	5	10	
	70～89	52	11	5	14	4	5	13	
	【WEIGHT】								
	20～89歳								
	20～29		101,916	35,512	147,498	68,730	141,737	55,632	
	30～39		51,240	100,337	53,314	-	89,287	63,735	
	40～49		74,695	30,332	50,670	42,951	194,222	71,944	
50～59		39,285	32,327	53,126	39,880	50,501	84,612		
60～69		49,127	153,546	42,984	37,057	49,467	30,757		
70～89		48,763	81,032	39,608	65,844	82,519	38,225		

表 2-1 構成比の推定値 (個人単位)

回答者数 n= 2023

(%)

	JGSS-2005		参考値		
	線形推定	比推定			
<b>地域【BLOCK】</b>					
北海道・東北	14.2	12.0	12.0	2005年10月国勢調査(総務省)	
関東	26.9	32.9	32.9		
中部	23.1	18.4	18.4		
近畿	13.8	16.3	16.3		
中国・四国	10.2	9.2	9.2		
九州	11.9	11.3	11.3		
<b>市町村の規模【SIZE】</b>					
政令市等	18.3	19.7	23.8	2005年10月国勢調査(総務省)	
その他の市	63.1	60.8	62.6		
町村(郡部)	18.5	19.5	13.6	注1	
<b>男女【SEXA】</b>					
男	45.5	48.5	48.5	2005年10月国勢調査(総務省)	
女	54.5	51.5	51.5		
<b>年齢【AGEB】</b>					
20～29	11.0	15.3	15.3	2005年10月国勢調査(総務省)	
30～39	14.4	18.1	18.1		
40～49	15.0	15.5	15.5		
50～59	19.8	18.7	18.7		
60～69	21.3	15.6	15.6		
70～89	18.5	16.8	16.8		
<b>配偶関係【DOMARRY】</b>					
有配偶	72.8	69.3	64.0	2005年10月国勢調査(総務省)	
離死別	11.8	10.9	12.9		
未婚	15.4	19.9	23.1		
<b>最終学校(本人)【XXLSTSCH, DOLSTSCH】</b>					
小学・中学	23.0	20.3	23.2	23.8	左:2000年10月国勢調査 (総務庁)
高校・旧中	45.3	44.8	46.3	43.6	
短大・高専	13.9	14.1	12.5	13.7	右:2002年10月就業構造基本 調査(総務省)
大学・大学院	17.8	20.7	18.0	18.9	
<b>世帯属性【FFHEAD】</b>					
世帯主	47.1	46.4	49.1	2005年6月国民生活に関する世論調査 (内閣府)	
<b>就業状態【XJOB1WK, TP5UNEMP】</b>					
従業①	60.6	63.7	60.2	2005年9月労働力調査(総務省)	
休業②	1.0	1.1	1.0		
失業	1.4	1.9	2.6	注3	
家事	22.6	20.6	16.3	注5	
学生	0.7	1.1	2.0		
その他 注5	13.6	11.7	17.9		
<b>従業上の地位【TP12JOB】①+②</b>					
経営者・役員③	7.7	7.4	6.3	2005年9月労働力調査(総務省)	
常雇④	48.3	53.3	67.0		
臨時雇・パート・アルバイト⑤	21.4	19.4	11.6		
派遣社員⑥	1.4	1.5	-		
自営業主・内職	14.3	12.5	10.5		
家族従業者	6.9	5.9	4.7	注3	

表 2-1 構成比の推定値 (個人単位) (続き)

回答者数 n= 2023

(%)

	JGSS-2005		参考値		
	線形推定	比推定			
企業の従業者数【SZTTLSTA】③～⑥					
1～29人	37.4	36.4	31.0	2005年9月労働力調査(総務省)	注6 注7
30～99人	13.4	12.8	16.2		
100～499人	14.7	14.9	18.4		
500～999人	6.3	6.4	6.1		
1000人以上	14.8	16.2	18.1		
官公庁	13.4	13.2	10.3		
産業【XXWPL】①+②					
第1次産業	6.1	5.3	4.9	2005年9月労働力調査(総務省)	注3
第2次産業	26.2	26.5	27.0		
第3次産業	67.8	68.2	68.1		
職業【XXJOB】①+②					
専門的・技術的	15.2	16.1	15.2	2005年9月労働力調査(総務省)	注7
管理的	2.6	2.4	2.9		
事務	22.2	22.2	19.7		
販売	15.6	15.7	14.2		
サービス	10.0	9.5	10.1		
保安	0.7	0.9	1.8		
農林漁業	6.1	5.3	4.7		
運輸・通信	4.3	4.6	3.2		
生産工程・労務作業	23.3	23.3	28.3		
労働時間【XJOBHWK】①					
1～14時間	6.5	5.9	5.2	2005年9月労働力調査(総務省)	注3
15～34時間	20.4	18.3	18.7		
35～42時間	31.2	30.8	29.6		
43～48時間	18.3	19.3	17.1		
49～59時間	12.7	13.5	16.8		
60時間以上	10.9	12.2	12.8		
生活の程度【OP5LEVK】					
上	0.5	0.5	0.8	2005年6月国民生活に関する世論調査 (内閣府)	注3
中の上	9.6	10.0	9.1		
中の中	43.9	42.8	56.3		
中の下	36.8	38.1	26.1		
下	9.2	8.6	7.6		

注1 参考値は、2005年10月1日までの市町村再編が全て反映されている。

注2 在学中の者は、すべて「大学・大学院」に含めた。参考値(左)は、85～89歳を除き、参考値(右)は、90歳以上を含む。

注3 参考値では、90歳以上を含む。

注4 参考値では、「主として世帯を支えている」について尋ねている。

なお、JGSS2002・JGSS2003の「基礎集計表・コードブック」でのこの世帯主の集計では、変数「世帯主」【FFHEAD】には、回答者の「同居の有無(本人)」【FFRESIDE】が「本人のみ(ひとり暮らし)」の場合、88(非該当)が代入されているため、事前に【SZFFTTL】の88を0(本人)に置換する必要がある。JGSS2000・JGSS2001では、「家族1:世帯主」【FF01HEAD】を使用して、世帯主の集計をしている。

注5 JGSSでは、先週「仕事をしていない」と答えて先週の状況について回答しなかった者は「その他」に含めた。

注6 JGSSでは、【TP4WPLA】を使って官公庁を区分。

注7 参考値では、15～19歳及び90歳以上を含む。

表 2-2 構成比の推定値（家族単位）  
各個人の値を当該個人の「家族の大きさ」の逆数（ $1 \div$ 【SZFFFTTL】）で加重する場合

	JGSS-2005		参考値		
	線形推定	比推定			
家族人数(本人含む)【SZFFFTTL】					
単身	22.2	22.5	23.4	2004年7月国民生活基礎調査 (厚生労働省)	注8
2人	34.0	30.7	28.0		
3人	20.4	21.7	19.5		
4人	14.0	15.4	17.8		
5人以上	9.4	9.6	11.3		
住宅の種類【OWNHOUSE, TPHOUSE】					
持ち家・戸建て	70.9	67.8	53.3	2005年10月国勢調査(総務省)	注8 注9
持ち家・集合住宅	5.8	6.4	9.5		
借家・戸建て	4.5	4.4	3.8		
借家・集合住宅	18.7	21.2	33.3		
その他	0.1	0.2	0.2		
世帯の年間収入【SZHSINCM】					
250万円未満	32.1	30.0	24.7	2005年7月国民生活基礎調査 (厚生労働省)	注8 注10
250万円以上450万円未満	26.9	26.7	23.6		
450万円以上1000万円未満	30.6	32.5	36.6		
1000万円以上	10.4	10.8	15.1		

注8 JGSSでは、家族人数は一時的に自宅を出ている者も含んで数えるが、参考値では除いている。また、参考値では、20歳未満又は90歳以上のみから構成される世帯を含む。

なお、JGSS2002・2003の「基礎集計表・コードブック」のこの集計では、変数「家族人数(本人含む)【SZFFFTTL】」には、回答者の「同居の有無(本人)【FFRESIDE】が「本人のみ(ひとり暮らし)」の場合、888(非該当)が代入されるため、事前に【SZFFFTTL】の888を1に置換する必要がある。JGSS2000・JGSS2001では、「同居家族人数【SZFFHERE】の逆数を使用して、家族を単位とする項目の推計の重み付けをしている。

注9 留置票による集計。「建て方」【TPHOUSE】のその他を「その他」に区分している。参考値では、一戸建を「戸建て」に、長屋建及び共同住宅を「集合住宅」に、その他を「その他」に区分。

なお、JGSS2003以前の「基礎集計表・コードブック」のこの集計では、「住居形態」【TP8DWEL】を使用して集計している。

注10 参考値の調査結果の階級の刻みは100～200万円、200～300万円、…となっており、JGSSのそれとは異なる。そのため、参考値では、100～200万円に属する割合の半分を100～150万円に、もう半分を150～200万円に便宜的に配分することで擬似的に刻みを合わせた。

#### [参考文献]

佐藤朋彦, 2005, 「日本版 General Social Surveys JGSS-2003 基礎集計表・コードブック」東京大学社会科学研究所

清水誠, 2001, 「JGSS 第2回予備調査 データセットのウエイトについて」SSJ Data Archive Research Paper Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター

槇田直木, 2003, 「日本版 General Social Surveys JGSS-2001 基礎集計表・コードブック」東京大学社会科学研究所

槇田直木, 2004, 「日本版 General Social Surveys JGSS-2002 基礎集計表・コードブック」東京大学社会科学研究所

総務省統計局 <http://www.stat.go.jp/> 「国勢調査」「労働力調査」「就業構造基本調査」

内閣府政府広報室 <http://www8.cao.go.jp/survey/index.html> 「国民生活に関する世論調査」

厚生労働省大臣官房統計情報部 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html> 「国民生活基礎調査」

岡本 政人

## 5 データセットの重み付けについて：JGSS-2006

この節では、JGSS-2006 データセットに附属する変数【WEIGHT】の作成方法、【WEIGHT】を用いることによる推定結果への影響度を概観し、データセット利用者が【WEIGHT】を使用するか否かを判断するための情報を提供する。また、今回行った【WEIGHT】の作成方法の改定について付記する。

文中、アルファベットを【 】で括った文字は、データセットにおける変数名を意味する。

### 1. JGSS-2006 の推定方法

JGSS の標本設計では、全国の市町村を地域ブロック及び市郡規模により 24 の層に分け、その層の人口規模（住民基本台帳登録者数）に比例した数だけ国勢調査の基本単位区を抽出し、更に各単位区からそれぞれ約 15 人の調査対象を無作為に抽出している。このため、推定の過程が単純化され、原理的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで、結果の構成比を推定できる<sup>1)</sup>。

一方、官公庁が標本調査により実施する指定統計調査などでは、結果の推定において標本の分布を直近の統計調査などから得られた人口の年齢分布などに合わせる推定法が用いられることがある。現実の標本調査においては、偶然又は実務上の制約（不在や拒否）のため推定結果に偏りが生じることがある。特に、最近、統計調査における回収率の低下が顕著で、かつ、それが若年層など特定の層で高いことが問題となっている。このようなことから、少しでも推定の精度を高めるため、既存の補助情報を活用しようという試みである。

諸外国の社会調査や類似の調査を見ても、カナダやイタリアなどいくつかの国では国勢調査や労働力調査の結果を補助情報として活用する推定法が用いられている。また、米国の GSS では、このような推定法は採用していないものの、結果の分布が全数調査などと比べ大きな差のないことを確認するなど、標本の分布に偏りが無いことを確かめた上で比較・分析するという視点は重視されている<sup>2)</sup>。

補助情報を用いる推定法では、乗率 = 「ウエイト」を計算してそれを用いて集計・分析することになるが、その作成方法は必ずしも一つに定まるものではない。また、補助情報に依存しない変数もあるので、場合によってはこの推定法を適用することで、かえって推定値が現状から離れてしまう可能性もある。ウエイトを用いるか否かの選択は、分析の目的に応じて、データセット利用者が判断してほしい。

注 1) ただし、住民基本台帳ベースの人口に基づく推計値となる。

2) 清水誠, 2001, 「JGSS 第 2 回予備調査 データセットのウエイトについて」SSJ Data Archive Research Paper Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター



## 2. 変数【WEIGHT】の作成方法

JGSS-2006 データセットには、推定用ウエイトとして変数【WEIGHT】が付されている。これは、調査票 1 枚が代表する人数を、下記の式で男女、年齢階級別の 14 区分ごとに計算したものである。基準人口としては、「2006 年 10 月 1 日現在推計人口」(総務省)の年齢、男女別全国日本人人口を用いている。

$$\text{ウエイト} = \text{「基準人口」} / \text{「JGSS-2006 回答者数」}$$

表 1 男女、年齢階級別ウエイト計算表 - JGSS-2006

		人口(千人)	回答者数	ウエイト
男	20-29	7,622	205	37,180
	30-39	9,394	325	28,905
	40-49	7,761	285	27,232
	50-59	9,482	413	22,959
	60-69	7,560	403	18,759
	70-79	5,443	288	18,899
	80-89	1,918	68	28,206
女	20-29	7,286	231	31,541
	30-39	9,136	378	24,169
	40-49	7,659	359	21,334
	50-59	9,604	460	20,878
	60-69	8,117	442	18,364
	70-79	6,736	297	22,680
	80-89	3,659	100	36,590

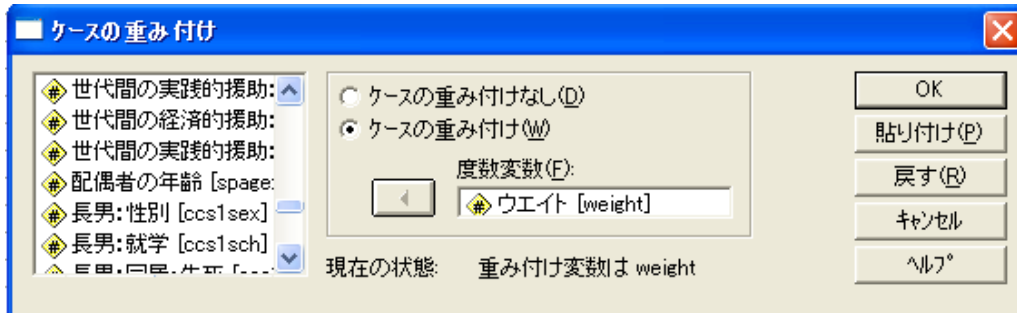
算出されたウエイトの値を男女別で比較すると、70 歳以上の階級を除けば、各年代とも男性で高い。年齢で比較すると、男女とも若い年齢層で高く、それ以降年齢が上がるにつれて低下して 60 歳代で最も低くなり、それ以上の年代では再び上昇している。ウエイトの最大値は 20 歳代の男性の 37,180、最小値は 60 歳代の女性の 18,364 で、最大値は最小値のほぼ 2 倍になっており、このウエイトによる補正の効果がうかがわれる。

ウエイトの値の差は、調査票の回収率の差によって生じたものである。すなわち、回収率は若年層、特に男性で低く、年齢が上がるにつれて徐々に上昇するが、高齢になると再度低下していることを意味している。なお、70 歳以上の階級で女性のウエイトのほうが男性より高くなっていることには、それぞれの年齢階級において女性の平均年齢のほうが高く、回収率が低下していることが影響しているものと思われる。

### 3. SPSS において【WEIGHT】により重み付けをする方法

JGSS のデータセットは、SSJ データアーカイブから SPSS 形式で提供されている。SPSS の以下の操作により、各ケースが【WEIGHT】で重み付けされる。

- (1) メニューバーから「データ (D)」 「ケースの重み付け (W)」を選択
- (2) 「ケースの重み付け」ダイアログから「ケースの重み付け (W)」を選択、「度数変数 (F)」として【WEIGHT】を指定したのちに「OK」
- (3) 通常どおりに集計・解析



### 4. 推定結果へのウエイトの影響

ウエイトを用いた場合と用いない場合で JGSS-2006 の推定結果がどのように異なるか、属性別構成比で比較すると、表 2 のとおりである。表には参考として、JGSS-2006 と同じころに実施された回答者数の大きな調査の結果も掲載している。

ウエイトを用いた集計結果の主な特徴は、次のとおりである。

- (1) 男女、年齢階級区分については、ウエイト作成の際に補助情報として用いているので、ウエイトを用いた集計結果は参考値と一致する（母集団と一致する）。ウエイトを用いない場合、男性及び若年層の構成比が母集団に比べて小さめに推計されることが分かる。
- (2) 配偶関係の「有配偶」の構成比は、ウエイトを用いない場合、比較対象とした労働力調査をかなり上回っている。ウエイトを用いた場合もまだ差が見られるものの、その差は縮小している。この結果には調査方法の違いが影響している可能性もあるので一概に言えないが、ウエイトを用いることにより若年層の比重が高まり、母集団により近い推定値が得られていることが分かる。
- (3) これに対し、就業状態の「従業」はむしろウエイトを用いない場合のほうが比較対象とした労働力調査に近い値となっている。しかし、「家事」、「学生」については、ウエイトを用いた場合のほうが労働力調査により近い推定値が得られており、この場合は、調査方法の違いの影響が大きかったのではないかと推察される。
- (4) ちなみに、ウエイト作成に用いた男女、年齢階級別で違いが大きいと考えられる項目、例えば、生活の程度に対する意識や政治意識について集計を行ってみると、ウエイトを用いた場合と用いない場合で構成比の推定値には表 2 に示す程度の差が生じる。

表2 推計方法（単純集計、ウエイト付集計）による構成比の比較 - JGSS-2006

	単純集計	ウエイト付集計	参考値	
<b>男女【SEXA】</b>				
男	46.7	48.5	48.5	2006年10月現在推計人口（総務省）
女	53.3	51.5	51.5	
<b>年齢【AGEB】</b>				
20～29歳	10.2	14.7	14.7	2006年10月現在推計人口（総務省）
30～39	16.5	18.3	18.3	
40～49	15.1	15.2	15.2	
50～59	20.5	18.8	18.8	
60～69	19.9	15.5	15.5	
70～79	13.8	12.0	12.0	
80～89	3.9	5.5	5.5	
<b>配偶関係【DOMARRY】</b>				
有配偶	73.6	69.7	64.0	2005年10月国勢調査（総務省）
離死別	11.5	11.6	13.0	
未婚	14.9	18.7	23.0	
<b>就業状態【XJOB1WK】， 【TP5UNEMP】</b>				
従業	60.8	62.7	60.0	2006年9月労働力調査（総務省） 注）参考値は、日本人以外及び90歳以上の者を含む。
休業	1.0	1.0	1.0	
失業	1.6	1.8	2.6	
家事	21.6	20.5	16.1	
学生	0.9	1.3	2.0	
その他	14.2	12.7	18.4	
<b>生活の程度【OP5LEVK】</b>				
上	0.5	0.5	1.1	2006年10月国民生活に関する世論調査（内閣府） 注）「わからない・無回答」は除いて集計している。参考値は、日本人の20歳以上の者。
中の上	9.9	9.8	11.2	
中の中	45.7	45.5	54.9	
中の下	35.4	35.7	26.7	
下	8.5	8.5	6.1	
<b>政治意識（保革5段階） 【OP5RADCA】</b>				
1：保守的	7.0	7.0		注）「無回答」は除いて集計している。
2	19.3	19.3		
3	53.5	53.1		
4	16.4	16.8		
5：革新的	3.7	3.9		

注1)「単純集計」はウエイトを用いないで集計した結果、「ウエイト付集計」はウエイトで重み付けを行って集計した結果である。

2) 現在推計人口及び国勢調査人口は、20～89歳の日本人人口である。

3)「生活の程度」の質問文はJGSSと国民生活に関する世論調査で異なる。JGSSでは「かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層に分けるとすれば、あなた自身はどこに入るとお考えですか」とあり、国民生活に関する世論調査では「お宅の生活の程度は、世間一般からみて、どうですか。この中から1つお答えください」とある。また、JGSSでは留置調査で尋ねられており、国民生活に関する世論調査では面接で尋ねられている。

付 ウエイトの改定について

ウエイトは、JGSS-2000 以来、「地域ブロック（6 区分）×市郡（2 区分）×男女（2 区分）×年齢階級（6 区分）」の 144 区分ごとに計算してきた。しかし、平成の大合併のため多くの町村が市になったことにより、ウエイトの算出において市郡別で区分することの意味が低下するとともに、回答者数が少ない区分でウエイトの大きさが安定しないという弊害が目立つようになった。このため、JGSS-2006 のウエイトを計算するに当たって、その計算方法について全面的な見直しを行うことにした。

見直しの結果、JGSS-2006 のウエイトは既に述べたとおりの方法で計算することにし、また、JGSS プロジェクトの第二期のウエイトの計算方法を統一する観点から、JGSS-2005 のウエイトについても、同様な方法で計算した値に改定することにした。ウエイトの新しい作成方法及び改定の経緯は、次のとおりである。

1. JGSS-2005 データセットの推定用ウエイト変数【WEIGHT】の改定について

JGSS-2005 データセットの推定用ウエイト変数【WEIGHT】については、調査票 1 枚が代表する人数を、下記の式で男女、年齢階級別の 14 区分ごとに計算した値に改定した。なお、基準人口としては、「2005 年 10 月 1 日国勢調査」（総務省）の年齢、男女別全国日本人人口を用いている。

$$\text{ウエイト} = \text{「基準人口」} / \text{「JGSS-2005 回答者数」}$$

付表 1 男女、年齢階級別ウエイト計算表 - JGSS-2005

		人口（人）	回答者数	ウエイト
男	20-29	7,768,365	90	86,315
	30-39	9,166,607	125	73,333
	40-49	7,821,427	136	57,510
	50-59	9,383,638	187	50,180
	60-69	7,655,795	206	37,164
	70-79	5,274,602	137	38,501
	80-89	1,768,544	39	45,347
女	20-29	7,459,404	132	56,511
	30-39	8,943,847	167	53,556
	40-49	7,737,809	168	46,058
	50-59	9,514,613	214	44,461
	60-69	8,233,926	224	36,759
	70-79	6,580,185	146	45,070
	80-89	3,472,587	52	66,781

## 2. ウェイトの作成方法の改定に当たっての検討の経緯

- (1) 市郡の区分は、郡の人口が全体の 15%を下回るような状況になり、ウェイトを算出する目的で層化を行うことの意味は低下したことが指摘された。
- (2) また、これまでの区分の仕方だと、標本数が 0 又はごくわずかになる区分があり、そのためにウェイトが不自然に大きくなるなどの問題が生じていた。この問題は、市郡の区分を除くことである程度解決できるが、依然としてそのような事例が残ることが判明した。
- (3) このようなことから、市郡の区分と地域ブロックの 2 つの区分を除き、「男女×年齢階級」の区分だけでウェイトを作成することが提案された。  
年齢階級については、従来、標本数の関係で「70～89 歳」を一つの区分にまとめていたが、これを「70～79 歳」、「80～89 歳」の 2 つに区分することにした。その理由は、この 2 つの年齢層で回収率にかなりの差があることに示されているように、2 つの年齢層に分けることに層化の効果が見込まれること、及び、今後この年齢層の人口が増加し重要度が高まることである。
- (4) JGSS-2005 のデータについて実際に新しい方式でウェイトを計算し、それをを用いて集計を行ってみたところ、付表 2 のとおり、従来のウェイトを用いた結果と大きな差は生じないことが確認できた。なお、地域ブロックで違いが大きくなっているのは、従来のウェイトが地域ブロックもウェイト作成の補助情報としていたからである。
- (5) 以上の検討に基づき、JGSS-2006 のウェイトの計算方法を「男女(2 区分)×年齢階級(7 区分)」の 14 区分ごとに計算する方式に変更した。
- (6) 同時に、第二期のウェイトの計算方法を統一する観点から、JGSS-2005 のウェイトもこの方式で計算した値に切り替えることにした。

松井 博

付表2 推計方法（単純集計及び新旧ウエイト付集計）による構成比の比較 - JGSS-2005

	単純集計	旧ウエイト	新ウエイト	参考値	
<b>地域ブロック【BLOCK】</b>					
北海道・東北	14.2	12.0	13.9	12.1	2006年10月国勢調査（総務省）
関東	26.9	32.9	27.4	32.7	
中部	23.1	18.4	22.9	18.3	
近畿	13.8	16.3	13.9	16.2	
中国・四国	10.2	9.2	10.0	9.2	
九州	11.9	11.3	11.9	11.4	
<b>男女【SEXA】</b>					
男	45.5	48.5	48.5	48.5	2005年10月国勢調査（総務省）
女	54.5	51.5	51.5	51.5	
<b>年齢【AGEB】</b>					
20～29歳	11.0	15.3	15.1	15.1	2005年10月国勢調査（総務省）
30～39	14.4	18.1	18.0	18.0	
40～49	15.0	15.5	15.4	15.4	
50～59	19.8	18.7	18.8	18.8	
60～69	21.3	15.6	15.8	15.8	
70～79	14.0	12.8	11.8	11.8	
80～89	4.5	4.0	5.2	5.2	
<b>配偶関係【DOMARRY】</b>					
有配偶	72.8	69.3	69.4	64.0	2005年10月国勢調査（総務省）
離死別	11.8	10.9	11.1	13.0	
未婚	15.4	19.9	19.5	23.0	
<b>就業状態【XJOB1WK】， 【TP5UNEMP】</b>					
従業	60.6	63.7	63.8	60.2	2005年9月労働力調査（総務省） 注）参考値は、日本人以外及び 90歳以上の者を含む。
休業	1.0	1.1	1.1	1.0	
失業	1.4	1.9	1.7	2.6	
家事	22.6	20.6	20.7	16.3	
学生	0.7	1.1	1.0	2.0	
その他	13.6	11.7	11.8	17.9	
<b>生活の程度【OP5LEVK】</b>					
上	0.5	0.5	0.5	0.8	2006年10月国民生活に関する世 論調査（内閣府） 注）「わからない・無回答」は除 いて集計している。参考値 は、日本人の20歳以上の者。
中の上	9.6	10.0	9.8	9.1	
中の中	43.9	42.8	42.8	56.3	
中の下	36.8	38.1	37.6	26.1	
下	9.2	8.6	9.2	7.6	
<b>政治意識（保革5段階） 【OP5RADCA】</b>					
1：保守的	7.9	7.2	7.4		注）「無回答」は除いて集計している。
2	20.5	20.4	20.3		
3	50.5	49.9	50.0		
4	16.4	17.5	17.4		
5：革新的	4.6	5.1	5.0		

注1)「単純集計」はウエイトを用いずに集計した結果、「旧ウエイト」は「JGSS-2005 コードブック」で、「新ウエイト」は本書で説明しているウエイトで重み付けを行って集計した結果である。

2) 国勢調査のデータは、20～89歳の日本人人口である（国籍不詳及び年齢不詳人口の補正は行っていない）。「JGSS-2005 コードブック」に掲載されている値には日本人以外も含まれているので、若干差がある。

3)「生活の程度」の質問文はJGSSと国民生活に関する世論調査で異なる。JGSSでは「かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層に分けるとすれば、あなた自身はどこに入るとお考えですか」とあり、国民生活に関する世論調査では「お宅の生活の程度は、世間一般からみて、どうですか。この中から1つお答えください」とある。また、JGSSでは留置調査で尋ねられており、国民生活に関する世論調査では面接で尋ねられている。

## 5 データセットの重み付けについて：JGSS-2008

この節では、JGSS-2008 データセットに附属する変数【WEIGHT】の作成方法、【WEIGHT】を用いることによる推定結果への影響度を概観し、データセット利用者が【WEIGHT】を使用するか否かを判断するための情報を提供する。また、今回行った【WEIGHT】の作成方法の改定について付記する。

文中、アルファベットを【 】で括った文字は、データセットにおける変数名を意味する。

### 1. JGSS-2008 の推定方法

JGSS の標本設計では、全国の市町村を地域ブロック及び市郡規模により 24 の層に分け、その層の人口規模（住民基本台帳登録者数）に比例した数だけ国勢調査の基本単位区を抽出し、更に各単位区からそれぞれ約 15 人の調査対象を無作為に抽出している。このため、推定の過程が単純化され、原理的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで、結果の構成比を推定できる<sup>1)</sup>。

一方、官公庁が標本調査により実施する指定統計調査などでは、結果の推定において標本の分布を直近の統計調査などから得られた人口の年齢分布などに合わせる推定法が用いられることがある。現実の標本調査においては、偶然又は実務上の制約（不在や拒否）のため推定結果に偏りが生じることがある。特に、最近、統計調査における回収率の低下が顕著で、かつ、それが若年層など特定の層で高いことが問題となっている。このようなことから、少しでも推定の精度を高めるため、既存の補助情報を活用しようという試みである。

諸外国の社会調査や類似の調査を見ても、カナダやイタリアなどいくつかの国では国勢調査や労働力調査の結果を補助情報として活用する推定法が用いられている。また、米国の GSS では、このような推定法は採用していないものの、結果の分布が全数調査などと比べ大きな差のないことを確認するなど、標本の分布に偏りが無いことを確かめた上で比較・分析するという視点は重視されている<sup>2)</sup>。

補助情報を用いる推定法では、乗率 = 「ウエイト」を計算してそれを用いて集計・分析することになるが、その作成方法は必ずしも一つに定まるものではない。また、補助情報に依存しない変数もあるので、場合によってはこの推定法を適用することで、かえって推定値が現状から離れてしまう可能性もある。ウエイトを用いるか否かの選択は、分析の目的に応じて、データセット利用者が判断してほしい。

注 1) ただし、住民基本台帳ベースの人口に基づく推計値となる。

2) 清水誠, 2001, 「JGSS 第 2 回予備調査 データセットのウエイトについて」SSJ Data Archive Research Paper Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター

## 2. 変数【WEIGHT】の作成方法

JGSS-2008 データセットには、推定用ウエイトとして変数【WEIGHT】が付されている。これは、調査票 1 枚が代表する人数を、下記の式で男女、年齢階級別の 14 区分ごとに計算したものである。基準人口としては、「2008 年 10 月 1 日現在推計人口」(総務省)の年齢、男女別全国日本人人口を用いている。

$$\text{ウエイト} = \text{「基準人口」} / \text{「JGSS-2008 回答者数」}$$

表 1 男女、年齢階級別ウエイト計算表 - JGSS-2008

		人口(千人)	回答者数	ウエイト
男	20-29	7,302	200	36,510
	30-39	9,241	321	28,788
	40-49	8,020	307	26,124
	50-59	8,690	396	21,944
	60-69	8,169	434	18,823
	70-79	5,663	265	21,370
	80-89	2,204	63	34,984
女	20-29	6,945	210	33,071
	30-39	8,967	370	24,235
	40-49	7,887	378	20,865
	50-59	8,806	445	19,789
	60-69	8,729	399	21,877
	70-79	6,949	323	21,514
	80-89	4,004	109	36,734

算出されたウエイトの値を男女別で比較すると、60 歳以上の階級を除けば、各年代とも男性で高い。年齢で比較すると、男女とも若い年齢層で高く、それ以降年齢が上がるにつれて低下して、男性では 60 歳代で、女性では 50 歳代で最も低くなり、それ以上の年代では再び上昇している。ウエイトの最大値は 80 歳代の女性の 36,734、最小値は 60 歳代の男性の 18,823 で、最大値は最小値のほぼ 2 倍になっており、このウエイトによる補正の効果がうかがわれる。

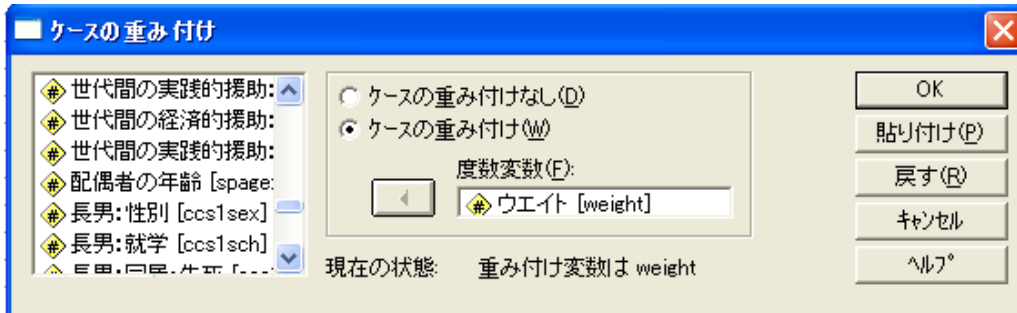
ウエイトの値の差は、調査票の回収率の差によって生じたものである。すなわち、回収率は若年層、特に男性で低く、年齢が上がるにつれて徐々に上昇するが、高齢になると再度低下していることを意味している。なお、60 歳以上の階級で女性のウエイトのほうが男性より高くなっていることには、それぞれの年齢階級において女性の平均年齢のほうが高く、回収率が低下していることなどが影響しているものと思われる。



### 3. SPSS において【WEIGHT】により重み付けをする方法

JGSS のデータセットは、SSJ データアーカイブから SPSS 形式で提供されている。SPSS の以下の操作により、各ケースが【WEIGHT】で重み付けされる。

- (1) メニューバーから「データ (D)」 「ケースの重み付け (W)」を選択
- (2) 「ケースの重み付け」ダイアログから「ケースの重み付け (W)」を選択、「度数変数 (F)」として【WEIGHT】を指定したのちに「OK」
- (3) 通常どおりに集計・解析



### 4. 推定結果へのウエイトの影響

ウエイトを用いた場合と用いない場合で JGSS-2008 の推定結果がどのように異なるか、属性別構成比で比較すると、表 2 のとおりである。表には参考として、JGSS-2008 と同じころに実施された回答者数の大きな調査の結果も掲載している。

ウエイトを用いた集計結果の主な特徴は、次のとおりである。

- (1) 男女、年齢階級区分については、ウエイト作成の際に補助情報として用いているので、ウエイトを用いた集計結果は参考値と一致する（母集団と一致する）。ウエイトを用いない場合、男性及び若年層の構成比が母集団に比べて小さめに推計されることが分かる。
- (2) 配偶関係の「有配偶」の構成比は、ウエイトを用いない場合、比較対象とした労働力調査をかなり上回っている。ウエイトを用いた場合もまだ差が見られるものの、その差は縮小している。この結果には調査方法の違いが影響している可能性もあるので一概に言えないが、ウエイトを用いることにより若年層の比重が高まり、母集団により近い推定値が得られていることが分かる。
- (3) 就業状態の構成比は、ウエイトによる補正の効果が概して小さい。「家事」「学生」などは、ウエイトを用いた場合のほうが労働力調査にやや近い推定値が得られているものの、「従業」はむしろウエイトを用いない場合のほうが労働力調査に近い値となっている。
- (4) ちなみに、ウエイト作成に用いた男女、年齢階級別で違いが大きいと考えられる意識項目、例えば、生活の程度に対する意識や政治意識について集計を行ってみると、ウエイトを用いた場合と用いない場合で構成比の推定値には表 2 に示す程度の差が生じる。

表2 推計方法（単純集計、ウエイト付集計）による構成比の比較（％） - JGSS-2008

	単純集計 <sup>1)</sup>	ウエイト付集計 <sup>2)</sup>	参考値	
男女【SEXA】				
男	47.1	48.5	48.5	2008年10月現在 推計人口 <sup>3)</sup> (総務省)
女	52.9	51.5	51.5	
年齢【AGEB】				
20～29歳	9.7	14.0	14.0	2008年10月現在 推計人口 <sup>3)</sup> (総務省)
30～39	16.4	17.9	17.9	
40～49	16.2	15.7	15.7	
50～59	19.9	17.2	17.2	
60～69	19.7	16.6	16.6	
70～79	13.9	12.4	12.4	
80～89	4.1	6.1	6.1	
配偶関係【DOMARRY】				
有配偶	72.4	68.5	64.4	2008年9月 労働力調査 <sup>4)</sup> (総務省)
離死別	12.4	12.6	13.5	
未婚	15.3	18.8	22.1	
就業状態 <sup>5)</sup> 【XJOB1WK】, 【TP5UNEMP】				
従業	62.0	62.7	59.4	2008年9月 労働力調査 <sup>6)</sup> (総務省)
休業	1.3	1.2	1.0	
失業	1.7	1.8	2.5	
家事	19.5	18.8	16.1	
学生	0.9	1.3	1.9	
その他	14.6	14.2	19.1	
生活の程度【OP5LEVK】				
上	0.6	0.7	0.9	2008年6月 国民生活に関する 世論調査 <sup>7)</sup> (内閣府)
中の上	10.6	10.5	11.1	
中の中	44.4	44.2	55.3	
中の下	36.2	36.6	26.0	
下	8.1	8.1	6.7	
政治意識(保革5段階) 【OP5RADCA】				
1:保守的	6.2	6.2		参考値なし
2	20.2	20.5		
3	52.0	51.3		
4	17.7	17.8		
5:革新的	3.9	4.1		

- 1) 単純集計は、ウエイトを用いないで集計した結果であり、無回答者は集計対象から除いている。
- 2) ウエイト付集計は、ウエイトで重み付けを行って集計した結果であり、無回答者は集計対象から除いている。
- 3) 推計人口の集計は、20～89歳の日本人についてである。
- 4) 労働力調査の集計は、20歳以上の者についてであり、日本人以外や90歳以上の者も含む(15歳以上人口の集計値から15～19歳を除いて算出)。配偶関係が不詳の者は集計対象から除いている。
- 5) 就業状態の単純集計、ウエイト付集計は、従業(XJOB1WK=1)、休業(XJOB1WK=2)、失業(TP5UNEMP=1)、家事(TP5UNEMP=4)、学生(TP5UNEMP=3)、その他(TP5UNEMP=2, 5, 6, 9)と集計している。
- 6) 労働力調査の集計は4)と同様である。集計の定義は、従業(就業者中の従業者)、休業(就業者中の休業者)、失業(完全失業者)、家事(非労働力人口中の家事)、学生(非労働力人口中の通学)、その他(非労働力人口中のその他)であり、就業状態不詳の者は集計対象から除いている。
- 7) 国民生活に関する世論調査の集計は、20歳以上の日本人についてであり、90歳以上の者も含み、「わからない」「無回答」は集計対象から除いている。また、質問文(お宅の生活の程度は、世間一般からみて、どうですか。この中から1つお答えください)や調査方法(面接)が、JGSSとは異なる。

## 付 ウエイトの改定について

ウエイトは、JGSS-2000～2005 まで、「地域ブロック（6 区分）×市郡（2 区分）×男女（2 区分）×年齢階級（6 区分）」の 144 区分ごとに計算してきた。しかし、平成の大合併のため多くの町村が市になったことにより、ウエイトの算出において市郡別で区分することの意味が低下するとともに、回答者数が少ない区分でウエイトの大きさが安定しないという弊害が目立つようになった。このため、JGSS-2006 のウエイトを計算するに当たって、東京大学社会学研究所助教授（当時）の松井博氏を中心に、その計算方法について全面的な見直しを行った。

現在用いられているウエイトの算出方法は、この見直しを行った後のものである。また、JGSS-2005 のウエイトについても、新しい方法で計算した値に改定し、改訂値は修正データとして JGSS のホームページから配布している。改訂の経緯についての詳細は、以下のとおりである。

- （1）市郡の区分は、郡の人口が全体の 15%を下回るような状況になり、ウエイトを算出する目的で層化を行うことの意味は低下したことが指摘された。
- （2）また、これまでの区分の仕方だと、標本数が 0 又はごくわずかになる区分があり、そのためにウエイトが不自然に大きくなるなどの問題が生じていた。この問題は、市郡の区分を除くことである程度解決できるが、依然としてそのような事例が残ることが判明した。
- （3）このようなことから、市郡の区分と地域ブロックの 2 つの区分を除き、「男女×年齢階級」の区分だけでウエイトを作成することが提案された。  
年齢階級については、従来、標本数の関係で「70～89 歳」を一つの区分にまとめていたが、これを「70～79 歳」、「80～89 歳」の 2 つに区分することにした。その理由は、この 2 つの年齢層で回収率にかなりの差があることに示されているように、2 つの年齢層に分けることに層化の効果が見込まれること、及び、今後この年齢層の人口が増加し重要度が高まることである。
- （4）JGSS-2005 のデータについて実際に新しい方式でウエイトを計算し、それを用いて集計を行ってみたところ、従来のウエイトを用いた結果と大きな差は生じないことが確認できた。
- （5）以上の検討に基づき、JGSS-2006 のウエイトの計算方法を「男女（2 区分）×年齢階級（7 区分）」の 14 区分ごとに計算する方式に変更した。
- （6）同時に、第二期のウエイトの計算方法を統一する観点から、JGSS-2005 のウエイトもこの方式で計算した値に切り替えることにした。

保田 時男

## 5 データセットの重み付けについて：JGSS-2010

この節では、JGSS-2010 データセットに附属する変数【WEIGHT】の作成方法、【WEIGHT】を用いることによる推定結果への影響度を概観し、データセット利用者が【WEIGHT】を使用するか否かを判断するための情報を提供する。また、【WEIGHT】の作成方法の改定について付記する。

文中、アルファベットを【 】で括った文字は、データセットにおける変数名を意味する。

### 1. JGSS-2010 の推定方法

JGSS の標本設計では、全国の市町村を地域ブロック及び市郡規模により 24 の層に分け、その層の人口規模（住民基本台帳登録者数）に比例した数だけ国勢調査の基本単位区を抽出し、更に各単位区からそれぞれ約 15 人の調査対象を無作為に抽出している。このため、推定の過程が単純化され、原理的には調査対象ごとの値を単に加算するだけで、結果の構成比を推定できる<sup>1)</sup>。

一方、官公庁が標本調査により実施する指定統計調査などでは、結果の推定において標本の分布を直近の統計調査などから得られた人口の年齢分布などに合わせる推定法が用いられることがある。現実の標本調査においては、偶然又は実務上の制約（不在や拒否）のため推定結果に偏りが生じることがある。特に、最近、統計調査における回収率の低下が顕著で、かつ、それが若年層など特定の層で高いことが問題となっている。このようなことから、少しでも推定の精度を高めるため、既存の補助情報を活用しようという試みである。

諸外国の社会調査や類似の調査を見ても、カナダやイタリアなどいくつかの国では国勢調査や労働力調査の結果を補助情報として活用する推定法が用いられている。また、米国の GSS では、このような推定法は採用していないものの、結果の分布が全数調査などと比べ大きな差のないことを確認するなど、標本の分布に偏りが無いことを確かめた上で比較・分析するという視点は重視されている<sup>2)</sup>。

補助情報を用いる推定法では、乗率＝「ウエイト」を計算してそれを用いて集計・分析することになるが、その作成方法は必ずしも一つに定まるものではない。また、補助情報に依存しない変数もあるので、場合によってはこの推定法を適用することで、かえって推定値が現状から離れてしまう可能性もある。ウエイトを用いるか否かの選択は、分析の目的に応じて、データセット利用者が判断してほしい。

注 1) ただし、住民基本台帳ベースの人口に基づく推計値となる。

2) 清水誠, 2001, 「JGSS 第 2 回予備調査 データセットのウエイトについて」SSJ Data Archive Research Paper Series 14, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター

2. 変数【WEIGHT】の作成方法

JGSS-2010 データセットには、推定用ウエイトとして変数【WEIGHT】が付されている。これは、調査票 1 枚が代表する人数を、下記の式で男女、年齢階級別の 14 区分ごとに計算したものである。基準人口としては、「2009 年 10 月 1 日現在推計人口」(総務省)の年齢、男女別全国日本人人口を用いている。

$$\text{ウエイト} = \text{「基準人口」} / \text{「JGSS-2010 回答者数」}$$

表 1 男女、年齢階級別ウエイト計算表 - JGSS-2010

	年齢	人口(千人)	回答者数	ウエイト
男	20-29 歳	7,157	209	34,244
	30-39 歳	9,104	352	25,864
	40-49 歳	8,137	362	22,478
	50-59 歳	8,307	408	20,360
	60-69 歳	8,560	523	16,367
	70-79 歳	5,701	339	16,817
	80-89 歳	2,351	107	21,972
女	20-29 歳	6,793	264	25,731
	30-39 歳	8,822	429	20,564
	40-49 歳	7,992	507	15,763
	50-59 歳	8,408	471	17,851
	60-69 歳	9,139	553	16,526
	70-79 歳	6,969	346	20,142
	80-89 歳	4,190	133	31,504

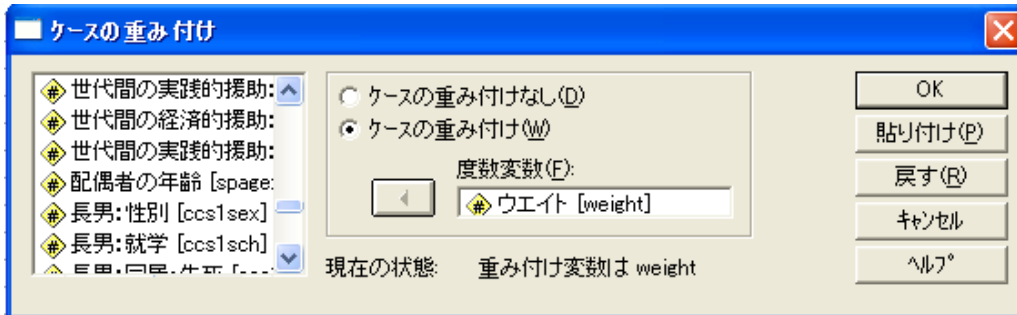
算出されたウエイトの値を男女別で比較すると、60 歳代以上では女性が高く、50 歳代以下の階級では男性が高い。年齢で比較すると、男女とも若い年齢層で高く、それ以降年齢が上がるにつれて低下して、男性では 60 歳代で、女性では 40 歳代で最も低くなり、それ以上の年代では再び上昇している。ウエイトの最大値は 20 歳代の男性の 34,244、最小値は 40 歳代の女性の 15,763 で、最大値は最小値の 2 倍以上になっており、このウエイトによる補正の効果がうかがわれる。

ウエイトの値の差は、調査票の回収率の差によって生じたものである。すなわち、回収率は若年層、特に男性で低く、年齢が上がるにつれて徐々に上昇するが、高齢になると再度低下していることを意味している。なお、60 歳代以上の階級で女性のウエイトのほうが男性より高くなっていることには、それぞれの年齢階級において女性の平均年齢のほうが高く、回収率が低下していることなどが影響しているものと思われる。

### 3. SPSS において【WEIGHT】により重み付けをする方法

JGSS のデータセットは、SSJ データアーカイブから SPSS 形式で提供されている。SPSS の以下の操作により、各ケースが【WEIGHT】で重み付けされる。

- (1) メニューバーから「データ (D)」 「ケースの重み付け (W)」を選択
- (2) 「ケースの重み付け」ダイアログから「ケースの重み付け (W)」を選択、「度数変数 (F)」として【WEIGHT】を指定したのちに「OK」
- (3) 通常どおりに集計・解析



### 4. 推定結果へのウエイトの影響

ウエイトを用いた場合と用いない場合で JGSS-2010 の推定結果がどのように異なるか、属性別構成比で比較すると、表 2 のとおりである。表には参考として、JGSS-2010 と同じところに実施された回答者数の大きな調査の結果も掲載している。

ウエイトを用いた集計結果の主な特徴は、次のとおりである。

- (1) 男女、年齢階級区分については、ウエイト作成の際に補助情報として用いているので、ウエイトを用いた集計結果は参考値と一致する（母集団と一致する）。ウエイトを用いない場合、男性及び若年層の構成比が母集団に比べて小さめに推計されることが分かる。
- (2) 配偶関係の「有配偶」の構成比は、ウエイトを用いない場合、比較対象とした労働力調査をかなり上回っている。ウエイトを用いた場合もまだ差が見られるものの、その差は縮小している。この結果には調査方法の違いが影響している可能性もあるので一概に言えないが、ウエイトを用いることにより若年層の比重が高まり、母集団により近い推定値が得られていることが分かる。
- (3) 就業状態の構成比は、ウエイトによる補正の効果が概して小さい。「失業」「家事」「学生」などは、ウエイトを用いた場合のほうが労働力調査にやや近い推定値が得られているものの、「従業」はむしろウエイトを用いない場合のほうが労働力調査に近い値となっている。
- (4) ちなみに、ウエイト作成に用いた男女、年齢階級別で違いが大きいと考えられる意識項目、例えば、生活の程度に対する意識や政治意識について集計を行ってみると、ウエイトを用いた場合と用いない場合で構成比の推定値には表 2 に示す程度の差が生じる。

表2 推計方法（単純集計、ウエイト付集計）による構成比の比較（％） - JGSS-2010

	単純集計 <sup>1)</sup>	ウエイト付集計 <sup>2)</sup>	参考値	
<b>男女【SEXA】</b>				
男	46.0	48.5	48.5	2009年10月現在 推計人口 <sup>3)</sup> (総務省)
女	54.0	51.5	51.5	
<b>年齢【AGEB】</b>				2009年10月現在 推計人口 <sup>3)</sup> (総務省)
20～29歳	9.5	13.7	13.7	
30～39歳	15.6	17.6	17.6	
40～49歳	17.4	15.9	15.9	
50～59歳	17.6	16.4	16.4	
60～69歳	21.5	17.4	17.4	
70～79歳	13.7	12.5	12.5	
80～89歳	4.8	6.4	6.4	
<b>配偶関係【DOMARRY】</b>				2010年1月 労働力調査 <sup>4)</sup> (総務省)
有配偶	72.5	68.7	64.1	
離死別	12.3	12.4	13.8	
未婚	15.2	18.9	22.0	
<b>就業状態<sup>5)</sup>【XJOB1WK】, 【TP5UNEMP】</b>				2010年1月 労働力調査 <sup>6)</sup> (総務省)
従業	59.8	60.8	57.5	
休業	1.6	1.6	1.3	
失業	1.9	2.2	3.0	
家事	19.9	19.1	15.9	
学生	1.4	2.0	2.2	
その他	15.4	14.3	20.1	
<b>生活の程度【OP5LEVK】</b>				2009年6月 国民生活に関する 世論調査 <sup>7)</sup> (内閣府)
上	0.7	0.7	1.2	
中の上	9.6	9.7	11.6	
中の中	44.4	44.4	54.9	
中の下	36.2	36.4	25.8	
下	8.7	8.8	6.4	
<b>政治意識(保革5段階) 【OP5RADCA】</b>				参考値なし
1:保守的	6.3	6.6		
2	19.5	19.8		
3	52.6	51.9		
4	17.9	18.0		
5:革新的	3.7	3.8		

- 1) 単純集計は、ウエイトを用いないで集計した結果であり、無回答者は集計対象から除いている。
- 2) ウエイト付集計は、ウエイトで重み付けを行って集計した結果であり、無回答者は集計対象から除いている。
- 3) 推計人口の集計は、20～89歳の日本人についてである。
- 4) 労働力調査の集計は、20歳以上の者についてであり、日本人以外や90歳以上の者も含む(15歳以上人口の集計値から15～19歳を除いて算出)。配偶関係が不詳の者は集計対象から除いている。
- 5) 就業状態の単純集計、ウエイト付集計は、従業(XJOB1WK=1)、休業(XJOB1WK=2)、失業(TP5UNEMP=1)、家事(TP5UNEMP=4)、学生(TP5UNEMP=3)、その他(TP5UNEMP=2, 5, 6, 9)と集計している。
- 6) 労働力調査の集計は4)と同様である。集計の定義は、従業(就業者中の従業者)、休業(就業者中の休業者)、失業(完全失業者)、家事(非労働力人口中の家事)、学生(非労働力人口中の通学)、その他(非労働力人口中のその他)であり、就業状態不詳の者は集計対象から除いている。
- 7) 国民生活に関する世論調査の集計は、20歳以上の日本人についてであり、90歳以上の者も含み、「わからない」「無回答」は集計対象から除いている。また、質問文(お宅の生活の程度は、世間一般からみて、どうですか。この中から1つお答えください)や調査方法(面接)が、JGSSとは異なる。

## 付 ウエイトの改定について

ウエイトは、JGSS-2000～2005 まで、「地域ブロック（6 区分）×市郡（2 区分）×男女（2 区分）×年齢階級（6 区分）」の 144 区分ごとに計算してきた。しかし、平成の大合併のため多くの町村が市になったことにより、ウエイトの算出において市郡別で区分することの意味が低下するとともに、回答者数が少ない区分でウエイトの大きさが安定しないという弊害が目立つようになった。このため、JGSS-2006 のウエイトを計算するに当たって、東京大学社会学研究所助教授（当時）の松井博氏を中心に、その計算方法について全面的な見直しを行った。

現在用いられているウエイトの算出方法は、この見直しを行った後のものである。また、JGSS-2005 のウエイトについても、新しい方法で計算した値に改定し、改訂値は修正データとして JGSS のホームページから配布している。改訂の経緯についての詳細は、以下のとおりである。

- (1) 市郡の区分は、郡の人口が全体の 15%を下回るような状況になり、ウエイトを算出する目的で層化を行うことの意味は低下したことが指摘された。
- (2) また、これまでの区分の仕方だと、標本数が 0 又はごくわずかになる区分があり、そのためにウエイトが不自然に大きくなるなどの問題が生じていた。この問題は、市郡の区分を除くことである程度解決できるが、依然としてそのような事例が残ることが判明した。
- (3) このようなことから、市郡の区分と地域ブロックの 2 つの区分を除き、「男女×年齢階級」の区分だけでウエイトを作成することが提案された。  
 年齢階級については、従来、標本数の関係で「70～89 歳」を一つの区分にまとめていたが、これを「70～79 歳」、「80～89 歳」の 2 つに区分することにした。その理由は、この 2 つの年齢層で回収率にかなりの差があることに示されているように、2 つの年齢層に分けることに層化の効果が見込まれること、及び、今後この年齢層の人口が増加し重要度が高まることである。
- (4) JGSS-2005 のデータについて実際に新しい方式でウエイトを計算し、それを用いて集計を行ってみたところ、従来のウエイトを用いた結果と大きな差は生じないことが確認できた。
- (5) 以上の検討に基づき、JGSS-2006 のウエイトの計算方法を「男女（2 区分）×年齢階級（7 区分）」の 14 区分ごとに計算する方式に変更した。
- (6) 同時に、第二期のウエイトの計算方法を統一する観点から、JGSS-2005 のウエイトもこの方式で計算した値に切り替えることにした。

佐々木 尚之



## 6 データの公開状況と入手方法

### 1. データセットの公開方針

現在作成済みの JGSS の公開データセットは、2 回の予備調査と 8 回の本調査 (JGSS-2000, 2001, 2002, 2003, 2005, 2006, 2008, 2010) 1 回の特別調査 (JGSS-2009LCS) および JGSS-2000 ~ 2003 のデータをひとまとまりにした JGSS 累積データ 2000-2003 です。JGSS-2010 の公開データ寄託は、2013 年 1 月の予定です。

データセットを寄託しているデータ・アーカイブは、国内では、東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センターの SSJ データ・アーカイブ (SSJDA) です。海外では、アメリカの ICPSR (Inter-university Consortium for Political and Social Research) およびドイツの GESIS (German Social Science Infrastructure Services) に寄託しています。1999 年に実施した予備調査のデータセットだけは、SSJ データ・アーカイブにしか寄託していません。他は全てのアーカイブに同じデータセットを寄託しています。

### 2. データセットの内容

寄託しているデータセットには、SPSS 形式のデータ・ファイル (OS に依存しない portable file) および ASCII (テキスト) 形式のデータ・ファイルが含まれています。分析に必要な関連資料 (『基礎集計表・コードブック』の PDF ファイルなど) も含まれています。データセットの本質的な内容は、どのデータ・アーカイブでも同じですが、アーカイブによっては寄託したファイルを一部加工した上で公開しています。例えば、ICPSR で公開されているものには、STATA と SAS のデータ読み取りフォーマットが含まれています。

それぞれのデータセットは、日本語版と英語版が一組になっています。国内、海外いずれのデータ・アーカイブでも、日本語版・英語版両方のデータが 1 つのデータセットに含まれています。当初は日本語のみのデータセットを作成していましたが、現在は同時に英語版のデータを作成しています。英語版の作成は、全ての調査について遡及して行いましたので、現在公開されているデータセットには、全て日本語版と英語版が含まれています (予備調査を除く)。

### 3. データセット利用者の留意事項

JGSS では、データセットの利用者について以下のような制限・義務を設けています。ただし、データ・アーカイブによって若干方針に違いがあります。基本的に、詳細は各アーカイブの指示に従ってください。

学術研究目的の利用である限り、大学などの研究機関の研究者、大学院生、および教員の指導を受けている大学生は、データセットを利用することができます。また、教員は授業などの教育目的でデータセットを利用することも可能です。

研究目的の利用の場合、使用期間の期限はありませんので、一度入手したデータセットはそのまま使い続けることができます。一方、教育目的でデータセットを入手した場合、その使用期限は 1 年間です。つまり、同じ授業を毎年行う場合、毎年利用の申請を行ってください。これは、データに触れる学生にも誓約が必要なことと、教育目的の利用の程度を把握するためです。

利用者は、データ・アーカイブの定める誓約事項 (目的外の利用の禁止、個別データの秘密保護、第三者への提供の禁止、利用期限終了後の対処など) を厳守しなければなりません。特に、データセットを利用して研究成果を論文などで発表する際には、Acknowledgement (謝辞) を明記する必要があります。

ることに注意してください。

また、論文などを発表した場合は、データ・アーカイブの定める所に従い、その成果をアーカイブに報告する必要があります。SSJDA でデータを手入した場合は、アーカイブ宛に論文などのコピーを2部送付してください。ICPSR や GESIS でデータを手入した場合は、その利用の成果が JGSS 研究センターまで届きません。お手数ですが、別途、発表された論文などのコピー（1部）を、郵送かメールの添付ファイルで、下記宛に送付ください。

〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町4丁目1-10

大阪商業大学 JGSS 研究センター

E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

また、データ内容などに修正が発生した場合、JGSS のホームページから随時情報を発信しています。2005年4月以降に発生した修正は、データ・アーカイブで公開中のデータセットには反映されていません。分析の前に必ず修正の有無を各自でご確認下さい。修正が必要な場合は、JGSS のホームページから SPSS の修正用シンタックスをダウンロードし、お持ちのデータに適用していただくことで修正が反映されます。

#### 4. データセットの入手方法

データセットの具体的な入手方法は、データ・アーカイブによって異なります。利用の制限や義務についても、若干の違いがありますので、それぞれのアーカイブでご確認ください。

SSJDA <http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/>

ICPSR\* <http://www.icpsr.umich.edu/>

GESIS <http://www.gesis.org/en/institute/>

\*ICPSR 国内利用協議会の会員機関に所属する研究者は、各所属機関の定める手順に従ってください。詳細については、所属機関の担当部署にお問い合わせください。

以下に、参考のために SSJDA から JGSS のデータセットを手入する手順の概要を記します。詳細な手続きは、SSJDA のホームページの「個票データの利用」のページおよび「SSJDA Direct 利用者マニュアル」に記されています。そちらに従ってください。

SSJDA では、データダウンロードシステム（SSJDA Direct）および郵送による配布の両方で、JGSS のデータセットを手入することができます。特別な理由がない限り、ダウンロードシステムを利用の方が簡便です。

SSJDA Direct（データダウンロードシステム）を利用するには、まずオンラインでユーザー登録を行います。登録した ID でログインすると、マイページから利用申請が行えます。データの一覧から必要なデータを選択し、研究計画（研究目的の場合）や授業名（教育目的の場合）などの必要事項を入力し、誓約事項に同意すれば、申請は完了です。申請が承認されると、後日、登録したメールアドレスに「利用承認のお知らせ」が届き、マイページからデータのダウンロードが可能になります。

利用者が学生の場合は、別途、教育指導員によるオンラインでの承認手続きが必要です。また、教育目的の利用の場合は、後日、受講者リストの郵送が必要です。

郵送でデータセットを入手する場合、まず「調査名」で「JGSS」を検索します。表示される一覧から利用するデータセットを探し、調査番号等を控えて下さい。

「利用申請書」のページから申請書をダウンロードし、必要な事項を記入します。誓約事項が特殊なため、JGSS 専用の申請書が用意されています。間違えないように注意してください。データセットを共同利用する場合は、共同利用者全員の自署・押印が必要となります。教育目的で利用する場合、受講者全員の自署が必要となります。

記録用の生 CD-R と返信用封筒を同封した封書を SSJ データ・アーカイブまで郵送すると、追ってデータセットが記録された CD-R が返信されます。申請書の受領から返信までには、1 ヶ月程度を要しますので、早めに申請をする必要があります。

データを利用して論文などを発表する場合は、Acknowledgement (謝辞) を明記します。JGSS の Acknowledgement は、下のように定められています (SSJDA から入手した場合) ので、そのまま記載してください。研究成果はそのつどアーカイブに報告する必要があります。SSJDA Direct のマイページから成果物登録を行い、論文などのコピー2部をアーカイブに提出してください。SSJDA からデータを入手した場合は、JGSS 研究センターへの送付は必要ありません。

#### JGSS の Acknowledgement (日本語・英語のいずれかを明記)

##### 利用したデータセットのうち最新のものが JGSS-2006 以降の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学 JGSS 研究センター (文部科学大臣認定日本版総合的社会調査共同研究拠点) が、東京大学社会科学研究所の協力を受けて実施している研究プロジェクトである。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out by the JGSS Research Center at Osaka University of Commerce (Joint Usage / Research Center for Japanese General Social Surveys accredited by Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology), in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo.

##### 利用したデータセットのうち最新のものが JGSS-2005 の場合

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学比較地域研究所が、文部科学省から学術フロンティア推進拠点としての指定を受けて (1999-2008 年度) 東京大学社会科学研究所と共同で実施している研究プロジェクトである (研究代表: 谷岡一郎・仁田道夫、代表幹事: 岩井紀子、代表副幹事: 保田時男)。東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター SSJ データアーカイブがデータの作成と配布を行っている。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out at the Institute of Regional Studies at Osaka University of Commerce in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo under the direction of Ichiro TANIOKA, Michio NITTA, Noriko IWAI and Tokio YASUDA. The project is financially assisted by Gakujutsu Frontier Grant from the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology for 1999-2008 academic years, and the datasets are compiled and distributed by SSJ Data Archive, Information Center for Social Science Research on Japan, Institute of Social Science, the University of Tokyo.

**利用したデータセットのうち最新のものが JGSS-2003 以前の場合**

日本版 General Social Surveys (JGSS) は、大阪商業大学比較地域研究所が、文部科学省から学術フロンティア推進拠点としての指定を受けて (1999-2003 年度) 東京大学社会科学研究所と共同で実施している研究プロジェクトである (研究代表: 谷岡一郎・仁田道夫、代表幹事: 佐藤博樹・岩井紀子、事務局長: 大澤美苗)。東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター-SSJ データアーカイブがデータの作成と配布を行っている。

The Japanese General Social Surveys (JGSS) are designed and carried out at the Institute of Regional Studies at Osaka University of Commerce in collaboration with the Institute of Social Science at the University of Tokyo under the direction of Ichiro TANIOKA, Michio NITTA, Hiroki SATO and Noriko IWAI with Project Manager, Minae OSAWA. The project is financially assisted by Gakujutsu Frontier Grant from the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology for 1999-2003 academic years, and the datasets are compiled and distributed by SSJ Data Archive, Information Center for Social Science Research on Japan, Institute of Social Science, the University of Tokyo.

佐々木 尚之

## . 集計と索引

## . 1 基礎集計・コード表

### 集計の方針

累積データの集計は、調査年度別の分布を%で表記しています。「-」はその変数が調査されていない年度を示し、「0.0」は調査の結果として該当者がいない(あるいはごく少数であったため四捨五入すると0になる)場合を示しています。

%ではなく度数による分布が知りたい場合には、全体の標本数(n)と%を掛け合わせて概算してください。正確な度数が知りたい場合には、JGSS ホームページ (<http://jgss.daishodai.ac.jp>) でご確認ください。

### 各年度の調査別回答者数

調査年度	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
面接票	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003	
留置票	A 票	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507

### 利用に注意が必要な変数

JGSS は継続調査ですが、先の調査年度と同じ質問項目であっても、微妙にその内容が異なっている場合があります。例えば、選択肢の言い回しが少し異なっているような場合です。

この JGSS 累積データ 2000-2010 では、そのような場合でも同じ変数名を用い、質問文や選択肢のワーディングは最新のものにしてありますが、調査年度による微妙な違いが分析結果の解釈を左右することがありえます。そこで、調査年度により微妙な違いがある変数については、SPSS データの「変数ラベル」の最後に\*印を付け、注意を促しています。

これらの変数を用いて分析を行う際には、注記の内容をご確認ください。

#### 1. CUMIDUSE 累積識別番号

この変数の単純集計は掲載していません。

#### 2. RYEAR 調査年度

この変数の単純集計は掲載していません。

#### 3. IDUSE 調査年度別識別番号

この変数の単純集計は掲載していません。

#### 4. DRAN アタック状況番号

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	正規	95.6	94.6	94.1	89.5	-	-	-	-
1	1 番目の予備	3.9	4.7	5.2	8.8	-	-	-	-
2	2 番目の予備	0.5	0.6	0.5	1.3	-	-	-	-
3	3 番目の予備	0.0	0.1	0.1	0.3	-	-	-	-
4	4 番目の予備	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
5	5 番目の予備	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
9	無回答	0.0	0.0	0.0	0.1	-	-	-	-
	n	2893	2790	2953	3663	-	-	-	-

#### 5. FORM 留置票の種類

この変数の単純集計は掲載していません。

#### 6. DATEB 留置回収完了日

この変数の単純集計は掲載していません。

#### 7. MONTHB 留置回収完了日:月

この変数の単純集計は掲載していません。

#### 8. DAYB 留置回収完了日:日

この変数の単純集計は掲載していません。

#### 9. PROC 調査手順(留置/面接の順序)

面接票と留置票のどちらを先に実施しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	面接が先	73.9	75.8	76.0	92.4	83.4	84.0	85.8	83.6
2	留置が先	22.7	19.9	23.1	5.9	14.0	15.4	12.7	14.9
9	無回答	3.4	4.3	0.9	1.7	2.5	0.6	1.5	1.5
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

10. DATE 面接完了日\*

この変数の単純集計は掲載していません。

\*調査年度によって変数ラベルに違いがある。

2005 変数ラベル変更: 「調査月日」→「面接完了日」。

11. MONTH 面接完了日:月\*

この変数の単純集計は掲載していません。

\*調査年度によって変数ラベルに違いがある。

2005 変数ラベル変更: 「調査月日:月」 「面接完了日:月」。

12. DAY 面接完了日:日\*

この変数の単純集計は掲載していません。

\*調査年度によって変数ラベルに違いがある。

2005 変数ラベル変更: 「調査月日:日」 「面接完了日:日」。

13. DURATION 調査所要時間(分)

この変数の単純集計は掲載していません。

14. XXTODAY 留置票の記入日:月日\*

この変数の単純集計は掲載していません。

\*調査年度によって変数ラベルに違いがある。

2008 変数ラベル変更: 「B票の記入月日」→「留置票の記入日:月日」。

15. COOP 調査員への質問:回答者の協力度

回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

コード		<u>2000</u>	<u>2001</u>	<u>2002</u>	<u>2003</u>	<u>2005</u>	<u>2006</u>	<u>2008</u>	<u>2010</u>
1	とても協力的	54.0	49.6	52.3	51.8	56.1	60.2	60.1	62.9
2	どちらかといえば協力的	34.6	36.0	37.2	35.8	33.8	32.9	33.3	30.6
3	それほど協力的ではなかった	9.3	10.3	9.0	10.1	8.7	6.2	5.9	6.1
4	まったく協力的ではなかった	0.4	1.1	0.5	0.6	0.5	0.3	0.4	0.2
9	無回答	1.7	3.1	0.9	1.6	0.9	0.4	0.4	0.2
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

16. USTAND 調査員への質問:回答者の理解度

回答者の質問への理解度はどうでしたか。

コード		<u>2000</u>	<u>2001</u>	<u>2002</u>	<u>2003</u>	<u>2005</u>	<u>2006</u>	<u>2008</u>	<u>2010</u>
1	非常に良い	54.0	50.9	53.1	52.1	58.9	63.0	61.4	62.6
2	どちらかといえば良い	37.4	39.5	40.1	39.9	35.8	33.6	35.2	34.0
3	あまり良くない	6.1	5.9	5.4	5.9	3.7	2.9	2.9	3.1
4	まったく良くない	0.2	0.3	0.3	0.3	0.4	0.2	0.1	0.0
9	無回答	2.2	3.4	1.2	1.8	1.1	0.3	0.5	0.3
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

17. AREA 調査員への質問:回答者の居住地域

回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

コード		<u>2000</u>	<u>2001</u>	<u>2002</u>	<u>2003</u>	<u>2005</u>	<u>2006</u>	<u>2008</u>	<u>2010</u>
1	工場の多い地域	-	-	-	2.4	0.7	0.8	1.0	1.7
2	商店・事業所の多い地域	-	-	-	10.6	11.7	10.5	11.2	10.9
3	主に古くからの住宅地(戦前からの住宅地)	-	-	-	25.4	24.2	28.9	28.5	31.0
4	主に新興住宅地(戦後できたニュータウンを含む)	-	-	-	37.4	36.7	40.6	37.6	39.7
5	農山漁村	-	-	-	22.1	22.9	16.8	18.7	15.9
6	その他(具体的)	-	-	-	0.7	1.9	1.8	2.0	0.0
9	無回答	-	-	-	1.4	1.7	0.6	1.0	0.8
	n	-	-	-	3663	2023	4254	4220	5003

18. SEXA 性別

コード		<u>2000</u>	<u>2001</u>	<u>2002</u>	<u>2003</u>	<u>2005</u>	<u>2006</u>	<u>2008</u>	<u>2010</u>
1	男	45.6	46.0	46.3	43.4	45.5	46.7	47.1	46.0
2	女	54.4	54.0	53.7	56.6	54.5	53.3	52.9	54.0
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

19. AGEB 年齢\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	20～29 歳	13.6	11.9	11.6	10.4	11.0	10.2	9.7	9.5
	30～39 歳	14.4	14.1	14.5	14.9	14.4	16.5	16.4	15.6
	40～49 歳	17.1	16.5	17.0	15.0	15.0	15.1	16.2	17.4
	50～59 歳	21.9	22.0	22.1	19.2	19.8	20.5	19.9	17.6
	60～69 歳	18.5	18.2	18.8	21.9	21.3	19.9	19.7	21.5
	70～79 歳	11.5	13.0	12.4	14.6	14.0	13.8	13.9	13.7
	80～89 歳	3.0	4.3	3.7	3.9	4.5	3.9	4.1	4.8
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*2000 は 6 月 25 日、2001 から 2006 は 9 月 1 日、2008 は 8 月 31 日、2010 は 2009 年 12 月 31 日現在の年齢。

20. DOBYEAR 生年

この変数の単純集計は掲載していません。

21. BLOCK 地域ブロック

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	北海道・東北	13.7	13.0	13.2	13.8	14.2	12.1	13.3	13.2
2	関東	28.2	28.4	27.5	27.1	26.9	29.6	28.2	28.9
3	中部	20.0	19.9	21.5	19.8	23.1	21.2	21.4	21.1
4	近畿	15.8	16.1	15.6	14.6	13.8	14.9	14.9	15.0
5	中国・四国	11.1	11.0	10.1	11.4	10.2	10.3	10.1	9.9
6	九州	11.3	11.6	12.2	13.3	11.9	11.9	12.0	12.0
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

22. PREF 都道府県名

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	北海道	4.9	5.1	5.2	4.4	5.4	4.8	4.9	4.8
2	青森県	1.2	1.0	1.0	1.2	1.1	1.3	1.5	1.3
3	岩手県	1.2	1.1	1.4	1.4	1.2	1.1	1.0	0.8
4	宮城県	2.2	1.9	1.7	2.2	1.8	2.0	2.6	2.3
5	秋田県	1.3	1.3	1.1	1.3	2.1	0.7	0.9	1.0
6	山形県	1.3	1.1	1.0	1.3	1.6	1.3	1.1	1.5
7	福島県	1.5	1.5	1.7	1.8	1.0	0.8	1.4	1.5
8	茨城県	2.4	2.3	2.5	2.3	2.4	2.8	2.4	1.9
9	栃木県	1.6	2.0	1.8	1.9	2.7	1.8	2.2	2.0
10	群馬県	1.9	1.8	1.5	1.7	1.4	1.3	1.6	2.0
11	埼玉県	4.9	4.7	4.4	4.0	3.7	5.4	5.1	5.1
12	千葉県	4.6	4.3	4.2	4.2	5.0	4.2	4.5	4.9
13	東京都	7.3	7.6	7.4	7.4	7.1	8.4	6.7	7.4
14	神奈川県	5.5	5.6	5.7	5.5	4.6	5.8	5.8	5.7
15	新潟県	2.2	2.5	2.5	2.4	2.4	2.2	2.8	2.3
16	富山県	0.9	1.2	1.3	1.2	1.2	1.6	1.1	1.3
17	石川県	1.0	1.0	1.0	1.2	1.4	0.7	1.0	0.7
18	福井県	0.9	0.8	0.9	0.9	1.7	1.2	1.0	0.8
19	山梨県	0.5	0.8	1.0	1.2	1.9	0.8	0.8	0.9
20	長野県	1.8	1.9	2.2	2.1	1.6	1.7	1.8	2.0
21	岐阜県	1.9	1.9	1.8	1.7	2.6	2.0	1.8	1.7
22	静岡県	3.7	3.5	3.3	2.5	3.4	3.8	3.7	3.6
23	愛知県	5.1	4.8	5.6	4.9	4.8	5.8	5.5	6.2
24	三重県	2.0	1.5	1.8	1.7	2.0	1.6	1.8	1.6
25	滋賀県	1.2	1.5	1.3	1.3	1.9	0.8	1.3	1.2
26	京都府	2.3	1.9	2.1	1.9	2.1	2.1	2.1	2.1
27	大阪府	5.6	6.1	5.6	5.5	4.5	6.3	5.8	6.1
28	兵庫県	4.7	4.7	5.1	3.7	3.3	3.9	3.8	3.6
29	奈良県	1.0	0.7	0.9	1.3	1.1	0.6	1.2	1.1
30	和歌山県	1.1	1.2	0.6	0.9	0.8	1.2	0.6	1.0
31	鳥取県	0.2	0.4	0.8	0.5	0.4	0.6	0.5	0.5
32	島根県	0.7	0.9	0.7	0.9	0.5	0.5	0.2	0.2
33	岡山県	1.8	2.0	1.7	1.4	1.8	2.0	1.9	2.0
34	広島県	2.9	2.4	2.2	2.7	2.2	2.2	2.0	1.9
35	山口県	1.6	1.4	1.4	1.6	1.4	1.6	1.7	1.5
36	徳島県	0.7	0.9	0.6	0.6	0.9	0.9	0.9	0.9
37	香川県	1.4	1.2	0.8	1.4	1.4	0.6	0.9	1.0
38	愛媛県	1.0	1.2	1.3	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9



39	高知県	0.8	0.7	0.5	1.1	0.5	0.9	0.9	1.0	
40	福岡県	3.7	3.0	3.8	4.2	3.3	3.8	4.3	4.0	
41	佐賀県	0.8	0.8	0.7	1.1	0.9	0.8	0.4	0.7	
42	長崎県	0.9	1.4	1.4	1.4	1.3	1.2	1.5	1.1	
43	熊本県	1.5	1.5	1.4	1.3	1.0	1.3	0.9	1.6	
44	大分県	1.1	1.4	1.0	1.4	1.5	1.3	1.5	1.0	
45	宮崎県	1.2	0.5	1.3	1.2	1.5	0.9	0.9	1.1	
46	鹿児島県	1.4	1.8	1.7	1.5	1.2	1.6	1.5	1.6	
47	沖縄県	0.7	1.2	0.9	1.1	1.1	1.0	1.0	0.8	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

23. SIZE 市郡規模\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	大都市	18.5	18.2	18.0	18.2	18.3	21.0	21.3	23.2	
2	人口 20 万人以上の都市	-	-	-	-	-	26.2	24.3	24.2	
3	人口 20 万人未満の都市	-	-	-	-	-	41.1	42.2	41.5	
4	町村	25.2	23.8	24.2	24.5	18.5	11.8	12.2	11.1	
10	その他の市	56.3	58.1	57.7	57.3	63.1	-	-	-	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*「大都市」は調査時点での政令指定都市を指す。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2000 大都市 = 札幌・仙台・千葉・東京都区部・横浜・川崎・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・北九州・福岡の 13 大都市。

2003 大都市 = + さいたま市の 14 大都市。

2005 大都市 = + 静岡市の 15 大都市。

2006 大都市 = + 堺市の 16 大都市。

コード変更：「1 大都市、2 町村、3 その他の市」、「1 大都市、2 人口 20 万人以上の都市、3 人口 20 万人未満の都市、4 町村」。

2008 大都市 = + 新潟市、浜松市の 18 大都市。

2010 大都市 = + 岡山市の 19 大都市。

2000-2010 コード統合：「1 大都市、2 人口 20 万人以上の都市、3 人口 20 万人未満の都市、4 町村、10 その他の市」。

24. SIZE2K 市郡規模(2000 年時点)\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	大都市	18.5	18.2	18.0	17.9	16.9	18.8	17.8	18.8	
2	その他の市	56.3	57.9	57.8	57.1	59.9	59.3	58.9	55.8	
3	町村	25.2	23.9	24.2	25.0	23.3	21.9	23.3	25.4	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*2000 年国勢調査時点の市町村で分類した市郡規模。

2005 までの単年度データには存在しないが、累積データ 2000-2010 では、2000 から 2005 まで遡ってデータを補填している。

25. SIZEHMT 居住地域の規模

あなたが現在、お住まいの地域は、どのような地域だと思いますか。最も近いものを 1 つ選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大都市の中心部	-	-	-	-	-	-	4.7	4.3
2	大都市の郊外	-	-	-	-	-	-	14.9	16.9
3	中小都市	-	-	-	-	-	-	43.8	43.6
4	町村部	-	-	-	-	-	-	31.2	31.1
5	人家がまばらな農山漁村	-	-	-	-	-	-	5.2	3.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.2	0.2
		n	-	-	-	-	-	4220	5003

26. TP8DWEL 住居形態

あなたの現在のお住まいはこの中のどれに該当しますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	持ち家(一戸建て)	75.3	75.2	75.1	76.5	-	-	-	-
2	持ち家(集合住宅)	5.4	5.6	4.8	4.2	-	-	-	-
3	民間賃貸住宅(一戸建て)	3.1	3.1	3.3	2.9	-	-	-	-
4	民間賃貸住宅(集合住宅)	8.8	8.8	8.8	9.1	-	-	-	-
5	社宅・公務員住宅等の給与住宅(一戸建て)	0.2	0.5	0.9	0.4	-	-	-	-
6	社宅・公務員住宅等の給与住宅(集合住宅)	1.3	1.8	2.2	1.7	-	-	-	-
7	公社・公団等の賃貸公営住宅(一戸建て)	0.1	0.1	0.3	0.3	-	-	-	-
8	公社・公団等の賃貸公営住宅(集合住宅)	5.2	4.6	3.7	4.1	-	-	-	-
9	その他( )	0.5	0.3	0.7	0.4	-	-	-	-
99	無回答	0.1	0.1	0.2	0.3	-	-	-	-
		n	2893	2790	2953	3663	-	-	-

27. OWNHOUSE 居住形態:持ち家

あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	持ち家(親などが持ち主の場合も含む)	80.7	80.8	79.9	80.7	82.0	80.3	81.0	81.8
2	民間の賃貸住宅	11.9	11.9	12.0	12.1	11.7	12.7	13.1	13.8
3	社宅・公務員住宅等の給与住宅	1.5	2.3	3.1	2.1	1.7	1.8	1.8	1.6
4	公社・公団等の公営の賃貸住宅	5.3	4.7	4.0	4.4	4.0	4.7	3.5	2.6
5	その他(具体的に )	0.5	0.3	0.7	0.4	0.3	0.4	0.3	0.2
9	無回答	0.1	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

28. TPHOUSE 居住形態:一戸建て

あなたのお住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	一戸建て	-	-	-	-	80.7	79.1	78.6	80.9
2	集合住宅(アパート・マンションなど)	-	-	-	-	19.0	20.7	21.2	19.0
9	無回答	-	-	-	-	0.3	0.3	0.2	0.1
	n	-	-	-	-	2023	4254	4220	5003

29. SZDWEL 住宅床面積

お住まいの広さは、どれくらいですか。居室だけでなく住宅全体の床面積をお答えください。畳数坪数、㎡のいずれでも結構です。(店舗併用住宅のときは、営業用の部分も含めてください。アパート、マンションなどの場合は、専用部分の床面積を教えてください。)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	50㎡未満	11.9	10.7	12.1	-	-	-	-	-
	50~60㎡未満	5.6	5.5	4.5	-	-	-	-	-
	60~70㎡未満	5.6	6.1	6.4	-	-	-	-	-
	70~80㎡未満	4.7	4.7	4.7	-	-	-	-	-
	80~90㎡未満	5.7	5.2	5.2	-	-	-	-	-
	90~100㎡未満	8.6	10.0	8.2	-	-	-	-	-
	100~150㎡未満	28.4	27.0	26.4	-	-	-	-	-
	150~200㎡未満	17.4	17.5	16.6	-	-	-	-	-
	200~250㎡未満	5.4	4.6	5.6	-	-	-	-	-
	250~300㎡未満	1.9	2.2	2.8	-	-	-	-	-
	300㎡以上	3.0	3.6	4.3	-	-	-	-	-
99999	無回答	1.7	2.9	3.1	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	2953	-	-	-	-	-

30. XJOB1WK 先週の就労経験\*

先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか、または仕事をするようになっていましたか。この中からあげてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	仕事をした	64.2	60.0	60.4	57.5	60.6	60.8	62.0	59.8
2	仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ	0.8	0.8	0.9	0.7	1.0	1.0	1.3	1.6
3	仕事をしていない	35.0	39.1	38.7	41.8	38.4	38.2	36.7	38.5
9	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2005 選択肢ワーディング変更:「2 仕事をするようになっていた...」 「2 仕事をもっている...」.

30 XJOB1WK に「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

31. XJOB1WK 就労日数/週

あなたはその仕事を先週何日しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1日	0.7	1.1	1.2	1.4	0.6	0.9	1.2	1.7
	2日	3.0	2.3	2.5	2.8	2.6	2.5	3.3	2.9
	3日	5.6	5.3	5.2	6.2	5.9	5.2	5.7	6.0
	4日	10.2	7.8	8.2	10.4	7.2	9.6	9.0	9.4
	5日	44.7	43.8	45.6	41.7	46.2	49.5	47.8	51.2
	6日	27.9	30.9	29.1	27.4	28.6	24.4	25.2	22.7
	7日	7.4	8.4	7.6	9.4	7.6	6.4	6.6	5.9
99	無回答	0.6	0.5	0.6	0.7	1.3	1.4	1.3	0.3
	n	1881	1698	1809	2132	1247	2630	2671	3076
88	非該当								

32. XJOBHWK 就労時間数/週

あなたは、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
実数記入	0 時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1 ~ 9 時間	3.4	4.1	4.0	4.2	3.6	3.7	4.0	4.1	
	10 ~ 19 時間	6.9	6.3	6.7	8.1	6.1	6.6	7.0	8.6	
	20 ~ 29 時間	9.7	9.2	9.0	11.2	10.3	11.6	10.0	12.6	
	30 ~ 39 時間	15.9	12.8	13.9	14.3	13.0	13.0	13.0	12.9	
	40 ~ 49 時間	39.6	43.8	40.2	38.9	42.7	36.5	37.6	37.2	
	50 ~ 59 時間	12.5	12.4	13.0	11.3	12.2	15.3	14.9	13.4	
	60 ~ 69 時間	7.9	6.4	7.1	6.4	6.6	7.3	7.3	6.5	
	70 ~ 79 時間	2.3	2.9	3.0	3.3	3.0	3.0	3.1	2.0	
	80 時間以上	1.2	1.2	2.0	1.4	1.0	1.7	1.7	1.6	
999	無回答	0.7	0.8	1.0	0.9	1.6	1.4	1.4	1.2	
		n	1881	1698	1809	2132	1247	2630	2671	3076
888	非該当									

33. XOTHWK 残業時間数/週\*

残業は何時間しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
実数記入	0 時間	55.4	58.5	54.8	59.8	61.0	-	-	-	
	1 ~ 9 時間	17.4	17.4	17.0	14.7	17.2	-	-	-	
	10 ~ 19 時間	10.6	9.2	9.4	9.2	9.1	-	-	-	
	20 ~ 29 時間	1.6	1.6	2.4	2.0	1.4	-	-	-	
	30 ~ 39 時間	0.3	0.4	0.6	0.5	0.6	-	-	-	
	40 時間以上	0.2	0.2	0.2	0.0	0.2	-	-	-	
999	無回答	14.4	12.8	15.5	13.7	10.4	-	-	-	
		n	1881	1698	1809	2132	1247	-	-	-
888	非該当									

\*2006以降は尋ねていない。

34-41. 就労曜日\*

あなたは通常、何曜日に仕事をしますか。働く時間が短い曜日も入れてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
DOWKMON	月曜日	-	-	-	73.0	73.4	-	-	-
DOWKTUE	火曜日	-	-	-	74.1	73.1	-	-	-
DOWKWED	水曜日	-	-	-	74.1	72.3	-	-	-
DOWKTHU	木曜日	-	-	-	74.0	73.6	-	-	-
DOWKFRI	金曜日	-	-	-	75.7	74.7	-	-	-
DOWKSAT	土曜日	-	-	-	37.3	38.2	-	-	-
DOWKSUN	日曜日	-	-	-	14.4	13.8	-	-	-
DOWKVAR	週によって働く曜日はまちまち	-	-	-	19.1	18.8	-	-	-
選択者数		-	-	-	2132	1247	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 では、2003 の DOWNOMK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。

2005 「いずれも選択していない」という変数を作成していない。

42. FQWKOFF 連休の回数/年

この1年間に、連続して4日以上休んだことが何回ありましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1 回	-	-	-	12.2	14.2	-	-	-
2	2 回	-	-	-	17.1	19.0	-	-	-
3	3 回	-	-	-	15.8	16.7	-	-	-
4	4 回以上	-	-	-	23.6	20.9	-	-	-
5	なし	-	-	-	30.8	28.9	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.5	0.3	-	-	-
		n	-	-	2132	1247	-	-	-
8	非該当								

43. XJOBREG 契約就労時間の有無

あなたの仕事は、規則や契約で1週間に働く時間が決められていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	週合計で__時間と決められている	-	-	-	-	-	47.6	-	-
2	決められていない	-	-	-	-	-	51.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.7	-	-
	n	-	-	-	-	-	2630	-	-
8	非該当								

43. XJOBREG に「1 週合計で\_\_時間と決められている」の場合

44. XJOBREGH 契約就労時間数/週

決められている場合は、その時間数を教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1～9時間	-	-	-	-	-	1.4	-	-
	10～19時間	-	-	-	-	-	3.2	-	-
	20～29時間	-	-	-	-	-	10.1	-	-
	30～39時間	-	-	-	-	-	16.1	-	-
	40～49時間	-	-	-	-	-	62.6	-	-
	50～59時間	-	-	-	-	-	2.6	-	-
	60～69時間	-	-	-	-	-	1.2	-	-
	70～79時間	-	-	-	-	-	0.5	-	-
	80時間以上	-	-	-	-	-	0.1	-	-
999	無回答	-	-	-	-	-	2.2	-	-
	n	-	-	-	-	-	1252	-	-
888	非該当								

30 XJOB1WK に「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

45. XJBSCH 通常労働時間数/週

あなたは、通常1週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0時間	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
	1～9時間	-	-	-	-	-	-	3.6	2.5
	10～19時間	-	-	-	-	-	-	6.3	7.6
	20～29時間	-	-	-	-	-	-	9.4	11.3
	30～39時間	-	-	-	-	-	-	14.5	14.5
	40～49時間	-	-	-	-	-	-	49.7	49.7
	50～59時間	-	-	-	-	-	-	6.0	5.5
	60～69時間	-	-	-	-	-	-	3.3	3.0
	70～79時間	-	-	-	-	-	-	1.5	0.7
	80時間以上	-	-	-	-	-	-	0.6	0.6
999	無回答	-	-	-	-	-	-	5.0	4.6
	n	-	-	-	-	-	-	2671	3076
888	非該当								

46. DOCNTRCT 雇用契約期限の有無

あなたの現在の仕事の契約期間は、この中のどれに該当しますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	期限の定めのない雇用契約である	48.7	45.3	48.1	-	-	-	-	-
2	期限の定めのある雇用契約である	10.3	11.2	12.1	-	-	-	-	-
3	雇用契約は結んでいない	23.2	23.3	21.2	-	-	-	-	-
4	わからない	1.6	1.6	1.5	-	-	-	-	-
5	あてはまらない(自由業など)	15.9	18.3	16.5	-	-	-	-	-
9	無回答	0.3	0.3	0.5	-	-	-	-	-
	n	1881	1698	1809	-	-	-	-	-
8	非該当								

46. DOCNTRCT に「2 期限の定めのある雇用契約である」の場合

47. SZCNTRCT 雇用期限  
何年何ヶ月の契約ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1ヶ月	1.0	0.5	1.4	-	-	-	-	-
	2～4ヶ月	13.5	8.4	11.9	-	-	-	-	-
	5～6ヶ月	21.2	15.3	21.5	-	-	-	-	-
	7ヶ月～12ヶ月	45.6	55.3	48.4	-	-	-	-	-
	1年を超えて3年	5.2	7.9	6.4	-	-	-	-	-
	3年を超えて5年	7.8	4.7	1.8	-	-	-	-	-
	5年を超えて10年	1.6	2.1	1.8	-	-	-	-	-
	10年を超えて20年	1.6	1.1	0.9	-	-	-	-	-
	20年を超えて40年	0.5	0.0	0.9	-	-	-	-	-
9999	無回答	2.1	4.7	5.0	-	-	-	-	-
		n	193	190	219	-	-	-	-
8888	非該当								

48. SZCNTYR 雇用期限:年

この変数の単純集計は掲載していません。

49. SZCNTMO 雇用期限:月

この変数の単純集計は掲載していません。

30. XJOB1WK に「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

50. TP12JOB 就労地位\*

あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	経営者・役員	4.5	6.7	6.7	6.5	7.5	-	-	-
2	常時雇用の一般従事者 役職なし	32.7	31.7	31.2	28.0	31.2	-	-	-
3	常時雇用の一般従事者 職長・班長・組長	3.3	3.9	4.1	3.3	4.2	-	-	-
4	常時雇用の一般従事者 係長・係長相当職	5.2	4.7	4.0	3.8	5.4	-	-	-
5	常時雇用の一般従事者 課長・課長相当職	5.4	4.1	4.2	4.5	4.1	-	-	-
6	常時雇用の一般従事者 部長・部長相当職	2.4	4.2	2.1	1.6	2.1	-	-	-
7	常時雇用の一般従事者 その他の役職 (具体的に )	-	-	-	-	0.2	-	-	-
8	常時雇用の一般従事者 役職はわからない	1.7	1.9	2.4	3.9	1.3	-	-	-
9	臨時雇用・パート・アルバイト	20.7	20.3	21.8	23.1	21.3	-	-	-
10	派遣社員	1.0	0.9	1.7	1.9	1.4	-	-	-
11	自営業主・自由業者	13.0	13.0	13.3	14.8	14.2	-	-	-
12	家族従業者	6.3	5.4	4.5	5.5	6.3	-	-	-
13	内職	1.0	0.8	1.0	0.9	0.6	-	-	-
14	わからない	0.2	0.2	0.3	2.1	0.2	-	-	-
99	無回答	2.6	2.2	2.7	0.0	0.0	-	-	-
		n	1881	1698	1809	2132	1247	-	-
88	非該当								

\*2005 で選択肢を追加した。

2006 以降は尋ね方が変わり、TPJOB (就労形態) と TPJOBP (役職) に分けて尋ねている。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2000 選択肢:「1 経営者・役員、2 常時雇用の一般従事者・役職なし、3 常時雇用の一般従事者・職長・班長・組長、4 常時雇用の一般従事者・係長・係長相当職、5 常時雇用の一般従事者・課長・課長相当職、6 常時雇用の一般従事者・部長・部長相当職、7 常時雇用の一般従事者・役職はわからない、8 臨時雇用・パート・アルバイト、9 派遣社員、10 自営業主・自由業者、11 家族従業者、12 内職、13 わからない」

2005 選択肢追加:「7 常時雇用の一般従事者・その他の役職(具体的に)」以下選択肢 7-13 を繰り下げて 8-14。

2000-2010 2005 と同じ。

51. TPJOB 就労形態

あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	経営者・役員	-	-	-	-	-	7.1	6.2	5.8
2	常時雇用の一般従業者	-	-	-	-	-	50.2	52.0	49.3
3	臨時雇用(パート・アルバイト・内職)	-	-	-	-	-	21.7	23.1	26.0
4	派遣社員	-	-	-	-	-	2.4	2.1	2.1
5	自営業主・自由業者	-	-	-	-	-	13.7	11.8	11.9
6	家族従業者	-	-	-	-	-	4.9	4.6	4.6
7	わからない	-	-	-	-	-	0.1	0.1	0.1
9	無回答	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.1
8	非該当	n	-	-	-	-	2630	2671	3076

51. TPJOB に「2 常時雇用の一般従業者」の場合

52. TPJOBP 役職

あなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	役職なし	-	-	-	-	-	63.5	62.2	64.3
2	職長・班長・組長など	-	-	-	-	-	7.0	8.4	8.8
3	係長(係長相当)	-	-	-	-	-	11.1	11.1	9.6
4	課長(課長相当)	-	-	-	-	-	10.8	11.4	10.3
5	部長(部長相当)	-	-	-	-	-	5.4	4.8	4.6
6	その他の役職(具体的に )	-	-	-	-	-	0.3	0.9	1.1
7	わからない	-	-	-	-	-	0.3	0.4	0.4
9	無回答	-	-	-	-	-	1.6	0.8	0.8
8	非該当	n	-	-	-	-	1320	1389	1517

51. TPJOB に「4 派遣社員」の場合

53. TPJBDP 登録派遣

それは、派遣会社に登録するタイプのものですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	80.4	75.4
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	19.6	23.1
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.0	1.5
8	非該当	n	-	-	-	-	-	56	65

51. TPJOB に「5 自営業主・自由業者」の場合

54. TPJBSE 従業員を持つ自営業者

家族以外に従業員を雇っていますか(アルバイトを含みます)。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	26.9	24.5
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	71.2	72.8
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.9	2.7
8	非該当	n	-	-	-	-	-	316	367

30. XJOB1WK に「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

55. XXWPL 業種\*

あなたが働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
10	農業	5.5	3.9	4.6	6.2	5.3	3.9	4.8	3.7
20	林業	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0
30	漁業	1.0	0.5	0.3	0.3	0.5	0.4	0.6	0.3
40	鉱業	0.1	0.0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.0
50	建設業	7.9	10.0	8.5	6.4	7.6	8.6	6.7	8.4
60	製造業	22.3	21.6	20.6	21.6	18.1	19.9	20.2	18.1
70	電気・ガス・熱供給・水道業	0.6	0.5	0.7	0.6	0.4	0.7	0.9	0.6
80	運輸業	4.7	4.5	5.2	4.5	4.4	4.1	5.1	5.1
91	卸売業	3.7	2.6	3.4	3.2	3.2	4.6	3.6	2.8
92	小売業	13.7	14.7	11.9	12.3	14.7	12.1	12.1	13.4
93	飲食店	3.8	4.1	4.2	4.0	4.2	4.0	4.2	4.2
100	金融・保険業	2.8	3.1	3.4	2.9	2.3	3.5	2.4	3.1
110	不動産業	1.4	1.0	1.6	1.2	0.7	1.2	1.4	1.2
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	1.0	0.8	0.8	0.7	1.1	1.0	1.0	0.9
130	情報・通信サービス業	1.9	2.4	2.1	2.4	2.4	2.8	2.8	3.3
140	医療・福祉サービス業	7.3	6.7	8.8	8.6	9.0	9.8	11.0	11.6
150	教育・研究サービス業	3.5	4.3	3.7	3.2	4.1	4.1	4.6	4.6
160	法律・会計サービス業	0.6	0.5	0.7	0.5	1.4	0.4	1.0	0.6
170	その他のサービス業	13.4	14.9	14.3	16.2	16.4	14.9	12.6	13.9
180	公務	3.6	3.3	3.9	3.1	3.0	3.1	3.7	3.5
190	分類不能の産業	0.2	0.1	0.0	0.6	0.2	0.2	0.5	0.0
999	無回答	0.8	0.6	0.9	0.9	0.6	0.7	0.5	0.6
	n	1881	1698	1809	2132	1247	2630	2671	3076

998 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2010 質問文ワーディング変更: 「場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)」 「お勤め先」.

56. XXWPLE 業種 (ISIC)\*

あなたが働いている場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)はどのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

集計は Tabulation category にまとめたものを掲載した。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	Agriculture, hunting and forestry	-	-	-	-	-	3.8	-	-
	Fishing	-	-	-	-	-	0.4	-	-
	Mining and quarrying	-	-	-	-	-	0.2	-	-
	Manufacturing	-	-	-	-	-	20.3	-	-
	Electricity, gas and water supply	-	-	-	-	-	0.6	-	-
	Construction	-	-	-	-	-	8.7	-	-
	Wholesale and retail trade	-	-	-	-	-	17.7	-	-
	Hotels and restaurants	-	-	-	-	-	4.5	-	-
	Transport, storage and communications	-	-	-	-	-	5.4	-	-
	Financial intermediation	-	-	-	-	-	4.1	-	-
	Real estate, renting and business activities	-	-	-	-	-	9.0	-	-
	Public administration and defence	-	-	-	-	-	2.9	-	-
	Education	-	-	-	-	-	4.5	-	-
	Health and social work	-	-	-	-	-	10.0	-	-
	Other community, social and personal service activities	-	-	-	-	-	6.9	-	-
	Private households with employed persons	-	-	-	-	-	0.1	-	-
	Extra-territorial organizations and bodies	-	-	-	-	-	0.1	-	-
999	分類不能、不明、無回答	-	-	-	-	-	0.8	-	-
	n	-	-	-	-	-	1308	-	-

888 非該当

\*2006 の留置 B 票の回答者についてのみ、ISIC revision3 を用いて作成した。

## 57. XXJOB 職種

あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

職業コードを便宜的に分類して集計した。分類カテゴリーの詳細については、資料3.職業コードを参照のこと。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
	専門	13.9	14.4	14.6	12.7	15.2	16.5	15.7	15.7	
	管理	2.6	2.3	3.3	2.7	2.6	2.9	2.8	3.0	
	事務	26.2	22.1	25.2	25.5	24.2	26.3	24.4	26.0	
	販売	13.3	18.7	14.4	14.0	17.6	13.9	15.2	15.1	
	熟練	14.7	15.6	15.8	16.1	16.4	15.9	13.7	15.1	
	半熟練	13.0	12.8	12.4	12.6	10.1	11.4	12.9	11.5	
	非熟練	8.0	6.9	7.4	8.3	6.0	7.4	8.1	7.9	
	農林	6.3	4.7	4.9	6.8	6.1	4.5	5.5	3.9	
	分類不能	1.5	1.6	1.3	0.6	1.5	1.0	1.4	1.3	
999	不明、無回答	0.5	0.9	0.6	0.7	0.3	0.2	0.3	0.6	
		n	1881	1698	1809	2132	1247	2630	2671	3076
998	非該当									

## 58. XXJOBE 職種(ISCO)\*

あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

集計は Major group にまとめたものを掲載した。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	Legislators, senior officials and managers	-	-	-	-	-	2.9	4.0	4.8
	Professionals	-	-	-	-	-	9.6	8.9	9.4
	Technicians and associate professionals	-	-	-	-	-	13.9	13.5	11.7
	Clerks	-	-	-	-	-	21.9	20.9	21.4
	Service workers and shop and market sales workers	-	-	-	-	-	15.5	16.2	16.1
	Skilled agricultural and fishery workers	-	-	-	-	-	4.3	4.7	4.3
	Craft and related trades workers	-	-	-	-	-	11.9	11.5	11.8
	Plant and machine operators and assemblers	-	-	-	-	-	11.2	12.1	9.9
	Elementary occupations	-	-	-	-	-	8.3	7.6	9.6
	Armed forces	-	-	-	-	-	0.3	0.1	0.3
99999	分類不能、不明、無回答	-	-	-	-	-	0.2	0.5	0.7
		n	-	-	-	-	1308	1361	1506
88888	非該当								

\*2006以降の留置B票の回答者について、ISCO-88を用いて作成した。

## 59. SZSTAF A 従業員規模(就労事業所)

あなたが働いている場所(会社全体ではなく、工場、事務所、商店、病院などの事業所)では何人ぐらいの方が働いていますか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1人	6.4	6.4	6.5	-	-	-	-	-
2	2~4人	18.9	18.2	18.2	-	-	-	-	-
3	5~9人	10.8	11.9	12.2	-	-	-	-	-
4	10~29人	20.8	21.1	19.7	-	-	-	-	-
5	30~99人	21.1	20.4	18.4	-	-	-	-	-
6	100~299人	10.4	10.3	11.6	-	-	-	-	-
7	300~499人	3.1	2.5	3.5	-	-	-	-	-
8	500~999人	2.2	3.1	2.8	-	-	-	-	-
9	1,000~1,999人	1.9	1.2	1.9	-	-	-	-	-
10	2,000~9,999人	1.6	1.6	1.3	-	-	-	-	-
11	1万人以上	0.6	0.9	1.1	-	-	-	-	-
12	わからない	1.7	1.6	2.6	-	-	-	-	-
99	無回答	0.2	0.7	0.2	-	-	-	-	-
		n	1881	1698	1809	-	-	-	-
88	非該当								



60. SZWNSTF 女子従業員比

その事業所で働いている人のうち、女性の割合はどれくらいですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	0%	9.3	10.1	9.2	-	-	-	-	-
2	1~10%	19.3	17.7	17.5	-	-	-	-	-
3	11~20%	7.2	8.1	7.3	-	-	-	-	-
4	21~30%	7.1	8.1	9.2	-	-	-	-	-
5	31~40%	7.7	6.4	6.2	-	-	-	-	-
6	41~50%	11.8	11.7	10.8	-	-	-	-	-
7	51~60%	6.6	7.1	6.5	-	-	-	-	-
8	61~70%	6.3	6.5	7.7	-	-	-	-	-
9	71~80%	6.0	6.0	6.9	-	-	-	-	-
10	81~90%	6.3	6.1	5.9	-	-	-	-	-
11	91~100%	10.2	8.7	8.8	-	-	-	-	-
12	わからない	1.5	2.4	2.7	-	-	-	-	-
99	無回答	0.9	1.1	1.2	-	-	-	-	-
		n	1881	1698	1809	-	-	-	-
88	非該当								

61. TP4WPLA 事業所形態\*

あなたが働く職場は、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	官公庁	9.0	7.7	8.1	9.3	9.9	8.2	8.7	8.6	
2	単独事業所（他に事業所はない）	48.8	49.8	48.3	47.9	49.3	44.8	44.5	44.0	
3	支店・支所（本社・本店は他にある）	27.8	25.0	27.0	27.0	25.1	26.9	29.4	30.0	
4	本社・本店（他に支店・支所などがある）	11.7	14.8	13.7	12.9	13.9	15.3	13.7	14.7	
5	わからない	2.7	2.2	2.5	2.6	1.4	1.9	2.2	1.5	
9	無回答	0.1	0.5	0.4	0.2	0.5	2.8	1.4	1.2	
		n	1881	1698	1809	2132	1247	2630	2671	3076
8	非該当									

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2006 質問文ワーディング変更：「あなたが働く事業所」 「あなたが働く職場」.

61. TP4WPLA に「3 支店・支所（本社・本店は他にある）」「4 本社・本店（他に支店・支所などがある）」の場合

62. XXWPHQ 業種（本社）

本社・本店はどのような事業を行なっていますか。具体的にお聞かせください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
10	農業	0.3	0.1	0.7	-	-	-	-	-
30	漁業	0.1	0.0	0.0	-	-	-	-	-
40	鉱業	0.0	0.0	0.1	-	-	-	-	-
50	建設業	5.4	5.3	5.2	-	-	-	-	-
60	製造業	26.6	30.8	27.2	-	-	-	-	-
70	電気・ガス・熱供給・水道業	1.3	0.9	1.1	-	-	-	-	-
80	運輸業	7.1	7.1	8.0	-	-	-	-	-
91	卸売業	7.3	5.0	5.7	-	-	-	-	-
92	小売業	17.6	17.2	16.0	-	-	-	-	-
93	飲食店	3.2	3.1	3.1	-	-	-	-	-
100	金融・保険業	7.0	6.5	6.9	-	-	-	-	-
110	不動産業	1.3	0.6	2.2	-	-	-	-	-
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	2.2	1.0	1.1	-	-	-	-	-
130	情報・通信サービス業	3.1	3.3	2.4	-	-	-	-	-
140	医療・福祉サービス業	1.6	4.0	3.3	-	-	-	-	-
150	教育・研究サービス業	0.1	0.6	1.4	-	-	-	-	-
160	法律・会計サービス業	0.0	0.1	0.0	-	-	-	-	-
170	その他のサービス業	12.5	12.0	13.7	-	-	-	-	-
180	公務	0.5	0.6	0.5	-	-	-	-	-
999	無回答	2.7	1.6	1.4	-	-	-	-	-
		n	744	675	736	-	-	-	-
998	非該当								

63. SZTTLSTA 企業規模 統合\*

同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1 1人	5.5	6.2	6.0	6.1	5.6	4.7	4.9	5.0
2 2～4人	15.5	15.5	15.6	17.7	18.8	15.4	14.5	13.3
3 5～9人	8.1	8.7	8.6	7.6	10.3	8.9	8.0	7.9
4 10～29人	12.2	12.7	10.5	13.2	13.5	14.0	13.3	14.1
5 30～99人	11.9	12.7	10.4	12.0	10.4	11.9	12.9	13.0
6 100～299人	8.4	8.1	9.6	9.0	8.5	9.4	10.7	9.9
7 300～499人	4.2	3.3	4.4	3.4	2.7	4.1	3.8	4.4
8 500～999人	3.9	4.2	4.1	3.8	4.7	4.6	4.4	4.1
9 1,000～1,999人	2.6	3.9	3.8	3.8	3.7	2.7	4.1	4.0
10 2,000～9,999人	5.9	4.5	5.1	4.8	4.1	5.9	4.6	5.1
11 1万人以上	3.7	4.7	4.5	2.6	4.1	4.2	4.6	4.6
12 官公庁	9.2	7.9	8.3	9.4	9.9	8.2	8.7	8.6
13 わからない	7.4	7.3	8.4	6.0	3.4	5.1	4.9	5.3
99 無回答	1.5	0.5	0.7	0.7	0.3	1.0	0.7	0.7
n	1830	1651	1755	2128	1247	2630	2671	3076

88 非該当

\*単年度データと累積データ 2000-2010 とでは、同じ変数名であっても内容が異なる。

累積データ 2000-2010 では、単年度データを統合する際に、2000 から 2002 で勤め先が単独事業所の場合には、SZSTAF A (従業員規模：就労事業所) から情報を補っているため、単年度データとはコードが異なる。

累積データ 2000-2010 では、2000 から 2002 の TP4WPLA (事業所形態)での「5 わからない」と「9 無回答」を「88 非該当」、2003 の TP4WPLA (事業所形態)での「9 無回答」を「88 非該当」にリコード。

累積データ 2000-2010 では、変数ラベルを変更している。

それぞれの単年度データは、変数 SZTTLSTA\_00 ~ SZTTLSTA\_10 を参照のこと。

2000-2010 変数ラベル変更：「企業規模」→「企業規模 統合」。

61. TP4WPLA に「3 支店・支所(本社・本店は他にある)」「4 本社・本店(他に支店・支所などがある)」の場合

64. SZTTLSTA\_00 企業規模\_2000\*

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1 1人	0.0	-	-	-	-	-	-	-
2 2～4人	0.7	-	-	-	-	-	-	-
3 5～9人	0.8	-	-	-	-	-	-	-
4 10～29人	5.8	-	-	-	-	-	-	-
5 30～99人	9.8	-	-	-	-	-	-	-
6 100～299人	15.3	-	-	-	-	-	-	-
7 300～499人	8.7	-	-	-	-	-	-	-
8 500～999人	8.9	-	-	-	-	-	-	-
9 1,000～1,999人	5.6	-	-	-	-	-	-	-
10 2,000～9,999人	14.4	-	-	-	-	-	-	-
11 1万人以上	9.0	-	-	-	-	-	-	-
12 わからない	17.5	-	-	-	-	-	-	-
99 無回答	3.5	-	-	-	-	-	-	-
n	744	-	-	-	-	-	-	-

88 非該当

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2000 の値と同じ。

2000 対象範囲：官公庁・単独事業所の場合は除く。

61. TP4WPLA に「3 支店・支所（本社・本店は他にある）」「4 本社・本店（他に支店・支所などがある）」の場合

## 65. SZTTLSTA\_01 企業規模\_2001\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1人	-	0.0	-	-	-	-	-	-
2	2～4人	-	0.3	-	-	-	-	-	-
3	5～9人	-	1.2	-	-	-	-	-	-
4	10～29人	-	6.5	-	-	-	-	-	-
5	30～99人	-	13.5	-	-	-	-	-	-
6	100～299人	-	13.5	-	-	-	-	-	-
7	300～499人	-	6.8	-	-	-	-	-	-
8	500～999人	-	8.7	-	-	-	-	-	-
9	1,000～1,999人	-	9.0	-	-	-	-	-	-
10	2,000～9,999人	-	10.7	-	-	-	-	-	-
11	1万人以上	-	11.4	-	-	-	-	-	-
12	わからない	-	17.2	-	-	-	-	-	-
99	無回答	-	1.2	-	-	-	-	-	-
	n	-	675	-	-	-	-	-	-

88 非該当

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2001 の値と同じ。

2001 2000 と同じ。

61. TP4WPLA に「3 支店・支所（本社・本店は他にある）」「4 本社・本店（他に支店・支所などがある）」の場合

## 66. SZTTLSTA\_02 企業規模\_2002\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1人	-	-	0.0	-	-	-	-	-
2	2～4人	-	-	0.3	-	-	-	-	-
3	5～9人	-	-	1.2	-	-	-	-	-
4	10～29人	-	-	5.2	-	-	-	-	-
5	30～99人	-	-	9.5	-	-	-	-	-
6	100～299人	-	-	16.2	-	-	-	-	-
7	300～499人	-	-	8.4	-	-	-	-	-
8	500～999人	-	-	8.3	-	-	-	-	-
9	1,000～1,999人	-	-	8.4	-	-	-	-	-
10	2,000～9,999人	-	-	12.1	-	-	-	-	-
11	1万人以上	-	-	10.3	-	-	-	-	-
12	わからない	-	-	18.5	-	-	-	-	-
99	無回答	-	-	1.6	-	-	-	-	-
	n	-	-	736	-	-	-	-	-

88 非該当

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2002 の値と同じ。

2002 2000 と同じ。

61. TP4WPLA に「2 単独事業所（他に事業所はない）」「3 支店・支所（本社・本店は他にある）」「4 本社・本店（他に支店・支所などがある）」「5 わからない」の場合

## 67. SZTTLSTA\_03 企業規模\_2003\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1人	-	-	-	6.7	-	-	-	-
2	2～4人	-	-	-	19.5	-	-	-	-
3	5～9人	-	-	-	8.4	-	-	-	-
4	10～29人	-	-	-	14.5	-	-	-	-
5	30～99人	-	-	-	13.3	-	-	-	-
6	100～299人	-	-	-	10.0	-	-	-	-
7	300～499人	-	-	-	3.8	-	-	-	-
8	500～999人	-	-	-	4.1	-	-	-	-
9	1,000～1,999人	-	-	-	4.2	-	-	-	-
10	2,000～9,999人	-	-	-	5.3	-	-	-	-
11	1万人以上	-	-	-	2.9	-	-	-	-
12	わからない	-	-	-	6.6	-	-	-	-
99	無回答	-	-	-	0.8	-	-	-	-
	n	-	-	-	1929	-	-	-	-

88 非該当

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2003 の値と同じ。

2003 対象範囲：官公庁の場合は除く。

30. XJOB1WK に「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

68. SZTTLSTA\_05 企業規模\_2005\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1人	-	-	-	-	5.6	-	-	-
2	2～4人	-	-	-	-	18.8	-	-	-
3	5～9人	-	-	-	-	10.3	-	-	-
4	10～29人	-	-	-	-	13.5	-	-	-
5	30～99人	-	-	-	-	10.4	-	-	-
6	100～299人	-	-	-	-	8.5	-	-	-
7	300～499人	-	-	-	-	2.7	-	-	-
8	500～999人	-	-	-	-	4.7	-	-	-
9	1,000～1,999人	-	-	-	-	3.7	-	-	-
10	2,000～9,999人	-	-	-	-	4.1	-	-	-
11	1万人以上	-	-	-	-	4.1	-	-	-
12	官公庁	-	-	-	-	9.9	-	-	-
13	わからない	-	-	-	-	3.4	-	-	-
99	無回答	-	-	-	-	0.3	-	-	-
n		-	-	-	-	1247	-	-	-

88 非該当

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2005 の値と同じ。

2005 対象範囲：官公庁の場合も含む。

選択肢追加：「12 官公庁」以下選択肢 12 を繰り下げて 13。

69. SZTTLSTA\_06 企業規模\_2006\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1人	-	-	-	-	-	4.7	-	-
2	2～4人	-	-	-	-	-	15.4	-	-
3	5～9人	-	-	-	-	-	8.9	-	-
4	10～29人	-	-	-	-	-	14.0	-	-
5	30～99人	-	-	-	-	-	11.9	-	-
6	100～299人	-	-	-	-	-	9.4	-	-
7	300～499人	-	-	-	-	-	4.1	-	-
8	500～999人	-	-	-	-	-	4.6	-	-
9	1,000～1,999人	-	-	-	-	-	2.7	-	-
10	2,000～9,999人	-	-	-	-	-	5.9	-	-
11	1万人以上	-	-	-	-	-	4.2	-	-
12	官公庁	-	-	-	-	-	8.2	-	-
13	わからない	-	-	-	-	-	5.1	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	1.0	-	-
n		-	-	-	-	-	2630	-	-

88 非該当

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2006 の値と同じ。

2006 質問文ワーディング変更：「従業員（働いている人）」 「同じ会社・組織で働いている方」。

70. SZTTLSTA\_08 企業規模\_2008\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1人	-	-	-	-	-	-	4.9	-
2	2～4人	-	-	-	-	-	-	14.5	-
3	5～9人	-	-	-	-	-	-	8.0	-
4	10～29人	-	-	-	-	-	-	13.3	-
5	30～99人	-	-	-	-	-	-	12.9	-
6	100～299人	-	-	-	-	-	-	10.7	-
7	300～499人	-	-	-	-	-	-	3.8	-
8	500～999人	-	-	-	-	-	-	4.4	-
9	1,000～1,999人	-	-	-	-	-	-	4.1	-
10	2,000～9,999人	-	-	-	-	-	-	4.6	-
11	1万人以上	-	-	-	-	-	-	4.6	-
12	官公庁	-	-	-	-	-	-	8.7	-
13	わからない	-	-	-	-	-	-	4.9	-
99	無回答	-	-	-	-	-	-	0.7	-
n		-	-	-	-	-	-	2671	-

88 非該当

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2008 の値と同じ。

2008 2006 と同じ。

## 71. SZTTLSTA\_10 企業規模\_2010\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1人	-	-	-	-	-	-	-	5.0
2	2～4人	-	-	-	-	-	-	-	13.3
3	5～9人	-	-	-	-	-	-	-	7.9
4	10～29人	-	-	-	-	-	-	-	14.1
5	30～99人	-	-	-	-	-	-	-	13.0
6	100～299人	-	-	-	-	-	-	-	9.9
7	300～499人	-	-	-	-	-	-	-	4.4
8	500～999人	-	-	-	-	-	-	-	4.1
9	1,000～1,999人	-	-	-	-	-	-	-	4.0
10	2,000～9,999人	-	-	-	-	-	-	-	5.1
11	1万人以上	-	-	-	-	-	-	-	4.6
12	官公庁	-	-	-	-	-	-	-	8.6
13	わからない	-	-	-	-	-	-	-	5.3
99	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.7
		n	-	-	-	-	-	-	3076

88 非該当

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2010 の値と同じ。

2010 2006 と同じ。

## 72. XJOBYR 就労年数\*

現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
実数記入	1年未満	7.7	6.7	6.5	7.3	7.9	8.0	7.2	5.3	
	1～4年	23.2	23.2	25.0	24.1	21.7	23.4	24.7	26.0	
	5～9年	17.1	16.7	15.9	16.7	15.3	16.8	17.4	18.9	
	10～19年	21.7	20.8	20.5	21.4	21.0	21.0	20.1	20.7	
	20～29年	15.2	15.1	15.6	12.0	14.2	12.9	13.3	12.9	
	30年以上	14.5	16.3	15.7	18.0	18.6	17.5	16.7	15.5	
999	無回答	0.6	1.1	0.9	0.5	1.3	0.5	0.6	0.7	
		n	1881	1698	1809	2132	1247	2630	2671	3076

888 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2006 質問文ワーディング変更：「あなたは現在の会社・組織に通算何年間働いていますか。」 「現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。」。

## 73. JOINUNI 労働組合加入の有無\*

あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	職場の労働組合に入っている	18.6	18.9	16.4	16.9	16.4	16.0	17.2	17.8	
2	職場以外の労働組合に入っている	2.6	2.9	1.5	1.4	1.4	2.1	1.8	2.4	
3	入っていない	73.3	73.3	79.9	80.0	77.3	79.4	78.4	77.7	
4	わからない	-	-	1.6	1.3	-	2.2	1.9	1.7	
9	無回答	5.5	4.9	0.5	0.4	4.9	0.3	0.6	0.4	
		n	1881	1698	1809	2132	1247	2630	2671	3076

8 非該当

\*調査年度によって選択肢「わからない」の有無が異なる。

2002 選択肢追加：「4 わからない」。

2005 選択肢削除：「4 わからない」。

2006 選択肢追加：「4 わからない」。

## 74. DOUNION 労働組合の有無\*

あなたが働く職場には、労働組合が組織されていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	29.5	28.3	-	-	28.0	-	-	-
2	いいえ	57.1	58.7	-	-	66.3	-	-	-
3	わからない	6.2	6.0	-	-	5.2	-	-	-
9	無回答	7.3	7.0	-	-	0.5	-	-	-
		n	1881	1698	-	1247	-	-	-

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2005 選択肢ワーディング変更：「1 組織されている」「1 はい」、「2 組織されていない」「2 いいえ」。

75. XTRG1YR 過去1年の研修経験

あなたは、仕事をするうえで役立っていると考えられる教育訓練や研修を、過去1年間に受けましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	35.0	33.9	-	-	-	-	-	-
2	いいえ	65.0	65.8	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.1	0.3	-	-	-	-	-	-
n		1881	1698	-	-	-	-	-	-
8	非該当								

75. XTRG1YRに「1 はい」の場合

76. WHPAYTRG 研修費用の負担

その教育・訓練の費用は、誰が負担しましたか。複数の教育訓練や研修を受けた場合は、すべてを想定してください。次の中で主なものを1つだけ選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	主に事業主が負担した	72.2	74.7	-	-	-	-	-	-
2	主に自分で負担した	13.2	14.2	-	-	-	-	-	-
3	主に政府などの公的な費用でまかなった	10.9	8.5	-	-	-	-	-	-
4	その他( )	3.2	2.3	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.5	0.3	-	-	-	-	-	-
n		658	576	-	-	-	-	-	-
8	非該当								

77. SZTRGA 研修期間

その教育訓練や研修は合計してどのくらいの期間行われましたか。複数の教育訓練などを受けた場合は、すべての期間を合計してください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1週間以下	64.1	64.8	-	-	-	-	-	-
2	2週間程度	12.6	15.1	-	-	-	-	-	-
3	3週間程度	3.6	3.0	-	-	-	-	-	-
4	1ヶ月程度	5.2	5.4	-	-	-	-	-	-
5	1ヶ月を超えて3ヶ月まで(3ヶ月を含む)	4.9	4.7	-	-	-	-	-	-
6	3ヶ月を超えて半年まで(半年を含む)	3.6	2.3	-	-	-	-	-	-
7	半年を超えた期間	5.8	4.5	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.2	0.3	-	-	-	-	-	-
n		658	576	-	-	-	-	-	-
8	非該当								

78. DOBOSS 上司の有無

あなたには仕事の上であなたを管理・監督する方(上司など)がいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	77.0	76.4	76.5	-	-	-	-	-
2	いない	22.3	23.1	22.8	-	-	-	-	-
3	わからない	0.5	0.2	0.2	-	-	-	-	-
9	無回答	0.2	0.2	0.4	-	-	-	-	-
n		1881	1698	1809	-	-	-	-	-
8	非該当								

78. DOBOSSに「1 いる」の場合

79. BSDOBOSS 上司の上司の有無

その人を管理・監督する方(上司など)はいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	76.4	76.6	-	-	-	-	-	-
2	いない	21.7	22.4	-	-	-	-	-	-
3	わからない	1.2	0.5	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.6	0.4	-	-	-	-	-	-
n		1449	1297	-	-	-	-	-	-
8	非該当								

80. DOSTAFF 部下の有無

仕事の上であなたが管理・監督する人（部下など）がいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	36.8	37.5	35.5	39.3	37.0	-	-	-
2	いない	62.3	62.2	63.5	60.2	61.8	-	-	-
3	わからない	0.5	0.2	0.3	0.3	0.9	-	-	-
9	無回答	0.5	0.2	0.6	0.3	0.3	-	-	-
n		1881	1698	1809	2132	1247	-	-	-
8	非該当								

80. DOSTAFF に「1 いる」の場合

81. STFDOSTF 部下の部下の有無

その人には、管理・監督する人（部下など）はいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	42.3	47.0	-	-	-	-	-	-
2	いない	56.4	52.0	-	-	-	-	-	-
3	わからない	0.7	0.3	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.6	0.6	-	-	-	-	-	-
n		692	636	-	-	-	-	-	-
8	非該当								

82. OP4UNEMP 失業の可能性\*

今後1年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなりある	3.6	4.0	3.6	4.5	1.7	4.6	2.6	3.2
2	ある程度ある	11.3	14.3	15.6	13.2	11.2	11.2	11.7	12.4
3	あまりない	27.4	26.7	27.4	25.8	28.6	30.2	30.0	33.4
4	まったくない	46.7	41.1	44.4	48.4	50.2	32.0	49.6	45.7
5	わからない	10.0	11.0	8.8	8.0	8.0	19.0	6.0	5.3
9	無回答	0.9	2.9	0.2	0.1	0.2	3.0	0.1	0.1
n		1881	1698	1809	2132	1247	1320	2671	3076
8	非該当								

\*2006 以外は、面接で尋ねている。2006 では、留置 A 票のみで尋ねている。

83. OP3NEWJB 再就労の容易さ\*

もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に容易である	4.9	4.1	4.8	5.5	4.5	3.0	5.2	4.6
2	ある程度容易である	18.9	16.3	19.0	14.6	20.6	14.1	20.6	16.8
3	容易ではない	66.5	70.6	66.5	71.2	66.5	64.5	67.2	72.2
4	わからない	9.5	8.8	9.3	8.4	8.0	15.6	6.7	6.2
9	無回答	0.3	0.3	0.4	0.1	0.4	2.9	0.3	0.2
n		1881	1698	1809	2132	1247	1320	2671	3076
8	非該当								

\*2006 以外は、面接で尋ねている。2006 では、留置 A 票のみで尋ねている。

84. ST5JOB 現在の仕事の満足度\*

現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	満足している	20.1	22.0	20.6	24.5	26.7	26.4	26.1	26.4
2	どちらかといえば満足している	42.5	42.5	43.8	38.7	39.1	38.7	39.6	40.0
3	どちらともいえない	25.1	22.0	23.7	23.9	23.2	23.2	24.1	23.4
4	どちらかといえば不満である	8.8	10.4	9.1	9.1	7.9	8.3	7.1	7.4
5	不満である	3.0	2.8	2.2	3.3	2.7	3.1	2.9	2.7
6	わからない	0.2	0.2	0.4	0.2	0.2	0.4	0.1	0.1
9	無回答	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.0	0.1	0.0
n		1881	1698	1809	2132	1247	2630	2671	3076
8	非該当								

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2006 質問文ワーディング変更：「現在の主な仕事」「現在の仕事」。

100. TP5UNEMP に「4 主に家事をしている」の場合

85. ST5HSWK 家事の仕事の満足度\*

『家事という仕事についている』と考えた場合、あなたは現在の家事の仕事にどの程度満足していますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	満足している	22.3	23.4	22.8	-	-	-	-	-
2	どちらかといえば満足している	40.5	38.8	40.4	-	-	-	-	-
3	どちらともいえない	29.3	27.5	27.9	-	-	-	-	-
4	どちらかといえば不満である	5.4	7.0	6.5	-	-	-	-	-
5	不満である	1.7	2.6	1.2	-	-	-	-	-
6	わからない	0.2	0.2	0.9	-	-	-	-	-
9	無回答	0.7	0.5	0.3	-	-	-	-	-
n		588	657	663	-	-	-	-	-
8	非該当								

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。  
 2001 選択肢ワーディング変更: 「不満足」 「不満」.

86. WLKEEPJA 現在の会社・組織での就労継続意向\*

今働いている会社(自営の場合は今の事業)をやめるつもりがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	近いうちにやめるつもり	7.1	6.2	6.4	7.2	7.1	8.7	7.7	6.9
2	当分やめるつもりはない	39.1	36.5	37.4	53.4	43.0	45.8	41.1	42.9
3	まったくやめるつもりはない	49.9	53.7	51.6	53.6	45.7	29.3	48.4	47.6
4	わからない	3.7	3.4	4.5	3.6	3.8	13.4	2.6	2.5
9	無回答	0.3	0.2	0.2	0.3	0.5	2.7	0.1	0.1
n		1881	1698	1809	2132	1247	1320	2671	3076
8	非該当								

\*2006 以外は、面接で尋ねている。2006 では、留置 A 票のみで尋ねている。

87. WLSTOPWK 不自由なく暮らせる場合の就労継続意向

働かなくとも生涯不自由なく暮らせるだけのお金が得られるとしたら、あなたは働くことをやめますか。働き続けますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	働き続ける	66.0	63.4	-	-	-	-	-	-
2	働くのをやめる	22.6	25.0	-	-	-	-	-	-
3	わからない	11.2	11.4	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.3	0.2	-	-	-	-	-	-
n		1881	1698	-	-	-	-	-	-
8	非該当								



88. SZINCOMX 本人年収:主な仕事\*

あなたの収入は、先ほどかがった主なお仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	なし	2.6	1.6	1.5	1.7	1.8	1.8	0.8	0.1	
2	70万円未満	7.7	8.3	8.0	8.9	8.5	6.5	8.6	8.8	
3	70～100万円未満	8.2	8.9	9.2	9.3	8.6	7.9	7.7	8.6	
4	100～130万円未満	5.6	4.3	6.0	6.9	5.9	5.4	5.2	6.4	
5	130～150万円未満	3.1	2.2	3.3	3.4	2.6	3.5	3.2	3.7	
6	150～250万円未満	9.0	9.1	11.2	10.3	9.7	10.8	11.2	10.4	
7	250～350万円未満	12.7	12.4	10.7	11.3	10.1	11.1	11.8	11.3	
8	350～450万円未満	10.9	10.1	9.6	9.2	8.6	9.2	8.3	9.2	
9	450～550万円未満	7.5	7.2	7.8	6.8	7.5	7.2	7.6	6.7	
10	550～650万円未満	5.2	5.5	5.7	6.1	5.0	5.2	4.6	5.2	
11	650～750万円未満	4.0	4.5	5.0	3.8	4.3	3.7	3.1	3.5	
12	750～850万円未満	4.0	4.1	3.2	3.0	3.3	4.0	2.8	2.7	
13	850～1,000万円未満	3.4	3.6	3.0	3.3	3.3	2.5	2.8	2.0	
14	1,000～1,200万円未満	2.2	2.1	2.2	1.4	1.3	1.4	1.8	1.3	
15	1,200～1,400万円未満	0.5	0.6	0.9	0.7	0.6	0.3	0.4	0.3	
16	1,400～1,600万円未満	0.5	0.5	0.4	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	
17	1,600～1,850万円未満	0.2	0.3	0.3	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	
18	1,850～2,300万円未満	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	
19	2,300万円以上	0.2	0.4	0.1	0.2	0.6	0.3	0.4	0.2	
20	回答したくない	7.8	8.6	7.4	8.4	13.0	12.7	12.6	11.2	
21	わからない	4.1	4.5	4.1	4.7	4.9	3.2	2.5	2.1	
99	無回答	0.4	0.8	0.2	0.1	0.2	2.9	4.0	5.7	
		n	1881	1698	1809	2132	1247	2630	2671	3076

88 非該当

\*調査年度によって質問文ワーディング、変数ラベル、選択肢に違いがある。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2002 質問文ワーディング変更:「昨年度」「昨年1年間」.

2006 変数ラベル変更:「本人年収」「本人年収:主な仕事」

選択肢追加:「23 仕事はしていない」は 2005 までの「88 非該当」に相当する。

2000-2010 コード統合:2006 から 2010 の「23 仕事はしていない」は「88 非該当」にリコード。

88. SZINCOMX に「19,2,300万円以上」の場合

89. SZHIINCX 本人年収:2,300万円以上の場合(具体的記述)

昨年1年間のあなたの主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料、その他が引かれる前の額をお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	2,300万円	33.3	16.7	0.0	0.0	-	-	-	-
	3,000万円	33.3	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	3,500万円	0.0	16.7	0.0	0.0	-	-	-	-
	1億3,000万円	0.0	16.7	0.0	0.0	-	-	-	-
999999	無回答	33.3	50.0	100.0	100.0	-	-	-	-
		n	3	6	2	4	-	-	-
888888	非該当								

90. SZINCOMA 本人年収:全体

(全員に)あなたご自身の収入はどのくらいですか。仕事以外からの収入も含めてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	なし	-	-	-	-	-	11.6	8.9	9.1
2	70万円未満	-	-	-	-	-	7.2	8.3	8.5
3	70～100万円未満	-	-	-	-	-	8.4	8.7	9.5
4	100～130万円未満	-	-	-	-	-	5.5	6.4	6.2
5	130～150万円未満	-	-	-	-	-	3.9	4.1	4.1
6	150～250万円未満	-	-	-	-	-	11.1	11.8	12.0
7	250～350万円未満	-	-	-	-	-	10.8	10.9	11.5
8	350～450万円未満	-	-	-	-	-	6.8	7.0	7.2
9	450～550万円未満	-	-	-	-	-	5.2	5.5	4.9
10	550～650万円未満	-	-	-	-	-	3.5	3.2	3.6
11	650～750万円未満	-	-	-	-	-	2.7	2.1	2.4
12	750～850万円未満	-	-	-	-	-	2.7	2.0	1.9
13	850～1,000万円未満	-	-	-	-	-	1.7	2.0	1.3
14	1,000～1,200万円未満	-	-	-	-	-	1.0	1.2	0.8
15	1,200～1,400万円未満	-	-	-	-	-	0.2	0.3	0.3
16	1,400～1,600万円未満	-	-	-	-	-	0.1	0.2	0.2
17	1,600～1,850万円未満	-	-	-	-	-	0.1	0.1	0.0

18	1,850 ~ 2,300 万円未満	-	-	-	-	-	0.1	0.1	0.0
19	2,300 万円以上	-	-	-	-	-	0.2	0.3	0.1
20	回答したくない	-	-	-	-	-	10.6	11.4	10.0
21	わからない	-	-	-	-	-	3.9	2.4	2.6
99	無回答	-	-	-	-	-	2.4	3.2	3.7
		n	-	-	-	-	4254	4220	5003

91. TP5PAY 給与形態

あなたの現在の主な給料や収入の形態はこの中のどれに該当しますか。また、支払われ方とそのおおよその金額(税金、社会保険料、その他引かれる前の額)を教えてください。ただし残業手当は除きます。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	時間給	17.0	14.4	18.0	-	-	-	-	-
2	日給	6.8	6.5	6.2	-	-	-	-	-
3	週給	0.1	0.2	0.2	-	-	-	-	-
4	月給	54.3	56.2	54.8	-	-	-	-	-
5	年俸	3.2	5.1	4.4	-	-	-	-	-
6	他の支払い方法	10.2	8.6	9.8	-	-	-	-	-
7	わからない	6.3	6.7	5.5	-	-	-	-	-
9	無回答	2.1	2.2	1.0	-	-	-	-	-
		n	1881	1698	1809	-	-	-	-
8	非該当								

91. TP5PAY に「1 時間給」の場合

92. SZPAYHRX 時間給

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	700 円未満	14.1	10.6	9.8	-	-	-	-	-
	700 ~ 800 円未満	45.5	42.4	43.9	-	-	-	-	-
	800 ~ 900 円未満	15.4	18.4	16.0	-	-	-	-	-
	900 ~ 1,000 円未満	10.3	11.8	10.7	-	-	-	-	-
	1,000 ~ 2,000 円未満	10.0	9.4	13.2	-	-	-	-	-
	2,000 ~ 3,000 円未満	0.3	1.2	0.9	-	-	-	-	-
	3,000 円以上	0.3	1.2	0.6	-	-	-	-	-
999999	無回答	4.1	4.9	4.9	-	-	-	-	-
		n	319	245	326	-	-	-	-
888888	非該当								

91. TP5PAY に「2 日給」の場合

93. SZPAYDYX 日給

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	5,000 円未満	2.3	5.4	6.2	-	-	-	-	-
	5,000 ~ 6,000 円未満	13.3	8.1	7.1	-	-	-	-	-
	6,000 ~ 7,000 円未満	9.4	11.7	11.5	-	-	-	-	-
	7,000 ~ 8,000 円未満	10.2	9.0	8.8	-	-	-	-	-
	8,000 ~ 9,000 円未満	12.5	9.9	12.4	-	-	-	-	-
	9,000 ~ 10,000 円未満	6.3	8.1	5.3	-	-	-	-	-
	10,000 円以上	39.8	42.3	39.8	-	-	-	-	-
9999999	無回答	6.3	5.4	8.8	-	-	-	-	-
		n	128	111	113	-	-	-	-
8888888	非該当								

91. TP5PAY に「3 週給」の場合

94. SZPAYWKX 週給

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	10,000 円	0.0	50.0	0.0	-	-	-	-	-
	15,000 円	0.0	25.0	0.0	-	-	-	-	-
	18,500 円	0.0	25.0	0.0	-	-	-	-	-
	25,000 円	100	0.0	0.0	-	-	-	-	-
	45,000 円	0.0	0.0	33.3	-	-	-	-	-
	50,000 円	0.0	0.0	33.3	-	-	-	-	-
	70,000 円	0.0	0.0	33.3	-	-	-	-	-
99999999	無回答	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
		n	1	4	3	-	-	-	-
88888888	非該当								

91. TP5PAY に「4 月給」の場合

95. SZPAYMOX 月給

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	10 万円未満	4.9	5.6	5.6	-	-	-	-	-
	10～20 万円未満	18.5	17.3	18.3	-	-	-	-	-
	20～30 万円未満	26.4	26.6	24.1	-	-	-	-	-
	30～40 万円未満	20.3	17.7	18.1	-	-	-	-	-
	40～50 万円未満	11.1	11.2	11.5	-	-	-	-	-
	50～60 万円未満	6.2	7.4	6.7	-	-	-	-	-
	60～70 万円未満	2.9	2.8	2.7	-	-	-	-	-
	70～80 万円未満	1.5	1.0	0.8	-	-	-	-	-
	80～90 万円未満	0.7	0.9	1.1	-	-	-	-	-
	90～100 万円未満	0.4	0.3	0.2	-	-	-	-	-
	100 万円以上	0.7	1.5	0.9	-	-	-	-	-
999999999	無回答	6.5	7.5	9.9	-	-	-	-	-
	n	1021	954	992	-	-	-	-	-
888888888	非該当								

91. TP5PAY に「5 年俸」の場合

96. SZPAYYRX 年俸

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	100 万円未満	3.3	4.6	10.0	-	-	-	-	-
	100～200 万円未満	4.9	6.9	3.8	-	-	-	-	-
	200～300 万円未満	0.0	2.3	7.5	-	-	-	-	-
	300～400 万円未満	11.5	10.3	10.0	-	-	-	-	-
	400～500 万円未満	4.9	10.3	8.8	-	-	-	-	-
	500～600 万円未満	14.8	14.9	6.3	-	-	-	-	-
	600～700 万円未満	13.1	9.2	7.5	-	-	-	-	-
	700～800 万円未満	9.8	3.4	5.0	-	-	-	-	-
	800～900 万円未満	6.6	3.4	3.8	-	-	-	-	-
	900～1,000 万円未満	1.6	5.7	7.5	-	-	-	-	-
	1,000 万円以上	23.0	24.1	21.3	-	-	-	-	-
999999999	無回答	6.6	4.6	8.8	-	-	-	-	-
	n	61	87	80	-	-	-	-	-
888888888	非該当								

30 XJOB1WK に「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

97. XSJB1WK 副業の有無\*

これまでお答えいただいた仕事以外に、あなたは先週、別の仕事をしましたか。またはすることになっていましたか。収入をと  
もなう仕事についてのみお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	2.7	3.7	3.9	3.4	3.6	-	-	-
2	いいえ	97.1	96.2	95.9	96.3	96.2	-	-	-
9	無回答	0.3	0.1	0.2	0.3	0.2	-	-	-
	n	1881	1698	1809	2132	1247	-	-	-
8	非該当								

\*2006 以降は尋ねていない。

98. SZSJBHWK 副業就労時間数/週\*

あなたは、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

副業を週合計で

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0時間	0.0	3.2	0.0	4.2	2.2	0.0	0.0	0.0
	1～9時間	48.0	41.9	53.5	56.9	44.4	31.4	33.3	37.3
	10～19時間	20.0	27.4	25.4	15.3	28.9	27.1	25.3	35.6
	20～29時間	18.0	11.3	8.5	9.7	22.2	2.9	10.7	6.8
	30～39時間	2.0	9.7	2.8	8.3	0.0	5.7	2.7	3.4
	40～49時間	4.0	1.6	7.0	4.2	2.2	1.4	1.3	6.8
	50時間以上	4.0	3.2	1.4	1.4	0.0	2.9	2.7	1.7
999	無回答	4.0	1.6	1.4	0.0	0.0	28.6	24.0	8.5
	n	50	62	71	72	45	70	75	59

888 非該当

\*調査年度によって尋ね方に違いがある。

2000から2005では「副業」に就いていると回答した人に「副業就労時間数」を尋ねているが、2006から2010では「副業」の有無は確認せずに「副業就労時間数」を尋ねている。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2000-2010 コード統合：2006から2010の「0 0時間」は「888 非該当」にリコード。

99. DOLOOKJB 求職の有無(全員)

あなたは現在、仕事を探していますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	8.0	7.0	5.9	7.8	7.0	7.9
2	いいえ	-	-	91.3	92.0	92.0	91.5	92.6	91.6
9	無回答	-	-	0.7	1.0	2.1	0.7	0.4	0.5
	n	-	-	2953	3663	2023	4254	4220	5003

100. TP5UNEMP 不就労の理由\*

先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	失業中	5.7	4.9	6.5	4.8	3.6	4.1	4.5	5.0
2	定年などで仕事をやめた	23.4	21.0	22.7	23.3	26.8	25.2	23.5	26.8
3	学生	0.1	0.1	2.0	2.0	1.8	2.3	2.5	3.5
4	主に家事をしている	59.5	61.7	58.0	55.1	59.0	56.5	53.1	51.6
5	心身上的事情で働けない	-	-	-	-	-	-	6.7	6.2
6	その他(具体的に )	8.6	9.6	9.1	8.4	6.7	8.0	5.3	3.0
7	わからない	0.5	0.5	0.9	0.3	0.4	0.1	0.0	0.1
9	無回答	2.3	2.3	0.9	6.3	1.7	3.7	4.3	3.9
	n	989	1064	1144	1531	776	1624	1549	1927

8 非該当

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2000、2001と2002以降とは、対象範囲が異なる。2001までは在学中の者は対象外であるが、2002以降は在学中で仕事をしていない者も対象範囲に含む。

2000 対象範囲：XJOB1WK(先週の就労経験)に「3 仕事をしていない」で、在学中ではない人。

2002 対象範囲変更：在学中かどうかにかかわらず、現在仕事をしていない人。

2008 選択肢追加：「5 身体上の事情で働けない」以下選択肢5-6を繰り下げて6-7。

2010 選択肢ワーディング変更：「5 身体上」、「5 心身上」。

2000-2010 コード統合：2010と同じ。

101. WLWANTJB 不就労者に：今後の就労意向\*

あなたは今後、収入をともなう仕事につきたいですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	29.7	27.9	30.5	-	-	-	-	-
2	いいえ	68.5	69.3	68.4	-	-	-	-	-
9	無回答	1.8	2.8	1.0	-	-	-	-	-
	n	1026	1107	1144	-	-	-	-	-

8 非該当

\*2000、2001と2002では対象範囲が異なる。2000、2001では在学中の者には、仕事の有無にかかわらず全員に尋ねているが、2002では在学中で仕事をしている者には尋ねていない。

2000 対象範囲：現在仕事をしていない者、あるいは在学中の者。

2002 対象範囲変更：現在仕事をしていない者。

102. XNUMCOWK 転職数\*

あなたは、これまで正規の社員・職員としていくつの会社・組織で働きましたか。現在正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	0社(これまで正規の社員・職員として働いたことはない)	12.9	12.0	17.7	-	-	-	-	-
2	1社	40.9	42.5	40.2	-	-	-	-	-
3	2社	23.8	22.3	21.2	-	-	-	-	-
4	3社	11.9	13.2	11.5	-	-	-	-	-
5	4社	3.8	4.4	3.8	-	-	-	-	-
6	5社	1.7	2.6	2.1	-	-	-	-	-
7	6社以上	1.6	1.7	2.2	-	-	-	-	-
8	わからない	0.7	0.9	0.9	-	-	-	-	-
99	無回答	2.7	0.3	0.4	-	-	-	-	-
	n	2848	2744	2953	-	-	-	-	-

88 非該当

\*2000、2001と2002では対象範囲が異なる。2000、2001では在学中の者は対象外であるが、2002では在学中の者も含めた全員を対象範囲としている。

2000 対象範囲：XNOWORK(卒業後の未就労期間の有無)に「3 在学中」以外の人。

2002 対象範囲変更：全員。

103. XNOWORK 卒業後の未就労期間の有無

あなたが学校を卒業してから今まで、収入をとまなう仕事をしていなかった期間がありますか。現在働いていない方は現在働いていない期間も含めてお答えください。また、家業も仕事と考えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	「働いていなかった期間」は、ある	61.1	61.8	-	-	-	-	-	-
2	「働いていなかった期間」は、ない	37.3	36.6	-	-	-	-	-	-
3	在学中	1.3	1.5	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.3	0.1	-	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	-	-	-	-	-	-

103. XNOWORKに「1「働いていなかった期間」は、ある」の場合

104. SZNOWORK 卒業後の未就労年数

働いていなかった期間は通算何年ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1年未満	17.9	15.0	-	-	-	-	-	-
2	1～3年未満	13.3	13.5	-	-	-	-	-	-
3	3～5年未満	8.9	8.0	-	-	-	-	-	-
4	5～10年未満	15.9	15.4	-	-	-	-	-	-
5	10年以上	36.5	38.5	-	-	-	-	-	-
6	わからない	2.0	1.5	-	-	-	-	-	-
9	無回答	5.5	8.2	-	-	-	-	-	-
	n	1769	1723	-	-	-	-	-	-

8 非該当

105. DOFINDJB 不就労者に:求職の有無

(現在仕事をしていない者、あるいは在学中の者に)あなたは現在仕事を探していますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	11.2	9.4	-	-	-	-	-	-
2	いいえ	86.9	87.7	-	-	-	-	-	-
9	無回答	1.9	2.9	-	-	-	-	-	-
	n	1026	1107	-	-	-	-	-	-

8 非該当

## 106. SZFINDJB 求職期間

仕事を探していた期間はどのくらいありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	仕事を探していたことはない	54.8	54.4	-	-	-	-	-	-
2	1年未満	24.3	23.3	-	-	-	-	-	-
3	1～3年未満	6.4	5.0	-	-	-	-	-	-
4	3～5年未満	1.6	1.6	-	-	-	-	-	-
5	5～10年未満	1.3	1.3	-	-	-	-	-	-
6	10年以上	0.9	1.3	-	-	-	-	-	-
7	わからない	3.6	3.4	-	-	-	-	-	-
9	無回答	7.1	9.8	-	-	-	-	-	-
n		1769	1723	-	-	-	-	-	-
8	非該当								

## 107-118. 現在の収入源(全員)\*

現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。この中から、あてはまるものをすべて選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
9	無回答								
多重回答									
INCSELF	自分の収入	-	-	60.9	57.7	61.1	61.0	62.4	61.6
INCSP	配偶者の収入	-	-	42.9	42.8	42.3	42.9	43.5	43.1
INCPAR	親の収入	-	-	9.5	9.9	10.3	11.1	10.6	11.3
INCFAM	配偶者・親以外の家族の収入	-	-	10.3	10.4	8.3	13.5	11.5	12.3
INCPEN	年金	-	-	32.5	37.0	37.2	36.5	36.9	40.2
INCUEB	失業保険	-	-	1.0	1.0	0.5	0.5	0.6	0.9
INCSAVE	貯蓄	-	-	7.5	7.8	10.5	4.5	5.6	6.6
INCSOC	社会福祉(生活保護、福祉手当等)	-	-	1.1	1.3	0.9	0.9	1.3	1.1
INCIRR	不定期的な仕事	-	-	1.6	1.3	1.1	0.7	0.7	0.6
INCOTHER	その他(具体的に )	-	-	2.6	2.0	2.9	2.4	2.0	0.6
INCNOKN	わからない	-	-	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3
INCRENT	賃貸料所得	-	-	-	-	-	-	-	1.5
選択者数		-	-	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*2010に、INCRENT(現在の収入源:賃貸料所得(全員))を「その他」の具体的記述から追加した。

累積データ2000-2010では、2003までのINCNOKN(いずれも選択していない)を「9 無回答」にリコード。

## 119. INCMAIN 現在の収入源:中心となるもの(全員)\*

一番中心となる収入源を1つだけ答えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	自分の収入	-	-	36.9	32.0	36.9	36.0	35.9	32.9
2	配偶者の収入	-	-	27.5	28.1	27.3	25.9	26.3	26.3
3	親の収入	-	-	4.9	5.8	6.0	6.7	6.6	6.8
4	配偶者・親以外の家族の収入	-	-	5.2	4.6	3.5	4.8	3.7	4.4
5	年金	-	-	21.0	24.8	22.4	22.6	22.8	24.3
6	失業保険	-	-	0.6	0.6	0.2	0.3	0.4	0.4
7	貯蓄	-	-	1.1	1.0	1.1	0.6	1.2	1.0
8	社会福祉(生活保護、福祉手当等)	-	-	0.5	0.6	0.5	0.5	0.6	0.5
9	不定期的な仕事	-	-	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
10	その他(具体的に )	-	-	0.7	0.4	0.9	0.7	0.6	0.2
11	わからない	-	-	0.2	0.2	0.1	0.5	0.7	0.5
12	賃貸料所得	-	-	-	-	-	-	-	0.3
99	無回答	-	-	1.2	1.7	0.9	1.5	1.2	2.5
n		-	-	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*2010に、コード「12 賃貸料所得」を「10 その他」の具体的記述から追加した。

120-129. 現在の収入源(仕事をしていない人)\*

(現在仕事をしていない者、あるいは在学中の者に)現在、あなたの生計をまかなう主な収入源は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
INPEN	年金	56.8	56.0	-	-	-	-	-	-
INUEB	失業保険	2.2	2.0	-	-	-	-	-	-
INSAVING	貯蓄	10.3	7.4	-	-	-	-	-	-
INPOUSE	配偶者の収入	31.5	34.2	-	-	-	-	-	-
INPARENT	親の収入	6.2	6.7	-	-	-	-	-	-
INFAMILY	配偶者・親以外の家族の収入	13.7	13.4	-	-	-	-	-	-
INSOCSEC	社会福祉(生活保護、福祉手当等)	1.0	1.3	-	-	-	-	-	-
INIRREG	不定期的な仕事	1.9	0.8	-	-	-	-	-	-
INOTHER	その他( )	3.0	4.1	-	-	-	-	-	-
INNOKNOW	わからない	0.2	0.1	-	-	-	-	-	-
	選択者数	1026	1107	-	-	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 では、2000 から 2001 の INNOMARK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、変数ラベルに違いがある。

2000-2010 変数ラベル変更: 「現在の収入源: 年金」 「現在の収入源: 年金(仕事をしていない人)」、 「現在の収入源: 失業保険」 「現在の収入源: 失業保険(仕事をしていない人)」、 「現在の収入源: 貯蓄」 「現在の収入源: 貯蓄(仕事をしていない人)」、 「現在の収入源: 配偶者の収入」 「現在の収入源: 配偶者の収入(仕事をしていない人)」、 「現在の収入源: 親の収入」 「現在の収入源: 親の収入(仕事をしていない人)」、 「現在の収入源: 配偶者・親以外の家族の収入」 「現在の収入源: 配偶者・親以外の家族の収入(仕事をしていない人)」、 「現在の収入源: 社会福祉」 「現在の収入源: 社会福祉(仕事をしていない人)」、 「現在の収入源: 不定期的な仕事」 「現在の収入源: 不定期的な仕事(仕事をしていない人)」、 「現在の収入源: その他」 「現在の収入源: その他(仕事をしていない人)」、 「現在の収入源: わからない」 「現在の収入源: わからない(仕事をしていない人)」。

130. XWORK 就労経験\*

あなたは、これまで収入をとまなう仕事をすることがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	89.8	88.1	85.6	-	92.0	92.2	92.3	92.2
2	いいえ	8.5	10.1	13.5	-	7.1	7.8	7.0	6.7
9	無回答	1.7	1.9	1.0	-	0.9	0.0	0.8	1.0
	n	989	1064	1144	-	776	1624	1549	1927
8	非該当								

\*調査年度によって対象範囲と選択肢のワーディングに違いがある。

2001 までは在学中の者は対象外であるが、2002 以降は在学中で仕事をしていない者も対象範囲に含む。

2003 は尋ねていない。

2000 対象範囲: XJOB1WK (先週の就労経験) に「3 仕事をしていない」人で、在学中ではない人。

2002 対象範囲変更: 在学中かどうかにかかわらず、現在仕事をしていない人。

選択肢ワーディング変更: 「1 ある」 「1 はい」、 「2 ない」 「2 いいえ」。

131. XWORK1Y 1年間以上の就労経験\*

あなたは、その仕事を1年以上続けましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	97.2	97.3	95.7	-	-	-	-	-
2	いいえ	2.8	2.5	4.3	-	-	-	-	-
9	無回答	0.0	0.2	0.0	-	-	-	-	-
	n	888	937	979	-	-	-	-	-
8	非該当								

\*2001 までと 2002 とでは、対象範囲が異なる。2001 までは在学中の者は対象外であるが、2002 では在学中で仕事をしていない者は対象範囲に含む。

2000 対象範囲: 現在は仕事をしていないが過去に収入をとまなう仕事をすることがある者(在学中の者は除く)。

2002 対象範囲変更: 現在は仕事をしていないが過去に収入をとまなう仕事をすることがある者(在学中の者を含む)。

132. WHNSTPWK 離職時期(西暦)\*

最後に収入をとまなう仕事をやめたのはいつですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1945 年以前	2.1	1.1	0.9	-	-	-	-	-
	1946 ~ 1959 年	3.4	2.5	2.5	-	-	-	-	-
	1960 ~ 1969 年	4.5	5.6	4.6	-	-	-	-	-
	1970 ~ 1979 年	6.7	6.9	7.8	-	-	-	-	-
	1980 ~ 1984 年	8.7	8.7	5.4	-	-	-	-	-
	1985 ~ 1989 年	12.4	12.1	10.2	-	-	-	-	-
	1990 ~ 1994 年	18.4	14.6	17.3	-	-	-	-	-
	1995 年	5.7	3.9	3.6	-	-	-	-	-
	1996 年	2.9	6.8	4.9	-	-	-	-	-
	1997 年	5.6	3.4	4.4	-	-	-	-	-
	1998 年	7.1	5.0	6.0	-	-	-	-	-
	1999 年	6.0	6.5	6.1	-	-	-	-	-
	2000 年	7.0	5.0	6.9	-	-	-	-	-
	2001 年	-	7.5	6.4	-	-	-	-	-
	2002 年	-	-	9.1	-	-	-	-	-
99999	無回答	9.6	10.4	3.9	-	-	-	-	-
		n	863	912	937	-	-	-	-

88888 非該当

\*2001 までと 2002 とでは、対象範囲が異なる。2001 までは在学中の者は対象外であるが、2002 では在学中で仕事をしていない者は対象範囲に含む。

2000 対象範囲：XWORK（就労経験）に「1 ある」かつ XWORK1Y（1 年以上の就労経験）に「1 はい」と回答した人。

2002 対象範囲変更：XWORK（就労経験）の対象範囲変更で「学生」の扱いが変わり、在学中で仕事をしていない人を含む。

130. XWORK に「1 はい」の場合

133. AGESTPWK 離職年齢

最後に収入をとまなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	17 ~ 19 歳	-	-	-	-	-	0.5	0.9	0.6
	20 ~ 29 歳	-	-	-	-	-	18.4	16.0	17.3
	30 ~ 39 歳	-	-	-	-	-	8.8	9.9	8.9
	40 ~ 49 歳	-	-	-	-	-	7.0	7.1	6.9
	50 ~ 59 歳	-	-	-	-	-	18.9	20.9	17.2
	60 ~ 69 歳	-	-	-	-	-	34.3	33.8	34.4
	70 ~ 79 歳	-	-	-	-	-	6.1	6.4	7.8
	80 ~ 89 歳	-	-	-	-	-	0.3	0.3	0.5
999	無回答	-	-	-	-	-	5.7	4.7	6.4
		n	-	-	-	-	1497	1429	1777

888 非該当



134. XXSTPJB 離職理由\*

あなたが最後の主な仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	定年など退職（引退）する年齢になった	28.6	28.7	29.2	-	35.3	-	-	-
2	早期退職（引退）を選んだ	2.3	2.5	3.3	-	3.2	-	-	-
3	早期退職（引退）をさせられた	0.5	0.7	0.6	-	0.1	-	-	-
4	健康上の理由で働けなくなった	17.5	16.2	13.7	-	10.5	-	-	-
5	会社が倒産したり、職場が閉鎖された	4.4	4.2	3.7	-	2.5	-	-	-
6	解雇された	2.3	1.6	1.7	-	1.1	-	-	-
7	雇用期間や契約期間が終了した	2.7	2.6	2.3	-	1.7	-	-	-
8	仕事や労働条件等が不満だったので	2.7	3.2	3.9	-	2.2	-	-	-
9	開業や転職のため	0.6	0.5	1.1	-	0.7	-	-	-
10	家族の介護のため	5.2	3.2	4.8	-	3.6	-	-	-
11	結婚したため	15.5	16.3	15.6	-	16.4	-	-	-
12	出産・育児のため	7.6	10.0	6.2	-	7.4	-	-	-
13	その他（ ）	8.5	8.4	12.2	-	6.3	-	-	-
14	わからない	0.9	0.9	1.0	-	0.6	-	-	-
99	無回答	0.7	0.9	0.6	-	8.3	-	-	-
	n	863	912	937	-	714	-	-	-

88 非該当

\*調査年度によって対象範囲と選択肢のワーディングに違いがある。2001 までは在学中の者は対象外であるが、2002 では在学中で仕事をしていない者も対象範囲に含む。また、2002 では1年以上仕事をしたことがない者は対象外であるが、2005 では1年以上仕事をしたことがない者も対象範囲に含む。

2000 対象範囲：XWORK（就労経験）に「1 ある」かつ XWORK1Y（1年以上の就労経験）に「1 はい」と回答した人。

2002 対象範囲変更：XWORK（就労経験）の対象範囲変更で「学生」の扱いが変わり、在学中で仕事をしていない人を含む。  
選択肢ワーディング変更：「4 身体上の事情で働けなくなった」「4 健康上の理由で働けなくなった」。

2005 対象範囲変更：XWORK（就労経験）に「1 はい」と回答した人のみ（直前の XWORK1Y（1年以上の就労経験）削除により、収入を伴う仕事をしたことのある期間が1年以上、という条件がはずれる）。

135. TP12LSTJ 前職の就労地位\*

その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	経営者・役員	2.5	3.7	3.6	-	-	-	-	-
2	常時雇用の一般従事者 役職なし	46.9	46.3	47.2	-	-	-	-	-
3	常時雇用の一般従事者 職長・班長・組長	2.4	3.7	2.7	-	-	-	-	-
4	常時雇用の一般従事者 係長・係長相当職	2.7	1.9	1.3	-	-	-	-	-
5	常時雇用の一般従事者 課長・課長相当職	3.0	3.3	3.7	-	-	-	-	-
6	常時雇用の一般従事者 部長・部長相当職	3.4	3.4	4.3	-	-	-	-	-
7	常時雇用の一般従事者 役職はわからない	1.9	3.1	3.0	-	-	-	-	-
8	臨時雇用・パート・アルバイト	19.1	17.9	20.1	-	-	-	-	-
9	派遣社員	1.0	1.3	0.9	-	-	-	-	-
10	自営業主・自由業者	8.0	7.1	8.0	-	-	-	-	-
11	家族従業者	5.6	4.4	2.7	-	-	-	-	-
12	内職	2.4	1.2	1.0	-	-	-	-	-
13	わからない	0.3	0.7	0.5	-	-	-	-	-
99	無回答	0.7	2.1	1.2	-	-	-	-	-
	n	863	912	937	-	-	-	-	-

88 非該当

\*2001 までと 2002 とでは、対象範囲が異なる。2001 までは在学中の者は対象外であるが、2002 では在学中で仕事をしていない者は対象範囲に含む。

2000 対象範囲：XWORK（就労経験）に「1 ある」かつ XWORK1Y（1年以上の就労経験）に「1 はい」と回答した人（在学中の人は除き、現在仕事をしていないが、過去に1年以上継続して収入を伴う仕事をしたことがある人）。

2002 対象範囲変更：XWORK（就労経験）の対象範囲変更で「学生」の扱いが変わり、在学中で仕事をしていない人を含む。

136. XXLSTWPL 前職の業種\*

あなたが働いていた場所（工場、事務所、商店、病院などの事業所）はどのような事業をしていましたか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
10	農業	6.4	5.2	4.7	-	-	-	-	-
20	林業	0.3	0.3	0.5	-	-	-	-	-
30	漁業	0.8	0.0	0.2	-	-	-	-	-
40	鉱業	0.2	0.3	0.5	-	-	-	-	-
50	建設業	5.1	8.8	6.9	-	-	-	-	-
60	製造業	32.6	26.5	27.6	-	-	-	-	-
70	電気・ガス・熱供給・水道業	0.7	0.4	0.9	-	-	-	-	-
80	運輸業	4.5	4.6	4.9	-	-	-	-	-
91	卸売業	3.5	3.5	3.8	-	-	-	-	-

92	小売業	11.7	11.2	9.9	-	-	-	-	-
93	飲食店	2.4	3.3	3.3	-	-	-	-	-
100	金融・保険業	5.3	5.5	5.1	-	-	-	-	-
110	不動産業	0.8	0.4	1.1	-	-	-	-	-
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	0.6	0.9	0.7	-	-	-	-	-
130	情報・通信サービス業	2.4	2.4	1.7	-	-	-	-	-
140	医療・福祉サービス業	5.6	4.7	6.5	-	-	-	-	-
150	教育・研究サービス業	3.5	4.2	4.1	-	-	-	-	-
160	法律・会計サービス業	0.5	0.1	0.3	-	-	-	-	-
170	その他のサービス業	9.2	12.7	10.9	-	-	-	-	-
180	公務	2.8	3.6	4.4	-	-	-	-	-
190	分類不能の産業	0.7	1.1	0.0	-	-	-	-	-
999	無回答	0.5	0.2	1.8	-	-	-	-	-
	n	863	912	937	-	-	-	-	-

998 非該当

\*2001までと2002とでは、対象範囲が異なる。2001までは在学中の者は対象外であるが、2002では在学中で仕事をしていない者は対象範囲に含む。

2000 対象範囲：XWORK（就労経験）に「1 ある」かつXWORK1Y（1年以上の就労経験）に「1 はい」と回答した人（在学中の人は除き、現在仕事をしていないが、過去に1年以上継続して収入を伴う仕事をしたことがある人）。

2002 対象範囲変更：XWORK（就労経験）の対象範囲変更で「学生」の扱いが変わり、在学中で仕事をしていない人を含む。

### 137. XXLSTJB 前職の職種\*

あなたはそこでどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業...というように）

職業コードを便宜的に分類して集計した。分類カテゴリーの詳細については、資料3.職業コードを参照のこと。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	専門	8.5	9.8	10.7	-	-	-	-	-
	管理	3.8	3.5	5.2	-	-	-	-	-
	事務	30.9	32.1	26.8	-	-	-	-	-
	販売	10.1	12.4	12.7	-	-	-	-	-
	熟練	14.8	11.4	11.4	-	-	-	-	-
	半熟練	15.4	14.8	16.1	-	-	-	-	-
	非熟練	7.4	8.4	9.0	-	-	-	-	-
	農林	7.1	5.7	5.0	-	-	-	-	-
	分類不能	1.6	1.2	2.1	-	-	-	-	-
999	不明、無回答	0.3	0.7	1.0	-	-	-	-	-
	n	863	912	937	-	-	-	-	-

998 非該当

\*2001までと2002とでは、対象範囲が異なる。2001までは在学中の者は対象外であるが、2002では在学中で仕事をしていない者は対象範囲に含む。

2000 対象範囲：XWORK（就労経験）に「1 ある」かつXWORK1Y（1年以上の就労経験）に「1 はい」と回答した人（在学中の人は除き、現在仕事をしていないが、過去に1年以上継続して収入を伴う仕事をしたことがある人）。

2002 対象範囲変更：XWORK（就労経験）の対象範囲変更で「学生」の扱いが変わり、在学中で仕事をしていない人を含む。

### 138. SZSTFLSA 前職の企業規模\*

あなたが最後についていた仕事では、会社・組織全体で従業員(働いていた人)は何人くらいでしたか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1人	3.4	2.7	2.3	-	-	-	-	-
2	2～4人	11.4	11.7	12.2	-	-	-	-	-
3	5～9人	7.8	10.3	7.8	-	-	-	-	-
4	10～29人	15.9	14.5	15.0	-	-	-	-	-
5	30～99人	16.7	17.1	17.8	-	-	-	-	-
6	100～299人	9.5	10.3	10.8	-	-	-	-	-
7	300～499人	3.0	3.5	3.1	-	-	-	-	-
8	500～999人	3.0	2.6	4.7	-	-	-	-	-
9	1,000～1,999人	4.8	3.0	4.2	-	-	-	-	-
10	2,000～9,999人	5.7	5.4	4.7	-	-	-	-	-
11	1万人以上	6.3	4.4	3.9	-	-	-	-	-
12	官公庁	6.0	6.8	6.3	-	-	-	-	-
13	わからない	6.6	7.0	6.2	-	-	-	-	-
99	無回答	0.1	0.7	1.0	-	-	-	-	-
	n	863	912	937	-	-	-	-	-

88 非該当

\*2001までと2002とでは、対象範囲が異なる。2001までは在学中の者は対象外であるが、2002では在学中で仕事をしていない者は対象範囲に含む。

2000 対象範囲：XWORK（就労経験）に「1 ある」かつXWORK1Y（1年以上の就労経験）に「1 はい」と回答した人（在学中の人は除き、現在仕事をしていないが、過去に1年以上継続して収入を伴う仕事をしたことがある人）。

2002 対象範囲変更：XWORK（就労経験）の対象範囲変更で「学生」の扱いが変わり、在学中で仕事をしていない人を含む。

139. SZINLST 前職の年収\*

その仕事からの年間の収入はいくらでしたか。税金、社会保険料、その他が引かれる前の額をお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	なし	0.2	0.3	0.2	-	-	-	-	-
2	70万円未満	16.6	13.6	12.4	-	-	-	-	-
3	70～100万円未満	9.5	10.3	10.8	-	-	-	-	-
4	100～130万円未満	6.1	5.6	6.5	-	-	-	-	-
5	130～150万円未満	3.5	5.8	3.8	-	-	-	-	-
6	150～250万円未満	11.2	11.1	13.3	-	-	-	-	-
7	250～350万円未満	10.3	9.2	9.8	-	-	-	-	-
8	350～450万円未満	5.8	6.3	6.1	-	-	-	-	-
9	450～550万円未満	5.0	3.6	4.4	-	-	-	-	-
10	550～650万円未満	2.2	2.5	3.4	-	-	-	-	-
11	650～750万円未満	1.9	1.9	2.0	-	-	-	-	-
12	750～850万円未満	1.6	1.8	1.8	-	-	-	-	-
13	850～1,000万円未満	2.3	2.1	2.8	-	-	-	-	-
14	1,000～1,200万円未満	1.6	1.4	1.0	-	-	-	-	-
15	1,200～1,400万円未満	0.7	0.2	0.2	-	-	-	-	-
16	1,400～1,600万円未満	0.3	0.2	0.5	-	-	-	-	-
17	1,600～1,850万円未満	0.0	0.0	0.1	-	-	-	-	-
18	1,850～2,300万円未満	0.1	0.3	0.1	-	-	-	-	-
19	2,300万円以上	0.0	0.1	0.4	-	-	-	-	-
20	回答したくない	5.2	5.8	3.6	-	-	-	-	-
21	わからない	15.4	17.0	15.3	-	-	-	-	-
99	無回答	0.3	0.9	1.4	-	-	-	-	-
	n	863	912	937	-	-	-	-	-

88 非該当

\*2001までと2002とでは、対象範囲が異なる。2001までは在学中の者は対象外であるが、2002では在学中で仕事をしていない者は対象範囲に含む。

2000 対象範囲：XWORK（就労経験）に「1 ある」かつXWORK1Y（1年以上の就労経験）に「1 はい」と回答した人（在学中の人は除き、現在仕事をしていないが、過去に1年以上継続して収入を伴う仕事をしたことがある人）。

2002 対象範囲変更：XWORK（就労経験）の対象範囲変更で「学生」の扱いが変わり、在学中で仕事をしていない人を含む。

139. SZINLSTに「19 2,300万円以上」の場合

140. SZHILST 前職の年収:2,300万円以上の場合(具体的記述)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入		0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
999999	無回答	0.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	n	0	1	4	-	-	-	-	-

888888 非該当

141. TP12FSTJ 初職の就労地位\*

その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	経営者・役員	0.4	0.7	0.8	-	0.4	-	-	-
2	常時雇用の一般従事者 役職なし	74.6	73.2	74.5	-	77.2	-	-	-
3	常時雇用の一般従事者 職長・班長・組長	0.6	0.9	0.8	-	0.3	-	-	-
4	常時雇用の一般従事者 係長・係長相当職	0.4	1.0	0.6	-	0.3	-	-	-
5	常時雇用の一般従事者 課長・課長相当職	0.4	0.7	0.6	-	0.3	-	-	-
6	常時雇用の一般従事者 部長・部長相当職	0.1	0.6	0.5	-	0.2	-	-	-
7	常時雇用の一般従事者 その他の役職 (具体的に)	-	-	-	-	0.2	-	-	-
8	常時雇用の一般従事者 役職はわからない	1.5	2.5	2.5	-	2.3	-	-	-
9	臨時雇用・パート・アルバイト	7.9	6.5	6.9	-	7.0	-	-	-
10	派遣社員	0.4	0.5	0.3	-	0.3	-	-	-
11	自営業主・自由業者	4.5	3.9	3.9	-	3.4	-	-	-
12	家族従業者	6.6	5.4	4.8	-	7.0	-	-	-
13	内職	0.4	0.3	0.2	-	0.2	-	-	-
14	わからない	1.0	0.9	0.9	-	0.9	-	-	-
99	無回答	1.1	2.9	2.7	-	0.2	-	-	-
	n	2783	2593	2693	-	1908	-	-	-

88 非該当

\*2001で選択肢を削除、2005で選択肢を追加した。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2000と2001以降とは、対象範囲が異なる。2000は全員が対象範囲であるが、2001以降は直前の質問 XGETJOB (初職の就労時期) で仕事についていたことがないと答えた者を除外している。

2000 対象範囲: 全員

選択肢: 「1 経営者・役員、2 常時雇用の一般従事者・役職なし、3 常時雇用の一般従事者・職長・班長・組長、4 常時雇用の一般従事者・係長・係長相当職、5 常時雇用の一般従事者・課長・課長相当職、6 常時雇用の一般従事者・部長・部長相当職、7 常時雇用の一般従事者・役職はわからない、8 臨時雇用・パート・アルバイト、9 派遣社員、10 自営業主・自由業者、11 家族従業者、12 内職、13 仕事についてたことがない、14 わからない」。

2001 対象範囲変更: XGETJOB (初職の就労時期) で学校教育終了後「3 仕事についてたことがない」と答えた者を除外。

選択肢削除: 「13 仕事についてたことがない」。

2005 選択肢追加: 「7 常時雇用の一般従事者・その他の役職(具体的に)」以下選択肢 7-13 を繰り下げて 8-14。

2000-2010 コード統合: 「1 経営者・役員、2 常時雇用の一般従事者・役職なし、3 常時雇用の一般従事者・職長・班長・組長、4 常時雇用の一般従事者・係長・係長相当職、5 常時雇用の一般従事者・課長・課長相当職、6 常時雇用の一般従事者・部長・部長相当職、7 常時雇用の一般従事者・その他の役職、8 常時雇用の一般従事者・役職はわからない、9 臨時雇用・パート・アルバイト、10 派遣社員、11 自営業主・自由業者、12 家族従業者、13 内職、14 わからない」。

2000の「13 仕事についてたことがない」は「88 非該当」に、2001と2002の「13 わからない」は「14 わからない」にリコード。

148. XGETJOB に「1 すぐついた(3ヶ月たたないうちについた)」「2 3ヶ月以上たってからついた」の場合

142. TPFSTJB 初職の就労形態

あなたが最初についた仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	経営者・役員	-	-	-	-	-	0.0	0.2	0.1
2	常時雇用の一般従業者	-	-	-	-	-	82.2	83.9	84.2
3	臨時雇用(パート・アルバイト・内職)	-	-	-	-	-	7.6	8.0	7.1
4	派遣社員	-	-	-	-	-	0.3	0.4	0.4
5	自営業主・自由業者	-	-	-	-	-	3.6	2.4	2.2
6	家族従業者	-	-	-	-	-	5.4	4.3	5.0
7	わからない	-	-	-	-	-	0.3	0.3	0.2
9	無回答	-	-	-	-	-	0.5	0.4	0.8
	n	-	-	-	-	-	4023	4012	4735

8 非該当

142. TPFSTJB に「2 常時雇用の一般従業者」の場合

143. TPFSTJBP 初職の役職

当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	役職なし	-	-	-	-	-	94.5	94.0	95.4
2	職長・班長・組長など	-	-	-	-	-	0.5	0.5	0.3
3	係長(係長相当)	-	-	-	-	-	0.2	0.6	0.2
4	課長(課長相当)	-	-	-	-	-	0.2	0.3	0.1
5	部長(部長相当)	-	-	-	-	-	0.1	0.1	0.1
6	その他の役職(具体的に)	-	-	-	-	-	0.1	0.2	0.0
7	わからない	-	-	-	-	-	0.2	0.8	0.3
9	無回答	-	-	-	-	-	4.1	3.5	3.5
	n	-	-	-	-	-	3305	3365	3988

8 非該当

## 144. XXFSTWP 初職の業種

あなたが最初に働いていた場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)は、どのような事業をしていましたか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
10 農業	6.5	4.9	4.0	-	5.1	-	-	-
20 林業	0.3	0.3	0.5	-	0.2	-	-	-
30 漁業	0.8	0.3	0.3	-	0.5	-	-	-
40 鉱業	0.3	0.4	0.4	-	0.4	-	-	-
50 建設業	5.2	6.7	6.4	-	6.4	-	-	-
60 製造業	30.8	29.6	30.5	-	28.7	-	-	-
70 電気・ガス・熱供給・水道業	0.8	0.6	0.7	-	0.5	-	-	-
80 運輸業	4.0	3.9	3.5	-	3.8	-	-	-
91 卸売業	4.5	4.5	4.3	-	4.2	-	-	-
92 小売業	11.6	12.3	11.4	-	12.9	-	-	-
93 飲食店	2.3	1.8	2.6	-	2.1	-	-	-
100 金融・保険業	4.2	4.7	4.9	-	4.6	-	-	-
110 不動産業	0.4	0.3	0.4	-	0.3	-	-	-
120 新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	1.0	0.9	1.1	-	0.9	-	-	-
130 情報・通信サービス業	2.1	2.4	2.2	-	2.2	-	-	-
140 医療・福祉サービス業	5.5	5.2	6.4	-	6.3	-	-	-
150 教育・研究サービス業	3.9	4.2	4.2	-	4.1	-	-	-
160 法律・会計サービス業	0.4	0.5	0.3	-	0.8	-	-	-
170 その他のサービス業	8.7	9.8	9.3	-	9.1	-	-	-
180 公務	4.0	4.6	4.6	-	4.8	-	-	-
190 分類不能の産業	0.5	0.6	0.0	-	0.8	-	-	-
987 兵役	0.0	0.0	0.0	-	0.0	-	-	-
999 無回答	2.3	1.2	2.2	-	1.3	-	-	-
n	2783	2593	2693	-	1908	-	-	-
998 非該当								

## 145. XXFSTJB 初職の職種

あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように) 職業コードを便宜的に分類して集計した。分類カテゴリーの詳細については、資料3.職業コードを参照のこと。

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
専門	12.7	13.0	13.7	-	13.6	13.8	14.9	14.5
管理	0.2	0.0	0.1	-	0.1	0.0	0.2	0.0
事務	33.2	32.9	33.1	-	30.4	32.9	29.7	31.2
販売	10.4	11.5	13.5	-	15.7	14.2	16.6	16.5
熟練	14.2	14.3	14.6	-	15.2	15.3	14.2	14.1
半熟練	13.8	14.7	13.8	-	12.6	11.5	12.3	11.9
非熟練	4.6	5.4	4.0	-	3.3	4.2	4.3	3.2
農林	7.1	5.4	4.6	-	5.9	5.2	4.2	4.4
分類不能	1.6	1.7	1.6	-	2.2	1.8	2.6	3.2
999 不明、無回答	2.2	1.1	1.0	-	0.9	1.1	1.1	0.9
n	2783	2593	2693	-	1908	4023	4012	4735
998 非該当								

## 146. XXFSTJBE 初職の職種(ISCO)\*

あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように) 集計は Major group にまとめたものを掲載した。

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
Legislators, senior officials and managers	-	-	-	-	-	0.0	-	-
Professionals	-	-	-	-	-	8.2	-	-
Technicians and associate professionals	-	-	-	-	-	13.0	-	-
Clerks	-	-	-	-	-	29.2	-	-
Service workers and shop and market sales workers	-	-	-	-	-	13.9	-	-
Skilled agricultural and fishery workers	-	-	-	-	-	5.1	-	-
Craft and related trades workers	-	-	-	-	-	10.9	-	-
Plant and machine operators and assemblers	-	-	-	-	-	12.5	-	-
Elementary occupations	-	-	-	-	-	4.8	-	-
Armed forces	-	-	-	-	-	0.7	-	-
99999 不明、無回答	-	-	-	-	-	1.7	-	-
n	-	-	-	-	-	2015	-	-
88888 非該当								

\*2006の留置B票の回答者についてのみ、ISCO-88を用いて作成。

147. SZSTFFST 初職の企業規模\*

同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	1人	1.4	1.4	1.0	-	0.8	0.6	1.1	0.4	
2	2～4人	11.3	11.0	10.0	-	13.6	10.5	9.1	9.3	
3	5～9人	7.8	8.6	9.8	-	8.6	7.5	7.2	7.0	
4	10～29人	13.0	14.1	12.7	-	11.1	12.6	11.7	11.7	
5	30～99人	15.6	14.4	14.2	-	12.6	12.7	13.7	13.2	
6	100～299人	11.2	11.3	12.2	-	10.9	11.7	10.5	12.1	
7	300～499人	4.6	4.5	5.5	-	3.9	4.6	5.6	5.5	
8	500～999人	4.3	4.8	4.9	-	4.8	5.0	5.1	5.7	
9	1,000～1,999人	5.1	5.0	5.4	-	4.8	6.1	7.2	6.1	
10	2,000～9,999人	6.9	6.2	6.7	-	6.7	7.1	7.3	6.8	
11	1万人以上	4.9	5.1	4.8	-	5.4	5.0	5.4	5.7	
12	官公庁	5.6	5.8	6.0	-	9.0	8.4	8.0	8.6	
13	わからない	6.6	7.2	6.2	-	6.9	6.9	7.4	7.4	
99	無回答	1.6	0.7	0.7	-	0.8	1.2	0.6	0.7	
		n	2783	2593	2693	-	1908	4023	4012	4735

88 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2003は尋ねていない。

2000 質問文：「あなたが最初についた職業では、会社・組織全体で従業者（働いていた人）は何人くらいでしたか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。」

2001 質問文ワーディング変更：「あなたが最初についた職業では」「あなたが最初についた仕事では」。

2006 質問文ワーディング変更：「同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。」

148. XGETJOB 初職の就労時期

あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	すぐついた（3ヶ月たたないうちについた）	-	81.1	78.0	-	81.8	83.5	85.1	85.8	
2	3ヶ月以上たってからついた	-	11.9	13.2	-	12.5	11.1	10.0	8.9	
3	仕事についたことはない	-	5.1	5.6	-	3.1	3.4	3.2	3.3	
9	無回答	-	2.0	3.3	-	2.6	2.0	1.7	2.0	
		n	-	2790	2953	-	2023	4254	4220	5003

148. XGETJOBに「1 すぐついた（3ヶ月たたないうちについた）」「2 3ヶ月以上たってからついた」の場合

149. HOWJOB 初職の求職方法

あなたは、どのようにして、その仕事につきましたか。その主なものを1つ答えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	学校の就職指導・紹介で	-	44.7	45.0	-	-	-	-	-
2	公共職業安定所の紹介で	-	2.9	2.3	-	-	-	-	-
3	民間職業紹介所の紹介で	-	0.5	0.5	-	-	-	-	-
4	人材派遣企業に登録して	-	0.1	0.1	-	-	-	-	-
5	広告・求人情報誌等を利用して	-	6.2	5.8	-	-	-	-	-
6	会社に直接応募して（従業先の勧誘を含む）	-	7.7	8.8	-	-	-	-	-
7	家族・親戚の紹介で	-	12.0	12.2	-	-	-	-	-
8	知人の紹介で	-	15.6	16.4	-	-	-	-	-
9	自分で起業・創業して	-	1.2	0.9	-	-	-	-	-
10	家業を継いだ	-	7.5	6.6	-	-	-	-	-
11	わからない	-	0.8	0.7	-	-	-	-	-
99	無回答	-	0.8	0.7	-	-	-	-	-
		n	-	2593	2693	-	-	-	-

88 非該当

150. SSJB1WK 先週の就労経験（配偶者）\*

配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	仕事をした	62.3	60.3	59.8	60.0	61.4	59.8	61.7	59.4	
2	仕事をもっているが、病気・休暇などで先週は仕事を休んだ	0.7	0.7	0.6	0.7	1.2	0.5	0.5	1.0	
3	仕事をしていない	36.6	38.9	39.6	39.1	37.4	39.7	37.7	39.5	
9	無回答	0.4	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	
		n	2099	2061	2182	2703	1473	3115	3056	3629

8 非該当

\*2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

150. SSJB1WK に「3 仕事をしていない」の場合

151. SSTPUNEM 不就労の理由(配偶者)\*

配偶者の方の先週の状態は、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	失業中	-	-	-	-	-	-	1.7	2.3
2	定年などで仕事をやめた	-	-	-	-	-	-	25.6	27.5
3	学生	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1
4	主に家事をしている	-	-	-	-	-	-	62.0	60.1
5	心身上の事情で働けない	-	-	-	-	-	-	5.9	5.9
6	その他(具体的に )	-	-	-	-	-	-	3.2	2.1
7	わからない	-	-	-	-	-	-	0.1	0.1
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.4	1.9
n		-	-	-	-	-	-	1152	1434

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2010 選択肢ワーディング変更: 「5 身体上」 「5 心身上」.

150. SSJB1WK に「1 仕事をした」[2 仕事をもっているが、病気・休暇などで先週は仕事を休んだ]の場合

152. SSJBDWK 就労日数/週(配偶者)\*

配偶者の方はその仕事を先週何日しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
	1日	0.5	0.8	0.7	0.4	1.0	0.6	0.7	1.0
	2日	1.5	1.4	1.7	3.0	2.0	1.9	2.5	1.5
	3日	5.6	3.5	4.1	4.3	5.9	4.7	5.7	5.2
	4日	6.9	4.6	7.9	5.4	5.5	7.6	7.2	7.3
	5日	42.5	44.3	45.4	47.1	43.8	47.4	47.2	49.9
	6日	33.3	33.9	30.3	28.7	31.0	28.9	27.6	27.5
	7日	8.6	10.2	9.0	9.7	9.5	6.9	7.7	6.7
99	無回答	1.1	1.4	0.8	1.2	1.3	2.0	1.4	0.8
n		1321	1257	1318	1642	922	1877	1902	2195

88 非該当

\*2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

153. SSJBHRWK 就労時間数/週(配偶者)\*

配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

主な仕事を週合計で

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
	1~9時間	2.3	2.5	1.6	2.9	2.8	2.0	2.5	2.7
	10~19時間	5.9	3.9	6.2	6.4	6.8	6.6	7.2	6.2
	20~29時間	8.3	9.0	7.8	7.1	7.8	8.9	10.6	10.6
	30~39時間	11.2	8.7	11.3	10.9	8.2	9.6	10.9	8.5
	40~49時間	42.5	42.6	42.3	41.0	42.2	41.7	38.9	42.1
	50~59時間	14.2	15.7	13.6	15.8	15.2	15.3	14.5	13.9
	60~69時間	8.0	8.7	8.5	8.3	8.4	7.1	8.1	9.1
	70~79時間	3.8	3.7	4.2	3.8	4.0	3.8	3.1	3.1
	80時間以上	1.3	1.9	1.4	1.6	2.0	1.6	1.7	1.5
999	無回答	2.6	3.3	3.1	2.2	2.6	3.4	2.5	2.1
n		1321	1257	1318	1642	922	1877	1902	2195

888 非該当

\*2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

154. SSSJBHWK 副業就労時間数/週(配偶者)\*

副業を週合計で

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0 時間	-	-	-	-	-	96.8	96.8	97.7
	1 ~ 9 時間	-	-	-	-	-	0.6	0.7	0.8
	10 ~ 19 時間	-	-	-	-	-	0.3	0.4	0.4
	20 ~ 29 時間	-	-	-	-	-	0.0	0.1	0.1
	30 ~ 39 時間	-	-	-	-	-	0.0	0.2	0.0
	40 ~ 49 時間	-	-	-	-	-	0.0	0.1	0.0
	50 時間以上	-	-	-	-	-	0.1	0.0	0.1
999	無回答	-	-	-	-	-	2.3	1.7	0.9
		n	-	-	-	-	1877	1902	2195

888 非該当

\*2008 以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

155. SSXJBSCH 通常労働時間数/週(配偶者)

配偶者の方は、通常1週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0 時間	-	-	-	-	-	-	0.1	0.0
	1 ~ 9 時間	-	-	-	-	-	-	1.7	2.1
	10 ~ 19 時間	-	-	-	-	-	-	6.4	5.3
	20 ~ 29 時間	-	-	-	-	-	-	10.0	9.5
	30 ~ 39 時間	-	-	-	-	-	-	11.4	9.2
	40 ~ 49 時間	-	-	-	-	-	-	50.4	54.7
	50 ~ 59 時間	-	-	-	-	-	-	7.2	6.4
	60 ~ 69 時間	-	-	-	-	-	-	4.4	4.2
	70 ~ 79 時間	-	-	-	-	-	-	1.9	1.8
	80 時間以上	-	-	-	-	-	-	0.7	0.5
999	無回答	-	-	-	-	-	-	5.9	6.2
		n	-	-	-	-	-	1902	2195

888 非該当

156. SSTP12JB 就労地位(配偶者)\*

配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	経営者・役員	6.1	5.6	6.8	5.8	7.8	-	-	-
2	常時雇用の一般従事者 役職なし	28.2	27.6	28.2	24.5	25.3	-	-	-
3	常時雇用の一般従事者 職長・班長・組長	4.2	3.7	2.7	3.4	4.0	-	-	-
4	常時雇用の一般従事者 係長・係長相当職	5.1	6.7	4.3	5.5	4.6	-	-	-
5	常時雇用の一般従事者 課長・課長相当職	6.7	6.7	7.1	7.2	7.9	-	-	-
6	常時雇用の一般従事者 部長・部長相当職	3.8	4.2	4.2	3.0	3.8	-	-	-
7	常時雇用の一般従事者 その他の役職 (具体的に)	-	-	-	-	0.4	-	-	-
8	常時雇用の一般従事者 役職はわからない	3.7	5.2	4.2	6.7	2.5	-	-	-
9	臨時雇用・パート・アルバイト	16.7	16.5	18.8	17.7	17.2	-	-	-
10	派遣社員	0.5	1.0	0.8	1.0	0.9	-	-	-
11	自営業主・自由業者	16.6	14.1	14.2	16.3	15.0	-	-	-
12	家族従業者	7.1	7.2	6.7	7.7	9.1	-	-	-
13	内職	0.2	0.6	0.7	0.4	1.0	-	-	-
14	わからない	0.9	0.7	1.1	0.7	0.4	-	-	-
99	無回答	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	-	-	-
		n	1321	1257	1318	1642	922	-	-

88 非該当

\*2003 に選択肢を削除、2005 では選択肢を追加した。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

累積データ 2000-2010 では、2002 までの「13 仕事についていない」は「88 非該当」にリコード。

2000 選択肢：「1 経営者・役員、2 常時雇用の一般従事者・役職なし、3 常時雇用の一般従事者・職長・班長・組長、4 常時雇用の一般従事者・係長・係長相当職、5 常時雇用の一般従事者・課長・課長相当職、6 常時雇用の一般従事者・部長・部長相当職、7 常時雇用の一般従事者・役職はわからない、8 臨時雇用・パート・アルバイト、9 派遣社員、10 自営業主・自由業者、11 家族従業者、12 内職、13 仕事についていない、14 わからない」。

2003 選択肢削除：「13 仕事についていない」。

2005 選択肢追加：「7 常時雇用の一般従業者：その他の役職(具体的に)」以下選択肢 7-13 を繰り下げて 8-14。

2000-2010 2005 と同じ。



157. SSTPJOB 就労形態(配偶者)\*

配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	経営者・役員	-	-	-	-	-	6.4	6.4	5.9
2	常時雇用の一般従業者	-	-	-	-	-	51.4	51.0	54.5
3	臨時雇用(パート・アルバイト・内職)	-	-	-	-	-	18.8	21.3	19.9
4	派遣社員	-	-	-	-	-	1.3	1.0	0.7
5	自営業主・自由業者	-	-	-	-	-	14.4	13.6	13.6
6	家族従業者	-	-	-	-	-	7.7	6.5	5.1
7	わからない	-	-	-	-	-	0.0	0.2	0.2
9	無回答	-	-	-	-	-	0.1	0.0	0.1
		n	-	-	-	-	1877	1902	2195

8 非該当

\*2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

157. SSTPJOB に「2 常時雇用の一般従業者」の場合

158. SSTPJOBP 役職(配偶者)\*

配偶者の方の役職は、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	役職なし	-	-	-	-	-	55.3	55.7	53.3
2	職長・班長・組長など	-	-	-	-	-	8.4	9.0	8.5
3	係長(係長相当)	-	-	-	-	-	12.6	11.6	11.2
4	課長(課長相当)	-	-	-	-	-	12.5	12.0	14.7
5	部長(部長相当)	-	-	-	-	-	6.4	6.8	6.4
6	その他の役職(具体的に )	-	-	-	-	-	0.4	0.4	0.6
7	わからない	-	-	-	-	-	3.5	3.8	3.5
9	無回答	-	-	-	-	-	0.7	0.7	1.8
		n	-	-	-	-	965	970	1196

8 非該当

\*2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

157. SSTPJOB に「4 派遣社員」の場合

159. SSTPJBPD 登録派遣(配偶者)

それは、派遣会社に登録するタイプのものですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	63.2	50.0
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	31.6	50.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.3	0.0
		n	-	-	-	-	-	19	16

8 非該当

157. SSTPJOB に「5 自営業主・自由業者」の場合

160. SSTPJBSE 従業員を持つ自営業者(配偶者)

家族以外に従業員を雇っていますか(アルバイトを含みます)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	32.2	31.8
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	67.4	67.2
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.4	1.0
		n	-	-	-	-	-	258	299

8 非該当

## 161. SSXXHQX 業種(配偶者)\*

配偶者の方が働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
10 農業	7.3	5.6	5.1	7.8	6.8	5.1	5.2	4.1
20 林業	0.2	0.0	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3
30 漁業	1.3	0.6	0.5	0.3	0.5	0.5	0.4	0.3
40 鉱業	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0
50 建設業	10.5	10.7	11.3	8.5	10.0	9.5	8.9	10.1
60 製造業	20.5	20.4	22.7	21.9	20.7	20.8	20.0	17.7
70 電気・ガス・熱供給・水道業	0.9	0.8	0.9	1.0	0.7	0.6	1.1	0.9
80 運輸業	4.6	5.0	4.7	4.8	4.3	5.4	5.4	6.0
91 卸売業	3.8	2.6	3.1	3.8	3.3	3.8	3.0	3.1
92 小売業	15.0	13.4	11.5	11.9	11.6	10.8	12.8	11.8
93 飲食店	2.9	2.8	4.4	2.9	4.3	3.6	3.0	3.9
100 金融・保険業	3.4	3.2	2.5	1.9	2.3	2.6	2.6	2.8
110 不動産業	1.1	1.3	1.1	1.5	0.4	1.5	1.2	1.5
120 新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業	0.7	0.6	1.1	0.7	1.0	0.8	0.6	0.8
130 情報・通信サービス業	1.8	2.1	1.7	2.4	2.0	2.2	1.8	3.0
140 医療・福祉サービス業	4.8	6.4	6.7	5.5	9.0	7.6	9.1	9.7
150 教育・研究サービス業	4.0	3.7	3.6	2.9	3.0	4.5	4.5	4.5
160 法律・会計サービス業	0.4	0.6	0.3	0.5	0.9	0.9	0.6	0.5
170 その他のサービス業	9.6	12.6	10.8	13.1	12.8	11.9	12.7	13.0
180 公務	4.5	5.4	5.2	5.9	4.0	5.0	5.0	4.4
190 分類不能の産業	1.4	0.6	0.1	0.9	1.0	0.1	0.7	0.1
999 無回答	1.1	1.4	2.6	1.6	1.2	2.8	1.1	1.6
n	1321	1257	1318	1642	922	1877	1902	2195

998 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2008以降は、同様中にも配偶者とみなして対象範囲に含む。

2010 質問文ワーディング変更: 「働いている場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)」 「働いているお勤め先」.

## 162. SSXXHQXE 業種(配偶者)(ISIC)\*

配偶者の方が働いている場所(工場、事務所、商店などの事業所)は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

集計は Tabulation category にまとめたものを掲載した。

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
Agriculture, hunting and forestry	-	-	-	-	-	5.1	-	-
Fishing	-	-	-	-	-	0.4	-	-
Manufacturing	-	-	-	-	-	21.5	-	-
Electricity, gas and water supply	-	-	-	-	-	0.3	-	-
Construction	-	-	-	-	-	9.1	-	-
Wholesale and retail trade; repair of motor vehicles, motorcycles and personal and household goods	-	-	-	-	-	15.5	-	-
Hotels and restaurants	-	-	-	-	-	4.0	-	-
Transport, storage and communications	-	-	-	-	-	5.7	-	-
Financial intermediation	-	-	-	-	-	3.1	-	-
Real estate, renting and business activities	-	-	-	-	-	8.0	-	-
Public administration and defence	-	-	-	-	-	5.6	-	-
Education	-	-	-	-	-	4.7	-	-
Health and social work	-	-	-	-	-	7.2	-	-
Other community, social and personal service activities	-	-	-	-	-	6.2	-	-
Private households with employed persons	-	-	-	-	-	0.1	-	-
Extra-territorial organizations and bodies	-	-	-	-	-	0.2	-	-
999 分類不能、不明、無回答	-	-	-	-	-	3.1	-	-
n	-	-	-	-	-	922	-	-

888 非該当

\*2006の留置B票の回答者についてのみ、ISIC revision3を用いて作成。

163. SSXXJOB 職種(配偶者)\*

配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお願いします。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)

職業コードを便宜的に分類して集計した。分類カテゴリーの詳細については、資料3.職業コードを参照のこと。

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
専門	12.0	12.8	11.8	11.8	13.0	14.5	14.2	15.3
管理	3.9	3.8	5.7	3.0	3.0	3.5	3.6	3.6
事務	22.1	24.0	25.9	23.2	23.2	24.7	23.3	24.0
販売	16.4	17.1	13.7	15.5	15.5	14.3	15.2	15.3
熟練	14.2	14.8	15.7	18.2	18.2	16.0	15.1	16.2
半熟練	12.9	10.2	12.1	10.7	10.7	11.2	11.8	11.2
非熟練	7.0	7.5	5.7	6.3	6.2	6.9	7.4	6.7
農林	8.5	5.9	6.0	7.3	7.3	5.7	5.6	4.3
分類不能	1.7	2.4	2.1	1.2	1.2	2.0	2.6	2.0
999 不明、無回答	1.4	1.5	1.3	1.5	1.5	1.2	0.9	1.4
n	1321	1257	1318	1642	922	1877	1902	2195

998 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

2006 質問文ワーディング変更:「主な収入の仕事」「仕事」。

164. SSXXJOBE 職種(配偶者)(ISCO)\*

配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお願いします。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)

集計は Major group にまとめたものを掲載した。

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
Legislators, senior officials and managers	-	-	-	-	-	3.4	4.1	6.1
Professionals	-	-	-	-	-	10.0	10.0	10.3
Technicians and associate professionals	-	-	-	-	-	13.1	13.5	12.7
Clearks	-	-	-	-	-	21.9	19.0	19.8
Service workers and shop and market sales workers	-	-	-	-	-	15.1	14.6	15.4
Skilled agricultural and fishery workers	-	-	-	-	-	5.3	4.4	4.8
Craft and related trades workers	-	-	-	-	-	12.6	12.6	12.8
Plant and machine operators and assemblers	-	-	-	-	-	10.8	12.3	9.8
Elementary occupations	-	-	-	-	-	6.6	6.5	6.5
Armed forces	-	-	-	-	-	0.2	0.0	0.3
99999 分類不能、不明、無回答	-	-	-	-	-	1.0	2.8	1.6
n	-	-	-	-	-	922	967	1089

88888 非該当

\*2006以降の留置B票の回答者についてのみ、ISCO-88を用いて作成。

2008から、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

165. SSSZSTFA 企業規模(配偶者)\*

同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1 1人	5.4	4.7	5.1	4.8	5.7	5.3	5.1	5.2
2 2~4人	19.1	18.0	18.3	20.5	20.5	17.5	16.1	14.8
3 5~9人	8.7	8.9	10.2	6.2	9.5	7.8	7.9	8.0
4 10~29人	12.3	10.5	12.0	12.9	9.9	10.8	12.0	11.0
5 30~99人	13.2	15.2	12.1	12.5	11.1	10.4	11.4	11.2
6 100~299人	7.0	8.5	7.7	6.6	8.7	7.4	7.5	7.5
7 300~499人	2.8	2.0	2.7	2.0	3.0	2.5	2.6	3.2
8 500~999人	3.0	3.4	2.8	2.8	3.3	2.8	3.8	3.1
9 1,000~1,999人	3.7	3.2	3.4	3.3	2.7	3.3	2.9	4.1
10 2,000~9,999人	4.3	4.5	4.6	4.1	3.3	4.6	4.9	4.5
11 1万人以上	4.2	4.0	3.6	3.0	4.2	4.0	4.1	4.2
12 官公庁	5.7	5.4	5.5	9.0	6.8	8.0	7.5	8.2
13 わからない	10.4	11.0	11.5	11.5	10.6	14.8	12.9	14.2
99 無回答	0.4	0.8	0.5	0.9	0.7	0.8	1.3	1.0
n	1321	1257	1318	1642	922	1877	1902	2195

88 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

2006 質問文ワーディング変更:「配偶者の方が働いている会社・組織全体で、従業員(働いている人)は何人くらいですか。配偶者自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。」「同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。」。

## 166. SSSZWKYR 就労年数(配偶者)\*

配偶者の方は、現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数をお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
実数記入	0～4年	20.2	20.4	20.0	-	-	23.1	21.7	20.7	
	5～9年	13.6	13.4	14.6	-	-	14.3	15.9	14.7	
	10～19年	23.8	23.1	23.6	-	-	21.0	21.6	23.4	
	20～29年	18.5	19.1	20.6	-	-	18.1	18.3	19.0	
	30年以上	22.1	21.8	20.2	-	-	22.3	21.1	21.2	
999	無回答	1.8	2.2	1.0	-	-	1.2	1.5	1.0	
		n	1321	1257	1318	-	-	1877	1902	2195

888 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

2006 質問文ワーディング変更: 「配偶者の方は、現在の会社・組織に通算何年間働いていますか。」 「現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。」。

## 167. SSSZINCM 配偶者年収:主な仕事\*

(配偶者が仕事をしている方に)配偶者の方の収入は、先ほど上がった主な仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	なし	1.7	1.5	1.4	1.2	1.6	1.5	1.3	0.1	
2	70万円未満	5.8	5.2	5.5	5.9	5.9	4.6	6.8	6.6	
3	70～100万円未満	6.7	7.0	8.0	8.1	8.0	7.0	7.1	7.3	
4	100～130万円未満	4.5	2.9	5.3	4.4	3.9	4.3	5.1	4.8	
5	130～150万円未満	2.7	1.5	3.1	2.6	2.1	2.8	3.1	2.9	
6	150～250万円未満	5.3	6.2	5.2	4.9	6.7	7.3	6.6	8.1	
7	250～350万円未満	8.9	8.3	9.0	7.8	7.0	8.6	8.5	9.2	
8	350～450万円未満	7.7	9.9	8.9	8.8	7.0	8.3	7.4	8.9	
9	450～550万円未満	6.4	6.7	7.0	7.9	7.5	8.2	7.7	7.4	
10	550～650万円未満	5.8	5.7	4.7	6.5	4.4	5.8	5.1	5.6	
11	650～750万円未満	4.5	4.8	4.6	4.9	4.4	4.3	4.9	4.4	
12	750～850万円未満	4.1	3.4	4.4	4.7	3.3	3.0	3.5	3.3	
13	850～1,000万円未満	4.3	4.5	3.6	3.5	2.9	3.0	2.8	2.6	
14	1,000～1,200万円未満	3.0	2.9	3.4	1.8	1.8	1.5	1.4	1.5	
15	1,200～1,400万円未満	1.1	1.2	0.5	0.7	0.4	0.7	0.5	0.3	
16	1,400～1,600万円未満	0.2	0.4	0.5	0.2	0.4	0.2	0.2	0.5	
17	1,600～1,850万円未満	0.4	0.2	0.2	0.3	0.0	0.2	0.4	0.1	
18	1,850～2,300万円未満	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	
19	2,300万円以上	0.2	0.1	0.5	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	
20	回答したくない	11.1	11.5	9.7	10.2	17.0	14.1	13.7	11.6	
21	わからない	14.9	15.4	14.0	14.9	14.4	10.6	8.2	8.1	
99	無回答	0.4	0.8	0.2	0.4	0.5	3.6	5.4	6.2	
		n	1321	1257	1318	1642	922	1877	1904	2196

88 非該当

\*調査年度によって変数ラベル、ワーディングに違いがある。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2006のコード「22 配偶者はいない」「23 仕事はしていない」は、2005までのコード「88 非該当」に相当する。

2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

2002 質問文ワーディング変更: 「昨年度」 「昨年1年間」。

2006 質問文ワーディング変更。

変数ラベル変更: 「年収(配偶者)」 「配偶者年収:主な仕事」

選択肢追加: 「22 配偶者はいない」「23 仕事はしていない」

2006以降のコード「22 配偶者はいない」「23 仕事はしていない」は、2005までのコード「88 非該当」に相当する。

2000-2010 コード統合: 2006 から 2010 の「22 配偶者はいない」「23 仕事はしていない」は「88 非該当」にリコード。

167. SSSZINCM に「19 2,300 万円以上」の場合

168. SSHINCX 年収:2,300 万円以上の場合(具体的記述)(配偶者)

昨年 1 年間の配偶者の方の主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料、その他が引かれる前の額をお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	2,300 万円	0.0	100.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	2,500 万円	0.0	0.0	16.7	0.0	-	-	-	-
	3,000 万円	0.0	0.0	33.3	0.0	-	-	-	-
	4,000 万円	50.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	4,500 万円	0.0	0.0	0.0	50.0	-	-	-	-
	10,000 万円	0.0	0.0	16.7	0.0	-	-	-	-
999999	無回答	50.0	0.0	33.3	50.0	-	-	-	-
		n	2	1	6	2	-	-	-
888888	非該当								

169. SSSZINCA 配偶者年収:全体\*

(現在、配偶者がいる方のみ質問) 配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	なし	-	-	-	-	-	12.8	10.9	10.4
2	70 万円未満	-	-	-	-	-	6.0	7.6	7.3
3	70~100 万円未満	-	-	-	-	-	7.8	7.5	8.5
4	100~130 万円未満	-	-	-	-	-	4.1	4.9	4.9
5	130~150 万円未満	-	-	-	-	-	2.9	3.8	3.3
6	150~250 万円未満	-	-	-	-	-	7.8	7.6	7.9
7	250~350 万円未満	-	-	-	-	-	7.9	7.8	8.0
8	350~450 万円未満	-	-	-	-	-	6.1	5.4	6.6
9	450~550 万円未満	-	-	-	-	-	5.5	5.2	4.8
10	550~650 万円未満	-	-	-	-	-	3.8	3.3	3.6
11	650~750 万円未満	-	-	-	-	-	2.8	3.1	3.1
12	750~850 万円未満	-	-	-	-	-	2.0	2.1	2.3
13	850~1,000 万円未満	-	-	-	-	-	2.0	1.8	1.7
14	1,000~1,200 万円未満	-	-	-	-	-	1.0	0.9	1.0
15	1,200~1,400 万円未満	-	-	-	-	-	0.5	0.4	0.4
16	1,400~1,600 万円未満	-	-	-	-	-	0.1	0.2	0.3
17	1,600~1,850 万円未満	-	-	-	-	-	0.1	0.3	0.1
18	1,850~2,300 万円未満	-	-	-	-	-	0.1	0.1	0.2
19	2,300 万円以上	-	-	-	-	-	0.2	0.2	0.1
20	回答したくない	-	-	-	-	-	10.9	11.4	10.0
21	わからない	-	-	-	-	-	9.0	6.8	6.3
99	無回答	-	-	-	-	-	6.6	8.8	9.3
		n	-	-	-	-	3115	3056	3630
88	非該当								

\*2008 以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2000-2010 コード統合: 2006 から 2010 の「22 配偶者はいない」は「88 非該当」にリコード。

170-179. ここにあげる仕事に関する項目は、あなたにとってどの程度重要であると考えますか。

170. IM5SECUR 仕事に関する意識:雇用の安定

雇用が安定していること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	50.5	53.0	49.1	-	-	-	-	-
2	重要である	40.1	36.9	41.3	-	-	-	-	-
3	どちらともいえない	6.1	5.3	6.4	-	-	-	-	-
4	重要でない	1.3	1.4	1.3	-	-	-	-	-
5	まったく重要でない	0.4	0.8	0.6	-	-	-	-	-
6	わからない	1.5	2.2	1.3	-	-	-	-	-
9	無回答	0.2	0.3	0.1	-	-	-	-	-
		n	2893	2790	2953	-	-	-	-

171. IM5HIPAY 仕事に関する意識: 収入  
高収入であること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	23.3	23.3	21.7	-	-	-	-	-
2	重要である	50.4	48.2	51.4	-	-	-	-	-
3	どちらともいえない	18.7	19.2	20.2	-	-	-	-	-
4	重要でない	5.2	5.7	4.7	-	-	-	-	-
5	まったく重要でない	0.8	1.1	0.6	-	-	-	-	-
6	わからない	1.3	2.0	1.3	-	-	-	-	-
9	無回答	0.3	0.4	0.1	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	2953	-	-	-	-	-

172. IM5PROMO 仕事に関する意識: 昇進機会  
昇進の機会が多いこと

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	7.2	7.9	5.5	-	-	-	-	-
2	重要である	25.1	24.3	25.1	-	-	-	-	-
3	どちらともいえない	38.7	37.2	40.0	-	-	-	-	-
4	重要でない	20.2	20.6	20.8	-	-	-	-	-
5	まったく重要でない	5.7	6.0	5.8	-	-	-	-	-
6	わからない	2.6	3.5	2.4	-	-	-	-	-
9	無回答	0.5	0.5	0.5	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	2953	-	-	-	-	-

173. IM5INTRG 仕事に関する意識: 興味ある仕事  
興味のある仕事であること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	28.9	30.8	29.0	-	-	-	-	-
2	重要である	50.1	47.6	49.3	-	-	-	-	-
3	どちらともいえない	15.1	14.3	15.2	-	-	-	-	-
4	重要でない	3.2	3.2	3.7	-	-	-	-	-
5	まったく重要でない	0.7	0.8	0.6	-	-	-	-	-
6	わからない	1.7	2.7	1.9	-	-	-	-	-
9	無回答	0.3	0.6	0.3	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	2953	-	-	-	-	-

174. IM5INDEP 仕事に関する意識: 仕事の独立性  
干渉されず、独立した仕事であること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	9.9	9.8	9.2	-	-	-	-	-
2	重要である	31.7	30.7	30.6	-	-	-	-	-
3	どちらともいえない	41.7	40.6	42.0	-	-	-	-	-
4	重要でない	11.5	12.8	12.7	-	-	-	-	-
5	まったく重要でない	1.9	1.7	1.9	-	-	-	-	-
6	わからない	2.9	3.5	3.3	-	-	-	-	-
9	無回答	0.4	0.8	0.3	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	2953	-	-	-	-	-

175. IM5OTHER 仕事に関する意識: 人のためになる仕事  
他の人のためになる仕事であること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	16.4	16.7	14.8	-	-	-	-	-
2	重要である	49.3	48.1	50.8	-	-	-	-	-
3	どちらともいえない	25.1	26.0	26.9	-	-	-	-	-
4	重要でない	5.5	5.1	4.3	-	-	-	-	-
5	まったく重要でない	1.0	0.9	0.9	-	-	-	-	-
6	わからない	2.3	2.7	2.2	-	-	-	-	-
9	無回答	0.3	0.7	0.1	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	2953	-	-	-	-	-

176. IM5SOCTY 仕事に関する意識:社会的有益性  
社会にとって有益な仕事であること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	18.5	19.0	17.3	-	-	-	-	-
2	重要である	50.5	49.2	52.7	-	-	-	-	-
3	どちらともいえない	23.2	23.2	22.5	-	-	-	-	-
4	重要でない	4.0	3.9	4.0	-	-	-	-	-
5	まったく重要でない	0.9	0.9	0.8	-	-	-	-	-
6	わからない	2.4	2.9	2.4	-	-	-	-	-
9	無回答	0.5	0.9	0.4	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	2953	-	-	-	-	-

177. IM5FREE 仕事に関する意識:時間的自由  
働く時間、日などを自分で決定できる仕事であること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	11.2	11.2	9.6	-	-	-	-	-
2	重要である	35.4	36.2	36.5	-	-	-	-	-
3	どちらともいえない	35.1	32.6	34.9	-	-	-	-	-
4	重要でない	13.2	13.9	13.2	-	-	-	-	-
5	まったく重要でない	2.1	2.2	2.9	-	-	-	-	-
6	わからない	2.5	3.0	2.5	-	-	-	-	-
9	無回答	0.6	0.9	0.3	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	2953	-	-	-	-	-

178. IM5FAMIL 仕事に関する意識:家庭との両立  
仕事と家庭生活を両立できること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	22.3	23.5	20.7	-	-	-	-	-
2	重要である	52.1	49.3	53.7	-	-	-	-	-
3	どちらともいえない	16.3	17.1	17.7	-	-	-	-	-
4	重要でない	5.5	5.8	4.8	-	-	-	-	-
5	まったく重要でない	1.3	1.3	0.9	-	-	-	-	-
6	わからない	2.1	2.3	2.0	-	-	-	-	-
9	無回答	0.3	0.8	0.2	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	2953	-	-	-	-	-

179. IM5TRG 仕事に関する意識:教育・訓練の機会  
教育・訓練の機会が提供されること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	12.9	12.8	12.5	-	-	-	-	-
2	重要である	43.7	42.8	47.9	-	-	-	-	-
3	どちらともいえない	27.8	27.7	25.7	-	-	-	-	-
4	重要でない	9.4	10.5	8.8	-	-	-	-	-
5	まったく重要でない	2.4	2.4	2.1	-	-	-	-	-
6	わからない	3.4	3.3	2.9	-	-	-	-	-
9	無回答	0.4	0.6	0.2	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	2953	-	-	-	-	-

30. XJOB1WK に「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

180. WLWKCOND 働き方の意向:労働条件に不満

賃金や時間などの自分の労働条件について不満を感じた場合、あなたは次の A・B のどちらの行動をとると思いますか。

A 現在の会社・団体の中でぎりぎりまで改善する努力をする

B 現在の会社・団体に見切りをつけて、より良い条件の仕事や事業を探す

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	A	-	-	-	-	40.7	-	-	-
2	どちらかといえば A	-	-	-	-	24.7	-	-	-
3	どちらかといえば B	-	-	-	-	16.4	-	-	-
4	B	-	-	-	-	9.4	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	8.9	-	-	-
	n	-	-	-	-	1247	-	-	-
8	非該当								

181. WLWKMNG 働き方の意向:経営に不安

会社や団体の今後の経営に不安を覚えた場合、あなたは次のA・Bのどちらの行動をとると思いますか。

- A 現在の会社・団体の中でぎりぎりまで改善する努力をする  
B 現在の会社・団体に見切りをつけて、より安定した仕事や事業を探す

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	A	-	-	-	-	35.1	-	-	-
2	どちらかといえばA	-	-	-	-	23.6	-	-	-
3	どちらかといえばB	-	-	-	-	19.3	-	-	-
4	B	-	-	-	-	12.6	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	9.4	-	-	-
		n	-	-	-	1247	-	-	-
8	非該当								

182. OPCNGJB 転職・勤続への意見

(全員に)働き方に関する次のA・Bの意見のうち、あなたの意見はどちらに近いですか。

- A さまざまな勤め先を経験する方がよい  
B 一つの勤め先に長く勤める方がよい

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	A	-	-	-	-	15.8	-	-	-
2	どちらかといえばA	-	-	-	-	15.1	-	-	-
3	どちらかといえばB	-	-	-	-	35.2	-	-	-
4	B	-	-	-	-	30.4	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	3.6	-	-	-
		n	-	-	-	2023	-	-	-

183-184. あなたは次の意見について、どう思いますか。

183. OPWSLPW 職場の連帯感:私の職場

私の職場では、人々間の連帯感が強い

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	-	-	7.7
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	-	-	24.2
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	-	-	12.5
4	そう思わない	-	-	-	-	-	-	-	9.2
5	働いていない/同僚はいない	-	-	-	-	-	-	-	45.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.9
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

184. OPWSLRES 職場の連帯感:私自身

私は職場の人々との連帯感を強くもっている

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	-	-	8.5
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	-	-	25.8
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	-	-	12.6
4	そう思わない	-	-	-	-	-	-	-	6.7
5	働いていない/同僚はいない	-	-	-	-	-	-	-	45.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.8
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

30. XJOB1WK に「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

185. DOCMT 通勤の有無

あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	およそ__時間__分	-	-	-	82.1	80.9	84.2	85.2	85.9
2	住まいと職場は同じ	-	-	-	14.0	15.4	12.6	11.9	11.2
3	日によって行き先が違う	-	-	-	3.8	3.6	3.0	2.7	2.6
9	無回答	-	-	-	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3
		n	-	-	2132	1247	2630	2671	3076
8	非該当								



186. SZCMTHR 通勤時間:時間

この変数の単純集計は掲載していません。

コード	
88	非該当
99	無回答

187. SZCMTMIN 通勤時間:分

この変数の単純集計は掲載していません。

コード	
888	非該当
999	無回答

185. DOCMT に「1 およそ\_\_時間\_\_分」の場合

188. SZCMTTL 通勤時間:合計

およそ\_\_時間\_\_分

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1 ~ 9 分	-	-	-	17.5	16.2	15.9	13.9	13.2
	10 ~ 19 分	-	-	-	29.1	28.7	28.5	29.9	30.1
	20 ~ 29 分	-	-	-	14.6	14.9	14.2	14.5	15.3
	30 ~ 39 分	-	-	-	12.9	14.1	13.4	15.0	14.5
	40 ~ 49 分	-	-	-	9.7	7.6	8.5	8.1	8.4
	50 ~ 59 分	-	-	-	2.2	2.3	3.2	2.7	3.5
	1 時間 ~ 1 時間半未満	-	-	-	10.6	11.5	12.7	11.9	10.3
	1 時間半 ~ 2 時間未満	-	-	-	2.3	3.3	2.9	3.2	3.8
	2 時間以上	-	-	-	1.1	1.4	0.7	0.7	0.9
9999	無回答	-	-	-	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
n		-	-	-	1750	1009	2214	2277	2643
8888	非該当								

189-196. 通勤手段\*

通勤手段は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
多重回答									
CMTWALK	徒歩のみ	-	-	-	7.5	8.1	-	-	-
CMTBCYL	自転車	-	-	-	16.9	13.5	-	-	-
CMTMCYL	バイク	-	-	-	4.7	4.8	-	-	-
CMTBUS	バス	-	-	-	5.5	6.5	-	-	-
CMTTRAIN	電車	-	-	-	16.7	18.2	-	-	-
CMTCAR	自動車	-	-	-	56.7	58.9	-	-	-
CMTBOAT	船	-	-	-	0.2	0.2	-	-	-
CMTETC	その他 ( )	-	-	-	0.4	0.1	-	-	-
選択者数		-	-	-	1750	1009	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 では、2003 の CMTNOMK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。  
2005 「いずれも選択していない」という変数を作成していない。

197. SZHSINCM 世帯年収\*

昨年 1 年間のあなたの家の世帯収入は、この中のどれにあたりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。仕事からの収入だけでなく、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	なし	0.3	0.3	1.0	0.5	0.9	0.3	0.3	0.2
2	70 万円未満	1.2	1.0	1.1	1.1	1.6	0.6	0.6	0.6
3	70 ~ 100 万円未満	1.2	1.4	1.7	1.6	2.0	1.0	1.2	1.0
4	100 ~ 130 万円未満	1.0	1.6	1.8	1.9	2.2	1.2	1.5	1.3
5	130 ~ 150 万円未満	0.8	1.4	1.1	2.0	1.2	1.6	1.8	1.7
6	150 ~ 250 万円未満	4.4	4.6	5.2	7.2	5.6	5.8	6.1	7.1
7	250 ~ 350 万円未満	7.7	7.6	8.4	8.2	7.5	8.5	9.9	10.2

8	350～450万円未満	8.2	7.9	7.9	8.1	7.5	8.6	8.8	9.3	
9	450～550万円未満	7.1	6.2	7.5	6.7	6.1	8.3	8.6	8.8	
10	550～650万円未満	5.3	5.4	6.0	6.0	4.5	6.4	6.8	7.1	
11	650～750万円未満	5.0	4.9	5.6	5.0	4.4	5.6	5.8	5.9	
12	750～850万円未満	6.2	5.1	4.5	4.6	3.5	5.4	5.1	5.2	
13	850～1,000万円未満	6.7	6.7	5.1	5.2	4.8	5.7	5.4	5.1	
14	1,000～1,200万円未満	5.9	5.6	4.1	4.0	3.1	3.9	3.6	3.4	
15	1,200～1,400万円未満	2.9	2.9	2.1	1.6	1.9	2.0	1.8	1.5	
16	1,400～1,600万円未満	1.8	1.4	1.5	1.3	1.4	1.2	1.1	1.0	
17	1,600～1,850万円未満	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.8	0.7	
18	1,850～2,300万円未満	0.9	0.7	0.9	0.5	0.6	0.4	0.5	0.5	
19	2,300万円以上	0.7	0.5	0.6	0.4	0.6	0.8	0.8	0.6	
20	回答したくない	9.3	11.5	9.7	11.5	15.3	11.9	11.6	10.2	
21	わからない	22.0	21.5	20.6	19.8	23.6	19.4	17.0	17.6	
99	無回答	0.3	0.9	2.8	1.9	0.7	0.8	1.0	1.2	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*調査年度によって尋ね方とワーディングに違いがある。

2002 質問文ワーディング変更：「あなたの世帯全体の昨年一年間の収入について」 「昨年1年間のあなたの世帯収入」。

2006 尋ね方変更：世帯収入を単独設問で尋ねる 世帯収入、本人、本人の主な仕事、配偶者、配偶者の主な仕事、をまとめて尋ねる。  
質問文ワーディング変更：「あなたの世帯収入」 「あなたの家の世帯収入」。

197. SZHSINCM に「19 2,300万円以上」の場合

198. SZHSHINC 世帯年収:2,300万円以上の場合(具体的記述)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	2,300万円	4.8	7.1	5.9	0.0	-	-	-	-
	2,380万円	0.0	0.0	5.9	0.0	-	-	-	-
	2,400万円	4.8	0.0	5.9	0.0	-	-	-	-
	2,500万円	4.8	14.3	5.9	0.0	-	-	-	-
	2,600万円	9.5	0.0	5.9	0.0	-	-	-	-
	2,800万円	0.0	0.0	0.0	13.3	-	-	-	-
	3,000万円	9.5	0.0	35.3	13.3	-	-	-	-
	3,500万円	4.8	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	4,000万円	0.0	7.1	0.0	6.7	-	-	-	-
	4,300万円	4.8	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
	6,800万円	0.0	0.0	0.0	6.7	-	-	-	-
	10,000万円	0.0	0.0	5.9	0.0	-	-	-	-
999999	無回答	57.1	71.4	29.4	60.0	-	-	-	-
		n	21	14	17	15	-	-	-
888888	非該当								

199. SZEXHOUS 世帯支出:住宅費

あなたの世帯全体で、昨年1年間に住宅にかかった支出は、どのくらいですか。おおよその額をお教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	なし	-	-	26.4	-	-	-	-	-
2	10万円未満	-	-	6.0	-	-	-	-	-
3	10～30万円未満	-	-	7.3	-	-	-	-	-
4	30～50万円未満	-	-	6.5	-	-	-	-	-
5	50～100万円未満	-	-	12.9	-	-	-	-	-
6	100～150万円未満	-	-	8.4	-	-	-	-	-
7	150～200万円未満	-	-	3.7	-	-	-	-	-
8	200～250万円未満	-	-	2.6	-	-	-	-	-
9	250～300万円未満	-	-	1.6	-	-	-	-	-
10	300～400万円未満	-	-	1.2	-	-	-	-	-
11	400～500万円未満	-	-	0.7	-	-	-	-	-
12	500～600万円未満	-	-	0.8	-	-	-	-	-
13	600万円以上	-	-	1.5	-	-	-	-	-
14	回答したくない	-	-	3.9	-	-	-	-	-
15	わからない	-	-	16.1	-	-	-	-	-
99	無回答	-	-	0.3	-	-	-	-	-
		n	-	-	2953	-	-	-	-

199. SZEEXHOUS に「13 600 万円以上」の場合

200. SZEEXHIHS 世帯支出:住宅費が 600 万以上の場合(具体的記述)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	650 万円	-	-	4.7	-	-	-	-	-
	700 万円	-	-	4.7	-	-	-	-	-
	800 万円	-	-	11.6	-	-	-	-	-
	900 万円	-	-	4.7	-	-	-	-	-
	1,000 万円	-	-	4.7	-	-	-	-	-
	1,100 万円	-	-	2.3	-	-	-	-	-
	1,200 万円	-	-	4.7	-	-	-	-	-
	1,250 万円	-	-	2.3	-	-	-	-	-
	1,900 万円	-	-	2.3	-	-	-	-	-
	2,000 万円	-	-	7.0	-	-	-	-	-
	2,500 万円	-	-	2.3	-	-	-	-	-
	3,000 万円	-	-	4.7	-	-	-	-	-
	5,000 万円	-	-	2.3	-	-	-	-	-
999999	無回答			41.9	-	-	-	-	-
		n	-	43	-	-	-	-	-
888888	非該当								

201. SZEEXED 世帯支出:教育費(子どもを持ったことがある人)\*

昨年 1 年間にかかった、あなたの子どもの教育費は、世帯全体でこの中のどれにあたりますか。社会人入学の学費は除きます。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	なし	-	-	-	-	-	3.9	-	-
2	3 万円未満	-	-	-	-	-	1.3	-	-
3	3 ~ 5 万円未満	-	-	-	-	-	1.0	-	-
4	5 ~ 10 万円未満	-	-	-	-	-	1.4	-	-
5	10 ~ 15 万円未満	-	-	-	-	-	1.6	-	-
6	15 ~ 20 万円未満	-	-	-	-	-	1.8	-	-
7	20 ~ 30 万円未満	-	-	-	-	-	3.2	-	-
8	30 ~ 50 万円未満	-	-	-	-	-	5.8	-	-
9	50 ~ 100 万円未満	-	-	-	-	-	5.1	-	-
10	100 ~ 200 万円未満	-	-	-	-	-	5.3	-	-
11	200 ~ 300 万円未満	-	-	-	-	-	2.2	-	-
12	300 ~ 400 万円未満	-	-	-	-	-	0.8	-	-
13	400 ~ 500 万円未満	-	-	-	-	-	0.1	-	-
14	500 万円以上	-	-	-	-	-	0.3	-	-
15	すべての子どもが学業を終えている	-	-	-	-	-	61.5	-	-
16	回答したくない	-	-	-	-	-	0.5	-	-
17	わからない	-	-	-	-	-	3.8	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	0.4	-	-
		n	-	-	-	-	3345	-	-

88 非該当

\*単年度データでは同一の変数名で組み込まれているが、2002 と 2006 とでは対象範囲が異なるため、累積データ 2000-2010 では 2002 単年度の変数名を SZEEXED から SZEEXED02 に変更した。

累積データ 2000-2010 では「これまでに子どもを持ったことがある」者を対象とした 2006 単年度データのみが入っている。

累積データ 2000-2010 では、変数ラベルを変更している。

全員を対象とした 2002 単年度データは、SZEEXED02 (世帯支出:教育費(全員))を参照のこと。

2000-2010 変数ラベル変更:「世帯支出:教育費」、「世帯支出:教育費(子どもを持ったことがある人)」。

202. SZEEXED02 世帯支出:教育費(全員)\*

昨年 1 年間にかかった「子ども」の教育費は、あなたの世帯全体でどのくらいですか。おおよその額をお教えてください。ただし、社会人入学の場合は除きます。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	なし	-	-	32.6	-	-	-	-	-
2	3 万円未満	-	-	1.7	-	-	-	-	-
3	3 ~ 5 万円未満	-	-	0.9	-	-	-	-	-
4	5 ~ 10 万円未満	-	-	1.5	-	-	-	-	-
5	10 ~ 15 万円未満	-	-	1.9	-	-	-	-	-
6	15 ~ 20 万円未満	-	-	1.5	-	-	-	-	-
7	20 ~ 30 万円未満	-	-	2.3	-	-	-	-	-
8	30 ~ 50 万円未満	-	-	4.4	-	-	-	-	-
9	50 ~ 100 万円未満	-	-	5.9	-	-	-	-	-
10	100 ~ 200 万円未満	-	-	4.0	-	-	-	-	-
11	200 ~ 300 万円未満	-	-	2.2	-	-	-	-	-
12	300 ~ 400 万円未満	-	-	0.9	-	-	-	-	-

13	400～500万円未満	-	-	0.4	-	-	-	-	-
14	500万円以上	-	-	0.1	-	-	-	-	-
15	世帯に「子ども」はいない	-	-	27.8	-	-	-	-	-
16	回答したくない	-	-	1.3	-	-	-	-	-
17	わからない	-	-	8.3	-	-	-	-	-
18	本人は学生	-	-	1.5	-	-	-	-	-
99	無回答	-	-	0.8	-	-	-	-	-
		n	-	2953	-	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数.

2002 単年度データの SZEXED (世帯支出:教育費) の値と同じ.

202. SZEXED02 に「14 500万円以上」の場合

203. SZEXHIED 世帯支出:教育費が<sup>6</sup>500万円以上の場合(具体的記述)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	600万円	-	-	100.0	-	-	-	-	-
99999	無回答	-	-	0.0	-	-	-	-	-
		n	-	2	-	-	-	-	-
88888	非該当								

204. HHSIZE 世帯規模(本人含む) 統合\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
実数記入	1人	7.7	7.7	8.4	8.3	8.5	8.0	8.7	8.2	
	2人	24.6	26.8	24.6	27.0	26.1	26.9	27.2	28.2	
	3人	22.4	21.6	22.0	21.8	23.4	22.7	24.8	24.0	
	4人	21.3	21.7	20.4	20.1	21.5	22.0	20.3	21.1	
	5人	12.5	11.4	12.3	11.0	9.1	10.9	10.0	9.7	
	6人	7.3	7.0	8.1	7.4	7.5	5.6	6.1	5.8	
	7人	3.0	2.7	2.8	3.1	3.2	2.8	2.2	2.2	
	8人	0.8	0.8	0.8	0.7	0.5	1.0	0.5	0.4	
	9人	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	
	10人	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	
	11人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
999	無回答	0.1	0.0	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.2	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数.

一時別居している人を除く、本人を含む世帯規模を集計している.

205. SZFFHERE 同居家族人数

あなたが一緒に住んでいるご家族の方は、あなたを含めて何人ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1人	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-
	2人	24.6	26.8	-	-	-	-	-	-
	3人	22.4	21.6	-	-	-	-	-	-
	4人	21.3	21.7	-	-	-	-	-	-
	5人以上	23.9	22.2	-	-	-	-	-	-
999	無回答	0.1	0.0	-	-	-	-	-	-
		n	2893	2790	-	-	-	-	-

206. SZFFAWAY 別居家族人数

単身赴任、学業、入院、福祉施設などに入所しているなどの理由で、一時的に別居しているご家族の方はいらっしゃいますか。いらっしゃる場合は、その人数をお教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0人	86.1	85.4	-	-	-	-	-	-
	1人	10.3	10.7	-	-	-	-	-	-
	2人	2.8	3.0	-	-	-	-	-	-
	3人	0.5	0.4	-	-	-	-	-	-
	4人	0.1	0.3	-	-	-	-	-	-
	5人以上	0.0	0.1	-	-	-	-	-	-
99	無回答	0.1	0.0	-	-	-	-	-	-
		n	2893	2790	-	-	-	-	-

207. FFRESIDE 同居の有無(本人)\*

あなたはご家族と一緒に住みますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	家族と一緒に生活	-	-	91.8	91.8	-	-	-	-
2	家族(自宅)から一時的に離れて生活	-	-	0.3	0.4	-	-	-	-
3	本人のみ(ひとり暮らし)	-	-	7.7	7.6	-	-	-	-
4	その他(友人などと同居)	-	-	0.2	0.2	-	-	-	-
9	無回答	-	-	0.0	0.0	-	-	-	-
	n	-	-	2953	3663	-	-	-	-

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2003 選択肢ワーディング変更: 「2 家族から一時的に離れて生活」 「2 家族(自宅)から一時的に離れて生活」.

207. FFRESIDE に「2 家族(自宅)から一時的に離れて生活」の場合

208. FFSEPPWHY 別居の理由(本人)

その理由は、次のうちどれですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	単身赴任	-	-	80.0	71.4	-	-	-	-
2	学業	-	-	0.0	7.1	-	-	-	-
3	長期入院	-	-	0.0	7.1	-	-	-	-
4	老人福祉施設・社会福祉施設に入所	-	-	0.0	0.0	-	-	-	-
5	その他の理由・わからない	-	-	0.0	0.0	-	-	-	-
6	回答拒否	-	-	10.0	7.1	-	-	-	-
9	無回答	-	-	10.0	7.1	-	-	-	-
	n	-	-	10	14	-	-	-	-
8	非該当								

209. SZFFONLY 家族人数(本人除く)\*

あなたが一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0人	-	-	-	-	8.5	8.0	8.7	8.2
	1人	-	-	24.6	27.2	26.1	26.9	27.2	28.2
	2人	-	-	21.7	22.1	23.4	22.7	24.8	24.0
	3人	-	-	23.3	23.2	21.5	22.0	20.3	21.1
	4人	-	-	15.1	12.9	9.1	10.9	10.0	9.7
	5人以上	-	-	15.3	14.6	11.4	9.5	9.0	8.7
999	無回答	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
	n	-	-	2722	3378	2023	4254	4220	5003
888	非該当								

\*2003 までは家族のいる者を対象とし「ひとり暮らし」「友人などとの同居」をしている者は除いていたが、2005 以降は全員を対象としている。

2002 対象範囲: 家族のいる者 (FFRESIDE (同居の有無) で「3 本人のみ(ひとり暮らし)」「4 その他(友人などとの同居)」をしている者は除く)。

2005 対象範囲変更: 全員。

210. SZFFTTL 家族人数(本人含む)\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1人	-	-	-	-	8.5	-	8.7	8.2
	2人	-	-	24.6	27.2	26.1	-	27.2	28.2
	3人	-	-	21.7	22.1	23.4	-	24.8	24.0
	4人	-	-	23.3	23.2	21.5	-	20.3	21.1
	5人以上	-	-	30.4	27.5	20.6	-	19.0	18.4
999	無回答	-	-	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.2
	n	-	-	2722	3378	2023	-	4220	5003
888	非該当								

\*2003 までは家族のいる者を対象とし「ひとり暮らし」「友人などとの同居」をしている者は除いていたが、2005 以降は全員を対象としている。

2002 対象範囲: 家族のいる者 (FFRESIDE (同居の有無) で「3 本人のみ(ひとり暮らし)」「4 その他(友人などとの同居)」をしている者は除く)。

2005 対象範囲変更: 全員。

## 211. SZFFOUT 一時的な別居家族の人数\*

あなたには、ここにあげるような理由で一時的に離れて暮らしているご家族がいますか。例えば、「単身赴任」や「離れた大学に通う」等の理由です。いらっしゃる場合、何人ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0人	-	-	88.1	89.4	86.0	84.5	88.1	89.0
	1人	-	-	9.2	8.6	9.8	11.6	8.7	8.6
	2人	-	-	2.3	1.6	2.6	2.7	2.3	1.9
	3人	-	-	0.3	0.2	0.7	0.7	0.6	0.4
	4人	-	-	0.1	0.1	0.4	0.4	0.2	0.1
	5人以上	-	-	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
999	無回答	-	-	0.0	0.1	0.4	0.0	0.0	0.0
		n	-	2722	3378	2023	4254	4220	5003

888 非該当

\*調査年度によって変数ラベル、質問文のワーディングに違いがある。

2003までは家族のいる者を対象とし「ひとり暮らし」「友人などとの同居」をしている者は除いていたが、2005以降は全員を対象としている。

2002 対象範囲：家族のいる者 (FFRESIDE (同居の有無) で「3 本人のみ (ひとり暮らし)」「4 その他 (友人などとの同居)」をしている者は除く)。

2005 対象範囲変更：全員。

変数ラベル変更：「別居家族人数 (本人除く)」「一時的な別居家族の人数」。

2008 質問文ワーディング変更：「例えば、『単身赴任』や『離れた大学に通う』等の理由です。」追加。

212-319. 今あげていただいたご家族全員について、おうかがいします。あなたとの続柄、性別、年齢、自宅に住んでいるかどうか、また一時的に自宅を出ている方については、その理由を順におっしゃってください。

## FF01MARK 家族01:本人\*

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当

\*2001までは全員が対象であったが、2002、2003では「ひとり暮らし」「その他 (友人など同居)」を除いている。

2000 対象範囲：全員。

2002 対象範囲変更：家族のいる者 (FFRESIDE (同居の有無) で「3 本人のみ (ひとり暮らし)」「4 その他 (友人などとの同居)」を除く)。

## FF[02-10]MARK 家族[02-10]:有無\*

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当

\*2001までは全員が対象であったが、2002、2003では「ひとり暮らし」「その他 (友人など同居)」を除いている。

2000 対象範囲：全員。

2002 対象範囲変更：家族のいる者 (FFRESIDE (同居の有無) で「3 本人のみ (ひとり暮らし)」「4 その他 (友人などとの同居)」を除く)。

## FF[01-10]SEX 家族[01-10]:性別\*

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	男
2	女
8	非該当
9	無回答

\*2001までは全員が対象であったが、2002、2003では「ひとり暮らし」「その他 (友人など同居)」を除いている。2006は同居家族のみに性別を尋ねている。

2000 対象範囲：全員。本人含む。

2002 対象範囲変更：家族のいる者 (FFRESIDE (同居の有無) で「3 本人のみ (ひとり暮らし)」「4 その他 (友人などとの同居)」を除く)、本人含む。

2006 対象範囲変更：「3 本人のみ (ひとり暮らし)」以外の者。「4 その他 (友人など同居)」は含む、本人は含まない。

FF[01-10]REL 家族[01-10]:続柄\*

この変数の単純集計は記載していません。

コード		コード		コード	
00	本人	29	五女	60	本人の祖父
01	夫	30	孫(男)	61	本人の祖母
02	妻	31	孫(女)	62	配偶者の祖父
03	子	32	孫の配偶者	63	配偶者の祖母
10	子(男)	33	ひ孫(男)	64	兄の子
11	長男	34	ひ孫(女)	65	弟の子
12	次男	35	孫	66	姉の子
13	三男	40	本人の父	67	妹の子
14	長男の妻	41	本人の母	68	甥
15	次男の妻	42	配偶者の父	69	姪
16	三男の妻	43	配偶者の母	71	父母の兄弟姉妹
17	四男	44	兄の妻	72	父母の兄弟姉妹の配偶者
18	四男の妻	45	弟の妻	73	おじ
19	五男	46	姉の夫	74	おば
20	子(女)	47	妹の夫	75	おじ・おばの子
21	長女	50	兄	76	曾祖父
22	次女	51	弟	77	曾祖母
23	三女	52	姉	80	親(男)
24	長女の夫	53	妹	81	親(女)
25	次女の夫	54	配偶者の兄	88	非該当
26	三女の夫	55	配偶者の弟	90	使用人・雇い人
27	四女	56	配偶者の姉	97	その他・不明
28	四女の夫	57	配偶者の妹	99	無回答・ノーコメント

\*2001までは全員が対象であったが、2002、2003では「ひとり暮らし」「その他(友人など同居)」を除いている。2006は同居家族のみに続柄を尋ねている。別居家族の続柄はFFO[01-06]REL(一時的な別居家族[01-06]:続柄)。

2000 対象範囲: 全員、本人含む。

2002 対象範囲変更: 家族のいる者(FPRESIDE(同居の有無)で「3 本人のみ(ひとり暮らし)」「4 その他(友人など同居)」を除く)、本人含む。

2006 対象範囲変更: 「3 本人のみ(ひとり暮らし)」以外の者。「4 その他(友人など同居)」は含む、本人は含まない。

FF[01-10]AGE 家族[01-10]:年齢\*

この変数の単純集計は記載していません。

コード  
実数記入

888 非該当  
999 無回答

\*2001までは全員が対象であったが、2002、2003では「ひとり暮らし」「その他(友人など同居)」を除いている。2006は同居家族のみに年齢を尋ねている。

2000 対象範囲: 全員、本人含む。

2002 対象範囲変更: 家族のいる者(FPRESIDE(同居の有無)で「3 本人のみ(ひとり暮らし)」「4 その他(友人など同居)」を除く)、本人含む。

2006 対象範囲変更: 「3 本人のみ(ひとり暮らし)」以外の者。「4 その他(友人など同居)」は含む、本人は含まない。

FF[01-10]HERE 家族[01-10]:同居の有無

この変数の単純集計は記載していません。

コード  
1 同居  
2 別居  
8 非該当  
9 無回答

FF[01-10]WHY 家族[01-10]:別居の理由

この変数の単純集計は記載していません。

コード  
1 単身赴任  
2 学業  
3 入院  
4 老人福祉施設・社会福祉施設に入所  
5 その他の理由・わからない  
6 回答拒否  
8 非該当  
9 無回答

FF[01-10]HOME 家族[01-10]: 自宅在住か\*

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- 1 自宅
- 2 その他
- 8 非該当
- 9 無回答

\*「ひとり暮らし」「その他(友人などと同居)」は対象範囲から除く。

2002 対象範囲: 家族のいる者(FPRESIDE(同居の有無)で「3 本人のみ(ひとり暮らし)」「4 その他(友人などとの同居)」を除く)、本人含む。

FF[01-10]OUT 家族[01-10]: 一時的に自宅を出ている理由\*

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- 1 単身赴任
- 2 学業
- 3 長期入院
- 4 老人福祉施設・社会福祉施設に入所
- 5 その他の理由・わからない
- 6 回答拒否
- 8 非該当
- 9 無回答

\*「ひとり暮らし」「その他(友人などと同居)」は対象範囲から除く。

2002 対象範囲: 家族のいる者(FPRESIDE(同居の有無)で「3 本人のみ(ひとり暮らし)」「4 その他(友人などとの同居)」を除く)、本人含む。

FF[01-10]HEAD 家族[01-10]: 世帯主

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- 1 世帯主である
- 2 世帯主でない
- 8 非該当
- 9 無回答

FF[01-09]MG 家族[01-09]: 結婚状況\*

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- 1 現在、配偶者がいる
- 2 離別
- 3 死別
- 4 未婚
- 5 離婚を前提に別居中
- 6 同棲中
- 8 非該当
- 9 無回答

\*同居家族のみに尋ねている。

FF[01-09]JOB 家族[01-09]: 就労の有無\*

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- 1 している
- 2 していない
- 8 非該当
- 9 無回答

\*同居家族のみに尋ねている。



320. FFHEAD 世帯主\*

あなたの家の世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「夫の母」など、あなたからみた続柄でお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	本人	-	-	40.2	40.2	47.0	47.7	49.0	47.8
1	夫	-	-	35.6	39.9	34.1	34.4	34.1	34.6
2	妻	-	-	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
11	長男	-	-	3.9	3.6	3.4	2.6	2.1	2.4
12	次男	-	-	0.3	0.5	0.2	0.3	0.2	0.3
13	三男	-	-	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14	長男の妻	-	-	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
15	次男の妻	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17	四男	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21	長女	-	-	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
22	次女	-	-	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
23	三女	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24	長女の夫	-	-	0.6	0.7	0.5	0.4	0.4	0.4
25	次女の夫	-	-	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.1
26	三女の夫	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
27	四女	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30	孫(男)	-	-	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
40	父	-	-	10.5	10.4	9.9	9.8	10.3	10.3
41	母	-	-	1.4	1.6	2.0	1.7	1.5	2.1
42	義父(配偶者の父)	-	-	1.2	1.3	1.7	1.3	0.9	0.8
43	義父(配偶者の母)	-	-	0.2	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2
44	兄の妻	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
45	弟の妻	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
46	姉の夫	-	-	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
47	妹の夫	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
50	兄	-	-	0.2	0.1	0.0	0.2	0.2	0.2
51	弟	-	-	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1
52	姉	-	-	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
55	配偶者の弟	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
56	配偶者の姉	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60	祖父	-	-	0.2	0.2	0.1	0.3	0.3	0.2
61	祖母	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
62	義理の祖父(配偶者の祖父)	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
69	姪	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
73	おじ	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
97	続柄がその他のもの	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
99	無回答	-	-	4.7	0.4	0.2	0.5	0.0	0.1
		n	-	2722	3378	2023	4254	4220	5003

88 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2003 までは家族のいる者を対象とし「ひとり暮らし」「友人などとの同居」をしている者は除いていたが、2005 以降は全員を対象としている。

2002 対象範囲：家族のいる者( FFRESIDE(同居の有無)で「3 本人のみ(ひとり暮らし)」「4 その他(友人などとの同居)」を除く)。

2005 対象範囲変更：全員。

2006 質問文ワーディング変更：「続柄」「あなたからみた続柄」。

以下の変数は FF[01-10]REL から作成した世帯員変数

321. FFSELF 世帯員変数:本人	コード	0 非選択	1 選択	8 非該当
322. FFHH 世帯員変数:夫	コード	0 非選択	1 選択	8 非該当
323. FFWW 世帯員変数:妻	コード	0 非選択	1 選択	8 非該当
324. FFCCX 世帯員変数:子	コード	実数記入		88 非該当
325. FFCCMX 世帯員変数:子(男)	コード	実数記入		88 非該当
326. FFCCM1 世帯員変数:長男	コード	0 非選択	1 選択	8 非該当
327. FFCCM2 世帯員変数:次男	コード	0 非選択	1 選択	8 非該当
328. FFCCM3 世帯員変数:三男	コード	0 非選択	1 選択	8 非該当
329. FFCCM1WW 世帯員変数:長男の妻	コード	0 非選択	1 選択	8 非該当
330. FFCCM2WW 世帯員変数:次男の妻	コード	0 非選択	1 選択	8 非該当
331. FFCCM3WW 世帯員変数:三男の妻	コード	0 非選択	1 選択	8 非該当
332. FFCCM4 世帯員変数:四男	コード	0 非選択	1 選択	8 非該当
333. FFCCM4WW 世帯員変数:四男の妻	コード	0 非選択	1 選択	8 非該当
334. FFCCM5 世帯員変数:五男	コード	0 非選択	1 選択	8 非該当

335. FFCCFX	世帯員変数:子(女)	ユ-ト	実数記入		88	非該当
336. FFCCF1	世帯員変数:長女	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
337. FFCCF2	世帯員変数:次女	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
338. FFCCF3	世帯員変数:三女	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
339. FFCCF1HH	世帯員変数:長女の夫	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
340. FFCCF2HH	世帯員変数:次女の夫	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
341. FFCCF3HH	世帯員変数:三女の夫	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
342. FFCCF4	世帯員変数:四女	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
343. FFCCF4HH	世帯員変数:四女の夫	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
344. FFCCF5	世帯員変数:五女	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
345. FFCCGMX	世帯員変数:孫(男)	ユ-ト	実数記入		88	非該当
346. FFCCGFX	世帯員変数:孫(女)	ユ-ト	実数記入		88	非該当
347. FFCCGSPX	世帯員変数:孫の配偶者	ユ-ト	実数記入		88	非該当
348. FFCCGGMX	世帯員変数:ひ孫(男)	ユ-ト	実数記入		88	非該当
349. FFCCGAFX	世帯員変数:ひ孫(女)	ユ-ト	実数記入		88	非該当
350. FFCCGX	世帯員変数:孫	ユ-ト	実数記入		88	非該当
351. FFPP	世帯員変数:父	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
352. FFMM	世帯員変数:母	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
353. FFPPLAW	世帯員変数:義父(配偶者の父)	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
354. FFMMLAW	世帯員変数:義母(配偶者の母)	ユ-ト	0 非選択	1 選択	8	非該当
355. FFBREWWX	世帯員変数:兄の妻	ユ-ト	実数記入		88	非該当
356. FFBRYWWX	世帯員変数:弟の妻	ユ-ト	実数記入		88	非該当
357. FFSIEHHX	世帯員変数:姉の夫	ユ-ト	実数記入		88	非該当
358. FFSIYHHX	世帯員変数:妹の夫	ユ-ト	実数記入		88	非該当
359. FFBREX	世帯員変数:兄	ユ-ト	実数記入		88	非該当
360. FFBRYX	世帯員変数:弟	ユ-ト	実数記入		88	非該当
361. FFSISEX	世帯員変数:姉	ユ-ト	実数記入		88	非該当
362. FFSISYX	世帯員変数:妹	ユ-ト	実数記入		88	非該当
363. FFSPBREX	世帯員変数:配偶者の兄	ユ-ト	実数記入		88	非該当
364. FFSPBRYX	世帯員変数:配偶者の弟	ユ-ト	実数記入		88	非該当
365. FFSPSEX	世帯員変数:配偶者の姉	ユ-ト	実数記入		88	非該当
366. FFSPSYX	世帯員変数:配偶者の妹	ユ-ト	実数記入		88	非該当
367. FFPPGX	世帯員変数:祖父	ユ-ト	実数記入		88	非該当
368. FFMMGX	世帯員変数:祖母	ユ-ト	実数記入		88	非該当
369. FFSPPPGX	世帯員変数:義理の祖父(配偶者の祖父)	ユ-ト	実数記入		88	非該当
370. FFSPMMGX	世帯員変数:義理の祖母(配偶者の祖母)	ユ-ト	実数記入		88	非該当
371. FFBRECCX	世帯員変数:兄の子	ユ-ト	実数記入		88	非該当
372. FFBRYCCX	世帯員変数:弟の子	ユ-ト	実数記入		88	非該当
373. FFSIECCX	世帯員変数:姉の子	ユ-ト	実数記入		88	非該当
374. FFSIYCCX	世帯員変数:妹の子	ユ-ト	実数記入		88	非該当
375. FFSBCCMX	世帯員変数:甥	ユ-ト	実数記入		88	非該当
376. FFSBCCFX	世帯員変数:姪	ユ-ト	実数記入		88	非該当
377. FFUNATX	世帯員変数:父母の兄弟姉妹	ユ-ト	実数記入		88	非該当
378. FFUNASPX	世帯員変数:父母の兄弟姉妹の配偶者	ユ-ト	実数記入		88	非該当
379. FFUNX	世帯員変数:おじ	ユ-ト	実数記入		88	非該当
380. FFATX	世帯員変数:おば	ユ-ト	実数記入		88	非該当
381. FFUNACCX	世帯員変数:おじ・おばの子	ユ-ト	実数記入		88	非該当
382. FFPPGGX	世帯員変数:曾祖父	ユ-ト	実数記入		88	非該当
383. FFMMGGX	世帯員変数:曾祖母	ユ-ト	実数記入		88	非該当
384. FFPPNS	世帯員変数:親(男)	ユ-ト	実数記入		88	非該当
385. FFMMNS	世帯員変数:親(女)	ユ-ト	実数記入		88	非該当
386. FFSTAFF	世帯員変数:使用人・雇い人	ユ-ト	実数記入		88	非該当
387. FFETCX	世帯員変数:その他	ユ-ト	実数記入		88	非該当

388. SPAGEX 配偶者の年齢\*

配偶者の方の年齢を教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	20～29歳	4.8	3.9	4.7	4.0	3.9	3.0	2.9	3.1
	30～39歳	14.3	14.2	13.3	14.2	14.0	15.7	14.8	14.8
	40～49歳	19.8	20.5	20.0	16.6	17.5	17.4	19.3	18.5
	50～59歳	24.8	25.7	25.9	23.8	24.2	24.1	22.9	20.9
	60～69歳	23.3	19.6	21.5	23.2	21.9	22.3	23.0	24.7
	70～79歳	10.3	13.0	11.6	14.7	15.1	13.8	13.2	13.9
	80～89歳	2.2	2.2	1.8	2.7	2.6	2.5	3.1	3.5
	90歳以上	0.0	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
999	無回答	0.5	0.6	0.9	0.5	0.7	1.2	0.7	0.6
	n	2095	2056	2173	2698	1473	3115	3056	3629

888 非該当

\*2003 までは、配偶者の年齢を直接尋ねておらず世帯員の年齢から配偶者を抜き出している。

2005 では配偶者の9月1日現在の年齢を直接尋ねている。

2006 は配偶者の現在の年齢を直接尋ねた留置 B 票 SPAGEZ (配偶者の年齢 (留置 B 票のみ)) と世帯員の年齢の両方を利用している。

2008 以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。2008 以降は 2005 と同様に、年齢を直接尋ねている。

389. SPLVTG 配偶者との同居\*

配偶者の方とは一緒に暮らしていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	同居	-	-	-	-	98.2	-	98.3	98.3
2	別居 (単身赴任中)	-	-	-	-	1.1	-	1.2	1.1
3	別居 (その他の理由)	-	-	-	-	0.7	-	0.5	0.5
9	無回答	-	-	-	-	0.0	-	0.0	0.0
	n	-	-	-	-	1473	-	3056	3629

8 非該当

\*2008 以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

390. PPLVTG 父親:同居・生死\*

あなた自身のお父様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	同居	-	-	-	-	12.7	12.1	12.8	12.9
2	別居	-	-	-	-	25.1	26.8	27.6	26.7
3	死亡	-	-	-	-	61.7	61.2	59.4	60.2
9	無回答	-	-	-	-	0.5	0.0	0.2	0.1
	n	-	-	-	-	2023	4254	4220	5003

\*調査年度によって尋ね方に違いがある。

2005 尋ね方: 生死・同別居を併せて尋ねる。

2006 尋ね方・質問文ワーディング変更: まず存命かどうかを尋ね、次に存命の親のみに同別居を尋ねる。

2008 尋ね方変更: 生死・同別居を併せて実父・実母のみに尋ねる。

391. PPAGE 父親:年齢\*

お父様の年齢を教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	30～39歳	-	-	-	-	0.0	0.0	0.1	0.1
	40～49歳	-	-	-	-	2.2	2.7	1.9	1.8
	50～59歳	-	-	-	-	23.9	21.9	18.4	16.9
	60～69歳	-	-	-	-	27.9	30.9	32.0	33.5
	70～79歳	-	-	-	-	26.1	26.5	26.4	28.1
	80～89歳	-	-	-	-	11.0	13.6	14.8	14.1
	90歳以上	-	-	-	-	1.9	2.1	3.1	2.7
999	無回答	-	-	-	-	7.1	2.4	3.4	2.9
	n	-	-	-	-	775	1652	1715	1989

888 非該当

\*調査年度によって尋ね方に違いがある。

2005 は、9月1日現在の年齢を尋ねている。

2006 は、調査票では「別居している」父親の面接調査時の年齢を尋ねているが、データ上は FF[01-09]REL (家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]AGE (家族[01-09]:年齢) の回答から「同居している」父親の年齢のデータを補填して集計している。

2008 以降は、存命の父親の年齢を直接尋ねている。

392. PPMG 父親:結婚状況\*

お父様の現在の婚姻状態を教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	現在、配偶者がいる	-	-	-	-	-	87.4	83.0	86.2
2	離別	-	-	-	-	-	3.5	3.5	3.2
3	死別	-	-	-	-	-	8.0	8.7	7.4
4	未婚	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0
5	離婚を前提に別居中	-	-	-	-	-	0.1	-	-
6	同棲中	-	-	-	-	-	0.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.0	4.7	3.2
		n	-	-	-	-	1652	1715	1989

8 非該当

\*調査年度によって尋ね方、ワーディングに違いがある。

2006 は、調査票では「別居している」父親の結婚状況を尋ねているが、データ上は FF[01-09]REL (家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]MG (家族[01-09]:結婚状況)の回答から「同居している」父親の結婚状況のデータを補填して集計している。

2008 以降は存命の父親の結婚状況を直接尋ねている。

2008 で選択肢を削除した。

2008 質問文ワーディング変更:「その方(存命の実父、実母、配偶者の父、配偶者の母)は、現在、配偶者がいますか。順に教えてください。」 「お父様、お母様の現在の婚姻状態を教えてください。」

選択肢削除:「5 離婚を前提に別居中」「6 同棲中」。

393. PPFAM 父親:同居者\*

お父様は、誰かと一緒に暮らしていますか。この中からあてはまるもの1つを選んで、順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	あなた(回答者本人)	-	-	-	-	-	31.1	-	-
1	あなたの既婚の兄や弟	-	-	-	-	-	11.4	-	-
2	あなたの既婚の姉や妹	-	-	-	-	-	3.3	-	-
3	あなたの未婚の兄弟姉妹	-	-	-	-	-	7.6	-	-
4	夫婦で二人暮らし	-	-	-	-	-	33.8	-	-
5	一人暮らし	-	-	-	-	-	5.8	-	-
6	施設に入所	-	-	-	-	-	1.3	-	-
7	その他	-	-	-	-	-	2.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.7	-	-
		n	-	-	-	-	1652	-	-

8 非該当

\*調査票では「別居している」父親の同居者を尋ねているが、データ上は FF[01-09]REL (家族[01-09]:続柄)から「同居している」父親のデータを補填して集計したため、コードに「0 あなた(回答者本人)」を追加している。

394. PPJOB 父親:就労の有無\*

お父様は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	している	-	-	-	-	-	52.5	49.2	48.7
2	していない	-	-	-	-	-	45.5	47.5	49.1
9	無回答	-	-	-	-	-	2.1	3.3	2.2
		n	-	-	-	-	1652	1715	1989

8 非該当

\*調査年度によって尋ね方に違いがある。

2006 は、調査票では「別居している」父親の就労の有無を尋ねているが、データ上は FF[01-09]REL (家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]JOB (家族[01-09]:就労の有無)の回答から「同居している」父親の就労の有無のデータを補填して集計している。

2008 以降は、存命の父親の就労状況を直接尋ねている。

390. PPLVTG に「2 別居」の場合

395. PPDIST 父親:家までの距離

お父様は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。この中から選んで順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	隣、同じ建物、同じ通り	-	-	-	-	-	4.1	-	-
2	歩いて15分以内	-	-	-	-	-	10.9	-	-
3	車や電車等で30分以内	-	-	-	-	-	28.1	-	-
4	車や電車等で1時間以内	-	-	-	-	-	17.6	-	-
5	車や電車等で3時間以内	-	-	-	-	-	17.2	-	-
6	それより遠い	-	-	-	-	-	17.8	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	4.2	-	-
		n	-	-	-	-	1138	-	-

8 非該当

396. PPCNTA 父親:接触頻度(直接)

お父様と直接会うことは、どのくらいありますか。この中から選んで順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	7.0	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	9.0	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	13.6	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	25.1	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	29.5	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	6.9	-	-
7	年に1回もない	-	-	-	-	-	5.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.1	-	-
n		-	-	-	-	-	1138	-	-
8	非該当								

397. PPCNTB 父親:接触頻度(間接)

お父様とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。この中から選んで順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	3.8	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	12.3	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	19.4	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	28.6	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	17.5	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	2.8	-	-
7	年に1回もない	-	-	-	-	-	12.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.7	-	-
n		-	-	-	-	-	1138	-	-
8	非該当								

398. MMLVTG 母親:同居・生死\*

あなた自身のお母様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	同居	-	-	-	-	18.7	17.4	18.2	18.9
2	別居	-	-	-	-	34.7	38.5	38.4	37.3
3	死亡	-	-	-	-	46.1	44.1	43.2	43.7
9	無回答	-	-	-	-	0.5	0.0	0.2	0.1
n		-	-	-	-	2023	4254	4220	5003

\*調査年度によって尋ね方に違いがある。

2005 尋ね方: 生死・同別居を併せて尋ねる。

2006 尋ね方・質問文ワーディング変更: まず存命かどうかを尋ね、次に存命の親のみに同別居を尋ねる。

2008 尋ね方変更: 生死・同別居を併せて実父・実母のみに尋ねる。

399. MMAGE 母親:年齢\*

お母様の年齢を教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	30～39歳	-	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.1
	40～49歳	-	-	-	-	4.3	3.8	3.3	3.1
	50～59歳	-	-	-	-	20.9	20.7	18.1	16.9
	60～69歳	-	-	-	-	24.6	25.3	26.9	28.3
	70～79歳	-	-	-	-	23.1	23.4	23.8	24.0
	80～89歳	-	-	-	-	16.8	19.0	19.6	19.6
	90歳以上	-	-	-	-	5.8	6.1	5.5	5.8
999	無回答	-	-	-	-	4.5	1.7	2.8	2.2
n		-	-	-	-	1090	2378	2398	2817
888	非該当								

\*調査年度によって尋ね方に違いがある。

2005 は、9月1日現在の年齢を尋ねている。

2006 は、調査票では「別居している」母親の面接調査時の年齢を尋ねているが、データ上は FF[01-09]REL (家族[01-09]: 続柄)、FF[01-09]AGE (家族[01-09]: 年齢) の回答から「同居している」母親の年齢のデータを補填して集計している。

2008 以降は、存命の母親の年齢を直接尋ねている。

400. MMMG 母親:結婚状況\*

お母様の現在の婚姻状態を教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	現在、配偶者がいる	-	-	-	-	-	60.7	59.2	60.6
2	離別	-	-	-	-	-	4.3	3.5	3.6
3	死別	-	-	-	-	-	33.8	32.3	31.5
4	未婚	-	-	-	-	-	0.0	0.0	0.2
5	離婚を前提に別居中	-	-	-	-	-	0.2	-	-
6	同棲中	-	-	-	-	-	0.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.0	5.0	4.1
		n	-	-	-	-	2378	2398	2817

8 非該当

\*調査年度によって尋ね方、ワーディングの違いがある。

2006 は、調査票では「別居している」母親の結婚状況を尋ねているが、データ上は FF[01-09]REL (家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]MG (家族[01-09]:結婚状況)の回答から「同居している」母親の結婚状況のデータを補填して集計している。

2008 以降は存命の母親の結婚状況を直接尋ねている。

2008 で選択肢を削除した。

2008 質問文ワーディング変更:「その方(存命の実父、実母、配偶者の父、配偶者の母)は、現在、配偶者がいますか。順に教えてください。」 「お父様、お母様の現在の婚姻状態を教えてください。」

選択肢削除:「5 離婚を前提に別居中」「6 同棲中」。

401. MMFAM 母親:同居者\*

お母様は、誰かと一緒に暮らしていますか。この中からあてはまるもの1つを選んで、順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	あなた(回答者本人)	-	-	-	-	-	31.2	-	-
1	あなたの既婚の兄や弟	-	-	-	-	-	15.8	-	-
2	あなたの既婚の姉や妹	-	-	-	-	-	4.9	-	-
3	あなたの未婚の兄弟姉妹	-	-	-	-	-	6.8	-	-
4	夫婦で二人暮らし	-	-	-	-	-	23.5	-	-
5	一人暮らし	-	-	-	-	-	10.3	-	-
6	施設に入所	-	-	-	-	-	3.1	-	-
7	その他	-	-	-	-	-	2.6	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.9	-	-
		n	-	-	-	-	2378	-	-

8 非該当

\*調査票では「別居している」母親の同居者を尋ねているが、データ上は FF[01-09]REL (家族[01-09]:続柄)から「同居している」母親のデータを補填して集計したため、コードに「0 あなた(回答者本人)」を追加している。

402. MMJOB 母親:就労の有無\*

お母様は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	している	-	-	-	-	-	30.2	28.5	29.4
2	していない	-	-	-	-	-	68.3	68.2	68.0
9	無回答	-	-	-	-	-	1.5	3.3	2.6
		n	-	-	-	-	2378	2398	2817

8 非該当

\*調査年度によって尋ね方に違いがある。

2006 は、調査票では「別居している」母親の就労の有無を尋ねているが、データ上は FF[01-09]REL (家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]JOB (家族[01-09]:就労の有無)の回答から「同居している」母親の就労の有無のデータを補填して集計している。

2008 以降は、存命の母親の就労状況を直接尋ねている。

398. MMLVTG に「2 別居」の場合

403. MMDIST 母親:家までの距離

お母様は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。この中から選んで順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	隣、同じ建物、同じ通り	-	-	-	-	-	4.3	-	-
2	歩いて15分以内	-	-	-	-	-	11.0	-	-
3	車や電車等で30分以内	-	-	-	-	-	30.0	-	-
4	車や電車等で1時間以内	-	-	-	-	-	16.7	-	-
5	車や電車等で3時間以内	-	-	-	-	-	18.3	-	-
6	それより遠い	-	-	-	-	-	17.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.8	-	-
		n	-	-	-	-	1636	-	-

8 非該当

404. MMCNTA 母親: 接触頻度(直接)

お母様と直接会うことは、どのくらいありますか。この中から選んで順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	7.8	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	9.3	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	14.9	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	26.4	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	27.3	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	7.9	-	-
7	年に1回もない	-	-	-	-	-	3.8	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.6	-	-
8	非該当	n	-	-	-	-	1636	-	-

405. MMCNTB 母親: 接触頻度(間接)

お母様とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。この中から選んで順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	5.6	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	14.6	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	22.9	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	27.4	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	13.0	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	1.6	-	-
7	年に1回もない	-	-	-	-	-	11.4	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.5	-	-
8	非該当	n	-	-	-	-	1636	-	-

406. CCNUMTTL 子どもの人数\*

これまでにおもちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
実数記入	0人	21.6	22.0	20.6	20.0	21.1	21.0	22.1	21.8	
	1人	13.1	14.2	13.6	14.0	14.1	12.8	13.8	13.4	
	2人	39.5	39.5	41.9	41.6	42.7	42.9	42.0	43.4	
	3人	20.7	19.2	19.2	19.5	17.9	19.4	18.7	18.3	
	4人	3.5	3.7	3.3	3.5	3.1	2.9	2.3	2.2	
	5人以上	1.3	1.3	1.1	1.2	0.9	0.5	1.0	0.8	
999	無回答	0.2	0.2	0.3	0.1	0.1	0.4	0.1	0.1	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*2003までは実子のみ的人数であるが、2005以降は養子・連れ子も含んでいる。

2000 対象範囲：子ども＝独立した子ども・死亡を含めた実子のみ（養子・連れ子は含まない）。

2005 対象範囲変更：養子・連れ子も含んだ全ての子ども。

407-532. そのお子様全員についてうかがいます。お子様全員の性別、生まれた年、ご健在かどうかをお聞かせください。

CC[01-08]MARK 子ども[01-08]: 有無

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当

CC[01-08]BORN 子ども[01-08]: 生年

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
88888	非該当
99999	無回答

CC[01-08]EOB 子ども[01-08]:生年(元号)  
この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	大正
2	昭和
3	平成
8	非該当
9	無回答

CC[01-08]YOB 子ども[01-08]:生年(年)  
この変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
888	非該当
999	無回答

CC[01-10]SEX 子ども[01-10]:性別\*  
この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	男
2	女
8	非該当
9	無回答

\*2003 までは、実子を対象としているが、2005 以降は養子・連れ子も含んでいる。  
2000 対象範囲：子ども = 独立した子ども・死亡を含めた実子のみ（養子・連れ子は含まない）。  
2005 対象範囲変更：養子・連れ子も含んだ全ての子ども。

CC[01-08]LIVE 子ども[01-08]:生死  
この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	存命
2	死亡
3	不明
8	非該当
9	無回答

CC[01-10]LVTG 子ども[01-10]:同居・生死\*  
そのお子様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。  
この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	同居
2	別居
3	死亡
8	非該当
9	無回答

\*調査年度によって尋ね方とワーディングに違いがある。  
2005 尋ね方：子どもについてまとめて尋ねる。  
2006 尋ね方・質問文ワーディング変更：「あなたと一緒に暮らしていますか。」と直接尋ねる。

CC[01-10]AGE 子ども[01-10]:年齢\*  
そのお子様の年齢を教えてください。  
この変数の単純集計は記載していません。

コード	
実数記入	
888	非該当
999	無回答

\*2002 までは実子、2005 以降は養子・連れ子も含んだ存命の全ての子どもについて尋ねている。  
 2006 は、調査票で「別居している」子どもの年齢を尋ねているが、データ上は FF[01-09]REL（家族[01-09]:続柄）、FF[01-09]AGE（家族[01-09]:年齢）の回答から「同居している」子どもの年齢のデータを補填して集計している。  
 2006 以外は、存命の全ての子どもの年齢を直接尋ねている。  
2000 対象範囲：子ども = 存命の実子のみ（養子・連れ子は含まない）。  
2005 対象範囲変更：養子・連れ子も含んだ存命の子ども。  
2006 調査票では「別居している」子どもの年齢を尋ねているが、データ上は FF[01-09]REL、FF[01-09]AGE の回答から「同居している」子どもの年齢のデータを補填して集計している。  
2008 尋ね方変更：存命の子ども（養子・連れ子も含む）の年齢を同別居にかかわらず直接尋ねる。



CC[01-10]MG 子ども[01-10]:結婚状況\*

そのお子様の現在の婚姻状態を教えてください。

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- 1 現在、配偶者がいる
- 2 離別
- 3 死別
- 4 未婚
- 5 離婚を前提に別居中
- 6 同棲中
- 8 非該当
- 9 無回答

\*2006 は、調査票で「別居している」子どもの結婚状況を尋ねているが、データ上は FF[01-09]REL (家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]MG (家族[01-09]:結婚状況)の回答から「同居している」子どもの結婚状況のデータを補填して集計している。

2008 以降は、存命の全ての子ども(養子・連れ子も含む)に直接尋ねている。

CC[01-10]JOB 子ども[01-10]:就労の有無\*

そのお子様は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- 1 している
- 2 していない
- 8 非該当
- 9 無回答

\*2006 は、調査票で「別居している」子どもの就労の有無を尋ねているが、データ上は FF[01-09]REL (家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]JOB (家族[01-09]:就労の有無)の回答から「同居している」子どもの就労の有無のデータを補填して集計している。

2008 以降は、存命の全ての子ども(養子・連れ子も含む)に直接尋ねている。

CC[01-09]SCH 子ども[01-09]:就学

その方は、すでに学業を終えていますか。順に教えてください。

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- 1 終えている
- 2 まだ終えていない
- 3 亡くなっている
- 8 非該当
- 9 無回答

CC[01-09]DIST 子ども[01-09]:家までの距離

その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。この中から選んで順に教えてください。

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- 1 隣、同じ建物、同じ通り
- 2 歩いて 15 分以内
- 3 車や電車等で 30 分以内
- 4 車や電車等で 1 時間以内
- 5 車や電車等で 3 時間以内
- 6 それより遠い
- 8 非該当
- 9 無回答

CC[01-09]CNTA 子ども[01-09]:接触頻度(直接)

その方と直接会うことは、どのくらいありますか。この中から選んで順に教えてください。

この変数の単純集計は記載していません。

コード

- 1 ほぼ毎日
- 2 週に数回
- 3 週に 1 回程度
- 4 月に 1 回程度
- 5 年に数回
- 6 年に 1 回程度
- 7 年に 1 回もない
- 8 非該当
- 9 無回答

CC[01-09]CNTB 子ども[01-09]:接触頻度(間接)

その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。この中から選んで順に教えてください。

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	ほぼ毎日
2	週に数回
3	週に1回程度
4	月に1回程度
5	年に数回
6	年に1回程度
7	年に1回もない
8	非該当
9	無回答

533. SZFFOTHER その他の家族の人数

ここまで、あなたの配偶者、あなた自身のご両親、お子様についてうかがいました。それ以外の方で、あなたと一緒に暮らしている方はいますか。例えば、お子様の配偶者、お孫さん、ごきょうだい、配偶者のご両親などです。いらっしゃる場合、その人数を教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0人	-	-	-	-	76.8	-	78.4	79.9
	1人	-	-	-	-	9.6	-	10.2	9.7
	2人	-	-	-	-	5.9	-	5.7	5.0
	3人	-	-	-	-	5.1	-	3.6	3.4
	4人	-	-	-	-	2.2	-	1.7	1.5
	5人以上	-	-	-	-	0.3	-	0.4	0.3
999	無回答	-	-	-	-	0.0	-	0.0	0.1
		n	-	-	-	2023	-	4220	5003

534-554. その全員について、あなたからみた続柄、性別、年齢を教えてください。

FFH[01-07]REL その他の家族[01-07]:続柄

この変数の単純集計は記載していません。

コード		コード		コード	
00	本人	29	五女	60	祖父
01	夫	30	孫(男)	61	祖母
02	妻	31	孫(女)	62	義理の祖父(配偶者の祖父)
03	子	32	孫の配偶者	63	義理の祖母(配偶者の祖母)
10	子(男)	33	ひ孫(男)	64	兄の子
11	長男	34	ひ孫(女)	65	弟の子
12	次男	35	孫	66	姉の子
13	三男	40	父	67	妹の子
14	長男の妻	41	母	68	甥
15	次男の妻	42	義父(配偶者の父)	69	姪
16	三男の妻	43	義母(配偶者の母)	71	父母の兄弟姉妹
17	四男	44	兄の妻	72	父母の兄弟姉妹の配偶者
18	四男の妻	45	弟の妻	73	おじ
19	五男	46	姉の夫	74	おば
20	子(女)	47	妹の夫	75	おじ・おばの子
21	長女	50	兄	76	曾祖父
22	次女	51	弟	77	曾祖母
23	三女	52	姉	80	親(男)
24	長女の夫	53	妹	81	親(女)
25	次女の夫	54	配偶者の兄	88	非該当
26	三女の夫	55	配偶者の弟	97	続柄がその他のもの
27	四女	56	配偶者の姉	99	無回答
28	四女の夫	57	配偶者の妹		

FFH[01-07]SEX その他の家族[01-07]:性別

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	男
2	女
8	非該当
9	無回答

FFH[01-07]AGE その他の家族[01-07]:年齢\*

この変数の単純集計は記載していません。

コード

実数記入

888 非該当

999 無回答

\*2005 は、9月1日現在の年齢を尋ねている。

555-560. あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

555. XNUMBROE 兄弟姉妹人数(兄)

兄

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0人	54.5	56.2	55.2	-	52.9	55.8	54.9	56.6
	1人	29.1	26.8	26.7	-	29.5	28.0	29.1	28.0
	2人	10.0	9.5	11.3	-	10.5	9.3	10.4	9.4
	3人	3.4	3.8	4.2	-	4.3	3.9	3.2	3.2
	4人	1.6	1.3	1.4	-	1.8	1.5	1.2	1.3
	5人以上	0.8	1.1	0.9	-	0.7	0.7	0.9	0.9
999	無回答	0.5	1.2	0.3	-	0.2	0.9	0.4	0.6
	n	2893	2790	2953	-	2023	4254	4220	5003

556. XNUMSISE 兄弟姉妹人数(姉)

姉

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0人	52.3	53.8	53.9	-	52.9	56.8	56.2	56.1
	1人	28.6	27.2	28.1	-	29.3	26.7	28.3	28.1
	2人	10.8	10.6	10.8	-	10.7	10.0	9.5	9.6
	3人	4.8	4.8	4.0	-	3.9	3.5	3.3	3.5
	4人	2.0	1.5	1.9	-	2.1	1.6	1.4	1.5
	5人以上	1.1	0.8	1.0	-	1.0	0.5	0.9	0.6
999	無回答	0.5	1.2	0.3	-	0.2	0.9	0.4	0.6
	n	2893	2790	2953	-	2023	4254	4220	5003

557. XNUMSELF 兄弟姉妹人数(本人)

この変数の単純集計は記載していません。

558. XNUMBROY 兄弟姉妹人数(弟)

弟

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0人	57.0	54.4	54.8	-	56.5	56.4	59.5	58.5
	1人	28.9	29.0	29.7	-	29.4	30.3	28.4	30.0
	2人	9.2	10.3	10.1	-	9.7	8.9	8.0	7.9
	3人	2.9	3.8	3.5	-	2.8	2.3	2.5	2.2
	4人	0.8	0.8	1.0	-	0.8	0.8	0.7	0.6
	5人以上	0.6	0.5	0.5	-	0.5	0.3	0.4	0.3
999	無回答	0.5	1.2	0.3	-	0.2	0.9	0.4	0.6
	n	2893	2790	2953	-	2023	4254	4220	5003

559. XNUMSISY 兄弟姉妹人数(妹)

妹

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0人	57.4	57.1	58.1	-	57.1	58.1	61.5	60.1
	1人	27.5	28.4	27.4	-	29.4	28.7	26.4	27.8
	2人	9.9	9.0	10.2	-	9.0	8.1	7.9	8.4
	3人	3.0	2.6	2.8	-	2.3	2.8	2.6	2.2
	4人	1.0	1.2	0.8	-	1.4	1.0	0.8	0.6
	5人以上	0.6	0.4	0.5	-	0.5	0.4	0.4	0.3
999	無回答	0.5	1.2	0.3	-	0.2	0.9	0.4	0.6
	n	2893	2790	2953	-	2023	4254	4220	5003

560. XNUMSBLG 兄弟姉妹人数(計)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1人	5.4	6.4	5.4	-	-	-	-	-
	2人	26.1	24.7	26.4	-	-	-	-	-
	3人	25.9	24.4	24.4	-	-	-	-	-
	4人	12.9	14.3	14.5	-	-	-	-	-
	5人	10.5	10.9	10.1	-	-	-	-	-
	6人	7.4	7.3	7.5	-	-	-	-	-
	7人	5.2	5.4	4.9	-	-	-	-	-
	8人	2.8	2.9	3.6	-	-	-	-	-
	9人	1.8	1.3	1.5	-	-	-	-	-
	10人以上	1.5	1.0	1.4	-	-	-	-	-
999	無回答	0.5	1.2	0.3	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	2953	-	-	-	-	-

561. PPLLVTG 義父:同居・生死

あなた(と配偶者)のご両親のうち、現在もご存命の方はどなたですか。その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	同居	-	-	-	-	-	4.2	-	-
2	別居	-	-	-	-	-	27.8	-	-
3	死亡	-	-	-	-	-	68.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.0	-	-
	n	-	-	-	-	-	3115	-	-
8	非該当								

562. PPLAGE 義父:年齢\*

その方の年齢を順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	40~49歳	-	-	-	-	-	0.6	-	-
	50~59歳	-	-	-	-	-	10.9	-	-
	60~69歳	-	-	-	-	-	29.8	-	-
	70~79歳	-	-	-	-	-	29.7	-	-
	80~89歳	-	-	-	-	-	17.4	-	-
	90歳以上	-	-	-	-	-	3.8	-	-
999	無回答	-	-	-	-	-	7.8	-	-
	n	-	-	-	-	-	998	-	-
888	非該当								

\*調査票では「別居している」義父の面接調査時の年齢を尋ねているが、データ上はFF[01-09]REL(家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]AGE(家族[01-09]:年齢)の回答から「同居している」義父の年齢のデータを補填して集計している。

563. PPLMG 義父:結婚状況\*

その方は、現在、配偶者がいますか。順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	現在、配偶者がいる	-	-	-	-	-	84.5	-	-
2	離別	-	-	-	-	-	1.3	-	-
3	死別	-	-	-	-	-	11.1	-	-
4	未婚	-	-	-	-	-	0.0	-	-
5	離婚を前提に別居中	-	-	-	-	-	0.1	-	-
6	同棲中	-	-	-	-	-	0.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.0	-	-
	n	-	-	-	-	-	998	-	-
8	非該当								

\*調査票では「別居している」義父の結婚状況を尋ねているが、データ上はFF[01-09]REL(家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]MG(家族[01-09]:結婚状況)の回答から「同居している」義父の結婚状況のデータを補填して集計している。

564. PPLFAM 義父:同居者\*

その方は、誰かと一緒に暮らしていますか。この中からあてはまるもの1つを選んで、順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	あなた(回答者本人)	-	-	-	-	-	13.2	-	-
1	配偶者の既婚の兄や弟	-	-	-	-	-	15.4	-	-
2	配偶者の既婚の姉や妹	-	-	-	-	-	4.2	-	-
3	配偶者の未婚の兄弟姉妹	-	-	-	-	-	9.3	-	-
4	夫婦で二人暮らし	-	-	-	-	-	44.2	-	-
5	一人暮らし	-	-	-	-	-	4.5	-	-
6	施設に入所	-	-	-	-	-	1.5	-	-
7	その他	-	-	-	-	-	2.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	4.7	-	-
	n	-	-	-	-	-	998	-	-

8 非該当

\*調査票では「別居している」義父の同居者を尋ねているが、データ上はFF[01-09]REL(家族[01-09]:続柄)から「同居している」義父のデータを補填したため、コードに「0 あなた(回答者本人)」を追加している。

565. PPLJOB 義父:就労の有無\*

その方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	している	-	-	-	-	-	39.3	-	-
2	していない	-	-	-	-	-	56.8	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.9	-	-
	n	-	-	-	-	-	998	-	-

8 非該当

\*調査票では「別居している」義父の就労の有無を尋ねているが、データ上はFF[01-09]REL(家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]JOB(家族[01-09]:就労の有無)の回答から「同居している」義父の就労の有無のデータを補填して集計している。

561. PPLLVTG に「2 別居」の場合

566. PPLDIST 義父:家までの距離

その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。この中から選んで順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	隣、同じ建物、同じ通り	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2	歩いて15分以内	-	-	-	-	-	11.1	-	-
3	車や電車等で30分以内	-	-	-	-	-	28.5	-	-
4	車や電車等で1時間以内	-	-	-	-	-	19.2	-	-
5	車や電車等で3時間以内	-	-	-	-	-	16.4	-	-
6	それより遠い	-	-	-	-	-	17.4	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	4.4	-	-
	n	-	-	-	-	-	866	-	-

8 非該当

567. PPLCNTA 義父:接触頻度(直接)

その方と直接会うことは、どのくらいありますか。この中から選んで順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	4.5	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	6.2	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	11.8	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	24.1	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	35.6	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	9.1	-	-
7	年に1回もない	-	-	-	-	-	4.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	4.5	-	-
	n	-	-	-	-	-	866	-	-

8 非該当

568. PPLCNTB 義父:接触頻度(間接)

その方は、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。この中から選んで順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	2.2	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	8.5	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	15.0	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	24.7	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	20.3	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	6.2	-	-
7	年に1回もない	-	-	-	-	-	17.4	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	5.5	-	-
n		-	-	-	-	-	866	-	-
8	非該当								

569. MMLLVTG 義母:同居・生死

その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	同居	-	-	-	-	-	8.0	-	-
2	別居	-	-	-	-	-	42.4	-	-
3	死亡	-	-	-	-	-	49.5	-	-
n		-	-	-	-	-	3115	-	-
8	非該当								

570. MMLAGE 義母:年齢\*

その方の年齢を順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	30～39歳	-	-	-	-	-	0.1	-	-
	40～49歳	-	-	-	-	-	0.4	-	-
	50～59歳	-	-	-	-	-	13.1	-	-
	60～69歳	-	-	-	-	-	25.0	-	-
	70～79歳	-	-	-	-	-	27.2	-	-
	80～89歳	-	-	-	-	-	21.0	-	-
	90歳以上	-	-	-	-	-	6.3	-	-
999	無回答	-	-	-	-	-	6.9	-	-
n		-	-	-	-	-	1572	-	-
888	非該当								

\*調査票では「別居している」義母の面接調査時の年齢を尋ねているが、データ上はFF[01-09]REL(家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]AGE(家族[01-09]:年齢)の回答から「同居している」義母の年齢のデータを補填して集計している。

571. MMLMG 義母:結婚状況\*

その方は、現在、配偶者がいますか。順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	現在、配偶者がいる	-	-	-	-	-	53.7	-	-
2	離別	-	-	-	-	-	2.7	-	-
3	死別	-	-	-	-	-	40.4	-	-
4	未婚	-	-	-	-	-	0.0	-	-
5	離婚を前提に別居中	-	-	-	-	-	0.1	-	-
6	同棲中	-	-	-	-	-	0.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.1	-	-
n		-	-	-	-	-	1572	-	-
8	非該当								

\*調査票では「別居している」義母の結婚状況を尋ねているが、データ上はFF[01-09]REL(家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]MG(家族[01-09]:結婚状況)の回答から「同居している」義母の結婚状況のデータを補填して集計している。

572. MMLFAM 義母:同居者\*

その方は、誰かと一緒に暮らしていますか。この中からあてはまるもの1つを選んで、順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	あなた(回答者本人)	-	-	-	-	-	15.9	-	-
1	配偶者の既婚の兄や弟	-	-	-	-	-	17.1	-	-
2	配偶者の既婚の姉や妹	-	-	-	-	-	6.6	-	-
3	配偶者の未婚の兄弟姉妹	-	-	-	-	-	7.5	-	-
4	夫婦で二人暮らし	-	-	-	-	-	28.1	-	-
5	一人暮らし	-	-	-	-	-	14.1	-	-
6	施設に入所	-	-	-	-	-	3.7	-	-
7	その他	-	-	-	-	-	2.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	4.7	-	-
		n	-	-	-	-	1572	-	-

8 非該当

\*調査票では「別居している」義母の同居者を尋ねているが、データ上はFF[01-09]REL(家族[01-09]:続柄)から「同居している」義母のデータを補填して集計したため、コードに「0 あなた(回答者本人)」を追加している。

573. MMLJOB 義母:就労の有無\*

その方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	している	-	-	-	-	-	20.7	-	-
2	していない	-	-	-	-	-	75.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	4.3	-	-
		n	-	-	-	-	1572	-	-

8 非該当

\*調査票では「別居している」義母の就労の有無を尋ねているが、データ上はFF[01-09]REL(家族[01-09]:続柄)、FF[01-09]JOB(家族[01-09]:就労の有無)の回答から「同居している」義母の就労の有無のデータを補填して集計している。

569. MMLLVTG に「2 別居」の場合

574. MMLDIST 義母:家までの距離

その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。この中から選んで順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	隣、同じ建物、同じ通り	-	-	-	-	-	3.4	-	-
2	歩いて15分以内	-	-	-	-	-	10.6	-	-
3	車や電車等で30分以内	-	-	-	-	-	29.3	-	-
4	車や電車等で1時間以内	-	-	-	-	-	18.8	-	-
5	車や電車等で3時間以内	-	-	-	-	-	15.9	-	-
6	それより遠い	-	-	-	-	-	16.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	5.7	-	-
		n	-	-	-	-	1322	-	-

8 非該当

575. MMLCNTA 義母:接触頻度(直接)

その方と直接会うことは、どのくらいありますか。この中から選んで順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	4.5	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	6.4	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	12.1	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	24.4	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	33.4	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	8.9	-	-
7	年に1回もない	-	-	-	-	-	5.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	5.4	-	-
		n	-	-	-	-	1322	-	-

8 非該当

576. MMLCNTB 義母:接触頻度(間接)

その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。この中から選んで順に教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	3.1	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	8.2	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	17.5	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	23.5	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	20.0	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	4.8	-	-
7	年に1回もない	-	-	-	-	-	16.4	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	6.4	-	-
n		-	-	-	-	-	1322	-	-
8	非該当								

577-582. 現在、結婚されている方(あるいは配偶者の方と死別された方)は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。亡くなった方も含めてお答えください。

577. XSSNBROE 配偶者の兄弟姉妹人数(兄)\*

配偶者の兄

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0人	-	51.2	50.2	-	53.5	55.0	54.4	55.8
	1人	-	26.7	25.9	-	27.2	26.7	28.0	27.9
	2人	-	9.7	10.6	-	11.5	10.2	10.2	9.2
	3人	-	4.1	4.6	-	3.6	3.7	3.5	3.2
	4人	-	1.3	1.7	-	1.8	1.7	1.5	1.3
	5人以上	-	0.6	1.0	-	0.8	0.8	0.8	0.8
999	無回答	-	6.4	6.0	-	1.6	1.9	1.7	1.8
n		-	2383	2530	-	1642	3444	3398	4028

888 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

2006 質問文ワーディング変更:「あなたの配偶者の兄弟姉妹は何人ですか。」 「現在、結婚されている方(あるいは配偶者の方と死別された方)は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。」

578. XSSNSISE 配偶者の兄弟姉妹人数(姉)\*

配偶者の姉

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0人	-	49.8	49.9	-	52.7	54.5	54.0	55.7
	1人	-	26.4	27.6	-	27.8	26.8	28.5	26.1
	2人	-	11.3	10.0	-	10.0	10.6	9.3	10.6
	3人	-	3.9	3.6	-	5.0	3.7	3.9	3.7
	4人	-	1.7	1.7	-	1.5	1.6	1.6	1.4
	5人以上	-	0.6	1.2	-	1.2	0.8	0.9	0.6
999	無回答	-	6.4	6.0	-	1.6	1.9	1.7	1.8
n		-	2383	2530	-	1642	3444	3398	4028

888 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

2006 質問文ワーディング変更:「あなたの配偶者の兄弟姉妹は何人ですか。」 「現在、結婚されている方(あるいは配偶者の方と死別された方)は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。」

579. XSSNSELF 配偶者の兄弟姉妹人数(本人)

この変数の単純集計は記載していません。



## 580. XSSNBROY 配偶者の兄弟姉妹人数(弟)\*

## 配偶者の弟

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
実数記入	0人	-	51.4	50.4	-	55.1	55.8	57.7	57.6	
	1人	-	29.4	28.0	-	29.5	28.9	29.3	29.1	
	2人	-	8.1	10.9	-	9.0	9.6	8.2	8.3	
	3人	-	3.3	3.3	-	3.2	2.7	2.0	2.3	
	4人	-	0.8	1.1	-	1.1	0.8	0.7	0.5	
	5人以上	-	0.7	0.4	-	0.4	0.4	0.3	0.3	
999	無回答	-	6.4	6.0	-	1.6	1.9	1.7	1.8	
		n	-	2383	2530	-	1642	3444	3398	4028

888 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

2006 質問文ワーディング変更: 「あなたの配偶者の兄弟姉妹は何人ですか。」 「現在、結婚されている方(あるいは配偶者の方と死別された方)は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。」

## 581. XSSNSISY 配偶者の兄弟姉妹人数(妹)\*

## 配偶者の妹

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
実数記入	0人	-	52.1	52.1	-	53.8	56.5	59.0	60.2	
	1人	-	26.9	27.2	-	28.9	27.4	27.8	26.6	
	2人	-	10.1	9.5	-	11.1	9.9	8.5	8.1	
	3人	-	3.5	3.8	-	2.7	3.2	1.8	2.2	
	4人	-	0.7	1.1	-	1.4	0.8	0.8	0.8	
	5人以上	-	0.4	0.3	-	0.5	0.3	0.4	0.2	
999	無回答	-	6.4	6.0	-	1.6	1.9	1.7	1.9	
		n	-	2383	2530	-	1642	3444	3398	4028

888 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2008以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲に含む。

2006 質問文ワーディング変更: 「あなたの配偶者の兄弟姉妹は何人ですか。」 「現在、結婚されている方(あるいは配偶者の方と死別された方)は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。」

## 582. XSSNSBLG 配偶者の兄弟姉妹人数(計)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1人	-	5.0	4.2	-	-	-	-	-
	2人	-	21.8	22.3	-	-	-	-	-
	3人	-	23.5	22.7	-	-	-	-	-
	4人	-	14.4	14.5	-	-	-	-	-
	5人	-	12.0	10.7	-	-	-	-	-
	6人	-	7.2	8.3	-	-	-	-	-
	7人	-	4.9	4.9	-	-	-	-	-
	8人	-	2.6	3.8	-	-	-	-	-
	9人	-	1.3	1.5	-	-	-	-	-
	10人以上	-	0.9	1.1	-	-	-	-	-
999	無回答	-	6.4	6.0	-	-	-	-	-
		n	-	2383	2530	-	-	-	-

888 非該当

211. SZFFOUT に人数を回答した場合

583-594. 一時的に離れて暮らしているご家族全員について、うかがいます。

FFO[01-06]REL 一時的な別居家族[01-06]: 続柄\*

あなたからみた続柄を教えてください。

この変数の単純集計は記載していません。

コード		コード		コード	
00	本人	29	五女	60	祖父
01	夫	30	孫(男)	61	祖母
02	妻	31	孫(女)	62	義理の祖父(配偶者の祖父)
03	子	32	孫の配偶者	63	義理の祖母(配偶者の祖母)
10	子(男)	33	ひ孫(男)	64	兄の子
11	長男	34	ひ孫(女)	65	弟の子
12	次男	35	孫	66	姉の子
13	三男	40	父	67	妹の子
14	長男の妻	41	母	68	甥
15	次男の妻	42	義父(配偶者の父)	69	姪
16	三男の妻	43	義母(配偶者の母)	71	父母の兄弟姉妹
17	四男	44	兄の妻	72	父母の兄弟姉妹の配偶者
18	四男の妻	45	弟の妻	73	おじ
19	五男	46	姉の夫	74	おば
20	子(女)	47	妹の夫	75	おじ・おばの子
21	長女	50	兄	76	曾祖父
22	次女	51	弟	77	曾祖母
23	三女	52	姉	80	親(男)
24	長女の夫	53	妹	81	親(女)
25	次女の夫	54	配偶者の兄	88	非該当
26	三女の夫	55	配偶者の弟	97	続柄がその他のもの
27	四女	56	配偶者の姉	99	無回答
28	四女の夫	57	配偶者の妹		

\*調査年度によって、尋ね方に違いがある。

2005 尋ね方：続柄と別居理由をまとめて1問で尋ねる。

2006 尋ね方変更：続柄と別居理由それぞれ独立した設問。

FFO[01-06]WHY 一時的な別居家族[01-06]: 別居理由\*

その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
1	あなたの仕事の都合
2	あなたの学業
3	家族の仕事の都合
4	家族の学業
5	長期入院
6	老人・福祉施設に入所
7	その他( )
8	非該当
9	無回答

\*調査年度によって、尋ね方に違いがある。

2005 尋ね方：続柄と別居理由をまとめて1問で尋ねる。

2006 尋ね方変更：続柄と別居理由それぞれ独立した設問。

595. DOMARRY 結婚状況 統合\*

あなたは結婚していますか。この中から選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	既婚・有配偶	72.6	73.9	73.9	73.8	72.8	73.2	72.2	72.5
2	既婚・離死別	12.3	11.5	11.8	12.5	-	-	-	-
3	既婚・離別	-	-	-	-	3.5	3.8	4.3	4.3
4	既婚・死別	-	-	-	-	8.4	7.7	8.0	7.8
5	未婚	15.1	14.6	14.3	13.7	15.4	14.9	15.2	15.2
6	離婚を前提に別居中	-	-	-	-	-	0.1	0.1	0.2
7	同棲中	-	-	-	-	-	0.3	0.2	0.1
9	無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、同じ変数名であっても内容が異なる。

累積データ 2000-2010 では、コードと変数ラベルを変更している。

それぞれの単年度データは、変数 DOMARRY\_01 ~ DOMARRY\_10 を参照のこと。

2000-2010 変数ラベル変更：「結婚状況」「結婚状態 統合」。

596. DOMARRY\_00 結婚状況\_2000\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	既婚（有配偶）	72.6	-	-	-	-	-	-	-
2	既婚（離死別）	12.3	-	-	-	-	-	-	-
3	未婚	15.1	-	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.0	-	-	-	-	-	-	-
		n	2893	-	-	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2000 の値と同じ。  
2000 選択肢：「1 既婚（有配偶）、2 既婚（離死別）、3 未婚」。

597. DOMARRY\_01 結婚状況\_2001\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	既婚（有配偶）	-	73.9	-	-	-	-	-	-
2	既婚（離死別）	-	11.5	-	-	-	-	-	-
3	未婚	-	14.6	-	-	-	-	-	-
9	無回答	-	0.0	-	-	-	-	-	-
		n	2790	-	-	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2001 の値と同じ。  
2001 選択肢は 2000 と同じ。

598. DOMARRY\_02 結婚状況\_2002\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	既婚（有配偶）	-	-	73.9	-	-	-	-	-
2	既婚（離死別）	-	-	11.8	-	-	-	-	-
3	未婚	-	-	14.3	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	0.0	-	-	-	-	-
		n	-	2953	-	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2002 の値と同じ。  
2002 選択肢は 2000 と同じ。

599. DOMARRY\_03 結婚状況\_2003\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	既婚（有配偶）	-	-	-	73.8	-	-	-	-
2	既婚（離死別）	-	-	-	12.5	-	-	-	-
3	未婚	-	-	-	13.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.0	-	-	-	-
		n	-	-	3663	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2003 の値と同じ。  
2003 選択肢は 2000 と同じ。

600. DOMARRY\_05 結婚状況\_2005\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	既婚（有配偶）	-	-	-	-	72.8	-	-	-
2	既婚（離別）	-	-	-	-	3.5	-	-	-
3	既婚（死別）	-	-	-	-	8.4	-	-	-
4	未婚	-	-	-	-	15.4	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.0	-	-	-
		n	-	-	-	2023	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2005 の値と同じ。  
2005 選択肢変更：「1 既婚（有配偶）、2 既婚（離別）、3 既婚（死別）、4 未婚」。

601. DOMARRY\_06 結婚状況\_2006\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	現在、配偶者がいる	-	-	-	-	-	73.2	-	-
2	離別	-	-	-	-	-	3.8	-	-
3	死別	-	-	-	-	-	7.7	-	-
4	未婚	-	-	-	-	-	14.9	-	-
5	離婚を前提に別居中	-	-	-	-	-	0.1	-	-
6	同棲中	-	-	-	-	-	0.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.0	-	-
		n	-	-	-	-	4254	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2006 の値と同じ。  
2006 選択肢変更：「1 現在、配偶者がいる、2 離別、3 死別、4 未婚、5 離婚を前提に別居中、6 同棲中」。

602. DOMARRY\_08 結婚状況\_2008\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	現在、配偶者がいる	-	-	-	-	-	-	72.2	-
2	離別	-	-	-	-	-	-	4.3	-
3	死別	-	-	-	-	-	-	8.0	-
4	未婚	-	-	-	-	-	-	15.2	-
5	離婚を前提に別居中	-	-	-	-	-	-	0.1	-
6	同棲中	-	-	-	-	-	-	0.2	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.0	-
	n	-	-	-	-	-	-	4220	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2008 の値と同じ。

2008 選択肢は 2006 と同じ。

調査員注追加：「以後の設定では、内縁や同棲中は有配偶者とみなす。」

603. DOMARRY\_10 結婚状況\_2010\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	現在、配偶者がいる	-	-	-	-	-	-	-	72.5
2	離別	-	-	-	-	-	-	-	4.3
3	死別	-	-	-	-	-	-	-	7.8
4	未婚	-	-	-	-	-	-	-	15.2
5	離婚を前提に別居中	-	-	-	-	-	-	-	0.2
6	同棲中	-	-	-	-	-	-	-	0.1
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.0
	n	-	-	-	-	-	-	-	5003

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2010 の値と同じ。

2010 選択肢は 2006 と同じ。

604. DODVWDW 配偶者と別れた理由

599. DOMARRY\_03 に「2 既婚（離死別）」の場合

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2009
1	離別	-	-	-	26.2	-	-	-	-
2	死別	-	-	-	72.3	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.5	-	-	-	-
	n	-	-	-	458	-	-	-	-
8	非該当								

605. XMARRY 結婚経験\*

あなたはこれまでに結婚をしたことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	___回結婚したことがある	84.6	85.0	85.4	-	-	84.7	-	-
2	結婚したことがない	15.2	14.8	14.1	-	-	15.3	-	-
3	わからない	0.1	0.1	0.2	-	-	-	-	-
9	無回答	0.1	0.1	0.3	-	-	0.0	-	-
	n	2893	2790	2953	-	-	2130	-	-
8	非該当								

\*調査年度によって質問文のワーディング、選択肢に違いがある。

2002 までは面接、2006 は留置で調査した。

2000 選択肢：「1 結婚した、2 これまで一度も結婚していない、3 わからない」。

面接票で調査。

2006 質問文ワーディング変更：「あなたが最初に結婚したときの年齢はいくつでしたか。」（年齢を聞きつつ、結婚経験を尋ねる）「あなたはこれまでに結婚したことがありますか。」（経験を直接尋ねる）。

選択肢変更：「1 \_\_\_回結婚したことがある、2 結婚したことがない」。「3 わからない」を削除。

留置票で調査。

606. AGE1MG 初婚年齢\*

結婚したのは、あなたが何歳の時ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	16～19 歳	2.9	2.9	2.6	-	-	2.6	-	-
	20～29 歳	85.4	84.6	82.3	-	-	83.3	-	-
	30～39 歳	10.9	11.4	13.9	-	-	12.8	-	-
	40～49 歳	0.3	0.6	0.6	-	-	0.7	-	-
	50～59 歳	0.1	0.0	0.0	-	-	0.0	-	-
999	無回答	0.4	0.4	0.6	-	-	0.6	-	-
	n	2448	2371	2523	-	-	1793	-	-
888	非該当								

\*2002 までは面接、2006 は留置で調査した。

607. XDIV 離婚経験

あなたは、これまでに離婚をしたことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある__回	6.0	5.9	6.8	-	-	-	-	-
2	ない	93.7	93.9	93.0	-	-	-	-	-
3	わからない	0.0	0.0	0.1	-	-	-	-	-
9	無回答	0.3	0.2	0.1	-	-	-	-	-
n		2448	2371	2523	-	-	-	-	-
8	非該当								

607. XDIV に「1 ある\_\_回」の場合

608. FQXDIV 離婚回数

何回しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1回	95.2	97.8	93.6	-	-	-	-	-
	2回	4.8	2.2	4.1	-	-	-	-	-
	3回	0.0	0.0	0.6	-	-	-	-	-
99	無回答	0.0	0.0	1.7	-	-	-	-	-
n		146	139	172	-	-	-	-	-
88	非該当								

609. AGE1DIV 1回目の離婚年齢

離婚した時の年齢はいくつでしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	16~19歳	0.0	0.7	0.6	-	-	-	-	-
	20~29歳	33.6	36.7	31.4	-	-	-	-	-
	30~39歳	43.8	30.9	39.0	-	-	-	-	-
	40~49歳	15.8	18.0	16.9	-	-	-	-	-
	50~59歳	5.5	9.4	6.4	-	-	-	-	-
	60~69歳	0.7	1.4	2.3	-	-	-	-	-
999	無回答	0.7	2.9	3.5	-	-	-	-	-
n		146	139	172	-	-	-	-	-
888	非該当								

610. XMGA1DV 1回目離婚後の再婚の有無

その後、再婚しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	した__歳の時	41.1	43.2	40.7	-	-	-	-	-
2	しない	58.9	54.7	57.0	-	-	-	-	-
9	無回答	0.0	2.2	2.3	-	-	-	-	-
n		146	139	172	-	-	-	-	-
8	非該当								

611. AGEMG1DV 1回目離婚後の再婚年齢

それは何歳の時でしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	20~29歳	28.3	31.7	25.7	-	-	-	-	-
	30~39歳	50.0	43.3	41.4	-	-	-	-	-
	40~49歳	16.7	16.7	17.1	-	-	-	-	-
	50~59歳	3.3	6.7	14.3	-	-	-	-	-
	60~69歳	1.7	0.0	1.4	-	-	-	-	-
999	無回答	0.0	1.7	0.0	-	-	-	-	-
n		60	60	70	-	-	-	-	-
888	非該当								

612. AGE2DIV 2回目の離婚年齢

離婚した時の年齢はいくつでしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	20～29歳	0.0	33.3	12.5	-	-	-	-	-
	30～39歳	42.9	0.0	25.0	-	-	-	-	-
	40～49歳	14.3	66.7	25.0	-	-	-	-	-
	50～59歳	14.3	0.0	25.0	-	-	-	-	-
	60～69歳	14.3	0.0	12.5	-	-	-	-	-
999	無回答	14.3	0.0	0.0	-	-	-	-	-
		n	7	3	8	-	-	-	-
888	非該当								

613. XMGA2DV 2回目離婚後の再婚の有無

その後、再婚しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	した__歳の時	0.0	33.3	50.0	-	-	-	-	-
2	しない	85.7	66.7	50.0	-	-	-	-	-
9	無回答	14.3	0.0	0.0	-	-	-	-	-
		n	7	3	8	-	-	-	-
8	非該当								

614. AGEMG2DV 2回目離婚後の再婚年齢

それは何歳の時でしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	20～29歳	0.0	0.0	25.0	-	-	-	-	-
	30～39歳	0.0	100.0	25.0	-	-	-	-	-
	40～49歳	0.0	0.0	25.0	-	-	-	-	-
	50～59歳	0.0	0.0	25.0	-	-	-	-	-
999	無回答	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
		n	0	1	4	-	-	-	-
888	非該当								

615. XWIDOW 配偶者との死別経験

あなたは、これまでに配偶者の方と死別したことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある__回	11.0	10.1	10.0	-	-	-	-	-
2	ない	87.8	88.5	88.9	-	-	-	-	-
3	わからない	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
9	無回答	1.2	1.3	1.1	-	-	-	-	-
		n	2448	2371	2523	-	-	-	-
8	非該当								

615. XWIDOW に「1 ある\_\_回」の場合

616. FQWDW 配偶者との死別回数

何回しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1回	97.0	98.7	96.4	-	-	-	-	-
	2回	2.2	0.4	2.0	-	-	-	-	-
99	無回答	0.7	0.8	1.6	-	-	-	-	-
		n	270	239	253	-	-	-	-
88	非該当								

617. AGE1WDW 配偶者との1回目の死別年齢  
死別した時の年齢はいくつでしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	18 歳	0.4	0.0	0.0	-	-	-	-	-
	20～29 歳	5.9	9.2	5.1	-	-	-	-	-
	30～39 歳	11.1	8.0	7.9	-	-	-	-	-
	40～49 歳	16.3	14.3	15.8	-	-	-	-	-
	50～59 歳	17.8	20.2	16.6	-	-	-	-	-
	60～69 歳	23.7	27.7	32.8	-	-	-	-	-
	70～79 歳	17.4	14.7	17.8	-	-	-	-	-
	80～89 歳	3.0	2.5	2.0	-	-	-	-	-
999	無回答	4.4	3.4	2.0	-	-	-	-	-
		n	270	238	253	-	-	-	-
888	非該当								

618. XMGA1WD 配偶者との1回目死別後、再婚の有無  
その後、再婚しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	した__歳の時	7.4	3.8	6.3	-	-	-	-	-
2	しない	91.5	94.5	93.7	-	-	-	-	-
9	無回答	1.1	1.7	0.0	-	-	-	-	-
		n	270	238	253	-	-	-	-
8	非該当								

619. AGEMG1WD 配偶者との1回目死別後の再婚年齢  
それは何歳の時でしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	19 歳	5.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
	20～29 歳	30.0	22.2	18.8	-	-	-	-	-
	30～39 歳	45.0	33.3	25.0	-	-	-	-	-
	40～49 歳	0.0	33.3	18.8	-	-	-	-	-
	50～59 歳	15.0	0.0	18.8	-	-	-	-	-
	60～69 歳	0.0	11.1	6.3	-	-	-	-	-
	70～79 歳	5.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
999	無回答	0.0	0.0	12.5	-	-	-	-	-
		n	20	9	16	-	-	-	-
888	非該当								

620. AGE2WDW 配偶者との2回目の死別年齢  
死別した時の年齢はいくつでしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	50～59 歳	0.0	0.0	40.0	-	-	-	-	-
	60～69 歳	50.0	0.0	20.0	-	-	-	-	-
	70～79 歳	33.3	100.0	0.0	-	-	-	-	-
	80～89 歳	16.7	0.0	20.0	-	-	-	-	-
999	無回答	0.0	0.0	20.0	-	-	-	-	-
		n	6	1	5	-	-	-	-
888	非該当								

621. XMGA2WD 配偶者との2回目死別後、再婚の有無  
その後、再婚しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	した__歳の時	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-	-
2	しない	100.0	100.0	80.0	-	-	-	-	-
9	無回答	0.0	0.0	20.0	-	-	-	-	-
		n	6	1	5	-	-	-	-
8	非該当								

622. AGEMG2WD 配偶者との2回目死別後の再婚年齢  
それは何歳の時でしたか。

コード  
実数記入  
888 非該当  
999 無回答  
該当者なしの為、単純集計は記載していません。

623. TP5LOC15 15歳の頃の居住地(本人)\_統合\*

当時、お住まいの地域は、この中のどれにあたったと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大都市	14.2	14.3	14.5	13.8	12.0	14.2	12.2	12.4
2	中都市	18.6	22.5	22.8	22.6	-	-	-	-
3	中小都市	-	-	-	-	42.1	39.8	37.6	37.5
4	その他の市	24.6	21.4	22.7	25.1	-	-	-	-
5	町・村	39.8	39.5	36.3	36.2	45.7	-	-	-
6	町	-	-	-	-	-	32.0	33.9	34.1
7	村	-	-	-	-	-	13.7	16.0	15.9
8	外国	0.4	0.5	0.5	0.4	-	-	-	-
9	無回答	2.3	1.9	3.2	1.9	0.2	0.3	0.3	0.2
n		2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

単年度データと累積データ 2000-2010 とでは、同じ変数名であっても内容が異なる。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

累積データ 2000-2010 では、変数ラベルを変更している。

それぞれの単年度のデータは、変数 TP5LOC15\_00 ~ TP5LOC15\_10 を参照のこと。

2000-2010 コード統合：「1 大都市、2 中都市、3 中小都市、4 その他の市、5 町・村、6 町、7 村、8 外国」、  
変数ラベル変更：「15歳の頃の居住地(本人)」「15歳の頃の居住地(本人)\_統合」。

624. TP5LOC15.00 15歳の頃の居住地(本人)\_2000\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大都市	14.2	-	-	-	-	-	-	-
2	中都市	18.6	-	-	-	-	-	-	-
3	その他の市	24.6	-	-	-	-	-	-	-
4	町・村	39.8	-	-	-	-	-	-	-
5	外国	0.4	-	-	-	-	-	-	-
9	無回答	2.3	-	-	-	-	-	-	-
n		2893	-	-	-	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2000 の値と同じ。

2000 選択肢：「1 大都市、2 中都市、3 その他の市、4 町・村、5 外国」。

625. TP5LOC15.01 15歳の頃の居住地(本人)\_2001\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大都市	-	14.3	-	-	-	-	-	-
2	中都市	-	22.5	-	-	-	-	-	-
3	その他の市	-	21.4	-	-	-	-	-	-
4	町・村	-	39.5	-	-	-	-	-	-
5	外国	-	0.5	-	-	-	-	-	-
9	無回答	-	1.9	-	-	-	-	-	-
n		-	2790	-	-	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2001 の値と同じ。

2001 選択肢は 2000 と同じ。

626. TP5LOC15.02 15歳の頃の居住地(本人)\_2002\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大都市	-	-	14.5	-	-	-	-	-
2	中都市	-	-	22.8	-	-	-	-	-
3	その他の市	-	-	22.7	-	-	-	-	-
4	町・村	-	-	36.3	-	-	-	-	-
5	外国	-	-	0.5	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	3.2	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2002 の値と同じ。

2002 選択肢は 2000 と同じ。



## 627. TP5LOC15\_03 15歳の頃の居住地(本人)\_2003\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大都市	-	-	-	13.8	-	-	-	-
2	中都市	-	-	-	22.6	-	-	-	-
3	その他の市	-	-	-	25.1	-	-	-	-
4	町・村	-	-	-	36.2	-	-	-	-
5	外国	-	-	-	0.4	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.9	-	-	-	-
n		-	-	-	3663	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2003 の値と同じ。  
2003 選択肢は 2000 と同じ。

## 628. TP5LOC15\_05 15歳の頃の居住地(本人)\_2005\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大都市	-	-	-	-	12.0	-	-	-
2	中小都市	-	-	-	-	42.1	-	-	-
3	町・村	-	-	-	-	45.7	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.2	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2005 の値と同じ。  
2005 選択肢変更：「1 大都市、2 中小都市、3 町・村」、「3 その他の市」、「5 外国」は削除。

## 629. TP5LOC15\_06 15歳の頃の居住地(本人)\_2006\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大都市	-	-	-	-	-	14.2	-	-
2	中小都市	-	-	-	-	-	39.8	-	-
3	町	-	-	-	-	-	32.0	-	-
4	村	-	-	-	-	-	13.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.3	-	-
n		-	-	-	-	-	4254	-	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2006 の値と同じ。  
2006 選択肢変更：「1 大都市、2 中小都市、3 町、4 村」。

## 630. TP5LOC15\_08 15歳の頃の居住地(本人)\_2008\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大都市	-	-	-	-	-	-	12.2	-
2	中小都市	-	-	-	-	-	-	37.6	-
3	町	-	-	-	-	-	-	33.9	-
4	村	-	-	-	-	-	-	16.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.3	-
n		-	-	-	-	-	-	4220	-

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2008 の値と同じ。  
2008 選択肢は 2006 と同じ。

## 631. TP5LOC15\_10 15歳の頃の居住地(本人)\_2010\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大都市	-	-	-	-	-	-	-	12.4
2	中小都市	-	-	-	-	-	-	-	37.5
3	町	-	-	-	-	-	-	-	34.1
4	村	-	-	-	-	-	-	-	15.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.2
n		-	-	-	-	-	-	-	5003

\*累積データ 2000-2010 作成に伴う新変数であるが、2010 の値と同じ。  
2010 選択肢は 2006 と同じ。

632. PREF15 15歳の頃の居住地(本人):都道府県名\*

あなたが15歳の頃、どちらにお住まいでしたか。都道府県名をお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	北海道	5.5	5.6	5.6	4.6	5.8	5.3	5.3	5.4
2	青森県	1.5	1.2	1.1	1.4	1.3	1.6	1.7	1.5
3	岩手県	1.4	1.0	1.8	1.6	1.4	1.2	1.6	1.2
4	宮城県	2.4	2.0	2.0	2.4	2.1	2.3	2.4	2.2
5	秋田県	1.6	1.6	1.4	1.5	2.2	1.1	1.2	1.3
6	山形県	1.5	1.5	1.4	1.4	1.9	1.6	1.4	2.0
7	福島県	2.0	2.5	2.0	2.1	1.1	1.3	2.0	2.0
8	茨城県	2.5	2.2	2.5	2.5	2.5	2.6	2.3	1.8
9	栃木県	1.4	2.2	1.9	2.0	2.8	2.1	2.1	2.1
10	群馬県	1.9	1.8	1.8	1.8	1.5	1.6	1.6	2.3
11	埼玉県	3.4	3.1	2.4	3.0	2.4	3.1	3.4	3.6
12	千葉県	3.3	2.8	3.3	3.1	3.1	2.8	3.2	3.1
13	東京都	6.8	6.9	6.9	7.1	6.1	7.3	6.3	6.5
14	神奈川県	3.2	3.4	3.6	3.9	2.9	3.8	3.7	3.5
15	新潟県	2.7	3.2	3.1	3.0	2.9	2.5	3.3	2.7
16	富山県	1.0	1.2	1.3	1.4	1.4	1.6	1.1	1.4
17	石川県	1.0	0.9	1.2	1.2	1.4	0.8	1.3	0.8
18	福井県	0.9	0.9	1.0	1.1	1.9	1.3	1.2	1.0
19	山梨県	0.8	0.9	1.1	1.1	2.2	1.0	0.9	1.0
20	長野県	2.3	2.2	2.5	2.5	1.9	2.2	2.0	2.3
21	岐阜県	2.3	1.8	1.9	1.7	2.6	2.0	1.9	1.7
22	静岡県	3.8	3.8	3.6	2.4	3.7	3.9	4.0	3.8
23	愛知県	4.3	3.6	5.4	4.2	4.3	5.1	5.2	5.4
24	三重県	2.3	1.8	1.6	1.9	2.5	1.9	1.8	1.7
25	滋賀県	0.9	1.4	1.2	0.8	1.7	0.7	1.1	0.9
26	京都府	2.3	1.6	2.4	2.3	2.2	2.1	2.3	1.9
27	大阪府	4.2	5.1	5.0	4.8	4.1	5.5	5.5	5.6
28	兵庫県	4.1	4.2	4.7	3.2	2.8	3.8	2.8	3.4
29	奈良県	1.0	0.6	1.0	1.0	0.8	0.6	0.9	0.8
30	和歌山県	1.0	1.3	.7	1.0	1.1	1.2	0.6	1.3
31	鳥取県	0.4	0.5	0.7	0.6	0.4	0.8	0.7	0.7
32	島根県	1.1	1.0	1.0	1.2	0.9	0.8	0.5	0.5
33	岡山県	2.1	2.5	2.0	1.7	1.5	2.0	2.0	2.3
34	広島県	2.7	2.7	2.5	2.4	2.2	2.4	2.1	2.1
35	山口県	1.8	1.5	1.4	1.4	1.9	1.7	1.8	1.7
36	徳島県	1.0	1.1	0.9	0.8	1.0	1.0	0.9	1.0
37	香川県	1.6	1.2	0.9	1.5	1.5	0.6	1.1	1.0
38	愛媛県	1.2	1.6	1.4	1.5	1.5	1.4	1.4	1.1
39	高知県	1.1	0.7	0.4	1.1	0.5	0.9	0.9	1.1
40	福岡県	3.7	3.3	3.6	4.0	3.6	3.8	4.3	3.8
41	佐賀県	1.1	1.1	0.7	1.4	1.3	1.1	0.7	1.0
42	長崎県	1.2	1.8	2.1	1.7	1.5	1.6	1.9	1.7
43	熊本県	2.0	2.1	1.6	1.8	1.1	1.5	1.5	1.8
44	大分県	1.1	1.7	1.2	1.6	1.9	1.4	1.7	1.4
45	宮崎県	1.2	0.7	1.1	1.2	1.4	1.1	1.2	1.3
46	鹿児島県	1.9	2.3	2.0	2.0	1.5	2.1	2.0	2.0
47	沖縄県	0.8	1.4	1.0	1.2	1.0	1.2	1.0	0.6
48	外国	-	-	-	-	0.4	0.3	0.3	0.2
99	無回答	0.8	0.6	0.4	0.7	0.1	0.1	0.1	0.2
	n	2880	2777	2938	3650	2023	4254	4220	5003

88 非該当

\*2003 までと 2005 以降とは、対象範囲が異なる。2003 までは外国に住む者は対象外であるが、2005 以降は全員が対象範囲である。

2000 対象範囲：日本国内在住者。外国は除く。

2005 対象範囲変更：全員。

633. REMOTE15 15歳の頃の居住地(本人):農山村地域

そこは農山漁村地域でしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	47.8	45.5	45.8	46.7	44.9	40.6	39.4	38.9
2	いいえ	49.8	52.3	52.9	53.0	54.9	57.7	60.2	60.9
9	無回答	2.5	2.2	1.3	0.3	0.2	1.7	0.4	0.2
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

634. PPJBTP15 15歳の頃の父:就労地位\*

あなたが15歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	経営者・役員	3.1	3.4	3.8	3.8	4.3	-	-	-
2	常時雇用の一般従事者 役職なし	16.8	16.3	16.6	13.8	17.9	-	-	-
3	常時雇用の一般従事者 職長・班長・組長	2.2	2.0	2.4	2.2	3.0	-	-	-
4	常時雇用の一般従事者 係長・係長相当職	3.4	3.1	2.8	2.7	3.9	-	-	-
5	常時雇用の一般従事者 課長・課長相当職	4.6	4.4	4.5	3.9	5.2	-	-	-
6	常時雇用の一般従事者 部長・部長相当職	3.8	2.5	3.0	3.2	2.8	-	-	-
7	常時雇用の一般従事者 その他の役職 (具体的に)	-	-	-	-	0.2	-	-	-
8	常時雇用の一般従事者 役職はわからない	8.7	10.8	9.1	13.5	7.3	-	-	-
9	臨時雇用・パート・アルバイト	0.6	0.4	0.4	0.7	0.5	-	-	-
10	自営業主・自由業者	43.9	42.9	42.8	44.2	40.9	-	-	-
11	家族従業者	0.8	1.9	1.4	0.8	0.7	-	-	-
12	内職	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-
13	働いていなかった	1.3	1.5	1.8	1.0	1.7	-	-	-
14	父はいなかった	8.6	8.5	8.3	7.7	8.0	-	-	-
15	わからない	1.9	2.0	2.8	2.2	3.4	-	-	-
99	無回答	0.3	0.5	0.2	0.0	0.2	-	-	-
	n	2893	2790	2953	3663	2023	-	-	-

\*単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2005 では選択肢を追加した。

2000 選択肢:「1 経営者・役員、2 常時雇用の一般従事者・役職なし、3 常時雇用の一般従事者・職長・班長・組長、4 常時雇用の一般従事者・係長・係長相当職、5 常時雇用の一般従事者・課長・課長相当職、6 常時雇用の一般従事者・部長・部長相当職、7 常時雇用の一般従事者・役職はわからない、8 臨時雇用・パート・アルバイト、9 自営業主・自由業者、10 家族従業者、11 内職、12 働いていなかった、13 父はいなかった、14 わからない」。

2005 選択肢追加:「7 常時雇用の一般従事者・その他の役職(具体的に)」以下選択肢 7-14 を繰り下げて 8-15。

2000-2010 コード統合: 2005 と同じ。

635. PPJBT15 15歳の頃の父:就労形態

あなたが15歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	経営者・役員	-	-	-	-	-	4.0	4.5	4.4
2	常時雇用の一般従業者	-	-	-	-	-	45.0	48.0	47.2
3	臨時雇用(パート・アルバイト・内職)	-	-	-	-	-	0.4	0.9	0.5
4	自営業主・自由業者	-	-	-	-	-	37.0	35.3	37.0
5	家族従業者	-	-	-	-	-	2.5	1.1	1.4
6	働いていなかった	-	-	-	-	-	1.5	1.3	1.6
7	父はいなかった	-	-	-	-	-	8.4	8.2	7.0
8	わからない	-	-	-	-	-	0.7	0.5	0.7
9	無回答	-	-	-	-	-	0.5	0.2	0.2
	n	-	-	-	-	-	4254	4220	5003

635. PPJBT15 に「2 常時雇用の一般従業者」の場合

636. PPJBT15P 15歳の頃の父:役職

当時のお父さんの役職は、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	役職なし	-	-	-	-	-	37.5	36.4	37.6
2	職長・班長・組長など	-	-	-	-	-	6.1	7.7	5.5
3	係長(係長相当)	-	-	-	-	-	6.5	8.1	8.2
4	課長(課長相当)	-	-	-	-	-	13.5	13.1	12.9
5	部長(部長相当)	-	-	-	-	-	5.8	5.9	6.4
6	その他の役職(具体的に)	-	-	-	-	-	0.6	0.3	0.1
7	わからない	-	-	-	-	-	27.6	25.8	25.7
9	無回答	-	-	-	-	-	2.4	2.6	3.6
	n	-	-	-	-	-	1914	2027	2362
8	非該当								

635. PPJBT15 に「1 経営者・役員」「2 常時雇用の一般従業者」「3 臨時雇用(パート・アルバイト・内職)」「4 自営業主・自由業者」「5 家族従業者」の場合

637. PPJBXX15 15歳の頃の父:職種

お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的ににお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)。

職業コードを便宜的に分類して集計した。分類カテゴリーの詳細については、資料3.職業コードを参照のこと。

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
専門	6.4	6.4	5.1	5.7	5.2	6.4	6.9	5.8
管理	5.9	4.1	5.9	5.6	2.8	5.4	4.4	5.1
事務	9.9	13.1	13.1	12.3	13.0	14.7	14.3	14.1
販売	9.9	10.8	10.6	10.1	12.4	10.9	11.7	12.7
熟練	14.4	14.0	15.3	14.9	16.0	16.1	15.1	14.6
半熟練	11.7	10.2	10.1	11.3	10.5	12.0	12.8	12.5
非熟練	3.8	3.5	4.2	3.1	4.4	3.9	4.7	3.9
農林	29.1	28.7	27.3	29.0	25.2	22.1	21.2	22.0
分類不能	6.3	6.9	5.3	5.4	7.0	6.3	7.0	6.5
999 不明、無回答	2.5	2.3	3.2	2.6	3.6	2.3	1.9	2.8
n	2606	2510	2656	3343	1827	3832	3819	4572
998 非該当								

638. PPJBXX1E 15歳の頃の父:職種(ISCO)\*

集計は Major group にまとめたものを掲載した。

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
Legislators, senior officials and managers	-	-	-	-	-	5.2	-	-
Professionals	-	-	-	-	-	4.8	-	-
Technicians and associate professionals	-	-	-	-	-	5.4	-	-
Clerks	-	-	-	-	-	12.3	-	-
Service workers and shop and market sales workers	-	-	-	-	-	10.2	-	-
Skilled agricultural and fishery workers	-	-	-	-	-	22.0	-	-
Craft and related trades workers	-	-	-	-	-	16.9	-	-
Plant and machine operators and assemblers	-	-	-	-	-	12.6	-	-
Elementary occupations	-	-	-	-	-	4.4	-	-
Armed forces	-	-	-	-	-	0.3	-	-
99999 分類不能、不明、無回答	-	-	-	-	-	5.9	-	-
n	-	-	-	-	-	1907	-	-
88888 非該当								

\*2006の留置B票の回答者についてのみ、ISCO-88を用いて作成。

639. PPJBSZ15 15歳の頃の父:企業規模\*

お父さんが働いていた会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。お父さんの職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、お父さん自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。

コード	2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1 1人	16.7	17.2	16.0	13.0	13.8	11.0	11.0	10.9
2 小企業(2~29人)	38.4	38.1	38.1	44.5	41.1	39.5	39.5	38.1
3 中企業(30~299人)	9.6	9.2	10.1	9.9	9.5	11.1	11.1	11.4
4 大企業(300~999人)	12.5	12.5	12.1	10.9	11.7	4.1	4.8	4.6
5 大手大企業(1000人以上)	-	-	-	-	-	9.6	9.5	8.9
6 官公庁	10.1	9.8	9.7	9.9	10.7	11.1	11.9	12.2
7 わからない	9.6	9.8	10.5	9.5	10.5	10.2	10.3	10.7
9 無回答	3.2	3.4	3.5	2.3	2.7	3.3	2.0	3.0
n	2606	2510	2656	3343	1827	3832	3819	4572
8 非該当								

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2000 選択肢:「1 1人、2 小企業(2~29人)、3 中企業(30~299人)、4 大企業(300人以上)、5 官公庁、6 わからない」。

2006 選択肢変更:「1 1人、2 小企業(2~29人)、3 中企業(30~299人)、4 大企業(300~999人)、5 大手大企業(1000人以上)、6 官公庁、7 わからない」。

2000-2010 コード統合:「1 1人、2 小企業(2~29人)、3 中企業(30~299人)、4 大企業(300~999人)、5 大手大企業(1000人以上)、6 官公庁、7 わからない」。

640. MMJBTP15 15歳の頃の母:就労地位\*

あなたが15歳の頃、お母さんは仕事をもって働いていましたか。働いていた場合には、この中のどれにあたりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	仕事はもっていなかった	30.3	31.3	32.1	30.7	29.7	30.8	30.7	30.8
2	臨時雇用・パート・アルバイト	11.7	11.5	11.6	11.7	12.4	14.9	16.8	16.1
3	常時雇用 一般職・役職なし	7.8	7.4	7.3	6.7	7.9	10.0	9.3	10.2
4	常時雇用 管理職	0.2	0.4	0.3	0.4	0.2	0.3	0.2	0.4
5	常時雇用 専門的な仕事(看護師・教師など)	1.4	1.3	1.7	1.7	1.8	1.5	1.8	1.7
6	常時雇用 仕事内容はわからない	0.4	0.4	0.3	0.7	1.1	0.4	0.5	0.4
7	自営業・家族従業者 農林漁業	35.6	34.8	35.9	35.5	34.6	31.3	27.8	29.9
8	自営業・家族従業者 農林漁業以外	4.3	5.2	4.0	4.7	4.3	4.0	5.2	3.9
9	内職	2.5	2.7	2.1	2.6	2.9	2.1	2.7	2.0
10	経営者・役員	0.4	0.4	0.5	0.5	0.3	0.3	0.4	0.4
11	母はいなかった	3.9	3.1	2.7	3.5	2.3	2.8	2.8	2.4
12	わからない	1.1	1.2	1.4	1.0	1.8	1.1	1.3	1.4
99	無回答	0.4	0.5	0.2	0.2	0.7	0.4	0.5	0.4
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2005 選択肢ワーディング変更:「6 常時雇用 わからない」「6 常時雇用 仕事内容はわからない」.

2006 選択肢ワーディング変更:「5 看護婦」「5 看護師」.

641-644. あなたが最後に通った(または現在通っている)学校は次のどれにあたりますか。あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

641. XXLSTSCH 最終学校(本人)\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	旧制尋常小学校(国民学校を含む)	4.1	3.7	3.5	4.5	4.2	3.1	1.4	1.6
2	旧制高等小学校	7.4	7.1	5.7	5.5	4.0	2.7	2.4	2.3
3	旧制中学校・高等女学校	4.1	4.6	4.1	5.1	3.9	3.5	3.1	2.6
4	旧制実業・商業学校	0.5	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.3
5	旧制師範学校	0.3	0.2	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1
6	旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	1.0	1.3	0.9	0.8	0.8	0.6	0.6	0.5
7	旧制大学・旧制大学院	0.3	0.6	0.4	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3
8	新制中学校	14.2	14.2	15.2	14.6	13.8	12.7	12.7	12.0
9	新制高校	41.3	39.0	39.8	39.8	40.4	44.4	43.4	43.2
10	新制高専	-	-	-	-	-	3.7	3.6	4.9
11	新制短大	-	-	-	-	-	8.1	9.2	9.6
12	新制大学	14.7	16.2	16.6	14.5	16.3	17.7	20.3	20.7
13	新制大学院	0.9	0.7	1.3	1.3	1.6	1.8	1.5	1.5
14	わからない	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.0
20	新制短大・高専	10.4	11.0	11.1	12.3	13.2	-	-	-
99	無回答	0.6	0.6	0.4	0.5	0.4	0.3	0.6	0.4
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2000 選択肢:「1 旧制尋常小学校、2 旧制高等小学校、3 旧制中学校・高等女学校、4 旧制実業学校、5 旧制師範学校、6 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校、7 旧制大学・旧制大学院、8 新制中学校、9 新制高校、10 新制短大・高専、11 新制大学、12 新制大学院、13 わからない」.

2002 選択肢ワーディング変更:「1 旧制尋常小学校」「1 旧制尋常小学校(国民学校を含む)」.

2005 選択肢ワーディング変更:「4 旧制実業学校」「4 旧制実業・商業学校」.

2006 選択肢変更:「10 新制短大・高専」「10 新制高専」「11 新制短大」以下選択肢 11-13 繰り下げて 12-14.

2000-2010 コード統合:「1 旧制尋常小学校(国民学校を含む)、2 旧制高等小学校、3 旧制中学校・高等女学校、4 旧制実業・商業学校、5 旧制師範学校、6 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校、7 旧制大学・旧制大学院、8 新制中学校、9 新制高校、10 新制高専、11 新制短大、12 新制大学、13 新制大学院、14 わからない、20 新制短大・高専」.

642. SSLSTSCH 最終学校(配偶者)\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	旧制尋常小学校(国民学校を含む)	3.4	2.5	2.9	3.3	3.6	2.4	1.2	1.3
2	旧制高等小学校	7.0	7.0	4.9	5.2	4.2	2.7	2.5	1.8
3	旧制中学校・高等女学校	4.2	4.3	4.2	4.6	3.2	3.0	2.6	2.5
4	旧制実業・商業学校	0.6	0.4	0.5	0.5	0.3	0.6	0.7	0.3
5	旧制師範学校	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
6	旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	0.7	1.1	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.4
7	旧制大学・旧制大学院	0.6	1.1	0.5	0.5	0.5	0.6	0.5	0.6
8	新制中学校	12.3	11.1	12.7	12.1	10.2	10.9	10.4	10.2
9	新制高校	32.9	32.0	31.8	32.1	33.2	36.0	36.5	36.3
10	新制高専	-	-	-	-	-	2.7	2.8	3.1
11	新制短大	-	-	-	-	-	5.2	5.9	6.2
12	新制大学	9.9	11.6	12.2	12.0	13.5	13.1	14.1	15.0
13	新制大学院	0.7	0.6	0.9	0.8	0.9	1.0	0.9	1.1
14	わからない	0.7	0.8	0.7	0.6	1.3	1.0	0.7	0.7
15	配偶者はいない	18.5	17.8	17.5	19.1	18.8	19.0	19.5	19.7
20	新制短大・高専	6.4	7.5	7.6	7.3	8.4	-	-	-
99	無回答	1.8	2.0	2.5	1.1	1.0	1.0	0.9	0.8
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2008 以降は、同棲中も有配偶とみなして対象範囲を含む。

2000 選択肢：「1 旧制尋常小学校、2 旧制高等小学校、3 旧制中学校・高等女学校、4 旧制実業学校、5 旧制師範学校、6 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校、7 旧制大学・旧制大学院、8 新制中学校、9 新制高校、10 新制短大・高専、11 新制大学、12 新制大学院、13 わからない」。

2002 選択肢ワーディング変更：「1 旧制尋常小学校」「1 旧制尋常小学校(国民学校を含む)」。

2005 選択肢ワーディング変更：「4 旧制実業学校」「4 旧制実業・商業学校」。

2006 選択肢変更：「10 新制短大・高専」「10 新制高専」「11 新制短大」。

2000-2010 コード統合：「1 旧制尋常小学校(国民学校を含む)、2 旧制高等小学校、3 旧制中学校・高等女学校、4 旧制実業・商業学校、5 旧制師範学校、6 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校、7 旧制大学・旧制大学院、8 新制中学校、9 新制高校、10 新制高専、11 新制短大、12 新制大学、13 新制大学院、14 わからない、20 新制短大・高専」。

643. PPLSTSCH 最終学校(父親)\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	旧制尋常小学校(国民学校を含む)	23.1	20.5	22.2	23.0	22.4	19.6	17.0	17.9
2	旧制高等小学校	17.5	17.7	15.8	13.5	11.9	11.2	12.2	10.5
3	旧制中学校・高等女学校	8.9	9.5	10.0	8.3	8.1	8.3	9.0	8.3
4	旧制実業・商業学校	1.1	1.2	1.7	1.3	1.5	1.4	2.2	1.3
5	旧制師範学校	1.1	1.0	0.8	1.1	1.0	0.8	1.0	0.9
6	旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	3.1	3.1	3.8	3.7	2.6	3.0	3.7	3.0
7	旧制大学・旧制大学院	2.7	3.2	3.4	3.0	2.1	3.2	2.6	2.7
8	新制中学校	7.5	7.8	6.3	6.7	5.9	8.0	7.7	8.4
9	新制高校	10.4	10.8	11.8	11.7	13.4	12.6	15.0	16.5
10	新制高専	-	-	-	-	-	0.9	0.9	0.9
11	新制短大	-	-	-	-	-	0.2	0.2	0.3
12	新制大学	4.6	4.0	4.6	5.2	4.6	6.1	7.1	7.7
13	新制大学院	0.4	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	0.4	0.5
14	わからない	16.7	17.3	14.7	15.8	23.2	20.6	17.4	17.3
20	新制短大・高専	0.7	0.8	0.6	0.7	0.8	-	-	-
99	無回答	2.1	2.8	3.6	5.6	1.9	3.6	3.3	3.7
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2000 選択肢：「1 旧制尋常小学校、2 旧制高等小学校、3 旧制中学校・高等女学校、4 旧制実業学校、5 旧制師範学校、6 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校、7 旧制大学・旧制大学院、8 新制中学校、9 新制高校、10 新制短大・高専、11 新制大学、12 新制大学院、13 わからない」。

2002 選択肢ワーディング変更：「1 旧制尋常小学校」「1 旧制尋常小学校(国民学校を含む)」。

2005 選択肢ワーディング変更：「4 旧制実業学校」「4 旧制実業・商業学校」。

2006 選択肢変更：「10 新制短大・高専」「10 新制高専」「11 新制短大」以下選択肢 11-13 繰り下げて 12-14。

2000-2010 コード統合：「1 旧制尋常小学校(国民学校を含む)、2 旧制高等小学校、3 旧制中学校・高等女学校、4 旧制実業・商業学校、5 旧制師範学校、6 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校、7 旧制大学・旧制大学院、8 新制中学校、9 新制高校、10 新制高専、11 新制短大、12 新制大学、13 新制大学院、14 わからない、20 新制短大・高専」。

## 644. MMLSTSCH 最終学校(母親)\*

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	旧制尋常小学校(国民学校を含む)	24.4	22.2	24.2	24.6	23.3	20.3	18.1	18.6
2	旧制高等小学校	17.5	17.4	15.9	14.1	12.4	11.2	11.9	10.2
3	旧制中学校・高等女学校	12.5	13.6	14.4	12.5	11.5	12.7	14.5	12.8
4	旧制実業・商業学校	0.6	0.5	0.4	0.5	0.4	0.3	0.6	0.5
5	旧制師範学校	0.6	0.5	0.7	0.7	0.5	0.8	0.7	0.6
6	旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	1.8	1.8	2.2	1.8	1.7	1.8	2.3	2.1
7	旧制大学・旧制大学院	0.3	0.4	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.4
8	新制中学校	7.4	8.5	6.9	7.2	6.1	8.0	8.3	8.9
9	新制高校	14.0	13.4	14.1	14.5	15.6	16.7	18.0	20.6
10	新制高専	-	-	-	-	-	1.0	1.3	0.9
11	新制短大	-	-	-	-	-	2.2	2.5	2.9
12	新制大学	1.1	1.2	1.3	1.4	2.0	1.7	2.2	1.9
13	新制大学院	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2
14	わからない	15.9	16.0	13.8	15.2	21.7	19.7	16.1	16.1
20	新制短大・高専	2.0	1.6	2.3	2.3	2.3	-	-	-
99	無回答	1.7	2.7	3.2	4.9	1.9	3.2	3.1	3.3
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2000	選択肢：「1 旧制尋常小学校、2 旧制高等小学校、3 旧制中学校・高等女学校、4 旧制実業学校、5 旧制師範学校、6 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校、7 旧制大学・旧制大学院、8 新制中学校、9 新制高校、10 新制短大・高専、11 新制大学、12 新制大学院、13 わからない」。
2002	選択肢ワーディング変更：「1 旧制尋常小学校」、「1 旧制尋常小学校(国民学校を含む)」。
2005	選択肢ワーディング変更：「4 旧制実業学校」、「4 旧制実業・商業学校」。
2006	選択肢変更：「10 新制短大・高専」、「10 新制高専」、「11 新制短大」以下選択肢 11-13 繰り下げて 12-14。
2000-2010	コード統合：「1 旧制尋常小学校(国民学校を含む)、2 旧制高等小学校、3 旧制中学校・高等女学校、4 旧制実業・商業学校、5 旧制師範学校、6 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校、7 旧制大学・旧制大学院、8 新制中学校、9 新制高校、10 新制高専、11 新制短大、12 新制大学、13 新制大学院、14 わからない、20 新制短大・高専」。

## 645. DOLSTSCH 最終学校の卒業・中退(本人)

あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	卒業	95.5	94.9	94.9	93.8	94.7	95.3	95.7	96.1
2	中退	2.9	2.9	3.3	2.9	2.7	2.9	2.7	2.1
3	在学中(____年生)	1.4	1.6	1.6	1.2	1.2	1.5	1.4	1.5
9	無回答	0.2	0.5	0.1	2.1	1.5	0.2	0.2	0.2
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

## 645. DOLSTSCH に「3 在学中(\_\_\_\_年生)の場合

## 646. XGRADE 在学中の場合の学年(本人)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1年生	-	-	-	-	-	-	7.0	6.5
	2年生	-	-	-	-	-	-	19.3	23.4
	3年生	-	-	-	-	-	-	33.3	31.2
	4年生	-	-	-	-	-	-	26.3	28.6
	5年生	-	-	-	-	-	-	3.5	2.6
99	無回答	-	-	-	-	-	-	10.5	7.8
	n	-	-	-	-	-	-	57	77
88	非該当								

## 647. SSDOLSTS 最終学校の卒業・中退(配偶者)

あなたの配偶者は最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	卒業	-	-	-	-	-	-	98.1	97.8
2	中退	-	-	-	-	-	-	1.4	1.6
3	在学中(____年生)	-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.5	0.6
	n	-	-	-	-	-	-	3329	3947
8	非該当								

648. SSXGRADE 在学中の場合の学年(配偶者)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入		-	-	-	-	-	-	0.0	0.0
99	無回答	-	-	-	-	-	-	0.0	100.0
		n	-	-	-	-	-	0	1
88	非該当								

649-653. 各種学校などの通学経験\*

あなたはここにあげた学校へ通ったことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。ただし、予備校は除きます。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
XSENSHU	専修学校・専門学校	13.0	13.9	13.2	-	-	-	-	-
XKAKUSHU	各種学校	3.6	4.2	4.7	-	-	-	-	-
XOCCUP	公共職業訓練校	2.5	2.1	2.4	-	-	-	-	-
XNOSCH	いずれもない	80.1	78.1	79.0	-	-	-	-	-
XNOKNOW	わからない	0.7	1.2	0.4	-	-	-	-	-
	選択者数	2893	2790	2953	-	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 では、2002 までの XNOMARK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。

累積データ 2000-2010 では、変数ラベルを変更している。

2000-2010 変数ラベル変更: 「通学経験: 専修学校・専門学校」、「各種学校などの通学経験: 専修学校・専門学校」、「通学経験: 各種学校」、「各種学校などの通学経験: 各種学校」、「通学経験: 公共職業訓練校」、「各種学校などの通学経験: 公共職業訓練校」。

654. XSPSCH 専修学校・専門学校への通学経験(本人)

あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。旧制専門学校や新制高専は含みません。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	通ったことがある	-	-	-	-	-	18.1	18.0	16.8
2	通ったことがない	-	-	-	-	-	81.4	81.5	82.7
9	無回答	-	-	-	-	-	0.5	0.5	0.5
		n	-	-	-	-	4254	4220	5003

655. PSPSCH 専修学校・専門学校への通学経験(配偶者)

あなたの配偶者は専門学校・専修学校に通ったことがありますか。旧制専門学校や新制高専は含みません。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	通ったことがある	-	-	-	-	-	-	11.5	10.5
2	通ったことがない	-	-	-	-	-	-	87.4	88.6
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.0	0.8
		n	-	-	-	-	-	3329	3947
8	非該当								

641. XXLSTSCH に「9 新制高校」「12 新制大学」「13 新制大学院」「20 新制短大・高専」の場合

656. XHSSUB 高校:学んだ学科

あなたが通った高校についてうかがいます。その高校であなたが学んだ学科は何でしたか。2 つ以上の場合は主な学科を 1 つお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	普通科	-	-	68.6	-	-	-	-	-
2	工業に関する学科	-	-	11.1	-	-	-	-	-
3	商業に関する学科	-	-	10.8	-	-	-	-	-
4	農業に関する学科	-	-	3.2	-	-	-	-	-
5	家庭・家政に関する学科	-	-	3.9	-	-	-	-	-
6	その他の学科(具体的に )	-	-	0.6	-	-	-	-	-
7	わからない	-	-	0.2	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.6	-	-	-	-	-
		n	-	2032	-	-	-	-	-
8	非該当								



657. XHSRATE 高校:進学率

その高校では、どのくらいの割合の人が大学・短大に進学しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほとんど全員	-	-	13.1	-	-	-	-	-
2	7～8割程度	-	-	15.9	-	-	-	-	-
3	半数くらい	-	-	17.5	-	-	-	-	-
4	2～3割程度	-	-	30.3	-	-	-	-	-
5	ほとんどいない	-	-	16.3	-	-	-	-	-
6	わからない	-	-	5.3	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.6	-	-	-	-	-
		n	-	2032	-	-	-	-	-
8	非該当								

641. XXLSTSCH に「12 新制大学」「13 新制大学院」「20 新制短大・高専」の場合

658. XUPUBLIC 大学など:国・公・私立

あなたが最後に通った(または現在通っている)学校(大学院・大学・短大・高専)についてうかがいます。その学校は国立でしたか、公立でしたか、あるいは私立(わたくしりつ)でしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	国立	-	-	15.5	-	-	-	-	-
2	公立	-	-	15.3	-	-	-	-	-
3	私立	-	-	66.1	-	-	-	-	-
4	わからない	-	-	0.4	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	2.7	-	-	-	-	-
		n	-	856	-	-	-	-	-
8	非該当								

659. XUSUB 大学など:専攻分野

その学校でのあなたの主な専攻分野は何でしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	理工(理学・工学・農学)	-	-	21.3	-	-	-	-	-
2	社会科学(経済学・経営学・商学・法学・政治学・社会学)	-	-	27.7	-	-	-	-	-
3	人文科学(文学・外国語・哲学・歴史学・心理学)	-	-	15.7	-	-	-	-	-
4	教育	-	-	11.3	-	-	-	-	-
5	家政	-	-	8.6	-	-	-	-	-
6	保健(医学・歯学・薬学)	-	-	8.1	-	-	-	-	-
7	その他(具体的に )	-	-	0.7	-	-	-	-	-
8	わからない	-	-	0.6	-	-	-	-	-
9	芸術	-	-	2.2	-	-	-	-	-
99	無回答	-	-	3.9	-	-	-	-	-
		n	-	856	-	-	-	-	-
88	非該当								

660. OP5SCHPF 中学3年生の頃の成績\*

中学3年生の頃、あなたの成績は学年の中でどれくらいだったと思いますか。戦前の学校の場合は、義務教育の最後の年の成績について、お答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	下の方	4.5	3.8	4.0	-	-	-	6.6	6.4
2	やや下の方	12.2	10.8	12.2	-	-	-	15.7	17.4
3	真ん中のあたり	44.9	43.2	43.0	-	-	-	40.1	40.1
4	やや上の方	18.0	19.0	19.7	-	-	-	23.3	22.0
5	上の方	14.1	16.1	14.1	-	-	-	13.6	13.3
6	回答したくない	2.2	3.6	2.5	-	-	-	0.0	0.0
7	わからない	4.0	3.3	3.8	-	-	-	0.0	0.0
9	無回答	0.1	0.3	0.7	-	-	-	0.6	0.8
		n	2893	2790	2953	-	-	4220	2507
8	非該当								

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2000 から 2002 は面接、2008 以降は留置で調査した。

2008 で選択肢を削除した。

2008 質問文ワーディング変更:「戦前の学校の場合は、義務教育の最後の年の成績について、お答えください。」追加。  
 選択肢削除:「6 回答したくない」「7 わからない」。

661-667. あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

661. FQ7FFDNR 家族と一緒に夕食:頻度\*

家族と一緒に夕食

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	ほぼ毎日	50.8	52.5	51.2	51.8	68.3	65.8	65.7	66.5	
2	週に数回	24.0	22.1	21.8	21.7	14.4	15.7	15.2	15.8	
3	週に1回程度	9.9	10.0	11.5	11.9	5.8	6.4	6.2	5.4	
4	月に1回程度	3.8	3.5	3.1	3.2	1.7	2.6	2.8	2.6	
5	年に数回	4.1	4.3	3.5	2.7	2.5	3.1	3.1	3.0	
6	年に1回程度	0.8	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	
7	まったくしていない	5.9	5.9	7.3	7.5	5.9	4.8	5.5	5.3	
9	無回答	0.7	0.7	0.9	0.6	0.6	0.8	0.9	0.9	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	4220	5003

8 非該当

\*調査年度によって変数ラベル、選択肢のワーディングに違いがある。

2003 までは「家族そろった夕食」について、2005 以降は「家族と一緒に夕食」について尋ねている。

2005 質問文ワーディング変更: 「家族そろった夕食」 「家族と一緒に夕食」.

変数ラベル変更: 「家族そろった夕食:頻度」 「家族と一緒に夕食:頻度」.

2006 選択肢ワーディング変更: 「1 ほとんど毎日」 「1 ほぼ毎日」、「7 全くなし」 「7 まったくしていない」.

662. FQ7FRSEE 友人との会食:頻度\*

友人との会食や集まり

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	ほぼ毎日	1.0	1.0	0.8	0.6	1.0	0.8	0.8	0.7	
2	週に数回	6.4	5.9	7.2	6.9	5.9	6.5	5.6	5.8	
3	週に1回程度	12.8	12.4	12.8	14.5	11.9	12.1	12.7	12.7	
4	月に1回程度	27.5	27.3	31.1	29.4	30.5	29.0	29.2	30.1	
5	年に数回	32.6	31.5	29.5	28.4	30.4	30.4	31.4	30.3	
6	年に1回程度	8.5	8.8	8.7	8.1	7.1	7.3	7.7	8.0	
7	まったくしていない	10.2	12.3	9.1	11.4	10.9	12.3	11.8	11.7	
9	無回答	0.9	0.8	0.8	0.7	2.2	1.6	0.9	0.8	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	4220	5003

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更: 「1 ほとんど毎日」 「1 ほぼ毎日」、「7 全くなし」 「7 まったくしていない」.

663. FQ7CKDNR 夕食の用意:頻度(本人)\*

夕食の用意

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	ほぼ毎日	45.4	45.4	46.2	49.5	46.5	45.7	47.0	47.3	
2	週に数回	9.6	9.7	9.0	9.1	9.1	8.3	8.8	10.1	
3	週に1回程度	5.9	5.3	6.3	6.1	5.0	5.9	6.0	5.6	
4	月に1回程度	5.3	5.1	5.0	5.0	4.1	4.5	4.7	4.3	
5	年に数回	8.2	7.8	7.7	7.1	7.3	7.1	7.4	6.6	
6	年に1回程度	2.6	3.5	2.4	2.2	2.5	2.3	1.9	1.9	
7	まったくしていない	22.3	22.2	22.5	20.2	23.8	25.5	23.5	23.7	
9	無回答	0.8	1.0	1.0	0.7	1.7	0.8	0.7	0.4	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	5003

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更: 「1 ほとんど毎日」 「1 ほぼ毎日」、「7 全くなし」 「7 まったくしていない」.

664. FQ7WASH 洗濯:頻度(本人)\*

洗濯

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	ほぼ毎日	41.3	40.6	41.2	42.2	43.3	40.2	40.8	40.6	
2	週に数回	14.1	14.6	14.9	17.2	13.8	15.4	16.4	16.5	
3	週に1回程度	6.8	6.6	7.3	6.6	6.6	6.9	6.5	7.5	
4	月に1回程度	4.7	4.1	3.9	3.8	3.6	2.8	3.2	3.6	
5	年に数回	6.0	6.2	5.6	5.6	5.6	5.8	5.8	4.8	
6	年に1回程度	2.2	2.4	2.1	2.3	1.7	1.8	1.7	1.7	
7	まったくしていない	24.0	25.1	24.4	21.7	23.6	26.3	24.9	24.7	
9	無回答	0.7	0.5	0.6	0.6	1.8	0.7	0.7	0.7	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	5003

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更: 「1 ほとんど毎日」 「1 ほぼ毎日」、「7 全くなし」 「7 まったくしていない」.

## 665. FQ7SHOP 買い物:頻度(本人)\*

買い物(日用品や食料品の買い物)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	ほぼ毎日	24.2	23.4	22.5	21.6	21.1	21.3	21.6	20.7	
2	週に数回	30.2	30.8	30.7	35.4	34.9	33.1	35.6	36.7	
3	週に1回程度	17.7	18.8	20.0	20.2	20.2	20.9	20.6	21.2	
4	月に1回程度	10.2	9.1	8.9	8.5	8.1	9.0	7.8	7.9	
5	年に数回	6.5	6.1	5.5	4.6	5.4	4.9	5.0	3.7	
6	年に1回程度	1.2	1.1	1.3	1.2	0.7	0.7	0.5	0.9	
7	まったくしていない	9.2	10.4	10.5	7.9	8.1	9.4	8.2	8.3	
9	無回答	0.7	0.3	0.6	0.6	1.6	0.7	0.6	0.6	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	5003

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更: 「1 ほとんど毎日」 「1 ほぼ毎日」、「7 全くなし」 「7 まったくしていない」.

## 666. FQ7CLEAN 家の掃除:頻度(本人)\*

家の掃除

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	ほぼ毎日	28.3	27.8	26.2	27.4	26.7	27.8	26.1	25.1	
2	週に数回	21.6	21.8	23.5	25.0	22.9	22.0	22.7	24.2	
3	週に1回程度	16.8	16.3	16.7	18.2	16.4	17.3	19.3	19.5	
4	月に1回程度	10.0	9.9	9.8	9.4	10.5	9.2	9.3	9.1	
5	年に数回	8.7	9.3	8.1	6.4	7.9	9.0	7.9	7.7	
6	年に1回程度	2.9	3.4	2.7	2.7	2.0	2.1	2.4	2.5	
7	まったくしていない	11.4	11.3	12.4	10.5	12.5	12.0	11.7	11.3	
9	無回答	0.3	0.3	0.7	0.4	1.1	0.6	0.5	0.6	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	5003

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更: 「1 ほとんど毎日」 「1 ほぼ毎日」、「7 全くなし」 「7 まったくしていない」.

## 667. FQ7GARB ゴミ出し:頻度(本人)\*

ゴミ出し

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	ほぼ毎日	-	-	10.8	11.8	12.8	11.0	11.5	10.5	
2	週に数回	-	-	44.5	47.2	44.4	45.6	45.7	46.8	
3	週に1回程度	-	-	12.4	11.9	11.5	11.4	12.7	12.1	
4	月に1回程度	-	-	6.1	6.0	5.8	6.0	6.1	5.1	
5	年に数回	-	-	6.3	5.5	6.4	6.3	5.4	5.9	
6	年に1回程度	-	-	2.1	1.8	1.5	1.6	1.4	1.6	
7	まったくしていない	-	-	17.3	15.7	16.4	17.7	16.9	17.4	
9	無回答	-	-	0.5	0.3	1.0	0.5	0.4	0.5	
		n	-	-	2953	1957	2023	4254	4220	5003

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更: 「1 ほとんど毎日」 「1 ほぼ毎日」、「7 全くなし」 「7 まったくしていない」.

## 668-672. あなたの配偶者は、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

## 668. SSFQ7CK 夕食の用意:頻度(配偶者)\*

夕食の用意

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	ほぼ毎日	44.1	45.1	46.1	-	-	43.4	-	-	
2	週に数回	7.2	7.0	5.9	-	-	6.4	-	-	
3	週に1回程度	3.9	4.3	4.3	-	-	4.3	-	-	
4	月に1回程度	3.6	3.4	3.5	-	-	3.5	-	-	
5	年に数回	7.1	7.0	6.1	-	-	7.7	-	-	
6	年に1回程度	2.6	2.5	3.5	-	-	3.1	-	-	
7	まったくしていない	30.8	29.8	29.8	-	-	30.7	-	-	
9	無回答	0.8	0.9	0.8	-	-	0.9	-	-	
		n	2099	2061	2182	-	-	1526	-	-

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更: 「1 ほとんど毎日」 「1 ほぼ毎日」、「7 全くなし」 「7 まったくしていない」.

669. SSFQ7WSH 洗濯:頻度(配偶者)\*

洗濯

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	39.9	39.8	41.8	-	-	38.7	-	-
2	週に数回	10.4	11.2	10.0	-	-	11.1	-	-
3	週に1回程度	3.6	3.1	3.1	-	-	4.1	-	-
4	月に1回程度	3.0	2.3	2.9	-	-	3.2	-	-
5	年に数回	5.4	5.5	5.6	-	-	5.6	-	-
6	年に1回程度	2.2	2.5	2.5	-	-	3.5	-	-
7	まったくしていない	34.7	34.5	33.2	-	-	33.0	-	-
9	無回答	0.8	1.1	0.9	-	-	0.9	-	-
		n	2099	2061	2182	-	-	1526	-

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更: 「1 ほとんど毎日」 「1 ほぼ毎日」、「7 全くなし」 「7 まったくしていない」.

670. SSFQ7SHP 買い物:頻度(配偶者)\*

買い物(日用品や食料品の買い物)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	26.9	26.0	26.5	-	-	22.8	-	-
2	週に数回	22.9	25.3	24.9	-	-	26.8	-	-
3	週に1回程度	15.5	15.5	15.5	-	-	15.5	-	-
4	月に1回程度	7.9	8.6	8.2	-	-	8.8	-	-
5	年に数回	7.8	6.6	7.6	-	-	8.1	-	-
6	年に1回程度	1.5	1.5	1.2	-	-	2.2	-	-
7	まったくしていない	16.9	15.5	15.0	-	-	14.6	-	-
9	無回答	0.7	1.0	1.1	-	-	1.0	-	-
		n	2099	2061	2182	-	-	1526	-

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更: 「1 ほとんど毎日」 「1 ほぼ毎日」、「7 全くなし」 「7 まったくしていない」.

671. SSFQ7CLN 家の掃除:頻度(配偶者)\*

家の掃除

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	27.7	29.8	28.4	-	-	26.4	-	-
2	週に数回	18.4	17.3	18.7	-	-	18.5	-	-
3	週に1回程度	11.6	11.0	11.8	-	-	11.0	-	-
4	月に1回程度	6.2	6.4	6.7	-	-	7.9	-	-
5	年に数回	9.1	10.1	8.9	-	-	9.9	-	-
6	年に1回程度	4.0	4.0	3.8	-	-	5.2	-	-
7	まったくしていない	22.3	20.5	20.9	-	-	20.2	-	-
9	無回答	0.8	0.9	0.8	-	-	0.8	-	-
		n	2099	2061	2182	-	-	1526	-

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更: 「1 ほとんど毎日」 「1 ほぼ毎日」、「7 全くなし」 「7 まったくしていない」.

672. SSFQ7GRB ゴミ出し:頻度(配偶者)\*

ゴミ出し

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	19.1	-	-	15.0	-	-
2	週に数回	-	-	32.7	-	-	34.7	-	-
3	週に1回程度	-	-	9.7	-	-	9.4	-	-
4	月に1回程度	-	-	6.1	-	-	6.0	-	-
5	年に数回	-	-	6.4	-	-	8.6	-	-
6	年に1回程度	-	-	2.3	-	-	2.8	-	-
7	まったくしていない	-	-	22.9	-	-	22.7	-	-
9	無回答	-	-	0.8	-	-	0.9	-	-
		n	-	-	2182	-	-	1526	-

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更: 「1 ほとんど毎日」 「1 ほぼ毎日」、「7 全くなし」 「7 まったくしていない」.

673. WH3HSWK 家事分担

あなたのご家庭では、掃除・料理・洗濯などの家事を中心になって行うのは誰ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	私自身が主に行う	44.3	45.2	-	-	-	-	-	-
2	私と私以外の者（配偶者・親・お手伝いさん・ヘルパーなど）が同じくらい行う	15.7	16.6	-	-	-	-	-	-
3	私以外の者（配偶者・親・お手伝いさん・ヘルパーなど）が主に行う	39.9	38.0	-	-	-	-	-	-
4	わからない	0.0	0.1	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.1	0.2	-	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	-	-	-	-	-	-

674. RR6ACCT 家計管理

家計の管理のことについておたずねします。あなた方ご夫婦の場合は、収入をどのように管理していますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	夫のこづかい以外は、妻がすべて管理している	60.2	60.7	-	-	-	-	-	-
2	妻のこづかい以外は、夫がすべて管理している	2.1	3.3	-	-	-	-	-	-
3	日常の支出以外は、夫が管理している	10.5	9.8	-	-	-	-	-	-
4	すべての収入をひとつにまとめていて、夫と妻はそれぞれ必要な額をそこから支出している	14.0	13.0	-	-	-	-	-	-
5	夫と妻の収入を一部は一緒にしているが、大部分は夫と妻が別々に管理している	6.9	6.6	-	-	-	-	-	-
6	夫と妻は、それぞれの収入を別々に管理している	4.7	4.7	-	-	-	-	-	-
9	無回答	1.8	2.0	-	-	-	-	-	-
	n	2099	2061	-	-	-	-	-	-
8	非該当								

675-686. 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

675. Q4WWJBIA 意見についての賛否:妻の仕事

夫に十分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	18.3	17.5	18.3	19.2	18.0	12.5	11.4	14.6
2	どちらかといえば賛成	31.8	33.9	31.7	30.6	32.3	31.0	31.3	30.2
3	どちらかといえば反対	34.9	31.9	34.6	33.3	35.1	39.7	42.9	37.5
4	反対	13.6	14.7	14.1	15.7	12.6	14.5	13.1	16.4
9	無回答	1.3	2.0	1.3	1.2	1.9	2.3	1.4	1.4
	n	2893	2790	2953	3663	2023	2124	2060	5003
8	非該当								

676. Q4WNMGA 意見についての賛否:女性の幸福

なんといっても女性の幸福は結婚にある

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	17.1	17.2	14.3	15.4	14.5	10.2	10.0	11.0
2	どちらかといえば賛成	46.6	46.4	37.7	38.1	40.6	34.5	35.4	37.3
3	どちらかといえば反対	24.0	23.6	29.8	29.2	28.0	33.2	35.3	32.1
4	反対	10.5	10.7	16.5	15.4	14.3	19.1	16.6	17.6
9	無回答	1.9	2.2	1.8	1.9	2.6	3.1	2.7	2.0
	n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	5003
8	非該当								

677. Q4JBMMFM 意見についての賛否:親子関係

仕事をもつ母親も、専業主婦と同じように、暖かく安定した親子関係を築くことができる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	35.8	39.1	-	-	-	-	-	-
2	どちらかといえば賛成	46.1	44.4	-	-	-	-	-	-
3	どちらかといえば反対	14.4	13.0	-	-	-	-	-	-
4	反対	1.8	1.3	-	-	-	-	-	-
9	無回答	1.8	2.2	-	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	-	-	-	-	-	-

678. Q4MNCOOK 意見についての賛否:男性の家事  
男性も身の回りのことや炊事をすべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	賛成	41.2	40.9	33.4	36.3	31.9	30.3	30.8	35.5	
2	どちらかといえば賛成	47.0	49.0	50.3	47.4	52.0	55.5	56.5	53.4	
3	どちらかといえば反対	8.8	6.9	12.6	12.2	11.6	10.1	9.8	7.6	
4	反対	1.9	1.9	2.7	3.0	2.9	2.3	1.5	2.4	
9	無回答	1.1	1.3	1.0	1.2	1.6	1.8	1.4	1.2	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

679. Q4WWHHX 意見についての賛否:性役割分担  
夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	賛成	13.6	12.9	14.6	17.2	14.2	11.0	8.9	11.3	
2	どちらかといえば賛成	40.3	41.5	38.8	34.3	36.8	37.7	39.0	37.1	
3	どちらかといえば反対	30.5	28.6	30.6	30.2	31.9	33.1	36.0	32.6	
4	反対	14.1	15.1	14.7	16.8	15.2	16.1	14.7	17.7	
9	無回答	1.5	1.9	1.3	1.5	1.8	2.3	1.3	1.4	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	2124	2060	5003
8	非該当									

680. Q4MNMGA 意見についての賛否:男性の幸福  
なんといっても男性の幸福は結婚にある

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	賛成	18.1	17.8	14.2	15.2	14.7	9.4	9.8	11.1	
2	どちらかといえば賛成	47.8	47.4	40.4	40.9	41.4	36.7	37.9	37.8	
3	どちらかといえば反対	22.5	21.7	28.0	26.9	28.1	32.3	34.1	31.6	
4	反対	9.2	9.7	14.9	14.8	12.7	17.9	16.2	17.0	
9	無回答	2.4	3.4	2.5	2.1	3.2	3.7	2.0	2.4	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	5003
8	非該当									

681. Q4JBMMCC 意見についての賛否:子どもへの影響  
母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによく影響を与える

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	賛成	13.6	12.5	17.1	19.6	16.4	11.8	10.2	11.6	
2	どちらかといえば賛成	37.3	37.9	35.1	34.8	36.8	33.6	32.9	32.5	
3	どちらかといえば反対	34.3	33.0	31.6	28.9	31.6	36.3	40.2	36.1	
4	反対	12.9	14.2	14.6	14.8	12.5	15.2	14.3	18.0	
9	無回答	1.9	2.4	1.6	1.9	2.7	3.1	2.3	1.7	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

682. Q4NOCCMG 意見についての賛否:子どもをもつ必要  
結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	賛成	13.0	12.5	13.3	13.7	11.8	10.5	10.0	13.3	
2	どちらかといえば賛成	23.4	25.2	23.3	20.5	21.8	23.4	25.4	24.9	
3	どちらかといえば反対	39.7	39.8	39.2	37.5	38.3	41.8	42.8	41.3	
4	反対	22.2	20.4	22.5	26.8	25.8	21.6	19.9	18.7	
9	無回答	1.6	2.0	1.7	1.6	2.3	2.8	1.9	1.7	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

683. Q4WNJB2L 意見についての賛否:女性の自立

女性が自立した人間として生きるためには、仕事をもつことが最もよい

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	29.1	28.4	-	-	-	-	-	-
2	どちらかといえば賛成	49.9	51.3	-	-	-	-	-	-
3	どちらかといえば反対	15.5	15.0	-	-	-	-	-	-
4	反対	3.7	3.2	-	-	-	-	-	-
9	無回答	1.8	2.1	-	-	-	-	-	-
n		2893	2790	-	-	-	-	-	-

684. Q4WWHPHH 意見についての賛否:妻は夫の手助け

妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	12.4	11.9	13.1	13.8	13.3	9.1	8.3	9.9
2	どちらかといえば賛成	34.9	34.3	33.7	33.9	33.5	32.3	33.9	33.3
3	どちらかといえば反対	38.4	39.4	36.9	35.1	36.8	41.1	42.2	39.1
4	反対	12.1	11.8	14.7	15.1	13.3	14.6	13.5	15.9
9	無回答	2.2	2.7	1.6	2.1	3.1	3.0	2.0	1.9
n		2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	5003
8	非該当								

685. Q4MGHAPP 意見についての賛否:結婚観

一般的にいて、結婚していない人よりも結婚している人の方が幸せである

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	16.1	15.7	-	-	-	-	-	-
2	どちらかといえば賛成	45.3	45.3	-	-	-	-	-	-
3	どちらかといえば反対	24.1	24.5	-	-	-	-	-	-
4	反対	11.4	10.8	-	-	-	-	-	-
9	無回答	3.0	3.7	-	-	-	-	-	-
n		2893	2790	-	-	-	-	-	-

686. Q4DIVOK 意見についての賛否:離婚

結婚しても、相手に満足できないときは、いつでも離婚すればよい

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	9.9	9.1	9.5	7.5	5.5	11.4
2	どちらかといえば賛成	-	-	30.3	27.5	27.8	25.1	25.5	30.4
3	どちらかといえば反対	-	-	44.8	43.1	42.8	48.2	49.4	41.9
4	反対	-	-	13.9	19.0	17.8	16.7	18.2	15.2
9	無回答	-	-	1.0	1.3	2.1	2.5	1.5	1.2
n		-	-	2953	3663	2023	2124	2060	2507
8	非該当								

687-690. 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

687. Q4CGDVY 結婚観:子どもにとっての親の離婚

一般に、結婚生活がうまくいかず幸せでない場合、子どもにとっては、両親が離婚に踏み切った方がよい。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	12.5	11.2	-	-	-	-	-	-
2	どちらかといえば賛成	32.9	36.9	-	-	-	-	-	-
3	どちらかといえば反対	39.0	37.4	-	-	-	-	-	-
4	反対	14.0	12.4	-	-	-	-	-	-
9	無回答	1.5	2.1	-	-	-	-	-	-
n		2893	2790	-	-	-	-	-	-

688. Q4WWDVY 結婚観:妻にとっての離婚

一般に、結婚生活がうまくいかず幸せでない場合、妻にとっては、離婚に踏み切った方がよい。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	23.3	21.4	-	-	-	-	-	-
2	どちらかといえば賛成	41.7	43.7	-	-	-	-	-	-
3	どちらかといえば反対	25.1	25.2	-	-	-	-	-	-
4	反対	7.8	7.2	-	-	-	-	-	-
9	無回答	2.2	2.5	-	-	-	-	-	-
n		2893	2790	-	-	-	-	-	-

689. Q4HHDVY 結婚観:夫にとっての離婚

一般に、結婚生活がうまくいかず幸せでない場合、夫にとっては、離婚に踏み切った方がよい。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	20.9	19.9	-	-	-	-	-	-
2	どちらかといえば賛成	40.3	41.1	-	-	-	-	-	-
3	どちらかといえば反対	27.7	27.3	-	-	-	-	-	-
4	反対	8.4	7.9	-	-	-	-	-	-
9	無回答	2.7	3.7	-	-	-	-	-	-
n		2893	2790	-	-	-	-	-	-

690. Q4MNCKY 結婚観:男性の家事の賛否

男性も身の回りのことや炊事の仕方を身につけるべきだ。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	47.3	48.9	-	-	-	-	-	-
2	どちらかといえば賛成	44.0	42.7	-	-	-	-	-	-
3	どちらかといえば反対	5.8	5.3	-	-	-	-	-	-
4	反対	1.9	2.2	-	-	-	-	-	-
9	無回答	1.0	0.9	-	-	-	-	-	-
n		2893	2790	-	-	-	-	-	-

691. APPCCNUM 理想的な子どもの人数(一般論)

一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	0人	0.2	0.2	0.2	0.3	0.5	0.2	0.2	0.1
1	1人	0.6	0.8	1.0	1.1	0.8	0.6	0.9	0.5
2	2人	34.0	35.3	35.5	36.5	40.7	36.3	41.3	39.4
3	3人	57.7	56.6	57.5	55.4	52.5	55.8	52.8	55.0
4	4人	5.7	5.3	3.8	5.0	3.4	5.4	3.3	3.2
5	5人以上(具体的に 人)	0.8	0.9	1.2	0.7	0.8	0.9	0.8	0.9
9	無回答	1.0	0.9	0.8	1.0	1.3	0.8	0.7	0.9
n		2893	2790	2953	1957	2023	2130	2060	2507
8	非該当								

691. APPCCNUM に「5人以上(具体的に\_\_人)」の場合

692. APPCCNMX 理想的な子どもの人数:5人以上の場合(具体的記述)

5人以上(具体的に)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	5人	47.8	38.5	48.6	38.5	47.1	40.0	47.1	47.8
	6人	13.0	3.8	20.0	7.7	23.5	20.0	11.8	13.0
	7人	8.7	3.8	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	8人	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	4.3
	9人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
	10人	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	4.3
999	無回答	30.4	50.0	31.4	38.5	23.5	40.0	35.3	26.1
n		23	26	35	13	17	20	17	23
888	非該当								

693. APPCCSXB 希望する子どもの性別

もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	男の子	41.9	42.8	42.3	43.0	43.6	45.9	43.1	42.1
2	女の子	54.3	53.0	54.2	52.6	50.9	47.4	51.6	53.5
9	無回答	3.9	4.2	3.5	4.4	5.4	6.8	5.4	4.4
n		2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当								



694. OP4NAME 夫婦別姓意識

結婚した男女は、名字をどのようにしたらよいとお考えですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	当然、妻が名字を改めて、夫の名字を名のるべきだ	26.7	28.4	27.1	28.2	-	26.0	-	27.5
2	現状では、妻が名字を改めて、夫の名字を名のったほうがよい	26.4	23.5	23.3	25.1	-	30.3	-	25.1
3	夫婦は同じ名字を名のるべきだが、どちらが名字を改めてもよい	31.4	31.5	33.2	32.6	-	29.9	-	33.1
4	一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままでもよい	13.8	14.8	14.5	12.1	-	12.3	-	11.9
9	無回答	1.7	1.8	2.0	1.9	-	1.5	-	2.4
	n	2893	2790	2953	1957	-	2130	-	2507
8	非該当								

695. OPCSNM 夫婦別姓のもとでの子どもの名字への意見

夫婦別姓を認めた場合、子どもたちの名字はどのようにしたらよいと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	夫の名字にそろえる	-	-	-	-	-	-	-	65.7
2	妻の名字にそろえる	-	-	-	-	-	-	-	2.7
3	どちらか一方の名字にそろえる必要はない (きょうだい間で名字が異なってもよい)	-	-	-	-	-	-	-	24.7
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	6.9
	n	-	-	-	-	-	-	-	2507
8	非該当								

696. ELWNGVNR 女性知事候補への投票

知事候補として女性が立候補した場合に、適任であれば、あなたは彼女に投票しますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	81.9	81.6	-	80.6	-	-	-	-
2	いいえ	6.3	6.7	-	6.6	-	-	-	-
3	わからない	11.5	11.0	-	12.6	-	-	-	-
9	無回答	0.3	0.8	-	0.2	-	-	-	-
	n	2893	2790	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

697. QWNSUMO 女性知事による大相撲の表彰

女性の知事が、大相撲の表彰式において、土俵上で知事賞を手渡すことに、あなたは賛成ですか、反対ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	45.7	-	-	-	-
2	反対	-	-	-	19.3	-	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	34.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.3	-	-	-	-
	n	-	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

698. OPEMPF 女性天皇への賛否

女性が天皇になることに、あなたは賛成ですか、反対ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	41.3	-	-
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	38.7	-	-
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	12.5	-	-
4	反対	-	-	-	-	-	4.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.2	-	-
	n	-	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

699. OPEMPFL 女系天皇への賛否

皇族の女性と民間の男性との間に生まれた子どもが天皇になること（女系天皇制）に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	31.8	-	-
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	41.4	-	-
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	16.5	-	-
4	反対	-	-	-	-	-	6.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	4.0	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

700. OPEMP1C 長子天皇への賛否

性別にかかわらず、天皇の第一子が次の天皇になることに、あなたは賛成ですか、反対ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	36.2	-	-
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	37.1	-	-
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	16.7	-	-
4	反対	-	-	-	-	-	6.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.7	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

701. OP2GNR 三世同居観

あなたは一般に、三世同居（親・子・孫の同居）は望ましいことだと考えますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	望ましい	64.9	63.8	61.3	65.0	62.8	66.0	74.3	69.4	
2	望ましくない	33.4	34.3	35.8	32.6	34.5	32.0	24.3	29.4	
9	無回答	1.7	1.9	2.9	2.4	2.7	2.0	1.4	1.2	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2130	2060	2507
8	非該当									

702. OP7CMTRA 自分の墓について

最近、墓についていろいろな議論がなされていますが、あなた自身の墓について、どのようにお考えですか。1つだけ をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	私の家（実家）の墓に入りたい	34.9	34.1	-	-	-	-	-	36.7
2	配偶者の家の墓に入りたい	17.7	18.4	-	-	-	-	-	14.8
3	自分と配偶者の代から始まる墓に入りたい	24.1	22.7	-	-	-	-	-	22.5
4	自分と配偶者だけの墓に入りたい（ロッカー式の納骨堂を含む）	6.0	6.1	-	-	-	-	-	6.3
5	自分一人の墓に入りたい（ロッカー式の納骨堂を含む）	1.1	1.3	-	-	-	-	-	1.2
6	合葬式の共同墓（家族以外の人々を含む）に入り たい	1.8	1.9	-	-	-	-	-	2.7
7	墓に入らず、海や山への散骨にしたい	11.8	13.1	-	-	-	-	-	14.0
9	無回答	2.5	2.5	-	-	-	-	-	1.7
		n	2893	2790	-	-	-	-	2507
8	非該当								

702. OP7CMTRA に「6 合葬式の共同墓に入りたい」「7 墓に入らず、海や山への散骨にしたい」の場合

703-707. 共同墓または散骨希望の理由\*

「共同墓に入りたい」あるいは「墓に入らず散骨にしたい」の理由はなぜですか。あてはまるものすべてに をつけて下さい。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
XCMNONE	家または個人の墓に入りたいが、墓を守る人がいない	8.1	7.9	-	-	-	-	-	11.6
XCMCARE	家または個人の墓に入りたいが、墓のことで子どもをわずらわせたくない	21.8	26.0	-	-	-	-	-	28.5
XCMNATR	自然にかえりたい	50.3	49.0	-	-	-	-	-	45.8
XCMSSENS	家または個人の墓に意味が見いだせない	29.2	29.0	-	-	-	-	-	31.1
XCMETC	その他（具体的に）	10.2	10.0	-	-	-	-	-	4.5
選択者数		394	420	-	-	-	-	-	421

\*累積データ 2000-2010 では、2001 までの XCMNOMK（いずれも選択していない）を「9 無回答」にリコード。  
2010 「いずれも選択していない」という変数を作成していない。

708. DORL 信仰する宗教の有無(本人)

あなたは、信仰している宗教がありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある	9.5	10.0	9.7	11.8	12.3	11.9	10.2	11.5
2	特に信仰していないが、家の宗教はある	25.0	24.9	19.5	20.4	25.1	23.5	28.6	24.5
3	ない	64.6	63.4	70.0	66.4	61.8	63.2	60.1	62.9
9	無回答	0.9	1.8	0.8	1.4	0.8	1.5	1.0	1.1
n		2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	5003
8	非該当								

708. DORL に「1 ある」の場合

709. XXRL 信仰する宗教(本人)\*

それは何ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
10	仏教	25.4	25.1	23.9	24.6	29.3	24.5	26.3	26.0
11	禅宗（曹洞宗・臨済宗）	9.2	8.8	7.3	5.5	4.7	6.4	6.1	6.9
12	天台宗	0.9	1.4	0.8	1.2	0.7	1.0	1.5	1.0
13	浄土宗	5.7	4.5	4.8	4.6	5.4	4.2	4.8	4.0
14	浄土真宗（本願寺・門徒宗・南無阿弥陀仏）	22.5	19.0	20.1	21.4	20.2	19.9	20.0	19.6
15	真言宗	6.5	7.4	6.5	6.3	6.4	6.4	6.6	7.1
16	日蓮宗	5.6	4.7	6.3	3.1	3.5	4.5	3.7	2.7
17	時宗	0.2	0.0	0.0	0.3	0.0	0.1	0.1	0.0
18	法華経・法華宗	-	1.0	0.7	0.2	0.1	0.5	0.4	0.7
19	本門佛立宗	-	-	0.5	0.0	0.3	0.1	0.1	0.1
20	神道	2.7	1.7	0.9	0.8	1.6	1.4	2.5	2.0
21	稲荷大明神	-	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
22	大山ねずの命神示教会	0.2	0.0	0.2	0.0	0.3	0.1	0.2	0.2
29	仏教+神道（仏様・神様）	0.7	0.4	0.7	0.3	0.9	0.8	0.6	0.7
30	キリスト教	1.1	1.6	2.1	2.6	2.1	1.8	1.4	1.6
31	カトリック	0.5	1.0	0.5	1.1	0.9	0.5	0.6	0.9
32	プロテスタント	0.2	0.5	0.2	0.5	0.1	0.5	0.2	0.3
33	ギリシア正教（日本ハリストス正教会）	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
35	エホバの証人	0.1	0.2	0.2	0.5	0.1	0.4	0.4	0.4
36	世界救世教	-	0.4	0.7	0.5	0.1	0.1	0.1	0.3
37	統一教会（世界基督教統一神霊協会）	-	-	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1
41	創価学会	5.8	4.8	8.2	7.2	5.8	6.1	5.7	5.5
42	立正佼成会	0.5	0.4	0.9	0.6	0.3	0.7	1.0	0.5
43	霊友会	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.4	0.2	0.1
44	仏所護念会	-	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
45	幸福の科学	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2	0.2
51	崇教真光・真光	0.4	0.3	0.6	0.5	0.0	0.1	0.4	0.4
52	天理教	1.1	1.4	1.8	2.5	1.4	0.8	1.0	1.1
53	真如苑	0.3	0.5	0.5	0.5	0.1	0.5	0.5	0.2
54	神幽現救世真光文明教団	-	-	-	-	-	0.1	0.0	0.1

55	PL 教団	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.2	
56	靈波之光	0.1	0.5	0.2	0.3	0.0	0.2	0.1	0.2	
57	白光	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
58	生長の家	0.6	0.0	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2	0.4	
59	金光教	0.3	0.2	0.0	0.5	0.7	0.3	0.2	0.1	
60	黒住教	-	-	-	-	-	0.4	0.2	0.2	
61	御獄教	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
80	先祖供養	0.2	0.4	0.9	0.6	0.5	0.9	0.5	0.5	
82	日蓮正宗	-	-	-	-	1.3	1.8	0.8	0.8	
85	その他	2.2	2.5	1.5	7.1	1.3	2.5	1.2	1.3	
87	わからない	1.0	0.3	0.7	0.0	0.7	0.7	0.7	0.5	
99	無回答	5.3	9.8	7.1	6.5	10.2	10.6	11.5	13.1	
		n	997	972	876	651	761	1532	1663	1826

88 非該当

\*調査年度が進むにしたがってコードを追加している。

710. DO3PIOUS 信仰の度合い(本人)

あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	熱心である	7.1	7.7	8.6	9.8	8.5	7.9	6.9	7.9	
2	まあまあ熱心である	27.7	26.3	24.8	28.3	26.4	27.7	27.2	24.7	
3	そんなに熱心ではない	63.2	62.7	64.0	58.5	59.9	60.3	61.9	61.4	
9	無回答	2.0	3.3	2.6	3.4	5.1	4.0	4.0	6.0	
		n	997	972	876	651	761	1532	1663	1826

8 非該当

711. SSDORL 信仰する宗教の有無(配偶者)

あなたの配偶者は、信仰している宗教がありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある	9.8	9.1	-	-	-	-	-	-
2	特に信仰していないが、家の宗教はある	23.7	24.8	-	-	-	-	-	-
3	ない	65.8	65.4	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.6	0.7	-	-	-	-	-	-
		n	2099	2061	-	-	-	-	-

8 非該当

711. SSDORL に「1 ある」の場合

712. SSXXRL 信仰する宗教(配偶者)\*

それは何ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
10	仏教	29.3	26.8	-	-	-	-	-	-
11	禅宗(曹洞宗・臨済宗)	8.4	9.2	-	-	-	-	-	-
12	天台宗	0.9	1.1	-	-	-	-	-	-
13	浄土宗	5.4	4.6	-	-	-	-	-	-
14	浄土真宗(本願寺・門徒宗・南無阿弥陀仏)	20.5	17.6	-	-	-	-	-	-
15	真言宗	5.3	6.7	-	-	-	-	-	-
16	日蓮宗	5.7	4.4	-	-	-	-	-	-
18	法華経・法華宗	-	0.9	-	-	-	-	-	-
20	神道	1.7	2.1	-	-	-	-	-	-
21	稲荷大明神	-	0.1	-	-	-	-	-	-
22	大山ねずの命神示教会	0.4	0.3	-	-	-	-	-	-
29	仏教+神道(仏様・神様)	0.4	0.4	-	-	-	-	-	-
30	キリスト教	1.7	2.1	-	-	-	-	-	-
31	カトリック	0.4	1.1	-	-	-	-	-	-
32	プロテスタント	0.4	0.6	-	-	-	-	-	-
35	エホバの証人	0.1	0.3	-	-	-	-	-	-
36	世界救世教	-	0.4	-	-	-	-	-	-
41	創価学会	6.4	4.3	-	-	-	-	-	-
42	立正佼成会	0.4	0.1	-	-	-	-	-	-
43	霊友会	0.4	0.1	-	-	-	-	-	-
44	仏所護念会	0.0	0.1	-	-	-	-	-	-
45	幸福の科学	0.1	0.0	-	-	-	-	-	-
51	崇教真光・真光	0.4	0.1	-	-	-	-	-	-
52	天理教	1.3	1.7	-	-	-	-	-	-

53	真如苑	0.6	0.6	-	-	-	-	-	-
55	PL 教団	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-
56	霊波之光	0.0	0.3	-	-	-	-	-	-
57	白光	0.1	0.0	-	-	-	-	-	-
58	生長の家	0.6	0.1	-	-	-	-	-	-
59	金光教	0.3	0.6	-	-	-	-	-	-
61	御獄教	0.3	0.0	-	-	-	-	-	-
80	先祖供養	0.3	0.3	-	-	-	-	-	-
85	その他	1.6	2.1	-	-	-	-	-	-
87	わからない	1.3	0.9	-	-	-	-	-	-
99	無回答	5.3	9.6	-	-	-	-	-	-
		n	704	699	-	-	-	-	-
88	非該当								

\*調査年度が進むにしたがってコードを追加している。

## 713. SS3PIOUS 信仰の度合い(配偶者)

あなたの配偶者は、熱心な信者だと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	熱心である	9.9	10.2	-	-	-	-	-	-
2	まあまあ熱心である	29.4	27.3	-	-	-	-	-	-
3	そんなに熱心ではない	58.0	58.7	-	-	-	-	-	-
9	無回答	2.7	3.9	-	-	-	-	-	-
		n	704	699	-	-	-	-	-
8	非該当								

## 714. QAFTRDTH 死後の世界

あなたは、死後の世界を信じますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	18.6	18.6	-	-	-	-	20.7	-
2	いいえ	30.4	30.1	-	-	-	-	28.3	-
3	わからない	50.7	50.8	-	-	-	-	49.5	-
9	無回答	0.3	0.4	-	-	-	-	1.5	-
		n	2893	2790	-	-	-	2060	-
8	非該当								

## 715. QDDKILLA 安楽死の賛否

不治の病におかされた患者が、痛みを伴わない安楽死を望んでいるとします。その家族も同意している場合に、医師が安楽死を行なえる法律をつくるべきだと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	はい	66.7	68.6	59.4	62.1	61.2	64.6	68.2	68.8	
2	いいえ	6.9	5.9	7.1	7.6	7.7	7.0	5.1	7.1	
3	わからない	26.1	24.7	33.3	30.1	30.7	28.0	26.7	23.9	
9	無回答	0.3	0.8	0.2	0.2	0.3	0.4	0.1	0.2	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	2060	2507
8	非該当									

## 716. OSUBMOM 代理母出産への賛否

あなたは、代理母による出産を認める法律を日本でも作るべきだと思いますか。「代理母による出産」とは人工受精により妻以外の女性に出産してもらうことです。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	24.5	-	-	-	-
2	いいえ	-	-	-	27.1	-	-	-	-
3	わからない	-	-	-	48.3	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.1	-	-	-	-
		n	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

717. DOCARD ドナーカードの所持\*

あなたは、臓器提供の意思表示ができるカードまたはシール（健康保険証の意思表示欄への記入を含む）を持っていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	持っている	6.2	5.4	-	-	-	-	-	12.8
2	持っていない	93.6	93.9	-	-	-	-	-	86.5
9	無回答	0.2	0.7	-	-	-	-	-	0.7
n		2893	2790	-	-	-	-	-	2507

8 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2010 質問文ワーディング変更：「臓器提供意思表示カード（ドナーカード）」 「臓器提供の意思表示ができるカードまたはシール（健康保険証の意思表示欄への記入を含む）」。

717. DOCARD に「1 持っている」の場合

718. DO3SIGN ドナーカードへの署名

それに臓器提供意思表示の署名をしていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	臓器提供の意思(一部提供も含む)を表示して、署名している	49.4	51.0	-	-	-	-	-	41.6
2	臓器提供を希望しない意思を表示して、署名している	4.4	4.0	-	-	-	-	-	4.4
3	持っているが、署名していない	45.0	42.4	-	-	-	-	-	51.9
9	無回答	1.1	2.6	-	-	-	-	-	2.2
n		180	151	-	-	-	-	-	320

8 非該当

719. WLIVORG 臓器を提供する意思

仮に、ご自分が脳死と判定された場合、あなたは心臓や肝臓などの臓器が提供されてもよいと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	-	-	26.0
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	-	-	34.1
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	-	-	19.7
4	そう思わない	-	-	-	-	-	-	-	19.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.2
n		-	-	-	-	-	-	-	2507

8 非該当

720. WLACCORG 臓器の提供を受ける意思

仮に、心臓移植をしなければ生きられない状態になった場合、あなたは移植を受けたいと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受けたい	-	-	-	-	-	-	-	15.1
2	どちらかといえば受けたい	-	-	-	-	-	-	-	29.2
3	どちらかといえば受けたくない	-	-	-	-	-	-	-	27.8
4	受けたくない	-	-	-	-	-	-	-	26.4
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.5
n		-	-	-	-	-	-	-	2507

8 非該当

721. OPSCDIN インターネット自殺への意見

いっしょに自殺をしてくれる仲間をインターネットなどで探す人がいます。あなたは、このような人の気持ちが理解できますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よく理解できる	-	-	-	-	-	0.8	-	-
2	ある程度理解できる	-	-	-	-	-	9.5	-	-
3	あまり理解できない	-	-	-	-	-	21.4	-	-
4	まったく理解できない	-	-	-	-	-	67.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.8	-	-
n		-	-	-	-	-	2124	-	-

8 非該当

722. OPSCD 自殺への意見

どうしてももない困難に陥った人は、自殺をしてもやむをえないと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	3.5	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	11.7	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	19.9	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	-	63.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.6	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

723. XWNTSCD 自殺願望の経験

あなたは、ここ5年の間に「自殺をしたい」と考えたことがありましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	あった	-	-	-	-	-	5.5	-	-
2	ここ5年はないが、それ以前にはあった	-	-	-	-	-	11.5	-	-
3	一度もない	-	-	-	-	-	82.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.9	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

724. XX8PLPTY 支持政党\*

現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	自民党	20.5	25.4	23.2	32.3	30.0	28.3	22.4	16.4	
2	民主党	6.3	4.6	3.4	11.7	12.2	11.2	17.3	18.5	
3	公明党	3.3	3.0	3.3	3.3	4.4	3.7	3.8	3.3	
4	共産党	1.6	1.9	1.8	2.0	1.9	1.8	1.7	2.2	
5	社民党	2.2	1.8	1.3	1.7	1.9	1.5	1.3	0.9	
6	その他の政党( )	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.4	
7	特に支持する政党はない	61.1	58.7	62.1	40.2	39.9	44.2	45.1	49.0	
8	わからない	3.2	2.7	3.8	7.5	8.8	8.1	7.6	7.6	
9	みんなの党	-	-	-	-	-	-	-	1.1	
10	国民新党	-	-	-	-	-	-	-	0.1	
11	幸福実現党	-	-	-	-	-	-	-	0.1	
12	たちあがれ日本	-	-	-	-	-	-	-	0.0	
13	新党日本	-	-	-	-	-	-	-	0.0	
20	自由党	1.5	1.3	0.9	-	-	-	-	-	
21	保守新党(保守党)	0.1	0.0	0.0	0.1	-	-	-	-	
99	無回答	0.1	0.4	0.2	1.2	0.8	0.9	0.6	0.4	
		n	2893	2790	2953	1706	2023	4254	4220	5003
88	非該当									

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2010 に、「みんなの党」「国民新党」「幸福実現党」「たちあがれ日本」「新党日本」を「6 その他の政党」の具体的記述から追加した。

2002 までは面接、2003 以降は留置で調査した。

2000 選択肢:「1 自民党、2 民主党、3 公明党、4 自由党、5 共産党、6 社民党、7 保守党、8 その他、9 特に支持する政党はない、10 わからない」。

面接票で調査。

2003 選択肢ワーディング変更:「7 保守党」「7 保守新党」

選択肢削除:「4 自由党」コード「4」欠番。5-10 までのコード変更なし。

留置票で調査。

2005 選択肢削除:「7 保守新党」。

2010 コード追加:「6 その他の政党」の具体的記述から「9 みんなの党」「10 国民新党」「11 幸福実現党」「12 たちあがれ日本」「13 新党日本」。

2000-2010 コード統合:「1 自民党、2 民主党、3 公明党、4 共産党、5 社民党、6 その他の政党、7 特に支持する政党はない、8 わからない、9 みんなの党、10 国民新党、11 幸福実現党、12 たちあがれ日本、13 新党日本、20 自由党、21 保守新党(保守党)」。

725. XXWHYNO 政党を支持しない理由

あなたが「政党を支持しない」のはどのような理由ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	どの政党も支持したくないから	-	-	16.4	-	-	-	-	-
2	政党を支持したい気持ちはあるが、支持できる政党がないから	-	-	65.6	-	-	-	-	-
3	わからない	-	-	15.0	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	2.9	-	-	-	-	-
n		-	-	1834	-	-	-	-	-
8	非該当								

726. XX9PLPFV 好ましい政党\*

ふだん好ましいと思っている政党はありますか。1つだけ選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	自民党	5.5	9.5	7.2	12.8	13.5	-	-	-
2	民主党	5.3	3.5	2.2	9.2	9.2	-	-	-
3	公明党	0.5	0.4	0.2	1.3	1.9	-	-	-
4	共産党	2.0	0.8	1.6	1.9	2.5	-	-	-
5	社民党	1.8	1.9	0.7	1.5	2.0	-	-	-
6	その他の政党( )	0.1	0.2	0.2	0.1	0.5	-	-	-
7	特に好ましく感じる政党はない	75.2	73.7	82.7	54.6	52.6	-	-	-
8	わからない	7.0	6.7	3.8	14.0	15.0	-	-	-
20	自由党	1.4	0.6	0.4	-	-	-	-	-
21	保守党(保守新党)	0.2	0.1	0.1	0.0	-	-	-	-
99	無回答	1.1	2.7	0.9	4.5	3.0	-	-	-
n		1767	1639	1834	685	808	-	-	-
88	非該当								

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

単年度データと累積データ 2000-2010 では、コードに違いがある。

2002 までは面接、2003 以降は留置で調査した。

2000 選択肢：「1 自民党、2 民主党、3 公明党、4 自由党、5 共産党、6 社民党、7 保守党、8 その他、9 特に好ましく感じる政党はない、10 わからない」。

面接票で調査。

2003 選択肢ワーディング変更：「7 保守党」「7 保守新党」。

選択肢削除：「4 自由党」コード「4」欠番、5-10 までのコード変更なし。

留置票で調査。

2005 選択肢削除：「7 保守新党」。

2000-2010 コード統合：「1 自民党、2 民主党、3 公明党、4 共産党、5 社民党、6 その他の政党、7 特に好ましく感じる政党はない、8 わからない、20 自由党、21 保守党(保守新党)」。



727-741. 政権担当能力政党\*

政権を担当する能力があるのはどの政党だと思いますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
OLDPOK	自民党	39.2	53.7	50.7	52.1	-	52.8	41.9	26.7
ODPOK	民主党	11.2	7.8	5.5	21.0	-	22.1	27.8	23.7
OKOMEIOK	公明党	3.0	2.5	2.8	3.1	-	3.9	4.4	3.8
OCOMMPOK	共産党	1.5	0.9	0.9	1.1	-	1.6	1.5	1.4
OSDPOK	社民党	2.1	1.3	1.1	1.1	-	1.0	1.2	0.9
OOTHEROK	その他の政党 ( )	0.0	0.1	0.1	0.0	-	0.1	0.2	0.2
ONOPLPK	そのような政党はない	27.6	21.3	23.0	7.7	-	14.7	19.6	33.5
OPLPDONT	わからない	22.8	19.5	20.4	18.9	-	22.9	24.3	23.5
OMINNAOK	みんなの党	-	-	-	-	-	-	-	0.7
OKOKUMOK	国民新党	-	-	-	-	-	-	-	0.1
OKOUFUOK	幸福実現党	-	-	-	-	-	-	-	0.1
OTACHIOK	たちあがれ日本	-	-	-	-	-	-	-	0.0
OSHINTOK	新党日本	-	-	-	-	-	-	-	0.7
OLPOK	自由党	2.7	2.4	1.3	-	-	-	-	-
OHOSHUOK	保守新党	0.4	0.4	0.2	0.5	-	-	-	-
選択者数		2893	2790	2953	1706	-	2124	2060	2507

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

選択肢「保守新党」は、調査年度によってワーディングに違いがある。

2010 で、OMINNAOK (みんなの党)、OKOKUMOK (国民新党)、OKOUFUOK (幸福実現党)、OTACHIAOK (たちあがれ日本)、OSHINTOK (新党日本) を「その他の政党」の具体的記述から追加した。

累積データ 2000-2010 では、2003 までの OPLPNOMK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。

2002 までは面接、2003 以降は留置で調査した。

2000 選択肢:「自民党、民主党、公明党、自由党、共産党、社民党、保守党、その他の政党、そのような政党はない、わからない」。

面接票で調査。

2003 選択肢ワーディング変更:「保守党」「保守新党」。

選択肢削除:「自由党」。

留置票で調査。

2006 選択肢削除:「保守新党」。

「いずれも選択していない」という変数を作成していない。

2010 追加変数:「その他の政党」の具体的記述から OMINNAOK (みんなの党)、OKOKUMOK (国民新党)、OKOUFUOK (幸福実現党)、OTACHIAOK (たちあがれ日本)、OSHINTOK (新党日本)。

742-745. 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号(1~5)を1つ選んでください。

742. OP5SRWFY 国か個人か:高齢者の生活保障

高齢者の生活保障(生活費)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	個人や家族の責任	8.8	7.9	7.9	7.0	6.4	4.0	4.3	4.0
2	・	15.7	16.5	11.7	10.8	9.0	8.0	7.6	8.7
3	・	40.2	42.2	31.4	30.4	27.8	24.2	25.7	27.0
4	・	22.8	21.6	25.3	26.2	26.6	30.0	28.4	31.3
5	国や自治体の責任	11.7	11.3	22.3	24.7	28.8	32.1	33.0	27.5
9	無回答	0.8	0.5	1.5	0.9	1.5	1.7	0.9	1.5
n		2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	5003
8	非該当								

743. OP5SRMDY 国か個人か:高齢者の医療・介護

高齢者の医療・介護

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	個人や家族の責任	6.0	5.5	3.8	3.6	3.0	2.5	2.1	2.0
2	・	12.0	12.6	8.2	7.4	5.4	4.5	4.7	4.0
3	・	40.8	40.8	27.2	27.1	23.7	19.9	18.8	20.5
4	・	27.1	28.0	32.5	32.3	32.9	34.3	33.6	37.1
5	国や自治体の責任	13.2	12.5	26.8	28.9	33.4	37.2	40.2	35.1
9	無回答	0.8	0.5	1.5	0.7	1.6	1.6	0.6	1.4
n		2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	5003
8	非該当								

744. OP5CCED 国か個人か:子どもの教育  
子どもの教育

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	個人や家族の責任	-	-	28.0	29.6	22.2	17.3	19.2	16.5
2	・	-	-	28.8	27.1	21.4	25.2	23.2	21.9
3	・	-	-	27.7	29.3	29.0	30.9	30.7	31.9
4	・	-	-	8.1	7.1	12.5	13.9	13.1	16.2
5	国や自治体の責任	-	-	5.7	5.9	13.0	10.7	12.4	11.5
9	無回答	-	-	1.8	1.1	1.9	2.0	1.4	2.0
		n	-	2953	1957	2023	2124	2060	5003
8	非該当								

745. OP5CCARE 国か個人か:保育・育児  
保育・育児

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	個人や家族の責任	-	-	32.8	33.7	22.1	19.5	18.7	16.2
2	・	-	-	28.5	26.1	21.3	24.5	22.5	21.2
3	・	-	-	25.2	26.6	29.4	30.2	32.1	31.7
4	・	-	-	7.5	7.3	14.1	14.2	14.1	17.7
5	国や自治体の責任	-	-	4.3	5.1	11.0	9.7	11.4	11.3
9	無回答	-	-	1.7	1.2	2.1	1.9	1.3	1.9
		n	-	2953	1957	2023	2124	2060	5003
8	非該当								

746. Q5GVEQAA 貧富解消政策への賛否

「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	賛成	27.7	29.2	22.4	26.5	26.5	31.1	29.0	28.0	
2	どちらかといえば賛成	23.8	24.8	25.6	28.4	28.4	27.4	32.3	30.7	
3	どちらともいえない	36.0	34.1	40.0	34.7	35.5	32.8	32.0	32.4	
4	どちらかといえば反対	8.0	6.6	8.2	6.6	6.2	5.6	4.7	6.5	
5	反対	3.5	4.1	3.0	3.3	2.1	2.3	1.6	2.0	
9	無回答	1.0	1.3	0.7	0.5	1.1	0.8	0.5	0.4	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	4220	5003
8	非該当									

747. OP5LGGOZ 政府の役割範囲

政府は、個人や企業のすべきことまで、やりすぎているでしょうか。または、もっと多くの役割を担うべきでしょうか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	政府はもっと多くの役割を担うべきだ	9.1	9.3	-	-	-	-	11.2	-
2	・	16.2	15.9	-	-	-	-	17.7	-
3	・	26.5	25.8	-	-	-	-	27.0	-
4	・	11.2	13.1	-	-	-	-	9.3	-
5	政府は多くの役割を担いすぎている	4.8	5.6	-	-	-	-	4.0	-
6	わからない	31.4	29.3	-	-	-	-	30.1	-
9	無回答	0.8	1.0	-	-	-	-	0.7	-
		n	2893	2790	-	-	-	2060	-
8	非該当								

748. OWELFTAX 福祉と税負担のバランスについての意見

福祉と負担について、次のA・Bのような意見があります。あなたの意見は次の1～4のどれにあてはまりますか。

A 増税をしてでも、福祉などの公共サービスを充実させるべきである。

B 福祉などの公共サービスが低下しても、税負担を軽減すべきである。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	Aに近い	-	-	-	22.2	-	-	18.3	18.4
2	どちらかといえばA	-	-	-	36.3	-	-	49.4	48.4
3	どちらかといえばB	-	-	-	29.1	-	-	23.2	24.0
4	Bに近い	-	-	-	8.1	-	-	6.7	6.2
9	無回答	-	-	-	4.2	-	-	2.5	3.0
		n	-	-	1706	-	-	2060	2507
8	非該当								

749-752. 次に国民と政治とのかかわりについての意見があげてあります。それぞれについて、あなたのお気持ちに近いものを1つ選んでください。

749. Q4NOPWR 国民と政治のかかわり:市民の影響力

自分のようなふつ々の市民には、政府のすることに対して、それを左右する力はない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	23.6	22.7	-	28.1	-	-	21.7	21.0
2	どちらかといえば賛成	33.2	35.9	-	34.8	-	-	36.2	36.3
3	どちらかといえば反対	28.4	25.6	-	25.4	-	-	27.9	29.5
4	反対	12.3	12.8	-	9.6	-	-	11.2	10.7
9	無回答	2.5	3.0	-	2.1	-	-	3.1	2.5
		n	2893	2790	-	1706	-	2060	2507
8	非該当								

750. Q4GVCMPPL 国民と政治のかかわり:理解度

政治や政府は複雑なので、自分には何をやっているのかよく理解できない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	26.9	23.1	-	26.8	-	-	20.6	19.8
2	どちらかといえば賛成	39.5	39.9	-	42.1	-	-	40.5	43.5
3	どちらかといえば反対	21.6	23.1	-	22.2	-	-	25.8	24.8
4	反対	9.3	10.5	-	6.3	-	-	10.0	9.6
9	無回答	2.7	3.4	-	2.6	-	-	3.2	2.3
		n	2893	2790	-	1706	-	2060	2507
8	非該当								

751. Q4VOTE 国民と政治のかかわり:投票

選挙では大勢の人々が投票するのだから、自分一人くらい投票しなくてもかまわない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	3.8	5.0	-	4.9	-	-	3.9	3.2
2	どちらかといえば賛成	11.4	12.5	-	12.4	-	-	11.1	10.4
3	どちらかといえば反対	28.3	27.8	-	29.3	-	-	29.2	28.5
4	反対	54.6	52.4	-	51.3	-	-	53.8	55.8
9	無回答	1.9	2.3	-	2.1	-	-	2.0	2.0
		n	2893	2790	-	1706	-	2060	2507
8	非該当								

752. Q4MDIET 国民と政治のかかわり:国会議員

国会議員は、大ざっぱに言って、当選したらすぐ国民のことを考えなくなる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	45.4	42.3	-	41.4	-	-	40.9	42.7
2	どちらかといえば賛成	35.4	37.2	-	39.4	-	-	39.1	38.0
3	どちらかといえば反対	10.9	11.1	-	12.3	-	-	11.6	11.0
4	反対	6.0	6.5	-	4.6	-	-	5.9	6.1
9	無回答	2.3	2.9	-	2.3	-	-	2.5	2.2
		n	2893	2790	-	1706	-	2060	2507
8	非該当								

753-760. 以下の事柄に対する政府の支出について、あなたはどのように思いますか。

753. BD3ENVA 政府の支出:環境問題

環境問題

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	多すぎる	3.2	4.9	-	4.9	-	4.6	-	6.1	
2	適当	21.9	24.1	-	27.0	-	26.1	-	31.4	
3	少なすぎる	44.9	42.1	-	35.9	-	33.6	-	28.3	
4	わからない	28.7	27.1	-	31.1	-	33.4	-	32.3	
9	無回答	1.2	1.8	-	1.2	-	2.3	-	1.9	
		n	2893	2790	-	1706	-	2124	-	2507
8	非該当									

## 754. BD3CRIME 政府の支出:犯罪取締

## 犯罪の取締

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	多すぎる	2.4	2.0	-	3.3	-	2.7	-	3.2	
2	適当	28.5	24.9	-	18.1	-	23.6	-	32.6	
3	少なすぎる	36.5	42.4	-	49.1	-	40.8	-	29.2	
4	わからない	31.1	29.0	-	28.4	-	30.9	-	33.3	
9	無回答	1.4	1.6	-	1.1	-	2.0	-	1.6	
		n	2893	2790	-	1706	-	2124	-	2507
8	非該当									

## 755. BD3EDUC 政府の支出:教育

## 教育

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	多すぎる	3.2	3.4	-	3.2	-	2.7	-	5.5	
2	適当	35.5	36.9	-	31.2	-	29.7	-	29.5	
3	少なすぎる	34.2	33.9	-	38.3	-	40.9	-	41.8	
4	わからない	25.8	24.1	-	25.7	-	24.2	-	21.5	
9	無回答	1.4	1.8	-	1.6	-	2.4	-	1.7	
		n	2893	2790	-	1706	-	2124	-	2507
8	非該当									

## 756. BD3SAFTY 政府の支出:安全保障

## 安全保障

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	多すぎる	10.8	8.2	-	9.9	-	9.2	-	10.5	
2	適当	34.0	35.1	-	29.5	-	30.3	-	36.5	
3	少なすぎる	21.0	24.3	-	25.8	-	26.9	-	20.6	
4	わからない	32.0	29.9	-	33.1	-	30.9	-	30.0	
9	無回答	2.1	2.6	-	1.6	-	2.7	-	2.4	
		n	2893	2790	-	1706	-	2124	-	2507
8	非該当									

## 757. BD3ODA 政府の支出:海外援助

## 海外援助

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	多すぎる	43.2	36.6	-	54.1	-	49.3	-	36.1	
2	適当	23.3	29.4	-	18.5	-	22.9	-	31.4	
3	少なすぎる	5.9	6.5	-	3.7	-	2.3	-	4.3	
4	わからない	25.9	25.8	-	22.3	-	23.4	-	26.7	
9	無回答	1.6	1.7	-	1.4	-	2.1	-	1.6	
		n	2893	2790	-	1706	-	2124	-	2507
8	非該当									

## 758. BD3CNSTR 政府の支出:土木事業

## 道路河川などの土木事業

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	多すぎる	35.1	40.6	-	37.9	-	34.2	-	32.8	
2	適当	27.3	25.6	-	25.4	-	27.2	-	28.2	
3	少なすぎる	11.8	9.4	-	10.1	-	11.3	-	11.7	
4	わからない	23.6	22.4	-	24.7	-	24.4	-	24.9	
9	無回答	2.2	1.9	-	1.9	-	2.9	-	2.4	
		n	2893	2790	-	1706	-	2124	-	2507
8	非該当									

## 759. BD3WFR 政府の支出:社会保障

## 社会保障・年金

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	多すぎる	3.2	3.5	-	3.3	-	2.6	-	2.3	
2	適当	21.5	23.6	-	18.0	-	15.1	-	17.4	
3	少なすぎる	56.2	54.7	-	61.3	-	64.1	-	61.9	
4	わからない	17.7	16.6	-	16.1	-	16.1	-	17.0	
9	無回答	1.4	1.6	-	1.3	-	2.1	-	1.5	
		n	2893	2790	-	1706	-	2124	-	2507
8	非該当									

## 760. BD3EMPLY 政府の支出:雇用対策

雇用・失業対策

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	多すぎる	2.8	2.7	-	2.0	-	3.4	-	3.0	
2	適当	19.0	16.5	-	13.5	-	21.6	-	18.4	
3	少なすぎる	52.2	58.1	-	60.4	-	46.6	-	56.1	
4	わからない	24.6	21.3	-	22.9	-	26.4	-	21.0	
9	無回答	1.4	1.5	-	1.1	-	2.0	-	1.5	
		n	2893	2790	-	1706	-	2124	-	2507
8	非該当									

## 761. OP6TAXHI 所得税の負担感

あなたに課せられている所得税は、高いと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	低い	0.4	0.4	0.3	0.8	0.4	0.7	0.7	1.1	
2	やや低い	0.7	0.5	0.5	0.2	0.6	0.9	1.7	1.2	
3	適切	14.1	14.1	11.8	11.3	12.5	11.7	13.0	17.7	
4	やや高い	21.8	21.6	21.2	20.4	27.5	27.8	26.9	25.4	
5	高い	33.5	35.2	31.4	34.3	31.9	32.6	29.8	25.0	
6	わからない	12.0	11.4	18.1	15.8	11.9	12.8	14.7	14.7	
7	課せられていない	17.0	16.2	16.1	16.8	14.6	12.7	12.7	14.2	
9	無回答	0.5	0.7	0.6	0.3	0.5	0.8	0.4	0.7	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

## 762. OP5PENSN 自分の年金額予想

現在、年金を受け取っている人達に比べて、あなたが老後に受け取る年金の額は、どうなっていると思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	かなり良くなっている	0.3	0.3	0.1	0.2	0.3	0.1	0.3	0.2	
2	少し良くなっている	1.0	0.6	0.5	0.3	0.3	0.2	0.8	0.4	
3	だいたい同じ	5.5	4.9	4.1	4.5	2.7	3.0	2.8	3.6	
4	少し悪くなっている	13.1	11.8	12.5	17.2	15.6	15.2	15.3	14.1	
5	かなり悪くなっている	51.1	52.5	54.5	50.5	51.4	54.1	54.0	51.1	
6	わからない	9.0	9.3	7.4	6.5	6.8	6.9	6.2	7.8	
7	現在年金を受けている	19.0	18.9	20.4	20.4	22.0	19.6	19.4	22.3	
9	無回答	1.1	1.6	0.6	0.3	0.8	0.9	1.3	0.6	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

## 763. OP5RADCA 政治意識(保革5段階)

政治的な考え方を、保守的から革新的までの5段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	保守的	7.8	7.4	7.3	7.6	7.7	6.8	6.1	6.1	
2	・	20.2	19.1	20.5	19.4	19.9	18.8	19.7	18.9	
3	・	48.0	50.8	49.7	50.6	49.1	52.1	50.9	51.1	
4	・	17.5	15.3	15.4	16.2	16.0	15.9	17.3	17.3	
5	革新的	3.5	4.0	3.9	3.9	4.5	3.6	3.9	3.6	
9	無回答	3.1	3.4	3.2	2.2	2.8	2.8	2.1	3.0	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	5003
8	非該当									

## 764. OP7RAD CZ 政治意識(保革7段階)

政治的な考え方を、革新的から保守的までの7段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	革新的	-	-	-	3.3	-	-	-	-
2	・	-	-	-	6.4	-	-	-	-
3	・	-	-	-	17.7	-	-	-	-
4	・	-	-	-	36.6	-	-	-	-
5	・	-	-	-	17.8	-	-	-	-
6	・	-	-	-	10.1	-	-	-	-
7	保守的	-	-	-	5.9	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.3	-	-	-	-
		n	-	-	-	1706	-	-	-
8	非該当								

765. DOPOLIT 政治への関心の強さ

選挙のある／なしにかかわらず、いつも政治に関心を持っている人もいますし、あまり関心を持たない人もいます。あなたは政治上の出来事に、どれくらい注意をはらっていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	つねに注意をはらっている	-	-	-	19.6	-	-	-	-
2	ときどき注意をはらっている	-	-	-	35.6	-	-	-	-
3	たまに注意をはらっている	-	-	-	29.8	-	-	-	-
4	ほとんど注意をはらっていない	-	-	-	14.8	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.2	-	-	-	-
8	非該当	n	-	-	1706	-	-	-	-

766. OKOIZUM 小泉政権への評価

あなたは、小泉内閣のこれまでの実績についてどう思われますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなり良い	-	-	-	2.9	-	-	-	-
2	まあ良い	-	-	-	24.9	-	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	45.0	-	-	-	-
4	やや悪い	-	-	-	19.1	-	-	-	-
5	かなり悪い	-	-	-	8.0	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.3	-	-	-	-
8	非該当	n	-	-	1706	-	-	-	-

767. OBUSINS 現在の日本の景気の判断

今の日本の景気はどのような状態だと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなり良い	-	-	-	0.4	-	-	-	-
2	まあ良い	-	-	-	3.9	-	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	16.2	-	-	-	-
4	やや悪い	-	-	-	48.4	-	-	-	-
5	かなり悪い	-	-	-	30.9	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.3	-	-	-	-
8	非該当	n	-	-	1706	-	-	-	-

768. ONATIND 社会と個人の利益のバランスについての意見

社会と個人について、次のA・Bのような意見があります。あなたの意見はどちらに近いですか。

A 個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきである。

B 国民全体の利益よりも個人の利益を大切にすべきである。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	Aに近い	-	-	-	20.8	-	-	-	-
2	どちらかといえばA	-	-	-	37.5	-	-	-	-
3	どちらかといえばB	-	-	-	28.3	-	-	-	-
4	Bに近い	-	-	-	9.3	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	4.2	-	-	-	-
8	非該当	n	-	-	1706	-	-	-	-

769-772. あなたにとって、政治とはどのような存在かについておたずねします。あなたのお考えに近いものを、それぞれお答えください。

769. OPLSELF 政治へのイメージ: 自分から働きかけるもの

政治とは、自分から積極的に働きかけるものである

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	18.1	-	-	-	-
2	まあそう思う	-	-	-	41.1	-	-	-	-
3	あまりそう思わない	-	-	-	30.1	-	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	8.4	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.3	-	-	-	-
8	非該当	n	-	-	1706	-	-	-	-

770. OPLWATCH 政治へのイメージ:監視していくもの  
政治とは、監視していくものである

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	30.8	-	-	-	-
2	まあそう思う	-	-	-	40.8	-	-	-	-
3	あまりそう思わない	-	-	-	19.2	-	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	6.3	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.9	-	-	-	-
		n	-	-	1706	-	-	-	-
8	非該当								

771. OPLCANT 政治へのイメージ:なるようにしかならないもの  
政治とは、なるようにしかならないものである

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	15.2	-	-	-	-
2	まあそう思う	-	-	-	32.6	-	-	-	-
3	あまりそう思わない	-	-	-	27.2	-	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	22.8	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.1	-	-	-	-
		n	-	-	1706	-	-	-	-
8	非該当								

772. OPLNOREL 政治へのイメージ:できればかかわりたくない  
政治的なことにはできればかかわりたくない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	10.1	-	-	-	-
2	まあそう思う	-	-	-	30.2	-	-	-	-
3	あまりそう思わない	-	-	-	34.1	-	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	23.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.9	-	-	-	-
		n	-	-	1706	-	-	-	-
8	非該当								

773-783. 政治的な経験\*

次のうち、あなたがこの5年間に経験したことすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
X5YVOTE	選挙で投票した	-	-	-	91.4	-	-	-	-
X5YJICHI	自治会や町内会で活動した	-	-	-	36.0	-	-	-	-
X5YCNTC1	必要があって地元の有力者と接触した (会う、手紙を書くなど)	-	-	-	12.1	-	-	-	-
X5YCNTC2	必要があって政治家や官僚と接触した	-	-	-	6.2	-	-	-	-
X5YPETIT	議会や役所に請願や陳情に行った	-	-	-	3.9	-	-	-	-
X5YPOLMG	選挙や政治に関する集会に出席した	-	-	-	24.8	-	-	-	-
X5YCMPGN	選挙運動を手伝った(候補者の応援など)	-	-	-	13.8	-	-	-	-
X5YCITZN	市民運動や住民運動に参加した	-	-	-	7.1	-	-	-	-
X5YSIGN	請願書に署名した	-	-	-	25.9	-	-	-	-
X5YDONAT	献金やカンパをした	-	-	-	27.7	-	-	-	-
X5YNONE	この中のどれもしたことがない	-	-	-	4.5	-	-	-	-
		選択者数	-	-	1706	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 では、X5YNOMK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。

784-789. あなたは日頃、次のようなことをどのくらいしていますか。

784. FQ4PLNP 政治に関わる情報収集:新聞

新聞で政治の記事を読む

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日する	-	-	-	46.3	-	-	-	-
2	ときどきする	-	-	-	23.3	-	-	-	-
3	たまにする	-	-	-	17.2	-	-	-	-
4	ほとんどしない	-	-	-	12.8	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.4	-	-	-	-
		n	-	-	1706	-	-	-	-
8	非該当								

785. FQ4PLTV 政治に関わる情報収集:テレビ

テレビで政治ニュースを見る

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日する	-	-	-	64.7	-	-	-	-
2	ときどきする	-	-	-	21.5	-	-	-	-
3	たまにする	-	-	-	10.5	-	-	-	-
4	ほとんどしない	-	-	-	3.0	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.2	-	-	-	-
		n	-	-	1706	-	-	-	-
8	非該当								

786. FQ4PLMAG 政治に関わる情報収集:雑誌

雑誌で政治の記事を読む

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日する	-	-	-	10.3	-	-	-	-
2	ときどきする	-	-	-	17.8	-	-	-	-
3	たまにする	-	-	-	22.0	-	-	-	-
4	ほとんどしない	-	-	-	48.5	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.5	-	-	-	-
		n	-	-	1706	-	-	-	-
8	非該当								

787. FQ4PLWEB 政治に関わる情報収集:インターネット

インターネットで政治ニュースを見る

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日する	-	-	-	4.0	-	-	-	-
2	ときどきする	-	-	-	5.1	-	-	-	-
3	たまにする	-	-	-	5.9	-	-	-	-
4	ほとんどしない	-	-	-	82.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.2	-	-	-	-
		n	-	-	1706	-	-	-	-
8	非該当								

788. FQ4PLFAM 政治に関わる情報収集:家族との会話

政治について家族と話す

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日する	-	-	-	7.0	-	-	-	-
2	ときどきする	-	-	-	25.6	-	-	-	-
3	たまにする	-	-	-	34.3	-	-	-	-
4	ほとんどしない	-	-	-	32.4	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.8	-	-	-	-
		n	-	-	1706	-	-	-	-
8	非該当								



789. FQ4PLFRI 政治に関わる情報収集:友人・同僚との会話  
政治について友人や同僚と話す

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日する	-	-	-	4.6	-	-	-	-
2	ときどきする	-	-	-	19.9	-	-	-	-
3	たまにする	-	-	-	30.6	-	-	-	-
4	ほとんどしない	-	-	-	44.4	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.5	-	-	-	-
		n	-	-	1706	-	-	-	-
8	非該当								

## 790. OPGVNTM 知事の任期への意見

一般に、知事を同じ人が務めるのは何期ぐらいが適当だと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1期(4年)	-	-	-	-	-	-	21.9	-
2	2期(8年)	-	-	-	-	-	-	51.0	-
3	3期(12年)	-	-	-	-	-	-	15.6	-
4	4期(16年)	-	-	-	-	-	-	0.4	-
5	5期(20年)	-	-	-	-	-	-	0.3	-
6	それ以上(具体的に )	-	-	-	-	-	-	0.7	-
7	わからない	-	-	-	-	-	-	9.3	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.7	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

## 791. GVNNAME 知事の認知

あなたは、お住まいの都道府県の現在の知事が誰か知っていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	知っている	-	-	-	-	-	-	90.6	-
2	知らない	-	-	-	-	-	-	8.9	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.5	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

## 791. GVNNAME に「1 知っている」の場合

## 792. GVNSPRT 知事の支持

あなたはその知事を支持しますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	支持する	-	-	-	-	-	-	43.0	-
2	支持しない	-	-	-	-	-	-	17.4	-
3	わからない	-	-	-	-	-	-	37.9	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.8	-
		n	-	-	-	-	-	1867	-
8	非該当								

## 793-799. あなたは以下のような政策に賛成ですか、反対ですか。

## 793. OPCCMON 政策への意見:子ども手当

中学卒業まで「子ども手当」を支給

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	-	-	30.7
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	-	25.8
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	-	16.8
4	反対	-	-	-	-	-	-	-	18.9
5	わからない	-	-	-	-	-	-	-	7.2
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.6
		n	-	-	-	-	-	-	2507
8	非該当								

794. OPHGSCH 政策への意見: 高校無償化  
公立高校の実質無償化 / 私立高校生に相当額助成

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	-	-	28.7
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	-	26.8
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	-	17.8
4	反対	-	-	-	-	-	-	-	17.9
5	わからない	-	-	-	-	-	-	-	7.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.9
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2507

795. OPHGWAY 政策への意見: 高速道路無料化  
高速道路の無料化

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	-	-	15.9
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	-	18.5
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	-	24.0
4	反対	-	-	-	-	-	-	-	32.0
5	わからない	-	-	-	-	-	-	-	8.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.0
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2507

796. OPCO2EM 政策への意見: 二酸化炭素排出量削減  
二酸化炭素の排出量を 2020 年までに 1990 年に比べて 25%削減

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	-	-	31.6
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	-	37.7
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	-	8.2
4	反対	-	-	-	-	-	-	-	4.7
5	わからない	-	-	-	-	-	-	-	16.8
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.0
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2507

797. OPMNWG 政策への意見: 最低賃金の引き上げ  
最低賃金の引き上げ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	-	-	45.1
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	-	36.5
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	-	4.9
4	反対	-	-	-	-	-	-	-	2.2
5	わからない	-	-	-	-	-	-	-	9.7
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.6
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2507

798. OPSWST 政策への意見: 同一労働同一賃金  
性別・年齢・雇用形態にかかわらず同じ職場で同じ仕事をしている人は同じ賃金 (同一労働同一賃金)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	-	-	24.6
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	-	24.2
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	-	21.0
4	反対	-	-	-	-	-	-	-	16.0
5	わからない	-	-	-	-	-	-	-	13.2
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.1
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2507

799. OPATDS 政策への意見:配偶者控除の廃止

配偶者控除制度の廃止

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	-	-	6.1
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	-	8.4
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	-	21.0
4	反対	-	-	-	-	-	-	-	43.6
5	わからない	-	-	-	-	-	-	-	19.7
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.2
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2507

800. OPCNSMTX 適切な消費税率への意見

あなたは消費税をどのくらいにすべきだと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	0%	-	-	-	-	-	-	-	5.5
2	1~4%	-	-	-	-	-	-	-	6.2
3	5% (現在)	-	-	-	-	-	-	-	52.9
4	6~7%	-	-	-	-	-	-	-	14.0
5	8~9%	-	-	-	-	-	-	-	8.8
6	10%以上	-	-	-	-	-	-	-	11.3
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.4
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2507

801. OPMNFST マニフェストの遵守への意見

政党について、A・Bの意見があります。あなたの意見は次の1~4のどれにあてはまりますか。

A 政党は、いかなる場合も選挙で示したマニフェスト(政権公約)に基づいて行動すべきだ。

B 政党は、マニフェスト(政権公約)に縛られることなく、状況に応じて行動すべきだ。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	Aに近い	-	-	-	-	-	-	-	13.6
2	どちらかといえばA	-	-	-	-	-	-	-	26.8
3	どちらかといえばB	-	-	-	-	-	-	-	39.5
4	Bに近い	-	-	-	-	-	-	-	18.1
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	2.0
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2507

802. OP10LVL 自分の位置する階層\*

かりに現在の日本の社会全体を、次のような10段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入ると思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	一番上	0.7	0.7	1.0	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	
2	・	1.8	1.4	1.2	0.8	1.0	1.2	0.9	0.8	
3	・	7.3	6.4	6.2	4.2	5.3	5.8	5.5	4.5	
4	・	9.4	9.7	9.9	8.1	9.9	9.8	8.8	10.0	
5	・	41.1	42.1	41.4	38.8	40.3	36.1	35.8	38.0	
6	・	14.1	14.8	14.7	16.6	13.7	16.1	14.6	15.4	
7	・	10.8	10.9	10.6	12.1	12.0	12.8	15.2	13.6	
8	・	7.8	7.4	8.1	8.8	9.2	9.7	11.4	10.5	
9	・	2.3	2.7	2.5	3.4	3.3	3.1	3.2	3.2	
10	一番下	3.5	2.7	3.2	5.1	3.2	3.1	3.4	2.6	
99	無回答	1.2	1.2	1.3	1.6	1.6	1.9	0.9	1.0	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2005 質問文ワーディング変更:「わたしたちの社会には上層に位置するグループや下層に位置するグループがあります。次のような上から下までのスケール(尺度)で、あなたはどこに位置すると思いますか。」 「かりに現在の日本の社会全体を、次のような10段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入ると思いますか。」

## 803. OP5LEVK 階層帰属意識

かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入るとお考えですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	上	0.6	0.6	0.6	0.4	0.5	0.5	0.6	0.7
2	中の上	9.9	10.3	9.7	9.6	9.5	9.8	10.5	9.6
3	中の中	51.2	47.8	48.3	47.9	43.5	45.0	44.0	44.3
4	中の下	30.3	33.3	32.6	34.2	36.4	34.9	35.9	36.1
5	下	6.8	6.4	7.3	7.0	9.1	8.3	8.0	8.6
9	無回答	1.1	1.7	1.5	0.9	1.0	1.5	0.9	0.7
	n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

## 804. OP3ECN3A 家計状態の変化

この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	良くなった	6.4	5.5	4.5	4.9	7.7	9.1	8.0	6.3
2	悪くなった	41.4	46.8	48.5	48.0	44.9	39.4	45.2	47.7
3	変わらない	51.8	47.0	46.8	46.9	47.1	51.2	46.4	45.9
9	無回答	0.4	0.7	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4	0.1
	n	2893	2790	2953	3663	2023	2124	2060	5003
8	非該当								

## 805. OP5FFINX 世帯収入のレベル

世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	平均よりかなり少ない	10.1	10.4	10.3	10.8	11.3	9.9	10.2	11.3
2	平均より少ない	32.1	31.5	33.7	33.8	33.3	31.5	30.7	31.5
3	ほぼ平均	45.1	45.2	43.0	43.7	42.9	44.1	45.0	43.0
4	平均より多い	10.3	10.1	10.1	9.6	10.2	12.0	11.7	12.2
5	平均よりかなり多い	0.9	1.0	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	1.1
9	無回答	1.3	1.9	2.0	1.1	1.1	1.2	1.1	0.9
	n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	5003
8	非該当								

## 806. OPFFIX15 15歳の頃の世帯収入レベル

あなたが15歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	平均よりかなり少ない	11.0	9.7	9.7	9.2	11.0	10.4	9.7	9.3
2	平均より少ない	26.4	27.9	26.8	28.2	28.0	26.3	26.1	26.1
3	ほぼ平均	44.9	44.3	44.0	44.4	43.3	44.9	45.0	44.3
4	平均より多い	13.5	12.8	14.7	13.5	13.9	14.2	15.2	16.1
5	平均よりかなり多い	2.2	2.6	2.2	2.4	1.9	2.2	2.3	2.4
9	無回答	2.0	2.6	2.6	2.3	2.0	1.9	1.8	1.7
	n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	5003
8	非該当								

## 807. OP5CHNCA 生活水準向上機会の有無

今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	充分にある	2.5	2.3	1.8	2.1	2.6	2.8	2.3	2.2
2	少しはある	14.3	12.2	12.5	12.4	14.2	11.3	12.3	11.3
3	どちらともいえない	36.8	35.3	34.6	35.0	35.0	38.7	37.0	36.7
4	あまりない	36.7	39.7	40.1	38.7	37.0	35.2	37.3	38.4
5	まったくない	8.1	8.6	9.3	10.4	9.8	10.5	10.3	10.8
9	無回答	1.7	1.8	1.7	1.4	1.3	1.5	0.8	0.7
	n	2893	2790	2953	3663	2023	2124	4220	5003
8	非該当								

808. AXECNSF 将来の経済的不安

今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても感じている	-	-	-	-	-	-	24.3	26.4
2	ある程度感じている	-	-	-	-	-	-	46.9	44.7
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	14.5	15.5
4	あまり感じていない	-	-	-	-	-	-	12.8	11.8
5	まったく感じていない	-	-	-	-	-	-	1.2	1.6
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.3	0.1
8	非該当	n	-	-	-	-	-	2060	5003

809. XQTEDU 経済的理由で進学を断念した経験

あなたご自身は、経済的な理由で進学を断念したことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある	-	-	-	-	-	23.4	-	-
2	ない	-	-	-	-	-	74.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.7	-	-
8	非該当	n	-	-	-	-	2124	-	-

810. WNTJB 将来なりたかった職業の有無

あなたは中学3年の頃、将来なりたい職業を考えていましたか。旧制の学校を卒業された方は尋常小学校や国民学校の最終学年の頃について、お答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	具体的に考えていた	-	-	-	-	-	9.7	-	-
2	漠然と考えていた	-	-	-	-	-	33.6	-	-
3	まったく考えていなかった	-	-	-	-	-	50.4	-	-
4	職業につこうと思っていなかった	-	-	-	-	-	4.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.6	-	-
8	非該当	n	-	-	-	-	2124	-	-

810. WNTJB に「1 具体的に考えていた」「2 漠然と考えていた」の場合

811. WNTJBX 将来なりたかった職業\*

そのなかで最もなりたかった職業の内容を具体的に記入してください。(例えば、中学校の教員、プロ野球選手、医師、美容師、デザイナー、トラック運転手、警察官、看護師、大工、農業、職業軍人、ケーキ屋、建築技術者、パイロット、保育士、役場の事務員など)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
501	自然科学系研究者	-	-	-	-	-	1.2	-	-
502	考古学者、文化財の研究者	-	-	-	-	-	0.2	-	-
503	電気・化学技術者(含、技工士、自動車技術者)	-	-	-	-	-	1.1	-	-
504	建築家、建築技術士、設計技士、設計士	-	-	-	-	-	3.9	-	-
506	コンピュータエンジニア、プログラマー	-	-	-	-	-	0.5	-	-
507	その他の技術者(含、織物設計士)	-	-	-	-	-	1.2	-	-
508	医師	-	-	-	-	-	1.6	-	-
509	歯科医師	-	-	-	-	-	0.1	-	-
510	薬剤師	-	-	-	-	-	1.2	-	-
513	栄養士	-	-	-	-	-	0.8	-	-
514	看護師、看護婦	-	-	-	-	-	7.1	-	-
516	歯科衛生士	-	-	-	-	-	0.1	-	-
517	弁護士、裁判官、検事	-	-	-	-	-	1.3	-	-
519	公認会計士、会計士	-	-	-	-	-	0.3	-	-
520	幼稚園教諭、幼稚園の先生	-	-	-	-	-	0.4	-	-
521	小学校教員	-	-	-	-	-	2.0	-	-
522	中学校教員	-	-	-	-	-	1.1	-	-
523	高校教員	-	-	-	-	-	0.8	-	-
524	大学教授	-	-	-	-	-	0.5	-	-
525	養護学校の先生	-	-	-	-	-	0.1	-	-
526	教育関係、洋裁学校の先生、料理学校の先生	-	-	-	-	-	0.2	-	-
528	小説家、コピーライター(除、翻訳家)	-	-	-	-	-	0.3	-	-
529	雑誌・新聞等の編集者・記者	-	-	-	-	-	1.0	-	-
530	イラストレーター、美術関係	-	-	-	-	-	0.3	-	-
531	デザイナー	-	-	-	-	-	2.5	-	-

532	カメラマン、写真	-	-	-	-	-	0.2	-	-
533	音楽家、音楽に関連する仕事	-	-	-	-	-	1.3	-	-
534	映画関係、音楽プロデューサー、テレビ局編成	-	-	-	-	-	0.4	-	-
535	その他のプロスポーツ選手	-	-	-	-	-	0.8	-	-
536	獣医	-	-	-	-	-	0.2	-	-
537	保育士、保育	-	-	-	-	-	5.4	-	-
538	児童相談員、ソーシャルワーカー	-	-	-	-	-	0.2	-	-
539	音楽以外の個人教師	-	-	-	-	-	0.8	-	-
541	経営コンサルタント	-	-	-	-	-	0.1	-	-
542	アナウンサー（含、ディスクジョッキー）	-	-	-	-	-	0.6	-	-
543	図書館司書	-	-	-	-	-	0.8	-	-
544	ピアノ調律師	-	-	-	-	-	0.1	-	-
546	首相、政治家	-	-	-	-	-	0.3	-	-
548	経営者、実業家、社長、企業家	-	-	-	-	-	0.5	-	-
549	国連職員	-	-	-	-	-	0.1	-	-
550	えらい人	-	-	-	-	-	0.1	-	-
554	会社・企業の事務員、秘書、一般事務職	-	-	-	-	-	2.0	-	-
558	医療事務	-	-	-	-	-	0.1	-	-
559	銀行員、経理事務、金融関係の仕事	-	-	-	-	-	0.6	-	-
560	郵便局員	-	-	-	-	-	0.2	-	-
563	国鉄職（駅員）、国鉄職員	-	-	-	-	-	0.2	-	-
564	商社のタイピスト	-	-	-	-	-	0.1	-	-
566	小売店主	-	-	-	-	-	0.8	-	-
567	農機具販売	-	-	-	-	-	0.1	-	-
569	販売員、デパートの店員	-	-	-	-	-	0.5	-	-
572	商人（食品営業）	-	-	-	-	-	0.1	-	-
578	施設職員（障害者）、ホームヘルパー	-	-	-	-	-	0.2	-	-
579	美容師（含、ヘアメイクアーティスト）	-	-	-	-	-	3.8	-	-
580	クリーニング店（職）	-	-	-	-	-	0.2	-	-
581	板前、コック、寿司職人、調理師、料理研究家、料理人	-	-	-	-	-	1.5	-	-
584	客室乗務員、スチュワーデス	-	-	-	-	-	1.2	-	-
587	旅行の添乗員、ツアーコンダクター	-	-	-	-	-	0.3	-	-
588	サービス業全般	-	-	-	-	-	0.1	-	-
592	トリマー	-	-	-	-	-	0.3	-	-
593	自衛官	-	-	-	-	-	0.3	-	-
594	警察官	-	-	-	-	-	1.5	-	-
598	職業軍人	-	-	-	-	-	2.3	-	-
599	農業	-	-	-	-	-	2.3	-	-
601	牧場、畜産	-	-	-	-	-	0.2	-	-
604	漁業（海女など）	-	-	-	-	-	0.4	-	-
606	電車の運転士・機関士	-	-	-	-	-	0.5	-	-
607	タクシーの運転手、トラック運転手、長距離ドライバー	-	-	-	-	-	0.9	-	-
608	船長、航海士、上級船員	-	-	-	-	-	0.4	-	-
609	船舶機関士	-	-	-	-	-	0.2	-	-
610	パイロット	-	-	-	-	-	2.0	-	-
612	鉄道員	-	-	-	-	-	0.2	-	-
613	船員	-	-	-	-	-	0.9	-	-
615	船員（無線従事者）	-	-	-	-	-	0.1	-	-
624	石工	-	-	-	-	-	0.1	-	-
625	ガラス職人	-	-	-	-	-	0.1	-	-
630	金属加工、旋盤工	-	-	-	-	-	0.3	-	-
631	鉄工	-	-	-	-	-	0.2	-	-
633	機械工、機械職人	-	-	-	-	-	0.3	-	-
635	自動車修理工、自動車整備工	-	-	-	-	-	1.3	-	-
636	電車製造業	-	-	-	-	-	0.1	-	-
639	自転車屋	-	-	-	-	-	0.1	-	-
644	パン屋（含、菓子製造業）	-	-	-	-	-	0.4	-	-
645	食品関係の仕事	-	-	-	-	-	0.1	-	-
647	酒造業	-	-	-	-	-	0.2	-	-
651	和服仕立、和裁、洋裁、パタンナー	-	-	-	-	-	0.5	-	-
652	裁縫、縫製	-	-	-	-	-	0.2	-	-
654	家具職人	-	-	-	-	-	0.1	-	-
661	アニメーション関連、アニメーター	-	-	-	-	-	0.2	-	-
665	装飾品を作る女工	-	-	-	-	-	0.1	-	-
677	電気工事、電気通信関連事業	-	-	-	-	-	0.3	-	-

679	左官	-	-	-	-	-	0.1	-	-
684	潜水士	-	-	-	-	-	0.1	-	-
689	分類不能の職業	-	-	-	-	-	0.2	-	-
702	大工	-	-	-	-	-	1.7	-	-
703	教員	-	-	-	-	-	6.6	-	-
704	職人、製造業、物造り、「手に職」	-	-	-	-	-	0.6	-	-
705	会社員、サラリーマン	-	-	-	-	-	1.0	-	-
708	(役場以外の)公務員	-	-	-	-	-	1.6	-	-
801	エンジニア(分野のわからないもの、含、工業エンジニア)	-	-	-	-	-	0.8	-	-
802	翻訳家	-	-	-	-	-	0.4	-	-
803	漫画家	-	-	-	-	-	0.5	-	-
804	服飾関連のデザイナー(含、スタイリスト)	-	-	-	-	-	0.5	-	-
805	歌手、俳優、芸能人、お笑い芸人	-	-	-	-	-	1.1	-	-
806	プロサッカー選手	-	-	-	-	-	0.4	-	-
807	プロ野球選手	-	-	-	-	-	0.9	-	-
808	介護士、介護福祉士、介護職	-	-	-	-	-	0.4	-	-
809	ピアノ教師など、音楽関連の個人教師	-	-	-	-	-	0.4	-	-
810	通訳(含、英語を生かした仕事、教師以外の英語を使う仕事)	-	-	-	-	-	1.1	-	-
811	カウンセラー、心理カウンセラー	-	-	-	-	-	0.3	-	-
812	役場の事務員、役場	-	-	-	-	-	0.8	-	-
813	お菓子屋、お菓子店、パティシエール、ケーキ職人、ケーキ屋	-	-	-	-	-	0.5	-	-
814	理容師、床屋	-	-	-	-	-	0.3	-	-
815	宇宙飛行士	-	-	-	-	-	0.1	-	-
816	機械技術者	-	-	-	-	-	0.9	-	-
901	収入のある仕事	-	-	-	-	-	0.2	-	-
902	大企業に入ること	-	-	-	-	-	0.1	-	-
903	外資系の会社、ビジネス専門の会社	-	-	-	-	-	0.1	-	-
904	航空会社社員	-	-	-	-	-	0.1	-	-
905	高収入を得られる仕事	-	-	-	-	-	0.1	-	-
990	その他の生徒・学生	-	-	-	-	-	0.1	-	-
991	拒否	-	-	-	-	-	0.3	-	-
992	忘れた、覚えていない	-	-	-	-	-	0.2	-	-
9999	不明・無回答	-	-	-	-	-	6.1	-	-
	n	-	-	-	-	-	931	-	-

8888 非該当

\*コードは、回答者が「なりたかった」職業を表すものなので、客観的な職業を表す職業コードとはコーディング方針が異なる。コード間で職業区分の水準にばらつきがあるのはそのためである。

812. WNTJBPM なりたかった職業は親の職業か

その最もなりたかった職業は、あなたの親と同じ職業でしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	11.5	-	-
2	いいえ	-	-	-	-	-	87.4	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.1	-	-
	n	-	-	-	-	-	931	-	-

8 非該当

813. XWNTJOB なりたかった職業に就けたか

その最もなりたかった職業に、あなたはついていたことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	29.2	-	-
2	いいえ	-	-	-	-	-	69.6	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.2	-	-
	n	-	-	-	-	-	931	-	-

8 非該当

## 814. FQ5NEWSP 新聞を読む頻度

あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	ほぼ毎日	74.6	76.6	75.1	74.1	73.7	73.3	70.7	68.5	
2	週数回	12.1	10.4	11.3	11.8	11.1	11.3	10.5	11.5	
3	週1回程度	3.8	2.9	3.2	3.2	3.2	3.7	4.0	4.4	
4	それ以下	3.6	3.2	3.9	3.9	5.3	4.2	5.6	5.7	
5	まったく読まない	5.7	6.4	6.3	6.7	6.3	7.2	8.9	9.8	
9	無回答	0.2	0.5	0.2	0.3	0.5	0.3	0.3	0.2	
8	非該当	n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	5003

## 815-834, 837. 購読新聞\*

あなたがよく読む新聞すべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
NPASAH	朝日新聞	-	-	22.5	20.1	20.9	-	-	-
NPSANKEI	産経新聞	-	-	4.4	4.9	3.0	-	-	-
NPNIKKEI	日本経済新聞	-	-	8.6	8.9	8.5	-	-	-
NPMAINI	毎日新聞	-	-	9.3	8.6	7.2	-	-	-
NPYOMIUR	読売新聞	-	-	27.8	27.8	20.8	-	-	-
NPSANSP	サンケイスポーツ	-	-	2.6	2.4	1.8	-	-	-
NPSPNIP	スポーツニッポン	-	-	4.7	5.5	3.7	-	-	-
NPDAYSP	デイリースポーツ	-	-	1.6	1.7	0.6	-	-	-
NPNIKSP	日刊スポーツ	-	-	3.9	4.0	3.8	-	-	-
NPHOUCHI	報知新聞	-	-	2.0	2.5	1.1	-	-	-
NPHOKKAI	北海道新聞	-	-	3.8	2.7	4.3	-	-	-
NPPTOKYO	東京新聞	-	-	0.7	1.0	0.8	-	-	-
NPCHUNI	中日新聞	-	-	8.5	7.6	8.2	-	-	-
NPWESTJP	西日本新聞	-	-	2.1	2.6	1.6	-	-	-
NPJAPAN	Japan Times	-	-	0.2	0.1	0.1	-	-	-
NPGENDAI	日刊ゲンダイ	-	-	0.4	0.5	0.1	-	-	-
NPFUJI	夕刊フジ	-	-	0.8	0.5	0.1	-	-	-
NPAKAHAT	赤旗	-	-	1.5	1.8	1.4	-	-	-
NPSEIKYO	聖教新聞	-	-	3.5	3.6	3.9	-	-	-
NPETC	その他(具体的に )	-	-	30.8	32.4	32.1	-	-	-
NPNONE	よく読む新聞はない	-	-	-	-	8.2	-	-	-
	選択者数	-	-	2953	1957	2023	-	-	-

\*2005 で選択肢を追加した。

累積データ 2000-2010 では、2003 までの NPNOMARK (いずれも選択していない) は削除した。

2005 選択肢追加: 「よく読む新聞はない」

「いずれも選択していない」という変数を作成していない。

## 835. NPETCX1 購読新聞:その他:具体的記述(1番目)

「その他(具体的に )」の1番目の記述

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
21	静岡新聞	-	-	6.3	3.9	5.9	-	-	-
22	中国新聞	-	-	5.6	5.4	4.0	-	-	-
23	新潟日報	-	-	5.5	3.9	3.5	-	-	-
24	神戸新聞	-	-	4.6	2.7	1.8	-	-	-
25	信濃毎日新聞	-	-	3.6	3.0	1.5	-	-	-
26	河北新報	-	-	3.7	4.4	4.8	-	-	-
27	山陽新聞	-	-	3.6	2.5	2.2	-	-	-
28	京都新聞	-	-	3.2	2.8	4.0	-	-	-
29	下野新聞	-	-	3.1	2.8	4.0	-	-	-
30	南日本新聞	-	-	3.1	3.1	1.7	-	-	-
31	北日本新聞	-	-	2.6	2.0	2.8	-	-	-
32	熊本日日新聞	-	-	2.7	2.8	2.2	-	-	-
33	宮崎日日新聞	-	-	2.7	1.4	1.7	-	-	-
34	愛媛新聞	-	-	2.4	1.1	2.0	-	-	-



35	東奥日報	-	-	2.2	1.6	1.7	-	-	-
36	秋田魁新報	-	-	2.1	2.5	4.2	-	-	-
37	福島民報	-	-	2.1	2.5	0.8	-	-	-
38	山梨日日新聞	-	-	2.0	2.2	2.5	-	-	-
39	福井新聞	-	-	2.0	1.4	4.0	-	-	-
40	上毛新聞	-	-	1.8	2.2	1.4	-	-	-
41	茨城新聞	-	-	1.8	0.6	0.6	-	-	-
42	日本海新聞	-	-	1.8	1.3	1.2	-	-	-
43	徳島新聞	-	-	1.8	1.9	2.3	-	-	-
44	長崎新聞	-	-	1.6	1.9	1.5	-	-	-
45	北国新聞	-	-	1.6	3.0	2.6	-	-	-
46	佐賀新聞	-	-	1.6	1.6	1.2	-	-	-
47	山形新聞	-	-	1.5	2.7	2.8	-	-	-
48	山陰中央新報	-	-	1.5	2.4	1.1	-	-	-
49	四国新聞	-	-	1.5	2.0	2.6	-	-	-
50	大分合同新聞	-	-	1.5	2.0	3.1	-	-	-
51	高知新聞	-	-	1.3	2.4	1.2	-	-	-
52	十勝毎日新聞	-	-	1.2	0.0	0.8	-	-	-
53	岩手日報	-	-	1.1	1.9	1.7	-	-	-
54	神奈川新聞	-	-	1.1	0.5	0.8	-	-	-
55	室蘭民報	-	-	1.0	0.5	0.6	-	-	-
56	琉球新報	-	-	1.0	1.9	1.7	-	-	-
57	沖縄タイムズ	-	-	1.0	0.8	0.9	-	-	-
58	岐阜新聞	-	-	0.9	0.9	2.5	-	-	-
59	福島民友	-	-	0.7	1.4	0.8	-	-	-
60	岩手日日新聞	-	-	0.5	0.0	0.0	-	-	-
61	千葉日報	-	-	0.4	0.9	0.3	-	-	-
62	東海新報	-	-	0.4	0.2	0.0	-	-	-
63	北鹿新聞	-	-	0.2	0.3	0.0	-	-	-
64	公明新聞	-	-	0.3	0.2	0.2	-	-	-
65	日経流通新聞	-	-	-	-	0.6	-	-	-
66	市民タイムス	-	-	-	-	0.6	-	-	-
67	デーリー東北	-	-	-	-	0.9	-	-	-
68	夕刊デイリー	-	-	-	-	0.6	-	-	-
70	日本農業新聞	-	-	0.7	2.2	0.8	-	-	-
71	日刊工業新聞	-	-	0.1	0.2	0.0	-	-	-
80	その他のスポーツ新聞	-	-	0.7	0.6	1.5	-	-	-
81	中日スポーツ	-	-	1.9	1.4	1.1	-	-	-
97	その他・不明	-	-	2.3	9.4	6.3	-	-	-
99	無回答	-	-	2.0	0.5	0.5	-	-	-
		n	-	911	635	649	-	-	-
88	非該当								

836. NPETCX2 購読新聞:その他:具体的記述(2番目)  
「その他(具体的に )」の2番目の記述

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
21	静岡新聞	-	-	2.5	0.0	0.0	-	-	-
23	新潟日報	-	-	0.0	0.0	5.3	-	-	-
25	信濃毎日新聞	-	-	0.0	4.8	0.0	-	-	-
30	南日本新聞	-	-	0.0	0.0	5.3	-	-	-
31	北日本新聞	-	-	2.5	0.0	0.0	-	-	-
36	秋田魁新報	-	-	0.0	4.8	0.0	-	-	-
37	福島民報	-	-	0.0	4.8	5.3	-	-	-
38	山梨日日新聞	-	-	0.0	0.0	5.3	-	-	-
44	長崎新聞	-	-	2.5	0.0	0.0	-	-	-
47	山形新聞	-	-	0.0	4.8	0.0	-	-	-
53	岩手日報	-	-	2.5	0.0	0.0	-	-	-
54	神奈川新聞	-	-	0.0	0.0	5.3	-	-	-
56	琉球新報	-	-	0.0	0.0	5.3	-	-	-
57	沖縄タイムズ	-	-	0.0	4.8	0.0	-	-	-
59	福島民友	-	-	2.5	0.0	0.0	-	-	-
63	北鹿新聞	-	-	5.0	0.0	0.0	-	-	-
64	公明新聞	-	-	0.0	0.0	5.3	-	-	-
65	日経流通新聞	-	-	-	-	5.3	-	-	-
70	日本農業新聞	-	-	17.5	19.0	5.3	-	-	-
71	日刊工業新聞	-	-	5.0	0.0	0.0	-	-	-

80	その他のスポーツ新聞	-	-	2.5	0.0	5.3	-	-	-
81	中日スポーツ	-	-	0.0	0.0	5.3	-	-	-
97	その他・不明	-	-	12.5	42.9	42.1	-	-	-
99	無回答	-	-	45.0	14.3	0.0	-	-	-
		n	-	40	21	19	-	-	-
88	非該当								

838. FQ5READ 1ヶ月の読書冊数

あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
0	ほとんど読まない	50.2	48.2	52.3	52.6	49.7	49.0	48.7	51.9	
1	1冊程度	27.5	28.4	24.9	26.0	28.0	27.6	27.2	25.6	
2	2冊程度	10.3	12.1	10.7	10.8	11.4	11.6	11.8	10.8	
3	3冊程度	5.2	4.7	5.4	4.8	3.9	4.9	5.4	5.2	
4	4冊以上	6.3	5.9	6.4	5.4	6.4	6.3	6.5	6.2	
9	無回答	0.5	0.6	0.3	0.4	0.6	0.6	0.3	0.3	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	5003
8	非該当									

839. HRTV テレビ視聴時間

あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビを見ますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
実数記入	0時間くらい	0.7	0.9	0.6	1.1	2.1	1.6	1.6	1.7	
	1時間くらい	12.6	11.4	10.8	9.7	11.2	13.0	12.2	12.6	
	2時間くらい	22.3	23.9	22.6	21.9	21.8	21.8	21.4	20.6	
	3時間くらい	25.6	24.4	25.7	25.5	23.5	25.1	22.8	22.1	
	4時間くらい	14.4	14.5	13.6	14.0	14.2	14.2	14.5	14.8	
	5時間くらい	12.0	11.6	14.1	13.8	13.5	11.9	12.4	13.4	
	6時間くらい	5.2	5.3	4.8	5.1	5.5	4.7	6.6	5.9	
	7時間くらい	1.8	2.0	1.3	2.0	1.3	1.7	2.5	2.0	
	8時間くらい	2.2	1.8	2.5	2.8	2.4	2.0	2.3	2.7	
	9時間くらい	0.5	0.2	0.3	0.4	0.3	0.4	0.4	0.5	
	10時間くらい	1.8	2.1	1.8	2.3	2.5	2.2	1.9	2.0	
	11時間以上	0.6	1.0	0.8	1.1	0.8	0.8	0.7	1.0	
999	無回答	0.4	0.8	1.0	0.5	0.7	0.7	0.7	0.6	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	5003
888	非該当									

840-848. 利用通信媒体\*

次の項目で、あなたが利用しているものすべてに をつけてください。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
DOEMAILJ	電子メール（仕事）	10.2	12.8	13.4	14.7	-	-	-	-
DOEMAILP	電子メール（私用）	16.0	20.4	22.6	25.9	-	-	-	-
DOCOMPJ	パソコン（職場・学校で）	22.4	23.2	24.1	23.2	28.8	31.0	31.0	33.1
DOCOMPJ	パソコン（自宅で）	21.8	28.0	29.0	29.5	36.8	41.9	44.5	47.1
DONETSB	インターネットによるショッピング・バンキング	4.8	7.1	8.1	9.9	-	-	-	-
DONETSTK	インターネットによる株取引	0.8	1.5	0.8	0.9	-	-	-	-
DOPHS	携帯電話（PHSを含む）	47.0	51.8	56.0	57.7	68.7	72.2	78.0	81.7
DOFAX	ファックス	36.2	39.2	39.7	40.2	37.9	-	-	-
DONONEX	いずれも利用していない	-	-	-	-	25.1	24.4	19.1	15.8
	選択者数	2893	2790	2953	1957	2023	2124	4220	2507

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

累積データ 2000-2010 では、2003 までの DONONE（いずれも選択していない）は削除した。

2000 選択肢：「電子メール（仕事）、電子メール（私用）、パソコン（職場で利用）、パソコン（自宅で利用）、インターネットによるショッピング・バンキング、インターネットによる株取引、携帯電話または PHS、ファックス」。

2005 選択肢ワーディング変更：「パソコン（職場で利用）」→「パソコン（職場・学校で）」、「パソコン（自宅で利用）」→「パソコン（自宅）」、「携帯電話または PHS」→「携帯電話（PHSを含む）」。  
 選択肢削除：「電子メール（仕事）」、「電子メール（私用）」、「インターネットによるショッピング・バンキング」、「インターネットによる株取引」。

選択肢追加：「いずれも利用していない」。  
 「いずれも選択していない」という変数を作成していない。

2006 選択肢削除：「ファックス」。

849. DOEMAIL 電子メールの利用

あなたはパソコンや携帯電話（PHSを含む）で、電子メールのやり取りをしていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	パソコンのみ	-	-	-	-	5.2	-	-	-
2	携帯のみ	-	-	-	-	28.7	-	-	-
3	両方でしている	-	-	-	-	21.2	-	-	-
4	していない	-	-	-	-	44.3	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.6	-	-	-
	n	-	-	-	-	2023	-	-	-

842. DOCOMPJ、843. DOCOMPJ、846. DOPHS を選択した場合

850-855. インターネットの利用\*

あなたは、パソコンまたは携帯電話（PHSを含む）のインターネットを利用して、次のことを行なっていますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
DOINBRS	情報検索	-	-	-	-	56.1	64.6	65.7	67.7
DOINSHOP	インターネットショッピング	-	-	-	-	21.6	26.3	30.4	32.1
DOINBANK	インターネットバンキング	-	-	-	-	6.2	7.4	9.8	9.3
DOINHJ	ホームページの作成	-	-	-	-	4.6	5.1	4.3 <sup>注1</sup>	-
DOINHJPB	ホームページの作成（ブログを含む）	-	-	-	-	-	-	6.3 <sup>注2</sup>	6.4
DOINNONE	いずれも行っていない	-	-	-	-	41.5	30.9	30.0	28.2
	選択者数	-	-	-	-	1510	1600	3406	2108

注1) 選択者数は、3406 のうち留置 A の 1679。

注2) 選択者数は、3406 のうち留置 B の 1727。

\*調査年度によって選択肢に違いがある。

2008 では留置 A 票と B 票で設問が一部異なり、A 票では DOINHJ（ホームページの作成）B 票では DOINHJPB（ホームページの作成（ブログを含む））を尋ねている。

2006 質問文ワーディング変更：「携帯電話で」「携帯電話（PHSを含む）のインターネットを利用して」。

2008 選択肢「ホームページの作成」は留置 A 票と B 票で違う：A 票「ホームページの作成」、B 票「ホームページの作成（ブログを含む）」。

856-858. あなたは、携帯電話（PHSを含む）やパソコンを利用して、次のことをどのくらい行なっていますか。

856. FQMPTALK 携帯電話での通話の頻度

携帯電話（PHSを含む）での通話

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1日に5回以上	-	-	-	-	-	14.1	13.0	12.0
2	1日に3～4回	-	-	-	-	-	10.9	12.5	12.0
3	1日に1～2回	-	-	-	-	-	28.8	27.6	28.6
4	週に数回	-	-	-	-	-	26.4	26.7	28.4
5	週に1回以下	-	-	-	-	-	10.8	10.9	11.2
6	まったく利用していない	-	-	-	-	-	5.6	5.4	5.5
9	無回答	-	-	-	-	-	3.3	3.8	2.2
		n	-	-	-	-	1600	3406	2108
8	非該当								

857. FQMPMAIL 携帯電話でのメール送信の頻度

携帯電話（PHSを含む）からのメール送信

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1日に5回以上	-	-	-	-	-	12.4	12.9	14.6
2	1日に3～4回	-	-	-	-	-	12.7	13.8	14.6
3	1日に1～2回	-	-	-	-	-	20.0	20.8	20.1
4	週に数回	-	-	-	-	-	16.6	17.9	19.4
5	週に1回以下	-	-	-	-	-	9.6	8.3	8.3
6	まったく利用していない	-	-	-	-	-	23.3	20.5	19.6
9	無回答	-	-	-	-	-	5.4	5.8	3.4
		n	-	-	-	-	1600	3406	2108
8	非該当								

858. FQPCMAIL パソコンでのメール送信の頻度

パソコンからのメール送信

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1日に5回以上	-	-	-	-	-	6.3	6.2	6.9
2	1日に3～4回	-	-	-	-	-	2.9	2.5	2.1
3	1日に1～2回	-	-	-	-	-	5.4	4.6	4.4
4	週に数回	-	-	-	-	-	10.4	10.1	9.5
5	週に1回以下	-	-	-	-	-	14.3	15.0	15.0
6	まったく利用していない	-	-	-	-	-	51.1	52.0	52.6
9	無回答	-	-	-	-	-	9.6	9.6	9.5
		n	-	-	-	-	1600	3406	2108
8	非該当								

859-861. あなたは、携帯電話（PHSを含む）やパソコンを利用して、次のことをどのくらい行なっていますか。

859. FQMPTALX 携帯電話での通話の頻度(全員)

携帯電話（PHSを含む）での通話

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1日に5回以上	-	-	-	-	-	-	-	11.1
2	1日に3～4回	-	-	-	-	-	-	-	9.6
3	1日に1～2回	-	-	-	-	-	-	-	23.9
4	週に数回	-	-	-	-	-	-	-	24.1
5	週に1回以下	-	-	-	-	-	-	-	10.6
6	まったく利用していない	-	-	-	-	-	-	-	19.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.8
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

860. FQMPMAIX 携帯電話でのメール送信の頻度(全員)  
携帯電話 (PHS を含む) からのメール送信

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1日に5回以上	-	-	-	-	-	-	-	11.1
2	1日に3~4回	-	-	-	-	-	-	-	11.2
3	1日に1~2回	-	-	-	-	-	-	-	18.8
4	週に数回	-	-	-	-	-	-	-	15.8
5	週に1回以下	-	-	-	-	-	-	-	7.5
6	まったく利用していない	-	-	-	-	-	-	-	32.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	2.7
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

861. FQPCMAIX パソコンでのメール送信の頻度(全員)  
パソコンからのメール送信

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1日に5回以上	-	-	-	-	-	-	-	5.4
2	1日に3~4回	-	-	-	-	-	-	-	2.3
3	1日に1~2回	-	-	-	-	-	-	-	3.6
4	週に数回	-	-	-	-	-	-	-	8.0
5	週に1回以下	-	-	-	-	-	-	-	11.2
6	まったく利用していない	-	-	-	-	-	-	-	65.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	3.6
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

862-868. 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。それぞれについて番号(1~5)を1つ選んでください。

862. ST5AREAY 生活満足度:居住地域  
住んでいる地域

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	満足	24.3	23.2	23.4	25.8	30.6	28.5	29.1	30.5	
2	・	28.6	27.9	28.6	28.3	30.8	29.0	30.9	29.1	
3	・	32.5	33.1	33.5	30.9	27.1	30.7	29.7	29.1	
4	・	11.2	11.2	11.0	10.7	7.6	8.2	7.3	7.7	
5	不満	2.7	3.2	2.8	3.2	3.0	2.4	2.0	2.3	
9	無回答	0.7	1.4	0.7	1.1	0.8	1.1	1.0	1.2	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

863. ST5LEISY 生活満足度:余暇利用  
余暇の過ごし方

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	満足	14.6	14.6	14.7	17.5	16.5	18.7	18.3	18.6	
2	・	27.3	26.2	27.4	27.6	27.9	28.6	28.9	28.3	
3	・	37.8	39.6	38.5	36.0	38.0	36.4	36.6	36.1	
4	・	15.7	14.7	14.4	13.8	12.5	11.8	12.1	12.7	
5	不満	3.7	3.3	4.0	3.9	3.3	3.1	2.9	2.7	
9	無回答	1.0	1.6	1.0	1.1	1.9	1.5	1.1	1.6	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

864. ST5LIFEY 生活満足度:家庭生活  
家庭生活

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	満足	19.8	20.4	18.4	23.1	26.7	27.5	27.9	27.9	
2	・	28.7	26.7	29.6	29.0	29.8	28.9	30.2	29.5	
3	・	39.6	38.9	38.9	35.0	33.4	32.7	31.3	31.6	
4	・	8.5	9.9	9.8	9.3	6.6	7.7	7.5	7.5	
5	不満	2.4	2.6	2.3	2.5	2.3	2.0	2.3	2.1	
9	無回答	1.0	1.5	1.0	1.2	1.2	1.2	1.0	1.5	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

865. ST5ECNY 生活満足度:家計状態

現在の家計状態

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	満足	9.7	9.0	8.2	9.0	14.2	14.7	13.8	14.2
2	・	18.8	18.0	18.9	19.1	20.2	21.0	20.8	20.4
3	・	39.5	39.1	38.3	37.5	37.2	35.8	36.3	35.4
4	・	22.8	23.1	23.5	23.3	18.4	19.1	19.2	19.8
5	不満	8.0	9.0	10.0	10.0	8.9	8.1	8.8	8.8
9	無回答	1.1	1.7	1.0	1.1	1.1	1.3	1.1	1.3
n		2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

866. ST5FRIY 生活満足度:友人関係

友人関係

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	満足	22.2	22.3	19.8	23.9	23.9	25.2	23.8	25.5
2	・	28.5	27.2	30.3	29.9	30.4	29.6	29.7	28.2
3	・	37.8	38.8	39.7	35.2	36.8	36.1	37.5	37.7
4	・	8.5	8.1	7.9	7.8	5.0	6.4	6.4	6.0
5	不満	1.9	1.8	1.4	2.0	2.5	1.6	1.5	1.5
9	無回答	1.1	1.7	0.9	1.2	1.4	1.1	1.0	1.1
n		2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

867. ST5HLTHY 生活満足度:健康状態

健康状態

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	満足	17.3	17.5	16.9	21.0	18.1	17.8	19.5	18.6
2	・	26.3	26.8	26.3	27.2	27.4	28.4	27.9	28.1
3	・	34.7	34.9	35.4	31.6	33.0	35.2	34.9	33.7
4	・	16.4	14.4	15.5	14.8	14.4	14.3	12.6	13.9
5	不満	4.5	5.1	5.4	4.7	6.0	3.3	4.2	4.5
9	無回答	0.8	1.3	0.4	0.7	1.0	1.0	1.0	1.1
n		2893	2790	2953	3663	2023	4254	4220	5003

868. ST5SSREL 生活満足度:配偶者との関係

配偶者(夫や妻)との関係

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	満足	-	-	-	27.1	27.3	27.4	27.2	26.4
2	・	-	-	-	20.6	20.6	19.8	20.0	20.9
3	・	-	-	-	19.5	18.8	20.0	19.5	18.8
4	・	-	-	-	4.1	3.4	3.5	3.7	3.6
5	不満	-	-	-	1.8	1.6	1.6	1.4	1.7
6	配偶者はいない	-	-	-	26.2	27.2	26.8	27.6	27.4
9	無回答	-	-	-	0.8	1.0	0.8	0.6	1.0
n		-	-	-	3663	2023	4254	4220	5003

869. FF5HAPPZ 結婚生活の幸福度

あなたの結婚生活は、幸せですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	幸せ	35.6	38.4	39.6	-	-	-	-	-
2	・	30.5	29.2	31.6	-	-	-	-	-
3	・	28.5	27.0	23.8	-	-	-	-	-
4	・	3.0	3.3	2.6	-	-	-	-	-
5	不幸せ	1.0	0.6	1.4	-	-	-	-	-
9	無回答	1.4	1.5	1.1	-	-	-	-	-
n		2099	2061	2182	-	-	-	-	-
8	非該当								

870. OP5HAPPZ 幸福度

あなたは、現在幸せですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	幸せ	29.1	31.0	29.0	28.1	26.9	30.9	32.1	31.3	
2	・	32.1	30.1	32.1	31.0	36.3	33.9	34.1	33.5	
3	・	32.2	31.5	32.1	33.2	29.3	28.4	26.8	28.2	
4	・	4.5	5.5	5.5	5.9	5.4	5.1	5.0	4.9	
5	不幸せ	1.4	1.3	1.1	1.5	1.3	0.9	1.2	0.9	
9	無回答	0.8	0.6	0.2	0.3	0.7	0.7	0.7	1.1	
		<hr/>								
8	非該当	n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507

871. STALLLF 生活満足度:全般

あなたは、現在の生活全般に満足していますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	非常に満足	-	-	-	-	-	10.7	-	-	
2	・	-	-	-	-	-	37.9	-	-	
3	・	-	-	-	-	-	37.4	-	-	
4	・	-	-	-	-	-	11.3	-	-	
5	非常に不満	-	-	-	-	-	2.5	-	-	
9	無回答	-	-	-	-	-	0.2	-	-	
		<hr/>								
8	非該当	n	-	-	-	-	2130	-	-	

872. OP5HAPPE 幸福度(EASS 尺度)

全体として、あなたは、現在幸せですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	非常に幸せ	-	-	-	-	-	-	17.6	18.5	
2	・	-	-	-	-	-	-	42.2	40.2	
3	・	-	-	-	-	-	-	31.5	32.7	
4	・	-	-	-	-	-	-	7.5	7.3	
5	非常に不幸せ	-	-	-	-	-	-	0.7	1.0	
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.4	0.4	
		<hr/>								
8	非該当	n	-	-	-	-	-	2160	2496	

873-874. あなたは、仕事とかかわりの深い実務講座（資格取得目的など）や仕事とかかわりの少ない教養講座（文化教室など）を受講したことがありますか。

873. XLRNJB 受講経験:実務講座

実務講座（資格目的など）

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	現在受講している	3.6	4.0	-	-	-	-	-	-	
2	現在はしていないが過去に受講したことがある	37.1	38.2	-	-	-	-	-	-	
3	受講したことはない	56.7	54.0	-	-	-	-	-	-	
9	無回答	2.7	3.8	-	-	-	-	-	-	
		<hr/>								
8	非該当	n	2893	2790	-	-	-	-	-	

874. XLRNCLTR 受講経験:教養講座

教養講座（文化教室など）

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	現在受講している	7.3	7.7	-	-	-	-	-	-	
2	現在はしていないが過去に受講したことがある	27.4	29.3	-	-	-	-	-	-	
3	受講したことはない	62.0	59.1	-	-	-	-	-	-	
9	無回答	3.2	4.0	-	-	-	-	-	-	
		<hr/>								
8	非該当	n	2893	2790	-	-	-	-	-	

875. FQ5TRIP 1泊以上の旅行頻度\*

あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行（仕事以外）をしますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	月に数回	0.4	0.6	0.3	0.6	0.4	0.5	0.5	0.3	
2	月に1回程度	2.1	2.3	2.2	3.0	2.4	2.2	1.8	2.0	
3	年に数回	34.3	32.3	31.6	34.1	35.4	31.7	31.5	30.8	
4	年に1回程度	38.7	39.1	39.8	37.4	34.8	37.7	36.2	36.3	
5	まったくしない	24.1	25.1	25.7	24.8	26.3	27.5	29.7	30.2	
9	無回答	0.3	0.6	0.4	0.1	0.7	0.4	0.4	0.4	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	2507

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更:「まったくなし」「まったくしない」.

876-877. あなたは、どのくらいの頻度で旅行（仕事以外で1泊以上）をしますか。

876. FQDMTRP 旅行頻度:国内旅行

国内旅行

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	月に数回	-	-	-	-	-	-	-	0.7
2	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	2.3
3	年に数回	-	-	-	-	-	-	-	28.9
4	年に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	24.8
5	数年に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	17.2
6	まったくしない	-	-	-	-	-	-	-	25.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.2
		n	-	-	-	-	-	-	2496

8 非該当

877. FQOSTRP 旅行頻度:海外旅行

海外旅行

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	月に数回	-	-	-	-	-	-	-	0.1
2	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	0.0
3	年に数回	-	-	-	-	-	-	-	1.2
4	年に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	4.3
5	数年に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	16.1
6	まったくしない	-	-	-	-	-	-	-	73.4
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	4.8
		n	-	-	-	-	-	-	2496

8 非該当

878-879. あなたの希望としては、どのくらいの頻度で旅行（仕事以外で1泊以上）に行きたいですか。

878. APDMTRP 旅行頻度の希望:国内旅行

国内旅行

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	月に数回	-	-	-	-	-	-	-	2.0
2	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	9.8
3	年に数回	-	-	-	-	-	-	-	46.8
4	年に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	25.0
5	数年に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	7.3
6	行きたくない	-	-	-	-	-	-	-	8.2
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.0
		n	-	-	-	-	-	-	2496

8 非該当



879. APOSTRP 旅行頻度の希望: 海外旅行

海外旅行

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	月に数回	-	-	-	-	-	-	-	0.3
2	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	0.6
3	年に数回	-	-	-	-	-	-	-	5.6
4	年に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	23.3
5	数年に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	29.8
6	行きたくない	-	-	-	-	-	-	-	36.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	4.4
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

880-891. 旅行で重視すること\*

あなたは旅行(仕事以外で1泊以上)で何をすることを重視していますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
IMTRPCUL	旅行先の文化にふれる	-	-	-	-	-	-	-	49.1
IMTRPPPL	旅行先の人々とふれ合う	-	-	-	-	-	-	-	17.1
IMTRPREL	家族や友人との関係を深める	-	-	-	-	-	-	-	43.1
IMTRPEX	刺激的な経験をする	-	-	-	-	-	-	-	9.7
IMTRPSHP	買い物や食事を楽しむ	-	-	-	-	-	-	-	52.6
IMTRPSTR	ストレスを解消する	-	-	-	-	-	-	-	47.1
IMTRPNAT	自然を楽しむ	-	-	-	-	-	-	-	54.0
IMTRPFRE	自由気ままに過ごす	-	-	-	-	-	-	-	30.0
IMTRPREF	自分自身を見つめなおす	-	-	-	-	-	-	-	7.3
IMTRPOTH	その他(具体的に )	-	-	-	-	-	-	-	1.4
IMTRPNON	特にない	-	-	-	-	-	-	-	6.4
IMTRPHSP	温泉がある	-	-	-	-	-	-	-	0.8
		選択者数	-	-	-	-	-	-	2496

\*IMTRPHSP(温泉がある)は、「その他」の具体的記述から追加した。

892-909. あなたは、以下の事項をどのくらい行ないますか。

892. FQ4SHOGI 娯楽の頻度: 将棋

将棋

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	0.7	1.0	0.9	0.4	-	-	-	-
2	時々する	5.1	4.3	3.1	4.3	-	-	-	-
3	あまりしない	20.0	20.3	13.9	13.1	-	-	-	-
4	全くしない/知らない	73.5	73.5	81.2	81.9	-	-	-	-
9	無回答	0.7	0.9	0.9	0.4	-	-	-	-
		n	2893	2790	2953	1957	-	-	-
8	非該当								

893. FQ4IGO 娯楽の頻度: 囲碁

囲碁

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	0.8	0.6	1.2	0.9	-	-	-	-
2	時々する	1.9	2.4	1.6	2.0	-	-	-	-
3	あまりしない	10.2	10.6	9.1	8.4	-	-	-	-
4	全くしない/知らない	86.5	85.5	87.4	88.4	-	-	-	-
9	無回答	0.6	0.9	0.7	0.4	-	-	-	-
		n	2893	2790	2953	1957	-	-	-
8	非該当								

894. FQ4SHGIG 娯楽の頻度:将棋・囲碁  
将棋・囲碁

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	-	1.5	1.2	1.3	-
2	時々する	-	-	-	-	3.1	3.4	2.9	-
3	あまりしない	-	-	-	-	10.3	8.2	9.6	-
4	まったくしない/知らない	-	-	-	-	83.0	85.8	85.3	-
9	無回答	-	-	-	-	2.1	1.4	0.9	-
		n	-	-	-	2023	2124	4220	-
8	非該当								

895. FQ4MAJON 娯楽の頻度:麻雀  
麻雀

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	1.0	0.8	0.8	0.9	-	-	-	-
2	時々する	6.0	5.6	4.1	5.5	-	-	-	-
3	あまりしない	15.7	15.4	11.9	10.8	-	-	-	-
4	まったくしない/知らない	76.3	77.1	82.5	82.6	-	-	-	-
9	無回答	1.0	1.1	0.8	0.2	-	-	-	-
		n	2893	2790	2953	1957	-	-	-
8	非該当								

896. FQ4NBS 娯楽の頻度:ナンバーズ・ミニロト\*  
ナンバーズ・ミニロト・ロト6

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	1.1	2.0	2.0	1.8	-	-	-	2.3
2	時々する	6.3	7.1	4.7	6.7	-	-	-	8.3
3	あまりしない	10.6	10.3	9.4	9.9	-	-	-	9.8
4	まったくしない/知らない	80.4	78.8	83.0	80.7	-	-	-	78.5
9	無回答	1.6	1.8	0.8	0.9	-	-	-	1.1
		n	2893	2790	2953	1957	-	-	2496
8	非該当								

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2010 質問文ワーディング変更:「ナンバーズ・ミニロト」 「ナンバーズ・ミニロト・ロト6」.

897. FQ4LOTTO 娯楽の頻度:宝くじ  
宝くじ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	3.1	3.3	-	2.9	4.6	3.8	4.2	2.5
2	時々する	27.0	28.2	-	25.9	24.0	24.6	22.4	25.2
3	あまりしない	22.6	21.8	-	23.4	19.6	20.5	22.1	22.1
4	まったくしない/知らない	46.4	45.6	-	47.4	50.3	50.5	50.6	49.5
9	無回答	0.9	1.1	-	0.4	1.4	0.7	0.7	0.7
		n	2893	2790	-	1957	2023	2124	4220
8	非該当								

898. FQ4TOTO 娯楽の頻度:サッカーくじ(toto)  
サッカーくじ(toto)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	0.8	-	0.5	-	-	-	0.7
2	時々する	-	2.2	-	1.8	-	-	-	2.0
3	あまりしない	-	7.5	-	6.8	-	-	-	4.5
4	まったくしない/知らない	-	88.4	-	90.2	-	-	-	91.9
9	無回答	-	1.2	-	0.7	-	-	-	0.9
		n	-	2790	-	1957	-	-	2496
8	非該当								

## 899. FQ4HORSE 娯楽の頻度:競馬

競馬

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	1.5	1.6	-	-	-	-	-	-
2	時々する	5.4	5.4	-	-	-	-	-	-
3	あまりしない	11.9	10.2	-	-	-	-	-	-
4	全くしない/知らない	80.0	81.4	-	-	-	-	-	-
9	無回答	1.2	1.4	-	-	-	-	-	-
n		2893	2790	-	-	-	-	-	-

## 900. FQ4PGAM 娯楽の頻度:公営ギャンブル

公営ギャンブル(競馬・競輪・競艇など)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	1.4	-	-	-	1.2
2	時々する	-	-	-	4.9	-	-	-	2.9
3	あまりしない	-	-	-	7.8	-	-	-	4.4
4	まったくしない/知らない	-	-	-	85.6	-	-	-	90.6
9	無回答	-	-	-	0.4	-	-	-	0.8
n		-	-	-	1957	-	-	-	2496
8	非該当								

## 901. FQ4PACHI 娯楽の頻度:パチンコ・パチスロ

パチンコ・パチスロ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	4.6	3.9	-	3.6	2.8	2.8	2.8	2.1
2	時々する	10.5	10.0	-	9.8	7.8	8.5	8.2	7.9
3	あまりしない	12.9	11.9	-	8.6	7.3	6.9	7.1	6.0
4	まったくしない/知らない	70.1	72.4	-	77.8	80.9	81.2	81.4	83.1
9	無回答	1.8	1.8	-	0.2	1.2	0.6	0.6	0.8
n		2893	2790	-	1957	2023	2124	4220	2496
8	非該当								

## 902. FQ4KARA 娯楽の頻度:カラオケ

カラオケ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	4.8	4.5	3.0	3.5	2.8	2.3	2.0	-
2	時々する	30.6	25.4	21.4	22.4	16.2	15.4	14.1	-
3	あまりしない	26.9	26.4	37.7	35.9	34.9	34.8	34.5	-
4	まったくしない/知らない	36.5	42.4	36.9	38.0	44.5	46.5	48.6	-
9	無回答	1.2	1.3	0.8	0.2	1.5	1.0	0.8	-
n		2893	2790	2953	1957	2023	2124	4220	-
8	非該当								

## 903. FQ4FISH 娯楽の頻度:釣り

釣り

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	4.0	3.7	-	-	-	-	-	-
2	時々する	10.8	9.6	-	-	-	-	-	-
3	あまりしない	17.3	16.0	-	-	-	-	-	-
4	全くしない/知らない	67.0	69.5	-	-	-	-	-	-
9	無回答	1.0	1.1	-	-	-	-	-	-
n		2893	2790	-	-	-	-	-	-

## 904. FQ4JOG 娯楽の頻度:スポーツ

ジョギングやテニスなどのスポーツ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	10.7	10.5	-	-	-	-	-	-
2	時々する	24.4	21.7	-	-	-	-	-	-
3	あまりしない	22.2	21.3	-	-	-	-	-	-
4	全くしない/知らない	42.1	45.7	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.6	0.8	-	-	-	-	-	-
n		2893	2790	-	-	-	-	-	-

905. FQ4DRIVE 娯楽の頻度:ドライブ

ドライブ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	12.8	14.3	10.4	11.1	11.7	-
2	時々する	-	-	36.0	34.6	32.2	34.5	32.5	-
3	あまりしない	-	-	32.2	30.3	34.6	32.7	33.2	-
4	まったくしない/知らない	-	-	18.2	20.6	21.3	20.9	21.9	-
9	無回答	-	-	0.9	0.3	1.5	0.9	0.6	-
		n	-	2953	1957	2023	2124	4220	-
8	非該当								

906. FQ4MOVIE 娯楽の頻度:映画鑑賞

映画鑑賞(ビデオを含む)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	11.1	12.5	9.8	10.6	12.0	-
2	時々する	-	-	37.0	38.4	35.0	37.4	36.6	-
3	あまりしない	-	-	28.9	26.6	26.9	26.4	26.5	-
4	まったくしない/知らない	-	-	22.0	22.0	26.5	24.6	24.1	-
9	無回答	-	-	1.0	0.5	1.7	1.0	0.8	-
		n	-	2953	1957	2023	2124	4220	-
8	非該当								

907. FQ4MUSIC 娯楽の頻度:音楽鑑賞

音楽鑑賞(CD・ラジオ・コンサートなど)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	18.8	19.6	20.3	18.9	21.7	-
2	時々する	-	-	32.8	35.9	30.3	33.4	31.6	-
3	あまりしない	-	-	25.0	22.2	21.3	22.1	22.2	-
4	まったくしない/知らない	-	-	22.2	21.4	26.5	24.5	23.5	-
9	無回答	-	-	1.1	0.9	1.7	1.1	0.9	-
		n	-	2953	1957	2023	2124	4220	-
8	非該当								

908. FQ4GAME 娯楽の頻度:テレビゲーム

テレビゲーム(PCゲーム・携帯用を含む)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	4.4	5.1	5.0	5.9	7.7	7.7
2	時々する	-	-	9.3	11.5	9.6	11.8	11.1	10.8
3	あまりしない	-	-	19.4	18.4	15.6	16.3	16.4	13.3
4	まったくしない/知らない	-	-	65.5	64.3	67.0	64.7	63.3	67.5
9	無回答	-	-	1.4	0.7	2.8	1.2	1.4	0.8
		n	-	2953	1957	2023	2124	4220	2496
8	非該当								

909. FQ4GREEN 娯楽の頻度:園芸・庭いじり

園芸・庭いじり

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	21.6	21.6	19.8	18.5	17.8	-
2	時々する	-	-	29.7	28.6	27.1	28.2	27.6	-
3	あまりしない	-	-	19.5	20.7	18.5	16.9	18.1	-
4	まったくしない/知らない	-	-	28.2	28.6	33.2	35.5	36.1	-
9	無回答	-	-	1.0	0.5	1.5	0.9	0.5	-
		n	-	2953	1957	2023	2124	4220	-
8	非該当								

910. OPCASINO カジノ合法化の賛否

現在いくつかの自治体において、カジノの合法化に関する議論が起こっています。あなたは賛成ですか、反対ですか。一番近いものをつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	日本でのカジノの合法化には反対	-	-	17.3	23.1	-	-	23.6	-
2	特定の場所に限定するならば、合法化に賛成	-	-	25.3	23.7	-	-	24.8	-
3	日本でのカジノの合法化には賛成	-	-	7.0	6.6	-	-	5.3	-
4	賛成とも反対とも決められない	-	-	16.3	16.5	-	-	18.0	-
5	カジノについて、よく知らない	-	-	32.9	29.9	-	-	27.7	-
9	無回答	-	-	1.2	0.2	-	-	0.6	-
	n	-	-	2953	1957	-	-	2160	-
8	非該当								

911. WLCASINO 日本にカジノができれば行くか

もし日本にカジノができれば、あなたは行こうと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	行ってみたい	-	-	18.2	17.3	-	-	16.4	-
2	行こうと思わない	-	-	55.0	58.9	-	-	59.8	-
3	わからない	-	-	26.2	23.8	-	-	23.7	-
9	無回答	-	-	0.6	0.1	-	-	0.1	-
	n	-	-	2953	1957	-	-	2160	-
8	非該当								

912. FQLOT 宝くじ:購入頻度(回数/年)

あなたは過去1年間に、以下の事項を何回くらい行ないましたか。

宝くじ(ナンバーズやミニロトなどは含まない)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	買わなかった	-	-	61.5	-	-	-	-	-
2	1~2回	-	-	23.4	-	-	-	-	-
3	3~5回	-	-	10.9	-	-	-	-	-
4	6~10回	-	-	1.9	-	-	-	-	-
5	11~20回	-	-	0.8	-	-	-	-	-
6	21回以上	-	-	0.9	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	0.6	-	-	-	-	-
	n	-	-	2953	-	-	-	-	-

912. FQLOTに「2 1~2回」「3 3~5回」「4 6~10回」「5 11~20回」「6 21回以上」の場合

913. SZLOT 宝くじ:平均購入額

平均して1回にいくら買いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1,000円未満	-	-	1.9	-	-	-	-	-
	1,000円~5,000円未満	-	-	50.9	-	-	-	-	-
	5,000円~10,000円未満	-	-	17.9	-	-	-	-	-
	10,000円~20,000円未満	-	-	16.1	-	-	-	-	-
	20,000円~30,000円未満	-	-	1.1	-	-	-	-	-
	30,000円~40,000円未満	-	-	1.4	-	-	-	-	-
	40,000円~50,000円未満	-	-	0.1	-	-	-	-	-
	50,000円~60,000円未満	-	-	0.0	-	-	-	-	-
	60,000円~70,000円未満	-	-	0.1	-	-	-	-	-
	70,000円~80,000円未満	-	-	0.1	-	-	-	-	-
9999999	無回答	-	-	10.5	-	-	-	-	-
	n	-	-	1117	-	-	-	-	-
8888888	非該当								

914. FQTOTO サッカーくじ:購入頻度(回数/年)  
 あなたは過去1年間に、以下の事項を何回くらい行ないましたか。  
 サッカーくじ (toto)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	買わなかった	-	-	96.2	-	-	-	-	-
2	1～2回	-	-	1.4	-	-	-	-	-
3	3～5回	-	-	0.8	-	-	-	-	-
4	6～10回	-	-	0.3	-	-	-	-	-
5	11～20回	-	-	0.3	-	-	-	-	-
6	21回以上	-	-	0.2	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	0.8	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

914. FQTOTO に「2 1～2回」「3 3～5回」「4 6～10回」「5 11～20回」「6 21回以上」の場合

915. SZTOTO サッカーくじ:平均購入額  
 平均して1回にいくら買いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1,000円未満	-	-	39.3	-	-	-	-	-
	1,000円～5,000円未満	-	-	41.6	-	-	-	-	-
	5,000円～10,000円未満	-	-	3.4	-	-	-	-	-
	10,000円～20,000円未満	-	-	2.2	-	-	-	-	-
	20,000円～30,000円未満	-	-	0.0	-	-	-	-	-
	30,000円以上	-	-	1.1	-	-	-	-	-
9999999	無回答	-	-	12.4	-	-	-	-	-
n		-	-	89	-	-	-	-	-

8888888 非該当

916. FQRACE 公営ギャンブル:頻度(回数/年)

あなたは過去1年間に、以下の事項を何回くらい行ないましたか。1日に複数レースに賭けた場合も1回と数えます。  
 公営ギャンブル(競馬、競輪、競艇など)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賭けなかった	-	-	91.2	-	-	-	-	-
2	1～2回	-	-	2.8	-	-	-	-	-
3	3～5回	-	-	1.7	-	-	-	-	-
4	6～10回	-	-	1.4	-	-	-	-	-
5	11～20回	-	-	0.6	-	-	-	-	-
6	21回以上	-	-	1.5	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	0.8	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

916. FQRACE に「2 1～2回」「3 3～5回」「4 6～10回」「5 11～20回」「6 21回以上」の場合

917. NUMRACE 公営ギャンブル:平均レース数/1日  
 平均して1日に何レース賭けますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	1～2レース	-	-	51.9	-	-	-	-	-
2	3～5レース	-	-	24.9	-	-	-	-	-
3	6レース以上	-	-	16.9	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	6.3	-	-	-	-	-
n		-	-	237	-	-	-	-	-

8 非該当

918. SZRACE 公営ギャンブル:1レースの賭け額

平均して1レースにいくら賭けますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1,000円未満	-	-	11.4	-	-	-	-	-
	1,000円～5,000円未満	-	-	48.5	-	-	-	-	-
	5,000円～10,000円未満	-	-	21.1	-	-	-	-	-
	10,000円～20,000円未満	-	-	7.2	-	-	-	-	-
	20,000円～30,000円未満	-	-	1.3	-	-	-	-	-
	30,000円～40,000円未満	-	-	0.4	-	-	-	-	-
	40,000円～50,000円未満	-	-	0.0	-	-	-	-	-
	50,000円以上	-	-	0.4	-	-	-	-	-
9999999	無回答	-	-	9.7	-	-	-	-	-
n		-	-	237	-	-	-	-	-

8888888 非該当

919. FQPACHI パチンコ・パチスロ:プレイ頻度(回/年)

あなたは過去1年間に、以下の事項を何回くらい行ないましたか。

パチンコ・パチスロ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	やらなかった	-	-	83.1	-	-	-	-	-
2	1年に数回	-	-	6.1	-	-	-	-	-
3	月に1回程度	-	-	3.7	-	-	-	-	-
4	週に1回程度	-	-	4.5	-	-	-	-	-
5	週に2~3回以上	-	-	1.8	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	0.8	-	-	-	-	-
	n	-	-	2953	-	-	-	-	-

919. FQPACHIに「2 1年に数回」「3 月に1回程度」「4 週に1回程度」「5 週に2~3回以上」の場合

920. SZPACHI パチンコ・パチスロ:1日に使う上限金額

1日に使う金額の上限は平均していくらですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1,000円未満	-	-	0.2	-	-	-	-	-
	1,000円~5,000円未満	-	-	12.8	-	-	-	-	-
	5,000円~10,000円未満	-	-	18.9	-	-	-	-	-
	10,000円~20,000円未満	-	-	37.6	-	-	-	-	-
	20,000円~30,000円未満	-	-	14.3	-	-	-	-	-
	30,000円~40,000円未満	-	-	9.0	-	-	-	-	-
	40,000円~50,000円未満	-	-	0.4	-	-	-	-	-
	50,000円~100,000円未満	-	-	2.3	-	-	-	-	-
	100,000円以上	-	-	0.2	-	-	-	-	-
9999999	無回答	-	-	4.2	-	-	-	-	-
	n	-	-	476	-	-	-	-	-
8888888	非該当								

921. FQSPORT 定期的に行なうスポーツ:頻度

あなたは現在、定期的に運動やスポーツ(ウォーキング、水泳、野球など)を行なっていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	週に数回以上	-	-	16.6	18.3	19.0	19.4	21.9	23.8
2	週に1回程度	-	-	11.0	11.9	13.3	16.2	15.4	15.0
3	月に1回程度	-	-	5.3	5.2	5.9	6.2	6.3	6.3
4	年に数回程度	-	-	5.8	5.7	5.9	6.6	7.2	6.5
5	ほとんどしない	-	-	60.4	58.5	55.6	50.9	48.4	48.0
9	無回答	-	-	0.9	0.4	0.3	0.7	0.7	0.4
	n	-	-	2953	1957	2023	2124	4220	5003
8	非該当								

921. FQSPORTに「1 週に数回以上」「2 週に1回程度」「3 月に1回程度」「4 年に数回程度」の場合

922. XXSPORT スポーツの種類(具体的記述)

どのようなスポーツをしていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
2	アイススケート	-	-	0.0	0.1	0.0	-	-	-
4	アイスホッケー	-	-	0.2	0.1	0.0	-	-	-
7	歩く	-	-	1.7	2.1	1.9	-	-	-
8	インディアカ	-	-	0.2	0.2	0.1	-	-	-
10	ウォーキング	-	-	30.6	33.0	36.1	-	-	-
11	エアロビクス	-	-	1.9	1.6	2.4	-	-	-
13	踊り	-	-	0.0	0.2	0.1	-	-	-
14	合気道	-	-	0.3	0.0	0.3	-	-	-
100	格闘技	-	-	0.1	0.0	0.0	-	-	-
103	空手	-	-	0.2	0.1	0.0	-	-	-
105	弓道	-	-	0.1	0.1	0.2	-	-	-
108	ゲートボール	-	-	0.8	1.0	0.3	-	-	-
109	剣道	-	-	0.0	0.2	0.0	-	-	-
110	ゴルフ	-	-	7.0	8.4	6.0	-	-	-
111	グランドゴルフ	-	-	0.9	1.6	1.3	-	-	-
112	その他ゴルフ(マレットゴルフ・パークゴルフなど)	-	-	1.5	1.0	1.3	-	-	-
113	筋力トレーニング	-	-	1.5	0.9	0.8	-	-	-
200	サーフィン	-	-	0.3	0.1	0.4	-	-	-

201	サイクリング	-	-	0.2	1.0	0.4	-	-	-
202	サッカー	-	-	2.0	1.7	1.3	-	-	-
203	散歩・散歩	-	-	3.2	1.7	3.0	-	-	-
205	自転車	-	-	0.3	0.9	0.6	-	-	-
206	社交ダンス	-	-	0.3	0.2	0.3	-	-	-
207	ジャズダンス	-	-	0.1	0.0	0.1	-	-	-
208	柔道	-	-	0.0	0.2	0.3	-	-	-
211	ジョギング	-	-	2.7	2.5	2.7	-	-	-
212	水泳	-	-	8.1	7.5	6.2	-	-	-
213	スキー	-	-	1.1	0.2	0.7	-	-	-
214	スケートボード	-	-	0.1	0.2	0.1	-	-	-
215	スノーボード	-	-	0.2	0.0	0.2	-	-	-
218	ソフトテニス	-	-	0.3	0.2	0.0	-	-	-
219	ソフトバレー	-	-	0.4	0.5	0.8	-	-	-
220	ソフトボール	-	-	2.0	1.2	1.8	-	-	-
221	ジム・スポーツクラブ	-	-	1.1	1.2	2.9	-	-	-
222	水中ウォーキング・アクアビクス	-	-	0.4	0.2	0.7	-	-	-
300	太極拳	-	-	0.5	0.5	0.2	-	-	-
301	体操・ストレッチ	-	-	3.2	3.2	3.7	-	-	-
302	ダイビング	-	-	0.2	0.0	0.0	-	-	-
303	卓球	-	-	1.2	1.5	1.2	-	-	-
304	その他のダンス	-	-	1.1	0.5	0.6	-	-	-
305	ツーリング	-	-	0.1	0.0	0.0	-	-	-
306	釣り	-	-	0.3	0.4	0.1	-	-	-
307	テニス	-	-	3.1	3.1	2.7	-	-	-
308	登山	-	-	1.6	1.4	1.2	-	-	-
500	バイク	-	-	0.1	0.1	0.0	-	-	-
501	バスケットボール	-	-	1.3	1.1	1.0	-	-	-
502	バドミントン	-	-	1.6	1.2	0.8	-	-	-
504	バレーボール	-	-	2.6	3.0	2.4	-	-	-
505	ビーチバレー	-	-	0.3	0.2	0.6	-	-	-
507	フィッシング	-	-	0.0	0.1	0.0	-	-	-
508	プール	-	-	0.0	0.2	0.3	-	-	-
510	武道	-	-	0.2	0.0	0.0	-	-	-
511	舞踊	-	-	0.1	0.0	0.1	-	-	-
513	ボウリング	-	-	0.8	1.1	1.5	-	-	-
514	ボート	-	-	0.0	0.1	0.0	-	-	-
515	ボクシング	-	-	0.1	0.0	0.0	-	-	-
517	ボディボード	-	-	0.0	0.1	0.0	-	-	-
519	マラソン	-	-	0.3	0.5	0.3	-	-	-
520	ミニバレー	-	-	0.5	0.1	0.2	-	-	-
521	フォークダンス	-	-	0.3	0.2	0.1	-	-	-
522	ハイキング	-	-	0.3	1.0	0.2	-	-	-
523	フットサル	-	-	0.0	0.0	0.8	-	-	-
600	野球	-	-	3.6	3.0	2.6	-	-	-
601	山歩き	-	-	0.3	0.7	0.6	-	-	-
603	ヨガ	-	-	0.7	0.2	1.7	-	-	-
605	ラグビー	-	-	0.1	0.1	0.0	-	-	-
607	ランニング	-	-	0.7	0.5	0.0	-	-	-
608	陸上	-	-	0.0	0.1	0.0	-	-	-
700	その他	-	-	1.3	1.7	1.6	-	-	-
999	無回答	-	-	4.0	3.1	2.0	-	-	-
		n	-	1152	809	893	-	-	-
888	非該当								

923. OP5HLTHZ 健康状態(本人)

あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	良い	22.8	22.2	22.4	29.6	26.7	27.5	28.2	31.4	
2	・	22.5	23.2	24.0	23.2	26.8	25.1	24.7	24.1	
3	・	32.6	33.0	32.4	28.2	27.5	31.3	32.4	29.2	
4	・	16.9	16.0	15.9	14.9	13.1	12.9	11.5	11.8	
5	悪い	5.0	5.2	4.8	4.0	5.6	2.9	2.9	3.2	
9	無回答	0.2	0.4	0.5	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	2124	4220	2507
8	非該当									



924. OP5HLTHE 健康状態(本人)(EASS 尺度)

あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に良い	-	-	-	-	-	15.6	-	-
2	・	-	-	-	-	-	33.0	-	-
3	・	-	-	-	-	-	38.6	-	-
4	・	-	-	-	-	-	10.4	-	-
5	非常に悪い	-	-	-	-	-	2.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.3	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

925. SS5HLTHZ 健康状態(配偶者)

あなたの配偶者の現在の健康状態は、いかがですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	良い	29.1	30.3	34.7	-	-	-	-	-
2	・	28.2	27.3	28.0	-	-	-	-	-
3	・	28.1	29.2	24.5	-	-	-	-	-
4	・	9.9	9.2	8.5	-	-	-	-	-
5	悪い	4.2	3.3	3.7	-	-	-	-	-
9	無回答	0.6	0.7	0.7	-	-	-	-	-
		n	2099	2061	2182	-	-	-	-
8	非該当								

926-930. 症状の有無(本人)\*

現在、あなたには次の症状がありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
HAATOPI	アトピー性皮膚炎	-	-	6.0	4.6	4.7	4.8	-	4.1
HAKAFUN	花粉症	-	-	18.4	18.2	19.3	20.4	-	25.7
HAZENSOK	ぜんそく	-	-	4.8	4.2	3.8	4.6	-	4.5
HAFOOD	食物アレルギー	-	-	3.7	2.9	3.1	4.1	-	2.9
HANONE	いずれもない	-	-	71.7	72.3	72.7	70.3	-	66.7
				選択者数	-	-	2953	1957	2023
							2130	-	2496

\*累積データ 2000-2010 では、2003 までの HANOMARK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。

2005 「いずれも選択していない」という変数を作成していない。

931-936. 症状の有無(同居家族)\*

あなたが同居しているご家族の中に、現在、次の症状のある方はいますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
FAATOPI	アトピー性皮膚炎	-	-	13.0	10.1	9.4	10.4	-	-
FAKAFUN	花粉症	-	-	24.2	22.6	25.0	25.4	-	-
FAZENSOK	ぜんそく	-	-	8.8	7.6	5.8	7.3	-	-
FAFOOD	食物アレルギー	-	-	4.8	4.0	3.8	4.0	-	-
FANONE	いずれもない	-	-	48.7	57.5	57.3	54.6	-	-
FANOFF	誰とも同居していない	-	-	12.8	8.1	8.1	8.2	-	-
				選択者数	-	-	2953	1957	2023
							2130	-	-

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

累積データ 2000-2010 では、2003 までの FANOMARK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。

2005 選択肢ワーディング変更:「同居家族はいない」「誰とも同居していない」.  
「いずれも選択していない」という変数を作成していない。

937. XCARE 介護経験(本人)

あなたは、家族を介護(1ヶ月以上)したことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	したことがない	-	67.3	67.0	-	-	70.6	-	-
2	現在行なっている	-	5.1	4.9	-	-	5.8	-	-
3	過去に行なったことがある	-	27.4	28.0	-	-	23.2	-	-
9	無回答	-	0.2	0.2	-	-	0.4	-	-
		n	2790	2953	-	-	2130	-	-
8	非該当								

938. SSCARE 介護経験(配偶者)

あなたの配偶者は、家族を介護(1ヶ月以上)したことがありますか。(あなた自身が配偶者から介護を受けた場合も含みます)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	したことがない	-	71.7	71.6	-	-	75.2	-	-
2	現在行なっている	-	4.3	4.4	-	-	4.7	-	-
3	過去に行なったことがある	-	22.9	23.2	-	-	19.2	-	-
9	無回答	-	1.2	0.8	-	-	0.9	-	-
		n	2061	2182	-	-	1526	-	-
8	非該当								

939. XTRAUM5Y トラウマの回数

過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと(例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死)を何回経験しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
0	なし	36.7	41.4	39.8	35.8	39.8	39.4	36.4	37.0	
1	1回	28.6	27.7	28.0	29.8	26.7	27.9	28.3	29.2	
2	2回	18.3	16.7	17.3	17.5	16.9	18.3	19.6	17.4	
3	3回	9.8	7.6	8.7	9.9	9.1	8.3	8.9	8.6	
4	4回以上	6.0	6.2	5.7	6.8	7.2	5.7	6.6	7.3	
9	無回答	0.6	0.5	0.5	0.1	0.2	0.5	0.2	0.5	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	4254	4220	5003
8	非該当									

940. DOSMOKE 喫煙習慣

あなたは煙草を吸いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	31.3	29.6	-	-	-	-	-	-
2	いいえ	68.1	69.7	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.6	0.7	-	-	-	-	-	-
		n	2893	2790	-	-	-	-	-
8	非該当								

941. DOSMOKEX 喫煙経験

あなたは煙草(タバコ)を吸いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	現在吸っている	-	-	28.7	25.7	26.4	25.0	24.4	23.6	
2	以前は吸っていたがやめた	-	-	17.1	17.9	18.8	19.3	20.4	21.9	
3	ほとんど/まったく吸ったことはない	-	-	54.0	56.0	54.7	55.5	55.0	54.4	
9	無回答	-	-	0.2	0.4	0.1	0.2	0.1	0.1	
		n	-	-	2953	1957	2023	2124	2060	5003
8	非該当									

942. XQTSMOKE 禁煙努力\*

禁煙しようと努力したことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	はい	52.7	49.3	51.2	54.4	52.4	54.1	51.1	51.8	
2	いいえ	46.6	49.5	48.3	45.0	47.0	45.5	47.7	47.7	
9	無回答	0.7	1.2	0.5	0.6	0.6	0.4	1.2	0.5	
		n	905	825	847	502	534	532	503	631
8	非該当									

\*2000 から 2001 と 2002 以降とは、対象範囲が異なる。2001 までは曖昧に煙草を吸う者を対象にしているが、2002 以降は現在煙草をやめている者を除外し、現在吸っている者だけを対象にしている。

2000 対象範囲：DOSMOKE (喫煙習慣) に「1 はい」曖昧に煙草を吸う者。

2002 対象範囲変更：現在煙草をやめている者を除外し、現在吸っている (DOSMOKEX (喫煙経験) に「1 現在吸っている」) 者だけを対象にしている。

## 943. DO7DRINK 飲酒頻度\*

あなたは、普段お酒を飲みますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほとんど毎日	23.6	22.0	21.9	21.6	21.8	23.7	22.2	21.9
2	週に数回	13.8	14.3	12.8	15.0	13.9	12.4	14.0	12.4
3	週に1回程度	10.1	10.3	10.0	10.8	10.0	8.3	10.7	10.3
4	月に1回程度	9.4	8.7	9.7	8.6	10.9	10.4	9.5	9.3
5	年に数回	13.3	12.9	13.4	12.3	12.0	11.5	12.3	13.4
6	年に1回程度	4.4	3.3	4.7	4.1	3.7	4.2	3.7	3.9
7	まったく飲まない	25.0	28.1	27.3	27.2	27.5	29.2	27.2	28.0
9	無回答	0.3	0.5	0.3	0.4	0.3	0.2	0.3	0.8
n		2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507

8 非該当

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2006 選択肢ワーディング変更:「まったくなし」「まったく飲まない」.

## 944. FQHSPLZ 通院頻度

過去1年間に、あなたはどのくらいの頻度で、病院や診療所(歯医者も含む)に行きましたか。あなた自身の病気やケガによるものについてお答えください。付き添いやお見舞いは除きます。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほとんど毎日	-	-	-	-	-	-	0.4	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	-	3.6	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	-	9.4	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	32.8	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	-	32.3	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	-	11.2	-
7	まったく行かなかった	-	-	-	-	-	-	10.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.3	-
n		-	-	-	-	-	-	2060	-

8 非該当

## 945. DORFHSP 通院を控えた経験

過去1年間に、病気やケガにもかかわらず、病院や診療所に行くのを控えたことがありますか。軽い風邪や、虫歯の場合も含めてお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	控えたことがある	-	-	-	-	-	-	42.5	-
2	控えたことはない	-	-	-	-	-	-	48.5	-
3	病気・ケガはしていない	-	-	-	-	-	-	8.6	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.3	-
n		-	-	-	-	-	-	2060	-

8 非該当

## 945. DORFHSP に「1 控えたことがある」の場合

## 946-954. 通院を控えた理由

それはなぜですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
RHPTLNG	待ち時間が長い	-	-	-	-	-	-	33.4	-
RHPCTM	費用がかかる	-	-	-	-	-	-	31.8	-
RHPNHN	病院が近くにない	-	-	-	-	-	-	3.9	-
RHPDKWG	どの病院に行ったらよいかわからない	-	-	-	-	-	-	4.6	-
RHPHNT	交通手段がない	-	-	-	-	-	-	0.7	-
RHPDLSD	病院に行くのは好きではない	-	-	-	-	-	-	25.3	-
RHPNTSD	忙しくて時間がない	-	-	-	-	-	-	34.4	-
RHPTNNG	病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した	-	-	-	-	-	-	57.0	-
RHPOTHR	その他( )	-	-	-	-	-	-	2.2	-
選択者数		-	-	-	-	-	-	876	-

955-958. 健康診断

あなたは定期的に次のような健康診断（人間ドックを含む）を受けていますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
HLCWRKSL	職場や学校の健康診断	-	-	-	-	-	-	41.2	-
HLCCLGV	自治体の健康診断・検診	-	-	-	-	-	-	22.3	-
HLCOTHR	その他に個人的に受けている	-	-	-	-	-	-	26.7	-
HLCNONE	どれも受けていない	-	-	-	-	-	-	20.0	-
選択者数		-	-	-	-	-	-	2060	-

959. WRNBLHC 医療を受けられない不安

ご自身やご家族の将来のことを考えたとき、「必要なときに医療を受けられない」という不安をどのくらい感じますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても感じている	-	-	-	-	-	-	14.0	-
2	ある程度感じている	-	-	-	-	-	-	39.4	-
3	あまり感じていない	-	-	-	-	-	-	35.6	-
4	まったく感じていない	-	-	-	-	-	-	10.8	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.1	-
n		-	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

960. AXSEMCC 救急医療体制への不安

あなたの地域における救急医療の体制に、不安を感じていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても感じている	-	-	-	-	-	-	8.3	-
2	ある程度感じている	-	-	-	-	-	-	27.7	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	27.9	-
4	あまり感じていない	-	-	-	-	-	-	30.0	-
5	まったく感じていない	-	-	-	-	-	-	6.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.2	-
n		-	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

961-964. あなたは以下のことを、まわりの人から「やりすぎだ」と注意されたことがありますか。

961. ADALC 耽溺行動:飲酒

飲酒

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	13.7
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	85.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.7
n		-	-	-	-	-	-	-	5003

962. ADSMOKE 耽溺行動:喫煙

喫煙

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	14.5
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	84.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.0
n		-	-	-	-	-	-	-	5003

963. ADGMBL 耽溺行動:ギャンブル

ギャンブル（パチンコを含む）

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	4.8
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	94.1
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.1
n		-	-	-	-	-	-	-	5003

964. ADGAME 耽溺行動:ゲーム  
テレビゲーム/ネットゲーム(携帯などもすべて含む)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	5.4
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	93.3
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.3
n		-	-	-	-	-	-	-	5003

965-968. あなたと一緒に暮らしている方の中には、以下のことを「やりすぎている」人がいますか。

965. ADFALC 同居家族の耽溺行動:飲酒

飲酒

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	-	10.5
2	いない	-	-	-	-	-	-	-	80.3
3	ひとり暮らし	-	-	-	-	-	-	-	8.2
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.0
n		-	-	-	-	-	-	-	5003

966. ADFSMOKE 同居家族の耽溺行動:喫煙

喫煙

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	-	13.6
2	いない	-	-	-	-	-	-	-	77.1
3	ひとり暮らし	-	-	-	-	-	-	-	8.2
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.1
n		-	-	-	-	-	-	-	5003

967. ADFGMBL 同居家族の耽溺行動:ギャンブル

ギャンブル(パチンコを含む)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	-	4.3
2	いない	-	-	-	-	-	-	-	86.3
3	ひとり暮らし	-	-	-	-	-	-	-	8.2
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.2
n		-	-	-	-	-	-	-	5003

968. ADFGAME 同居家族の耽溺行動:ゲーム

テレビゲーム/ネットゲーム(携帯などもすべて含む)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	-	11.2
2	いない	-	-	-	-	-	-	-	79.3
3	ひとり暮らし	-	-	-	-	-	-	-	8.2
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.3
n		-	-	-	-	-	-	-	5003

969. OP3UTILS 人間観(一般):他人を利用する

機会があれば、たいていの人は自分のために他の人を利用すると思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	26.2	23.6	-	-	-	-	-	-
2	いいえ	14.2	14.6	-	-	-	-	-	-
3	場合による	58.7	60.4	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.9	1.3	-	-	-	-	-	-
n		2893	2790	-	-	-	-	-	-

970. OP3TRUST 人間観(一般):人は信用できる  
一般的に、人は信用できると思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	はい	21.2	23.2	20.0	21.0	21.0	21.4	19.9	20.0	
2	いいえ	14.7	14.0	9.6	11.2	11.1	9.2	12.2	10.3	
3	場合による	63.5	61.6	69.8	67.4	67.2	68.8	67.7	69.3	
9	無回答	0.6	1.1	0.5	0.5	0.6	0.5	0.2	0.4	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	4220	2507
8	非該当									

971. OP7GDEVO 人間観(一般):人間の本性

人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号(1~7)を1つ選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	人間の本性は本来「悪」である	3.1	2.2	2.0	2.2	2.2	2.2	2.4	2.4	
2	・	3.9	3.3	3.2	3.3	3.2	2.9	3.4	3.7	
3	・	9.6	9.8	9.8	8.9	10.3	10.0	9.3	9.9	
4	・	34.0	33.7	34.4	35.1	34.9	34.8	34.5	32.4	
5	・	21.3	20.6	20.9	21.7	22.2	22.9	21.6	23.5	
6	・	16.3	16.7	17.3	17.1	15.9	15.8	16.7	16.2	
7	人間の本性は本来「善」である	10.4	11.4	11.3	11.0	9.8	9.5	10.5	10.7	
9	無回答	1.4	2.4	1.1	0.7	1.5	1.9	1.5	1.2	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	4220	2507
8	非該当									

972-986. 次にあげる組織について、あなたはどれくらい信頼していますか。

972. TR3CORPZ 組織への信頼:大企業

大企業

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	3.6	3.2	2.7	4.1	4.5	4.4	4.6	6.2	
2	少しは信頼している	48.1	48.1	47.4	49.6	47.8	53.8	54.0	56.2	
3	ほとんど信頼していない	25.1	22.8	23.8	20.8	24.3	18.8	21.7	16.6	
4	わからない	22.3	23.7	25.1	24.8	21.6	21.2	18.1	19.6	
9	無回答	0.9	2.1	1.0	0.7	1.8	1.8	1.7	1.4	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

973. TR3RLGPZ 組織への信頼:宗教団体

宗教団体

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	2.5	2.1	3.0	2.8	4.0	3.2	3.1	3.2	
2	少しは信頼している	10.3	10.9	10.4	13.5	11.3	11.3	10.9	11.4	
3	ほとんど信頼していない	69.3	66.2	63.5	63.1	58.8	61.0	64.2	62.6	
4	わからない	17.5	19.5	22.5	20.3	24.4	22.9	20.4	21.7	
9	無回答	0.3	1.4	0.7	0.4	1.6	1.6	1.5	1.2	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

974. TR3SCHLZ 組織への信頼:学校

学校

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	14.4	14.6	14.5	14.4	12.0	8.3	11.0	15.2	
2	少しは信頼している	62.1	62.6	63.3	64.6	59.3	65.7	66.7	65.7	
3	ほとんど信頼していない	12.8	10.6	9.3	11.8	14.2	13.1	11.1	8.2	
4	わからない	10.2	10.7	11.9	8.6	12.8	11.3	10.0	9.6	
9	無回答	0.5	1.5	1.0	0.6	1.8	1.6	1.2	1.4	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

975. TR3BCRAZ 組織への信頼:中央官庁  
中央官庁

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	4.3	3.0	3.9	4.6	3.7	2.4	2.3	3.2	
2	少しは信頼している	38.8	37.5	40.3	39.1	35.5	38.7	37.3	42.0	
3	ほとんど信頼していない	29.8	31.3	28.1	30.7	34.4	32.8	37.9	29.2	
4	わからない	26.4	26.5	26.8	25.2	24.3	24.4	20.9	24.1	
9	無回答	0.7	1.6	0.8	0.4	2.2	1.6	1.6	1.5	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

976. TR3UNNZ 組織への信頼:労働組合  
労働組合

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	4.1	3.2	2.4	2.6	2.4	2.3	2.8	2.9	
2	少しは信頼している	36.8	34.8	34.1	32.7	29.8	34.4	37.7	37.9	
3	ほとんど信頼していない	21.9	24.9	23.8	25.0	30.4	26.0	26.9	24.6	
4	わからない	36.4	35.3	38.5	39.2	34.8	35.5	30.5	33.1	
9	無回答	0.7	1.8	1.1	0.6	2.7	1.9	2.1	1.4	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

977. TR3NWSPZ 組織への信頼:新聞  
新聞

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	24.4	23.0	22.0	22.2	18.3	19.7	18.6	21.7	
2	少しは信頼している	65.0	65.4	67.0	67.6	67.9	67.6	68.0	66.3	
3	ほとんど信頼していない	4.6	4.0	4.1	4.9	6.5	5.5	6.1	5.9	
4	わからない	5.7	6.2	6.3	5.0	6.0	5.8	6.1	5.2	
9	無回答	0.4	1.3	0.6	0.4	1.3	1.4	1.3	1.0	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

978. TR3HSPLZ 組織への信頼:病院  
病院

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	20.1	23.1	20.0	21.2	23.2	19.3	22.6	26.6	
2	少しは信頼している	66.0	65.2	66.8	65.9	65.5	69.2	67.4	64.9	
3	ほとんど信頼していない	7.8	5.2	6.5	8.3	4.3	5.0	3.9	3.7	
4	わからない	5.7	5.0	6.1	4.1	5.2	4.9	4.9	3.9	
9	無回答	0.4	1.5	0.5	0.4	1.7	1.6	1.2	0.9	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

979. TR3TVZ 組織への信頼:テレビ  
テレビ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	11.5	12.1	11.6	12.2	11.3	9.1	9.7	10.5	
2	少しは信頼している	65.4	67.2	67.4	66.8	64.3	67.1	65.3	67.9	
3	ほとんど信頼していない	15.0	12.2	12.2	12.9	15.5	13.2	15.0	14.3	
4	わからない	7.6	6.9	8.1	7.5	7.4	9.0	8.6	6.0	
9	無回答	0.6	1.6	0.7	0.7	1.5	1.6	1.4	1.2	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

980. TR3SPCAZ 組織への信頼:裁判所  
裁判所

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	19.7	18.2	22.7	20.2	17.0	19.6	18.2	21.1	
2	少しは信頼している	49.3	51.0	49.3	48.3	51.4	54.1	55.7	57.0	
3	ほとんど信頼していない	7.4	6.8	5.8	6.4	8.1	5.6	6.7	5.1	
4	わからない	23.1	22.4	21.2	24.2	21.6	19.1	18.2	15.5	
9	無回答	0.5	1.7	1.1	0.9	2.0	1.6	1.3	1.3	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

981. TR3ACDAZ 組織への信頼:学者・研究者  
学者・研究者

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	15.0	14.3	16.7	14.8	9.4	10.9	16.7	16.4	
2	少しは信頼している	49.5	49.9	48.5	48.5	50.0	55.5	53.2	55.0	
3	ほとんど信頼していない	8.1	8.6	6.4	7.9	12.3	8.2	6.1	7.1	
4	わからない	26.9	25.4	27.3	28.1	26.0	23.9	22.5	20.2	
9	無回答	0.6	1.8	1.1	0.7	2.3	1.6	1.6	1.3	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

982. TR3CGMNZ 組織への信頼:国会議員  
国会議員

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	1.6	1.8	1.5	1.5	2.1	2.2	1.3	1.4	
2	少しは信頼している	27.2	30.0	26.6	27.2	29.2	32.6	28.0	28.8	
3	ほとんど信頼していない	52.3	47.5	50.3	52.1	46.7	44.5	50.9	52.7	
4	わからない	18.7	19.1	21.0	18.7	20.2	19.3	18.6	16.2	
9	無回答	0.2	1.5	0.6	0.5	1.8	1.4	1.2	1.0	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

983. TR3CITYZ 組織への信頼:市区町村議会議員  
市区町村議会議員

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	3.1	2.8	2.5	2.9	3.3	2.6	1.9	2.6	
2	少しは信頼している	37.4	37.8	33.9	36.9	33.7	36.1	35.0	37.1	
3	ほとんど信頼していない	41.1	38.7	42.0	41.4	41.3	40.6	43.0	42.5	
4	わからない	17.9	19.1	20.9	18.0	20.0	19.0	18.9	16.6	
9	無回答	0.4	1.6	0.6	0.7	1.7	1.7	1.2	1.2	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

984. TR3DEFZ 組織への信頼:自衛隊  
自衛隊

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	11.9	11.0	9.2	12.6	10.7	12.4	9.3	13.9	
2	少しは信頼している	49.7	47.8	44.1	43.2	47.8	52.1	49.3	54.4	
3	ほとんど信頼していない	15.0	15.4	17.7	15.9	17.8	13.9	18.7	12.2	
4	わからない	22.9	24.2	28.2	27.5	21.7	20.0	21.3	18.3	
9	無回答	0.4	1.5	0.8	0.7	2.1	1.6	1.4	1.2	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									



985. TR3COPZ 組織への信頼:警察  
警察

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	11.5	14.0	11.8	14.2	13.6	12.9	13.6	16.5	
2	少しは信頼している	55.8	56.6	56.0	56.1	57.0	60.2	59.2	59.1	
3	ほとんど信頼していない	20.7	17.1	17.5	18.2	16.0	14.9	15.0	14.1	
4	わからない	11.7	11.0	13.9	11.0	11.8	10.5	11.2	9.3	
9	無回答	0.3	1.4	0.8	0.5	1.6	1.5	1.0	0.9	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

986. TR3FINZ 組織への信頼:金融機関  
金融機関

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	とても信頼している	6.7	6.8	6.3	8.1	6.8	7.3	9.2	11.6	
2	少しは信頼している	50.1	46.8	44.2	45.8	49.3	52.5	53.0	58.2	
3	ほとんど信頼していない	25.9	27.5	27.4	28.5	25.7	22.6	20.4	15.7	
4	わからない	16.9	17.4	21.4	17.2	16.5	16.2	16.2	13.4	
9	無回答	0.4	1.5	0.6	0.4	1.8	1.4	1.2	1.1	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	2060	2507
8	非該当									

## 987-996. あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。

## 987. MEMPLTGP 組織への所属:政治団体

## 政治関係の団体や会

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	はい	4.0	4.1	5.4	4.2	3.2	5.1	3.9	2.8	
2	いいえ	95.2	94.7	93.3	94.3	94.6	93.3	94.7	96.2	
9	無回答	0.8	1.2	1.3	1.5	2.2	1.6	1.4	1.0	
		n	2893	2790	2953	1706	2023	2124	4220	5003
8	非該当									

988. MEMIND 組織への所属:業界団体  
業界団体・同業者団体

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	はい	8.3	7.8	9.7	8.9	9.0	10.2	9.1	7.6	
2	いいえ	90.8	90.8	88.7	89.2	89.0	87.9	89.4	91.4	
9	無回答	0.9	1.5	1.6	1.9	2.0	1.9	1.5	1.0	
		n	2893	2790	2953	1706	2023	2124	4220	5003
8	非該当									

## 989. MEMVLNTR 組織への所属:ボランティアのグループ

## ボランティアのグループ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	はい	7.8	8.2	8.5	8.2	5.8	8.7	9.3	8.4	
2	いいえ	91.4	90.2	90.0	89.9	92.1	89.6	89.2	90.6	
9	無回答	0.8	1.6	1.5	1.9	2.1	1.7	1.5	1.0	
		n	2893	2790	2953	1706	2023	2124	4220	5003
8	非該当									

## 990. MEMCIVIL 組織への所属:市民運動のグループ

## 市民運動・消費者運動のグループ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	はい	2.8	2.6	3.4	3.0	2.0	3.0	2.3	2.2	
2	いいえ	96.2	95.9	95.0	94.8	95.7	95.2	96.0	96.7	
9	無回答	1.0	1.5	1.6	2.2	2.4	1.8	1.7	1.1	
		n	2893	2790	2953	1706	2023	2124	4220	5003
8	非該当									

991. MEMRL 組織への所属: 宗教の団体や会  
宗教の団体や会

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	はい	6.8	7.1	8.1	8.4	8.1	8.2	8.2	7.2	
2	いいえ	92.5	91.4	90.3	90.3	89.6	89.7	90.4	91.8	
9	無回答	0.8	1.5	1.6	1.3	2.4	2.0	1.4	1.0	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	2124	4220	5003
8	非該当									

992. MEMSPORT 組織への所属: スポーツ関係のグループやクラブ  
スポーツ関係のグループやクラブ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	はい	15.8	14.5	18.1	17.6	15.3	19.3	18.8	18.9	
2	いいえ	83.5	84.2	80.3	80.6	82.5	79.1	79.7	79.9	
9	無回答	0.7	1.4	1.6	1.8	2.2	1.6	1.5	1.2	
		n	2893	2790	2953	1706	2023	2124	4220	5003
8	非該当									

992. MEMSPORT に「1 はい」の場合

993. XXMEMSP 組織への所属: スポーツ関係のグループやクラブ(具体的記述)  
具体的に ( )

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
7	歩く	0.4	0.2	-	-	-	-	-	-
8	インディアカ	0.4	0.5	-	-	-	-	-	-
11	エアロビクス	-	1.0	-	-	-	-	-	-
13	踊り	-	0.2	-	-	-	-	-	-
101	カヌー	0.2	0.0	-	-	-	-	-	-
103	空手	-	0.5	-	-	-	-	-	-
105	弓道	0.2	0.2	-	-	-	-	-	-
108	ゲートボール	3.7	2.0	-	-	-	-	-	-
109	剣道	-	1.0	-	-	-	-	-	-
110	ゴルフ	7.9	11.1	-	-	-	-	-	-
111	グランドゴルフ	-	4.7	-	-	-	-	-	-
112	その他ゴルフ	-	1.2	-	-	-	-	-	-
200	サーフィン	1.3	0.0	-	-	-	-	-	-
202	サッカー	1.5	1.7	-	-	-	-	-	-
206	社交ダンス	-	0.7	-	-	-	-	-	-
207	ジャズダンス	-	0.2	-	-	-	-	-	-
208	柔道	-	0.5	-	-	-	-	-	-
212	水泳	5.7	3.0	-	-	-	-	-	-
213	スキー	1.5	2.2	-	-	-	-	-	-
218	ソフトテニス	-	0.5	-	-	-	-	-	-
219	ソフトバレー	-	0.2	-	-	-	-	-	-
220	ソフトボール	-	4.7	-	-	-	-	-	-
300	太極拳	-	1.2	-	-	-	-	-	-
301	体操	4.2	2.0	-	-	-	-	-	-
302	ダイビング	0.7	0.0	-	-	-	-	-	-
303	卓球	0.9	1.7	-	-	-	-	-	-
304	ダンス	2.4	1.0	-	-	-	-	-	-
305	ツーリング	-	0.2	-	-	-	-	-	-
306	釣り	-	0.7	-	-	-	-	-	-
307	テニス	6.8	6.9	-	-	-	-	-	-
308	登山	0.7	0.5	-	-	-	-	-	-
309	トライアスロン	-	0.2	-	-	-	-	-	-
500	バイク	0.4	0.0	-	-	-	-	-	-
501	バスケットボール	0.4	0.7	-	-	-	-	-	-
502	バドミントン	2.0	2.2	-	-	-	-	-	-
504	バレーボール	7.9	5.2	-	-	-	-	-	-
505	ビーチバレー	-	0.2	-	-	-	-	-	-
510	武道	1.3	0.7	-	-	-	-	-	-
513	ボウリング	0.9	1.0	-	-	-	-	-	-
515	ボクシング	-	0.2	-	-	-	-	-	-
516	ホッケー	-	0.2	-	-	-	-	-	-
519	マラソン	1.1	0.2	-	-	-	-	-	-
600	野球	9.4	5.9	-	-	-	-	-	-

601	山歩き	-	0.2	-	-	-	-	-	-
603	ヨガ	0.7	0.7	-	-	-	-	-	-
605	ラグビー	0.2	0.0	-	-	-	-	-	-
608	陸上	0.2	0.2	-	-	-	-	-	-
700	その他	14.9	13.4	-	-	-	-	-	-
999	無回答	21.9	17.3	-	-	-	-	-	-
		n	456	404	-	-	-	-	-
888	非該当								

994. MEMHOBBY 組織への所属:趣味の会  
趣味の会(コーラス・写真・山歩きなど)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	はい	12.7	12.9	16.2	18.0	15.0	16.7	16.6	15.6	
2	いいえ	82.6	79.7	82.6	80.9	84.3	81.9	81.9	83.4	
9	無回答	4.7	7.4	1.2	1.2	0.7	1.5	1.4	1.0	
		n	2893	2790	2953	3663	2023	2124	4220	5003
8	非該当									

994. MEMHOBBY に「1 はい」の場合

995. XXMEMHOB 組織への所属:趣味の会(具体的記述)\*  
具体的に( )

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ハイキング/山歩き(山岳部・登山)	8.7	6.7	5.2	5.8	6.6	-	-	-
2	散歩(文学散歩・歴史探訪・ウォーキング)	1.6	2.5	2.1	2.3	1.0	-	-	-
3	自然観賞(自然観察・ナチュラリスト・山野草会)	1.1	0.8	0.6	0.3	1.3	-	-	-
4	旅(旅行・ツーリング)	1.9	1.4	0.8	1.2	0.0	-	-	-
5	園芸(盆栽・菊)	0.8	0.8	1.7	1.7	0.0	-	-	-
6	華道(フラワーアレンジメント)	5.2	3.1	2.9	2.9	3.3	-	-	-
7	茶道	1.4	2.5	2.3	2.0	1.3	-	-	-
8	詩歌(短歌・俳句・詩吟・万葉集・長唄)	5.7	6.4	2.9	2.6	1.3	-	-	-
9	歌/コーラス	5.4	9.5	6.9	4.3	8.3	-	-	-
10	民謡/謡曲	3.0	1.7	2.5	1.4	1.7	-	-	-
11	カラオケ	4.1	3.1	2.5	5.2	5.9	-	-	-
12	音楽/楽器(オーケストラ・吹奏楽団・銭太鼓・大正琴)	5.2	7.0	4.8	5.0	7.3	-	-	-
13	ダンス/踊り(社交ダンス・フォークダンス・舞踏)	4.9	4.5	4.8	5.0	6.9	-	-	-
14	演劇	1.1	1.7	0.4	0.6	0.3	-	-	-
15	英語関係	1.1	0.8	0.8	0.6	0.7	-	-	-
16	小説/文章(ストーリーテリング・絵本を読む会)	0.3	0.3	0.0	0.8	0.0	-	-	-
17	教育/子育て(PTA・父母会・子どもを育てる家庭教育)	0.8	0.3	0.2	.3	0.0	-	-	-
18	仲間/グループ(老人会・町内会・同窓会・友人の会)	3.5	0.6	3.3	1.5	3.0	-	-	-
19	手芸/工芸(粘土・木彫・陶芸)	5.4	7.8	7.1	7.0	6.6	-	-	-
20	絵画(和紙絵)	4.6	5.3	4.2	4.0	7.9	-	-	-
21	写真	3.3	3.6	2.1	2.4	3.3	-	-	-
22	古美術	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-	-
23	釣り	2.7	2.5	2.5	1.7	1.3	-	-	-
24	ゴルフ	1.9	2.2	2.5	5.2	2.6	-	-	-
25	ボウリング	-	-	-	-	0.7	-	-	-
26	テニス	0.5	0.0	0.8	2.0	2.0	-	-	-
27	バレーボール	0.3	0.3	0.0	2.1	2.0	-	-	-
28	体操	0.3	1.1	1.0	0.8	0.0	-	-	-
29	動物(動物の集い・熱帯魚)	-	0.3	0.4	0.3	0.3	-	-	-
30	アマチュア無線	0.3	0.3	0.2	0.0	0.3	-	-	-
31	コンピュータ	-	-	-	-	0.3	-	-	-
32	ゲーム(囲碁・将棋・テレビゲーム含む)	2.4	2.2	2.3	2.4	2.3	-	-	-
33	書道/習字(かな習字)	3.8	3.9	3.8	2.3	4.6	-	-	-
34	環境グループ	-	0.3	0.0	0.6	0.0	-	-	-
35	レクリエーション	0.5	0.0	0.4	0.0	0.3	-	-	-
37	その他の外国語関係	-	-	0.4	0.3	0.3	-	-	-
38	料理関係・グルメ	-	-	1.7	2.0	2.0	-	-	-
39	手話	-	-	-	0.5	0.0	-	-	-
40	水泳	-	-	-	1.2	1.0	-	-	-

41	太極拳	-	-	-	0.6	0.0	-	-	-
42	卓球	-	-	-	0.5	0.7	-	-	-
43	野球	-	-	-	1.1	0.0	-	-	-
44	マラソン/ジョギング	-	-	-	0.6	0.0	-	-	-
45	ヨーガ	-	-	-	0.8	0.0	-	-	-
46	生活協同組合	-	-	-	0.5	0.0	-	-	-
47	ゲートボール	-	-	-	1.1	0.3	-	-	-
48	エアロビクス	-	-	-	0.5	0.7	-	-	-
70	その他の文化活動	5.7	6.7	2.1	1.8	3.0	-	-	-
71	その他のスポーツ活動	2.4	2.8	5.8	4.6	3.6	-	-	-
72	その他・不明	-	0.0	0.4	3.0	3.6	-	-	-
99	無回答	9.8	7.2	17.3	7.1	1.3	-	-	-
		n	368	359	479	658	303	-	-

88 非該当

\*調査年度が進むにしたがってコードを追加している。

996. MEMCOOP 組織への所属:生協  
消費生活協同組合(生協)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	20.6	-	-	19.3	18.0
2	いいえ	-	-	-	78.5	-	-	79.1	81.1
9	無回答	-	-	-	0.9	-	-	1.6	0.9
		n	-	-	1957	-	-	4220	5003
8	非該当								

997. MEMNBAS 町内会加入の有無

あなたの世帯は、町内会・自治会に入っていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	入っている	-	-	-	-	-	-	-	85.2
2	入っていない	-	-	-	-	-	-	-	10.5
3	わからない	-	-	-	-	-	-	-	3.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.4
		n	-	-	-	-	-	-	2507
8	非該当								

998. FQNBAS 町内会での活動頻度

あなたご自身は、どのくらいの頻度で、町内会・自治会の活動(これに関連した地域活動を含む)に参加していますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎週	-	-	-	-	-	-	-	1.8
2	月に2~3回	-	-	-	-	-	-	-	4.9
3	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	8.5
4	年に数回	-	-	-	-	-	-	-	35.5
5	年に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	14.6
6	まったく参加していない	-	-	-	-	-	-	-	34.3
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.4
		n	-	-	-	-	-	-	2507
8	非該当								

999. XVLREG 定期的ボランティア:経験の有無

あなたは過去1年間に、定期的にボランティア活動を行なったことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある	-	-	8.7	-	12.7	-	-	-
2	ない	-	-	90.9	-	86.8	-	-	-
9	無回答	-	-	0.3	-	0.5	-	-	-
		n	-	2953	-	2023	-	-	-

999. XVLREG に「1 ある」の場合

1000. SZVLREG 定期的ボランティア:活動量(時間/月)  
平均して、1ヶ月にどのくらいの時間を使いましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0～4時間	-	-	52.3	-	61.1	-	-	-
	5～9時間	-	-	17.4	-	11.7	-	-	-
	10～19時間	-	-	14.0	-	8.2	-	-	-
	20～49時間	-	-	10.5	-	7.0	-	-	-
	50時間以上	-	-	3.1	-	2.3	-	-	-
9999	無回答	-	-	2.7	-	9.7	-	-	-
		n	-	258	-	257	-	-	-
8888	非該当								

1001. XVLIRREG 不定期なボランティア:経験の有無

あなたは過去1年間に、不定期にボランティア活動を行なったことがありますか(突発的な事件や災害への支援を含む)。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある	-	-	10.2	-	15.6	-	-	-
2	ない	-	-	89.1	-	83.5	-	-	-
9	無回答	-	-	0.6	-	0.9	-	-	-
		n	-	2953	-	2023	-	-	-

1001. XVLIRREG に「1 ある」の場合

1002. SZVLIRREG 不定期なボランティア:活動量(合計日数/年)

過去1年間に、合計何日くらい行ないましたか。(1日30分でも1日と数える)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1～4日	-	-	41.1	-	47.3	-	-	-
	5～9日	-	-	23.8	-	17.1	-	-	-
	10～19日	-	-	18.9	-	17.5	-	-	-
	20～29日	-	-	6.6	-	6.0	-	-	-
	30日以上	-	-	6.3	-	7.6	-	-	-
9999	無回答	-	-	3.3	-	4.4	-	-	-
		n	-	302	-	315	-	-	-
8888	非該当								

1003-1014. ボランティア団体への支援\*

ボランティア活動を実施している団体やグループに、下記のような支援を行なったことがありますか。あなたが過去1年間に行なったものすべてにをつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
9	無回答								
多重回答									
XVLDONAT	寄付・募金	-	-	54.6	-	-	-	-	-
XVLCARD	ボランティア貯金(郵便局)・寄付金つきクレジットカードの利用	-	-	14.5	-	-	-	-	-
XVLSTAMP	寄付金つき切手・はがき・ユニセフカードなどの購入	-	-	21.2	-	-	-	-	-
XVLUSED	古着や毛布などの寄贈	-	-	8.2	-	-	-	-	-
XVLBAZZR	バザーへの出品	-	-	24.6	-	-	-	-	-
XVLBLOOD	献血	-	-	9.8	-	-	-	-	-
XVLETC	その他(具体的に )	-	-	0.4	-	-	-	-	-
XVLENV	清掃・環境	-	-	0.5	-	-	-	-	-
XVLWF	介護・福祉	-	-	0.4	-	-	-	-	-
XVLCUL	文化的奉仕	-	-	0.2	-	-	-	-	-
XVLLABOR	労働奉仕	-	-	1.4	-	-	-	-	-
XVLTEACH	指導	-	-	0.2	-	-	-	-	-
	選択者数	-	-	2953	-	-	-	-	-

\*XVLENV(ボランティア団体への支援:清掃・環境)、XVLWF(ボランティア団体への支援:介護・福祉)、XVLCUL(ボランティア団体への支援:文化的奉仕)、XVLLABOR(ボランティア団体への支援:労働奉仕)、XVLTEACH(ボランティア団体への支援:指導)は、「その他」の具体的記述から追加した。

累積データ 2000-2010 では、XVLNOMK(いずれも選択していない)を「9 無回答」にリコード。

1015. WLVLDO ボランティア活動への参加:今後の意向

あなたは、機会があれば今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ぜひ参加したい	-	-	4.9	-	-	-	-	-
2	できれば参加したい	-	-	53.7	-	-	-	-	-
3	参加したいと思わない	-	-	39.6	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.8	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

999. XVLREG に「1 ある」の場合

1016-1021. 定期的ボランティアの内容

どのような活動をしましたか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
XVLRENV	環境保護・清掃に関する活動	-	-	-	-	54.9	-	-	-
XVLRWF	介護・福祉に関する活動	-	-	-	-	25.3	-	-	-
XVLRUCUL	文化・芸術に関する活動	-	-	-	-	10.9	-	-	-
XVLRTOCH	教育・技術指導に関する活動	-	-	-	-	21.8	-	-	-
XVLRDNT	寄付金を集める活動(募金集め、バザーの手伝いなど)	-	-	-	-	22.2	-	-	-
XVLRTOHR	その他(具体的に )	-	-	-	-	4.7	-	-	-
選択者数		-	-	-	-	257	-	-	-

1001. XVLIRREG に「1 ある」の場合

1022-1027. 不定期なボランティアの内容

どのような活動をしましたか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
XVLTENV	環境保護・清掃に関する活動	-	-	-	-	63.8	-	-	-
XVLTWF	介護・福祉に関する活動	-	-	-	-	23.8	-	-	-
XVLTUCUL	文化・芸術に関する活動	-	-	-	-	12.4	-	-	-
XVLTTOCH	教育・技術指導に関する活動	-	-	-	-	14.3	-	-	-
XVLTDNT	寄付金を集める活動(募金集め、バザーの手伝いなど)	-	-	-	-	24.8	-	-	-
XVLTOTHR	その他(具体的に )	-	-	-	-	4.4	-	-	-
選択者数		-	-	-	-	315	-	-	-

1028-1033. 寄付の経験:定期的な寄付

あなたは過去1年間に、以下の寄付をしたことがありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
XDNTREG	定期的に寄付をした	-	-	-	-	8.0	-	-	-
XDNTBOX	街かどやコンビニなどで募金箱に寄付した	-	-	-	-	30.6	-	-	-
XDNTSCH	学校や地域の募金活動を通して寄付した	-	-	-	-	39.1	-	-	-
XDNTMASS	マスコミなどの呼びかけに応じて寄付した(銀行振込み・インターネット・電話など)	-	-	-	-	7.6	-	-	-
XDNTOTHR	その他(具体的に )	-	-	-	-	3.2	-	-	-
XDNTNONE	寄付はしていない	-	-	-	-	32.9	-	-	-
選択者数		-	-	-	-	2023	-	-	-

過去1年間に寄付をしたことがある場合

1034. SZDNT 寄付の金額

過去1年間に、合計いくぐらい寄付しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	500 円まで	-	-	-	-	27.4	-	-	-
2	~1,000 円	-	-	-	-	34.0	-	-	-
3	~5,000 円	-	-	-	-	21.9	-	-	-
4	~10,000 円	-	-	-	-	8.1	-	-	-
5	~50,000 円	-	-	-	-	4.9	-	-	-
6	~100,000 円	-	-	-	-	1.2	-	-	-
7	100,000 円以上	-	-	-	-	1.0	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.5	-	-	-
n		-	-	-	-	1342	-	-	-
8	非該当								

1035-1043. ボランティア活動\*

あなたは過去1年間に、以下のようなボランティア活動を行なったことがありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
XVLIMPRT	まちづくりのための活動(道路や公園等の清掃、道路に花を植える活動、まちおこしなど)	-	-	-	-	-	-	-	25.2
XVLNTENV	自然や環境を守るための活動(森林や緑を守る活動、リサイクル活動、ゴミを減らす活動など)	-	-	-	-	-	-	-	17.9
XVLSAFE	安全な生活のための活動(防犯パトロール、防災活動、交通安全活動など)	-	-	-	-	-	-	-	12.6
XVLSPTS	スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動(スポーツの指導、伝統文化の普及活動、知識や技術の提供など)	-	-	-	-	-	-	-	9.5
XVLELD	高齢者を対象とした活動(高齢者の日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーションなど)	-	-	-	-	-	-	-	7.4
XVLCC	子どもを対象とした活動(子ども会の世話、子育て支援、いじめ電話相談など)	-	-	-	-	-	-	-	9.7
XVLOTHR	その他のボランティア活動(具体的に )	-	-	-	-	-	-	-	1.6
XVLNONE	いずれも行なっていない	-	-	-	-	-	-	-	53.8
XVLDISAB	障害者を対象とした活動	-	-	-	-	-	-	-	0.8
選択者数		-	-	-	-	-	-	-	2507

\*XVLDISAB(ボランティア活動:障害者)は、「その他のボランティア活動」の具体的記述から追加した。

1044-1048. 地域活動

あなたがお住まいの地域では、次のような地域でのボランティア活動が行なわれていますか。行なわれているものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
LACLN	地域の清掃活動	-	-	-	-	-	61.8	-	-
LARCYC	リサイクル品の回収	-	-	-	-	-	52.4	-	-
LAPTRL	地域のパトロール	-	-	-	-	-	35.0	-	-
LANONE	いずれも行なわれていない	-	-	-	-	-	6.9	-	-
LADK	わからない	-	-	-	-	-	15.4	-	-
選択者数		-	-	-	-	-	2124	-	-

1044. LACLN、1045. LARCYC、1046. LAPTRL を選択した場合

1049-1052. 地域活動への参加

あなたは自身はどのような活動に参加していますか。参加しているものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
DOLACLN	地域の清掃活動	-	-	-	-	-	55.4	-	-
DOLARCYC	リサイクル品の回収	-	-	-	-	-	38.5	-	-
DOLAPTRL	地域のパトロール	-	-	-	-	-	12.3	-	-
DOLANONE	いずれも参加していない	-	-	-	-	-	29.3	-	-
選択者数		-	-	-	-	-	1638	-	-

1053. LKLOCAL 現在の居住地域への愛着

現在住んでいる地域に、あなたは愛着を感じていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	愛着を感じている	-	-	-	41.1	-	-	-	-
2	どちらかという愛着を感じている	-	-	-	44.4	-	-	-	-
3	どちらかという愛着を感じていない	-	-	-	11.3	-	-	-	-
4	愛着を感じていない	-	-	-	3.0	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.2	-	-	-	-
n		-	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1054. XLIVEYR 現在の居住地域への居住年数

あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	生まれてからずっと	-	-	-	16.8	16.8	16.5	15.6	16.1
2	1年未満	-	-	-	1.2	1.7	1.7	2.1	1.7
3	1年～3年未満	-	-	-	5.4	5.5	6.1	5.9	5.8
4	3年～5年未満	-	-	-	5.0	4.9	5.2	5.5	5.2
5	5年～10年未満	-	-	-	8.4	10.8	11.3	11.0	9.6
6	10年～20年未満	-	-	-	17.2	15.8	16.8	17.7	17.0
7	20年～30年未満	-	-	-	16.4	16.3	14.9	15.6	15.7
8	30年以上	-	-	-	29.4	28.2	27.3	26.5	28.9
9	無回答	-	-	-	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1
n		-	-	-	1957	2023	4254	4220	5003
88	非該当								

1055. WLLIVE 現在の居住地域に住み続けたいか\*

あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ずっと住みたい	-	-	-	52.6	55.1	53.2	53.3	54.7
2	当分の間は住みたい	-	-	-	36.4	32.3	34.8	35.2	34.1
3	できれば他の地域に引越したい	-	-	-	9.2	11.5	10.5	10.0	9.9
4	すぐにも他の地域に引越したい	-	-	-	1.4	0.9	1.2	1.2	1.1
9	無回答	-	-	-	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2
n		-	-	-	1957	2023	2124	2060	5003
8	非該当								

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2005 選択肢ワーディング変更: 「できれば引越したい」 「できれば他の地域に引越したい」、「すぐにも引越したい」、「すぐにも他の地域に引越したい」。



1056-1064. あなたの高齢期の過ごし方で、次の活動は、どの程度重要だと思いますか。

1056. IMOAWORK 高齢期に重要な活動:仕事

仕事

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	10.1	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	41.7	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	32.7	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	9.9	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	3.5	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.1	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1057. IMOACOM 高齢期に重要な活動:地域活動

町内会・老人会等での地域活動

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	5.4	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	41.2	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	40.1	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	8.2	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	3.1	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.0	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1058. IMOACRCL 高齢期に重要な活動:文化・スポーツサークル

文化・スポーツサークルへの参加

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	5.0	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	37.4	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	42.5	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	9.4	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	3.8	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.9	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1059. IMOAVLTR 高齢期に重要な活動:ボランティア

ボランティア・社会貢献活動

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	2.9	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	33.5	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	50.9	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	7.8	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	3.1	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.0	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1060. IMOALSR 高齢期に重要な活動:娯楽・レジャー

娯楽・レジャー活動

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	11.9	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	48.8	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	29.7	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	5.1	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	2.0	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.4	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1061. IMOALRN 高齢期に重要な活動: 読書・学習・研究  
読書・学習・研究活動

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	8.8	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	45.2	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	35.7	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	5.6	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	2.5	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.1	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1062. IMOAFF 高齢期に重要な活動: 家族・親族との時間  
家族や親族と過ごす時間

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	31.0	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	55.0	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	11.2	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	0.7	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	0.5	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.5	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1063. IMOAFRI 高齢期に重要な活動: 友人との時間  
友人と過ごす時間

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	19.7	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	57.1	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	19.3	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	1.8	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	0.5	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.6	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1064. IMOALON 高齢期に重要な活動: 一人の時間  
自分一人の時間

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	18.1	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	56.0	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	21.0	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	2.6	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	0.6	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.7	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1065-1074. あなたの高齢期の生活を充実させるうえで、次との関係は、どの程度重要だと思いますか。

1065. IMORSS 高齢期に重要な関係: 配偶者

配偶者

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	51.7	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	34.3	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	9.8	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	0.7	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	1.5	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.9	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1066. IMORCC 高齢期に重要な関係:子ども  
子ども

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	38.1	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	44.1	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	13.9	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	1.2	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	1.1	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.6	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1067. IMORSIB 高齢期に重要な関係:きょうだい  
きょうだい

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	18.8	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	46.7	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	27.2	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	4.6	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	1.3	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.5	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1068. IMORCCG 高齢期に重要な関係:孫  
孫

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	23.1	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	44.4	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	25.2	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	3.1	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	1.6	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.6	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1069. IMORPAR 高齢期に重要な関係:親  
親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	20.6	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	40.3	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	26.3	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	4.3	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	3.8	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	4.6	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1070. IMORFRWK 高齢期に重要な関係:仕事関係の友人  
仕事関係の友人・昔の同僚

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	8.7	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	40.9	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	39.5	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	6.4	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	2.9	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.7	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1071. IMORFRSC 高齢期に重要な関係:学校時代の友人  
学校時代の友人

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	10.3	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	38.8	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	39.2	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	6.9	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	3.2	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.5	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1072. IMORFRCC 高齢期に重要な関係:団体・サークルの友人  
参加団体・サークルの友人

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	5.8	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	33.5	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	45.0	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	9.1	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	4.1	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.6	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1073. IMORCOM 高齢期に重要な関係:近所の人  
近所の人

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	14.5	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	53.1	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	27.4	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	3.1	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	1.0	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.9	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1074. IMORPET 高齢期に重要な関係:ペット  
ペット

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	-	-	9.1	-	-	-
2	重要	-	-	-	-	24.5	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	39.1	-	-	-
4	重要ではない	-	-	-	-	13.3	-	-	-
5	まったく重要ではない	-	-	-	-	11.9	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.2	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1075. FQ7SEX セックスの頻度  
あなたの過去1年間のセックスの頻度はどれくらいですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	全くなし	25.8	25.9	-	-	-	-	-	-
2	年に1~2回	6.3	7.1	-	-	-	-	-	-
3	月1回程度	11.3	11.0	-	-	-	-	-	-
4	月に2~3回	10.4	9.8	-	-	-	-	-	-
5	週1回程度	5.6	4.9	-	-	-	-	-	-
6	週に2~3回	1.5	1.5	-	-	-	-	-	-
7	週4回以上	0.2	0.4	-	-	-	-	-	-
8	回答したくない	36.0	36.5	-	-	-	-	-	-
9	無回答	2.9	3.0	-	-	-	-	-	-
n		2893	2790	-	-	-	-	-	-

## 1076. Q4ADLTRY 婚外交渉について

既婚者が、配偶者以外の異性と性的関係をもつことについて、あなたの考えは以下のどれですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	例外なく悪い	45.8	46.4	-	-	-	-	46.5	-
2	たいていの場合悪い	41.1	41.4	-	-	-	-	40.0	-
3	必ずしも悪くない	10.3	9.1	-	-	-	-	11.4	-
4	悪くない	0.8	1.0	-	-	-	-	0.6	-
9	無回答	1.9	2.1	-	-	-	-	1.4	-
		n	2893	2790	-	-	-	2160	-
8	非該当								

## 1077. Q4PROS19 10代の売春について

10代の売春（援助交際を含む）についてどう思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	買う方が悪い	13.3	12.7	-	-	-	-	-	-
2	売る方が悪い	2.9	2.7	-	-	-	-	-	-
3	両方とも悪い	81.0	81.9	-	-	-	-	-	-
4	どちらも悪くない	1.6	1.4	-	-	-	-	-	-
9	無回答	1.2	1.3	-	-	-	-	-	-
		n	2893	2790	-	-	-	-	-

## 1078. Q4HOMSEA 同性愛について

同性間の性的関係について、あなたの考えは以下のどれですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	例外なく悪い	30.9	30.8	-	-	-	-	31.7	-
2	たいていの場合悪い	26.2	25.7	-	-	-	-	22.9	-
3	必ずしも悪くない	32.3	32.9	-	-	-	-	34.7	-
4	悪くない	6.6	6.8	-	-	-	-	7.5	-
9	無回答	4.0	3.7	-	-	-	-	3.2	-
		n	2893	2790	-	-	-	2160	-
8	非該当								

## 1079. OPPORNK ポルノ: 社会道徳

ポルノは社会道徳を腐敗させると思いませんか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	36.3	36.7	-	-	-	-	36.6	-
2	いいえ	24.7	24.1	-	-	-	-	24.9	-
3	わからない	37.6	37.8	-	-	-	-	37.7	-
9	無回答	1.4	1.3	-	-	-	-	0.8	-
		n	2893	2790	-	-	-	2160	-
8	非該当								

## 1080. Q3PORNNO ポルノ: 規制について

次の意見のうち、ポルノの規制に対するあなたの考えに一番近いものはどれですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ポルノの販売は、年齢にかかわらず禁止されるべきだ	31.2	31.3	-	-	-	-	28.3	-
2	ポルノの販売は、18歳未満に対しては禁止されるべきだ	58.4	58.5	-	-	-	-	65.6	-
3	ポルノの販売は、完全に自由化されるべきだ	6.5	6.8	-	-	-	-	3.3	-
9	無回答	3.9	3.4	-	-	-	-	2.8	-
		n	2893	2790	-	-	-	2160	-
8	非該当								

## 1081. OP3JVLWY 少年法改正の賛否

現在、少年法の改正が議論されていますが、あなたはどうお考えですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	少年法を変え、今よりも厳罰にすべきだ	71.6	-	-	74.4	-	-	66.9	-
2	少年法は変えるべきだが、厳罰化は望ましくない	17.4	-	-	13.2	-	-	17.2	-
3	今のままでよい	1.8	-	-	2.2	-	-	2.9	-
4	わからない	8.8	-	-	9.7	-	-	12.7	-
9	無回答	0.3	-	-	0.5	-	-	0.3	-
	n	2893	-	-	1957	-	-	2060	-
8	非該当								

## 1082. Q2DTHPY 死刑制度の賛否

あなたは、死刑制度に賛成ですか、反対ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	59.1	58.4	-	-	-	-	65.9	65.0
2	反対	10.3	11.0	-	-	-	-	6.6	8.7
3	わからない	30.2	30.2	-	-	-	-	27.1	26.1
9	無回答	0.3	0.4	-	-	-	-	0.4	0.2
	n	2893	2790	-	-	-	-	2060	2507
8	非該当								

## 1083. OP5JUDGE 最近の判決について

犯罪者に対する、ここ数年の裁判所の判決について、あなたはどうお考えですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	厳しすぎる	0.1	0.2	-	-	-	-	-	0.3
2	少し厳しすぎる	0.7	0.3	-	-	-	-	-	1.1
3	適当である	9.6	9.1	-	-	-	-	-	15.6
4	もう少し厳しくすべきだ	37.5	34.8	-	-	-	-	-	35.8
5	もっと厳しくすべきだ	36.4	40.8	-	-	-	-	-	28.8
6	わからない	15.1	14.6	-	-	-	-	-	18.1
9	無回答	0.6	0.4	-	-	-	-	-	0.3
	n	2893	2790	-	-	-	-	-	2507
8	非該当								

## 1084. OPCJSYS 裁判員制度：制度への賛否

2009年5月に開始された裁判員制度（殺人・放火・誘拐などの裁判に一般の人が参加する制度）を、あなたは支持しますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	支持する	-	-	-	-	-	-	-	12.4
2	どちらかといえば支持する	-	-	-	-	-	-	-	30.2
3	どちらかといえば支持しない	-	-	-	-	-	-	-	34.6
4	支持しない	-	-	-	-	-	-	-	21.6
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.3
	n	-	-	-	-	-	-	-	2507
8	非該当								

## 1085. OPCJDTH 裁判員制度：死刑をためらう

もしも、あなたが裁判員に選ばれたとしたら、凶悪な犯罪であっても死刑を主張することをためらいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ためらう	-	-	-	-	-	-	-	20.2
2	どちらかといえばためらう	-	-	-	-	-	-	-	29.6
3	どちらかといえばためらわない	-	-	-	-	-	-	-	25.0
4	ためらわない	-	-	-	-	-	-	-	23.7
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.5
	n	-	-	-	-	-	-	-	2507
8	非該当								

1086. OPAMND9 憲法 9 条改正への意見

あなたは、戦争を放棄し、戦力を持たないことを決めている憲法第 9 条を改正する必要があると思いますか。それとも改正する必要はないと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	あると思う	-	-	-	-	-	33.1	-	-
2	ないと思う	-	-	-	-	-	62.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	4.5	-	-
	n	-	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1086. OPAMND9 に「1 あると思う」の場合

1087. WHYAMND9 憲法 9 条改正の理由

それでは、第 9 条を改正する必要があると思う最大の理由は何ですか。最も近いもの 1 つに をしてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	自衛隊を含めた軍事力を放棄することを明確にすべきだから	-	-	-	-	-	9.0	-	-
2	同盟国とともに海外での武力行使が行えるようにすべきだから	-	-	-	-	-	5.3	-	-
3	国連を中心とする軍事活動にも貢献できるようにすべきだから	-	-	-	-	-	23.4	-	-
4	自衛力を持つてることを憲法に明記すべきだから	-	-	-	-	-	58.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.7	-	-
	n	-	-	-	-	-	702	-	-
8	非該当								

1088. XBEATEN 暴行を受けた経験

あなたは、殴られたり暴行をうけた経験がありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	26.5	26.4	-	-	-	-	-	-
2	いいえ	73.1	72.6	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.4	1.0	-	-	-	-	-	-
	n	2893	2790	-	-	-	-	-	-
8	非該当								

1088. XBEATEN に「1 はい」の場合

1089. WHENBEAT 暴行を受けた時期

それは子どもの時ですか、大人になってからですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	子どもの時	62.0	59.6	-	-	-	-	-	-
2	大人になってから	19.5	21.8	-	-	-	-	-	-
3	両方	18.3	18.0	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.3	0.5	-	-	-	-	-	-
	n	766	737	-	-	-	-	-	-
8	非該当								

1090. WHOMBEAT 暴行の加害者

それは誰からですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	家族から	35.0	33.4	-	-	-	-	-	-
2	他人から	42.6	46.7	-	-	-	-	-	-
3	両方	21.5	18.9	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.9	1.1	-	-	-	-	-	-
	n	766	737	-	-	-	-	-	-
8	非該当								

1091. Q5PMSPNK 親による体罰の賛否

「親による体罰は、時により必要である」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	26.7	20.9	-	-	-	-	24.7	-
2	どちらかといえば賛成	38.1	35.3	-	-	-	-	40.5	-
3	どちらともいえない	21.3	25.0	-	-	-	-	21.7	-
4	どちらかといえば反対	6.8	9.9	-	-	-	-	7.7	-
5	反対	6.7	8.5	-	-	-	-	5.3	-
9	無回答	0.5	0.5	-	-	-	-	0.1	-
		n	2893	2790	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1092. Q5TTSPNK 教師による体罰の賛否

「教師による体罰は、時により必要である」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	21.1	18.9	-	-	-	-	-	-
2	どちらかといえば賛成	36.6	33.9	-	-	-	-	-	-
3	どちらともいえない	24.4	26.4	-	-	-	-	-	-
4	どちらかといえば反対	8.9	10.7	-	-	-	-	-	-
5	反対	8.6	9.7	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.4	0.4	-	-	-	-	-	-
		n	2893	2790	-	-	-	-	-

1093. XPBCL 子どもの時の暴行被害経験

あなたは、子どもの時に、殴られたり、暴行をうけたりした経験がありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	28.6	-
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	71.3	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.1	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1093. XPBCL に「1 はい」の場合

1094-1100. 子どもの時の暴行加害者

それは誰からですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
XPBCLPA	親	-	-	-	-	-	-	66.0	-
XPBCLBS	きょうだい	-	-	-	-	-	-	20.5	-
XPBCLFM	その他の家族・親族	-	-	-	-	-	-	4.6	-
XPBCLTA	先生	-	-	-	-	-	-	36.0	-
XPBCLFD	友人	-	-	-	-	-	-	25.6	-
XPBCLAQ	その他の知人	-	-	-	-	-	-	13.4	-
XPBCLST	知らない人	-	-	-	-	-	-	5.8	-
		選択者数		-	-	-	-	589	-

1101. XPBAD 大人になってからの暴行被害経験

あなたは、大人になってから、殴られたり、暴行をうけたりした経験がありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	10.1	-
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	89.6	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.3	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								



1101. XPBAD に「1 はい」の場合

1102-1109. 大人になってからの暴行加害者

それは誰からですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード

- 0 非選択
- 1 選択
- 8 非該当
- 9 無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
XPBADPA	親	-	-	-	-	-	-	5.7	-
XPBADSP	配偶者・恋人	-	-	-	-	-	-	53.1	-
XPBADCC	子ども	-	-	-	-	-	-	2.4	-
XPBADFM	その他の家族・親族	-	-	-	-	-	-	2.9	-
XPBADSV	職場の上司	-	-	-	-	-	-	10.5	-
XPBADCW	職場の同僚や部下	-	-	-	-	-	-	6.7	-
XPBADFA	その他の知人・友人	-	-	-	-	-	-	13.4	-
XPBADST	知らない人	-	-	-	-	-	-	17.7	-
選択者数		-	-	-	-	-	-	209	-

1110. XSCYP 言葉の暴力の被害経験

あなたは過去5年間に、ひどくけなされたり、怒鳴られたりした経験がありますか。

コード

- 1 はい
- 2 いいえ
- 9 無回答

		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	21.4	-
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	78.3	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.2	-
n		-	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1110. XSCYP に「1 はい」の場合

1111-1118. 言葉の暴力の加害者

それは誰からですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード

- 0 非選択
- 1 選択
- 8 非該当
- 9 無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
XSCYPPA	親	-	-	-	-	-	-	11.6	-
XSCYPSP	配偶者・恋人	-	-	-	-	-	-	36.7	-
XSCYPCC	子ども	-	-	-	-	-	-	5.2	-
XSCYPFM	その他の家族・親族	-	-	-	-	-	-	8.4	-
XSCYPSV	職場の上司	-	-	-	-	-	-	35.8	-
XSCYPCW	職場の同僚や部下	-	-	-	-	-	-	12.7	-
XSCYPFA	その他の知人・友人	-	-	-	-	-	-	10.7	-
XSCYPST	知らない人	-	-	-	-	-	-	6.8	-
選択者数		-	-	-	-	-	-	441	-

1119. FEARWALK 自宅周辺の危険な場所の有無

あなたの家から1キロ(徒歩15分程度)以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

コード

- 1 はい
- 2 いいえ
- 9 無回答

		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	51.0	47.8	53.0	58.3	56.8	65.6	58.8	57.2
2	いいえ	47.3	49.8	45.8	41.1	41.8	33.6	40.3	42.1
9	無回答	1.7	2.4	1.3	0.7	1.4	0.8	0.9	0.7
n		2893	2790	2953	1957	2023	2124	4220	5003
8	非該当								

1120. XSTOLN1Y 空き巣被害経験

過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	はい	3.1	3.8	3.0	3.7	2.7	2.2	1.7	2.2	
2	いいえ	96.6	95.6	96.5	96.1	96.8	97.5	98.2	97.4	
9	無回答	0.3	0.6	0.5	0.2	0.4	0.4	0.1	0.4	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	4220	2507
8	非該当									

1121. XROBBD1Y 強盗等の被害経験

過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと（例えば、強盗、恐喝やひったくり）がありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	はい	0.8	1.0	0.6	0.8	0.5	1.6	1.2	1.3	
2	いいえ	98.9	98.9	98.9	99.2	99.0	98.1	98.7	98.5	
9	無回答	0.3	0.1	0.5	0.1	0.5	0.3	0.1	0.2	
		n	2893	2790	2953	1957	2023	2124	4220	2507
8	非該当									

1122-1128. 防犯対策\*

あなた、またはあなたの住居の管理者は、防犯のために次のようなことをしていますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
0	非選択									
1	選択									
8	非該当									
9	無回答									
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
DOACSECC	警備会社と契約	-	-	-	-	-	3.8	-	-	
DOACCAM	監視カメラを設置	-	-	-	-	-	5.4	-	-	
DOACDOG	防犯のために犬を飼う	-	-	-	-	-	14.3	-	-	
DOACKEY	ドアや窓の鍵に工夫（オートロックを含む）	-	-	-	-	-	24.0	-	-	
DOACOTHR	上記以外の防犯対策（具体的に）	-	-	-	-	-	2.9	-	-	
DOACNONE	特に防犯対策はしていない	-	-	-	-	-	57.4	-	-	
DOACLIT	明らかに工夫	-	-	-	-	-	2.7	-	-	
		選択者数					-	2124	-	-

\*DOACLIT（防犯対策：明らかに工夫）は、「上記以外の防犯対策」の具体的記述から追加した。

1129-1132. あなたは、防犯のために次のような対策をとることについて、どう思いますか。

1129. OPACCAM 防犯対策への意見：路上カメラ

路上を監視するカメラの設置

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	37.9	-	-
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	43.0	-	-
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	13.3	-	-
4	反対	-	-	-	-	-	3.4	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.3	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1130. OPACSEXC 防犯対策への意見：性犯罪者の住所公表

性犯罪歴のある人の住所の公表

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	35.4	-	-
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	40.9	-	-
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	16.4	-	-
4	反対	-	-	-	-	-	3.6	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.7	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1131. OPACPTL 防犯対策への意見:住民パトロール  
地域住民によるパトロール

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	48.1	-	-
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	43.5	-	-
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	5.6	-	-
4	反対	-	-	-	-	-	1.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.8	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1132. OPACINET 防犯対策への意見:インターネットの監視  
インターネットの書き込み内容の監視

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	29.0	-	-
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	42.6	-	-
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	17.0	-	-
4	反対	-	-	-	-	-	4.4	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	7.0	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1133-1138. 万引きした子どもへの対応\*

あなたがお住まいの地域で、顔見知りの子ども（小学校5・6年生）が万引きしているのを見かけたとします。あなたはどのような行動をとりますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
SLSELF	本人に注意する	-	-	-	65.0	-	-	-	-
SLFAMILY	家族に知らせる	-	-	-	17.4	-	-	-	-
SLCLERK	店の人に知らせる	-	-	-	26.7	-	-	-	-
SLSCHL	学校に知らせる	-	-	-	3.1	-	-	-	-
SLNODO	何もしない	-	-	-	13.7	-	-	-	-
SLETC	その他（具体的に )	-	-	-	0.7	-	-	-	-
		選択者数			1957	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 では、SLNOMK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。

1139. FQCONVI 近所のコンビニの利用

あなたは、家の近くで、コンビニ（コンビニエンスストア）を利用しますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほとんど毎日	-	-	-	4.2	-	-	-	-
2	週に数回	-	-	-	20.6	-	-	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	20.7	-	-	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	18.8	-	-	-	-
5	年に数回	-	-	-	10.1	-	-	-	-
6	ほとんど利用しない	-	-	-	16.2	-	-	-	-
7	家の近くにコンビニはない	-	-	-	9.1	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.3	-	-	-	-
		n	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1140-1144. 少年少女が殺人などの凶悪犯罪をおかす場合、次にあげる項目は、その原因としてどの程度関係していると思いますか。

1140. OPJVMNTL 少年犯罪の原因への意見:心理状態  
加害少年少女の心理状態

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほとんどの事件で関係している	-	-	-	-	48.4	-	-	-
2	多くの事件で関係している	-	-	-	-	33.6	-	-	-
3	一部の事件で関係している	-	-	-	-	10.5	-	-	-
4	ほとんどの事件で関係していない	-	-	-	-	2.9	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	4.6	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1141. OPJVFF 少年犯罪の原因への意見:家庭環境  
加害少年少女の家庭環境

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほとんどの事件で関係している	-	-	-	-	49.4	-	-	-
2	多くの事件で関係している	-	-	-	-	32.1	-	-	-
3	一部の事件で関係している	-	-	-	-	12.4	-	-	-
4	ほとんどの事件で関係していない	-	-	-	-	2.4	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	3.6	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1142. OPJVSCHL 少年犯罪の原因への意見:学校での生活環境  
加害少年少女の学校での生活環境

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほとんどの事件で関係している	-	-	-	-	24.8	-	-	-
2	多くの事件で関係している	-	-	-	-	34.0	-	-	-
3	一部の事件で関係している	-	-	-	-	31.9	-	-	-
4	ほとんどの事件で関係していない	-	-	-	-	4.7	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	4.5	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1143. OPJVLAW 少年犯罪の原因への意見:法律制度  
少年法などの現行の法律制度

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほとんどの事件で関係している	-	-	-	-	17.4	-	-	-
2	多くの事件で関係している	-	-	-	-	25.9	-	-	-
3	一部の事件で関係している	-	-	-	-	36.1	-	-	-
4	ほとんどの事件で関係していない	-	-	-	-	14.8	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	5.9	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1144. OPJVECN 少年犯罪の原因への意見:経済的な格差  
社会における経済的な格差

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほとんどの事件で関係している	-	-	-	-	13.1	-	-	-
2	多くの事件で関係している	-	-	-	-	20.8	-	-	-
3	一部の事件で関係している	-	-	-	-	45.7	-	-	-
4	ほとんどの事件で関係していない	-	-	-	-	15.9	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	4.5	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1145. QFNINCR 外国人増加の賛否\*

あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	37.6	35.0	37.1	38.2	30.6	40.7	34.2	33.8
2	反対	56.0	58.6	56.6	55.0	63.1	51.9	60.7	62.6
9	無回答	6.4	6.4	6.3	6.8	6.3	7.4	5.0	3.6
n		2893	2790	2953	1957	2023	2124	4220	2507

8 非該当

\*調査年度によって質問文のワーディングに違いがある。

2003 質問文ワーディング変更:「あなたの町に」→「あなたが生活している地域に」。

1146-1152. 外国人とのつき合い\*

あなたは外国人と、次のようなつき合いを、日本国内でしたことがありますか。あればいくつでも選んでください。

コード	
0	非選択
1	選択
9	無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
XFNHLL0	近くに住んでいる外国人とあいさつをかわしたことがある	21.2	25.3	-	-	-	-	-	-
XFNWORK	一緒に働いたことがある	15.2	16.8	-	-	-	-	-	-
XFNSTDY	学校で一緒に勉強したことがある	8.3	9.1	-	-	-	-	-	-
XFNACT	サークルや地域で一緒に活動したことがある	5.7	7.3	-	-	-	-	-	-
XFNMEAL	食事に招待したり、されたりしたことがある	8.9	10.3	-	-	-	-	-	-
XFNSTAY	自分の家に泊めたり、泊まりにいったことがある	4.5	4.9	-	-	-	-	-	-
FFXFNMG	自分または家族や親せきが、日本に住んでいる外国人と結婚している	4.0	4.4	-	-	-	-	-	-
		選択者数		2893	2790	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 では、2001 までの XFNNOMK (いずれも選択していない) は削除した。

1153-1160. 外国人とのつき合い(経験)\*

あなたは外国人と以下のようなつき合いがありますか。あてはまるものすべてに つけてください (過去の経験も含む)。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
XFNWORKX	一緒に働いている (働いていた)	-	-	15.9	10.8	-	-	-	-
XFNSTDYX	学校で一緒に勉強している (していた)	-	-	9.3	5.4	-	-	-	-
XFNASSOX	友人としてつき合っている (つき合っていた)	-	-	9.3	8.2	-	-	-	-
XFNMGX	自分または親せきが、外国人と結婚して日本に住んでいる (住んでいた)	-	-	5.1	4.8	-	-	-	-
XFNHLL0X	外国人とあいさつ程度のつき合いはある (あった)	-	-	12.6	18.1	-	-	-	-
XFNCLUBX	国際交流のグループで一緒に活動している (していた)	-	-	5.4	2.1	-	-	-	-
XFNETCX	その他のグループや地域活動と一緒に参加している (していた)	-	-	5.5	2.8	-	-	-	-
XFNONE	外国人の知り合いはいないし、つき合ったこともない	-	-	-	59.3	-	-	-	-
		選択者数		2953	1957	-	-	-	-

\*調査年度によって質問文ワーディング、選択肢に違いがある。

累積データ 2000-2010 では、2003 までの XFNNOMKX (いずれも選択していない) は削除した。

2003 質問文ワーディング変更: 「あなたは日頃、外国人と顔を合わせる機会がありますか。」 「あなたは外国人と以下のようなつき合いがありますか。」

選択肢ワーディング・提示順変更: 「一緒に働いたことがある」 「一緒に働いている (働いていた)」 「学校で一緒に勉強したことがある」 「学校で一緒に勉強している (していた)」 「友人としてつき合っている / つき合っていた」 「友人としてつき合っている (つき合っていた)」 「自分または家族や親せきが、日本にいる外国人と結婚している」 「自分または親せきが、外国人と結婚して日本に住んでいる (住んでいた)」 「近くに住んでいる外国人とあいさつをしている / していた」 「外国人とあいさつ程度のつき合いはある (あった)」 「国際交流などを目的としたサークルや地域の活動と一緒に参加したことがある」 「国際交流のグループで一緒に活動している (していた)」 「その他のサークルや地域の活動と一緒に参加したことがある」 「その他のグループや地域活動と一緒に参加している (していた)」

選択肢追加: 「外国人の知り合いはいないし、つき合ったこともない」。

1161. FQ4FNR 外国人に近所で会う機会

あなたが生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくある	-	-	-	13.0	-	11.3	12.8	-
2	時々ある	-	-	-	30.4	-	29.4	34.0	-
3	あまりない	-	-	-	34.1	-	31.5	34.7	-
4	まったくない	-	-	-	22.2	-	27.5	18.4	-
9	無回答	-	-	-	0.3	-	0.2	0.1	-
		n		-	1957	-	2124	2160	-
8	非該当	-	-	-	-	-	-	-	-

1162-1179. 外国人増加の影響\*

あなたが生活している地域に外国人が増えると、どのような影響があると思いますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
FNLANG	外国語を学ぶ機会が増える	-	-	-	28.8	-	-	-	-
FNLCULT	外国の文化・風習に触れる機会が増える	-	-	-	38.7	-	-	-	-
FNJCUL	日本固有の文化がそこなわれる	-	-	-	5.8	-	-	-	-
FNUNIQ	日本人の単一性が失なわれる	-	-	-	5.2	-	-	-	-
FNVARTY	社会に多様性が生まれる	-	-	-	33.8	-	-	-	-
FNLOCAL	地域性がそこなわれる	-	-	-	8.4	-	-	-	-
FNLOPOP	過疎地の活性化につながる	-	-	-	7.9	-	-	-	-
FNPREDN	異文化に対する偏見が強くなる	-	-	-	3.0	-	-	-	-
FNPREDN	異文化に対する偏見が弱くなる	-	-	-	21.5	-	-	-	-
FNPEACE	国際平和につながる	-	-	-	19.8	-	-	-	-
FNINTNL	国際情勢への関心が高まる	-	-	-	20.7	-	-	-	-
FNSAFE	治安・風紀が乱れる	-	-	-	38.9	-	-	-	-
FNWORK	一定の職業における労働力が補充される	-	-	-	11.4	-	-	-	-
FNWKCHN	住民の雇用機会が奪われる	-	-	-	9.0	-	-	-	-
FNTAXUP	教育・福祉・住宅などの受け入れ整備のために税金からの負担が増す	-	-	-	9.8	-	-	-	-
FNNONE	特に影響はない	-	-	-	6.8	-	-	-	-
FNNOKNOW	わからない	-	-	-	13.5	-	-	-	-
FNETC	その他(具体的に )	-	-	-	0.4	-	-	-	-
	選択者数				1957				

\*累積データ 2000-2010 では、FNNOMK(いずれも選択していない)を「9 無回答」にリコード。

1180-1190. 次にあげる国・地域について、あなたは好ましい印象をもっていますか、好ましくない印象をもっていますか。あてはまる数字に をつけてください。特に印象がない場合は「0」に をつけてください。

1180. FAVFKOR 外国の好感度:韓国

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	-3 好ましくない	-	-	-	-	-	6.5	-	-
2	-2	-	-	-	-	-	5.1	-	-
3	-1	-	-	-	-	-	10.6	-	-
4	0	-	-	-	-	-	42.3	-	-
5	+1	-	-	-	-	-	16.2	-	-
6	+2	-	-	-	-	-	11.8	-	-
7	+3 好ましい	-	-	-	-	-	4.7	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	2.7	-	-
	n						2124		
88	非該当								

1181. FAVFPRK 外国の好感度:北朝鮮

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	-3 好ましくない	-	-	-	-	-	68.9	-	-
2	-2	-	-	-	-	-	8.1	-	-
3	-1	-	-	-	-	-	4.4	-	-
4	0	-	-	-	-	-	15.2	-	-
5	+1	-	-	-	-	-	0.4	-	-
6	+2	-	-	-	-	-	0.2	-	-
7	+3 好ましい	-	-	-	-	-	0.3	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	2.5	-	-
	n						2124		
88	非該当								

1182. FAVFCHN 外国の好感度:中国

中国

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	-3 好ましくない	-	-	-	-	-	11.6	-	-
2	-2	-	-	-	-	-	10.1	-	-
3	-1	-	-	-	-	-	15.6	-	-
4	0	-	-	-	-	-	38.1	-	-
5	+1	-	-	-	-	-	13.3	-	-
6	+2	-	-	-	-	-	6.2	-	-
7	+3 好ましい	-	-	-	-	-	2.4	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	2.8	-	-
88	非該当	n	-	-	-	-	2124	-	-

1183. FAVFMNG 外国の好感度:モンゴル

モンゴル

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	-3 好ましくない	-	-	-	-	-	2.8	-	-
2	-2	-	-	-	-	-	1.5	-	-
3	-1	-	-	-	-	-	2.6	-	-
4	0	-	-	-	-	-	62.4	-	-
5	+1	-	-	-	-	-	15.9	-	-
6	+2	-	-	-	-	-	7.9	-	-
7	+3 好ましい	-	-	-	-	-	3.8	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	3.2	-	-
88	非該当	n	-	-	-	-	2124	-	-

1184. FAVFTWN 外国の好感度:台湾

台湾

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	-3 好ましくない	-	-	-	-	-	2.5	-	-
2	-2	-	-	-	-	-	1.3	-	-
3	-1	-	-	-	-	-	3.1	-	-
4	0	-	-	-	-	-	55.7	-	-
5	+1	-	-	-	-	-	17.9	-	-
6	+2	-	-	-	-	-	12.5	-	-
7	+3 好ましい	-	-	-	-	-	4.1	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	2.9	-	-
88	非該当	n	-	-	-	-	2124	-	-

1185. FAVFPHL 外国の好感度:フィリピン

フィリピン

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	-3 好ましくない	-	-	-	-	-	3.6	-	-
2	-2	-	-	-	-	-	3.9	-	-
3	-1	-	-	-	-	-	9.0	-	-
4	0	-	-	-	-	-	59.5	-	-
5	+1	-	-	-	-	-	13.7	-	-
6	+2	-	-	-	-	-	5.6	-	-
7	+3 好ましい	-	-	-	-	-	1.8	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	2.8	-	-
88	非該当	n	-	-	-	-	2124	-	-

1186. FAVFTHA 外国の好感度:タイ  
タイ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	-3 好ましくない	-	-	-	-	-	2.4	-	-
2	-2	-	-	-	-	-	1.9	-	-
3	-1	-	-	-	-	-	4.9	-	-
4	0	-	-	-	-	-	61.7	-	-
5	+1	-	-	-	-	-	15.3	-	-
6	+2	-	-	-	-	-	8.2	-	-
7	+3 好ましい	-	-	-	-	-	2.7	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	2.9	-	-
88	非該当	n	-	-	-	-	2124	-	-

1187. FAVFIDN 外国の好感度:インドネシア  
インドネシア

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	-3 好ましくない)	-	-	-	-	-	2.5	-	-
2	-2	-	-	-	-	-	1.6	-	-
3	-1	-	-	-	-	-	4.0	-	-
4	0	-	-	-	-	-	66.1	-	-
5	+1	-	-	-	-	-	13.8	-	-
6	+2	-	-	-	-	-	6.8	-	-
7	+3 好ましい	-	-	-	-	-	2.2	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	2.9	-	-
88	非該当	n	-	-	-	-	2124	-	-

1188. FAVFIND 外国の好感度:インド  
インド

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	-3 好ましくない	-	-	-	-	-	2.6	-	-
2	-2	-	-	-	-	-	2.0	-	-
3	-1	-	-	-	-	-	4.7	-	-
4	0	-	-	-	-	-	63.5	-	-
5	+1	-	-	-	-	-	14.7	-	-
6	+2	-	-	-	-	-	6.9	-	-
7	+3 好ましい	-	-	-	-	-	2.7	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	3.0	-	-
88	非該当	n	-	-	-	-	2124	-	-

1189. FAVFRUS 外国の好感度:ロシア  
ロシア

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	-3 好ましくない	-	-	-	-	-	7.6	-	-
2	-2	-	-	-	-	-	7.3	-	-
3	-1	-	-	-	-	-	14.7	-	-
4	0	-	-	-	-	-	53.0	-	-
5	+1	-	-	-	-	-	9.7	-	-
6	+2	-	-	-	-	-	3.7	-	-
7	+3 好ましい	-	-	-	-	-	1.0	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	3.0	-	-
88	非該当	n	-	-	-	-	2124	-	-



1190. FAVFUSA 外国の好感度:アメリカ  
アメリカ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	-3 好ましくない	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2	-2	-	-	-	-	-	2.4	-	-
3	-1	-	-	-	-	-	5.8	-	-
4	0	-	-	-	-	-	37.4	-	-
5	+1	-	-	-	-	-	21.0	-	-
6	+2	-	-	-	-	-	19.6	-	-
7	+3 好ましい	-	-	-	-	-	8.1	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	2.6	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
88	非該当								

1191-1196. 日本政府が開発途上国を援助することについてどう思いますか。それぞれの意見についてお答えください。

1191. OPADVITL 開発援助:援助は不可欠

日本の援助は途上国の発展のために欠かせない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	15.8	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	53.9	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	19.7	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	-	7.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.6	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1192. OPADOBL 開発援助:援助は義務

経済的に発展した日本にとって、貧しい国を助けることは義務である

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	13.9	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	53.1	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	19.9	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	-	9.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.4	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1193. OPADFIN 開発援助:財政状況に応じて減らすべき

日本の財政状態が悪いときには援助を減らすべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	47.5	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	38.1	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	8.1	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	-	2.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.7	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1194. OPADEXP 開発援助:日本人への説明が不十分

援助の内容が日本国民に十分説明されていない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	65.8	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	24.8	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	3.2	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	-	2.6	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.6	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1195. OPADINFO 開発援助:現地人への伝達が不十分  
日本が援助をしていることが現地の人々に十分伝わっていない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	55.4	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	32.6	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	5.2	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	-	3.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.7	-	-
n		-	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1196. OPADDIPL 開発援助:外交に応じて調整すべき  
外交が有利になるように援助を調整すべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	28.0	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	40.3	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	17.7	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	-	9.4	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	4.6	-	-
n		-	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1197. XADDONAT 開発国支援の経験:募金  
あなたは、開発途上国を支援するための募金に協力したり、途上国に物を送ったりしたことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	49.4	-	-
2	いいえ	-	-	-	-	-	49.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.8	-	-
n		-	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1198. XADVOL 開発国支援の経験:ボランティア  
あなたは、開発途上国の支援に関わる仕事やボランティア活動をしたことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	6.7	-	-
2	いいえ	-	-	-	-	-	92.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.6	-	-
n		-	-	-	-	-	2124	-	-
8	非該当								

1199-1202. 外国との取り引き

あなたが勤めの会社・組織では、原材料・部品・製品のいずれかについて、以下のような外国とのやり取りはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
INTDIMP	外国から輸入している	-	-	-	-	-	-	17.1	-
INTDEXP	外国に輸出している	-	-	-	-	-	-	10.6	-
INTDPRD	外国で生産している	-	-	-	-	-	-	6.6	-
INTDNEX	外国とのやり取りは何もない	-	-	-	-	-	-	73.8	-
	選択者数	-	-	-	-	-	-	2671	-

1203. ENGTALK 英会話のレベル

あなたは、英語でどのくらい会話ができますか。あてはまるものに1つだけをつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	日常生活や仕事の英会話が、充分できる	-	-	0.8	0.7	-	0.8	-	1.1
2	日常生活や仕事の英会話は、なんとかできる程度	-	-	3.0	3.4	-	3.6	-	3.1
3	道をたずねたり、レストランで注文できる程度	-	-	8.2	8.2	-	10.5	-	10.3
4	あいさつができる程度	-	-	29.9	30.0	-	33.3	-	35.5
5	ほとんど話せない	-	-	57.3	57.4	-	51.5	-	50.0
9	無回答	-	-	0.7	0.2	-	0.2	-	0.0
		n	-	2953	1957	-	2124	-	2507
8	非該当								

1204. ENGREAD 英語読解力のレベル

あなたの英語の読解力は、どのくらいですか。あてはまるものに1つだけをつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	英語の本や新聞が、スラスラ読める	-	-	0.9	0.5	-	0.6	-	0.9
2	英語の本や新聞を、なんとか読める	-	-	3.9	4.0	-	4.5	-	3.9
3	短い英語の文章なら読める	-	-	15.1	15.5	-	18.4	-	19.1
4	簡単な英単語ならわかる	-	-	35.3	33.2	-	39.2	-	38.8
5	ほとんど読めない	-	-	44.1	46.7	-	37.0	-	37.2
9	無回答	-	-	0.7	0.2	-	0.3	-	0.0
		n	-	2953	1957	-	2124	-	2507
8	非該当								

1205-1213. 英語の使用\*

あなたは、日常生活や仕事で英語を使いますか。あてはまるものすべてにをつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
EUNO	ほとんど使う機会はない	-	-	85.8	86.1	-	-	-	-
EUTOKI	仕事で時々使う	-	-	4.5	6.0	-	-	-	-
EUYOKU	仕事でよく使う	-	-	0.9	1.1	-	-	-	-
EUFRIEND	外国人の友人や知人とのつき合いで使う	-	-	2.5	3.0	-	-	-	-
EUFAMILY	家族とのコミュニケーションに使う	-	-	1.0	1.9	-	-	-	-
EUHOBBY	趣味・娯楽・海外旅行などで使う	-	-	7.0	6.5	-	-	-	-
EUETC	その他(具体的に )	-	-	0.2	0.2	-	-	-	-
EUCLASS	学校や資格取得で使う	-	-	0.2	-	-	-	-	-
EUKIDS	子ども(孫)に教える	-	-	0.1	0.2	-	-	-	-
		選択者数	-	2953	1957	-	-	-	-

\*2002 に、EUCLASS (英語の使用：学校や資格取得で使う) と EUKIDS (英語の使用：子ども(孫)に教える)、2003 には、EUKIDS (英語の使用：子ども(孫)に教える) を「その他」の具体的記述から追加した。

累積データ 2000-2010 では、2003 までの EUNOMARK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。

2002 追加変数：EUCLASS (英語の使用：学校や資格取得で使う) EUKIDS (英語の使用：子ども(孫)に教える)。

2003 追加変数：EUKIDS (英語の使用：子ども(孫)に教える)。

1214-1221. 過去1年間の英語使用\*

あなたは過去1年間に、以下のことで英語を読んだり、聴いたり、話したりしたことが少しでもありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

- コード  
 0 非選択  
 1 選択  
 8 非該当  
 9 無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
EABUS	仕事	-	-	-	-	-	14.2	-	10.9
EASOC	外国人の友人や知人とのつき合い	-	-	-	-	-	7.4	-	6.1
EAART	映画鑑賞・音楽鑑賞・読書	-	-	-	-	-	26.8	-	23.1
EAINET	インターネット	-	-	-	-	-	9.7	-	9.9
EATRIP	海外旅行	-	-	-	-	-	9.3	-	7.8
EAOTHER	その他(具体的に )	-	-	-	-	-	1.1	-	1.4
EANONE	まったく使ったことがない	-	-	-	-	-	55.6	-	60.7
EALearn	学習	-	-	-	-	-	2.8	-	2.4
選択者数		-	-	-	-	-	2124	-	2507

\*EALearn (過去1年間の英語使用:学習)は、「その他」の具体的記述から追加した。

累積データ 2000-2010 と単年度データとで、変数ラベルに違いがある。

2006 追加変数: EALearn (英語の使用:学習)。

2000-2010 変数ラベル変更: 「英語の使用:仕事」 「過去1年間の英語使用:仕事」 「英語の使用:付き合い」 「過去1年間の英語使用:付き合い」 「英語の使用:映画鑑賞・音楽鑑賞・読書」 「過去1年間の英語使用:映画鑑賞・音楽鑑賞・読書」 「英語の使用:インターネット」 「過去1年間の英語使用:インターネット」 「英語の使用:海外旅行」 「過去1年間の英語使用:海外旅行」 「英語の使用:その他」 「過去1年間の英語使用:その他」 「英語の使用:まったく使ったことがない」 「過去1年間の英語使用:まったく使ったことがない」 「英語の使用:学習」 「過去1年間の英語使用:学習」。

1222-1231. 英語学習・経験\*

英語について、次のような学習・経験をしたことがありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

- コード  
 0 非選択  
 1 選択  
 9 無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
XECLASS	英会話学校や文化教室(カルチャーセンター)	-	-	7.6	-	-	-	-	-
XECIRCLE	学校・地域・職場などの英会話サークル	-	-	7.0	-	-	-	-	-
XEMEDIA	テレビやラジオの英語教育番組やニュース	-	-	11.0	-	-	-	-	-
XESELF	英語教材(テープ・ビデオ・CDなど)を使って自分で学習	-	-	10.8	-	-	-	-	-
XESHANAI	社内研修(国内で実施)	-	-	1.7	-	-	-	-	-
XEOSTRIP	海外旅行	-	-	17.3	-	-	-	-	-
XEOSSTDY	海外留学や海外研修	-	-	2.3	-	-	-	-	-
XEOSJOB	海外での勤務や居住	-	-	1.7	-	-	-	-	-
XEFRIEND	外国人の友人や知人との付き合い	-	-	5.6	-	-	-	-	-
XENONE	上記のいずれも経験はない	-	-	63.0	-	-	-	-	-
選択者数		-	-	2953	-	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 では、XENOMARK(いずれも選択していない)を「9 無回答」にリコード。

1232. XLRNENG 学校外の英語学習の経験

あなたは学校での授業以外に、英語を学習したことがありますか。テレビ・ラジオの英語番組、英会話教室、サークルなどを含みます。

- コード  
 1 現在学習している  
 2 以前学習していたが、現在はしていない  
 3 学習したことはない  
 9 無回答

		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	現在学習している	-	-	-	2.4	-	-	-	-
2	以前学習していたが、現在はしていない	-	-	-	18.5	-	-	-	-
3	学習したことはない	-	-	-	78.8	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.2	-	-	-	-
n		-	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1233. WLRNENG 英語の学習意欲

あなたは今後、英語を学習するつもりですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	積極的に学習するつもり	-	-	-	2.8	-	3.4	-	-
2	機会があれば学習したい	-	-	-	26.8	-	34.1	-	-
3	しかたなく学習する	-	-	-	1.6	-	3.4	-	-
4	学習するつもりはない	-	-	-	68.6	-	58.9	-	-
9	無回答	-	-	-	0.3	-	0.2	-	-
		n	-	-	1957	-	2124	-	-
8	非該当								

1233. WLRNENG に「1 積極的に学習するつもり」「2 機会があれば学習したい」「3 しかたなく学習する」の場合

1234-1247. 英語学習の理由\*

英語学習の理由は何ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ELGRADE	卒業・進級に必要なから	-	-	-	1.5	-	-	-	-
ELGETJOB	就職・転職に役立つから	-	-	-	6.9	-	-	-	-
ELTASK	仕事上役立つから	-	-	-	16.4	-	-	-	-
ELQUALF	資格を得るため	-	-	-	2.0	-	-	-	-
ELPROMO	昇進・昇格に必要なから	-	-	-	0.8	-	-	-	-
ELENOY	英語を学習するのが楽しいから	-	-	-	20.0	-	-	-	-
ELWEST	アメリカやイギリスなどが好きだから	-	-	-	9.8	-	-	-	-
ELVISION	視野を広めたいから	-	-	-	54.0	-	-	-	-
ELNEW	新しいことを学ぶのが好きだから	-	-	-	13.9	-	-	-	-
ELTRAVL	海外旅行のため	-	-	-	44.7	-	-	-	-
ELCHILD	自分の子どもの教育に役立つから	-	-	-	19.5	-	-	-	-
ELINET	インターネットを英語で利用するため	-	-	-	6.7	-	-	-	-
ELMOVIE	英語のニュース・映画などを理解したいから	-	-	-	28.5	-	-	-	-
ELETC	その他(具体的に )	-	-	-	5.7	-	-	-	-
		選択者数	-	-	611	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 では、ELNOMK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。

1248. INTFLANG 興味がある外国語\*

あて英語以外の外国語を学ぶとすれば、あなたは何語を学ぶことに興味がありますか。もっとも興味がある外国語 1 つに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ドイツ語	-	-	-	-	-	6.9	-	-
2	フランス語	-	-	-	-	-	11.7	-	-
3	スペイン語	-	-	-	-	-	3.6	-	-
4	ポルトガル語	-	-	-	-	-	1.4	-	-
5	イタリア語	-	-	-	-	-	6.1	-	-
6	ロシア語	-	-	-	-	-	0.7	-	-
7	中国語	-	-	-	-	-	27.3	-	-
8	ハンゲル(韓国・朝鮮語)	-	-	-	-	-	18.5	-	-
9	アラビア語	-	-	-	-	-	0.4	-	-
10	その他(具体的に )	-	-	-	-	-	1.5	-	-
11	興味がある外国語はない	-	-	-	-	-	7.4	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	14.6	-	-
		n	-	-	-	-	2124	-	-
88	非該当								

\*コード「11 興味がある外国語はない」は、「その他」の具体的記述から追加して作成した。

1249. OPEUWK 仕事での英語の必要性

あなたの仕事にとって、英語の力を高めることはどのくらい役に立つと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても役立つ	-	-	-	-	-	-	-	4.5
2	ある程度役立つ	-	-	-	-	-	-	-	7.6
3	少しは役立つ	-	-	-	-	-	-	-	13.9
4	ほとんど役にたない	-	-	-	-	-	-	-	19.2
5	まったく役にたない	-	-	-	-	-	-	-	14.8
6	仕事はしていない	-	-	-	-	-	-	-	37.3
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	2.6
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2507

1250. OPEUSOC 趣味や人づきあいで英語の必要性

あなたの趣味や人づきあいで、英語の力を高めることはどのくらい役に立つと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても役立つ	-	-	-	-	-	-	-	6.6
2	ある程度役立つ	-	-	-	-	-	-	-	11.6
3	少しは役立つ	-	-	-	-	-	-	-	21.4
4	ほとんど役にたない	-	-	-	-	-	-	-	29.8
5	まったく役にたない	-	-	-	-	-	-	-	30.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.7
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2507

1251. OPTTEED 英語教育の開始学年への意見

学校での英語教育は、どのくらいの時期から始めるのがよいと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	小学校入学前から	-	-	-	-	-	-	-	28.8
2	小学校1・2年生から	-	-	-	-	-	-	-	26.5
3	小学校3・4年生から	-	-	-	-	-	-	-	17.2
4	小学校5・6年生から	-	-	-	-	-	-	-	14.6
5	中学校から	-	-	-	-	-	-	-	11.2
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.6
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2507

1252. XEEBJH 中学校以前の英語教育経験

あなたは、中学校に入る前に英語教育（英会話教室や通信教育を含む）を受けたことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある	-	-	-	-	-	-	-	12.5
2	ない	-	-	-	-	-	-	-	86.8
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.8
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2507

1253. DOPET ペットの有無

あなたの家には、現在ペットがいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	38.2	37.1	-	-	-	-	-	-
2	いいえ	61.7	62.9	-	-	-	-	-	-
9	無回答	0.1	0.0	-	-	-	-	-	-
		n	2893	2790	-	-	-	-	-

1253. DOPET に「1 はい」の場合

1254-1262. ペットの種類\*

その種類は何ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
DODOGE	犬(室外で)	45.1	40.3	-	-	-	-	-	-
DODOGI	犬(室内で)	18.7	21.5	-	-	-	-	-	-
DOCAT	猫	29.0	27.5	-	-	-	-	-	-
DOMAMMAL	ウサギやハムスターなどの小型ほ乳類	9.4	10.7	-	-	-	-	-	-
DOBIRDA	小鳥やニワトリなどの鳥類	10.0	10.3	-	-	-	-	-	-
DOFISHA	熱帯魚や金魚などの魚類	19.3	20.3	-	-	-	-	-	-
DOREPTL	カエル・カメ・トカゲなどの両生類 / は虫類	4.8	5.8	-	-	-	-	-	-
DOINSECT	昆虫類	-	2.9	-	-	-	-	-	-
DOOTHER	その他(具体的に )	0.7	0.6	-	-	-	-	-	-
		選択者数		1105	1034	-	-	-	-

\*2001 で選択肢を追加した。

累積データ 2000-2010 では、2001 までの DOPNOMK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。

2001 選択肢追加:「昆虫類」。

1263-1270. ペットは、あなたにとってどのような存在ですか。

1263. PT4RELA ペットの存在: なごませしてくれる

気持ちをなごませしてくれる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	31.0	33.3	-	-	-	-	-	-
2	そう思う	45.9	46.0	-	-	-	-	-	-
3	少しはそう思う	17.6	16.2	-	-	-	-	-	-
4	そうは思わない	4.1	3.2	-	-	-	-	-	-
9	無回答	1.4	1.4	-	-	-	-	-	-
		n	1105	1034	-	-	-	-	-
8	非該当								

1264. PT4WORTH ペットの存在: はりあいを与えてくれる

生活に、はりあいを与えてくれる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	15.1	18.0	-	-	-	-	-	-
2	そう思う	33.7	30.5	-	-	-	-	-	-
3	少しはそう思う	28.0	29.9	-	-	-	-	-	-
4	そうは思わない	20.8	17.7	-	-	-	-	-	-
9	無回答	2.4	4.0	-	-	-	-	-	-
		n	1105	1034	-	-	-	-	-
8	非該当								

1265. PT4ALONA ペットの存在: 癒してくれる

孤独感や寂しさを癒してくれる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	18.8	22.1	-	-	-	-	-	-
2	そう思う	38.1	34.6	-	-	-	-	-	-
3	少しはそう思う	25.0	27.0	-	-	-	-	-	-
4	そうは思わない	14.9	12.4	-	-	-	-	-	-
9	無回答	3.2	4.0	-	-	-	-	-	-
		n	1105	1034	-	-	-	-	-
8	非該当								

1266. PT4REGUA ペットの存在:規則正しい生活ができる  
世話をすることで、規則正しい生活ができる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	11.9	13.3	-	-	-	-	-	-
2	そう思う	32.1	29.6	-	-	-	-	-	-
3	少しはそう思う	30.0	30.0	-	-	-	-	-	-
4	そうは思わない	23.3	23.7	-	-	-	-	-	-
9	無回答	2.6	3.4	-	-	-	-	-	-
		n	1105	1034	-	-	-	-	-
8	非該当								

1267. PT4NEEDA ペットの存在:自分を必要としてくれる  
ペットは自分を必要としてくれる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	21.7	19.1	-	-	-	-	-	-
2	そう思う	34.7	35.2	-	-	-	-	-	-
3	少しはそう思う	24.5	26.8	-	-	-	-	-	-
4	そうは思わない	16.3	15.5	-	-	-	-	-	-
9	無回答	2.8	3.4	-	-	-	-	-	-
		n	1105	1034	-	-	-	-	-
8	非該当								

1268. PT4FFCOA ペットの存在:コミュニケーションに役立つ  
家族とのコミュニケーションに役立つ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	21.0	23.4	-	-	-	-	-	-
2	そう思う	40.5	40.6	-	-	-	-	-	-
3	少しはそう思う	26.4	24.7	-	-	-	-	-	-
4	そうは思わない	9.5	7.3	-	-	-	-	-	-
9	無回答	2.5	4.1	-	-	-	-	-	-
		n	1105	1034	-	-	-	-	-
8	非該当								

1269. PT4BEINA ペットの存在:生きがいである  
生きがいである

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	10.9	10.9	-	-	-	-	-	-
2	そう思う	21.3	18.1	-	-	-	-	-	-
3	少しはそう思う	29.4	30.8	-	-	-	-	-	-
4	そうは思わない	35.2	35.4	-	-	-	-	-	-
9	無回答	3.3	4.8	-	-	-	-	-	-
		n	1105	1034	-	-	-	-	-
8	非該当								

1270. PT4NETWA ペットの存在:人間関係が広がる  
ペットを通じて人間関係が広がる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	12.7	13.5	-	-	-	-	-	-
2	そう思う	27.6	27.7	-	-	-	-	-	-
3	少しはそう思う	33.6	34.0	-	-	-	-	-	-
4	そうは思わない	23.2	20.8	-	-	-	-	-	-
9	無回答	3.0	4.0	-	-	-	-	-	-
		n	1105	1034	-	-	-	-	-
8	非該当								



1271. PTCARE ペットと過ごす時間

あなたがペットと過ごすのは、平均して1日にどれくらいですか。(世話を含む)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0分	4.1	3.2	-	-	-	-	-	-
	1～10分未満	8.0	8.3	-	-	-	-	-	-
	10～20分未満	13.1	13.2	-	-	-	-	-	-
	20～30分未満	4.6	4.2	-	-	-	-	-	-
	30～40分未満	15.5	15.3	-	-	-	-	-	-
	40～60分未満	1.4	1.3	-	-	-	-	-	-
	1時間～2時間未満	19.5	16.0	-	-	-	-	-	-
	2時間～4時間未満	11.2	12.7	-	-	-	-	-	-
	4時間～6時間未満	6.0	6.9	-	-	-	-	-	-
	6時間～8時間未満	2.4	2.6	-	-	-	-	-	-
	8時間～10時間未満	2.4	2.1	-	-	-	-	-	-
	10時間～12時間未満	3.0	2.5	-	-	-	-	-	-
	12時間～24時間未満	4.8	6.8	-	-	-	-	-	-
	24時間	1.4	1.8	-	-	-	-	-	-
9999	無回答	2.8	3.2	-	-	-	-	-	-
		n	1105	1034	-	-	-	-	-
8888	非該当								

1272. PTHOUR ペットと過ごす時間(時間)

この変数の単純集計は掲載していません。

コード	
実数記入	
888	非該当
999	無回答

1273. PTMIN ペットと過ごす時間(分)

この変数の単純集計は掲載していません。

コード	
実数記入	
888	非該当
999	無回答

1274-1279. ペットの保有

あなたの家では、現在、犬・猫またはその他のペットを飼っていますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
DOPDOGE	犬(室外で)	-	-	-	-	-	11.3	-	-
DOPDOGI	犬(室内で)	-	-	-	-	-	11.3	-	-
DOPCATE	猫(室外で)	-	-	-	-	-	2.7	-	-
DOPCATI	猫(室内で)	-	-	-	-	-	9.2	-	-
DOPOTHR	その他のペット	-	-	-	-	-	7.7	-	-
DOPNONE	何も飼っていない	-	-	-	-	-	64.4	-	-
	選択者数	-	-	-	-	-	2130	-	-

1274. DOPDOGE、1275. DOPDOGI、1276. DOPCATE、1277. DOPCATI、1278. DOPOTHR を選択した場合

1280-1285. 世話をしているペット

あなた自身は、そのペットの世話をしていますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
DOPDOGE	犬(室外で)	-	-	-	-	-	22.6	-	-
DOPDOGI	犬(室内で)	-	-	-	-	-	27.3	-	-
DOPCATE	猫(室外で)	-	-	-	-	-	4.8	-	-
DOPCATI	猫(室内で)	-	-	-	-	-	19.2	-	-
DOPOTHR	その他のペット	-	-	-	-	-	14.6	-	-
DOPCNONE	世話はしていない	-	-	-	-	-	19.3	-	-
選択者数		-	-	-	-	-	755	-	-

1286. XDTHPET ペットの死の経験

あなたは、これまでに、飼っていた犬または猫の死を経験したことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある	-	-	-	-	-	57.2	-	-
2	ない	-	-	-	-	-	39.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.8	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1287-1289. 次の意見について、あなたはどのように思いますか。

1287. OPPTREG ペットへの意見: 厳しく規制

ペットの管理はもっと厳しく規制するべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	41.5	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	39.3	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	11.7	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	-	5.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.3	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1288. OPPTCALM ペットへの意見: 気持ちがなごむ

ペットは気持ちをなごませてくれる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	57.9	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	30.2	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	4.7	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	-	4.4	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.8	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1289. OPPTKILL ペットへの意見: 安楽死

不治の病にかかったペットは安楽死させるべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	20.8	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	26.9	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	27.5	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	-	21.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.7	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1290-1301. あなたは、以下の事項をどのくらい行ないますか。

1290. FQ4DENKI 電気はこまめに消す

電気は、こまめに消す

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	47.7	-	-	-	52.4	-
2	時々する	-	-	36.8	-	-	-	36.7	-
3	あまりしない	-	-	13.1	-	-	-	9.4	-
4	まったくしない	-	-	2.2	-	-	-	1.4	-
9	無回答	-	-	0.2	-	-	-	0.1	-
8	非該当	n	-	2953	-	-	-	2060	-

1291. FQ4WATER 節水の心がけ

節水を心がける

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	40.8	-	-	-	-	-
2	時々する	-	-	37.9	-	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	18.6	-	-	-	-	-
4	全くしない	-	-	2.5	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	0.2	-	-	-	-	-
8	非該当	n	-	2953	-	-	-	-	-

1292. FQ4MEND 故障物は修理して使用

故障した物は修理して使う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	27.1	-	-	-	29.9	-
2	時々する	-	-	44.0	-	-	-	46.0	-
3	あまりしない	-	-	22.8	-	-	-	19.3	-
4	まったくしない	-	-	5.5	-	-	-	4.6	-
9	無回答	-	-	0.6	-	-	-	0.3	-
8	非該当	n	-	2953	-	-	-	2060	-

1293. FQ4RECYC 再生商品の購入

再生(リサイクル)の商品を買う(トイレtpペーパー・ノートなど)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	24.3	-	-	-	27.8	-
2	時々する	-	-	38.8	-	-	-	40.9	-
3	あまりしない	-	-	24.7	-	-	-	21.3	-
4	まったくしない	-	-	11.5	-	-	-	9.2	-
9	無回答	-	-	0.7	-	-	-	0.8	-
8	非該当	n	-	2953	-	-	-	2060	-

1294. FQ4REFIL 詰め替え商品の購入

詰め替え商品を買う(洗剤・シャンプーなど)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	45.6	-	-	-	-	-
2	時々する	-	-	30.2	-	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	14.1	-	-	-	-	-
4	全くしない	-	-	9.2	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	0.9	-	-	-	-	-
8	非該当	n	-	2953	-	-	-	-	-

1295. FQ4NOYAK 無農薬や有機栽培の野菜の購入  
無農薬や有機栽培の野菜を買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	17.1	-	-	-	23.1	-
2	時々する	-	-	34.5	-	-	-	38.4	-
3	あまりしない	-	-	32.6	-	-	-	27.8	-
4	まったくしない	-	-	14.5	-	-	-	10.0	-
9	無回答	-	-	1.2	-	-	-	0.7	-
n		-	-	2953	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1296. FQ4BAG 買物には袋などを持参  
買物には袋などを持参する

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	12.4	-	-	-	33.3	-
2	時々する	-	-	16.4	-	-	-	22.7	-
3	あまりしない	-	-	30.0	-	-	-	19.1	-
4	まったくしない	-	-	40.5	-	-	-	24.4	-
9	無回答	-	-	0.7	-	-	-	0.5	-
n		-	-	2953	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1297. FQ4PACK 包装を簡単にしてもらう  
包装を簡単にしてもらう(本のカバー・ラッピングなど)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	19.1	-	-	-	-	-
2	時々する	-	-	34.2	-	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	26.7	-	-	-	-	-
4	全くしない	-	-	19.1	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	0.9	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1298. FQ4USED リサイクルショップの利用  
リサイクルショップなどを利用する(古着・古本・家具など)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	7.9	-	-	-	-	-
2	時々する	-	-	23.9	-	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	33.0	-	-	-	-	-
4	全くしない	-	-	34.3	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	0.9	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1299. FQ4BUS 公共交通機関の利用  
なるべく公共交通機関を利用する(バス・電車など)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	25.0	-	-	-	26.3	-
2	時々する	-	-	19.9	-	-	-	20.2	-
3	あまりしない	-	-	30.3	-	-	-	30.3	-
4	まったくしない	-	-	24.0	-	-	-	22.9	-
9	無回答	-	-	0.8	-	-	-	0.2	-
n		-	-	2953	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1300. FQ4SORT ゴミは分別して捨てる  
ゴミは分別して捨てる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	77.5	-	-	-	-	-
2	時々する	-	-	14.6	-	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	4.2	-	-	-	-	-
4	全くしない	-	-	3.2	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	0.5	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1301. FQ4TAIHI 生ゴミを堆肥に  
生ゴミを堆肥にしている

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	15.7	-	-	-	-	-
2	時々する	-	-	12.6	-	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	16.5	-	-	-	-	-
4	全くしない	-	-	54.6	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	0.6	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1302-1304. 「国」、「自治体」、「企業」の環境問題への取り組みに、あなたはどのくらい満足していますか。

1302. STECONAT 満足度: 国の環境問題への取り組み

「国」の取り組み

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	満足	-	-	1.4	-	-	-	-	-
2	・	-	-	7.0	-	-	-	-	-
3	・	-	-	41.4	-	-	-	-	-
4	・	-	-	29.2	-	-	-	-	-
5	不満	-	-	18.8	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	2.1	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1303. STECOLOC 満足度: 自治体の環境問題への取り組み

「自治体」の取り組み

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	満足	-	-	2.3	-	-	-	-	-
2	・	-	-	10.7	-	-	-	-	-
3	・	-	-	45.8	-	-	-	-	-
4	・	-	-	25.4	-	-	-	-	-
5	不満	-	-	13.9	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.9	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1304. STECOCO 満足度: 企業の環境問題への取り組み

「企業」の取り組み

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	満足	-	-	1.4	-	-	-	-	-
2	・	-	-	7.9	-	-	-	-	-
3	・	-	-	43.0	-	-	-	-	-
4	・	-	-	28.0	-	-	-	-	-
5	不満	-	-	17.2	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	2.5	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1305-1306. 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

1305. QECOVGE 意見への賛否:環境保護より経済成長を優先

地球環境の保護よりも、経済成長を優先すべきだ。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	-	5.6	-
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	24.0	-
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	45.0	-
4	反対	-	-	-	-	-	-	24.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.4	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1306. QNCVLGE 意見への賛否:環境悪化を防ぐためなら生活が不便になってもかまわない

地球環境の悪化を防ぐためならば、生活が不便になってもかまわない。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	-	-	12.4	-
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	54.7	-
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	25.1	-
4	反対	-	-	-	-	-	-	6.8	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.0	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1307. XPBEPCE 環境保護と企業倫理に基づく購買行動\*

あなたは過去5年間に、環境保護や企業倫理の観点から、特定の企業の商品を買うのをやめたり、積極的に買ったりしたことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある	-	-	-	-	-	-	37.2	18.9
2	ない	-	-	-	-	-	-	62.3	80.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.5	0.5
		n	-	-	-	-	-	2060	2507
8	非該当								

\*調査年度によって選択肢のワーディングに違いがある。

2010 選択肢ワーディング変更:「1 したことがある」「1 ある」、「2 したことがない」「2 ない」。

1308. XPBPDR 政治・外交的理由に基づく購買行動

あなたは過去5年間に、政治や外交的な理由から、特定の国の商品を買うのをやめたり、積極的に買ったりしたことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	したことがある	-	-	-	-	-	-	35.7	-
2	したことがない	-	-	-	-	-	-	63.8	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.5	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1309-1313. エコ商品の利用\*

次の項目で、あなたのご自宅で利用しているものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
DOECSLP	ソーラーパネル(太陽光発電)	-	-	-	-	-	-	4.3	4.0
DOECMNP	深夜電力(深夜電力の割引契約)	-	-	-	-	-	-	12.2	13.3
DOECWC	エコウィル(ガス発電給湯暖冷房システム)・ エコキュート(自然冷媒ヒートポンプ式電気 給湯機)	-	-	-	-	-	-	7.9	7.7
DOECLMC	低公害車(LPG車やハイブリッド車、電気自動 車など)	-	-	-	-	-	-	6.2	4.7
DOECNONE	いずれも利用していない	-	-	-	-	-	-	76.3	78.1
	選択者数	-	-	-	-	-	-	4220	2507

\*調査年度によってワーディングに違いがある。

2010 選択肢ワーディング変更:「低公害車(LPG車やハイブリッド車など)」「低公害車(LPG車やハイブリッド車、電気自動車など)」。

1314. KNOWGMO 遺伝子組換え食品の知識

あなたは、遺伝子組換え食品という言葉を知っていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	聞いたことがある	-	-	-	-	85.2	-	-	-
2	聞いたことがない	-	-	-	-	14.5	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.3	-	-	-
	n	-	-	-	-	2023	-	-	-

1314. KNOWGMO に「1 聞いたことがある」の場合

1315-1322. 遺伝子組換え食品に関する、次のそれぞれの質問にお答えください。

1315. OPGMSAFE 遺伝子組換え食品への意見:安全

遺伝子組換え食品は、安全だと思いますか

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	2.5	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	6.5	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	33.7	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	16.9	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	24.1	-	-	-
6	わからない	-	-	-	-	16.1	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.2	-	-	-
	n	-	-	-	-	1723	-	-	-
8	非該当								

1316. OPGMUSER 遺伝子組換え食品への意見:自分にとって有益

遺伝子組換え食品は、あなた自身にとって有益だと思いますか

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	1.9	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	5.6	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	29.7	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	14.5	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	31.5	-	-	-
6	わからない	-	-	-	-	16.7	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.3	-	-	-
	n	-	-	-	-	1723	-	-	-
8	非該当								

1317. OPGMUSES 遺伝子組換え食品への意見:社会にとって有益  
遺伝子組換え食品は、社会にとって有益だと思いますか

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	3.0	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	11.3	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	30.2	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	13.3	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	23.3	-	-	-
6	わからない	-	-	-	-	18.4	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.5	-	-	-
		n	-	-	-	1723	-	-	-
8	非該当								

1318. OPGMNTRL 遺伝子組換え食品への意見:自然なもの  
遺伝子組換え食品は、自然なものだと感じますか

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	1.1	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	2.5	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	12.8	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	17.3	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	56.1	-	-	-
6	わからない	-	-	-	-	9.8	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.4	-	-	-
		n	-	-	-	1723	-	-	-
8	非該当								

1319. OPGMEAT 遺伝子組換え食品への意見:食べてもよい  
あなたは、遺伝子組換え食品を、食べてもよいと思いますか

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	3.3	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	8.1	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	21.5	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	17.2	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	38.5	-	-	-
6	わからない	-	-	-	-	11.0	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.4	-	-	-
		n	-	-	-	1723	-	-	-
8	非該当								

1320. OPGMSPRD 遺伝子組換え食品への意見:社会への普及  
遺伝子組換え食品が、社会に普及することに賛成ですか

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	1.9	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	4.9	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	24.6	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	15.7	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	38.1	-	-	-
6	わからない	-	-	-	-	14.5	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.4	-	-	-
		n	-	-	-	1723	-	-	-
8	非該当								

1321. OPGMWHAT 遺伝子組換え食品への意見:どのようなものがあるか  
あなたは遺伝子組換え食品として、どのようなものがあるか、理解していると思いますか

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	4.2	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	17.5	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	23.8	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	14.9	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	17.8	-	-	-
6	わからない	-	-	-	-	21.0	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.8	-	-	-
		n	-	-	-	1723	-	-	-
8	非該当								



1322. OPGMHOW 遺伝子組換え食品への意見:どのようにしてできるか

あなたは遺伝子組換え食品が、どのようにしてできるか、理解していると思いますか

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	4.1	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	14.2	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	18.3	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	14.7	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	22.1	-	-	-
6	わからない	-	-	-	-	26.1	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.5	-	-	-
		n	-	-	-	1723	-	-	-
8	非該当								

1323. KWGMCONC 思い浮かぶ遺伝子組換え食品の有無

遺伝子組換え食品と聞いて、何か思い浮かべる農作物や食品はありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある	-	-	-	-	66.0	-	-	-
2	特にない	-	-	-	-	33.7	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.3	-	-	-
		n	-	-	-	1723	-	-	-
8	非該当								

1323. KWGMCONC に「1 ある」の場合

1324. NGMCONC 思い浮かぶ遺伝子組換え食品の個数

どのような農作物や食品を思い浮かべますか、いくつでも記入してください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
記入数	0個	-	-	-	-	0.3	-	-	-
	1個	-	-	-	-	46.0	-	-	-
	2個	-	-	-	-	32.4	-	-	-
	3個	-	-	-	-	11.7	-	-	-
	4個	-	-	-	-	5.1	-	-	-
	5個	-	-	-	-	2.1	-	-	-
	6個	-	-	-	-	1.1	-	-	-
	7個	-	-	-	-	0.4	-	-	-
	8個	-	-	-	-	0.5	-	-	-
	9個	-	-	-	-	0.0	-	-	-
	10個以上	-	-	-	-	0.4	-	-	-
99	無回答	-	-	-	-	0.0	-	-	-
		n	-	-	-	1137	-	-	-
88	非該当								

1325-1333. 遺伝子組換え食品\*

どのような農作物や食品を思い浮かべますか、いくつでも記入してください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	記入なし								
1	記入あり								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
GMCONC1	大豆	-	-	-	-	71.8	-	-	-
GMCONC2	とうもろこし	-	-	-	-	33.5	-	-	-
GMCONC3	じゃがいも	-	-	-	-	9.2	-	-	-
GMCONC4	米	-	-	-	-	7.1	-	-	-
GMCONC5	麦	-	-	-	-	5.2	-	-	-
GMCONC6	トマト	-	-	-	-	3.7	-	-	-
GMCONC7	豆全般・穀類全般	-	-	-	-	9.2	-	-	-
GMCONC8	野菜全般・その他の青果	-	-	-	-	8.4	-	-	-
GMCONC9	青果以外	-	-	-	-	9.6	-	-	-
		記入者数	-	-	-	1137	-	-	-

\*GMCONC1 ~ GMCONC9 は、自由記述の書き出しから作成した。

## 1334. DOCAR 自動車の所持

あなたの家には、自動車はありますか。ご自分の車でない場合も含めてお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある	-	-	-	-	86.2	-	-	-
2	ない	-	-	-	-	13.8	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

## 1334. DOCARに「1 ある」の場合

## 1335-1339. 自動車の種類

次の中からあなたの家にある車をすべて選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
TPCARSTD	普通乗用車(ナンバープレートが白で、5・7から始まる車)	-	-	-	-	79.3	-	-	-
TPCARLG	大型乗用車(ナンバープレートが白で、3から始まる車)	-	-	-	-	17.6	-	-	-
TPCARSM	軽自動車・軽トラック(ナンバープレートが黄色で、4・5から始まる車)	-	-	-	-	43.3	-	-	-
TPCARTK	普通トラック(ナンバープレートが白で、1・4・6から始まる車)	-	-	-	-	7.0	-	-	-
TPCAROTH	その他の車(具体的に )	-	-	-	-	0.5	-	-	-
選択者数		-	-	-	-	1743	-	-	-

1340-1344. 車に関わる次のような費用は、あなたの家の家計にとってどの程度負担になっていますか。それぞれについてお答えください。

## 1340. EXCARGAS 自動車の負担感:ガソリン代

ガソリン代

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても負担になっている	-	-	-	-	17.6	-	-	-
2	やや負担になっている	-	-	-	-	38.4	-	-	-
3	あまり負担になっていない	-	-	-	-	32.4	-	-	-
4	全く負担になっていない	-	-	-	-	9.4	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.3	-	-	-
n		-	-	-	-	1743	-	-	-
8	非該当								

## 1341. EXCARINS 自動車の負担感:保険料・税金

保険料・税金

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても負担になっている	-	-	-	-	23.9	-	-	-
2	やや負担になっている	-	-	-	-	42.3	-	-	-
3	あまり負担になっていない	-	-	-	-	23.4	-	-	-
4	全く負担になっていない	-	-	-	-	8.0	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.4	-	-	-
n		-	-	-	-	1743	-	-	-
8	非該当								

## 1342. EXCARBUY 自動車の負担感:購入代金・ローン

車の購入代金・ローンの返済

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても負担になっている	-	-	-	-	14.0	-	-	-
2	やや負担になっている	-	-	-	-	24.4	-	-	-
3	あまり負担になっていない	-	-	-	-	21.5	-	-	-
4	全く負担になっていない	-	-	-	-	37.1	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	3.0	-	-	-
n		-	-	-	-	1743	-	-	-
8	非該当								

1343. EXCARFIX 自動車の負担感:修理・車検  
修理・車検の代金

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても負担になっている	-	-	-	-	20.0	-	-	-
2	やや負担になっている	-	-	-	-	40.6	-	-	-
3	あまり負担になっていない	-	-	-	-	23.9	-	-	-
4	全く負担になっていない	-	-	-	-	12.5	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.9	-	-	-
		n	-	-	-	1743	-	-	-
8	非該当								

1344. EXCARPRK 自動車の負担感:駐車場の賃貸料  
駐車場の賃貸料

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても負担になっている	-	-	-	-	3.6	-	-	-
2	やや負担になっている	-	-	-	-	9.1	-	-	-
3	あまり負担になっていない	-	-	-	-	9.9	-	-	-
4	全く負担になっていない	-	-	-	-	17.0	-	-	-
5	駐車場は借りていない	-	-	-	-	59.0	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.5	-	-	-
		n	-	-	-	1743	-	-	-
8	非該当								

1345. DOCLCNS 自動車免許の所持

あなたは自動車の運転免許を持っていますか。(二輪車の免許は含みません)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	免許を持っている	-	-	-	-	73.9	-	-	-
2	免許を持っていない	-	-	-	-	25.9	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.2	-	-	-
		n	-	-	-	2023	-	-	-

1345. DOCLCNS に「1 免許を持っている」の場合

1346-1350. あなたは次のような目的で車を運転することがありますか。それぞれについてお答えください。

1346. USCARCMT 自動車の用途:通勤・通学

自分の通勤・通学

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	40.0	-	-	-
2	週に3、4日程度	-	-	-	-	3.9	-	-	-
3	週に1、2日程度	-	-	-	-	2.5	-	-	-
4	月に1、2日程度	-	-	-	-	1.5	-	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	1.5	-	-	-
6	その目的では運転していない	-	-	-	-	46.4	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	4.2	-	-	-
		n	-	-	-	1495	-	-	-
8	非該当								

1347. USCARTFF 自動車の用途:送り迎え

家族の送り迎え

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	8.4	-	-	-
2	週に3、4日程度	-	-	-	-	7.6	-	-	-
3	週に1、2日程度	-	-	-	-	11.4	-	-	-
4	月に1、2日程度	-	-	-	-	16.3	-	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	18.7	-	-	-
6	その目的では運転していない	-	-	-	-	33.5	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	4.1	-	-	-
		n	-	-	-	1495	-	-	-
8	非該当								

1348. USCARSHP 自動車の用途:買物・用事  
日常の買物・用事

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	22.6	-	-	-
2	週に3、4日程度	-	-	-	-	18.9	-	-	-
3	週に1、2日程度	-	-	-	-	29.6	-	-	-
4	月に1、2日程度	-	-	-	-	11.1	-	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	4.5	-	-	-
6	その目的では運転していない	-	-	-	-	11.9	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.4	-	-	-
		n	-	-	-	1495	-	-	-
8	非該当								

1349. USCARWK 自動車の用途:仕事  
仕事中の移動・運搬

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	23.1	-	-	-
2	週に3、4日程度	-	-	-	-	4.8	-	-	-
3	週に1、2日程度	-	-	-	-	5.2	-	-	-
4	月に1、2日程度	-	-	-	-	6.4	-	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	3.7	-	-	-
6	その目的では運転していない	-	-	-	-	52.8	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	3.9	-	-	-
		n	-	-	-	1495	-	-	-
8	非該当								

1350. USCARLSR 自動車の用途:レジャー  
レジャー

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	1.5	-	-	-
2	週に3、4日程度	-	-	-	-	2.1	-	-	-
3	週に1、2日程度	-	-	-	-	14.0	-	-	-
4	月に1、2日程度	-	-	-	-	26.0	-	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	31.5	-	-	-
6	その目的では運転していない	-	-	-	-	21.9	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	3.0	-	-	-
		n	-	-	-	1495	-	-	-
8	非該当								

1351-1356. あなたは自家用車に関する次の意見についてどう思いますか。それぞれについてお答えください。

1351. OPCARDLF 自動車への意見:日常生活に支障  
車がないと日常生活に支障がある

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	60.9	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	14.6	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	7.2	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	4.5	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	10.9	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.9	-	-	-
		n	-	-	-	2023	-	-	-

1352. OPCARFLD 自動車への意見:行動範囲が狭くなる  
車がないと行動範囲が狭くなる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	64.0	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	17.2	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	5.4	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	3.5	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	8.2	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.8	-	-	-
		n	-	-	-	2023	-	-	-

1353. OPCARDRV 自動車への意見:ドライブの楽しみ  
車があるとドライブの楽しみが持てる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	47.1	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	26.3	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	12.3	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	3.8	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	7.9	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.7	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1354. OPCARCST 自動車への意見:費用が高すぎる  
車にかかる費用は高すぎる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	42.8	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	31.6	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	14.9	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	3.8	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	4.3	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.7	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1355. OPCARACC 自動車への意見:事故を起こしやすい  
車は事故を起こしやすい乗り物だ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	27.9	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	29.9	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	24.9	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	7.9	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	7.3	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.1	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1356. OPCARECO 自動車への意見:環境汚染が心配  
車による環境汚染が心配だ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	28.3	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	40.2	-	-	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	19.3	-	-	-
4	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	5.4	-	-	-
5	そう思わない	-	-	-	-	4.8	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.9	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1357-1365. 冷蔵庫・洗たく機などを購入する時、あなたにとって次の項目はどの程度重要ですか。それぞれ最も近いものをつけてください。

1357. IM5PRICE 購入の基準:値段の安さ  
値段の安さ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	41.3	-	-	-	-	-
2	・	-	-	31.9	-	-	-	-	-
3	・	-	-	20.0	-	-	-	-	-
4	・	-	-	3.5	-	-	-	-	-
5	全く重要ではない	-	-	1.8	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.5	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1358. IM5BRAND 購入の基準:メーカー名

メーカー名

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	20.7	-	-	-	-	-
2	・	-	-	33.4	-	-	-	-	-
3	・	-	-	28.3	-	-	-	-	-
4	・	-	-	10.0	-	-	-	-	-
5	全く重要ではない	-	-	6.4	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.3	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1359. IM5FUNC 購入の基準:色々な機能

色々な機能がついている

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	15.4	-	-	-	-	-
2	・	-	-	28.4	-	-	-	-	-
3	・	-	-	35.8	-	-	-	-	-
4	・	-	-	13.0	-	-	-	-	-
5	全く重要ではない	-	-	6.0	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.4	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1360. IM5DESN 購入の基準:色や形の良さ

色や形の良さ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	15.0	-	-	-	-	-
2	・	-	-	29.3	-	-	-	-	-
3	・	-	-	34.4	-	-	-	-	-
4	・	-	-	13.0	-	-	-	-	-
5	全く重要ではない	-	-	6.7	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.6	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1361. IM5LAST 購入の基準:長持ち

長持ちすること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	60.9	-	-	-	-	-
2	・	-	-	27.0	-	-	-	-	-
3	・	-	-	8.9	-	-	-	-	-
4	・	-	-	1.3	-	-	-	-	-
5	全く重要ではない	-	-	0.8	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.2	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1362. IM5SAVE 購入の基準:省エネ・省資源

省エネ・省資源である

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	55.9	-	-	-	-	-
2	・	-	-	28.0	-	-	-	-	-
3	・	-	-	11.6	-	-	-	-	-
4	・	-	-	1.9	-	-	-	-	-
5	全く重要ではない	-	-	1.0	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.5	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1363. IM5RECYC 購入の基準:再生利用が可能  
再生利用(リサイクル)ができる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	29.7	-	-	-	-	-
2	・	-	-	25.0	-	-	-	-	-
3	・	-	-	30.8	-	-	-	-	-
4	・	-	-	8.7	-	-	-	-	-
5	全く重要ではない	-	-	4.1	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.8	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1364. IM5SERV 購入の基準:アフターサービスが充実  
修理・点検などのアフターサービスが充実

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	56.4	-	-	-	-	-
2	・	-	-	25.8	-	-	-	-	-
3	・	-	-	12.2	-	-	-	-	-
4	・	-	-	2.6	-	-	-	-	-
5	全く重要ではない	-	-	1.7	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.3	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1365. IM5TRADE 購入の基準:無料下取りサービス  
無料下取りサービスがある

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要	-	-	49.2	-	-	-	-	-
2	・	-	-	23.7	-	-	-	-	-
3	・	-	-	17.4	-	-	-	-	-
4	・	-	-	4.2	-	-	-	-	-
5	全く重要ではない	-	-	4.2	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.3	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1366-1377. 買物をする時にあなたは、以下のことをよくしますか。

1366. SFQSTK 購買行動:まとめ買い  
数日分の食料品や日用品をまとめ買いする

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	29.6	-	-	-	-
2	たまにする	-	-	-	33.6	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	-	35.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.1	-	-	-	-
n		-	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1367. SFQCHNC 購買行動:ついでの時  
買物はついでの時にする

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	14.4	-	-	-	-
2	たまにする	-	-	-	42.7	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	-	39.9	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	3.0	-	-	-	-
n		-	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1368. SFQIMPLS 購買行動:衝動買い  
衝動買いをする

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	9.5	-	-	-	-
2	たまにする	-	-	-	34.2	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	-	54.1	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.2	-	-	-	-
n		-	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1369. SFQSHOP 購買行動:日用品は特定の店で購入  
食料品や日用品は特定の店で買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	46.8	-	-	-	-
2	たまにする	-	-	-	24.5	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	-	27.1	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.5	-	-	-	-
		n		-	-	-	1957	-	-
8	非該当								

1370. SFQQLTY 購買行動:品質重視  
値段にはあまりこだわらず品質の良い物を買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	22.8	-	-	-	-
2	たまにする	-	-	-	39.7	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	-	36.2	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.3	-	-	-	-
		n		-	-	-	1957	-	-
8	非該当								

1371. SFQSORY 購買行動:買ってから後悔  
買ったあと後悔する

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	6.0	-	-	-	-
2	たまにする	-	-	-	42.3	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	-	50.0	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.8	-	-	-	-
		n		-	-	-	1957	-	-
8	非該当								

1372. SFQADVTS 購買行動:チラシを見て買う  
折り込みチラシなどを見て買物する

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	30.6	-	-	-	-
2	たまにする	-	-	-	30.4	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	-	38.1	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.9	-	-	-	-
		n		-	-	-	1957	-	-
8	非該当								

1373. SFQSAME 購買行動:他人に同調  
他人の持ち物が気になって同じ物を買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	0.6	-	-	-	-
2	たまにする	-	-	-	10.0	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	-	88.0	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.4	-	-	-	-
		n		-	-	-	1957	-	-
8	非該当								

1374. SFQINET 購買行動:インターネットで下調べ  
インターネットで下調べをしてから買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	2.7	-	-	-	-
2	たまにする	-	-	-	8.5	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	-	86.9	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.9	-	-	-	-
		n		-	-	-	1957	-	-
8	非該当								



1375. SFQELEC 購買行動:電化製品はいくつかの店で比較  
電化製品はいくつかの店を見てから買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	27.3	-	-	-	-
2	たまにする	-	-	-	32.5	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	-	38.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.4	-	-	-	-
8	非該当	n	-	-	1957	-	-	-	-

1376. SFQDATE 購買行動:賞味期限を確認  
賞味期限・製造年月日を見てから買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	63.1	-	-	-	-
2	たまにする	-	-	-	19.3	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	-	16.8	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.8	-	-	-	-
8	非該当	n	-	-	1957	-	-	-	-

1377. SFQLOC 購買行動:生産地を確認  
生鮮食料品は産地を確かめてから買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	36.6	-	-	-	-
2	たまにする	-	-	-	29.9	-	-	-	-
3	あまりしない	-	-	-	32.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.8	-	-	-	-
8	非該当	n	-	-	1957	-	-	-	-

## 1378-1391. 4～5年前に比べ、あなたは以下についてどのように変わりましたか。

1378. XSCATL 消費行動の変化:通信販売を利用する  
通信販売を利用する(カタログ・テレビなど)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	14.4	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	24.7	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	16.0	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	43.9	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.9	-	-	-	-
8	非該当	n	-	-	1957	-	-	-	-

1379. XSBRAND 消費行動の変化:高級ブランド品を買う  
高級ブランド品を買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	2.1	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	15.3	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	16.3	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	65.6	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.7	-	-	-	-
8	非該当	n	-	-	1957	-	-	-	-

1380. XSLRNQL 消費行動の変化:資格の講座を受ける  
資格に関する講座を受ける(通信教育も含む)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	4.4	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	11.9	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	12.7	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	69.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.2	-	-	-	-
8	非該当	n	-	-	1957	-	-	-	-

1381. XSCLD 消費行動の変化:趣味の講座を受ける  
趣味や教養の講座を受ける(通信教育も含む)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	4.6	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	14.2	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	11.5	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	68.2	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.5	-	-	-	-
		n	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1382. XSREFIL 消費行動の変化:詰替え商品を買う  
詰替え商品を買う(洗剤・シャンプーなど)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	43.3	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	27.2	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	2.4	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	26.1	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.0	-	-	-	-
		n	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1383. XSRECYC 消費行動の変化:再生商品を買う  
再生商品を買う(トイレットペーパー・ノートなど)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	35.8	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	36.1	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	2.6	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	24.5	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.0	-	-	-	-
		n	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1384. XSRESHOP 消費行動の変化:リサイクルショップを利用する  
リサイクルショップなどを利用する(古着・古本・家具など)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	16.5	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	22.0	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	4.1	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	56.2	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.2	-	-	-	-
		n	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1385. XSAGCHEM 消費行動の変化:無農薬・有機栽培の野菜を買う  
無農薬や有機栽培の野菜を買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	26.6	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	36.3	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	2.6	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	33.2	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.3	-	-	-	-
		n	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1386. XSMEAL 消費行動の変化:健康に気をつけて食事をする  
健康に気をつけて食事をする

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	51.9	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	36.4	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	1.9	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	9.2	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.6	-	-	-	-
		n			1957	-	-	-	-
8	非該当								

1387. XSEXER 消費行動の変化:健康のために運動をする  
健康のために運動をする

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	28.4	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	40.0	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	10.0	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	21.1	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.5	-	-	-	-
		n			1957	-	-	-	-
8	非該当								

1388. XSEATOUT 消費行動の変化:外食をする  
外食をする

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	13.2	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	44.6	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	28.4	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	13.0	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.8	-	-	-	-
		n			1957	-	-	-	-
8	非該当								

1389. XSPRICE 消費行動の変化:値段にこだわって買う  
値段にこだわって買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	31.3	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	47.0	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	5.6	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	15.1	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.0	-	-	-	-
		n			1957	-	-	-	-
8	非該当								

1390. XSQLTY 消費行動の変化:品質にこだわって買う  
品質にこだわって買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくするようになった	-	-	-	32.3	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	49.6	-	-	-	-
3	しないようになった	-	-	-	4.3	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	12.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.0	-	-	-	-
		n			1957	-	-	-	-
8	非該当								

1391. XSJAPAN 消費行動の変化:日本のメーカーの製品を買う  
日本のメーカーの製品を買う

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくなるようになった	-	-	-	26.7	-	-	-	-
2	4～5年前と変わらない	-	-	-	57.2	-	-	-	-
3	しないうようになった	-	-	-	3.5	-	-	-	-
4	以前も今もしたことがない	-	-	-	11.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.9	-	-	-	-
		n	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1392. QPRFDF 意見への賛否:食品は国産のものを好む  
あなたは食品を購入する際に、国産のものを好む方だと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	-	31.7	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	-	33.8	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	-	20.9	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	8.6	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	-	2.0	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	-	2.4	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	-	0.4	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.2	-
		n	-	-	-	-	-	4220	-

1393. PRFJPAPL 意見への賛否:電器製品は日本メーカーを好む  
あなたは電器製品を購入する際に、日本のメーカーのものを好む方だと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	-	27.3	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	-	42.4	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	-	17.2	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	9.2	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	-	1.7	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	-	1.8	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	-	0.3	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.1	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

1394. Q4DEBT 借金への賛否  
「暮らしを豊かにするためには、ある程度の借金をしてもかまわない」という意見についてどう思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	賛成	-	-	-	-	1.7	-	-	-
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	15.4	-	-	-
3	どちらかといえば反対	-	-	-	-	41.7	-	-	-
4	反対	-	-	-	-	40.1	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.1	-	-	-
		n	-	-	-	2023	-	-	-

1395-1398. クレジット・カードに対する次の意見について、あなたはどう思いますか。

1395. OPCDUSFL クレジットカードへの意見:便利  
持っているとも便利だ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	32.6	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	32.3	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	12.1	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	21.6	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.5	-	-	-
		n	-	-	-	2023	-	-	-

1396. OPCDOVER クレジットカードへの意見:使いすぎる  
使いすぎる恐れがある

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	48.0	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	29.5	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	9.9	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	10.8	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.7	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1397. OPCDCRM クレジットカードへの意見:犯罪に利用される  
犯罪に利用される恐れがある

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	60.1	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	29.5	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	4.2	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	4.4	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.7	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1398. OPCDCGM クレジットカードへの意見:宣伝を制限  
宣伝を法律で制限すべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	31.1	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	32.2	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	19.0	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	15.0	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.6	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1399. NUMCARD クレジットカードの所有枚数

あなたは、クレジット・カードを何枚持っていますか。使っていないものも含めてお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	持っていない	-	-	-	-	40.4	-	-	-
1	1枚	-	-	-	-	17.5	-	-	-
2	2枚	-	-	-	-	17.4	-	-	-
3	3枚	-	-	-	-	13.1	-	-	-
4	4枚	-	-	-	-	5.2	-	-	-
5	5枚	-	-	-	-	3.2	-	-	-
6	6枚以上	-	-	-	-	2.6	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.5	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1399. NUMCARD に「1 1枚」「2 2枚」「3 3枚」「4 4枚」「5 5枚」「6 6枚以上」の場合

1400-1403. 次の支払いに、あなたはクレジット・カードをどのくらい利用していますか。

1400. USCDDAY クレジットカードの用途:日常の買い物

日常の買い物

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よく利用する	-	-	-	-	9.7	-	-	-
2	たまに利用する	-	-	-	-	23.0	-	-	-
3	あまり利用しない	-	-	-	-	19.0	-	-	-
4	まったく利用しない	-	-	-	-	46.9	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.4	-	-	-
n		-	-	-	-	1199	-	-	-
8	非該当								

1401. USCDHIGH クレジットカードの用途:高額な買い物  
高額な買い物

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よく利用する	-	-	-	-	15.4	-	-	-
2	たまたに利用する	-	-	-	-	30.6	-	-	-
3	あまり利用しない	-	-	-	-	16.3	-	-	-
4	まったく利用しない	-	-	-	-	36.4	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.3	-	-	-
		n	-	-	-	1199	-	-	-
8	非該当								

1402. USCDEAT クレジットカードの用途:外食の代金  
外食の代金

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よく利用する	-	-	-	-	4.3	-	-	-
2	たまたに利用する	-	-	-	-	8.8	-	-	-
3	あまり利用しない	-	-	-	-	12.9	-	-	-
4	まったく利用しない	-	-	-	-	71.5	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.4	-	-	-
		n	-	-	-	1199	-	-	-
8	非該当								

1403. USCDCHRG クレジットカードの用途:公共料金・通信費  
公共料金・通信費

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よく利用する	-	-	-	-	10.2	-	-	-
2	たまたに利用する	-	-	-	-	8.3	-	-	-
3	あまり利用しない	-	-	-	-	8.6	-	-	-
4	まったく利用しない	-	-	-	-	71.0	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.0	-	-	-
		n	-	-	-	1199	-	-	-
8	非該当								

1404-1407. クレジット・カードの次の機能を、あなたはどのくらい利用していますか。

1404. FNCDONE クレジットカードの機能の利用:1回払い

1回払いの買い物

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よく利用する	-	-	-	-	31.4	-	-	-
2	たまたに利用する	-	-	-	-	25.2	-	-	-
3	あまり利用しない	-	-	-	-	10.3	-	-	-
4	まったく利用しない	-	-	-	-	31.2	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.9	-	-	-
		n	-	-	-	1199	-	-	-
8	非該当								

1405. FNCDINST クレジットカードの機能の利用:分割払い

分割払いの買い物

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よく利用する	-	-	-	-	3.5	-	-	-
2	たまたに利用する	-	-	-	-	17.3	-	-	-
3	あまり利用しない	-	-	-	-	13.2	-	-	-
4	まったく利用しない	-	-	-	-	63.7	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.3	-	-	-
		n	-	-	-	1199	-	-	-
8	非該当								

1406. FNCDREVO クレジットカードの機能の利用:リボ払い  
毎月定額を支払うリボ払い

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よく利用する	-	-	-	-	5.0	-	-	-
2	たまに利用する	-	-	-	-	7.6	-	-	-
3	あまり利用しない	-	-	-	-	8.2	-	-	-
4	まったく利用しない	-	-	-	-	76.3	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.9	-	-	-
		n	-	-	-	1199	-	-	-
8	非該当								

1407. FNCDASH クレジットカードの機能の利用:キャッシング  
現金を引き出すキャッシング

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よく利用する	-	-	-	-	8.7	-	-	-
2	たまに利用する	-	-	-	-	9.5	-	-	-
3	あまり利用しない	-	-	-	-	8.0	-	-	-
4	まったく利用しない	-	-	-	-	71.6	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	2.3	-	-	-
		n	-	-	-	1199	-	-	-
8	非該当								

1408-1411. このところ、無人契約機などで手軽にお金を借りられる消費者金融が普及しています。消費者金融に対する次の意見について、あなたはどのように思いますか。

1408. OPCUSFL 消費者金融への意見:便利  
あると便利だ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	8.5	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	17.3	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	16.1	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	53.9	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	4.2	-	-	-
		n	-	-	-	2023	-	-	-

1409. OPCSOVER 消費者金融への意見:使いすぎる  
使いすぎる恐れがある

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	64.0	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	16.2	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	4.3	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	11.4	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	4.1	-	-	-
		n	-	-	-	2023	-	-	-

1410. OPCSCRM 消費者金融への意見:犯罪に利用される  
犯罪に利用される恐れがある

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	62.5	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	20.4	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	4.7	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	8.4	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	4.0	-	-	-
		n	-	-	-	2023	-	-	-

1411. OPCSCM 消費者金融への意見: 宣伝を制限  
宣伝を法律で制限すべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	48.9	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	24.0	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	10.2	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	12.2	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	4.7	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1412. NUMCONSF 消費者金融の利用回数

あなたは、過去3年の間に消費者金融でお金を借りたことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	まったくない	-	-	-	-	94.0	-	-	-
1	1回ある	-	-	-	-	2.0	-	-	-
2	2~5回ある	-	-	-	-	2.8	-	-	-
3	6~9回ある	-	-	-	-	0.3	-	-	-
4	10回以上ある	-	-	-	-	0.5	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.4	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1412. NUMCONSF に「1 1回ある」「2 2~5回ある」「3 6~9回ある」「4 10回以上ある」の場合

1413-1421. 消費者金融の利用理由

どのような支払いに消費者金融を利用したことがありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
USCSDAY	日常生活費	-	-	-	-	48.2	-	-	-
USCSMD	医療費	-	-	-	-	7.9	-	-	-
USCSEDU	教育費	-	-	-	-	7.9	-	-	-
USCSBUS	事業資金	-	-	-	-	8.8	-	-	-
USCSSOC	友人・知人との交際費	-	-	-	-	14.9	-	-	-
USCSHOB	趣味の費用	-	-	-	-	23.7	-	-	-
USCSCLTH	服飾品の費用	-	-	-	-	10.5	-	-	-
USCSBANK	他の金融機関への支払い	-	-	-	-	19.3	-	-	-
USCSOTHR	その他(具体的に )	-	-	-	-	4.4	-	-	-
選択者数		-	-	-	-	114	-	-	-



1422-1436. 学校の意義\*

学校は、あなたにとってどのような意義がありましたか。あてはまるものすべてに をつけてください。在学中の方は、現在通っている学校について、すでに卒業されている方は、最後に通った学校についてお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
9	無回答								
多重回答									
MSBASIC	基礎的な知識の習得	-	-	64.8	-	-	-	-	-
MSSPEC	専門的な知識の習得	-	-	35.1	-	-	-	-	-
MSJSKILL	仕事に必要な技能の習得	-	-	23.7	-	-	-	-	-
MSQUALF	学歴や資格の取得	-	-	36.5	-	-	-	-	-
MSTALENT	自分の才能をのびせた	-	-	15.3	-	-	-	-	-
MSFRIEND	友達づくり	-	-	62.0	-	-	-	-	-
MSTEACHR	先生から生き方を学ぶ	-	-	16.7	-	-	-	-	-
MSFINDJB	就職が有利になった	-	-	18.3	-	-	-	-	-
MSSPOUSE	配偶者との出会い	-	-	4.4	-	-	-	-	-
MSFRTIME	自由な時間を利用できた	-	-	16.9	-	-	-	-	-
MSETC	その他(具体的に )	-	-	0.5	-	-	-	-	-
MSNONE	特に意義はなかった	-	-	7.4	-	-	-	-	-
MSSPORT	スポーツ・部活動	-	-	0.5	-	-	-	-	-
MSHUMAN	人間関係・社会性	-	-	0.3	-	-	-	-	-
MSMENTAL	精神的成長	-	-	0.2	-	-	-	-	-
選択者数		-	-	2953	-	-	-	-	-

\*MSSPORT (学校の意義: スポーツ・部活動) MSHUMAN (学校の意義: 人間関係・社会性) MSMENTAL (学校の意義: 精神的成長) は、「その他」の具体的な記述から追加した。

累積データ 2000-2010 では、MSNOMARK (いずれも選択していない) を「9 無回答」にリコード。

1437-1444. 教育について次のような意見があります。それぞれについてあなたはどのように思われますか。

1437. OP4EDABI 教育観: 学歴は本人の実力による

学歴は、本人の実力によってほぼ決まる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	26.7	-	-	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	46.8	-	-	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	15.5	-	-	-	-	-
4	そう思わない	-	-	9.9	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.1	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1438. OP4EDPAR 教育観: 学歴は親の教育方針による

学歴は、親の教育方針によってほぼ決まる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	7.0	-	-	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	36.2	-	-	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	34.3	-	-	-	-	-
4	そう思わない	-	-	21.2	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.3	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1439. OP4EDECN 教育観: 学歴は経済的状況による

学歴は、親の収入や資産などの経済的な状況によってほぼ決まる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	10.1	-	-	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	39.7	-	-	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	29.8	-	-	-	-	-
4	そう思わない	-	-	19.0	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.5	-	-	-	-	-
n		-	-	2953	-	-	-	-	-

1440. OP4EDINC 教育観:高い学歴は収入面に恵まれる  
高い学歴を得れば、収入面で恵まれる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	12.7	-	-	11.7	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	39.2	-	-	46.9	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	30.7	-	-	23.7	-	-
4	そう思わない	-	-	16.1	-	-	16.3	-	-
9	無回答	-	-	1.3	-	-	1.4	-	-
	n	-	-	2953	-	-	4254	-	-

1441. OP4EDHI 教育観:子どもには、できるだけ高い学歴を  
子どもには、できるだけ高い学歴をつけさせることが重要だ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	12.3	-	-	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	41.7	-	-	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	31.8	-	-	-	-	-
4	そう思わない	-	-	12.8	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.4	-	-	-	-	-
	n	-	-	2953	-	-	-	-	-

1442. OP4EDUNI 教育観:どの大学かで人生が左右  
同じ大卒でも、どの大学を出るかによって人生が大きく左右される

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	18.3	-	-	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	39.2	-	-	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	27.5	-	-	-	-	-
4	そう思わない	-	-	13.5	-	-	-	-	-
9	無回答	-	-	1.5	-	-	-	-	-
	n	-	-	2953	-	-	-	-	-

1443. OP4EDJOB 教育観:高い学歴で希望職に就ける  
高い学歴を得れば、希望する仕事につくことができる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	9.4	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	43.7	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	25.6	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	-	20.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.3	-	-
	n	-	-	-	-	-	4254	-	-

1444. OP4EDMG 教育観:高い学歴でよい結婚ができる  
高い学歴を得れば、よりよい結婚ができる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	-	3.7	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	18.5	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	36.0	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	-	40.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.5	-	-
	n	-	-	-	-	-	4254	-	-

1445-1448. 一般的に、子どもにとって以下のことはどの程度重要だと思いますか。

1445. IMEDLSSN 重要な教育:習い事

習い事をする事

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	-	-	-	-	-	6.8	-	-
2	重要である	-	-	-	-	-	28.6	-	-
3	少しは重要である	-	-	-	-	-	54.5	-	-
4	重要でない	-	-	-	-	-	8.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.3	-	-
	n	-	-	-	-	-	4254	-	-

1446. IMEDCRAM 重要な教育:塾・予備校  
塾や予備校に通うこと

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	-	-	-	-	-	2.2	-	-
2	重要である	-	-	-	-	-	17.1	-	-
3	少しは重要である	-	-	-	-	-	56.7	-	-
4	重要でない	-	-	-	-	-	22.4	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.6	-	-
n		-	-	-	-	-	4254	-	-

1447. IMEDUNIV 重要な教育:大学  
大学に入ること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	-	-	-	-	-	7.1	-	-
2	重要である	-	-	-	-	-	26.2	-	-
3	少しは重要である	-	-	-	-	-	43.3	-	-
4	重要でない	-	-	-	-	-	21.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.6	-	-
n		-	-	-	-	-	4254	-	-

1448. IMEDHRU 重要な教育:高レベルの大学  
大学のなかでも高いレベルの大学に入ること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重要である	-	-	-	-	-	4.6	-	-
2	重要である	-	-	-	-	-	18.4	-	-
3	少しは重要である	-	-	-	-	-	37.1	-	-
4	重要でない	-	-	-	-	-	38.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.8	-	-
n		-	-	-	-	-	4254	-	-

1449. OPEXED 教育費支出のレベル  
世間一般と比べて、1番上のお子さんにどのぐらい教育費をかけてきましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	平均よりかなり少ない	-	-	-	-	-	2.4	-	-
2	平均より少ない	-	-	-	-	-	12.8	-	-
3	ほぼ平均	-	-	-	-	-	39.5	-	-
4	平均より多い	-	-	-	-	-	15.1	-	-
5	平均よりかなり多い	-	-	-	-	-	4.7	-	-
6	子どもはいない・まだ教育費はかけていない	-	-	-	-	-	24.4	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.1	-	-
n		-	-	-	-	-	4254	-	-

1450. OPEDMND 心の教育への意見

「これからの学校教育は、学力をつけることよりも心を育てることを、特に重視するべきだ」という意見があります。あなたは  
この意見についてどう思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	そう思う	-	-	-	-	31.9	-	-	-
2	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	49.2	-	-	-
3	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	12.0	-	-	-
4	そう思わない	-	-	-	-	5.3	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	1.6	-	-	-
n		-	-	-	-	2023	-	-	-

1451-1454. 小・中学生の頃の経験\*

あなたは小学生や中学生の頃に、塾に通ったり、家庭教師についたりしたことがありますか。半年以上の経験があるものすべてにをつけてください。半年未満またはいずれも経験のない方は、「経験がない」にをつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
9	無回答								
多重回答									
XSJUKU	塾（進学塾や学習塾）	-	-	26.6	-	-	-	-	-
XSTUTOR	家庭教師	-	-	8.0	-	-	-	-	-
XSCORR	通信（添削）教育	-	-	5.4	-	-	-	-	-
XSNONE	経験がない	-	-	66.9	-	-	-	-	-
	選択者数	-	-	2953	-	-	-	-	-

\*累積データ 2000-2010 では、XSNOMARK（いずれも選択していない）を「9 無回答」にリコード。

1455-1456. あなたが 15 歳の頃、ご両親はあなたにどのように接していましたか。お父さんとお母さんのそれぞれについて、最もあてはまる項目を 1 つ選んでください。

1455. PPDGCL15 15 歳の頃の父親のしつけ

父親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	厳しく、一方的にしかることが多かった	-	-	-	-	-	-	12.8	-
2	厳しかったが、あなたの意見も聞き入れてくれた	-	-	-	-	-	-	49.9	-
3	やさしく、何でもいうことを聞いてくれた	-	-	-	-	-	-	20.5	-
4	あなたに無関心だった	-	-	-	-	-	-	6.8	-
5	いなかった	-	-	-	-	-	-	8.2	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.7	-
	n	-	-	-	-	-	-	4220	-

1456. MMDGCL15 15 歳の頃の母親のしつけ

母親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	厳しく、一方的にしかることが多かった	-	-	-	-	-	-	6.4	-
2	厳しかったが、あなたの意見も聞き入れてくれた	-	-	-	-	-	-	52.8	-
3	やさしく、何でもいうことを聞いてくれた	-	-	-	-	-	-	32.7	-
4	あなたに無関心だった	-	-	-	-	-	-	3.7	-
5	いなかった	-	-	-	-	-	-	2.8	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.5	-
	n	-	-	-	-	-	-	4220	-

1457-1459. 5 歳頃の子どものしつけについて A・B の意見があります。あなたの意見は次の 1 ~ 4 のどれにあてはまりますか。

1457. LMTCCBH 子どものしつけ: 行動制限

A 子どもの行動は、親が制限すべきだ。

B 子どもの行動には、親が口出しせず、自由にさせるべきだ。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	A に近い	-	-	-	-	-	-	42.1	-
2	どちらかといえば A	-	-	-	-	-	-	42.3	-
3	どちらかといえば B	-	-	-	-	-	-	12.4	-
4	B に近い	-	-	-	-	-	-	2.6	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.6	-
	n	-	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1458. RPSCCFL 子どものしつけ:気持ちへの配慮

- A 親は子どもの気持ちに配慮すべきだ。  
B 親は子どもの気持ちに左右されるべきでない。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	Aに近い	-	-	-	-	-	-	25.3	-
2	どちらかといえばA	-	-	-	-	-	-	46.9	-
3	どちらかといえばB	-	-	-	-	-	-	20.2	-
4	Bに近い	-	-	-	-	-	-	6.6	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.0	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1459. WNYOCHL 子どものしつけ:他人の子どもへの注意

- A 他人の子どもでも注意をするべきだ。  
B 他人の子どもには、口出しすべきでない。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	Aに近い	-	-	-	-	-	-	40.6	-
2	どちらかといえばA	-	-	-	-	-	-	48.3	-
3	どちらかといえばB	-	-	-	-	-	-	8.8	-
4	Bに近い	-	-	-	-	-	-	1.4	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.9	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1460-1465. この10年間に、あなたの周りでは次の項目がどのように変化しましたか。

1460. XS10YCDH 10年間の変化:家庭のしつけ力

家庭のしつけの力

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	上がった	-	-	-	-	-	-	1.5	-
2	・	-	-	-	-	-	-	2.4	-
3	・	-	-	-	-	-	-	6.9	-
4	・	-	-	-	-	-	-	16.9	-
5	・	-	-	-	-	-	-	25.2	-
6	・	-	-	-	-	-	-	24.0	-
7	下がった	-	-	-	-	-	-	21.3	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.8	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1461. XS10YCDS 10年間の変化:学校のしつけ力

学校のしつけの力

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	上がった	-	-	-	-	-	-	0.7	-
2	・	-	-	-	-	-	-	1.9	-
3	・	-	-	-	-	-	-	6.3	-
4	・	-	-	-	-	-	-	21.0	-
5	・	-	-	-	-	-	-	25.1	-
6	・	-	-	-	-	-	-	23.2	-
7	下がった	-	-	-	-	-	-	19.5	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	2.2	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1462. XS10YCDC 10年間の変化:地域のしつけ力  
地域のしつけの力

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	上がった	-	-	-	-	-	-	0.6	-
2	・	-	-	-	-	-	-	0.9	-
3	・	-	-	-	-	-	-	6.2	-
4	・	-	-	-	-	-	-	19.8	-
5	・	-	-	-	-	-	-	21.4	-
6	・	-	-	-	-	-	-	25.0	-
7	下がった	-	-	-	-	-	-	24.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	2.1	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1463. XS10YPPP 10年間の変化:父親の存在感  
父親の存在感

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	上がった	-	-	-	-	-	-	2.2	-
2	・	-	-	-	-	-	-	3.8	-
3	・	-	-	-	-	-	-	8.5	-
4	・	-	-	-	-	-	-	26.6	-
5	・	-	-	-	-	-	-	26.0	-
6	・	-	-	-	-	-	-	17.6	-
7	下がった	-	-	-	-	-	-	13.5	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.8	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1464. XS10YPPM 10年間の変化:母親の存在感  
母親の存在感

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	上がった	-	-	-	-	-	-	4.1	-
2	・	-	-	-	-	-	-	8.0	-
3	・	-	-	-	-	-	-	15.9	-
4	・	-	-	-	-	-	-	33.0	-
5	・	-	-	-	-	-	-	18.3	-
6	・	-	-	-	-	-	-	10.4	-
7	下がった	-	-	-	-	-	-	8.3	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	2.0	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1465. XS10YMSC 10年間の変化:子どもの道徳意識  
子どもの道徳意識

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	上がった	-	-	-	-	-	-	1.6	-
2	・	-	-	-	-	-	-	2.9	-
3	・	-	-	-	-	-	-	7.3	-
4	・	-	-	-	-	-	-	19.4	-
5	・	-	-	-	-	-	-	22.4	-
6	・	-	-	-	-	-	-	22.4	-
7	下がった	-	-	-	-	-	-	22.3	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.8	-
		n	-	-	-	-	-	2060	-
8	非該当								

1466. XSBULLY 身近な人の校内いじめの有無

あなたの身近な人の中で、学校でいじめ（暴行・恐喝・無視や言葉による暴力など）にあった人はいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	25.9	-	-	-	-
2	いない	-	-	-	41.2	-	-	-	-
3	わからない	-	-	-	32.4	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.5	-	-	-	-
n		-	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1467-1473. 学校でのいじめにより生徒が自殺した場合、それぞれにどれくらい責任があると思いますか。

1467. SUSELF いじめの責任:本人

本人

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなり責任がある	-	-	-	13.2	-	-	-	-
2	ある程度責任がある	-	-	-	47.1	-	-	-	-
3	責任はあまりない	-	-	-	13.7	-	-	-	-
4	責任は全くない	-	-	-	8.2	-	-	-	-
5	わからない	-	-	-	16.9	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.9	-	-	-	-
n		-	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1468. SUBULLY いじめの責任:いじめた生徒

いじめた生徒

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなり責任がある	-	-	-	74.1	-	-	-	-
2	ある程度責任がある	-	-	-	19.4	-	-	-	-
3	責任はあまりない	-	-	-	0.5	-	-	-	-
4	責任は全くない	-	-	-	0.3	-	-	-	-
5	わからない	-	-	-	5.1	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.7	-	-	-	-
n		-	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1469. SUCMATE いじめの責任:それ以外のクラスメート

それ以外のクラスメート(同級生)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなり責任がある	-	-	-	15.2	-	-	-	-
2	ある程度責任がある	-	-	-	60.3	-	-	-	-
3	責任はあまりない	-	-	-	12.0	-	-	-	-
4	責任は全くない	-	-	-	1.6	-	-	-	-
5	わからない	-	-	-	9.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.2	-	-	-	-
n		-	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1470. SUTCHER いじめの責任:クラスの担任

クラスの担任

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなり責任がある	-	-	-	49.9	-	-	-	-
2	ある程度責任がある	-	-	-	40.2	-	-	-	-
3	責任はあまりない	-	-	-	3.1	-	-	-	-
4	責任は全くない	-	-	-	0.6	-	-	-	-
5	わからない	-	-	-	5.4	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.9	-	-	-	-
n		-	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1471. SUSCHL いじめの責任:学校  
学校

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなり責任がある	-	-	-	47.6	-	-	-	-
2	ある程度責任がある	-	-	-	40.1	-	-	-	-
3	責任はあまりない	-	-	-	4.9	-	-	-	-
4	責任は全くない	-	-	-	0.7	-	-	-	-
5	わからない	-	-	-	5.6	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.0	-	-	-	-
		n	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1472. SUFFSLF いじめの責任:本人の保護者  
本人の保護者(親など)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなり責任がある	-	-	-	34.7	-	-	-	-
2	ある程度責任がある	-	-	-	47.1	-	-	-	-
3	責任はあまりない	-	-	-	8.3	-	-	-	-
4	責任は全くない	-	-	-	2.6	-	-	-	-
5	わからない	-	-	-	6.5	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.8	-	-	-	-
		n	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1473. SUFFBUL いじめの責任:いじめた生徒の保護者  
いじめた生徒の保護者

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなり責任がある	-	-	-	50.7	-	-	-	-
2	ある程度責任がある	-	-	-	39.8	-	-	-	-
3	責任はあまりない	-	-	-	3.2	-	-	-	-
4	責任は全くない	-	-	-	0.6	-	-	-	-
5	わからない	-	-	-	5.2	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.6	-	-	-	-
		n	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								

1474. OPCLUBT クラブ活動への教員の立会い

中学校の体育系クラブ活動に、顧問の教員が常時立ち会うべきかどうかが議論されています。

あなたは、教員が常時立ち会うべきだと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	常時立ち会うべきだ	-	-	-	33.2	-	-	-	-
2	できるだけ立ち会うべきだ	-	-	-	46.9	-	-	-	-
3	立ち会うのは、時々でよい	-	-	-	9.2	-	-	-	-
4	立ち会わなくてもよい	-	-	-	1.6	-	-	-	-
5	わからない	-	-	-	8.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.4	-	-	-	-
		n	-	-	1957	-	-	-	-
8	非該当								



1475-1482. 心の健康の相談相手

社会が激しく変化する中で、心の健康が重大な問題になっています。もし、あなたが個人的な悩みやストレスを多く抱え、「ノイローゼかもしれない」と不安になったとしたら、誰に相談したいと思いますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
9	無回答								
多重回答									
WLADFF	家族	-	-	-	-	71.0	-	-	-
WLADFRI	友人・知人・恋人	-	-	-	-	38.5	-	-	-
WLADDDSP	精神科・心療内科の医師	-	-	-	-	32.3	-	-	-
WLADDD	その他の医師	-	-	-	-	8.0	-	-	-
WLADPSY	臨床心理士・カウンセラーなど心理学の専門家	-	-	-	-	13.8	-	-	-
WLADRLGN	僧侶・牧師などの宗教家	-	-	-	-	2.3	-	-	-
WLADOTHR	その他（具体的に )	-	-	-	-	0.6	-	-	-
WLADNONE	誰にも相談しない	-	-	-	-	7.1	-	-	-
	選択者数	-	-	-	-	2023	-	-	-

1483. XCOUNSLR カウンセリングの受療経験(本人)

あなたは、過去5年間に、精神科医やカウンセラーなどが行なうカウンセリング（心理相談）を受けたことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある	-	-	-	-	4.3	-	-	-
2	ない	-	-	-	-	95.2	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.5	-	-	-
	n	-	-	-	-	2023	-	-	-

1483. XCOUNSLR に「2 ない」の場合

1484. WLCOUNSL カウンセリングの受療意欲

「カウンセリング（心理相談）を受けてみたい」と思うことはありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくある	-	-	-	-	0.5	-	-	-
2	時々ある	-	-	-	-	9.2	-	-	-
3	あまりない	-	-	-	-	22.7	-	-	-
4	まったくない	-	-	-	-	57.5	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	10.1	-	-	-
	n	-	-	-	-	1926	-	-	-
8	非該当								

1485. XCOUNSLF カウンセリングの受療経験(家族)

あなたが一緒に暮らしているご家族の中で、過去5年間に、カウンセリング（心理相談）を受けたことがある方はいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	5.5	-	-	-
2	いない	-	-	-	-	78.6	-	-	-
3	誰とも同居していない	-	-	-	-	8.0	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	7.9	-	-	-
	n	-	-	-	-	2023	-	-	-

1486. KWOUNSL カウンセリングの知識

あなたは、一般の人に比べて、カウンセリングや心理学についての知識がある方だと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある程度ある	-	-	-	-	5.1	-	-	-
2	少しはある	-	-	-	-	19.1	-	-	-
3	あまりない	-	-	-	-	36.4	-	-	-
4	まったくない	-	-	-	-	38.4	-	-	-
9	無回答	-	-	-	-	0.9	-	-	-
	n	-	-	-	-	2023	-	-	-

1487. ZTIME B 票面接部分の所要時間  
この変数の単純集計は記載していません。

コード	
888	非該当
999	無回答

1488-1499. これから、あなたがよく話をする人たちについておうかがいします。まず、あなたが重要なことを話したり、悩みを相談する人たちを思い浮かべてください。  
ご自分で後から見て誰かわかるように、このメモ用紙のAからDの四角の中に、お名前あるいは頭文字（イニシャル）、愛称・ニックネームなどを、書き入れてください。4人いなければ、思い浮かぶ人数だけで結構です。誰も思い浮かばなければ何も書かなくて結構です。

1488. Z1NUM 悩みの相談相手: 記入人数  
何人の名前（頭文字など）を書きましたか？

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	0人	-	-	-	8.9	-	-	-	-
1	1人	-	-	-	20.7	-	-	-	-
2	2人	-	-	-	23.3	-	-	-	-
3	3人	-	-	-	19.8	-	-	-	-
4	4人	-	-	-	27.4	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.0	-	-	-	-
n		-	-	-	1706	-	-	-	-
8	非該当								

1488. Z1NUMに「4 4人」の場合  
1489. Z1ELSE 悩みの相談相手: 記入外の人数

それ以外に、あなたが重要なことを話したり悩みを相談する人は何人いますか？

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	0人	-	-	-	42.6	-	-	-	-
1	1人	-	-	-	4.7	-	-	-	-
2	2人	-	-	-	12.6	-	-	-	-
3	3人	-	-	-	6.4	-	-	-	-
4	4人	-	-	-	6.6	-	-	-	-
5	5人	-	-	-	3.4	-	-	-	-
6	6人	-	-	-	1.7	-	-	-	-
7	7人	-	-	-	0.6	-	-	-	-
8	8人	-	-	-	0.9	-	-	-	-
9	10人以上	-	-	-	2.1	-	-	-	-
999	無回答	-	-	-	18.2	-	-	-	-
n		-	-	-	467	-	-	-	-
888	非該当								

1490-1493. Z1XX[A-D] [A-D]への記入の有無  
AからDのうち、名前が記入されていないのはどの欄ですか？  
この変数の単純集計は記載していません。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当

1494-1499. Z1KNOW[AB-CD] [A-C]と[B-D]が知り合いか  
今メモ用紙に書いた人たちは、お互いに知り合いですか？

Z1KNOW[AB-CD] ([AB-CD]にはそれぞれAからDの組み合わせが入る) についての合算集計。  
B票回答者数(1706) × AからDの組み合わせ(6) = 10236 ケース中、該当する知り合いの回答があった 4210 ケースについての分布を示している。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	知り合い	-	-	-	74.6	-	-	-	-
2	知り合いではないと思う	-	-	-	23.6	-	-	-	-
3	わからない	-	-	-	0.6	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.2	-	-	-	-
n		-	-	-	4210	-	-	-	-
4	該当する人はいない								
8	非該当								

1500-1511. 次に、あなたが日本の政治家や選挙・政治について話をする人たちを思い浮かべてください。何かのついでに、少し話題になるという程度でもかまいません。先の質問と同じ人がいても結構です。メモ用紙の E から H の四角の中に、先程の質問と同じように、その人が誰かわかるように書いてください。お名前あるいは頭文字（イニシャル）、愛称・ニックネームなどでも結構です。

1500. Z2NUM 政治的な話題の相手: 記入人数  
何人の名前（頭文字など）を書きましたか？

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	0人	-	-	-	26.1	-	-	-	-
1	1人	-	-	-	26.4	-	-	-	-
2	2人	-	-	-	19.8	-	-	-	-
3	3人	-	-	-	13.6	-	-	-	-
4	4人	-	-	-	14.1	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.0	-	-	-	-
		n	-	-	1706	-	-	-	-
8	非該当								

1500. Z2NUM に「4 人」の場合

1501. Z2ELSE 政治的な話題の相手: 記入外の人数

それ以外に、あなたが日本の政治家や選挙・政治について話をする人は何人いますか？

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0人	-	-	-	46.5	-	-	-	-
	1人	-	-	-	3.3	-	-	-	-
	2人	-	-	-	5.4	-	-	-	-
	3人	-	-	-	4.6	-	-	-	-
	4人	-	-	-	5.4	-	-	-	-
	5人	-	-	-	5.0	-	-	-	-
	6人	-	-	-	4.1	-	-	-	-
	10人以上	-	-	-	11.2	-	-	-	-
999	無回答	-	-	-	14.5	-	-	-	-
		n	-	-	241	-	-	-	-
888	非該当								

1502-1505. Z2XX[E-H] [E-H]欄への記入の有無

E から H のうち、名前が記入されていないのはどの欄ですか？

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当

1506-1511. Z2KNOW[EF-GH] [E-G]と[F-H]が知り合いか

今メモ用紙に書いた人たちは、お互いに知り合いですか？

Z2KNOW[EF-GH] ([EF-GH]にはそれぞれ E から H の組み合わせが入る) についての合算集計。

B 票回答者数(1706) × E から H の組み合わせ(6) = 10236 ケース中、該当する知り合いの回答があった 2479 ケースについての分布を示している。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	知り合い	-	-	-	74.2	-	-	-	-
2	知り合いではないと思う	-	-	-	23.7	-	-	-	-
3	わからない	-	-	-	0.3	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	1.8	-	-	-	-
		n	-	-	2479	-	-	-	-
4	該当する人はいない								
8	非該当								

30 XJOB1WK に「1 仕事をした」「2 仕事をもっているが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」の場合

1512-1523. あなたが仕事について相談したり、仕事上のアドバイスをもらう人たちの思い浮かべてください。先程の質問と同じ人がいても結構です。メモ用紙の I から L の四角の中に、先程の質問と同じように、その人が誰かわかるように書いてください。お名前あるいは頭文字（イニシャル）、愛称・ニックネームなどでも結構です。

1512. Z3NUM 仕事の相談相手: 記入人数  
何人の名前（頭文字など）を書きましたか？

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	0人	-	-	-	13.6	-	-	-	-
1	1人	-	-	-	18.1	-	-	-	-
2	2人	-	-	-	22.2	-	-	-	-
3	3人	-	-	-	19.7	-	-	-	-
4	4人	-	-	-	26.3	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.2	-	-	-	-
n		-	-	-	997	-	-	-	-
8	非該当								

1512. Z3NUM に「4 4人」の場合

1513. Z3ELSE 仕事の相談相手: 記入外の人数

それ以外に、あなたが仕事について相談したり仕事上のアドバイスをもらう人は何人いますか？

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0人	-	-	-	34.4	-	-	-	-
	1人	-	-	-	6.5	-	-	-	-
	2人	-	-	-	13.0	-	-	-	-
	3人	-	-	-	7.3	-	-	-	-
	4人	-	-	-	7.6	-	-	-	-
	5人	-	-	-	2.3	-	-	-	-
	6人	-	-	-	3.8	-	-	-	-
	7人	-	-	-	0.4	-	-	-	-
	8人	-	-	-	0.0	-	-	-	-
	10人以上	-	-	-	5.3	-	-	-	-
999	無回答	-	-	-	19.5	-	-	-	-
n		-	-	-	262	-	-	-	-
888	非該当								

1514-1517. Z3XX[I-L] [I-L]欄への記入の有無

I から L のうち、名前が記入されていないのはどの欄ですか？

この変数の単純集計は記載していません。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当

1518-1523. Z3KNOW[IJ-KL] [I-K]と[J-L]が知り合いか

今メモ用紙に書いた人たちは、お互いに知り合いですか？

Z3KNOW[IJ-KL] ([I-K]にはそれぞれ I から L の組み合わせが入る) についての合算集計。

B 票回答者数(1706) × I から L の組み合わせ(6) = 10236 ケース中、該当する知り合いの回答があった 2393 ケースについての分布を示している。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	知り合い	-	-	-	71.0	-	-	-	-
2	知り合いではないと思う	-	-	-	26.2	-	-	-	-
3	わからない	-	-	-	0.5	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.3	-	-	-	-
n		-	-	-	2393	-	-	-	-
4	該当する人はいない								
8	非該当								

1524-1529. ZSAME[1-6] 同一人物:[1-6]番目

メモ用紙記入例のように、お手元のメモ用紙に、同じ人の四角を線で結んでください。線で結んだ人は、誰と誰ですか。アルファベットでお答えください。

ZSAME1 から ZSAME6 への回答を元に、E から L の知り合いに既存の同一人物がいるかどうかを合算集計。調査票の設計上、知り合い E から H および I から L が既出の知り合いと同一人物であった場合、後の設問への重複する回答は省かれている（非該当として扱われている）。例えば、知り合い E がいることを回答した回答者は 1261 ケースであるが、そのうち 848 ケースが E と既出の知り合いが同一人物であると回答している。そのため、知り合い E に関する後の設問に回答しているケース数は、残る 413 ケースに限られている。ZSAME1 から ZSAME6 の回答をもとにすれば、既出の知り合いへの回答を参照して、省かれた重複する回答を補填することができる。

E		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	A-D の誰かと同一人物	-	-	-	67.2	-	-	-	-
	既出の同一人物はいない	-	-	-	32.8	-	-	-	-
	n	-	-	-	1261	-	-	-	-
F		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	A-D の誰かと同一人物	-	-	-	52.5	-	-	-	-
	既出の同一人物はいない	-	-	-	47.5	-	-	-	-
	n	-	-	-	810	-	-	-	-
G		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	A-D の誰かと同一人物	-	-	-	40.8	-	-	-	-
	既出の同一人物はいない	-	-	-	59.2	-	-	-	-
	n	-	-	-	473	-	-	-	-
H		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	A-D の誰かと同一人物	-	-	-	35.7	-	-	-	-
	既出の同一人物はいない	-	-	-	64.3	-	-	-	-
	n	-	-	-	241	-	-	-	-
I		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	A-D の誰かと同一人物	-	-	-	20.7	-	-	-	-
	E-H の誰かとのみ同一人物	-	-	-	7.6	-	-	-	-
	A-D の誰かと E-H の誰かの両方と同一人物	-	-	-	36.9	-	-	-	-
	既出の同一人物はいない	-	-	-	34.8	-	-	-	-
	n	-	-	-	859	-	-	-	-
J		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	A-D の誰かとのみ同一人物	-	-	-	20.2	-	-	-	-
	E-H の誰かとのみ同一人物	-	-	-	11.2	-	-	-	-
	A-D の誰かと E-H の誰かの両方と同一人物	-	-	-	20.2	-	-	-	-
	既出の同一人物はいない	-	-	-	48.5	-	-	-	-
	n	-	-	-	679	-	-	-	-
K		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	A-D の誰かとのみ同一人物	-	-	-	15.7	-	-	-	-
	E-H の誰かとのみ同一人物	-	-	-	9.0	-	-	-	-
	A-D の誰かと E-H の誰かの両方と同一人物	-	-	-	14.8	-	-	-	-
	既出の同一人物はいない	-	-	-	60.5	-	-	-	-
	n	-	-	-	458	-	-	-	-
L		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	A-D の誰かとのみ同一人物	-	-	-	15.3	-	-	-	-
	E-H の誰かとのみ同一人物	-	-	-	8.0	-	-	-	-
	A-D の誰かと E-H の誰かの両方と同一人物	-	-	-	11.8	-	-	-	-
	既出の同一人物はいない	-	-	-	64.9	-	-	-	-
	n	-	-	-	262	-	-	-	-

1530-1629. あなたが重要なことを話したり、悩みを相談する人たち(Aさん・Bさん・Cさん・Dさん)についてうかがいます。お手元のメモ用紙を見ながらお答えください。

1530. ZSSA から 1629. ZCONOMKD の集計は、A から D の合算。

1530-1573. [A-D]との間柄

その人たちは、あなたにとってどのような間柄ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
多重回答									
ZSS[A-D]	配偶者(夫または妻)	-	-	-	21.2	-	-	-	-
ZKIN1[A-D]	親または子ども	-	-	-	23.8	-	-	-	-
ZKIN2[A-D]	兄弟姉妹・その他の家族・親せき	-	-	-	15.2	-	-	-	-
ZJOBREL[A-D]	職場の上司または部下	-	-	-	2.6	-	-	-	-
ZJOBCOL[A-D]	職場の同僚(上司・部下以外)	-	-	-	4.5	-	-	-	-
ZJOBETC[A-D]	その他の仕事関係	-	-	-	1.6	-	-	-	-
ZTEAM[A-D]	同じ組織や団体に加入している人	-	-	-	2.2	-	-	-	-
ZNEIB[A-D]	近所の人	-	-	-	3.4	-	-	-	-
ZFRIE[A-D]	友人	-	-	-	24.5	-	-	-	-
ZRELET[C[A-D]	その他	-	-	-	1.7	-	-	-	-
ZRLNOMK[A-D]	いずれも選択していない	-	-	-	0.8	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	4026	-	-	-	-

1574-1577. ZSEX[A-D] [A-D]の性別  
その人たちは、男性ですか、女性ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	男性	-	-	-	42.6	-	-	-	-
2	女性	-	-	-	56.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.7	-	-	-	-
n		-	-	-	4026	-	-	-	-
8	非該当								

1578-1581. ZAGE[A-D] [A-D]の年齢  
その人たちの年齢を、以下に記入してください。だいたい年齢で結構です。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	10~19歳	-	-	-	0.4	-	-	-	-
	20~29歳	-	-	-	10.1	-	-	-	-
	30~39歳	-	-	-	17.5	-	-	-	-
	40~49歳	-	-	-	16.4	-	-	-	-
	50~59歳	-	-	-	21.5	-	-	-	-
	60~69歳	-	-	-	19.7	-	-	-	-
	70~79歳	-	-	-	11.1	-	-	-	-
	80歳以上	-	-	-	2.8	-	-	-	-
999	無回答	-	-	-	0.5	-	-	-	-
n		-	-	-	4026	-	-	-	-
888	非該当								

1582-1585. ZKNOWYR[A-D] [A-D]と知り合ってから年数  
その人たちと知り合ったのは、いまから何年前でしたか。だいたい年数で結構です。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0~4年	-	-	-	6.4	-	-	-	-
	5~9年	-	-	-	8.6	-	-	-	-
	10~19年	-	-	-	16.4	-	-	-	-
	20~29年	-	-	-	17.4	-	-	-	-
	30~39年	-	-	-	21.0	-	-	-	-
	40年以上	-	-	-	27.0	-	-	-	-
999	無回答	-	-	-	3.3	-	-	-	-
n		-	-	-	4026	-	-	-	-
888	非該当								

## 1586-1589. ZFQTALK[A-D] [A-D]と会話する頻度

その人たちとあなたは、通常どのくらいの頻度で話をしますか(電話やメールも含みます)。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほとんど毎日	-	-	-	41.0	-	-	-	-
2	週に数回	-	-	-	20.8	-	-	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	16.0	-	-	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	15.5	-	-	-	-
5	年に数回	-	-	-	6.2	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.5	-	-	-	-
		n	-	-	4026	-	-	-	-
8	非該当								

## 1590-1593. ZLSTSCH[A-D] [A-D]の最終学歴

その人たちが最後に通学した(または現在通学している)学校は、次のどれにあたりますか。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	中学校(旧制小学校)	-	-	-	14.2	-	-	-	-
2	高校(旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)	-	-	-	46.0	-	-	-	-
3	短大・高専	-	-	-	8.5	-	-	-	-
4	専門学校	-	-	-	6.0	-	-	-	-
5	大学(旧制高校・大学)・大学院	-	-	-	20.5	-	-	-	-
6	わからない	-	-	-	4.2	-	-	-	-
7	中学校入学前	-	-	-	0.0	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.6	-	-	-	-
		n	-	-	4026	-	-	-	-
8	非該当								

## 1594-1597. ZTP7JOB[A-D] [A-D]の就労地位

その人たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。学生でアルバイトをしている場合は「学生」を選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	自営業主・自由業者・家族従業員	-	-	-	14.3	-	-	-	-
2	経営者・役員	-	-	-	4.1	-	-	-	-
3	正規の職員・社員	-	-	-	25.7	-	-	-	-
4	公務員	-	-	-	6.0	-	-	-	-
5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	-	-	-	14.0	-	-	-	-
6	学生	-	-	-	1.7	-	-	-	-
7	仕事をしていない(専業主婦、退職者など)	-	-	-	33.2	-	-	-	-
8	わからない	-	-	-	0.6	-	-	-	-
99	無回答	-	-	-	0.5	-	-	-	-
		n	-	-	4026	-	-	-	-
88	非該当								

## 1598-1601. ZJOB[A-D] [A-D]の職種

その人たちが現在行なっている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	上級管理職(経営者、役員、部長など)	-	-	-	9.3	-	-	-	-
2	中間管理職(課長、店長など)	-	-	-	7.3	-	-	-	-
3	専門・技術(技術者、教員、弁護士など)	-	-	-	14.8	-	-	-	-
4	事務(総務、経理、企画、営業事務など)	-	-	-	16.5	-	-	-	-
5	販売(小売店主、店員、外交員など)	-	-	-	10.5	-	-	-	-
6	サービス(理美容、調理、家事サービスなど)	-	-	-	12.5	-	-	-	-
7	運輸・通信(運転手、船員、通信員、郵便外務など)	-	-	-	2.7	-	-	-	-
8	保安・警備(守衛、警官、自衛官など)	-	-	-	1.2	-	-	-	-
9	製造・建設(工場作業・建築業者など)	-	-	-	13.8	-	-	-	-
10	農林漁業・鉱業	-	-	-	5.7	-	-	-	-
11	わからない	-	-	-	4.3	-	-	-	-
99	無回答	-	-	-	1.3	-	-	-	-
		n	-	-	2600	-	-	-	-
88	非該当								

1602-1605. ZCLOSE[A-D] [A-D]との親密度  
あなたは、その人たちとのどのくらい親しいですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても親しい	-	-	-	79.7	-	-	-	-
2	親しい	-	-	-	18.6	-	-	-	-
3	それほど親しくない	-	-	-	0.9	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.8	-	-	-	-
		n	-	-	4026	-	-	-	-
8	非該当								

1606-1609. ZPLTALK[A-D] [A-D]との政治的な会話  
その人たちとはこのところ政治家や選挙・政治についてどのくらい話題になりましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	話題になった	-	-	-	36.7	-	-	-	-
2	あまり話題にならなかった	-	-	-	62.4	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	0.9	-	-	-	-
		n	-	-	4026	-	-	-	-
8	非該当								

1610-1613. ZVOTE[A-D] [A-D]が投票する政党  
その人たちは、国政選挙ではどの政党の候補者に投票する（あるいは投票した）と思いますか。1つだけ をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	自民党	-	-	-	30.3	-	-	-	-
2	民主党	-	-	-	8.6	-	-	-	-
3	公明党	-	-	-	3.4	-	-	-	-
5	共産党	-	-	-	1.6	-	-	-	-
6	社民党	-	-	-	1.0	-	-	-	-
7	保守新党	-	-	-	0.0	-	-	-	-
8	その他の政党	-	-	-	0.3	-	-	-	-
9	わからない	-	-	-	48.2	-	-	-	-
10	投票に行かないと思う	-	-	-	4.6	-	-	-	-
11	選挙権がない	-	-	-	0.5	-	-	-	-
99	無回答	-	-	-	1.4	-	-	-	-
		n	-	-	4026	-	-	-	-
88	非該当								

1614-1629. [A-D]とのコミュニケーション  
その人たちについて、次のうちあてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
多重回答									
ZCOHOB[A-D]	共通の趣味や娯楽を持っている	-	-	-	49.2	-	-	-	-
ZCOUTG[A-D]	最近6ヶ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	-	-	-	73.4	-	-	-	-
ZCOMONY[A-D]	まとまったお金を借りることができる	-	-	-	20.7	-	-	-	-
ZCONOMK[A-D]	いずれも選択していない	-	-	-	9.3	-	-	-	-
		選択者数	-	-	4026	-	-	-	-



1630-1729. あなたが日本の政治家や選挙・政治について話をする人たち（Eさん～Hさん）についてうかがいます。お手元のメモ用紙を見ながらお答えください。

1630. ZSSE から 1729. ZCONOMKH の集計は、E から H の合算。

1630-1673. [E-H]との間柄

その人たちは、あなたにとってどのような間柄ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
多重回答									
ZSS[E-H]	配偶者（夫または妻）	-	-	-	6.9	-	-	-	-
ZKIN1[E-H]	親または子ども	-	-	-	15.8	-	-	-	-
ZKIN2[E-H]	兄弟姉妹・その他の家族・親せき	-	-	-	7.1	-	-	-	-
ZJOBREL[E-H]	職場の上司または部下	-	-	-	7.5	-	-	-	-
ZJOBCOL[E-H]	職場の同僚（上司・部下以外）	-	-	-	11.0	-	-	-	-
ZJOBETC[E-H]	その他の仕事関係	-	-	-	6.2	-	-	-	-
ZTEAM[E-H]	同じ組織や団体に加入している人	-	-	-	5.8	-	-	-	-
ZNEIB[E-H]	近所の人	-	-	-	9.4	-	-	-	-
ZFRIE[E-H]	友人	-	-	-	25.5	-	-	-	-
ZRELET[E-H]	その他	-	-	-	3.9	-	-	-	-
ZRLNOMK[E-H]	いずれも選択していない	-	-	-	2.8	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1233	-	-	-	-

1674-1677. ZSEX[E-H] [E-H]の性別

その人たちは、男性ですか、女性ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	男性	-	-	-	64.0	-	-	-	-
2	女性	-	-	-	32.8	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	3.2	-	-	-	-
n		-	-	-	1233	-	-	-	-
8	非該当								

1678-1681. ZAGE[E-H] [E-H]の年齢

その人たちの年齢を、以下に記入してください。だいたい年齢で結構です。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	10～19歳	-	-	-	1.0	-	-	-	-
	20～29歳	-	-	-	7.1	-	-	-	-
	30～39歳	-	-	-	11.5	-	-	-	-
	40～49歳	-	-	-	13.5	-	-	-	-
	50～59歳	-	-	-	26.7	-	-	-	-
	60～69歳	-	-	-	23.0	-	-	-	-
	70～79歳	-	-	-	12.2	-	-	-	-
	80歳以上	-	-	-	2.4	-	-	-	-
999	無回答	-	-	-	2.7	-	-	-	-
n		-	-	-	1233	-	-	-	-
888	非該当								

1682-1685. ZKNOWYR[E-H] [E-H]と知り合ってから年数

その人たちと知り合ったのは、いまから何年前でしたか。だいたい年数で結構です。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0～4年	-	-	-	14.2	-	-	-	-
	5～9年	-	-	-	9.2	-	-	-	-
	10～19年	-	-	-	20.5	-	-	-	-
	20～29年	-	-	-	21.0	-	-	-	-
	30～39年	-	-	-	16.5	-	-	-	-
	40年以上	-	-	-	14.4	-	-	-	-
999	無回答	-	-	-	4.2	-	-	-	-
n		-	-	-	1233	-	-	-	-
888	非該当								

1686-1689. ZFQTALK[E-H] [E-H]と会話する頻度

その人たちとあなたは、通常どのくらいの頻度で話をしますか(電話やメールも含みます)。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほとんど毎日	-	-	-	33.2	-	-	-	-
2	週に数回	-	-	-	20.7	-	-	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	16.2	-	-	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	18.2	-	-	-	-
5	年に数回	-	-	-	9.2	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.4	-	-	-	-
		n	-	-	1233	-	-	-	-
8	非該当								

1690-1693. ZLSTSCH[E-H] [E-H]の最終学歴

その人たちが最後に通学した(または現在通学している)学校は、次のどれにあたりますか。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	中学校(旧制小学校)	-	-	-	11.1	-	-	-	-
2	高校(旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)	-	-	-	38.2	-	-	-	-
3	短大・高専	-	-	-	5.5	-	-	-	-
4	専門学校	-	-	-	4.7	-	-	-	-
5	大学(旧制高校・大学)・大学院	-	-	-	26.3	-	-	-	-
6	わからない	-	-	-	11.8	-	-	-	-
7	中学校入学前	-	-	-	0.1	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.3	-	-	-	-
		n	-	-	1233	-	-	-	-
8	非該当								

1694-1697. ZTP7JOB[E-H] [E-H]の就労地位

その人たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。学生でアルバイトをしている場合は「学生」を選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	自営業主・自由業者・家族従業員	-	-	-	17.5	-	-	-	-
2	経営者・役員	-	-	-	8.6	-	-	-	-
3	正規の職員・社員	-	-	-	24.8	-	-	-	-
4	公務員	-	-	-	7.1	-	-	-	-
5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	-	-	-	11.6	-	-	-	-
6	学生	-	-	-	2.3	-	-	-	-
7	仕事をしていない(専業主婦、退職者など)	-	-	-	24.2	-	-	-	-
8	わからない	-	-	-	1.3	-	-	-	-
99	無回答	-	-	-	2.6	-	-	-	-
		n	-	-	1233	-	-	-	-
88	非該当								

1698-1701. ZJOB[E-H] [E-H]の職種

その人たちが現在行なっている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	上級管理職(経営者、役員、部長など)	-	-	-	18.4	-	-	-	-
2	中間管理職(課長、店長など)	-	-	-	7.1	-	-	-	-
3	専門・技術(技術者、教員、弁護士など)	-	-	-	14.3	-	-	-	-
4	事務(総務、経理、企画、営業事務など)	-	-	-	12.0	-	-	-	-
5	販売(小売店主、店員、外交員など)	-	-	-	9.3	-	-	-	-
6	サービス(理美容、調理、家事サービスなど)	-	-	-	9.4	-	-	-	-
7	運輸・通信(運転手、船員、通信員、郵便外務など)	-	-	-	3.4	-	-	-	-
8	保安・警備(守衛、警官、自衛官など)	-	-	-	1.0	-	-	-	-
9	製造・建設(工場作業・建築業者など)	-	-	-	11.4	-	-	-	-
10	農林漁業・鉱業	-	-	-	6.6	-	-	-	-
11	わからない	-	-	-	6.3	-	-	-	-
99	無回答	-	-	-	0.8	-	-	-	-
		n	-	-	875	-	-	-	-
88	非該当								

1702-1705. ZCLOSE[E-H] [E-H]との親密度  
あなたは、その人たちとのどのくらい親しいですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても親しい	-	-	-	48.6	-	-	-	-
2	親しい	-	-	-	44.0	-	-	-	-
3	それほど親しくない	-	-	-	5.3	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.1	-	-	-	-
		n	-	-	1233	-	-	-	-
8	非該当								

1706-1709. ZPLTALK[E-H] [E-H]との政治的な会話  
その人たちとはこのところ政治家や選挙・政治についてどのくらい話題になりましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	話題になった	-	-	-	67.2	-	-	-	-
2	あまり話題にならなかった	-	-	-	30.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.1	-	-	-	-
		n	-	-	1233	-	-	-	-
8	非該当								

1710-1713. ZVOTE[E-H] [E-H]が投票する政党  
その人たちは、国政選挙ではどの政党の候補者に投票する（あるいは投票した）と思いますか。1つだけ をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	自民党	-	-	-	38.4	-	-	-	-
2	民主党	-	-	-	9.5	-	-	-	-
3	公明党	-	-	-	6.3	-	-	-	-
5	共産党	-	-	-	2.9	-	-	-	-
6	社民党	-	-	-	1.3	-	-	-	-
7	保守新党	-	-	-	0.2	-	-	-	-
8	その他の政党	-	-	-	0.2	-	-	-	-
9	わからない	-	-	-	35.0	-	-	-	-
10	投票に行かないと思う	-	-	-	2.4	-	-	-	-
11	選挙権がない	-	-	-	1.1	-	-	-	-
99	無回答	-	-	-	2.7	-	-	-	-
		n	-	-	1233	-	-	-	-
88	非該当								

1714-1729. [E-H]とのコミュニケーション  
その人たちについて、次のうちあてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
多重回答									
ZCOHOB[E-H]	共通の趣味や娯楽を持っている	-	-	-	49.1	-	-	-	-
ZCOUTG[E-H]	最近6ヶ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	-	-	-	61.0	-	-	-	-
ZCOMONY[E-H]	まとまったお金を借りることができる	-	-	-	12.7	-	-	-	-
ZCONOMK[E-H]	いずれも選択していない	-	-	-	15.7	-	-	-	-
		選択者数	-	-	1233	-	-	-	-

1730-1829. あなたが仕事について相談したり、仕事上のアドバイスをもらう人たち（Iさん～Lさん）についてうかがいます。お手元のメモ用紙を見ながらお答えください。

1730. ZSSI から 1829. ZCONOMKL の集計は、I から L の合算。

1730-1773. [I-L]との間柄

その人たちは、あなたにとってどのような間柄ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
多重回答									
ZSS[I-L]	配偶者（夫または妻）	-	-	-	0.6	-	-	-	-
ZKIN1[I-L]	親または子ども	-	-	-	2.6	-	-	-	-
ZKIN2[I-L]	兄弟姉妹・その他の家族・親せき	-	-	-	2.9	-	-	-	-
ZJOBREL[I-L]	職場の上司または部下	-	-	-	31.9	-	-	-	-
ZJOBCOL[I-L]	職場の同僚（上司・部下以外）	-	-	-	28.9	-	-	-	-
ZJOBETC[I-L]	その他の仕事関係	-	-	-	13.6	-	-	-	-
ZTEAM[I-L]	同じ組織や団体に加入している人	-	-	-	5.6	-	-	-	-
ZNEIB[I-L]	近所の人	-	-	-	2.5	-	-	-	-
ZFRIE[I-L]	友人	-	-	-	10.3	-	-	-	-
ZRELETC[I-L]	その他	-	-	-	1.5	-	-	-	-
ZRLNOMK[I-L]	いずれも選択していない	-	-	-	2.1	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1075	-	-	-	-

1774-1777. ZSEX[I-L] [I-L]の性別

その人たちは、男性ですか、女性ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	男性	-	-	-	61.5	-	-	-	-
2	女性	-	-	-	36.2	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.3	-	-	-	-
n		-	-	-	1075	-	-	-	-
8	非該当								

1778-1781. ZAGE[I-L] [I-L]の年齢

その人たちの年齢を、以下に記入してください。だいたい年齢で結構です。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	10～19歳	-	-	-	0.5	-	-	-	-
	20～29歳	-	-	-	9.1	-	-	-	-
	30～39歳	-	-	-	17.3	-	-	-	-
	40～49歳	-	-	-	24.7	-	-	-	-
	50～59歳	-	-	-	29.2	-	-	-	-
	60～69歳	-	-	-	12.8	-	-	-	-
	70～79歳	-	-	-	3.5	-	-	-	-
	80歳以上	-	-	-	0.1	-	-	-	-
999	無回答	-	-	-	2.8	-	-	-	-
n		-	-	-	1075	-	-	-	-
888	非該当								

1782-1785. ZKNOWYR[I-L] [I-L]と知り合ってから年数

その人たちと知り合ったのは、いまから何年前でしたか。だいたい年数で結構です。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	0～4年	-	-	-	35.8	-	-	-	-
	5～9年	-	-	-	15.9	-	-	-	-
	10～19年	-	-	-	22.1	-	-	-	-
	20～29年	-	-	-	13.5	-	-	-	-
	30～39年	-	-	-	6.0	-	-	-	-
	40年以上	-	-	-	3.7	-	-	-	-
999	無回答	-	-	-	2.9	-	-	-	-
n		-	-	-	1075	-	-	-	-
888	非該当								

1786-1789. ZFQTALK[I-L] [I-L]と会話する頻度

その人たちとあなたは、通常どのくらいの頻度で話をしますか(電話やメールも含みます)。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほとんど毎日	-	-	-	39.0	-	-	-	-
2	週に数回	-	-	-	26.6	-	-	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	13.8	-	-	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	14.0	-	-	-	-
5	年に数回	-	-	-	4.5	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.2	-	-	-	-
		n	-	-	1075	-	-	-	-
8	非該当								

1790-1793. ZLSTSCH[I-L] [I-L]の最終学歴

その人たちが最後に通学した(または現在通学している)学校は、次のどれにあたりますか。なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	中学校(旧制小学校)	-	-	-	4.7	-	-	-	-
2	高校(旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校)	-	-	-	34.7	-	-	-	-
3	短大・高専	-	-	-	6.5	-	-	-	-
4	専門学校	-	-	-	6.7	-	-	-	-
5	大学(旧制高校・大学)・大学院	-	-	-	29.4	-	-	-	-
6	わからない	-	-	-	15.3	-	-	-	-
7	中学校入学前	-	-	-	0.3	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.4	-	-	-	-
		n	-	-	1075	-	-	-	-
8	非該当								

1794-1797. ZTP7JOB[I-L] [I-L]の就労地位

その人たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。学生でアルバイトをしている場合は「学生」を選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	自営業主・自由業者・家族従業員	-	-	-	14.5	-	-	-	-
2	経営者・役員	-	-	-	11.3	-	-	-	-
3	正規の職員・社員	-	-	-	43.7	-	-	-	-
4	公務員	-	-	-	10.1	-	-	-	-
5	パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	-	-	-	13.6	-	-	-	-
6	学生	-	-	-	0.7	-	-	-	-
7	仕事をしていない(専業主婦、退職者など)	-	-	-	3.0	-	-	-	-
8	わからない	-	-	-	0.9	-	-	-	-
99	無回答	-	-	-	2.1	-	-	-	-
		n	-	-	1075	-	-	-	-
88	非該当								

1798-1801. ZJOB[I-L] [I-L]の職種

その人たちが現在行なっている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	上級管理職(経営者、役員、部長など)	-	-	-	16.5	-	-	-	-
2	中間管理職(課長、店長など)	-	-	-	15.7	-	-	-	-
3	専門・技術(技術者、教員、弁護士など)	-	-	-	16.8	-	-	-	-
4	事務(総務、経理、企画、営業事務など)	-	-	-	11.1	-	-	-	-
5	販売(小売店主、店員、外交員など)	-	-	-	7.3	-	-	-	-
6	サービス(理美容、調理、家事サービスなど)	-	-	-	12.7	-	-	-	-
7	運輸・通信(運転手、船員、通信員、郵便外務など)	-	-	-	2.6	-	-	-	-
8	保安・警備(守衛、警官、自衛官など)	-	-	-	0.0	-	-	-	-
9	製造・建設(工場作業・建築業者など)	-	-	-	11.0	-	-	-	-
10	農林漁業・鉱業	-	-	-	3.5	-	-	-	-
11	わからない	-	-	-	2.5	-	-	-	-
99	無回答	-	-	-	0.4	-	-	-	-
		n	-	-	1012	-	-	-	-
88	非該当								

1802-1805. ZCLOSE[I-L] [I-L]との親密度

あなたは、その人たちとのどのくらい親しいですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても親しい	-	-	-	27.9	-	-	-	-
2	親しい	-	-	-	57.5	-	-	-	-
3	それほど親しくない	-	-	-	12.7	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.0	-	-	-	-
n		-	-	-	1075	-	-	-	-
8	非該当								

1806-1809. ZPLTALK[I-L] [I-L]との政治的な会話

その人たちとはこのところ政治家や選挙・政治についてどのくらい話題になりましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	話題になった	-	-	-	18.6	-	-	-	-
2	あまり話題にならなかった	-	-	-	79.2	-	-	-	-
9	無回答	-	-	-	2.2	-	-	-	-
n		-	-	-	1075	-	-	-	-
8	非該当								

1810-1813. ZVOTE[I-L] [I-L]が投票する政党

その人たちは、国政選挙ではどの政党の候補者に投票する（あるいは投票した）と思いますか。1つだけ をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	自民党	-	-	-	20.8	-	-	-	-
2	民主党	-	-	-	4.7	-	-	-	-
3	公明党	-	-	-	1.4	-	-	-	-
5	共産党	-	-	-	0.8	-	-	-	-
6	社民党	-	-	-	0.5	-	-	-	-
7	保守新党	-	-	-	0.0	-	-	-	-
8	その他の政党	-	-	-	0.0	-	-	-	-
9	わからない	-	-	-	65.4	-	-	-	-
10	投票に行かないと思う	-	-	-	3.1	-	-	-	-
11	選挙権がない	-	-	-	0.6	-	-	-	-
99	無回答	-	-	-	2.7	-	-	-	-
n		-	-	-	1075	-	-	-	-
88	非該当								

1814-1829. [I-L]とのコミュニケーション

その人たちについて、次のうちあてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
多重回答									
ZCOHOBBI[I-L]	共通の趣味や娯楽を持っている	-	-	-	34.4	-	-	-	-
ZCOUTGI[I-L]	最近6ヶ月間に、遊びや食事のためにいっしょに出かけたことがある	-	-	-	55.5	-	-	-	-
ZCOMONY[I-L]	まとまったお金を借りることができる	-	-	-	3.6	-	-	-	-
ZCONOMKI[I-L]	いずれも選択していない	-	-	-	27.0	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1075	-	-	-	-

1830-1901. あなたには次のようなお知り合いがいますか。あなたが話をするところがあるくらいよく知っている人のことです。それは男性ですか、女性ですか。どちらもいれば両方に をつけてください。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当

1830-1833. 知り合い: 町内会の役員

町内会・自治会の役員

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKJICHIM	男性がいる	-	-	-	43.6	-	-	-	-
ZKJICHIF	女性がいる	-	-	-	27.7	-	-	-	-
ZKJICHIN	いない	-	-	-	45.8	-	-	-	-
ZKJICHIX	いずれも選択していない	-	-	-	1.3	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

1834-1837. 知り合い: 市民運動団体の役員

ボランティア団体・市民運動団体の役員

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKVOLM	男性がいる	-	-	-	13.9	-	-	-	-
ZKVOLF	女性がいる	-	-	-	15.9	-	-	-	-
ZKVOLN	いない	-	-	-	75.1	-	-	-	-
ZKVOLX	いずれも選択していない	-	-	-	2.1	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

1838-1841. 知り合い: 同業組合の役員

同業組合の役員

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKTRDEM	男性がいる	-	-	-	13.7	-	-	-	-
ZKTRDEF	女性がいる	-	-	-	4.6	-	-	-	-
ZKTRDEN	いない	-	-	-	82.1	-	-	-	-
ZKTRDEX	いずれも選択していない	-	-	-	2.6	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

1842-1845. 知り合い: 労働組合の役員

労働組合の役員

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKUNIM	男性がいる	-	-	-	9.4	-	-	-	-
ZKUNIF	女性がいる	-	-	-	3.2	-	-	-	-
ZKUNIN	いない	-	-	-	86.3	-	-	-	-
ZKUNIX	いずれも選択していない	-	-	-	2.8	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

1846-1849. 知り合い: 役所(市区町村)の役職者

役所・役場(市区町村)の部課長以上の役職者

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKTOWNM	男性がいる	-	-	-	21.7	-	-	-	-
ZKTOWNF	女性がいる	-	-	-	5.4	-	-	-	-
ZKTOWNN	いない	-	-	-	75.0	-	-	-	-
ZKTOWNX	いずれも選択していない	-	-	-	2.1	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

1850-1853. 知り合い: 県庁の役職者

都道府県庁の部課長以上の役職者

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKPREFM	男性がいる	-	-	-	7.9	-	-	-	-
ZKPREFF	女性がいる	-	-	-	1.6	-	-	-	-
ZKPREFN	いない	-	-	-	89.3	-	-	-	-
ZKPREFX	いずれも選択していない	-	-	-	2.3	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

1854-1857. 知り合い: 中央官庁の役職者  
中央官庁(省庁)の部課長以上の役職者

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKGVMTM	男性がいる	-	-	-	4.0	-	-	-	-
ZKGVMTF	女性がいる	-	-	-	1.1	-	-	-	-
ZKGVMTN	いない	-	-	-	92.8	-	-	-	-
ZKGVMTX	いずれも選択していない	-	-	-	2.8	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

1858-1861. 知り合い: 市区町村の首長  
市区町村の首長(市長、村長など)

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKMAYRM	男性がいる	-	-	-	11.4	-	-	-	-
ZKMAYRF	女性がいる	-	-	-	0.6	-	-	-	-
ZKMAYRN	いない	-	-	-	85.9	-	-	-	-
ZKMAYRX	いずれも選択していない	-	-	-	2.4	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

1862-1865. 知り合い: 地方議会議員  
地方議会議員

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKLOCALM	男性がいる	-	-	-	25.7	-	-	-	-
ZKLOCALF	女性がいる	-	-	-	4.2	-	-	-	-
ZKLOCALN	いない	-	-	-	70.8	-	-	-	-
ZKLOCALX	いずれも選択していない	-	-	-	1.6	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

1866-1869. 知り合い: 国会議員  
国会議員

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKDIETM	男性がいる	-	-	-	6.5	-	-	-	-
ZKDIETF	女性がいる	-	-	-	0.7	-	-	-	-
ZKDIETN	いない	-	-	-	90.5	-	-	-	-
ZKDIETX	いずれも選択していない	-	-	-	2.7	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

1870-1873. 知り合い: 政治家の後援会の世話役  
政治家の後援会の世話役(議員秘書も含む)

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKSECRM	男性がいる	-	-	-	9.6	-	-	-	-
ZKSECRF	女性がいる	-	-	-	2.2	-	-	-	-
ZKSECRN	いない	-	-	-	87.3	-	-	-	-
ZKSECRX	いずれも選択していない	-	-	-	2.3	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

1874-1877. 知り合い: マスコミ関係者  
新聞・テレビ等の記者・ディレクター・編集者

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKMEDIAM	男性がいる	-	-	-	5.9	-	-	-	-
ZKMEDIAF	女性がいる	-	-	-	2.0	-	-	-	-
ZKMEDIAN	いない	-	-	-	90.7	-	-	-	-
ZKMEDIAX	いずれも選択していない	-	-	-	2.5	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

1878-1881. 知り合い: 医師  
医師

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKDOCM	男性がいる	-	-	-	38.2	-	-	-	-
ZKDOCF	女性がいる	-	-	-	6.0	-	-	-	-
ZKDOCN	いない	-	-	-	58.1	-	-	-	-
ZKDOCX	いずれも選択していない	-	-	-	1.6	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-



## 1882-1885. 知り合い: 中小企業経営者

## 中小企業経営者

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKSMALLM	男性がいる	-	-	-	33.8	-	-	-	-
ZKSMALLF	女性がいる	-	-	-	6.4	-	-	-	-
ZKSMALLN	いない	-	-	-	61.7	-	-	-	-
ZKSMALLX	いずれも選択していない	-	-	-	2.6	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

## 1886-1889. 知り合い: 保険の勧誘員

## 保険の勧誘員

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKINSM	男性がいる	-	-	-	10.5	-	-	-	-
ZKINSF	女性がいる	-	-	-	26.3	-	-	-	-
ZKINSN	いない	-	-	-	64.1	-	-	-	-
ZKINSX	いずれも選択していない	-	-	-	2.3	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

## 1890-1893. 知り合い: 銀行員

## 銀行員

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKBANKM	男性がいる	-	-	-	27.4	-	-	-	-
ZKBANKF	女性がいる	-	-	-	11.0	-	-	-	-
ZKBANKN	いない	-	-	-	64.6	-	-	-	-
ZKBANKX	いずれも選択していない	-	-	-	1.9	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

## 1894-1897. 知り合い: 工場作業員

## 工場作業員

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKFCTRYM	男性がいる	-	-	-	29.4	-	-	-	-
ZKFCTRYF	女性がいる	-	-	-	8.6	-	-	-	-
ZKFCTRYN	いない	-	-	-	65.9	-	-	-	-
ZKFCTRYX	いずれも選択していない	-	-	-	2.4	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

## 1898-1901. 知り合い: 情報技術者

## コンピュータ・プログラマー、情報処理技術者

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
ZKCOMP M	男性がいる	-	-	-	20.9	-	-	-	-
ZKCOMP F	女性がいる	-	-	-	6.8	-	-	-	-
ZKCOMP N	いない	-	-	-	74.6	-	-	-	-
ZKCOMP X	いずれも選択していない	-	-	-	2.3	-	-	-	-
選択者数		-	-	-	1706	-	-	-	-

937. XCARE に「2 現在行なっている」「3 過去に行なったことがある」の場合

1902-1905. 介護の相手(本人)

それは誰への介護ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
XC2SS	配偶者	-	-	-	-	-	20.6	-	-
XC2PM	あなたの親	-	-	-	-	-	46.6	-	-
XC2SSPM	配偶者の親	-	-	-	-	-	34.2	-	-
XC2OTHR	その他 ( )	-	-	-	-	-	10.5	-	-
選択者数		-	-	-	-	-	620	-	-

1906-1909. 以下の項目は、家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号(1~5)を1つ選んでください。

1906. OP5SRWFE 国か家族か:高齢者の生活保障(EASS 尺度)

高齢者の生活保障(生活費)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	家族の責任	-	-	-	-	-	4.6	-	-
2	・	-	-	-	-	-	9.4	-	-
3	・	-	-	-	-	-	27.1	-	-
4	・	-	-	-	-	-	29.5	-	-
5	国や自治体の責任	-	-	-	-	-	28.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.2	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1907. OP5SRMDE 国か家族か:高齢者の医療・介護(EASS 尺度)

高齢者の医療・介護

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	家族の責任	-	-	-	-	-	3.3	-	-
2	・	-	-	-	-	-	6.3	-	-
3	・	-	-	-	-	-	23.7	-	-
4	・	-	-	-	-	-	33.3	-	-
5	国や自治体の責任	-	-	-	-	-	32.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.3	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1908. OP5CCEDE 国か家族か:子どもの教育費(EASS 尺度)

子どもの教育費

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	家族の責任	-	-	-	-	-	16.5	-	-
2	・	-	-	-	-	-	22.8	-	-
3	・	-	-	-	-	-	32.3	-	-
4	・	-	-	-	-	-	16.1	-	-
5	国や自治体の責任	-	-	-	-	-	10.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.1	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1909. OP5CCREE 国か家族か:保育・育児(EASS 尺度)

保育・育児

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	家族の責任	-	-	-	-	-	20.6	-	-
2	・	-	-	-	-	-	21.8	-	-
3	・	-	-	-	-	-	30.6	-	-
4	・	-	-	-	-	-	15.5	-	-
5	国や自治体の責任	-	-	-	-	-	9.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.0	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1910. APPCCSXE 希望する子どもの性別(EASS 尺度)

もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	男の子	-	-	-	-	-	23.2	-	-
2	女の子	-	-	-	-	-	29.1	-	-
3	どちらでもよい	-	-	-	-	-	47.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.4	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1911-1912. 「結婚した男性は、自分の親を経済的に支援すべきだ」という意見について、どう思いますか。「結婚した女性は、自分の親を経済的に支援すべきだ」という意見については、どうでしょうか。それぞれの場合について、お答えください。

1911. OPISMM 世代間援助への意見:既婚男性から自分の親

結婚した男性 自分の親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	7.0	-	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	24.9	-	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	23.6	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	30.7	-	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	5.2	-	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	5.4	-	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	1.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.1	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1912. OPISMW 世代間援助への意見:既婚女性から自分の親

結婚した女性 自分の親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	3.4	-	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	15.0	-	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	21.2	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	38.7	-	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	8.7	-	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	7.9	-	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	1.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.8	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1913-1914. 「18歳以上の未婚の男性は、自分の親を経済的に支援すべきだ」という意見については、どうでしょうか。「18歳以上の未婚の女性は、自分の親を経済的に支援すべきだ」という意見については、どうでしょうか。それぞれの場合について、お答えください。

1913. OPISUM 世代間援助への意見: 未婚男性から自分の親

未婚の男性 自分の親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	4.1	-	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	16.4	-	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	21.5	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	34.7	-	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	8.1	-	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	10.6	-	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	1.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.0	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1914. OPISUW 世代間援助への意見: 未婚女性から自分の親

未婚の女性 自分の親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	2.9	-	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	13.4	-	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	20.7	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	36.9	-	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	8.9	-	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	10.5	-	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	1.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	4.8	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1915-1916. 「結婚した男性は、妻の親を経済的に支援すべきだ」という意見について、どう思いますか。「結婚した女性は、夫の親を経済的に支援すべきだ」という意見については、どうでしょうか。それぞれの場合について、お答えください。

1915. OPISMSS 世代間援助への意見: 既婚男性から妻の親

結婚した男性 妻の親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	3.1	-	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	13.0	-	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	21.2	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	40.3	-	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	9.6	-	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	9.2	-	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	1.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.1	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1916. OPISMWSS 世代間援助への意見: 既婚女性から夫の親

結婚した女性 夫の親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	2.9	-	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	12.8	-	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	21.3	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	39.4	-	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	9.2	-	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	9.2	-	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	1.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.6	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1917. OPPPCARE 老親の世話の責任

一般的に、年老いた親の世話は、どの子ども（またはその家族）に責任があると思いますか。次のなかからあてはまるもの1つにをつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	長男	-	-	-	-	-	15.6	-	-
2	息子の誰か	-	-	-	-	-	2.8	-	-
3	娘の誰か	-	-	-	-	-	0.4	-	-
4	子どもの誰か	-	-	-	-	-	9.7	-	-
5	子ども全員	-	-	-	-	-	63.2	-	-
6	子どもに責任はない	-	-	-	-	-	6.1	-	-
7	その他（具体的に）	-	-	-	-	-	1.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.7	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1918-1923. 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

1918. Q7FFAUTH 家系継承規範：父親の権威を尊重\*

どのような状況においても、父親の権威は尊重されるべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	4.5	3.8	-
2	賛成	-	-	-	-	-	20.3	18.6	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	29.9	36.3	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	34.6	29.6	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	5.4	5.9	-
6	反対	-	-	-	-	-	3.9	4.4	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	0.7	1.3	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.7	0.1	-
		n	-	-	-	-	2130	2160	-
8	非該当								

\*調査年度によって変数ラベルに違いがある。

2008 変数ラベル変更：「家系継承規範：父親の権威を尊重」→「意見への賛否：父親の権威を尊重」。

1919. Q7FFHNR 家系継承規範：子どもは親の誇りに

親の誇りとなるように、子どもは努力するべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	3.2	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	15.5	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	25.3	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	36.4	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	9.5	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	7.4	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	2.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.7	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1920. Q7FFMAN 家系継承規範：長男が多く相続

長男が、多くの財産を相続するべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	1.8	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	6.2	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	13.7	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	53.1	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	8.9	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	12.3	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	3.4	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.6	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1921. Q7FFCARE 家系継承規範: 親の世話をした子が多く相続  
親の世話をした子どもが、多くの財産を相続するべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	10.0	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	29.7	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	36.7	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	19.9	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	1.4	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	1.1	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	0.6	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.6	-	-
8	非該当	n	-	-	-	-	2130	-	-

1922. Q7FFNDMN 家系継承規範: 息子が必要  
家系の存続のためには、息子を少なくとも1人もつべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	5.8	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	18.5	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	18.7	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	42.4	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	4.5	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	7.2	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	2.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.7	-	-
8	非該当	n	-	-	-	-	2130	-	-

1923. Q7FFGRV 家系継承規範: 墓を守る  
先祖伝来の墓は、大切に守って子どもに伝えるべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	16.6	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	38.5	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	24.4	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	16.2	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	2.0	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	1.2	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	0.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.6	-	-
8	非該当	n	-	-	-	-	2130	-	-

1924-1925. 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

1924. Q7PRMAN 家優先規範: 妻より夫の親族を優先

夫と妻の両方の親族が、妻の助けを必要としている時には、妻は夫の親族を優先して助けるべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	1.5	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	8.0	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	13.8	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	57.1	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	8.7	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	7.9	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	2.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.6	-	-
8	非該当	n	-	-	-	-	2130	-	-

1925. Q7PRFF 家優先規範: 自分より家族を優先  
自分の幸福よりも、家族の幸福や利益を優先するべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	4.5	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	17.7	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	29.7	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	37.8	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	6.3	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	2.8	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	0.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.6	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1926. PMDTH 両親の存否

あなたご自身のご両親との関係についておうかがいします。あなた自身のご両親はご存命ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	両親とも存命	-	-	-	-	-	34.4	-	-
2	父親のみ存命	-	-	-	-	-	3.2	-	-
3	母親のみ存命	-	-	-	-	-	20.7	-	-
4	両親ともすでに亡くなっている	-	-	-	-	-	41.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.0	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1926. PMDTH に「1 両親とも存命」「2 父親のみ存命」「3 母親のみ存命」の場合

1927-1928. 過去1年間に、あなたはご自身の親へ、次のことをどの程度しましたか。

1927. HLPE2PM 世代間の経済的援助: 回答者から両親

経済的な支援

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に頻繁に	-	-	-	-	-	4.3	-	-
2	頻繁に	-	-	-	-	-	6.9	-	-
3	時々	-	-	-	-	-	19.0	-	-
4	ほとんどない	-	-	-	-	-	28.7	-	-
5	まったくない	-	-	-	-	-	39.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.6	-	-
		n	-	-	-	-	1241	-	-
8	非該当								

1928. HLPP2PM 世代間の実践的援助: 回答者から両親

家事(掃除・料理・買い物・雑用など)や介護

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に頻繁に	-	-	-	-	-	5.8	-	-
2	頻繁に	-	-	-	-	-	9.0	-	-
3	時々	-	-	-	-	-	31.6	-	-
4	ほとんどない	-	-	-	-	-	24.3	-	-
5	まったくない	-	-	-	-	-	27.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.5	-	-
		n	-	-	-	-	1241	-	-
8	非該当								

1929-1930. 過去1年間に、あなたの親はあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

1929. HLPEFPM 世代間の経済的援助: 両親から回答者

経済的な支援

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に頻繁に	-	-	-	-	-	5.6	-	-
2	頻繁に	-	-	-	-	-	8.5	-	-
3	時々	-	-	-	-	-	26.8	-	-
4	ほとんどない	-	-	-	-	-	23.8	-	-
5	まったくない	-	-	-	-	-	33.8	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.5	-	-
		n	-	-	-	-	1241	-	-
8	非該当								

1930. HLPPFPM 世代間の実践的援助: 両親から回答者  
家事(掃除・料理・買い物・雑用など)や育児

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に頻繁に	-	-	-	-	-	13.6	-	-
2	頻繁に	-	-	-	-	-	11.0	-	-
3	時々	-	-	-	-	-	20.3	-	-
4	ほとんどない	-	-	-	-	-	15.7	-	-
5	まったくない	-	-	-	-	-	37.8	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.5	-	-
		n	-	-	-	-	1241	-	-
8	非該当								

1931-1932 ご両親の現在の健康状態は、いかがですか。

1931. PPHLTH 父親: 健康状態

あなたの父親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に良い	-	-	-	-	-	9.5	-	-
2	・	-	-	-	-	-	16.4	-	-
3	・	-	-	-	-	-	24.4	-	-
4	・	-	-	-	-	-	10.6	-	-
5	非常に悪い	-	-	-	-	-	2.5	-	-
6	亡くなっている	-	-	-	-	-	35.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.2	-	-
		n	-	-	-	-	1241	-	-
8	非該当								

1932. MMHLTH 母親: 健康状態

あなたの母親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に良い	-	-	-	-	-	10.6	-	-
2	・	-	-	-	-	-	21.4	-	-
3	・	-	-	-	-	-	36.7	-	-
4	・	-	-	-	-	-	18.4	-	-
5	非常に悪い	-	-	-	-	-	6.0	-	-
6	亡くなっている	-	-	-	-	-	5.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.5	-	-
		n	-	-	-	-	1241	-	-
8	非該当								

1933-1939. 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

1933. Q7MGOLD 結婚規範: 夫は年上

夫は、妻より年上であるべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	1.1	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	5.5	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	10.7	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	67.3	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	3.2	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	8.5	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	3.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.6	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								



1934. Q7MGCC 結婚規範:子どもをもつ必要  
結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	2.0	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	9.3	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	7.9	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	35.4	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	22.7	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	17.1	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	5.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.5	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1935. Q7MGMNHP 結婚規範:男性の結婚は幸福  
結婚している男性は、結婚していない男性より幸せだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	3.0	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	12.6	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	17.5	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	58.6	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	3.4	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	3.2	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	0.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.8	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1936. Q7MGWNHP 結婚規範:女性の結婚は幸福  
結婚している女性は、結婚していない女性より幸せだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	2.4	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	12.3	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	17.0	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	58.8	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	4.2	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	3.0	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	1.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.1	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1937. Q7MGCOH 結婚規範:同棲はかまわない  
結婚するつもりがなくても、男女が同棲するのはかまわない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	1.1	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	10.7	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	13.6	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	27.4	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	25.2	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	17.3	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	4.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.5	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1938. Q7MGDVCC 結婚規範:離婚は子が育つまで待つ  
離婚したくても、子どもが大きくなるまで待つべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	4.4	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	14.3	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	19.3	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	41.6	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	10.0	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	7.9	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	1.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.7	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1939. Q7MGDVGD 結婚規範:離婚はよい手段  
結婚生活がうまくいかなかったら、たいていの場合、離婚するのが一番よい

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	1.2	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	9.5	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	19.0	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	46.5	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	13.1	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	8.1	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	2.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.5	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

## 1940-1943. 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

## 1940. Q7WWHPHH 性別規範:妻は夫の手助け

妻にとっては、自分自身の仕事よりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	2.3	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	12.2	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	18.5	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	43.5	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	11.8	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	9.5	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	1.6	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.6	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

## 1941. Q7WWHHX 性別規範:性役割分担\*

夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	2.8	2.8	-
2	賛成	-	-	-	-	-	13.1	9.5	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	20.5	24.9	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	39.2	42.5	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	11.7	9.5	-
6	反対	-	-	-	-	-	9.6	8.1	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	2.8	2.5	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.4	0.1	-
		n	-	-	-	-	2130	2160	-
8	非該当								

\*調査年度によって変数ラベルに違いがある。

2008 変数ラベル変更:「性別規範:性役割分担」→「意見への賛否:夫は外、妻は家庭」.

1942. Q7WWMNCK 性別規範: 男性の家事

男性はもっと家事をするべきだ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	4.6	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	19.7	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	38.0	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	29.4	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	5.4	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	2.2	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	0.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.4	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1943. Q7WWLOFF 性別規範: 女性を先に解雇

景気が悪いときには、男性よりも女性を先に解雇してよい

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	1.0	-	-
2	賛成	-	-	-	-	-	3.8	-	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	7.4	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	37.5	-	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	16.4	-	-
6	反対	-	-	-	-	-	22.5	-	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	10.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.4	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1944-1946. 次の意見について、あなたはどのように思いますか。

1944. OPDVCNT 離婚後の子どもへの意見: 両親と接触

夫婦が離婚した後も、子どもは両方の親と接するほうがよい

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	12.4	-	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	37.5	-	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	22.8	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	22.2	-	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	2.2	-	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	2.3	-	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	0.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.4	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1945. OPDVSTEP 離婚後の子どもへの意見: 連れ子

結婚相手の連れ子に対しても、実の親と同じように育てることができる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	5.0	-	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	24.7	-	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	22.9	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	31.5	-	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	8.1	-	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	6.0	-	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	0.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.9	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1946. OPDVSGL 離婚後の子どもへの意見:ひとり親  
ひとり親家庭であっても、子どもは立派に育つ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	9.0	-	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	45.0	-	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	18.6	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	18.4	-	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	5.6	-	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	2.2	-	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	0.6	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.6	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1947. FQFFDNRE 家族そろった夕食の頻度 (EASS 尺度)

あなたの家では、あなたを含めて家族一緒に夕食をとることがどのくらいありますか。(ここでの家族は、一緒に暮らしている方々を指します)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	50.4	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	24.0	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	10.0	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	2.4	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	2.8	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	0.6	-	-
7	年に1回もない	-	-	-	-	-	0.8	-	-
8	家族とは一緒に暮らしていない	-	-	-	-	-	8.2	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	0.8	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
88	非該当								

1948. FQFFLSR 家族一緒にレジャー活動の頻度

あなたの家では、あなたを含めて家族一緒にレジャー活動を行なうことがどのくらいありますか。(ここでの家族は、一緒に暮らしている方々を指します)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	1.2	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	3.1	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	9.4	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	15.9	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	29.2	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	15.9	-	-
7	年に1回もない	-	-	-	-	-	15.6	-	-
8	家族とは一緒に暮らしていない	-	-	-	-	-	8.2	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	1.5	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
88	非該当								

1949-1951. あなたは家族と一緒に夕食をとるときに、以下のものをどの程度利用していますか。ひとり暮らしの方は、あなたご自身のことについてお答えください。

1949. FQFDOUT 食産業の利用頻度: 外食

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	2.3	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	3.1	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	11.8	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	30.9	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	31.2	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	6.3	-	-
7	まったくない	-	-	-	-	-	12.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.5	-	-
		n	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1950. FQFDBOX 食産業の利用頻度: 弁当

市販の弁当

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	0.6	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	3.4	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	7.6	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	21.2	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	27.8	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	9.2	-	-
7	まったくない	-	-	-	-	-	27.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.3	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

1951. FQFDFRZN 食産業の利用頻度: 惣菜・冷凍食品

市販の惣菜・調理済み冷凍食品

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	1.0	-	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	13.9	-	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	20.6	-	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	22.4	-	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	21.7	-	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	4.4	-	-
7	まったくない	-	-	-	-	-	13.8	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.3	-	-
n		-	-	-	-	-	2130	-	-
8	非該当								

605. XMARRY に「1 \_\_\_\_回結婚したことがある」の場合

1952. NUMMARRY 結婚の回数

あなたはこれまでに結婚をしたことがありますか。ある方は何回ありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1回	-	-	-	-	-	94.5	-	-
	2回	-	-	-	-	-	4.7	-	-
	3回	-	-	-	-	-	0.2	-	-
	4回	-	-	-	-	-	0.1	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	0.6	-	-
n		-	-	-	-	-	1804	-	-
88	非該当								

1953. AGE2MG 結婚した年齢: 2回目

結婚したのは、あなたが何歳の時ですか。複数ある場合はそれぞれの場合についてお答えください。

2回目

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	20~29歳	-	-	-	-	-	31.5	-	-
	30~39歳	-	-	-	-	-	37.1	-	-
	40~49歳	-	-	-	-	-	22.5	-	-
	50~59歳	-	-	-	-	-	7.9	-	-
	60~69歳	-	-	-	-	-	1.1	-	-
999	無回答	-	-	-	-	-	0.0	-	-
n		-	-	-	-	-	89	-	-
888	非該当								

1954. AGE3MG 結婚した年齢: 3回目

3回目

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	29歳	-	-	-	-	-	20.0	-	-
	30歳	-	-	-	-	-	20.0	-	-
	41歳	-	-	-	-	-	20.0	-	-
	42歳	-	-	-	-	-	20.0	-	-
	48歳	-	-	-	-	-	20.0	-	-
999	無回答	-	-	-	-	-	0.0	-	-
n		-	-	-	-	-	5	-	-
888	非該当								

1955. AGE4MG 結婚した年齢:4回目

4回目

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	39 歳	-	-	-	-	-	100.0	-	-
999	無回答	-	-	-	-	-	0.0	-	-
		n	-	-	-	-	1	-	-
888	非該当								

1956. DOMARRYZ 結婚状況(留置B票のみ)

現在、配偶者(夫や妻)はいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	現在、配偶者がいる	-	-	-	-	-	84.6	-	-
2	離婚した(離婚を前提に別居中を含む)	-	-	-	-	-	5.3	-	-
3	死に別れた	-	-	-	-	-	10.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.0	-	-
		n	-	-	-	-	1804	-	-
8	非該当								

1956. DOMARRYZ に「1 現在、配偶者がいる」の場合

1957. SS5HLTHE 健康状態(配偶者)(EASS 尺度)

あなたの配偶者の現在の健康状態は、いかがですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に良い	-	-	-	-	-	15.7	-	-
2	・	-	-	-	-	-	36.2	-	-
3	・	-	-	-	-	-	35.1	-	-
4	・	-	-	-	-	-	10.6	-	-
5	非常に悪い	-	-	-	-	-	1.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.6	-	-
		n	-	-	-	-	1526	-	-
8	非該当								

938. SSCARE に「2 現在行なっている」「3 過去に行なったことがある」の場合

1958-1961. 介護の相手(配偶者)

それは誰への介護ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
SSC2R	あなた	-	-	-	-	-	17.5	-	-
SSC2PM	あなたの親	-	-	-	-	-	33.1	-	-
SSC2SSPM	配偶者の親	-	-	-	-	-	53.0	-	-
SSC2OTHR	その他( )	-	-	-	-	-	6.8	-	-
		選択者数	-	-	-	-	366	-	-

1956. DOMARRYZ に「1 現在、配偶者がいる」の場合

1962. SSTRLSTN 配偶者との情緒的關係:配偶者が悩みを聞く

あなたの配偶者は、あなたの悩みを聞いてくれますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	8.5	-	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	36.3	-	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	27.7	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	14.5	-	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	5.7	-	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	4.7	-	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	2.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.7	-	-
		n	-	-	-	-	1526	-	-
8	非該当								

1963. SSTRSPK 配偶者との情緒的關係:あなたが悩みを聞く  
あなたの配偶者は、あなたに悩みを打ち明けてくれますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強くそう思う	-	-	-	-	-	6.1	-	-
2	そう思う	-	-	-	-	-	35.0	-	-
3	どちらかといえばそう思う	-	-	-	-	-	28.7	-	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	17.1	-	-
5	どちらかといえばそう思わない	-	-	-	-	-	6.2	-	-
6	そう思わない	-	-	-	-	-	4.7	-	-
7	強くそう思わない	-	-	-	-	-	1.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.7	-	-
n		-	-	-	-	-	1526	-	-
8	非該当								

1964-1967. 次のことは、主にどなたが決めていますか(決めていましたか)。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1964. DMCCED 家庭内の意思決定者:子どもの教育  
子どものしつけや教育

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いつも私	-	-	-	-	-	5.8	-	-
2	だいたい私	-	-	-	-	-	22.8	-	-
3	私と配偶者が同程度に	-	-	-	-	-	43.8	-	-
4	だいたい配偶者	-	-	-	-	-	16.3	-	-
5	いつも配偶者	-	-	-	-	-	1.9	-	-
6	その他の家族	-	-	-	-	-	0.3	-	-
7	そのようなことを決める機会は無かった	-	-	-	-	-	7.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.0	-	-
n		-	-	-	-	-	1526	-	-
8	非該当								

1965. DMPPSPPT 家庭内の意思決定者:親の世話  
自分の親の世話の仕方

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いつも私	-	-	-	-	-	7.9	-	-
2	だいたい私	-	-	-	-	-	18.7	-	-
3	私と配偶者が同程度に	-	-	-	-	-	29.1	-	-
4	だいたい配偶者	-	-	-	-	-	9.1	-	-
5	いつも配偶者	-	-	-	-	-	2.1	-	-
6	その他の家族	-	-	-	-	-	4.4	-	-
7	そのようなことを決める機会は無かった	-	-	-	-	-	25.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.6	-	-
n		-	-	-	-	-	1526	-	-
8	非該当								

1966. DMEXP 家庭内の意思決定者:家計の管理  
家計の管理

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いつも私	-	-	-	-	-	18.2	-	-
2	だいたい私	-	-	-	-	-	23.2	-	-
3	私と配偶者が同程度に	-	-	-	-	-	19.5	-	-
4	だいたい配偶者	-	-	-	-	-	22.1	-	-
5	いつも配偶者	-	-	-	-	-	14.0	-	-
6	その他の家族	-	-	-	-	-	0.7	-	-
7	そのようなことを決める機会は無かった	-	-	-	-	-	1.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.2	-	-
n		-	-	-	-	-	1526	-	-
8	非該当								

1967. DMHIEXP 家庭内の意思決定者:高価な品物の購入  
高価な品物の購入

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いつも私	-	-	-	-	-	4.6	-	-
2	だいたい私	-	-	-	-	-	15.9	-	-
3	私と配偶者が同程度に	-	-	-	-	-	56.2	-	-
4	だいたい配偶者	-	-	-	-	-	13.6	-	-
5	いつも配偶者	-	-	-	-	-	4.7	-	-
6	その他の家族	-	-	-	-	-	0.5	-	-
7	そのようなことを決める機会はなかった	-	-	-	-	-	3.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.2	-	-
		n	-	-	-	-	1526	-	-
8	非該当								

1968. PMLDTH 義親の存否  
配偶者のご両親はご存命ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	両親とも存命	-	-	-	-	-	27.8	-	-
2	父親のみ存命	-	-	-	-	-	4.4	-	-
3	母親のみ存命	-	-	-	-	-	25.2	-	-
4	両親ともすでに亡くなっている	-	-	-	-	-	42.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.0	-	-
		n	-	-	-	-	1526	-	-
8	非該当								

1968. PMLDTH に「1 両親とも存命」「2 父親のみ存命」「3 母親のみ存命」の場合  
1969-1970. 過去1年間に、あなたは配偶者の親へ、次のことをどの程度しましたか。

1969. HLPE2PML 世代間の経済的援助:回答者から義親  
経済的な支援

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に頻繁に	-	-	-	-	-	2.2	-	-
2	頻繁に	-	-	-	-	-	3.3	-	-
3	時々	-	-	-	-	-	14.1	-	-
4	ほとんどない	-	-	-	-	-	29.4	-	-
5	まったくない	-	-	-	-	-	48.8	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.3	-	-
		n	-	-	-	-	875	-	-
8	非該当								

1970. HLPP2PML 世代間の実践的援助:回答者から義親  
家事(掃除・料理・買い物・雑用など)や介護

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に頻繁に	-	-	-	-	-	6.3	-	-
2	頻繁に	-	-	-	-	-	5.7	-	-
3	時々	-	-	-	-	-	18.4	-	-
4	ほとんどない	-	-	-	-	-	27.5	-	-
5	まったくない	-	-	-	-	-	40.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.9	-	-
		n	-	-	-	-	875	-	-
8	非該当								



1971-1972. 過去1年間に、配偶者の親はあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

1971. HLPEFPM 世代間の経済的援助: 義親から回答者

経済的な支援

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に頻繁に	-	-	-	-	-	1.1	-	-
2	頻繁に	-	-	-	-	-	3.8	-	-
3	時々	-	-	-	-	-	20.7	-	-
4	ほとんどない	-	-	-	-	-	27.0	-	-
5	まったくない	-	-	-	-	-	45.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.3	-	-
		n	-	-	-	-	875	-	-
8	非該当								

1972. HLPPFPM 世代間の実践的援助: 義親から回答者

家事(掃除・料理・買い物・雑用など)や育児

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に頻繁に	-	-	-	-	-	1.4	-	-
2	頻繁に	-	-	-	-	-	5.9	-	-
3	時々	-	-	-	-	-	17.4	-	-
4	ほとんどない	-	-	-	-	-	22.3	-	-
5	まったくない	-	-	-	-	-	50.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.5	-	-
		n	-	-	-	-	875	-	-
8	非該当								

1973-1974. 配偶者のご両親の現在の健康状態は、いかがですか。

1973. PPLHLTH 義父: 健康状態

配偶者の父親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に良い	-	-	-	-	-	6.2	-	-
2	・	-	-	-	-	-	12.7	-	-
3	・	-	-	-	-	-	21.7	-	-
4	・	-	-	-	-	-	9.9	-	-
5	非常に悪い	-	-	-	-	-	4.2	-	-
6	亡くなっている	-	-	-	-	-	43.9	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.4	-	-
		n	-	-	-	-	875	-	-
8	非該当								

1974. MMLHLTH 義母: 健康状態

配偶者の母親

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に良い	-	-	-	-	-	8.6	-	-
2	・	-	-	-	-	-	19.2	-	-
3	・	-	-	-	-	-	37.3	-	-
4	・	-	-	-	-	-	18.4	-	-
5	非常に悪い	-	-	-	-	-	5.8	-	-
6	亡くなっている	-	-	-	-	-	7.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.1	-	-
		n	-	-	-	-	875	-	-
8	非該当								

1956. DOMARRYZ に「1 現在、配偶者がいる」の場合

1975. STMGLF 生活満足度: 結婚生活

あなたは、現在の結婚生活に全体として満足していますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に満足	-	-	-	-	-	19.9	-	-
2	・	-	-	-	-	-	40.1	-	-
3	・	-	-	-	-	-	30.7	-	-
4	・	-	-	-	-	-	6.7	-	-
5	非常に不満	-	-	-	-	-	1.6	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.9	-	-
		n	-	-	-	-	1526	-	-
8	非該当								

1956. DOMARRYZ に「1 現在、配偶者がいる」「3 死に別れた」の場合

1976. FSTMTSS 配偶者との出会いのきっかけ

あなたは配偶者の方とどのようなかたちで出会いましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	見合い	-	-	-	-	-	25.9	-	-
2	人からの紹介（見合い以外）	-	-	-	-	-	26.2	-	-
3	見合いでも紹介でもない	-	-	-	-	-	46.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.7	-	-
		n	-	-	-	-	1709	-	-
8	非該当								

1976. FSTMTSS に「1 見合い」「2 人からの紹介（見合い以外）」の場合

1977. WHOINTSS 配偶者の紹介者

どなたがお相手を紹介したり、見合いの準備をしたりしましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	きょうだい・いとこ	-	-	-	-	-	7.4	-	-
2	親・その他の親族	-	-	-	-	-	33.4	-	-
3	友人・クラスメイト	-	-	-	-	-	21.7	-	-
4	同僚	-	-	-	-	-	10.5	-	-
5	近所の人	-	-	-	-	-	14.6	-	-
6	結婚相手を紹介する個人や機関	-	-	-	-	-	4.6	-	-
7	その他（具体的）	-	-	-	-	-	4.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.5	-	-
		n	-	-	-	-	891	-	-
8	非該当								

1976. FSTMTSS に「3 見合いでも紹介でもない」の場合

1978. WHRMTSS 配偶者と出会った場所

どこで配偶者の方と出会いましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	近所で	-	-	-	-	-	11.9	-	-
2	学校で	-	-	-	-	-	13.6	-	-
3	職場で	-	-	-	-	-	53.0	-	-
4	その他の機会で（具体的に）	-	-	-	-	-	19.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.0	-	-
		n	-	-	-	-	789	-	-
8	非該当								

1979. XSSRMG 配偶者の初婚・再婚

配偶者の方にとって、あなたとの結婚は初婚でしたか、再婚でしたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	初婚	-	-	-	-	-	94.5	-	-
2	再婚	-	-	-	-	-	4.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.2	-	-
		n	-	-	-	-	1709	-	-
8	非該当								

1980. INFLPMMG 結婚の決定への親の影響力

あなたが配偶者の方との結婚を決めた時、あなたの親の意見はどの程度影響しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなり影響した	-	-	-	-	-	10.9	-	-
2	ある程度影響した	-	-	-	-	-	22.1	-	-
3	あまり影響しなかった	-	-	-	-	-	31.7	-	-
4	まったく影響しなかった	-	-	-	-	-	30.4	-	-
5	親はその時すでに亡くなっていた	-	-	-	-	-	3.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.5	-	-
		n	-	-	-	-	1709	-	-
8	非該当								

1981. HLPMGPM 結婚時の親からの援助

結婚後、あなたは、あなた自身の親から経済的な援助（住宅の購入資金、親の土地に家を建てること、賃貸住宅の家賃、起業資金など）を受けましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなり受けた	-	-	-	-	-	10.9	-	-
2	少し受けた	-	-	-	-	-	29.0	-	-
3	まったく受けていない	-	-	-	-	-	55.1	-	-
4	親は結婚前に亡くなっていた	-	-	-	-	-	3.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.3	-	-
		n	-	-	-	-	1709	-	-
8	非該当								

1982. HLPMGPM 結婚時の義親からの援助

結婚後、あなたは、配偶者の親から経済的な援助（住宅の購入資金、親の土地に家を建てること、賃貸住宅の家賃、起業資金など）を受けましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	かなり受けた	-	-	-	-	-	10.2	-	-
2	少し受けた	-	-	-	-	-	26.2	-	-
3	まったく受けていない	-	-	-	-	-	59.7	-	-
4	配偶者の親は結婚前に亡くなっていた	-	-	-	-	-	2.5	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	1.3	-	-
		n	-	-	-	-	1709	-	-
8	非該当								

605. XMARRY に「1 \_\_\_\_回結婚したことがある」の場合

1983. XCC18 18歳以上の子どもの有無

あなたには、18歳以上の子どもがいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	69.8	-	-
2	いない	-	-	-	-	-	30.1	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	0.1	-	-
		n	-	-	-	-	1804	-	-
8	非該当								

1983. XCC18 に「1 いる」の場合

1984. CC18CNT もっとも接している18歳以上の子ども

18歳以上のお子さんのうち、日ごろ、あなたともっともよく接しているのは、次のうちどなたですか。電話やメール、インターネットでのやり取りも含みます。やり取りが同じくらいのお子さんが、2人以上いる場合は、最近、もっともよく話しているお子さん1人を選んでください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	息子（長男）	-	-	-	-	-	33.5	-	-
2	息子（長男以外）	-	-	-	-	-	8.6	-	-
3	娘（長女）	-	-	-	-	-	38.8	-	-
4	娘（長女以外）	-	-	-	-	-	10.2	-	-
5	娘（長女）の夫	-	-	-	-	-	0.1	-	-
6	娘（長女以外）の夫	-	-	-	-	-	0.0	-	-
7	息子（長男）の妻	-	-	-	-	-	1.8	-	-
8	息子（長男以外）の妻	-	-	-	-	-	0.3	-	-
99	無回答	-	-	-	-	-	6.7	-	-
		n	-	-	-	-	1260	-	-
88	非該当								

1985. LVTGCC18 子どもとの同居

そのお子さんとは同居されていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	50.6	-	-
2	いいえ	-	-	-	-	-	47.0	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	2.5	-	-
		n	-	-	-	-	1260	-	-
8	非該当								

1986-1987. 過去1年間に、あなたはその子どもへ、次のことをどの程度しましたか。

1986. HLPE2CC 世代間の経済的援助: 回答者から子ども

経済的な支援

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に頻繁に	-	-	-	-	-	8.6	-	-
2	頻繁に	-	-	-	-	-	9.8	-	-
3	時々	-	-	-	-	-	24.2	-	-
4	ほとんどない	-	-	-	-	-	26.4	-	-
5	まったくない	-	-	-	-	-	27.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.7	-	-
		n	-	-	-	-	1260	-	-
8	非該当								

1987. HLPP2CC 世代間の実践的援助: 回答者から子ども

家事(掃除・料理・買い物・雑用など)や育児

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に頻繁に	-	-	-	-	-	12.0	-	-
2	頻繁に	-	-	-	-	-	13.0	-	-
3	時々	-	-	-	-	-	23.0	-	-
4	ほとんどない	-	-	-	-	-	18.5	-	-
5	まったくない	-	-	-	-	-	29.2	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	4.3	-	-
		n	-	-	-	-	1260	-	-
8	非該当								

1988-1989. 過去1年間に、その子どもはあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

1988. HLPEFCC 世代間の経済的援助: 子どもから回答者

経済的な支援

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に頻繁に	-	-	-	-	-	2.4	-	-
2	頻繁に	-	-	-	-	-	4.1	-	-
3	時々	-	-	-	-	-	16.1	-	-
4	ほとんどない	-	-	-	-	-	25.2	-	-
5	まったくない	-	-	-	-	-	48.7	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.6	-	-
		n	-	-	-	-	1260	-	-
8	非該当								

1989. HLPPFCC 世代間の実践的援助: 子どもから回答者

家事(掃除・料理・買い物・雑用など)や介護

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に頻繁に	-	-	-	-	-	3.7	-	-
2	頻繁に	-	-	-	-	-	7.7	-	-
3	時々	-	-	-	-	-	31.3	-	-
4	ほとんどない	-	-	-	-	-	23.3	-	-
5	まったくない	-	-	-	-	-	30.3	-	-
9	無回答	-	-	-	-	-	3.7	-	-
		n	-	-	-	-	1260	-	-
8	非該当								

1990-1992. あなたは、次の事柄をすることがどのくらいありますか。

1990. CLTEXJA 文化交流: 日本のアニメ

日本のアニメを見ること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくする	-	-	-	-	-	-	11.3	-
2	時々する	-	-	-	-	-	-	35.7	-
3	あまりしない	-	-	-	-	-	-	27.7	-
4	まったくしない	-	-	-	-	-	-	24.4	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.9	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

1991. CLTEXCM 文化交流:中国の映画

中国の映画を見ること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	よくする	-	-	-	-	-	-	0.9	-	
2	時々する	-	-	-	-	-	-	13.5	-	
3	あまりしない	-	-	-	-	-	-	27.1	-	
4	まったくしない	-	-	-	-	-	-	57.6	-	
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.9	-	
		n							2160	-
8	非該当									

1992. CLTEXKD 文化交流:韓国のドラマ

韓国のドラマを見ること

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	よくする	-	-	-	-	-	-	4.0	-	
2	時々する	-	-	-	-	-	-	19.0	-	
3	あまりしない	-	-	-	-	-	-	25.1	-	
4	まったくしない	-	-	-	-	-	-	51.1	-	
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.7	-	
		n							2160	-
8	非該当									

1993. FRTNCN 子どもの姓名判断の経験

あなたは、自分の子どもの名前を考えたときに、姓名判断を参考にしたことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	ある	-	-	-	-	-	-	39.4	-	
2	ない	-	-	-	-	-	-	37.6	-	
3	子どもをもったことはない	-	-	-	-	-	-	22.8	-	
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.1	-	
		n							2160	-
8	非該当									

1994. AUSDYSP 特別な日の縁起

あなたは、結婚式・引越し・お葬式といった特別な日の日取りについて、縁起の良し悪しをどのくらい気にしますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	かなり気にする	-	-	-	-	-	-	15.9	-	
2	ある程度気にする	-	-	-	-	-	-	59.2	-	
3	あまり気にしない	-	-	-	-	-	-	19.3	-	
4	まったく気にしない	-	-	-	-	-	-	5.4	-	
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.3	-	
		n							2160	-
8	非該当									

1995-2002. あなたは友人とつきあうときに、以下のような特長をどの程度重視しますか。それぞれの特長について、お答えください。

1995. IMPQTHS 重視する友人の特長:正直である

正直である

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	非常に重視する	-	-	-	-	-	-	21.9	-	
2	重視する	-	-	-	-	-	-	61.8	-	
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	13.1	-	
4	重視しない	-	-	-	-	-	-	2.2	-	
5	まったく重視しない	-	-	-	-	-	-	0.8	-	
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.2	-	
		n							2160	-
8	非該当									

1996. IMPQTRSP 重視する友人の特長:責任感がある  
責任感がある

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重視する	-	-	-	-	-	-	15.9	-
2	重視する	-	-	-	-	-	-	58.3	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	20.5	-
4	重視しない	-	-	-	-	-	-	3.9	-
5	まったく重視しない	-	-	-	-	-	-	1.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.4	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

1997. IMPQTITG 重視する友人の特長:頭がよい  
頭がよい

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重視する	-	-	-	-	-	-	2.5	-
2	重視する	-	-	-	-	-	-	14.7	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	47.6	-
4	重視しない	-	-	-	-	-	-	26.3	-
5	まったく重視しない	-	-	-	-	-	-	8.4	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.5	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

1998. IMPQTCLT 重視する友人の特長:教養がある  
教養がある

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重視する	-	-	-	-	-	-	2.9	-
2	重視する	-	-	-	-	-	-	20.2	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	48.8	-
4	重視しない	-	-	-	-	-	-	20.4	-
5	まったく重視しない	-	-	-	-	-	-	7.2	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.6	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

1999. IMPQTPWF 重視する友人の特長:権力がある  
権力がある

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重視する	-	-	-	-	-	-	0.5	-
2	重視する	-	-	-	-	-	-	3.0	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	31.3	-
4	重視しない	-	-	-	-	-	-	39.3	-
5	まったく重視しない	-	-	-	-	-	-	25.5	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.6	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2000. IMPQTWLT 重視する友人の特長:裕福である  
裕福である

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重視する	-	-	-	-	-	-	0.6	-
2	重視する	-	-	-	-	-	-	3.1	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	33.8	-
4	重視しない	-	-	-	-	-	-	37.3	-
5	まったく重視しない	-	-	-	-	-	-	24.6	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.6	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2001. IMPQTLYL 重視する友人の特長: 忠実である  
忠実である

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重視する	-	-	-	-	-	-	7.0	-
2	重視する	-	-	-	-	-	-	36.6	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	35.0	-
4	重視しない	-	-	-	-	-	-	13.6	-
5	まったく重視しない	-	-	-	-	-	-	7.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.7	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2002. IMPQTWRM 重視する友人の特長: 思いやりがある  
思いやりがある

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に重視する	-	-	-	-	-	-	26.7	-
2	重視する	-	-	-	-	-	-	57.0	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	13.3	-
4	重視しない	-	-	-	-	-	-	1.6	-
5	まったく重視しない	-	-	-	-	-	-	1.2	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.3	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2003-2010. 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

2003. Q7FLWMJ 意見への賛否: 多数派の意見には従う

自分の意見と違って、多数派の人々の意見には従う方が無難である。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	0.6	-
2	賛成	-	-	-	-	-	-	7.0	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	27.5	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	42.4	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	13.8	-
6	反対	-	-	-	-	-	-	6.5	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	-	2.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.1	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2004. Q7EXPCMP 意見への賛否: 不満があっても口に出さない

よい関係を保つためには、不満があっても口に出さない方がよい。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	1.3	-
2	賛成	-	-	-	-	-	-	9.5	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	26.6	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	34.9	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	20.1	-
6	反対	-	-	-	-	-	-	6.2	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	-	1.1	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.3	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2005. Q7HIRE 意見への賛否:人を雇う時には親族や友人を採用

人を雇うとしたら、初対面の候補者の方が適任そうに見えても、親族や友人の候補者がいれば、そちらを採用するほうがよい。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	0.4	-
2	賛成	-	-	-	-	-	-	4.4	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	13.5	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	37.9	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	24.9	-
6	反対	-	-	-	-	-	-	14.9	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	-	3.7	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.3	-
8	非該当	n	-	-	-	-	-	2160	-

2006. Q7SMTWN 意見への賛否:同郷の人が活躍すると誇らしい

同郷の人が社会で活躍すると、自分も誇らしい気持ちになる。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	4.2	-
2	賛成	-	-	-	-	-	-	22.3	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	36.0	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	31.3	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	2.5	-
6	反対	-	-	-	-	-	-	2.7	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	-	0.6	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.4	-
8	非該当	n	-	-	-	-	-	2160	-

2007. Q7SBORD 意見への賛否:部下は上司の指示に従う

上司と意見が合わなくても、部下は上司の指示に従うべきだ。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	0.8	-
2	賛成	-	-	-	-	-	-	8.3	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	26.7	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	40.0	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	15.2	-
6	反対	-	-	-	-	-	-	6.9	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	-	1.8	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.3	-
8	非該当	n	-	-	-	-	-	2160	-

2008. Q7CPLDR 意見への賛否:リーダーにはすべての決定を委ねる

有能なリーダーには、すべての決定を委ねた方がよい。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	1.1	-
2	賛成	-	-	-	-	-	-	10.5	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	25.5	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	42.0	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	13.3	-
6	反対	-	-	-	-	-	-	6.5	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	-	0.7	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.4	-
8	非該当	n	-	-	-	-	-	2160	-



2009. Q7RSKLF 意見への賛否:平凡な人生よりも不安定だが可能性に満ちた人生  
平凡で安定した人生よりも、不安定だが可能性に満ちた人生の方が好ましい。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	1.3	-	
2	賛成	-	-	-	-	-	-	7.3	-	
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	15.5	-	
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	41.9	-	
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	21.7	-	
6	反対	-	-	-	-	-	-	10.2	-	
7	強く反対	-	-	-	-	-	-	1.8	-	
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.3	-	
		<hr/>								
8	非該当	n	-	-	-	-	-	2160	-	

2010. Q7CPINV 意見への賛否:余分なお金は投資  
余分なお金があれば、私は危険性が高くても見返りの多いものに投資をするだろう。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	0.8	-	
2	賛成	-	-	-	-	-	-	3.0	-	
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	9.1	-	
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	23.0	-	
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	26.4	-	
6	反対	-	-	-	-	-	-	29.5	-	
7	強く反対	-	-	-	-	-	-	8.1	-	
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.2	-	
		<hr/>								
8	非該当	n	-	-	-	-	-	2160	-	

2011-2013. あなたは、次の地域にどのくらい愛着がありますか。

2011. EMCLTWN 地域への愛着:今住んでいる都市や町  
今住んでいる都市や町

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	かなり愛着がある	-	-	-	-	-	-	28.5	-	
2	ある程度愛着がある	-	-	-	-	-	-	60.2	-	
3	あまり愛着がない	-	-	-	-	-	-	9.6	-	
4	まったく愛着がない	-	-	-	-	-	-	1.5	-	
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.2	-	
		<hr/>								
8	非該当	n	-	-	-	-	-	2160	-	

2012. EMCLJPN 地域への愛着:日本  
日本

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	かなり愛着がある	-	-	-	-	-	-	51.8	-	
2	ある程度愛着がある	-	-	-	-	-	-	43.4	-	
3	あまり愛着がない	-	-	-	-	-	-	3.2	-	
4	まったく愛着がない	-	-	-	-	-	-	0.6	-	
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.9	-	
		<hr/>								
8	非該当	n	-	-	-	-	-	2160	-	

2013. EMCLSA 地域への愛着:東アジア  
東アジア

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010	
1	かなり愛着がある	-	-	-	-	-	-	3.9	-	
2	ある程度愛着がある	-	-	-	-	-	-	27.7	-	
3	あまり愛着がない	-	-	-	-	-	-	40.9	-	
4	まったく愛着がない	-	-	-	-	-	-	25.4	-	
9	無回答	-	-	-	-	-	-	2.1	-	
		<hr/>								
8	非該当	n	-	-	-	-	-	2160	-	

2014-2018. あなたは、どのくらい次の音楽が好きですか。

2014. MSPRFCL 好きな音楽:クラシック音楽

クラシック音楽

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に好き	-	-	-	-	-	-	6.1	-
2	好き	-	-	-	-	-	-	35.0	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	46.7	-
4	嫌い	-	-	-	-	-	-	9.5	-
5	非常に嫌い	-	-	-	-	-	-	1.7	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.1	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2015. MSPRFRC 好きな音楽:ロック

ロック

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に好き	-	-	-	-	-	-	4.4	-
2	好き	-	-	-	-	-	-	19.6	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	49.1	-
4	嫌い	-	-	-	-	-	-	21.0	-
5	非常に嫌い	-	-	-	-	-	-	4.5	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.3	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2016. MSPRFJZ 好きな音楽:ジャズ・ブルース

ジャズ・ブルース

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に好き	-	-	-	-	-	-	3.9	-
2	好き	-	-	-	-	-	-	26.1	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	52.0	-
4	嫌い	-	-	-	-	-	-	13.1	-
5	非常に嫌い	-	-	-	-	-	-	3.2	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.5	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2017. MSPRFPOP 好きな音楽:ポピュラー音楽

ポピュラー音楽

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に好き	-	-	-	-	-	-	9.7	-
2	好き	-	-	-	-	-	-	47.8	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	33.6	-
4	嫌い	-	-	-	-	-	-	6.1	-
5	非常に嫌い	-	-	-	-	-	-	1.5	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.3	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2018. MSPRFENK 好きな音楽:演歌

演歌

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に好き	-	-	-	-	-	-	10.5	-
2	好き	-	-	-	-	-	-	32.3	-
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	39.6	-
4	嫌い	-	-	-	-	-	-	13.7	-
5	非常に嫌い	-	-	-	-	-	-	3.7	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.4	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2019. NUMSXENT 外国で性風俗の娯楽を経験した知人の数

外国に行く人の中には、そこで性風俗関係の娯楽を楽しむ人がいます。あなたの友人や同僚、近所の人の中に、外国でそのような娯楽を楽しんだことのある人はいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大勢いる	-	-	-	-	-	-	2.1	-
2	ある程度いる	-	-	-	-	-	-	10.8	-
3	ほんの少しいる	-	-	-	-	-	-	15.8	-
4	まったくいない	-	-	-	-	-	-	23.0	-
5	わからない	-	-	-	-	-	-	47.9	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.4	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2019. NUMSXENT に「1 大勢いる」「2 ある程度いる」「3 ほんの少しいる」の場合

2020-2025. 性風俗の娯楽を経験した地域

その人たちが、どこで性風俗関係の娯楽を楽しんだか知っていますか。知っていれば、次のうちあてはまる地域すべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
SXENTEА	東アジア	-	-	-	-	-	-	31.2	-
SXENTSА	東南アジア	-	-	-	-	-	-	61.2	-
SXENTEP	ヨーロッパ	-	-	-	-	-	-	5.5	-
SXENTNA	北アメリカ (アメリカ・カナダなど)	-	-	-	-	-	-	6.0	-
SXENTOT	その他 (具体的に )	-	-	-	-	-	-	0.5	-
SXENTDK	わからない	-	-	-	-	-	-	14.8	-
		選択者数	-	-	-	-	-	621	-

2026. FQCNVII 国際問題を話す頻度

国際問題について、家族や友人・知人と話すことは、どのくらいありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	-	2.5	-
2	週に数回	-	-	-	-	-	-	9.2	-
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	-	13.1	-
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	17.0	-
5	年に数回	-	-	-	-	-	-	24.8	-
6	年に1回程度	-	-	-	-	-	-	8.1	-
7	まったくない	-	-	-	-	-	-	24.4	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.0	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2027-2032. 海外ニュースを知るメディア

あなたは、何を通して海外のニュースを知りますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
SRCINNP	新聞	-	-	-	-	-	-	68.2	-
SRCINRD	ラジオ	-	-	-	-	-	-	22.6	-
SRCINTV	テレビ	-	-	-	-	-	-	95.4	-
SRCININT	インターネット	-	-	-	-	-	-	29.1	-
SRCINPN	知人	-	-	-	-	-	-	18.4	-
SRCINOT	その他	-	-	-	-	-	-	3.4	-
		選択者数	-	-	-	-	-	2160	-

2033-2040. 外国の訪問経験

あなたは次にあげる国や地域に行ったことがありますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
VSTCN	中国	-	-	-	-	-	-	14.2	-
VSTSK	韓国	-	-	-	-	-	-	19.0	-
VSTTW	台湾	-	-	-	-	-	-	12.8	-
VSTSA	東南アジア	-	-	-	-	-	-	18.2	-
VSTEP	ヨーロッパ	-	-	-	-	-	-	17.7	-
VSTNA	北アメリカ(アメリカ・カナダなど)	-	-	-	-	-	-	23.5	-
VSTOT	その他の外国	-	-	-	-	-	-	21.4	-
VSTNO	外国に行ったことがない	-	-	-	-	-	-	42.8	-
選択者数		-	-	-	-	-	-	2160	-

2041-2048. 外国人の知人の有無

あなたは次にあげる国や地域出身の人に、知り合いはいますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード	
0	非選択
1	選択
8	非該当
9	無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
FRNAQCN	中国	-	-	-	-	-	-	11.5	-
FRNAQSK	韓国	-	-	-	-	-	-	10.4	-
FRNAQTW	台湾	-	-	-	-	-	-	4.0	-
FRNAQSA	東南アジア	-	-	-	-	-	-	6.8	-
FRNAQEP	ヨーロッパ	-	-	-	-	-	-	5.3	-
FRNAQNA	北アメリカ(アメリカ・カナダなど)	-	-	-	-	-	-	9.0	-
FRNAQOT	その他の外国	-	-	-	-	-	-	6.4	-
FRNAQNO	外国人の知り合いはいない	-	-	-	-	-	-	67.6	-
選択者数		-	-	-	-	-	-	2160	-

2049-2054. あなたは、次にあげる国や地域出身の人が同じ職場で働くことについて抵抗なく受け入れることができますか、それともできませんか。以下の出身地それぞれについてお答えください。

2049. ACPFWCN 外国人の同僚の受け入れ意識: 中国

中国

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	62.1	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	32.7	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.2	-

n		-	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2050. ACPFWSK 外国人の同僚の受け入れ意識: 韓国

韓国

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	66.3	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	28.3	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.4	-

n		-	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2051. ACPFWTW 外国人の同僚の受け入れ意識:台湾  
台湾

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	68.5	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	25.9	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.6	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2052. ACPFWSA 外国人の同僚の受け入れ意識:東南アジア  
東南アジア

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	65.4	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	28.7	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	6.0	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2053. ACPFWEP 外国人の同僚の受け入れ意識:ヨーロッパ  
ヨーロッパ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	70.2	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	24.1	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.7	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2054. ACPFWNA 外国人の同僚の受け入れ意識:北アメリカ  
北アメリカ(アメリカ・カナダなど)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	70.7	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	23.7	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.6	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2055-2060. あなたは、次にあげる国や地域出身の人が近所に住むことについて抵抗なく受け入れることができますか、それともできませんか。以下の出身地それぞれについてお答えください。

2055. ACPFNBCN 外国人の近隣居住者の受け入れ意識:中国  
中国

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	60.3	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	34.7	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.0	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2056. ACPFNBSK 外国人の近隣居住者の受け入れ意識:韓国  
韓国

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	65.4	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	29.7	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.0	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2057. ACPFNBTW 外国人の近隣居住者の受け入れ意識:台湾  
台湾

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	67.1	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	27.8	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.1	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2058. ACPFNBSA 外国人の近隣居住者の受け入れ意識:東南アジア  
東南アジア

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	63.3	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	31.3	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.3	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2059. ACPFNBEF 外国人の近隣居住者の受け入れ意識:ヨーロッパ  
ヨーロッパ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	70.7	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	24.1	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.2	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2060. ACPFNBNB 外国人の近隣居住者の受け入れ意識:北アメリカ  
北アメリカ(アメリカ・カナダなど)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	71.4	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	23.6	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.0	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2061-2066. あなたは、次にあげる国や地域出身の人が国際結婚によって親類になることについて抵抗なく受け入れることができますか、それともできませんか。以下の出身地それぞれについてお答えください。

2061. ACPFRCN 外国人の親族の受け入れ意識:中国

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	53.1	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	41.3	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.6	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2062. ACPFRSK 外国人の親族の受け入れ意識:韓国

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	56.4	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	38.1	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.4	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2063. ACPFRTW 外国人の親族の受け入れ意識:台湾

台湾

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	58.4	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	36.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.6	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2064. ACPFRSA 外国人の親族の受け入れ意識:東南アジア

東南アジア

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	54.6	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	39.6	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.8	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2065. ACPFREP 外国人の親族の受け入れ意識:ヨーロッパ

ヨーロッパ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	64.0	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	30.5	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.6	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2066. ACPFRNA 外国人の親族の受け入れ意識:北アメリカ

北アメリカ(アメリカ・カナダなど)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	受け入れることができる	-	-	-	-	-	-	64.8	-
2	受け入れることができない	-	-	-	-	-	-	29.7	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.5	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2067. OPFRNWRK 意見への賛否:外国人労働者増加

日本で働く外国人は増えた方がよいと思いますか、減った方がよいと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大いに増えた方がよい	-	-	-	-	-	-	2.0	-
2	ある程度増えた方がよい	-	-	-	-	-	-	16.7	-
3	今のままでよい	-	-	-	-	-	-	52.4	-
4	ある程度減った方がよい	-	-	-	-	-	-	21.2	-
5	大いに減った方がよい	-	-	-	-	-	-	6.6	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.1	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2068. OPFRNBRD 意見への賛否:外国人花嫁増加

日本に花嫁としてやって来る外国人は増えた方がよいと思いますか、減った方がよいと思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	大いに増えた方がよい	-	-	-	-	-	-	1.8	-
2	ある程度増えた方がよい	-	-	-	-	-	-	12.6	-
3	今のままでよい	-	-	-	-	-	-	59.4	-
4	ある程度減った方がよい	-	-	-	-	-	-	18.6	-
5	大いに減った方がよい	-	-	-	-	-	-	6.1	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.5	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2069-2071. 日本と他の国々との関係についてお尋ねします。次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

2069. OPFRNPRD 意見への賛否: 外国製品の輸入制限

日本経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	2.6	-
2	賛成	-	-	-	-	-	-	11.1	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	21.9	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	45.8	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	11.3	-
6	反対	-	-	-	-	-	-	5.2	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	-	1.6	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.4	-
	n	-	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2070. OPNTLINT 意見への賛否: 自国の国益追求

他の国々に対立するとしても、日本は自国の国益を追求すべきだ。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	3.0	-
2	賛成	-	-	-	-	-	-	12.7	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	26.4	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	43.5	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	8.8	-
6	反対	-	-	-	-	-	-	4.0	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	-	1.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.5	-
	n	-	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2071. OPDMGCLT 意見への賛否: 固有の文化への損害

外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、日本固有の文化が損なわれている。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	0.8	-
2	賛成	-	-	-	-	-	-	3.1	-
3	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	8.2	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	54.6	-
5	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	14.8	-
6	反対	-	-	-	-	-	-	13.8	-
7	強く反対	-	-	-	-	-	-	4.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.6	-
	n	-	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2072-2077. ヒト・モノ・カネなどが、国や地域を越えて動くことが増えています。そのことは、次の事柄にとって良いことだと思いますか、悪いことだと思いますか。

2072. OPGLBECN グローバル化の賛否: 日本の経済にとって

日本の経済にとって

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に良い	-	-	-	-	-	-	4.9	-
2	良い	-	-	-	-	-	-	20.0	-
3	どちらかといえば良い	-	-	-	-	-	-	24.8	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	27.9	-
5	どちらかといえば悪い	-	-	-	-	-	-	6.8	-
6	悪い	-	-	-	-	-	-	3.8	-
7	非常に悪い	-	-	-	-	-	-	1.2	-
8	わからない	-	-	-	-	-	-	9.6	-
99	無回答	-	-	-	-	-	-	1.0	-
	n	-	-	-	-	-	-	2160	-
88	非該当								



2073. OPGLBWRK グローバル化の賛否:日本人の雇用機会にとって  
日本人の雇用機会にとって

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に良い	-	-	-	-	-	-	2.2	-
2	良い	-	-	-	-	-	-	11.9	-
3	どちらかといえば良い	-	-	-	-	-	-	18.3	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	33.1	-
5	どちらかといえば悪い	-	-	-	-	-	-	15.0	-
6	悪い	-	-	-	-	-	-	7.3	-
7	非常に悪い	-	-	-	-	-	-	1.9	-
8	わからない	-	-	-	-	-	-	9.2	-
99	無回答	-	-	-	-	-	-	1.1	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
88	非該当								

2074. OPGLBENV グローバル化の賛否:日本の環境にとって  
日本の環境にとって

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に良い	-	-	-	-	-	-	1.5	-
2	良い	-	-	-	-	-	-	8.0	-
3	どちらかといえば良い	-	-	-	-	-	-	16.8	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	38.9	-
5	どちらかといえば悪い	-	-	-	-	-	-	15.6	-
6	悪い	-	-	-	-	-	-	7.5	-
7	非常に悪い	-	-	-	-	-	-	1.5	-
8	わからない	-	-	-	-	-	-	9.0	-
99	無回答	-	-	-	-	-	-	1.2	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
88	非該当								

2075. OPGLBCNS グローバル化の賛否:日本の消費者にとって  
日本の消費者にとって

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に良い	-	-	-	-	-	-	2.1	-
2	良い	-	-	-	-	-	-	11.7	-
3	どちらかといえば良い	-	-	-	-	-	-	23.3	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	37.1	-
5	どちらかといえば悪い	-	-	-	-	-	-	9.9	-
6	悪い	-	-	-	-	-	-	4.9	-
7	非常に悪い	-	-	-	-	-	-	1.3	-
8	わからない	-	-	-	-	-	-	8.5	-
99	無回答	-	-	-	-	-	-	1.2	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
88	非該当								

2076. OPGLBJBO グローバル化の賛否:あなた自身の雇用機会・雇用安定にとって  
あなた自身の雇用機会・雇用の安定にとって

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に良い	-	-	-	-	-	-	1.4	-
2	良い	-	-	-	-	-	-	5.2	-
3	どちらかといえば良い	-	-	-	-	-	-	8.3	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	50.3	-
5	どちらかといえば悪い	-	-	-	-	-	-	10.2	-
6	悪い	-	-	-	-	-	-	4.3	-
7	非常に悪い	-	-	-	-	-	-	1.2	-
8	わからない	-	-	-	-	-	-	17.0	-
99	無回答	-	-	-	-	-	-	2.1	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
88	非該当								

2077. OPGLBLIF グローバル化の賛否:あなた自身の消費生活にとって  
あなた自身の消費生活にとって

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に良い	-	-	-	-	-	-	1.8	-
2	良い	-	-	-	-	-	-	8.4	-
3	どちらかといえば良い	-	-	-	-	-	-	17.5	-
4	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	45.9	-
5	どちらかといえば悪い	-	-	-	-	-	-	8.5	-
6	悪い	-	-	-	-	-	-	4.0	-
7	非常に悪い	-	-	-	-	-	-	1.2	-
8	わからない	-	-	-	-	-	-	11.4	-
99	無回答	-	-	-	-	-	-	1.2	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
88	非該当								

2078-2080. あなたは以下のことがどのくらいできますか。それぞれについて、お答えください。

2078. EANWP 英語能力:英字新聞の短い記事を読む

英字新聞の短い記事を読む

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常によくできる	-	-	-	-	-	-	0.9	-
2	よくできる	-	-	-	-	-	-	2.4	-
3	少しはできる	-	-	-	-	-	-	13.6	-
4	あまりできない	-	-	-	-	-	-	19.4	-
5	ほとんど/まったくできない	-	-	-	-	-	-	63.3	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.5	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2079. EACHTT 英語能力:英語でおしゃべりする

英語でおしゃべりする

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常によくできる	-	-	-	-	-	-	0.2	-
2	よくできる	-	-	-	-	-	-	1.5	-
3	少しはできる	-	-	-	-	-	-	9.9	-
4	あまりできない	-	-	-	-	-	-	20.2	-
5	ほとんど/まったくできない	-	-	-	-	-	-	67.8	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.4	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2080. EALTTR 英語能力:英語で手紙を書く

英語で手紙を書く

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常によくできる	-	-	-	-	-	-	0.5	-
2	よくできる	-	-	-	-	-	-	1.4	-
3	少しはできる	-	-	-	-	-	-	8.4	-
4	あまりできない	-	-	-	-	-	-	15.2	-
5	ほとんど/まったくできない	-	-	-	-	-	-	74.1	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.4	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2081. XARDCLG 外国の大学・大学院に通った経験

あなたは外国の大学または大学院に1年以上通ったことがありますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	外国の大学・大学院を卒業した	-	-	-	-	-	-	0.2	-
2	通ったが卒業していない	-	-	-	-	-	-	0.6	-
3	通ったことがない	-	-	-	-	-	-	98.7	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.6	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2082. XARDEDU 外国での教育・研修経験

あなたは外国で5日間以上の教育・研修を受けたことがありますか

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ある	-	-	-	-	-	-	5.2	-
2	ない	-	-	-	-	-	-	94.2	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.6	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2083. JOBFCAP 主な勤め先の種類:外資系企業

あなたの主な勤め先は、外資系企業ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	外資系企業	-	-	-	-	-	-	1.1	-
2	それ以外	-	-	-	-	-	-	57.1	-
3	現在、仕事をしていない	-	-	-	-	-	-	37.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	4.8	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2084. JOBNPO 主な勤め先の種類:公益的団体

あなたの主な勤め先は、公益的な団体（病院、学校、市役所、非営利組織等）ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	公益的な団体	-	-	-	-	-	-	11.5	11.1
2	それ以外	-	-	-	-	-	-	47.6	46.4
3	現在、仕事をしていない	-	-	-	-	-	-	37.0	39.7
9	無回答	-	-	-	-	-	-	3.9	2.8
		n	-	-	-	-	-	2160	2496
8	非該当								

2085. SSJBNO 配偶者の主な勤め先の種類:公益的団体

あなたの配偶者の主な勤め先は、公益的な団体（病院、学校、市役所、非営利組織等）ですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	公益的な団体	-	-	-	-	-	-	8.2	8.1
2	それ以外	-	-	-	-	-	-	34.8	33.1
3	現在、仕事をしていない	-	-	-	-	-	-	26.3	28.7
4	配偶者はいない	-	-	-	-	-	-	28.8	27.6
9	無回答	-	-	-	-	-	-	1.9	2.5
		n	-	-	-	-	-	2160	2496
8	非該当								

2086. NYGRTOT 正月に新年の挨拶を交わした人の数:家族・親族以外

家族や親類以外で、あなたが今年の正月に新年の挨拶を交わした人は、何人くらいですか。（電話、年賀状、メール、訪問、知人の集まりなど、すべて含めます）

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	0人	-	-	-	-	-	-	1.9	-
2	1～4人	-	-	-	-	-	-	7.9	-
3	5～9人	-	-	-	-	-	-	13.8	-
4	10～19人	-	-	-	-	-	-	21.5	-
5	20～49人	-	-	-	-	-	-	26.6	-
6	50～99人	-	-	-	-	-	-	17.3	-
7	100人以上	-	-	-	-	-	-	10.6	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.6	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2087. NYGRTFA 正月に新年の挨拶を交わした人の数: 家族・親族

今年の正月に、あなたが新年の挨拶を交わした家族や親類は、同居している人を除いて何人くらいですか。(電話、年賀状、メール、訪問、親類の集まりなど、すべて含めます)。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	0人	-	-	-	-	-	-	2.1	-
2	1~4人	-	-	-	-	-	-	12.7	-
3	5~9人	-	-	-	-	-	-	21.9	-
4	10~19人	-	-	-	-	-	-	29.2	-
5	20~49人	-	-	-	-	-	-	20.9	-
6	50~99人	-	-	-	-	-	-	7.4	-
7	100人以上	-	-	-	-	-	-	5.1	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.8	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2088. PINTDOT ふだんの1日に接する人の数: 家族・親族以外

家族や親類以外で、あなたがふだん1日に接する人は、何人くらいですか(電話、手紙、メール、直接会うことなど、すべて含めます)。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	0人	-	-	-	-	-	-	1.7	-
2	1~4人	-	-	-	-	-	-	28.2	-
3	5~9人	-	-	-	-	-	-	21.7	-
4	10~19人	-	-	-	-	-	-	23.8	-
5	20~49人	-	-	-	-	-	-	16.9	-
6	50~99人	-	-	-	-	-	-	5.0	-
7	100人以上	-	-	-	-	-	-	2.2	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.6	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2089. PINTDFA ふだんの1日に接する人の数: 家族・親族

あなたがふだん1日に接する家族や親類は、同居している人を除いて何人くらいですか(電話、手紙、メール、直接会うことなど、すべて含めます)。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	0人	-	-	-	-	-	-	21.5	-
2	1~4人	-	-	-	-	-	-	53.0	-
3	5~9人	-	-	-	-	-	-	12.8	-
4	10~19人	-	-	-	-	-	-	7.4	-
5	20~49人	-	-	-	-	-	-	3.5	-
6	50~99人	-	-	-	-	-	-	1.0	-
7	100人以上	-	-	-	-	-	-	0.4	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	0.4	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2090-2099. 先の質問で思い浮かべた人たち(正月に新年の挨拶を交わした人・ふだんの1日に接する人)の中に、次のような職業の人はいますか。

2090. OCPLGSR 交流のある知人の職業: 議員・上級公務員・自治体幹部

議員・上級公務員・自治体幹部

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	17.5	-
2	いない	-	-	-	-	-	-	78.9	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	3.7	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2091. OCPMNGR 交流のある知人の職業:管理職

管理職

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	47.9	-
2	いない	-	-	-	-	-	-	48.8	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	3.3	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2092. OCPPRO 交流のある知人の職業:専門職

専門職

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	47.5	-
2	いない	-	-	-	-	-	-	49.0	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	3.5	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2093. OCPTECH 交流のある知人の職業:技術支援職・専門補佐職

技術支援職・専門補佐職

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	25.2	-
2	いない	-	-	-	-	-	-	69.7	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	5.1	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2094. OCPCLRC 交流のある知人の職業:事務的職業

事務的職業

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	62.6	-
2	いない	-	-	-	-	-	-	34.2	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	3.2	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2095. OCPSALE 交流のある知人の職業:サービスの職業・販売的職業

サービスの職業・販売的職業

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	63.5	-
2	いない	-	-	-	-	-	-	33.2	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	3.3	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2096. OCPAGFF 交流のある知人の職業:農林漁業従事者

農林漁業従事者

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	28.6	-
2	いない	-	-	-	-	-	-	66.5	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	4.9	-
		n	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2097. OCPCRFT 交流のある知人の職業:技能工・職人  
技能工・職人

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	41.9	-
2	いない	-	-	-	-	-	-	53.5	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	4.6	-
n		-	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2098. OCPMOP 交流のある知人の職業:簡単な機械や乗り物の操作をする職業  
簡単な機械や乗り物の操作をする職業

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	35.0	-
2	いない	-	-	-	-	-	-	60.5	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	4.5	-
n		-	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2099. OCPELEM 交流のある知人の職業:特に熟練を要しない簡易な職業  
特に熟練を要しない簡易な職業

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	45.2	-
2	いない	-	-	-	-	-	-	50.1	-
9	無回答	-	-	-	-	-	-	4.7	-
n		-	-	-	-	-	-	2160	-
8	非該当								

2100. SFHLCND から 2111. SFINTFSC は、下記とライセンス契約した上で使用している。

SF-12v2™ Health Survey, Japanese version (Standard) Copyright ©2009 by QualityMetric Incorporated and Shunichi Fukuhara. All rights reserved. SF-12v2™ は QualityMetric の登録商標です。

2100. SFHLCND SF12:主観的健康状態  
あなたの健康状態は、いかがですか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	最高に良い	-	-	-	-	-	-	-	2.8
2	とても良い	-	-	-	-	-	-	-	20.10
3	良い	-	-	-	-	-	-	-	52.3
4	あまり良くない	-	-	-	-	-	-	-	25.1
5	良くない	-	-	-	-	-	-	-	3.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.2
n		-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2101-2102. 以下の質問は、日常よく行なわれている活動です。あなたは健康上の理由で、こうした活動をするのがむずかしいと感じますか。むずかしいとすればどのくらいですか。

2101. SFLMTMA SF12:日常活動の困難:適度の活動

適度の活動、例えば、家や庭のそうじをする、1～2時間散歩するなど

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とてもむずかしい	-	-	-	-	-	-	-	3.9
2	少しむずかしい	-	-	-	-	-	-	-	20.2
3	ぜんぜんむずかしくない	-	-	-	-	-	-	-	75.2
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.6
n		-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2102. SFLMTSTR SF12: 日常活動の困難: 階段をのぼる  
階段を数階上までのぼる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とてもむずかしい	-	-	-	-	-	-	-	4.1
2	少しむずかしい	-	-	-	-	-	-	-	16.8
3	ぜんぜんむずかしくない	-	-	-	-	-	-	-	78.4
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.6
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2103-2104. 過去1カ月間に、仕事やふだんの活動(家事など)をするにあたって、身体的な理由で次のような問題がありましたか。

2103. SFPHUSL SF12: 身体的健康の問題: ふだんの活動ができない  
仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いつも	-	-	-	-	-	-	-	2.2
2	ほとんどいつも	-	-	-	-	-	-	-	3.2
3	ときどき	-	-	-	-	-	-	-	17.5
4	まれに	-	-	-	-	-	-	-	20.7
5	ぜんぜんない	-	-	-	-	-	-	-	55.8
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.6
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2104. SFPHCNT SF12: 身体的健康の問題: 内容によりふだんの活動ができない  
仕事やふだんの活動の内容によっては、できないものがあった

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いつも	-	-	-	-	-	-	-	2.1
2	ほとんどいつも	-	-	-	-	-	-	-	3.0
3	ときどき	-	-	-	-	-	-	-	16.9
4	まれに	-	-	-	-	-	-	-	23.8
5	ぜんぜんない	-	-	-	-	-	-	-	53.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.1
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2105-2106. 過去1カ月間に、仕事やふだんの活動(家事など)をするにあたって、心理的な理由で(例えば、気分がおちこんだり不安を感じたりしたために)、次のような問題がありましたか。

2105. SFMNTUSL SF12: 精神的健康の問題: ふだんの活動ができない  
仕事やふだんの活動が思ったほど、できなかった

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いつも	-	-	-	-	-	-	-	1.5
2	ほとんどいつも	-	-	-	-	-	-	-	3.4
3	ときどき	-	-	-	-	-	-	-	17.4
4	まれに	-	-	-	-	-	-	-	23.6
5	ぜんぜんない	-	-	-	-	-	-	-	53.4
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.8
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2106. SFMNTCNT SF12: 精神的健康の問題: ふだんの活動に集中できない  
仕事やふだんの活動がいつもほど、集中してできなかった

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いつも	-	-	-	-	-	-	-	1.4
2	ほとんどいつも	-	-	-	-	-	-	-	3.5
3	ときどき	-	-	-	-	-	-	-	18.4
4	まれに	-	-	-	-	-	-	-	25.5
5	ぜんぜんない	-	-	-	-	-	-	-	50.2
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.0
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2107. SFINTFPN SF12: 痛みによる仕事の困難

過去 1 カ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）が痛みのために、どのくらい妨げられましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ぜんぜん妨げられなかった	-	-	-	-	-	-	-	54.8
2	わずかに妨げられた	-	-	-	-	-	-	-	22.1
3	少し妨げられた	-	-	-	-	-	-	-	16.0
4	かなり妨げられた	-	-	-	-	-	-	-	4.1
5	非常に妨げられた	-	-	-	-	-	-	-	2.3
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.7
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2108-2110. 次にあげるのは、過去 1 カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。

2108. SFMHPEAC SF12: 精神的健康: おちついた気分

おちついていて、おだやかな気分でしたか

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いつも	-	-	-	-	-	-	-	10.3
2	ほとんどいつも	-	-	-	-	-	-	-	47.3
3	ときどき	-	-	-	-	-	-	-	27.8
4	まれに	-	-	-	-	-	-	-	9.1
5	ぜんぜんない	-	-	-	-	-	-	-	4.8
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.7
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2109. SFMHENGY SF12: 精神的健康: 活力にあふれる

活力（エネルギー）に、あふれていましたか

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いつも	-	-	-	-	-	-	-	6.5
2	ほとんどいつも	-	-	-	-	-	-	-	31.9
3	ときどき	-	-	-	-	-	-	-	36.1
4	まれに	-	-	-	-	-	-	-	15.0
5	ぜんぜんない	-	-	-	-	-	-	-	9.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.0
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2110. SFMHDPRS SF12: 精神的健康: おちこんだ気分

おちこんで、ゆううつな気分でしたか

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いつも	-	-	-	-	-	-	-	1.6
2	ほとんどいつも	-	-	-	-	-	-	-	4.7
3	ときどき	-	-	-	-	-	-	-	23.4
4	まれに	-	-	-	-	-	-	-	33.9
5	ぜんぜんない	-	-	-	-	-	-	-	35.7
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.7
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2111. SFINTFSC SF12: 健康問題による人づきあいの困難

過去 1 カ月間に、友人や親せきを訪ねるなど、人とのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いつも	-	-	-	-	-	-	-	0.8
2	ほとんどいつも	-	-	-	-	-	-	-	2.6
3	ときどき	-	-	-	-	-	-	-	9.4
4	まれに	-	-	-	-	-	-	-	20.0
5	ぜんぜんない	-	-	-	-	-	-	-	66.8
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.4
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496



2112-2113. あなたは以下のことについて、どう思いますか。ご自身についてお答えください。

2112. NOFUTR 希望のなさ:将来の希望が持てない

私には将来の希望がもてず、物事がよい方向に行くとは考えられない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	-	3.3
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	-	10.5
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	-	46.7
4	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	-	22.2
5	強く反対	-	-	-	-	-	-	-	15.8
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.4
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2113. NOGOAL 希望のなさ:目標は達成できない

私が目指している目標は達成できないだろう

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	-	3.0
2	どちらかといえば賛成	-	-	-	-	-	-	-	10.3
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	-	50.4
4	どちらかといえば反対	-	-	-	-	-	-	-	20.0
5	強く反対	-	-	-	-	-	-	-	14.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.8
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2114. XCHRDIS 慢性的な病気の有無

あなたは、慢性的な病気または長期にわたる健康上の問題をかかえていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	45.6
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	53.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.6
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2114. XCHRDIS に「1 はい」の場合

2115-2134. 慢性的な病気の種類\*

それはどのような病気または問題ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
CRHYTNS	高血圧	-	-	-	-	-	-	-	33.6
CRDIABT	糖尿病	-	-	-	-	-	-	-	13.5
CRHRTDIS	心血管疾患（心筋梗塞・狭心症など）	-	-	-	-	-	-	-	9.9
CRRSPROB	呼吸器疾患（ぜんそく・慢性的なせきなど）	-	-	-	-	-	-	-	8.4
CRHYLPM	脂質異常症（高脂血症など）	-	-	-	-	-	-	-	10.0
CRCRBVAS	脳血管疾患（脳卒中・脳梗塞など）	-	-	-	-	-	-	-	4.7
CRBKPAIN	腰痛・関節痛	-	-	-	-	-	-	-	44.0
CROTHER	その他（具体的に )	-	-	-	-	-	-	-	6.2
CRPRDIS	前立腺	-	-	-	-	-	-	-	1.0
CRARGDIS	アレルギー性疾患	-	-	-	-	-	-	-	2.4
CRCANCR	悪性新生物（がん）	-	-	-	-	-	-	-	2.1
CRMENIL	精神疾患	-	-	-	-	-	-	-	2.0
CRSENDIS	感覚器系疾患（聴力・視力の障害など）	-	-	-	-	-	-	-	2.6
CRLPGDIS	肝臓・すい臓・胆のう	-	-	-	-	-	-	-	1.3
CRGASDIS	胃腸	-	-	-	-	-	-	-	2.6
CRKIDDIS	腎臓	-	-	-	-	-	-	-	1.7
CRTHYDIS	甲状腺	-	-	-	-	-	-	-	1.2
CRBONE	骨折	-	-	-	-	-	-	-	0.4
CRPDPOS	身体障害・術後の後遺症	-	-	-	-	-	-	-	1.1
CRHEADSS	頭痛・肩こり	-	-	-	-	-	-	-	1.8
	選択者数	-	-	-	-	-	-	-	1137

\*CRPRDIS（慢性的な病気の種類：前立腺）、CRARGDIS（慢性的な病気の種類：アレルギー性疾患）、CRCANCR（慢性的な病気の種類：悪性新生物（がん））、CRMENIL（慢性的な病気の種類：精神疾患）、CRSENDIS（慢性的な病気の種類：感覚器系疾患（聴力・視力の障害など））、CRLPGDIS（慢性的な病気の種類：肝臓・すい臓・胆のう）、CRGASDIS（慢性的な病気の種類：胃腸）、CRKIDDIS（慢性的な病気の種類：腎臓）、CRTHYDIS（慢性的な病気の種類：甲状腺）、CRBONE（慢性的な病気の種類：骨折）、CRPDPOS（慢性的な病気の種類：身体障害・術後の後遺症）、CRHEADSS（慢性的な病気の種類：頭痛・肩こり）は、「その他」の具体的記述から追加した。

2135. SKITCH 皮膚のかゆみ

過去1カ月間に、皮膚のかゆみでどの程度困りましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	まったく困らなかった	-	-	-	-	-	-	-	60.8
2	すこし困った	-	-	-	-	-	-	-	28.2
3	困った	-	-	-	-	-	-	-	5.3
4	かなり困った	-	-	-	-	-	-	-	3.2
5	ひどく困った	-	-	-	-	-	-	-	1.8
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.7
	n	-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2136. HEIGHT 身長:cm

あなたの身長を教えてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	120~124 センチメートル	-	-	-	-	-	-	-	0.0
	125~129 センチメートル	-	-	-	-	-	-	-	0.0
	130~134 センチメートル	-	-	-	-	-	-	-	0.0
	135~139 センチメートル	-	-	-	-	-	-	-	0.2
	140~144 センチメートル	-	-	-	-	-	-	-	1.7
	145~149 センチメートル	-	-	-	-	-	-	-	6.2
	150~154 センチメートル	-	-	-	-	-	-	-	17.2
	155~159 センチメートル	-	-	-	-	-	-	-	18.7
	160~164 センチメートル	-	-	-	-	-	-	-	18.4
	165~169 センチメートル	-	-	-	-	-	-	-	15.6
	170~174 センチメートル	-	-	-	-	-	-	-	14.1
	175~179 センチメートル	-	-	-	-	-	-	-	4.6
	180 センチメートル以上	-	-	-	-	-	-	-	2.2
999	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.0
	n	-	-	-	-	-	-	-	2496
888	非該当								

2137. BDWEIGHT 体重:kg

あなたの体重を教えてください(現在、妊娠中の方は、妊娠前の体重をお書きください)。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	30～34 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	0.1
	35～39 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	1.5
	40～44 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	6.7
	45～49 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	11.8
	50～54 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	19.6
	55～59 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	14.8
	60～64 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	15.4
	65～69 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	10.2
	70～74 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	8.1
	75～79 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	4.5
	80～84 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	2.4
	85～89 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	1.1
	90～94 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	0.9
	95～99 キログラム	-	-	-	-	-	-	-	0.2
	100 キログラム以上	-	-	-	-	-	-	-	0.3
999	無回答	-	-	-	-	-	-	-	2.5
		n	-	-	-	-	-	-	2496
888	非該当								

941. DOSMOKEX に「1 現在吸っている」の場合

2138. FQSMOKE 現在の喫煙頻度

あなたは、現在のどのくらいの頻度で、タバコを吸っていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	毎日	-	-	-	-	-	-	-	96.4
2	週に数回	-	-	-	-	-	-	-	2.0
3	月に数回	-	-	-	-	-	-	-	1.3
4	年に数回以下	-	-	-	-	-	-	-	0.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.4
		n	-	-	-	-	-	-	549
8	非該当								

941. DOSMOKEX (喫煙経験) に「1 現在吸っている」「2 以前は吸っていたがやめた」の場合

2139. SMOKEYR 喫煙年数

あなたは、これまで何年間くらいタバコを吸っていますか。現在吸っていない方は過去の経験についてお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
実数記入	1～9年間くらい	-	-	-	-	-	-	-	17.0
	10～19年間くらい	-	-	-	-	-	-	-	22.7
	20～29年間くらい	-	-	-	-	-	-	-	22.3
	30～39年間くらい	-	-	-	-	-	-	-	18.8
	40～49年間くらい	-	-	-	-	-	-	-	12.6
	50～59年間くらい	-	-	-	-	-	-	-	4.2
	60年間以上	-	-	-	-	-	-	-	1.0
999	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.4
		n	-	-	-	-	-	-	1106
888	非該当								

2140. DO5DRINK お酒を飲む頻度

あなたは、どのくらいの頻度でお酒(アルコール含有飲料)を飲みますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	毎日	-	-	-	-	-	-	-	20.2
2	週に数回	-	-	-	-	-	-	-	16.6
3	月に数回	-	-	-	-	-	-	-	15.5
4	年に数回以下	-	-	-	-	-	-	-	17.0
5	まったく飲まない	-	-	-	-	-	-	-	30.2
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.5
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2141. FQEXER 運動頻度

あなたは、どのくらいの頻度で汗をかいたり、息が切れるような運動（20分以上）をしていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	毎日	-	-	-	-	-	-	-	4.9
2	週に数回	-	-	-	-	-	-	-	20.8
3	月に数回	-	-	-	-	-	-	-	16.1
4	年に数回以下	-	-	-	-	-	-	-	19.6
5	まったくしていない	-	-	-	-	-	-	-	38.1
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.4
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2142. XHLTCHK 健康診断の受診経験

過去3年の間に、あなたは健康診断を受けましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	定期的に受けた	-	-	-	-	-	-	-	65.7
2	不定期に受けた	-	-	-	-	-	-	-	18.6
3	受けていない	-	-	-	-	-	-	-	15.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.2
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2143. CAREBDS 体型が気になる程度

あなたは、ご自身の体型について、どの程度気になりますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に気になる	-	-	-	-	-	-	-	11.6
2	ある程度気になる	-	-	-	-	-	-	-	30.5
3	少しは気になる	-	-	-	-	-	-	-	30.0
4	まったく気にならない	-	-	-	-	-	-	-	27.4
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.5
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2143. CAREBDS に「1 非常に気になる」「2 ある程度気になる」「3 少しは気になる」の場合

2144-2148. 体型が気になる理由

体型が気になるのは、どのような理由からですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
RCBDEYE	見た目に対する周りの人の目	-	-	-	-	-	-	-	21.9
RCBDFEEL	見た目に対する自分自身の気持ち	-	-	-	-	-	-	-	46.7
RCBDHLT	健康の問題	-	-	-	-	-	-	-	55.3
RCBDWR	服の問題	-	-	-	-	-	-	-	28.3
RCBDOTH	その他（具体的に )	-	-	-	-	-	-	-	0.1
	選択者数	-	-	-	-	-	-	-	1807

2149-2153. 体型管理

体型管理のために、何かを行なっていますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
MBDEXE	運動	-	-	-	-	-	-	-	34.5
MBDFD	食事の量や質のコントロール	-	-	-	-	-	-	-	43.6
MBDSUPP	サプリメント（栄養補助食品）の摂取	-	-	-	-	-	-	-	15.1
MBDOTH	その他（具体的に）	-	-	-	-	-	-	-	0.7
MBDNONE	特に何も行っていない	-	-	-	-	-	-	-	33.0
	選択者数	-	-	-	-	-	-	-	1807

2154. OPWGHT 現在の体重に対する意識

あなたは、現在の体重について、どのように思っていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	減らしたい	-	-	-	-	-	-	-	21.4
2	少し減らしたい	-	-	-	-	-	-	-	35.4
3	現在のままで良い	-	-	-	-	-	-	-	35.2
4	少し増やしたい	-	-	-	-	-	-	-	5.6
5	増やしたい	-	-	-	-	-	-	-	2.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.4
	n	-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2155. FQ6DCTR 医師の診断を受けた頻度

過去1年間に、あなたはどのくらいの頻度で、医師の診断を受けましたか。あなた自身の病気やケガによるものについてお答えください（現在、妊娠中の方は、妊娠前の状況をお書きください）。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	週に数回以上	-	-	-	-	-	-	-	2.0
2	週に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	4.7
3	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	28.5
4	年に数回	-	-	-	-	-	-	-	35.2
5	年に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	16.0
6	まったくない	-	-	-	-	-	-	-	13.1
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.5
	n	-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2156. XRFDCTR 医師の診断を控えた経験

過去1年間に、病気やケガにもかかわらず、医師の診断を受けることを控えたことがありますか。風邪や虫歯の場合も含めてお答えください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	控えたことがある	-	-	-	-	-	-	-	25.2
2	控えたことはない	-	-	-	-	-	-	-	58.9
3	過去1年間に病気・ケガはしていない	-	-	-	-	-	-	-	15.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.5
	n	-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2156. XRFDCTR に「1 控えたことがある」の場合

2157-2166. 医師の診断を控えた理由

それはなぜですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
多重回答									
RFDRAWL	待ち時間が長い	-	-	-	-	-	-	-	31.1
RFDRCST	費用がかかる	-	-	-	-	-	-	-	34.1
RFDREIS	病院が近くにない	-	-	-	-	-	-	-	4.5
RFDREDK	どの病院に行ったらよいかわからない	-	-	-	-	-	-	-	8.9
RFDRTNS	交通手段がない	-	-	-	-	-	-	-	1.1
RFDRAVSN	病院に行くのは好きではない	-	-	-	-	-	-	-	26.0
RFDREBSY	忙しくて時間がない	-	-	-	-	-	-	-	38.7
RFDRESLGT	病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した	-	-	-	-	-	-	-	52.5
RFDREINS	保険が使えない	-	-	-	-	-	-	-	1.1
RFDREOTH	その他（具体的に )	-	-	-	-	-	-	-	2.4
選択者数		-	-	-	-	-	-	-	628

2167. TPHLINS 医療保険の種類

あなたは、どのような医療保険に入っていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	公的医療保険のみ	-	-	-	-	-	-	-	44.2
2	公的医療保険と民間の医療保険	-	-	-	-	-	-	-	34.5
3	民間の医療保険のみ	-	-	-	-	-	-	-	13.8
4	医療保険には入っていない	-	-	-	-	-	-	-	2.6
5	わからない	-	-	-	-	-	-	-	3.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.0
n		-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2168. XOMDACU 東洋医療の経験: 鍼・灸

過去1年間に、あなたは以下の療法を受けたことがありますか。それぞれについてお答えください。

鍼・灸

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	5.8
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	91.7
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	2.4
n		-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2169. XOMDHRB 東洋医療の経験: 漢方薬

漢方薬

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	10.1
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	87.4
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	2.5
n		-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2170. XOMDMAS 東洋医療の経験: 指圧・マッサージ

指圧・マッサージ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	21.4
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	77.8
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.8
n		-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2171-2172. ご自身やご家族の将来のことを考えたとき、以下の点についてどの程度不安を感じますか。

2171. FRMDREC 医療不安:必要な時に受けられない

必要なときに医療を受けられない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に不安	-	-	-	-	-	-	-	14.1
2	やや不安	-	-	-	-	-	-	-	29.2
3	あまり不安はない	-	-	-	-	-	-	-	34.8
4	まったく不安はない	-	-	-	-	-	-	-	21.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.9
		<hr/>							
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2172. FRMDPAY 医療不安:医療費を払えない

深刻な病気にかかったときに医療費を払えない

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に不安	-	-	-	-	-	-	-	19.8
2	やや不安	-	-	-	-	-	-	-	34.5
3	あまり不安はない	-	-	-	-	-	-	-	27.4
4	まったく不安はない	-	-	-	-	-	-	-	17.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.9
		<hr/>							
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2173. LSCON 心配事を聞いてくれた人の有無

過去1年間、必要なときに心配事を聞いてくれた人はいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	68.9
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	9.3
3	心配事はなかった	-	-	-	-	-	-	-	21.4
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.4
		<hr/>							
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2173. LSCONに「1 はい」の場合

2174-2180. 心配事を聞いてくれた人

それは誰ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
0	非選択								
1	選択								
8	非該当								
9	無回答								
		<hr/>							
多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
LSCONFF	同居家族	-	-	-	-	-	-	-	69.1
LSCONRL	その他の親族	-	-	-	-	-	-	-	32.9
LSCONCL	職場の人	-	-	-	-	-	-	-	18.5
LSCONNB	近所の人	-	-	-	-	-	-	-	9.4
LSCONFR	友人	-	-	-	-	-	-	-	57.7
LSCONPR	専門職の人(カウンセラー、ヘルパーなど)	-	-	-	-	-	-	-	4.2
LSCONOTH	その他(具体的に )	-	-	-	-	-	-	-	0.2
		<hr/>							
	選択者数	-	-	-	-	-	-	-	1720

2181. FNHP 経済的な面で助けてくれた人の有無

過去1年間、必要なときに経済的な面で助けてくれた人はいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	26.8
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	17.2
3	経済的な援助を必要としたことはない	-	-	-	-	-	-	-	55.6
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.4
		<hr/>							
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2181. FNHP に「1 はい」の場合

2182-2188. 経済的な面で助けてくれた人

それは誰ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード

- 0 非選択
- 1 選択
- 8 非該当
- 9 無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
FNHPFF	同居家族	-	-	-	-	-	-	-	59.8
FNHPRL	その他の親族	-	-	-	-	-	-	-	45.9
FNHPCL	職場の人	-	-	-	-	-	-	-	2.1
FNHPNB	近所の人	-	-	-	-	-	-	-	0.9
FNHPFR	友人	-	-	-	-	-	-	-	8.1
FNHPPR	専門職の人(金融機関や公的機関の人など)	-	-	-	-	-	-	-	3.1
FNHPOTH	その他(具体的に )	-	-	-	-	-	-	-	0.3
選択者数		-	-	-	-	-	-	-	669

2189. OTHP その他の手助けをしてくれた人の有無

過去1年間、必要なときにその他の手助け(例えば、家事・育児・介護など)をしてくれた人はいますか。

コード

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 手助けを必要としたことはない
- 9 無回答

		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	1	-	-	-	-	-	-	-	41.5
	2	-	-	-	-	-	-	-	11.9
	3	-	-	-	-	-	-	-	46.2
	9	-	-	-	-	-	-	-	0.4
	8	n	-	-	-	-	-	-	2496

2189. OTHP に「1 はい」の場合

2190-2196. その他の手助けをしてくれた人

それは誰ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

コード

- 0 非選択
- 1 選択
- 8 非該当
- 9 無回答

多重回答		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
OTHPFF	同居家族	-	-	-	-	-	-	-	74.1
OTHPRL	その他の親族	-	-	-	-	-	-	-	37.6
OTHPCL	職場の人	-	-	-	-	-	-	-	1.4
OTHPNB	近所の人	-	-	-	-	-	-	-	4.4
OTHPFR	友人	-	-	-	-	-	-	-	10.0
OTHPPR	専門職の人(ヘルパー、家事サービスの利用など)	-	-	-	-	-	-	-	6.5
OTHPOTH	その他(具体的に )	-	-	-	-	-	-	-	0.1
選択者数		-	-	-	-	-	-	-	1036

2197. OP4TRUST 人への信頼感

一般的に、人は信用できると思いますか。それとも、人と付き合うときには、できるだけ用心したほうがよいと思いますか。

コード

- 1 ほとんどの場合、信用できる
- 2 たいていは、信用できる
- 3 たいていは、用心したほうがよい
- 4 ほとんどの場合、用心したほうがよい
- 9 無回答

		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
	1	-	-	-	-	-	-	-	11.9
	2	-	-	-	-	-	-	-	57.5
	3	-	-	-	-	-	-	-	24.1
	4	-	-	-	-	-	-	-	5.4
	9	-	-	-	-	-	-	-	1.2
	8	n	-	-	-	-	-	-	2496



2198-2201. あなたがお住まいの地域で、次の問題はどの程度深刻ですか。

2198. ENHMAP 環境被害:大気汚染

大気汚染

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても深刻	-	-	-	-	-	-	-	2.7
2	ある程度深刻	-	-	-	-	-	-	-	14.5
3	あまり深刻ではない	-	-	-	-	-	-	-	52.0
4	まったく深刻ではない	-	-	-	-	-	-	-	29.7
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.1
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2199. ENHMWP 環境被害:水質汚染

水質汚染

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても深刻	-	-	-	-	-	-	-	2.2
2	ある程度深刻	-	-	-	-	-	-	-	12.3
3	あまり深刻ではない	-	-	-	-	-	-	-	52.5
4	まったく深刻ではない	-	-	-	-	-	-	-	31.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.5
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2200. ENHMNP 環境被害:騒音被害

騒音被害

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても深刻	-	-	-	-	-	-	-	3.0
2	ある程度深刻	-	-	-	-	-	-	-	12.2
3	あまり深刻ではない	-	-	-	-	-	-	-	50.6
4	まったく深刻ではない	-	-	-	-	-	-	-	33.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.2
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2201. ENHMSUN 環境被害:日照被害

日照被害

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても深刻	-	-	-	-	-	-	-	2.0
2	ある程度深刻	-	-	-	-	-	-	-	8.2
3	あまり深刻ではない	-	-	-	-	-	-	-	47.4
4	まったく深刻ではない	-	-	-	-	-	-	-	41.3
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.2
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2202-2207. あなたの家から1キロ(徒歩15分程度)以内の近隣の状況についておうかがいします。以下のことはどの程度あてはまりますか。それぞれについてお答えください。

2202. OPNBEXE 近隣状況:運動に適している

ジョギングや散歩などの運動をするのに適している

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくあてはまる	-	-	-	-	-	-	-	31.1
2	あてはまる	-	-	-	-	-	-	-	44.5
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	-	17.3
4	あてはまらない	-	-	-	-	-	-	-	5.2
5	まったくあてはまらない	-	-	-	-	-	-	-	1.1
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.8
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2203. OPNbfd 近隣状況:新鮮な果物や野菜が手に入る  
新鮮な果物や、野菜がいろいろと手に入る

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくあてはまる	-	-	-	-	-	-	-	27.6
2	あてはまる	-	-	-	-	-	-	-	44.5
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	-	17.5
4	あてはまらない	-	-	-	-	-	-	-	7.7
5	まったくあてはまらない	-	-	-	-	-	-	-	1.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.8
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2204. OPNBPF 近隣状況:公共施設が整っている  
公共施設(公民館・図書館・公園など)が整っている

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくあてはまる	-	-	-	-	-	-	-	20.2
2	あてはまる	-	-	-	-	-	-	-	37.5
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	-	23.3
4	あてはまらない	-	-	-	-	-	-	-	13.2
5	まったくあてはまらない	-	-	-	-	-	-	-	4.7
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.0
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2205. OPNBSAFE 近隣状況:安心して生活できる  
安心して生活できる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくあてはまる	-	-	-	-	-	-	-	22.2
2	あてはまる	-	-	-	-	-	-	-	52.0
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	-	21.3
4	あてはまらない	-	-	-	-	-	-	-	2.9
5	まったくあてはまらない	-	-	-	-	-	-	-	0.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.1
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2206. OPNBMTGN 近隣状況:互いに気にかけている  
近所の人、お互いに気にかけている

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくあてはまる	-	-	-	-	-	-	-	13.9
2	あてはまる	-	-	-	-	-	-	-	38.1
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	-	33.3
4	あてはまらない	-	-	-	-	-	-	-	10.4
5	まったくあてはまらない	-	-	-	-	-	-	-	3.6
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.8
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2207. OPNBASS 近隣状況:手助けしてくれる  
近所の人、私が困っていたら手助けしてくれる

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	よくあてはまる	-	-	-	-	-	-	-	10.7
2	あてはまる	-	-	-	-	-	-	-	31.3
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	-	40.0
4	あてはまらない	-	-	-	-	-	-	-	11.3
5	まったくあてはまらない	-	-	-	-	-	-	-	6.0
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.7
		n	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2208-2210. 日頃の生活で、あなたは以下のことを、どのくらい感じていますか。

2208. TMAFFL 時間的なゆとり感

時間的なゆとり

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても感じている	-	-	-	-	-	-	-	14.4
2	ある程度感じている	-	-	-	-	-	-	-	45.9
3	あまり感じていない	-	-	-	-	-	-	-	30.3
4	まったく感じていない	-	-	-	-	-	-	-	8.7
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.7
		<hr/>							
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2209. PGMIND 心のゆとり感

心のゆとり

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても感じている	-	-	-	-	-	-	-	9.7
2	ある程度感じている	-	-	-	-	-	-	-	50.9
3	あまり感じていない	-	-	-	-	-	-	-	33.2
4	まったく感じていない	-	-	-	-	-	-	-	5.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.7
		<hr/>							
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2210. LONELY 孤独感

孤独感

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	とても感じている	-	-	-	-	-	-	-	3.7
2	ある程度感じている	-	-	-	-	-	-	-	20.7
3	あまり感じていない	-	-	-	-	-	-	-	44.9
4	まったく感じていない	-	-	-	-	-	-	-	29.8
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.9
		<hr/>							
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2211-2216. あなたは、次のことをどのくらい行なっていますか。

2211. FRLXBATH 心身の癒し:温泉・銭湯・サウナに行く

温泉・銭湯・サウナに行く

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	-	-	0.8
2	週に数回	-	-	-	-	-	-	-	3.1
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	5.0
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	12.2
5	年に数回	-	-	-	-	-	-	-	42.2
6	まったくしない	-	-	-	-	-	-	-	36.1
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.6
		<hr/>							
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2212. FRLXMSSG 心身の癒し:マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける

マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	-	-	0.2
2	週に数回	-	-	-	-	-	-	-	1.0
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	2.6
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	5.6
5	年に数回	-	-	-	-	-	-	-	13.8
6	まったくしない	-	-	-	-	-	-	-	75.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.9
		<hr/>							
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2213. FRLXNATR 心身の癒し:自然の中で過ごす  
自然の中で過ごす(森林浴、海・川などへ行く)

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	-	-	2.8
2	週に数回	-	-	-	-	-	-	-	2.2
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	4.1
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	8.6
5	年に数回	-	-	-	-	-	-	-	43.8
6	まったくしない	-	-	-	-	-	-	-	37.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.0
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2214. FRLXPET 心身の癒し:ペットと過ごす  
ペットと過ごす

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	-	-	22.6
2	週に数回	-	-	-	-	-	-	-	2.0
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	1.7
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	1.4
5	年に数回	-	-	-	-	-	-	-	3.0
6	まったくしない	-	-	-	-	-	-	-	68.3
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.0
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2215. FRLXEXE 心身の癒し:体操をする  
体操(ヨガ、ストレッチ、ピラティスなど)をする

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	-	-	4.5
2	週に数回	-	-	-	-	-	-	-	7.8
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	8.1
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	3.7
5	年に数回	-	-	-	-	-	-	-	7.1
6	まったくしない	-	-	-	-	-	-	-	67.7
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.1
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2216. FRLXMSC 心身の癒し:音楽を聴く・歌を歌う  
音楽を聴く・歌をうたう

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	ほぼ毎日	-	-	-	-	-	-	-	21.0
2	週に数回	-	-	-	-	-	-	-	18.0
3	週に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	12.0
4	月に1回程度	-	-	-	-	-	-	-	10.3
5	年に数回	-	-	-	-	-	-	-	18.5
6	まったくしない	-	-	-	-	-	-	-	19.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.7
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2217. ENJYLF 生活を楽しんでいる  
あなたは、ご自分の生活を楽しんでいると思いますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	54.2
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	8.7
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	-	36.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.2
<hr/>									
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2218. XFLUVCC インフルエンザの予防接種の経験

あなたは過去1年間に、インフルエンザ（新型インフルエンザを含む）の予防接種を受けましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	39.1
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	60.7
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.2
		<hr/>							
n		-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2219. FEARNFLU 新型インフルエンザの大流行への不安

あなたは、昨年、新型インフルエンザが人々の間で大流行したときに、どの程度心配しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	非常に心配した	-	-	-	-	-	-	-	19.5
2	やや心配した	-	-	-	-	-	-	-	46.1
3	あまり心配しなかった	-	-	-	-	-	-	-	26.3
4	まったく心配しなかった	-	-	-	-	-	-	-	7.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.2
		<hr/>							
n		-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2220. INFCFLU インフルエンザ感染の有無

2009年5月以降、あなたはインフルエンザに感染しましたか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	5.0
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	94.6
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.4
		<hr/>							
n		-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2221. FINFCFLU 同居家族のインフルエンザ感染の有無

2009年5月以降、あなたが一緒に暮らしている方の中にインフルエンザに感染した人はいますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	-	20.2
2	いない	-	-	-	-	-	-	-	66.7
3	同居家族はいない	-	-	-	-	-	-	-	8.4
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	4.8
		<hr/>							
n		-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2222. CRNDFF 介護を必要とする家族の有無

あなたのご家族には、長期にわたる心身の病気・障がいや高齢のためにケアが必要な方はいますか。（あなたと別々に暮らしている方も含めてお答えください）

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	いる	-	-	-	-	-	-	-	24.5
2	いない	-	-	-	-	-	-	-	74.9
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.6
		<hr/>							
n		-	-	-	-	-	-	-	2496
8	非該当								

2222. CRNDFF に「1 いる」の場合

2223. CRGIVFF 回答者が家族の主な介護者

あなたは、そのご家族のケアを主にしていますか。

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	はい	-	-	-	-	-	-	-	46.8
2	いいえ	-	-	-	-	-	-	-	52.4
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.8
		<hr/>							
n		-	-	-	-	-	-	-	611
8	非該当								

2224-2226. あなたは次の意見について、どう思いますか。

2224. WAGTARND 年をとることへの不安:自分で自分のことができなくなる年をとるにつれて、自分で自分のことができなくなるのが心配だ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	-	27.8
2	賛成	-	-	-	-	-	-	-	45.3
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	-	22.4
4	反対	-	-	-	-	-	-	-	2.9
5	強く反対	-	-	-	-	-	-	-	0.8
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	0.9
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2225. WAOTHMD 年をとることへの不安:自分のことを他の人に決めてもらう

年をとるにつれて、自分のことを他の人に決めてもらわなくてはならなくなるのが心配だ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	-	17.7
2	賛成	-	-	-	-	-	-	-	34.7
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	-	37.4
4	反対	-	-	-	-	-	-	-	7.5
5	強く反対	-	-	-	-	-	-	-	1.5
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.1
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2226. WAFINDPN 年をとることへの不安:経済的に依存する

年をとるにつれて、他の人に経済的に依存しなくてはならなくなることは、大きな不安だ

コード		2000	2001	2002	2003	2005	2006	2008	2010
1	強く賛成	-	-	-	-	-	-	-	21.0
2	賛成	-	-	-	-	-	-	-	30.2
3	どちらともいえない	-	-	-	-	-	-	-	36.3
4	反対	-	-	-	-	-	-	-	8.7
5	強く反対	-	-	-	-	-	-	-	2.6
9	無回答	-	-	-	-	-	-	-	1.2
8	非該当	n	-	-	-	-	-	-	2496

2227. WEIGHT ウェイト

この変数の単純集計は記載していません。

\*区分の仕方は、2003 までと 2005 以降で異なる。詳細は、調査概要 5.データセットのウェイトについてを参照のこと。

このウェイト付け変数は、それぞれの調査年度における人口規模を元にしたものであり、調査年度をまたいでのウェイト付けを可能にするものではない。

## . 2 事項索引

No.	大見出し	小見出し	変数名	変数ラベル
1	調査基本情報	調査情報	CUMIDUSE	累積識別番号
2	調査基本情報	調査情報	RYEAR	調査年度
3	調査基本情報	調査情報	IDUSE	調査年度別識別番号
4	調査基本情報	調査情報	DRAN	アタック状況番号
5	調査基本情報	調査情報	FORM	留置票の種別
6	調査基本情報	調査情報	DATEB	留置回収完了日
7	調査基本情報	調査情報	MONTHB	留置回収完了日：月
8	調査基本情報	調査情報	DAYB	留置回収完了日：日
9	調査基本情報	調査情報	PROC	調査手順（留置 / 面接の順序）
10	調査基本情報	調査情報	DATE	面接完了日*
11	調査基本情報	調査情報	MONTH	面接完了日：月*
12	調査基本情報	調査情報	DAY	面接完了日：日*
13	調査基本情報	調査情報	DURATION	調査所要時間（分）
14	調査基本情報	調査情報	XXTODAY	留置票の記入日：月日*
15	調査基本情報	調査員設問	COOP	調査員への質問：回答者の協力度
16	調査基本情報	調査員設問	USTAND	調査員への質問：回答者の理解度
17	調査基本情報	調査員設問	AREA	調査員への質問：回答者の居住地域
18	調査基本情報	回答者	SEXA	性別
19	調査基本情報	回答者	AGEB	年齢*
20	調査基本情報	回答者	DOBYEAR	生年
21	調査基本情報	居住地	BLOCK	地域ブロック
22	調査基本情報	居住地	PREF	都道府県名
23	調査基本情報	居住地	SIZE	市郡規模*
24	調査基本情報	居住地	SIZE2K	市郡規模（2000年時点）*
25	調査基本情報	居住地	SIZEHMT	居住地域の規模
26	住居	住居	TP8DWEL	住居形態
27	住居	住居	OWNHOUSE	住居形態：持ち家
28	住居	住居	TPHOUSE	住居形態：一戸建て
29	住居	住居	SZDWEL	住宅床面積
30	労働	現職	XJOB1WK	先週の就労経験*
31	労働	現職	XJOBDWK	就労日数 / 週
32	労働	現職	XJOBHWK	就労時間数 / 週
33	労働	現職	XOTHWK	残業時間数 / 週*
34	労働	現職	DOWKMON	就労曜日：月*
35	労働	現職	DOWKTUE	就労曜日：火*
36	労働	現職	DOWKWED	就労曜日：水*
37	労働	現職	DOWKTHU	就労曜日：木*
38	労働	現職	DOWKFRI	就労曜日：金*
39	労働	現職	DOWKSAT	就労曜日：土*
40	労働	現職	DOWKSUN	就労曜日：日*
41	労働	現職	DOWKVAR	就労曜日：週によってまちまち*
42	労働	現職	FQWKOFF	連休の回数 / 年
43	労働	現職	XJOBREG	契約就労時間の有無
44	労働	現職	XJOBREGH	契約就労時間数 / 週
45	労働	現職	XJBSCHE	通常労働時間数 / 週
46	労働	現職	DOCNTRCT	雇用契約期限の有無
47	労働	現職	SZCNTRCT	雇用期限
48	労働	現職	SZCNTYR	雇用期限：年
49	労働	現職	SZCNTMO	雇用期限：月
50	労働	現職	TP12JOB	就労地位*
51	労働	現職	TPJOB	就労形態
52	労働	現職	TPJOBP	役職
53	労働	現職	TPJBDBP	登録派遣
54	労働	現職	TPJBSE	従業員を持つ自営業者
55	労働	現職	XXWPL	業種*
56	労働	現職	XXWPLE	業種（ISIC）*
57	労働	現職	XXJOB	職種
58	労働	現職	XXJOBE	職種（ISCO）*
59	労働	現職	SZSTAFSA	従業員規模（就労事業所）

60	労働	現職	SZWNSTF	女子従業員比
61	労働	現職	TP4WPLA	事業所形態*
62	労働	現職	XXWPHQ	業種（本社）
63	労働	現職	SZTTLSTA	企業規模_統合*
64	労働	現職	SZTTLSTA_00	企業規模_2000*
65	労働	現職	SZTTLSTA_01	企業規模_2001*
66	労働	現職	SZTTLSTA_02	企業規模_2002*
67	労働	現職	SZTTLSTA_03	企業規模_2003*
68	労働	現職	SZTTLSTA_05	企業規模_2005*
69	労働	現職	SZTTLSTA_06	企業規模_2006*
70	労働	現職	SZTTLSTA_08	企業規模_2008*
71	労働	現職	SZTTLSTA_10	企業規模_2010*
72	労働	現職	XJOBYSR	就労年数*
73	労働	現職	JOINUNI	労働組合加入の有無*
74	労働	現職	DOUNION	労働組合の有無*
75	労働	現職	XTRG1YR	過去1年の研修経験
76	労働	現職	WHPAYTRG	研修費用の負担
77	労働	現職	SZTRGA	研修期間
78	労働	現職	DOBOSS	上司の有無
79	労働	現職	BSDOBOSS	上司の上司の有無
80	労働	現職	DOSTAFF	部下の有無
81	労働	現職	STFDOSTF	部下の部下の有無
82	労働	就業観	OP4UNEMP	失業の可能性*
83	労働	就業観	OP3NEWJB	再就労の容易さ*
84	労働	就業観	ST5JOB	現在の仕事の満足度*
85	労働	就業観	ST5HSWK	家事の仕事の満足度*
86	労働	就業観	WLKEEPJA	現在の会社・組織での就労継続意向*
87	労働	就業観	WLSTOPWK	不自由なく暮らせる場合の就労継続意向
88	労働	現職	SZINCOMX	本人年収：主な仕事*
89	労働	現職	SZHIINCX	本人年収：2,300万円以上の場合（具体的記述）
90	労働	現職	SZINCOMA	本人年収：全体
91	労働	現職	TP5PAY	給与形態
92	労働	現職	SZPAYHRX	時間給
93	労働	現職	SZPAYDYX	日給
94	労働	現職	SZPAYWKX	週給
95	労働	現職	SZPAYMOX	月給
96	労働	現職	SZPAYYRX	年俸
97	労働	現職	XSJB1WK	副業の有無*
98	労働	現職	SZSJBHWK	副業就労時間数/週*
99	労働	就業	DOLOOKJB	求職の有無（全員）
100	労働	就業	TP5UNEMP	不就労の理由*
101	労働	就業	WLWANTJB	不就労者に：今後の就労意向*
102	労働	就業	XNUMCOWK	転職数*
103	労働	就業	XNOWORK	卒業後の未就労期間の有無
104	労働	就業	SZNOWORK	卒業後の未就労年数
105	労働	就業	DOFINDJB	不就労者に：求職の有無
106	労働	就業	SZFINDJB	求職期間
107	労働	収入源	INCSELF	現在の収入源：自分の収入（全員）*
108	労働	収入源	INCSP	現在の収入源：配偶者の収入（全員）*
109	労働	収入源	INCPAR	現在の収入源：親の収入（全員）*
110	労働	収入源	INCFAM	現在の収入源：他の家族の収入（全員）*
111	労働	収入源	INCPEN	現在の収入源：年金（全員）*
112	労働	収入源	INCUEB	現在の収入源：失業保険（全員）*
113	労働	収入源	INCSAVE	現在の収入源：貯蓄（全員）*
114	労働	収入源	INCSOC	現在の収入源：社会福祉（全員）*
115	労働	収入源	INCIRR	現在の収入源：不定期的な仕事（全員）*
116	労働	収入源	INCOTHER	現在の収入源：その他（全員）*
117	労働	収入源	INCNOKN	現在の収入源：わからない（全員）*
118	労働	収入源	INCRENT	現在の収入源：賃貸料所得（全員）*
119	労働	収入源	INCMAIN	現在の収入源：中心となるもの（全員）*
120	労働	収入源	INPEN	現在の収入源：年金（仕事をしていない人）*
121	労働	収入源	INUEB	現在の収入源：失業保険（仕事をしていない人）*
122	労働	収入源	INSAVING	現在の収入源：貯蓄（仕事をしていない人）*
123	労働	収入源	INSPOUSE	現在の収入源：配偶者の収入（仕事をしていない人）*



124	労働	収入源	INPARENT	現在の収入源：親の収入（仕事をしていない人）*
125	労働	収入源	INFAMILY	現在の収入源：配偶者・親以外の家族の収入（仕事をしていない人）*
126	労働	収入源	INSOCSEC	現在の収入源：社会福祉（仕事をしていない人）*
127	労働	収入源	INIRREG	現在の収入源：不定期的な仕事（仕事をしていない人）*
128	労働	収入源	INOTHER	現在の収入源：その他（仕事をしていない人）*
129	労働	収入源	INNOKNOW	現在の収入源：わからない（仕事をしていない人）*
130	労働	就業	XWORK	就労経験*
131	労働	就業	XWORKIY	1年間以上の就労経験*
132	労働	就業	WHNSTPWK	離職時期（西暦）*
133	労働	就業	AGESTPWK	離職年齢
134	労働	就業	XXSTPJB	離職理由*
135	労働	前職	TP12LSTJ	前職の就労地位*
136	労働	前職	XXLSTWPL	前職の業種*
137	労働	前職	XXLSTJB	前職の職種*
138	労働	前職	SZSTFLSA	前職の企業規模*
139	労働	前職	SZINLST	前職の年収*
140	労働	前職	SZHILST	前職の年収：2,300万円以上の場合（具体的記述）
141	労働	初職	TP12FSTJ	初職の就労地位*
142	労働	初職	TPFSTJB	初職の就労形態
143	労働	初職	TPFSTJBP	初職の役職
144	労働	初職	XXFSTWP	初職の業種
145	労働	初職	XXFSTJB	初職の職種
146	労働	初職	XXFSTJBE	初職の職種（ISCO）*
147	労働	初職	SZSTFFST	初職の企業規模*
148	労働	初職	XGETJOB	初職の就労時期
149	労働	初職	HOWJOB	初職の求職方法
150	労働	配偶者現職	SSJB1WK	先週の就労経験（配偶者）*
151	労働	配偶者現職	SSTPUNEM	不就労の理由（配偶者）*
152	労働	配偶者現職	SSJBDWK	就労日数/週（配偶者）*
153	労働	配偶者現職	SSJBHRWK	就労時間数/週（配偶者）*
154	労働	配偶者現職	SSSJBHWK	副業就労時間数/週（配偶者）*
155	労働	配偶者現職	SSXJBSCB	通常労働時間数/週（配偶者）
156	労働	配偶者現職	SSTP12JB	就労地位（配偶者）*
157	労働	配偶者現職	SSTPJOB	就労形態（配偶者）*
158	労働	配偶者現職	SSTPJOBP	役職（配偶者）*
159	労働	配偶者現職	SSTPJBDP	登録派遣（配偶者）
160	労働	配偶者現職	SSTPJBSE	従業員を持つ自営業者（配偶者）
161	労働	配偶者現職	SSXXHQX	業種（配偶者）*
162	労働	配偶者現職	SSXXHQXE	業種（配偶者）（ISIC）*
163	労働	配偶者現職	SSXXJOB	職種（配偶者）*
164	労働	配偶者現職	SSXXJOB	職種（配偶者）（ISCO）*
165	労働	配偶者現職	SSSZTFA	企業規模（配偶者）*
166	労働	配偶者現職	SSSZWKYR	就労年数（配偶者）*
167	労働	配偶者現職	SSSZINCM	配偶者年収：主な仕事*
168	労働	配偶者現職	SSHINCX	年収：2,300万円以上の場合（具体的記述）（配偶者）
169	労働	配偶者現職	SSSZINCA	配偶者年収：全体*
170	労働	就業観	IM5SECUR	仕事に関する意識：雇用の安定
171	労働	就業観	IM5HIPAY	仕事に関する意識：収入
172	労働	就業観	IM5PROMO	仕事に関する意識：昇進機会
173	労働	就業観	IM5INTRG	仕事に関する意識：興味ある仕事
174	労働	就業観	IM5INDEP	仕事に関する意識：仕事の独立性
175	労働	就業観	IM5OTHER	仕事に関する意識：人のためになる仕事
176	労働	就業観	IM5SOCTY	仕事に関する意識：社会的有益性
177	労働	就業観	IM5FREE	仕事に関する意識：時間的自由
178	労働	就業観	IM5FAMIL	仕事に関する意識：家庭との両立
179	労働	就業観	IM5TRG	仕事に関する意識：教育・訓練の機会
180	労働	就業観	WLWKCND	働き方の意向：労働条件に不満
181	労働	就業観	WLWKMNG	働き方の意向：経営に不安
182	労働	就業観	OPCNGJB	転職・勤続への意見
183	労働	職場の連帯感	OPWSPW	職場の連帯感：私の職場
184	労働	職場の連帯感	OPWSLRES	職場の連帯感：私自身
185	労働	通勤	DOCMT	通勤の有無
186	労働	通勤	SZCMTHR	通勤時間：時間

187	労働	通勤	SZCMTMIN	通勤時間：分
188	労働	通勤	SZCMTTTL	通勤時間：合計
189	労働	通勤	CMTWALK	通勤手段：徒歩のみ*
190	労働	通勤	CMTBCYL	通勤手段：自転車*
191	労働	通勤	CMTMCYL	通勤手段：バイク*
192	労働	通勤	CMTBUS	通勤手段：バス*
193	労働	通勤	CMTTRAIN	通勤手段：電車*
194	労働	通勤	CMTCAR	通勤手段：自動車*
195	労働	通勤	CMTBOAT	通勤手段：船*
196	労働	通勤	CMTETC	通勤手段：その他*
197	家族	世帯年収	SZHSINCM	世帯年収*
198	家族	世帯年収	SZHSHINC	世帯年収：2,300万円以上の場合（具体的記述）
199	家族	世帯支出	SZEXHOUS	世帯支出：住宅費
200	家族	世帯支出	SZEXHIHS	世帯支出：住宅費が600万円以上の場合（具体的記述）
201	家族	世帯支出	SZEXED	世帯支出：教育費（子どもを持ったことがある人）*
202	家族	世帯支出	SZEXED02	世帯支出：教育費（全員）*
203	家族	世帯支出	SZEXHIED	世帯支出：教育費が500万円以上の場合（具体的記述）
204	家族	世帯員	HHSIZE	世帯規模（本人含む）_統合*
205	家族	世帯員	SZFFHERE	同居家族人数
206	家族	世帯員	SZFFAWAY	別居家族人数
207	家族	世帯員	FFRESIDE	同居の有無（本人）*
208	家族	世帯員	FFSEPWHY	別居の理由（本人）
209	家族	世帯員	SZFFONLY	家族人数（本人除く）*
210	家族	世帯員	SZFFTTL	家族人数（本人含む）*
211	家族	世帯員	SZFFOUT	一時的な別居家族の人数*
212	家族	世帯員	FF01MARK	家族 01：本人*
213	家族	世帯員	FF02MARK	家族 02：有無*
214	家族	世帯員	FF03MARK	家族 03：有無*
215	家族	世帯員	FF04MARK	家族 04：有無*
216	家族	世帯員	FF05MARK	家族 05：有無*
217	家族	世帯員	FF06MARK	家族 06：有無*
218	家族	世帯員	FF07MARK	家族 07：有無*
219	家族	世帯員	FF08MARK	家族 08：有無*
220	家族	世帯員	FF09MARK	家族 09：有無*
221	家族	世帯員	FF10MARK	家族 10：有無*
222	家族	世帯員	FF01REL	家族 01：続柄*
223	家族	世帯員	FF01SEX	家族 01：性別*
224	家族	世帯員	FF01AGE	家族 01：年齢*
225	家族	世帯員	FF01HERE	家族 01：同居の有無
226	家族	世帯員	FF01WHY	家族 01：別居の理由
227	家族	世帯員	FF01HOME	家族 01：自宅在住か*
228	家族	世帯員	FF01OUT	家族 01：一時的に自宅を出ている理由*
229	家族	世帯員	FF01HEAD	家族 01：世帯主
230	家族	世帯員	FF01MG	家族 01：結婚状況*
231	家族	世帯員	FF01JOB	家族 01：就労の有無*
232	家族	世帯員	FF02REL	家族 02：続柄*
233	家族	世帯員	FF02SEX	家族 02：性別*
234	家族	世帯員	FF02AGE	家族 02：年齢*
235	家族	世帯員	FF02HERE	家族 02：同居の有無
236	家族	世帯員	FF02WHY	家族 02：別居の有無
237	家族	世帯員	FF02HOME	家族 02：自宅在住か*
238	家族	世帯員	FF02OUT	家族 02：一時的に自宅を出ている理由*
239	家族	世帯員	FF02HEAD	家族 02：世帯主
240	家族	世帯員	FF02MG	家族 02：結婚状況*
241	家族	世帯員	FF02JOB	家族 02：就労の有無*
242	家族	世帯員	FF03REL	家族 03：続柄*
243	家族	世帯員	FF03SEX	家族 03：性別*
244	家族	世帯員	FF03AGE	家族 03：年齢*
245	家族	世帯員	FF03HERE	家族 03：同居の有無
246	家族	世帯員	FF03WHY	家族 03：別居の理由
247	家族	世帯員	FF03HOME	家族 03：自宅在住か*
248	家族	世帯員	FF03OUT	家族 03：一時的に自宅を出ている理由*
249	家族	世帯員	FF03HEAD	家族 03：世帯主
250	家族	世帯員	FF03MG	家族 03：結婚状況*

251	家族	世帯員	FF03JOB	家族 03：就労の有無*
252	家族	世帯員	FF04REL	家族 04：続柄*
253	家族	世帯員	FF04SEX	家族 04：性別*
254	家族	世帯員	FF04AGE	家族 04：年齢*
255	家族	世帯員	FF04HERE	家族 04：同居の有無
256	家族	世帯員	FF04WHY	家族 04：別居の理由
257	家族	世帯員	FF04HOME	家族 04：自宅在住か*
258	家族	世帯員	FF04OUT	家族 04：一時的に自宅を出ている理由*
259	家族	世帯員	FF04HEAD	家族 04：世帯主
260	家族	世帯員	FF04MG	家族 04：結婚状況*
261	家族	世帯員	FF04JOB	家族 04：就労の有無*
262	家族	世帯員	FF05REL	家族 05：続柄*
263	家族	世帯員	FF05SEX	家族 05：性別*
264	家族	世帯員	FF05AGE	家族 05：年齢*
265	家族	世帯員	FF05HERE	家族 05：同居の有無
266	家族	世帯員	FF05WHY	家族 05：別居の理由
267	家族	世帯員	FF05HOME	家族 05：自宅在住か*
268	家族	世帯員	FF05OUT	家族 05：一時的に自宅を出ている理由*
269	家族	世帯員	FF05HEAD	家族 05：世帯主
270	家族	世帯員	FF05MG	家族 05：結婚状況*
271	家族	世帯員	FF05JOB	家族 05：就労の有無*
272	家族	世帯員	FF06REL	家族 06：続柄*
273	家族	世帯員	FF06SEX	家族 06：性別*
274	家族	世帯員	FF06AGE	家族 06：年齢*
275	家族	世帯員	FF06HERE	家族 06：同居の有無
276	家族	世帯員	FF06WHY	家族 06：別居の理由
277	家族	世帯員	FF06HOME	家族 06：自宅在住か*
278	家族	世帯員	FF06OUT	家族 06：一時的に自宅を出ている理由*
279	家族	世帯員	FF06HEAD	家族 06：世帯主
280	家族	世帯員	FF06MG	家族 06：結婚状況*
281	家族	世帯員	FF06JOB	家族 06：就労の有無*
282	家族	世帯員	FF07REL	家族 07：続柄*
283	家族	世帯員	FF07SEX	家族 07：性別*
284	家族	世帯員	FF07AGE	家族 07：年齢*
285	家族	世帯員	FF07HERE	家族 07：同居の有無
286	家族	世帯員	FF07WHY	家族 07：別居の理由
287	家族	世帯員	FF07HOME	家族 07：自宅在住か*
288	家族	世帯員	FF07OUT	家族 07：一時的に自宅を出ている理由*
289	家族	世帯員	FF07HEAD	家族 07：世帯主
290	家族	世帯員	FF07MG	家族 07：結婚状況*
291	家族	世帯員	FF07JOB	家族 07：就労の有無*
292	家族	世帯員	FF08REL	家族 08：続柄*
293	家族	世帯員	FF08SEX	家族 08：性別*
294	家族	世帯員	FF08AGE	家族 08：年齢*
295	家族	世帯員	FF08HERE	家族 08：同居の有無
296	家族	世帯員	FF08WHY	家族 08：別居の理由
297	家族	世帯員	FF08HOME	家族 08：自宅在住か*
298	家族	世帯員	FF08OUT	家族 08：一時的に自宅を出ている理由*
299	家族	世帯員	FF08HEAD	家族 08：世帯主
300	家族	世帯員	FF08MG	家族 08：結婚状況*
301	家族	世帯員	FF08JOB	家族 08：就労の有無*
302	家族	世帯員	FF09REL	家族 09：続柄*
303	家族	世帯員	FF09SEX	家族 09：性別*
304	家族	世帯員	FF09AGE	家族 09：年齢*
305	家族	世帯員	FF09HERE	家族 09：同居の有無
306	家族	世帯員	FF09WHY	家族 09：別居の理由
307	家族	世帯員	FF09HOME	家族 09：自宅在住か*
308	家族	世帯員	FF09OUT	家族 09：一時的に自宅を出ている理由*
309	家族	世帯員	FF09HEAD	家族 09：世帯主
310	家族	世帯員	FF09MG	家族 09：結婚状況*
311	家族	世帯員	FF09JOB	家族 09：就労の有無*
312	家族	世帯員	FF10REL	家族 10：続柄*
313	家族	世帯員	FF10SEX	家族 10：性別*
314	家族	世帯員	FF10AGE	家族 10：年齢*

315	家族	世帯員	FF10HERE	家族 10：同居の有無
316	家族	世帯員	FF10WHY	家族 10：別居の理由
317	家族	世帯員	FF10HOME	家族 10：自宅在住か*
318	家族	世帯員	FF10OUT	家族 10：一時的に自宅を出ている理由*
319	家族	世帯員	FF10HEAD	家族 10：世帯主
320	家族	世帯員	FFHEAD	世帯主*
321	家族	世帯員	FFSELF	世帯員変数：本人
322	家族	世帯員	FFHH	世帯員変数：夫
323	家族	世帯員	FFWW	世帯員変数：妻
324	家族	世帯員	FFCCX	世帯員変数：子
325	家族	世帯員	FFCCMX	世帯員変数：子（男）
326	家族	世帯員	FFCCM1	世帯員変数：長男
327	家族	世帯員	FFCCM2	世帯員変数：次男
328	家族	世帯員	FFCCM3	世帯員変数：三男
329	家族	世帯員	FFCCM1WW	世帯員変数：長男の妻
330	家族	世帯員	FFCCM2WW	世帯員変数：次男の妻
331	家族	世帯員	FFCCM3WW	世帯員変数：三男の妻
332	家族	世帯員	FFCCM4	世帯員変数：四男
333	家族	世帯員	FFCCM4WW	世帯員変数：四男の妻
334	家族	世帯員	FFCCM5	世帯員変数：五男
335	家族	世帯員	FFCCFX	世帯員変数：子（女）
336	家族	世帯員	FFCCF1	世帯員変数：長女
337	家族	世帯員	FFCCF2	世帯員変数：次女
338	家族	世帯員	FFCCF3	世帯員変数：三女
339	家族	世帯員	FFCCF1HH	世帯員変数：長女の夫
340	家族	世帯員	FFCCF2HH	世帯員変数：次女の夫
341	家族	世帯員	FFCCF3HH	世帯員変数：三女の夫
342	家族	世帯員	FFCCF4	世帯員変数：四女
343	家族	世帯員	FFCCF4HH	世帯員変数：四女の夫
344	家族	世帯員	FFCCF5	世帯員変数：五女
345	家族	世帯員	FFCCGMX	世帯員変数：孫（男）
346	家族	世帯員	FFCCGFX	世帯員変数：孫（女）
347	家族	世帯員	FFCCGSPX	世帯員変数：孫の配偶者
348	家族	世帯員	FFCCGGMX	世帯員変数：ひ孫（男）
349	家族	世帯員	FFCCGGFX	世帯員変数：ひ孫（女）
350	家族	世帯員	FFCCGX	世帯員変数：孫
351	家族	世帯員	FFPP	世帯員変数：父
352	家族	世帯員	FFMM	世帯員変数：母
353	家族	世帯員	FFPLAW	世帯員変数：義父（配偶者の父）
354	家族	世帯員	FFMLAW	世帯員変数：義母（配偶者の母）
355	家族	世帯員	FFBREWXX	世帯員変数：兄の妻
356	家族	世帯員	FFBRYWXX	世帯員変数：弟の妻
357	家族	世帯員	FFSIEHHX	世帯員変数：姉の夫
358	家族	世帯員	FFSIYHHX	世帯員変数：妹の夫
359	家族	世帯員	FFBREX	世帯員変数：兄
360	家族	世帯員	FFBRYX	世帯員変数：弟
361	家族	世帯員	FFSISEX	世帯員変数：姉
362	家族	世帯員	FFSISYX	世帯員変数：妹
363	家族	世帯員	FFSPBREX	世帯員変数：配偶者の兄
364	家族	世帯員	FFSPBRYX	世帯員変数：配偶者の弟
365	家族	世帯員	FFSPSEX	世帯員変数：配偶者の姉
366	家族	世帯員	FFSPSYX	世帯員変数：配偶者の妹
367	家族	世帯員	FFPPGX	世帯員変数：祖父
368	家族	世帯員	FFMMGX	世帯員変数：祖母
369	家族	世帯員	FFSPPPGX	世帯員変数：義理の祖父（配偶者の祖父）
370	家族	世帯員	FFSPMMGX	世帯員変数：義理の祖母（配偶者の祖母）
371	家族	世帯員	FFBRECCX	世帯員変数：兄の子
372	家族	世帯員	FFBRYCCX	世帯員変数：弟の子
373	家族	世帯員	FFSIECCX	世帯員変数：姉の子
374	家族	世帯員	FFSIYCCX	世帯員変数：妹の子
375	家族	世帯員	FFSBCCMX	世帯員変数：甥
376	家族	世帯員	FFSBCCFX	世帯員変数：姪
377	家族	世帯員	FFUNATX	世帯員変数：父母の兄弟姉妹
378	家族	世帯員	FFUNASPX	世帯員変数：父母の兄弟姉妹の配偶者

379	家族	世帯員	FFUNX	世帯員変数：おじ
380	家族	世帯員	FFATX	世帯員変数：おば
381	家族	世帯員	FFUNACCX	世帯員変数：おじ・おばの子
382	家族	世帯員	FFPPGGX	世帯員変数：曾祖父
383	家族	世帯員	FFMMGGX	世帯員変数：曾祖母
384	家族	世帯員	FFPPNS	世帯員変数：親（男）
385	家族	世帯員	FFMMNS	世帯員変数：親（女）
386	家族	世帯員	FFSTAFF	世帯員変数：使用人・雇い人
387	家族	世帯員	FFETCX	世帯員変数：その他
388	家族	配偶者	SPAGEX	配偶者の年齢*
389	家族	配偶者	SPLVTG	配偶者との同居*
390	家族	親	PPLVTG	父親：同居・生死*
391	家族	親	PPAGE	父親：年齢*
392	家族	親	PPMG	父親：結婚状況*
393	家族	親	PPFAM	父親：同居者*
394	家族	親	PPJOB	父親：就労の有無*
395	家族	親	PPDIST	父親：家までの距離
396	家族	親	PPCNTA	父親：接触頻度（直接）
397	家族	親	PPCNTB	父親：接触頻度（間接）
398	家族	親	MMLVTG	母親：同居・生死*
399	家族	親	MMAGE	母親：年齢*
400	家族	親	MMMGM	母親：結婚状況*
401	家族	親	MMFAM	母親：同居者*
402	家族	親	MMJOB	母親：就労の有無*
403	家族	親	MMDIST	母親：家までの距離
404	家族	親	MMCNTA	母親：接触頻度（直接）
405	家族	親	MMCNTB	母親：接触頻度（間接）
406	家族	子ども	CCNUMTTL	子どもの人数*
407	家族	子ども	CC01MARK	子ども 01：有無
408	家族	子ども	CC02MARK	子ども 02：有無
409	家族	子ども	CC03MARK	子ども 03：有無
410	家族	子ども	CC04MARK	子ども 04：有無
411	家族	子ども	CC05MARK	子ども 05：有無
412	家族	子ども	CC06MARK	子ども 06：有無
413	家族	子ども	CC07MARK	子ども 07：有無
414	家族	子ども	CC08MARK	子ども 08：有無
415	家族	子ども	CC01BORN	子ども 01：生年
416	家族	子ども	CC01EOB	子ども 01：生年（元号）
417	家族	子ども	CC01YOB	子ども 01：生年（年）
418	家族	子ども	CC01SEX	子ども 01：性別*
419	家族	子ども	CC01LIVE	子ども 01：生死
420	家族	子ども	CC01LVTG	子ども 01：同居・生死*
421	家族	子ども	CC01AGE	子ども 01：年齢*
422	家族	子ども	CC01MG	子ども 01：結婚状況*
423	家族	子ども	CC01JOB	子ども 01：就労の有無*
424	家族	子ども	CC01SCH	子ども 01：就学
425	家族	子ども	CC01DIST	子ども 01：家までの距離
426	家族	子ども	CC01CNTA	子ども 01：接触頻度（直接）
427	家族	子ども	CC01CNTB	子ども 01：接触頻度（間接）
428	家族	子ども	CC02BORN	子ども 02：生年
429	家族	子ども	CC02EOB	子ども 02：生年（元号）
430	家族	子ども	CC02YOB	子ども 02：生年（年）
431	家族	子ども	CC02SEX	子ども 02：性別*
432	家族	子ども	CC02LIVE	子ども 02：生死
433	家族	子ども	CC02LVTG	子ども 02：同居・生死*
434	家族	子ども	CC02AGE	子ども 02：年齢*
435	家族	子ども	CC02MG	子ども 02：結婚状況*
436	家族	子ども	CC02JOB	子ども 02：就労の有無*
437	家族	子ども	CC02SCH	子ども 02：就学
438	家族	子ども	CC02DIST	子ども 02：家までの距離
439	家族	子ども	CC02CNTA	子ども 02：接触頻度（直接）
440	家族	子ども	CC02CNTB	子ども 02：接触頻度（間接）
441	家族	子ども	CC03BORN	子ども 03：生年
442	家族	子ども	CC03EOB	子ども 03：生年（元号）

443	家族	子ども	CC03YOB	子ども 03：生年（年）
444	家族	子ども	CC03SEX	子ども 03：性別*
445	家族	子ども	CC03LIVE	子ども 03：生死
446	家族	子ども	CC03LVTG	子ども 03：同居・生死*
447	家族	子ども	CC03AGE	子ども 03：年齢*
448	家族	子ども	CC03MG	子ども 03：結婚状況*
449	家族	子ども	CC03JOB	子ども 03：就労の有無*
450	家族	子ども	CC03SCH	子ども 03：就学
451	家族	子ども	CC03DIST	子ども 03：家までの距離
452	家族	子ども	CC03CNTA	子ども 03：接触頻度（直接）
453	家族	子ども	CC03CNTB	子ども 03：接触頻度（間接）
454	家族	子ども	CC04BORN	子ども 04：生年
455	家族	子ども	CC04EOB	子ども 04：生年（元号）
456	家族	子ども	CC04YOB	子ども 04：生年（年）
457	家族	子ども	CC04SEX	子ども 04：性別*
458	家族	子ども	CC04LIVE	子ども 04：生死
459	家族	子ども	CC04LVTG	子ども 04：同居・生死*
460	家族	子ども	CC04AGE	子ども 04：年齢*
461	家族	子ども	CC04MG	子ども 04：結婚状況*
462	家族	子ども	CC04JOB	子ども 04：就労の有無*
463	家族	子ども	CC04SCH	子ども 04：就学
464	家族	子ども	CC04DIST	子ども 04：家までの距離
465	家族	子ども	CC04CNTA	子ども 04：接触頻度（直接）
466	家族	子ども	CC04CNTB	子ども 04：接触頻度（間接）
467	家族	子ども	CC05BORN	子ども 05：生年
468	家族	子ども	CC05EOB	子ども 05：生年（元号）
469	家族	子ども	CC05YOB	子ども 05：生年（年）
470	家族	子ども	CC05SEX	子ども 05：性別*
471	家族	子ども	CC05LIVE	子ども 05：生死
472	家族	子ども	CC05LVTG	子ども 05：同居・生死*
473	家族	子ども	CC05AGE	子ども 05：年齢*
474	家族	子ども	CC05MG	子ども 05：結婚状況*
475	家族	子ども	CC05JOB	子ども 05：就労の有無*
476	家族	子ども	CC05SCH	子ども 05：就学
477	家族	子ども	CC05DIST	子ども 05：家までの距離
478	家族	子ども	CC05CNTA	子ども 05：接触頻度（直接）
479	家族	子ども	CC05CNTB	子ども 05：接触頻度（間接）
480	家族	子ども	CC06BORN	子ども 06：生年
481	家族	子ども	CC06EOB	子ども 06：生年（元号）
482	家族	子ども	CC06YOB	子ども 06：生年（年）
483	家族	子ども	CC06SEX	子ども 06：性別*
484	家族	子ども	CC06LIVE	子ども 06：生死
485	家族	子ども	CC06LVTG	子ども 06：同居・生死*
486	家族	子ども	CC06AGE	子ども 06：年齢*
487	家族	子ども	CC06MG	子ども 06：結婚状況*
488	家族	子ども	CC06JOB	子ども 06：就労の有無*
489	家族	子ども	CC06SCH	子ども 06：就学
490	家族	子ども	CC06DIST	子ども 06：家までの距離
491	家族	子ども	CC06CNTA	子ども 06：接触頻度（直接）
492	家族	子ども	CC06CNTB	子ども 06：接触頻度（間接）
493	家族	子ども	CC07BORN	子ども 07：生年
494	家族	子ども	CC07EOB	子ども 07：生年（元号）
495	家族	子ども	CC07YOB	子ども 07：生年（年）
496	家族	子ども	CC07SEX	子ども 07：性別*
497	家族	子ども	CC07LIVE	子ども 07：生死
498	家族	子ども	CC07LVTG	子ども 07：同居・生死*
499	家族	子ども	CC07AGE	子ども 07：年齢*
500	家族	子ども	CC07MG	子ども 07：結婚状況*
501	家族	子ども	CC07JOB	子ども 07：就労の有無*
502	家族	子ども	CC07SCH	子ども 07：就学
503	家族	子ども	CC07DIST	子ども 07：家までの距離
504	家族	子ども	CC07CNTA	子ども 07：接触頻度（直接）
505	家族	子ども	CC07CNTB	子ども 07：接触頻度（間接）
506	家族	子ども	CC08BORN	子ども 08：生年

507	家族	子ども	CC08EOB	子ども 08：生年（元号）
508	家族	子ども	CC08YOB	子ども 08：生年（年）
509	家族	子ども	CC08SEX	子ども 08：性別*
510	家族	子ども	CC08LIVE	子ども 08：生死
511	家族	子ども	CC08LVTG	子ども 08：同居・生死*
512	家族	子ども	CC08AGE	子ども 08：年齢*
513	家族	子ども	CC08MG	子ども 08：結婚状況*
514	家族	子ども	CC08JOB	子ども 08：就労の有無*
515	家族	子ども	CC08SCH	子ども 08：就学
516	家族	子ども	CC08DIST	子ども 08：家までの距離
517	家族	子ども	CC08CNTA	子ども 08：接触頻度（直接）
518	家族	子ども	CC08CNTB	子ども 08：接触頻度（間接）
519	家族	子ども	CC09SEX	子ども 09：性別*
520	家族	子ども	CC09LVTG	子ども 09：同居・生死*
521	家族	子ども	CC09AGE	子ども 09：年齢*
522	家族	子ども	CC09MG	子ども 09：結婚状況*
523	家族	子ども	CC09JOB	子ども 09：就労の有無*
524	家族	子ども	CC09SCH	子ども 09：就学
525	家族	子ども	CC09DIST	子ども 09：家までの距離
526	家族	子ども	CC09CNTA	子ども 09：接触頻度（直接）
527	家族	子ども	CC09CNTB	子ども 09：接触頻度（間接）
528	家族	子ども	CC10SEX	子ども 10：性別*
529	家族	子ども	CC10LVTG	子ども 10：同居・生死*
530	家族	子ども	CC10AGE	子ども 10：年齢*
531	家族	子ども	CC10MG	子ども 10：結婚状況*
532	家族	子ども	CC10JOB	子ども 10：就労の有無*
533	家族	その他	SZFFOTHR	その他の家族の人数
534	家族	その他	FFH01REL	その他の家族 01：続柄
535	家族	その他	FFH01SEX	その他の家族 01：性別
536	家族	その他	FFH01AGE	その他の家族 01：年齢*
537	家族	その他	FFH02REL	その他の家族 02：続柄
538	家族	その他	FFH02SEX	その他の家族 02：性別
539	家族	その他	FFH02AGE	その他の家族 02：年齢*
540	家族	その他	FFH03REL	その他の家族 03：続柄
541	家族	その他	FFH03SEX	その他の家族 03：性別
542	家族	その他	FFH03AGE	その他の家族 03：年齢*
543	家族	その他	FFH04REL	その他の家族 04：続柄
544	家族	その他	FFH04SEX	その他の家族 04：性別
545	家族	その他	FFH04AGE	その他の家族 04：年齢*
546	家族	その他	FFH05REL	その他の家族 05：続柄
547	家族	その他	FFH05SEX	その他の家族 05：性別
548	家族	その他	FFH05AGE	その他の家族 05：年齢*
549	家族	その他	FFH06REL	その他の家族 06：続柄
550	家族	その他	FFH06SEX	その他の家族 06：性別
551	家族	その他	FFH06AGE	その他の家族 06：年齢*
552	家族	その他	FFH07REL	その他の家族 07：続柄
553	家族	その他	FFH07SEX	その他の家族 07：性別
554	家族	その他	FFH07AGE	その他の家族 07：年齢*
555	家族	きょうだい	XNUMBROE	兄弟姉妹人数（兄）
556	家族	きょうだい	XNUMSISE	兄弟姉妹人数（姉）
557	家族	きょうだい	XNUMSELF	兄弟姉妹人数（本人）
558	家族	きょうだい	XNUMBROY	兄弟姉妹人数（弟）
559	家族	きょうだい	XNUMSISY	兄弟姉妹人数（妹）
560	家族	きょうだい	XNUMSBLG	兄弟姉妹人数（計）
561	家族	義親	PPLLVTG	義父：同居・生死
562	家族	義親	PPLAGE	義父：年齢*
563	家族	義親	PPLMG	義父：結婚状況*
564	家族	義親	PPLFAM	義父：同居者*
565	家族	義親	PPLJOB	義父：就労の有無*
566	家族	義親	PPLDIST	義父：家までの距離
567	家族	義親	PPLCNTA	義父：接触頻度（直接）
568	家族	義親	PPLCNTB	義父：接触頻度（間接）
569	家族	義親	MMLLVTG	義母：同居・生死
570	家族	義親	MMLAGE	義母：年齢*

571	家族	義親	MMLMG	義母：結婚状況*
572	家族	義親	MMLFAM	義母：同居者*
573	家族	義親	MMLJOB	義母：就労の有無*
574	家族	義親	MMLDIST	義母：家までの距離
575	家族	義親	MMLCNTA	義母：接触頻度（直接）
576	家族	義親	MMLCNTB	義母：接触頻度（間接）
577	家族	義きょうだい	XSSNBROE	配偶者の兄弟姉妹人数（兄）*
578	家族	義きょうだい	XSSNSISE	配偶者の兄弟姉妹人数（姉）*
579	家族	義きょうだい	XSSNSSELF	配偶者の兄弟姉妹人数（本人）
580	家族	義きょうだい	XSSNBROY	配偶者の兄弟姉妹人数（弟）*
581	家族	義きょうだい	XSSNSISY	配偶者の兄弟姉妹人数（妹）*
582	家族	義きょうだい	XSSNSBLG	配偶者の兄弟姉妹人数（計）
583	家族	別居	FFO01REL	一時的な別居家族 01：続柄*
584	家族	別居	FFO01WHY	一時的な別居家族 01：別居理由*
585	家族	別居	FFO02REL	一時的な別居家族 02：続柄*
586	家族	別居	FFO02WHY	一時的な別居家族 02：別居理由*
587	家族	別居	FFO03REL	一時的な別居家族 03：続柄*
588	家族	別居	FFO03WHY	一時的な別居家族 03：別居理由*
589	家族	別居	FFO04REL	一時的な別居家族 04：続柄*
590	家族	別居	FFO04WHY	一時的な別居家族 04：別居理由*
591	家族	別居	FFO05REL	一時的な別居家族 05：続柄*
592	家族	別居	FFO05WHY	一時的な別居家族 05：別居理由*
593	家族	別居	FFO06REL	一時的な別居家族 06：続柄*
594	家族	別居	FFO06WHY	一時的な別居家族 06：別居理由*
595	家族	婚姻	DOMARRY	結婚状況_統合*
596	家族	婚姻	DOMARRY_00	結婚状況_2000*
597	家族	婚姻	DOMARRY_01	結婚状況_2001*
598	家族	婚姻	DOMARRY_02	結婚状況_2002*
599	家族	婚姻	DOMARRY_03	結婚状況_2003*
600	家族	婚姻	DOMARRY_05	結婚状況_2005*
601	家族	婚姻	DOMARRY_06	結婚状況_2006*
602	家族	婚姻	DOMARRY_08	結婚状況_2008*
603	家族	婚姻	DOMARRY_10	結婚状況_2010*
604	家族	婚姻	DODVWDW	配偶者と別れた理由
605	家族	婚姻	XMARRY	結婚経験*
606	家族	婚姻	AGE1MG	初婚年齢*
607	家族	婚姻	XDIV	離婚経験
608	家族	婚姻	FQXDIV	離婚回数
609	家族	婚姻	AGE1DIV	1回目の離婚年齢
610	家族	婚姻	XMGA1DV	1回目離婚後の再婚の有無
611	家族	婚姻	AGEMG1DV	1回目離婚後の再婚年齢
612	家族	婚姻	AGE2DIV	2回目の離婚年齢
613	家族	婚姻	XMGA2DV	2回目離婚後の再婚の有無
614	家族	婚姻	AGEMG2DV	2回目離婚後の再婚年齢
615	家族	婚姻	XWIDOW	配偶者との死別経験
616	家族	婚姻	FQWDW	配偶者との死別回数
617	家族	婚姻	AGE1WDW	配偶者との1回目の死別年齢
618	家族	婚姻	XMGA1WD	配偶者との1回目死別後、再婚の有無
619	家族	婚姻	AGEMG1WD	配偶者との1回目死別後の再婚年齢
620	家族	婚姻	AGE2WDW	配偶者との2回目の死別年齢
621	家族	婚姻	XMGA2WD	配偶者との2回目死別後、再婚の有無
622	家族	婚姻	AGEMG2WD	配偶者との2回目死別後の再婚年齢
623	子どもの頃	居住地	TP5LOC15	15歳の頃の居住地（本人）_統合*
624	子どもの頃	居住地	TP5LOC15_00	15歳の頃の居住地（本人）_2000*
625	子どもの頃	居住地	TP5LOC15_01	15歳の頃の居住地（本人）_2001*
626	子どもの頃	居住地	TP5LOC15_02	15歳の頃の居住地（本人）_2002*
627	子どもの頃	居住地	TP5LOC15_03	15歳の頃の居住地（本人）_2003*
628	子どもの頃	居住地	TP5LOC15_05	15歳の頃の居住地（本人）_2005*
629	子どもの頃	居住地	TP5LOC15_06	15歳の頃の居住地（本人）_2006*
630	子どもの頃	居住地	TP5LOC15_08	15歳の頃の居住地（本人）_2008*
631	子どもの頃	居住地	TP5LOC15_10	15歳の頃の居住地（本人）_2010*
632	子どもの頃	居住地	PREF15	15歳の頃の居住地（本人）：都道府県名*
633	子どもの頃	居住地	REMOTE15	15歳の頃の居住地（本人）：農山村地域
634	子どもの頃	父職	PPJBT15	15歳の頃の父：就労地位*



635	子どもの頃	父職	PPJBT15	15歳の頃の父：就労形態
636	子どもの頃	父職	PPJBT15P	15歳の頃の父：役職
637	子どもの頃	父職	PPJBXX15	15歳の頃の父：職種
638	子どもの頃	父職	PPJBXX1E	15歳の頃の父：職種（ISCO）*
639	子どもの頃	父職	PPJBSZ15	15歳の頃の父：企業規模*
640	子どもの頃	母職	MMJBTP15	15歳の頃の母：就労地位*
641	教育歴	最終学歴	XXLSTSCH	最終学校（本人）*
642	教育歴	配偶者最終学歴	SSLSTSCH	最終学校（配偶者）*
643	教育歴	父最終学歴	PPLSTSCH	最終学校（父親）*
644	教育歴	母最終学歴	MMLSTSCH	最終学校（母親）*
645	教育歴	最終学歴	DOLSTSCH	最終学校の卒業・中退（本人）
646	教育歴	在学中	XGRADE	在学中の場合の学年（本人）
647	教育歴	配偶者最終学歴	SSDOLSTS	最終学校の卒業・中退（配偶者）
648	教育歴	配偶者在学中	SSXGRADE	在学中の場合の学年（配偶者）
649	教育歴	通学経験	XSENSHU	各種学校などの通学経験：専修学校・専門学校*
650	教育歴	通学経験	XKAKUSHU	各種学校などの通学経験：各種学校*
651	教育歴	通学経験	XOCCUP	各種学校などの通学経験：公共職業訓練校*
652	教育歴	通学経験	XNOSCH	各種学校などの通学経験：いずれもない*
653	教育歴	通学経験	XNOKNOW	各種学校などの通学経験：わからない*
654	教育歴	通学経験	XSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験（本人）
655	教育歴	配偶者通学経験	PSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験（配偶者）
656	教育歴	高校	XHSSUB	高校：学んだ学科
657	教育歴	高校	XHSRATE	高校：進学率
658	教育歴	大学	XUPUBLIC	大学など：国・公・私立
659	教育歴	大学	XUSUB	大学など：専攻分野
660	教育歴	成績	OP5SCHPF	中学3年生の頃の成績*
661	家族観・行動	家族行動	FQ7FFDNR	家族と一緒の夕食：頻度*
662	家族観・行動	友人	FQ7FRSEE	友人との会食：頻度*
663	家族観・行動	家事	FQ7CKDNR	夕食の用意：頻度（本人）*
664	家族観・行動	家事	FQ7WASH	洗濯：頻度（本人）*
665	家族観・行動	家事	FQ7SHOP	買い物：頻度（本人）*
666	家族観・行動	家事	FQ7CLEAN	家の掃除：頻度（本人）*
667	家族観・行動	家事	FQ7GARB	ゴミ出し：頻度（本人）*
668	家族観・行動	配偶者家事	SSFQ7CK	夕食の用意：頻度（配偶者）*
669	家族観・行動	配偶者家事	SSFQ7WSH	洗濯：頻度（配偶者）*
670	家族観・行動	配偶者家事	SSFQ7SHP	買い物：頻度（配偶者）*
671	家族観・行動	配偶者家事	SSFQ7CLN	家の掃除：頻度（配偶者）*
672	家族観・行動	配偶者家事	SSFQ7GRB	ゴミ出し：頻度（配偶者）*
673	家族観・行動	家事	WH3HSWK	家事分担
674	家族観・行動	家事	RR6ACCT	家計管理
675	家族観・行動	ジェンダー	Q4WWJBIA	意見についての賛否：妻の仕事
676	家族観・行動	ジェンダー	Q4WNMGA	意見についての賛否：女性の幸福
677	家族観・行動	ジェンダー	Q4JBMFM	意見についての賛否：親子関係
678	家族観・行動	ジェンダー	Q4MNCOOK	意見についての賛否：男性の家事
679	家族観・行動	ジェンダー	Q4WWHHX	意見についての賛否：性別役割分担
680	家族観・行動	ジェンダー	Q4MNMGA	意見についての賛否：男性の幸福
681	家族観・行動	ジェンダー	Q4JBMCC	意見についての賛否：子どもへの影響
682	家族観・行動	ジェンダー	Q4NOCMCG	意見についての賛否：子どもをもつ必要
683	家族観・行動	ジェンダー	Q4WNJB2L	意見についての賛否：女性の自立
684	家族観・行動	ジェンダー	Q4WWHPHH	意見についての賛否：妻は夫の手助け
685	家族観・行動	家族観	Q4MGHAPP	意見についての賛否：結婚観
686	家族観・行動	家族観	Q4DIVOK	意見についての賛否：離婚
687	家族観・行動	家族観	Q4CCDVY	結婚観：子どもにとっての親の離婚
688	家族観・行動	家族観	Q4WWWDVY	結婚観：妻にとっての離婚
689	家族観・行動	家族観	Q4HHDVY	結婚観：夫にとっての離婚
690	家族観・行動	家族観	Q4MNCKY	結婚観：男性の家事の賛否
691	家族観・行動	家族観	APPCCNUM	理想的な子ども的人数（一般論）
692	家族観・行動	家族観	APPCCNMX	理想的な子ども的人数：5人以上の場合（具体的記述）
693	家族観・行動	家族観	APPCCSXB	希望する子どもの性別
694	家族観・行動	ジェンダー	OP4NAME	夫婦別姓意識
695	家族観・行動	ジェンダー	OPCCSNM	夫婦別姓のもとでの子どもの名字への意見
696	家族観・行動	ジェンダー	ELWNGVNR	女性知事候補への投票
697	家族観・行動	ジェンダー	QWNSUMO	女性知事による大相撲の表彰
698	家族観・行動	ジェンダー	OPEMPF	女性天皇への賛否

699	家族観・行動	ジェンダー	OPEMPFL	女系天皇への賛否
700	家族観・行動	ジェンダー	OPEMPIC	長子天皇への賛否
701	家族観・行動	家族観	OP2GNR	三世同居観
702	家族観・行動	墓	OP7CMTRA	自分の墓について
703	家族観・行動	墓	XCMNONE	共同墓または散骨希望の理由：墓を守る人がいない*
704	家族観・行動	墓	XCMCARE	共同墓または散骨希望の理由：子どもをわずらわせたくない*
705	家族観・行動	墓	XCMNATR	共同墓または散骨希望の理由：自然にかえりたい*
706	家族観・行動	墓	XCMSSENS	共同墓または散骨希望の理由：墓に意味が見いだせない*
707	家族観・行動	墓	XCMETC	共同墓または散骨希望の理由：その他*
708	信仰	宗教	DORL	信仰する宗教の有無（本人）
709	信仰	宗教	XXRL	信仰する宗教（本人）*
710	信仰	宗教	DO3PIOUS	信仰の度合い（本人）
711	信仰	配偶者宗教	SSDORL	信仰する宗教の有無（配偶者）
712	信仰	配偶者宗教	SSXXRL	信仰する宗教（配偶者）*
713	信仰	配偶者宗教	SS3PIOUS	信仰の度合い（配偶者）
714	生命倫理	死生観	QAFTRDTH	死後の世界
715	生命倫理	安楽死	QDDKILLA	安楽死の賛否
716	生命倫理	代理母	OSUBMOM	代理母出産への賛否
717	生命倫理	臓器移植	DOCARD	ドナーカードの所持*
718	生命倫理	臓器移植	DO3SIGN	ドナーカードへの署名
719	生命倫理	臓器移植	WLGIVORG	臓器を提供する意思
720	生命倫理	臓器移植	WLACCORG	臓器の提供を受ける意思
721	生命倫理	自殺	OPSCDIN	インターネット自殺への意見
722	生命倫理	自殺	OPSCD	自殺への意見
723	生命倫理	自殺	XWNTSCD	自殺願望の経験
724	政治	政党	XX8PLPTY	支持政党*
725	政治	政党	XXWHYNO	政党を支持しない理由
726	政治	政党	XX9LPPFV	好ましい政党*
727	政治	政党	OLDPOK	政権担当能力政党：自民党*
728	政治	政党	ODPOK	政権担当能力政党：民主党*
729	政治	政党	OKOMEIOK	政権担当能力政党：公明党*
730	政治	政党	OCOMMPOK	政権担当能力政党：共産党*
731	政治	政党	OSDPOK	政権担当能力政党：社民党*
732	政治	政党	OOTHEROK	政権担当能力政党：その他の政党*
733	政治	政党	ONOPLPOK	政権担当能力政党：ない*
734	政治	政党	OLPDONT	政権担当能力政党：わからない*
735	政治	政党	OMINNAOK	政権担当能力政党：みんなの党*
736	政治	政党	OKOKUMOK	政権担当能力政党：国民新党*
737	政治	政党	OKOUFUOK	政権担当能力政党：幸福実現党*
738	政治	政党	OTACHIOK	政権担当能力政党：たちあがれ日本*
739	政治	政党	OSHINTOK	政権担当能力政党：新党日本*
740	政治	政党	OLPOK	政権担当能力政党：自由党*
741	政治	政党	OHOSHUOK	政権担当能力政党：保守党（保守新党）*
742	政治	政策	OP5SRWFY	国か個人か：高齢者の生活保障
743	政治	政策	OP5SRMDY	国か個人か：高齢者の医療・介護
744	政治	政策	OP5CCED	国か個人か：子どもの教育
745	政治	政策	OP5CCARE	国か個人か：保育・育児
746	政治	政策	Q5GVEQAA	貧富解消政策への賛否
747	政治	政策	OP5LGGGOZ	政府の役割範囲
748	政治	政策	OWELFTAX	福祉と税負担のバランスについての意見
749	政治	政治意識	Q4NOPWR	国民と政治のかかわり：市民の影響力
750	政治	政治意識	Q4GVC MPL	国民と政治のかかわり：理解度
751	政治	政治意識	Q4VOTE	国民と政治のかかわり：投票
752	政治	政治意識	Q4MDIET	国民と政治のかかわり：国会議員
753	政治	政策	BD3ENVA	政府の支出：環境問題
754	政治	政策	BD3CRIME	政府の支出：犯罪取締
755	政治	政策	BD3EDUC	政府の支出：教育
756	政治	政策	BD3SAFTY	政府の支出：安全保障
757	政治	政策	BD3ODA	政府の支出：海外援助
758	政治	政策	BD3CNSTR	政府の支出：土木事業
759	政治	政策	BD3WFR	政府の支出：社会保障
760	政治	政策	BD3EMPLY	政府の支出：雇用対策
761	政治	政策	OP6TAXHI	所得税の負担感

762	政治	政策	OP5PENS	自分の年金予想
763	政治	政治意識	OP5RADCA	政治意識（保革 5 段階）
764	政治	政治意識	OP7RADCZ	政治意識（保革 7 段階）
765	政治	政治意識	DOPOLIT	政治への関心の強さ
766	政治	政策	OKOIZUM	小泉政権への評価
767	政治	政策	OBUSINS	現在の日本の景気の判断
768	政治	政策	ONATIND	社会と個人の利益のバランスについての意見
769	政治	政治意識	OPLSELF	政治へのイメージ：自分から働きかけるもの
770	政治	政治意識	OPLWATCH	政治へのイメージ：監視していくもの
771	政治	政治意識	OPLCANT	政治へのイメージ：なるようにしかならないもの
772	政治	政治意識	OPLNOREL	政治へのイメージ：できればかかわりたくない
773	政治	政治行動	X5YVOTE	政治的な経験：選挙で投票*
774	政治	政治行動	X5YJICHI	政治的な経験：町内会で活動*
775	政治	政治行動	X5YCNTC1	政治的な経験：地元の有力者と接触*
776	政治	政治行動	X5YCNTC2	政治的な経験：政治家や官僚と接触*
777	政治	政治行動	X5YPETIT	政治的な経験：議会や役所に請願*
778	政治	政治行動	X5YPOLMG	政治的な経験：政治的な集会に出席*
779	政治	政治行動	X5YCMPGN	政治的な経験：選挙運動の手伝い*
780	政治	政治行動	X5YCITZN	政治的な経験：市民運動に参加*
781	政治	政治行動	X5YSIGN	政治的な経験：請願書に署名*
782	政治	政治行動	X5YDONAT	政治的な経験：献金*
783	政治	政治行動	X5YNONE	政治的な経験：いずれもしたことがない*
784	政治	政治行動	FQ4PLNP	政治に関わる情報収集：新聞
785	政治	政治行動	FQ4PLTV	政治に関わる情報収集：テレビ
786	政治	政治行動	FQ4PLMAG	政治に関わる情報収集：雑誌
787	政治	政治行動	FQ4PLWEB	政治に関わる情報収集：インターネット
788	政治	政治行動	FQ4PLFAM	政治に関わる情報収集：家族との会話
789	政治	政治行動	FQ4PLFRI	政治に関わる情報収集：友人・同僚との会話
790	政治	知事	OPGVNTM	知事の任期への意見
791	政治	知事	GVNNAME	知事の認知
792	政治	知事	GVNSPRT	知事の支持
793	政治	政策	OPCCMON	政策への意見：子ども手当
794	政治	政策	OPHGSC	政策への意見：高校無償化
795	政治	政策	OPHGWAY	政策への意見：高速道路無料化
796	政治	政策	OPCO2EM	政策への意見：二酸化炭素排出量削減
797	政治	政策	OPMNWG	政策への意見：最低賃金の引き上げ
798	政治	政策	OPSWST	政策への意見：同一労働同一賃金
799	政治	政策	OPATDS	政策への意見：配偶者控除の廃止
800	政治	政策	OPCNSMTX	適切な消費税率への意見
801	政治	政策	OPMNFST	マニフェストの遵守への意見
802	階層	階層	OP10LVL	自分の位置する階層*
803	階層	階層	OP5LEVK	階層帰属意識
804	階層	家計状態	OP3ECN3A	家計状態の変化
805	階層	世帯収入	OP5FFINX	世帯収入のレベル
806	階層	世帯収入	OPFFIX15	15 歳の頃の世帯収入レベル
807	階層	向上機会	OP5CHNCA	生活水準向上機会の有無
808	階層	経済的不安	AXECNSF	将来の経済的不安
809	階層	進学希望	XQTEDU	経済的理由で進学を断念した経験
810	階層	希望職業	WNTJB	将来なりたかった職業の有無
811	階層	希望職業	WNTJBX	将来なりたかった職業*
812	階層	希望職業	WNTJBPM	なりたかった職業は親の職業か
813	階層	希望職業	XWNTJOB	なりたかった職業に就けたか
814	メディア	新聞	FQ5NEWSP	新聞を読む頻度
815	メディア	新聞	NPASAH	購読新聞：朝日*
816	メディア	新聞	NPSANKEI	購読新聞：産経*
817	メディア	新聞	NPNIKKEI	購読新聞：日経*
818	メディア	新聞	NPMAINI	購読新聞：毎日*
819	メディア	新聞	NPYOMIUR	購読新聞：読売*
820	メディア	新聞	NPSANSP	購読新聞：サンケイスポーツ*
821	メディア	新聞	NPSPNIP	購読新聞：スポーツニッポン*
822	メディア	新聞	NPDAYSP	購読新聞：デイリースポーツ*
823	メディア	新聞	NPNIKSP	購読新聞：日刊スポーツ*
824	メディア	新聞	NPHOUCHI	購読新聞：報知*
825	メディア	新聞	NPHOKKAI	購読新聞：北海道新聞*

826	メディア	新聞	NPTOKYO	購読新聞：東京新聞*
827	メディア	新聞	NPCHUNI	購読新聞：中日新聞*
828	メディア	新聞	NPWESTJP	購読新聞：西日本新聞*
829	メディア	新聞	NPJAPAN	購読新聞：Japan Times*
830	メディア	新聞	NPGENDAI	購読新聞：日刊ゲンダイ*
831	メディア	新聞	NPFUJI	購読新聞：夕刊フジ*
832	メディア	新聞	NPAKAHAT	購読新聞：赤旗*
833	メディア	新聞	NPSEIKYO	購読新聞：聖教新聞*
834	メディア	新聞	NPETC	購読新聞：その他*
835	メディア	新聞	NPETCX1	購読新聞：その他：具体的記述（1番目）
836	メディア	新聞	NPETCX2	購読新聞：その他：具体的記述（2番目）
837	メディア	新聞	NPNONE	購読新聞：ない*
838	メディア	読書	FQ5READ	1ヶ月の読書冊数
839	メディア	テレビ	HRTV	テレビ視聴時間
840	メディア	通信媒体	DOEMAILJ	利用通信媒体：電子メール（仕事）*
841	メディア	通信媒体	DOEMAILP	利用通信媒体：電子メール（私用）*
842	メディア	通信媒体	DOCOMPJ	利用通信媒体：パソコン（職場）*
843	メディア	通信媒体	DOCOMPJ	利用通信媒体：パソコン（自宅）*
844	メディア	通信媒体	DONETSB	利用通信媒体：インターネットによるショッピング・バンキング*
845	メディア	通信媒体	DONETSTK	利用通信媒体：インターネットによる株取引*
846	メディア	通信媒体	DOPHS	利用通信媒体：携帯電話またはPHS*
847	メディア	通信媒体	DOFAX	利用通信媒体：ファックス*
848	メディア	通信媒体	DONONEX	利用通信媒体：いずれも利用していない*
849	メディア	インターネット	DOEMAIL	電子メールの利用
850	メディア	インターネット	DOINBRS	インターネットの利用：情報検索*
851	メディア	インターネット	DOINSHOP	インターネットの利用：ショッピング*
852	メディア	インターネット	DOINBANK	インターネットの利用：バンキング*
853	メディア	インターネット	DOINHNP	インターネットの利用：ホームページの作成*
854	メディア	インターネット	DOINHNPB	インターネットの利用：ホームページの作成（ブログを含む）*
855	メディア	インターネット	DOINNONE	インターネットの利用：いずれも行っていない*
856	メディア	携帯電話	FQMPTALK	携帯電話での通話の頻度
857	メディア	携帯電話	FQMPMAIL	携帯電話でのメール送信の頻度
858	メディア	パソコン	FQPCMAIL	パソコンでのメール送信の頻度
859	メディア	携帯電話	FQMPTALX	携帯電話での通話の頻度（全員）
860	メディア	携帯電話	FQMPMAIX	携帯電話でのメール送信の頻度（全員）
861	メディア	パソコン	FQPCMAIX	パソコンでのメール送信の頻度（全員）
862	幸福度	生活満足度	ST5AREAY	生活満足度：居住地域
863	幸福度	生活満足度	ST5LEISY	生活満足度：余暇利用
864	幸福度	生活満足度	ST5LIFEY	生活満足度：家庭生活
865	幸福度	生活満足度	ST5ECNY	生活満足度：家計状態
866	幸福度	生活満足度	ST5FRIDY	生活満足度：友人関係
867	幸福度	生活満足度	ST5HLTHY	生活満足度：健康状態
868	幸福度	生活満足度	ST5SSREL	生活満足度：配偶者との関係
869	幸福度	結婚幸福度	FF5HAPPZ	結婚生活の幸福度
870	幸福度	幸福度	OP5HAPPZ	幸福度
871	幸福度	生活満足度	STALLLF	生活満足度：全般
872	幸福度	幸福度	OP5HAPPE	幸福度（EASS尺度）
873	趣味	講座	XLRNJB	受講経験：実務講座
874	趣味	講座	XLRNCLTR	受講経験：教養講座
875	趣味	旅行	FQ5TRIP	1泊以上の旅行頻度*
876	趣味	旅行	FQDMTRP	旅行頻度：国内旅行
877	趣味	旅行	FQOSTRP	旅行頻度：海外旅行
878	趣味	旅行	APDMTRP	旅行頻度の希望：国内旅行
879	趣味	旅行	APOSTRP	旅行頻度の希望：海外旅行
880	趣味	旅行	IMTRPCUL	旅行で重視すること：旅行先の文化にふれる*
881	趣味	旅行	IMTRPPPL	旅行で重視すること：旅行先で人々とふれ合う*
882	趣味	旅行	IMTRPREL	旅行で重視すること：家族や友人との関係を深める*
883	趣味	旅行	IMTRPEX	旅行で重視すること：刺激的な経験をする*
884	趣味	旅行	IMTRPSHP	旅行で重視すること：買い物や食事を楽しむ*
885	趣味	旅行	IMTRPSTR	旅行で重視すること：ストレスを解消する*
886	趣味	旅行	IMTRPNAT	旅行で重視すること：自然を楽しむ*
887	趣味	旅行	IMTRPFRE	旅行で重視すること：自由気ままに過ごす*

888	趣味	旅行	IMTRPREF	旅行で重視すること：自分自身を見つめなおす*
889	趣味	旅行	IMTRPOTH	旅行で重視すること：その他*
890	趣味	旅行	IMTRPNON	旅行で重視すること：特にない*
891	趣味	旅行	IMTRPHSP	旅行で重視すること：温泉がある*
892	趣味	娯楽	FQ4SHOGI	娯楽の頻度：将棋
893	趣味	娯楽	FQ4IGO	娯楽の頻度：囲碁
894	趣味	娯楽	FQ4SHGIG	娯楽の頻度：将棋・囲碁
895	趣味	娯楽	FQ4MAJON	娯楽の頻度：麻雀
896	趣味	娯楽	FQ4NBS	娯楽の頻度：ナンバーズ・ミニロト*
897	趣味	娯楽	FQ4LOTTO	娯楽の頻度：宝くじ
898	趣味	娯楽	FQ4TOTO	娯楽の頻度：サッカーくじ ( toto )
899	趣味	娯楽	FQ4HORSE	娯楽の頻度：競馬
900	趣味	娯楽	FQ4PGAM	娯楽の頻度：公営ギャンブル
901	趣味	娯楽	FQ4PACHI	娯楽の頻度：パチンコ・パチスロ
902	趣味	娯楽	FQ4KARA	娯楽の頻度：カラオケ
903	趣味	娯楽	FQ4FISH	娯楽の頻度：釣り
904	趣味	娯楽	FQ4JOG	娯楽の頻度：スポーツ
905	趣味	娯楽	FQ4DRIVE	娯楽の頻度：ドライブ
906	趣味	娯楽	FQ4MOVIE	娯楽の頻度：映画鑑賞
907	趣味	娯楽	FQ4MUSIC	娯楽の頻度：音楽鑑賞
908	趣味	娯楽	FQ4GAME	娯楽の頻度：テレビゲーム
909	趣味	娯楽	FQ4GREEN	娯楽の頻度：園芸・庭いじり
910	趣味	娯楽	OPCASINO	カジノ合法化の賛否
911	趣味	娯楽	WLCASINO	日本にカジノができれば行くか
912	趣味	娯楽	FQLOT	宝くじ：購入頻度 (回数/年)
913	趣味	娯楽	SZLOT	宝くじ：平均購入額
914	趣味	娯楽	FQTOTO	サッカーくじ：購入頻度 (回数/年)
915	趣味	娯楽	SZTOTO	サッカーくじ：平均購入額
916	趣味	娯楽	FQRACE	公営ギャンブル：頻度 (回数/年)
917	趣味	娯楽	NUMRACE	公営ギャンブル：平均レース数 / 1日
918	趣味	娯楽	SZRACE	公営ギャンブル：1レースの賭け額
919	趣味	娯楽	FQPACHI	パチンコ・パチスロ：プレイ頻度 (回/年)
920	趣味	娯楽	SZPACHI	パチンコ・パチスロ：1日に使う上限金額
921	趣味	娯楽	FQSPORT	定期的に行なうスポーツ：頻度
922	趣味	娯楽	XXSPORT	スポーツの種類 (具体的記述)
923	健康	健康状態	OP5HLTHZ	健康状態 (本人)
924	健康	健康状態	OP5HLTHE	健康状態 (本人) (EASS 尺度)
925	健康	配偶者健康状態	SS5HLTHZ	健康状態 (配偶者)
926	健康	アレルギー	HAATOPI	症状の有無：アトピー性皮膚炎 (本人)*
927	健康	アレルギー	HAKAFUN	症状の有無：花粉症 (本人)*
928	健康	アレルギー	HAZENSOK	症状の有無：ぜんそく (本人)*
929	健康	アレルギー	HAFOOD	症状の有無：食物アレルギー (本人)*
930	健康	アレルギー	HANONE	症状の有無：いずれもない (本人)*
931	健康	家族アレルギー	FAATOPI	症状の有無：アトピー性皮膚炎 (同居家族)*
932	健康	家族アレルギー	FAKAFUN	症状の有無：花粉症 (同居家族)*
933	健康	家族アレルギー	FAZENSOK	症状の有無：ぜんそく (同居家族)*
934	健康	家族アレルギー	FAFOOD	症状の有無：食物アレルギー (同居家族)*
935	健康	家族アレルギー	FANONE	症状の有無：いずれもない (同居家族)*
936	健康	家族アレルギー	FANOFF	症状の有無：非該当 (同居家族はいない)*
937	健康	介護	XCARE	介護経験 (本人)
938	健康	配偶者介護	SSCARE	介護経験 (配偶者)
939	健康	トラウマ	XTRAUM5Y	トラウマの回数
940	健康	喫煙	DOSMOKE	喫煙習慣
941	健康	喫煙	DOSMOKEX	喫煙経験
942	健康	喫煙	XQTSMOKE	禁煙努力*
943	健康	飲酒	DO7DRINK	飲酒頻度*
944	健康	受診行動	FQHSPLZ	通院頻度
945	健康	受診行動	DORFHSP	通院を控えた経験
946	健康	受診行動	RHPTLNG	通院を控えた理由：待ち時間が長い
947	健康	受診行動	RHPCTM	通院を控えた理由：費用がかかる
948	健康	受診行動	RHPNHN	通院を控えた理由：病院が近くにない
949	健康	受診行動	RHPDKWG	通院を控えた理由：どの病院に行ったらよいかわからない
950	健康	受診行動	RHPHNTPT	通院を控えた理由：交通手段がない
951	健康	受診行動	RHPDLSLSD	通院を控えた理由：病院に行くのは好きではない

952	健康	受診行動	RHPNTSD	通院を控えた理由：忙しくて時間がない
953	健康	受診行動	RHPTNNG	通院を控えた理由：病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した
954	健康	受診行動	RHPOTHR	通院を控えた理由：その他
955	健康	健康診断	HLCWRKSL	健康診断：職場や学校の健康診断
956	健康	健康診断	HLCLGV	健康診断：自治体の健康診断・検診
957	健康	健康診断	HLCOTHR	健康診断：その他に個人的に受けている
958	健康	健康診断	HLCNONE	健康診断：どれも受けていない
959	健康	医療不安	WRNBLHC	医療を受けられない不安
960	健康	医療不安	AXSEMCC	救急医療体制への不安
961	健康	耽溺行動	ADALC	耽溺行動：飲酒
962	健康	耽溺行動	ADSMOKE	耽溺行動：喫煙
963	健康	耽溺行動	ADGMBL	耽溺行動：ギャンブル
964	健康	耽溺行動	ADGAME	耽溺行動：ゲーム
965	健康	家族耽溺行動	ADFALC	同居家族の耽溺行動：飲酒
966	健康	家族耽溺行動	ADFSMOKE	同居家族の耽溺行動：喫煙
967	健康	家族耽溺行動	ADFGMBL	同居家族の耽溺行動：ギャンブル
968	健康	家族耽溺行動	ADFGAME	同居家族の耽溺行動：ゲーム
969	信頼	人間観	OP3UTILS	人間観（一般）：他人を利用する
970	信頼	人間観	OP3TRUST	人間観（一般）：人は信用できる
971	信頼	人間観	OP7GDEVO	人間観（一般）：人間の本性
972	信頼	組織への信頼	TR3CORPZ	組織への信頼：大企業
973	信頼	組織への信頼	TR3RLGPZ	組織への信頼：宗教団体
974	信頼	組織への信頼	TR3SCHLZ	組織への信頼：学校
975	信頼	組織への信頼	TR3BCRAZ	組織への信頼：中央官庁
976	信頼	組織への信頼	TR3UNNZ	組織への信頼：労働組合
977	信頼	組織への信頼	TR3NWSPZ	組織への信頼：新聞
978	信頼	組織への信頼	TR3HSPLZ	組織への信頼：病院
979	信頼	組織への信頼	TR3TVZ	組織への信頼：テレビ
980	信頼	組織への信頼	TR3SPCAZ	組織への信頼：裁判所
981	信頼	組織への信頼	TR3ACDAZ	組織への信頼：学者・研究者
982	信頼	組織への信頼	TR3CGMNZ	組織への信頼：国会議員
983	信頼	組織への信頼	TR3CITYZ	組織への信頼：市区町村議会議員
984	信頼	組織への信頼	TR3DEFZ	組織への信頼：自衛隊
985	信頼	組織への信頼	TR3COPZ	組織への信頼：警察
986	信頼	組織への信頼	TR3FINZ	組織への信頼：金融機関
987	集団参加	組織への所属	MEMPLTGP	組織への所属：政治団体
988	集団参加	組織への所属	MEMIND	組織への所属：業界団体
989	集団参加	組織への所属	MEMVLNTR	組織への所属：ボランティアのグループ
990	集団参加	組織への所属	MEMCIVIL	組織への所属：市民運動のグループ
991	集団参加	組織への所属	MEMRL	組織への所属：宗教の団体や会
992	集団参加	組織への所属	MEMSPORT	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ
993	集団参加	組織への所属	XXMEMSP	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ（具体的記述）
994	集団参加	組織への所属	MEMHOBBY	組織への所属：趣味の会
995	集団参加	組織への所属	XXMEMHOB	組織への所属：趣味の会（具体的記述）*
996	集団参加	組織への所属	MEMCOOP	組織への所属：生協
997	集団参加	町内会	MEMNBAS	町内会加入の有無
998	集団参加	町内会	FQNBAS	町内会での活動頻度
999	ボランティア	定期	XVLREG	定期的ボランティア：経験の有無
1000	ボランティア	定期	SZVLREG	定期的ボランティア：活動量（時間/月）
1001	ボランティア	不定期	XVLIRREG	不定期なボランティア：経験の有無
1002	ボランティア	不定期	SZVLIRRG	不定期なボランティア：活動量（合計日数/年）
1003	ボランティア	支援	XVLDONAT	ボランティア団体への支援：寄付・募金*
1004	ボランティア	支援	XVLCARD	ボランティア団体への支援：ボランティア貯金・寄付金つきクレジットカードの利用*
1005	ボランティア	支援	XVLSTAMP	ボランティア団体への支援：寄付金つき切手・はがき・ユニセフカードなどの購入*
1006	ボランティア	支援	XVLUSED	ボランティア団体への支援：古着や毛布などの寄贈*
1007	ボランティア	支援	XVLBAZZR	ボランティア団体への支援：バザーへの出品*
1008	ボランティア	支援	XVLBLOOD	ボランティア団体への支援：献血*
1009	ボランティア	支援	XVLETC	ボランティア団体への支援：その他*
1010	ボランティア	支援	XVLENV	ボランティア団体への支援：清掃・環境*
1011	ボランティア	支援	XVLWF	ボランティア団体への支援：介護・福祉*

1012	ボランティア	支援	XVLCUL	ボランティア団体への支援：文化的奉仕*
1013	ボランティア	支援	XVLLABOR	ボランティア団体への支援：労働奉仕*
1014	ボランティア	支援	XVLTEACH	ボランティア団体への支援：指導*
1015	ボランティア	参加	WVLDO	ボランティア活動への参加：今後の意向
1016	ボランティア	定期	XVLRENV	定期的ボランティアの内容：環境保護・清掃
1017	ボランティア	定期	XVLRWF	定期的ボランティアの内容：介護・福祉
1018	ボランティア	定期	XVLRUCUL	定期的ボランティアの内容：文化・芸術
1019	ボランティア	定期	XVLRTH	定期的ボランティアの内容：教育・技術指導
1020	ボランティア	定期	XVLRDNT	定期的ボランティアの内容：寄付金集め
1021	ボランティア	定期	XVLRTHR	定期的ボランティアの内容：その他
1022	ボランティア	不定期	XVLTENV	不定期なボランティアの内容：環境保護・清掃
1023	ボランティア	不定期	XVLTWF	不定期なボランティアの内容：介護・福祉
1024	ボランティア	不定期	XVLTUCUL	不定期なボランティアの内容：文化・芸術
1025	ボランティア	不定期	XVLTTH	不定期なボランティアの内容：教育・技術指導
1026	ボランティア	不定期	XVLTNT	不定期なボランティアの内容：寄付金集め
1027	ボランティア	不定期	XVLTOTHR	不定期なボランティアの内容：その他
1028	ボランティア	寄付	XDNTREG	寄付の経験：定期的な寄付
1029	ボランティア	寄付	XDNTBOX	寄付の経験：募金箱に寄付
1030	ボランティア	寄付	XDNTSCH	寄付の経験：学校や地域を通して
1031	ボランティア	寄付	XDNTMASS	寄付の経験：マスコミを通して
1032	ボランティア	寄付	XDNTOTHR	寄付の経験：その他
1033	ボランティア	寄付	XDNTNONE	寄付の経験：していない
1034	ボランティア	寄付	SZDNT	寄付の金額
1035	ボランティア	参加	XVLPRT	ボランティア活動：まちづくり*
1036	ボランティア	参加	XVLTENV	ボランティア活動：自然や環境の保護*
1037	ボランティア	参加	XVLSAFE	ボランティア活動：安全な生活*
1038	ボランティア	参加	XVLSPTS	ボランティア活動：スポーツ・文化・芸術・学術*
1039	ボランティア	参加	XVLELD	ボランティア活動：高齢者*
1040	ボランティア	参加	XVLC	ボランティア活動：子ども*
1041	ボランティア	参加	XVLOTHR	ボランティア活動：その他*
1042	ボランティア	参加	XVLNONE	ボランティア活動：いずれも行っていない*
1043	ボランティア	参加	XVLDISAB	ボランティア活動：障害者*
1044	ボランティア	地域活動	LACLN	地域活動：清掃活動
1045	ボランティア	地域活動	LARCYC	地域活動：リサイクル品の回収
1046	ボランティア	地域活動	LAPTRL	地域活動：パトロール
1047	ボランティア	地域活動	LANONE	地域活動：いずれも行なわれていない
1048	ボランティア	地域活動	LADK	地域活動：わからない
1049	ボランティア	地域活動	DOLACLN	地域活動への参加：清掃活動
1050	ボランティア	地域活動	DOLARCYC	地域活動への参加：リサイクル品の回収
1051	ボランティア	地域活動	DOLAPTRL	地域活動への参加：パトロール
1052	ボランティア	地域活動	DOLANONE	地域活動への参加：いずれも参加していない
1053	居住地	愛着	LKLOCAL	現在の居住地への愛着
1054	居住地	居住年数	XLIVEYR	現在の居住地への居住年数
1055	居住地	愛着	WLLIVE	現在の居住地に住み続けたいか*
1056	高齢者	活動	IMOAWORK	高齢期に重要な活動：仕事
1057	高齢者	活動	IMOACOM	高齢期に重要な活動：地域活動
1058	高齢者	活動	IMOACRCL	高齢期に重要な活動：文化・スポーツサークル
1059	高齢者	活動	IMOAVLTR	高齢期に重要な活動：ボランティア
1060	高齢者	活動	IMOALSR	高齢期に重要な活動：娯楽・レジャー
1061	高齢者	活動	IMOALRN	高齢期に重要な活動：読書・学習・研究
1062	高齢者	活動	IMOAFF	高齢期に重要な活動：家族・親族との時間
1063	高齢者	活動	IMOAFRI	高齢期に重要な活動：友人との時間
1064	高齢者	活動	IMOALON	高齢期に重要な活動：一人の時間
1065	高齢者	社会関係	IMORSS	高齢期に重要な関係：配偶者
1066	高齢者	社会関係	IMORCC	高齢期に重要な関係：子ども
1067	高齢者	社会関係	IMORSIB	高齢期に重要な関係：きょうだい
1068	高齢者	社会関係	IMORCCG	高齢期に重要な関係：孫
1069	高齢者	社会関係	IMORPAR	高齢期に重要な関係：親
1070	高齢者	社会関係	IMORFRWK	高齢期に重要な関係：仕事関係の友人
1071	高齢者	社会関係	IMORFRSC	高齢期に重要な関係：学校時代の友人
1072	高齢者	社会関係	IMORFRCC	高齢期に重要な関係：団体・サークルの友人
1073	高齢者	社会関係	IMORCOM	高齢期に重要な関係：近所の人
1074	高齢者	社会関係	IMORPET	高齢期に重要な関係：ペット
1075	性	セックス	FQ7SEX	セックスの頻度

1076	性	婚外交渉	Q4ADLTRY	婚外交渉について
1077	性	10代売春	Q4PROS19	10代の売春について
1078	性	同性愛	Q4HOMSEA	同性愛について
1079	性	ポルノ	OPPORNK	ポルノ：社会道徳
1080	性	ポルノ	Q3PORNNO	ポルノ：規制について
1081	法律	少年法	OP3JVLWY	少年法改正の賛否
1082	法律	死刑制度	Q2DTHPY	死刑制度の賛否
1083	法律	判決	OP5JUDGE	最近の判決について
1084	法律	裁判員制度	OPCJSYS	裁判員制度：制度への賛否
1085	法律	裁判員制度	OPCJDTH	裁判員制度：死刑をためらう
1086	法律	憲法	OPAMND9	憲法9条改正への意見
1087	法律	憲法	WHYAMND9	憲法9条改正の理由
1088	暴行・犯罪	暴行	XBEATEN	暴行を受けた経験
1089	暴行・犯罪	暴行	WHENBEAT	暴行を受けた時期
1090	暴行・犯罪	暴行	WHOMBEAT	暴行の加害者
1091	暴行・犯罪	体罰	Q5PMSPNK	親による体罰の賛否
1092	暴行・犯罪	体罰	Q5TTSPNK	教師による体罰の賛否
1093	暴行・犯罪	暴行	XPBCL	子どもの時の暴行被害経験
1094	暴行・犯罪	暴行	XPBCLPA	子どもの時の暴行加害者：親
1095	暴行・犯罪	暴行	XPBCLBS	子どもの時の暴行加害者：きょうだい
1096	暴行・犯罪	暴行	XPBCLFM	子どもの時の暴行加害者：その他の家族・親族
1097	暴行・犯罪	暴行	XPBCLTA	子どもの時の暴行加害者：先生
1098	暴行・犯罪	暴行	XPBCLFD	子どもの時の暴行加害者：友人
1099	暴行・犯罪	暴行	XPBCLAQ	子どもの時の暴行加害者：その他の知人
1100	暴行・犯罪	暴行	XPBCLST	子どもの時の暴行加害者：知らない人
1101	暴行・犯罪	暴行	XPBAD	大人になってからの暴行被害経験
1102	暴行・犯罪	暴行	XPBADPA	大人になってからの暴行加害者：親
1103	暴行・犯罪	暴行	XPBADSP	大人になってからの暴行加害者：配偶者・恋人
1104	暴行・犯罪	暴行	XPBADCC	大人になってからの暴行加害者：子ども
1105	暴行・犯罪	暴行	XPBADFM	大人になってからの暴行加害者：その他の家族・親族
1106	暴行・犯罪	暴行	XPBADSV	大人になってからの暴行加害者：職場の上司
1107	暴行・犯罪	暴行	XPBADCW	大人になってからの暴行加害者：職場の同僚や部下
1108	暴行・犯罪	暴行	XPBADFA	大人になってからの暴行加害者：その他の知人・友人
1109	暴行・犯罪	暴行	XPBADST	大人になってからの暴行加害者：知らない人
1110	暴行・犯罪	暴行	XSCYP	言葉の暴力の被害経験
1111	暴行・犯罪	暴行	XSCYPPA	言葉の暴力の加害者：親
1112	暴行・犯罪	暴行	XSCYSP	言葉の暴力の加害者：配偶者・恋人
1113	暴行・犯罪	暴行	XSCYPCC	言葉の暴力の加害者：子ども
1114	暴行・犯罪	暴行	XSCYPFM	言葉の暴力の加害者：その他の家族・親族
1115	暴行・犯罪	暴行	XSCYPSV	言葉の暴力の加害者：職場の上司
1116	暴行・犯罪	暴行	XSCYPCW	言葉の暴力の加害者：職場の同僚や部下
1117	暴行・犯罪	暴行	XSCYPFA	言葉の暴力の加害者：その他の知人・友人
1118	暴行・犯罪	暴行	XSCYPST	言葉の暴力の加害者：知らない人
1119	暴行・犯罪	治安	FEARWALK	自宅周辺の危険な場所の有無
1120	暴行・犯罪	空き巣	XSTOLN1Y	空き巣被害経験
1121	暴行・犯罪	強盗	XROBBD1Y	強盗等の被害経験
1122	暴行・犯罪	防犯	DOACSECC	防犯対策：警備会社と契約*
1123	暴行・犯罪	防犯	DOACCAM	防犯対策：監視カメラを設置*
1124	暴行・犯罪	防犯	DOACDOG	防犯対策：防犯のために犬を飼う*
1125	暴行・犯罪	防犯	DOACKEY	防犯対策：ドアや窓の鍵に工夫*
1126	暴行・犯罪	防犯	DOACOTHR	防犯対策：その他*
1127	暴行・犯罪	防犯	DOACNONE	防犯対策：特にしていない*
1128	暴行・犯罪	防犯	DOACLIT	防犯対策：明かりに工夫*
1129	暴行・犯罪	防犯	OPACCAM	防犯対策への意見：路上カメラ
1130	暴行・犯罪	防犯	OPACSEXC	防犯対策への意見：性犯罪者の住所公表
1131	暴行・犯罪	防犯	OPACPTL	防犯対策への意見：住民パトロール
1132	暴行・犯罪	防犯	OPACINET	防犯対策への意見：インターネットの監視
1133	暴行・犯罪	万引き	SLSELF	万引きした子どもへの対応：本人に注意*
1134	暴行・犯罪	万引き	SLFAMILY	万引きした子どもへの対応：家族に通知*
1135	暴行・犯罪	万引き	SLCLERK	万引きした子どもへの対応：店に通知*
1136	暴行・犯罪	万引き	SLSCHL	万引きした子どもへの対応：学校に通知*
1137	暴行・犯罪	万引き	SLNODO	万引きした子どもへの対応：何もしない*
1138	暴行・犯罪	万引き	SLETC	万引きした子どもへの対応：その他*
1139	暴行・犯罪	万引き	FQCONVI	近所のコンビニの利用



1140	暴行・犯罪	少年犯罪	OPJVMNTL	少年犯罪の原因への意見：心理状態
1141	暴行・犯罪	少年犯罪	OPJVFF	少年犯罪の原因への意見：家庭環境
1142	暴行・犯罪	少年犯罪	OPJVSCHL	少年犯罪の原因への意見：学校での生活環境
1143	暴行・犯罪	少年犯罪	OPJVLAW	少年犯罪の原因への意見：法律制度
1144	暴行・犯罪	少年犯罪	OPJVECN	少年犯罪の原因への意見：経済的な格差
1145	外国	外国人増加	QFNRINCR	外国人増加の賛否*
1146	外国	外国人とのつき合い	XFNHLLLO	外国人とのつき合い：挨拶*
1147	外国	外国人とのつき合い	XFNWORK	外国人とのつき合い：職場*
1148	外国	外国人とのつき合い	XFNSTDY	外国人とのつき合い：学校*
1149	外国	外国人とのつき合い	XFNACT	外国人とのつき合い：地域活動*
1150	外国	外国人とのつき合い	XFNMEAL	外国人とのつき合い：食事招待*
1151	外国	外国人とのつき合い	XFNSTAY	外国人とのつき合い：宿泊招待*
1152	外国	外国人とのつき合い	FFXFNMG	外国人とのつき合い：親族の婚姻*
1153	外国	外国人とのつき合い	XFNWORKX	外国人とのつき合い（経験）：職場*
1154	外国	外国人とのつき合い	XFNSTDYX	外国人とのつき合い（経験）：学校*
1155	外国	外国人とのつき合い	XFNASSOX	外国人とのつき合い（経験）：友人*
1156	外国	外国人とのつき合い	XFNMGX	外国人とのつき合い（経験）：親族の婚姻*
1157	外国	外国人とのつき合い	XFNHLLLOX	外国人とのつき合い（経験）：挨拶*
1158	外国	外国人とのつき合い	XFNCLUBX	外国人とのつき合い（経験）：国際交流の活動*
1159	外国	外国人とのつき合い	XFNETCX	外国人とのつき合い（経験）：サークル・地域活動*
1160	外国	外国人とのつき合い	XFNONE	外国人とのつき合い（経験）：つき合いはない*
1161	外国	外国人とのつき合い	FQ4FNR	外国人に近所で会う機会
1162	外国	外国人増加	FNLANG	外国人増加の影響：外国語を学ぶ機会*
1163	外国	外国人増加	FNCULT	外国人増加の影響：外国の文化に触れる*
1164	外国	外国人増加	FNJCUL	外国人増加の影響：日本文化がそこなわれる*
1165	外国	外国人増加	FNUNIQ	外国人増加の影響：単一性の喪失*
1166	外国	外国人増加	FNVARTY	外国人増加の影響：社会の多様化*
1167	外国	外国人増加	FNLOCAL	外国人増加の影響：地域性の喪失*
1168	外国	外国人増加	FNLOPOP	外国人増加の影響：過疎地の活性化*
1169	外国	外国人増加	FNPREUP	外国人増加の影響：偏見が強くなる*
1170	外国	外国人増加	FNPREDN	外国人増加の影響：偏見が弱くなる*
1171	外国	外国人増加	FNPEACE	外国人増加の影響：国際平和*
1172	外国	外国人増加	FNINTNL	外国人増加の影響：国際情勢への関心が高まる*
1173	外国	外国人増加	FNSAFE	外国人増加の影響：治安の悪化*
1174	外国	外国人増加	FNWORK	外国人増加の影響：労働力の補充*
1175	外国	外国人増加	FNWKCHN	外国人増加の影響：雇用機会の減少*
1176	外国	外国人増加	FNTAXUP	外国人増加の影響：税負担の増加*
1177	外国	外国人増加	FNNONE	外国人増加の影響：影響はない*
1178	外国	外国人増加	FNNOKNOW	外国人増加の影響：わからない*
1179	外国	外国人増加	FNETC	外国人増加の影響：その他*
1180	外国	好感度	FAVFKOR	外国の好感度：韓国
1181	外国	好感度	FAVPRK	外国の好感度：北朝鮮
1182	外国	好感度	FAVFCHN	外国の好感度：中国
1183	外国	好感度	FAVFMNG	外国の好感度：モンゴル
1184	外国	好感度	FAVFTWN	外国の好感度：台湾
1185	外国	好感度	FAVPHL	外国の好感度：フィリピン
1186	外国	好感度	FAVFTHA	外国の好感度：タイ
1187	外国	好感度	FAVFIDN	外国の好感度：インドネシア
1188	外国	好感度	FAVFIND	外国の好感度：インド
1189	外国	好感度	FAVFRUS	外国の好感度：ロシア
1190	外国	好感度	FAVFUSA	外国の好感度：アメリカ
1191	外国	開発援助	OPADVITL	開発援助：援助は不可欠
1192	外国	開発援助	OPADOBL	開発援助：援助は義務
1193	外国	開発援助	OPADFIN	開発援助：財政状況に応じて減らすべき
1194	外国	開発援助	OPADEXP	開発援助：日本人への説明が不十分
1195	外国	開発援助	OPADINFO	開発援助：現地人への伝達が不十分
1196	外国	開発援助	OPADDIPL	開発援助：外交に応じて調整すべき
1197	外国	開発援助	XADDONAT	開発国支援の経験：募金
1198	外国	開発援助	XADVOL	開発国支援の経験：ボランティア
1199	外国	貿易	INTDIMP	外国との取り引き：外国から輸入している
1200	外国	貿易	INTDEXP	外国との取り引き：外国に輸出している
1201	外国	貿易	INTDPRD	外国との取り引き：外国で生産している
1202	外国	貿易	INTDNEX	外国との取り引き：外国とのやり取りは何もない
1203	外国語	英語力	ENGTALK	英会話のレベル

1204	外国語	英語力	ENGREAD	英語読解力のレベル
1205	外国語	英語の使用	EUNO	英語の使用：ほとんど使う機会はない*
1206	外国語	英語の使用	EUTOKI	英語の使用：仕事で時々使う*
1207	外国語	英語の使用	EUYOKU	英語の使用：仕事でよく使う*
1208	外国語	英語の使用	EUFRIEND	英語の使用：外国人の友人や知人との付き合いで*
1209	外国語	英語の使用	EUFAMILY	英語の使用：家族とのコミュニケーションに*
1210	外国語	英語の使用	EUHOBBY	英語の使用：趣味・娯楽・海外旅行で*
1211	外国語	英語の使用	EUETC	英語の使用：その他*
1212	外国語	英語の使用	EUCLASS	英語の使用：学校や資格取得で使う*
1213	外国語	英語の使用	EUKIDS	英語の使用：子ども（孫）に教える*
1214	外国語	英語の使用	EABUS	過去1年間の英語使用：仕事*
1215	外国語	英語の使用	EASOC	過去1年間の英語使用：付き合い*
1216	外国語	英語の使用	EAART	過去1年間の英語使用：映画鑑賞・音楽鑑賞・読書*
1217	外国語	英語の使用	EAINET	過去1年間の英語使用：インターネット*
1218	外国語	英語の使用	EATRIP	過去1年間の英語使用：海外旅行*
1219	外国語	英語の使用	EAOTHER	過去1年間の英語使用：その他*
1220	外国語	英語の使用	EANONE	過去1年間の英語使用：まったく使ったことがない*
1221	外国語	英語の使用	EALearn	過去1年間の英語使用：学習*
1222	外国語	英語学習	XECLASS	英語学習・経験：英会話学校や文化教室*
1223	外国語	英語学習	XECIRCLE	英語学習・経験：英会話サークル*
1224	外国語	英語学習	XEMEDIA	英語学習・経験：テレビやラジオの番組やニュース*
1225	外国語	英語学習	XESelf	英語学習・経験：英語教材で自習*
1226	外国語	英語学習	XESHANAI	英語学習・経験：社内研修*
1227	外国語	英語学習	XEOSTRIP	英語学習・経験：海外旅行*
1228	外国語	英語学習	XEOSSTDY	英語学習・経験：海外留学や海外研修*
1229	外国語	英語学習	XEOSJOB	英語学習・経験：海外勤務や居住*
1230	外国語	英語学習	XEFRIEND	英語学習・経験：外国人の友人や知人との付き合い*
1231	外国語	英語学習	XENONE	英語学習・経験：いずれも経験はない*
1232	外国語	英語学習	XLRNENG	学校外の英語学習の経験
1233	外国語	英語学習	WLRNENG	英語の学習意欲
1234	外国語	英語学習	ELGRADE	英語学習の理由：卒業・進級*
1235	外国語	英語学習	ELGETJOB	英語学習の理由：就職・転職*
1236	外国語	英語学習	ELTASK	英語学習の理由：仕事*
1237	外国語	英語学習	ELQUALF	英語学習の理由：資格*
1238	外国語	英語学習	ELPROMO	英語学習の理由：昇進・昇格*
1239	外国語	英語学習	ELENOY	英語学習の理由：楽しい*
1240	外国語	英語学習	ELWEST	英語学習の理由：米英が好き*
1241	外国語	英語学習	ELVISION	英語学習の理由：視野を広めたい*
1242	外国語	英語学習	ELNEW	英語学習の理由：学習が好き*
1243	外国語	英語学習	ELTRAVL	英語学習の理由：海外旅行*
1244	外国語	英語学習	ELCHILD	英語学習の理由：子どもの教育*
1245	外国語	英語学習	ELINET	英語学習の理由：インターネット*
1246	外国語	英語学習	ELMOVIE	英語学習の理由：ニュース・映画*
1247	外国語	英語学習	ELETC	英語学習の理由：その他*
1248	外国語	英語以外の外国語	INTFLANG	興味がある外国語*
1249	外国語	英語の必要性	OPEUWK	仕事での英語の必要性
1250	外国語	英語の必要性	OPEUSOC	趣味や人づきあいでの英語の必要性
1251	外国語	英語教育	OPTED	英語教育の開始学年への意見
1252	外国語	英語教育	XEEBJH	中学校以前の英語教育経験
1253	ペット	ペットの保有	DOPET	ペットの有無
1254	ペット	ペットの保有	DODOGE	ペットの種類：犬（室外で）*
1255	ペット	ペットの保有	DODOGI	ペットの種類：犬（室内で）*
1256	ペット	ペットの保有	DOCAT	ペットの種類：猫*
1257	ペット	ペットの保有	DOMAMMAL	ペットの種類：小型ほ乳類*
1258	ペット	ペットの保有	DOBIRDA	ペットの種類：鳥類*
1259	ペット	ペットの保有	DOFISHA	ペットの種類：魚類*
1260	ペット	ペットの保有	DOREPTL	ペットの種類：両生類/は虫類*
1261	ペット	ペットの保有	DOINSECT	ペットの種類：昆虫類*
1262	ペット	ペットの保有	DOOTHER	ペットの種類：その他*
1263	ペット	ペット観	PT4RELAA	ペットの存在：なごませしてくれる
1264	ペット	ペット観	PT4WORTH	ペットの存在：はりあいを与えてくれる
1265	ペット	ペット観	PT4ALONA	ペットの存在：癒してくれる
1266	ペット	ペット観	PT4REGUA	ペットの存在：規則正しい生活ができる
1267	ペット	ペット観	PT4NEEDA	ペットの存在：自分を必要としてくれる

1268	ペット	ペット観	PT4FFCOA	ペットの存在：コミュニケーションに役立つ
1269	ペット	ペット観	PT4BEINA	ペットの存在：生きがいである
1270	ペット	ペット観	PT4NETWA	ペットの存在：人間関係が広がる
1271	ペット	ペットの保有	PTCARE	ペットと過ごす時間
1272	ペット	ペットの保有	PTHOUR	ペットと過ごす時間（時間）
1273	ペット	ペットの保有	PTMIN	ペットと過ごす時間（分）
1274	ペット	ペットの保有	DOPDOGE	ペットの保有：犬（室外で）
1275	ペット	ペットの保有	DOPDOGI	ペットの保有：犬（室内で）
1276	ペット	ペットの保有	DOPCATE	ペットの保有：猫（室外で）
1277	ペット	ペットの保有	DOPCATI	ペットの保有：猫（室内で）
1278	ペット	ペットの保有	DOPOTHR	ペットの保有：その他
1279	ペット	ペットの保有	DOPNONE	ペットの保有：何も飼っていない
1280	ペット	ペットの保有	DOPCDOGE	世話をしているペット：犬（室外で）
1281	ペット	ペットの保有	DOPCDOGI	世話をしているペット：犬（室内で）
1282	ペット	ペットの保有	DOPCCATE	世話をしているペット：猫（室外で）
1283	ペット	ペットの保有	DOPCCATI	世話をしているペット：猫（室内で）
1284	ペット	ペットの保有	DOPCOTHR	世話をしているペット：その他
1285	ペット	ペットの保有	DOPCNONE	世話をしているペット：世話はしていない
1286	ペット	ペットの保有	XDTHPET	ペットの死の経験
1287	ペット	ペット観	OPPTREG	ペットへの意見：厳しく規制
1288	ペット	ペット観	OPPTCALM	ペットへの意見：気持ちがなごむ
1289	ペット	ペット観	OPPTKILL	ペットへの意見：安楽死
1290	エコロジー	エコ行動	FQ4DENKI	電気はこまめに消す
1291	エコロジー	エコ行動	FQ4WATER	節水の心がけ
1292	エコロジー	エコ行動	FQ4MEND	故障物は修理して使用
1293	エコロジー	エコ行動	FQ4RECYC	再生商品の購入
1294	エコロジー	エコ行動	FQ4REFIL	詰め替え商品の購入
1295	エコロジー	エコ行動	FQ4NOYAK	無農薬や有機栽培の野菜の購入
1296	エコロジー	エコ行動	FQ4BAG	買物には袋などを持参
1297	エコロジー	エコ行動	FQ4PACK	包装を簡単にしてもらう
1298	エコロジー	エコ行動	FQ4USED	リサイクルショップの利用
1299	エコロジー	エコ行動	FQ4BUS	公共交通機関の利用
1300	エコロジー	エコ行動	FQ4SORT	ゴミは分別して捨てる
1301	エコロジー	エコ行動	FQ4TAIHI	生ゴミを堆肥に
1302	エコロジー	環境問題	STECONAT	満足度：国の環境問題への取り組み
1303	エコロジー	環境問題	STECOCOC	満足度：自治体の環境問題への取り組み
1304	エコロジー	環境問題	STECOCOC	満足度：企業の環境問題への取り組み
1305	エコロジー	環境問題	QECOVGE	意見への賛否：環境保護より経済成長を優先
1306	エコロジー	環境問題	QNCVLGE	意見への賛否：環境悪化を防ぐためなら生活が不便になってもかまわない
1307	エコロジー	エコ行動	XPBEPCE	環境保護と企業倫理に基づく購買行動*
1308	エコロジー	エコ行動	XPBPDR	政治・外交的理由に基づく購買行動
1309	エコロジー	エコ行動	DOECLSP	エコ商品の利用：ソーラーパネル
1310	エコロジー	エコ行動	DOECMNP	エコ商品の利用：深夜電力
1311	エコロジー	エコ行動	DOECWC	エコ商品の利用：エコウィル・エコキュート
1312	エコロジー	エコ行動	DOECLMC	エコ商品の利用：低公害車*
1313	エコロジー	エコ行動	DOECNONE	エコ商品の利用：いずれも利用していない
1314	リスク認知	遺伝子組み換え	KNOWGMO	遺伝子組換え食品の知識
1315	リスク認知	遺伝子組み換え	OPGMSAFE	遺伝子組換え食品への意見：安全
1316	リスク認知	遺伝子組み換え	OPGMUSER	遺伝子組換え食品への意見：自分にとって有益
1317	リスク認知	遺伝子組み換え	OPGMUSES	遺伝子組換え食品への意見：社会にとって有益
1318	リスク認知	遺伝子組み換え	OPGMNTRL	遺伝子組換え食品への意見：自然なもの
1319	リスク認知	遺伝子組み換え	OPGMEAT	遺伝子組換え食品への意見：食べてもよい
1320	リスク認知	遺伝子組み換え	OPGMSPRD	遺伝子組換え食品への意見：社会への普及
1321	リスク認知	遺伝子組み換え	OPGMWHAT	遺伝子組換え食品への意見：どのようなものがあるか
1322	リスク認知	遺伝子組み換え	OPGMHOW	遺伝子組換え食品への意見：どのようにしてできるか
1323	リスク認知	遺伝子組み換え	KWGMCONC	思い浮かぶ遺伝子組換え食品の有無
1324	リスク認知	遺伝子組み換え	NGMCONC	思い浮かぶ遺伝子組換え食品の個数
1325	リスク認知	遺伝子組み換え	GMCONC1	遺伝子組換え食品：大豆（大豆加工食品）*
1326	リスク認知	遺伝子組み換え	GMCONC2	遺伝子組換え食品：とうもろこし*
1327	リスク認知	遺伝子組み換え	GMCONC3	遺伝子組換え食品：じゃがいも*
1328	リスク認知	遺伝子組み換え	GMCONC4	遺伝子組換え食品：米*
1329	リスク認知	遺伝子組み換え	GMCONC5	遺伝子組換え食品：麦*
1330	リスク認知	遺伝子組み換え	GMCONC6	遺伝子組換え食品：トマト*

1331	リスク認知	遺伝子組み換え	GMCONC7	遺伝子組換え食品：豆全般・穀類全般*
1332	リスク認知	遺伝子組み換え	GMCONC8	遺伝子組換え食品：野菜全般・その他の青果*
1333	リスク認知	遺伝子組み換え	GMCONC9	遺伝子組換え食品：青果以外*
1334	乗り物	自動車保有	DOCAR	自動車の所持
1335	乗り物	自動車保有	TPCARSTD	自動車の種類：普通乗用車
1336	乗り物	自動車保有	TPCARLG	自動車の種類：大型乗用車
1337	乗り物	自動車保有	TPCARSM	自動車の種類：軽自動車・軽トラック
1338	乗り物	自動車保有	TPCARTK	自動車の種類：普通トラック
1339	乗り物	自動車保有	TPCAROTH	自動車の種類：その他
1340	乗り物	自動車の負担感	EXCARGAS	自動車の負担感：ガソリン代
1341	乗り物	自動車の負担感	EXCARINS	自動車の負担感：保険料・税金
1342	乗り物	自動車の負担感	EXCARBUY	自動車の負担感：購入代金・ローン
1343	乗り物	自動車の負担感	EXCARFIX	自動車の負担感：修理・車検
1344	乗り物	自動車の負担感	EXCARPRK	自動車の負担感：駐車場の賃貸料
1345	乗り物	運転免許	DOCLCNS	自動車免許の所持
1346	乗り物	自動車の用途	USCARCMT	自動車の用途：通勤・通学
1347	乗り物	自動車の用途	USCARTFF	自動車の用途：送り迎え
1348	乗り物	自動車の用途	USCARSHP	自動車の用途：買物・用事
1349	乗り物	自動車の用途	USCARWK	自動車の用途：仕事
1350	乗り物	自動車の用途	USCARLSR	自動車の用途：レジャー
1351	乗り物	自動車観	OPCARDLF	自動車への意見：日常生活に支障
1352	乗り物	自動車観	OPCARFLD	自動車への意見：行動範囲が狭くなる
1353	乗り物	自動車観	OPCARDRV	自動車への意見：ドライブの楽しみ
1354	乗り物	自動車観	OPCARCST	自動車への意見：費用が高すぎる
1355	乗り物	自動車観	OPCARACC	自動車への意見：事故を起こしやすい
1356	乗り物	自動車観	OPCARECO	自動車への意見：環境汚染が心配
1357	消費行動	購入基準	IM5PRICE	購入の基準：値段の安さ
1358	消費行動	購入基準	IM5BRAND	購入の基準：メーカー名
1359	消費行動	購入基準	IM5FUNC	購入の基準：色々な機能
1360	消費行動	購入基準	IM5DESN	購入の基準：色や形の良さ
1361	消費行動	購入基準	IM5LAST	購入の基準：長持ち
1362	消費行動	購入基準	IM5SAVE	購入の基準：省エネ・省資源
1363	消費行動	購入基準	IM5RECYC	購入の基準：再生利用が可能
1364	消費行動	購入基準	IM5SERV	購入の基準：アフターサービスが充実
1365	消費行動	購入基準	IM5TRADE	購入の基準：無料下取りサービス
1366	消費行動	購買行動	SFQSTK	購買行動：まとめ買い
1367	消費行動	購買行動	SFQCHNC	購買行動：ついでの時
1368	消費行動	購買行動	SFQIMPLS	購買行動：衝動買い
1369	消費行動	購買行動	SFQSHOP	購買行動：日用品は特定の店で購入
1370	消費行動	購買行動	SFQQLTY	購買行動：品質重視
1371	消費行動	購買行動	SFQSORY	購買行動：買ってから後悔
1372	消費行動	購買行動	SFQADVTS	購買行動：チラシを見て買う
1373	消費行動	購買行動	SFQSAME	購買行動：他人に同調
1374	消費行動	購買行動	SFQINET	購買行動：インターネットで下調べ
1375	消費行動	購買行動	SFQELEC	購買行動：電化製品はいくつかの店で比較
1376	消費行動	購買行動	SFQDATE	購買行動：賞味期限を確認
1377	消費行動	購買行動	SFQLOC	購買行動：生産地を確認
1378	消費行動	変化	XSCATL	消費行動の変化：通信販売を利用する
1379	消費行動	変化	XSBRAND	消費行動の変化：高級ブランド品を買う
1380	消費行動	変化	XSLRNQL	消費行動の変化：資格の講座を受ける
1381	消費行動	変化	XSCLED	消費行動の変化：趣味の講座を受ける
1382	消費行動	変化	XSREFIL	消費行動の変化：詰替え商品を買う
1383	消費行動	変化	XSRECYC	消費行動の変化：再生商品を買う
1384	消費行動	変化	XSRESHOP	消費行動の変化：リサイクルショップを利用する
1385	消費行動	変化	XSAGCHEM	消費行動の変化：無農薬・有機栽培の野菜を買う
1386	消費行動	変化	XSMEAL	消費行動の変化：健康に気をつけて食事をする
1387	消費行動	変化	XSEXER	消費行動の変化：健康のために運動をする
1388	消費行動	変化	XSEATOUT	消費行動の変化：外食をする
1389	消費行動	変化	XSPRICE	消費行動の変化：値段にこだわって買う
1390	消費行動	変化	XSQLTY	消費行動の変化：品質にこだわって買う
1391	消費行動	変化	XSJAPAN	消費行動の変化：日本のメーカーの製品を買う
1392	消費行動	購買行動	QPRPDF	意見への賛否：食品は国産のものを好む
1393	消費行動	購買行動	PRFJPAPL	意見への賛否：電器製品は日本メーカーを好む
1394	金融	借金	Q4DEBT	借金への賛否

1395	金融	クレジットカード	OPCDUSFL	クレジットカードへの意見：便利
1396	金融	クレジットカード	OPCDOVER	クレジットカードへの意見：使いすぎる
1397	金融	クレジットカード	OPCDCRM	クレジットカードへの意見：犯罪に利用される
1398	金融	クレジットカード	OPCDCM	クレジットカードへの意見：宣伝を制限
1399	金融	クレジットカード	NUMCARD	クレジットカードの所有枚数
1400	金融	クレジットカード	USCDDAY	クレジットカードの用途：日常の買い物
1401	金融	クレジットカード	USCDHIGH	クレジットカードの用途：高額な買い物
1402	金融	クレジットカード	USCDEAT	クレジットカードの用途：外食の代金
1403	金融	クレジットカード	USCDCHRG	クレジットカードの用途：公共料金・通信費
1404	金融	クレジットカード	FNCDONE	クレジットカードの機能の利用：1回払い
1405	金融	クレジットカード	FNCINST	クレジットカードの機能の利用：分割払い
1406	金融	クレジットカード	FNCDREVO	クレジットカードの機能の利用：リボ払い
1407	金融	クレジットカード	FNCDCASH	クレジットカードの機能の利用：キャッシング
1408	金融	消費者金融	OPCSUSFL	消費者金融への意見：便利
1409	金融	消費者金融	OPCSOVER	消費者金融への意見：使いすぎる
1410	金融	消費者金融	OPCSCRM	消費者金融への意見：犯罪に利用される
1411	金融	消費者金融	OPCSM	消費者金融への意見：宣伝を制限
1412	金融	消費者金融	NUMCONSF	消費者金融の利用回数
1413	金融	消費者金融	USCSDAY	消費者金融の利用理由：日常の生活費
1414	金融	消費者金融	USCSMD	消費者金融の利用理由：医療費
1415	金融	消費者金融	USCSEDU	消費者金融の利用理由：教育費
1416	金融	消費者金融	USCSBUS	消費者金融の利用理由：事業資金
1417	金融	消費者金融	USCSSOC	消費者金融の利用理由：交際費
1418	金融	消費者金融	USCSHOB	消費者金融の利用理由：趣味の費用
1419	金融	消費者金融	USCSCLTH	消費者金融の利用理由：服飾品の費用
1420	金融	消費者金融	USCSBANK	消費者金融の利用理由：他の金融機関への支払い
1421	金融	消費者金融	USCSOTHR	消費者金融の利用理由：その他
1422	教育	教育観	MSBASIC	学校の意義：基礎的な知識*
1423	教育	教育観	MSSPEC	学校の意義：専門的な知識*
1424	教育	教育観	MSJSKILL	学校の意義：仕事に必要な技能*
1425	教育	教育観	MSQUALF	学校の意義：学歴や資格*
1426	教育	教育観	MSTALENT	学校の意義：自分の才能*
1427	教育	教育観	MSFRIEND	学校の意義：友達づくり*
1428	教育	教育観	MSTEACHR	学校の意義：先生から生き方を学ぶ*
1429	教育	教育観	MSFINDJB	学校の意義：就職が有利*
1430	教育	教育観	MSSPOUSE	学校の意義：配偶者との出会い*
1431	教育	教育観	MSFRTIME	学校の意義：自由な時間を利用できた*
1432	教育	教育観	MSETC	学校の意義：その他*
1433	教育	教育観	MSNONE	学校の意義：特になかった*
1434	教育	教育観	MSSPORT	学校の意義：スポーツ・部活動*
1435	教育	教育観	MSHUMAN	学校の意義：人間関係・社会性*
1436	教育	教育観	MSMENTAL	学校の意義：精神的成長*
1437	教育	教育観	OP4EDABI	教育観：学歴は本人の実力による
1438	教育	教育観	OP4EDPAR	教育観：学歴は親の教育方針による
1439	教育	教育観	OP4EDECN	教育観：学歴は経済的状況による
1440	教育	教育観	OP4EDINC	教育観：高い学歴は収入面に恵まれる
1441	教育	教育観	OP4EDHI	教育観：子どもには、できるだけ高い学歴を
1442	教育	教育観	OP4EDUNI	教育観：どの大学かで人生が左右
1443	教育	教育観	OP4EDJOB	教育観：高い学歴で希望職に就ける
1444	教育	教育観	OP4EDMG	教育観：高い学歴でよい結婚ができる
1445	教育	教育観	IMEDLSSN	重要な教育：習い事
1446	教育	教育観	IMEDCRAM	重要な教育：塾・予備校
1447	教育	教育観	IMEDUNIV	重要な教育：大学
1448	教育	教育観	IMEDHRU	重要な教育：高レベルの大学
1449	教育	教育観	OPEXED	教育費支出のレベル
1450	教育	教育観	OPEDMND	心の教育への意見
1451	教育	塾経験	XSJUKU	小・中学生の頃の経験：塾*
1452	教育	塾経験	XSTUTOR	小・中学生の頃の経験：家庭教師につく*
1453	教育	塾経験	XSCORR	小・中学生の頃の経験：通信教育*
1454	教育	塾経験	XSNONE	小・中学生の頃の経験：いずれもない*
1455	教育	しつけ	PPDCPL15	15歳の頃の父親のしつけ
1456	教育	しつけ	MMDCCPL15	15歳の頃の母親のしつけ
1457	教育	しつけ	LMTCCBH	子どものしつけ：行動制限
1458	教育	しつけ	RPSCCFL	子どものしつけ：気持ちへの配慮

1459	教育	しつけ	WNYOCHL	子どものしつけ：他人の子どもへの注意
1460	教育	しつけ	XS10YCDH	10年間の変化：家庭のしつけ力
1461	教育	しつけ	XS10YCDS	10年間の変化：学校のしつけ力
1462	教育	しつけ	XS10YCDC	10年間の変化：地域のしつけ力
1463	教育	しつけ	XS10YPPP	10年間の変化：父親の存在感
1464	教育	しつけ	XS10YPPM	10年間の変化：母親の存在感
1465	教育	しつけ	XS10YMSC	10年間の変化：子どもの道徳意識
1466	教育	いじめ	XSBULLY	身近な人の校内いじめの有無
1467	教育	いじめ	SUSELF	いじめの責任：本人
1468	教育	いじめ	SUBULLY	いじめの責任：いじめた生徒
1469	教育	いじめ	SUCMATE	いじめの責任：それ以外のクラスメート
1470	教育	いじめ	SUTCHER	いじめの責任：クラスの担任
1471	教育	いじめ	SUSCHL	いじめの責任：学校
1472	教育	いじめ	SUFFSLF	いじめの責任：本人の保護者
1473	教育	いじめ	SUFFBUL	いじめの責任：いじめた生徒の保護者
1474	教育	いじめ	OPCLUBT	クラブ活動への教員の立会い
1475	心の健康	相談相手	WLADFF	心の健康の相談相手：家族
1476	心の健康	相談相手	WLADFRI	心の健康の相談相手：友人・知人・恋人
1477	心の健康	相談相手	WLADDDSP	心の健康の相談相手：精神科・心療内科の医師
1478	心の健康	相談相手	WLADDD	心の健康の相談相手：その他の医師
1479	心の健康	相談相手	WLADPSY	心の健康の相談相手：心理学の専門家
1480	心の健康	相談相手	WLADRLGN	心の健康の相談相手：宗教家
1481	心の健康	相談相手	WLADOTHR	心の健康の相談相手：その他
1482	心の健康	相談相手	WLADNONE	心の健康の相談相手：誰にも相談しない
1483	心の健康	カウンセリング	XCOUNSLR	カウンセリングの受療経験（本人）
1484	心の健康	カウンセリング	WLCOUNSL	カウンセリングの受療意欲
1485	心の健康	家族カウンセリング	XCOUNSLF	カウンセリングの受療経験（家族）
1486	心の健康	カウンセリング	KWCOUNSL	カウンセリングの知識
1487	ネットワーク	調査員設問	ZTIME	B 票面接部分の所要時間
1488	ネットワーク	悩みの相談	ZINUM	悩みの相談相手：記入人数
1489	ネットワーク	悩みの相談	Z1ELSE	悩みの相談相手：記入外の人数
1490	ネットワーク	悩みの相談	Z1XXA	A 欄への記入の有無
1491	ネットワーク	悩みの相談	Z1XXB	B 欄への記入の有無
1492	ネットワーク	悩みの相談	Z1XXC	C 欄への記入の有無
1493	ネットワーク	悩みの相談	Z1XXD	D 欄への記入の有無
1494	ネットワーク	悩みの相談	Z1KNOWAB	A と B が知り合いか
1495	ネットワーク	悩みの相談	Z1KNOWAC	A と C が知り合いか
1496	ネットワーク	悩みの相談	Z1KNOWAD	A と D が知り合いか
1497	ネットワーク	悩みの相談	Z1KNOWBC	B と C が知り合いか
1498	ネットワーク	悩みの相談	Z1KNOWBD	B と D が知り合いか
1499	ネットワーク	悩みの相談	Z1KNOWCD	C と D が知り合いか
1500	ネットワーク	政治的な話題	Z2NUM	政治的な話題の相手：記入人数
1501	ネットワーク	政治的な話題	Z2ELSE	政治的な話題の相手：記入外の人数
1502	ネットワーク	政治的な話題	Z2XXE	E 欄への記入の有無
1503	ネットワーク	政治的な話題	Z2XXF	F 欄への記入の有無
1504	ネットワーク	政治的な話題	Z2XXG	G 欄への記入の有無
1505	ネットワーク	政治的な話題	Z2XXH	H 欄への記入の有無
1506	ネットワーク	政治的な話題	Z2KNOWEF	E と F が知り合いか
1507	ネットワーク	政治的な話題	Z2KNOWEG	E と G が知り合いか
1508	ネットワーク	政治的な話題	Z2KNOWEH	E と H が知り合いか
1509	ネットワーク	政治的な話題	Z2KNOWFG	F と G が知り合いか
1510	ネットワーク	政治的な話題	Z2KNOWFH	F と H が知り合いか
1511	ネットワーク	政治的な話題	Z2KNOWGH	G と H が知り合いか
1512	ネットワーク	仕事の相談	Z3NUM	仕事の相談相手：記入人数
1513	ネットワーク	仕事の相談	Z3ELSE	仕事の相談相手：記入外の人数
1514	ネットワーク	仕事の相談	Z3XXI	I 欄への記入の有無
1515	ネットワーク	仕事の相談	Z3XXJ	J 欄への記入の有無
1516	ネットワーク	仕事の相談	Z3XXK	K 欄への記入の有無
1517	ネットワーク	仕事の相談	Z3XXL	L 欄への記入の有無
1518	ネットワーク	仕事の相談	Z3KNOWIJ	I と J が知り合いか
1519	ネットワーク	仕事の相談	Z3KNOWIK	I と K が知り合いか
1520	ネットワーク	仕事の相談	Z3KNOWIL	I と L が知り合いか
1521	ネットワーク	仕事の相談	Z3KNOWJK	J と K が知り合いか
1522	ネットワーク	仕事の相談	Z3KNOWJL	J と L が知り合いか

1523	ネットワーク	仕事の相談	Z3KNOWKL	K と L が知り合いか
1524	ネットワーク	同一人物	ZSAME1	同一人物：1 番目
1525	ネットワーク	同一人物	ZSAME2	同一人物：2 番目
1526	ネットワーク	同一人物	ZSAME3	同一人物：3 番目
1527	ネットワーク	同一人物	ZSAME4	同一人物：4 番目
1528	ネットワーク	同一人物	ZSAME5	同一人物：5 番目
1529	ネットワーク	同一人物	ZSAME6	同一人物：6 番目
1530	ネットワーク	悩みの相談	ZSSA	A との間柄：配偶者
1531	ネットワーク	悩みの相談	ZSSB	B との間柄：配偶者
1532	ネットワーク	悩みの相談	ZSSC	C との間柄：配偶者
1533	ネットワーク	悩みの相談	ZSSD	D との間柄：配偶者
1534	ネットワーク	悩みの相談	ZKIN1A	A との間柄：親・子
1535	ネットワーク	悩みの相談	ZKIN1B	B との間柄：親・子
1536	ネットワーク	悩みの相談	ZKIN1C	C との間柄：親・子
1537	ネットワーク	悩みの相談	ZKIN1D	D との間柄：親・子
1538	ネットワーク	悩みの相談	ZKIN2A	A との間柄：その他の家族・親せき
1539	ネットワーク	悩みの相談	ZKIN2B	B との間柄：その他の家族・親せき
1540	ネットワーク	悩みの相談	ZKIN2C	C との間柄：その他の家族・親せき
1541	ネットワーク	悩みの相談	ZKIN2D	D との間柄：その他の家族・親せき
1542	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBRELA	A との間柄：上司・部下
1543	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBRELB	B との間柄：上司・部下
1544	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBRELC	C との間柄：上司・部下
1545	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBRELD	D との間柄：上司・部下
1546	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBCOLA	A との間柄：同僚
1547	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBCOLB	B との間柄：同僚
1548	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBCOLC	C との間柄：同僚
1549	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBCOLD	D との間柄：同僚
1550	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBETCA	A との間柄：その他の仕事関係
1551	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBETCB	B との間柄：その他の仕事関係
1552	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBETCC	C との間柄：その他の仕事関係
1553	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBETCD	D との間柄：その他の仕事関係
1554	ネットワーク	悩みの相談	ZTEAMA	A との間柄：組織・団体
1555	ネットワーク	悩みの相談	ZTEAMB	B との間柄：組織・団体
1556	ネットワーク	悩みの相談	ZTEAMC	C との間柄：組織・団体
1557	ネットワーク	悩みの相談	ZTEAMD	D との間柄：組織・団体
1558	ネットワーク	悩みの相談	ZNEIBA	A との間柄：近所の人
1559	ネットワーク	悩みの相談	ZNEIBB	B との間柄：近所の人
1560	ネットワーク	悩みの相談	ZNEIBC	C との間柄：近所の人
1561	ネットワーク	悩みの相談	ZNEIBD	D との間柄：近所の人
1562	ネットワーク	悩みの相談	ZFRIEA	A との間柄：友人
1563	ネットワーク	悩みの相談	ZFRIEB	B との間柄：友人
1564	ネットワーク	悩みの相談	ZFRIEC	C との間柄：友人
1565	ネットワーク	悩みの相談	ZFRIED	D との間柄：友人
1566	ネットワーク	悩みの相談	ZRELETCA	A との間柄：その他
1567	ネットワーク	悩みの相談	ZRELETCB	B との間柄：その他
1568	ネットワーク	悩みの相談	ZRELETCC	C との間柄：その他
1569	ネットワーク	悩みの相談	ZRELETCD	D との間柄：その他
1570	ネットワーク	悩みの相談	ZRLNOMKA	A との間柄：いずれも選択していない
1571	ネットワーク	悩みの相談	ZRLNOMKB	B との間柄：いずれも選択していない
1572	ネットワーク	悩みの相談	ZRLNOMKC	C との間柄：いずれも選択していない
1573	ネットワーク	悩みの相談	ZRLNOMKD	D との間柄：いずれも選択していない
1574	ネットワーク	悩みの相談	ZSEXA	A の性別
1575	ネットワーク	悩みの相談	ZSEXB	B の性別
1576	ネットワーク	悩みの相談	ZSEXC	C の性別
1577	ネットワーク	悩みの相談	ZSEXD	D の性別
1578	ネットワーク	悩みの相談	ZAGEA	A の年齢
1579	ネットワーク	悩みの相談	ZAGEB	B の年齢
1580	ネットワーク	悩みの相談	ZAGEC	C の年齢
1581	ネットワーク	悩みの相談	ZAGED	D の年齢
1582	ネットワーク	悩みの相談	ZKNOWYRA	A と知り合ってから年数
1583	ネットワーク	悩みの相談	ZKNOWYRB	B と知り合ってから年数
1584	ネットワーク	悩みの相談	ZKNOWYRC	C と知り合ってから年数
1585	ネットワーク	悩みの相談	ZKNOWYRD	D と知り合ってから年数
1586	ネットワーク	悩みの相談	ZFQTALKA	A と会話する頻度

1587	ネットワーク	悩みの相談	ZFQTALKB	B と会話する頻度
1588	ネットワーク	悩みの相談	ZFQTALKC	C と会話する頻度
1589	ネットワーク	悩みの相談	ZFQTALKD	D と会話する頻度
1590	ネットワーク	悩みの相談	ZLSTSCHA	A の最終学歴
1591	ネットワーク	悩みの相談	ZLSTSCHB	B の最終学歴
1592	ネットワーク	悩みの相談	ZLSTSCHC	C の最終学歴
1593	ネットワーク	悩みの相談	ZLSTSCHD	D の最終学歴
1594	ネットワーク	悩みの相談	ZTP7JOBA	A の就労地位
1595	ネットワーク	悩みの相談	ZTP7JOB	B の就労地位
1596	ネットワーク	悩みの相談	ZTP7JOB	C の就労地位
1597	ネットワーク	悩みの相談	ZTP7JOB	D の就労地位
1598	ネットワーク	悩みの相談	ZJOBA	A の職種
1599	ネットワーク	悩みの相談	ZJOB	B の職種
1600	ネットワーク	悩みの相談	ZJOB	C の職種
1601	ネットワーク	悩みの相談	ZJOB	D の職種
1602	ネットワーク	悩みの相談	ZCLOSEA	A との親密度
1603	ネットワーク	悩みの相談	ZCLOSEB	B との親密度
1604	ネットワーク	悩みの相談	ZCLOSEC	C との親密度
1605	ネットワーク	悩みの相談	ZCLOSED	D との親密度
1606	ネットワーク	悩みの相談	ZPLTALKA	A との政治的な会話
1607	ネットワーク	悩みの相談	ZPLTALKB	B との政治的な会話
1608	ネットワーク	悩みの相談	ZPLTALKC	C との政治的な会話
1609	ネットワーク	悩みの相談	ZPLTALKD	D との政治的な会話
1610	ネットワーク	悩みの相談	ZVOTE	A が投票する政党
1611	ネットワーク	悩みの相談	ZVOTE	B が投票する政党
1612	ネットワーク	悩みの相談	ZVOTE	C が投票する政党
1613	ネットワーク	悩みの相談	ZVOTE	D が投票する政党
1614	ネットワーク	悩みの相談	ZCOHOBBA	A とのコミュニケーション：共通の趣味
1615	ネットワーク	悩みの相談	ZCOHOB	B とのコミュニケーション：共通の趣味
1616	ネットワーク	悩みの相談	ZCOHOB	C とのコミュニケーション：共通の趣味
1617	ネットワーク	悩みの相談	ZCOHOB	D とのコミュニケーション：共通の趣味
1618	ネットワーク	悩みの相談	ZCOUTGA	A とのコミュニケーション：いっしょに外出
1619	ネットワーク	悩みの相談	ZCOUTGB	B とのコミュニケーション：いっしょに外出
1620	ネットワーク	悩みの相談	ZCOUTGC	C とのコミュニケーション：いっしょに外出
1621	ネットワーク	悩みの相談	ZCOUTGD	D とのコミュニケーション：いっしょに外出
1622	ネットワーク	悩みの相談	ZCOMONYA	A とのコミュニケーション：お金を借りられる
1623	ネットワーク	悩みの相談	ZCOMONYB	B とのコミュニケーション：お金を借りられる
1624	ネットワーク	悩みの相談	ZCOMONYC	C とのコミュニケーション：お金を借りられる
1625	ネットワーク	悩みの相談	ZCOMONYD	D とのコミュニケーション：お金を借りられる
1626	ネットワーク	悩みの相談	ZCONOMKA	A とのコミュニケーション：いずれも選択していない
1627	ネットワーク	悩みの相談	ZCONOMKB	B とのコミュニケーション：いずれも選択していない
1628	ネットワーク	悩みの相談	ZCONOMKC	C とのコミュニケーション：いずれも選択していない
1629	ネットワーク	悩みの相談	ZCONOMKD	D とのコミュニケーション：いずれも選択していない
1630	ネットワーク	政治的な話題	ZSSE	E との間柄：配偶者
1631	ネットワーク	政治的な話題	ZSSF	F との間柄：配偶者
1632	ネットワーク	政治的な話題	ZSSG	G との間柄：配偶者
1633	ネットワーク	政治的な話題	ZSSH	H との間柄：配偶者
1634	ネットワーク	政治的な話題	ZKIN1E	E との間柄：親・子
1635	ネットワーク	政治的な話題	ZKIN1F	F との間柄：親・子
1636	ネットワーク	政治的な話題	ZKIN1G	G との間柄：親・子
1637	ネットワーク	政治的な話題	ZKIN1H	H との間柄：親・子
1638	ネットワーク	政治的な話題	ZKIN2E	E との間柄：その他の家族・親せき
1639	ネットワーク	政治的な話題	ZKIN2F	F との間柄：その他の家族・親せき
1640	ネットワーク	政治的な話題	ZKIN2G	G との間柄：その他の家族・親せき
1641	ネットワーク	政治的な話題	ZKIN2H	H との間柄：その他の家族・親せき
1642	ネットワーク	政治的な話題	ZJOBRELE	E との間柄：上司・部下
1643	ネットワーク	政治的な話題	ZJOBRELF	F との間柄：上司・部下
1644	ネットワーク	政治的な話題	ZJOBRELG	G との間柄：上司・部下
1645	ネットワーク	政治的な話題	ZJOBRELH	H との間柄：上司・部下
1646	ネットワーク	政治的な話題	ZJOB	E との間柄：同僚
1647	ネットワーク	政治的な話題	ZJOB	F との間柄：同僚
1648	ネットワーク	政治的な話題	ZJOB	G との間柄：同僚
1649	ネットワーク	政治的な話題	ZJOB	H との間柄：同僚
1650	ネットワーク	政治的な話題	ZJOBETCE	E との間柄：その他の仕事関係



1651	ネットワーク	政治的な話題	ZJOBETCF	Fとの間柄：その他の仕事関係
1652	ネットワーク	政治的な話題	ZJOBETCG	Gとの間柄：その他の仕事関係
1653	ネットワーク	政治的な話題	ZJOBETCH	Hとの間柄：その他の仕事関係
1654	ネットワーク	政治的な話題	ZTEAME	Eとの間柄：組織・団体
1655	ネットワーク	政治的な話題	ZTEAMF	Fとの間柄：組織・団体
1656	ネットワーク	政治的な話題	ZTEAMG	Gとの間柄：組織・団体
1657	ネットワーク	政治的な話題	ZTEAMH	Hとの間柄：組織・団体
1658	ネットワーク	政治的な話題	ZNEIBE	Eとの間柄：近所の人
1659	ネットワーク	政治的な話題	ZNEIBF	Fとの間柄：近所の人
1660	ネットワーク	政治的な話題	ZNEIBG	Gとの間柄：近所の人
1661	ネットワーク	政治的な話題	ZNEIBH	Hとの間柄：近所の人
1662	ネットワーク	政治的な話題	ZFRIEE	Eとの間柄：友人
1663	ネットワーク	政治的な話題	ZFRIEF	Fとの間柄：友人
1664	ネットワーク	政治的な話題	ZFRIEG	Gとの間柄：友人
1665	ネットワーク	政治的な話題	ZFRIEH	Hとの間柄：友人
1666	ネットワーク	政治的な話題	ZRELETCE	Eとの間柄：その他
1667	ネットワーク	政治的な話題	ZRELETCF	Fとの間柄：その他
1668	ネットワーク	政治的な話題	ZRELETCH	Gとの間柄：その他
1669	ネットワーク	政治的な話題	ZRELETCH	Hとの間柄：その他
1670	ネットワーク	政治的な話題	ZRLNOMKE	Eとの間柄：いずれも選択していない
1671	ネットワーク	政治的な話題	ZRLNOMKF	Fとの間柄：いずれも選択していない
1672	ネットワーク	政治的な話題	ZRLNOMKG	Gとの間柄：いずれも選択していない
1673	ネットワーク	政治的な話題	ZRLNOMKH	Hとの間柄：いずれも選択していない
1674	ネットワーク	政治的な話題	ZSEXE	Eの性別
1675	ネットワーク	政治的な話題	ZSEXF	Fの性別
1676	ネットワーク	政治的な話題	ZSEXG	Gの性別
1677	ネットワーク	政治的な話題	ZSEXH	Hの性別
1678	ネットワーク	政治的な話題	ZAGEE	Eの年齢
1679	ネットワーク	政治的な話題	ZAGEF	Fの年齢
1680	ネットワーク	政治的な話題	ZAGEG	Gの年齢
1681	ネットワーク	政治的な話題	ZAGEH	Hの年齢
1682	ネットワーク	政治的な話題	ZKNOWYRE	Eと知り合ってから年数
1683	ネットワーク	政治的な話題	ZKNOWYRF	Fと知り合ってから年数
1684	ネットワーク	政治的な話題	ZKNOWYRG	Gと知り合ってから年数
1685	ネットワーク	政治的な話題	ZKNOWYRH	Hと知り合ってから年数
1686	ネットワーク	政治的な話題	ZFQTALKE	Eと会話する頻度
1687	ネットワーク	政治的な話題	ZFQTALKF	Fと会話する頻度
1688	ネットワーク	政治的な話題	ZFQTALKG	Gと会話する頻度
1689	ネットワーク	政治的な話題	ZFQTALKH	Hと会話する頻度
1690	ネットワーク	政治的な話題	ZLSTSCHE	Eの最終学歴
1691	ネットワーク	政治的な話題	ZLSTSCHF	Fの最終学歴
1692	ネットワーク	政治的な話題	ZLSTSCHG	Gの最終学歴
1693	ネットワーク	政治的な話題	ZLSTSCHH	Hの最終学歴
1694	ネットワーク	政治的な話題	ZTP7JOB	Eの就労地位
1695	ネットワーク	政治的な話題	ZTP7JOB	Fの就労地位
1696	ネットワーク	政治的な話題	ZTP7JOB	Gの就労地位
1697	ネットワーク	政治的な話題	ZTP7JOB	Hの就労地位
1698	ネットワーク	政治的な話題	ZJOB	Eの職種
1699	ネットワーク	政治的な話題	ZJOB	Fの職種
1700	ネットワーク	政治的な話題	ZJOB	Gの職種
1701	ネットワーク	政治的な話題	ZJOB	Hの職種
1702	ネットワーク	政治的な話題	ZCLOSEE	Eとの親密度
1703	ネットワーク	政治的な話題	ZCLOSEF	Fとの親密度
1704	ネットワーク	政治的な話題	ZCLOSEG	Gとの親密度
1705	ネットワーク	政治的な話題	ZCLOSEH	Hとの親密度
1706	ネットワーク	政治的な話題	ZPLTALKE	Eとの政治的な会話
1707	ネットワーク	政治的な話題	ZPLTALKF	Fとの政治的な会話
1708	ネットワーク	政治的な話題	ZPLTALKG	Gとの政治的な会話
1709	ネットワーク	政治的な話題	ZPLTALKH	Hとの政治的な会話
1710	ネットワーク	政治的な話題	ZVOTEE	Eが投票する政党
1711	ネットワーク	政治的な話題	ZVOTEF	Fが投票する政党
1712	ネットワーク	政治的な話題	ZVOTEG	Gが投票する政党
1713	ネットワーク	政治的な話題	ZVOTEH	Hが投票する政党
1714	ネットワーク	政治的な話題	ZCOHOBBE	Eとのコミュニケーション：共通の趣味

1715	ネットワーク	政治的な話題	ZCOHOBFB	F とのコミュニケーション：共通の趣味
1716	ネットワーク	政治的な話題	ZCOHOBGB	G とのコミュニケーション：共通の趣味
1717	ネットワーク	政治的な話題	ZCOHOBHH	H とのコミュニケーション：共通の趣味
1718	ネットワーク	政治的な話題	ZCOUTGE	E とのコミュニケーション：いっしょに外出
1719	ネットワーク	政治的な話題	ZCOUTGF	F とのコミュニケーション：いっしょに外出
1720	ネットワーク	政治的な話題	ZCOUTGG	G とのコミュニケーション：いっしょに外出
1721	ネットワーク	政治的な話題	ZCOUTGH	H とのコミュニケーション：いっしょに外出
1722	ネットワーク	政治的な話題	ZCOMONYE	E とのコミュニケーション：お金を借りられる
1723	ネットワーク	政治的な話題	ZCOMONYF	F とのコミュニケーション：お金を借りられる
1724	ネットワーク	政治的な話題	ZCOMONYG	G とのコミュニケーション：お金を借りられる
1725	ネットワーク	政治的な話題	ZCOMONYH	H とのコミュニケーション：お金を借りられる
1726	ネットワーク	政治的な話題	ZCONOMKE	E とのコミュニケーション：いずれも選択していない
1727	ネットワーク	政治的な話題	ZCONOMKF	F とのコミュニケーション：いずれも選択していない
1728	ネットワーク	政治的な話題	ZCONOMKG	G とのコミュニケーション：いずれも選択していない
1729	ネットワーク	政治的な話題	ZCONOMKH	H とのコミュニケーション：いずれも選択していない
1730	ネットワーク	仕事の相談	ZSSI	I との間柄：配偶者
1731	ネットワーク	仕事の相談	ZSSJ	J との間柄：配偶者
1732	ネットワーク	仕事の相談	ZSSK	K との間柄：配偶者
1733	ネットワーク	仕事の相談	ZSSL	L との間柄：配偶者
1734	ネットワーク	仕事の相談	ZKIN1I	I との間柄：親・子
1735	ネットワーク	仕事の相談	ZKIN1J	J との間柄：親・子
1736	ネットワーク	仕事の相談	ZKIN1K	K との間柄：親・子
1737	ネットワーク	仕事の相談	ZKIN1L	L との間柄：親・子
1738	ネットワーク	仕事の相談	ZKIN2I	I との間柄：その他の家族・親せき
1739	ネットワーク	仕事の相談	ZKIN2J	J との間柄：その他の家族・親せき
1740	ネットワーク	仕事の相談	ZKIN2K	K との間柄：その他の家族・親せき
1741	ネットワーク	仕事の相談	ZKIN2L	L との間柄：その他の家族・親せき
1742	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBRELI	I との間柄：上司・部下
1743	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBRELJ	J との間柄：上司・部下
1744	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBRELK	K との間柄：上司・部下
1745	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBRELL	L との間柄：上司・部下
1746	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBCOLI	I との間柄：同僚
1747	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBCOLJ	J との間柄：同僚
1748	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBCOLK	K との間柄：同僚
1749	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBCOLL	L との間柄：同僚
1750	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBETCI	I との間柄：その他の仕事関係
1751	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBETCJ	J との間柄：その他の仕事関係
1752	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBETCK	K との間柄：その他の仕事関係
1753	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBETCL	L との間柄：その他の仕事関係
1754	ネットワーク	仕事の相談	ZTEAMI	I との間柄：組織・団体
1755	ネットワーク	仕事の相談	ZTEAMJ	J との間柄：組織・団体
1756	ネットワーク	仕事の相談	ZTEAMK	K との間柄：組織・団体
1757	ネットワーク	仕事の相談	ZTEAML	L との間柄：組織・団体
1758	ネットワーク	仕事の相談	ZNEIBI	I との間柄：近所の人
1759	ネットワーク	仕事の相談	ZNEIBJ	J との間柄：近所の人
1760	ネットワーク	仕事の相談	ZNEIBK	K との間柄：近所の人
1761	ネットワーク	仕事の相談	ZNEIBL	L との間柄：近所の人
1762	ネットワーク	仕事の相談	ZFRIEI	I との間柄：友人
1763	ネットワーク	仕事の相談	ZFRIEJ	J との間柄：友人
1764	ネットワーク	仕事の相談	ZFRIEK	K との間柄：友人
1765	ネットワーク	仕事の相談	ZFRIEL	L との間柄：友人
1766	ネットワーク	仕事の相談	ZRELETCI	I との間柄：その他
1767	ネットワーク	仕事の相談	ZRELETCJ	J との間柄：その他
1768	ネットワーク	仕事の相談	ZRELETCCK	K との間柄：その他
1769	ネットワーク	仕事の相談	ZRELETCCL	L との間柄：その他
1770	ネットワーク	仕事の相談	ZRLNOMKI	I との間柄：いずれも選択していない
1771	ネットワーク	仕事の相談	ZRLNOMKJ	J との間柄：いずれも選択していない
1772	ネットワーク	仕事の相談	ZRLNOMKK	K との間柄：いずれも選択していない
1773	ネットワーク	仕事の相談	ZRLNOMKL	L との間柄：いずれも選択していない
1774	ネットワーク	仕事の相談	ZSEXI	I の性別
1775	ネットワーク	仕事の相談	ZSEXJ	J の性別
1776	ネットワーク	仕事の相談	ZSEXK	K の性別
1777	ネットワーク	仕事の相談	ZSEXL	L の性別
1778	ネットワーク	仕事の相談	ZAGEI	I の年齢

1779	ネットワーク	仕事の相談	ZAGEJ	Jの年齢
1780	ネットワーク	仕事の相談	ZAGEK	Kの年齢
1781	ネットワーク	仕事の相談	ZAGEL	Lの年齢
1782	ネットワーク	仕事の相談	ZKNOWYRI	Iと知り合ってから年数
1783	ネットワーク	仕事の相談	ZKNOWYRJ	Jと知り合ってから年数
1784	ネットワーク	仕事の相談	ZKNOWYRK	Kと知り合ってから年数
1785	ネットワーク	仕事の相談	ZKNOWYRL	Lと知り合ってから年数
1786	ネットワーク	仕事の相談	ZFQTALKI	Iと会話する頻度
1787	ネットワーク	仕事の相談	ZFQTALKJ	Jと会話する頻度
1788	ネットワーク	仕事の相談	ZFQTALKK	Kと会話する頻度
1789	ネットワーク	仕事の相談	ZFQTALKL	Lと会話する頻度
1790	ネットワーク	仕事の相談	ZLSTSCHI	Iの最終学歴
1791	ネットワーク	仕事の相談	ZLSTSCHJ	Jの最終学歴
1792	ネットワーク	仕事の相談	ZLSTSCHK	Kの最終学歴
1793	ネットワーク	仕事の相談	ZLSTSCHL	Lの最終学歴
1794	ネットワーク	仕事の相談	ZTP7JOBI	Iの就労地位
1795	ネットワーク	仕事の相談	ZTP7JOBJ	Jの就労地位
1796	ネットワーク	仕事の相談	ZTP7JOBK	Kの就労地位
1797	ネットワーク	仕事の相談	ZTP7JOBL	Lの就労地位
1798	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBI	Iの職種
1799	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBJ	Jの職種
1800	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBK	Kの職種
1801	ネットワーク	仕事の相談	ZJOBL	Lの職種
1802	ネットワーク	仕事の相談	ZCLOSEI	Iとの親密度
1803	ネットワーク	仕事の相談	ZCLOSEJ	Jとの親密度
1804	ネットワーク	仕事の相談	ZCLOSEK	Kとの親密度
1805	ネットワーク	仕事の相談	ZCLOSEL	Lとの親密度
1806	ネットワーク	仕事の相談	ZPLTALKI	Iとの政治的な会話
1807	ネットワーク	仕事の相談	ZPLTALKJ	Jとの政治的な会話
1808	ネットワーク	仕事の相談	ZPLTALKK	Kとの政治的な会話
1809	ネットワーク	仕事の相談	ZPLTALKL	Lとの政治的な会話
1810	ネットワーク	仕事の相談	ZVOTEI	Iが投票する政党
1811	ネットワーク	仕事の相談	ZVOTEJ	Jが投票する政党
1812	ネットワーク	仕事の相談	ZVOTEK	Kが投票する政党
1813	ネットワーク	仕事の相談	ZVOTEL	Lが投票する政党
1814	ネットワーク	仕事の相談	ZCOHOBI	Iとのコミュニケーション：共通の趣味
1815	ネットワーク	仕事の相談	ZCOHOBJ	Jとのコミュニケーション：共通の趣味
1816	ネットワーク	仕事の相談	ZCOHOBK	Kとのコミュニケーション：共通の趣味
1817	ネットワーク	仕事の相談	ZCOHOBL	Lとのコミュニケーション：共通の趣味
1818	ネットワーク	仕事の相談	ZCOUTGI	Iとのコミュニケーション：いっしょに外出
1819	ネットワーク	仕事の相談	ZCOUTGJ	Jとのコミュニケーション：いっしょに外出
1820	ネットワーク	仕事の相談	ZCOUTGK	Kとのコミュニケーション：いっしょに外出
1821	ネットワーク	仕事の相談	ZCOUTGL	Lとのコミュニケーション：いっしょに外出
1822	ネットワーク	仕事の相談	ZCOMONYI	Iとのコミュニケーション：お金を借りられる
1823	ネットワーク	仕事の相談	ZCOMONYJ	Jとのコミュニケーション：お金を借りられる
1824	ネットワーク	仕事の相談	ZCOMONYK	Kとのコミュニケーション：お金を借りられる
1825	ネットワーク	仕事の相談	ZCOMONYL	Lとのコミュニケーション：お金を借りられる
1826	ネットワーク	仕事の相談	ZCONOMKI	Iとのコミュニケーション：いずれも選択していない
1827	ネットワーク	仕事の相談	ZCONOMKJ	Jとのコミュニケーション：いずれも選択していない
1828	ネットワーク	仕事の相談	ZCONOMKK	Kとのコミュニケーション：いずれも選択していない
1829	ネットワーク	仕事の相談	ZCONOMKL	Lとのコミュニケーション：いずれも選択していない
1830	ネットワーク	知り合い	ZKJICHIM	知り合い：町内会の役員：男性
1831	ネットワーク	知り合い	ZKJICHIF	知り合い：町内会の役員：女性
1832	ネットワーク	知り合い	ZKJICHIN	知り合い：町内会の役員：いない
1833	ネットワーク	知り合い	ZKJICHIX	知り合い：町内会の役員：いずれも選択していない
1834	ネットワーク	知り合い	ZKVOLM	知り合い：市民運動団体の役員：男性
1835	ネットワーク	知り合い	ZKVOLF	知り合い：市民運動団体の役員：女性
1836	ネットワーク	知り合い	ZKVOLN	知り合い：市民運動団体の役員：いない
1837	ネットワーク	知り合い	ZKVOLX	知り合い：市民運動団体の役員：いずれも選択していない
1838	ネットワーク	知り合い	ZKTRDEM	知り合い：同業組合の役員：男性
1839	ネットワーク	知り合い	ZKTRDEF	知り合い：同業組合の役員：女性
1840	ネットワーク	知り合い	ZKTRDEN	知り合い：同業組合の役員：いない
1841	ネットワーク	知り合い	ZKTRDEX	知り合い：同業組合の役員：いずれも選択していない
1842	ネットワーク	知り合い	ZKUNIM	知り合い：労働組合の役員：男性

1843	ネットワーク	知り合い	ZKUNIF	知り合い：労働組合の役員：女性
1844	ネットワーク	知り合い	ZKUNIN	知り合い：労働組合の役員：いない
1845	ネットワーク	知り合い	ZKUNIX	知り合い：労働組合の役員：いずれも選択していない
1846	ネットワーク	知り合い	ZKTOWNM	知り合い：役所（市区町村）の役職者：男性
1847	ネットワーク	知り合い	ZKTOWNF	知り合い：役所（市区町村）の役職者：女性
1848	ネットワーク	知り合い	ZKTOWNN	知り合い：役所（市区町村）の役職者：いない
1849	ネットワーク	知り合い	ZKTOWNX	知り合い：役所（市区町村）の役職者：いずれも選択していない
1850	ネットワーク	知り合い	ZKPREFM	知り合い：県庁の役職者：男性
1851	ネットワーク	知り合い	ZKPREFF	知り合い：県庁の役職者：女性
1852	ネットワーク	知り合い	ZKPREFN	知り合い：県庁の役職者：いない
1853	ネットワーク	知り合い	ZKPREFX	知り合い：県庁の役職者：いずれも選択していない
1854	ネットワーク	知り合い	ZKGVMTM	知り合い：中央官庁の役職者：男性
1855	ネットワーク	知り合い	ZKGVMTF	知り合い：中央官庁の役職者：女性
1856	ネットワーク	知り合い	ZKGVMTN	知り合い：中央官庁の役職者：いない
1857	ネットワーク	知り合い	ZKGVMTX	知り合い：中央官庁の役職者：いずれも選択していない
1858	ネットワーク	知り合い	ZKMAYRM	知り合い：市区町村の首長：男性
1859	ネットワーク	知り合い	ZKMAYRF	知り合い：市区町村の首長：女性
1860	ネットワーク	知り合い	ZKMAYRN	知り合い：市区町村の首長：いない
1861	ネットワーク	知り合い	ZKMAYRX	知り合い：市区町村の首長：いずれも選択していない
1862	ネットワーク	知り合い	ZKLOCALM	知り合い：地方議会議員：男性
1863	ネットワーク	知り合い	ZKLOCALF	知り合い：地方議会議員：女性
1864	ネットワーク	知り合い	ZKLOCALN	知り合い：地方議会議員：いない
1865	ネットワーク	知り合い	ZKLOCALX	知り合い：地方議会議員：いずれも選択していない
1866	ネットワーク	知り合い	ZKDIETM	知り合い：国会議員：男性
1867	ネットワーク	知り合い	ZKDIETF	知り合い：国会議員：女性
1868	ネットワーク	知り合い	ZKDIETN	知り合い：国会議員：いない
1869	ネットワーク	知り合い	ZKDIETX	知り合い：国会議員：いずれも選択していない
1870	ネットワーク	知り合い	ZKSECRM	知り合い：政治家の後援会の世話役：男性
1871	ネットワーク	知り合い	ZKSECRF	知り合い：政治家の後援会の世話役：女性
1872	ネットワーク	知り合い	ZKSECRN	知り合い：政治家の後援会の世話役：いない
1873	ネットワーク	知り合い	ZKSECRX	知り合い：政治家の後援会の世話役：いずれも選択していない
1874	ネットワーク	知り合い	ZKMEDIAM	知り合い：マスコミ関係者：男性
1875	ネットワーク	知り合い	ZKMEDIAF	知り合い：マスコミ関係者：女性
1876	ネットワーク	知り合い	ZKMEDIAN	知り合い：マスコミ関係者：いない
1877	ネットワーク	知り合い	ZKMEDIAX	知り合い：マスコミ関係者：いずれも選択していない
1878	ネットワーク	知り合い	ZKDOCM	知り合い：医師：男性
1879	ネットワーク	知り合い	ZKDOCF	知り合い：医師：女性
1880	ネットワーク	知り合い	ZKDOCN	知り合い：医師：いない
1881	ネットワーク	知り合い	ZKDOCX	知り合い：医師：いずれも選択していない
1882	ネットワーク	知り合い	ZKSMALLM	知り合い：中小企業経営者：男性
1883	ネットワーク	知り合い	ZKSMALLF	知り合い：中小企業経営者：女性
1884	ネットワーク	知り合い	ZKSMALLN	知り合い：中小企業経営者：いない
1885	ネットワーク	知り合い	ZKSMALLX	知り合い：中小企業経営者：いずれも選択していない
1886	ネットワーク	知り合い	ZKINSM	知り合い：保険の勧誘員：男性
1887	ネットワーク	知り合い	ZKINSF	知り合い：保険の勧誘員：女性
1888	ネットワーク	知り合い	ZKINSN	知り合い：保険の勧誘員：いない
1889	ネットワーク	知り合い	ZKINSX	知り合い：保険の勧誘員：いずれも選択していない
1890	ネットワーク	知り合い	ZKBANKM	知り合い：銀行員：男性
1891	ネットワーク	知り合い	ZKBANKF	知り合い：銀行員：女性
1892	ネットワーク	知り合い	ZKBANKN	知り合い：銀行員：いない
1893	ネットワーク	知り合い	ZKBANKX	知り合い：銀行員：いずれも選択していない
1894	ネットワーク	知り合い	ZKFCTRYM	知り合い：工場作業員：男性
1895	ネットワーク	知り合い	ZKFCTRYF	知り合い：工場作業員：女性
1896	ネットワーク	知り合い	ZKFCTRYN	知り合い：工場作業員：いない
1897	ネットワーク	知り合い	ZKFCTRYX	知り合い：工場作業員：いずれも選択していない
1898	ネットワーク	知り合い	ZKCOMP M	知り合い：情報技術者：男性
1899	ネットワーク	知り合い	ZKCOMP F	知り合い：情報技術者：女性
1900	ネットワーク	知り合い	ZKCOMP N	知り合い：情報技術者：いない
1901	ネットワーク	知り合い	ZKCOMP X	知り合い：情報技術者：いずれも選択していない
1902	家族モジュール	介護	XC2SS	介護の相手（本人）：配偶者
1903	家族モジュール	介護	XC2PM	介護の相手（本人）：回答者の親
1904	家族モジュール	介護	XC2SSPM	介護の相手（本人）：配偶者の親

1905	家族モジュール	介護	XC2OTHR	介護の相手(本人):その他
1906	家族モジュール	政策	OP5SRWFE	国か家族か:高齢者の生活保障(EASS尺度)
1907	家族モジュール	政策	OP5SRMDE	国か家族か:高齢者の医療・介護(EASS尺度)
1908	家族モジュール	政策	OP5CCEDF	国か家族か:子どもの教育費(EASS尺度)
1909	家族モジュール	政策	OP5CCREE	国か家族か:保育・育児(EASS尺度)
1910	家族モジュール	家族観	APPCCSX	希望する子どもの性別(EASS尺度)
1911	家族モジュール	家族観	OPISMM	世代間援助への意見:既婚男性から自分の親
1912	家族モジュール	家族観	OPISMW	世代間援助への意見:既婚女性から自分の親
1913	家族モジュール	家族観	OPISUM	世代間援助への意見:未婚男性から自分の親
1914	家族モジュール	家族観	OPISUW	世代間援助への意見:未婚女性から自分の親
1915	家族モジュール	家族観	OPISMMSS	世代間援助への意見:既婚男性から妻の親
1916	家族モジュール	家族観	OPISMWSS	世代間援助への意見:既婚女性から夫の親
1917	家族モジュール	家族観	OPPCARE	老親の世話の責任
1918	家族モジュール	家族観	Q7FFAUTH	家系継承規範:父親の権威を尊重*
1919	家族モジュール	家族観	Q7FFHNR	家系継承規範:子どもは親の誇りに
1920	家族モジュール	家族観	Q7FFMAN	家系継承規範:長男が多く相続
1921	家族モジュール	家族観	Q7FFCARE	家系継承規範:親の世話をした子が多く相続
1922	家族モジュール	家族観	Q7FFNDMN	家系継承規範:息子が必要
1923	家族モジュール	家族観	Q7FFGRV	家系継承規範:墓を守る
1924	家族モジュール	家族観	Q7PRMAN	家優先規範:妻より夫の親族を優先
1925	家族モジュール	家族観	Q7PRFF	家優先規範:自分より家族を優先
1926	家族モジュール	親・義親	PMDTH	両親の存否
1927	家族モジュール	世代間援助	HLPE2PM	世代間の経済的援助:回答者から両親
1928	家族モジュール	世代間援助	HLPP2PM	世代間の実践的援助:回答者から両親
1929	家族モジュール	世代間援助	HLPEFPM	世代間の経済的援助:両親から回答者
1930	家族モジュール	世代間援助	HLPPFPM	世代間の実践的援助:両親から回答者
1931	家族モジュール	親健康状態	PPHLTH	父親:健康状態
1932	家族モジュール	親健康状態	MMHLTH	母親:健康状態
1933	家族モジュール	家族観	Q7MGOLD	結婚規範:夫は年上
1934	家族モジュール	家族観	Q7MGCC	結婚規範:子どもをもつ必要
1935	家族モジュール	家族観	Q7MGMNHP	結婚規範:男性の結婚は幸福
1936	家族モジュール	家族観	Q7MGWNHP	結婚規範:女性の結婚は幸福
1937	家族モジュール	家族観	Q7MGCOH	結婚規範:同棲はかまわない
1938	家族モジュール	家族観	Q7MGDVCC	結婚規範:離婚は子が育つまで待つ
1939	家族モジュール	家族観	Q7MGDVGD	結婚規範:離婚はよい手段
1940	家族モジュール	ジェンダー	Q7WWHPHH	性別規範:妻は夫の手助け
1941	家族モジュール	ジェンダー	Q7WWHHX	性別規範:性別役割分担*
1942	家族モジュール	ジェンダー	Q7WWMNCK	性別規範:男性の家事
1943	家族モジュール	ジェンダー	Q7WWLOFF	性別規範:女性を先に解雇
1944	家族モジュール	家族観	OPDVCNT	離婚後の子どもへの意見:両親と接触
1945	家族モジュール	家族観	OPDVSTEP	離婚後の子どもへの意見:連れ子
1946	家族モジュール	家族観	OPDVSG	離婚後の子どもへの意見:ひとり親
1947	家族モジュール	家族行動	FQFFDNRE	家族そろった夕食の頻度(EASS尺度)
1948	家族モジュール	家族行動	FQFFLSR	家族一緒にレジャー活動の頻度
1949	家族モジュール	家族行動	FQFDOUT	食産業の利用頻度:外食
1950	家族モジュール	家族行動	FQFDBOX	食産業の利用頻度:弁当
1951	家族モジュール	家族行動	FQFDFRZN	食産業の利用頻度:惣菜・冷凍食品
1952	家族モジュール	婚姻	NUMMARRY	結婚の回数
1953	家族モジュール	婚姻	AGE2MG	結婚した年齢:2回目
1954	家族モジュール	婚姻	AGE3MG	結婚した年齢:3回目
1955	家族モジュール	婚姻	AGE4MG	結婚した年齢:4回目
1956	家族モジュール	婚姻	DOMARRYZ	結婚状況(留置B票のみ)
1957	家族モジュール	配偶者健康状態	SS5HLTHE	健康状態(配偶者)(EASS尺度)
1958	家族モジュール	配偶者介護	SSC2R	介護の相手(配偶者):回答者
1959	家族モジュール	配偶者介護	SSC2PM	介護の相手(配偶者):回答者の親
1960	家族モジュール	配偶者介護	SSC2SSPM	介護の相手(配偶者):配偶者の親
1961	家族モジュール	配偶者介護	SSC2OTHR	介護の相手(配偶者):その他
1962	家族モジュール	夫婦関係	SSTRLSTN	配偶者との情緒的關係:配偶者が悩みを聞く
1963	家族モジュール	夫婦関係	SSTRSPK	配偶者との情緒的關係:あなたが悩みを聞く
1964	家族モジュール	意思決定	DMCCED	家庭内の意思決定者:子どもの教育
1965	家族モジュール	意思決定	DMPSPPT	家庭内の意思決定者:親の世話
1966	家族モジュール	意思決定	DMEXP	家庭内の意思決定者:家計の管理
1967	家族モジュール	意思決定	DMHIEXP	家庭内の意思決定者:高価な品物の購入
1968	家族モジュール	親・義親	PMLDTH	義親の存否

1969	家族モジュール	世代間援助	HLPE2PML	世代間の経済的援助：回答者から義親
1970	家族モジュール	世代間援助	HLPP2PML	世代間の実践的援助：回答者から義親
1971	家族モジュール	世代間援助	HLPEFPML	世代間の経済的援助：義親から回答者
1972	家族モジュール	世代間援助	HLPPFPML	世代間の実践的援助：義親から回答者
1973	家族モジュール	義親健康状態	PPLHLTH	義父：健康状態
1974	家族モジュール	義親健康状態	MMLHLTH	義母：健康状態
1975	家族モジュール	結婚満足度	STMGLF	生活満足度：結婚生活
1976	家族モジュール	婚姻	FSTMTSS	配偶者との出会いのきっかけ
1977	家族モジュール	婚姻	WHOINTSS	配偶者の紹介者
1978	家族モジュール	婚姻	WHRMTSS	配偶者と出会った場所
1979	家族モジュール	婚姻	XSSRMG	配偶者の初婚・再婚
1980	家族モジュール	婚姻	INFLPMMG	結婚の決定への親の影響力
1981	家族モジュール	婚姻	HLPMPGPM	結婚時の親からの援助
1982	家族モジュール	婚姻	HLPMPGML	結婚時の義親からの援助
1983	家族モジュール	子ども	XCC18	18歳以上の子どもの有無
1984	家族モジュール	子ども	CC18CNT	もっとも接している18歳以上の子ども
1985	家族モジュール	子ども	LVTGCC18	子どもとの同居
1986	家族モジュール	世代間援助	HLPE2CC	世代間の経済的援助：回答者から子ども
1987	家族モジュール	世代間援助	HLPP2CC	世代間の実践的援助：回答者から子ども
1988	家族モジュール	世代間援助	HLPEFCC	世代間の経済的援助：子どもから回答者
1989	家族モジュール	世代間援助	HLPPFCC	世代間の実践的援助：子どもから回答者
1990	文化モジュール	異文化交流	CLTEXJA	文化交流：日本のアニメ
1991	文化モジュール	異文化交流	CLTEXCM	文化交流：中国の映画
1992	文化モジュール	異文化交流	CLTEXKD	文化交流：韓国のドラマ
1993	文化モジュール	慣習	FRTNCN	子どもの姓名判断の経験
1994	文化モジュール	慣習	AUSDYSP	特別な日の縁起
1995	文化モジュール	友人	IMPQTHS	重視する友人の特長：正直である
1996	文化モジュール	友人	IMPQTRSP	重視する友人の特長：責任感がある
1997	文化モジュール	友人	IMPQTITG	重視する友人の特長：頭がよい
1998	文化モジュール	友人	IMPQTCLT	重視する友人の特長：教養がある
1999	文化モジュール	友人	IMPQTPWF	重視する友人の特長：権力がある
2000	文化モジュール	友人	IMPQTWLT	重視する友人の特長：裕福である
2001	文化モジュール	友人	IMPQTLYL	重視する友人の特長：忠実である
2002	文化モジュール	友人	IMPQTWRM	重視する友人の特長：思いやりがある
2003	文化モジュール	価値観	Q7FLWMJ	意見への賛否：多数派の意見には従う
2004	文化モジュール	価値観	Q7EXPCMP	意見への賛否：不満があっても口に出さない
2005	文化モジュール	価値観	Q7HIRE	意見への賛否：人を雇う時には親族や友人を採用
2006	文化モジュール	価値観	Q7SMTWN	意見への賛否：同郷の人が活躍すると誇らしい
2007	文化モジュール	価値観	Q7SBORD	意見への賛否：部下は上司の指示に従う
2008	文化モジュール	価値観	Q7CPLDR	意見への賛否：リーダーにはすべての決定を委ねる
2009	文化モジュール	価値観	Q7RSKLF	意見への賛否：平凡な人生よりも不安定だが可能性に満ちた人生
2010	文化モジュール	価値観	Q7CPINV	意見への賛否：余分なお金は投資
2011	文化モジュール	地域	EMCLTWN	地域への愛着：今住んでいる都市や町
2012	文化モジュール	地域	EMCLJPN	地域への愛着：日本
2013	文化モジュール	地域	EMCLSA	地域への愛着：東アジア
2014	文化モジュール	音楽	MSPRFCL	好きな音楽：クラシック音楽
2015	文化モジュール	音楽	MSPRFRC	好きな音楽：ロック
2016	文化モジュール	音楽	MSPRFJZ	好きな音楽：ジャズ・ブルース
2017	文化モジュール	音楽	MSPRFPOP	好きな音楽：ポピュラー音楽
2018	文化モジュール	音楽	MSPRFENK	好きな音楽：演歌
2019	文化モジュール	性風俗	NUMSXENT	外国で性風俗の娯楽を経験した知人の数
2020	文化モジュール	性風俗	SXENTEA	性風俗の娯楽を経験した地域：東アジア
2021	文化モジュール	性風俗	SXENTSA	性風俗の娯楽を経験した地域：東南アジア
2022	文化モジュール	性風俗	SXENTEP	性風俗の娯楽を経験した地域：ヨーロッパ
2023	文化モジュール	性風俗	SXENTNA	性風俗の娯楽を経験した地域：北アメリカ
2024	文化モジュール	性風俗	SXENTOT	性風俗の娯楽を経験した地域：その他
2025	文化モジュール	性風俗	SXENTDK	性風俗の娯楽を経験した地域：わからない
2026	文化モジュール	異文化への関心	FQCNVII	国際問題を話す頻度
2027	文化モジュール	異文化への関心	SRCINNP	海外ニュースを知るメディア：新聞
2028	文化モジュール	異文化への関心	SRCINRD	海外ニュースを知るメディア：ラジオ
2029	文化モジュール	異文化への関心	SRCINTV	海外ニュースを知るメディア：テレビ
2030	文化モジュール	異文化への関心	SRCININT	海外ニュースを知るメディア：インターネット
2031	文化モジュール	異文化への関心	SRCINPN	海外ニュースを知るメディア：知人

2032	文化モジュール	異文化への関心	SRCINOT	海外ニュースを知るメディア：その他
2033	文化モジュール	外国訪問	VSTCN	外国の訪問経験：中国
2034	文化モジュール	外国訪問	VSTSK	外国の訪問経験：韓国
2035	文化モジュール	外国訪問	VSTTW	外国の訪問経験：台湾
2036	文化モジュール	外国訪問	VSTSA	外国の訪問経験：東南アジア
2037	文化モジュール	外国訪問	VSTEP	外国の訪問経験：ヨーロッパ
2038	文化モジュール	外国訪問	VSTNA	外国の訪問経験：北アメリカ
2039	文化モジュール	外国訪問	VSTOT	外国の訪問経験：その他の外国
2040	文化モジュール	外国訪問	VSTNO	外国の訪問経験：外国に行ったことがない
2041	文化モジュール	外国の知人	FRNAQCN	外国人の知人の有無：中国
2042	文化モジュール	外国の知人	FRNAQSK	外国人の知人の有無：韓国
2043	文化モジュール	外国の知人	FRNAQTW	外国人の知人の有無：台湾
2044	文化モジュール	外国の知人	FRNAQSA	外国人の知人の有無：東南アジア
2045	文化モジュール	外国の知人	FRNAQEP	外国人の知人の有無：ヨーロッパ
2046	文化モジュール	外国の知人	FRNAQNA	外国人の知人の有無：北アメリカ
2047	文化モジュール	外国の知人	FRNAQOT	外国人の知人の有無：その他の外国
2048	文化モジュール	外国の知人	FRNAQNO	外国人の知人の有無：外国人の知り合いはいない
2049	文化モジュール	心理的距離	ACPFWCN	外国人の同僚の受け入れ意識：中国
2050	文化モジュール	心理的距離	ACPFWSK	外国人の同僚の受け入れ意識：韓国
2051	文化モジュール	心理的距離	ACPFWTW	外国人の同僚の受け入れ意識：台湾
2052	文化モジュール	心理的距離	ACPFWSA	外国人の同僚の受け入れ意識：東南アジア
2053	文化モジュール	心理的距離	ACPFWEP	外国人の同僚の受け入れ意識：ヨーロッパ
2054	文化モジュール	心理的距離	ACPFWNA	外国人の同僚の受け入れ意識：北アメリカ
2055	文化モジュール	心理的距離	ACPFNBCN	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：中国
2056	文化モジュール	心理的距離	ACPFNBSK	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：韓国
2057	文化モジュール	心理的距離	ACPFNBTW	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：台湾
2058	文化モジュール	心理的距離	ACPFNBSA	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：東南アジア
2059	文化モジュール	心理的距離	ACPFNBEP	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：ヨーロッパ
2060	文化モジュール	心理的距離	ACPFNBNA	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：北アメリカ
2061	文化モジュール	心理的距離	ACPFRCN	外国人の親族の受け入れ意識：中国
2062	文化モジュール	心理的距離	ACPFRSK	外国人の親族の受け入れ意識：韓国
2063	文化モジュール	心理的距離	ACPFRTW	外国人の親族の受け入れ意識：台湾
2064	文化モジュール	心理的距離	ACPFRSA	外国人の親族の受け入れ意識：東南アジア
2065	文化モジュール	心理的距離	ACPFREP	外国人の親族の受け入れ意識：ヨーロッパ
2066	文化モジュール	心理的距離	ACPFRNA	外国人の親族の受け入れ意識：北アメリカ
2067	文化モジュール	外国人増加	OPFRNWRK	意見への賛否：外国人労働者増加
2068	文化モジュール	外国人増加	OPFRNBRD	意見への賛否：外国人花嫁増加
2069	文化モジュール	外国人増加	OPFRNPRD	意見への賛否：外国製品の輸入制限
2070	文化モジュール	外国人増加	OPNTLINT	意見への賛否：自国の国益追求
2071	文化モジュール	外国人増加	OPDMGCLT	意見への賛否：固有の文化への損害
2072	文化モジュール	グローバル化	OPGLBECN	グローバル化の賛否：日本の経済にとって
2073	文化モジュール	グローバル化	OPGLBWRK	グローバル化の賛否：日本人の雇用機会にとって
2074	文化モジュール	グローバル化	OPGLBENV	グローバル化の賛否：日本の環境にとって
2075	文化モジュール	グローバル化	OPGLBCNS	グローバル化の賛否：日本の消費者にとって
2076	文化モジュール	グローバル化	OPGLBJBO	グローバル化の賛否：あなた自身の雇用機会・雇用安定にとって
2077	文化モジュール	グローバル化	OPGLBLIF	グローバル化の賛否：あなた自身の消費生活にとって
2078	文化モジュール	英語力	EANWP	英語能力：英字新聞の短い記事を読む
2079	文化モジュール	英語力	EACHTT	英語能力：英語でおしゃべりする
2080	文化モジュール	英語力	EALTTR	英語能力：英語で手紙を書く
2081	文化モジュール	留学・研修	XARDCLG	外国の大学・大学院に通った経験
2082	文化モジュール	留学・研修	XARDEDU	外国での教育・研修経験
2083	文化モジュール	外資系勤務	JOBFCAP	主な勤め先の種類：外資系企業
2084	文化モジュール	NGO/NPO	JOBNPO	主な勤め先の種類：公益的団体
2085	文化モジュール	配偶者 NGO/NPO	SSJBNPO	配偶者の主な勤め先の種類：公益的団体
2086	文化モジュール	ネットワーク	NYGRTOT	正月に新年の挨拶を交わした人の数：家族・親族以外
2087	文化モジュール	ネットワーク	NYGRDFA	正月に新年の挨拶を交わした人の数：家族・親族
2088	文化モジュール	ネットワーク	PINTDOT	ふだんの1日に接する人の数：家族・親族以外
2089	文化モジュール	ネットワーク	PINTDFA	ふだんの1日に接する人の数：家族・親族
2090	文化モジュール	ネットワーク	OCPLGSR	交流のある知人の職業：議員・上級公務員・自治体幹部
2091	文化モジュール	ネットワーク	OCPMNGR	交流のある知人の職業：管理職
2092	文化モジュール	ネットワーク	OCPPRO	交流のある知人の職業：専門職
2093	文化モジュール	ネットワーク	OCPTech	交流のある知人の職業：技術支援職・専門補佐職
2094	文化モジュール	ネットワーク	OCPLRC	交流のある知人の職業：事務的職業

2095	文化モジュール	ネットワーク	OCPSALE	交流のある知人の職業：サービスの職業・販売的職業
2096	文化モジュール	ネットワーク	OCPAGFF	交流のある知人の職業：農林漁業従事者
2097	文化モジュール	ネットワーク	OCPCRFT	交流のある知人の職業：技能工・職人
2098	文化モジュール	ネットワーク	OCPMNOP	交流のある知人の職業：簡単な機械や乗り物の操作をする職業
2099	文化モジュール	ネットワーク	OCPELEM	交流のある知人の職業：特に熟練を要しない簡易な職業
2100	健康モジュール	SF12	SFHLCND	SF12：主観的健康状態
2101	健康モジュール	SF12	SFLMTMA	SF12：日常活動の困難：適度の活動
2102	健康モジュール	SF12	SFLMTSTR	SF12：日常活動の困難：階段をのぼる
2103	健康モジュール	SF12	SFPHUSL	SF12：身体的健康の問題：ふだんの活動ができない
2104	健康モジュール	SF12	SFPHCNT	SF12：身体的健康の問題：内容によりふだんの活動ができない
2105	健康モジュール	SF12	SFMNTUSL	SF12：精神的健康の問題：ふだんの活動ができない
2106	健康モジュール	SF12	SFMNTCNT	SF12：精神的健康の問題：ふだんの活動に集中できない
2107	健康モジュール	SF12	SFINTFPN	SF12：痛みによる仕事の困難
2108	健康モジュール	SF12	SFMHPEAC	SF12：精神的健康：おちついた気分
2109	健康モジュール	SF12	SFMHENGY	SF12：精神的健康：活力にあふれる
2110	健康モジュール	SF12	SFMHDPRS	SF12：精神的健康：おちこんだ気分
2111	健康モジュール	SF12	SFINTFSC	SF12：健康問題による人づきあいの困難
2112	健康モジュール	希望	NOFUTR	希望のなさ：将来の希望が持てない
2113	健康モジュール	希望	NOGOAL	希望のなさ：目標は達成できない
2114	健康モジュール	慢性疾患	XCHRDIS	慢性的な病気の有無
2115	健康モジュール	慢性疾患	CRHYTNS	慢性的な病気の種類：高血圧*
2116	健康モジュール	慢性疾患	CRDIABT	慢性的な病気の種類：糖尿病*
2117	健康モジュール	慢性疾患	CRHRDIS	慢性的な病気の種類：心血管疾患*
2118	健康モジュール	慢性疾患	CRRSROB	慢性的な病気の種類：呼吸器疾患*
2119	健康モジュール	慢性疾患	CRHYLPM	慢性的な病気の種類：脂質異常症*
2120	健康モジュール	慢性疾患	CRCRBVAS	慢性的な病気の種類：脳血管疾患*
2121	健康モジュール	慢性疾患	CRBKAIN	慢性的な病気の種類：腰痛・関節痛*
2122	健康モジュール	慢性疾患	CROTHER	慢性的な病気の種類：その他*
2123	健康モジュール	慢性疾患	CRPRDIS	慢性的な病気の種類：前立腺*
2124	健康モジュール	慢性疾患	CRARGDIS	慢性的な病気の種類：アレルギー性疾患*
2125	健康モジュール	慢性疾患	CRCANCR	慢性的な病気の種類：悪性新生物（がん）*
2126	健康モジュール	慢性疾患	CRMENIL	慢性的な病気の種類：精神疾患*
2127	健康モジュール	慢性疾患	CRSENDIS	慢性的な病気の種類：感覚器系疾患（聴力・視力の障害など）*
2128	健康モジュール	慢性疾患	CRLPGDIS	慢性的な病気の種類：肝臓・すい臓・胆のう*
2129	健康モジュール	慢性疾患	CRGASDIS	慢性的な病気の種類：胃腸*
2130	健康モジュール	慢性疾患	CRKIDDIS	慢性的な病気の種類：腎臓*
2131	健康モジュール	慢性疾患	CRTHYDIS	慢性的な病気の種類：甲状腺*
2132	健康モジュール	慢性疾患	CRBONE	慢性的な病気の種類：骨折*
2133	健康モジュール	慢性疾患	CRPDPOS	慢性的な病気の種類：身体障害・術後の後遺症*
2134	健康モジュール	慢性疾患	CRHEADSS	慢性的な病気の種類：頭痛・肩こり*
2135	健康モジュール	慢性疾患	SKITCH	皮膚のかゆみ
2136	健康モジュール	身長	HEIGHT	身長：cm
2137	健康モジュール	体重	BDWEIGHT	体重：kg
2138	健康モジュール	喫煙	FQSMOKE	現在の喫煙頻度
2139	健康モジュール	喫煙	SMOKEYR	喫煙年数
2140	健康モジュール	飲酒	DO5DRINK	お酒を飲む頻度
2141	健康モジュール	運動	FQEXER	運動頻度
2142	健康モジュール	健康診断	XHLTCHK	健康診断の受診経験
2143	健康モジュール	体型	CAREBDS	体型が気になる程度
2144	健康モジュール	体型	RCBDEYE	体型が気になる理由：周りの人の目
2145	健康モジュール	体型	RCBDFEEL	体型が気になる理由：自分自身の気持ち
2146	健康モジュール	体型	RCBDHLT	体型が気になる理由：健康の問題
2147	健康モジュール	体型	RCBDWR	体型が気になる理由：服の問題
2148	健康モジュール	体型	RCBDOTH	体型が気になる理由：その他
2149	健康モジュール	体型	MBDEXE	体型管理：運動
2150	健康モジュール	体型	MBDFD	体型管理：食事の量や質のコントロール
2151	健康モジュール	体型	MBDSUPP	体型管理：サプリメントの摂取
2152	健康モジュール	体型	MBDOTH	体型管理：その他
2153	健康モジュール	体型	MBDNONE	体型管理：特に何も行っていない
2154	健康モジュール	体型	OPWGHT	現在の体重に対する意識
2155	健康モジュール	受診行動	FQ6DCTR	医師の診断を受けた頻度



2156	健康モジュール	受診行動	XRFDCTR	医師の診断を控えた経験
2157	健康モジュール	受診行動	RFDRWL	医師の診断を控えた理由：待ち時間が長い
2158	健康モジュール	受診行動	RFDRCST	医師の診断を控えた理由：費用がかかる
2159	健康モジュール	受診行動	RFDRDIS	医師の診断を控えた理由：病院が近くにない
2160	健康モジュール	受診行動	RFDRDK	医師の診断を控えた理由：どの病院に行ったらよいかわからない
2161	健康モジュール	受診行動	RFDRTRNS	医師の診断を控えた理由：交通手段がない
2162	健康モジュール	受診行動	RFDRAVSN	医師の診断を控えた理由：病院に行くのが好きではない
2163	健康モジュール	受診行動	RFDRBSY	医師の診断を控えた理由：忙しくて時間がない
2164	健康モジュール	受診行動	RFDRSLGT	医師の診断を控えた理由：病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した
2165	健康モジュール	受診行動	RFDRINS	医師の診断を控えた理由：保険が使えない
2166	健康モジュール	受診行動	RFDROTH	医師の診断を控えた理由：その他
2167	健康モジュール	医療保険	TPHLINS	医療保険の種類
2168	健康モジュール	東洋医学	XOMDACU	東洋医療の経験：鍼・灸
2169	健康モジュール	東洋医学	XOMDHRB	東洋医療の経験：漢方薬
2170	健康モジュール	東洋医学	XOMDMAS	東洋医療の経験：指圧・マッサージ
2171	健康モジュール	医療不安	FRMDREC	医療不安：必要な時に受けられない
2172	健康モジュール	医療不安	FRMDPAY	医療不安：医療費を払えない
2173	健康モジュール	相談相手	LSCON	心配事を聞いてくれた人の有無
2174	健康モジュール	相談相手	LSCONFF	心配事を聞いてくれた人：同居家族
2175	健康モジュール	相談相手	LSCONRL	心配事を聞いてくれた人：その他の家族
2176	健康モジュール	相談相手	LSCONCL	心配事を聞いてくれた人：職場の人
2177	健康モジュール	相談相手	LSCONNB	心配事を聞いてくれた人：近所の人
2178	健康モジュール	相談相手	LSCONFR	心配事を聞いてくれた人：友人
2179	健康モジュール	相談相手	LSCONPR	心配事を聞いてくれた人：専門職の人
2180	健康モジュール	相談相手	LSCONOTH	心配事を聞いてくれた人：その他
2181	健康モジュール	相談相手	FNHP	経済的な面で助けてくれた人の有無
2182	健康モジュール	相談相手	FNHPFF	経済的な面で助けてくれた人：同居家族
2183	健康モジュール	相談相手	FNHPRL	経済的な面で助けてくれた人：その他の家族
2184	健康モジュール	相談相手	FNHPCL	経済的な面で助けてくれた人：職場の人
2185	健康モジュール	相談相手	FNHPNB	経済的な面で助けてくれた人：近所の人
2186	健康モジュール	相談相手	FNHPFR	経済的な面で助けてくれた人：友人
2187	健康モジュール	相談相手	FNHPPR	経済的な面で助けてくれた人：専門職の人
2188	健康モジュール	相談相手	FNHPOTH	経済的な面で助けてくれた人：その他
2189	健康モジュール	相談相手	OTHPP	その他の手助けをしてくれた人の有無
2190	健康モジュール	相談相手	OTHPPFF	その他の手助けをしてくれた人：同居家族
2191	健康モジュール	相談相手	OTHPPRL	その他の手助けをしてくれた人：その他の家族
2192	健康モジュール	相談相手	OTHPPCL	その他の手助けをしてくれた人：職場の人
2193	健康モジュール	相談相手	OTHPPNB	その他の手助けをしてくれた人：近所の人
2194	健康モジュール	相談相手	OTHPPFR	その他の手助けをしてくれた人：友人
2195	健康モジュール	相談相手	OTHPPPR	その他の手助けをしてくれた人：専門職の人
2196	健康モジュール	相談相手	OTHPPOTH	その他の手助けをしてくれた人：その他
2197	健康モジュール	信頼	OP4TRUST	人への信頼感
2198	健康モジュール	地域環境	ENHMAP	環境被害：大気汚染
2199	健康モジュール	地域環境	ENHMWP	環境被害：水質汚染
2200	健康モジュール	地域環境	ENHMNP	環境被害：騒音被害
2201	健康モジュール	地域環境	ENHMSUN	環境被害：日照被害
2202	健康モジュール	地域環境	OPNBEXE	近隣状況：運動に適している
2203	健康モジュール	地域環境	OPNBFD	近隣状況：新鮮な果物や野菜が手に入る
2204	健康モジュール	地域環境	OPNBPF	近隣状況：公共施設が整っている
2205	健康モジュール	地域環境	OPNBSAFE	近隣状況：安心して生活できる
2206	健康モジュール	地域環境	OPNBMTCN	近隣状況：互いに気にかけている
2207	健康モジュール	地域環境	OPNBASS	近隣状況：手助けしてくれる
2208	健康モジュール	ゆとり	TMAFFL	時間的なゆとり感
2209	健康モジュール	ゆとり	PCMIN	心のゆとり感
2210	健康モジュール	孤独	LONELY	孤独感
2211	健康モジュール	心身の癒し	FRLXBATH	心身の癒し：温泉・銭湯・サウナに行く
2212	健康モジュール	心身の癒し	FRLXMSSG	心身の癒し：マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける
2213	健康モジュール	心身の癒し	FRLXNATR	心身の癒し：自然の中で過ごす
2214	健康モジュール	心身の癒し	FRLXPET	心身の癒し：ペットと過ごす
2215	健康モジュール	心身の癒し	FRLXEXE	心身の癒し：体操をする
2216	健康モジュール	心身の癒し	FRLXMSC	心身の癒し：音楽を聴く・歌を歌う

2217	健康モジュール	楽しむ	ENJYLF	生活を楽しんでいる
2218	健康モジュール	インフルエンザ	XFLUVCC	インフルエンザの予防接種の経験
2219	健康モジュール	インフルエンザ	FEARNFLU	新型インフルエンザの大流行への不安
2220	健康モジュール	インフルエンザ	INFCFLU	インフルエンザ感染の有無
2221	健康モジュール	家族インフルエンザ	FINFCFLU	同居家族のインフルエンザ感染の有無
2222	健康モジュール	介護	CRNDFP	介護を必要とする家族の有無
2223	健康モジュール	介護	CRGIVFF	回答者が家族の主な介護者
2224	健康モジュール	高齢化	WAGTARND	年をとることへの不安：自分で自分のことができなくなる
2225	健康モジュール	高齢化	WAOTHMD	年をとることへの不安：自分のことを他の人に決めてもらう
2226	健康モジュール	高齢化	WAFINDPN	年をとることへの不安：経済的に依存する
2227	ウエイト	ウエイト	WEIGHT	ウエイト*

### .3 変数名索引 (アルファベット順)

略号・記号

面：面接調査票，留：留置調査票，調：調査員記入票（面接調査票末尾）

F：調査員記入欄，S：付問，：抽出関連などの変数で質問番号なし

No.	変数名	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
2055	ACPFNBCN	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：中国							留 B54	
2059	ACPFNBEP	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：ヨーロッパ							留 B54	
2060	ACPFNBNA	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：北アメリカ							留 B54	
2058	ACPFNBSA	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：東南アジア							留 B54	
2056	ACPFNBSK	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：韓国							留 B54	
2057	ACPFNBWTW	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：台湾							留 B54	
2061	ACPFRCN	外国人の親族の受け入れ意識：中国							留 B55	
2065	ACPFREP	外国人の親族の受け入れ意識：ヨーロッパ							留 B55	
2066	ACPFRNA	外国人の親族の受け入れ意識：北アメリカ							留 B55	
2064	ACPFRSA	外国人の親族の受け入れ意識：東南アジア							留 B55	
2062	ACPFRSK	外国人の親族の受け入れ意識：韓国							留 B55	
2063	ACPFRTW	外国人の親族の受け入れ意識：台湾							留 B55	
2049	ACPFWCN	外国人の同僚の受け入れ意識：中国							留 B53	
2053	ACPFWEP	外国人の同僚の受け入れ意識：ヨーロッパ							留 B53	
2054	ACPFWNA	外国人の同僚の受け入れ意識：北アメリカ							留 B53	
2052	ACPFWSA	外国人の同僚の受け入れ意識：東南アジア							留 B53	
2050	ACPFWSK	外国人の同僚の受け入れ意識：韓国							留 B53	
2051	ACPFWTW	外国人の同僚の受け入れ意識：台湾							留 B53	
961	ADALC	耽溺行動：飲酒								留 A14A 留 B49A
965	ADFALC	同居家族の耽溺行動：飲酒								留 A15A 留 B50A
968	ADFGAME	同居家族の耽溺行動：ゲーム								留 A15D 留 B50D
967	ADFGMBL	同居家族の耽溺行動：ギャンブル								留 A15C 留 B50C
966	ADFSMOKE	同居家族の耽溺行動：喫煙								留 A15B 留 B50B
964	ADGAME	耽溺行動：ゲーム								留 A14D 留 B49D
963	ADGMBL	耽溺行動：ギャンブル								留 A14C 留 B49C
962	ADSMOKE	耽溺行動：喫煙								留 A14B 留 B49B

No.	変数名	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
609	AGE1DIV	1 回目の離婚年齢	面 31(3)	面 32(3)	面 36-3					
606	AGE1MG	初婚年齢*	面 31(1)1S	面 32(1)1S	面 36-1 1S			留 B46		
617	AGE1WDW	配偶者との 1 回目の死別年齢	面 31(5)	面 32(5)	面 36-5					
612	AGE2DIV	2 回目の離婚年齢	面 31(3)	面 32(3)	面 36-3					
1953	AGE2MG	結婚した年齢：2 回目						留 B46		
620	AGE2WDW	配偶者との 2 回目の死別年齢	面 31(5)	面 32(5)	面 36-5					
1954	AGE3MG	結婚した年齢：3 回目						留 B46		
1955	AGE4MG	結婚した年齢：4 回目						留 B46		
19	AGEB	年齢*	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
611	AGEMG1DV	1 回目離婚後の再婚年齢	面 31(3)	面 32(3)	面 36-3					
619	AGEMG1WD	配偶者との 1 回目死別後の再婚年齢	面 31(5)	面 32(5)	面 36-5					
614	AGEMG2DV	2 回目離婚後の再婚年齢	面 31(3)	面 32(3)	面 36-3					
622	AGEMG2WD	配偶者との 2 回目死別後の再婚年齢	面 31(5)	面 32(5)	面 36-5					
133	AGESTPWK	離職年齢						面 1-4	面 1-4	面 1-4
878	APDMTRP	旅行頻度の希望：国内旅行								留 B7A
879	APOSTRP	旅行頻度の希望：海外旅行								留 B7B
692	APPCCNMX	理想的な子どもの人数：5 人以上の場合（具体的記述）	留 39 5S	留 38 5S	留 17 5S	留 A16 5S	留 52 5S	留 B29 5S	留 A57 5S	留 A60 5S
691	APPCCNUM	理想的な子どもの人数（一般論）	留 39	留 38	留 17	留 A16	留 52	留 B29	留 A57	留 A60
693	APPCCSXB	希望する子どもの性別	留 40	留 39	留 18	留 A17	留 53	留 A62	留 A58	留 A61
1910	APPCCSXE	希望する子どもの性別（EASS 尺度）						留 B28		
17	AREA	調査員への質問：回答者の居住地域				F5	F5	F5	F5	F5
1994	AUSDYSP	特別な日の縁起							留 B43	
808	AXECNSF	将来の経済的不安							留 A33	留 A34 留 B22
960	AXSEMCC	救急医療体制への不安							留 A22	
758	BD3CNSTR	政府の支出：土木事業	留 23F	留 22F		留 B20F		留 A37F		留 A38F
754	BD3CRIME	政府の支出：犯罪取締	留 23B	留 22B		留 B20B		留 A37B		留 A38B
755	BD3EDUC	政府の支出：教育	留 23C	留 22C		留 B20C		留 A37C		留 A38C
760	BD3EMPTY	政府の支出：雇用対策	留 23H	留 22H		留 B20H		留 A37H		留 A38H
753	BD3ENVA	政府の支出：環境問題	留 23A	留 22A		留 B20A		留 A37A		留 A38A
757	BD3ODA	政府の支出：海外援助	留 23E	留 22E		留 B20E		留 A37E		留 A38E
756	BD3SAFTY	政府の支出：安全保障	留 23D	留 22D		留 B20D		留 A37D		留 A38D
759	BD3WFR	政府の支出：社会保障	留 23G	留 22G		留 B20G		留 A37G		留 A38G
2137	BDWEIGHT	体重：kg								留 B46
21	BLOCK	地域ブロック	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
79	BSDOBOSS	上司の上司の有無	面 1(14)(b)	面 1(14)(b)						
2143	CAREBDS	体型が気になる程度								留 B53-1

No.	変数名	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
407-532	CC[01-08]BORN	子ども[01-08]: 生年	面 22	面 23	面 29					
	CC[01-08]EOB	子ども[01-08]: 生年(元号)	面 22							
	CC[01-08]LIVE	子ども[01-08]: 生死	面 22	面 23	面 29					
	CC[01-08]MARK	子ども[01-08]: 有無	面 22	面 23	面 29					
	CC[01-08]YOB	子ども[01-08]: 生年(年)	面 22							
	CC[01-09]CNTA	子ども[01-09]: 接触頻度(直接)						面 36E		
	CC[01-09]CNTB	子ども[01-09]: 接触頻度(間接)						面 36F		
	CC[01-09]DIST	子ども[01-09]: 家までの距離						面 36D		
	CC[01-09]SCH	子ども[01-09]: 就学						面 35B		
	CC[01-10]AGE	子ども[01-10]: 年齢*	面 22	面 23	面 29		面 25-2	面 36A	面 32-4	面 31-4
	CC[01-10]JOB	子ども[01-10]: 就労の有無*						面 36C	面 32-6	面 31-6
	CC[01-10]LVTG	子ども[01-10]: 同居・生死*					面 25-2	面 35C	面 32-3	面 31-3
	CC[01-10]MG	子ども[01-10]: 結婚状況*						面 36B	面 32-5	面 31-5
CC[01-10]SEX	子ども[01-10]: 性別*	面 22	面 23	面 29		面 25-2	面 35A	面 32-2	面 31-2	
1984	CC18CNT	もっとも接している18歳以上の子ども						留 B63		
406	CCNUMTTL	子どもの人数*	面 21	面 22	面 28	面 22	面 25-1	面 33	面 32-1	面 31-1
1991	CLTEXCM	文化交流: 中国の映画							留 B41B	
1990	CLTEXJA	文化交流: 日本のアニメ							留 B41A	
1992	CLTEXKD	文化交流: 韓国のドラマ							留 B41C	
190	CMTBCYL	通勤手段: 自転車*				面 3-2 2	面 3-2 2			
195	CMTBOAT	通勤手段: 船*				面 3-2 7	面 3-2 7			
192	CMTBUS	通勤手段: バス*				面 3-2 4	面 3-2 4			
194	CMTCAR	通勤手段: 自動車*				面 3-2 6	面 3-2 6			
196	CMTETC	通勤手段: その他*				面 3-2 8	面 3-2 8			
191	CMTMCYL	通勤手段: バイク*				面 3-2 3	面 3-2 3			
193	CMTTRAIN	通勤手段: 電車*				面 3-2 5	面 3-2 5			
189	CMTWALK	通勤手段: 徒歩のみ。				面 3-2 1	面 3-2 1			
15	COOP	調査員への質問: 回答者の協力度	F1	F1	F1	F1	F1	F1	F1	F1
2124	CRARGDIS	慢性的な病気の種類: アレルギー性疾患*								留 B42-2S
2121	CRBKRAIN	慢性的な病気の種類: 腰痛・関節痛*								留 B42-2 7
2132	CRBONE	慢性的な病気の種類: 骨折*								留 B42-2S
2125	CRCANCR	慢性的な病気の種類: 悪性新生物(がん)*								留 B42-2S
2120	CRCRBVAS	慢性的な病気の種類: 脳血管疾患*								留 B42-2 6
2116	CRDIABT	慢性的な病気の種類: 糖尿病*								留 B42-2 2
2129	CRGASDIS	慢性的な病気の種類: 胃腸*								留 B42-2S
2223	CRGIVFF	回答者が家族の主な介護者								留 B73-2
2134	CRHEADSS	慢性的な病気の種類: 頭痛・肩こり*								留 B42-2S
2117	CRHRTDIS	慢性的な病気の種類: 心血管疾患*								留 B42-2 3

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
2119	CRHYLPM	慢性的な病気の種類：脂質異常症*								留 B42-2 5
2115	CRHYTNS	慢性的な病気の種類：高血圧*								留 B42-2 1
2130	CRKIDDIS	慢性的な病気の種類：腎臓*								留 B42-2S
2128	CRLPGDIS	慢性的な病気の種類：肝臓・すい臓・胆のう*								留 B42-2S
2126	CRMENIL	慢性的な病気の種類：精神疾患*								留 B42-2S
2222	CRNDFF	介護を必要とする家族の有無								留 B73-1
2122	CROTHER	慢性的な病気の種類：その他*								留 B42-2 8
2133	CRPDPOS	慢性的な病気の種類：身体障害・術後の後遺症*								留 B42-2S
2123	CRPRDIS	慢性的な病気の種類：前立腺*								留 B42-2S
2118	CRRSPROB	慢性的な病気の種類：呼吸器疾患*								留 B42-2 4
2127	CRSENDIS	慢性的な病気の種類：感覚器系疾患（聴力・視力の障害など）*								留 B42-2S
2131	CRTHYDIS	慢性的な病気の種類：甲状腺*								留 B42-2S
1	CUMIDUSE	累積識別番号								
10	DATE	面接完了日*	F	F	F	F	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
6	DATEB	留置回収完了日					冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
12	DAY	面接完了日：日*	F	F	F	F	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
8	DAYB	留置回収完了日：日					冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
1964	DMCCED	家庭内の意思決定者：子どもの教育						留 B54A		
1966	DMEXP	家庭内の意思決定者：家計の管理						留 B54C		
1967	DMHIEXP	家庭内の意思決定者：高価な品物の購入						留 B54D		
1965	DMPPSPPT	家庭内の意思決定者：親の世話						留 B54B		
710	DO3PIOUS	信仰の度合い（本人）	留 57S(2)	留 57S(2)	留 37S2	留 A47-3	留 62-3	留 A67-3 留 B9-3	留 A68-3 留 B40-3	留 A73-3 留 B30-3
718	DO3SIGN	ドナーカードへの署名	留 56S	留 56 S						留 A55-2
2140	DO5DRINK	お酒を飲む頻度								留 B48
943	DO7DRINK	飲酒頻度*	留 55	留 55	留 36	留 A46	留 19	留 A11	留 A11	留 A10
1123	DOACCAM	防犯対策：監視カメラを設置*						留 A52 2		
1124	DOACDOG	防犯対策：防犯のために犬を飼う*						留 A52 3		
1125	DOACKKEY	防犯対策：ドアや窓の鍵に工夫*						留 A52 4		
1128	DOACLIT	防犯対策：明かりに工夫*						留 A52		
1127	DOACNONE	防犯対策：特にしていない*						留 A52 6		
1126	DOACOTHR	防犯対策：その他*						留 A52 5		
1122	DOACSECC	防犯対策：警備会社と契約*						留 A52 1		
1258	DOBIRDA	ペットの種類：鳥類*	留 62S(1)5	留 62S(1)5						
78	DOBOSS	上司の有無	面 1(14)(a)	面 1(14)(a)	面 5-1					
20	DOBYEAR	生年	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
1334	DOCAR	自動車の所持					面 31-1			
717	DOCARD	ドナーカードの所持*	留 56	留 56						留 A55-1

No.	変数名	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1256	DOCAT	ペットの種類：猫*	留 62S(1)3	留 62S(1)3						
1345	DOCLCNS	自動車免許の所持					留 13-1			
185	DOCMT	通勤の有無				面 3-1	面 3-1	面 4	面 4	面 4
46	DOCNTRCT	雇用契約期限の有無	面 1(17)	面 1(17)	面 7-1					
842	DOCOMPJ	利用通信媒体：パソコン（職場）*	留 60 3	留 60 3	留 40 3	留 A36 3	留 5 1	留 A4-1 1	留 A4-1 1 留 B4-1 1	留 A4-1 1
843	DOCOMPJ	利用通信媒体：パソコン（自宅）*	留 60 4	留 60 4	留 40 4	留 A36 4	留 5 2	留 A4-1 2	留 A4-1 2 留 B4-1 2	留 A4-1 2
1254	DODOGE	ペットの種類：犬（室外で）*	留 62S(1)1	留 62S(1)1						
1255	DODOGI	ペットの種類：犬（室内で）*	留 62S(1)2	留 62S(1)2						
604	DODVWDW	配偶者と別れた理由				面 15-2				
1312	DOECLMC	エコ商品の利用：低公害車*							留 A53 4 留 B27 4	留 A24 4
1310	DOECMNP	エコ商品の利用：深夜電力							留 A53 2 留 B27 2	留 A24 2
1313	DOECNONE	エコ商品の利用：いずれも利用していない							留 A53 5 留 B27 5	留 A24 5
1309	DOECSLP	エコ商品の利用：ソーラーパネル							留 A53 1 留 B27 1	留 A24 1
1311	DOECWC	エコ商品の利用：エコウィル・エコキュート							留 A53 3 留 B27 3	留 A24 3
849	DOEMAIL	電子メールの利用					留 6			
840	DOEMAILJ	利用通信媒体：電子メール（仕事）*	留 60 1	留 60 1	留 40 1	留 A36 1				
841	DOEMAILP	利用通信媒体：電子メール（私用）*	留 60 2	留 60 2	留 40 2	留 A36 2				
847	DOFAX	利用通信媒体：ファックス*	留 60 8	留 60 8	留 40 8	留 A36 8	留 5 4			
105	DOFINDJB	不就労者に：求職の有無	面 7	面 7						
1259	DOFISHA	ペットの種類：魚類*	留 62S(1)6	留 62S(1)6						
852	DOINBANK	インターネットの利用：バンキング*					留 7 3	留 A4-2 3	留 A4-2 3 留 B4-2 3	留 A4-2 3
850	DOINBRS	インターネットの利用：情報検索*					留 7 1	留 A4-2 1	留 A4-2 1 留 B4-2 1	留 A4-2 1
853	DOINHHP	インターネットの利用：ホームページの作成*					留 7 4	留 A4-2 4	留 A4-2 4	
854	DOINHBP	インターネットの利用：ホームページの作成（ブログを含む）*							留 B4-2 4	留 A4-2 4
855	DOINNONE	インターネットの利用：いずれも行っていない*					留 7 5	留 A4-2 5	留 A4-2 5 留 B4-2 5	留 A4-2 5
1261	DOINSECT	ペットの種類：昆虫類*		留 62S(1)8						
851	DOINSHOP	インターネットの利用：ショッピング*					留 7 2	留 A4-2 2	留 A4-2 2 留 B4-2 2	留 A4-2 2
1049	DOLACLN	地域活動への参加：清掃活動						留 A61-2 1		
1052	DOLANONE	地域活動への参加：いずれも参加していない						留 A61-2 4		
1051	DOLAPTRL	地域活動への参加：パトロール						留 A61-2 3		

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1050	DOLARCYC	地域活動への参加：リサイクル品の回収						留 A61-2 2		
99	DOLOOKJB	求職の有無（全員）			面 15	面 13	面 17	面 14	面 18	面 17
645	DOLSTSCH	最終学校の卒業・中退（本人）	面 28	面 29	面 33-1	面 26	面 37	面 43	面 49	面 47
1257	DOMAMMAL	ペットの種類：小型ほ乳類*	留 62S(1)4	留 62S(1)4						
595	DOMARRY	結婚状況 統合*	面 10	面 10	面 18	面 15-1	面 21	面 15	面 19	面 18
596	DOMARRY_00	結婚状況_2000*	面 10							
597	DOMARRY_01	結婚状況_2001*		面 10						
598	DOMARRY_02	結婚状況_2002*			面 18					
599	DOMARRY_03	結婚状況_2003*				面 15-1				
600	DOMARRY_05	結婚状況_2005*					面 21			
601	DOMARRY_06	結婚状況_2006*						面 15		
602	DOMARRY_08	結婚状況_2008*							面 19	
603	DOMARRY_10	結婚状況_2010*								面 18
1956	DOMARRYZ	結婚状況（留置 B 票のみ）						留 B47		
844	DONETSB	利用通信媒体：インターネットによるショッピング・バンキング*	留 60 5	留 60 5	留 40 5	留 A36 5				
845	DONETSTK	利用通信媒体：インターネットによる株取引*	留 60 6	留 60 6	留 40 6	留 A36 6				
848	DONONEX	利用通信媒体：いずれも利用していない*					留 5 5	留 A4-1 4	留 A4-1 4 留 B4-1 4	留 A4-1 4
1262	DOOTHER	ペットの種類：その他*	留 62S(1)8	留 62S(1)9						
1276	DOPCATE	ペットの保有：猫（室外で）						留 B6-1 3		
1277	DOPCATI	ペットの保有：猫（室内で）						留 B6-1 4		
1282	DOPCCATE	世話をしているペット：猫（室外で）						留 B6-2 3		
1283	DOPCCATI	世話をしているペット：猫（室内で）						留 B6-2 4		
1280	DOPCDOGE	世話をしているペット：犬（室外で）						留 B6-2 1		
1281	DOPCDOGI	世話をしているペット：犬（室内で）						留 B6-2 2		
1285	DOPCNONE	世話をしているペット：世話はしていない						留 B6-2 6		
1284	DOPCOTHR	世話をしているペット：その他						留 B6-2 5		
1274	DOPDOGE	ペットの保有：犬（室外で）						留 B6-1 1		
1275	DOPDOGI	ペットの保有：犬（室内で）						留 B6-1 2		
1253	DOPET	ペットの有無	留 62	留 62						
846	DOPHS	利用通信媒体：携帯電話または PHS*	留 60 7	留 60 7	留 40 7	留 A36 7	留 5 3	留 A4-1 3	留 A4-1 3 留 B4-1 3	留 A4-1 3
1279	DOPNONE	ペットの保有：何も飼っていない						留 B6-1 6		
765	DOPOLIT	政治への関心の強さ				留 B15				
1278	DOPOTHR	ペットの保有：その他						留 B6-1 5		
1260	DOREPTL	ペットの種類：両生類 / は虫類*	留 62S(1)7	留 62S(1)7						
945	DORFHSP	通院を控えた経験							留 A16-1	



No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
708	DORL	信仰する宗教の有無(本人)	留 57	留 57	留 37	留 A47-1	留 62-1	留 A67-1 留 B9-1	留 A68-1 留 B40-1	留 A73-1 留 B30-1
940	DOSMOKE	喫煙習慣	留 54	留 54						
941	DOSMOKEX	喫煙経験			留 35	留 A45-1	留 18-1	留 A10-1	留 A10-1	留 A9-1 留 B47-1
80	DOSTAFF	部下の有無	面 1(15)(a)	面 1(15)(a)	面 5-2	面 7	面 9			
74	DOUNION	労働組合の有無*	面 1(16)(a)	面 1(16)(a)			面 10-1			
38	DOWKFRI	就労曜日:金*				面 2-1 5	面 2-2 5			
34	DOWKMON	就労曜日:月*				面 2-1 1	面 2-2 1			
39	DOWKSAT	就労曜日:土*				面 2-1 6	面 2-2 6			
40	DOWKSUN	就労曜日:日*				面 2-1 7	面 2-2 7			
37	DOWKTHU	就労曜日:木*				面 2-1 4	面 2-2 4			
35	DOWKTUE	就労曜日:火*				面 2-1 2	面 2-2 2			
41	DOWKVAR	就労曜日:週によってまちまち*				面 2-1 8	面 2-2 8			
36	DOWKWED	就労曜日:水*				面 2-1 3	面 2-2 3			
4	DRAN	アタック状況番号	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭				
13	DURATION	調査所要時間(分)	F	F	F	F	F7	F7	F7	F7
1216	EAART	過去1年間の英語使用:映画鑑賞・音楽鑑賞・読書*						留 A15 3		留 A18 3
1214	EABUS	過去1年間の英語使用:仕事*						留 A15 1		留 A18 1
2079	EACHTT	英語能力:英語でおしゃべりする							留 B60B	
1217	EAINET	過去1年間の英語使用:インターネット*						留 A15 4		留 A18 4
1221	EALARN	過去1年間の英語使用:学習*						留 A15 6S		留 A18 6S
2080	EALTTR	英語能力:英語で手紙を書く							留 B60C	
1220	EANONE	過去1年間の英語使用:まったく使ったことがない*						留 A15 7		留 A18 7
2078	EANWP	英語能力:英字新聞の短い記事を読む							留 B60A	
1219	EAOTHER	過去1年間の英語使用:その他*						留 A15 6		留 A18 6
1215	EASOC	過去1年間の英語使用:付き合い*						留 A15 2		留 A18 2
1218	EATRIP	過去1年間の英語使用:海外旅行*						留 A15 5		留 A18 5
1244	ELCHILD	英語学習の理由:子どもの教育*				留 A59-2 11				
1239	ELENJOY	英語学習の理由:楽しい*				留 A59-2 6				
1247	ELETC	英語学習の理由:その他*				留 A59-2 14				
1235	ELGETJOB	英語学習の理由:就職・転職*				留 A59-2 2				
1234	ELGRADE	英語学習の理由:卒業・進級*				留 A59-2 1				
1245	ELINET	英語学習の理由:インターネット*				留 A59-2 12				
1246	ELMOVIE	英語学習の理由:ニュース・映画*				留 A59-2 13				
1242	ELNEW	英語学習の理由:学習が好き*				留 A59-2 9				
1238	ELPROMO	英語学習の理由:昇進・昇格*				留 A59-2 5				
1237	ELQUALF	英語学習の理由:資格*				留 A59-2 4				
1236	ELTASK	英語学習の理由:仕事*				留 A59-2 3				

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1243	ELTRAVL	英語学習の理由：海外旅行*				留 A59-2 10				
1241	ELVISION	英語学習の理由：視野を広めたい*				留 A59-2 8				
1240	ELWEST	英語学習の理由：米英が好き*				留 A59-2 7				
696	ELWNGVNR	女性知事候補への投票	留 24	留 23		留 A24				
2012	EMCLJPN	地域への愛着：日本							留 B46B	
2013	EMCLSA	地域への愛着：東アジア							留 B46C	
2011	EMCLTWN	地域への愛着：今住んでいる都市や町							留 B46A	
1204	ENGREAD	英語読解力のレベル			留 55	留 A57		留 A17		留 A17
1203	ENGTALK	英会話のレベル			留 54	留 A56		留 A16		留 A16
2198	ENHMAP	環境被害：大気汚染								留 B64A
2200	ENHMNP	環境被害：騒音被害								留 B64C
2201	ENHMSUN	環境被害：日照被害								留 B64D
2199	ENHMWP	環境被害：水質汚染								留 B64B
2217	ENJYLF	生活を楽しんでいる								留 B68
1212	EUCLASS	英語の使用：学校や資格取得で使う*			留 56 7S					
1211	EUETC	英語の使用：その他*			留 56 7	留 A55 7				
1209	EUFAMILY	英語の使用：家族とのコミュニケーションに*			留 56 5	留 A55 5				
1208	EUFRIEND	英語の使用：外国人の友人や知人との付き合いで*			留 56 4	留 A55 4				
1210	EUHOBBY	英語の使用：趣味・娯楽・海外旅行で*			留 56 6	留 A55 6				
1213	EUKIDS	英語の使用：子ども（孫）に教える*			留 56 7S	留 A55 6S				
1205	EUNO	英語の使用：ほとんど使う機会はない*			留 56 1	留 A55 1				
1206	EUTOKI	英語の使用：仕事で時々使う*			留 56 2	留 A55 2				
1207	EUYOKU	英語の使用：仕事でよく使う*			留 56 3	留 A55 3				
1342	EXCARBUY	自動車の負担感：購入代金・ローン						面 31-3C		
1343	EXCARFIX	自動車の負担感：修理・車検						面 31-3D		
1340	EXCARGAS	自動車の負担感：ガソリン代						面 31-3A		
1341	EXCARINS	自動車の負担感：保険料・税金						面 31-3B		
1344	EXCARPRK	自動車の負担感：駐車場の賃貸料						面 31-3E		
931	FAATOPI	症状の有無：アトピー性皮膚炎（同居家族）*			留 32B1	留 A27B1	留 17-2 1	留 B11-2 1		
934	FAFOOD	症状の有無：食物アレルギー（同居家族）*			留 32B4	留 A27B4	留 17-2 4	留 B11-2 4		
932	FAKAFUN	症状の有無：花粉症（同居家族）*			留 32B2	留 A27B2	留 17-2 2	留 B11-2 2		
936	FANOFF	症状の有無：非該当（同居家族はいない）*			留 32B6	留 A27B6	留 17-2 6	留 B11-2 6		
935	FANONE	症状の有無：いずれもない（同居家族）*			留 32B5	留 A27B5	留 17-2 5	留 B11-2 5		
1182	FAVFCHN	外国の好感度：中国						留 A22C		
1187	FAVFIDN	外国の好感度：インドネシア						留 A22H		
1188	FAVFIND	外国の好感度：インド						留 A22I		
1180	FAVFKOR	外国の好感度：韓国						留 A22A		
1183	FAVMNG	外国の好感度：モンゴル						留 A22D		

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1185	FAVPHL	外国の好感度：フィリピン						留 A22F		
1181	FAVPRK	外国の好感度：北朝鮮						留 A22B		
1189	FAVFRUS	外国の好感度：ロシア						留 A22J		
1186	FAVFTHA	外国の好感度：タイ						留 A22G		
1184	FAVFTWN	外国の好感度：台湾						留 A22E		
1190	FAVFUSA	外国の好感度：アメリカ						留 A22K		
933	FAZENSOK	症状の有無：ぜんそく（同居家族）*			留 32B3	留 A27B3	留 17-2 3	留 B11-2 3		
2219	FEARNFLU	新型インフルエンザの大流行への不安								留 B70
1119	FEARWALK	自宅周辺の危険な場所の有無	留 33	留 32	留 25	留 A30	留 44	留 A49	留 A54 留 B34	留 A48 留 B27
222-319	FF[01-09]JOB	家族[01-09]：就労の有無*						面 24-2E		
	FF[01-09]MG	家族[01-09]：結婚状況*						面 24-2D		
	FF[01-10]AGE	家族[01-10]：年齢*	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1		面 24-2C		
	FF[01-10]HEAD	家族[01-10]：世帯主	面 20	面 21						
	FF[01-10]HERE	家族[01-10]：同居の有無	面 19	面 20						
	FF[01-10]HOME	家族[01-10]：自宅在住か*			面 27-1	面 21-1				
	FF[01-10]OUT	家族[01-10]：一時的に自宅を出ている理由*			面 27-1	面 21-1				
	FF[01-10]REL	家族[01-10]：続柄*	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1		面 24-2A		
	FF[01-10]SEX	家族[01-10]：性別*	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1		面 24-2B		
FF[01-10]WHY	家族[01-10]：別居の理由	面 19	面 20							
213-221	FF[02-10]MARK	家族[02-10]：有無*	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
212	FF01MARK	家族 01：本人*	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
869	FF5HAPPZ	結婚生活の幸福度	留 64	留 64	留 61					
380	FFATX	世帯員変数：おば	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
371	FFBRECCX	世帯員変数：兄の子	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
355	FFBREWWX	世帯員変数：兄の妻	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
359	FFBREX	世帯員変数：兄	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
372	FFBRYCCX	世帯員変数：弟の子	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
356	FFBRYWWX	世帯員変数：弟の妻	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
360	FFBRYX	世帯員変数：弟	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
336	FFCCF1	世帯員変数：長女	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
339	FFCCF1HH	世帯員変数：長女の夫	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
337	FFCCF2	世帯員変数：次女	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
340	FFCCF2HH	世帯員変数：次女の夫	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
338	FFCCF3	世帯員変数：三女	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
341	FFCCF3HH	世帯員変数：三女の夫	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
342	FFCCF4	世帯員変数：四女	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
343	FFCCF4HH	世帯員変数：四女の夫	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
344	FFCCF5	世帯員変数：五女	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
335	FFCCFX	世帯員変数：子（女）	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
346	FFCCGFX	世帯員変数：孫（女）	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
349	FFCCGGFX	世帯員変数：ひ孫（女）	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
348	FFCCGGMX	世帯員変数：ひ孫（男）	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
345	FFCCGMX	世帯員変数：孫（男）	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
347	FFCCGSPX	世帯員変数：孫の配偶者	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
350	FFCCGX	世帯員変数：孫	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
326	FFCCM1	世帯員変数：長男	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
329	FFCCM1WW	世帯員変数：長男の妻	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
327	FFCCM2	世帯員変数：次男	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
330	FFCCM2WW	世帯員変数：次男の妻	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
328	FFCCM3	世帯員変数：三男	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
331	FFCCM3WW	世帯員変数：三男の妻	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
332	FFCCM4	世帯員変数：四男	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
333	FFCCM4WW	世帯員変数：四男の妻	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
334	FFCCM5	世帯員変数：五男	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
325	FFCCMX	世帯員変数：子（男）	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
324	FFCCX	世帯員変数：子	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
387	FFETCX	世帯員変数：その他	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
534-554	FFH[01-07]AGE	その他の家族[01-07]：年齢*					面 26-2		面 33-2	面 32-2
534-554	FFH[01-07]REL	その他の家族[01-07]：続柄					面 26-2		面 33-2	面 32-2
534-554	FFH[01-07]SEX	その他の家族[01-07]：性別					面 26-2		面 33-2	面 32-2
320	FFHEAD	世帯主*			面 27-2	面 21-2	面 29	面 26	面 35	面 34
322	FFHH	世帯員変数：夫	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
352	FFMM	世帯員変数：母	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
383	FFMMGGX	世帯員変数：曾祖母	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
368	FFMMGX	世帯員変数：祖母	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
354	FFMMLAW	世帯員変数：義母（配偶者の母）	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
385	FFMMNS	世帯員変数：親（女）	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
583-593	FFO[01-06]REL	一時的な別居家族[01-06]：続柄*					面 28-2	面 25-2A	面 36-2A	面 35-2A
584-594	FFO[01-06]WHY	一時的な別居家族[01-06]：別居理由*					面 28-2	面 25-2B	面 36-2B	面 35-2B
351	FFPP	世帯員変数：父	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
382	FFPPGGX	世帯員変数：曾祖父	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
367	FFPPGX	世帯員変数：祖父	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
353	FFPPLAW	世帯員変数：義父（配偶者の父）	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
384	FFPPNS	世帯員変数：親（男）	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
207	FFRESIDE	同居の有無（本人）*			面 26-1	面 20-1				

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
376	FFSBCCFX	世帯員変数：姪	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
375	FFSBCCMX	世帯員変数：甥	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
321	FFSELF	世帯員変数：本人	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
208	FFSEPWHY	別居の理由（本人）			面 26-2	面 20-2				
373	FFSIECCX	世帯員変数：姉の子	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
357	FFSIEHHX	世帯員変数：姉の夫	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
361	FFSISEX	世帯員変数：姉	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
362	FFSISYX	世帯員変数：妹	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
374	FFSIYCCX	世帯員変数：妹の子	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
358	FFSIYHHX	世帯員変数：妹の夫	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
363	FFSPBREX	世帯員変数：配偶者の兄	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
364	FFSPBRYX	世帯員変数：配偶者の弟	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
370	FFSPMMGX	世帯員変数：義理の祖母（配偶者の祖母）	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
369	FFSPPPGX	世帯員変数：義理の祖父（配偶者の祖父）	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
365	FFSPSEX	世帯員変数：配偶者の姉	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
366	FFSPSYX	世帯員変数：配偶者の妹	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
386	FFSTAFF	世帯員変数：使用人・雇い人	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
381	FFUNACCX	世帯員変数：おじ・おばの子	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
378	FFUNASPX	世帯員変数：父母の兄弟姉妹の配偶者	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
377	FFUNATX	世帯員変数：父母の兄弟姉妹	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
379	FFUNX	世帯員変数：おじ	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
323	FFWW	世帯員変数：妻	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1				
1152	FFXFNMG	外国人とのつき合い：親族の婚姻*	留 38 7	留 37 7						
2221	FINFCLU	同居家族のインフルエンザ感染の有無								留 B72
1407	FNDCASH	クレジットカードの機能の利用：キャッシング					留 49-3D			
1405	FNCDINST	クレジットカードの機能の利用：分割払い					留 49-3B			
1404	FNCDONE	クレジットカードの機能の利用：1回払い					留 49-3A			
1406	FNCDREVO	クレジットカードの機能の利用：リボ払い					留 49-3C			
1163	FN CULT	外国人増加の影響：外国の文化に触れる*				留 A42 2				
1179	FN ETC	外国人増加の影響：その他*				留 A42 18				
2181	FNHP	経済的な面で助けてくれた人の有無								留 B61-1
2184	FNHPCL	経済的な面で助けてくれた人：職場の人								留 B61-2 3
2182	FNHPFF	経済的な面で助けてくれた人：同居家族								留 B61-2 1
2186	FNHPFR	経済的な面で助けてくれた人：友人								留 B61-2 5
2185	FNHPNB	経済的な面で助けてくれた人：近所の人								留 B61-2 4
2188	FNHPOTH	経済的な面で助けてくれた人：その他								留 B61-2 7
2187	FNHPPR	経済的な面で助けてくれた人：専門職の人								留 B61-2 6
2183	FNHPRL	経済的な面で助けてくれた人：その他の家族								留 B61-2 2

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1172	FNINTNL	外国人増加の影響：国際情勢への関心が高まる*				留 A42 11				
1164	FNJCUL	外国人増加の影響：日本文化がそこなわれる*				留 A42 3				
1162	FNLANG	外国人増加の影響：外国語を学ぶ機会*				留 A42 1				
1167	FNLOCAL	外国人増加の影響：地域性の喪失*				留 A42 6				
1168	FNLOPOP	外国人増加の影響：過疎地の活性化*				留 A42 7				
1178	FNNOKNOW	外国人増加の影響：わからない*				留 A42 17				
1177	FNNONE	外国人増加の影響：影響はない*				留 A42 16				
1171	FNPEACE	外国人増加の影響：国際平和*				留 A42 10				
1170	FNPREDN	外国人増加の影響：偏見が弱くなる*				留 A42 9				
1169	FNPREUP	外国人増加の影響：偏見が強くなる*				留 A42 8				
1173	FNSAFE	外国人増加の影響：治安の悪化*				留 A42 12				
1176	FNTAXUP	外国人増加の影響：税負担の増加*				留 A42 15				
1165	FNUNIQ	外国人増加の影響：単一性の喪失*				留 A42 4				
1166	FNVARTY	外国人増加の影響：社会の多様化*				留 A42 5				
1175	FNWKCHN	外国人増加の影響：雇用機会の減少*				留 A42 14				
1174	FNWORK	外国人増加の影響：労働力の補充*				留 A42 13				
5	FORM	留置票の種類				冒頭		冒頭	冒頭	冒頭
1296	FQ4BAG	買物には袋などを持参			留 45G				留 A48C	
1299	FQ4BUS	公共交通機関の利用			留 45J				留 A48B	
1290	FQ4DENKI	電気はこまめに消す			留 45A				留 A48A	
905	FQ4DRIVE	娯楽の頻度：ドライブ			留 23A	留 A29A	留 9A	留 A8A	留 A8A 留 B8A	
903	FQ4FISH	娯楽の頻度：釣り	留 31I	留 30J						
1161	FQ4FNR	外国人に近所で会う機会				留 A40		留 A20	留 B23	
908	FQ4GAME	娯楽の頻度：テレビゲーム			留 23E	留 A29E	留 9E	留 A8E	留 A8E 留 B8E	留 B10A
909	FQ4GREEN	娯楽の頻度：園芸・庭いじり			留 23F	留 A29F	留 9F	留 A8F	留 A8F 留 B8F	
899	FQ4HORSE	娯楽の頻度：競馬	留 31F	留 30G						
893	FQ4IGO	娯楽の頻度：囲碁	留 31B	留 30B	留 23H	留 A29H				
904	FQ4JOG	娯楽の頻度：スポーツ	留 31J	留 30K						
902	FQ4KARA	娯楽の頻度：カラオケ	留 31H	留 30I	留 23B	留 A29B	留 9B	留 A8B	留 A8B 留 B8B	
897	FQ4LOTTO	娯楽の頻度：宝くじ	留 31E	留 30E		留 A29K	留 9H	留 A8H	留 A8H 留 B8H	留 B10C
895	FQ4MAJON	娯楽の頻度：麻雀	留 31C	留 30C	留 23I	留 A29I				
1292	FQ4MEND	故障物は修理して使用			留 45C				留 A48D	
906	FQ4MOVIE	娯楽の頻度：映画鑑賞			留 23C	留 A29C	留 9C	留 A8C	留 A8C 留 B8C	

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
907	FQ4MUSIC	娯楽の頻度：音楽鑑賞			留 23D	留 A29D	留 9D	留 A8D	留 A8D 留 B8D	
896	FQ4NBS	娯楽の頻度：ナンバーズ・ミニロト*	留 31D	留 30D	留 23J	留 A29J				留 B10B
1295	FQ4NOYAK	無農薬や有機栽培の野菜の購入			留 45F				留 A48F	
901	FQ4PACHI	娯楽の頻度：パチンコ・パチスロ	留 31G	留 30H		留 A29N	留 9I	留 A8I	留 A8I 留 B8I	留 B10F
1297	FQ4PACK	包装を簡単にしてもらう			留 45H					
900	FQ4PGAM	娯楽の頻度：公営ギャンブル				留 A29M				留 B10E
788	FQ4PLFAM	政治に関わる情報収集：家族との会話				留 B29E				
789	FQ4PLFRI	政治に関わる情報収集：友人・同僚との会話				留 B29F				
786	FQ4PLMAG	政治に関わる情報収集：雑誌				留 B29C				
784	FQ4PLNP	政治に関わる情報収集：新聞				留 B29A				
785	FQ4PLTV	政治に関わる情報収集：テレビ				留 B29B				
787	FQ4PLWEB	政治に関わる情報収集：インターネット				留 B29D				
1293	FQ4RECYC	再生商品の購入			留 45D				留 A48E	
1294	FQ4REFIL	詰め替え商品の購入			留 45E					
894	FQ4SHGIG	娯楽の頻度：将棋・囲碁					留 9G	留 A8G	留 A8G 留 B8G	
892	FQ4SHOGI	娯楽の頻度：将棋	留 31A	留 30A	留 23G	留 A29G				
1300	FQ4SORT	ゴミは分別して捨てる			留 45K					
1301	FQ4TAIHI	生ゴミを堆肥に			留 45L					
898	FQ4TOTO	娯楽の頻度：サッカーくじ (toto)		留 30F		留 A29L				留 B10D
1298	FQ4USED	リサイクルショップの利用			留 45I					
1291	FQ4WATER	節水の心がけ			留 45B					
814	FQ5NEWSP	新聞を読む頻度	留 1	留 1	留 1	留 A1	留 3	留 A3 留 B3	留 A3 留 B3	留 A3 留 B3
838	FQ5READ	1ヶ月の読書冊数	留 2	留 2	留 2	留 A2	留 2	留 A2 留 B2	留 A2 留 B2	留 A2 留 B2
875	FQ5TRIP	1泊以上の旅行頻度*	留 18	留 17	留 53	留 A61	留 12	留 A6 留 B4	留 A6 留 B6	留 A6
2155	FQ6DCTR	医師の診断を受けた頻度								留 B55
663	FQ7CKDNR	夕食の用意：頻度 (本人)*	留 19C	留 18C	留 11C	留 A11C	留 8C	留 A7C 留 B5A	留 A7C 留 B7C	留 A7C 留 B9C
666	FQ7CLEAN	家の掃除：頻度 (本人)*	留 19F	留 18F	留 11F	留 A11F	留 8F	留 A7F 留 B5D	留 A7F 留 B7F	留 A7F 留 B9F
661	FQ7FFDNR	家族と一緒に夕食：頻度*	留 19A	留 18A	留 11A	留 A11A	留 8A	留 A7A 留 B7A	留 A7A 留 B7A	留 A7A 留 B9A
662	FQ7FRSEE	友人との会食：頻度*	留 19B	留 18B	留 11B	留 A11B	留 8B	留 A7B 留 B7B	留 A7B 留 B7B	留 A7B 留 B9B
667	FQ7GARB	ゴミ出し：頻度 (本人)*			留 11G	留 A11G	留 8G	留 A7G 留 B5E	留 A7G 留 B7G	留 A7G 留 B9G

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1075	FQ7SEX	セックスの頻度	留 53	留 53						
665	FQ7SHOP	買い物：頻度（本人）*	留 19E	留 18E	留 11E	留 A11E	留 8E	留 A7E 留 B5C	留 A7E 留 B7E	留 A7E 留 B9E
664	FQ7WASH	洗濯：頻度（本人）*	留 19D	留 18D	留 11D	留 A11D	留 8D	留 A7D 留 B5B	留 A7D 留 B7D	留 A7D 留 B9D
2026	FQCNVII	国際問題を話す頻度							留 B49	
1139	FQCONVI	近所のコンビニの利用				留 A54				
876	FQDMTRP	旅行頻度：国内旅行								留 B6A
2141	FQEXER	運動頻度								留 B51
1950	FQFDBOX	食産業の利用頻度：弁当						留 B44B		
1951	FQFDFRZN	食産業の利用頻度：惣菜・冷凍食品						留 B44C		
1949	FQFDOUT	食産業の利用頻度：外食						留 B44A		
1947	FQFFDNRE	家族そろった夕食の頻度（EASS 尺度）						留 B42		
1948	FQFFLSR	家族一緒にレジャー活動の頻度						留 B43		
944	FQHSP LZ	通院頻度							留 A15	
912	FQLOT	宝くじ：購入頻度（回数/年）			留 22A					
857	FQMPMAIL	携帯電話でのメール送信の頻度						留 A4-3B	留 A4-3B 留 B4-3B	留 A4-3B
860	FQMPMAIX	携帯電話でのメール送信の頻度（全員）								留 B4B
856	FQMPTALK	携帯電話での通話の頻度						留 A4-3A	留 A4-3A 留 B4-3A	留 A4-3A
859	FQMPTALX	携帯電話での通話の頻度（全員）								留 B4A
998	FQNBAS	町内会での活動頻度								留 A71
877	FQOSTRP	旅行頻度：海外旅行								留 B6B
919	FQPACHI	パチンコ・パチスロ：プレイ頻度（回/年）			留 22D					
858	FQPCMAIL	パソコンでのメール送信の頻度						留 A4-3C	留 A4-3C 留 B4-3C	留 A4-3C
861	FQPCMAIX	パソコンでのメール送信の頻度（全員）								留 B4C
916	FQRACE	公営ギャンブル：頻度（回数/年）			留 22C					
2138	FQSMOKE	現在の喫煙頻度								留 B47-2
921	FQSPORT	定期的に行なうスポーツ：頻度			留 24	留 A26-1	留 10-1	留 A5	留 A5 留 B5	留 A5 留 B5
914	FQTOTO	サッカーくじ：購入頻度（回数/年）			留 22B					
616	FQWDW	配偶者との死別回数	面 31(4)1S	面 32(4)1S	面 36-4 1S					
42	FQWKOFF	連休の回数/年				面 2-2	面 2-3			
608	FQXDIV	離婚回数	面 31(2)1S	面 32(2)1S	面 36-2 1S					
2211	FRLXBATH	心身の癒し：温泉・銭湯・サウナに行く								留 B67A
2215	FRLXEXE	心身の癒し：体操をする								留 B67E
2216	FRLXMSC	心身の癒し：音楽を聴く・歌を歌う								留 B67F
2212	FRLXMSSG	心身の癒し：マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける								留 B67B



No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
2213	FRLXNATR	心身の癒し：自然の中で過ごす								留 B67C
2214	FRLXPET	心身の癒し：ペットと過ごす								留 B67D
2172	FRMDPAY	医療不安：医療費を払えない								留 B59B
2171	FRMDREC	医療不安：必要な時に受けられない								留 B59A
2041	FRNAQCN	外国人の知人の有無：中国							留 B52 1	
2045	FRNAQEP	外国人の知人の有無：ヨーロッパ							留 B52 5	
2046	FRNAQNA	外国人の知人の有無：北アメリカ							留 B52 6	
2048	FRNAQNO	外国人の知人の有無：外国人の知り合いはいない							留 B52 8	
2047	FRNAQOT	外国人の知人の有無：その他の外国							留 B52 7	
2044	FRNAQSA	外国人の知人の有無：東南アジア							留 B52 4	
2042	FRNAQSK	外国人の知人の有無：韓国							留 B52 2	
2043	FRNAQTW	外国人の知人の有無：台湾							留 B52 3	
1993	FRTNCN	子どもの姓名判断の経験							留 B42	
1976	FSTMTSS	配偶者との出会いのきっかけ						留 B57-1		
1325	GMCONC1	遺伝子組換え食品：大豆（大豆加工食品）*					留 27-4			
1326	GMCONC2	遺伝子組換え食品：とうもろこし*					留 27-4			
1327	GMCONC3	遺伝子組換え食品：じゃがいも*					留 27-4			
1328	GMCONC4	遺伝子組換え食品：米*					留 27-4			
1329	GMCONC5	遺伝子組換え食品：麦*					留 27-4			
1330	GMCONC6	遺伝子組換え食品：トマト*					留 27-4			
1331	GMCONC7	遺伝子組換え食品：豆全般・穀類全般*					留 27-4			
1332	GMCONC8	遺伝子組換え食品：野菜全般・その他の青果*					留 27-4			
1333	GMCONC9	遺伝子組換え食品：青果以外*					留 27-4			
791	GVNNAME	知事の認知							留 A45-1	
792	GVNSPRT	知事の支持							留 A45-2	
926	HAATOPI	症状の有無：アトピー性皮膚炎（本人）*			留 32A1	留 A27A1	留 17-1 1	留 B11-1 1		留 B43 1
929	HAFOOD	症状の有無：食物アレルギー（本人）*			留 32A4	留 A27A4	留 17-1 4	留 B11-1 4		留 B43 4
927	HAKAFUN	症状の有無：花粉症（本人）*			留 32A2	留 A27A2	留 17-1 2	留 B11-1 2		留 B43 2
930	HANONE	症状の有無：いずれもない（本人）*			留 32A5	留 A27A5	留 17-1 5	留 B11-1 5		留 B43 5
928	HAZENSOK	症状の有無：ぜんそく（本人）*			留 32A3	留 A27A3	留 17-1 3	留 B11-1 3		留 B43 3
2136	HEIGHT	身長：cm								留 B45
204	HHSIZE	世帯規模（本人含む）_統合*								
956	HLCLGV	健康診断：自治体の健康診断・検診							留 A17 2	
958	HLCNONE	健康診断：どれも受けていない							留 A17 4	
957	HLCOTHR	健康診断：その他に個人的に受けている							留 A17 3	
955	HLCWRKSL	健康診断：職場や学校の健康診断							留 A17 1	
1986	HLPE2CC	世代間の経済的援助：回答者から子ども						留 B65A		
1927	HLPE2PM	世代間の経済的援助：回答者から両親						留 B37-2A		

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1969	HLPE2PML	世代間の経済的援助：回答者から義親						留 B55-2A		
1988	HLPEFCC	世代間の経済的援助：子どもから回答者						留 B66A		
1929	HLPEFPM	世代間の経済的援助：両親から回答者						留 B37-3A		
1971	HLPEFPML	世代間の経済的援助：義親から回答者						留 B55-3A		
1981	HLPMGPM	結婚時の親からの援助						留 B60		
1982	HLPMGPML	結婚時の義親からの援助						留 B61		
1987	HLPP2CC	世代間の実践的援助：回答者から子ども						留 B65B		
1928	HLPP2PM	世代間の実践的援助：回答者から両親						留 B37-2B		
1970	HLPP2PML	世代間の実践的援助：回答者から義親						留 B55-2B		
1989	HLPPFCC	世代間の実践的援助：子どもから回答者						留 B66B		
1930	HLPPFPM	世代間の実践的援助：両親から回答者						留 B37-3B		
1972	HLPPFPML	世代間の実践的援助：義親から回答者						留 B55-3B		
149	HOWJOB	初職の求職方法		面 9(1)(b)	面 17-2					
839	HRTV	テレビ視聴時間	留 3	留 3	留 52	留 A60	留 1	留 A1 留 B1	留 A1 留 B1	留 A1 留 B1
3	IDUSE	調査年度別識別番号	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
1358	IM5BRAND	購入の基準：メーカー名			留 47B					
1360	IM5DESN	購入の基準：色や形の良さ			留 47D					
178	IM5FAMIL	仕事に関する意識：家庭との両立	面 12(i)	面 13(i)	面 20I					
177	IM5FREE	仕事に関する意識：時間的自由	面 12(h)	面 13(h)	面 20H					
1359	IM5FUNC	購入の基準：色々な機能			留 47C					
171	IM5HIPAY	仕事に関する意識：収入	面 12(b)	面 13(b)	面 20B					
174	IM5INDEP	仕事に関する意識：仕事の独立性	面 12(e)	面 13(e)	面 20E					
173	IM5INTRG	仕事に関する意識：興味ある仕事	面 12(d)	面 13(d)	面 20D					
1361	IM5LAST	購入の基準：長持ち			留 47E					
175	IM5OTHER	仕事に関する意識：人のためになる仕事	面 12(f)	面 13(f)	面 20F					
1357	IM5PRICE	購入の基準：値段の安さ			留 47A					
172	IM5PROMO	仕事に関する意識：昇進機会	面 12(c)	面 13(c)	面 20C					
1363	IM5RECYC	購入の基準：再生利用が可能			留 47G					
1362	IM5SAVE	購入の基準：省エネ・省資源			留 47F					
170	IM5SECUR	仕事に関する意識：雇用の安定	面 12(a)	面 13(a)	面 20A					
1364	IM5SERV	購入の基準：アフターサービスが充実			留 47H					
176	IM5SOCTY	仕事に関する意識：社会的有益性	面 12(g)	面 13(g)	面 20G					
1365	IM5TRADE	購入の基準：無料下取りサービス			留 47I					
179	IM5TRG	仕事に関する意識：教育・訓練の機会	面 12(j)	面 13(j)	面 20J					
1446	IMEDCRAM	重要な教育：塾・予備校						留 A57B 留 B23B		
1448	IMEDHRU	重要な教育：高レベルの大学						留 A57D 留 B23D		

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1445	IMEDLSSN	重要な教育：習い事						留 A57A 留 B23A		
1447	IMEDUNIV	重要な教育：大学						留 A57C 留 B23C		
1064	IMOALON	高齢期に重要な活動：一人の時間					留 63I			
1057	IMOACOM	高齢期に重要な活動：地域活動					留 63B			
1058	IMOACRCL	高齢期に重要な活動：文化・スポーツサークル					留 63C			
1062	IMOAFF	高齢期に重要な活動：家族・親族との時間					留 63G			
1063	IMOAFRI	高齢期に重要な活動：友人との時間					留 63H			
1061	IMOALRN	高齢期に重要な活動：読書・学習・研究					留 63F			
1060	IMOALSR	高齢期に重要な活動：娯楽・レジャー					留 63E			
1059	IMOAVLTR	高齢期に重要な活動：ボランティア					留 63D			
1056	IMOAWORK	高齢期に重要な活動：仕事					留 63A			
1066	IMORCC	高齢期に重要な関係：子ども					留 64B			
1068	IMORCCG	高齢期に重要な関係：孫					留 64D			
1073	IMORCOM	高齢期に重要な関係：近所の人					留 64I			
1072	IMORFRCC	高齢期に重要な関係：団体・サークルの友人					留 64H			
1071	IMORFRSC	高齢期に重要な関係：学校時代の友人					留 64G			
1070	IMORFRWK	高齢期に重要な関係：仕事関係の友人					留 64F			
1069	IMORPAR	高齢期に重要な関係：親					留 64E			
1074	IMORPET	高齢期に重要な関係：ペット					留 64J			
1067	IMORSIB	高齢期に重要な関係：きょうだい					留 64C			
1065	IMORSS	高齢期に重要な関係：配偶者					留 64A			
1998	IMPQTCLT	重視する友人の特長：教養がある							留 B44D	
1995	IMPQTHS	重視する友人の特長：正直である							留 B44A	
1997	IMPQTITG	重視する友人の特長：頭がよい							留 B44C	
2001	IMPQTLYL	重視する友人の特長：忠実である							留 B44G	
1999	IMPQTPWF	重視する友人の特長：権力がある							留 B44E	
1996	IMPQTRSP	重視する友人の特長：責任感がある							留 B44B	
2000	IMPQTWLT	重視する友人の特長：裕福である							留 B44F	
2002	IMPQTRWM	重視する友人の特長：思いやりがある							留 B44H	
880	IMTRPCUL	旅行で重視すること：旅行先の文化にふれる*								留 B8 1
883	IMTRPEX	旅行で重視すること：刺激的な経験をする*								留 B8 4
887	IMTRPFRE	旅行で重視すること：自由気ままに過ごす*								留 B8 8
891	IMTRPHSP	旅行で重視すること：温泉がある*								留 B8 10S
886	IMTRPNAT	旅行で重視すること：自然を楽しむ*								留 B8 7
890	IMTRPNON	旅行で重視すること：特にない*								留 B8 11
889	IMTRPOTH	旅行で重視すること：その他*								留 B8 10
881	IMTRPPPL	旅行で重視すること：旅行先で人々とふれ合う*								留 B8 2

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
888	IMTRPREF	旅行で重視すること：自分自身を見つめなおす*								留 B8 9
882	IMTRPREL	旅行で重視すること：家族や友人との関係を深める*								留 B8 3
884	IMTRPSHP	旅行で重視すること：買い物や食事を楽しむ*								留 B8 5
885	IMTRPSTR	旅行で重視すること：ストレスを解消する*								留 B8 6
110	INCFAM	現在の収入源：他の家族の収入(全員)*			面 16-1 4	面 14-1 4	面 18-1 4	面 27-1 4	面 37-1 4	面 36-1 4
115	INCIRR	現在の収入源：不定期的な仕事(全員)*			面 16-1 9	面 14-1 9	面 18-1 9	面 27-1 9	面 37-1 9	面 36-1 9
119	INCMAIN	現在の収入源：中心となるもの(全員)*			面 16-2	面 14-2	面 18-2	面 27-2	面 37-2	面 36-2
117	INCNOKN	現在の収入源：わからない(全員)*			面 16-1 11	面 14-1 11	面 18-1 11	面 27-1 11	面 37-1 11	面 36-1 11
116	INCOTHER	現在の収入源：その他(全員)*			面 16-1 10	面 14-1 10	面 18-1 10	面 27-1 10	面 37-1 10	面 36-1 10
109	INCPAR	現在の収入源：親の収入(全員)*			面 16-1 3	面 14-1 3	面 18-1 3	面 27-1 3	面 37-1 3	面 36-1 3
111	INCPEN	現在の収入源：年金(全員)*			面 16-1 5	面 14-1 5	面 18-1 5	面 27-1 5	面 37-1 5	面 36-1 5
118	INCRENT	現在の収入源：賃貸料所得(全員)*								面 36-1 10S
113	INCSAVE	現在の収入源：貯蓄(全員)*			面 16-1 7	面 14-1 7	面 18-1 7	面 27-1 7	面 37-1 7	面 36-1 7
107	INCSELF	現在の収入源：自分の収入(全員)*			面 16-1 1	面 14-1 1	面 18-1 1	面 27-1 1	面 37-1 1	面 36-1 1
114	INCSOC	現在の収入源：社会福祉(全員)*			面 16-1 8	面 14-1 8	面 18-1 8	面 27-1 8	面 37-1 8	面 36-1 8
108	INCSP	現在の収入源：配偶者の収入(全員)*			面 16-1 2	面 14-1 2	面 18-1 2	面 27-1 2	面 37-1 2	面 36-1 2
112	INCUEB	現在の収入源：失業保険(全員)*			面 16-1 6	面 14-1 6	面 18-1 6	面 27-1 6	面 37-1 6	面 36-1 6
125	INFAMILY	現在の収入源：配偶者・親以外の家族の収入(仕事をしていない人)*	面 8 6	面 8 6						
2220	INFCFLU	インフルエンザ感染の有無								留 B71
1980	INFLPMMG	結婚の決定への親の影響力						留 B59		
127	INIRREG	現在の収入源：不定期的な仕事(仕事をしていない人)*	面 8 8	面 8 8						
129	INNOKNOW	現在の収入源：わからない(仕事をしていない人)*	面 8 10	面 8 10						
128	INOTHER	現在の収入源：その他(仕事をしていない人)*	面 8 9	面 8 9						
124	INPARENT	現在の収入源：親の収入(仕事をしていない人)*	面 8 5	面 8 5						
120	INPEN	現在の収入源：年金(仕事をしていない人)*	面 8 1	面 8 1						
122	INSAVING	現在の収入源：貯蓄(仕事をしていない人)*	面 8 3	面 8 3						
126	INSOCSEC	現在の収入源：社会福祉(仕事をしていない人)*	面 8 7	面 8 7						
123	INPOUSE	現在の収入源：配偶者の収入(仕事をしていない人)*	面 8 4	面 8 4						
1200	INTDEXP	外国との取り引き：外国に輸出している							面 17 2	
1199	INTDIMP	外国との取り引き：外国から輸入している							面 17 1	
1202	INTDNEX	外国との取り引き：外国とのやり取りは何もない							面 17 4	
1201	INTDPRD	外国との取り引き：外国で生産している							面 17 3	
1248	INTFLANG	興味がある外国語*						留 A19		
121	INUEB	現在の収入源：失業保険(仕事をしていない人)*	面 8 2	面 8 2						
2083	JOBFCAP	主な勤め先の種類：外資系企業							留 B63	
2084	JOBNPO	主な勤め先の種類：公益的団体							留 B64	留 B31
73	JOINUNI	労働組合加入の有無*	面 1(16)(b)	面 1(16)(b)	面 6	面 8	面 10-2	面 12	面 12	面 12

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1314	KNOWGMO	遺伝子組換え食品の知識					留 27-1			
1486	KWCOUNSL	カウンセリングの知識					留 24			
1323	KWGMCONC	思い浮かぶ遺伝子組換え食品の有無					留 27-3			
1044	LACLN	地域活動：清掃活動						留 A61-1 1		
1048	LADK	地域活動：わからない						留 A61-1 5		
1047	LANONE	地域活動：いずれも行なわれていない						留 A61-1 4		
1046	LAPTRL	地域活動：パトロール						留 A61-1 3		
1045	LARCYC	地域活動：リサイクル品の回収						留 A61-1 2		
1053	LKLOCAL	現在の居住地域への愛着				留 A50				
1457	LMTCCBH	子どものしつけ：行動制限							留 A59-1	
2210	LONELY	孤独感								留 B66C
2173	LSCON	心配事を聞いてくれた人の有無								留 B60-1
2176	LSCONCL	心配事を聞いてくれた人：職場の人								留 B60-2 3
2174	LSCONFF	心配事を聞いてくれた人：同居家族								留 B60-2 1
2178	LSCONFR	心配事を聞いてくれた人：友人								留 B60-2 5
2177	LSCONNB	心配事を聞いてくれた人：近所の人								留 B60-2 4
2180	LSCONOTH	心配事を聞いてくれた人：その他								留 B60-2 7
2179	LSCONPR	心配事を聞いてくれた人：専門職の人								留 B60-2 6
2175	LSCONRL	心配事を聞いてくれた人：その他の家族								留 B60-2 2
1985	LVTGCC18	子どもとの同居						留 B64		
2149	MBDEXE	体型管理：運動								留 B53-3 1
2150	MBDFD	体型管理：食事の量や質のコントロール								留 B53-3 2
2153	MBDNONE	体型管理：特に何も行っていない								留 B53-3 5
2152	MBDOTH	体型管理：その他								留 B53-3 4
2151	MBDSUPP	体型管理：サプリメントの摂取								留 B53-3 3
990	MEMCIVIL	組織への所属：市民運動のグループ	留 30D	留 29D	留 15D	留 B21D	留 60D	留 A66D	留 A67 留 B39	留 A69D 留 B29D
996	MEMCOOP	組織への所属：生協				留 A20A			留 A67 留 B39	留 A69H 留 B29H
994	MEMHOBBY	組織への所属：趣味の会	留 30G	留 29G	留 15G	留 A20C 留 B21G	留 11-1	留 A66G	留 A67 留 B39	留 A69G 留 B29G
988	MEMIND	組織への所属：業界団体	留 30B	留 29B	留 15B	留 B21B	留 60B	留 A66B	留 A67 留 B39	留 A69B 留 B29B
997	MEMNBAS	町内会加入の有無								留 A70
987	MEMPLTGP	組織への所属：政治団体	留 30A	留 29A	留 15A	留 B21A	留 60A	留 A66A	留 A67 留 B39	留 A69A 留 B29A
991	MEMRL	組織への所属：宗教の団体や会	留 30E	留 29E	留 15E	留 A20B 留 B21E	留 60E	留 A66E	留 A67 留 B39	留 A69E 留 B29E
992	MEMSPORT	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	留 30F	留 29F	留 15F	留 B21F	留 60F	留 A66F	留 A67 留 B39	留 A69F 留 B29F

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
989	MEMVLNTR	組織への所属：ボランティアのグループ	留 30C	留 29C	留 15C	留 B21C	留 60C	留 A66C	留 A67 留 B39	留 A69C 留 B29C
399	MMAGE	母親：年齢*					面 24-2	面 31A	面 31-2	面 30-2
404	MMCNTA	母親：接触頻度（直接）						面 31F		
405	MMCNTB	母親：接触頻度（間接）						面 31G		
1456	MMDCPL15	15歳の頃の母親のしつけ							面 43	
403	MMDIST	母親：家までの距離						面 31E		
401	MMFAM	母親：同居者*						面 31C		
1932	MMHLTH	母親：健康状態						留 B37-4		
640	MMJBTP15	15歳の頃の母：就労地位*	面 26	面 27	面 31	面 24	面 34	面 41	面 47	面 45
402	MMJOB	母親：就労の有無*						面 31D	面 31-4	面 30-4
570	MMLAGE	義母：年齢*						面 31A		
575	MMLCNTA	義母：接触頻度（直接）						面 31F		
576	MMLCNTB	義母：接触頻度（間接）						面 31G		
574	MMLDIST	義母：家までの距離						面 31E		
572	MMLFAM	義母：同居者*						面 31C		
1974	MMLHLTH	義母：健康状態						留 B55-4		
573	MMLJOB	義母：就労の有無*						面 31D		
569	MMLLVTG	義母：同居・生死						面 30A		
571	MMLMG	義母：結婚状況*						面 31B		
644	MMLSTSCH	最終学校（母親）*	面 27	面 28	面 32	面 25	面 36	面 42	面 48	面 46
398	MMLVTG	母親：同居・生死*					面 24-1	面 30A	面 31-1	面 30-1
400	MMMGM	母親：結婚状況*						面 31B	面 31-3	面 30-3
11	MONTH	面接完了日：月*	F	F	F	F	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
7	MONTHB	留置回収完了日：月					冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
1422	MSBASIC	学校の意義：基礎的な知識*			留 29 1					
1432	MSETC	学校の意義：その他*			留 29 11					
1429	MSFINDJB	学校の意義：就職が有利*			留 29 8					
1427	MSFRIEND	学校の意義：友達づくり*			留 29 6					
1431	MSFRTIME	学校の意義：自由な時間を利用できた*			留 29 10					
1435	MSHUMAN	学校の意義：人間関係・社会性*			留 29 11S					
1424	MSJSKILL	学校の意義：仕事に必要な技能*			留 29 3					
1436	MSMENTAL	学校の意義：精神的成長*			留 29 11S					
1433	MSNONE	学校の意義：特になかった*			留 29 12					
2014	MSPRFCL	好きな音楽：クラシック音楽							留 B47A	
2018	MSPRFENK	好きな音楽：演歌							留 B47E	
2016	MSPRFJZ	好きな音楽：ジャズ・ブルース							留 B47C	
2017	MSPRFPOP	好きな音楽：ポピュラー音楽							留 B47D	

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
2015	MSPRFRC	好きな音楽：ロック							留 B47B	
1425	MSQUALF	学校の意義：学歴や資格*			留 29 4					
1423	MSSPEC	学校の意義：専門的な知識*			留 29 2					
1434	MSSPORT	学校の意義：スポーツ・部活動*			留 29 11S					
1430	MSSPOUSE	学校の意義：配偶者との出会い*			留 29 9					
1426	MSTALENT	学校の意義：自分の才能*			留 29 5					
1428	MSTEACHR	学校の意義：先生から生き方を学ぶ*			留 29 7					
1324	NGMCONC	思い浮かぶ遺伝子組換え食品の個数					留 27-4			
2112	NOFUTR	希望のなさ：将来の希望が持てない								留 B41A
2113	NOGOAL	希望のなさ：目標は達成できない								留 B41B
832	NPAKAHAT	購読新聞：赤旗*			留 44 18	留 A38 18	留 4 18			
815	NPASAH	購読新聞：朝日*			留 44 1	留 A38 1	留 4 1			
827	NPCHUNI	購読新聞：中日新聞*			留 44 13	留 A38 13	留 4 13			
822	NPDAYSP	購読新聞：デイリースポーツ*			留 44 8	留 A38 8	留 4 8			
834	NPETC	購読新聞：その他*			留 44 20	留 A38 20	留 4 20			
835	NPETCX1	購読新聞：その他：具体的記述（1番目）			留 44 20S	留 A38 20S	留 4 20S			
836	NPETCX2	購読新聞：その他：具体的記述（2番目）			留 44 20S	留 A38 20S	留 4 20S			
831	NPFUJI	購読新聞：夕刊フジ*			留 44 17	留 A38 17	留 4 17			
830	NPGENDAI	購読新聞：日刊ゲンダイ*			留 44 16	留 A38 16	留 4 16			
825	NPHOKKAI	購読新聞：北海道新聞*			留 44 11	留 A38 11	留 4 11			
824	NPHOUCHI	購読新聞：報知*			留 44 10	留 A38 10	留 4 10			
829	NPJAPAN	購読新聞：Japan Times*			留 44 15	留 A38 15	留 4 15			
818	NPMAINI	購読新聞：毎日*			留 44 4	留 A38 4	留 4 4			
817	NPNIKKEI	購読新聞：日経*			留 44 3	留 A38 3	留 4 3			
823	NPNIKSP	購読新聞：日刊スポーツ*			留 44 9	留 A38 9	留 4 9			
837	NPNONE	購読新聞：ない*					留 4 21			
816	NPSANKEI	購読新聞：産経*			留 44 2	留 A38 2	留 4 2			
820	NPSANSP	購読新聞：サンケイスポーツ*			留 44 6	留 A38 6	留 4 6			
833	NPSEIKYO	購読新聞：聖教新聞*			留 44 19	留 A38 19	留 4 19			
821	NPSPNIP	購読新聞：スポーツニッポン*			留 44 7	留 A38 7	留 4 7			
826	NPTOKYO	購読新聞：東京新聞*			留 44 12	留 A38 12	留 4 12			
828	NPWESTJP	購読新聞：西日本新聞*			留 44 14	留 A38 14	留 4 14			
819	NPYOMIUR	購読新聞：読売*			留 44 5	留 A38 5	留 4 5			
1399	NUMCARD	クレジットカードの所有枚数					留 49-1			
1412	NUMCONSF	消費者金融の利用回数					留 51-1			
1952	NUMMARRY	結婚の回数						留 B45 1S		
917	NUMRACE	公営ギャンブル：平均レース数 / 1日			留 22CS(1)					
2019	NUMSXENT	外国で性風俗の娯楽を経験した知人の数							留 B48-1	

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
2087	NYGRTFA	正月に新年の挨拶を交わした人の数：家族・親族							留 B66-2	
2086	NYGRTOT	正月に新年の挨拶を交わした人の数：家族・親族以外							留 B66-1	
767	OBUSINS	現在の日本の景気の判断				留 B17				
730	OCOMMPOK	政権担当能力政党：共産党*	面 15 5	面 16 5	面 22-4 5	留 B23 5		留 A48 4	留 A47 4	留 A46 4
2096	OCPAGFF	交流のある知人の職業：農林漁業従事者							留 B67	
2094	OCPLCRC	交流のある知人の職業：事務的職業							留 B67	
2097	OCPCRFT	交流のある知人の職業：技能工・職人							留 B67	
2099	OCPELEM	交流のある知人の職業：特に熟練を要しない簡易な職業							留 B67	
2090	OCPLGSR	交流のある知人の職業：議員・上級公務員・自治体幹部							留 B67	
2091	OCPMNGR	交流のある知人の職業：管理職							留 B67	
2098	OCPMNOP	交流のある知人の職業：簡単な機械や乗り物の操作をする職業							留 B67	
2092	OCPPRO	交流のある知人の職業：専門職							留 B67	
2095	OCPSALE	交流のある知人の職業：サービスの職業・販売的職業							留 B67	
2093	OCPTECH	交流のある知人の職業：技術支援職・専門補佐職							留 B67	
728	ODPOK	政権担当能力政党：民主党*	面 15 2	面 16 2	面 22-4 2	留 B23 2		留 A48 2	留 A47 2	留 A46 2
741	OHOSHUOK	政権担当能力政党：保守党（保守新党）*	面 15 7	面 16 7	面 22-4 7	留 B23 7				
766	OKOIZUM	小泉政権への評価				留 B16				
736	OKOKUMOK	政権担当能力政党：国民新党*								留 A46 6S
729	OKOMEIOK	政権担当能力政党：公明党*	面 15 3	面 16 3	面 22-4 3	留 B23 3		留 A48 3	留 A47 3	留 A46 3
737	OKOUFUOK	政権担当能力政党：幸福実現党*								留 A46 6S
727	OLDPOK	政権担当能力政党：自民党*	面 15 1	面 16 1	面 22-4 1	留 B23 1		留 A48 1	留 A47 1	留 A46 1
740	OLPOK	政権担当能力政党：自由党*	面 15 4	面 16 4	面 22-4 4					
735	OMINNAOK	政権担当能力政党：みんなの党*								留 A46 6S
768	ONATIND	社会と個人の利益のバランスについての意見				留 B25				
733	ONOPLPOK	政権担当能力政党：ない*	面 15 9	面 16 9	面 22-4 9	留 B23 9		留 A48 7	留 A47 7	留 A46 7
732	OOTHEROK	政権担当能力政党：その他の政党*	面 15 8	面 16 8	面 22-4 8	留 B23 8		留 A48 6	留 A47 6	留 A46 6
802	OP10LVL	自分の位置する階層*	面 13	面 14	面 21	面 17	面 20	面 28	面 38	面 37
701	OP2GNR	三世代同居観	留 12	留 12	留 10	留 A10	留 55	留 B30	留 A63	留 A62
804	OP3ECN3A	家計状態の変化	留 4	留 4	留 3	留 A3 留 B10	留 31	留 A27	留 A26	留 A27 留 B17
1081	OP3JVLWY	少年法改正の賛否	留 15			留 A28			留 A38	
83	OP3NEWJB	再就労の容易さ*	面 1(19)	面 1(19)	面 7-3	面 9-2	面 15	留 A26-4	面 16	面 16
970	OP3TRUST	人間観（一般）：人は信用できる	留 27	留 26	留 13	留 A13	留 56	留 A64	留 A65 留 B37	留 A67
969	OP3UTILS	人間観（一般）：他人を利用する	留 26	留 25						
1437	OP4EDABI	教育観：学歴は本人の実力による			留 30A					
1439	OP4EDECN	教育観：学歴は経済的状況による			留 30C					
1441	OP4EDHI	教育観：子どもには、できるだけ高い学歴を			留 30E					



No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1440	OP4EDINC	教育観：高い学歴は収入面に恵まれる			留 30D			留 A58B 留 B24B		
1443	OP4EDJOB	教育観：高い学歴で希望職に就ける						留 A58A 留 B24A		
1444	OP4EDMG	教育観：高い学歴でよい結婚ができる						留 A58C 留 B24C		
1438	OP4EDPAR	教育観：学歴は親の教育方針による			留 30B					
1442	OP4EDUNI	教育観：どの大学かで人生が左右			留 30F					
694	OP4NAME	夫婦別姓意識	留 41	留 40	留 19	留 A18		留 B39		留 A64
2197	OP4TRUST	人への信頼感								留 B63
82	OP4UNEMP	失業の可能性*	面 1(18)	面 1(18)	面 7-2	面 9-1	面 14	留 A26-3	面 15	面 15
745	OP5CCARE	国か個人か：保育・育児			留 12D	留 A12D	留 38D	留 A34D	留 A34D	留 A35D 留 B23D
744	OP5CCED	国か個人か：子どもの教育			留 12C	留 A12C	留 38C	留 A34C	留 A34C	留 A35C 留 B23C
1908	OP5CCEDE	国か家族か：子どもの教育費（EASS 尺度）						留 B22C		
1909	OP5CCREE	国か家族か：保育・育児（EASS 尺度）						留 B22D		
807	OP5CHNCA	生活水準向上機会の有無	留 7	留 7	留 6	留 A6 留 B11	留 34	留 A31	留 A30 留 B18	留 A31 留 B20
805	OP5FFINX	世帯収入のレベル	留 5	留 5	留 4	留 A4	留 32	留 A28 留 B18	留 A27 留 B15	留 A28 留 B18
872	OP5HAPPE	幸福度（EASS 尺度）							留 B12	留 B13
870	OP5HAPPZ	幸福度	留 61	留 61	留 41	留 A37	留 66	留 A14	留 A14	留 A13
924	OP5HLTHE	健康状態（本人）（EASS 尺度）						留 B10		
923	OP5HLTHZ	健康状態（本人）	留 10	留 10	留 8	留 A8 留 B9	留 16	留 A9	留 A9 留 B9	留 A8
1083	OP5JUDGE	最近の判決について	留 17	留 16						留 A43
803	OP5LEVK	階層帰属意識	留 11	留 11	留 9	留 A9 留 B14	留 36	留 A33 留 B21	留 A32 留 B19	留 A33 留 B21
747	OP5LGGOZ	政府の役割範囲	留 21	留 20					留 A41	
762	OP5PENSX	自分の年金額予想	留 58	留 58	留 38	留 A34	留 35	留 A32	留 A31	留 A32
763	OP5RADCA	政治意識（保革 5 段階）	留 59	留 59	留 39	留 A35	留 39	留 A35 留 B26	留 A35 留 B20	留 A36 留 B24
660	OP5SCHPF	中学 3 年生の頃の成績*	面 30	面 31	面 33-3				留 A29 留 B17	留 A30
1907	OP5SRMDE	国か家族か：高齢者の医療・介護（EASS 尺度）						留 B22B		
743	OP5SRMDY	国か個人か：高齢者の医療・介護	留 20B	留 19B	留 12B	留 A12B	留 38B	留 A34B	留 A34B	留 A35B 留 B23B
1906	OP5SRWFE	国か家族か：高齢者の生活保障（EASS 尺度）						留 B22A		
742	OP5SRWfy	国か個人か：高齢者の生活保障	留 20A	留 19A	留 12A	留 A12A	留 38A	留 A34A	留 A34A	留 A35A 留 B23A
761	OP6TAXHI	所得税の負担感	留 25	留 24	留 58	留 A63	留 40	留 A36	留 A36	留 A37

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
702	OP7CMTRA	自分の墓について	留 42	留 42						留 A63-1
971	OP7GDEVO	人間観（一般）：人間の本性	留 28	留 27	留 14	留 A14	留 57	留 A65	留 A66 留 B38	留 A68
764	OP7RADCZ	政治意識（保革 7 段階）				留 B18				
1129	OPACCAM	防犯対策への意見：路上カメラ						留 A53A		
1132	OPACINET	防犯対策への意見：インターネットの監視						留 A53D		
1131	OPACPTRL	防犯対策への意見：住民パトロール						留 A53C		
1130	OPACSEXC	防犯対策への意見：性犯罪者の住所公表						留 A53B		
1196	OPADDIPL	開発援助：外交に応じて調整すべき						留 A38F		
1194	OPADEXP	開発援助：日本人への説明が不十分						留 A38D		
1193	OPADFIN	開発援助：財政状況に応じて減らすべき						留 A38C		
1195	OPADINFO	開発援助：現地人への伝達が不十分						留 A38E		
1192	OPADOBL	開発援助：援助は義務						留 A38B		
1191	OPADVITL	開発援助：援助は不可欠						留 A38A		
1086	OPAMND9	憲法 9 条改正への意見						留 A43-1		
799	OPATDS	政策への意見：配偶者控除の廃止								留 A52G
1355	OPCARACC	自動車への意見：事故を起こしやすい					留 14E			
1354	OPCARCST	自動車への意見：費用が高すぎる					留 14D			
1351	OPCARDLF	自動車への意見：日常生活に支障					留 14A			
1353	OPCARDRV	自動車への意見：ドライブの楽しみ					留 14C			
1356	OPCARECO	自動車への意見：環境汚染が心配					留 14F			
1352	OPCARFLD	自動車への意見：行動範囲が狭くなる					留 14B			
910	OPCASINO	カジノ合法化の賛否			留 59	留 A64			留 B28	
793	OPCCMON	政策への意見：子ども手当								留 A52A
695	OPCCSNM	夫婦別姓のもとでの子どもの名字への意見								留 A65
1398	OPCDCM	クレジットカードへの意見：宣伝を制限					留 48D			
1397	OPCDCRM	クレジットカードへの意見：犯罪に利用される					留 48C			
1396	OPCDOVER	クレジットカードへの意見：使いすぎる					留 48B			
1395	OPCDUSFL	クレジットカードへの意見：便利					留 48A			
1085	OPCJDTH	裁判員制度：死刑をためらう								留 A59
1084	OPCJSYS	裁判員制度：制度への賛否								留 A58
1474	OPCLUBT	クラブ活動への教員の立会い				留 A23				
182	OPCNGJB	転職・勤続への意見					面 19			
800	OPCNSMTX	適切な消費税率への意見								留 A53
796	OPCO2EM	政策への意見：二酸化炭素排出量削減								留 A52D
1411	OPCSCM	消費者金融への意見：宣伝を制限					留 50D			
1410	OPSCRM	消費者金融への意見：犯罪に利用される					留 50C			
1409	OPCSOVER	消費者金融への意見：使いすぎる					留 50B			

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1408	OPCSUSFL	消費者金融への意見：便利					留 50A			
2071	OPDMGCLT	意見への賛否：固有の文化への損害							留 B58C	
1944	OPDVCNT	離婚後の子どもへの意見：両親と接触						留 B41A		
1946	OPDVSGL	離婚後の子どもへの意見：ひとり親						留 B41C		
1945	OPDVSTEP	離婚後の子どもへの意見：連れ子						留 B41B		
1450	OPEDMND	心の教育への意見					留 25			
700	OPEMPIC	長子天皇への賛否						留 A46		
698	OPEMPF	女性天皇への賛否						留 A44		
699	OPEMPFL	女系天皇への賛否						留 A45		
1250	OPEUSOC	趣味や人づきあいでの英語の必要性								留 A20
1249	OPEUWK	仕事での英語の必要性								留 A19
1449	OPEXED	教育費支出のレベル						留 A30 留 B19		
806	OPFFIX15	15歳の頃の世帯収入レベル	留 6	留 6	留 5	留 A5	留 33	留 A29 留 B20	留 A28 留 B16	留 A29 留 B19
2068	OPFRNBRD	意見への賛否：外国人花嫁増加							留 B57	
2069	OPFRNPRD	意見への賛否：外国製品の輸入制限							留 B58A	
2067	OPFRNWRK	意見への賛否：外国人労働者増加							留 B56	
2075	OPGLBCNS	グローバル化の賛否：日本の消費者にとって							留 B59D	
2072	OPGLBECN	グローバル化の賛否：日本の経済にとって							留 B59A	
2074	OPGLBENV	グローバル化の賛否：日本の環境にとって							留 B59C	
2076	OPGLBJBO	グローバル化の賛否：あなた自身の雇用機会・雇用安定にとって							留 B59E	
2077	OPGLBLIF	グローバル化の賛否：あなた自身の消費生活にとって							留 B59F	
2073	OPGLBWRK	グローバル化の賛否：日本人の雇用機会にとって							留 B59B	
1319	OPGMEAT	遺伝子組換え食品への意見：食べてもよい					留 27-2E			
1322	OPGMHOW	遺伝子組換え食品への意見：どのようにしてできるか					留 27-2H			
1318	OPGMNTRL	遺伝子組換え食品への意見：自然なもの					留 27-2D			
1315	OPGMSAFE	遺伝子組換え食品への意見：安全					留 27-2A			
1320	OPGMSPRD	遺伝子組換え食品への意見：社会への普及					留 27-2F			
1316	OPGMUSER	遺伝子組換え食品への意見：自分にとって有益					留 27-2B			
1317	OPGMUSES	遺伝子組換え食品への意見：社会にとって有益					留 27-2C			
1321	OPGMWHAT	遺伝子組換え食品への意見：どのようなものがあるか					留 27-2G			
790	OPGVNTM	知事の任期への意見							留 A44	
794	OPHGSCH	政策への意見：高校無償化								留 A52B
795	OPHGWAY	政策への意見：高速道路無料化								留 A52C
1911	OPISMM	世代間援助への意見：既婚男性から自分の親						留 B31A		
1915	OPISMMSS	世代間援助への意見：既婚男性から妻の親						留 B33A		
1912	OPISMW	世代間援助への意見：既婚女性から自分の親						留 B31B		

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1916	OPISMWSS	世代間援助への意見：既婚女性から夫の親						留 B33B		
1913	OPISUM	世代間援助への意見：未婚男性から自分の親						留 B32A		
1914	OPISUW	世代間援助への意見：未婚女性から自分の親						留 B32B		
1144	OPJVECN	少年犯罪の原因への意見：経済的な格差					留 26E			
1141	OPJVFF	少年犯罪の原因への意見：家庭環境					留 26B			
1143	OPJVLAW	少年犯罪の原因への意見：法律制度					留 26D			
1140	OPJVMNTL	少年犯罪の原因への意見：心理状態					留 26A			
1142	OPJVSCHL	少年犯罪の原因への意見：学校での生活環境					留 26C			
771	OPLCANT	政治へのイメージ：なるようにしかならないもの				留 B26C				
772	OPLNOREL	政治へのイメージ：できればかかわりたくない				留 B26D				
734	OPLPDONT	政権担当能力政党：わからない*	面 15 10	面 16 10	面 22-4 10	留 B23 10		留 A48 8	留 A47 8	留 A46 8
769	OPLSELF	政治へのイメージ：自分から働きかけるもの				留 B26A				
770	OPLWATCH	政治へのイメージ：監視していくもの				留 B26B				
801	OPMNFST	マニフェストの遵守への意見								留 A54
797	OPMNBWG	政策への意見：最低賃金の引き上げ								留 A52E
2207	OPNBASS	近隣状況：手助けしてくれる								留 B65F
2202	OPNBEXE	近隣状況：運動に適している								留 B65A
2203	OPNBFD	近隣状況：新鮮な果物や野菜が手に入る								留 B65B
2206	OPNBMTCN	近隣状況：互いに気にかけている								留 B65E
2204	OPNBPF	近隣状況：公共施設が整っている								留 B65C
2205	OPNBSAFE	近隣状況：安心して生活できる								留 B65D
2070	OPNTLINT	意見への賛否：自国の国益追求							留 B58B	
1079	OPPORNK	ボルノ：社会道徳	留 51	留 51					留 B32	
1917	OPPPCARE	老親の世話の責任						留 B34		
1288	OPPTCALM	ペットへの意見：気持ちがあごむ						留 B8B		
1289	OPPTKILL	ペットへの意見：安楽死						留 B8C		
1287	OPPTREG	ペットへの意見：厳しく規制						留 B8A		
722	OPSCD	自殺への意見						留 A55		
721	OPSCDIN	インターネット自殺への意見						留 A54		
798	OPSWST	政策への意見：同一労働同一賃金								留 A52F
1251	OPTEED	英語教育の開始学年への意見								留 A21
2154	OPWGHT	現在の体重に対する意識								留 B54
183	OPWSLPW	職場の連帯感：私の職場								留 B33A
184	OPWSLRES	職場の連帯感：私自身								留 B33B
731	OSDPOK	政権担当能力政党：社民党*	面 15 6	面 16 6	面 22-4 6	留 B23 6		留 A48 5	留 A47 5	留 A46 5
739	OSHINTOK	政権担当能力政党：新党日本*								留 A46 6S
716	OSUBMOM	代理母出産への賛否				留 A62				
738	OTACHIOK	政権担当能力政党：たちあがれ日本*								留 A46 6S

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
2189	OTHP	その他の手助けをしてくれた人の有無								留 B62-1
2192	OTHPCL	その他の手助けをしてくれた人：職場の人								留 B62-2 3
2190	OTHPFF	その他の手助けをしてくれた人：同居家族								留 B62-2 1
2194	OTHPFR	その他の手助けをしてくれた人：友人								留 B62-2 5
2193	OTHPNB	その他の手助けをしてくれた人：近所の人								留 B62-2 4
2196	OTHPOTH	その他の手助けをしてくれた人：その他								留 B62-2 7
2195	OTHPPR	その他の手助けをしてくれた人：専門職の人								留 B62-2 6
2191	OTHPRL	その他の手助けをしてくれた人：その他の家族								留 B62-2 2
748	OWELFTAX	福祉と税負担のバランスについての意見				留 B24			留 A42	留 A39
27	OWNHOUSE	居住形態：持ち家					留 28-1	留 A23-1 留 B16-1	留 A23-1 留 B13-1	留 A23-1 留 B14-1
2209	PCMIND	心のゆとり感								留 B66B
2089	PINTDFA	ふだんの1日に接する人の数：家族・親族							留 B66-4	
2088	PINTDOT	ふだんの1日に接する人の数：家族・親族以外							留 B66-3	
1926	PMDTH	両親の存否						留 B37-1		
1968	PMLDTH	義親の存否						留 B55-1		
391	PPAGE	父親：年齢*					面 24-2	面 31A	面 31-2	面 30-2
396	PPCNTA	父親：接触頻度（直接）						面 31F		
397	PPCNTB	父親：接触頻度（間接）						面 31G		
1455	PPDCPL15	15歳の頃の父親のしつけ							面 43	
395	PPDIST	父親：家までの距離						面 31E		
393	PPFAM	父親：同居者*						面 31C		
1931	PPHLTH	父親：健康状態						留 B37-4		
639	PPJBSZ15	15歳の頃の父：企業規模*	面 25(3)	面 26(3)	面 30-3	面 23-3	面 33-3	面 40	面 46	面 44
635	PPJBT15	15歳の頃の父：就労形態						面 38-1	面 44-1	面 42-1
636	PPJBT15P	15歳の頃の父：役職						面 38-2	面 44-2	面 42-2
634	PPJBTP15	15歳の頃の父：就労地位*	面 25(1)	面 26(1)	面 30-1	面 23-1	面 33-1			
637	PPJBXX15	15歳の頃の父：職種	面 25(2)	面 26(2)	面 30-2	面 23-2	面 33-2	面 39	面 45	面 43
638	PPJBXX1E	15歳の頃の父：職種（ISCO）*						面 39		
394	PPJOB	父親：就労の有無*						面 31D	面 31-4	面 30-4
562	PPLAGE	義父：年齢*						面 31A		
567	PPLCNTA	義父：接触頻度（直接）						面 31F		
568	PPLCNTB	義父：接触頻度（間接）						面 31G		
566	PPLDIST	義父：家までの距離						面 31E		
564	PPLFAM	義父：同居者*						面 31C		
1973	PPLHLTH	義父：健康状態						留 B55-4		
565	PPLJOB	義父：就労の有無*						面 31D		
561	PPLLVTG	義父：同居・生死						面 30A		

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
563	PPLMG	義父：結婚状況*						面 31B		
643	PPLSTSCH	最終学校（父親）*	面 27	面 28	面 32	面 25	面 36	面 42	面 48	面 46
390	PPLVTG	父親：同居・生死*					面 24-1	面 30A	面 31-1	面 30-1
392	PPMG	父親：結婚状況*						面 31B	面 31-3	面 30-3
22	PREF	都道府県名	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
632	PREF15	15歳の頃の居住地（本人）：都道府県名*	面 24(1)S	面 25(1)S	面 23-1S	面 18-1S	面 32-1	面 37-1	面 42-1	面 41-1
1393	PRFJPAPL	意見への賛否：電器製品は日本メーカーを好む							留 B26	
9	PROC	調査手順（留置/面接の順序）	F	F	F	F	F6	F6	F6	F6
655	PSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験（配偶者）							面 52	面 50
1265	PT4ALONA	ペットの存在：癒してくれる	留 62S(2)C	留 62S(2)C						
1269	PT4BEINA	ペットの存在：生きがいである	留 62S(2)G	留 62S(2)G						
1268	PT4FFCOA	ペットの存在：コミュニケーションに役立つ	留 62S(2)F	留 62S(2)F						
1267	PT4NEEDA	ペットの存在：自分を必要としてくれる	留 62S(2)E	留 62S(2)E						
1270	PT4NETWA	ペットの存在：人間関係が広がる	留 62S(2)H	留 62S(2)H						
1266	PT4REGUA	ペットの存在：規則正しい生活ができる	留 62S(2)D	留 62S(2)D						
1263	PT4RELAA	ペットの存在：なごませてくれる	留 62S(2)A	留 62S(2)A						
1264	PT4WORTH	ペットの存在：はりあいを与えてくれる	留 62S(2)B	留 62S(2)B						
1271	PTCARE	ペットと過ごす時間	留 62S(3)	留 62S(3)						
1272	PTHOUR	ペットと過ごす時間（時間）	留 62S(3)S	留 62S(3)S						
1273	PTMIN	ペットと過ごす時間（分）	留 62S(3)S	留 62S(3)S						
1082	Q2DTHPY	死刑制度の賛否	留 16	留 15					留 A39	留 A42
1080	Q3PORNNO	ポルノ：規制について	留 52	留 52					留 B33	
1076	Q4ADLTRY	婚外交渉について	留 48	留 48					留 B30	
687	Q4CCDVY	結婚観：子どもにとっての親の離婚	留 13A	留 13A						
1394	Q4DEBT	借金への賛否					留 47			
686	Q4DIVOK	意見についての賛否：離婚			留 21A	留 A19A 留 B13A	留 54A	留 A63A	留 A64A	留 A66A
750	Q4GVC MPL	国民と政治のかかわり：理解度	留 22B	留 21B		留 B19B			留 A43B	留 A40B
689	Q4HHDVY	結婚観：夫にとっての離婚	留 13C	留 13C						
1078	Q4HOMSEA	同性愛について	留 50	留 50					留 B31	
681	Q4JBMMCC	意見についての賛否：子どもへの影響	留 43G	留 43G	留 21G	留 A19G 留 B13D	留 54G	留 A63G	留 A64G	留 A66G
677	Q4JBMMFM	意見についての賛否：親子関係	留 43C	留 43C						
752	Q4MDIET	国民と政治のかかわり：国会議員	留 22D	留 21D		留 B19D			留 A43D	留 A40D
685	Q4MGHAPP	意見についての賛否：結婚観	留 43K	留 43K						
690	Q4MNCKY	結婚観：男性の家事の賛否	留 13D	留 13D						
678	Q4MNCOOK	意見についての賛否：男性の家事	留 43D	留 43D	留 21D	留 A19D	留 54D	留 A63D	留 A64D	留 A66D
680	Q4MNMGA	意見についての賛否：男性の幸福	留 43F	留 43F	留 21F	留 A19F	留 54F	留 A63F	留 A64F	留 A66F 留 B28D

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
682	Q4NOCCMG	意見についての賛否：子どもをもつ必要	留 43H	留 43H	留 21H	留 A19H 留 B13E	留 54H	留 A63H	留 A64H	留 A66H
749	Q4NOPWR	国民と政治のかかわり：市民の影響力	留 22A	留 21A		留 B19A			留 A43A	留 A40A
1077	Q4PROS19	10代の売春について	留 49	留 49						
751	Q4VOTE	国民と政治のかかわり：投票	留 22C	留 21C		留 B19C			留 A43C	留 A40C
683	Q4WNJB2L	意見についての賛否：女性の自立	留 43I	留 43I						
676	Q4WNMGA	意見についての賛否：女性の幸福	留 43B	留 43B	留 21C	留 A19C	留 54C	留 A63C	留 A64C	留 A66C 留 B28B
688	Q4WWDVY	結婚観：妻にとっての離婚	留 13B	留 13B						
679	Q4WWHHX	意見についての賛否：性役割分担	留 43E	留 43E	留 21E	留 A19E 留 B13C	留 54E	留 A63E	留 A64E	留 A66E 留 B28C
684	Q4WWHPHH	意見についての賛否：妻は夫の手助け	留 43J	留 43J	留 21I	留 A19I	留 54I	留 A63I	留 A64I	留 A66I 留 B28E
675	Q4WWJBIA	意見についての賛否：妻の仕事	留 43A	留 43A	留 21B	留 A19B 留 B13B	留 54B	留 A63B	留 A64B	留 A66B 留 B28A
746	Q5GVEQAA	貧富解消政策への賛否	留 47	留 47	留 34	留 A44	留 42	留 A42	留 A40 留 B21	留 A44 留 B25
1091	Q5PMSPNK	親による体罰の賛否	留 44	留 44					留 A62	
1092	Q5TTPSNK	教師による体罰の賛否	留 45	留 45						
2010	Q7CPINV	意見への賛否：余分なお金は投資							留 B45J	
2008	Q7CPLDR	意見への賛否：リーダーにはすべての決定を委ねる							留 B45H	
2004	Q7EXPCMP	意見への賛否：不満があっても口に出さない							留 B45D	
1918	Q7FFAUTH	家系継承規範：父親の権威を尊重*						留 B35A	留 B45B	
1921	Q7FFCARE	家系継承規範：親の世話をした子が多く相続						留 B35D		
1923	Q7FFGRV	家系継承規範：墓を守る						留 B35F		
1919	Q7FFHNR	家系継承規範：子どもは親の誇りに						留 B35B		
1920	Q7FFMAN	家系継承規範：長男が多く相続						留 B35C		
1922	Q7FFNDMN	家系継承規範：息子が必要						留 B35E		
2003	Q7FLWMJ	意見への賛否：多数派の意見には従う							留 B45C	
2005	Q7HIRE	意見への賛否：人を雇う時には親族や友人を採用							留 B45E	
1934	Q7MGCC	結婚規範：子どもをもつ必要						留 B38B		
1937	Q7MGCOH	結婚規範：同棲はかまわない						留 B38E		
1938	Q7MGDVCC	結婚規範：離婚は子が育つまで待つ						留 B38F		
1939	Q7MGDVGD	結婚規範：離婚はよい手段						留 B38G		
1935	Q7MGMNHP	結婚規範：男性の結婚は幸福						留 B38C		
1933	Q7MGOLD	結婚規範：夫は年上						留 B38A		
1936	Q7MGWNHP	結婚規範：女性の結婚は幸福						留 B38D		
1925	Q7PRFF	家優先規範：自分より家族を優先						留 B36B		
1924	Q7PRMAN	家優先規範：妻より夫の親族を優先						留 B36A		

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
2009	Q7RSKLF	意見への賛否：平凡な人生よりも不安定だが可能性に満ちた人生							留 B45I	
2007	Q7SBORD	意見への賛否：部下は上司の指示に従う							留 B45G	
2006	Q7SMTWN	意見への賛否：同郷の人が活躍すると誇らしい							留 B45F	
1941	Q7WWHHX	性別規範：性別役割分担*						留 B40B	留 B45A	
1940	Q7WWHPHH	性別規範：妻は夫の手助け						留 B40A		
1943	Q7WWLOFF	性別規範：女性を先に解雇						留 B40D		
1942	Q7WWMNCK	性別規範：男性の家事						留 B40C		
714	QAFTRDTH	死後の世界	留 14	留 14					留 A69	
715	QDDKILLA	安楽死の賛否	留 46	留 46	留 33	留 A43	留 41	留 A41 留 B25	留 A37	留 A41
1305	QECOVGE	意見への賛否：環境保護より経済成長を優先							留 A49A	
1145	QFNRRNCR	外国人増加の賛否*	留 37	留 36	留 42	留 A41	留 37	留 A21	留 A50 留 B24	留 A47
1306	QNCVLGE	意見への賛否：環境悪化を防ぐためなら生活が不便になってもかまわない							留 A49B	
1392	QPRFDF	意見への賛否：食品は国産のものを好む							留 A51 留 B25	
697	QWNSUMO	女性知事による大相撲の表彰				留 A25				
2144	RCBDEYE	体型が気になる理由：周りの人の目								留 B53-2 1
2145	RCBDFEEL	体型が気になる理由：自分自身の気持ち								留 B53-2 2
2146	RCBDHLT	体型が気になる理由：健康の問題								留 B53-2 3
2148	RCBDOTH	体型が気になる理由：その他								留 B53-2 5
2147	RCBDWR	体型が気になる理由：服の問題								留 B53-2 4
633	REMOTE15	15歳の頃の居住地（本人）：農山村地域	面 24(2)	面 25(2)	面 23-2	面 18-2	面 32-3	面 37-3	面 42-3	面 41-3
2162	RFDRAVSN	医師の診断を控えた理由：病院に行くのが好きではない								留 B56-2 6
2163	RFDREBSY	医師の診断を控えた理由：忙しくて時間がない								留 B56-2 7
2158	RFDRCST	医師の診断を控えた理由：費用がかかる								留 B56-2 2
2159	RFDREDIS	医師の診断を控えた理由：病院が近くにない								留 B56-2 3
2160	RFDREDK	医師の診断を控えた理由：どの病院に行ったらよいかわからない								留 B56-2 4
2165	RFDREINS	医師の診断を控えた理由：保険が使えない								留 B56-2 9
2166	RFDREOTH	医師の診断を控えた理由：その他								留 B56-2 10
2164	RFDRESLGT	医師の診断を控えた理由：病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した								留 B56-2 8
2161	RFDRETRNS	医師の診断を控えた理由：交通手段がない								留 B56-2 5
2157	RFDREWL	医師の診断を控えた理由：待ち時間が長い								留 B56-2 1
947	RHPCTM	通院を控えた理由：費用がかかる							留 A16-2 2	
949	RHPDKWG	通院を控えた理由：どの病院に行ったらよいかわからない							留 A16-2 4	
951	RHPDLSD	通院を控えた理由：病院に行くのは好きではない							留 A16-2 6	



No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
950	RHPHNT	通院を控えた理由：交通手段がない							留 A16-2 5	
948	RHPNHN	通院を控えた理由：病院が近くにない							留 A16-2 3	
952	RHPNTSD	通院を控えた理由：忙しくて時間がない							留 A16-2 7	
954	RHPOTHR	通院を控えた理由：その他							留 A16-2 9	
946	RHPTLNG	通院を控えた理由：待ち時間が長い							留 A16-2 1	
953	RHPTNNG	通院を控えた理由：病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した							留 A16-2 8	
1458	RPSCCFL	子どものしつけ：気持ちへの配慮							留 A59-2	
674	RR6ACCT	家計管理	留 67	留 67						
2	RYEAR	調査年度								
18	SEXA	性別	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
2100	SFHLCND	SF12：主観的健康状態								留 B34
2107	SFINTFPN	SF12：痛みによる仕事の困難								留 B38
2111	SFINTFSC	SF12：健康問題による人づきあいの困難								留 B40
2101	SFLMTMA	SF12：日常活動の困難：適度の活動								留 B35A
2102	SFLMTSTR	SF12：日常活動の困難：階段をのぼる								留 B35B
2110	SFMHDPRS	SF12：精神的健康：おちこんだ気分								留 B39C
2109	SFMHENGY	SF12：精神的健康：活力にあふれる								留 B39B
2108	SFMHPEAC	SF12：精神的健康：おちついた気分								留 B39A
2106	SFMNTCNT	SF12：精神的健康の問題：ふだんの活動に集中できない								留 B37B
2105	SFMNTUSL	SF12：精神的健康の問題：ふだんの活動ができない								留 B37A
2104	SFPHCNT	SF12：身体的健康の問題：内容によりふだんの活動ができない								留 B36B
2103	SFPHUSL	SF12：身体的健康の問題：ふだんの活動ができない								留 B36A
1372	SFQADVTS	購買行動：チラシを見て買う				留 A48G				
1367	SFQCHNC	購買行動：ついでの時				留 A48B				
1376	SFQDATE	購買行動：賞味期限を確認				留 A48K				
1375	SFQELEC	購買行動：電化製品はいくつかの店で比較				留 A48J				
1368	SFQIMPLS	購買行動：衝動買い				留 A48C				
1374	SFQINET	購買行動：インターネットで下調べ				留 A48I				
1377	SFQLOC	購買行動：生産地を確認				留 A48L				
1370	SFQQLTY	購買行動：品質重視				留 A48E				
1373	SFQSAME	購買行動：他人に同調				留 A48H				
1369	SFQSHOP	購買行動：日用品は特定の店で購入				留 A48D				
1371	SFQSORY	購買行動：買ってから後悔				留 A48F				
1366	SFQSTK	購買行動：まとめ買い				留 A48A				
23	SIZE	市郡規模*	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭	冒頭
24	SIZE2K	市郡規模（2000年時点）*						冒頭	冒頭	冒頭
25	SIZEHMT	居住地域の規模							面 39	面 38

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
2135	SKITCH	皮膚のかゆみ								留 B44
1135	SLCLERK	万引きした子どもへの対応：店に通知*				留 A53 3				
1138	SLETC	万引きした子どもへの対応：その他*				留 A53 6				
1134	SLFAMILY	万引きした子どもへの対応：家族に通知*				留 A53 2				
1137	SLNODO	万引きした子どもへの対応：何もしない*				留 A53 5				
1136	SLSCHL	万引きした子どもへの対応：学校に通知*				留 A53 4				
1133	SLSELF	万引きした子どもへの対応：本人に注意*				留 A53 1				
2139	SMOKEYR	喫煙年数								留 B47-3
388	SPAGEX	配偶者の年齢*	面 19	面 20	面 27-1	面 21-1	面 23-1	面 23	面 29	面 28
389	SPLVTG	配偶者との同居*					面 23-2		面 30	面 29
2030	SRCININT	海外ニュースを知るメディア：インターネット							留 B50 4	
2027	SRCINNP	海外ニュースを知るメディア：新聞							留 B50 1	
2032	SRCINOT	海外ニュースを知るメディア：その他							留 B50 6	
2031	SRCINPN	海外ニュースを知るメディア：知人							留 B50 5	
2028	SRCINRD	海外ニュースを知るメディア：ラジオ							留 B50 2	
2029	SRCINTV	海外ニュースを知るメディア：テレビ							留 B50 3	
713	SS3PIOUS	信仰の度合い（配偶者）	留 63S(2)	留 63S(2)						
1957	SS5HLTHE	健康状態（配偶者）（EASS 尺度）						留 B49		
925	SS5HLTHZ	健康状態（配偶者）	留 65	留 65	留 62					
1961	SSC2OTHR	介護の相手（配偶者）：その他						留 B51-2 4		
1959	SSC2PM	介護の相手（配偶者）：回答者の親						留 B51-2 2		
1958	SSC2R	介護の相手（配偶者）：回答者						留 B51-2 1		
1960	SSC2SSPM	介護の相手（配偶者）：配偶者の親						留 B51-2 3		
938	SSCARE	介護経験（配偶者）		留 68	留 64			留 B51-1		
647	SSDOLSTS	最終学校の卒業・中退（配偶者）							面 51	面 49
711	SSDORL	信仰する宗教の有無（配偶者）	留 63	留 63						
668	SSFQ7CK	夕食の用意：頻度（配偶者）*	留 66A	留 66A	留 63A			留 B50A		
671	SSFQ7CLN	家の掃除：頻度（配偶者）*	留 66D	留 66D	留 63D			留 B50D		
672	SSFQ7GRB	ゴミ出し：頻度（配偶者）*			留 63E			留 B50E		
670	SSFQ7SHP	買い物：頻度（配偶者）*	留 66C	留 66C	留 63C			留 B50C		
669	SSFQ7WSH	洗濯：頻度（配偶者）*	留 66B	留 66B	留 63B			留 B50B		
168	SSHIINCX	年収：2,300 万円以上の場合（具体的記述）（配偶者）	面 11(9)19S	面 11(9)19S	面 19-8 19S	面 16-7 19S				
150	SSJB1WK	先週の就労経験（配偶者）*	面 11(1)	面 11(1)	面 19-1	面 16-1	面 22-1	面 16	面 20-1	面 19-1
152	SSJBDWK	就労日数 / 週（配偶者）*	面 11(2)(3)	面 11(2)(3)	面 19-2(a)(b)	面 16-2(a)(b)	面 22-2	面 21	面 25	面 24
153	SSJBHRWK	就労時間数 / 週（配偶者）*	面 11(2)(3)	面 11(2)(3)	面 19-2(a)(b)	面 16-2(a)(b)	面 22-2	面 17	面 21	面 20
2085	SSJBNPO	配偶者の主な勤め先の種類：公益的団体							留 B65	留 B32
642	SSLSTSCH	最終学校（配偶者）*	面 27	面 28	面 32	面 25	面 36	面 42	面 48	面 46
154	SSSJBHVK	副業就労時間数 / 週（配偶者）*						面 17	面 21	面 20

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
169	SSSZINCA	配偶者年収：全体*						面 29-4	面 40-4	面 39-4
167	SSSZINCM	配偶者年収：主な仕事*	面 11(9)	面 11(9)	面 19-8	面 16-7	面 22-7	面 29-5	面 40-5	面 39-5
165	SSSZSTFA	企業規模（配偶者）*	面 11(7)	面 11(7)	面 19-6	面 16-6	面 22-6	面 23	面 28	面 27
166	SSSZWKYR	就労年数（配偶者）*	面 11(8)	面 11(8)	面 19-7			面 22	面 27	面 26
156	SSTP12JB	就労地位（配偶者）*	面 11(4)	面 11(4)	面 19-3	面 16-3	面 22-3			
159	SSTPJBDP	登録派遣（配偶者）							面 22-3	面 21-3
160	SSTPJBSE	従業員を持つ自営業者（配偶者）							面 22-4	面 21-4
157	SSTPJJOB	就労形態（配偶者）*						面 18-1	面 22-1	面 21-1
158	SSTPJOBP	役職（配偶者）*						面 18-2	面 22-2	面 21-2
151	SSTPUNEM	不就労の理由（配偶者）*							面 20-2	面 19-2
1962	SSTRLSTN	配偶者との情緒的關係：配偶者が悩みを聞く						留 B52		
1963	SSTRSPK	配偶者との情緒的關係：あなたが悩みを聞く						留 B53		
648	SSXGRADE	在学中の場合の学年（配偶者）							面 51 3S	面 49 3S
155	SSXJBSC	通常労働時間数 / 週（配偶者）							面 26	面 25
161	SSXXHQX	業種（配偶者）*	面 11(5)	面 11(5)	面 19-4	面 16-4	面 22-4	面 19	面 23	面 22
162	SSXXHQXE	業種（配偶者）（ISIC）*						面 19		
163	SSXXJOB	職種（配偶者）*	面 11(6)	面 11(6)	面 19-5	面 16-5	面 22-5	面 20	面 24	面 23
164	SSXXJOBE	職種（配偶者）（ISCO）*						面 20	面 24	面 23
712	SSXXRL	信仰する宗教（配偶者）*	留 63S(1)	留 63S(1)						
862	ST5AREAY	生活満足度：居住地域	留 8A	留 8A	留 7A	留 A7 留 B12	留 15A	留 A13A 留 B14A	留 A13A 留 B11A	留 A12A 留 B12A
865	ST5ECNY	生活満足度：家計状態	留 8D	留 8D	留 7D	留 A7 留 B12	留 15D	留 A13D 留 B14D	留 A13D 留 B11D	留 A12D 留 B12D
866	ST5FRIY	生活満足度：友人関係	留 8E	留 8E	留 7E	留 A7 留 B12	留 15E	留 A13E 留 B14E	留 A13E 留 B11E	留 A12E 留 B12E
867	ST5HLTHY	生活満足度：健康状態	留 8F	留 8F	留 7F	留 A7 留 B12	留 15F	留 A13F 留 B14F	留 A13F 留 B11F	留 A12F 留 B12F
85	ST5HSWK	家事の仕事の満足度*	面 4(2)	面 4(2)	面 11-2					
84	ST5JOB	現在の仕事の満足度*	面 1(21)	面 1(21)	面 7-4	面 9-3	面 11	面 13	面 13	面 13
863	ST5LEISY	生活満足度：余暇利用	留 8B	留 8B	留 7B	留 A7 留 B12	留 15B	留 A13B 留 B14B	留 A13B 留 B11B	留 A12B 留 B12B
864	ST5LIFEY	生活満足度：家庭生活	留 8C	留 8C	留 7C	留 A7 留 B12	留 15C	留 A13C 留 B14C	留 A13C 留 B11C	留 A12C 留 B12C
868	ST5SSREL	生活満足度：配偶者との関係				留 A7 留 B12	留 15G	留 A13G 留 B14G	留 A13G 留 B11G	留 A12G 留 B12G
871	STALLLF	生活満足度：全般						留 B15		
1304	STECOCO	満足度：企業の環境問題への取り組み			留 46C					
1303	STECOLOC	満足度：自治体の環境問題への取り組み			留 46B					
1302	STECONAT	満足度：国の環境問題への取り組み			留 46A					
81	STFDOSTF	部下の部下の有無	面 1(15)(b)	面 1(15)(b)						

No.	変数名	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1975	STMGLF	生活満足度：結婚生活						留 B56		
1468	SUBULLY	いじめの責任：いじめた生徒				留 A22B				
1469	SUCMATE	いじめの責任：それ以外のクラスメート				留 A22C				
1473	SUFFBUL	いじめの責任：いじめた生徒の保護者				留 A22G				
1472	SUFFSLF	いじめの責任：本人の保護者				留 A22F				
1471	SUSCHL	いじめの責任：学校				留 A22E				
1467	SUSELF	いじめの責任：本人				留 A22A				
1470	SUTCHER	いじめの責任：クラスの担任				留 A22D				
2025	SXENTDK	性風俗の娯楽を経験した地域：わからない							留 B48-2 6	
2020	SXENTEA	性風俗の娯楽を経験した地域：東アジア							留 B48-2 1	
2022	SXENTEP	性風俗の娯楽を経験した地域：ヨーロッパ							留 B48-2 3	
2023	SXENTNA	性風俗の娯楽を経験した地域：北アメリカ							留 B48-2 4	
2024	SXENTOT	性風俗の娯楽を経験した地域：その他							留 B48-2 5	
2021	SXENTSA	性風俗の娯楽を経験した地域：東南アジア							留 B48-2 2	
186	SZCMTHR	通勤時間：時間				面 3-1 1S	面 3-1 1S	面 4 1S	面 4 1S	面 4 1S
187	SZCMTMIN	通勤時間：分				面 3-1 1S	面 3-1 1S	面 4 1S	面 4 1S	面 4 1S
188	SZCMTTL	通勤時間：合計				面 3-1 1S	面 3-1 1S	面 4 1S	面 4 1S	面 4 1S
49	SZCNTMO	雇用期限：月	面 1(17)2S	面 1(17)2S	面 7-1 2S					
47	SZCNTRCT	雇用期限	面 1(17)2S	面 1(17)2S	面 7-1 2S					
48	SZCNTYR	雇用期限：年	面 1(17)2S	面 1(17)2S	面 7-1 2S					
1034	SZDNT	寄付の金額					留 61-2			
29	SZDWEL	住宅床面積	面 17	面 18	面 24-2					
201	SZEXED	世帯支出：教育費（子どもを持ったことがある人）*			面 39			面 34		
202	SZEXED02	世帯支出：教育費（全員）*			面 39					
203	SZEXHIED	世帯支出：教育費が 500 万以上の場合（具体的記述）			面 39 14S					
200	SZEXHIHS	世帯支出：住宅費が 600 万以上の場合（具体的記述）			面 38 13S					
199	SZEXHOUS	世帯支出：住宅費			面 38					
206	SZFFAWAY	別居家族人数	面 18(2)	面 19(2)						
205	SZFFHERE	同居家族人数	面 18(1)	面 19(1)						
209	SZFFONLY	家族人数（本人除く）*			面 26-3	面 20-3	面 27	面 24-1	面 34	面 33
533	SZFFOTHR	その他の家族の人数					面 26-1		面 33-1	面 32-1
211	SZFFOUT	一時的な別居家族の人数*			面 26-4	面 20-4	面 28-1	面 25-1	面 36-1	面 35-1
210	SZFFTTL	家族人数（本人含む）*			面 26-3	面 20-3	面 27		面 34	面 33
106	SZFINDJB	求職期間	面 2(2)(b)	面 2(2)(b)						
89	SZHIINCX	本人年収：2,300 万円以上の場合（具体的記述）	面 1(23)19S	面 1(23)19S	面 8 19S	面 10 19S				
140	SZHILST	前職の年収：2,300 万円以上の場合（具体的記述）	面 5(9)19S	面 5(9)19S	面 13-6 19S					
198	SZSHHINC	世帯年収：2,300 万円以上の場合（具体的記述）	面 32 19S	面 33 19S	面 37 19S	面 27 19S				
197	SZHSINCM	世帯年収*	面 32	面 33	面 37	面 27	面 30	面 29-1	面 40-1	面 39-1

No.	変数名	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
90	SZINCOMA	本人年収：全体						面 29-2	面 40-2	面 39-2
88	SZINCOMX	本人年収：主な仕事*	面 1(23)	面 1(23)	面 8	面 10	面 8	面 29-3	面 40-3	面 39-3
139	SZINLST	前職の年収*	面 5(9)	面 5(9)	面 13-6					
913	SZLOT	宝くじ：平均購入額			留 22AS					
104	SZNOWORK	卒業後の未就労年数	面 2(2)(a)	面 2(2)(a)						
920	SZPACHI	パチンコ・パチスロ：1日に使う上限金額			留 22DS					
93	SZPAYDYX	日給	面 1(24)2	面 1(24)2	面 9-1 2					
92	SZPAYHRX	時間給	面 1(24)1	面 1(24)1	面 9-1 1					
95	SZPAYMOX	月給	面 1(24)4	面 1(24)4	面 9-1 4					
94	SZPAYWKX	週給	面 1(24)3	面 1(24)3	面 9-1 3					
96	SZPAYYRX	年俸	面 1(24)5	面 1(24)5	面 9-1 5					
918	SZRACE	公営ギャンブル：1レースの賭け額			留 22CS(2)					
98	SZSJBHWK	副業就労時間数/週*	面 1(26)	面 1(26)	面 9-3	面 11-2	面 16-2	面 2	面 2	面 2
59	SZSTAFSA	従業員規模(就労事業所)	面 1(7)	面 1(7)	面 2-4					
147	SZSTFFST	初職の企業規模*	面 9(4)	面 9(4)	面 17-6		面 38-5	面 48	面 56	面 54
138	SZSTFLSA	前職の企業規模*	面 5(8)	面 5(8)	面 13-5					
915	SZTOTO	サッカーくじ：平均購入額			留 22BS					
77	SZTRGA	研修期間	面 1(13)(b)	面 1(13)(b)						
63	SZTTLSTA	企業規模_統合*	面 1(11)	面 1(11)	面 3-3	面 5-2	面 6	面 11	面 11	面 11
64	SZTTLSTA_00	企業規模_2000*	面 1(11)							
65	SZTTLSTA_01	企業規模_2001*		面 1(11)						
66	SZTTLSTA_02	企業規模_2002*			面 3-3					
67	SZTTLSTA_03	企業規模_2003*				面 5-2				
68	SZTTLSTA_05	企業規模_2005*					面 6			
69	SZTTLSTA_06	企業規模_2006*						面 11		
70	SZTTLSTA_08	企業規模_2008*							面 11	
71	SZTTLSTA_10	企業規模_2010*								面 11
1002	SZVLIRRG	不定期なボランティア：活動量(合計日数/年)			留 49S		留 59-2			
1000	SZVLREG	定期的ボランティア：活動量(時間/月)			留 48S		留 58-2			
60	SZWNSTF	女子従業員比	面 1(8)	面 1(8)	面 2-5					
2208	TMAFFL	時間的なゆとり感								留 B66A
141	TP12FSTJ	初職の就労地位*	面 9(1)	面 9(1)(c)	面 17-3		面 38-2			
50	TP12JOB	就労地位*	面 1(4)	面 1(4)	面 2-1	面 4-1	面 5-1			
135	TP12LSTJ	前職の就労地位*	面 5(5)	面 5(5)	面 13-2					
61	TP4WPLA	事業所形態*	面 1(9)	面 1(9)	面 3-1	面 5-1	面 4	面 5	面 5	面 5
623	TP5LOC15	15歳の頃の居住地(本人)_統合*	面 24(1)	面 25(1)	面 23-1	面 18-1	面 32-2	面 37-2	面 42-2	面 41-2
624	TP5LOC15_00	15歳の頃の居住地(本人)_2000*	面 24(1)							
625	TP5LOC15_01	15歳の頃の居住地(本人)_2001*		面 25(1)						

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
626	TP5LOC15_02	15歳の頃の居住地(本人)_2002*			面 23-1					
627	TP5LOC15_03	15歳の頃の居住地(本人)_2003*				面 18-1				
628	TP5LOC15_05	15歳の頃の居住地(本人)_2005*					面 32-2			
629	TP5LOC15_06	15歳の頃の居住地(本人)_2006*						面 37-2		
630	TP5LOC15_08	15歳の頃の居住地(本人)_2008*							面 42-2	
631	TP5LOC15_10	15歳の頃の居住地(本人)_2010*								面 41-2
91	TP5PAY	給与形態	面 1(24)	面 1(24)	面 9-1					
100	TP5UNEMP	不就労の理由*	面 4(1)	面 4(1)	面 11-1	面 12	面 1-2	面 1-2	面 1-2	面 1-2
26	TP8DWEL	住居形態	面 16	面 17	面 24-1	面 19				
1336	TPCARLG	自動車の種類:大型乗用車					面 31-2 2			
1339	TPCAROTH	自動車の種類:その他					面 31-2 5			
1337	TPCARSM	自動車の種類:軽自動車・軽トラック					面 31-2 3			
1335	TPCARSTD	自動車の種類:普通乗用車					面 31-2 1			
1338	TPCARTK	自動車の種類:普通トラック					面 31-2 4			
142	TPFSTJB	初職の就労形態						面 46-1	面 54-1	面 52-1
143	TPFSTJBP	初職の役職						面 46-2	面 54-2	面 52-2
2167	TPHLINS	医療保険の種類								留 B57
28	TPHOUSE	居住形態:一戸建て					留 28-2	留 A23-2 留 B16-2	留 A23-2 留 B13-2	留 A23-2 留 B14-2
53	TPJBDP	登録派遣							面 3-3	面 3-3
54	TPJBSE	従業員を持つ自営業者							面 3-4	面 3-4
51	TPJOB	就労形態						面 3-1	面 3-1	面 3-1
52	TPJOBP	役職						面 3-2	面 3-2	面 3-2
981	TR3ACDAZ	組織への信頼:学者・研究者	留 29J	留 28J	留 16J	留 A15J	留 65J	留 A68J	留 A70J	留 A74J
975	TR3BCRAZ	組織への信頼:中央官庁	留 29D	留 28D	留 16D	留 A15D	留 65D	留 A68D	留 A70D	留 A74D
982	TR3CGMNZ	組織への信頼:国会議員	留 29K	留 28K	留 16K	留 A15K	留 65K	留 A68K	留 A70K	留 A74K
983	TR3CITYZ	組織への信頼:市区町村議会議員	留 29L	留 28L	留 16L	留 A15L	留 65L	留 A68L	留 A70L	留 A74L
985	TR3COPZ	組織への信頼:警察	留 29N	留 28N	留 16N	留 A15N	留 65N	留 A68N	留 A70N	留 A74N
972	TR3CORPZ	組織への信頼:大企業	留 29A	留 28A	留 16A	留 A15A	留 65A	留 A68A	留 A70A	留 A74A
984	TR3DEFZ	組織への信頼:自衛隊	留 29M	留 28M	留 16M	留 A15M	留 65M	留 A68M	留 A70M	留 A74M
986	TR3FINZ	組織への信頼:金融機関	留 29O	留 28O	留 16O	留 A15O	留 65O	留 A68O	留 A70O	留 A74O
978	TR3HSPLZ	組織への信頼:病院	留 29G	留 28G	留 16G	留 A15G	留 65G	留 A68G	留 A70G	留 A74G
977	TR3NWSPZ	組織への信頼:新聞	留 29F	留 28F	留 16F	留 A15F	留 65F	留 A68F	留 A70F	留 A74F
973	TR3RLGPZ	組織への信頼:宗教団体	留 29B	留 28B	留 16B	留 A15B	留 65B	留 A68B	留 A70B	留 A74B
974	TR3SCHLZ	組織への信頼:学校	留 29C	留 28C	留 16C	留 A15C	留 65C	留 A68C	留 A70C	留 A74C
980	TR3SPCAZ	組織への信頼:裁判所	留 29I	留 28I	留 16I	留 A15I	留 65I	留 A68I	留 A70I	留 A74I
979	TR3TVZ	組織への信頼:テレビ	留 29H	留 28H	留 16H	留 A15H	留 65H	留 A68H	留 A70H	留 A74H
976	TR3UNNZ	組織への信頼:労働組合	留 29E	留 28E	留 16E	留 A15E	留 65E	留 A68E	留 A70E	留 A74E

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1346	USCARCMT	自動車の用途：通勤・通学					留 13-2A			
1350	USCARLSR	自動車の用途：レジャー					留 13-2E			
1348	USCARSHR	自動車の用途：買物・用事					留 13-2C			
1347	USCARTFF	自動車の用途：送り迎え					留 13-2B			
1349	USCARWK	自動車の用途：仕事					留 13-2D			
1403	USCDCHRG	クレジットカードの用途：公共料金・通信費					留 49-2D			
1400	USCDDAY	クレジットカードの用途：日常の買い物					留 49-2A			
1402	USCDEAT	クレジットカードの用途：外食の代金					留 49-2C			
1401	USCDHIGH	クレジットカードの用途：高額な買い物					留 49-2B			
1420	USCSBANK	消費者金融の利用理由：他の金融機関への支払い					留 51-2 8			
1416	USCSBUS	消費者金融の利用理由：事業資金					留 51-2 4			
1419	USCSCLTH	消費者金融の利用理由：服飾品の費用					留 51-2 7			
1413	USCSDAY	消費者金融の利用理由：日常の生活費					留 51-2 1			
1415	USCSEDU	消費者金融の利用理由：教育費					留 51-2 3			
1418	USCSHOB	消費者金融の利用理由：趣味の費用					留 51-2 6			
1414	USCSMD	消費者金融の利用理由：医療費					留 51-2 2			
1421	USCSOTHR	消費者金融の利用理由：その他					留 51-2 9			
1417	USCSSOC	消費者金融の利用理由：交際費					留 51-2 5			
16	USTAND	調査員への質問：回答者の理解度	F2	F2	F2	F2	F2	F2	F2	F2
2033	VSTCN	外国の訪問経験：中国							留 B51 1	
2037	VSTEP	外国の訪問経験：ヨーロッパ							留 B51 5	
2038	VSTNA	外国の訪問経験：北アメリカ							留 B51 6	
2040	VSTNO	外国の訪問経験：外国に行ったことがない							留 B51 8	
2039	VSTOT	外国の訪問経験：その他の外国							留 B51 7	
2036	VSTSA	外国の訪問経験：東南アジア							留 B51 4	
2034	VSTSK	外国の訪問経験：韓国							留 B51 2	
2035	VSTTW	外国の訪問経験：台湾							留 B51 3	
2226	WAFINDPN	年をとることへの不安：経済的に依存する								留 B74C
2224	WAGTARND	年をとることへの不安：自分で自分のことができなくなる								留 B74A
2225	WAOTHMD	年をとることへの不安：自分のことを他の人に決めてもらう								留 B74B
2227	WEIGHT	ウエイト*								
673	WH3HSWK	家事分担	面 11(10)	面 12						
1089	WHENBEAT	暴行を受けた時期	留 32S(1)	留 31S(1)						
132	WHNSTPWK	離職時期（西暦）*	面 5(3)	面 5(3)	面 12-3					
1977	WHOINTSS	配偶者の紹介者						留 B57-2A		
1090	WHOMBEAT	暴行の加害者	留 32S(2)	留 31S(2)						
76	WHPAYTRG	研修費用の負担	面 1(13)(a)	面 1(13)(a)						
1978	WHRMTSS	配偶者と出会った場所						留 B57-2B		

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1087	WHYAMND9	憲法 9 条改正の理由						留 A43-2		
720	WLACCORD	臓器の提供を受ける意思								留 A57
1478	WLADDD	心の健康の相談相手：その他の医師					留 21 4			
1477	WLADDDSP	心の健康の相談相手：精神科・心療内科の医師					留 21 3			
1475	WLADFF	心の健康の相談相手：家族					留 21 1			
1476	WLADFRI	心の健康の相談相手：友人・知人・恋人					留 21 2			
1482	WLADNONE	心の健康の相談相手：誰にも相談しない					留 21 8			
1481	WLADOTHR	心の健康の相談相手：その他					留 21 7			
1479	WLADPSY	心の健康の相談相手：心理学の専門家					留 21 5			
1480	WLADRLGN	心の健康の相談相手：宗教家					留 21 6			
911	WLCASINO	日本にカジノができたなら行くか			留 60	留 A65			留 B29	
1484	WLCOUNSL	カウンセリングの受療意欲					留 22-2			
719	WLGIVORG	臓器を提供する意思								留 A56
86	WLKEEPJA	現在の会社・組織での就労継続意向*	面 1(22)	面 1(22)	面 7-5	面 9-4	面 13	留 A26-2	面 14	面 14
1055	WLLIVE	現在の居住地域に住み続けたいか*				留 A52	留 30	留 A25	留 A25	留 A26 留 B16
1233	WLRNENG	英語の学習意欲				留 A59-1		留 A18		
87	WLSTOPWK	不自由なく暮らせる場合の就労継続意向	面 1(20)	面 1(20)						
1015	WLVLDO	ボランティア活動への参加：今後の意向			留 51					
101	WLWANTJB	不就労者に：今後の就労意向*	面 6	面 6	面 14					
180	WLWKCND	働き方の意向：労働条件に不満					面 12-1			
181	WLWKMNG	働き方の意向：経営に不安					面 12-2			
810	WNTJB	将来なりたかった職業の有無						留 A60-1		
812	WNTJBPM	なりたかった職業は親の職業か						留 A60-3		
811	WNTJBX	将来なりたかった職業*						留 A60-2		
1459	WNYOCHL	子どものしつけ：他人の子どもへの注意							留 A60	
959	WRNBLHC	医療を受けられない不安							留 A18	
780	X5YCITZN	政治的な経験：市民運動に参加*				留 B28 8				
779	X5YCMPGN	政治的な経験：選挙運動の手伝い*				留 B28 7				
775	X5YCNTC1	政治的な経験：地元の有力者と接触*				留 B28 3				
776	X5YCNTC2	政治的な経験：政治家や官僚と接触*				留 B28 4				
782	X5YDONAT	政治的な経験：献金*				留 B28 10				
774	X5YJICHI	政治的な経験：町内会で活動*				留 B28 2				
783	X5YNONE	政治的な経験：いずれもしたことがない*				留 B28 11				
777	X5YPETIT	政治的な経験：議会や役所に請願*				留 B28 5				
778	X5YPOLMG	政治的な経験：政治的な集会に出席*				留 B28 6				
781	X5YSIGN	政治的な経験：請願書に署名*				留 B28 9				
773	X5YVOTE	政治的な経験：選挙で投票*				留 B28 1				



No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1197	XADDONAT	開発国支援の経験：募金						留 A39		
1198	XADVOL	開発国支援の経験：ボランティア						留 A40		
2081	XARDCLG	外国の大学・大学院に通った経験							留 B61	
2082	XARDEDU	外国での教育・研修経験							留 B62	
1088	XBEATEN	暴行を受けた経験	留 32	留 31						
1905	XC2OTHR	介護の相手（本人）：その他						留 B13-2 4		
1903	XC2PM	介護の相手（本人）：回答者の親						留 B13-2 2		
1902	XC2SS	介護の相手（本人）：配偶者						留 B13-2 1		
1904	XC2SSPM	介護の相手（本人）：配偶者の親						留 B13-2 3		
937	XCARE	介護経験（本人）		留 41	留 20			留 B13-1		
1983	XCC18	18歳以上の子どもの有無						留 B62		
2114	XCHRDIS	慢性的な病気の有無								留 B42-1
704	XCMCARE	共同墓または散骨希望の理由：子どもをわずらわせたくない*	留 42S2	留 42S2						留 A63-2 2
707	XCMETC	共同墓または散骨希望の理由：その他*	留 42S5	留 42S5						留 A63-2 5
705	XCMNATR	共同墓または散骨希望の理由：自然にかえりたい*	留 42S3	留 42S3						留 A63-2 3
703	XCMNONE	共同墓または散骨希望の理由：墓を守る人がいない*	留 42S1	留 42S1						留 A63-2 1
706	XCMSNS	共同墓または散骨希望の理由：墓に意味が見いだせない*	留 42S4	留 42S4						留 A63-2 4
1485	XCOUNSLF	カウンセリングの受療経験（家族）					留 23			
1483	XCOUNSLR	カウンセリングの受療経験（本人）					留 22-1			
607	XDIV	離婚経験	面 31(2)	面 32(2)	面 36-2					
1029	XDNTBOX	寄付の経験：募金箱に寄付					留 61-1 2			
1031	XDNTMASS	寄付の経験：マスコミを通して					留 61-1 4			
1033	XDNTNONE	寄付の経験：していない					留 61-1 6			
1032	XDNTOTHR	寄付の経験：その他					留 61-1 5			
1028	XDNTREG	寄付の経験：定期的な寄付					留 61-1 1			
1030	XDNTSCH	寄付の経験：学校や地域を通して					留 61-1 3			
1286	XDTHPET	ペットの死の経験						留 B7		
1223	XECIRCLE	英語学習・経験：英会話サークル*			留 57 2					
1222	XECLASS	英語学習・経験：英会話学校や文化教室*			留 57 1					
1252	XEEBJH	中学校以前の英語教育経験								留 A22
1230	XEFRIEND	英語学習・経験：外国人の友人や知人との付き合い*			留 57 9					
1224	XEMEDIA	英語学習・経験：テレビやラジオの番組やニュース*			留 57 3					
1231	XENONE	英語学習・経験：いずれも経験はない*			留 57 10					
1229	XEOSJOB	英語学習・経験：海外勤務や居住*			留 57 8					
1228	XEOSSTDY	英語学習・経験：海外留学や海外研修*			留 57 7					
1227	XEOSTRIP	英語学習・経験：海外旅行*			留 57 6					
1225	XESELF	英語学習・経験：英語教材で自習*			留 57 4					
1226	XESHANAI	英語学習・経験：社内研修*			留 57 5					

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
2218	XFLUVCC	インフルエンザの予防接種の経験								留 B69
1149	XFNACT	外国人とのつき合い：地域活動*	留 38 4	留 37 4						
1155	XFNASSOX	外国人とのつき合い（経験）：友人*			留 43 3	留 A39 3				
1158	XFNCLUBX	外国人とのつき合い（経験）：国際交流の活動*			留 43 6	留 A39 5				
1159	XFNETCX	外国人とのつき合い（経験）：サークル・地域活動*			留 43 7	留 A39 6				
1146	XFNHLLLO	外国人とのつき合い：挨拶*	留 38 1	留 37 1						
1157	XFNHLLLOX	外国人とのつき合い（経験）：挨拶*			留 43 5	留 A39 7				
1150	XFNMEAL	外国人とのつき合い：食事招待*	留 38 5	留 37 5						
1156	XFNMGX	外国人とのつき合い（経験）：親族の婚姻*			留 43 4	留 A39 4				
1160	XFNONE	外国人とのつき合い（経験）：つき合いはない*				留 A39 8				
1151	XFNSTAY	外国人とのつき合い：宿泊招待*	留 38 6	留 37 6						
1148	XFNSTDY	外国人とのつき合い：学校*	留 38 3	留 37 3						
1154	XFNSTDYX	外国人とのつき合い（経験）：学校*			留 43 2	留 A39 2				
1147	XFNWORK	外国人とのつき合い：職場*	留 38 2	留 37 2						
1153	XFNWORKX	外国人とのつき合い（経験）：職場*			留 43 1	留 A39 1				
148	XGETJOB	初職の就労時期		面 9(1)(a)	面 17-1		面 38-1	面 45	面 53	面 51
646	XGRADE	在学中の場合の学年（本人）							面 49 3S	面 47 3S
2142	XHLTCHK	健康診断の受診経験								留 B52
657	XHSRATE	高校：進学率			面 34-2					
656	XHSSUB	高校：学んだ学科			面 34-1					
45	XJBSCH	通常労働時間数 / 週							面 9	面 9
30	XJOB1WK	先週の就労経験*	面 1(1)	面 1(1)	面 1-1	面 1-1	面 1-1	面 1-1	面 1-1	面 1-1
31	XJOBDWK	就労日数 / 週	面 1(2)(3)	面 1(2)(3)	面 1-2(a)(b)	面 1-2(a)(b)	面 2-1	面 8	面 8	面 8
32	XJOBHWK	就労時間数 / 週	面 1(2)(3)	面 1(2)(3)	面 1-2(a)(b)	面 1-2(a)(b)	面 2-1	面 2	面 2	面 2
43	XJOBREG	契約就労時間の有無						面 9		
44	XJOBREGH	契約就労時間数 / 週						面 9 1S		
72	XJOBYR	就労年数*	面 1(12)	面 1(12)	面 4	面 6	面 7	面 10	面 10	面 10
650	XKAKUSHU	各種学校などの通学経験：各種学校*	面 29 2	面 30 2	面 33-2 2					
1054	XLIVEYR	現在の居住地域への居住年数				留 A51	留 29	留 A24 留 B17	留 A24 留 B14	留 A25 留 B15
874	XLRNCLTR	受講経験：教養講座	留 9B	留 9B						
1232	XLRNENG	学校外の英語学習の経験				留 A58				
873	XLRNJB	受講経験：実務講座	留 9A	留 9A						
605	XMARRY	結婚経験*	面 31(1)	面 32(1)	面 36-1			留 B45		
610	XMGA1DV	1 回目離婚後の再婚の有無	面 31(3)	面 32(3)	面 36-3					
618	XMGA1WD	配偶者との 1 回目死別後、再婚の有無	面 31(5)	面 32(5)	面 36-5					
613	XMGA2DV	2 回目離婚後の再婚の有無	面 31(3)	面 32(3)	面 36-3					
621	XMGA2WD	配偶者との 2 回目死別後、再婚の有無	面 31(5)	面 32(5)	面 36-5					

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
653	XNOKNOW	各種学校などの通学経験：わからない*	面 29 5	面 30 5	面 33-2 5					
652	XNOSCH	各種学校などの通学経験：いずれもない*	面 29 4	面 30 4	面 33-2 4					
103	XNOWORK	卒業後の未就労期間の有無	面 2(1)	面 2(1)						
555	XNUMBROE	兄弟姉妹人数（兄）	面 23	面 24	面 25-1		面 35-1	面 32-1	面 41-1	面 40-1
558	XNUMBROY	兄弟姉妹人数（弟）	面 23	面 24	面 25-1		面 35-1	面 32-1	面 41-1	面 40-1
102	XNUMCOWK	転職数*	面 3	面 3	面 10					
560	XNUMSBLG	兄弟姉妹人数（計）	面 23	面 24	面 25-1					
557	XNUMSELF	兄弟姉妹人数（本人）	面 23	面 24	面 25-1					
556	XNUMSISE	兄弟姉妹人数（姉）	面 23	面 24	面 25-1		面 35-1	面 32-1	面 41-1	面 40-1
559	XNUMSISY	兄弟姉妹人数（妹）	面 23	面 24	面 25-1		面 35-1	面 32-1	面 41-1	面 40-1
651	XOCCUP	各種学校などの通学経験：公共職業訓練校*	面 29 3	面 30 3	面 33-2 3					
2168	XOMDACU	東洋医療の経験：鍼・灸								留 B58A
2169	XOMDHRB	東洋医療の経験：漢方薬								留 B58B
2170	XOMDMAS	東洋医療の経験：指圧・マッサージ								留 B58C
33	XOTHWK	残業時間数 / 週*	面 1(2)(3)	面 1(2)(3)	面 1-2(a)(b)	面 1-2(a)(b)	面 2-1			
1101	XPBAD	大人になってからの暴行被害経験							留 A20-1	
1104	XPBADCC	大人になってからの暴行加害者：子ども							留 A20-2 3	
1107	XPBADCW	大人になってからの暴行加害者：職場の同僚や部下							留 A20-2 6	
1108	XPBADFA	大人になってからの暴行加害者：その他の知人・友人							留 A20-2 7	
1105	XPBADFM	大人になってからの暴行加害者：その他の家族・親族							留 A20-2 4	
1102	XPBADPA	大人になってからの暴行加害者：親							留 A20-2 1	
1103	XPBADSP	大人になってからの暴行加害者：配偶者・恋人							留 A20-2 2	
1109	XPBADST	大人になってからの暴行加害者：知らない人							留 A20-2 8	
1106	XPBADSV	大人になってからの暴行加害者：職場の上司							留 A20-2 5	
1093	XPBCL	子どもの時の暴行被害経験							留 A19-1	
1099	XPBCLAQ	子どもの時の暴行加害者：その他の知人							留 A19-2 6	
1095	XPBCLBS	子どもの時の暴行加害者：きょうだい							留 A19-2 2	
1098	XPBCLFD	子どもの時の暴行加害者：友人							留 A19-2 5	
1096	XPBCLFM	子どもの時の暴行加害者：その他の家族・親族							留 A19-2 3	
1094	XPBCLPA	子どもの時の暴行加害者：親							留 A19-2 1	
1100	XPBCLST	子どもの時の暴行加害者：知らない人							留 A19-2 7	
1097	XPBCLTA	子どもの時の暴行加害者：先生							留 A19-2 4	
1307	XPBEPCE	環境保護と企業倫理に基づく購買行動*							留 A52-1	留 A51
1308	XPBPDR	政治・外交的理由に基づく購買行動							留 A52-2	
809	XQTEDU	経済的理由で進学を断念した経験						留 A59		
942	XQTSMOKE	禁煙努力*	留 54S	留 54S	留 35S	留 A45-2	留 18-2	留 A10-2	留 A10-2	留 A9-2
2156	XRFDCTR	医師の診断を控えた経験								留 B56-1

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1121	XROBBD1Y	強盗等の被害経験	留 35	留 34	留 27	留 A32	留 46	留 A50	留 A55 留 B35	留 A49
1462	XS10YCDC	10年間の変化：地域のしつけ力							留 A61C	
1460	XS10YCDH	10年間の変化：家庭のしつけ力							留 A61A	
1461	XS10YCDS	10年間の変化：学校のしつけ力							留 A61B	
1465	XS10YMSC	10年間の変化：子どもの道徳意識							留 A61F	
1464	XS10YPPM	10年間の変化：母親の存在感							留 A61E	
1463	XS10YPPP	10年間の変化：父親の存在感							留 A61D	
1385	XSAGCHEM	消費行動の変化：無農薬・有機栽培の野菜を買う				留 A49H				
1379	XSBRAND	消費行動の変化：高級ブランド品を買う				留 A49B				
1466	XSBULLY	身近な人の校内いじめの有無				留 A21				
1378	XSCATL	消費行動の変化：通信販売を利用する				留 A49A				
1381	XSCLED	消費行動の変化：趣味の講座を受ける				留 A49D				
1453	XSCORR	小・中学生の頃の経験：通信教育*			留 31 3					
1110	XSCYP	言葉の暴力の被害経験							留 A21-1	
1113	XSCYPCC	言葉の暴力の加害者：子ども							留 A21-2 3	
1116	XSCYPCW	言葉の暴力の加害者：職場の同僚や部下							留 A21-2 6	
1117	XSCYPFA	言葉の暴力の加害者：その他の知人・友人							留 A21-2 7	
1114	XSCYPFM	言葉の暴力の加害者：その他の家族・親族							留 A21-2 4	
1111	XSCYPPA	言葉の暴力の加害者：親							留 A21-2 1	
1112	XSCYPSP	言葉の暴力の加害者：配偶者・恋人							留 A21-2 2	
1118	XSCYPST	言葉の暴力の加害者：知らない人							留 A21-2 8	
1115	XSCYPSV	言葉の暴力の加害者：職場の上司							留 A21-2 5	
1388	XSEATOUT	消費行動の変化：外食をする				留 A49K				
649	XSENSHU	各種学校などの通学経験：専修学校・専門学校*	面 29 1	面 30 1	面 33-2 1					
1387	XSEXER	消費行動の変化：健康のために運動をする				留 A49J				
1391	XSJAPAN	消費行動の変化：日本のメーカーの製品を買う				留 A49N				
97	XSJB1WK	副業の有無*	面 1(25)	面 1(25)	面 9-2	面 11-1	面 16-1			
1451	XSJUKU	小・中学生の頃の経験：塾*			留 31 1					
1380	XSLRNQL	消費行動の変化：資格の講座を受ける				留 A49C				
1386	XSMEAL	消費行動の変化：健康に気をつけて食事をする				留 A49I				
1454	XSNONE	小・中学生の頃の経験：いずれもない*			留 31 4					
1389	XSPRICE	消費行動の変化：値段にこだわって買う				留 A49L				
654	XSPSCH	専修学校・専門学校への通学経験（本人）						面 44	面 50	面 48
1390	XSQLTY	消費行動の変化：品質にこだわって買う				留 A49M				
1383	XSRECYC	消費行動の変化：再生商品を買う				留 A49F				
1382	XSREFIL	消費行動の変化：詰替え商品を買う				留 A49E				
1384	XSRESHOP	消費行動の変化：リサイクルショップを利用する				留 A49G				

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
577	XSSNBROE	配偶者の兄弟姉妹人数(兄)*		面 24	面 25-2		面 35-2	面 32-2	面 41-2	面 40-2
580	XSSNBROY	配偶者の兄弟姉妹人数(弟)*		面 24	面 25-2		面 35-2	面 32-2	面 41-2	面 40-2
582	XSSNSBLG	配偶者の兄弟姉妹人数(計)		面 24	面 25-2					
579	XSSNSSELF	配偶者の兄弟姉妹人数(本人)		面 24	面 25-2					
578	XSSNSISE	配偶者の兄弟姉妹人数(姉)*		面 24	面 25-2		面 35-2	面 32-2	面 41-2	面 40-2
581	XSSNSISY	配偶者の兄弟姉妹人数(妹)*		面 24	面 25-2		面 35-2	面 32-2	面 41-2	面 40-2
1979	XSSRMG	配偶者の初婚・再婚						留 B58		
1120	XSTOLN1Y	空き巣被害経験	留 34	留 33	留 26	留 A31	留 45	留 A51	留 A56 留 B36	留 A50
1452	XSTUTOR	小・中学生の頃の経験：家庭教師につく*			留 31 2					
939	XTRAUM5Y	トラウマの回数	留 36	留 35	留 28	留 A33	留 20	留 A12 留 B12	留 A12 留 B10	留 A11 留 B11
75	XTRG1YR	過去1年の研修経験	面 1(13)	面 1(13)						
658	XUPUBLIC	大学など：国・公・私立			面 35-1					
659	XUSUB	大学など：専攻分野			面 35-2					
1007	XVLBAZZR	ボランティア団体への支援：バザーへの出品*			留 50 5					
1008	XVLBLOOD	ボランティア団体への支援：献血*			留 50 6					
1004	XVLCARD	ボランティア団体への支援：ボランティア貯金・寄付金つきクレジットカードの利用*			留 50 2					
1040	XVLCC	ボランティア活動：子ども*								留 A72 6
1012	XVLCUL	ボランティア団体への支援：文化的奉仕*			留 50 7S					
1043	XVLDISAB	ボランティア活動：障害者*								留 A72 7S
1003	XVLDONAT	ボランティア団体への支援：寄付・募金*			留 50 1					
1039	XVLELD	ボランティア活動：高齢者*								留 A72 5
1010	XVLENV	ボランティア団体への支援：清掃・環境*			留 50 7S					
1009	XVLETC	ボランティア団体への支援：その他*			留 50 7					
1035	XVLPRT	ボランティア活動：まちづくり*								留 A72 1
1001	XVLIRREG	不定期なボランティア：経験の有無			留 49		留 59-1			
1013	XVLLABOR	ボランティア団体への支援：労働奉仕*			留 50 7S					
1042	XVLNONE	ボランティア活動：いずれも行っていない*								留 A72 8
1036	XVLNTENV	ボランティア活動：自然や環境の保護*								留 A72 2
1041	XVLOTHR	ボランティア活動：その他*								留 A72 7
1018	XVLRDNT	定期的ボランティアの内容：文化・芸術					留 58-3 3			
1020	XVLRDNT	定期的ボランティアの内容：寄付金集め					留 58-3 5			
999	XVLREG	定期的ボランティア：経験の有無			留 48		留 58-1			
1016	XVLRENV	定期的ボランティアの内容：環境保護・清掃					留 58-3 1			
1021	XVLROTHR	定期的ボランティアの内容：その他					留 58-3 6			
1019	XVLRTH	定期的ボランティアの内容：教育・技術指導					留 58-3 4			
1017	XVLRWF	定期的ボランティアの内容：介護・福祉					留 58-3 2			

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1037	XVLSAFE	ボランティア活動：安全な生活*								留 A72 3
1038	XVLSPTS	ボランティア活動：スポーツ・文化・芸術・学術*								留 A72 4
1005	XVLSTAMP	ボランティア団体への支援：寄付金つき切手・はがき・ユニセフカードなどの購入*			留 50 3					
1024	XVLTCUL	不定期なボランティアの内容：文化・芸術					留 59-3 3			
1026	XVLTDNT	不定期なボランティアの内容：寄付金集め					留 59-3 5			
1014	XVLTEACH	ボランティア団体への支援：指導*			留 50 7S					
1022	XVLTENV	不定期なボランティアの内容：環境保護・清掃					留 59-3 1			
1027	XVLTOTHR	不定期なボランティアの内容：その他					留 59-3 6			
1025	XVLTTCCH	不定期なボランティアの内容：教育・技術指導					留 59-3 4			
1023	XVLTWF	不定期なボランティアの内容：介護・福祉					留 59-3 2			
1006	XVLUSED	ボランティア団体への支援：古着や毛布などの寄贈*			留 50 4					
1011	XVLWF	ボランティア団体への支援：介護・福祉*			留 50 7S					
615	XWIDOW	配偶者との死別経験	面 31(4)	面 32(4)	面 36-4					
813	XWNTJOB	なりたかった職業に就けたか						留 A60-4		
723	XWNTSCD	自殺願望の経験						留 A56		
130	XWORK	就労経験*	面 5(1)	面 5(1)	面 12-1		面 1-3	面 1-3	面 1-3	面 1-3
131	XWORK1Y	1年間以上の就労経験*	面 5(2)	面 5(2)	面 12-2					
724	XX8PLPTY	支持政党*	面 14	面 15	面 22-1	留 B22-1	留 43-1	留 A47 留 B27	留 A46 留 B22	留 A45 留 B26
726	XX9PLPFV	好ましい政党*	面 14S	面 15S	面 22-2	留 B22-2	留 43-2			
145	XXFSTJB	初職の職種	面 9(3)	面 9(3)	面 17-5		面 38-4	面 47	面 55	面 53
146	XXFSTJBE	初職の職種 (ISCO)*						面 47		
144	XXFSTWP	初職の業種	面 9(2)	面 9(2)	面 17-4		面 38-3			
57	XXJOB	職種	面 1(6)	面 1(6)	面 2-3	面 4-3	面 5-3	面 7	面 7	面 7
58	XXJOBE	職種 (ISCO)*						面 7	面 7	面 7
137	XXLSTJB	前職の職種*	面 5(7)	面 5(7)	面 13-4					
641	XXLSTSCH	最終学校 (本人)*	面 27	面 28	面 32	面 25	面 36	面 42	面 48	面 46
136	XXLSTWPL	前職の業種*	面 5(6)	面 5(6)	面 13-3					
995	XXMEMHOB	組織への所属：趣味の会 (具体的記述)*	留 30GS	留 29GS	留 15GS	留 A20CS 留 B21GS	留 11-2			
993	XXMEMSP	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ (具体的記述)	留 30FS	留 29FS						
709	XXRL	信仰する宗教 (本人)*	留 57S(1)	留 57S(1)	留 37S1	留 A47-2	留 62-2	留 A67-2 留 B9-2	留 A68-2 留 B40-2	留 A73-2 留 B30-2
922	XXSPORT	スポーツの種類 (具体的記述)			留 24S	留 A26-2	留 10-2			
134	XXSTPJB	離職理由*	面 5(4)	面 5(4)	面 13-1		面 1-4			
14	XXTODAY	留置票の記入日：月日*				留 B8			留 A71 留 B68	
725	XXWHYNO	政党を支持しない理由			面 22-3					

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
62	XXWPHQ	業種(本社)	面 1(10)	面 1(10)	面 3-2					
55	XXWPL	業種*	面 1(5)	面 1(5)	面 2-2	面 4-2	面 5-2	面 6	面 6	面 6
56	XXWPLE	業種 (ISIC)*						面 6		
1489	Z1ELSE	悩みの相談相手：記入外の人数				留 B1-2				
1494	Z1KNOWAB	A と B が知り合いか				留 B1-4				
1495	Z1KNOWAC	A と C が知り合いか				留 B1-4				
1496	Z1KNOWAD	A と D が知り合いか				留 B1-4				
1497	Z1KNOWBC	B と C が知り合いか				留 B1-4				
1498	Z1KNOWBD	B と D が知り合いか				留 B1-4				
1499	Z1KNOWCD	C と D が知り合いか				留 B1-4				
1488	Z1NUM	悩みの相談相手：記入人数				留 B1-1				
1490-1493	Z1XX[A-D]	[A-D]欄への記入の有無				留 B1-3				
1501	Z2ELSE	政治的な話題の相手：記入外の人数				留 B2-2				
1506	Z2KNOWEF	E と F が知り合いか				留 B2-4				
1507	Z2KNOWEG	E と G が知り合いか				留 B2-4				
1508	Z2KNOWEH	E と H が知り合いか				留 B2-4				
1509	Z2KNOWFG	F と G が知り合いか				留 B2-4				
1510	Z2KNOWFH	F と H が知り合いか				留 B2-4				
1511	Z2KNOWGH	G と H が知り合いか				留 B2-4				
1500	Z2NUM	政治的な話題の相手：記入人数				留 B2-1				
1502-1505	Z2XX[E-H]	[E-H]欄への記入の有無				留 B2-3				
1513	Z3ELSE	仕事の相談相手：記入外の人数				留 B3-2				
1518	Z3KNOWIJ	I と J が知り合いか				留 B3-4				
1519	Z3KNOWIK	I と K が知り合いか				留 B3-4				
1520	Z3KNOWIL	I と L が知り合いか				留 B3-4				
1521	Z3KNOWJK	J と K が知り合いか				留 B3-4				
1522	Z3KNOWJL	J と L が知り合いか				留 B3-4				
1523	Z3KNOWKL	K と L が知り合いか				留 B3-4				
1512	Z3NUM	仕事の相談相手：記入人数				留 B3-1				
1514-1517	Z3XX[I-L]	[I-L]欄への記入の有無				留 B3-3				
1578-1581	ZAGE[A-D]	[A-D]の年齢				留 B5-3				
1678-1681	ZAGE[E-H]	[E-H]の年齢				留 B6-3				
1778-1781	ZAGE[I-L]	[I-L]の年齢				留 B7-3				
1602-1605	ZCLOSE[A-D]	[A-D]との親密度				留 B5-9				
1702-1705	ZCLOSE[E-H]	[E-H]との親密度				留 B6-9				
1802-1805	ZCLOSE[I-L]	[I-L]との親密度				留 B7-9				
1614-1617	ZCOHOBB[A-D]	[A-D]とのコミュニケーション：共通の趣味				留 B5-12 1				
1714-1717	ZCOHOBB[E-H]	[E-H]とのコミュニケーション：共通の趣味				留 B6-12 1				

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1814-1817	ZCOHOBB[I-L]	[I-L]とのコミュニケーション：共通の趣味				留 B7-12 1				
1622-1625	ZCOMONY[A-D]	[A-D]とのコミュニケーション：お金を借りられる				留 B5-12 3				
1722-1725	ZCOMONY[E-H]	[E-H]とのコミュニケーション：お金を借りられる				留 B6-12 3				
1822-1825	ZCOMONY[I-L]	[I-L]とのコミュニケーション：お金を借りられる				留 B7-12 3				
1626-1629	ZCONOMK[A-D]	[A-D]とのコミュニケーション：いずれも選択していない				留 B5-12				
1726-1729	ZCONOMK[E-H]	[E-H]とのコミュニケーション：いずれも選択していない				留 B6-12				
1826-1829	ZCONOMK[I-L]	[I-L]とのコミュニケーション：いずれも選択していない				留 B7-12				
1618-1621	ZCOUTG[A-D]	[A-D]とのコミュニケーション：いっしょに外出				留 B5-12 2				
1718-1721	ZCOUTG[E-H]	[E-H]とのコミュニケーション：いっしょに外出				留 B6-12 2				
1818-1821	ZCOUTG[I-L]	[I-L]とのコミュニケーション：いっしょに外出				留 B7-12 2				
1586-1589	ZFQTALK[A-D]	[A-D]と会話する頻度				留 B5-5				
1686-1689	ZFQTALK[E-H]	[E-H]と会話する頻度				留 B6-5				
1786-1789	ZFQTALK[I-L]	[I-L]と会話する頻度				留 B7-5				
1562-1565	ZFRIE[A-D]	[A-D]との間柄：友人				留 B5-1 9				
1662-1665	ZFRIE[E-H]	[E-H]との間柄：友人				留 B6-1 9				
1762-1765	ZFRIE[I-L]	[I-L]との間柄：友人				留 B7-1 9				
1598-1601	ZJOB[A-D]	[A-D]の職種				留 B5-8				
1698-1701	ZJOB[E-H]	[E-H]の職種				留 B6-8				
1798-1801	ZJOB[I-L]	[I-L]の職種				留 B7-8				
1546-1549	ZJOBCOL[A-D]	[A-D]との間柄：同僚				留 B5-1 5				
1646-1649	ZJOBCOL[E-H]	[E-H]との間柄：同僚				留 B6-1 5				
1746-1749	ZJOBCOL[I-L]	[I-L]との間柄：同僚				留 B7-1 5				
1550-1553	ZJOBETC[A-D]	[A-D]との間柄：その他の仕事関係				留 B5-1 6				
1650-1653	ZJOBETC[E-H]	[E-H]との間柄：その他の仕事関係				留 B6-1 6				
1750-1753	ZJOBETC[I-L]	[I-L]との間柄：その他の仕事関係				留 B7-1 6				
1542-1545	ZJOBREL[A-D]	[A-D]との間柄：上司・部下				留 B5-1 4				
1642-1645	ZJOBREL[E-H]	[E-H]との間柄：上司・部下				留 B6-1 4				
1742-1745	ZJOBREL[I-L]	[I-L]との間柄：上司・部下				留 B7-1 4				
1891	ZKBANKF	知り合い：銀行員：女性				留 B27P				
1890	ZKBANKM	知り合い：銀行員：男性				留 B27P				
1892	ZKBANKN	知り合い：銀行員：いない				留 B27P				
1893	ZKBANKX	知り合い：銀行員：いずれも選択していない				留 B27P				
1899	ZKCOMPF	知り合い：情報技術者：女性				留 B27R				
1898	ZKCOMP M	知り合い：情報技術者：男性				留 B27R				
1900	ZKCOMP N	知り合い：情報技術者：いない				留 B27R				
1901	ZKCOMP X	知り合い：情報技術者：いずれも選択していない				留 B27R				
1867	ZKDIETF	知り合い：国会議員：女性				留 B27J				
1866	ZKDIETM	知り合い：国会議員：男性				留 B27J				



No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1868	ZKDIETN	知り合い：国会議員：いない				留 B27J				
1869	ZKDIETX	知り合い：国会議員：いずれも選択していない				留 B27J				
1879	ZKDOCF	知り合い：医師：女性				留 B27M				
1878	ZKDOCM	知り合い：医師：男性				留 B27M				
1880	ZKDOCN	知り合い：医師：いない				留 B27M				
1881	ZKDOCX	知り合い：医師：いずれも選択していない				留 B27M				
1895	ZKFCTRYF	知り合い：工場作業員：女性				留 B27Q				
1894	ZKFCTRYM	知り合い：工場作業員：男性				留 B27Q				
1896	ZKFCTRYN	知り合い：工場作業員：いない				留 B27Q				
1897	ZKFCTRYX	知り合い：工場作業員：いずれも選択していない				留 B27Q				
1855	ZKGVMTF	知り合い：中央官庁の役職者：女性				留 B27G				
1854	ZKGVMTM	知り合い：中央官庁の役職者：男性				留 B27G				
1856	ZKGVMTN	知り合い：中央官庁の役職者：いない				留 B27G				
1857	ZKGVMTX	知り合い：中央官庁の役職者：いずれも選択していない				留 B27G				
1534-1537	ZKIN1[A-D]	[A-D]との間柄：親・子				留 B5-1 2				
1634-1637	ZKIN1[E-H]	[E-H]との間柄：親・子				留 B6-1 2				
1734-1737	ZKIN1[I-L]	[I-L]との間柄：親・子				留 B7-1 2				
1538-1541	ZKIN2[A-D]	[A-D]との間柄：その他の家族・親せき				留 B5-1 3				
1638-1641	ZKIN2[E-H]	[E-H]との間柄：その他の家族・親せき				留 B6-1 3				
1738-1741	ZKIN2[I-L]	[I-L]との間柄：その他の家族・親せき				留 B7-1 3				
1887	ZKINSF	知り合い：保険の勧誘員：女性				留 B27O				
1886	ZKINSM	知り合い：保険の勧誘員：男性				留 B27O				
1888	ZKINSN	知り合い：保険の勧誘員：いない				留 B27O				
1889	ZKINSX	知り合い：保険の勧誘員：いずれも選択していない				留 B27O				
1831	ZKJICHIF	知り合い：町内会の役員：女性				留 B27A				
1830	ZKJICHIM	知り合い：町内会の役員：男性				留 B27A				
1832	ZKJICHIN	知り合い：町内会の役員：いない				留 B27A				
1833	ZKJICHIX	知り合い：町内会の役員：いずれも選択していない				留 B27A				
1863	ZKLOCALF	知り合い：地方議会議員：女性				留 B27I				
1862	ZKLOCALM	知り合い：地方議会議員：男性				留 B27I				
1864	ZKLOCALN	知り合い：地方議会議員：いない				留 B27I				
1865	ZKLOCALX	知り合い：地方議会議員：いずれも選択していない				留 B27I				
1859	ZKMAYRF	知り合い：市区町村の首長：女性				留 B27H				
1858	ZKMAYRM	知り合い：市区町村の首長：男性				留 B27H				
1860	ZKMAYRN	知り合い：市区町村の首長：いない				留 B27H				
1861	ZKMAYRX	知り合い：市区町村の首長：いずれも選択していない				留 B27H				
1875	ZKMEDIAF	知り合い：マスコミ関係者：女性				留 B27L				
1874	ZKMEDIAM	知り合い：マスコミ関係者：男性				留 B27L				

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1876	ZKMEDIAN	知り合い：マスコミ関係者：いない				留 B27L				
1877	ZKMEDIAX	知り合い：マスコミ関係者：いずれも選択していない				留 B27L				
1582-1585	ZKNOWYR[A-D]	[A-D]と知り合ってから年数				留 B5-4				
1682-1685	ZKNOWYR[E-H]	[E-H]と知り合ってから年数				留 B6-4				
1782-1785	ZKNOWYR[I-L]	[I-L]と知り合ってから年数				留 B7-4				
1851	ZKPREFF	知り合い：県庁の役職者：女性				留 B27F				
1850	ZKPREFM	知り合い：県庁の役職者：男性				留 B27F				
1852	ZKPREFN	知り合い：県庁の役職者：いない				留 B27F				
1853	ZKPREFX	知り合い：県庁の役職者：いずれも選択していない				留 B27F				
1871	ZKSECRF	知り合い：政治家の後援会の世話役：女性				留 B27K				
1870	ZKSECRM	知り合い：政治家の後援会の世話役：男性				留 B27K				
1872	ZKSECRN	知り合い：政治家の後援会の世話役：いない				留 B27K				
1873	ZKSECRX	知り合い：政治家の後援会の世話役：いずれも選択していない				留 B27K				
1883	ZKSMALLF	知り合い：中小企業経営者：女性				留 B27N				
1882	ZKSMALLM	知り合い：中小企業経営者：男性				留 B27N				
1884	ZKSMALLN	知り合い：中小企業経営者：いない				留 B27N				
1885	ZKSMALLX	知り合い：中小企業経営者：いずれも選択していない				留 B27N				
1847	ZKTOWNF	知り合い：役所（市区町村）の役職者：女性				留 B27E				
1846	ZKTOWNM	知り合い：役所（市区町村）の役職者：男性				留 B27E				
1848	ZKTOWNN	知り合い：役所（市区町村）の役職者：いない				留 B27E				
1849	ZKTOWNX	知り合い：役所（市区町村）の役職者：いずれも選択していない				留 B27E				
1839	ZKTRDEF	知り合い：同業組合の役員：女性				留 B27C				
1838	ZKTRDEM	知り合い：同業組合の役員：男性				留 B27C				
1840	ZKTRDEN	知り合い：同業組合の役員：いない				留 B27C				
1841	ZKTRDEX	知り合い：同業組合の役員：いずれも選択していない				留 B27C				
1843	ZKUNIF	知り合い：労働組合の役員：女性				留 B27D				
1842	ZKUNIM	知り合い：労働組合の役員：男性				留 B27D				
1844	ZKUNIN	知り合い：労働組合の役員：いない				留 B27D				
1845	ZKUNIX	知り合い：労働組合の役員：いずれも選択していない				留 B27D				
1835	ZKVOLF	知り合い：市民運動団体の役員：女性				留 B27B				
1834	ZKVOLM	知り合い：市民運動団体の役員：男性				留 B27B				
1836	ZKVOLN	知り合い：市民運動団体の役員：いない				留 B27B				
1837	ZKVOLX	知り合い：市民運動団体の役員：いずれも選択していない				留 B27B				
1590-1593	ZLSTSCH[A-D]	[A-D]の最終学歴				留 B5-6				
1690-1693	ZLSTSCH[E-H]	[E-H]の最終学歴				留 B6-6				
1790-1793	ZLSTSCH[I-L]	[I-L]の最終学歴				留 B7-6				
1558-1561	ZNEIB[A-D]	[A-D]との間柄：近所の人				留 B5-1 8				

No.	変数	変数ラベル	JGSS-2000	JGSS-2001	JGSS-2002	JGSS-2003	JGSS-2005	JGSS-2006	JGSS-2008	JGSS-2010
1658-1661	ZNEIB[E-H]	[E-H]との間柄：近所の人				留 B6-1 8				
1758-1761	ZNEIB[I-L]	[I-L]との間柄：近所の人				留 B7-1 8				
1606-1609	ZPLTALK[A-D]	[A-D]との政治的な会話				留 B5-10				
1706-1709	ZPLTALK[E-H]	[E-H]との政治的な会話				留 B6-10				
1806-1809	ZPLTALK[I-L]	[I-L]との政治的な会話				留 B7-10				
1566-1569	ZRELETC[A-D]	[A-D]との間柄：その他				留 B5-1 10				
1666-1669	ZRELETC[E-H]	[E-H]との間柄：その他				留 B6-1 10				
1766-1769	ZRELETC[I-L]	[I-L]との間柄：その他				留 B7-1 10				
1570-1573	ZRLNOMK[A-D]	[A-D]との間柄：いずれも選択していない				留 B5-1				
1670-1673	ZRLNOMK[E-H]	[E-H]との間柄：いずれも選択していない				留 B6-1				
1770-1773	ZRLNOMK[I-L]	[I-L]との間柄：いずれも選択していない				留 B7-1				
1524-1529	ZSAME[1-6]	同一人物：[1-6]番目				留 B4				
1574-1577	ZSEX[A-D]	[A-D]の性別				留 B5-2				
1674-1677	ZSEX[E-H]	[E-H]の性別				留 B6-2				
1774-1777	ZSEX[I-L]	[I-L]の性別				留 B7-2				
1530-1533	ZSS[A-D]	[A-D]との間柄：配偶者				留 B5-1 1				
1630-1633	ZSS[E-H]	[E-H]との間柄：配偶者				留 B6-1 1				
1730-1733	ZSS[I-L]	[I-L]との間柄：配偶者				留 B7-1 1				
1554-1557	ZTEAM[A-D]	[A-D]との間柄：組織・団体				留 B5-1 7				
1654-1657	ZTEAM[E-H]	[E-H]との間柄：組織・団体				留 B6-1 7				
1754-1757	ZTEAM[I-L]	[I-L]との間柄：組織・団体				留 B7-1 7				
1487	ZTIME	B 票面接部分の所要時間				留 BF				
1594-1597	ZTP7JOB[A-D]	[A-D]の就労地位				留 B5-7				
1694-1697	ZTP7JOB[E-H]	[E-H]の就労地位				留 B6-7				
1794-1797	ZTP7JOB[I-L]	[I-L]の就労地位				留 B7-7				
1610-1613	ZVOTE[A-D]	[A-D]が投票する政党				留 B5-11				
1710-1713	ZVOTE[E-H]	[E-H]が投票する政党				留 B6-11				
1810-1813	ZVOTE[I-L]	[I-L]が投票する政党				留 B7-11				

. 資料

. 1 抽出地点リスト：JGSS-2000

都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
北海道	札幌市	60	4	山形県	飽海郡	15	1	埼玉県	春日部市	15	1
北海道	函館市	15	1	福島県	会津若松市	15	1	埼玉県	鴻巣市	15	1
北海道	旭川市	15	1	福島県	いわき市	15	1	埼玉県	与野市	15	1
北海道	釧路市	15	1	福島県	須賀川市	15	1	埼玉県	越谷市	15	1
北海道	網走市	15	1	福島県	大沼郡	15	1	埼玉県	入間市	15	1
北海道	江別市	15	1	茨城県	水戸市	15	1	埼玉県	新座市	15	1
北海道	登別市	15	1	茨城県	古河市	15	1	埼玉県	上福岡市	15	1
北海道	上磯郡	15	1	茨城県	北茨城市	15	1	埼玉県	鶴ヶ島市	15	1
北海道	夕張郡	15	1	茨城県	ひたちなか市	15	1	埼玉県	比企郡	15	1
北海道	紋別郡	15	1	茨城県	西茨城郡	15	1	埼玉県	南埼玉郡	15	1
北海道	厚岸郡	15	1	茨城県	行方郡	15	1	千葉県	千葉市	30	2
青森県	青森市	15	1	茨城県	真壁郡	15	1	千葉県	市川市	15	1
青森県	八戸市	15	1	栃木県	宇都宮市	15	1	千葉県	船橋市	15	1
青森県	上北郡	15	1	栃木県	栃木市	15	1	千葉県	館山市	15	1
岩手県	盛岡市	15	1	栃木県	小山市	15	1	千葉県	松戸市	15	1
岩手県	花巻市	15	1	栃木県	上都賀郡	15	1	千葉県	茂原市	15	1
岩手県	紫波郡	15	1	栃木県	那須郡	15	1	千葉県	旭市	15	1
宮城県	仙台市	30	2	群馬県	前橋市	15	1	千葉県	柏市	15	1
宮城県	石巻市	15	1	群馬県	桐生市	15	1	千葉県	流山市	15	1
宮城県	角田市	15	1	群馬県	館林市	15	1	千葉県	鎌ヶ谷市	15	1
宮城県	柴田郡	15	1	群馬県	多野郡	15	1	千葉県	袖ヶ浦市	15	1
宮城県	遠田郡	15	1	群馬県	邑楽郡	15	1	千葉県	印旛郡	15	1
秋田県	秋田市	15	1	埼玉県	川越市	15	1	千葉県	長生郡	15	1
秋田県	北秋田郡	15	1	埼玉県	川口市	15	1	東京都	区部	300	20
秋田県	平鹿郡	15	1	埼玉県	浦和市	15	1	東京都	八王子市	15	1
山形県	山形市	15	1	埼玉県	大宮市	15	1	東京都	武蔵野市	15	1
山形県	酒田市	15	1	埼玉県	行田市	15	1	東京都	青梅市	15	1
山形県	南陽市	15	1	埼玉県	飯能市	15	1	東京都	調布市	15	1

都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
東京都	町田市	15	1	山梨県	山梨市	15	1	愛知県	東海市	15	1
東京都	日野市	15	1	山梨県	東八代郡	15	1	愛知県	豊明市	15	1
東京都	国立市	15	1	長野県	長野市	15	1	愛知県	丹羽郡	15	1
東京都	東大和市	15	1	長野県	飯田市	15	1	愛知県	知多郡	15	1
東京都	稲城市	15	1	長野県	大町市	15	1	三重県	四日市市	15	1
神奈川県	横浜市	120	8	長野県	南佐久郡	15	1	三重県	桑名市	15	1
神奈川県	川崎市	45	3	長野県	東筑摩郡	15	1	三重県	鳥羽市	15	1
神奈川県	横須賀市	15	1	岐阜県	岐阜市	15	1	三重県	桑名郡	15	1
神奈川県	平塚市	15	1	岐阜県	高山市	15	1	三重県	度会郡	15	1
神奈川県	藤沢市	15	1	岐阜県	恵那市	15	1	滋賀県	大津市	15	1
神奈川県	茅ヶ崎市	15	1	岐阜県	養老郡	15	1	滋賀県	守山市	15	1
神奈川県	相模原市	15	1	岐阜県	加茂郡	15	1	滋賀県	甲賀郡	15	1
神奈川県	三浦市	15	1	静岡県	静岡市	15	1	京都府	京都市	60	4
神奈川県	大和市	15	1	静岡県	浜松市	30	2	京都府	京田辺市	15	1
神奈川県	座間市	15	1	静岡県	清水市	15	1	京都府	向日市	15	1
神奈川県	足柄上郡	15	1	静岡県	富士宮市	15	1	京都府	相楽郡	15	1
新潟県	新潟市	15	1	静岡県	磐田市	15	1	大阪府	大阪市	90	6
新潟県	柏崎市	15	1	静岡県	御殿場市	15	1	大阪府	堺市	30	2
新潟県	村上市	15	1	静岡県	駿東郡	15	1	大阪府	豊中市	15	1
新潟県	上越市	15	1	静岡県	磐田郡	15	1	大阪府	吹田市	15	1
新潟県	西蒲原郡	15	1	愛知県	名古屋市	75	5	大阪府	高槻市	15	1
新潟県	中頸城郡	15	1	愛知県	豊橋市	15	1	大阪府	守口市	15	1
富山県	高岡市	15	1	愛知県	岡崎市	15	1	大阪府	枚方市	15	1
富山県	射水郡	15	1	愛知県	瀬戸市	15	1	大阪府	八尾市	15	1
石川県	金沢市	30	2	愛知県	春日井市	15	1	大阪府	富田林市	15	1
石川県	鹿島郡	15	1	愛知県	豊田市	15	1	大阪府	松原市	15	1
福井県	福井市	15	1	愛知県	安城市	15	1	大阪府	箕面市	15	1
福井県	勝山市	15	1	愛知県	江南市	15	1	大阪府	門真市	15	1

都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
大阪府	東大阪市	15	1	広島県	三原市	15	1	長崎県	長崎市	15	1
大阪府	泉南市	15	1	広島県	福山市	15	1	長崎県	佐世保市	15	1
大阪府	泉北郡	15	1	広島県	安芸郡	15	1	長崎県	西彼杵郡	15	1
兵庫県	神戸市	45	3	広島県	世羅郡	15	1	熊本県	熊本市	30	2
兵庫県	姫路市	15	1	山口県	下関市	15	1	熊本県	玉名市	15	1
兵庫県	尼崎市	15	1	山口県	山口市	15	1	熊本県	下益城郡	15	1
兵庫県	明石市	15	1	山口県	下松市	15	1	熊本県	上益城郡	15	1
兵庫県	西宮市	15	1	山口県	豊浦郡	15	1	大分県	大分市	15	1
兵庫県	伊丹市	15	1	徳島県	徳島市	15	1	大分県	日田市	15	1
兵庫県	加古川市	15	1	徳島県	美馬郡	15	1	大分県	大分郡	15	1
兵庫県	宝塚市	15	1	香川県	高松市	15	1	宮崎県	宮崎市	15	1
兵庫県	三田市	15	1	香川県	善通寺市	15	1	宮崎県	小林市	15	1
兵庫県	神崎郡	15	1	香川県	綾歌郡	15	1	宮崎県	西諸県郡	15	1
兵庫県	氷上郡	15	1	愛媛県	松山市	15	1	鹿児島県	鹿児島市	15	1
奈良県	奈良市	15	1	愛媛県	新居浜市	15	1	鹿児島県	串木野市	15	1
奈良県	橿原市	15	1	愛媛県	伊予郡	15	1	鹿児島県	薩摩郡	15	1
奈良県	北葛城郡	15	1	高知県	高知市	15	1	鹿児島県	肝属郡	15	1
和歌山県	和歌山市	15	1	高知県	高岡郡	15	1	沖縄県	那覇市	15	1
和歌山県	橋本市	15	1	福岡県	北九州市	30	2	沖縄県	名護市	15	1
和歌山県	有田郡	15	1	福岡県	福岡市	45	3			計	4500 300
鳥取県	鳥取市	15	1	福岡県	久留米市	15	1				
島根県	松江市	15	1	福岡県	八女市	15	1				
島根県	能義郡	15	1	福岡県	春日市	15	1				
岡山県	岡山市	30	2	福岡県	筑紫郡	15	1				
岡山県	倉敷市	15	1	福岡県	鞍手郡	15	1				
岡山県	総社市	15	1	福岡県	八女郡	15	1				
岡山県	児島郡	15	1	佐賀県	佐賀市	15	1				
広島県	広島市	45	3	佐賀県	神埼郡	15	1				

## . 1 抽出地点リスト：JGSS-2001

都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
北海道	札幌市	75	5	福島県	郡山市	15	1	埼玉県	越谷市	15	1
北海道	函館市	15	1	福島県	いわき市	15	1	埼玉県	戸田市	15	1
北海道	旭川市	15	1	福島県	安達郡	15	1	埼玉県	志木市	15	1
北海道	室蘭市	15	1	福島県	双葉郡	15	1	埼玉県	北本市	15	1
北海道	北見市	15	1	茨城県	水戸市	15	1	埼玉県	蓮田市	15	1
北海道	苫小牧市	15	1	茨城県	日立市	15	1	埼玉県	さいたま市	45	3
北海道	千歳市	15	1	茨城県	龍ヶ崎市	15	1	埼玉県	児玉郡	15	1
北海道	石狩市	15	1	茨城県	牛久市	15	1	埼玉県	北葛飾郡	15	1
北海道	岩内郡	15	1	茨城県	潮来市	15	1	千葉県	千葉市	30	2
北海道	常呂郡	15	1	茨城県	東茨城郡	15	1	千葉県	市川市	15	1
北海道	足寄郡	15	1	茨城県	鹿島郡	15	1	千葉県	船橋市	15	1
青森県	弘前市	15	1	茨城県	真壁郡	15	1	千葉県	木更津市	15	1
青森県	十和田市	15	1	栃木県	宇都宮市	15	1	千葉県	松戸市	15	1
青森県	北津軽郡	15	1	栃木県	鹿沼市	15	1	千葉県	茂原市	15	1
岩手県	盛岡市	15	1	栃木県	矢板市	15	1	千葉県	習志野市	15	1
岩手県	一関市	15	1	栃木県	河内郡	15	1	千葉県	柏市	15	1
岩手県	和賀郡	15	1	栃木県	那須郡	15	1	千葉県	流山市	15	1
宮城県	仙台市	30	2	群馬県	高崎市	15	1	千葉県	鎌ヶ谷市	15	1
宮城県	古川市	15	1	群馬県	伊勢崎市	15	1	千葉県	四街道市	15	1
宮城県	亘理郡	15	1	群馬県	富岡市	15	1	千葉県	匝瑳郡	15	1
宮城県	登米郡	15	1	群馬県	多野郡	15	1	東京都	区部	300	20
秋田県	秋田市	15	1	群馬県	邑楽郡	15	1	東京都	八王子市	15	1
秋田県	本荘市	15	1	埼玉県	熊谷市	15	1	東京都	立川市	15	1
秋田県	南秋田郡	15	1	埼玉県	川口市	15	1	東京都	青梅市	15	1
山形県	米沢市	15	1	埼玉県	所沢市	15	1	東京都	昭島市	15	1
山形県	村山市	15	1	埼玉県	本庄市	15	1	東京都	町田市	15	1
山形県	最上郡	15	1	埼玉県	狭山市	15	1	東京都	小平市	15	1
福島県	福島市	15	1	埼玉県	上尾市	15	1	東京都	国分寺市	15	1



都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
東京都	清瀬市	15	1	長野県	長野市	15	1	愛知県	愛知郡	15	1
東京都	羽村市	15	1	長野県	上田市	15	1	愛知県	海部郡	15	1
神奈川県	横浜市	120	8	長野県	伊那市	15	1	愛知県	西加茂郡	15	1
神奈川県	川崎市	45	3	長野県	上伊那郡	15	1	三重県	四日市市	15	1
神奈川県	横須賀市	15	1	長野県	下高井郡	15	1	三重県	松阪市	15	1
神奈川県	平塚市	15	1	岐阜県	岐阜市	15	1	三重県	名張市	15	1
神奈川県	藤沢市	15	1	岐阜県	大垣市	15	1	三重県	一志郡	15	1
神奈川県	小田原市	15	1	岐阜県	美濃市	15	1	滋賀県	大津市	15	1
神奈川県	相模原市	30	2	岐阜県	可児市	15	1	滋賀県	草津市	15	1
神奈川県	厚木市	15	1	岐阜県	本巣郡	15	1	滋賀県	栗太郡	15	1
神奈川県	伊勢原市	15	1	静岡県	静岡市	15	1	滋賀県	高島郡	15	1
神奈川県	三浦郡	15	1	静岡県	浜松市	15	1	京都府	京都市	45	3
新潟県	新潟市	15	1	静岡県	沼津市	15	1	京都府	宇治市	15	1
新潟県	長岡市	15	1	静岡県	三島市	15	1	京都府	八幡市	15	1
新潟県	小千谷市	15	1	静岡県	富士市	15	1	大阪府	大阪市	90	6
新潟県	豊栄市	15	1	静岡県	藤枝市	15	1	大阪府	堺市	30	2
新潟県	北蒲原郡	15	1	静岡県	湖西市	15	1	大阪府	豊中市	15	1
新潟県	北魚沼郡	15	1	静岡県	田方郡	15	1	大阪府	吹田市	15	1
富山県	富山市	15	1	静岡県	榛原郡	15	1	大阪府	高槻市	15	1
富山県	滑川市	15	1	愛知県	名古屋市	75	5	大阪府	貝塚市	15	1
富山県	中新川郡	15	1	愛知県	岡崎市	15	1	大阪府	枚方市	15	1
石川県	金沢市	15	1	愛知県	一宮市	15	1	大阪府	茨木市	15	1
石川県	加賀市	15	1	愛知県	春日井市	15	1	大阪府	富田林市	15	1
石川県	石川郡	15	1	愛知県	碧南市	15	1	大阪府	河内長野市	15	1
福井県	敦賀市	15	1	愛知県	豊田市	15	1	大阪府	和泉市	15	1
福井県	南条郡	15	1	愛知県	犬山市	15	1	大阪府	門真市	15	1
山梨県	甲府市	15	1	愛知県	稲沢市	15	1	大阪府	東大阪市	30	2
山梨県	中巨摩郡	15	1	愛知県	尾張旭市	15	1	大阪府	豊能郡	15	1

都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
兵庫県	神戸市	60	4	山口県	山口市	15	1	熊本県	八代市	15	1
兵庫県	姫路市	15	1	山口県	岩国市	15	1	熊本県	菊池郡	15	1
兵庫県	尼崎市	30	2	山口県	大津郡	15	1	熊本県	球磨郡	15	1
兵庫県	西宮市	15	1	徳島県	徳島市	15	1	大分県	大分市	15	1
兵庫県	芦屋市	15	1	徳島県	三好郡	15	1	大分県	別府市	15	1
兵庫県	加古川市	15	1	香川県	高松市	15	1	大分県	宇佐市	15	1
兵庫県	宝塚市	15	1	香川県	観音寺市	15	1	大分県	下毛郡	15	1
兵庫県	小野市	15	1	香川県	仲多度郡	15	1	宮崎県	都城市	15	1
兵庫県	揖保郡	15	1	愛媛県	松山市	15	1	鹿児島県	鹿児島市	30	2
兵庫県	三原郡	15	1	愛媛県	西条市	15	1	鹿児島県	指宿市	15	1
奈良県	奈良市	15	1	愛媛県	喜多郡	15	1	鹿児島県	揖宿郡	15	1
奈良県	橿原市	15	1	高知県	高知市	15	1	鹿児島県	始良郡	15	1
和歌山県	和歌山市	15	1	高知県	幡多郡	15	1	沖縄県	那覇市	15	1
和歌山県	海南市	15	1	福岡県	北九州市	30	2	沖縄県	沖縄市	15	1
和歌山県	那賀郡	15	1	福岡県	福岡市	45	3	沖縄県	中頭郡	15	1
鳥取県	鳥取市	15	1	福岡県	久留米市	15	1		計	4500	300
島根県	松江市	15	1	福岡県	筑後市	15	1				
島根県	大原郡	15	1	福岡県	春日市	15	1				
岡山県	岡山市	30	2	福岡県	糟屋郡	15	1				
岡山県	倉敷市	15	1	福岡県	朝倉郡	15	1				
岡山県	新見市	15	1	福岡県	田川郡	15	1				
岡山県	浅口郡	15	1	佐賀県	佐賀市	15	1				
広島県	広島市	45	3	佐賀県	東松浦郡	15	1				
広島県	尾道市	15	1	長崎県	長崎市	15	1				
広島県	福山市	15	1	長崎県	佐世保市	15	1				
広島県	安芸郡	15	1	長崎県	大村市	15	1				
広島県	芦品郡	15	1	長崎県	南高来郡	15	1				
山口県	下関市	15	1	熊本県	熊本市	15	1				

. 1 抽出地点リスト：JGSS-2002

都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
北海道	札幌市	70	5	福島県	福島市	14	1	埼玉県	草加市	15	1
北海道	函館市	15	1	福島県	会津若松市	14	1	埼玉県	越谷市	15	1
北海道	旭川市	15	1	福島県	いわき市	14	1	埼玉県	鳩ヶ谷市	15	1
北海道	室蘭市	15	1	福島県	原町市	14	1	埼玉県	新座市	15	1
北海道	帯広市	15	1	福島県	伊達郡	14	1	埼玉県	富士見市	15	1
北海道	苫小牧市	15	1	福島県	西白河郡	14	1	埼玉県	坂戸市	15	1
北海道	士別市	15	1	茨城県	日立市	15	1	埼玉県	さいたま市	45	3
北海道	登別市	15	1	茨城県	石岡市	15	1	埼玉県	比企郡	14	1
北海道	上磯郡	15	1	茨城県	北茨城市	15	1	埼玉県	南埼玉郡	14	1
北海道	夕張郡	15	1	茨城県	つくば市	15	1	千葉県	千葉市	30	2
北海道	紋別郡	15	1	茨城県	東茨城郡	15	1	千葉県	市川市	15	1
北海道	中川郡	15	1	茨城県	鹿島郡	15	1	千葉県	船橋市	30	2
青森県	青森市	15	1	茨城県	新治郡	15	1	千葉県	松戸市	15	1
青森県	八戸市	15	1	茨城県	猿島郡	15	1	千葉県	野田市	15	1
青森県	むつ市	15	1	栃木県	宇都宮市	30	2	千葉県	佐倉市	15	1
青森県	南津軽郡	15	1	栃木県	鹿沼市	15	1	千葉県	習志野市	15	1
岩手県	大船渡市	15	1	栃木県	大田原市	15	1	千葉県	勝浦市	15	1
岩手県	一関市	15	1	栃木県	下都賀郡	15	1	千葉県	流山市	15	1
岩手県	岩手郡	15	1	栃木県	安蘇郡	14	1	千葉県	鎌ヶ谷市	15	1
岩手県	下閉伊郡	15	1	群馬県	前橋市	15	1	千葉県	四街道市	15	1
宮城県	仙台市	41	3	群馬県	桐生市	15	1	千葉県	印旛郡	14	1
宮城県	古川市	15	1	群馬県	館林市	15	1	千葉県	長生郡	14	1
宮城県	黒川郡	15	1	群馬県	吾妻郡	14	1	東京都	区部	330	22
宮城県	登米郡	15	1	群馬県	邑楽郡	14	1	東京都	八王子市	30	2
秋田県	秋田市	15	1	埼玉県	川越市	15	1	東京都	武蔵野市	15	1
秋田県	大館市	15	1	埼玉県	川口市	30	2	東京都	府中市	15	1
秋田県	河辺郡	14	1	埼玉県	所沢市	15	1	東京都	調布市	15	1
山形県	山形市	15	1	埼玉県	東松山市	15	1	東京都	町田市	15	1
山形県	酒田市	15	1	埼玉県	春日部市	15	1	東京都	小平市	15	1
山形県	西村山郡	14	1	埼玉県	深谷市	15	1	東京都	国分寺市	15	1

都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
東京都	東大和市	15	1	山梨県	東八代郡	15	1	愛知県	稲沢市	15	1
東京都	多摩市	15	1	山梨県	南都留郡	15	1	愛知県	知立市	15	1
東京都	西東京市	15	1	長野県	長野市	15	1	愛知県	西春日井郡	14	1
神奈川県	横浜市	135	9	長野県	上田市	15	1	愛知県	海都郡	14	1
神奈川県	川崎市	60	4	長野県	小諸市	15	1	愛知県	宝飯郡	14	1
神奈川県	横須賀市	15	1	長野県	更埴市	15	1	三重県	津市	15	1
神奈川県	鎌倉市	15	1	長野県	上伊那郡	15	1	三重県	四日市市	15	1
神奈川県	藤沢市	15	1	長野県	下高井郡	15	1	三重県	上野市	15	1
神奈川県	茅ヶ崎市	15	1	岐阜県	岐阜市	15	1	三重県	鳥羽市	14	1
神奈川県	相模原市	30	2	岐阜県	多治見市	15	1	三重県	一志郡	14	1
神奈川県	厚木市	14	1	岐阜県	土岐市	15	1	滋賀県	大津市	15	1
神奈川県	伊勢原市	14	1	岐阜県	揖斐郡	15	1	滋賀県	草津市	15	1
神奈川県	綾瀬市	14	1	岐阜県	恵那郡	15	1	滋賀県	滋賀郡	14	1
神奈川県	中郡	14	1	静岡県	静岡市	15	1	滋賀県	坂田郡	14	1
新潟県	新潟市	15	1	静岡県	浜松市	30	2	京都府	京都市	60	4
新潟県	長岡市	15	1	静岡県	沼津市	15	1	京都府	城陽市	15	1
新潟県	小千谷市	15	1	静岡県	三島市	15	1	京都府	長岡京市	15	1
新潟県	白根市	15	1	静岡県	富士市	15	1	京都府	乙訓郡	14	1
新潟県	北蒲原郡	15	1	静岡県	掛川市	15	1	大阪府	大阪市	100	7
新潟県	三島郡	15	1	静岡県	浜北市	15	1	大阪府	堺市	30	2
新潟県	岩船郡	15	1	静岡県	志太郡	15	1	大阪府	岸和田市	15	1
富山県	富山市	15	1	静岡県	磐田郡	15	1	大阪府	豊中市	15	1
富山県	魚津市	15	1	愛知県	名古屋市	84	6	大阪府	吹田市	15	1
富山県	東礪波郡	15	1	愛知県	豊橋市	15	1	大阪府	高槻市	15	1
石川県	金沢市	15	1	愛知県	岡崎市	15	1	大阪府	貝塚市	15	1
石川県	小松市	15	1	愛知県	瀬戸市	15	1	大阪府	枚方市	15	1
石川県	鹿島郡	15	1	愛知県	春日井市	15	1	大阪府	茨木市	15	1
福井県	福井市	15	1	愛知県	刈谷市	15	1	大阪府	泉佐野市	15	1
福井県	大野市	15	1	愛知県	豊田市	15	1	大阪府	寝屋川市	15	1
山梨県	塩山市	15	1	愛知県	犬山市	15	1	大阪府	大東市	15	1

都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
大阪府	柏原市	15	1	広島県	広島市	43	3	福岡県	京都郡	14	1
大阪府	摂津市	15	1	広島県	呉市	14	1	佐賀県	佐賀市	15	1
大阪府	東大阪市	15	1	広島県	福山市	14	1	佐賀県	東松浦郡	14	1
大阪府	四條畷市	15	1	広島県	三次市	14	1	長崎県	長崎市	30	2
大阪府	泉南郡	13	1	広島県	安芸郡	14	1	長崎県	諫早市	15	1
兵庫県	神戸市	56	4	広島県	豊田郡	14	1	長崎県	東彼杵郡	14	1
兵庫県	姫路市	15	1	山口県	下関市	14	1	熊本県	熊本市	30	2
兵庫県	尼崎市	30	2	山口県	山口市	14	1	熊本県	本渡市	15	1
兵庫県	西宮市	15	1	山口県	防府市	14	1	熊本県	玉名郡	14	1
兵庫県	洲本市	15	1	山口県	新南陽市	14	1	熊本県	上益城郡	14	1
兵庫県	豊岡市	15	1	山口県	熊毛郡	14	1	大分県	大分市	15	1
兵庫県	西脇市	15	1	徳島県	小松島市	14	1	大分県	中津市	15	1
兵庫県	高砂市	15	1	徳島県	板野郡	14	1	大分県	東国東郡	14	1
兵庫県	篠山市	15	1	香川県	高松市	14	1	宮崎県	宮崎市	15	1
兵庫県	神崎郡	13	1	香川県	小豆郡	14	1	宮崎県	都城市	15	1
兵庫県	氷上郡	13	1	香川県	三豊郡	14	1	宮崎県	宮崎郡	14	1
奈良県	奈良市	15	1	愛媛県	松山市	28	2	鹿児島県	鹿児島市	30	2
奈良県	桜井市	15	1	愛媛県	新居浜市	14	1	鹿児島県	阿久根市	14	1
奈良県	宇陀郡	13	1	愛媛県	北宇和郡	14	1	鹿児島県	揖宿郡	14	1
和歌山県	和歌山市	15	1	高知県	高知市	14	1	鹿児島県	始良郡	14	1
和歌山県	橋本市	14	1	高知県	南国市	14	1	沖縄県	那覇市	14	1
和歌山県	那賀郡	13	1	福岡県	北九州市	39	3	沖縄県	浦添市	14	1
鳥取県	米子市	15	1	福岡県	福岡市	52	4	沖縄県	中頭郡	14	1
鳥取県	岩美郡	15	1	福岡県	大牟田市	15	1				
島根県	出雲市	15	1	福岡県	直方市	15	1			計	5000 341
島根県	大原郡	14	1	福岡県	行橋市	15	1				
岡山県	岡山市	30	2	福岡県	春日市	15	1				
岡山県	倉敷市	15	1	福岡県	糟屋郡	15	1				
岡山県	笠岡市	15	1	福岡県	鞍手郡	15	1				
岡山県	児島郡	14	1	福岡県	三井郡	14	1				

. 1 抽出地点リスト：JGSS-2003

都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
北海道	札幌市	105	7	秋田県	秋田市	30	2	栃木県	河内郡	15	1
北海道	函館市	15	1	秋田県	大曲市	15	1	栃木県	下都賀郡	15	1
北海道	小樽市	15	1	秋田県	北秋田郡	14	1	栃木県	那須郡	15	1
北海道	旭川市	15	1	秋田県	由利郡	14	1	群馬県	前橋市	15	1
北海道	室蘭市	15	1	山形県	山形市	15	1	群馬県	高崎市	15	1
北海道	釧路市	15	1	山形県	酒田市	15	1	群馬県	桐生市	15	1
北海道	岩見沢市	15	1	山形県	村山市	15	1	群馬県	太田市	15	1
北海道	苫小牧市	15	1	山形県	西村山郡	14	1	群馬県	藤岡市	15	1
北海道	千歳市	15	1	山形県	東田川郡	14	1	群馬県	群馬郡	15	1
北海道	登別市	15	1	福島県	福島市	30	2	群馬県	利根郡	15	1
北海道	茅部郡	15	1	福島県	郡山市	14	1	群馬県	邑楽郡	15	1
北海道	雨竜郡	15	1	福島県	いわき市	28	2	埼玉県	さいたま市	60	4
北海道	勇払郡	15	1	福島県	須賀川市	14	1	埼玉県	川越市	15	1
北海道	釧路郡	15	1	福島県	伊達郡	14	1	埼玉県	熊谷市	15	1
青森県	青森市	30	2	福島県	耶麻郡	14	1	埼玉県	川口市	30	2
青森県	八戸市	15	1	福島県	相馬郡	14	1	埼玉県	所沢市	15	1
青森県	黒石市	15	1	茨城県	日立市	15	1	埼玉県	飯能市	15	1
青森県	南津軽郡	15	1	茨城県	土浦市	15	1	埼玉県	東松山市	15	1
青森県	上北郡	15	1	茨城県	結城市	15	1	埼玉県	春日部市	15	1
岩手県	盛岡市	30	2	茨城県	北茨城市	15	1	埼玉県	羽生市	15	1
岩手県	北上市	15	1	茨城県	つくば市	15	1	埼玉県	上尾市	15	1
岩手県	岩手郡	14	1	茨城県	ひたちなか市	15	1	埼玉県	草加市	15	1
岩手県	胆沢郡	14	1	茨城県	西茨城郡	15	1	埼玉県	越谷市	15	1
宮城県	仙台市	56	4	茨城県	鹿島郡	15	1	埼玉県	戸田市	15	1
宮城県	石巻市	15	1	茨城県	稲敷郡	15	1	埼玉県	鳩ヶ谷市	15	1
宮城県	白石市	15	1	茨城県	真壁郡	15	1	埼玉県	和光市	15	1
宮城県	柴田郡	14	1	栃木県	宇都宮市	30	2	埼玉県	久喜市	15	1
宮城県	宮城郡	14	1	栃木県	足利市	15	1	埼玉県	富士見市	15	1
宮城県	遠田郡	14	1	栃木県	鹿沼市	15	1	埼玉県	蓮田市	15	1
宮城県	登米郡	14	1	栃木県	真岡市	15	1	埼玉県	日高市	15	1

都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
埼玉県	入間郡	30	2	東京都	多摩市	15	1	石川県	金沢市	30	2
埼玉県	北埼玉郡	15	1	東京都	あきる野市	15	1	石川県	加賀市	15	1
埼玉県	北葛飾郡	15	1	神奈川県	横浜市	192	13	石川県	石川郡	15	1
千葉県	千葉市	45	3	神奈川県	川崎市	70	5	石川県	鹿島郡	15	1
千葉県	市川市	30	2	神奈川県	横須賀市	30	2	福井県	福井市	15	1
千葉県	船橋市	30	2	神奈川県	平塚市	15	1	福井県	小浜市	15	1
千葉県	松戸市	30	2	神奈川県	鎌倉市	15	1	福井県	丹生郡	15	1
千葉県	野田市	15	1	神奈川県	藤沢市	15	1	山梨県	甲府市	15	1
千葉県	成田市	15	1	神奈川県	小田原市	15	1	山梨県	大月市	15	1
千葉県	東金市	15	1	神奈川県	茅ヶ崎市	15	1	山梨県	南巨摩郡	15	1
千葉県	柏市	30	2	神奈川県	相模原市	30	2	山梨県	北都留郡	15	1
千葉県	市原市	15	1	神奈川県	秦野市	15	1	長野県	長野市	15	1
千葉県	八千代市	15	1	神奈川県	厚木市	15	1	長野県	松本市	15	1
千葉県	我孫子市	15	1	神奈川県	大和市	15	1	長野県	上田市	15	1
千葉県	富津市	15	1	神奈川県	海老名市	14	1	長野県	伊那市	15	1
千葉県	袖ヶ浦市	15	1	神奈川県	綾瀬市	14	1	長野県	塩尻市	15	1
千葉県	富里市	15	1	神奈川県	高座郡	14	1	長野県	諏訪郡	15	1
千葉県	香取郡	14	1	神奈川県	津久井郡	14	1	長野県	東筑摩郡	15	1
千葉県	長生郡	14	1	新潟県	新潟市	30	2	長野県	上水内郡	15	1
東京都	区部	495	33	新潟県	三条市	15	1	岐阜県	岐阜市	30	2
東京都	八王子市	30	2	新潟県	燕市	15	1	岐阜県	多治見市	15	1
東京都	武蔵野市	15	1	新潟県	五泉市	15	1	岐阜県	羽島市	15	1
東京都	青梅市	15	1	新潟県	豊栄市	15	1	岐阜県	各務原市	15	1
東京都	府中市	15	1	新潟県	西蒲原郡	15	1	岐阜県	安八郡	14	1
東京都	調布市	15	1	新潟県	北魚沼郡	15	1	岐阜県	加茂郡	14	1
東京都	町田市	30	2	新潟県	刈羽郡	15	1	静岡県	静岡市	45	3
東京都	小平市	15	1	富山県	富山市	15	1	静岡県	浜松市	30	2
東京都	東村山市	15	1	富山県	高岡市	15	1	静岡県	沼津市	15	1
東京都	国立市	15	1	富山県	黒部市	15	1	静岡県	三島市	15	1
東京都	清瀬市	15	1	富山県	婦負郡	15	1	静岡県	島田市	15	1

都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
静岡県	富士市	15	1	三重県	員弁郡	14	1	大阪府	高石市	15	1
静岡県	掛川市	15	1	三重県	多気郡	14	1	大阪府	東大阪市	30	2
静岡県	袋井市	15	1	三重県	志摩郡	14	1	大阪府	交野市	15	1
静岡県	駿東郡	14	1	滋賀県	大津市	15	1	大阪府	南河内郡	14	1
静岡県	榛原郡	14	1	滋賀県	長浜市	15	1	兵庫県	神戸市	72	5
静岡県	磐田郡	14	1	滋賀県	守山市	15	1	兵庫県	姫路市	30	2
愛知県	名古屋市	121	9	滋賀県	甲賀郡	14	1	兵庫県	尼崎市	30	2
愛知県	豊橋市	30	2	滋賀県	高島郡	14	1	兵庫県	明石市	15	1
愛知県	岡崎市	15	1	京都府	京都市	90	6	兵庫県	西宮市	30	2
愛知県	一宮市	15	1	京都府	宇治市	15	1	兵庫県	伊丹市	15	1
愛知県	瀬戸市	15	1	京都府	城陽市	15	1	兵庫県	加古川市	15	1
愛知県	春日井市	15	1	京都府	京田辺市	15	1	兵庫県	宝塚市	14	1
愛知県	豊川市	15	1	京都府	船井郡	14	1	兵庫県	三木市	14	1
愛知県	刈谷市	15	1	大阪府	大阪市	150	10	兵庫県	川西市	14	1
愛知県	豊田市	15	1	大阪府	堺市	45	3	兵庫県	加古郡	14	1
愛知県	安城市	15	1	大阪府	岸和田市	15	1	兵庫県	佐用郡	14	1
愛知県	犬山市	15	1	大阪府	豊中市	15	1	兵庫県	津名郡	14	1
愛知県	小牧市	15	1	大阪府	池田市	15	1	奈良県	奈良市	28	2
愛知県	東海市	15	1	大阪府	吹田市	15	1	奈良県	天理市	14	1
愛知県	知立市	15	1	大阪府	高槻市	30	2	奈良県	五條市	14	1
愛知県	日進市	15	1	大阪府	守口市	15	1	奈良県	生駒郡	14	1
愛知県	西春日井郡	14	1	大阪府	枚方市	15	1	奈良県	北葛城郡	14	1
愛知県	中島郡	14	1	大阪府	茨木市	15	1	和歌山県	和歌山市	28	2
愛知県	海部郡	14	1	大阪府	八尾市	15	1	和歌山県	御坊市	14	1
愛知県	額田郡	14	1	大阪府	泉佐野市	15	1	和歌山県	那賀郡	14	1
三重県	四日市市	15	1	大阪府	寝屋川市	15	1	和歌山県	日高郡	13	1
三重県	伊勢市	15	1	大阪府	松原市	15	1	鳥取県	鳥取市	15	1
三重県	桑名市	14	1	大阪府	大東市	15	1	鳥取県	岩美郡	14	1
三重県	鈴鹿市	14	1	大阪府	箕面市	15	1	鳥取県	松江市	15	1
三重県	久居市	14	1	大阪府	門真市	15	1	鳥取県	平田市	15	1



都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数	都道府県	市・郡	標本数	地点数
鳥取県	簸川郡	14	1	愛媛県	新居浜市	15	1	熊本県	菊池郡	15	1
岡山県	岡山市	30	2	愛媛県	温泉郡	14	1	熊本県	上益城郡	15	1
岡山県	倉敷市	30	2	高知県	高知市	28	2	大分県	大分市	30	2
岡山県	井原市	15	1	高知県	宿毛市	14	1	大分県	別府市	15	1
岡山県	邑久郡	14	1	高知県	香美郡	14	1	大分県	臼杵市	15	1
岡山県	勝田郡	14	1	高知県	幡多郡	14	1	大分県	速見郡	14	1
広島県	広島市	63	5	福岡県	北九州市	60	4	大分県	日田郡	14	1
広島県	呉市	15	1	福岡県	福岡市	71	5	宮崎県	宮崎市	15	1
広島県	尾道市	15	1	福岡県	久留米市	15	1	宮崎県	都城市	15	1
広島県	福山市	15	1	福岡県	直方市	15	1	宮崎県	小林市	15	1
広島県	府中市	15	1	福岡県	甘木市	15	1	宮崎県	東諸県郡	14	1
広島県	廿日市市	15	1	福岡県	豊前市	15	1	鹿児島県	鹿児島市	29	2
広島県	安芸郡	14	1	福岡県	春日市	15	1	鹿児島県	川内市	14	1
広島県	豊田郡	14	1	福岡県	太宰府市	15	1	鹿児島県	国分市	14	1
山口県	下関市	15	1	福岡県	糟屋郡	15	1	鹿児島県	揖宿郡	14	1
山口県	山口市	15	1	福岡県	遠賀郡	15	1	鹿児島県	薩摩郡	14	1
山口県	下松市	15	1	福岡県	朝倉郡	15	1	沖縄県	那覇市	14	1
山口県	長門市	15	1	福岡県	八女郡	15	1	沖縄県	宜野湾市	14	1
山口県	玖珂郡	14	1	福岡県	京都郡	15	1	沖縄県	沖縄市	14	1
山口県	大津郡	14	1	佐賀県	佐賀市	15	1	沖縄県	国頭郡	14	1
徳島県	徳島市	15	1	佐賀県	伊万里市	15	1	沖縄県	島尻郡	14	1
徳島県	鳴門市	15	1	佐賀県	三養基郡	15	1				
徳島県	板野郡	14	1	佐賀県	杵島郡	15	1			計	7200 489
香川県	高松市	15	1	長崎県	長崎市	30	2				
香川県	丸亀市	15	1	長崎県	佐世保市	15	1				
香川県	東かがわ市	15	1	長崎県	大村市	15	1				
香川県	小豆郡	14	1	長崎県	西彼杵郡	15	1				
香川県	仲多度郡	14	1	熊本県	熊本市	30	2				
愛媛県	松山市	15	1	熊本県	八代市	15	1				
愛媛県	今治市	15	1	熊本県	下益城郡	15	1				

## . 1 抽出地点リスト：JGSS-2005

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
北海道	札幌市	5	74	栃木県	塩谷郡	1	15
北海道	函館市	1	15	群馬県	前橋市	1	15
北海道	旭川市	1	15	群馬県	桐生市	1	15
北海道	室蘭市	1	15	群馬県	太田市	1	15
北海道	釧路市	1	15	群馬県	安中市	1	15
北海道	帯広市	1	15	群馬県	吾妻郡	1	15
北海道	深川市	1	15	埼玉県	さいたま市	3	45
北海道	茅部郡	1	15	埼玉県	熊谷市	1	15
北海道	河東郡	1	14	埼玉県	川口市	1	15
北海道	釧路郡	1	15	埼玉県	春日部市	1	15
青森県	青森市	1	15	埼玉県	狭山市	1	15
青森県	八戸市	1	15	埼玉県	上尾市	1	15
青森県	五所川原市	1	15	埼玉県	越谷市	1	15
青森県	上北郡	1	14	埼玉県	入間市	1	15
岩手県	盛岡市	1	14	埼玉県	志木市	1	15
岩手県	北上市	1	14	埼玉県	新座市	1	15
岩手県	稗貫郡	1	14	埼玉県	富士見市	1	15
宮城県	仙台市	2	28	埼玉県	坂戸市	1	15
宮城県	石巻市	1	14	埼玉県	南埼玉郡	1	15
宮城県	岩沼市	1	14	千葉県	千葉市	2	30
宮城県	柴田郡	1	14	千葉県	船橋市	2	30
秋田県	秋田市	1	14	千葉県	松戸市	1	15
秋田県	由利本荘市	1	14	千葉県	野田市	1	15
秋田県	大仙市	1	14	千葉県	茂原市	1	15
秋田県	仙北郡	1	14	千葉県	東金市	1	15
山形県	山形市	1	14	千葉県	習志野市	1	15
山形県	新庄市	1	14	千葉県	柏市	1	15
山形県	東村山郡	1	14	千葉県	市原市	1	15
山形県	飽海郡	1	14	千葉県	八千代市	1	15
福島県	福島市	1	14	千葉県	富津市	1	15
福島県	会津若松市	1	14	千葉県	浦安市	1	15
福島県	いわき市	1	14	千葉県	印旛郡	1	15
福島県	河沼郡	1	14	千葉県	夷隅郡	1	15
茨城県	水戸市	1	15	東京都	区部	21	315
茨城県	土浦市	1	15	東京都	八王子市	1	15
茨城県	取手市	1	15	東京都	武蔵野市	1	15
茨城県	ひたちなか市	1	15	東京都	青梅市	1	15
茨城県	西茨城郡	1	15	東京都	調布市	1	15
茨城県	稲敷郡	1	15	東京都	町田市	1	15
栃木県	宇都宮市	1	15	東京都	小平市	1	15
栃木県	佐野市	1	15	東京都	国分寺市	1	15
栃木県	小山市	1	15	東京都	狛江市	1	15
栃木県	真岡市	1	15	東京都	東久留米市	1	15
栃木県	河内郡	1	15	東京都	西多摩郡	1	15

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
神奈川県	横浜市	8	116	愛知県	豊田市	1	14
神奈川県	川崎市	3	42	愛知県	西尾市	1	14
神奈川県	横須賀市	1	15	愛知県	小牧市	1	14
神奈川県	平塚市	1	15	愛知県	大府市	1	14
神奈川県	藤沢市	1	15	愛知県	額田郡	1	14
神奈川県	小田原市	1	15	三重県	四日市市	1	14
神奈川県	相模原市	2	30	三重県	松阪市	1	14
神奈川県	厚木市	1	15	三重県	鈴鹿市	1	14
神奈川県	海老名市	1	15	三重県	伊賀市	1	14
新潟県	新潟市	2	30	三重県	安芸郡	1	14
新潟県	柏崎市	1	15	滋賀県	大津市	1	15
新潟県	燕市	1	15	滋賀県	彦根市	1	15
新潟県	岩船郡	1	15	滋賀県	栗東市	1	15
富山県	富山市	1	15	滋賀県	蒲生郡	1	14
富山県	高岡市	1	14	京都府	京都市	4	60
富山県	氷見市	1	15	京都府	宇治市	1	15
石川県	金沢市	1	15	京都府	亀岡市	1	15
石川県	小松市	1	15	京都府	向日市	1	15
石川県	白山市	1	15	京都府	与謝郡	1	13
石川県	石川郡	1	14	大阪府	大阪市	5	75
福井県	福井市	1	15	大阪府	堺市	2	30
福井県	大野市	1	15	大阪府	岸和田市	1	15
福井県	吉田郡	1	15	大阪府	豊中市	1	15
山梨県	甲府市	1	15	大阪府	吹田市	1	15
山梨県	山梨市	1	15	大阪府	高槻市	1	15
山梨県	上野原市	1	15	大阪府	枚方市	1	15
山梨県	南巨摩郡	1	15	大阪府	茨木市	1	15
長野県	松本市	1	15	大阪府	八尾市	1	15
長野県	岡谷市	1	15	大阪府	寝屋川市	1	15
長野県	小諸市	1	15	大阪府	松原市	1	15
長野県	埴科郡	1	15	大阪府	箕面市	1	15
岐阜県	岐阜市	1	15	大阪府	東大阪市	1	15
岐阜県	大垣市	1	15	兵庫県	神戸市	4	60
岐阜県	美濃加茂市	1	15	兵庫県	姫路市	1	15
岐阜県	本巣市	1	15	兵庫県	尼崎市	1	15
岐阜県	安八郡	1	15	兵庫県	明石市	1	15
静岡県	静岡市	2	30	兵庫県	西宮市	1	15
静岡県	浜松市	2	30	兵庫県	伊丹市	1	14
静岡県	三島市	1	15	兵庫県	加古川市	1	14
静岡県	富士市	1	15	兵庫県	宝塚市	1	14
静岡県	焼津市	1	15	兵庫県	小野市	1	14
静岡県	袋井市	1	15	兵庫県	加古郡	1	13
静岡県	志太郡	1	15	奈良県	奈良市	1	14
愛知県	名古屋市	5	71	奈良県	大和高田市	1	14
愛知県	豊橋市	1	15	奈良県	御所市	1	14
愛知県	岡崎市	1	15	奈良県	生駒郡	1	13
愛知県	一宮市	1	15	和歌山県	和歌山市	1	14
愛知県	春日井市	1	15	和歌山県	田辺市	1	14

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
和歌山県	那賀郡	1	13	宮崎県	宮崎郡	1	14
鳥取県	鳥取市	1	15	宮崎県	西臼杵郡	1	13
島根県	松江市	1	15	鹿児島県	鹿児島市	2	28
島根県	仁多郡	1	15	鹿児島県	薩摩川内市	1	14
岡山県	倉敷市	3	45	沖縄県	那覇市	1	14
岡山県	玉野市	1	15	沖縄県	沖縄市	1	14
岡山県	赤磐市	1	15	沖縄県	国頭郡	1	13
広島県	広島市	3	40			計	307
広島県	三原市	1	15				4500
広島県	福山市	1	15				
広島県	東広島市	1	15				
広島県	安芸郡	1	15				
山口県	下関市	1	15				
山口県	山口市	1	15				
山口県	岩国市	1	15				
山口県	山陽小野田市	1	15				
徳島県	小松島市	1	14				
徳島県	名西郡	1	14				
香川県	高松市	1	14				
香川県	さぬき市	1	14				
香川県	綾歌郡	1	14				
愛媛県	松山市	1	14				
愛媛県	宇和島市	1	14				
愛媛県	伊予市	1	14				
高知県	室戸市	1	14				
高知県	香美郡	1	14				
福岡県	北九州市	3	42				
福岡県	福岡市	3	41				
福岡県	久留米市	1	15				
福岡県	田川市	1	15				
福岡県	中間市	1	15				
福岡県	宗像市	1	15				
福岡県	糟屋郡	1	14				
福岡県	田川郡	1	14				
佐賀県	佐賀市	1	15				
佐賀県	武雄市	1	15				
佐賀県	三養基郡	1	14				
長崎県	長崎市	1	15				
長崎県	佐世保市	1	15				
長崎県	西彼杵郡	1	14				
熊本県	熊本市	2	30				
熊本県	荒尾市	1	15				
熊本県	阿蘇郡	1	14				
大分県	大分市	2	30				
大分県	佐伯市	1	14				
大分県	速見郡	1	14				
宮崎県	宮崎市	1	14				
宮崎県	延岡市	1	14				

## . 1 抽出地点リスト：JGSS-2006

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
北海道	札幌市	8	122	秋田県	秋田市	1	15
北海道	函館市	2	30	秋田県	横手市	1	15
北海道	旭川市	1	15	秋田県	由利本荘市	1	15
北海道	室蘭市	1	16	山形県	山形市	1	15
北海道	釧路市	1	16	山形県	米沢市	1	15
北海道	帯広市	1	16	山形県	鶴岡市	1	15
北海道	苫小牧市	1	16	山形県	寒河江市	1	15
北海道	江別市	1	16	山形県	東根市	1	15
北海道	滝川市	1	15	山形県	西村山郡	1	15
北海道	恵庭市	1	15	山形県	東田川郡	1	15
北海道	北斗市	1	15	福島県	福島市	2	30
北海道	上磯郡	1	16	福島県	郡山市	1	14
北海道	空知郡	1	16	福島県	いわき市	1	14
北海道	留萌郡	1	16	福島県	白河市	1	15
北海道	中川郡	1	16	福島県	相馬市	1	15
青森県	青森市	2	30	福島県	伊達市	1	15
青森県	弘前市	1	15	福島県	河沼郡	1	15
青森県	八戸市	1	15	茨城県	水戸市	1	16
青森県	三沢市	1	15	茨城県	日立市	1	16
青森県	北津軽郡	1	15	茨城県	古河市	1	16
青森県	三戸郡	1	15	茨城県	結城市	1	16
岩手県	盛岡市	1	15	茨城県	常陸太田市	1	16
岩手県	花巻市	1	15	茨城県	取手市	1	16
岩手県	遠野市	1	15	茨城県	つくば市	1	16
岩手県	奥州市	1	15	茨城県	ひたちなか市	1	16
岩手県	紫波郡	1	15	茨城県	守谷市	1	15
宮城県	仙台市	4	60	茨城県	那珂市	1	16
宮城県	石巻市	1	15	茨城県	桜川市	1	15
宮城県	名取市	1	15	茨城県	那珂郡	1	16
宮城県	登米市	1	15	栃木県	宇都宮市	1	16
宮城県	大崎市	1	15	栃木県	足利市	1	15
宮城県	柴田郡	1	15	栃木県	鹿沼市	1	15
宮城県	宮城郡	1	15	栃木県	小山市	1	15
宮城県	牡鹿郡	1	15	栃木県	大田原市	1	15

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
栃木県	下野市	1	15	千葉県	野田市	1	15
栃木県	上都賀郡	1	16	千葉県	成田市	1	15
栃木県	塩谷郡	1	16	千葉県	佐倉市	1	15
群馬県	前橋市	2	32	千葉県	習志野市	1	15
群馬県	高崎市	1	16	千葉県	柏市	2	30
群馬県	伊勢崎市	1	15	千葉県	市原市	1	15
群馬県	太田市	1	16	千葉県	流山市	1	15
群馬県	館林市	1	15	千葉県	我孫子市	1	15
群馬県	富岡市	1	15	千葉県	鎌ヶ谷市	1	15
群馬県	吾妻郡	1	16	千葉県	八街市	1	15
埼玉県	さいたま市	5	79	千葉県	白井市	1	15
埼玉県	川口市	2	30	千葉県	香取市	1	15
埼玉県	行田市	1	15	千葉県	印旛郡	1	16
埼玉県	所沢市	2	30	東京都	東京都	36	540
埼玉県	本庄市	1	15	東京都	八王子市	2	30
埼玉県	春日部市	1	15	東京都	立川市	1	15
埼玉県	狭山市	1	15	東京都	武蔵野市	1	15
埼玉県	深谷市	1	15	東京都	青梅市	1	15
埼玉県	上尾市	1	15	東京都	府中市	1	15
埼玉県	草加市	2	30	東京都	調布市	1	15
埼玉県	越谷市	1	15	東京都	町田市	2	30
埼玉県	蕨市	1	15	東京都	小金井市	1	15
埼玉県	鳩ヶ谷市	1	15	東京都	小平市	1	15
埼玉県	志木市	1	15	東京都	東村山市	1	15
埼玉県	和光市	1	15	東京都	国立市	1	15
埼玉県	北本市	1	15	東京都	東大和市	1	15
埼玉県	八潮市	1	15	東京都	武蔵村山市	1	15
埼玉県	蓮田市	1	15	東京都	稲城市	1	15
埼玉県	鶴ヶ島市	1	15	東京都	西東京市	1	15
埼玉県	ふじみ野市	1	15	東京都	西多摩郡	1	16
埼玉県	入間郡	1	16	神奈川県	横浜市	15	225
埼玉県	比企郡	1	16	神奈川県	川崎市	5	75
埼玉県	南埼玉郡	1	16	神奈川県	横須賀市	2	30
千葉県	千葉市	4	60	神奈川県	平塚市	1	15
千葉県	市川市	2	30	神奈川県	鎌倉市	1	15
千葉県	船橋市	2	30	神奈川県	藤沢市	1	15
千葉県	松戸市	2	30	神奈川県	小田原市	1	15

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
神奈川県	茅ヶ崎市	1	15	岐阜県	岐阜市	1	15
神奈川県	相模原市	3	45	岐阜県	大垣市	1	15
神奈川県	秦野市	1	15	岐阜県	多治見市	1	15
神奈川県	厚木市	1	15	岐阜県	美濃加茂市	1	15
神奈川県	大和市	1	15	岐阜県	各務原市	1	15
神奈川県	海老名市	1	15	岐阜県	本巣市	1	15
神奈川県	綾瀬市	1	15	岐阜県	羽島郡	1	16
神奈川県	足柄上郡	1	16	岐阜県	加茂郡	1	16
新潟県	新潟市	3	48	静岡県	静岡市	3	46
新潟県	長岡市	2	31	静岡県	浜松市	4	60
新潟県	柏崎市	1	16	静岡県	沼津市	1	15
新潟県	加茂市	1	16	静岡県	三島市	1	15
新潟県	燕市	1	16	静岡県	富士市	1	15
新潟県	南魚沼市	1	16	静岡県	磐田市	1	15
富山県	富山市	2	30	静岡県	掛川市	1	15
富山県	高岡市	1	16	静岡県	藤枝市	1	15
富山県	黒部市	1	16	静岡県	御殿場市	1	15
富山県	射水市	1	16	静岡県	伊豆市	1	15
富山県	下新川郡	1	16	静岡県	志太郡	1	16
石川県	金沢市	2	30	愛知県	名古屋市	9	135
石川県	加賀市	1	16	愛知県	豊橋市	1	15
石川県	能美市	1	16	愛知県	岡崎市	1	15
福井県	福井市	1	15	愛知県	一宮市	2	30
福井県	鯖江市	1	16	愛知県	瀬戸市	1	15
福井県	坂井市	1	16	愛知県	春日井市	1	15
福井県	南条郡	1	16	愛知県	豊川市	1	15
山梨県	富士吉田市	1	16	愛知県	碧南市	1	15
山梨県	南アルプス市	1	16	愛知県	豊田市	2	30
山梨県	上野原市	1	15	愛知県	安城市	1	15
長野県	長野市	2	30	愛知県	蒲郡市	1	15
長野県	松本市	1	15	愛知県	江南市	1	15
長野県	上田市	1	15	愛知県	稲沢市	1	15
長野県	須坂市	1	15	愛知県	大府市	1	15
長野県	千曲市	1	15	愛知県	尾張旭市	1	15
長野県	東御市	1	15	愛知県	愛西市	1	15
長野県	北佐久郡	1	16	愛知県	弥富市	1	15
長野県	上伊那郡	1	16	愛知県	丹羽郡	1	15

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
愛知県	知多郡	1	15	大阪府	阪南市	1	15
愛知県	宝飯郡	1	15	大阪府	泉南郡	1	15
三重県	津市	1	15	兵庫県	神戸市	6	90
三重県	四日市市	1	15	兵庫県	姫路市	2	30
三重県	松阪市	1	15	兵庫県	尼崎市	2	30
三重県	鈴鹿市	1	15	兵庫県	明石市	1	15
三重県	名張市	1	15	兵庫県	西宮市	2	30
三重県	伊賀市	1	15	兵庫県	伊丹市	1	15
三重県	三重郡	1	15	兵庫県	相生市	1	15
滋賀県	大津市	1	16	兵庫県	加古川市	1	15
滋賀県	長浜市	1	16	兵庫県	赤穂市	1	15
滋賀県	草津市	1	16	兵庫県	三木市	1	15
滋賀県	湖南市	1	15	兵庫県	小野市	1	15
京都府	京都市	6	96	兵庫県	たつの市	1	15
京都府	福知山市	1	15	兵庫県	揖保郡	1	14
京都府	宇治市	1	15	奈良県	奈良市	1	15
京都府	城陽市	1	15	奈良県	天理市	1	15
京都府	八幡市	1	15	奈良県	桜井市	1	15
京都府	相楽郡	1	15	奈良県	香芝市	1	15
大阪府	大阪市	11	168	奈良県	磯城郡	1	14
大阪府	堺市	3	45	和歌山県	和歌山市	2	30
大阪府	豊中市	3	47	和歌山県	橋本市	1	15
大阪府	吹田市	2	30	和歌山県	紀の川市	1	15
大阪府	泉大津市	1	15	和歌山県	海草郡	1	14
大阪府	高槻市	1	15	和歌山県	有田郡	1	14
大阪府	守口市	1	15	鳥取県	鳥取市	1	16
大阪府	枚方市	2	30	鳥取県	倉吉市	1	16
大阪府	茨木市	1	15	鳥取県	西伯郡	1	16
大阪府	富田林市	1	15	島根県	松江市	1	16
大阪府	寝屋川市	2	30	島根県	大田市	1	16
大阪府	松原市	1	15	岡山県	倉敷市	4	64
大阪府	大東市	1	15	岡山県	玉野市	1	16
大阪府	箕面市	1	15	岡山県	総社市	1	16
大阪府	羽曳野市	1	15	岡山県	瀬戸内市	1	16
大阪府	摂津市	1	15	岡山県	勝田郡	1	16
大阪府	東大阪市	3	45	広島県	広島市	5	71
大阪府	泉南市	1	15	広島県	呉市	1	15



都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
広島県	尾道市	1	15	福岡県	遠賀郡	1	16
広島県	福山市	2	30	福岡県	八女郡	1	16
広島県	庄原市	1	15	福岡県	京都郡	1	16
広島県	東広島市	1	15	佐賀県	佐賀市	1	16
山口県	下関市	2	30	佐賀県	唐津市	1	16
山口県	宇部市	1	15	佐賀県	鹿島市	1	16
山口県	山口市	1	15	佐賀県	杵島郡	1	16
山口県	防府市	1	15	長崎県	長崎市	2	32
山口県	岩国市	1	15	長崎県	佐世保市	1	16
山口県	周南市	1	15	長崎県	諫早市	1	16
山口県	熊毛郡	1	15	長崎県	雲仙市	1	16
徳島県	徳島市	1	15	熊本県	熊本市	2	32
徳島県	小松島市	1	15	熊本県	八代市	1	16
徳島県	美馬市	1	15	熊本県	菊池市	1	15
徳島県	板野郡	1	15	熊本県	阿蘇市	1	15
香川県	高松市	1	15	熊本県	鹿本郡	1	16
香川県	善通寺市	1	15	熊本県	上益城郡	1	16
香川県	三豊市	1	15	大分県	大分市	2	32
愛媛県	松山市	2	30	大分県	別府市	1	15
愛媛県	宇和島市	1	15	大分県	臼杵市	1	15
愛媛県	新居浜市	1	15	大分県	宇佐市	1	15
愛媛県	東温市	1	15	宮崎県	宮崎市	1	16
愛媛県	伊予郡	1	15	宮崎県	都城市	1	15
高知県	高知市	2	30	宮崎県	日南市	1	15
高知県	四万十市	1	15	宮崎県	児湯郡	1	15
高知県	高岡郡	1	15	鹿児島県	鹿児島市	3	48
福岡県	北九州市	4	60	鹿児島県	鹿屋市	1	15
福岡県	福岡市	6	87	鹿児島県	薩摩川内市	1	15
福岡県	久留米市	1	16	鹿児島県	霧島市	1	15
福岡県	直方市	1	16	鹿児島県	伊佐郡	1	15
福岡県	柳川市	1	16	沖縄県	那覇市	1	15
福岡県	行橋市	1	16	沖縄県	浦添市	1	15
福岡県	筑紫野市	1	16	沖縄県	沖縄市	1	15
福岡県	大野城市	1	16	沖縄県	うるま市	1	15
福岡県	前原市	1	16	沖縄県	中頭郡	1	15
福岡県	嘉麻市	1	16				
福岡県	糟屋郡	1	16				
						計	526 8,000

## . 1 抽出地点リスト：JGSS-2008

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
北海道	札幌市	8	123	秋田県	能代市	1	15
北海道	函館市	1	15	秋田県	由利本荘市	1	15
北海道	小樽市	1	16	秋田県	大仙市	1	15
北海道	旭川市	2	30	山形県	山形市	1	15
北海道	釧路市	1	15	山形県	鶴岡市	1	15
北海道	帯広市	1	15	山形県	新庄市	1	15
北海道	留萌市	1	15	山形県	天童市	1	15
北海道	江別市	1	15	山形県	西村山郡	1	15
北海道	千歳市	1	15	山形県	東田川郡	1	15
北海道	登別市	1	15	福島県	福島市	1	15
北海道	北広島市	1	15	福島県	会津若松市	1	15
北海道	茅部郡	1	15	福島県	郡山市	2	29
北海道	夕張郡	1	15	福島県	いわき市	1	14
北海道	勇払郡	1	15	福島県	喜多方市	1	15
北海道	中川郡	1	15	福島県	南相馬市	1	15
青森県	青森市	1	15	福島県	大沼郡	1	14
青森県	弘前市	1	15	茨城県	水戸市	1	16
青森県	八戸市	1	15	茨城県	日立市	1	16
青森県	十和田市	1	15	茨城県	土浦市	1	16
青森県	平川市	1	15	茨城県	下妻市	1	16
青森県	北津軽郡	1	15	茨城県	北茨城市	1	16
青森県	三戸郡	1	15	茨城県	牛久市	1	16
岩手県	盛岡市	2	30	茨城県	ひたちなか市	1	16
岩手県	北上市	1	15	茨城県	潮来市	1	16
岩手県	一関市	1	15	茨城県	筑西市	1	16
岩手県	紫波郡	1	15	茨城県	神栖市	1	16
宮城県	仙台市	4	60	茨城県	東茨城郡	1	16
宮城県	石巻市	1	15	栃木県	宇都宮市	2	32
宮城県	塩竈市	1	15	栃木県	足利市	1	16
宮城県	多賀城市	1	15	栃木県	佐野市	1	16
宮城県	栗原市	1	15	栃木県	日光市	1	16
宮城県	柴田郡	1	15	栃木県	真岡市	1	16
宮城県	宮城郡	1	15	栃木県	那須塩原市	1	15
宮城県	牡鹿郡	1	15	栃木県	芳賀郡	1	16
秋田県	秋田市	1	15	栃木県	下都賀郡	1	16

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
群馬県	前橋市	2	32	千葉県	旭市	1	15
群馬県	高崎市	1	16	千葉県	柏市	1	15
群馬県	桐生市	1	15	千葉県	勝浦市	1	15
群馬県	伊勢崎市	1	15	千葉県	市原市	1	15
群馬県	太田市	1	16	千葉県	流山市	1	15
群馬県	藤岡市	1	15	千葉県	八千代市	1	15
群馬県	吾妻郡	1	15	千葉県	我孫子市	1	15
埼玉県	さいたま市	5	77	千葉県	鴨川市	1	15
埼玉県	川越市	1	16	千葉県	富津市	1	15
埼玉県	熊谷市	1	16	千葉県	浦安市	1	15
埼玉県	川口市	2	32	千葉県	四街道市	1	15
埼玉県	所沢市	1	16	千葉県	山武市	1	15
埼玉県	加須市	1	15	千葉県	印旛郡	1	15
埼玉県	春日部市	1	16	千葉県	長生郡	1	15
埼玉県	上尾市	1	15	東京都	区部	37	555
埼玉県	草加市	1	15	東京都	立川市	1	15
埼玉県	越谷市	2	30	東京都	武蔵野市	1	15
埼玉県	蕨市	1	15	東京都	府中市	2	30
埼玉県	入間市	1	15	東京都	昭島市	1	15
埼玉県	鳩ヶ谷市	1	16	東京都	調布市	2	30
埼玉県	朝霞市	1	15	東京都	町田市	2	30
埼玉県	新座市	1	15	東京都	日野市	1	15
埼玉県	桶川市	1	15	東京都	東村山市	1	15
埼玉県	北本市	1	15	東京都	狛江市	1	15
埼玉県	三郷市	1	15	東京都	東大和市	1	15
埼玉県	坂戸市	1	15	東京都	稲城市	1	15
埼玉県	幸手市	1	15	東京都	羽村市	1	15
埼玉県	鶴ヶ島市	1	15	東京都	西東京市	1	15
埼玉県	吉川市	1	15	神奈川県	横浜市	15	225
埼玉県	北足立郡	1	15	神奈川県	川崎市	5	75
埼玉県	入間郡	1	15	神奈川県	横須賀市	2	30
埼玉県	比企郡	1	15	神奈川県	平塚市	2	30
千葉県	千葉市	4	60	神奈川県	藤沢市	2	30
千葉県	市川市	1	15	神奈川県	小田原市	1	15
千葉県	船橋市	3	45	神奈川県	相模原市	3	45
千葉県	木更津市	1	15	神奈川県	秦野市	1	15
千葉県	松戸市	2	30	神奈川県	厚木市	1	15
千葉県	佐倉市	1	15	神奈川県	伊勢原市	1	15

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
神奈川県	座間市	1	15	岐阜県	各務原市	1	15
神奈川県	足柄上郡	1	15	岐阜県	飛騨市	1	15
新潟県	新潟市	3	48	岐阜県	養老郡	1	15
新潟県	長岡市	1	16	岐阜県	加茂郡	1	15
新潟県	加茂市	1	16	静岡県	静岡市	3	48
新潟県	燕市	1	15	静岡県	浜松市	3	48
新潟県	五泉市	1	16	静岡県	沼津市	1	16
新潟県	上越市	1	16	静岡県	三島市	1	15
新潟県	魚沼市	1	15	静岡県	伊東市	1	15
新潟県	西蒲原郡	1	15	静岡県	富士市	1	15
富山県	富山市	1	16	静岡県	磐田市	1	15
富山県	高岡市	1	15	静岡県	焼津市	1	15
富山県	黒部市	1	15	静岡県	藤枝市	1	15
富山県	射水市	1	15	静岡県	裾野市	1	15
石川県	金沢市	2	32	静岡県	伊豆の国市	1	15
石川県	加賀市	1	15	静岡県	榛原郡	1	15
石川県	能美市	1	15	愛知県	名古屋市	9	138
石川県	石川郡	1	15	愛知県	豊橋市	2	30
福井県	福井市	1	16	愛知県	岡崎市	1	15
福井県	鯖江市	1	15	愛知県	一宮市	2	30
福井県	坂井市	1	15	愛知県	半田市	1	15
福井県	大飯郡	1	15	愛知県	春日井市	1	15
山梨県	甲府市	1	15	愛知県	豊川市	1	15
山梨県	南アルプス市	1	15	愛知県	刈谷市	1	15
山梨県	中央市	1	15	愛知県	豊田市	1	15
長野県	長野市	2	32	愛知県	西尾市	1	15
長野県	松本市	1	16	愛知県	小牧市	1	15
長野県	上田市	1	15	愛知県	稲沢市	1	15
長野県	須坂市	1	15	愛知県	知多市	1	15
長野県	小諸市	1	15	愛知県	日進市	1	15
長野県	佐久市	1	15	愛知県	愛西市	1	15
長野県	上伊那郡	1	15	愛知県	北名古屋市	1	15
長野県	東筑摩郡	1	15	愛知県	海部郡	1	15
岐阜県	岐阜市	1	16	愛知県	知多郡	1	15
岐阜県	大垣市	1	15	三重県	津市	2	30
岐阜県	多治見市	1	15	三重県	四日市市	1	15
岐阜県	羽島市	1	15	三重県	伊勢市	1	15

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
三重県	松阪市	1	15	兵庫県	姫路市	2	30
三重県	鈴鹿市	1	15	兵庫県	尼崎市	2	30
三重県	名張市	1	15	兵庫県	明石市	1	15
三重県	伊賀市	1	15	兵庫県	西宮市	1	15
三重県	桑名郡	1	14	兵庫県	芦屋市	1	15
滋賀県	大津市	1	16	兵庫県	伊丹市	1	15
滋賀県	彦根市	1	16	兵庫県	加古川市	2	30
滋賀県	近江八幡市	1	16	兵庫県	宝塚市	1	15
滋賀県	栗東市	1	16	兵庫県	三木市	1	15
滋賀県	東近江市	1	16	兵庫県	川西市	1	15
京都府	京都市	6	96	兵庫県	小野市	1	15
京都府	亀岡市	1	15	兵庫県	三田市	1	15
京都府	長岡京市	1	15	兵庫県	揖保郡	1	14
京都府	南丹市	1	15	奈良県	奈良市	2	30
京都府	木津川市	1	15	奈良県	大和高田市	2	30
京都府	船井郡	1	14	奈良県	橿原市	1	15
大阪府	大阪市	11	168	奈良県	生駒市	1	15
大阪府	堺市	3	45	奈良県	生駒郡	1	13
大阪府	岸和田市	1	16	奈良県	磯城郡	1	13
大阪府	豊中市	2	31	和歌山県	和歌山市	1	15
大阪府	吹田市	1	15	和歌山県	田辺市	1	15
大阪府	泉大津市	1	15	和歌山県	西牟婁郡	1	13
大阪府	高槻市	2	30	鳥取県	鳥取市	1	16
大阪府	守口市	1	15	鳥取県	倉吉市	1	16
大阪府	枚方市	1	15	鳥取県	西伯郡	1	15
大阪府	茨木市	2	30	島根県	松江市	1	16
大阪府	八尾市	1	15	岡山県	岡山市	3	48
大阪府	富田林市	1	15	岡山県	倉敷市	1	16
大阪府	寝屋川市	1	15	岡山県	津山市	1	15
大阪府	松原市	1	15	岡山県	総社市	1	15
大阪府	和泉市	1	15	岡山県	赤磐市	1	15
大阪府	箕面市	1	15	岡山県	勝田郡	1	15
大阪府	門真市	1	15	広島県	広島市	5	71
大阪府	高石市	1	15	広島県	呉市	3	47
大阪府	東大阪市	2	30	広島県	尾道市	1	15
大阪府	四條畷市	1	15	広島県	三次市	1	15
大阪府	南河内郡	1	14	広島県	東広島市	1	15
兵庫県	神戸市	6	90	山口県	下関市	1	15

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数	
山口県	宇部市	1	15	佐賀県	多久市	1	15	
山口県	山口市	1	15	佐賀県	嬉野市	1	15	
山口県	萩市	1	16	長崎県	長崎市	2	30	
山口県	防府市	1	15	長崎県	佐世保市	1	15	
山口県	岩国市	1	15	長崎県	諫早市	1	15	
山口県	周南市	1	15	長崎県	南島原市	1	15	
山口県	大島郡	1	15	長崎県	西彼杵郡	1	15	
徳島県	徳島市	2	30	熊本県	熊本市	3	45	
徳島県	鳴門市	1	15	熊本県	荒尾市	1	15	
徳島県	阿波市	1	15	熊本県	宇土市	1	15	
徳島県	板野郡	1	14	熊本県	菊池郡	1	15	
香川県	高松市	1	15	大分県	大分市	2	30	
香川県	坂出市	1	15	大分県	別府市	1	15	
香川県	三豊市	1	15	大分県	津久見市	1	15	
香川県	仲多度郡	1	14	大分県	宇佐市	1	15	
愛媛県	松山市	2	30	大分県	由布市	1	15	
愛媛県	今治市	1	15	大分県	速見郡	1	15	
愛媛県	新居浜市	1	15	宮崎県	宮崎市	1	15	
愛媛県	伊予市	1	15	宮崎県	都城市	1	15	
高知県	高知市	2	30	宮崎県	小林市	1	15	
高知県	土佐清水市	1	15	宮崎県	児湯郡	1	14	
高知県	高岡郡	1	14	鹿児島県	鹿児島市	3	45	
福岡県	北九州市	5	75	鹿児島県	鹿屋市	1	15	
福岡県	福岡市	5	73	鹿児島県	薩摩川内市	1	15	
福岡県	大牟田市	1	16	鹿児島県	いちき串木野市	1	15	
福岡県	久留米市	1	16	鹿児島県	姶良郡	1	14	
福岡県	田川市	1	15	沖縄県	那覇市	1	15	
福岡県	大川市	1	15	沖縄県	宜野湾市	1	15	
福岡県	小郡市	1	15	沖縄県	沖縄市	1	15	
福岡県	春日市	1	15	沖縄県	うるま市	1	15	
福岡県	太宰府市	1	15	沖縄県	中頭郡	1	14	
福岡県	福津市	1	15			計	529	8000
福岡県	みやま市	1	15					
福岡県	糟屋郡	1	15					
福岡県	八女郡	1	15					
福岡県	京都郡	1	15					
福岡県	築上郡	1	15					
佐賀県	佐賀市	1	16					

. 1 抽出地点リスト：JGSS-2010

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
北海道	札幌市	9	144	秋田県	秋田市	2	30
北海道	函館市	1	16	秋田県	横手市	1	15
北海道	小樽市	1	16	秋田県	潟上市	1	15
北海道	旭川市	2	32	山形県	山形市	1	15
北海道	室蘭市	1	16	山形県	米沢市	1	15
北海道	釧路市	1	16	山形県	鶴岡市	1	15
北海道	帯広市	1	15	山形県	寒河江市	1	15
北海道	苫小牧市	1	15	山形県	天童市	1	15
北海道	江別市	1	15	山形県	東村山郡	1	15
北海道	千歳市	1	15	山形県	東置賜郡	1	15
北海道	富良野市	1	15	福島県	福島市	2	30
北海道	北広島市	1	15	福島県	会津若松市	1	15
北海道	石狩郡	1	16	福島県	郡山市	1	15
北海道	岩内郡	1	16	福島県	いわき市	2	30
北海道	上川郡	1	16	福島県	南相馬市	1	15
北海道	河東郡	1	16	福島県	伊達市	1	15
北海道	川上郡	1	16	福島県	岩瀬郡	1	15
青森県	青森市	1	16	茨城県	水戸市	1	16
青森県	弘前市	1	15	茨城県	日立市	1	15
青森県	八戸市	1	16	茨城県	石岡市	1	15
青森県	黒石市	1	15	茨城県	笠間市	1	15
青森県	むつ市	1	15	茨城県	取手市	1	15
青森県	上北郡	1	15	茨城県	牛久市	1	15
青森県	三戸郡	1	15	茨城県	つくば市	1	15
岩手県	盛岡市	1	16	茨城県	那珂市	1	15
岩手県	花巻市	1	15	茨城県	かすみがうら市	1	15
岩手県	久慈市	1	15	茨城県	鉾田市	1	15
岩手県	二戸市	1	15	茨城県	東茨城郡	1	16
岩手県	紫波郡	1	15	栃木県	宇都宮市	3	48
宮城県	仙台市	4	63	栃木県	足利市	1	15
宮城県	石巻市	1	15	栃木県	栃木市	1	15
宮城県	塩竈市	1	15	栃木県	鹿沼市	1	15
宮城県	多賀城市	1	15	栃木県	小山市	1	15
宮城県	栗原市	1	15	栃木県	大田原市	1	15
宮城県	大崎市	1	15	栃木県	那須烏山市	1	15
宮城県	柴田郡	1	15	栃木県	下都賀郡	1	15
宮城県	宮城郡	1	15	群馬県	前橋市	1	16
宮城県	遠田郡	1	15	群馬県	高崎市	2	32

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
群馬県	桐生市	1	15	千葉県	流山市	2	30
群馬県	伊勢崎市	1	15	千葉県	八千代市	1	15
群馬県	太田市	1	16	千葉県	我孫子市	1	15
群馬県	沼田市	1	15	千葉県	鎌ヶ谷市	1	15
群馬県	渋川市	1	15	千葉県	浦安市	1	15
群馬県	みどり市	1	15	千葉県	袖ヶ浦市	1	15
群馬県	甘楽郡	1	15	千葉県	白井市	1	15
埼玉県	さいたま市	6	90	千葉県	香取市	1	15
埼玉県	川越市	2	32	千葉県	山武市	1	15
埼玉県	熊谷市	1	15	千葉県	香取郡	1	15
埼玉県	川口市	2	32	千葉県	夷隅郡	1	15
埼玉県	所沢市	1	15	東京都	区部	42	630
埼玉県	飯能市	1	15	東京都	東大和市	1	15
埼玉県	加須市	1	15	東京都	八王子市	3	45
埼玉県	本庄市	1	15	東京都	立川市	1	15
埼玉県	春日部市	1	15	東京都	武蔵野市	1	15
埼玉県	上尾市	1	15	東京都	青梅市	1	15
埼玉県	草加市	2	30	東京都	府中市	1	15
埼玉県	越谷市	1	15	東京都	昭島市	1	15
埼玉県	蕨市	1	15	東京都	調布市	1	15
埼玉県	朝霞市	1	15	東京都	町田市	2	30
埼玉県	和光市	1	15	東京都	日野市	1	15
埼玉県	新座市	1	15	東京都	東村山市	1	15
埼玉県	桶川市	1	15	東京都	狛江市	1	15
埼玉県	北本市	1	15	東京都	清瀬市	1	15
埼玉県	三郷市	1	15	東京都	武蔵村山市	1	15
埼玉県	蓮田市	1	15	東京都	稲城市	1	15
埼玉県	鶴ヶ島市	1	15	東京都	西東京市	1	15
埼玉県	北足立郡	1	15	神奈川県	横浜市	18	261
埼玉県	入間郡	1	15	神奈川県	川崎市	6	84
埼玉県	南埼玉郡	2	31	神奈川県	横須賀市	2	30
千葉県	千葉市	4	60	神奈川県	平塚市	1	15
千葉県	市川市	2	30	神奈川県	鎌倉市	1	15
千葉県	船橋市	3	45	神奈川県	藤沢市	2	30
千葉県	木更津市	1	15	神奈川県	小田原市	2	30
千葉県	松戸市	2	30	神奈川県	相模原市	4	60
千葉県	成田市	1	15	神奈川県	秦野市	1	15
千葉県	佐倉市	1	15	神奈川県	厚木市	2	30
千葉県	東金市	1	15	神奈川県	伊勢原市	1	15
千葉県	習志野市	1	15	神奈川県	海老名市	1	15
千葉県	柏市	2	30	神奈川県	中郡	1	15
千葉県	市原市	1	15	新潟県	新潟市	4	63



都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
新潟県	長岡市	1	15	静岡県	浜松市	4	60
新潟県	三条市	1	15	静岡県	沼津市	1	15
新潟県	新発田市	1	15	静岡県	三島市	1	15
新潟県	村上市	1	15	静岡県	島田市	1	15
新潟県	五泉市	1	15	静岡県	富士市	2	30
新潟県	上越市	1	15	静岡県	磐田市	1	15
新潟県	胎内市	1	15	静岡県	掛川市	1	15
富山県	富山市	2	30	静岡県	藤枝市	1	15
富山県	高岡市	1	15	静岡県	御殿場市	1	15
富山県	黒部市	1	15	静岡県	袋井市	1	15
富山県	射水市	1	15	静岡県	菊川市	1	15
富山県	下新川郡	1	16	愛知県	名古屋市	10	150
石川県	金沢市	2	30	愛知県	豊橋市	1	15
石川県	小松市	1	15	愛知県	岡崎市	1	15
石川県	白山市	1	15	愛知県	一宮市	1	15
福井県	福井市	1	15	愛知県	瀬戸市	1	15
福井県	小浜市	1	15	愛知県	半田市	1	15
福井県	越前市	1	15	愛知県	春日井市	3	45
福井県	吉田郡	1	16	愛知県	津島市	1	15
山梨県	甲府市	1	15	愛知県	刈谷市	1	15
山梨県	南アルプス市	1	15	愛知県	豊田市	2	29
山梨県	甲斐市	1	15	愛知県	江南市	1	15
山梨県	中央市	1	15	愛知県	小牧市	1	15
山梨県	中巨摩郡	1	15	愛知県	稲沢市	1	15
長野県	長野市	2	30	愛知県	東海市	1	15
長野県	松本市	1	15	愛知県	知多市	1	15
長野県	上田市	1	15	愛知県	豊明市	1	15
長野県	岡谷市	1	15	愛知県	愛西市	1	15
長野県	須坂市	1	15	愛知県	北名古屋市	1	15
長野県	駒ヶ根市	1	15	愛知県	弥富市	1	15
長野県	東御市	1	15	愛知県	愛知郡	2	30
長野県	南佐久郡	1	15	愛知県	額田郡	1	15
長野県	上伊那郡	1	15	三重県	津市	1	14
岐阜県	岐阜市	2	30	三重県	四日市市	2	28
岐阜県	大垣市	1	15	三重県	伊勢市	1	15
岐阜県	関市	1	15	三重県	鈴鹿市	1	14
岐阜県	羽島市	1	15	三重県	名張市	1	14
岐阜県	各務原市	1	15	三重県	亀山市	1	14
岐阜県	瑞穂市	1	15	三重県	鳥羽市	1	14
岐阜県	安八郡	1	15	三重県	度会郡	1	15
岐阜県	可児郡	1	15	滋賀県	大津市	2	30
静岡県	静岡市	3	45	滋賀県	長浜市	1	15

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
滋賀県	近江八幡市	1	15	兵庫県	川西市	1	15
滋賀県	栗東市	1	15	兵庫県	三田市	1	15
滋賀県	高島市	1	15	兵庫県	宍粟市	1	15
京都府	京都市	7	105	兵庫県	神崎郡	1	15
京都府	福知山市	1	15	奈良県	奈良市	1	14
京都府	舞鶴市	1	15	奈良県	大和高田市	1	15
京都府	向日市	1	15	奈良県	大和郡山市	1	15
京都府	京田辺市	1	15	奈良県	橿原市	1	15
京都府	木津川市	1	15	奈良県	宇陀市	1	15
京都府	相楽郡	1	15	奈良県	生駒郡	1	14
大阪府	大阪市	13	195	奈良県	北葛城郡	1	14
大阪府	堺市	3	45	和歌山県	和歌山市	2	28
大阪府	岸和田市	1	15	和歌山県	有田市	1	15
大阪府	豊中市	2	30	和歌山県	紀の川市	1	15
大阪府	吹田市	2	30	和歌山県	日高郡	1	14
大阪府	高槻市	2	30	鳥取県	鳥取市	1	15
大阪府	貝塚市	1	15	鳥取県	境港市	1	15
大阪府	守口市	1	15	鳥取県	岩美郡	1	16
大阪府	枚方市	2	30	島根県	松江市	1	15
大阪府	茨木市	1	15	岡山県	岡山市	4	58
大阪府	八尾市	1	15	岡山県	倉敷市	2	32
大阪府	富田林市	1	15	岡山県	玉野市	1	15
大阪府	松原市	1	15	岡山県	総社市	1	15
大阪府	大東市	1	15	岡山県	瀬戸内市	1	15
大阪府	箕面市	1	15	岡山県	苫田郡	1	16
大阪府	羽曳野市	1	15	広島県	広島市	5	70
大阪府	門真市	1	15	広島県	呉市	2	30
大阪府	藤井寺市	1	15	広島県	三原市	1	15
大阪府	東大阪市	3	45	広島県	尾道市	1	15
大阪府	交野市	1	15	広島県	大竹市	1	15
大阪府	泉南郡	1	15	広島県	廿日市市	1	15
兵庫県	神戸市	7	104	広島県	山県郡	1	16
兵庫県	姫路市	2	30	山口県	下関市	2	30
兵庫県	尼崎市	3	45	山口県	宇部市	1	15
兵庫県	明石市	1	15	山口県	山口市	1	15
兵庫県	西宮市	2	28	山口県	萩市	1	15
兵庫県	芦屋市	1	15	山口県	防府市	1	15
兵庫県	伊丹市	1	15	山口県	岩国市	1	15
兵庫県	加古川市	2	28	山口県	光市	1	15
兵庫県	赤穂市	1	15	山口県	周南市	1	15
兵庫県	宝塚市	1	14	徳島県	徳島市	2	30
兵庫県	高砂市	1	15	徳島県	阿南市	1	15

都道府県	市・郡	地点数	標本数	都道府県	市・郡	地点数	標本数
徳島県	三好市	1	15	熊本県	玉名郡	1	15
徳島県	板野郡	1	16	熊本県	上益城郡	1	15
香川県	高松市	2	30	大分県	大分市	2	28
香川県	善通寺市	1	15	大分県	別府市	1	15
香川県	三豊市	1	15	大分県	佐伯市	1	15
香川県	綾歌郡	1	16	大分県	臼杵市	1	15
愛媛県	松山市	2	30	大分県	杵築市	1	15
愛媛県	今治市	1	15	宮崎県	宮崎市	2	28
愛媛県	宇和島市	1	15	宮崎県	延岡市	1	15
愛媛県	新居浜市	1	15	宮崎県	日南市	1	15
高知県	高知市	2	30	宮崎県	東諸県郡	1	14
高知県	南国市	1	15	鹿児島県	鹿児島市	3	42
高知県	香美市	1	15	鹿児島県	鹿屋市	1	15
高知県	吾川郡	1	16	鹿児島県	薩摩川内市	1	15
福岡県	北九州市	4	62	鹿児島県	霧島市	1	15
福岡県	福岡市	7	105	鹿児島県	南さつま市	1	15
福岡県	大牟田市	1	15	鹿児島県	薩摩郡	1	14
福岡県	久留米市	2	30	沖縄県	那覇市	1	14
福岡県	飯塚市	1	15	沖縄県	浦添市	1	15
福岡県	柳川市	1	15	沖縄県	糸満市	1	15
福岡県	行橋市	1	15	沖縄県	うるま市	1	14
福岡県	筑紫野市	1	15	沖縄県	中頭郡	1	14
福岡県	春日市	1	15		計	600	9000
福岡県	太宰府市	1	15				
福岡県	うきは市	1	15				
福岡県	みやま市	1	15				
福岡県	糟屋郡	2	30				
福岡県	三井郡	1	15				
福岡県	京都郡	1	15				
佐賀県	佐賀市	1	15				
佐賀県	唐津市	1	15				
佐賀県	伊万里市	1	15				
佐賀県	神埼市	1	15				
佐賀県	杵島郡	1	15				
長崎県	長崎市	2	30				
長崎県	佐世保市	1	15				
長崎県	諫早市	1	15				
長崎県	南島原市	1	15				
熊本県	熊本市	4	59				
熊本県	荒尾市	1	15				
熊本県	菊池市	1	15				
熊本県	阿蘇市	1	15				

## . 2 産業コード

10	農業
20	林業
30	漁業
40	鉱業
50	建設業
60	製造業
70	電気・ガス・熱供給・水道業
80	運輸業
91	卸売業
92	小売業
93	飲食店
100	金融・保険業
110	不動産業
120	新聞・放送・出版業、広告業、映画制作業
130	情報・通信サービス業
140	医療・福祉サービス業
150	教育・研究サービス業
160	法律・会計サービス業
170	その他のサービス業
180	公務
190	分類不能の産業
987	兵役
998	非該当
999	無回答

産業カテゴリーの分類コードについては、原則として『SSM 産業分類・職業分類(95年版)』(1995年SSM調査研究会)を利用した。1995年SSM分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授(当時)の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。

### . 3 職業コード

501 ( 専門 )	自然科学系研究者
502 ( 専門 )	人文科学系研究者
503 ( 専門 )	機械・電気・化学技術者
504 ( 専門 )	建築・土木技術者
505 ( 専門 )	農林技術者
506 ( 専門 )	情報処理技術者
507 ( 専門 )	その他の技師・技術者
508 ( 専門 )	医師
509 ( 専門 )	歯科医師
510 ( 専門 )	薬剤師
511 ( 専門 )	助産師 ( 助産婦 )
512 ( 専門 )	保健師 ( 保健婦 )
513 ( 専門 )	栄養士
514 ( 専門 )	看護師 ( 看護婦、看護師 )
515 ( 専門 )	あん摩・はり・きゅう師、柔道整復師
516 ( 専門 )	その他の保健医療従事者
517 ( 専門 )	裁判官、検察官、弁護士
518 ( 専門 )	その他の法務従事者
519 ( 専門 )	公認会計士、税理士
520 ( 専門 )	幼稚園教員
521 ( 専門 )	小学校教員
522 ( 専門 )	中学校教員
523 ( 専門 )	高等学校教員
524 ( 専門 )	大学教員
525 ( 専門 )	盲・ろう・養護学校教員
526 ( 専門 )	その他の教員
527 ( 専門 )	宗教家
528 ( 専門 )	文芸家、著述家
529 ( 専門 )	記者、編集者
530 ( 専門 )	彫刻家、画家、工芸美術家
531 ( 専門 )	デザイナー
532 ( 専門 )	写真家、カメラマン
533 ( 専門 )	音楽家 ( 個人に教授するものを除く )
534 ( 専門 )	俳優、舞踊家、演芸家 ( 個人に教授するものを除く )
535 ( 専門 )	職業スポーツ家 ( 個人に教授するものを除く )
536 ( 専門 )	獣医師
537 ( 専門 )	保育士 ( 保母、保父 )
538 ( 専門 )	社会福祉事業専門職員
539 ( 専門 )	個人教師
540 ( 専門 )	不動産鑑定士

541 (専門)	経営コンサルタント
542 (専門)	アナウンサー (ラジオ・テレビ)
543 (専門)	図書館司書
544 (専門)	その他の専門的・技術的職業従事者
545 (管理)	管理的公務員
546 (管理)	国会議員
547 (管理)	地方議員
548 (管理)	会社役員
549 (管理)	その他の法人・団体の役員
550 (管理)	会社・団体等の管理職員
551 (管理)	駅長、区長
552 (管理)	郵便局長、電報・電話局長
553 (管理)	その他の管理的職業従事者
554 (事務)	総務・企画事務員
555 (事務)	受付・案内事務員
556 (事務)	出荷・受荷事務員
557 (事務)	営業・販売事務員
558 (事務)	その他の一般事務員
559 (事務)	会計事務員
560 (事務)	郵便・通信事務員
561 (事務)	集金人
562 (事務)	その他の外勤事務従事者
563 (事務)	運輸事務員
564 (事務)	速記者、タイピスト、キーパンチャー
565 (事務)	電子計算機等操作員
566 (販売)	小売店主
567 (販売)	卸売店主
568 (販売)	飲食店主
569 (販売)	販売店員
570 (販売)	行商人、呼売人、露天商
571 (販売)	再生資源卸売人・回収人
572 (販売)	商品仲立人
573 (販売)	外交員 (保険、不動産を除く)
574 (販売)	保険代理人・外交員
575 (販売)	不動産仲買人・売買人
576 (販売)	質屋店主・店員
577 (販売)	その他の販売類似職業従事者
578 (非熟練)	家政婦、家事サービス職業従事者
579 (熟練)	理容師、美容師
580 (半熟練)	クリーニング職、洗張職
581 (熟練)	料理人
582 (販売)	バーテンダー
583 (販売)	給仕係

584 (販売)	スチュワーデス、スチュワード
585 (販売)	接客社交係
586 (事務)	娯楽場等の接客員
587 (販売)	旅行・観光案内人
588 (販売)	その他の個人サービス職業従事者
589 (販売)	旅館主人・番頭、ホテル支配人
590 (事務)	下宿・アパートの管理人、舎監、寮母
591 (非熟練)	ファッションモデル
592 (非熟練)	その他のサービス職業従事者
593 (事務)	自衛官
594 (事務)	警察官、海上保安官、鉄道公安員
595 (事務)	消防員
596 (事務)	看守、守衛、監視員
597 (事務)	その他の保安職業従事者
598 (事務)	旧職業軍人
599 (農林)	農耕・養蚕作業者
600 (農林)	植木職、造園師
601 (農林)	畜産作業者
602 (農林)	林業作業者
603 (農林)	その他の農林業作業者
604 (農林)	漁業作業者
605 (農林)	漁船の船長・航海士・機関長・機関士
606 (半熟練)	電車・機関車運転士
607 (半熟練)	自動車運転者
608 (管理)	船長・航海士(漁船を除く)、水先人
609 (専門)	船舶機関長・機関士(漁船を除く)
610 (専門)	航空機操縦士、航空士、航空機関士
611 (半熟練)	車掌
612 (半熟練)	鉄道員
613 (半熟練)	船員
614 (半熟練)	その他の運輸従事者
615 (専門)	無線通信士、無線技術士
616 (事務)	有線通信士
617 (事務)	電話交換手
618 (事務)	郵便・電報外務員
619 (事務)	その他の通信従事者
620 (非熟練)	採鉱員、採炭員
621 (非熟練)	石切出作業者
622 (非熟練)	その他の採掘作業者
623 (熟練)	陶磁器工、絵付作業者
624 (熟練)	石工
625 (半熟練)	ガラス・セメント製品製造作業者
626 (熟練)	その他の窯業・土石製品製造作業者

627 (半熟練)	製鉄工、製鋼工、精錬工
628 (熟練)	鋳物工、鍛造工、金属材料製造作業
629 (半熟練)	化学製品製造作業
630 (半熟練)	金属工作機械工、めっき工、金属加工作業者
631 (熟練)	鉄工、板金工
632 (半熟練)	金属溶接工
633 (熟練)	一般機械組立工・修理工
634 (半熟練)	電気機械器具組立工・修理工
635 (熟練)	自動車組立工・整備工
636 (熟練)	鉄道車両組立工・修理工
637 (熟練)	船舶ぎ装工 (他に分類されない)
638 (熟練)	航空機組立工・整備工
639 (熟練)	自転車組立工・修理工
640 (熟練)	その他の輸送機械組立・修理作業
641 (熟練)	時計組立工・修理工
642 (熟練)	光学機械・精密機械器具組立工・修理工
643 (熟練)	精穀工、製粉工
644 (熟練)	パン・菓子・めん類・豆腐製造工
645 (半熟練)	味噌・醤油・缶詰食品・乳製品製造工、飲食料品製造作業
646 (半熟練)	たばこ製造工
647 (熟練)	酒類製造工
648 (半熟練)	製糸作業
649 (半熟練)	織布工、紡織作業
650 (半熟練)	漂白工、染色工
651 (熟練)	洋服・和服仕立職
652 (半熟練)	縫製工、裁断工
653 (半熟練)	製材工、木工
654 (熟練)	指物職、家具職、建具職
655 (熟練)	船大工
656 (熟練)	おけ職、木・竹・草・つる製品製造作業
657 (半熟練)	製紙工、紙器製造工、パルプ・紙・紙製品製造作業
658 (熟練)	印刷・製本作業
659 (半熟練)	ゴム・プラスチック製品製造作業
660 (熟練)	くつ製造工・修理工、かわ・かわ製品製造作業
661 (熟練)	塗装工、画工、看板工
662 (熟練)	漆塗師、まき絵師
663 (熟練)	表具師、内張工
664 (熟練)	和がさ・ちょうちん・うちわ職
665 (熟練)	貴金属・宝石・甲・角等細工
666 (熟練)	印判師
667 (半熟練)	洋傘組立工
668 (熟練)	かばん・袋物製造工
669 (半熟練)	がん具製造工



670 (熟練)	製図工、現図工
671 (熟練)	映写技士
672 (半熟練)	その他の技能工・生産工程作業者
673 (熟練)	汽かん士、汽かん火夫
674 (熟練)	起重機・建設機械運転作業者
675 (熟練)	その他の定置機関運転作業者
676 (半熟練)	発電員、変電員
677 (熟練)	電気工事・電話工事作業者
678 (熟練)	土木・建築請負師
679 (熟練)	左官、とび職
680 (熟練)	れんが積工、配管工
681 (熟練)	畳職
682 (非熟練)	土工、道路工夫
683 (非熟練)	鉄道線路工夫
684 (熟練)	現場監督、その他の建設作業者
685 (非熟練)	倉庫夫、仲仕
686 (非熟練)	運搬労務者
687 (非熟練)	清掃員
688 (非熟練)	その他の労務作業者
689 (分類不能)	分類不能の職業
690 (分類不能)	旧地主
691 (分類不能)	名目上の役員
701 (事務)	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー
702 (分類不能)	大工
703 (専門)	教員：小学校・中学校・高校などが明記されていない場合
704 (分類不能)	製品製造作業者：(特に父職で)作っている製品が明記されていない場合
705 (分類不能)	会社員：(特に父職で)記入が「会社員」とあった場合
707 (分類不能)	自営業：(特に父職で)記入が「自営業」とあった場合
986 (分類不能)	無職
987 (分類不能)	兵役
998 (非該当)	非該当
999 (無回答)	不明、無回答

括弧内の分類は、JGSS 累積データ 2000-2010 コードブック内で、基礎集計を示すにあたって便宜的に用いた分類カテゴリーの割り当てであり、参考までに記した。

職業の職種分類コードについては、『SSM 産業分類・職業分類(95年版)』(1995年SSM調査研究会)における1995年SSM分類を参考に、自由記述の内容にアフターコードを割り当てている。1995年SSM分類の使用にあたっては、東北大学の原純輔教授の許可とアドバイスをいただいた。記して感謝したい。JGSS分類とSSM分類との相違点は、以下のとおりである。

SSM 分類と内容が若干異なるコード

511	助産師(助産婦)
512	保健師(保健婦)
514	看護師(看護婦、看護師)
537	保育士(保母、保父)
578	家政婦、家事サービス職業従事者

SSM 分類にはないコード

701	スーパーなどのレジスター係員、キャッシャー:「559 会計事務員」から分離
702	大工:「679 大工・左官、とび職」から分離
703	教員:小学校・中学校・高校などが明記されていない場合に用いた
704	製品製造作業:(特に父職で)作っている製品が明記されていない場合に用いた
705	会社員:(特に父職で)記入が「会社員」とあった場合
707	自営業:(特に父職で)記入が「自営業」とあった場合

SSM 分類には存在するが、JGSS にはあてはまらないので含まれないコード

988	大学生、短大生
989	大学院生
990	その他の生徒・学生

また、職業・産業自動コーディングシステムの開発にご尽力いただいた下記の研究者にも、謝意を表したい(所属は2005年3月現在)。

高橋 和子	(敬愛大学国際学部 助教授)
奥村 学	(東京工業大学精密工学研究所 助教授)
高村 大也	(東京工業大学精密工学研究所 助手)
須山 敦	(東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士2年)
村山 紀文	(東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻修士2年)

## . 4 国際標準産業分類 (ISIC)

国際標準産業分類 (International Standard Industrial Classification of all Economic Activities: ISIC) は、国際労働機関 (International Labour Organization: ILO) が定めている産業分類コードである (詳細は <http://www.ilo.org/> を参照)。JGSS-2006 では、留置調査票 B 票の回答者についてのみ、ISIC, revision 3 を用いて従来の産業分類とは別に「XXWPLE: 業種 (ISIC)」「SSXXHQXE: 業種 (配偶者) (ISIC)」の 2 変数を作成した。コーディングは 2 桁の水準で行ったが、本コードブックでの基礎集計は Tabulation category にまとめて掲載している。

### TABULATION CATEGORY A: AGRICULTURE, HUNTING AND FORESTRY

- 01 Agriculture, hunting and related service activities
- 02 Forestry, logging and related service activities

### TABULATION CATEGORY B: FISHING

- 05 Fishing, operation of fish hatcheries and fish farms; service activities incidental to fishing

### TABULATION CATEGORY C: MINING AND QUARRYING

- 10 Mining of coal and lignite; extraction of peat
- 11 Extraction of crude petroleum and natural gas; service activities incidental to oil and gas extraction, excluding surveying
- 12 Mining of uranium and thorium ores
- 13 Mining of metal ores
- 14 Other mining and quarrying

### TABULATION CATEGORY D: MANUFACTURING

- 15 Manufacture of food products and beverages
- 16 Manufacture of tobacco products
- 17 Manufacture of textiles
- 18 Manufacture of wearing apparel; dressing and dyeing of fur
- 19 Tanning and dressing of leather; manufacture of luggage, handbags, saddlery, harness and footwear
- 20 Manufacture of wood and of products of wood and cork, except furniture; manufacture of articles of straw and plaiting materials
- 21 Manufacture of paper and paper products
- 22 Publishing, printing and reproduction of recorded media
- 23 Manufacture of coke, refined petroleum products and nuclear fuel
- 24 Manufacture of chemicals and chemical products
- 25 Manufacture of rubber and plastic products
- 26 Manufacture of other non-metallic mineral products
- 27 Manufacture of basic metals
- 28 Manufacture of fabricated metal products, except machinery and equipment
- 29 Manufacture of machinery and equipment NEC (not elsewhere classified)
- 30 Manufacture of office, accounting and computing machinery
- 31 Manufacture of electrical machinery and apparatus NEC

- 32 Manufacture of radio, television and communication equipment and apparatus
- 33 Manufacture of medical, precision and optical instruments, watches and clocks
- 34 Manufacture of motor vehicles, trailers and semi-trailers
- 35 Manufacture of other transport equipment
- 36 Manufacture of furniture; manufacturing NEC
- 37 Recycling

TABULATION CATEGORY E: ELECTRICITY, GAS AND WATER SUPPLY

- 40 Electricity, gas, steam and hot-water supply
- 41 Collection, purification and distribution of water

TABULATION CATEGORY F: CONSTRUCTION

- 45 Construction

TABULATION CATEGORY G: WHOLESALE AND RETAIL TRADE; REPAIR OF MOTOR VEHICLES,  
MOTORCYCLES AND PERSONAL AND HOUSEHOLD GOODS

- 50 Sale, maintenance and repair of motor vehicles and motorcycles; retail sale of automotive fuel
- 51 Wholesale trade and commission trade, except of motor vehicles and motorcycles
- 52 Retail trade, except of motor vehicles and motorcycles; repair of personal and household goods

TABULATION CATEGORY H: HOTELS AND RESTAURANTS

- 55 Hotels and restaurants

TABULATION CATEGORY I: TRANSPORT, STORAGE AND COMMUNICATIONS

- 60 Land transport; transport via pipelines
- 61 Water transport
- 62 Air transport
- 63 Supporting and auxiliary transport activities; activities of travel agencies
- 64 Post and telecommunications

TABULATION CATEGORY J: FINANCIAL INTERMEDIATION

- 65 Financial intermediation, except insurance and pension funding
- 66 Insurance and pension funding, except compulsory social security
- 67 Activities auxiliary to financial intermediation

TABULATION CATEGORY K: REAL ESTATE, RENTING AND BUSINESS ACTIVITIES

- 70 Real estate activities
- 71 Renting of machinery and equipment without operator and of personal and household goods
- 72 Computer and related activities
- 73 Research and development
- 74 Other business activities

TABULATION CATEGORY L: PUBLIC ADMINISTRATION AND DEFENCE; COMPULSORY SOCIAL SECURITY

75 Public administration and defence; compulsory social security

TABULATION CATEGORY M: EDUCATION

80 Education

TABULATION CATEGORY N: HEALTH AND SOCIAL WORK

85 Health and social work

TABULATION CATEGORY O: OTHER COMMUNITY, SOCIAL AND PERSONAL SERVICE ACTIVITIES

90 Sewage and refuse disposal, sanitation and similar activities

91 Activities and membership organizations NEC

92 Recreational, cultural and sporting activities

93 Other service activities

TABULATION CATEGORY P: PRIVATE HOUSEHOLDS WITH EMPLOYED PERSONS

95 Private households with employed persons

TABULATION CATEGORY Q: EXTRA-TERRITORIAL ORGANIZATIONS AND BODIES

99 Extra-territorial organizations and bodies

## . 5 国際標準職業分類 (ISCO)

国際標準職業分類 (International Standard Classification of Occupations: ISCO) は、国際労働機関 (International Labour Organization: ILO) が定めている職業分類コードである (詳細は <http://www.ilo.org/> を参照)。JGSS-2010 では、留置調査票 B 票の回答者についてのみ、本人と配偶者の職種について ISCO-88 を用いて従来の職業分類とは別に変数を作成した。コーディングはもっとも細かい 4 桁 (Unit group) の水準で行ったが、基礎集計は Major group にまとめている。

### MAJOR GROUP 1: LEGISLATORS, SENIOR OFFICIALS AND MANAGERS

#### 11 LEGISLATORS AND SENIOR OFFICIALS

##### 111 LEGISLATORS

1110 Legislators

##### 112 SENIOR GOVERNMENT OFFICIALS

1120 Senior government officials

##### 113 TRADITIONAL CHIEFS AND HEADS OF VILLAGES

1130 Traditional chiefs and heads of villages

##### 114 SENIOR OFFICIALS OF SPECIAL-INTEREST ORGANISATIONS

1141 Senior officials of political-party organisations

1142 Senior officials of employers', workers' and other economic-interest organisations

1143 Senior officials of humanitarian and other special-interest organisations

#### 12 CORPORATE MANAGERS

##### 121 DIRECTORS AND CHIEF EXECUTIVES

1210 Directors and chief executives

##### 122 PRODUCTION AND OPERATIONS DEPARTMENT MANAGERS

1221 Production and operations department managers in agriculture, hunting, forestry and fishing

1222 Production and operations department managers in manufacturing

1223 Production and operations department managers in construction

1224 Production and operations department managers in wholesale and retail trade

1225 Production and operations department managers in restaurants and hotels

1226 Production and operations department managers in transport, storage and communications

1227 Production and operations department managers in business services

1228 Production and operations department managers in personal care, cleaning and related services

1229 Production and operations department managers not elsewhere classified

##### 123 OTHER DEPARTMENT MANAGERS

1231 Finance and administration department managers

1232 Personnel and industrial relations department managers

1233 Sales and marketing department managers

1234 Advertising and public relations department managers

1235 Supply and distribution department managers

1236 Computing services department managers

1237 Research and development department managers

1239 Other department managers not elsewhere classified

13 GENERAL MANAGERS

131 GENERAL MANAGERS

- 1311 General managers in agriculture, hunting, forestry/ and fishing
- 1312 General managers in manufacturing
- 1313 General managers in construction
- 1314 General managers in wholesale and retail trade
- 1315 General managers of restaurants and hotels
- 1316 General managers in transport, storage and communications
- 1317 General managers of business services
- 1318 General managers in personal care, cleaning and related services
- 1319 General managers not elsewhere classified

MAJOR GROUP 2: PROFESSIONALS

21 PHYSICAL, MATHEMATICAL AND ENGINEERING SCIENCE PROFESSIONALS

211 PHYSICISTS, CHEMISTS AND RELATED PROFESSIONALS

- 2111 Physicists and astronomers
- 2112 Meteorologists
- 2113 Chemists
- 2114 Geologists and geophysicists

212 MATHEMATICIANS, STATISTICIANS AND RELATED PROFESSIONALS

- 2121 Mathematicians and related professionals
- 2122 Statisticians

213 COMPUTING PROFESSIONALS

- 2131 Computer systems designers and analysts
- 2132 Computer programmers
- 2139 Computing professionals not elsewhere classified

214 ARCHITECTS, ENGINEERS AND RELATED PROFESSIONALS

- 2141 Architects, town and traffic planners
- 2142 Civil engineers
- 2143 Electrical engineers
- 2144 Electronics and telecommunications engineers
- 2145 Mechanical engineers
- 2146 Chemical engineers
- 2147 Mining engineers, metallurgists and related professionals
- 2148 Cartographers and surveyors
- 2149 Architects, engineers and related professionals not elsewhere classified

22 LIFE SCIENCE AND HEALTH PROFESSIONALS

221 LIFE SCIENCE PROFESSIONALS

- 2211 Biologists, botanists, zoologists and related professionals
- 2212 Pharmacologists, pathologists and related professionals
- 2213 Agronomists and related professionals

222 HEALTH PROFESSIONALS (except nursing)

- 2221 Medical doctors

- 2222 Dentists
- 2223 Veterinarians
- 2224 Pharmacists
- 2229 Health professionals (except nursing) not elsewhere classified
- 223 NURSING AND MIDWIFERY PROFESSIONALS
  - 2230 Nursing and midwifery professionals
- 23 TEACHING PROFESSIONALS
  - 231 COLLEGE, UNIVERSITY AND HIGHER EDUCATION TEACHING PROFESSIONALS
    - 2310 College, university and higher education teaching professionals
  - 232 SECONDARY EDUCATION TEACHING PROFESSIONALS
    - 2320 Secondary education teaching professionals
  - 233 PRIMARY AND PRE-PRIMARY EDUCATION TEACHING PROFESSIONALS
    - 2331 Primary education teaching professionals
    - 2332 Pre-primary education teaching professionals
  - 234 SPECIAL EDUCATION TEACHING PROFESSIONALS
    - 2340 Special education teaching professionals
  - 235 OTHER TEACHING PROFESSIONALS
    - 2351 Education methods specialists
    - 2352 School inspectors
    - 2359 Other teaching professionals not elsewhere classified
- 24 OTHER PROFESSIONALS
  - 241 BUSINESS PROFESSIONALS
    - 2411 Accountants
    - 2412 Personnel and careers professionals
    - 2419 Business professionals not elsewhere classified
  - 242 LEGAL PROFESSIONALS
    - 2421 Lawyers
    - 2422 Judges
    - 2429 Legal professionals not elsewhere classified
  - 243 ARCHIVISTS, LIBRARIANS AND RELATED INFORMATION PROFESSIONALS
    - 2431 Archivists and curators
    - 2432 Librarians and related information professionals
  - 244 SOCIAL SCIENCE AND RELATED PROFESSIONALS
    - 2441 Economists
    - 2442 Sociologists, anthropologists and related professionals
    - 2443 Philosophers, historians and political scientists
    - 2444 Philologists, translators and interpreters
    - 2445 Psychologists
    - 2446 Social work professionals
  - 245 WRITERS AND CREATIVE OR PERFORMING ARTISTS
    - 2451 Authors, journalists and other writers
    - 2452 Sculptors, painters and related artists
    - 2453 Composers, musicians and singers



- 2454 Choreographers and dancers
- 2455 Film, stage and related actors and directors
- 246 RELIGIOUS PROFESSIONALS
- 2460 Religious professionals

MAJOR GROUP 3: TECHNICIANS AND ASSOCIATE PROFESSIONALS

31 PHYSICAL AND ENGINEERING SCIENCE ASSOCIATE PROFESSIONALS

311 PHYSICAL AND ENGINEERING SCIENCE TECHNICIANS

- 3111 Chemical and physical science technicians
- 3112 Civil engineering technicians
- 3113 Electrical engineering technicians
- 3114 Electronics and telecommunications engineering technicians
- 3115 Mechanical engineering technicians
- 3116 Chemical engineering technicians
- 3117 Mining and metallurgical technicians
- 3118 Draughtspersons
- 3119 Physical and engineering science technicians not elsewhere classified

312 COMPUTER ASSOCIATE PROFESSIONALS

- 3121 Computer assistants
- 3122 Computer equipment operators
- 3123 Industrial robot controllers

313 OPTICAL AND ELECTRONIC EQUIPMENT OPERATORS

- 3131 Photographers and image and sound recording equipment operators
- 3132 Broadcasting and telecommunications equipment operators
- 3133 Medical equipment operators
- 3139 Optical and electronic equipment operators not elsewhere classified

314 SHIP AND AIRCRAFT CONTROLLERS AND TECHNICIANS

- 3141 Ships' engineers
- 3142 Ships' deck officers and pilots
- 3143 Aircraft pilots and related associate professionals
- 3144 Air traffic controllers
- 3145 Air traffic safety technicians

315 SAFETY AND QUALITY INSPECTORS

- 3151 Building and fire inspectors
- 3152 Safety, health and quality inspectors

32 LIFE SCIENCE AND HEALTH ASSOCIATE PROFESSIONALS

321 LIFE SCIENCE TECHNICIANS AND RELATED ASSOCIATE PROFESSIONALS

- 3211 Life science technicians
- 3212 Agronomy and forestry technicians
- 3213 Farming and forestry advisers

322 MODERN HEALTH ASSOCIATE PROFESSIONALS (except nursing)

- 3221 Medical assistants
- 3222 Sanitarians

- 3223 Dieticians and nutritionists
- 3224 Optometrists and opticians
- 3225 Dental assistants
- 3226 Physiotherapists and related associate professionals
- 3227 Veterinary assistants
- 3228 Pharmaceutical assistants
- 3229 Modern health associate professionals (except nursing) not elsewhere classified
- 323 NURSING AND MIDWIFERY ASSOCIATE PROFESSIONALS
  - 3231 Nursing associate professionals
  - 3232 Midwifery associate professionals
- 324 TRADITIONAL MEDICINE PRACTITIONERS AND FAITH HEALERS
  - 3241 Traditional medicine practitioners
  - 3242 Faith healers
- 33 TEACHING ASSOCIATE PROFESSIONALS
  - 331 PRIMARY EDUCATION TEACHING ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3310 Primary education teaching associate professionals
  - 332 PRE-PRIMARY EDUCATION TEACHING ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3320 Pre-primary education teaching associate professionals
  - 333 SPECIAL EDUCATION TEACHING ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3330 Special education teaching associate professionals
  - 334 OTHER TEACHING ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3340 Other teaching associate professionals
- 34 OTHER ASSOCIATE PROFESSIONALS
  - 341 FINANCE AND SALES ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3411 Securities and finance dealers and brokers
    - 3412 Insurance representatives
    - 3413 Estate agents
    - 3414 Travel consultants and organisers
    - 3415 Technical and commercial sales representatives
    - 3416 Buyers
    - 3417 Appraisers, valuers and auctioneers
    - 3419 Finance and sales associate professionals not elsewhere classified
  - 342 BUSINESS SERVICES AGENTS AND TRADE BROKERS
    - 3421 Trade brokers
    - 3422 Clearing and forwarding agents
    - 3423 Employment agents and labour contractors
    - 3429 Business services agents and trade brokers not elsewhere classified
  - 343 ADMINISTRATIVE ASSOCIATE PROFESSIONALS
    - 3431 Administrative secretaries and related associate professionals
    - 3432 Legal and related business associate professionals
    - 3433 Bookkeepers
    - 3434 Statistical, mathematical and related associate professionals
    - 3439 Administrative associate professionals not elsewhere classified

344 CUSTOMS, TAX AND RELATED GOVERNMENT ASSOCIATE PROFESSIONALS

- 3441 Customs and border inspectors
- 3442 Government tax and excise officials
- 3443 Government social benefits officials
- 3444 Government licensing officials
- 3449 Customs, tax and related government associate professionals not elsewhere classified

345 POLICE INSPECTORS AND DETECTIVES

- 3450 Police inspectors and detectives

346 SOCIAL WORK ASSOCIATE PROFESSIONALS

- 3460 Social work associate professionals

347 ARTISTIC, ENTERTAINMENT AND SPORTS ASSOCIATE PROFESSIONALS

- 3471 Decorators and commercial designers
- 3472 Radio, television and other announcers
- 3473 Street, night-club and related musicians, singers and dancers
- 3474 Clowns, magicians, acrobats and related associate professionals
- 3475 Athletes, sportspersons and related associate professionals

348 RELIGIOUS ASSOCIATE PROFESSIONALS

- 3480 Religious associate professionals

MAJOR GROUP 4: CLERKS

41 OFFICE CLERKS

411 SECRETARIES AND KEYBOARD-OPERATING CLERKS

- 4111 Stenographers and typists
- 4112 Word-processor and related operators
- 4113 Data entry operators
- 4114 Calculating-machine operators
- 4115 Secretaries

412 NUMERICAL CLERKS

- 4121 Accounting and bookkeeping clerks
- 4122 Statistical and finance clerks

413 MATERIAL-RECORDING AND TRANSPORT CLERKS

- 4131 Stock clerks
- 4132 Production clerks
- 4133 Transport clerks

414 LIBRARY, MAIL AND RELATED CLERKS

- 4141 Library and filing clerks
- 4142 Mail carriers and sorting clerks
- 4143 Coding, proof-reading and related clerks
- 4144 Scribes and related workers

419 OTHER OFFICE CLERKS

- 4190 Other office clerks

42 CUSTOMER SERVICES CLERKS

421 CASHIERS, TELLERS AND RELATED CLERKS

- 4211 Cashiers and ticket clerks
- 4212 Tellers and other counter clerks
- 4213 Bookmakers and croupiers
- 4214 Pawnbrokers and money-lenders
- 4215 Debt-collectors and related workers
- 422 CLIENT INFORMATION CLERKS
  - 4221 Travel agency and related clerks
  - 4222 Receptionists and information clerks
  - 4223 Telephone switchboard operators

MAJOR GROUP 5: SERVICE WORKERS AND SHOP AND MARKET SALES WORKERS

- 51 PERSONAL AND PROTECTIVE SERVICES WORKERS
  - 511 TRAVEL ATTENDANTS AND RELATED WORKERS
    - 5111 Travel attendants and travel stewards
    - 5112 Transport conductors
    - 5113 Travel guides
  - 512 HOUSEKEEPING AND RESTAURANT SERVICES WORKERS
    - 5121 Housekeepers and related workers
    - 5122 Cooks
    - 5123 Waiters, waitresses and bartenders
  - 513 PERSONAL CARE AND RELATED WORKERS
    - 5131 Child-care workers
    - 5132 Institution-based personal care workers
    - 5133 Home-based personal care workers
    - 5139 Personal care and related workers not elsewhere classified
  - 514 OTHER PERSONAL SERVICES WORKERS
    - 5141 Hairdressers, barbers, beauticians and related workers
    - 5142 Companions and valets
    - 5143 Undertakers and embalmers
    - 5149 Other personal services workers not elsewhere classified
  - 515 ASTROLOGERS, FORTUNE-TELLERS AND RELATED WORKERS
    - 5151 Astrologers and related workers
    - 5152 Fortune-tellers, palmists and related workers
  - 516 PROTECTIVE SERVICES WORKERS
    - 5161 Fire-fighters
    - 5162 Police officers
    - 5163 Prison guards
    - 5169 Protective services workers not elsewhere classified
- 52 MODELS, SALESPERSONS AND DEMONSTRATORS
  - 521 FASHION AND OTHER MODELS
    - 5210 Fashion and other models
  - 522 SHOP SALESPERSONS AND DEMONSTRATORS
    - 5220 Shop salespersons and demonstrators

523 STALL AND MARKET SALESPERSONS

5230 Stall and market salespersons

MAJOR GROUP 6: SKILLED AGRICULTURAL AND FISHERY WORKERS

61 MARKET-ORIENTED SKILLED AGRICULTURAL AND FISHERY WORKERS

611 MARKET GARDENERS AND CROP GROWERS

6111 Field crop and vegetable growers

6112 Tree and shrub crop growers

6113 Gardeners, horticultural and nursery growers

6114 Mixed-crop growers

612 MARKET-ORIENTED ANIMAL PRODUCERS AND RELATED WORKERS

6121 Dairy and livestock producers

6122 Poultry producers

6123 Apiarists and sericulturists

6124 Mixed-animal producers

6129 Market-oriented animal producers and related workers not elsewhere classified

613 MARKET-ORIENTED CROP AND ANIMAL PRODUCERS

6130 Market-oriented crop and animal producers

614 FORESTRY AND RELATED WORKERS

6141 Forestry workers and loggers

6142 Charcoal burners and related workers

615 FISHERY WORKERS, HUNTERS AND TRAPPERS

6151 Aquatic-life cultivation workers

6152 Inland and coastal waters fishery workers

6153 Deep-sea fishery workers

6154 Hunters and trappers

62 SUBSISTENCE AGRICULTURAL AND FISHERY WORKERS

621 SUBSISTENCE AGRICULTURAL AND FISHERY WORKERS

6210 Subsistence agricultural and fishery workers

MAJOR GROUP 7: CRAFT AND RELATED TRADES WORKERS

71 EXTRACTION AND BUILDING TRADES WORKERS

711 MINERS, SHOTFIRERS, STONE CUTTERS AND CARVERS

7111 Miners and quarry workers

7112 Shotfirers and blasters

7113 Stone splitters, cutters and carvers

712 BUILDING FRAME AND RELATED TRADES WORKERS

7121 Builders, traditional materials

7122 Bricklayers and stonemasons

7123 Concrete placers, concrete finishers and related workers

7124 Carpenters and joiners

7129 Building frame and related trades workers not elsewhere classified

713 BUILDING FINISHERS AND RELATED TRADES WORKERS

- 7131 Roofers
- 7132 Floor layers and tile setters
- 7133 Plasterers
- 7134 Insulation workers
- 7135 Glaziers
- 7136 Plumbers and pipe fitters
- 7137 Building and related electricians
- 714 PAINTERS, BUILDING STRUCTURE CLEANERS AND RELATED TRADES WORKERS
  - 7141 Painters and related workers
  - 7142 Varnishers and related painters
  - 7143 Building structure cleaners
- 72 METAL, MACHINERY AND RELATED TRADES WORKERS
  - 721 METAL MOULDERS, WELDERS, SHEET-METAL WORKERS, STRUCTURAL- METAL PREPARERS, AND RELATED TRADES WORKERS
    - 7211 Metal moulders and coremakers
    - 7212 Welders and flamecutters
    - 7213 Sheet metal workers
    - 7214 Structural-metal preparers and erectors
    - 7215 Riggers and cable splicers
    - 7216 Underwater workers
  - 722 BLACKSMITHS, TOOL-MAKERS AND RELATED TRADES WORKERS
    - 7221 Blacksmiths, hammer-smiths and forging-press workers
    - 7222 Tool-makers and related workers
    - 7223 Machine-tool setters and setter-operators
    - 7224 Metal wheel-grinders, polishers and tool sharpeners
  - 723 MACHINERY MECHANICS AND FITTERS
    - 7231 Motor vehicle mechanics and fitters
    - 7232 Aircraft engine mechanics and fitters
    - 7233 Agricultural- or industrial-machinery mechanics and fitters
  - 724 ELECTRICAL AND ELECTRONIC EQUIPMENT MECHANICS AND FITTERS
    - 7241 Electrical mechanics and fitters
    - 7242 Electronics fitters
    - 7243 Electronics mechanics and servicers
    - 7244 Telegraph and telephone installers and servicers
    - 7245 Electrical line installers, repairers and cable jointers
- 73 PRECISION, HANDICRAFT, PRINTING AND RELATED TRADES WORKERS
  - 731 PRECISION WORKERS IN METAL AND RELATED MATERIALS
    - 7311 Precision-instrument makers and repairers
    - 7312 Musical instrument makers and tuners
    - 7313 Jewellery and precious-metal workers
  - 732 POTTERS, GLASS-MAKERS AND RELATED TRADES WORKERS
    - 7321 Abrasive wheel formers, potters and related workers
    - 7322 Glass makers, cutters, grinders and finishers

- 7323 Glass engravers and etchers
- 7324 Glass, ceramics and related decorative painters
- 733 HANDICRAFT WORKERS IN WOOD,TEXTILE, LEATHER AND RELATED MATERIALS
  - 7331 Handicraft workers in wood and related materials
  - 7332 Handicraft workers in textile, leather and related materials
- 734 PRINTING AND RELATED TRADES WORKERS
  - 7341 Compositors, typesetters and related workers
  - 7342 Stereotypers and electrotypers
  - 7343 Printing engravers and etchers
  - 7344 Photographic and related workers
  - 7345 Bookbinders and related workers
  - 7346 Silk-screen, block and textile printers
- 74 OTHER CRAFT AND RELATED TRADES WORKERS
  - 741 FOOD PROCESSING AND RELATED TRADES WORKERS
    - 7411 Butchers, fishmongers and related food preparers
    - 7412 Bakers, pastry-cooks and confectionery makers
    - 7413 Dairy-products makers
    - 7414 Fruit, vegetable and related preservers
    - 7415 Food and beverage tasters and graders
    - 7416 Tobacco preparers and tobacco products makers
  - 742 WOOD TREATERS, CABINET-MAKERS AND RELATED TRADES WORKERS
    - 7421 Wood treaters
    - 7422 Cabinet makers and related workers
    - 7423 Woodworking machine setters and setter-operators
    - 7424 Basketry weavers, brush makers and related workers
  - 743 TEXTILE, GARMENT AND RELATED TRADES WORKERS
    - 7431 Fibre preparers
    - 7432 Weavers, knitters and related workers
    - 7433 Tailors, dressmakers and hatters
    - 7434 Furriers and related workers
    - 7435 Textile, leather and related pattern-makers and cutters
    - 7436 Sewers, embroiderers and related workers
    - 7437 Upholsterers and related workers
  - 744 PELT, LEATHER AND SHOEMAKING TRADES WORKERS
    - 7441 Pelt dressers, tanners and fellmongers
    - 7442 Shoe-makers and related workers

MAJOR GROUP 8: PLANT AND MACHINE OPERATORS AND ASSEMBLERS

- 81 STATIONARY-PLANT AND RELATED OPERATORS
  - 811 MINING- AND MINERAL-PROCESSING-PLANT OPERATORS
    - 8111 Mining-plant operators
    - 8112 Mineral-ore- and stone-processing-plant operators
    - 8113 Well drillers and borers and related workers

- 812 METAL-PROCESSING-PLANT OPERATORS
  - 8121 Ore and metal furnace operators
  - 8122 Metal melters, casters and rolling-mill operators
  - 8123 Metal-heat-treating-plant operators
  - 8124 Metal drawers and extruders
- 813 GLASS, CERAMICS AND RELATED PLANT OPERATORS
  - 8131 Glass and ceramics kiln and related machine operators
  - 8139 Glass, ceramics and related plant operators not elsewhere classified
- 814 WOOD-PROCESSING- AND PAPERMAKING-PLANT OPERATORS
  - 8141 Wood-processing-plant operators
  - 8142 Paper-pulp plant operators
  - 8143 Papermaking-plant operators
- 815 CHEMICAL-PROCESSING-PLANT OPERATORS
  - 8151 Crushing-, grinding- and chemical-mixing-machinery operators
  - 8152 Chemical-heat-treating-plant operators
  - 8153 Chemical-filtering- and separating-equipment operators
  - 8154 Chemical-still and reactor operators (except petroleum and natural gas)
  - 8155 Petroleum- and natural-gas-refining-plant operators
  - 8159 Chemical-processing-plant operators not elsewhere classified
- 816 POWER-PRODUCTION AND RELATED PLANT OPERATORS
  - 8161 Power-production plant operators
  - 8162 Steam-engine and boiler operators
  - 8163 Incinerator, water-treatment and related plant operators
- 817 AUTOMATED-ASSEMBLY-LINE AND INDUSTRIAL-ROBOT OPERATORS
  - 8171 Automated-assembly-line operators
  - 8172 Industrial-robot operators
- 82 MACHINE OPERATORS AND ASSEMBLERS
  - 821 METAL- AND MINERAL-PRODUCTS MACHINE OPERATORS
    - 8211 Machine-tool operators
    - 8212 Cement and other mineral products machine operators
  - 822 CHEMICAL-PRODUCTS MACHINE OPERATORS
    - 8221 Pharmaceutical- and toiletry-products machine operators
    - 8222 Ammunition- and explosive-products machine operators
    - 8223 Metal finishing-, plating- and coating-machine operators
    - 8224 Photographic-products machine operators
    - 8229 Chemical-products machine operators not elsewhere classified
  - 823 RUBBER- AND PLASTIC-PRODUCTS MACHINE OPERATORS
    - 8231 Rubber-products machine operators
    - 8232 Plastic-products machine operators
  - 824 WOOD-PRODUCTS MACHINE OPERATORS
    - 8240 Wood-products machine operators
  - 825 PRINTING-, BINDING- AND PAPER-PRODUCTS MACHINE OPERATORS
    - 8251 Printing-machine operators



- 8252 Bookbinding-machine operators
- 8253 Paper-products machine operators
- 826 TEXTILE-, FUR- AND LEATHER-PRODUCTS MACHINE OPERATORS
  - 8261 Fibre-preparing-, spinning- and winding-machine operators
  - 8262 Weaving- and knitting-machine operators
  - 8263 Sewing-machine operators
  - 8264 Bleaching-, dyeing- and cleaning-machine operators
  - 8265 Fur and leather-preparing-machine operators
  - 8266 Shoemaking- and related machine operators
  - 8269 Textile-, fur- and leather-products machine operators not elsewhere classified
- 827 FOOD AND RELATED PRODUCTS MACHINE OPERATORS
  - 8271 Meat- and fish-processing-machine operators
  - 8272 Dairy-products machine operators
  - 8273 Grain- and spice-milling-machine operators
  - 8274 Baked-goods, cereal and chocolate-products machine operators
  - 8275 Fruit-, vegetable- and nut-processing-machine operators
  - 8276 Sugar production machine operators
  - 8277 Tea-, coffee-, and cocoa-processing-machine operators
  - 8278 Brewers, wine and other beverage machine operators
  - 8279 Tobacco production machine operators
- 828 ASSEMBLERS
  - 8281 Mechanical-machinery assemblers
  - 8282 Electrical-equipment assemblers
  - 8283 Electronic-equipment assemblers
  - 8284 Metal-, rubber- and plastic-products assemblers
  - 8285 Wood and related products assemblers
  - 8286 Paperboard, textile and related products assemblers
- 829 OTHER MACHINE OPERATORS AND ASSEMBLERS
  - 8290 Other machine operators and assemblers
- 83 DRIVERS AND MOBILE-PLANT OPERATORS
  - 831 LOCOMOTIVE-ENGINE DRIVERS AND RELATED WORKERS
    - 8311 Locomotive-engine drivers
    - 8312 Railway brakemen, signallers and shunters
  - 832 MOTOR-VEHICLE DRIVERS
    - 8321 Motor-cycle drivers
    - 8322 Car, taxi and van drivers
    - 8323 Bus and tram drivers
    - 8324 Heavy-truck and lorry drivers
  - 833 AGRICULTURAL AND OTHER MOBILE-PLANT OPERATORS
    - 8331 Motorised farm and forestry plant operators
    - 8332 Earth-moving- and related plant operators
    - 8333 Crane, hoist and related plant operators
    - 8334 Lifting-truck operators

834 SHIPS' DECK CREWS AND RELATED WORKERS

8340 Ships' deck crews and related workers

MAJOR GROUP 9: ELEMENTARY OCCUPATIONS

91 SALES AND SERVICES ELEMENTARY OCCUPATIONS

911 STREET VENDORS AND RELATED WORKERS

9111 Street food vendors

9112 Street vendors, non-food products

9113 Door-to-door and telephone salespersons

912 SHOE CLEANING AND OTHER STREET SERVICES ELEMENTARY OCCUPATIONS

9120 Shoe cleaning and other street services elementary occupations

913 DOMESTIC AND RELATED HELPERS, CLEANERS AND LAUNDERERS

9131 Domestic helpers and cleaners

9132 Helpers and cleaners in offices, hotels and other establishments

9133 Hand-laundrers and pressers

914 BUILDING CARETAKERS, WINDOW AND RELATED CLEANERS

9141 Building caretakers

9142 Vehicle, window and related cleaners

915 MESSENGERS, PORTERS, DOORKEEPERS AND RELATED WORKERS

9151 Messengers, package and luggage porters and deliverers

9152 Doorkeepers, watchpersons and related workers

9153 Vending-machine money collectors, meter readers and related workers

916 GARBAGE COLLECTORS AND RELATED LABOURERS

9161 Garbage collectors

9162 Sweepers and related labourers

92 AGRICULTURAL, FISHERY AND RELATED LABOURERS

921 AGRICULTURAL, FISHERY AND RELATED LABOURERS

9211 Farm-hands and labourers

9212 Forestry labourers

9213 Fishery, hunting and trapping labourers

93 LABOURERS IN MINING, CONSTRUCTION, MANUFACTURING AND TRANSPORT

931 MINING AND CONSTRUCTION LABOURERS

9311 Mining and quarrying labourers

9312 Construction and maintenance labourers: roads, dams and similar constructions

9313 Building construction labourers

932 MANUFACTURING LABOURERS

9321 Assembling labourers

9322 Hand packers and other manufacturing labourers

933 TRANSPORT LABOURERS AND FREIGHT HANDLERS

9331 Hand or pedal vehicle drivers

9332 Drivers of animal-drawn vehicles and machinery

9333 Freight handlers

MAJOR GROUP 0: ARMED FORCES

01 ARMED FORCES

011 ARMED FORCES

0110 Armed forces

## . 6 GSS・世論調査と JGSS 累積データ 2000-2010 調査項目の対応表

- 注：1) GSS ならびに各種世論調査における調査項目と設問文や選択肢が完全に一致する場合だけでなく、類似しているケースも含まれている。  
 2) GSS は 1972 年から 2010 年までの調査、世論調査は日本において比較的最近行なわれたものについて検討している。  
 3) : 主として基本的な属性で、世論調査以外の官庁統計(個人調査だけでなく制度調査を含む)などに対応する設問があるものを意味する。(例えば、就業構造基本統計調査、労働組合基礎調査、賃金労働制度等調査など)

No.	累積変数ラベル	JGSS 変数名	GSS 変数	世論調査
1	累積識別番号	CUMIDUSE		
2	調査年度	RYEAR		
3	調査年度別識別番号	IDUSE		
4	アタック状況番号	DRAN		
5	留置票の種類	FORM	VERSION	
6	留置回収完了日	DATEB		
7	留置回収完了日：月	MONTHB		
8	留置回収完了日：日	DAYB		
9	調査手順(留置/面接の順序)	PROC		
10	面接完了日*	DATE	DATEINTV	
11	面接完了日：月*	MONTH	DATEINTV	
12	面接完了日：日*	DAY	DATEINTV	
13	調査所要時間(分)	DURATION	LNGTHINV	2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007 池田謙一(東京大学)「アジアンパロメーター2+ CSES3 パネル調査」
14	留置票の記入日：月日*	XXTODAY		
15	調査員への質問：回答者の協力度	COOP	COOP COOP2	
16	調査員への質問：回答者の理解度	USTAND	COMPRED	
17	調査員への質問：回答者の居住地域	AREA	COMTYPE	1997.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」
18	性別	SEXA	SEX	※
19	年齢*	AGEB	AGE	※
20	生年	DOBYEAR	COHORT	※
21	地域ブロック	BLOCK	REGION	※
22	都道府県名	PREF		※
23	市郡規模*	SIZE	SIZE SRCBELT XNORCSIZ	※
24	市郡規模(2000年時点)*	SIZE2K		
25	居住地域の規模	SIZEHMT	COMTYPE	1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
26	住居形態	TP8DWEL	DWELLING DWELOWN	1999 東京都文京区「文京区政に関する世論調査」 1999 東京都中野区「中野区政世論調査」 1999 東京都練馬区「練馬区民意意識意向調査」 1999 NHK 放送文化研究所「不況と国民の生活実感調査」 1999 貯蓄広報中央委員会「貯蓄と消費に関する世論調査」 2001 内閣府「循環型社会の形成に関する調査」 2001, 2002, 2003, 2004 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2003 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」 2004 内閣府「社会資本の整備に関する世論」 2004 内閣府「住宅に関する世論調査」

27	居住形態：持ち家	OWNHOUSE	DWELOWN	2001 内閣府「循環型社会の形成に関する調査」 2003 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2004 内閣府「社会資本の整備に関する世論調査」 2004 内閣府「住宅に関する世論調査」
28	居住形態：一戸建て	TPHOUSE	DWELLING	2001, 2002, 2003, 2004, 2006, 2008, 2010 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2008.10 統計数理研究所「日本人の国民性」第12次全国調査 2009.1 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」
29	住宅床面積	SZDWEL		※
30	先週の就労経験*	XJOB1WK	CURWKPAY WORKNOW WRKSTAT	※
31	就労日数 / 週	XJOB1WK		※
32	就労時間数 / 週	XJOBHWK	HRS1-2 (WORKWEEK)	※
33	残業時間数 / 週*	XOTHWK		※
34	就労曜日：月*	DOWKMON	WORKDY	
35	就労曜日：火*	DOWKTUE	WORKDY	
36	就労曜日：水*	DOWKWED	WORKDY	
37	就労曜日：木*	DOWKTHU	WORKDY	
38	就労曜日：金*	DOWKFRI	WORKDY	
39	就労曜日：土*	DOWKSAT	WORKDY	
40	就労曜日：日*	DOWKSUN	WORKDY	
41	就労曜日：週によってまちまち*	DOWKVAR	WORKDY	
42	連休の回数 / 年	FQWKOFF	ABSENT	2003 内閣府「自由時間と観光に関する世論調査」
43	契約就労時間の有無	XJOBREG	(DAILYWRK) (WKTENURE)	
44	契約就労時間数 / 週	XJOBREGH		
45	通常労働時間数 / 週	XJBSCH		2004.1 労働政策研究・研修機構「労働者の働く意欲と雇用管理のあり方に関する調査」 2006.10 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート」 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」 2008.10 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート」
46	雇用契約期限の有無	DOCNTRCT	WKTENURE	※
47	雇用期限	SZCNTRCT		※
48	雇用期限：年	SZCNTYR		※
49	雇用期限：月	SZCNTMO		※
50	就労地位*	TP12JOB	EMPLOYER WRKSLF WKFAMBIZ WRKTYPE	※
51	就労形態	TPJOB	EMPLOYER OWNBIZ WKFAMBIZ WRKSLF WRKTYPE	※
52	役職	TPJOBP		※
53	登録派遣	TPJBDP	WRKTYPE	2001.2 リクルートワークス研究所「非典型雇用労働者調査」 2001.10 高齢・障害者雇用支援機構「派遣高齢者の就業実態に関するアンケート調査」
54	従業員を持つ自営業者	TPJBSE	EMPLOYER NUMEMPS NUMEMPLY PAIDEMPS	2002.8 国民生活金融公庫総合研究所「自己雇用者(≡自営業者)に関する実態調査」 2003.11 リクルートワークス研究所「個人事業主(サービス業)の独立開業に関する実態調査, 2004」

55	業種*	XXWPL	INDUS80	
56	業種 (ISIC) *	XXWPLE	INDUSTRY WORKFOR	※
57	職種	XXJOB	ISCO68 ISCO681 ISCO88 OCC	
58	職種 (ISCO) *	XXJOBE	OCC80 PRESTG80 PRESTIGE	※
59	従業員規模 (就労事業所)	SZSTAF	LOCALNUM	※
60	女子従業員比	SZWNSTF	GENDERWK	※
61	事業所形態*	TP4WPLA	NUMSITES PARTORG TYPEORG WRKGOVT	※
62	業種 (本社)	XXWPHQ		※
63	企業規模_統合*	SZTTLSTA		
64	企業規模_2000*	SZTTLSTA_00		
65	企業規模_2001*	SZTTLSTA_01		
66	企業規模_2002*	SZTTLSTA_02		
67	企業規模_2003*	SZTTLSTA_03		
68	企業規模_2005*	SZTTLSTA_05		
69	企業規模_2006*	SZTTLSTA_06		
70	企業規模_2008*	SZTTLSTA_08		
71	企業規模_2010*	SZTTLSTA_10	NUMEMPS NUMORG ORGSIZE TOTALNUM	※
72	就労年数*	XJOBYR	CUREMPYR EMPYEARS JOBYEAS OTHYRS YEARSJOB	※
73	労働組合加入の有無*	JOINUNI	MEMUNION UNION	※
74	労働組合の有無*	DOUNION		※
75	過去1年の研修経験	XTRG1YR	OCCTRAIN OTJTRAIN	※
76	研修費用の負担	WHPAYTRG		
77	研修期間	SZTRGA	FORMLDYS TRAINSCH	※
78	上司の有無	DOBOSS	JOBJUDGE WKSUB	
79	上司の上司の有無	BSDOBOSS	WKSUBS	
80	部下の有無	DOSTAFF	OFFSUP SUPERVIS WKSUP	
81	部下の部下の有無	STFDOSTF	SUPOTHR WKSUPS	
82	失業の可能性*	OP4UNEMP	JOBLOSE LOSEJB12 WORRYJOB	1999 NHK 放送文化研究所「不況と国民の生活 実感調査」 2004.8 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関 する調査」 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライ フスタイルの変化に関する全国調査」
83	再就労の容易さ*	OP3NEWJB	FINDNWJB JOBEASY JOBFIND JOBFIND1	1999, 2003, 2004 日本銀行「生活意識に関する アンケート調査」 2004.10 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕 事と暮らしについてのアンケート調査」
84	現在の仕事の満足度*	ST5JOB	JOBSAT SATJOB SATJOB1 SATJOB7 (WKTOPSAT)	※
85	家事の仕事の満足度*	ST5HSWK	SATJOB	

86	現在の会社・組織での就労継続意向*	WLKEEPJA	CHNGEORG LEAVEJOB TRYNEWJB	※
87	不自由なく暮らせる場合の就労継続意向	WLSTOPWK	RICHWORK	※
88	本人年収：主な仕事*	SZINCOMX	REALRINC RINCOM77 RINCOM82	※
89	本人年収：2,300万円以上の場合(具体的記述)	SZHIINCX	RINCOM86 RINCOM91 RINCOM98	
90	本人年収：全体	SZINCOMA	RINCOM06 RINCOME	
91	給与形態	TP5PAY	HOWPAID WAYPAID	※
92	時間給	SZPAYHRX	HOURLY	※
93	日給	SZPAYDYX	DAILY	※
94	週給	SZPAYWKX	WEEKLY	※
95	月給	SZPAYMOX	MONTHLY	※
96	年俸	SZPAYYRX	YEARLY	※
97	副業の有無*	XSJB1WK	MOONLITE OTHERWRK SECONDWK	※
98	副業就労時間数/週*	SZSJBHVK	OTHHR (MOREDAYS) (OTHERWRK) (SECONDWK)	※
99	求職の有無(全員)	DOLOOKJB	LOOKJOB	※
100	不就労の理由*	TP5UNEMP	WRKSTAT	※
101	不就労者に：今後の就労意向*	WLWANTJB	WANTJOB2	※
102	転職数*	XNUMCOWK	NUMEMP	
103	卒業後の未就労期間の有無	XNOWORK	WOJOB	
104	卒業後の未就労年数	SZNOWORK	WOJOBYS	
105	不就労者に：求職の有無	DOFINDJB	LOOKJOB	※
106	求職期間	SZFINDJB	TOTUNEMP	
107	現在の収入源：自分の収入(全員)*	INCSELF	ECONSUP (EARNSHH)	2001 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
108	現在の収入源：配偶者の収入(全員)*	INCSP		
109	現在の収入源：親の収入(全員)*	INCPAR	ECONSUP	2001 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
110	現在の収入源：他の家族の収入(全員)*	INCFAM		
111	現在の収入源：年金(全員)*	INCPEN		
112	現在の収入源：失業保険(全員)*	INCUEB	ECONSUP	2003 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「若年者のキャリア形成に関する実態調査」
113	現在の収入源：貯蓄(全員)*	INCSAVE	ECONSUP	2001 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
114	現在の収入源：社会福祉(全員)*	INCSOC		
115	現在の収入源：不定期的な仕事(全員)*	INCIRR	ECONSUP	
116	現在の収入源：その他(全員)*	INCOTHER	ECONSUP	2003 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「若年者のキャリア形成に関する実態調査」
117	現在の収入源：わからない(全員)*	INCNOKN	ECONSUP	
118	現在の収入源：賃貸料所得(全員)*	INCREMENT	ECONSUP	2001 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
119	現在の収入源：中心となるもの(全員)*	INCMAIN	ECONSUP	※
120	現在の収入源：年金(仕事をしていない人)*	INPEN	ECONSUP	※
121	現在の収入源：失業保険(仕事をしていない人)*	INUEB		
122	現在の収入源：貯蓄(仕事をしていない人)*	INSAVING		
123	現在の収入源：配偶者の収入(仕事をしていない人)*	INSCOUSE		
124	現在の収入源：親の収入(仕事をしていない人)*	INPARENT		
125	現在の収入源：配偶者・親以外の家族の収入(仕事をしていない人)*	INFAMILY		

126	現在の収入源：社会福祉(仕事をしていない人)*	INSOCSEC		
127	現在の収入源：不定期的な仕事(仕事をしていない人)*	INIRREG	ECONSUP	※
128	現在の収入源：その他(仕事をしていない人)*	INOTHER		
129	現在の収入源：わからない(仕事をしていない人)*	INNOKNOW		
130	就労経験*	XWORK		
131	1年間以上の就労経験*	XWORK1Y	EVJOB EVWORK	※
132	離職時期(西暦)*	WHNSTPWK	YRJOBEND LASTWKYR	※
133	離職年齢	AGESTPWK	LASTWKYR YRJOBEND	※
134	離職理由*	XXSTPJB	LEAVEJB WHYJBEND WHYLEAVE WHYJBCT1 WHYJBCT2 WHYNOJB1 WHYNOJB2	※
135	前職の就労地位*	TP12LSTJ	(LASTSLF)	※
136	前職の業種*	XXLSTWPL		※
137	前職の職種*	XXLSTJB	(LASTJOB)	※
138	前職の企業規模*	SZSTFLSA		※
139	前職の年収*	SZINLST		
140	前職の年収：2,300万円以上の場合(具体的記述)	SZHILST		
141	初職の就労地位*	TP12FSTJ	FIRSTSLF WRKSLFST	
142	初職の就労形態	TPFSTJB	FIRSTSLF WRKSLFST	1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
143	初職の役職	TPFSTJBP		
144	初職の業種	XXFSTWP	INDFIRST	
145	初職の職種	XXFSTJB	FIRSTJOB OCCFIRST PRESFRST	1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
146	初職の職種(ISCO)*	XXFSTJBE	FIRSTJOB OCCFIRST PRESFRST	2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J)
147	初職の企業規模*	SZSTFFST		1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
148	初職の就労時期	XGETJOB	NEVERWK	2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
149	初職の求職方法	HOWJOB	(LEARNJOB)	
150	先週の就労経験(配偶者)*	SSJB1WK	SPWRKSTA	※
151	不就労の理由(配偶者)*	SSTPUNEM	SPWRKSTA	
152	就労日数/週(配偶者)*	SSJBDWK		※
153	就労時間数/週(配偶者)*	SSJBHRWK	SPHRS1 SPHRS2	※
154	副業就労時間数/週(配偶者)*	SSSJBHWK		1996.4 マルチプルジョブホルダー研究委員会「サラリーマンの社外活動の実態と支援策に関する調査」



155	通常労働時間数 / 週 (配偶者)	SSXJBSCH		2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
156	就労地位 (配偶者)*	SSTP12JB	SPWRKSLF	※
157	就労形態 (配偶者)*	SSTPJOB	SPWRKSLF	※
158	役職 (配偶者)*	SSTPJOBP		1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
159	登録派遣 (配偶者)	SSTPJBDP		
160	従業員を持つ自営業者 (配偶者)	SSTPJBSE		
161	業種 (配偶者)*	SSXXHQX	SPIND	※
162	業種 (配偶者) (ISIC)*	SSXXHQXE	SPIND80	
163	職種 (配偶者)*	SSXXJOB	SPISC681 SPISCO68 SPISCO88 SPOCC SPOCC80 SPPRES SPPRES80	※
164	職種 (配偶者) (ISCO)*	SSXXJOBE		
165	企業規模 (配偶者)*	SSSZSTFA	SPLOCNUM	※
166	就労年数 (配偶者)*	SSSZWKYR		
167	配偶者年収: 主な仕事*	SSSZINCM		※
168	年収: 2,300 万円以上の場合( 具体的記述 ) (配偶者)	SSHIINCX		※
169	配偶者年収: 全体*	SSSZINCA		1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
170	仕事に関する意識: 雇用の安定	IM5SECUR	JOBKEEP SECJOB	1993 NHK 放送文化研究所第 5 回「日本人の意識調査」 1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 1997, 1999 総理府「国民生活に関する世論調査」 1999 山形県広報室「山形県政世論調査」 2000 野村総合研究所「生活者一万人アンケート調査」 2001, 2002, 2003, 2004 内閣府「国民生活に関する世論調査」
171	仕事に関する意識: 収入	IM5HIPAY	HIINC JOBPAY	1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 1999 山形県広報室「山形県政世論調査」 1999 総理府「国民生活に関する世論調査」 2000 野村総合研究所「生活者一万人アンケート調査」 2001, 2002, 2003, 2004 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2002 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
172	仕事に関する意識: 昇進機会	IM5PROMO	IMPPROMO JOBRISE PROMOTN	1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」
173	仕事に関する意識: 興味ある仕事	IM5INTRG	INTJOB JOBINTER	1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 1999 山形県広報室「山形県政世論調査」 2000 野村総合研究所「生活者一万人アンケート調査」 2001 東京都生活文化局「労働に関する世論調査」 2001, 2002, 2003, 2004 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2002 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
174	仕事に関する意識: 仕事の独立性	IM5INDEP	JOBINDEP WRKINDP	1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」
175	仕事に関する意識: 人のためになる仕事	IM5OTHER	HLPOTHS JOBHELP	2002 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」

176	仕事に関する意識：社会的有益性	IM5SOCTY	HLPSOC JOBSOC	1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 1999 山形県広報室「山形県政世論調査」 1999 総理府「国民生活に関する世論調査」 2000 野村総合研究所「生活者一万人アンケート調査」 2001, 2002, 2003, 2004 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2002 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
177	仕事に関する意識：時間的自由	IM5FREE	FLEXHRS	1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 2000 野村総合研究所「生活者一万人アンケート調査」
178	仕事に関する意識：家庭との両立	IM5FAMIL		2000 野村総合研究所「生活者一万人アンケート調査」
179	仕事に関する意識：教育・訓練の機会	IM5TRG		2002 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
180	働き方の意向：労働条件に不満	WLWKCOND		2004.10 連合総合生活開発研究所「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート調査」
181	働き方の意向：経営に不安	WLWKMNNG		
182	転職・勤続への意見	OPCNGJB		2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2004.8 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」
183	職場の連帯感：私の職場	OPWSLPW	(BOSSEMPS) (COWRKERS) (COWRKREL)	2007.1 内閣府「国民生活選好調査」
184	職場の連帯感：私自身	OPWSLRES	(MANVSEMP) (UNMANREL)	
185	通勤の有無	DOCMT	COMMUTE PLACEWRK	1994 連合総合生活開発研究所「大都市圏通勤者の通勤事情調査（企業、個人）」 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
186	通勤時間：時間	SZCMTHR	COMMUTE	1993 生命保険文化センター「就労意識に関する調査」 2004 内閣府「住宅に関する世論調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」（NFRJ03） 2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」 2009.2 内閣府男女共同参画局「男女の能力発揮とライフプランに対する意識に関する調査, 2009」
187	通勤時間：分	SZCMTMIN		
188	通勤時間：合計	SZCMTTL		
189	通勤手段：徒歩のみ*	CMTWALK		1992 連合総合生活開発研究所「労働時間制度調査」 1994 連合総合生活開発研究所「大都市圏通勤者の通勤事情調査」
190	通勤手段：自転車*	CMTBCYL		
191	通勤手段：バイク*	CMTMCYL		
192	通勤手段：バス*	CMTBUS		
193	通勤手段：電車*	CMTTRAIN		
194	通勤手段：自動車*	CMTCAR		
195	通勤手段：船*	CMTBOAT		
196	通勤手段：その他*	CMTETC		
197	世帯年収*	SZHSINCM	INCOME INCOME72 INCOME77 INCOME82 INCOME86	※
198	世帯年収：2,300万円以上の場合（具体的記述）	SZSHINC	INCOME91 INCOME98 INCOME06 REALINC	
199	世帯支出：住宅費	SZEXHOUS		
200	世帯支出：住宅費が600万円以上の場合（具体的記述）	SZEXHIHS		

201	世帯支出：教育費(子どもを持ったことがある人)*	SZEXED		2005.11 2005 年 SSM 調査研究会「2005 年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2006.4 生命保険文化センター「生命保険に関する全国実態調査」
202	世帯支出：教育費(全員)*	SZEXED02		
203	世帯支出：教育費が 500 万以上の場合( 具体的記述 )	SZEXHIED		
204	世帯規模(本人含む) 統合*	HHSIZE	HOMPOP	※
205	同居家族人数	SZFFHERE	HOMPOP	※
206	別居家族人数	SZFFAWAY		
207	同居の有無(本人)*	FFRESIDE		
208	別居の理由(本人)	FFSEPWHY		
209	家族人数(本人除く)*	SZFFONLY	HOMPOP	※
210	家族人数(本人含む)*	SZFFTTL		
211	一時的な別居家族の人数*	SZFFOUT		
212	家族 01：本人*	FF01MARK		※
213-221	家族[02-10]：有無*	FF[02-10]MARK	RELATE1- RELATE14	※
222-319	家族[01-10]：続柄*	FF[01-10]REL	RELHHD1- RELHHD14 RELHH1- RELHH14	
	家族[01-10]：性別*	FF[01-10]SEX	GENDER1- GENDER14	
	家族[01-10]：年齢*	FF[01-10]AGE	OLD1-OLD14	
	家族[01-10]：同居の有無	FF[01-10]HERE	AWAY1- AWAY14	
	家族[01-10]：別居の理由	FF[01-10]WHY	WHERE1- WHERE14	
	家族[01-10]：自宅在住か*	FF[01-10]HOME	AWAY1- AWAY14	
	家族[01-10]：一時的に自宅を出ている理由*	FF[01-10]OUT	WHERE1- WHERE14	
	家族[01-10]：世帯主	FF[01-10]HEAD	RPLACE	
	家族[01-09]：結婚状況*	FF[01-09]MG	MAR1-MAR14	
	家族[01-09]：就労の有無*	FF[01-09]JOB		
320	世帯主*	FFHEAD	RPLACE	※
321	世帯員変数：本人	FFSELF		
322	世帯員変数：夫	FFHH		
323	世帯員変数：妻	FFWW		
324	世帯員変数：子	FFCCX		
325	世帯員変数：子(男)	FFCCMX		
326	世帯員変数：長男	FFCCM1		
327	世帯員変数：次男	FFCCM2		
328	世帯員変数：三男	FFCCM3		
329	世帯員変数：長男の妻	FFCCM1WW		
330	世帯員変数：次男の妻	FFCCM2WW		
331	世帯員変数：三男の妻	FFCCM3WW		
332	世帯員変数：四男	FFCCM4		
333	世帯員変数：四男の妻	FFCCM4WW		
334	世帯員変数：五男	FFCCM5		
335	世帯員変数：子(女)	FFCCFX		
336	世帯員変数：長女	FFCCF1		
337	世帯員変数：次女	FFCCF2		
338	世帯員変数：三女	FFCCF3		
339	世帯員変数：長女の夫	FFCCF1HH		
340	世帯員変数：次女の夫	FFCCF2HH		
341	世帯員変数：三女の夫	FFCCF3HH		
342	世帯員変数：四女	FFCCF4		
343	世帯員変数：四女の夫	FFCCF4HH		
344	世帯員変数：五女	FFCCF5		
345	世帯員変数：孫(男)	FFCCGMX		
346	世帯員変数：孫(女)	FFCCGFX		
347	世帯員変数：孫の配偶者	FFCCGSPX		

348	世帯員変数：ひ孫（男）	FFCCGGMX		
349	世帯員変数：ひ孫（女）	FFCCGGFX		
350	世帯員変数：孫	FFCCGX		
351	世帯員変数：父	FFPP		
352	世帯員変数：母	FFMM		
353	世帯員変数：義父（配偶者の父）	FFPPLAW		
354	世帯員変数：義母（配偶者の母）	FFMMLAW		
355	世帯員変数：兄の妻	FFBREWXX		
356	世帯員変数：弟の妻	FFBRYWXX		
357	世帯員変数：姉の夫	FFSIEHHX		
358	世帯員変数：妹の夫	FFSIYHHX		
359	世帯員変数：兄	FFBREX		
360	世帯員変数：弟	FFBRYX		
361	世帯員変数：姉	FFSISEX		
362	世帯員変数：妹	FFSISYX		
363	世帯員変数：配偶者の兄	FFSPBREX		
364	世帯員変数：配偶者の弟	FFSPBRYX		
365	世帯員変数：配偶者の姉	FFSPSEX		
366	世帯員変数：配偶者の妹	FFSPSYX		
367	世帯員変数：祖父	FFPPGX		
368	世帯員変数：祖母	FFMMGX		
369	世帯員変数：義理の祖父（配偶者の祖父）	FFSPPPGX		
370	世帯員変数：義理の祖母（配偶者の祖母）	FFSPMMGX		
371	世帯員変数：兄の子	FFBRECCX		
372	世帯員変数：弟の子	FFBRYCCX		
373	世帯員変数：姉の子	FFSIECCX		
374	世帯員変数：妹の子	FFSIYCCX		
375	世帯員変数：甥	FFSBCCMX		
376	世帯員変数：姪	FFSBCCFX		
377	世帯員変数：父母の兄弟姉妹	FFUNATX		
378	世帯員変数：父母の兄弟姉妹の配偶者	FFUNASPX		
379	世帯員変数：おじ	FFUNX		
380	世帯員変数：おば	FFATX		
381	世帯員変数：おじ・おばの子	FFUNACCX		
382	世帯員変数：曾祖父	FFPPGGX		
383	世帯員変数：曾祖母	FFMMGGX		
384	世帯員変数：親（男）	FFPPNS		
385	世帯員変数：親（女）	FFMMNS		
386	世帯員変数：使用人・雇い人	FFSTAFF		
387	世帯員変数：その他	FFETCX		
388	配偶者の年齢*	SPAGEX	SPYRBORN	1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
389	配偶者との同居*	SPLVTG		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
390	父親：同居・生死*	PPLVTG	PADEATH PALIVE PALIVE1	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」

391	父親：年齢*	PPAGE	PAYRBORN	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
392	父親：結婚状況*	PPMG		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
393	父親：同居者*	PPFAM		
394	父親：就労の有無*	PPJOB		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98)
395	父親：家までの距離	PPDIST	PATIME	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
396	父親：接触頻度(直接)	PPCNTA	PAVISIT PAVISIT1	
397	父親：接触頻度(間接)	PPCNTB	PACALL PACALL1	
398	母親：同居・生死*	MMLVTG	MADEATH MALIVE MALIVE1	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
399	母親：年齢*	MMAGE	MAYRBORN	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
400	母親：結婚状況*	MMMGM		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
401	母親：同居者*	MMFAM		
402	母親：就労の有無*	MMJOB		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98)
403	母親：家までの距離	MMDIST	MATIME MATIME1	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
404	母親：接触頻度(直接)	MMCNTA	MAVISIT MAVISIT1	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
405	母親：接触頻度(間接)	MMCNTB	MACALL MACALL1	
406	子どもの人数*	CCNUMTTL	CHILDS	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2007.1 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・若年パネル調査(JLPS-M) wave1, 2007」 2007.1 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・壮年パネル調査(JLPS-M) wave1, 2007」
407-414	子ども[01-08]: 有無	CC[01-08]MARK	EVKID	※
415-532	子ども[01-08]: 生年	CC[01-08]BORN	KDYRBRN1- KDYRBRN9	※
	子ども[01-08]: 生年(元号)	CC[01-08]EOB		
	子ども[01-08]: 生年(年)	CC[01-08]YOB		
	子ども[01-10]: 性別*	CC[01-10]SEX	KDSEX1-9	※
	子ども[01-08]: 生死	CC[01-08]LIVE	KDALIVE1- KDALIVE9	※
	子ども[01-10]: 同居・生死*	CC[01-10]LVTG	KDALIVE1-9	※
	子ども[01-10]: 年齢*	CC[01-10]AGE	KDYRBRN1-9	※
	子ども[01-10]: 結婚状況*	CC[01-10]MG		2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01)
	子ども[01-10]: 就労の有無*	CC[01-10]JOB	KDWORK1-2	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
子ども[01-09]: 就学	CC[01-09]SCH	(KDEDUC1- KDEDUC5)	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)	

415-532	子ども[01-09]: 家までの距離	CC[01-09]DIST	SONTIME DAUTIME	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
	子ども[01-09]: 接触頻度(直接)	CC[01-09]CNTA	SONVISIT DAUVISIT KIDVISIT	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第1回全国家族調査」(NFRJ98)
	子ども[01-09]: 接触頻度(間接)	CC[01-09]CNTB	SONCALL DAUCALL KIDCALL	
533	その他の家族の人数	SZFFOTHR	(HOMPOP)	
534-554	その他の家族[01-07]: 続柄	FFH[01-07]REL	RELATE1-14 RELHH1-14 RELHHD1-14	※
	その他の家族[01-07]: 性別	FFH[01-07]SEX	GENDER1-14	
	その他の家族[01-07]: 年齢*	FFH[01-07]AGE	OLD1-14	
555	兄弟姉妹人数(兄)	XNUMBROE	BRONUM SIBORDER (SIBS)	※
556	兄弟姉妹人数(姉)	XNUMSISE	SIBORDER SISNUM (SIBS)	※
557	兄弟姉妹人数(本人)	XNUMSELF		※
558	兄弟姉妹人数(弟)	XNUMBROY	BRONUM SIBORDER (SIBS)	
559	兄弟姉妹人数(妹)	XNUMSISY	SISNUM SIBORDER (SIBS)	
560	兄弟姉妹人数(計)	XNUMSBLG	SIBS	
561	義父: 同居・生死	PPLLVTG		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
562	義父: 年齢*	PPLAGE		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
563	義父: 結婚状況*	PPLMG		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
564	義父: 同居者*	PPLFAM		
565	義父: 就労の有無*	PPLJOB		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第1回全国家族調査」(NFRJ98)
566	義父: 家までの距離	PPLDIST		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
567	義父: 接触頻度(直接)	PPLCNTA	PARSLAW	
568	義父: 接触頻度(間接)	PPLCNTB		
569	義母: 同居・生死	MMLLVTG		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
570	義母: 年齢*	MMLAGE		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
571	義母: 結婚状況*	MMLMG		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
572	義母: 同居者*	MMLFAM		
573	義母: 就労の有無*	MMLJOB		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第1回全国家族調査」(NFRJ98)
574	義母: 家までの距離	MMLDIST		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
575	義母: 接触頻度(直接)	MMLCNTA		
576	義母: 接触頻度(間接)	MMLCNTB		

577	配偶者の兄弟姉妹人数(兄)*	XSSNBROE	(SPSIBS)	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会 「第1回全国家族調査」(NFRJ98)
578	配偶者の兄弟姉妹人数(姉)*	XSSNSISE		
579	配偶者の兄弟姉妹人数(本人)	XSSNSELF		
580	配偶者の兄弟姉妹人数(弟)*	XSSNBROY		
581	配偶者の兄弟姉妹人数(妹)*	XSSNSISY		
582	配偶者の兄弟姉妹人数(計)	XSSNSBLG	SPSIBS	
583-594	一時的な別居家族[01-06]: 続柄*	FFO[01-06]REL	RELATE1-14 RELHH1-14 RELHHD1-14	※
	一時的な別居家族[01-06]: 別居理由*	FFO[01-06]WHY	WHERE1-14	
595	結婚状況_統合*	DOMARRY	MARITAL MARUNION POSSLQ	※
596	結婚状況_2000*	DOMARRY_00		
597	結婚状況_2001*	DOMARRY_01		
598	結婚状況_2002*	DOMARRY_02		
599	結婚状況_2003*	DOMARRY_03		
600	結婚状況_2005*	DOMARRY_05		
601	結婚状況_2006*	DOMARRY_06		
602	結婚状況_2008*	DOMARRY_08		
603	結婚状況_2010*	DOMARRY_10		
604	配偶者と別れた理由	DODVWDW	DIVORCE WIDOWED EVDIV	
605	結婚経験*	XMARRY	MARITAL MARUNION	※
606	初婚年齢*	AGE1MG	AGEWED	※
607	離婚経験	XDIV	DIVORCE DIVORCE5 EVDIV	※
608	離婚回数	FQXDIV		※
609	1回目の離婚年齢	AGE1DIV		
610	1回目離婚後の再婚の有無	XMGA1DV		
611	1回目離婚後の再婚年齢	AGEMG1DV		
612	2回目の離婚年齢	AGE2DIV		
613	2回目離婚後の再婚の有無	XMGA2DV		
614	2回目離婚後の再婚年齢	AGEMG2DV		
615	配偶者との死別経験	XWIDOW		
616	配偶者との死別回数	FQWDW		
617	配偶者との1回目の死別年齢	AGE1WDW		
618	配偶者との1回目死別後、再婚の有無	XMGA1WD	WIDOWED	
619	配偶者との1回目死別後の再婚年齢	AGEMG1WD		
620	配偶者との2回目の死別年齢	AGE2WDW		
621	配偶者との2回目死別後、再婚の有無	XMGA2WD		
622	配偶者との2回目死別後の再婚年齢	AGEMG2WD		
623	15歳の頃の居住地(本人)_統合*	TP5LOC15	RES16	2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J)
624	15歳の頃の居住地(本人)_2000*	TP5LOC15_00		
625	15歳の頃の居住地(本人)_2001*	TP5LOC15_01		
626	15歳の頃の居住地(本人)_2002*	TP5LOC15_02		
627	15歳の頃の居住地(本人)_2003*	TP5LOC15_03		
628	15歳の頃の居住地(本人)_2005*	TP5LOC15_05		
629	15歳の頃の居住地(本人)_2006*	TP5LOC15_06		
630	15歳の頃の居住地(本人)_2008*	TP5LOC15_08		
631	15歳の頃の居住地(本人)_2010*	TP5LOC15_10		
632	15歳の頃の居住地(本人): 都道府県名*	PREF15	REG16	2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
633	15歳の頃の居住地(本人): 農山村地域	REMOTE15	RES16	2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J)
634	15歳の頃の父: 就労地位*	PPJBTP15	PASLF PAWRKSLF	

635	15歳の頃の父：就労形態	PPJBT15	PASLF PAWRKSLF	1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J)
636	15歳の頃の父：役職	PPJBT15P		2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
637	15歳の頃の父：職種	PPJBXX15	PAJOB PAOCC16 PAOCC80	1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J)
638	15歳の頃の父：職種(ISCO)*	PPJBXX1E	PAPRES16 PAPRES80	2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
639	15歳の頃の父：企業規模*	PPJBSZ15		1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
640	15歳の頃の母：就労地位*	MMJBTP15	MAOCC80 MAPRES80 MAWK16 MAWRKSLF	1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
641	最終学校(本人)*	XXLSTSCH	COLDEG1 DEGREE EDUC	※
642	最終学校(配偶者)*	SSLSTSCH	SPDEG SPEDUC	※
643	最終学校(父親)*	PPLSTSCH	PADEG PAEDUC	※
644	最終学校(母親)*	MMLSTSCH	MADEG MAEDUC	※
645	最終学校の卒業・中退(本人)	DOLSTSCH	DEGREE EDUC	※
646	在学中の場合の学年(本人)	XGRADE		
647	最終学校の卒業・中退(配偶者)	SSDOLSTS		2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J)
648	在学中の場合の学年(配偶者)	SSXGRADE		
649	各種学校などの通学経験：専修学校・専門学校*	XSENSHU	OCCTRAIN	※
650	各種学校などの通学経験：各種学校*	XKAKUSHU	OCCTRAIN	※
651	各種学校などの通学経験：公共職業訓練校*	XOCCUP	OCCTRAIN	※
652	各種学校などの通学経験：いずれもない*	XNOSCH	OCCTRAIN	※
653	各種学校などの通学経験：わからない*	XNOKNOW	OCCTRAIN	※
654	専修学校・専門学校への通学経験(本人)	XSPSCH	OCCTRAIN	2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」
655	専修学校・専門学校への通学経験(配偶者)	PSPSCH		2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J)
656	高校：学んだ学科	XHSSUB		
657	高校：進学率	XHSRATE		
658	大学など：国・公・私立	XUPUBLIC		
659	大学など：専攻分野	XUSUB	COLMAJR1 COLMAJR2	
660	中学3年生の頃の成績*	OP5SCHPF		1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 大阪大学21世紀COE「選好パラメータアンケート調査(2006年度日本)」 2008.1 大阪大学21世紀COE「選好パラメータアンケート調査(2007年度日本)」
661	家族と一緒にの夕食：頻度*	FQ7FFDNR		1999.7 家計経済研究所「現代核家族調査」 2003.10 味の素(株)「AMC調査」(『中央調査報』07.5) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)



662	友人との会食：頻度*	FQ7FRSEE	BSTVISIT FRIVISIT SOCFREND	1999.7 家計経済研究所「現代核家族調査」
663	夕食の用意：頻度（本人）*	FQ7CKDNR	COOKING1 HWDUTIES RHHWORK	2002.11 NHK 放送文化研究所「家庭と男女の役割に関する調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2007.3 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
664	洗濯：頻度（本人）*	FQ7WASH	HWDUTIES LAUNDRY1 RHHWORK	2002.6 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2002.11 NHK 放送文化研究所「家庭と男女の役割に関する調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
665	買い物：頻度（本人）*	FQ7SHOP	HWDUTIES RHHWORK SHOP1	2002.11 NHK 放送文化研究所「家庭と男女の役割に関する調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
666	家の掃除：頻度（本人）*	FQ7CLEAN	CLEAN1 HWDUTIES RHHWORK	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2007.3 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
667	ゴミ出し：頻度（本人）*	FQ7GARB	HWDUTIES RHHWORK	
668	夕食の用意：頻度（配偶者）*	SSFQ7CK	COOKING1 DINNER HHWKFAIR SPHHWORK SPHMEWRK	1986.3 総理府「家庭・家族に関する世論調査」 1999.1 日本家族社会学会全国家族調査研究会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」 1999.7 家計経済研究所「現代核家族調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
669	洗濯：頻度（配偶者）*	SSFQ7WSH	HHWKFAIR LAUNDRY LAUNDRY1 SPHHWORK SPHMEWRK	1986.3 総理府「家庭・家族に関する世論調査」 1999.1 日本家族社会学会全国家族調査研究会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」 1999.7 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 2000.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
670	買い物：頻度（配偶者）*	SSFQ7SHP	HHWKFAIR SHOP1 SHOPFOOD SPHHWORK SPHMEWRK	1986.3 総理府「家庭・家族に関する世論調査」 1999.1 日本家族社会学会全国家族調査研究会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」 1999.7 家計経済研究所「現代核家族調査」 2000.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
671	家の掃除：頻度（配偶者）*	SSFQ7CLN	CLEAN1 HHWKFAIR SPHHWORK SPHMEWRK	1986.3 総理府「家庭・家族に関する世論調査」 1999.1 日本家族社会学会全国家族調査研究会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」 1999.7 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
672	ゴミ出し：頻度（配偶者）*	SSFQ7GRB	HHWKFAIR SPHHWORK SPHMEWRK	

673	家事分担	WH3HSWK	HWDUTIES	1999 栃木県生活環境部「男女共同参画社会に関する意識調査」 1999 富山県生活環境部「男女協同社会に関する意識調査」 1999 福岡県生活労働部「男女共同参画社会に向けての意識調査」 1999 静岡県袋井市「男女共同参画社会づくりのための袋井市民意識調査」 2000, 2002, 2004 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
674	家計管理	RR6ACCT	FAMBUDGT FAMFINAN	1986.3 総理府「家庭・家族に関する世論調査」 1999.1 日本家族社会学会全国家族調査研究会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」 1999.7 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
675	意見についての賛否：妻の仕事	Q4WWJBIA	FEWORK FEWORKIF	1999.7 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 2005 第一生命経済研究所「定点調査から見える家族の変化」(『中央調査報』06.11) 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2007.4 日本大学人口研究所「全国調査『仕事と家族』」(『中央調査報』08.4) 2009.10 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
676	意見についての賛否：女性の幸福	Q4WNMGA	FEMARRY	2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」(加藤元宣・諸藤絵美「幸せになりたいが、ためらう結婚」『放送研究と調査』05.5) 2008.6 NHK 放送文化研究所第8回「日本人の意識調査・2008」 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」
677	意見についての賛否：親子関係	Q4JBMMFM	FECHLD MAWRKWRM	1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」
678	意見についての賛否：男性の家事	Q4MNCOOK	MEHWORK	2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2005 第一生命経済研究所「定点調査から見える家族の変化」 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」
679	意見についての賛否：性役割分担	Q4WWHHX	FEFAM FEHOME HUBBYWK1 HUBBYWRK MRMOM TRADMOD	2001.1 読売新聞「家族像」(『日本の世論』) 2002.11 NHK 放送文化研究所「家庭と男女と役割に関する調査」 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2003.7 国立社会保障・人口問題研究所「第3回全国家庭動向調査」 2004, 2007, 2009 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2005 第一生命経済研究所「定点調査から見える家族の変化」 2006.1 内閣府男女共同参画局「男女の働き方と仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する調査」 2008.6 NHK 放送文化研究所第8回「日本人の意識調査・2008」 2010.3 内閣府「国民生活選好度調査」
680	意見についての賛否：男性の幸福	Q4MNMGA	MEMARRY	2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」 2008.6 NHK 放送文化研究所第8回「日本人の意識調査・2008」
681	意見についての賛否：子どもへの影響	Q4JBMMCC	FEPRESCH KIDSUFFR	2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」

682	意見についての賛否：子どもをもつ必要	Q4NOCCMG	IMPKIDS KIDLESS MARKIDS NOKIDS	2001.1 読売新聞「家族像」(『日本の世論』) 2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2004.4 毎日新聞「人口・家族・世代」第1回世論調査 2004, 2007, 2009 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」 2005.1 内閣府「国民生活選好度調査」 2005 第一生命経済研究所「定点調査から見える家族の変化」
683	意見についての賛否：女性の自立	Q4WNJB2L	FEJOBIND	
684	意見についての賛否：妻は夫の手助け	Q4WWHPHH	FEHELP	1992.11 総理府「男女平等に関する世論調査」
685	意見についての賛否：結婚観	Q4MGHAPP	MARHAPPY	
686	意見についての賛否：離婚	Q4DIVOK	DIVBEST MARDIV MARNOMAR	2002.12 朝日新聞「定期国民意識調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2005.1 内閣府「国民生活選好度調査」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査
687	結婚観：子どもにとっての親の離婚	Q4CCDVY	DIVKIDS	1986.3 総理府「家庭・家族に関する世論調査」 1995 経企庁「国民生活選好度調査」 1996.7 生保センター「日本人の生活価値観」第4回調査 1997.9 総理府「男女共同参画社会に関する世論調査」 1997 経企庁「国民生活選好度調査」 2000.4 野村総合研究所, 社会・産業研究本部「生活者一万人アンケート調査」第2回調査(『統]変わりゆく日本人』01)
688	結婚観：妻にとっての離婚	Q4WWDVY	DIVWIFE	1992.11 総理府「男女平等に関する世論調査」 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
689	結婚観：夫にとっての離婚	Q4HHDVY	DIVHUBBY	
690	結婚観：男性の家事の賛否	Q4MNCKY	MEHHWORK	1993.10 総理府「男性のライフスタイルに関する世論調査」 2000.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
691	理想的な子どもの人数(一般論)	APPCCNUM	CHLDIDEL FOURKIDS NOKIDS NUMKIDS ONEKID THREKIDS TWOKIDS	1995.6 厚生省人口問題研究所「人口問題に関する意識調査」 1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 1997, 2002, 2005 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 1997.5-6 経済企画庁「国民生活選好度調査」 1997.7 厚生労働省「結婚と出生・育児に関する基礎調査」 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」(『月刊世論調査』99.10) 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2002, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2003.1 内閣府「若年層の意識実態調査」 2004.2-3 厚生労働省「少子化に関する意識調査」 2004.4 毎日新聞「人口・家族・世代」第1回調査(『毎日新聞』04.7.27) 2004.10 朝日新聞「携帯電話・インターネット・少子化」定例面接調査(吉田貴文「少子化問題『女性に負担』の構図変わらず」(『朝日総研リポート』04.12) 2005.1-2 内閣府「国民生活選好度調査」
692	理想的な子どもの人数：5人以上の場合(具体的記述)	APPCCNMX	CHLDIDEL NUMKIDS	

693	希望する子どもの性別	APPCCSXB	(CHLDSEX) (CHLDSEX1)	1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 1997, 2002, 2005 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 1998, 2003, 2008 総数研「日本人の国民性」全国調査 2000, 2005, 2006 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」 2009.2-3 内閣府「アジア地域(韓国、シンガポール、日本)における少子化社会対策の比較調査」
694	夫婦別姓意識	OP4NAME		1990.9 総務庁「女性に関する世論調査」 1994 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル調査」 1996.6 総理府「家族法に関する世論調査」 2000.1 読売新聞「結婚観」(『日本の世論』) 2001.5 内閣府「選択的夫婦別氏制度に関する世論調査」 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」(NHK 放送研究所編『現代日本人の意識構造』第6版04) 2003.7 国立社会保障・人口問題研究所「第3回全国家庭動向調査」 2003.12 時事通信社「時事世論調査」 2005 第一生命経済研「定点調査から見える家族の変化」 2006.11 内閣府「家族の法制に関する世論調査」 2008.6 NHK 放送文化研究所第8回「日本人の意識調査・2008」 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」 2010.2 朝日新聞「政治意識調査」
695	夫婦別姓のもとでの子どもの名字への意見	OPCCSNM		2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」
696	女性知事候補への投票	ELWNGVNR	FEPRES	1996 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」
697	女性知事による大相撲の表彰	QWNSUMO		2000.2 朝日新聞「電話世論調査」 2000.4 時事通信社・中央調査社「パートナーシップ意識調査」 2004.2 朝日新聞「be モニター調査」 2004.3,5,7,11 東海大学・日本相撲協会「来場者調査」
698	女性天皇への賛否	OPEMPF		2005.11 朝日新聞「全国世論調査」 2005.12 読売新聞「読売全国世論調査」 2006.10 時事通信社「『女性天皇』についての世論調査」(『中央調査報』01.12)
699	女系天皇への賛否	OPEMPFL		2005.11 朝日新聞「全国世論調査」
700	長子天皇への賛否	OPEMP1C		2005.12 読売新聞「読売全国世論調査」
701	三世同居観	OP2GNR	AGED	2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2008.6 NHK 放送文化研究所第8回「日本人の意識調査・2008」 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」 2010.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
702	自分の墓について	OP7CMTRA		1990.7 総理府「墓地に関する世論調査」 1994 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル調査」 1998.2 厚生省「墓地に関する意識調査」(『平成9年度厚生科学研究』)
703	共同墓または散骨希望の理由：墓を守る人がいない*	XCMNONE		1990.7 総理府「墓地に関する世論調査」 1998.2 厚生省「墓地に関する意識調査」
704	共同墓または散骨希望の理由：子どもをわずらわせたくない*	XCMCARE		
705	共同墓または散骨希望の理由：自然にかえりたい*	XCMNATR		
706	共同墓または散骨希望の理由：墓に意味が見いだせない*	XCMSSENS		
707	共同墓または散骨希望の理由：その他*	XCMETC		

708	信仰する宗教の有無（本人）	DORL	RELIG	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.12 読売新聞「宗教観」（『日本の世論』） 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2003.7 NHK放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査2005」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」（『朝日総研レポート』08.3） 2008.6 NHK放送文化研究所第8回「日本人の意識調査・2008」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査 2008.11 NHK放送文化研究所「ISSP国際比較調査（宗教）」（西久美子「宗教的なものにひかれる日本人」『放送研究と調査』09.5）
709	信仰する宗教（本人）*	XXRL	RELIG	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2008.11 NHK放送文化研究所「ISSP国際比較調査（宗教）」
710	信仰の度合い（本人）	DO3PIOUS	FEELREL RELITEN RELPERSN	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査2005」 2008.11 NHK放送文化研究所「ISSP国際比較調査（宗教）」
711	信仰する宗教の有無（配偶者）	SSDORL	RELIGSP	
712	信仰する宗教（配偶者）*	SSXXRL	SPREL	
713	信仰の度合い（配偶者）	SS3PIOUS		
714	死後の世界	QAFTRDTH	AFTERLIF POSTLIFE	2008.6 NHK放送文化研究所第8回「日本人の意識調査・2008」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査
715	安楽死の賛否	QDDKILLA	LETDIE1 LETDIE2 (DOCSUI) (LETDIE1Y)	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.12 読売新聞「医療」（『日本の世論』） 2002.1 NHK放送文化研究所「科学技術・生命倫理に関する世論調査」（加藤元宣「最先端の生殖医療“容認”は少数」『放送研究と調査』02.6）
716	代理母出産への賛否	OSUBMOM	SELLBABY	1999.2 厚生科学特別研究事業「生殖補助医療技術についての意識調査」 2002.1 NHK放送文化研究所「科学技術・生命倫理に関する世論調査」 2002.3 朝日新聞「医療に関する世論調査」 2003.1 厚生科学特別研究事業「生殖補助医療技術についての意識調査」
717	ドナーカードの所持*	DOCARD		2002.1 NHK放送文化研究所「科学技術・生命倫理に関する世論調査」 2002.7 内閣府「臓器移植に関する世論調査」 2008.9 内閣府「臓器移植に関する世論調査」
718	ドナーカードへの署名	DO3SIGN		2001.12 読売新聞「医療」 2002.1 NHK放送文化研究所「科学技術・生命倫理に関する世論調査」 2002.7 内閣府「臓器移植に関する世論調査」 2008.9 内閣府「臓器移植に関する世論調査」
719	臓器を提供する意思	WLGIVORG		
720	臓器の提供を受ける意思	WLACCORG		2008.9 内閣府「臓器移植に関する世論調査」
721	インターネット自殺への意見	OPSCDIN		
722	自殺への意見	OPSCD	(SUISIDE1- SUCIDE4)	
723	自殺願望の経験	XWNTSCD		

724	支持政党*	XX8PLPTY	PARTYID	<p>1976.11-12 日本人の政治意識と行動研究会「日本人の政治意識と行動」(JABISS)</p> <p>1983.6-1984.1 日本人の選挙行動研究会「日本人の選挙行動」(JES)</p> <p>2000 朝日新聞「政治意識に関する世論調査」</p> <p>2000 読売新聞「読売全国世論調査」</p> <p>2000 時事通信社「時事世論調査」</p> <p>2000 NES2000pre/post</p> <p>2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」</p> <p>2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」</p> <p>2002 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」</p> <p>2002 NES2002pre/post</p> <p>2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」</p> <p>2003-4 早稲田大学 21世紀 COE「開かれた社会に関する意識調査」</p> <p>2005 早稲田大学 21世紀 COE「21世紀日本人の社会・政治意識に関する調査 (GLOPE2005)」</p> <p>2007.4-5 朝日新聞「政治意識世論調査」(『朝日総研レポート』07.9)</p> <p>2007.6 NHK 放送文化研究所「政治意識月例調査」(『放送研究と調査』07.7)</p> <p>2007.8 朝日新聞「参院戦後世論調査」(『朝日総研レポート』07.9)</p> <p>2008.6 NHK 放送文化研究所第8回「日本人の意識調査・2008」</p> <p>2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査</p> <p>2009.5 朝日新聞「緊急世論調査」(『ジャーナリズム』09.7)</p> <p>2009 JESIV「2009年調査(選挙後調査)」</p> <p>2010.6 朝日新聞「緊急世論調査」(『ジャーナリズム』10.7)</p>
725	政党を支持しない理由	XXWHYNO		
726	好ましい政党*	XX9PLPFV		<p>2000 NES2000pre/post</p> <p>2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」</p> <p>2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」</p> <p>2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」</p>
727	政権担当能力政党：自民党*	OLDPOK		<p>1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」</p> <p>2000 NES2000pre</p> <p>2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」</p> <p>2002 NES2002pre</p> <p>2007 JESIV「2007年調査(選挙後調査)」</p> <p>2009 JESIV「2009年調査(選挙後調査)」</p> <p>2009.6 朝日新聞「郵送調査『流動化する投票行動』」(『ジャーナリズム』09.9)(自民・民主のみ)</p>
728	政権担当能力政党：民主党*	ODPOK		
729	政権担当能力政党：公明党*	OKOMEIOK		
730	政権担当能力政党：共産党*	OCOMMPOK		
731	政権担当能力政党：社民党*	OSDPOK		
732	政権担当能力政党：その他の政党*	OOTHEROK		
733	政権担当能力政党：ない*	ONOPLPOK		
734	政権担当能力政党：わからない*	OPLPDONT		
735	政権担当能力政党：みんなの党*	OMINNAOK		
736	政権担当能力政党：国民新党*	OKOKUMOK		
737	政権担当能力政党：幸福実現党*	OKOUFUOK		
738	政権担当能力政党：たちあがれ日本*	OTACHIOK		
739	政権担当能力政党：新党日本*	OSHINTOK		2009 JESIV「2009年調査(選挙後調査)」

740	政権担当能力政党：自由党*	OLPOK		1983「日本人の選挙行動調査」 1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000pre 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre
741	政権担当能力政党：保守党（保守新党）*	OHOSHUOK		2007 JESIV「2007年調査（選挙後調査）」 2009 JESIV「2009年調査（選挙後調査）」
742	国か個人か：高齢者の生活保障	OP5SRWFY	AIDOLD EQUAL4 KIDPARS	1996 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2001.9 読売新聞「社会保障」（『日本の世論』） 2004, 2007 内閣府「社会意識に関する世論調査」
743	国か個人か：高齢者の医療・介護	OP5SRMDY	EQUAL4 KIDPARS OBTOHELP	1996 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2001.9 毎日新聞「2001年高齢社会世論調査」 2003.7 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査（『朝日総研レポート』08.3）」 2009.10 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」
744	国か個人か：子どもの教育	OP5CCED	GOVEDOP	1983.1 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
745	国か個人か：保育・育児	OP5CCARE	AIDKIDS	1983.1 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」 2007.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」
746	貧富解消政策への賛否	Q5GVEQAA	EQINCOME EQUALIZE EQWLTH EQWLTHY GOVEQINC HELPPOR	2009, 2010 内閣府「社会意識に関する世論調査」
747	政府の役割範囲	OP5LGGOZ	HELPNOT	1998 統数研「日本人の国民性」第10次全国調査
748	福祉と税負担のバランスについての意見	OWELFTAX	TAXSPEND	1996.1 JEDS「衆議院選挙に関する世論調査」 2000 NES2000pre/post 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2003-4 早稲田大学 21世紀 COE「開かれた社会に関する意識調査」 2007 JESIV「2007年調査（選挙後調査）」 2009.1 内閣府「国民生活選好度調査」 2009 JESIV「2009年調査（選挙前調査）」
749	国民と政治のかかわり：市民の影響力	Q4NOPWR	POLEFF1 POLEFF3 POLEFF6 POLEFF11	1996.1 JEDS「衆議院選挙に関する世論調査」 1998 NHK 放送文化研究所「日本人の意識」第6回調査 1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2000.12 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2002.1-2 Asian Barometer（池田謙一ほか）「アジアン・バロメータ」 2003-4 早稲田大学 21世紀 COE「開かれた社会に関する意識調査」 2005 早稲田大学 21世紀 COE「21世紀日本人の社会・政治意識に関する調査（GLOPE2005）」 2007 JESIV「2007年調査（選挙後調査）」 2009, 2010 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2009 JESIV「2009年調査（選挙後調査）」

750	国民と政治のかかわり：理解度	Q4GVCMLP	CIVIC POLEFF13 POLEFF19	1995.10 1995 年 SSM 調査研究会「1995 年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 1995 経企庁「国民生活選好度調査」 1996.1 JEDS「衆議院選挙に関する世論調査」 1998 「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 1999 経企庁「国民生活選好度調査」 2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」 2003-4 早稲田大学 21 世紀 COE「開かれた社会に関する意識調査」 2005 早稲田大学 21 世紀 COE「21 世紀日本人の社会・政治意識に関する調査 (GLOPE2005)」 2007 JESIV「2007 年調査(選挙後調査)」 2009 JESIV「2009 年調査(選挙後調査)」
751	国民と政治のかかわり：投票	Q4VOTE	POLEFF8 POLEFF14	1998 「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000post 2001.5 読売新聞「政治意識」(『日本の世論』) 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2003-4 早稲田大学 21 世紀 COE「開かれた社会に関する意識調査」 2005 早稲田大学 21 世紀 COE「21 世紀日本人の社会・政治意識に関する調査 (GLOPE2005)」 2007 JESIV「2007 年調査(選挙後調査)」 2009 JESIV「2009 年調査(選挙後調査)」
752	国民と政治のかかわり：国会議員	Q4MDIET	ALIENAT1 ALIENAT6 POLEFF16	1996.1 JEDS「衆議院選挙に関する世論調査」 1998 「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000post 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2003-4 早稲田大学 21 世紀 COE「開かれた社会に関する意識調査」 2007 JESIV「2007 年調査(選挙後調査)」 2009 JESIV「2009 年調査(選挙後調査)」
753	政府の支出：環境問題	BD3ENVA	NATENVIR NATENVIV NATENVIZ SPENVIRO	1996 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 1998.1 総理府「社会意識に関する世論調査」 2000 NES2000pre 2000.12 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『環境』」 2001, 2010 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre/post
754	政府の支出：犯罪取締	BD3CRIME	NATCRIME NATCRIMY NATCRIMZ SPPOLICE	1993 統数研「日本人の国民性」第 9 次全国調査 1996 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2000 NES2000pre 2001.9 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre/post
755	政府の支出：教育	BD3EDUC	NATEDUC NATEDUCY NATEDUCZ SPDRUGS SPHEADST SPPOORKD SPSCHOOL SPWRKPAR	1996 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2000 NES2000pre 2001, 2010 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre/post



756	政府の支出：安全保障	BD3SAFTY	DEFSPDR NATARMS NATARMSY NATARMSZ SPARMS	2000 NES2000pre 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre/post 2006, 2010 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2009.1 内閣府「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」
757	政府の支出：海外援助	BD3ODA	NATAID NATAIDY NATAIDZ	1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 2000 NES2000pre 2000, 2001 内閣府「外交に関する世論調査」 2001.1 読売新聞「外交・安保」(『日本の世論』) 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre/post
758	政府の支出：土木事業	BD3CNSTR	NATROAD NATROADZ	2000 NES2000pre 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre/post 2010.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
759	政府の支出：社会保障	BD3WFR	NATFARE NATFAREY NATFAREZ NATSOC NATSOCZ SPDSABKD SPFOODKD SPHLTHKD SPHOMEKD SPPOORKD SPRETIRE SPPREGNT SPWRKPAR	1993 統数研「日本人の国民性」第9次全国調査 1996.7 生保センター「日本人の生活価値観」第4回調査 1996 NHK放送文化研究所「ISSP国際比較調査『政府の役割』」 2000 NES2000pre 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre/post 2006, 2010 内閣府「国民生活に関する世論調査」
760	政府の支出：雇用対策	BD3EMPLY	SPUNEMP	1996 NHK放送文化研究所「ISSP国際比較調査『政府の役割』」 2000 NES2000pre 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre/post 2006, 2010 内閣府「国民生活に関する世論調査」
761	所得税の負担感	OP6TAXHI	INCTAX TAX	2001.11 読売新聞「税金」(『日本の世論』)
762	自分の年金額予想	OP5PENSN	SOCSECT	1996.7 生保センター「日本人の生活価値観」第4回調査 1998 貯蓄広報中央委員会「貯蓄と消費に関する世論調査」 1999 経企庁「国民生活選好度調査」
763	政治意識(保革5段階)	OP5RADCA	POLVIEWS POLVIEWY	1971- 明推協「明るい選挙推進協会調査」 1983.6-1984.1 日本人の選挙行動研究会「日本人の選挙行動」(JES) 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2010.2 朝日新聞「政治意識調査」(『ジャーナリズム』10.5)
764	政治意識(保革7段階)	OP7RADCZ	POLVIEWS POLVIEWY	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 1998 「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000pre/post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre/post 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジア・バロメータ」

765	政治への関心の強さ	DOPOLIT	CIVIC INTPOL	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 1998「日本人の選挙行動調査」 2000 National Election Survey (NES) 2000pre 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 National Election Survey (NES) 2002pre/post 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」
766	小泉政権への評価	OKOIZUM		1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 1996.1 選挙とデモクラシー研究会(JEDS)「衆議院選挙に関する世論調査」 1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000pre 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」
767	現在の日本の景気の判断	OBUSINS	ECONPAST PASTUP PASTDOWN	1996.1 JEDS「衆議院選挙に関する世論調査」 1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000pre/post 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre
768	社会と個人の利益のバランスについての意見	ONATIND	(POSTMAT1) (POSTMAT2)	1996.1 JEDS「衆議院選挙に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
769	政治へのイメージ：自分から働きかけるもの	OPLSELF	LOCALGVT LOCINFLU POLEFF11 POLEFF1 POLEFF2 POLEFF3 POLEFF4 POLEFF5 POLEFF6 POLEFF9	2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」
770	政治へのイメージ：監視していくもの	OPLWATCH	POLEFF1 POLEFF3 POLEFF4 POLEFF5 POLEFF6 POLEFF9 POLEFF11 POLEFF12 LOCINFLU	2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」
771	政治へのイメージ：なるようにしかならないもの	OPLCANT	ALIENAT1 ALIENAT6 LOCINFLU POLEFF1 POLEFF2 POLEFF11	2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」
772	政治へのイメージ：できればかわりたくない	OPLNOREL	INTPOL POLINT	
773	政治的な経験：選挙で投票*	X5YVOTE	VOTE00 LOCVOTE	1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」

774	政治的な経験：町内会で活動*	X5YJICHI	LOCPROB LOCGRP	2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post
775	政治的な経験：地元の有力者と接触*	X5YCNTC1	LOCLBBY	1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
776	政治的な経験：政治家や官僚と接触*	X5YCNTC2	OTHLOBBY LOBBYGRP CONTACT CONOFFCL RACWRITE FEWRITE	1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000post 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」
777	政治的な経験：議会や役所に請願*	X5YPETIT		1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」
778	政治的な経験：政治的な集會に出席*	X5YPOLMG	POLRALLY MEETING RPRTST15 RPRTST35	1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post
779	政治的な経験：選挙運動の手伝い*	X5YCMPGN	SWAYVOTE WORKPOL VOLPOL MONPOL HRSPOL VOLWKPOL	1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post
780	政治的な経験：市民運動に参加*	X5YCITZN	RACJOIN FEJOIN CIVRIGHT ANTIWAR PROWAR SCHOOL PROTEST PARTTHON GRNDEMO	1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post
781	政治的な経験：請願書に署名*	X5YSIGN	PETITION SIGNPET GRNSIGN	2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
782	政治的な経験：献金*	X5YDONAT	RACGIVE FEGIVE GIVEPOL GIVPOL GIVCHNG GRNMONEY PARTTHON	1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000post 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post
783	政治的な経験：いずれもしたことがない*	X5YNONE		1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」

784	政治に関わる情報収集：新聞	FQ4PLNP	POLPAPR POLINF NEWSFRMY	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 1998 「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000 NES2000pre 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002pre 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」
785	政治に関わる情報収集：テレビ	FQ4PLTV	TVNEWS POLTV POLINFO NEWSFRMY	
786	政治に関わる情報収集：雑誌	FQ4PLMAG	POLMAG1 POLMAG2 POLINFO NEWSFRMY	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 1998 「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
787	政治に関わる情報収集：インターネット	FQ4PLWEB	GOVT30 POL30 POLINF12 POLWWW POLINFGN POLAGREE POLNEUTL POLDSAGR POLINFO ECON12 ABORT12 MORAL12 FORAFF12 RACREL12 ENVIRO12 POLCAM12 GUN12 TAXES12 FE12 NEWS12 NEWSFRMY	2000 NES2000post 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」
788	政治に関わる情報収集：家族との会話	FQ4PLFAM	POLDISGN TALKPOL NEWSFRMY	1996.1 JEDS「衆議院選挙に関する世論調査」 2000 NES2000post 2002 NES2002post 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジアン・バロメータ」
789	政治に関わる情報収集：友人・同僚との会話	FQ4PLFRI	POLFREL POLDISGN TALKPOL NEWSFRMY	
790	知事の任期への意見	OPGVNTM		
791	知事の認知	GVNNAME	GOVERNOR	
792	知事の支持	GVNSPRT		2004.7 朝日新聞世論調査(参院選中盤情勢調査) 2007.7 朝日新聞世論調査(参院選序盤情勢調査)
793	政策への意見：子ども手当	OPCCMON		2009.9. 朝日新聞緊急世論調査(RDD) 2009.9-11 読売新聞世論調査(RDD) 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」
794	政策への意見：高校無償化	OPHGSCH		2009.9 朝日新聞「衆院選直後 RDD 調査」(『ジャーナリズム』09.8)
795	政策への意見：高速道路無料化	OPHGWAY		2009.9 朝日新聞緊急世論調査(RDD) 2009.9-11 読売新聞世論調査(RDD)
796	政策への意見：二酸化炭素排出量削減	OPCO2EM		2009.9-11 読売新聞緊急世論調査(RDD) 2009.10 朝日新聞世論調査(RDD)
797	政策への意見：最低賃金の引き上げ	OPMNWG		
798	政策への意見：同一労働同一賃金	OPSWST		
799	政策への意見：配偶者控除の廃止	OPATDS		
800	適切な消費税率への意見	OPCNSMTX		
801	マニフェストの遵守への意見	OPMNFST		2010.5 朝日新聞「定例 RDD 調査」(『ジャーナリズム』10.6)

802	自分の位置する階層*	OP10LVL	FAMRNK RANK	1995.10 1995年SSM調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」(SSM95) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2002 愛媛県「県民生活に関する世論調査」 2004 埼玉県総務部「埼玉県政世論調査」 2004 労働政策研究・研修機構「勤労生活に関する調査」 2004 読売新聞「読売全国世論調査」 2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所「働き方とライフスタイルの変化に関する全国調査」 2007 池田謙一(東京大学)「アジアパロメーター2+CSES3パネル調査」
803	階層帰属意識	OP5LEVK	CLASS CLASSY FAMRNK	2001.4 読売新聞「暮らし」(『日本の世論』) 2003, 2006, 2008, 2010 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2005.3 朝日新聞「日・韓・中・国際調査」(『朝日総研レポート』05.6) 2005.12 朝日新聞「定期国民『生きがい』意識調査」(『朝日総研レポート』06.2) 2007.8 池田謙一「アジアパロメーター2+CSES3パネル調査」 2008.6 朝日新聞「郵送調査」(『朝日総研レポート』08.9) 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査 2009.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2009.12 朝日新聞「定期国民意識調査『家族はいま』」(『ジャーナリズム』10.2)
804	家計状態の変化	OP3ECN3A	FINALTER	1999.8 生命保険文化センター「核家族世帯における家計の現状」 2000.9 生命保険文化センター「ワークスタイルの多様化と生活設計に関する調査」 2001.4 読売新聞「暮らし」 2002.9 日本銀行「生活意識に関するアンケート調査(第15回)」(『中央調査報』03.2) 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」(乳井泰彦「日本人の価値観四半世紀で大きく変化」『朝日総研レポート』03.2) 2003-2004 早稲田大学21世紀COE「開かれた政治経済制度の構築」「開かれた社会に関する意識調査」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2004.7 NHK放送文化研究所「景気と暮らしの実感調査」(中瀬剛丸・山内利香「景気回復への期待と将来の不安」『放送研究と調査』04.10) 2004, 2006, 2008, 2010 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査
805	世帯収入のレベル	OP5FFINX	FINRELA	1993 統数研「日本人の国民性」第9次全国調査 1999.8 生命保険文化センター「核家族世帯における家計の現状」 2007.4 連合総合生活開発研究所「労働者の仕事と暮らしについてのアンケート」
806	15歳の頃の世帯収入レベル	OPFFIX15	INCOM16	2005.11 2005年SSM調査研究会「2005年社会階層と社会移動日本調査」(SSM2005-J) 2007.1 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・壮年パネル調査(JLPS-M) wave1」 2007.1 東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト「東大社研・若年パネル調査(JLPS-Y) wave1」
807	生活水準向上機会の有無	OP5CHNCA	GOODLIFE	2001.4 読売新聞「景気・雇用」(『日本の世論』) 2002, 2007 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」 2007.5 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」

808	将来の経済的不安	AXECNSF		1999.8 生命保険文化センター「核家族世帯における家計の現状」 2000.9 生命保険文化センター「ワークスタイルの多様化と生活設計に関する調査」 2003-2004 早稲田大学 21世紀 COE「開かれた政治経済制度の構築」「開かれた社会に関する意識調査」 2007.4 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」 2010.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
809	経済的理由で進学を断念した経験	XQTEDU		2006.11 ライセンスアカデミー社「大学の学費に関するアンケート」
810	将来なりたかった職業の有無	WNTJB		2004.1-3 お茶の水女子大学「Japan Education Longitudinal Study」(中学3年本人対象) 2005.5 東京大学社会科学研究所「職業の希望に関するアンケート」
811	将来なりたかった職業*	WNTJBX		2006.1 Benesse 教育研究開発センター「若者の仕事生活実態調査」
812	なりたかった職業は親の職業か	WNTJBPM		
813	なりたかった職業に就けたか	XWNTJOB		2005.5 東京大学社会科学研究所「職業の希望に関するアンケート」
814	新聞を読む頻度	FQ5NEWSP	NEWS NEWSPRNT	2001.9 読売新聞「メディア」(読売新聞社世論調査部『日本の世論』02) 2003.2 朝日新聞「新聞読者基本調査」(高山雄二「新聞読者基本調査に見る新聞の読まれ方」『朝日総研レポート』04.6) 2005.10 NHK 放送文化研究所「2005年国民生活時間調査」 2005.10 日本新聞協会「全国メディア接触・評価調査」(『中央調査報』06.7) 2008.12 新聞通信調査会「メディアに関する全国世論調査」(『中央調査報』09.4) 2009.9 新聞通信調査会「第2回メディアに関する全国世論調査」(『中央調査報』10.5) 2010.3 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ・2010調査」(諸藤絵美ほか「テレビ視聴率とメディア利用の現在(Ⅰ)」『放送研究と調査』10.8)
815	購読新聞：朝日*	NPASAHI		1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャル・ネットワークと投票行動調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
816	購読新聞：産経*	NPSANKEI		
817	購読新聞：日経*	NPNIKKEI		
818	購読新聞：毎日*	NPMAINI		
819	購読新聞：読売*	NPYOMIUR		
820	購読新聞：サンケイスポーツ*	NPSANSP		
821	購読新聞：スポーツニッポン*	NPSPNIP		
822	購読新聞：デイリースポーツ*	NPDAYSP		
823	購読新聞：日刊スポーツ*	NPNIKSP		
824	購読新聞：報知*	NPHOUCHI		
825	購読新聞：北海道新聞*	NPHOKKAI		
826	購読新聞：東京新聞*	NPTOKYO		
827	購読新聞：中日新聞*	NPCHUNI		
828	購読新聞：西日本新聞*	NPWESTJP		
829	購読新聞：Japan Times*	NPJAPAN		
830	購読新聞：日刊ゲンダイ*	NPGENDAI		
831	購読新聞：夕刊フジ*	NPFUJI		
832	購読新聞：赤旗*	NPAKAHAT		
833	購読新聞：聖教新聞*	NPSEIKYO		
834	購読新聞：その他*	NPETC		
835	購読新聞：その他：具体的記述(1番目)	NPETCX1		
836	購読新聞：その他：具体的記述(2番目)	NPETCX2		
837	購読新聞：ない*	NPNONE		
838	1ヶ月の読書冊数	FQ5READ		2000.1 NHK 放送文化研究所「国民生活時間調査」 2000.1 読売新聞「読書」(『日本の世論』) 2005.1 NHK 放送文化研究所「2005年国民生活時間調査」 2009.9 毎日新聞「第63回読書世論調査」(毎日新聞 09.10.26) 2010.3 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ・2010調査」

839	テレビ視聴時間	HRTV	TVHOURS	2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査（上村修一・井田美恵子「携帯電話とインターネットの利用状況」『放送研究と調査』01.8） 2002.1 NHK 放送文化研究所「家族の中のテレビ 2002 調査」（白石信子・井田美恵子「テレビの家族視聴の実態」『放送研究と調査』02.8） 2002.10 NHK 放送文化研究所「テレビ 50 年調査」（白石信子・井田美恵子「浸透した『現代的なテレビの見方』」『放送研究と調査』03.5） 2002.11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2004, 2005, 2007, 2008, 2009, 2010 NHK 放送文化研究所「全国個人視聴率調査」 2005.10 NHK 放送文化研究所「2005 年国民生活時間調査」 2007.3 NHK 放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」（荒牧央ほか「人々の情報源とメディアへの評価」『放送研究と調査』07.8） 2010.3 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ・2010 調査」
840	利用通信媒体：電子メール（仕事）*	DOEMAILJ	EMAILHR EMAILMIN EMHRW EMMINW	1996.7 生保センター「日本人の生活価値観」第 4 回調査 2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第 2 回調査 2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査 2001.6 NHK 放送文化研究所「景気と暮らしの実感調査」
841	利用通信媒体：電子メール（私用）*	DOEMAILP	EMAILHR EMAILMIN EMHRH EMMINH	2001.8 内閣府国民生活局「IT による家族への影響実態調査」 2001.10 NHK 放送文化研究所「IT 時代の生活時間調査」（三矢恵子他「広がるインターネットしかしテレビとは大差」『放送研究と調査』02.4）
842	利用通信媒体：パソコン（職場）*	DOCOMPJ	COMPUSE COMPWORK WKCOMPTR (JOBMINW) (WORK12)	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第 2 回調査 2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査 2001.9 読売新聞「メディア」（『日本の世論』） 2001.10 NHK 放送文化研究所「IT 時代の生活時間調査」 2001.11 読売新聞「IT」（『日本の世論』） 2001, 2002, 2004 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT 時代の生活時間調査・2006」

843	利用通信媒体：パソコン（自宅）*	DOCOMPP	COMPUSE USEHOME	<p>1999.11 日本リサーチ総研「消費構造変動調査」</p> <p>2000.4 野村総研「生活者一人アンケート調査」第2回調査</p> <p>2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査</p> <p>2001.6 NHK 放送文化研究所「景気と暮らしの実感調査」</p> <p>2001.8 内閣府国民生活局「ITによる家族への影響実態調査」</p> <p>2001.9 読売新聞「メディア」</p> <p>2001.11 読売新聞「IT」</p> <p>2001, 2002, 2004 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」</p> <p>2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」</p> <p>2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」</p> <p>2006.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」</p> <p>2006.10 総務省統計局「第7回社会生活基本調査」（永山貞則ほか編『ワーク・ライフ・バランスと日本人の生活行動』2010.4）</p> <p>2007.1 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」（『中央調査報』07.2）</p> <p>2009.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディアに関する世論調査」（石橋丈「日本人とメディア調査から読み解くデジタルメディア地図 2009」『放送研究と調査』09.12）</p> <p>2009.3 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」（『中央調査報』09.6）</p> <p>2009.12 中央調査社「第25回パーソナル先端商品の利用状況」（『中央調査報』10.3）</p>
844	利用通信媒体：インターネットによるショッピング・バンキング*	DONETSB	BUYINF12 BUYINFGN BUYIT12 ECOMHRH ECOMHRW ECOMMINH ECOMMINW HMEFIN12	<p>1999.11 日本リサーチ総研「消費構造変動調査」</p> <p>2000.4 野村総研「生活者一人アンケート調査」第2回調査</p> <p>2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査</p> <p>2001.3 野村総研「情報通信利用者動向調査」（『続]変わりゆく日本人』に引用）</p> <p>2001.6 NHK 放送文化研究所「景気と暮らしの実感調査」</p> <p>2001.8 内閣府国民生活局「ITによる家族への影響実態調査」</p> <p>2001.9 読売新聞「メディア」</p> <p>2001.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」</p> <p>2001.11 読売新聞「IT」</p>
845	利用通信媒体：インターネットによる株取引*	DONETSTK	FIN30 INVEST12 INVESTGN	



846	利用通信媒体：携帯電話または PHS*	DOPHS	INTACCSS (WEBMOB)	<p>2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査</p> <p>2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査</p> <p>2001.3 野村総研「情報通信利用者動向調査」</p> <p>2001.6 NHK 放送文化研究所「景気と暮らしの実感調査」</p> <p>2001.8 内閣府「ITによる家族への影響実態調査」</p> <p>2001.11 読売新聞「IT」</p> <p>2001, 2002, 2004 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」</p> <p>2004.10 全国消費者協会連合会「携帯電話についての調査」</p> <p>2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」</p> <p>2004.12 時事通信社「携帯電話に関する世論調査」(『中央調査報』05.2)</p> <p>2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」</p> <p>2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」</p> <p>2006.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」</p> <p>2007.1 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」</p> <p>2008.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディア」世論調査(渡辺誓司ほか「デジタルメディア・利用の深まりと広がりの可能性」『放送研究と調査』08.8)</p> <p>2009.3 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」</p> <p>2009.12 中央調査社「第25回パーソナル先端商品の利用状況」</p>
847	利用通信媒体：ファックス*	DOFAX		<p>2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」</p> <p>2001.11 読売新聞「IT」</p> <p>2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」</p> <p>2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」</p>
848	利用通信媒体：いずれも利用していない*	DONONEX		<p>2005.10 NHK 放送文化研究所「2005年国民生活時間調査」</p>
849	電子メールの利用	DOEMAIL	<p>EMAILHR</p> <p>EMAILMIN</p> <p>EMHRW</p> <p>EMMINW</p> <p>EMMINH</p> <p>EMHRH</p> <p>EMGET</p> <p>EMMINO</p> <p>EMHRO</p> <p>EMSENT</p>	<p>2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査</p> <p>2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査</p> <p>2001.6 NHK 放送文化研究所「景気と暮らしの実感調査」</p> <p>2001.8 内閣府国民生活局「ITによる家族への影響実態調査」</p> <p>2001.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査」</p> <p>2001.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」</p> <p>2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」</p> <p>2004.4 時事通信社「時事世論調査」</p> <p>2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」</p> <p>2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」</p> <p>2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」</p> <p>2005.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」</p>

850	インターネットの利用：情報検索*	DOINBRS	<p>ARTINFO                  ARTMUS1                  CANINF1-14                  COOK30                  FIN30                  GOVT30                  HEALTH12                  HLTHWWW                  INTRHOME                  JOBONWWW                  LITSITE                  LOCATE12                  MUSICINF                  NEWJOB12                  POL30                  POLINF12                  POLWWW                  SRCHENG                  WORK12</p>	<p>2001, 2002, 2004 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」                  2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」                  2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」                  2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」                  2005.3 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ・2005 調査」(原美和子・照井大輔「インターネット利用者の拡大とテレビ視聴」『放送研究と調査』06.3)                  2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」                  2005.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」                  2005.10 NHK 放送文化研究所「2005年国民生活時間調査」                  2006.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」                  2006.10 総務省「社会生活基本調査」                  2006.12 朝日新聞「定期国民意識調査口ストジェネレーション」(『朝日総研レポート』07.2)                  2007.1 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」                  2007.11 内閣府「インターネット上の安全確保に関する世論調査」                  2008.3 NHK 放送文化研究所「検索エンジン利用実態調査」(三浦基ほか「検索エンジン利用実態調査生活メディアとしての利用」『放送研究と調査』08.8)                  2008 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査                  2009.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」                  2009.3 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」                  2009.4 朝日新聞「定期 RDD 調査」(『ジャーナリズム』09.6)                  2009.12 中央調査社「第25回パーソナル先端商品の利用状況」                  2010.3 NHK 放送文化研究所「日本人とテレビ・2010 調査」                  2010.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」</p>
851	インターネットの利用：ショッピング*	DOINSHOP	<p>BUYINF12                  BUYIT12                  ECOMHRH                  ECOMHRO                  ECOMHRW                  ECOMMINH                  ECOMMINO                  ECOMMINW</p>	<p>2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査                  2001.3 NHK 放送文化研究所「メディアと生活」調査                  2001, 2002, 2004 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」                  2004.4 時事通信社「時事世論調査」                  2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」                  2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」                  2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」                  2005.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」                  2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」                  2006.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」                  2007.1 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」                  2009.3 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」                  2009.12 中央調査社「第25回パーソナル先端商品の利用状況」</p>

852	インターネットの利用：バンキング*	DOINBANK	ECOMHRH ECOMHRO ECOMHRW ECOMMINH ECOMMINO ECOMMINW HMEFIN12	2001.3 野村総研「情報通信利用者動向調査」 2001.6 NHK 放送文化研究所「景気と暮らしの実感調査」 2001.8 内閣府国民生活局「ITによる家族への影響実態調査」 2001.9 読売新聞「メディア」 2001.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査」 2001.11 読売新聞「IT」 2002.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.4 時事通信社「時事世論調査」 2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 2005.10 NHK 放送文化研究所「2005年国民生活時間調査」 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」 2007.1 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」 2009.3 中央調査社「パーソナル先端商品の利用状況」 2009.12 中央調査社「第25回パーソナル先端商品の利用状況」
853	インターネットの利用：ホームページの作成*	DOINHNP		2001, 2002, 2004 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.4 時事通信社「時事世論調査」 2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」 2007.3 NHK 放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」
854	インターネットの利用：ホームページの作成（ブログを含む）*	DOINHNPB		2001, 2002, 2004 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2004.4 時事通信社「時事世論調査」 2004.5 栃木県企画部「栃木県政世論調査」 2004.10 栃木県生活環境部「青年の意識と行動に関する調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2007.3 NHK 放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」
855	インターネットの利用：いずれも行っていない*	DOINNONE	INTACSS INTRHOME WWWHRH WWWHRO WWWHRW WWWMINH WWWMINO WWWMINW	2007.7 内閣府「国民生活に関する世論調査」
856	携帯電話での通話の頻度	FQMPTALK		2000.3 東京大学社会情報研究所「第2回日本人の情報行動調査」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 2005.10 NHK 放送文化研究所「2005年国民生活時間調査」 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2008.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディア世論調査」

857	携帯電話でのメール送信の頻度	FQMPMAIL		2000.3 東京大学社会情報研究所「第2回日本人の情報行動調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 2007.3 NHK 放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」 2008.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディア世論調査」 2010.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
858	パソコンでのメール送信の頻度	FQPCMAIL	EMAILHR EMAILMIN EMGET EMHRH EMHRO EMHRW EMMINH EMMINO EMMINW EMSENT	2000.3 東京大学社会情報研究所「第2回日本人の情報行動調査」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」 2007.3 NHK 放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」 2010.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
859	携帯電話での通話の頻度（全員）	FQMPTALX		2000.3 東京大学社会情報研究所「第2回日本人の情報行動調査」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 2005.10 NHK 放送文化研究所「2005年国民生活時間調査」 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2008.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディア世論調査」
860	携帯電話でのメール送信の頻度（全員）	FQMPMAIX		2000.3 東京大学社会情報研究所「第2回日本人の情報行動調査」 2004.10 大阪大学「情報化社会に関する全国調査」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 2007.3 NHK 放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」 2008.1 NHK 放送文化研究所「日本人とメディア世論調査」 2010.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
861	パソコンでのメール送信の頻度（全員）	FQPCMAIX	EMAILHR EMAILMIN EMGET EMHRH EMHRO EMHRW EMMINH EMMINO EMMINW EMSENT	2000.3 東京大学社会情報研究所「第2回日本人の情報行動調査」 2005.3 東京大学社会情報研究所「第3回日本人の情報行動調査」 2006.10 NHK 放送文化研究所「IT時代の生活時間調査・2006」 2007.3 NHK 放送文化研究所「ネットワーク社会の中のテレビに関する世論調査」 2010.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
862	生活満足度：居住地域	ST5AREAY	SATCITY	2001.6 内閣府「国土の将来像に関する世論調査」 2002.10, 2010.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2003.6 NHK 放送文化研究所 第7回「日本人の意識調査・2003」 2004.6 内閣府政府広報室「社会資本の整備に関する世論調査」 2004, 2006, 2008, 2010 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2006.10 朝日新聞「面接調査(地方自治)」(『朝日総研レポート』06.12) 2008.10 時事通信社「地域社会に関する世論調査」(『中央調査報』08.12)

863	生活満足度：余暇利用	ST5LEISY	SATHOBBY	2000.6 読売新聞「余暇・レジャー」（『日本の世論』） 2003.8 内閣府「自由時間と観光に関する世論調査」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2004, 2006, 2008, 2010 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2006.10 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2007.11 NHK 放送文化研究所「余暇とスポーツ 2007 調査」（西久美子「余暇意識からみるワーク・ライフ・バランス」『放送研究と調査』08.4） 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査
864	生活満足度：家庭生活	ST5LIFEY	SATFAM SATFAM7	2001.1 読売新聞「家族像」（『日本の世論』） 2002.10, 2010.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2002.11 NHK 放送文化研究所「家庭と男女の役割に関する調査」（小林利行「意識の変化に見る『少子化の構図』」『放送研究と調査』03.4） 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査
865	生活満足度：家計状態	ST5ECNY	SATFIN	2002.10, 2010.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2004, 2006, 2008 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査
866	生活満足度：友人関係	ST5FRIY	SATFRND	2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2010.3 内閣府「国民生活選好度調査」
867	生活満足度：健康状態	ST5HLTHY	SATHEALT	2002.10, 2010.3 内閣府「国民生活選好度調査」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査
868	生活満足度：配偶者との関係	ST5SSREL		
869	結婚生活の幸福度	FF5HAPPZ	HAPMAR	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査研究会「第1回全国家族調査」（NFRJ98） 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」 1999.7 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」
870	幸福度	OP5HAPPZ	HAPPY HAPPY7 HAPUNHAP	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2004.2 大阪大学 COE「くらしの好みと満足度についてのアンケート」（『中央調査報』05.12） 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」（『朝日総研レポート』08.5） 2008.2 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」
871	生活満足度：全般	STALLLF		1995.10 1995年 SSM 調査研究会「1995年社会階層と社会移動全国調査」（SSM95） 2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」 2003.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」（NFRJ03）
872	幸福度（EASS 尺度）	OP5HAPPE	HAPPY HAPPY7 HAPUNHAP	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2004.2 大阪大学 COE「くらしの好みと満足度についてのアンケート」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2008, 2010 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」

873	受講経験：実務講座	XLRNJB		1995.11 国民生活センター「団塊世代の生活実態調査」 1996.10 総務庁「社会生活基本調査」 1998 経企庁「国民生活選好度調査」 1999.12 総理府「生涯学習に関する世論調査」
874	受講経験：教養講座	XLRNCLTR		1995.11 国民生活センター「団塊世代の生活実態調査」 1996.10 総務庁「社会生活基本調査」 1999.12 総理府「生涯学習に関する世論調査」
875	1泊以上の旅行頻度*	FQ5TRIP		1992.6 生命保険文化センター「長寿時代の生活の設計（生活者アンケート）」 1997.4 野村総研「生活者1万人アンケート調査」 2003.8 内閣府「自由時間と観光に関する世論調査」
876	旅行頻度：国内旅行	FQDMTRP		2003.8 内閣府「自由時間と観光に関する世論調査」
877	旅行頻度：海外旅行	FQOSTRP		2006.10 総務省統計局「社会生活基本調査」 2008 観光庁「旅行・観光消費動向調査」 2010.1 日本生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の実態調査」(『レジャー白書』2010)
878	旅行頻度の希望：国内旅行	APDMTRP		
879	旅行頻度の希望：海外旅行	APOSTRP		
880	旅行で重視すること：旅行先の文化にふれる*	IMTRPCUL		
881	旅行で重視すること：旅行先で人々とふれ合う*	IMTRPPPL		
882	旅行で重視すること：家族や友人との関係を深める*	IMTRPREL		
883	旅行で重視すること：刺激的な経験を*	IMTRPEX		
884	旅行で重視すること：買い物や食事を楽しむ*	IMTRPSHP		
885	旅行で重視すること：ストレスを解消する*	IMTRPSTR		
886	旅行で重視すること：自然を楽しむ*	IMTRPNAT		
887	旅行で重視すること：自由気ままに過ごす*	IMTRPFRE		
888	旅行で重視すること：自分自身を見つめなおす*	IMTRPREF		
889	旅行で重視すること：その他*	IMTRPOTH		
890	旅行で重視すること：特にない*	IMTRPNON		
891	旅行で重視すること：温泉がある*	IMTRPHSP		
892	娯楽の頻度：将棋	FQ4SHOGI		1996.10 総務庁「社会生活基本調査」 2002.12 自由時間デザイン協会「余暇活動に関する調査」(『レジャー白書』03)
893	娯楽の頻度：囲碁	FQ4IGO		
894	娯楽の頻度：将棋・囲碁	FQ4SHGIG		2002.12 自由時間デザイン協会「余暇活動に関する調査」 2006, 2007, 2009 日本生産性本部・余暇創研「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」
895	娯楽の頻度：麻雀	FQ4MAJON		1996.10 総務庁「社会生活基本調査」 1999.8 総理府「余暇時間の活用と旅行に関する世論調査」
896	娯楽の頻度：ナンバーズ・ミニロト*	FQ4NBS		
897	娯楽の頻度：宝くじ	FQ4LOTTO		2006.7 時事通信社「ギャンブルに関する世論調査」(『中央調査報』06.9) 2006, 2007, 2009, 2010 日本生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」 2010.1 日本生産性本部「レジャー白書 2010」
898	娯楽の頻度：サッカーくじ ( toto )	FQ4TOTO		
899	娯楽の頻度：競馬	FQ4HORSE		1996.10 総務庁「社会生活基本調査」 2000.4 野村総研「生活者1万人アンケート調査」第2回調査 2000.12 自由時間デザイン協会「余暇活動に関する調査」
900	娯楽の頻度：公営ギャンブル	FQ4PGAM		

901	娯楽の頻度：パチンコ・パチスロ	FQ4PACHI		2006.7 時事通信社「ギャンブルに関する世論調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2006, 2007, 2009, 2010 日本生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」 2010.1 日本生産性本部「レジャー白書 2010」
902	娯楽の頻度：カラオケ	FQ4KARA		2000.4 野村総研「生活者一人アンケート調査」第2回調査 2002.12 自由時間デザイン協会「余暇活動に関する調査」 2006, 2007, 2009 日本生産性本部・余暇創研「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」
903	娯楽の頻度：釣り	FQ4FISH	HUNTFISH	1996.10 総務庁「社会生活基本調査」 1999.8 総理府「余暇時間の活用と旅行に関する世論調査」 2000.4 野村総研「生活者一人アンケート調査」第2回調査 2000.12 自由時間デザイン協会「余暇活動に関する調査」
904	娯楽の頻度：スポーツ	FQ4JOG	DOSPORTS	1996.10 総務庁「社会生活基本調査」 1999.8 総理府「余暇時間の活用と旅行に関する世論調査」 2000.12 自由時間デザイン協会「余暇活動に関する調査」 2004.2 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」
905	娯楽の頻度：ドライブ	FQ4DRIVE		2006.2 社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」(『レジャー白書』06) 2007.1 社会経済生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」(『レジャー白書』07) 2007.11 NHK 放送文化研究所「余暇とスポーツ 2007 調査」 2009.1 日本生産性本部・余暇創研「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」(柳田尚也「『レジャー白書 2009』に見る我が国の余暇の現状」『中央調査報』09.8)
906	娯楽の頻度：映画鑑賞	FQ4MOVIE	SEEFILM SEEMOVIE	2007.11 NHK 放送文化研究所「余暇とスポーツ 2007 調査」 2006, 2007, 2009 日本生産性本部・余暇創研「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」
907	娯楽の頻度：音楽鑑賞	FQ4MUSIC	GOMUSIC MUSICDIF MUSICLKE MUSICNEW POPMUSIC WWWCLASS WWWCNTRY WWWGTHIC WWWJAZZ WWWOLDIE WWWRAP WWWRELIG WWWROCK WWWORLD	2006, 2007, 2009 日本生産性本部・余暇創研「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」
908	娯楽の頻度：テレビゲーム	FQ4GAME	GAME12 GAMEGN GAMES30	2007.11 NHK 放送文化研究所「余暇とスポーツ 2007 調査」 2006, 2007, 2009, 2010 日本生産性本部「国民の余暇意識及び余暇活動の参加の実態調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2010.1 日本生産性本部「レジャー白書 2010」
909	娯楽の頻度：園芸・庭いじり	FQ4GREEN	GARDEN	
910	カジノ合法化の賛否	OPCASINO		
911	日本にカジノができたなら行くか	WLCASINO		
912	宝くじ：購入頻度(回数/年)	FQLOT		
913	宝くじ：平均購入額	SZLOT		
914	サッカーくじ：購入頻度(回数/年)	FQTOTO		
915	サッカーくじ：平均購入額	SZTOTO		
916	公営ギャンブル：頻度(回数/年)	FQRACE		

917	公営ギャンブル：平均レース数/1日	NUMRACE		
918	公営ギャンブル：1レースの賭け額	SZRACE		
919	パチンコ・パチスロ：プレイ頻度（回/年）	FQPACHI		
920	パチンコ・パチスロ：1日に使う上限金額	SZPACHI		
921	定期的に行なうスポーツ：頻度	FQSPORT	DOSPORTS GRPSPORT	2003.9 朝日新聞「スポーツ」(『朝日総研』03.12) 2004, 2006, 2009 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」 2007.11 NHK 放送文化研究所「余暇とスポーツ 2007 調査」 2007.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」(『中央調査報』07.5) 2008.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」(『中央調査報』08.6)
922	スポーツの種類（具体的記述）	XXSPORT		2003.9 朝日新聞「スポーツ」 2004.2 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」
923	健康状態（本人）	OP5HLTHZ	HEALTH HEALTH1	2000.2 総理府「生活習慣病に関する世論調査」 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2004, 2006, 2009 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2008.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」 2009.2 NHK 放送文化研究所「健康に関する世論調査」
924	健康状態（本人）（EASS尺度）	OP5HLTHE	HEALTH HEALTH1	2000.2 総理府「生活習慣病に関する世論調査」 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2004, 2006, 2009 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2008.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」 2009.2 NHK 放送文化研究所「健康に関する世論調査」
925	健康状態（配偶者）	SS5HLTHZ		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査研究会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査研究会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
926	症状の有無：アトピー性皮膚炎（本人）*	HAATOPI		2003.6 厚生労働省「平成15年保健福祉動向調査」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
927	症状の有無：花粉症（本人）*	HAKAFUN		1998 馬場廣太郎「全国耳鼻科医家族調査」 2001.4-7 日本アレルギー協会「全国疫学調査」 2003.6 厚生労働省「平成15年保健福祉動向調査」 2005.2 朝日新聞「定例RDD調査「花粉症」」(中村純「花粉症は『国民病』。小泉政権『完投』期待増のナゾ」『朝日総研リポート』05.3) 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
928	症状の有無：ぜんそく（本人）*	HAZENSOK		2003.6 厚生労働省「平成15年保健福祉動向調査」 2005 厚生労働省免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「気管支喘息の有病率・罹患率およびQOLに関する全年齢階級別全国調査に関する研究」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
929	症状の有無：食物アレルギー（本人）*	HAFOOD		1997 日本薬剤師会「食物アレルギーに関する調査」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
930	症状の有無：いずれもない（本人）*	HANONE		2003.4-5 日本能率協会総合研究所「アレルギー性疾患に関する構造基本調査」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」



931	症状の有無：アトピー性皮膚炎（同居家族）*	FAATOPI		1992-1994 厚生省アレルギー総合研究事業「アレルギー疾患全国調査」 2000.9 日本小児保健協会「平成12年度幼児健康度調査」 2000-2002 厚生省免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「アトピー性皮膚炎の診断のための質問票」 2004-2005 文部科学省「アレルギー疾患に関する実態調査」（全国学校対象）
932	症状の有無：花粉症（同居家族）*	FAKAFUN		1992-1994 厚生省アレルギー総合研究事業「アレルギー疾患全国調査」 1992-1995 環境庁「窒素酸化物等健康影響継続観察調査」 2004-2005 文部科学省「アレルギー疾患に関する実態調査」（全国学校対象） 2006.3 ロート製薬「子どもの花粉症調査」
933	症状の有無：ぜんそく（同居家族）*	FAZENSOK		1967-2005 文部科学省「学校保健統計調査」 1992-1994 厚生省アレルギー総合研究事業「アレルギー疾患全国調査」 1992-1995 環境庁「窒素酸化物等健康影響継続観察調査」 2000.9 日本小児保健協会「平成12年度幼児健康度調査」 1996-2002 環境省「平成8-14年度環境保健サーベイランス調査」 2004-2005 文部科学省「アレルギー疾患に関する実態調査」（全国学校対象） 2005 厚生労働省免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業「気管支喘息の有病率・罹患率およびQOLに関する全年齢階級別全国調査に関する研究」
934	症状の有無：食物アレルギー（同居家族）*	FAFOOD		1992-1994 厚生省アレルギー総合研究事業「アレルギー疾患全国調査」 1992, 1994, 1996, 1998, 2000 日本学校保健会「児童生徒の健康状態サーベイランス調査」 1997 日本薬剤師会「食物アレルギーに関する調査」 2002.1 昭和大学小児科「アレルギー疾患児における食生活の実態調査」 2004-2005 文部科学省「アレルギー疾患に関する実態調査」（全国学校対象）
935	症状の有無：いずれもない（同居家族）*	FANONE		2003.4-5 日本能率協会総合研究所「アレルギー性疾患に関する構造基本調査」
936	症状の有無：非該当（同居家族はいない）*	FANOFF		
937	介護経験（本人）	XCARE		1987.5 生命保険文化センター「老後生活と介護に関する調査」 1990.9 生命保険文化センター「高齢者の介護に関する調査」 2001.3 連合総合生活開発研究所「介護サービス実態調査」 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」（NFRJ-S01）
938	介護経験（配偶者）	SSCARE	CARESICK CARESIK1	1987.5 生命保険文化センター「老後生活と介護に関する調査」 1990.9 生命保険文化センター「高齢者の介護に関する調査」 2000.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2001 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」 2001.3 連合総合生活開発研究所「介護サービス実態調査」 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」（NFRJ-S01） 2003.7 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」
939	トラウマの回数	XTRAUM5Y	TRAUMA5	1996.7 生保センター「日本人の生活価値観」第4回調査
940	喫煙習慣	DOSMOKE	SMOKE SMOKECIG	1988.10 総理府「喫煙と健康に関する世論調査」（『日本人の酒とたばこ』89） 2008.11 厚生労働省「平成20年国民健康・栄養調査」

941	喫煙経験	DOSMOKEX	CIGWEEK EVSMOKE SMOKE SMOKECIG	2007.6 時事通信社「喫煙に関する世論調査」 (『中央調査報』07.8) 2008.6 時事通信社「喫煙に関する世論調査」 (『中央調査報』08.8) 2008.11 厚生労働省「平成20年国民健康・栄養調査」
942	禁煙努力*	XQTSMOKE	QUITSMK	1988.10 総理府「健康と喫煙問題に関する世論調査」 2007.6 時事通信社「喫煙に関する世論調査」 2008.6 時事通信社「喫煙に関する世論調査」 2008.11 厚生労働省「平成20年国民健康・栄養調査」
943	飲酒頻度*	DO7DRINK	DRINK DRINKYR EVDRINK	2003.5 時事通信社「飲酒に関する世論調査」 (『中央調査報』03.6)
944	通院頻度	FQHSPLZ	(GODOC) (HLTH1) (HLTH10) (HOSDIS5)	2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」 2009.2 NHK放送文化研究所「健康に関する世論調査」
945	通院を控えた経験	DORFHSP	(HRDSHP5)	2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」
946	通院を控えた理由:待ち時間が長い	RHPTLNG		2007.2 日本福祉大学「AGES(愛知老年学的評価研究)2006」
947	通院を控えた理由:費用がかかる	RHPCTM	(HRDSHP5) (HRDSHP6)	
948	通院を控えた理由:病院が近くにない	RHPNHN		
949	通院を控えた理由:どの病院に行ったらよいかわからない	RHPDKWG		
950	通院を控えた理由:交通手段がない	RHPHNTP		
951	通院を控えた理由:病院に行くのは好きではない	RHPDLSLSD		
952	通院を控えた理由:忙しくて時間がない	RHPNTSD		
953	通院を控えた理由:病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した	RHPTNNG		
954	通院を控えた理由:その他	RHPOTHR		
955	健康診断:職場や学校の健康診断	HLCWRKSL		2004.6 厚生労働省「平成16年国民生活基礎調査」 2007.6 厚生労働省「平成19年国民生活基礎調査」 2008.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」(『中央調査報』08.6) 2009.2 NHK放送文化研究所「健康に関する世論調査」
956	健康診断:自治体の健康診断・検診	HLCLGV		2004.6 厚生労働省「平成16年国民生活基礎調査」 2007.6 厚生労働省「平成19年国民生活基礎調査」 2009.2 NHK放送文化研究所「健康に関する世論調査」
957	健康診断:その他に個人的に受けている	HLCOTHR		2004.6 厚生労働省「平成16年国民生活基礎調査」 2007.6 厚生労働省「平成19年国民生活基礎調査」
958	健康診断:どれも受けていない	HLCNONE		2004.6 厚生労働省「平成16年国民生活基礎調査」 2007.6 厚生労働省「平成19年国民生活基礎調査」 2008.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」 2009.2 NHK放送文化研究所「健康に関する世論調査」
959	医療を受けられない不安	WRNBLHC	DOC13 (DIFFCARE) (TERMECON) (TERMPAY)	2007.2 日本医療政策機構「医療政策に関する2007年世論調査」
960	救急医療体制への不安	AXSEMCC		
961	耽溺行動:飲酒	ADALC	(DRUNK) (HLTH4)	
962	耽溺行動:喫煙	ADSMOKE		2010.9 日本たばこ産業「喫煙率調査」(『毎日新聞』10.9/27)
963	耽溺行動:ギャンブル	ADGMBL		
964	耽溺行動:ゲーム	ADGAME		

965	同居家族の耽溺行動：飲酒	ADFALC	(HLTH8)	
966	同居家族の耽溺行動：喫煙	ADFSMOKE		
967	同居家族の耽溺行動：ギャンブル	ADFGMBL		
968	同居家族の耽溺行動：ゲーム	ADFGAME		
969	人間観（一般）：他人を利用する	OP3UTILS	ADVANTAGE BEFAIR EXPLOIT FAIR FAIR5	1998 統数研「日本人の国民性」第10次全国調査
970	人間観（一般）：人は信用できる	OP3TRUST	CANTRUST TRUST TRUSTY	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2010.3 内閣府「国民生活選好度調査」
971	人間観（一般）：人間の本性	OP7GDEVO	WORLD4	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査
972	組織への信頼：大企業	TR3CORPZ	CONBIZ CONBUS CONBUSY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」（『中央調査報』07.9） 2008.8 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」（『中央調査報』08.10） 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」（『中央調査報』10.4）
973	組織への信頼：宗教団体	TR3RLGPZ	CONCHURH CONCLERG CONCLERY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」（『朝日総研レポート』08.5）
974	組織への信頼：学校	TR3SCHLZ	CONEDUC CONEDUCY CONSCHLS	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.2 読売新聞「教育」（『日本の世論』） 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2008.8 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
975	組織への信頼：中央官庁	TR3BCRAZ	CONFED CONFEDY CONGOVT FEDTRUST	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2 + CSES3 パネル調査」 2008.8 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」

976	組織への信頼：労働組合	TR3UNNZ	CONLABOR CONLABOY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」
977	組織への信頼：新聞	TR3NWSMZ	CONPRESS CONPRESY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.9 読売新聞「メディア」(『日本の世論』) 2002.11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」(横山滋・米倉律「同居する『信頼』と『批判』」『放送研究と調査』03.3) 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2002.12 朝日新聞「第25 回定期国民意識調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2008.8 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
978	組織への信頼：病院	TR3HSPLZ	CONMEDIC CONMEDIY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2001.9 読売新聞「社会保障」(『日本の世論』) 2002.1 NHK 放送文化研究所「科学技術・生命倫理に関する世論調査」 2002.3 朝日新聞「医療」(朝日新聞総合研究センター『朝日総研レポート』02.6) 2002.12 朝日新聞「第25 回定期国民意識調査」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2008.8 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
979	組織への信頼：テレビ	TR3TVZ	CONTV CONTVY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.9 読売新聞「メディア」(『日本の世論』) 2002.11 NHK 放送文化研究所「日本人のマス・メディアに関する意識調査」 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2008.8 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
980	組織への信頼：裁判所	TR3SPCAZ	CONCOURT CONJUDGE CONJUDGY	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2 + CSES3 パネル調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2008.8 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008.12 朝日新聞「定期国民意識調査「あなたと法律・裁判」」(『ジャーナリズム』09.2) 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」

981	組織への信頼：学者・研究者	TR3ACDAZ	CONSCI CONSCIY TRSTPROF	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」
982	組織への信頼：国会議員	TR3CGMNZ	CONCONG CONLEGIS CONLEGIY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.5 読売新聞「政治意識」(『日本の世論』) 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2002.12 朝日新聞「第25 回定期国民意識調査」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008.8 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2009.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
983	組織への信頼：市区町村議会議員	TR3CITYZ	LOCCARE LOCTRUST	1999.3 読売新聞「地域住民意識」(『日本の世論』)
984	組織への信頼：自衛隊	TR3DEFZ	CONARMY CONARMYY	2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2006.2 内閣府「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008.8 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2009.1 内閣府「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
985	組織への信頼：警察	TR3COPZ		2000.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」第2回調査 2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2000.11 読売新聞「治安」(『日本の世論』) 2001.12 朝日新聞「揺らぐ『生活の安全』」(『朝日総研レポート』02.4) 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2002.12 朝日新聞「第25 回定期国民意識調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2007.7 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2008.8 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」 2008.12 朝日新聞「定期国民意識調査「あなたと法律・裁判」」 2009.12 中央調査社「議員・官僚・大企業・警察等の信頼感調査」
986	組織への信頼：金融機関	TR3FINZ	CONFINAN CONFINAY	
987	組織への所属：政治団体	MEMPLTGP	GRPPARTY GRPPOL MEMPOLIT TYPPOLIT	2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジア・バロメータ」2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2007.8 池田謙一「アジアバロメータ2 + CSES3 パネル調査」 2009 JESIV「2009 年調査(選挙後調査)」

988	組織への所属：業界団体	MEMIND	GRPJUNION GRPWORK MEMFARM MEMPROF TYPFARM TYPPROF	2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジア・バロメータ」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2007.8 池田謙一「アジアバロメータ-2 + CSES3 パネル調査」 2009 JESIV「2009年調査(選挙後調査)」
989	組織への所属：ボランティアのグループ	MEMVLNTR	GRPCHRTY MEMSERV TYPSEV	2000 経企庁「国民生活選好度調査」 2000 NES2000post 2000.1 JED「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」(河野啓「市民意識・社会参加・政治への信頼」『放送研究と調査』03.4) 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジア・バロメータ」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2006.10 総務省第7回「社会生活基本調査」 2007.8 池田謙一「アジアバロメータ-2 + CSES3 パネル調査」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査 2009 JESIV「2009年調査(選挙後調査)」 2010.3 内閣府「国民生活選好度調査」
990	組織への所属：市民運動のグループ	MEMCIVIL	FEJOIN GRNGROUP MEMNAT RACJOIN	2000 NES2000post 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2002 NES2002post 2002.11 NHK 放送文化研究所「転換期の政治意識・2002 調査」 2002.1-2 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジア・バロメータ」 2007.8 池田謙一「アジアバロメータ-2 + CSES3 パネル調査」 2009 JESIV「2009年調査(選挙後調査)」
991	組織への所属：宗教の団体や会	MEMRL	CHURCHMEN CHURCHTX GRPCHURH GRPRELIG MEMCHURH TYPCHURCH	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2007.8 池田謙一「アジアバロメータ-2 + CSES3 パネル調査」 2009 JESIV「2009年調査(選挙後調査)」
992	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ	MEMSPORT	GRPSPORT GRPSPTS MEMSPORT TYPSPORT	2000, 2006, 2009 内閣府「体力とスポーツに関する世論調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」
993	組織への所属：スポーツ関係のグループやクラブ(具体的記述)	XXMEMSP		2004.2 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」
994	組織への所属：趣味の会	MEMHOBBY	GRPSPORT MEMHOBBY MEMLIT TYPHOBBY TYPLIT	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2007.8 池田謙一「アジアバロメータ-2 + CSES3 パネル調査」 2009 JESIV「2009年調査(選挙後調査)」
995	組織への所属：趣味の会(具体的記述)*	XXMEMHOB		
996	組織への所属：生協	MEMCOOP		2007.8 池田謙一「アジアバロメータ-2 + CSES3 パネル調査」 2009 JESIV「2009年調査(選挙後調査)」



1002	不定期なボランティア：活動量（合計日数/年）	SZVLIRRG	HRSART HRSEUC HRSENVIR HRSEFOUND HRSHLTH HRSHUMAN HRSINFRM HRSINTL HRSOTH HRSPOL HRSPUB HRSREC HRSRELIG HRSWORK HRSYOUTH VOLCHRTY	2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」
1003	ボランティア団体への支援：寄付・募金*	XVLDONAT	FEGIVE GIVART GIVCHRTY GIVEARTS GIVECONG GIVEDUC GIVENVIR GIVEOTH GIVEREL GIVFOUND GIVHLTH GIVHMLSS GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH GRNMONEY RACGIVE TITHING	
1004	ボランティア団体への支援：ボランティア貯金・寄付金つきクレジットカードの利用*	XVLCARD	GIVART GIVEDUC GIVENVIR GIVFOUND	
1005	ボランティア団体への支援：寄付金つき切手・はがき・ユニセフカードなどの購入*	XVLSTAMP	GIVHLTH GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL	
1006	ボランティア団体への支援：古着や毛布などの寄贈*	XVLUSED	GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC	
1007	ボランティア団体への支援：バザーへの出品*	XVLBAZZR	GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH	
1008	ボランティア団体への支援：献血*	XVLBLOOD	GIVBLOOD	



1009	ボランティア団体への支援：その他*	XVLETC	GIVART GIVEDUC	
1010	ボランティア団体への支援：清掃・環境*	XVLENV	GIVENVIR GIVFOUND GIVHLTH	
1011	ボランティア団体への支援：介護・福祉*	XVLWLF	GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL	
1012	ボランティア団体への支援：文化的奉仕*	XVLCUL	GIVOTH GIVPOL GIVPUB	
1013	ボランティア団体への支援：労働奉仕*	XVLLABOR	GIVREC GIVRELIG GIVWORK	
1014	ボランティア団体への支援：指導*	XVLTEACH	GIVYOUTH	
1015	ボランティア活動への参加：今後の意向	WLVLDO		
1016	定期的ボランティアの内容：環境保護・清掃	XVLRENV		2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」
1017	定期的ボランティアの内容：介護・福祉	XVLRWF		
1018	定期的ボランティアの内容：文化・芸術	XVLRUCUL		
1019	定期的ボランティアの内容：教育・技術指導	XVLRTECH		
1020	定期的ボランティアの内容：寄付金集め	XVLRDNT	FEGIVE GAVEPOL GIVART GIVCHRTY GIVEARTS GIVECHNG GIVECONG GIVEDUC GIVEGRP GIVENVIR GIVEOTH GIVEREL GIVFOUND GIVHLTH GIVHMLSS GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH GRNMONEY PARTTHON POLFUNDS RACGIVE TITHING	
1021	定期的ボランティアの内容：その他	XVLRROTHR		2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」
1022	不定期なボランティアの内容：環境保護・清掃	XVLTENV		
1023	不定期なボランティアの内容：介護・福祉	XVLTWLF		
1024	不定期なボランティアの内容：文化・芸術	XVLTUCUL		
1025	不定期なボランティアの内容：教育・技術指導	XVLTTECH		

1026	不定期なボランティアの内容：寄付金集め	XVLTDNT	FEGIVE GAVEPOL GIVART GIVCHRTY GIVEARTS GIVECHNG GIVECONG GIVEDUC GIVEGRP GIVENVIR GIVEOTH GIVEREL GIVFOUND GIVHLTH GIVHMLSS GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH GRNMONEY PARTTHON POLFUNDS RACGIVE TITHING	
1027	不定期なボランティアの内容：その他	XVLTOTHR		2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界 価値観調査」 2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」
1028	寄付の経験：定期的な寄付	XDNTREG	FEGIVE GIVART GIVCHRTY GIVEDUC GIVENVIR GIVFOUND GIVHLTH GIVHMLSS GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH GRNMONEY RACGIVE	2000.5 経済企画庁「国民生活選好度調査」
1029	寄付の経験：募金箱に寄付	XDNTBOX	GIVEDUC GIVENVIR GIVFOUND GIVHLTH GIVHMLSS GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH GRNMONEY RACGIVE	
1030	寄付の経験：学校や地域を通して	XDNTSCH	GIVEDUC GIVENVIR GIVFOUND GIVHLTH GIVHMLSS GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH GRNMONEY RACGIVE	
1031	寄付の経験：マスコミを通して	XDNTMASS	GIVEDUC GIVENVIR GIVFOUND GIVHLTH GIVHMLSS GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH GRNMONEY RACGIVE	
1032	寄付の経験：その他	XDNTOTHR	GIVEDUC GIVENVIR GIVFOUND GIVHLTH GIVHMLSS GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH GRNMONEY RACGIVE	
1033	寄付の経験：していない	XDNTNONE	GIVEDUC GIVENVIR GIVFOUND GIVHLTH GIVHMLSS GIVHUMAN GIVINFRM GIVINTL GIVOTH GIVPOL GIVPUB GIVREC GIVRELIG GIVWORK GIVYOUTH GRNMONEY RACGIVE	

1034	寄付の金額	SZDNT	GIVEARTS GIVECONG GIVEOTH GIVEREL TITHING TOTART TOTEDUC TOTENVIR TOTFOUND TOTHLTH TOTHUMAN TOTINFRM TOTINTL TOTOTH TOTPOL TOTPUB TOTREC TOTRELIG TOTWORK TOTYOUTH	2000.5 経済企画庁「国民生活選好度調査」
1035	ボランティア活動：まちづくり*	XVLIMPRT	VOLFOUND VOLPUB	2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2010.3 内閣府「国民生活選好度調査」
1036	ボランティア活動：自然や環境の保護*	XVLNTENV	VOLENVIR	
1037	ボランティア活動：安全な生活*	XVLSAFE		
1038	ボランティア活動：スポーツ・文化・芸術・学術*	XVLSPTS	VOLART VOLARTS VOLEDC VOLREC	
1039	ボランティア活動：高齢者*	XVLELD	VOLHUMAN VOLWKCHR	
1040	ボランティア活動：子ども*	XVLCC	VOLEDC VOLYOUTH	
1041	ボランティア活動：その他*	XVLOTHR	VOLHLTH VOLINFRM VOLINTL VOLOTH VOLPOL VOLRELIG VOLWORK	
1042	ボランティア活動：いずれも行っていない*	XVLNONE		
1043	ボランティア活動：障害者*	XVLDISAB		
1044	地域活動：清掃活動	LACLN		
1045	地域活動：リサイクル品の回収	LARCYC	(RECYCLE)	
1046	地域活動：パトロール	LAPTRL		2004.10 社会安全研究財団「社会生活における不安感に関するアンケート」
1047	地域活動：いずれも行なわれていない	LANONE		
1048	地域活動：わからない	LADK		
1049	地域活動への参加：清掃活動	DOLACLN		1995.11 連合総合生活開発研究所「ボランティア活動についてのアンケート調査」 2005.8 内閣府（国民生活局）「NPO（民間非営利組織）に関する世論調査」
1050	地域活動への参加：リサイクル品の回収	DOLARCYC		
1051	地域活動への参加：パトロール	DOLAPTRL		2004.10 社会安全研究財団「社会生活における不安感に関するアンケート」
1052	地域活動への参加：いずれも参加していない	DOLANONE		
1053	現在の居住地域への愛着	LKLOCAL	SATCITY CLSENEI CLSETOWN CLSESTAT	1975 三宅一郎「地域社会に関する世論調査」 1997.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」
1054	現在の居住地域への居住年数	XLIVEYR	COMYEAR LIVECOM LIVECOM1 LOCLIVED	1975 三宅一郎「地域社会に関する世論調査」 1997.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」 2008.2 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」 2010.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」

1055	現在の居住地域に住み続けたいか*	WLLIVE	MOVENEI MOVENOAM MOVESTAT MOVETOWN MOVEUSA	1975 三宅一郎「地域社会に関する世論調査」 1997.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」
1056	高齢期に重要な活動：仕事	IMOAWORK		1993 早稲田大学人間科学部人間総合研究センター「高齢者の生活の質に関する調査」 1999 ライフデザイン研究所「今後の生活に関するアンケート」 2000 高年齢者雇用開発協会「超高齢社会の雇用・就業の展開に関するアンケート調査」 2000 京都市保健福祉局「京都市高齢者問題に関する市民意識調査」 2002 高年齢者雇用開発協会「定年到達者等の仕事と生活に関するアンケート調査」 2003 生命保険文化センター「生活設計と金融・保険に関する調査（中年独身層）」 2003 生命保険文化センター「長寿時代の生活設計」 2005.9 内閣府「高齢社会対策に関する特別世論調査」
1057	高齢期に重要な活動：地域活動	IMOACOM		
1058	高齢期に重要な活動：文化・スポーツサークル	IMOACRCL		
1059	高齢期に重要な活動：ボランティア	IMOAVLTR		
1060	高齢期に重要な活動：娯楽・レジャー	IMOALSR		
1061	高齢期に重要な活動：読書・学習・研究	IMOALRN		
1062	高齢期に重要な活動：家族・親族との時間	IMOAFF		
1063	高齢期に重要な活動：友人との時間	IMOAFRI		
1064	高齢期に重要な活動：一人の時間	IMOAAALON		
1065	高齢期に重要な関係：配偶者	IMORSS		
1066	高齢期に重要な関係：子ども	IMORCC		
1067	高齢期に重要な関係：きょうだい	IMORSIB		
1068	高齢期に重要な関係：孫	IMORCCG		
1069	高齢期に重要な関係：親	IMORPAR		
1070	高齢期に重要な関係：仕事関係の友人	IMORFRWK		
1071	高齢期に重要な関係：学校時代の友人	IMORFRSC		
1072	高齢期に重要な関係：団体・サークルの友人	IMORFRCC		
1073	高齢期に重要な関係：近所の人	IMORCOM		
1074	高齢期に重要な関係：ペット	IMORPET		
1075	セックスの頻度	FQ7SEX	SEXFREQ	1999.11 NHK 放送文化研究所・教養番組制作部「性についての実態調査」（NHK「日本人の性」プロジェクト編『データブック NHK 日本人の性行動・性意識』02）
1076	婚外交渉について	Q4ADLTRY	XMARSEX XMARSEX1	2000.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2001.1 読売新聞「結婚観」（『日本の世論』） 2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2008.6 NHK 放送文化研究所第8回「日本人の意識調査・2008」
1077	10代の売春について	Q4PROS19		1997.7 総理府「人権擁護に関する世論調査」 1997.9 総理府「男女共同参画社会に関する世論調査」 1998.4 総理府「青少年の非行など問題行動に関する世論調査」
1078	同性愛について	Q4HOMSEA	HOMOSEX HOMOSEX1	1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」
1079	ポルノ：社会道徳	OPPORNK	PORNMORL	2000.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
1080	ポルノ：規制について	Q3PORNNNO	PORNLAWS	
1081	少年法改正の賛否	OP3JVLWY		2005.1 内閣府「少年非行等に関する世論調査」 2008.12 朝日新聞「定例 RDD 調査」（『ジャーナリズム』09.1）
1082	死刑制度の賛否	Q2DTHPY	CAPPUN CAPPUN2 DEATHPEN	2004, 2009 内閣府「基本的法制度に関する世論調査」 2008.2 朝日新聞「政治・社会意識基本調査」 2008.12 朝日新聞「定期国民意識調査（あなたと法律・裁判）」 2009.12 内閣府「基本的法制度に関する世論調査」
1083	最近の判決について	OP5JUDGE	COURTS COURTSY	2000.11 読売新聞「司法」（『日本の世論』）
1084	裁判員制度：制度への賛否	OPCJSYS		2004.8 中央調査報「裁判員制度に関する世論調査」 2008 NHK 放送文化研究所「裁判員制度に関する世論調査」 2009.4 読売新聞「裁判員制度」 2010.5 NHK 放送文化研究所「裁判員制度に関する世論調査」

1085	裁判員制度：死刑をためらう	OPCJDTH		2009.4 読売新聞「裁判員制度」 2010.3 読売新聞「裁判員制度に関する全国世論調査」
1086	憲法 9 条改正への意見	OPAMND9		2005.1 NHK 放送文化研究所「憲法と司法制度に関する世論調査」 2006.3 読売新聞「憲法」 2006.4 朝日新聞「戦争責任に関する意識調査」 2007.4 朝日新聞「憲法調査」(『朝日総研リポート』07.6)
1087	憲法 9 条改正の理由	WHYAMND9		2005.1 NHK 放送文化研究所「憲法と司法制度に関する世論調査」 2006.3 読売新聞「憲法」 2007.4 朝日新聞「憲法調査」
1088	暴行を受けた経験	XBEATEN	HIT	1996.7 生保センター「日本人の生活価値観」第 4 回調査
1089	暴行を受けた時期	WHENBEAT	HITAGE	
1090	暴行の加害者	WHOMBPEAT		
1091	親による体罰の賛否	Q5PMSPNK	SPANKING	1995.6 経企庁「国民生活選好度調査」
1092	教師による体罰の賛否	Q5TTSPNK		
1093	子どもの時の暴行被害経験	XPBCL	HITAGE (HIT)	1982, 1987, 1992, 2002 NHK 放送文化研究所「中学生・高校生の意識に関する調査」 2002.10 内閣府男女共同参画局「配偶者等からの暴力に関する調査」
1094	子どもの時の暴行加害者：親	XPBCLPA		1982, 1987, 1992, 2002 NHK 放送文化研究所「中学生・高校生の意識に関する調査」
1095	子どもの時の暴行加害者：きょうだい	XPBCLBS		
1096	子どもの時の暴行加害者：その他の家族・親族	XPBCLFM		
1097	子どもの時の暴行加害者：先生	XPBCLTA		1982, 1987, 1992, 2002 NHK 放送文化研究所「中学生・高校生の意識に関する調査」
1098	子どもの時の暴行加害者：友人	XPBCLFD		
1099	子どもの時の暴行加害者：その他の知人	XPBCLAQ		
1100	子どもの時の暴行加害者：知らない人	XPBCLST		
1101	大人になってからの暴行被害経験	XPBAD	HITAGE (HIT)	2002.10 内閣府男女共同参画局「配偶者等からの暴力に関する調査」 1999, 2002, 2005, 2008 内閣府男女共同参画局「男女間における暴力に関する調査」
1102	大人になってからの暴行加害者：親	XPBADPA		
1103	大人になってからの暴行加害者：配偶者・恋人	XPBADSP		1999, 2002, 2005, 2008 内閣府男女共同参画局「男女間における暴力に関する調査」
1104	大人になってからの暴行加害者：子ども	XPBADCC		
1105	大人になってからの暴行加害者：その他の家族・親族	XPBADFM		
1106	大人になってからの暴行加害者：職場の上司	XPBADSV		
1107	大人になってからの暴行加害者：職場の同僚や部下	XPBADCW		
1108	大人になってからの暴行加害者：その他の知人・友人	XPBADFA		
1109	大人になってからの暴行加害者：知らない人	XPBADST		
1110	言葉の暴力の被害経験	XSCYP		
1111	言葉の暴力の加害者：親	XSCYPPA		
1112	言葉の暴力の加害者：配偶者・恋人	XSCYPSP		
1113	言葉の暴力の加害者：子ども	XSCYPC		
1114	言葉の暴力の加害者：その他の家族・親族	XSCYPFM		
1115	言葉の暴力の加害者：職場の上司	XSCYPSV		
1116	言葉の暴力の加害者：職場の同僚や部下	XSCYPCW		
1117	言葉の暴力の加害者：その他の知人・友人	XSCYPFA		
1118	言葉の暴力の加害者：知らない人	XSCYPST		
1119	自宅周辺の危険な場所の有無	FEARWALK	FEAR	2002.10 内閣府「国民生活選好調査」 2004.1 朝日新聞「定期国民意識調査」(永島学「広がる犯罪への不安」『朝日総研リポート』04.4) 2004, 2006 内閣府「治安に関する世論調査」
1120	空き巣被害経験	XSTOLN1Y	BURGLR LAW3	2000.9 内閣府「犯罪被害者に関する世論調査」 2004.1 朝日新聞「定期国民意識調査」 2004, 2006 内閣府「治安に関する世論調査」

1121	強盗等の被害経験	XROBBD1Y	LAW1 ROBBRY	2000.9 内閣府「犯罪被害者に関する世論調査」 2004, 2006 内閣府「治安に関する世論調査」
1122	防犯対策：警備会社と契約*	DOACSECC		2003.12 富士総合研究所・イオンビズティー「治安および自宅の防犯に関する生活者の実態と意識」
1123	防犯対策：監視カメラを設置*	DOACCAM		2003.9 杉並区「監視（防犯）カメラに関する区民意識調査」 2003.12 富士総合研究所・イオンビズティー「治安および自宅の防犯に関する生活者の実態と意識」
1124	防犯対策：防犯のために犬を飼う*	DOACDOG		
1125	防犯対策：ドアや窓の鍵に工夫*	DOACKKEY		2003.12 富士総合研究所・イオンビズティー「治安および自宅の防犯に関する生活者の実態と意識」
1126	防犯対策：その他*	DOACOTHR		
1127	防犯対策：特にしていない*	DOACNONE		
1128	防犯対策：明かりに工夫*	DOACLIT		
1129	防犯対策への意見：路上カメラ	OPACCAM		2003.9 杉並区「監視（防犯）カメラに関する区民意識調査」 2003.12 富士総合研究所・イオンビズティー「治安および自宅の防犯に関する生活者の実態と意識」
1130	防犯対策への意見：性犯罪者の住所公表	OPACSEXC		
1131	防犯対策への意見：住民パトロール	OPACPTRL		2006.8 内閣府「子どもの防犯に関する特別世論調査」
1132	防犯対策への意見：インターネットの監視	OPACINET		2007.7 内閣府「第5回情報化社会と青少年に関する意識調査」
1133	万引きした子どもへの対応：本人に注意*	SLSELF		1998 ベネッセコーポレーション「モノグラフ小学生ナウ ほめられ体験・しかられ体験」
1134	万引きした子どもへの対応：家族に通知*	SLFAMILY		
1135	万引きした子どもへの対応：店に通知*	SLCLERK		
1136	万引きした子どもへの対応：学校に通知*	SLSCHL		
1137	万引きした子どもへの対応：何もしない*	SLNODO		
1138	万引きした子どもへの対応：その他*	SLETC		
1139	近所のコンビニの利用	FQCONVI		1997.4 野村総研「生活者一万人アンケート調査」
1140	少年犯罪の原因への意見：心理状態	OPJVMNTL		
1141	少年犯罪の原因への意見：家庭環境	OPJVFF		
1142	少年犯罪の原因への意見：学校での生活環境	OPJVSCHL		
1143	少年犯罪の原因への意見：法律制度	OPJVLAW		
1144	少年犯罪の原因への意見：経済的な格差	OPJVECN		
1145	外国人増加の賛否*	QFNRRINCR	ETHCHNG LETIN LETIN1 LETINASN LETINEUR LETINHSP (EXCLDIMM)	2000.11 内閣府「外国人労働者問題に関する世論調査」 2004.5 内閣府「外国人労働者の受け入れに関する世論調査」 2005.8 大阪市立大学大学院文学研究科都市文化研究センター「多文化共生に関する都市実態調査」研究会「ともに生きる住みよい町づくりアンケート」
1146	外国人との付き合い：挨拶*	XFNHLLLO		2000.11 内閣府「外国人労働者問題に関する世論調査」 2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2004.5 内閣府「外国人労働者の受け入れに関する世論調査」
1147	外国人との付き合い：職場*	XFNWORK		
1148	外国人との付き合い：学校*	XFNSTDY	(ASNSCHL) (BLKSCHL) (HISPSHL) (JEWSSCHL) (WHISCHL)	
1149	外国人との付き合い：地域活動*	XFNACT		
1150	外国人との付き合い：食事招待*	XFNMEAL	(RACHOME)	
1151	外国人との付き合い：宿泊招待*	XFNSTAY		
1152	外国人との付き合い：親族の婚姻*	FFXFNMGM	(ASNREL) (BLKREL) (HISPREL) (JEWREL) (WHTREL)	2000.11 内閣府「外国人労働者問題に関する世論調査」 2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2004.5 内閣府「外国人労働者の受け入れに関する世論調査」

1153	外国人とのつき合い(経験):職場*	XFNWORKX	(ASNWRK) (BLKWRK) (HISPWRK) (JEWSWRK) (WHTWRK)	2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2003.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『ナショナル・アイデンティティ(国への帰属意識)』」
1154	外国人とのつき合い(経験):学校*	XFNSTDYX	(ASNSCHL) (BLKSCHL) (HISPSCHL) (JEWSSCHL) (WHTSCHL)	
1155	外国人とのつき合い(経験):友人*	XFNASSOX	(ASNCLS) (BLKCLS) (HISPCLS) (JEWSCLS) (RACHOME) (WHTCLS)	
1156	外国人とのつき合い(経験):親族の婚姻*	XFNMGX	(ASNREL) (BLKREL) (HISPREL) (JEWREL) (WHTREL)	
1157	外国人とのつき合い(経験):挨拶*	XFNHLLSX		
1158	外国人とのつき合い(経験):国際交流の活動*	XFNCLUBX		
1159	外国人とのつき合い(経験):サークル・地域活動*	XFNETCX		
1160	外国人とのつき合い(経験):つき合いはない*	XFNONE	(ASNCOM) (BLKCOM) (HISPCOM) (JEWSCOM) (KNWASN) (KNWBK) (KNWHISP) (KNWJEW) (KNWWHT) (RACLIVE) (WHTCOM)	
1161	外国人に近所で会う機会	FQ4FNR	(ASNCOM) (BLKCOM) (HISPCOM) (JEWSCOM) (RACCLOS) (RACLIVE) (WHTCOM)	
1162	外国人増加の影響:外国語を学ぶ機会*	FNLANG		2003.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『ナショナル・アイデンティティ(国への帰属意識)』」
1163	外国人増加の影響:外国の文化に触れる*	FNCULT	IMMIDEAS IMMNEW	
1164	外国人増加の影響:日本文化がそこなわれる*	FNJCUL		
1165	外国人増加の影響:単一性の喪失*	FNUNIQ	(IMMUNITE)	
1166	外国人増加の影響:社会の多様化*	FNVARTY		
1167	外国人増加の影響:地域性の喪失*	FNLOCAL		
1168	外国人増加の影響:過疎地の活性化*	FNLOPOP		
1169	外国人増加の影響:偏見が強くなる*	FNPREDN	IMMIDEAS	
1170	外国人増加の影響:偏見が弱くなる*	FNPREDN	IMMNEW	
1171	外国人増加の影響:国際平和*	FNPEACE		
1172	外国人増加の影響:国際情勢への関心が高まる*	FNINTNL		
1173	外国人増加の影響:治安の悪化*	FNSAFE	IMMCRIME IMMCRMUP	
1174	外国人増加の影響:労働力の補充*	FNWORK		
1175	外国人増加の影響:雇用機会の減少*	FNWKCHN	IMMJOBS IMMNOJOB IMMUNEMP RIMMDISC	

1176	外国人増加の影響：税負担の増加*	FNTAXUP		2003.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『ナショナル・アイデンティティ（国への帰属意識）』」
1177	外国人増加の影響：影響はない*	FNNONE		
1178	外国人増加の影響：わからない*	FNNOKNOW		
1179	外国人増加の影響：その他*	FNETC	IMMECON	
1180	外国の好感度：韓国	FAVFKOR		2004.10 内閣府「外交に関する世論調査」 2005.4-10 時事通信社「時事世論調査」 2006.10 内閣府「外交に関する世論調査」
1181	外国の好感度：北朝鮮	FAVFPK		2005.4-10 時事通信社「時事世論調査」
1182	外国の好感度：中国	FAVFCHN	CHINA	2004.6 内閣府「外交に関する世論調査」 2005.4-10 時事通信社「時事世論調査」 2006.10 内閣府「外交に関する世論調査」
1183	外国の好感度：モンゴル	FAVFMNG		
1184	外国の好感度：台湾	FAVFTWN		
1185	外国の好感度：フィリピン	FAVFPHL		
1186	外国の好感度：タイ	FAVFTHA		2004.6 内閣府「外交に関する世論調査」 2006.10 内閣府「外交に関する世論調査」
1187	外国の好感度：インドネシア	FAVFIN		2006.10 内閣府「外交に関する世論調査」
1188	外国の好感度：インド	FAVIND		2004.6 内閣府「外交に関する世論調査」 2005.4-10 時事通信社「時事世論調査」 2006.10 内閣府「外交に関する世論調査」
1189	外国の好感度：ロシア	FAVFRUS	RUSSIA	
1190	外国の好感度：アメリカ	FAVFUSA		
1191	開発援助：援助は不可欠	OPADVITL		
1192	開発援助：援助は義務	OPADOBL		
1193	開発援助：財政状況に応じて減らすべき	OPADFIN		
1194	開発援助：日本人への説明が不十分	OPADEXP		
1195	開発援助：現地人への伝達が不十分	OPADINFO		
1196	開発援助：外交に応じて調整すべき	OPADDIPL		
1197	開発国支援の経験：募金	XADDONAT		
1198	開発国支援の経験：ボランティア	XADVOL		
1199	外国との取り引き：外国から輸入している	INTDIMP		2004.12 商工総合研究所「経済のグローバル化の中小企業経営への影響実態調査」
1200	外国との取り引き：外国に輸出している	INTDEXP		
1201	外国との取り引き：外国で生産している	INTDPRD		
1202	外国との取り引き：外国とのやり取りは何もない	INTDNEX		
1203	英会話のレベル	ENGTALK	SPKLANG SPKLANGW	1987.11 内閣府「海外旅行に関する世論調査」 2003.1 内閣府「若年層の意識実態調査」 2000.12 リクルートワークス研究所「ワーキングパーソン 2000」
1204	英語読解力のレベル	ENGREAD		2003.1 内閣府「若年層の意識実態調査」
1205	英語の使用：ほとんど使う機会はない*	EUNO	USELANG	
1206	英語の使用：仕事で時々使う*	EUTOKI		
1207	英語の使用：仕事でよく使う*	EUYOKU		
1208	英語の使用：外国人の友人や知人との付き合いで*	EUFRIEND		
1209	英語の使用：家族とのコミュニケーションに*	EUFAMILY		
1210	英語の使用：趣味・娯楽・海外旅行で*	EUHOBBY		
1211	英語の使用：その他*	EUETC		
1212	英語の使用：学校や資格取得で使う*	EUCLASS		
1213	英語の使用：子ども（孫）に教える*	EUKIDS		
1214	過去1年間の英語使用：仕事*	EABUS		2000.12 リクルートワークス研究所「ワーキングパーソン 2000」
1215	過去1年間の英語使用：付き合い*	EASOC		
1216	過去1年間の英語使用：映画鑑賞・音楽鑑賞・読書*	EAART		
1217	過去1年間の英語使用：インターネット*	EAINET		
1218	過去1年間の英語使用：海外旅行*	EATRIP		
1219	過去1年間の英語使用：その他*	EAOTHER		
1220	過去1年間の英語使用：まったく使ったことがない*	EANONE		
1221	過去1年間の英語使用：学習*	EALearn		1993.2 内閣府「生涯学習に関する世論調査」 1999.12 内閣府「生涯学習に関する世論調査」 2001.10 総務省「社会生活基本調査」 2005.5 内閣府「生涯学習に関する世論調査」 2006.10 総務省「社会生活基本調査」
1222	英語学習・経験：英会話学校や文化教室*	XECLASS		
1223	英語学習・経験：英会話サークル*	XECIRCLE		



1224	英語学習・経験：テレビやラジオの番組やニュース*	XEMEDIA		
1225	英語学習・経験：英語教材で自習*	XESELF		
1226	英語学習・経験：社内研修*	XESHANAI		
1227	英語学習・経験：海外旅行*	XEOSTRIP		
1228	英語学習・経験：海外留学や海外研修*	XEOSSTDY		
1229	英語学習・経験：海外勤務や居住*	XEOSJOB		
1230	英語学習・経験：外国人の友人や知人との付き合い*	XEFRIEND		
1231	英語学習・経験：いずれも経験はない*	XENONE		
1232	学校外の英語学習の経験	XLRNENG		1997.9 国立教育会館社会教育研修所「成人教育に関する国際比較調査」 2003.9 朝日新聞「語学学校やサークルに通ったことがあるか？」 2003.12 経済産業省「特定サービス産業実態調査」
1233	英語の学習意欲	WLRNENG		1982.1 総理府「教育に関する世論調査」 2002.3 学習意欲研究会「学習意欲に関する調査」
1234	英語学習の理由：卒業・進級*	ELGRADE		2002.4 読売新聞「読売全国世論調査」
1235	英語学習の理由：就職・転職*	ELGETJOB		
1236	英語学習の理由：仕事*	ELTASK		2001.4 産業能率大学「2001年度の新入社員に見る外国経験とグローバル意識調査」 2002.4 読売新聞「読売全国世論調査」
1237	英語学習の理由：資格*	ELQUALF		2002.4 読売新聞「読売全国世論調査」
1238	英語学習の理由：昇進・昇格*	ELPROMO		
1239	英語学習の理由：楽しい*	ELENJOY		
1240	英語学習の理由：米英が好き*	ELWEST		
1241	英語学習の理由：視野を広めたい*	ELVISION		
1242	英語学習の理由：学習が好き*	ELNEW		
1243	英語学習の理由：海外旅行*	ELTRAVL		1991 文部省「教育の国際交流に関する実態調査」 2002.4 読売新聞「読売全国世論調査」
1244	英語学習の理由：子どもの教育*	ELCHILD		
1245	英語学習の理由：インターネット*	ELINET		2002.4 読売新聞「読売全国世論調査」 2002.4 内閣府政府広報室「今後の大学教育の在り方」
1246	英語学習の理由：ニュース・映画*	ELMOVIE		
1247	英語学習の理由：その他*	ELETC		
1248	興味がある外国語*	INTFLANG		
1249	仕事での英語の必要性	OPEUWK		1986.10 内閣府「外交に関する世論調査」 1996.12 内閣府「社会意識に関する世論調査」 2000.12 内閣府「社会意識に関する世論調査」
1250	趣味や人づきあいで英語の必要性	OPEUSOC		
1251	英語教育の開始学年への意見	OPTEED	TWOLANG (BILINGED) (FORLANG) (NOBILING)	2006.9 Benesse 教育研究開発センター「第1回小学校英語に関する基本調査(保護者調査)」
1252	中学校以前の英語教育経験	XEEBJH	(GETLANG)	
1253	ペットの有無	DOPET		2000.6 総理府「動物愛護に関する世論調査」 2003.6-7 内閣府「動物愛護に関する世論調査」
1254	ペットの種類：犬(室外で)*	DODOGE		2002.2 時事通信社「ペットに関する意識調査」(『中央調査報』02.4) 2003.12 内閣府「動物愛護に関する世論調査」 1994-2006 ペットフード工業会「犬猫飼育率全国調査」 2007.3 時事通信社「ペットに関する意識調査」(『中央調査報』07.6)
1255	ペットの種類：犬(室内で)*	DODOGI		
1256	ペットの種類：猫*	DOCAT		2000.6 総理府「動物愛護に関する世論調査」 2003.6-7 内閣府「動物愛護に関する世論調査」
1257	ペットの種類：小型ほ乳類*	DOMAMMAL		
1258	ペットの種類：鳥類*	DOBIRDA		
1259	ペットの種類：魚類*	DOFISHA		
1260	ペットの種類：両生類/は虫類*	DOREPTL		
1261	ペットの種類：昆虫類*	DOINSECT		
1262	ペットの種類：その他*	DOOTHER		

1263	ペットの存在：なごませしてくれる	PT4RELA		2000.6 総理府「動物愛護に関する世論調査」 2003.6-7 内閣府「動物愛護に関する世論調査」
1264	ペットの存在：はりあいを与えてくれる	PT4WORTH		
1265	ペットの存在：癒してくれる	PT4ALONA		
1266	ペットの存在：規則正しい生活ができる	PT4REGUA		
1267	ペットの存在：自分を必要としてくれる	PT4NEEDA		
1268	ペットの存在：コミュニケーションに役立つ	PT4FFCOA		
1269	ペットの存在：生きがいである	PT4BEINA		
1270	ペットの存在：人間関係が広がる	PT4NETWA		
1271	ペットと過ごす時間	PTCARE		
1272	ペットと過ごす時間（時間）	PTHOUR		
1273	ペットと過ごす時間（分）	PTMIN		1996.10 総務庁「社会生活基本調査」
1274	ペットの保有：犬（室外で）	DOPDOGE		2000.11 総理府「動物愛護に関する世論調査」 2002.2 時事通信社「ペットに関する意識調査」 2003.12 内閣府「動物愛護に関する世論調査」 1994 - 2006 ペットフード工業会「犬猫飼育率全国調査」 2007.3 時事通信社「ペットに関する世論調査」
1275	ペットの保有：犬（室内で）	DOPDOGI		
1276	ペットの保有：猫（室外で）	DOPCATE		
1277	ペットの保有：猫（室内で）	DOPCATI		
1278	ペットの保有：その他	DOPOTHR		
1279	ペットの保有：何も飼っていない	DOPNONE		
1280	世話をしているペット：犬（室外で）	DOPCDOGE		
1281	世話をしているペット：犬（室内で）	DOPCDOGI		
1282	世話をしているペット：猫（室外で）	DOPCCATE		
1283	世話をしているペット：猫（室内で）	DOPCCATI		
1284	世話をしているペット：その他	DOPCOTHR		
1285	世話をしているペット：世話はしていない	DOPCNONE		
1286	ペットの死の経験	XDTHPET		
1287	ペットへの意見：厳しく規制	OPPTREG		2000.11 総理府「動物愛護に関する世論調査」 2003.12 内閣府「動物愛護に関する世論調査」
1288	ペットへの意見：気持ちがなごむ	OPPTCALM		
1289	ペットへの意見：安楽死	OPPTKILL		
1290	電気はこまめに消す	FQ4DENKI	(REDCEHME)	2007.12 朝日新聞「定期国民意識調査（暮らしと地球環境）」（『朝日総研レポート』08.2）
1291	節水の心がけ	FQ4WATER	H2OLESS	
1292	故障物は修理して使用	FQ4MEND		
1293	再生商品の購入	FQ4RECYC		
1294	詰め替え商品の購入	FQ4REFIL		
1295	無農薬や有機栽培の野菜の購入	FQ4NOYAK	CHEMFREE (CHEMFAM) (CHEMGEN)	
1296	買物には袋などを持参	FQ4BAG		
1297	包装を簡単にしてもらう	FQ4PACK		
1298	リサイクルショップの利用	FQ4USED	TAGSALES	
1299	公共交通機関の利用	FQ4BUS	DRIVLESS (REDCEHME)	2007.12 朝日新聞「定期国民意識調査（暮らしと地球環境）」
1300	ゴミは分別して捨てる	FQ4SORT	RECYCLE	2001.7 内閣府「循環型社会の形成に関する世論調査」
1301	生ゴミを堆肥に	FQ4TAIHI		
1302	満足度：国の環境問題への取り組み	STECONAT	AMPROGRN GOVTBIZ GRNLAWS PEOPGOVT USDOENUF	2001.7 内閣府「循環型社会の形成に関する世論調査」
1303	満足度：自治体の環境問題への取り組み	STECOLOC		
1304	満足度：企業の環境問題への取り組み	STECOCO	BIZPEOP GOVTBIZ	
1305	意見への賛否：環境保護より経済成長を優先	QECOVGE	(ECONGRN) (GRNECON) (GRWTHARM) (GRWTHHELP)	2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2005.9 内閣府「環境問題に関する世論調査」
1306	意見への賛否：環境悪化を防ぐためなら生活が不便になってもかまわない	QNCVLGE	GRNSOL IHLPGRN (BUYPOL) (GRNPRICE) (GRNTAXES) (IMPGRN)	2005.9 内閣府「環境問題に関する世論調査」 2008.3 NHK 放送文化研究所「環境に関する世論調査」（山田亜樹「定着してきた環境意識」『放送研究と調査』08.7）

1307	環境保護と企業倫理に基づく購買行動*	XPBEPCE	AVOIDBUY BOYCOTT BUYPOL RACNOBUY	2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007- JESIV研究会「変動期における投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2007.8 池田謙一「アジアンバロメーター2+CSES3 パネル調査」
1308	政治・外交的理由に基づく購買行動	XPBPDR		
1309	エコ商品の利用：ソーラーパネル	DOECSLP		2008.3 NHK 放送文化研究所「環境に関する世論調査」
1310	エコ商品の利用：深夜電力	DOECMNP		2009.5 内閣府「クールビズに関する特別世論調査」
1311	エコ商品の利用：エコウィル・エコキュート	DOECWC		2008.3 NHK 放送文化研究所「環境に関する世論調査」
1312	エコ商品の利用：低公害車*	DOECLMC	(MOREMPG)	2009.5 内閣府「クールビズに関する特別世論調査」
1313	エコ商品の利用：いずれも利用していない	DOECNONE		
1314	遺伝子組換え食品の知識	KNOWGMO		
1315	遺伝子組換え食品への意見：安全	OPGMSAFE	GENEGEN	2000.7 読売新聞「読売全国世論調査」 2003.6 東京都世田谷区「世田谷区民意調査」
1316	遺伝子組換え食品への意見：自分にとって有益	OPGMUSER		
1317	遺伝子組換え食品への意見：社会にとって有益	OPGMUSES		
1318	遺伝子組換え食品への意見：自然なもの	OPGMNTRL		
1319	遺伝子組換え食品への意見：食べてもよい	OPGMEAT		1997.4 読売新聞「読売全国世論調査」
1320	遺伝子組換え食品への意見：社会への普及	OPGMSPRD		
1321	遺伝子組換え食品への意見：どのようなものがあるか	OPGMWHAT		
1322	遺伝子組換え食品への意見：どのようにしてできるか	OPGMHOW		
1323	思い浮かぶ遺伝子組換え食品の有無	KWGMCONC		
1324	思い浮かぶ遺伝子組換え食品の個数	NGMCONC		
1325	遺伝子組換え食品：大豆（大豆加工食品）*	GMCONC1		
1326	遺伝子組換え食品：とうもろこし*	GMCONC2		
1327	遺伝子組換え食品：じゃがいも*	GMCONC3		
1328	遺伝子組換え食品：米*	GMCONC4		
1329	遺伝子組換え食品：麦*	GMCONC5		
1330	遺伝子組換え食品：トマト*	GMCONC6		
1331	遺伝子組換え食品：豆全般・穀類全般*	GMCONC7		
1332	遺伝子組換え食品：野菜全般・その他の青果*	GMCONC8		
1333	遺伝子組換え食品：青果以外*	GMCONC9		
1334	自動車の所持	DOCAR		1999.6 国土交通省自動車交通局「わが国の自動車保有動向」 2003.3 日本自動車工業会「小型・軽トラック市場動向調査」
1335	自動車の種類：普通乗用車	TPCARSTD		1999.6 国土交通省自動車交通局「わが国の自動車保有動向」 2003.3 日本自動車工業会「小型・軽トラック市場動向調査」
1336	自動車の種類：大型乗用車	TPCARLG		
1337	自動車の種類：軽自動車・軽トラック	TPCARSM		
1338	自動車の種類：普通トラック	TPCARTK		2003.3 日本自動車工業会「普通トラック市場動向調査」
1339	自動車の種類：その他	TPCAROTH		
1340	自動車の負担感：ガソリン代	EXCARGAS		
1341	自動車の負担感：保険料・税金	EXCARINS		
1342	自動車の負担感：購入代金・ローン	EXCARBUY		
1343	自動車の負担感：修理・車検	EXCARFIX		
1344	自動車の負担感：駐車場の賃貸料	EXCARPRK		
1345	自動車免許の所持	DOCLCNS		
1346	自動車の用途：通勤・通学	USCARCMT		2003.3 日本自動車工業会「小型・軽トラック市場動向調査」
1347	自動車の用途：送り迎え	USCARTFF		
1348	自動車の用途：買物・用事	USCARSHP		
1349	自動車の用途：仕事	USCARWK		
1350	自動車の用途：レジャー	USCARLSR		

1351	自動車への意見：日常生活に支障	OPCARDLF		
1352	自動車への意見：行動範囲が狭くなる	OPCARFLD		
1353	自動車への意見：ドライブの楽しみ	OPCARDRV		
1354	自動車への意見：費用が高すぎる	OPCARCST		
1355	自動車への意見：事故を起こしやすい	OPCARACC		
1356	自動車への意見：環境汚染が心配	OPCARECO		2003.3「小型・軽トラック市場動向調査」日本自動車工業会
1357	購入の基準：値段の安さ	IM5PRICE	CARBUYF	2001.7 内閣府「循環型社会の形成に関する世論調査」
1358	購入の基準：メーカー名	IM5BRAND		
1359	購入の基準：色々な機能	IM5FUNC		
1360	購入の基準：色や形の良さ	IM5DESN		
1361	購入の基準：長持ち	IM5LAST		
1362	購入の基準：省エネ・省資源	IM5SAVE		2001.7 内閣府「循環型社会の形成に関する世論調査」
1363	購入の基準：再生利用が可能	IM5RECYC		
1364	購入の基準：アフターサービスが充実	IM5SERV		
1365	購入の基準：無料下取りサービス	IM5TRADE		
1366	購買行動：まとめ買い	SFQSTK		2002.4 熊本日々新聞「熊本県民意識調査」(『世論調査年報』平成15年度版)
1367	購買行動：ついでの時	SFQCHNC		
1368	購買行動：衝動買い	SFQIMPLS		
1369	購買行動：日用品は特定の店で購入	SFQSHOP		2002.4 熊本日々新聞「熊本県民意識調査」
1370	購買行動：品質重視	SFQQLTY		2001.8 中小企業事業団「環境産業に関する需要動向調査」(『世論調査年報』平成14年度版)
1371	購買行動：買ってから後悔	SFQSORY		
1372	購買行動：チラシを見て買う	SFQADVTS		2002.4 熊本日々新聞「熊本県民意識調査」
1373	購買行動：他人に同調	SFQSAME		
1374	購買行動：インターネットで下調べ	SFQINET	BUYINFGN	
1375	購買行動：電化製品はいくつかの店で比較	SFQELEC		2002.4 熊本日々新聞「熊本県民意識調査」
1376	購買行動：賞味期限を確認	SFQDATE		
1377	購買行動：生産地を確認	SFQLOC		
1378	消費行動の変化：通信販売を利用する	XSCATL		
1379	消費行動の変化：高級ブランド品を買う	XSBRAND		
1380	消費行動の変化：資格の講座を受ける	XSLRNQL		
1381	消費行動の変化：趣味の講座を受ける	XSCLED		
1382	消費行動の変化：詰替え商品を買う	XSREFIL		
1383	消費行動の変化：再生商品を買う	XSRECYC		
1384	消費行動の変化：リサイクルショップを利用する	XSRESHOP	TAGSALES	
1385	消費行動の変化：無農薬・有機栽培の野菜を買う	XSAGCHEM	CHEMFREE	
1386	消費行動の変化：健康に気をつけて食事をする	XSMEAL		
1387	消費行動の変化：健康のために運動をする	XSEXER	DOSPORTS	
1388	消費行動の変化：外食をする	XSEATOUT	EATOUT	
1389	消費行動の変化：値段にこだわって買う	XSPRICE		
1390	消費行動の変化：品質にこだわって買う	XSQLTY		
1391	消費行動の変化：日本のメーカーの製品を買う	XSJAPAN		
1392	意見への賛否：食品は国産のものを好む	QPRFDF		2008.9 内閣府「食料・農業・農村の役割に関する世論調査」
1393	意見への賛否：電器製品は日本メーカーを好む	PRFJPAPL		
1394	借金への賛否	Q4DEBT		1999.10 金沢大学文学部社会学研究室「文化と社会生活に関する意識調査」 2001.10 金沢大学文学部社会学研究室「現代社会とライフチャンスに関する意識調査」
1395	クレジットカードへの意見：便利	OPCDUSFL		
1396	クレジットカードへの意見：使いすぎる	OPCDOVER		1999.10 金沢大学文学部社会学研究室「文化と社会生活に関する意識調査」 1998.10 内閣府「消費者問題に関する世論調査」
1397	クレジットカードへの意見：犯罪に利用される	OPCDCRM		
1398	クレジットカードへの意見：宣伝を制限	OPCDCM		

1399	クレジットカードの所有枚数	NUMCARD		1998-2004 経済企画庁「単身世帯消費動向調査」
1400	クレジットカードの用途：日常の買い物	USCDDAY		
1401	クレジットカードの用途：高額な買い物	USCDHIGH		1999.10 金沢大学文学部社会学研究室「文化と社会生活に関する意識調査」
1402	クレジットカードの用途：外食の代金	USCDEAT		
1403	クレジットカードの用途：公共料金・通信費	USCDCHRG		
1404	クレジットカードの機能の利用：1回払い	FNCDONE		
1405	クレジットカードの機能の利用：分割払い	FNCDINST		
1406	クレジットカードの機能の利用：リボ払い	FNCDREVO		
1407	クレジットカードの機能の利用：キャッシング	FNCD CASH		
1408	消費者金融への意見：便利	OPCSUSFL		
1409	消費者金融への意見：使いすぎる	OPCSOVER		
1410	消費者金融への意見：犯罪に利用される	OPCSCRM		
1411	消費者金融への意見：宣伝を制限	OPCSCM		
1412	消費者金融の利用回数	NUMCONSF	(BORROW1A-2A)	
1413	消費者金融の利用理由：日常の生活費	USCSDAY		
1414	消費者金融の利用理由：医療費	USCSMD		
1415	消費者金融の利用理由：教育費	USCSEDU		
1416	消費者金融の利用理由：事業資金	USCSBUS		
1417	消費者金融の利用理由：交際費	USCSSOC		
1418	消費者金融の利用理由：趣味の費用	USCSHOB		
1419	消費者金融の利用理由：服飾品の費用	USCSCLTH		
1420	消費者金融の利用理由：他の金融機関への支払い	USCSBANK		
1421	消費者金融の利用理由：その他	USCSOTHR		
1422	学校の意義：基礎的な知識*	MSBASIC		
1423	学校の意義：専門的な知識*	MSSPEC		
1424	学校の意義：仕事に必要な技能*	MSJSKILL	EDCSKILL SCHOOLING	
1425	学校の意義：学歴や資格*	MSQUALF		
1426	学校の意義：自分の才能*	MSTALENT		
1427	学校の意義：友達づくり*	MSFRIEND		
1428	学校の意義：先生から生き方を学ぶ*	MSTEACHR		
1429	学校の意義：就職が有利*	MSFINDJB		
1430	学校の意義：配偶者との出会い*	MSSPOUSE		
1431	学校の意義：自由な時間を利用できた*	MSFRTIME		
1432	学校の意義：その他*	MSETC		
1433	学校の意義：特になかった*	MSNONE		
1434	学校の意義：スポーツ・部活動*	MSSPORT		
1435	学校の意義：人間関係・社会性*	MSHUMAN		
1436	学校の意義：精神的成長*	MSMENTAL		
1437	教育観：学歴は本人の実力による	OP4EDABI	EDUCOP	
1438	教育観：学歴は親の教育方針による	OP4EDPAR		
1439	教育観：学歴は経済的状況による	OP4EDECN	RICHEduc	2002.6 朝日新聞「教育問題に関する世論調査」 (中村純「ゆとり教育」への評価は二分」『朝日総研レポート』02.10)
1440	教育観：高い学歴は収入面に恵まれる	OP4EDINC	EDUCEMP OPEDUC PAYEDTRN PAYEDUC REDUCEMP REWRDINT	2002.6 朝日新聞「教育問題に関する世論調査」
1441	教育観：子どもには、できるだけ高い学歴を	OP4EDHI		
1442	教育観：どの大学かで人生が左右	OP4EDUNI		2002.6 朝日新聞「教育問題に関する世論調査」
1443	教育観：高い学歴で希望職に就ける	OP4EDJOB	(OPEDUC) (USCLASS3)	1995.9 連合総合生活開発研究所「小学生・中学生の生活に関するアンケート調査」
1444	教育観：高い学歴でよい結婚ができる	OP4EDMG		
1445	重要な教育：習い事	IMEDLSSN		2003.12 ベネッセコーポレーション・朝日新聞「学校教育に対する保護者の意識調査」

1446	重要な教育：塾・予備校	IMEDCRAM		1995.9 連合総合生活開発研究所「小学生・中学生の生活に関するアンケート調査」 2005.1 読売新聞「読売全国世論調査」
1447	重要な教育：大学	IMEDUNIV		1995.9 連合総合生活開発研究所「小学生・中学生の生活に関するアンケート調査」 2003.12 ベネッセコーポレーション・朝日新聞「学校教育に対する保護者の意識調査」
1448	重要な教育：高レベルの大学	IMEDHRU		1995.9 連合総合生活開発研究所「小学生・中学生の生活に関するアンケート調査」 2002.2 読売新聞「読売全国世論調査」 2003.12 ベネッセコーポレーション・朝日新聞「学校教育に対する保護者の意識調査」
1449	教育費支出のレベル	OPEXED		
1450	心の教育への意見	OPEDMND		
1451	小・中学生の頃の経験：塾*	XSJUKU		
1452	小・中学生の頃の経験：家庭教師につく*	XSTUTOR		
1453	小・中学生の頃の経験：通信教育*	XSCORR		
1454	小・中学生の頃の経験：いずれもない*	XSNONE		
1455	15歳の頃の父親のしつけ	PPDCPL15		1993.6 生命保険文化センター「若者の生活意識に関する調査」
1456	15歳の頃の母親のしつけ	MMDCP15		
1457	子どものしつけ：行動制限	LMTCCBH	(CONTROL) (CONTROLY) (CONTROLZ) (OBEYTHNK) (OBEY) (OBEYS) (OBEYSY) (OBEYSZ) (OBRESPCT) (TALKBACK)	1995.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
1458	子どものしつけ：気持ちへの配慮	RPSCCFL		
1459	子どものしつけ：他人の子どもへの注意	WNYOCHL		1992.7 ベネッセコーポレーション「モノグラフ小学生ナウしつけ」
1460	10年間の変化：家庭のしつけ力	XS10YCDH	CHLDSUP PARWORSE (CHLDLOVE) (PARHARDR) (PARRGHT)	1983.10 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 1996.10 ベネッセコーポレーション「モノグラフ中学生の世界 親たちの学校期待」 2001 国立教育政策研究所「家庭の教育力再生に関する調査研究」 2003.12 ベネッセコーポレーション「学校教育に対する保護者の意識調査」 2007.1 内閣府「国民生活選好度調査」 2007.3 国立教育政策研究所「家庭の教育力再生に関する調査研究」
1461	10年間の変化：学校のしつけ力	XS10YCDS	(CHLDEDUC)	1996.10 ベネッセコーポレーション「モノグラフ中学生の世界 親たちの学校期待」 2003.12 ベネッセコーポレーション「学校教育に対する保護者の意識調査」
1462	10年間の変化：地域のしつけ力	XS10YCDC	(CHLDSAFE)	
1463	10年間の変化：父親の存在感	XS10YPPP	(ROLEPA)	
1464	10年間の変化：母親の存在感	XS10YPPM	(ROLEMA)	
1465	10年間の変化：子どもの道徳意識	XS10YMSC	CHLDMORL	2003.12 ベネッセコーポレーション「学校教育に対する保護者の意識調査」
1466	身近な人の校内いじめの有無	XSBULLY		1996 ベネッセコーポレーション「モノグラフ中学生の世界 親たちの学校期待」 1996 ベネッセコーポレーション「モノグラフ中学生の世界 居場所としての保健室」
1467	いじめの責任：本人	SUSELF		
1468	いじめの責任：いじめた生徒	SUBULLY		
1469	いじめの責任：それ以外のクラスメート	SUCMATE		
1470	いじめの責任：クラスの担任	SUTCHER		
1471	いじめの責任：学校	SUSCHL		
1472	いじめの責任：本人の保護者	SUFFSLF		
1473	いじめの責任：いじめた生徒の保護者	SUFFBUL		
1474	クラブ活動への教員の立会い	OPCLUBT		

1475	心の健康の相談相手：家族	WLADFF	BRKDDO1-3	1998.6「平成10年国民生活基礎調査(悩みやストレスの相談状況)」 2004.6「平成16年国民生活基礎調査(悩みやストレスの相談状況)」
1476	心の健康の相談相手：友人・知人・恋人	WLADFRI	DOWN1-2	
1477	心の健康の相談相手：精神科・心療内科の医師	WLADDDSP	DOWN1A-2A MNILDO1-3	
1478	心の健康の相談相手：その他の医師	WLADDD	PROBHLP1-3	
1479	心の健康の相談相手：心理学の専門家	WLADPSY	PSYCDRCT	
1480	心の健康の相談相手：宗教家	WLADRLGN	PSYCFDOC	
1481	心の健康の相談相手：その他	WLADOTHR	PSYCPSYC	
1482	心の健康の相談相手：誰にも相談しない	WLADNONE	SOLVEOWN SYMPCOUN TREAT5-6 TREAT8-11	
1483	カウンセリングの受療経験(本人)	XCOUNSLR	HLTH2 SEENMNTL (RELMHSP1)	
1484	カウンセリングの受療意欲	WLCOUNSL	USEPSYC1-4	
1485	カウンセリングの受療経験(家族)	XCOUNSLF	(RELMHSP2) (SEENMNTL)	
1486	カウンセリングの知識	KWCOUNSL		
1487	B 票面接部分の所要時間	ZTIME		
1488	悩みの相談相手：記入人数	Z1NUM	NUMGIVEN	
1489	悩みの相談相手：記入外的人数	Z1ELSE		
1490- 1493	[A-D]欄への記入の有無	Z1XX[A-D]		
1494	AとBが知り合いか	Z1KNOWAB	CLOSE12	
1495	AとCが知り合いか	Z1KNOWAC	CLOSE13	
1496	AとDが知り合いか	Z1KNOWAD	CLOSE14	
1497	BとCが知り合いか	Z1KNOWBC	CLOSE23	
1498	BとDが知り合いか	Z1KNOWBD	CLOSE24	
1499	CとDが知り合いか	Z1KNOWCD	CLOSE34	
1500	政治的な話題の相手：記入人数	Z2NUM	NOMGIVEN	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 1998 蒲島郁夫ほか「日本人の選挙行動調査II」(木鐸社からコードブック刊) 2000.1 選挙とデモクラシー研究会(JEDS)「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
1501	政治的な話題の相手：記入外的人数	Z2ELSE		
1502- 1505	[E-H]欄への記入の有無	Z2XX[E-H]		
1506	EとFが知り合いか	Z2KNOWEF	CLOSE12	1998「日本人の選挙行動調査II」 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
1507	EとGが知り合いか	Z2KNOWEG	CLOSE13	
1508	EとHが知り合いか	Z2KNOWEH	CLOSE14	
1509	FとGが知り合いか	Z2KNOWFG	CLOSE23	
1510	FとHが知り合いか	Z2KNOWFH	CLOSE24	
1511	GとHが知り合いか	Z2KNOWGH	CLOSE34	
1512	仕事の相談相手：記入人数	Z3NUM	NOMGIVEN	
1513	仕事の相談相手：記入外的人数	Z3ELSE		
1514- 1517	[I-L]欄への記入の有無	Z3XX[I-L]		
1518	IとJが知り合いか	Z3KNOWIJ	CLOSE12	
1519	IとKが知り合いか	Z3KNOWIK	CLOSE13	
1520	IとLが知り合いか	Z3KNOWIL	CLOSE14	
1521	JとKが知り合いか	Z3KNOWJK	CLOSE23	
1522	JとLが知り合いか	Z3KNOWJL	CLOSE24	
1523	KとLが知り合いか	Z3KNOWKL	CLOSE34	
1524- 1529	同一人物：[1-6]番目	ZSAME[1-6]		
1530- 1533	[A-D]との間柄：配偶者	ZSS[A-D]	SPOUSE1- SPOUSE4	
1534- 1537	[A-D]との間柄：親・子	ZKIN1[A-D]	PARENT1- PARENT4 CHILD1-CHILD4	

1538- 1541	[A-D]との間柄：その他の家族・親せき	ZKIN2[A-D]	SIBLING1- SIBLING4 OTHFAM1- OTHFAM4	
1542- 1545	[A-D]との間柄：上司・部下	ZJOBREL[A-D]	COWORK1- COWORK4	
1546- 1549	[A-D]との間柄：同僚	ZJOBCOL[A-D]	COWORK1- COWORK4	
1550- 1553	[A-D]との間柄：その他の仕事関係	ZJOBETC[A-D]	COWORK1- COWORK4	
1554- 1557	[A-D]との間柄：組織・団体	ZTEAM[A-D]	MEMGRP1- MEMGRP4	
1558- 1561	[A-D]との間柄：近所の人	ZNEIB[A-D]	NEIGHBR1- NEIGHBR4	
1562- 1565	[A-D]との間柄：友人	ZFRIE[A-D]	FRIEND1- FRIEND4	
1566- 1569	[A-D]との間柄：その他	ZRELETC[A-D]	ADVISOR1- ADVISOR4 OTHER1- OTHER4	
1570- 1573	[A-D]との間柄：いずれも選択していない	ZRLNOMK[A-D]		
1574- 1577	[A-D]の性別	ZSEX[A-D]	SEX1-SEX4	
1578- 1581	[A-D]の年齢	ZAGE[A-D]	AGE1-AGE4	
1582- 1585	[A-D]と知り合ってから年数	ZKNOWYR[A-D]	KNOWN1- KNOWN4	
1586- 1589	[A-D]と会話する頻度	ZFQTALK[A-D]	TALKTO1- TALKTO4	
1590- 1593	[A-D]の最終学歴	ZLSTSCH[A-D]	EDUC1- EDUC4	
1594- 1597	[A-D]の就労地位	ZTP7JOB[A-D]		
1598- 1601	[A-D]の職種	ZJOB[A-D]		
1602- 1605	[A-D]との親密度	ZCLOSE[A-D]	EQCLOSE RCLOSE1- RCLOSE4	
1606- 1609	[A-D]との政治的な会話	ZPLTALK[A-D]	TALKPOL TALKPOL1- TALKPOL3	
1610- 1613	[A-D]が投票する政党	ZVOTE[A-D]	(PARTYID1- PARTYID3)	
1614- 1617	[A-D]とのコミュニケーション：共通の趣味	ZCOHOBB[A-D]		
1618- 1621	[A-D]とのコミュニケーション：いっしょに外出	ZCOUTG[A-D]		
1622- 1625	[A-D]とのコミュニケーション：お金を借りられる	ZCOMONY[A-D]		
1626- 1629	[A-D]とのコミュニケーション：いずれも選択していない	ZCONOMK[A-D]		
1630- 1633	[E-H:]との間柄：配偶者	ZSS[E-H]	SPOUSE1- SPOUSE4	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 1998 「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
1634- 1637	[E-H]との間柄：親・子	ZKIN1[E-H]	PARENT1- PARENT4 CHILD1- CHILD4	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 1998 「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
1638- 1641	[E-H]との間柄：その他の家族・親せき	ZKIN2[E-H]	SIBLING1- SIBLING4 OTHFAM1- OTHFAM4	



1642- 1645	[E-L]との間柄：上司・部下	ZJOBREL[E-H]	COWORK1- COWORK4	
1646- 1649	[E-H]との間柄：同僚	ZJOBCOL[E-H]	COWORK1- COWORK4	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
1650- 1653	[E-H]との間柄：その他の仕事関係	ZJOBETC[E-H]	COWORK1- COWORK4	
1654- 1657	[E-H]との間柄：組織・団体	ZTEAM[E-H]	MEMGRP1- MEMGRP4	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
1658- 1661	[E-H]との間柄：近所の人	ZNEIB[E-H]	NEIGHBR1- NEIGHBR4	
1662- 1665	[E-H]との間柄：友人	ZFRIE[E-H]	FRIEND1- FRIEND4	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
1666- 1669	[E-H]との間柄：その他	ZRELETC[E-H]	ADVISOR1- ADVISOR4 OTHER1- OTHER4	
1670- 1673	[E-H]との間柄：いずれも選択していない	ZRLNOMK[E-H]		
1674- 1677	[E-H]の性別	ZSEX[E-H]	SEX1-SEX4	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
1678- 1681	[E-H]の年齢	ZAGE[E-H]	AGE1-AGE4	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」
1682- 1685	[E-H]と知り合ってから年数	ZKNOWYR[E-H]	KNOWN1- KNOWN4	
1686- 1689	[E-H]と会話する頻度	ZFQTALK[E-H]	TALKTO1- TALKTO4	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」
1690- 1693	[E-H]の最終学歴	ZLSTSCH[E-H]	EDUC1-EDUC4	
1694- 1697	[E-H]の就労地位	ZTP7JOB[E-H]		
1698- 1701	[E-H]の職種	ZJOB[E-H]		
1702- 1705	[E-H]との親密度	ZCLOSE[E-H]	EQCLOSE RCLOSE1- RCLOSE4	2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
1706- 1709	[E-H]との政治的な会話	ZPLTALK[E-H]	TALKPOL TALKPOL1- TALKPOL3	1993.2 CNEP 日本チーム「ソーシャルネットワークと投票行動調査」 1998「日本人の選挙行動調査Ⅱ」 2000.1 JEDS「日本人の民主主義観と社会資本調査に関する世論調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
1710- 1713	[E-H]が投票する政党	ZVOTE[E-H]	(PARTYID1- PARTYID3)	
1714- 1717	[E-H]とのコミュニケーション：共通の趣味	ZCOHOBB[E-H]		
1718- 1721	[E-H]とのコミュニケーション：いっしょに外出	ZCOUTG[E-H]		
1722- 1725	[E-H]とのコミュニケーション：お金を借りられる	ZCOMONY[E-H]		
1726- 1729	[E-H]とのコミュニケーション：いずれも選択していない	ZCONOMK[E-H]		
1730- 1733	[I-L]との間柄：配偶者	ZSS[I-L]	SPOUSE1- SPOUSE4	

1734- 1737	[I-L]との間柄：親・子	ZKIN1[I-L]	PARENT1- PARENT4 CHILD1- CHILD4	
1738- 1741	[I-L]との間柄：その他の家族・親せき	ZKIN2[I-L]	SIBLING1- SIBLING4 OTHFAM1- OTHFAM4	
1742- 1745	[I-L]との間柄：上司・部下	ZJOBREL[I-L]	COWORK1- COWORK4	
1746- 1749	[I-L]との間柄：同僚	ZJOBCOL[I-L]	COWORK1- COWORK4	
1750- 1753	[I-L]との間柄：その他の仕事関係	ZJOBETC[I-L]	COWORK1- COWORK4	
1754- 1757	[I-L]との間柄：組織・団体	ZTEAM[I-L]	MEMGRP1- MEMGRP4	
1758- 1761	[I-L]との間柄：近所の人	ZNEIB[I-L]	NEIGHBR1- NEIGHBR4	
1762- 1765	[I-L]との間柄：友人	ZFRIE[I-L]	FRIEND1- FRIEND4	
1766- 1769	[I-L]との間柄：その他	ZRELETC[I-L]	ADVISOR1- ADVISOR4	
1770- 1773	[I-L]との間柄：いずれも選択していない	ZRLNOMK[I-L]		
1774- 1777	[I-L]の性別	ZSEX[I-L]	SEX1-SEX4	
1778- 1781	[I-L]の年齢	ZAGE[I-L]	AGE1-AGE4	
1782- 1785	[I-L]と知り合ってから年数	ZKNOWYR[I-L]	KNOWN1- KNOWN4	
1786- 1789	[I-L]と会話する頻度	ZFQTALK[I-L]	TALKTO1- TALKTO4	
1790- 1793	[I-L]の最終学歴	ZLSTSCH[I-L]	EDUC1- EDUC4	
1794- 1797	[I-L]の就労地位	ZTP7JOB[I-L]		
1798- 1801	[I-L]の職種	ZJOB[I-L]		
1802- 1805	[I-L]との親密度	ZCLOSE[I-L]	EQCLOSE RCLOSE1- RCLOSE4	
1806- 1809	[I-L]との政治的な会話	ZPLTALK[I-L]	TALKPOL TALKPOL1- TALKPOL3	
1810- 1813	[I-L]が投票する政党	ZVOTE[I-L]	(PARTYID1- PARTYID3)	
1814- 1817	[I-L]とのコミュニケーション：共通の趣味	ZCOHOBB[I-L]		
1818- 1821	[I-L]とのコミュニケーション：いっしょに外出	ZCOUTG[I-L]		
1822- 1825	[I-L]とのコミュニケーション：お金を借りられる	ZCOMONY[I-L]		
1826- 1829	[I-L]とのコミュニケーション：いずれも選択していない	ZCONOMK[I-L]		
1830	知り合い：町内会の役員：男性	ZKJICHIM		2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」
1831	知り合い：町内会の役員：女性	ZKJICHIF		
1832	知り合い：町内会の役員：いない	ZKJICHIN		
1833	知り合い：町内会の役員：いずれも選択していない	ZKJICHIX		
1834	知り合い：市民運動団体の役員：男性	ZKVOLM		
1835	知り合い：市民運動団体の役員：女性	ZKVOLF		
1836	知り合い：市民運動団体の役員：いない	ZKVOLN		
1837	知り合い：市民運動団体の役員：いずれも選択していない	ZKVOLX		

1838	知り合い：同業組合の役員：男性	ZKTRDEM	
1839	知り合い：同業組合の役員：女性	ZKTRDEF	
1840	知り合い：同業組合の役員：いない	ZKTRDEN	
1841	知り合い：同業組合の役員：いずれも選択していない	ZKTRDEX	
1842	知り合い：労働組合の役員：男性	ZKUNIM	
1843	知り合い：労働組合の役員：女性	ZKUNIF	
1844	知り合い：労働組合の役員：いない	ZKUNIN	
1845	知り合い：労働組合の役員：いずれも選択していない	ZKUNIX	
1846	知り合い：役所（市区町村）の役職者：男性	ZKTOWNM	
1847	知り合い：役所（市区町村）の役職者：女性	ZKTOWNF	
1848	知り合い：役所（市区町村）の役職者：いない	ZKTOWNN	
1849	知り合い：役所（市区町村）の役職者：いずれも選択していない	ZKTOWNX	
1850	知り合い：県庁の役職者：男性	ZKPREFM	
1851	知り合い：県庁の役職者：女性	ZKPREFF	
1852	知り合い：県庁の役職者：いない	ZKPREFN	
1853	知り合い：県庁の役職者：いずれも選択していない	ZKPREFX	
1854	知り合い：中央官庁の役職者：男性	ZKGVMTM	
1855	知り合い：中央官庁の役職者：女性	ZKGVMTF	
1856	知り合い：中央官庁の役職者：いない	ZKGVMTN	
1857	知り合い：中央官庁の役職者：いずれも選択していない	ZKGVMTX	
1858	知り合い：市区町村の首長：男性	ZKMAYRM	
1859	知り合い：市区町村の首長：女性	ZKMAYRF	
1860	知り合い：市区町村の首長：いない	ZKMAYRN	
1861	知り合い：市区町村の首長：いずれも選択していない	ZKMAYRX	
1862	知り合い：地方議会議員：男性	ZKLOCALM	
1863	知り合い：地方議会議員：女性	ZKLOCALF	
1864	知り合い：地方議会議員：いない	ZKLOCALN	
1865	知り合い：地方議会議員：いずれも選択していない	ZKLOCALX	
1866	知り合い：国会議員：男性	ZKDIETM	
1867	知り合い：国会議員：女性	ZKDIETF	
1868	知り合い：国会議員：いない	ZKDIETN	
1869	知り合い：国会議員：いずれも選択していない	ZKDIETX	
1870	知り合い：政治家の後援会の世話役：男性	ZKSECRM	
1871	知り合い：政治家の後援会の世話役：女性	ZKSECRF	
1872	知り合い：政治家の後援会の世話役：いない	ZKSECRN	
1873	知り合い：政治家の後援会の世話役：いずれも選択していない	ZKSECRX	
1874	知り合い：マスコミ関係者：男性	ZKMEDIAM	
1875	知り合い：マスコミ関係者：女性	ZKMEDIAF	
1876	知り合い：マスコミ関係者：いない	ZKMEDIAN	
1877	知り合い：マスコミ関係者：いずれも選択していない	ZKMEDIAX	
1878	知り合い：医師：男性	ZKDOCM	
1879	知り合い：医師：女性	ZKDOCF	
1880	知り合い：医師：いない	ZKDOCN	
1881	知り合い：医師：いずれも選択していない	ZKDOCX	
1882	知り合い：中小企業経営者：男性	ZKSMALLM	
1883	知り合い：中小企業経営者：女性	ZKSMALLF	
1884	知り合い：中小企業経営者：いない	ZKSMALLN	

2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」

1885	知り合い：中小企業経営者：いずれも選択していない	ZKSMALLX		
1886	知り合い：保険の勧誘員：男性	ZKINSM		
1887	知り合い：保険の勧誘員：女性	ZKINSF		
1888	知り合い：保険の勧誘員：いない	ZKINSN		
1889	知り合い：保険の勧誘員：いずれも選択していない	ZKINSX		
1890	知り合い：銀行員：男性	ZKBANKM		
1891	知り合い：銀行員：女性	ZKBANKF		
1892	知り合い：銀行員：いない	ZKBANKN		
1893	知り合い：銀行員：いずれも選択していない	ZKBANKX		
1894	知り合い：工場作業員：男性	ZKFCTRYM		
1895	知り合い：工場作業員：女性	ZKFCTRYF		
1896	知り合い：工場作業員：いない	ZKFCTRYN		
1897	知り合い：工場作業員：いずれも選択していない	ZKFCTRYX		
1898	知り合い：情報技術者：男性	ZKCOMP M		
1899	知り合い：情報技術者：女性	ZKCOMP F		
1900	知り合い：情報技術者：いない	ZKCOMP N		
1901	知り合い：情報技術者：いずれも選択していない	ZKCOMP X		
1902	介護の相手（本人）：配偶者	XC2SS	(CARESIK1) (CARESICK)	1987.5 生命保険文化センター「老後生活と介護に関する調査」 1990.9 生命保険文化センター「高齢者の介護に関する調査」 2001.3 連合総合生活開発研究所「介護サービス実態調査」 2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01)
1903	介護の相手（本人）：回答者の親	XC2PM		
1904	介護の相手（本人）：配偶者の親	XC2SSPM		
1905	介護の相手（本人）：その他	XC2OTHR		
1906	国が家族か：高齢者の生活保障 (EASS 尺度)	OP5SRWFE	AIDOLT EQUAL4 KIDPARS	1996 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2001.9 読売新聞「社会保障」(『日本の世論』) 2007.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」
1907	国が家族か：高齢者の医療・介護 (EASS 尺度)	OP5SRMDE	EQUAL4 KIDPARS OBTOHELP	1996 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『政府の役割』」 2003.7 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」
1908	国が家族か：子どもの教育費 (EASS 尺度)	OP5CCEDE		1983.1 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 2001.7 生命保険文化センター「生活者の価値観に関する調査」
1909	国が家族か：保育・育児 (EASS 尺度)	OP5CCREE	AIDKIDS	
1910	希望する子どもの性別 (EASS 尺度)	APPCCSX E	(CHLDSEX) (CHLDSEX1)	1995 電通総研・余暇開発センター「世界価値観調査」 1997, 2002, 2005 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」 1998, 2003 統数研「日本人の国民性」全国調査 2000, 2005, 2006 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」
1911	世代間援助への意見：既婚男性から自分の親	OPISMM		
1912	世代間援助への意見：既婚女性から自分の親	OPISMW		
1913	世代間援助への意見：未婚男性から自分の親	OPISUM		
1914	世代間援助への意見：未婚女性から自分の親	OPISUW		
1915	世代間援助への意見：既婚男性から妻の親	OPISMMSS		
1916	世代間援助への意見：既婚女性から夫の親	OPISMWSS		
1917	老親の世話の責任	OPPPCARE	(KIDPARS)	1983.10 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 2001.5 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査—家族と生活に関する国民意識—」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)

1918	家系継承規範：父親の権威を尊重*	Q7FFAUTH	(TALKBACK)	1983.10 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 1991.5 ドイツ日本研究所・ウルリッヒ・メーワルト「日本人の価値意識に関する調査」
1919	家系継承規範：子どもは親の誇りに	Q7FFHNR		
1920	家系継承規範：長男が多く相続	Q7FFMAN		1986.3 内閣府「家族・家庭に関する世論調査」 2001.5 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査—家族と生活に関する国民意識—」
1921	家系継承規範：親の世話をした子が多く相続	Q7FFCARE		2001.5 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査—家族と生活に関する国民意識—」
1922	家系継承規範：息子が必要	Q7FFNDMN		1986.3 内閣府「家族・家庭に関する世論調査」 2001.5 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査—家族と生活に関する国民意識—」
1923	家系継承規範：墓を守る	Q7FFGRV		1986.3 内閣府「家族・家庭に関する世論調査」 2001.5 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査—家族と生活に関する国民意識—」 2003.10 第一生命経済研究所「墓に関する意識調査」
1924	家優先規範：妻より夫の親族を優先	Q7PRMAN		
1925	家優先規範：自分より家族を優先	Q7PRFF		1983.10 生命保険文化センター「家族の変化と生活設計に関する調査」 1994.8 生命保険文化センター「夫婦の生活意識に関する調査」 2001.5 内閣府国民生活局「国民生活選好度調査—家族と生活に関する国民意識—」
1926	両親の存否	PMDTH	PADEATH PALIVE PALIVE1 MADEATH MALIVE MALIVE1	
1927	世代間の経済的援助：回答者から両親	HLPE2PM		2003.7 国立社会保障・人口問題研究所「第3回全国家庭動向調査」
1928	世代間の実践的援助：回答者から両親	HLPP2PM		
1929	世代間の経済的援助：両親から回答者	HLPEFPM	(BORROW1) (BORROW2)	2004.1-2 日本家族社会学会「第2回家族についての全国調査」
1930	世代間の実践的援助：両親から回答者	HLPPFPM	CHORES1 CHORES2	
1931	父親：健康状態	PPHLTH	(PADEATH) (PALIVE) (PALIVE1)	
1932	母親：健康状態	MMHLTH	(MADEATH) (MALIVE) (MALIVE1)	
1933	結婚規範：夫は年上	Q7MGOLD		2002.6 国立社会保障・人口問題研究所「第12回出生動向基本調査」
1934	結婚規範：子どもをもつ必要	Q7MGCC	IMPKIDS KIDLESS MARKIDS NOKIDS	2001.1 読売新聞「家族像」(『日本の世論』) 2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2004.4 毎日新聞「人口・家族・世代」第1回世論調査 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」
1935	結婚規範：男性の結婚は幸福	Q7MGMNHP	MEMARRY	2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」
1936	結婚規範：女性の結婚は幸福	Q7MGWNHP	FEMARRY	2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル2004」
1937	結婚規範：同棲はかまわない	Q7MGCOH	COHABOK COHABFST	2005.1 内閣府「国民生活選好度調査」 2005 第一生命経済研「定点調査から見えてくる家族の変化」
1938	結婚規範：離婚は子が育つまで待つ	Q7MGDVCC	(DIVIFKD1)	2005.1 内閣府「国民生活選好度調査」

1939	結婚規範：離婚はよい手段	Q7MGDVGD	DIVBEST MARDIV MARNOMAR	1997.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「少子化と親子関係に関する調査」 2003.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」 2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「家族についての全国調査」 2005.1 内閣府「国民生活選好度調査」 2005 第一生命経済研「定点調査から見えてくる家族の変化」
1940	性別規範：妻は夫の手助け	Q7WWHPHH	FEHELP	1992.11 総理府「男女平等に関する世論調査」
1941	性別規範：性役割分担*	Q7WWHHX	FEFAM FEHOME HUBBYWK1 HUBBYWRK MRMOM TRADMOD	2001.1 読売新聞「家族像」(『日本の世論』) 2002.11 NHK 放送文化研究所「家庭と男女と役割に関する調査」 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2003.1 第一生命経済研究所「2004-05 ライフデザイン白書」(生活情報センター『日本人の価値観—データで見る30年の変遷』) 2003.6 NHK 放送文化研究所第7回「日本人の意識調査・2003」 2004.8 労働政策研究・研修機構「第4回勤労生活に関する調査」(『中央調査報』05.4) 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2008.6 NHK 放送文化研究所第8回「日本人の意識調査・2008」
1942	性別規範：男性の家事	Q7WWMNCK	MEHWORK	2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.11 朝日新聞「IT・少子化問題調査」
1943	性別規範：女性を先に解雇	Q7WWLOFF	LAYOFFS (FEJOBFAFF)	
1944	離婚後の子どもへの意見：両親と接触	OPDVCNT		1986.3 内閣官房広報室「家族・家庭に関する世論調査」
1945	離婚後の子どもへの意見：連れ子	OPDVSTEP		
1946	離婚後の子どもへの意見：ひとり親	OPDVSGL	SINGLEPAR MARMAKID MARPAKID	
1947	家族そろった夕食の頻度 (EASS 尺度)	FQFFDNRE		
1948	家族一緒にレジャー活動の頻度	FQFFLSR		
1949	食産業の利用頻度：外食	FQFDOUT	(EATOUT)	
1950	食産業の利用頻度：弁当	FQFDBOX	(EATOUT)	
1951	食産業の利用頻度：惣菜・冷凍食品	FQFDFRZN		
1952	結婚の回数	NUMMARRY	MARNUM	
1953	結婚した年齢：2回目	AGE2MG		
1954	結婚した年齢：3回目	AGE3MG		
1955	結婚した年齢：4回目	AGE4MG		
1956	結婚状況(留置B票のみ)	DOMARRYZ	MARITAL MARUNION POSSLQ	※
1957	健康状態(配偶者)(EASS尺度)	SS5HLTHE		1999.1 日本家族社会学会全国家族調査研究会「第1回全国家族調査」(NFRJ98)
1958	介護の相手(配偶者)：回答者	SSC2R		1987.5 生命保険文化センター「老後生活と介護に関する調査」 1990.9 生命保険文化センター「高齢者の介護に関する調査」
1959	介護の相手(配偶者)：回答者の親	SSC2PM		2000.8 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
1960	介護の相手(配偶者)：配偶者の親	SSC2SSPM		2001 内閣府「国民生活選好度調査」 2001.3 連合総合生活開発研究所「介護サービス実態調査」
1961	介護の相手(配偶者)：その他	SSC2OTHR		2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2003.7 内閣府「高齢者介護に関する世論調査」
1962	配偶者との情緒的關係：配偶者が悩みを聞く	SSTRLSTN	(BRKDHLPI-3) (DOWN1-2) (DOWN1A-2A) (CHANGE1-2)	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 1999 家計経済研究所「現代核家族調査」
1963	配偶者との情緒的關係：あなたが悩みを聞く	SSTRSPK		1999 家計経済研究所「現代核家族調査」
1964	家庭内の意思決定者：子どもの教育	DMCCED	DECKIDS	
1965	家庭内の意思決定者：親の世話	DMPPSPPT		1992.11 総理府「男女平等に関する世論調査」

1966	家庭内の意思決定者：家計の管理	DMEXP	FAMBUDGT FAMFINAN DECAUTO DECBED	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査研究会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」 1999.7 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 2002.7 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」
1967	家庭内の意思決定者：高価な品物の購入	DMHIEXP	BUYTHNGS (DECAUTO) (DECBED)	1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」 1992.11 総理府「男女平等に関する世論調査」 1999.7 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 2002.7 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2004.11 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 2002.12 生命保険文化センター「生活設計と金融・保険に関する調査」
1968	義親の存否	PMLDTH		
1969	世代間の経済的援助：回答者から義親	HLPE2PML		2003.7 国立社会保障・人口問題研究所「第3回全国家庭動向調査」
1970	世代間の実践的援助：回答者から義親	HLPP2PML		
1971	世代間の経済的援助：義親から回答者	HLPEFPML		2004.1-2 日本家族社会学会「第2回家族についての全国調査」
1972	世代間の実践的援助：義親から回答者	HLPFPML		
1973	義父：健康状態	PPLHLTH		
1974	義母：健康状態	MMLHLTH		
1975	生活満足度：結婚生活	STMGLF	HAPMAR	1999.1 日本家族社会学会全国家族調査研究会「第1回全国家族調査」(NFRJ98) 1999.2 総理府「少子化に関する世論調査」 1999.7 家計経済研「家族生活の共同性と個別性に関する調査」 2004.12 NHK 放送文化研究所「現代日本人のライフスタイル 2004」
1976	配偶者との出会いのきっかけ	FSTMTSS		2002.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「戦後日本の家族の歩み」(NFRJ-S01) 2005.6 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査(夫婦調査)」
1977	配偶者の紹介者	WHOINTSS		2005.6 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査(夫婦調査)」
1978	配偶者と出会った場所	WHRMTSS		
1979	配偶者の初婚・再婚	XSSRMG	SPMARNUM	
1980	結婚の決定への親の影響力	INFLPMMG		2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03)
1981	結婚時の親からの援助	HLPMPGPM		2006.9 家計経済研究所「消費生活に関するパネル調査」(第14年度)
1982	結婚時の義親からの援助	HLPMPGML		
1983	18歳以上の子どもの有無	XCC18	DAUNUM KIDNOW2 KIDNUM SONNUM	
1984	もっとも接している18歳以上の子ども	CC18CNT	KIDMOST (DAUVISIT) (KIDVISIT) (SONVISIT)	
1985	子どもとの同居	LVTGCC18	(KIDVISIT)	
1986	世代間の経済的援助：回答者から子ども	HLPE2CC		2003.7 国立社会保障・人口問題研究所「第3回全国家庭動向調査」
1987	世代間の実践的援助：回答者から子ども	HLPP2CC		
1988	世代間の経済的援助：子どもから回答者	HLPEFCC	(BORROW1) (BORROW2)	2004.1-2 日本家族社会学会「第2回家族についての全国調査」
1989	世代間の実践的援助：子どもから回答者	HLPPFCC	(CHORES1) (CHORES2)	
1990	文化交流：日本のアニメ	CLTEXJA		2008.3 NHK 放送文化研究所「子供に良い放送プロジェクト」第5回調査 2008.6 NHK 放送文化研究所「幼児視聴率調査」 2008.6 マイボイスコム「アニメに関する調査」 2008.9 読売新聞「日本のアニメ」 2009.1 日本貿易振興機構「中国における日本産コンテンツの放映・上映・発売状況などデータ」 2009.7 バンダイビジュアル「お子様のDVD視聴・購入状況調査」
1991	文化交流：中国の映画	CLTEXCM	(SEEMOV I E)	
1992	文化交流：韓国のドラマ	CLTEXKD	(TVSHOWS)	

1993	子どもの姓名判断の経験	FRTNCN		2007.3 バンダイ「お子様の名付け親と名前の付け方は？」(『バンダイ子どもアンケートリポート vol.12』)
1994	特別な日の縁起	AUSDYSP	(ASTROLOGY)	1964.3 内閣官房広報室「母親の科学知識等に関する世論調査」
1995	重視する友人の特長：正直である	IMPQTHS	FRDHONST	
1996	重視する友人の特長：責任感がある	IMPQTRSP	FRDRESP	
1997	重視する友人の特長：頭がよい	IMPQTITG	FRDINTEL FRDTHINK	
1998	重視する友人の特長：教養がある	IMPQTCLT	FRDCULTR	
1999	重視する友人の特長：権力がある	IMPQTPWF		
2000	重視する友人の特長：裕福である	IMPQTWLT		
2001	重視する友人の特長：忠実である	IMPQTLYL		
2002	重視する友人の特長：思いやりがある	IMPQTWRM		
2003	意見への賛否：多数派の意見には従う	Q7FLWMJ	(STANDUP)	
2004	意見への賛否：不満があっても口に出さない	Q7EXPCMP	(NOEMOTE) (NOTUPSET) (SHOWFEEL) (SHOWANGR)	
2005	意見への賛否：人を雇う時には親族や友人を採用	Q7HIRE		2004.4 統数研「東アジア価値観国際比較調査」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査
2006	意見への賛否：同郷の人が活躍すると誇らしい	Q7SMTWN		
2007	意見への賛否：部下は上司の指示に従う	Q7SBORD		1991.5 ドイツ日本研究所・ウルリッヒ・メーワルト「日本人の価値意識に関する調査」
2008	意見への賛否：リーダーにはすべての決定を委ねる	Q7CPLDR		2007 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジア・パロメータ第2波」
2009	意見への賛否：平凡な人生よりも不安定だが可能性に満ちた人生	Q7RSKLF		1991.5 ドイツ日本研究所・ウルリッヒ・メーワルト「日本人の価値意識に関する調査」
2010	意見への賛否：余分なお金は投資	Q7CPINV		
2011	地域への愛着：今住んでいる都市や町	EMCLTWN	CLSENEI CLSETOWN SATCITY (CLSESTAT)	2003.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『ナショナル・アイデンティティ(国への帰属意識)』」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2008.10 時事通信社「地域社会に関する世論調査」(『中央調査報』08.12)
2012	地域への愛着：日本	EMCLJPN	CLSEUSA	2003.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『ナショナル・アイデンティティ(国への帰属意識)』」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2008.6 NHK 放送文化研究所第8回「日本人の意識調査・2008」 2009.1 内閣府「社会意識に関する世論調査」
2013	地域への愛着：東アジア	EMCLSA	CLSENOAM	2003.11 NHK 放送文化研究所「ISSP 国際比較調査『ナショナル・アイデンティティ(国への帰属意識)』」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2006.7 中央大学法学部猪口研究室「アジア・パロメータ-2006」
2014	好きな音楽：クラシック音楽	MSPRFCL	CLASSICL OPERA	1997.11 園部雅久「脱工業型都市の社会分析(サービスクラス増大の社会的意味)」 1998.2 ベネッセコーポレーション「モノグラフ 高校生 高校生の教科観—受験の学力・生活する学力—」 1999.11 東北大学教育文化研究会「教育と社会に対する高校生の意識調査第4次調査」
2015	好きな音楽：ロック	MSPRFRC	CONROCK HVYMETAL OLDIES	1998.2 ベネッセコーポレーション「モノグラフ 高校生 高校生の教科観—受験の学力・生活する学力—」
2016	好きな音楽：ジャズ・ブルース	MSPRFJZ	BLUES JAZZ	1997.11 園部雅久「脱工業型都市の社会分析(サービスクラス増大の社会的意味)」 1998.2 ベネッセコーポレーション「モノグラフ 高校生 高校生の教科観—受験の学力・生活する学力—」



2017	好きな音楽：ポピュラー音楽	MSPRFPOP	CONROCK COUNTRY MOODEASY NEWAGE OLDIES RAP	1997.11 園部雅久「脱工業型都市の社会分析(サービスクラス増大の社会学的意味)」 1998.2 ベネッセコーポレーション「モノグラフ 高校生 高校生の教科観—受験の学力・生活する学力—」
2018	好きな音楽：演歌	MSPRFENK	COUNTRY FOLK GOSPEL LATIN REGGAE	
2019	外国で性風俗の娯楽を経験した知人の数	NUMSXENT	(PAIDSEX) (EVPAIDSEX)	
2020	性風俗の娯楽を経験した地域：東アジア	SXENTEA		
2021	性風俗の娯楽を経験した地域：東南アジア	SXENTSA		
2022	性風俗の娯楽を経験した地域：ヨーロッパ	SXENTEP		
2023	性風俗の娯楽を経験した地域：北アメリカ	SXENTNA		
2024	性風俗の娯楽を経験した地域：その他	SXENTOT		
2025	性風俗の娯楽を経験した地域：わからない	SXENTDK		
2026	国際問題を話す頻度	FQCNVII	DISCPOL (TALKPOL) (TALKPOL1-3)	
2027	海外ニュースを知るメディア：新聞	SRCINNP	NEWSFROM NEWSFRMY	2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」
2028	海外ニュースを知るメディア：ラジオ	SRCINRD	NEWSFROM NEWSFRMY	
2029	海外ニュースを知るメディア：テレビ	SRCINTV	NEWSFROM (TVNEWS) NEWSFRMY	
2030	海外ニュースを知るメディア：インターネット	SRCININT	FORAFF12 NEWSFROM (NEWS12) (NEWS30) (POLINF12) NEWSFRMY	2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」
2031	海外ニュースを知るメディア：知人	SRCINPN	NEWSFROM NEWSFRMY	
2032	海外ニュースを知るメディア：その他	SRCINOT	NEWSFROM NEWSFRMY	
2033	外国の訪問経験：中国	VSTCN		2003.2-3 ベネッセコーポレーション「モノグラフ 高校生 高校生からみた「日本」—ナショナルなものへの感覚—」
2034	外国の訪問経験：韓国	VSTSK		
2035	外国の訪問経験：台湾	VSTTW		2006.7 中央大学法学部猪口研究室「アジア・パロメータ—2006」
2036	外国の訪問経験：東南アジア	VSTSA		
2037	外国の訪問経験：ヨーロッパ	VSTEP		2007.2-3 Asian Barometer (池田謙一ほか)「アジア・パロメータ第2波」
2038	外国の訪問経験：北アメリカ	VSTNA		
2039	外国の訪問経験：その他の外国	VSTOT		2008.10 内閣府「外交に関する世論調査」
2040	外国の訪問経験：外国に行ったことがない	VSTNO		

2041	外国人の知人の有無：中国	FRNAQCN	(ACQNHASN) (ACQNHBLC) (ACQNHHSK) (ACQNHWHK)	2006.7 中央大学法学部猪口研究室「アジア・パ ロメータ-2006」 2007.2-3 Asian Barometer (池田謙一ほか)「ア ジアン・パロメータ第2波」
2042	外国人の知人の有無：韓国	FRNAQSK	(ACQWKASN) (ACQWKBLK) (ACQWKHSP) (ACQWKWHT)	
2043	外国人の知人の有無：台湾	FRNAQTW	(ACQVAASN) (ACQVABLK) (ACQVAHSP) (ACQVAWHT)	
2044	外国人の知人の有無：東南アジア	FRNAQSA	(ASNCOM) (ASNSCHL) (ASNWRK) (BLKCOM) (BLKSCHL)	
2045	外国人の知人の有無：ヨーロッパ	FRNAQEP	(BLCWRK) (HISPCOM) (HISPSCHL) (HISWRK)	
2046	外国人の知人の有無：北アメリカ	FRNAQNA	(JEWSCOM) (JEWSSCHL) (JEWWRK)	
2047	外国人の知人の有無：その他の外国	FRNAQOT	(KNWASN) (KNWBLK) (KNWHISP) (KNWJEW)	
2048	外国人の知人の有無：外国人の知り合 いはいない	FRNAQNO	(KNWWHT) (WHTCOM) (WHTSCHL) (WHTWRK)	
2049	外国人の同僚の受け入れ意識：中国	ACPFWCN		1997.11 大阪市立大学文学部社会学研究室内関 西コミュニティ研究会・住みよい町づくり 調査委員会「1997 大阪ともに生きる住みよ い町づくり調査」
2050	外国人の同僚の受け入れ意識：韓国	ACPFWSK		
2051	外国人の同僚の受け入れ意識：台湾	ACPFWTW		
2052	外国人の同僚の受け入れ意識：東南アジ ア	ACPFWSA		
2053	外国人の同僚の受け入れ意識：ヨーロッ パ	ACPFWEP		
2054	外国人の同僚の受け入れ意識：北アメリ カ	ACPFWNA		
2055	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：中 国	ACPFNBCN		1997.11 大阪市立大学文学部社会学研究室内関 西コミュニティ研究会・住みよい町づくり 調査委員会「1997 大阪ともに生きる住みよ い町づくり調査」 2005.8 大阪市立大学大学院文学研究科都市文 化研究センター「多文化共生に関する都市 実態調査」研究会「ともに生きる住みよい 町づくりアンケート」
2056	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：韓 国	ACPFNBK	(LIVEJEW) (LIVEBLK) (LIVEASN)	
2057	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：台 湾	ACPFNBW	(LIVEHSP) (LIVENO) (LIVESO)	
2058	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：東 南アジア	ACPFNBSA	(LIVEWHT) (NEIETH1) (RACNEIGH)	
2059	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：ヨ ーロッパ	ACPFNBEP		
2060	外国人の近隣居住者の受け入れ意識：北 アメリカ	ACPFNBNA		
2061	外国人の親族の受け入れ意識：中国	ACPFRCN		1997.11 大阪市立大学文学部社会学研究室内関 西コミュニティ研究会・住みよい町づくり 調査委員会「1997 大阪ともに生きる住みよ い町づくり調査」 2005.8 大阪市立大学大学院文学研究科都市文 化研究センター「多文化共生に関する都市 実態調査」研究会「ともに生きる住みよい 町づくりアンケート」
2062	外国人の親族の受け入れ意識：韓国	ACPFRSK	(RACMAREL) (MARJEW)	
2063	外国人の親族の受け入れ意識：台湾	ACPFRTW	(MARBLK) (MARASIAN)	
2064	外国人の親族の受け入れ意識：東南アジ ア	ACPFRSA	(MARHISP) (MARNNO)	
2065	外国人の親族の受け入れ意識：ヨーロッ パ	ACPFREP	(MARSO) (MARWHT)	
2066	外国人の親族の受け入れ意識：北アメリ カ	ACPFRNA		

2067	意見への賛否：外国人労働者増加	OPFRNWRK	LETIN LETIN1 (EXCLDIMM) (LETINASN) (LETINEUR) (LETINHSP)	1991.8 生命保険文化センター「日本人の生活価値観調査」 1993.9 旧東京都立労働研究所「外国人の就労に関する意識調査」 2005.11 早稲田大学 21 世紀 COE 「開かれた政治経済制度の構築」「21 世紀日本人の社会・政治意識に関する調査(GLOPE2005)」 2004.10 大阪大学大学院先端人間科学講座「情報化社会に関する全国調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」
2068	意見への賛否：外国人花嫁増加	OPFRNBRD		1991.8 生命保険文化センター「日本人の生活価値観調査」 2000.8 東京都立大学「職業と社会的ネットワークに関する調査」
2069	意見への賛否：外国製品の輸入制限	OPFRNPRD	IMPORTS (FREETRDE)	2000.10 1999 年度-2002 年度科学研究費補助金特別推進研究「民主主義の機能不全の理論的実証的研究」「アジア・ヨーロッパ調査(ASES)」
2070	意見への賛否：自国の国益追求	OPNTLINT	AMOWNWAY (DECSORGS)	
2071	意見への賛否：固有の文化への損害	OPDMGCLT	FORCULT (IMMNEW)	2000.8 東京都立大学「職業と社会的ネットワークに関する調査」
2072	グローバル化の賛否：日本の経済にとって	OPGLBECN	IMMAMECO (FREETRDE) (IMMECON) (IMPORTS) (INTLINCS)	
2073	グローバル化の賛否：日本人の雇用機会にとって	OPGLBWRK	IMMJOB IMMUNEMP IMMNOJOB MORETRDE	
2074	グローバル化の賛否：日本の環境にとって	OPGLBENV		
2075	グローバル化の賛否：日本の消費者にとって	OPGLBCNS	(FREETRDE)	
2076	グローバル化の賛否：あなた自身の雇用機会・雇用安定にとって	OPGLBJBO		
2077	グローバル化の賛否：あなた自身の消費生活にとって	OPGLBLIF		
2078	英語能力：英字新聞の短い記事を読む	EANWP		2006.1 内閣府「多様な働き方に関する意識調査」
2079	英語能力：英語でおしゃべりする	EACHTT	SPKLANG SPKLANGW (OTHLANG)	2006.1 内閣府「多様な働き方に関する意識調査」
2080	英語能力：英語で手紙を書く	EALTTR		
2081	外国の大学・大学院に通った経験	XARDCLG	(NATDEG)	1999.5 ニッセイ基礎研究所「金融専門人材アンケート調査」
2082	外国での教育・研修経験	XARDEDU		2000.2 高齢・障害者雇用支援機構「個人のキャリア開発に関するアンケート調査」 2001.10 高齢・障害者雇用支援機構「派遣高齢者の就業実態に関するアンケート調査」
2083	主な勤め先の種類：外資系企業	JOBFCAP		1990.5 生命保険文化センター「企業の福利厚生に関わる勤労者の意識調査」 2002.1 労働政策研究・研修機構「事業再構築と雇用に関する調査」
2084	主な勤め先の種類：公益的団体	JOBNPO	WORKFOR WRKGOVT	2003.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
2085	配偶者の主な勤め先の種類：公益的団体	SSJBNPO	SPWRKGVGT	
2086	正月に新年の挨拶を交わした人の数：家族・親族以外	NYGRTOT		1997.7 東京都立大学人文学部社会学会「年賀状事例調査」 2001.7-2005.9 JESIII 研究会「21 世紀初頭の投票行動の全国的・時系列的調査研究」 2009 JESIV 「2009 年調査（選挙前調査）」
2087	正月に新年の挨拶を交わした人の数：家族・親族	NYGRTFA		

2088	ふだんの1日に接する人の数：家族・親族以外	PINTDOT	PEOCNTCT (BSTCALL) (BSTVISIT) (BYEMAIL) (BYEMPROB) (BYPHONE) (FRICALL) (FRIVISIT) (INPERSON) (LETTERS) (MEETINGS) (NUMCNTCT)	1995.11 東京都立大学人文学部社会学会「都市度とパーソナルネットワークに関する調査」
2089	ふだんの1日に接する人の数：家族・親族	PINTDFA	(BROCALL) (BROVISIT) (BYEMAIL) (BYEMPROB) (BYPHONE) (COUSINS) (DAUCALL) (DAUVISIT) (INPERSON) (KIDCALL) (KIDVISIT) (LETTERS) (MACALL) (MACALL1) (MAVISIT) (MAVISIT1) (MEETINGS) (NIECENEP) (NUMCNTCT) (PACALL) (PACALL1) (PARSLAW) (PAVISIT) (PAVISIT1) (PEOCNTCT) (RELCALL) (RELVISIT) (SIBINLAW) (SIBCALL) (SIBVISIT) (SISCALL) (SISVISIT) (SOCPARS) (SOCREL) (SOCSECS) (SONCALL) (SONVISIT) (UNCAUNTS)	1995.11 東京都立大学人文学部社会学会「都市度とパーソナルネットワークに関する調査」
2090	交流のある知人の職業：議員・上級公務員・自治体幹部	OCPLGSR		1995.11 東京都立大学人文学部社会学会「都市度とパーソナルネットワークに関する調査」
2091	交流のある知人の職業：管理職	OCPMNGR		
2092	交流のある知人の職業：専門職	OCPPRO	(ACQCHILD) (ACQCOPS) (ACQLAWS) (ACQSOCS)	
2093	交流のある知人の職業：技術支援職・専門補佐職	OCPTTECH		
2094	交流のある知人の職業：事務的職業	OCPLCRC		
2095	交流のある知人の職業：サービスの職業・販売的職業	OCPSALE		
2096	交流のある知人の職業：農林漁業従事者	OCPPAGFF		
2097	交流のある知人の職業：技能工・職人	OCPCRFT	(ACQELECS)	
2098	交流のある知人の職業：簡単な機械や乗り物の操作をする職業	OCPPMNOP		

2099	交流のある知人の職業：特に熟練を要しない簡易な職業	OCPELEM	(ACQJANS)	1995.11 東京都立大学人文学部社会学会「都市度とパーソナルネットワークに関する調査」
2100	SF12：主観的健康状態	SFHLCND	HEALTH HEALTH1	2000.2 総理府「生活習慣病に関する世論調査」 2002.12 朝日新聞「第25回定期国民意識調査」 2004, 2006 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」 2008.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」(『中央調査報』08.6) 2009.2 NHK 放送文化研究所「健康に関する世論調査」(『放送研究と調査』09.8) 2009.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」(『中央調査報』09.12) 2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」
2101	SF12：日常活動の困難：適度の活動	SFLMTMA	MODACT	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」
2102	SF12：日常活動の困難：階段をのぼる	SFLMTSTR	STAIRS	
2103	SF12：身体的健康の問題：ふだんの活動ができない	SFPHUSL	DIDLESSP HLTHDAYS	
2104	SF12：身体的健康の問題：内容によりふだんの活動ができない	SFPHCNT	LIMITEDP	
2105	SF12：精神的健康の問題：ふだんの活動ができない	SFMNTUSL	DIDLESSE HLTHDAYS MNTLHLTH	
2106	SF12：精神的健康の問題：ふだんの活動に集中できない	SFMNTCNT	CRELESSE	
2107	SF12：痛みによる仕事の困難	SFINTFPN	PAIN (PAINARMS)	
2108	SF12：精神的健康：おちついた気分	SFMHPEAC	PEACEFUL ATEASE CALM FIDGETY	
2109	SF12：精神的健康：活力にあふれる	SFMHENGY	ENERGY EXCITED	
2110	SF12：精神的健康：おちこんだ気分	SFMHDPRS	DOWNBLUE NOCHEER SHAKEBLU	
2111	SF12：健康問題による人づきあいの困難	SFINTFSC	SOCACTS	2009 NPO 法人健康医療評価研究機構「SF 健康調査票 SF-12v2」
2112	希望のなさ：将来の希望が持てない	NOFUTR	HOPELESS OPTIMIST PESSIMST	2007, 2008, 2009 内閣府「国民生活に関する世論調査」
2113	希望のなさ：目標は達成できない	NOGOAL	PESSIMST (HOPELESS)	
2114	慢性的な病気の有無	XCHRDIS	(HLTH10) (HLTH11) (REGDOCYR)	2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
2115	慢性的な病気の種類：高血圧*	CRHYTNS	(BRKDWHY1-3)	2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
2116	慢性的な病気の種類：糖尿病*	CRDIABT		
2117	慢性的な病気の種類：心血管疾患*	CRHRTDIS		
2118	慢性的な病気の種類：呼吸器疾患*	CRRSPROB		
2119	慢性的な病気の種類：脂質異常症*	CRHYLPM		
2120	慢性的な病気の種類：脳血管疾患*	CRCRBVAS		
2121	慢性的な病気の種類：腰痛・関節痛*	CRBKPAIN	BACKPAIN PAINARMS (BRKDWHY1-3)	2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」 2008.10 統数研「日本人の国民性」第12次全国調査
2122	慢性的な病気の種類：その他*	CROTHER	(BRKDWHY1-3)	2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
2123	慢性的な病気の種類：前立腺*	CRPRDIS		
2124	慢性的な病気の種類：アレルギー性疾患*	CRARGDIS		
2125	慢性的な病気の種類：悪性新生物(がん)*	CRCANCR		
2126	慢性的な病気の種類：精神疾患*	CRMENIL		

2127	慢性的な病気の種類：感覚器系疾患（聴力・視力の障害など）*	CRSENDIS		
2128	慢性的な病気の種類：肝臓・すい臓・胆のう*	CRLPGDIS		
2129	慢性的な病気の種類：胃腸*	CRGASDIS		
2130	慢性的な病気の種類：腎臓*	CRKIDDIS	(BRKDWY1-3)	2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
2131	慢性的な病気の種類：甲状腺*	CRTHYDIS		
2132	慢性的な病気の種類：骨折*	CRBONE		
2133	慢性的な病気の種類：身体障害・術後の後遺症*	CRPDPOS		
2134	慢性的な病気の種類：頭痛・肩こり*	CRHEADSS		
2135	皮膚のかゆみ	SKITCH		
2136	身長：cm	HEIGHT		
2137	体重：kg	BDWEIGHT	(INTRWGHT)	
2138	現在の喫煙頻度	FQSMOKE		2008.11 厚生労働省「平成20年国民健康・栄養調査」
2139	喫煙年数	SMOKEYR		
2140	お酒を飲む頻度	DO5DRINK	DRINK DRINK12 DRINK8 DRINK5 DRINK3 DRINK1 DRINK6UP DRINKMIN DRINKYR EVDRAIN	
2141	運動頻度	FQEXER	DOSPORTS GRPSPORT	2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
2142	健康診断の受診経験	XHLTCHK		2007.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」 2009.4 時事通信社「健康とスポーツに関する世論調査」
2143	体型が気になる程度	CAREBDS		
2144	体型が気になる理由：周りの人の目	RCBDEYE		
2145	体型が気になる理由：自分自身の気持ち	RCBDFEEL		
2146	体型が気になる理由：健康の問題	RCBDHLT		
2147	体型が気になる理由：服の問題	RCBDWR		
2148	体型が気になる理由：その他	RCBDOTH		
2149	体型管理：運動	MBDEXE		2008.11 厚生労働省「平成20年国民健康・栄養調査」
2150	体型管理：食事の量や質のコントロール	MBDFD		
2151	体型管理：サプリメントの摂取	MBDSUPP		
2152	体型管理：その他	MBDOTH		
2153	体型管理：特に何も行っていない	MBDNONE		
2154	現在の体重に対する意識	OPWGHT		2008.11 厚生労働省「平成20年国民健康・栄養調査」
2155	医師の診断を受けた頻度	FQ6DCTR	(GODOC) (HLTH1) (HLTH10) (HOSDIS5) (REGDOCYR)	2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
2156	医師の診断を控えた経験	XRFDCTR	HRDSHP5 MNTLDIF (MNTLCARE)	2007.2 日本福祉大学「AGES（愛知老年学的評価研究）2006」
2157	医師の診断を控えた理由：待ち時間が長い	RFDRWL		2007.2 日本福祉大学「AGES（愛知老年学的評価研究）2006」
2158	医師の診断を控えた理由：費用がかかる	RFDRCS	HRDSHP5	2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
2159	医師の診断を控えた理由：病院が近くにない	RFDRDIS		
2160	医師の診断を控えた理由：どの病院に行ったらよいかわからない	RFDRDK		2007.2 日本福祉大学「AGES（愛知老年学的評価研究）2006」
2161	医師の診断を控えた理由：交通手段がない	RFDRTRNS		
2162	医師の診断を控えた理由：病院に行くのが好きではない	RFDRAVSN		2007.2 日本福祉大学「AGES（愛知老年学的評価研究）2006」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」

2163	医師の診断を控えた理由：忙しくて時間がない	RFDRBSY		
2164	医師の診断を控えた理由：病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した	RFDRSLGT		2007.2 日本福祉大学「AGES（愛知老年学的評価研究）2006」
2165	医師の診断を控えた理由：保険が使えない	RFDRINS	HRDSHP6 MNTLDENY	2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
2166	医師の診断を控えた理由：その他	RFDROTH		2007.2 日本福祉大学「AGES（愛知老年学的評価研究）2006」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
2167	医療保険の種類	TPHLINS	A28188 EMPHLTH EMPHLTH1-2 EMPHPLAN HLTHCOVR HLTHINSR HLTHPLAN HLTHTYPE OTHPLAN (FRINGE1-3)	2003.11 生命保険文化センター「生活設計と金融・保険に関する調査 VOL.6（サラリーマンの老後のライフスタイルと生活設計に関する調査）」 2007.4 生命保険文化センター「生活保障に関する調査」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
2168	東洋医療の経験：鍼・灸	XOMDACU		2001.12 生命保険文化センター「生活設計と金融・保険に関する調査 Vol.2（健康と医療に関する意識調査）」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
2169	東洋医療の経験：漢方薬	XOMDHRB		
2170	東洋医療の経験：指圧・マッサージ	XOMDMAS		
2171	医療不安：必要な時に受けられない	FRMDREC	DOC13 HRDSHP5 (DIFFCARE)	2007.1 日本医療政策機構「医療政策に関する世論調査」
2172	医療不安：医療費を払えない	FRMDPAY	(TERMCON) (TERMPAY)	
2173	心配事を聞いてくれた人の有無	LSCON	DOWN1-2 DOWN1A-2A (BRKDDO1-3) (MNILDO1-3) (SOLVEOWN)	1987, 1990, 1993, 1996 東京都健康長寿医療センター研究所・ミシガン大学「老研-ミシガン大学 全国高齢者パネル調査」（60歳以上） 1999.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第1回全国家族調査」（NFRJ98）
2174	心配事を聞いてくれた人：同居家族	LSCONFF		
2175	心配事を聞いてくれた人：その他の家族	LSCONRL	DOWN1-2	
2176	心配事を聞いてくれた人：職場の人	LSCONCL	DOWN1A-2A	
2177	心配事を聞いてくれた人：近所の人	LSCONNB	(BRKDDO1-3)	
2178	心配事を聞いてくれた人：友人	LSCONFR	(MNILDO1-3)	
2179	心配事を聞いてくれた人：専門職の人	LSCONPR	(SOLVEOWN)	
2180	心配事を聞いてくれた人：その他	LSCONOTH		
2181	経済的な面で助けてくれた人の有無	FNHP	BORROWED	1987, 1990, 1993, 1996 東京都健康長寿医療センター研究所・ミシガン大学「老研-ミシガン大学 全国高齢者パネル調査」（60歳以上）
2182	経済的な面で助けてくれた人：同居家族	FNHPFF		
2183	経済的な面で助けてくれた人：その他の家族	FNHPRL		
2184	経済的な面で助けてくれた人：職場の人	FNHPCL	WHOLOAND	
2185	経済的な面で助けてくれた人：近所の人	FNHPNB	(BORROW1-2)	
2186	経済的な面で助けてくれた人：友人	FNHPFR	(BORROW1A-2A)	
2187	経済的な面で助けてくれた人：専門職の人	FNHPPR		
2188	経済的な面で助けてくれた人：その他	FNHPOTH		
2189	その他の手助けをしてくれた人の有無	OTHP	(CHORES1-2) (SICK1A-2A)	
2190	その他の手助けをしてくれた人：同居家族	OTHPFF		
2191	その他の手助けをしてくれた人：その他の家族	OTHPRL		
2192	その他の手助けをしてくれた人：職場の人	OTHPCL	(CHORES1-2) (SICK1A-2A)	
2193	その他の手助けをしてくれた人：近所の人	OTHPNB		
2194	その他の手助けをしてくれた人：友人	OTHPFR		

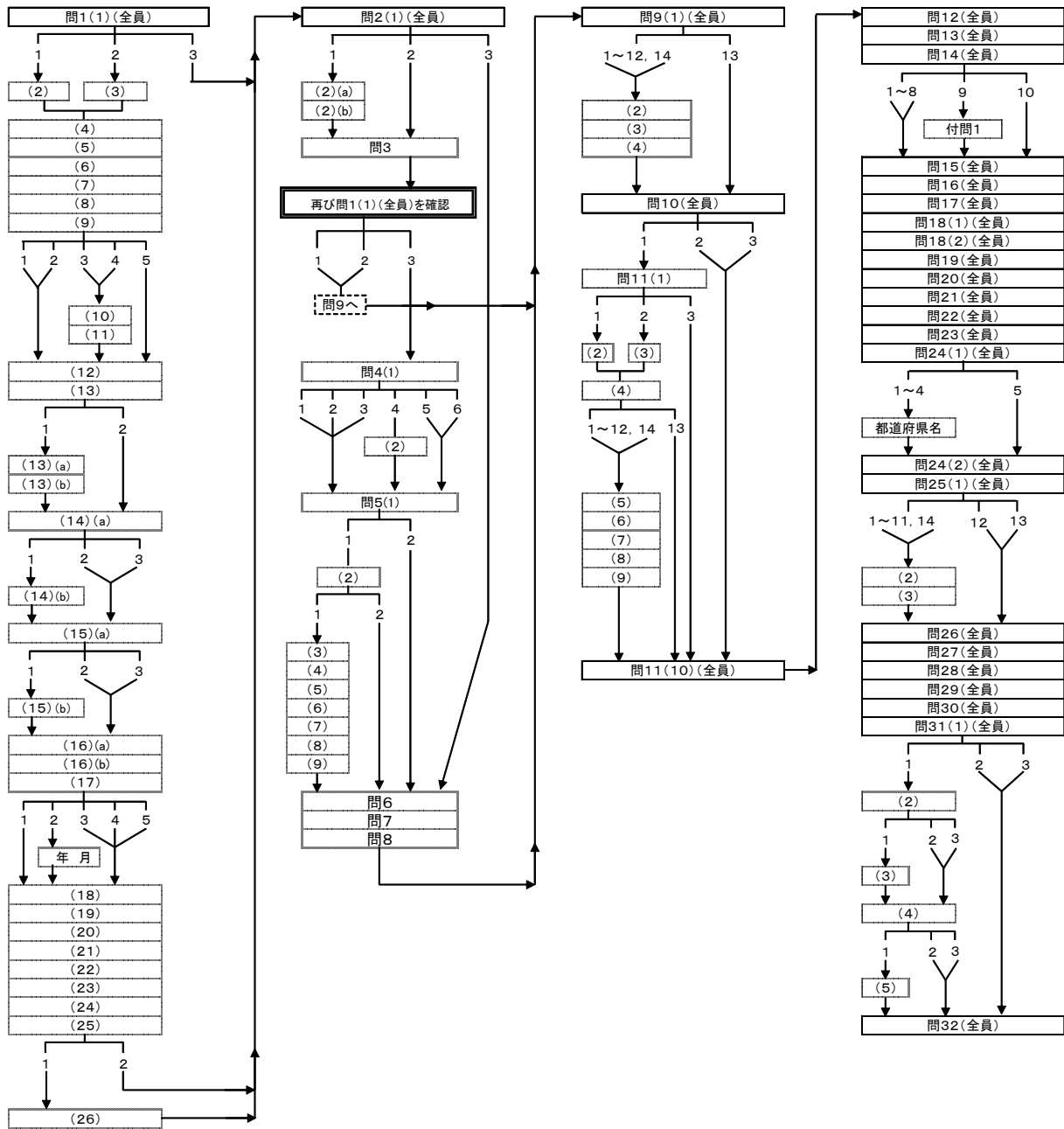
2195	その他の手助けをしてくれた人：専門職の人	OTHPPR	(CHORES1-2) (SICK1A-2A)	
2196	その他の手助けをしてくれた人：その他	OTHPOTH		
2197	人への信頼感	OP4TRUST	CANTRUST TRUST TRUSTY	2000.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査」 2003.9 統数研「日本人の国民性」第11次全国調査 2005.7 電通総研・日本リサーチセンター「世界価値観調査 2005」
2198	環境被害：大気汚染	ENHMAP	(CARSFAM) (ENPRBFAM) (GRNCON) (GRNEFFME) (INDUSFAM)	
2199	環境被害：水質汚染	ENHMWP	(ENPRBFAM) (GRNCON) (GRNEFFME) (WATERFAM)	
2200	環境被害：騒音被害	ENHMNP	(ENPRBFAM) (GRNCON) (GRNEFFME)	
2201	環境被害：日照被害	ENHMSUN	(ENPRBFAM) (GRNCON) (GRNEFFME)	
2202	近隣状況：運動に適している	OPNBEXE		
2203	近隣状況：新鮮な果物や野菜が手に入る	OPNBFD		
2204	近隣状況：公共施設が整っている	OPNBPF		
2205	近隣状況：安心して生活できる	OPNBSAFE	FEAR	
2206	近隣状況：互いに気にかけている	OPNBMTCN		
2207	近隣状況：手助けしてくれる	OPNBASS		
2208	時間的なゆとり感	TMAFFL	(HRSRELAX) (RLEISURE) (TIMELEIS)	2009.6 内閣府「国民生活に関する世論調査」
2209	心のゆとり感	PCMIND	HARMONY (TIMERELX)	2007.12 東京都生活文化スポーツ局「健康に関する世論調査」 2008.2 時事通信社「時事世論調査」
2210	孤独感	LONELY	LONELY	
2211	心身の癒し：温泉・銭湯・サウナに行く	FRLXBATH		
2212	心身の癒し：マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける	FRLXMSSG		2001.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
2213	心身の癒し：自然の中で過ごす	FRLXNATR		
2214	心身の癒し：ペットと過ごす	FRLXPET		
2215	心身の癒し：体操をする	FRLXEXE	(DOSPORTS)	
2216	心身の癒し：音楽を聴く・歌を歌う	FRLXMSC	(GOMUSIC) (POPMUSIC) (RELART)	2001.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
2217	生活を楽んでいる	ENJYLF	HAPUNHAP SATFAM SATFAM7	
2218	インフルエンザの予防接種の経験	XFLUVCC		
2219	新型インフルエンザの大流行への不安	FEARNFLU		
2220	インフルエンザ感染の有無	INFCFLU	(BRKDWY1-3)	
2221	同居家族のインフルエンザ感染の有無	FINFCFLU		
2222	介護を必要とする家族の有無	CRNDFF	EXTRA1-2 HLTH6 HLTH7 TERMINAL	2004.1 日本家族社会学会全国家族調査委員会「第2回全国家族調査」(NFRJ03) 2005.11 内閣府「高齢者の生活と意識第6回国際比較調査」
2223	回答者が家族の主な介護者	CRGIVFF	CARESICK CARESIK1	2006.10 総務省「社会生活基本調査」 2007.6 厚生労働省「国民生活基礎調査」
2224	年をとることへの不安：自分で自分のことができなくなる	WAGTARND		2001.1 第一生命経済研究所「今後の生活に関するアンケート」
2225	年をとることへの不安：自分のことを他の人に決めてもらう	WAOTHMD		2002.3 高齢・障害者雇用支援機構「定年到達者等の仕事と生活に関するアンケート調査」
2226	年をとることへの不安：経済的に依存する	WAFINDPN	TERMECON	



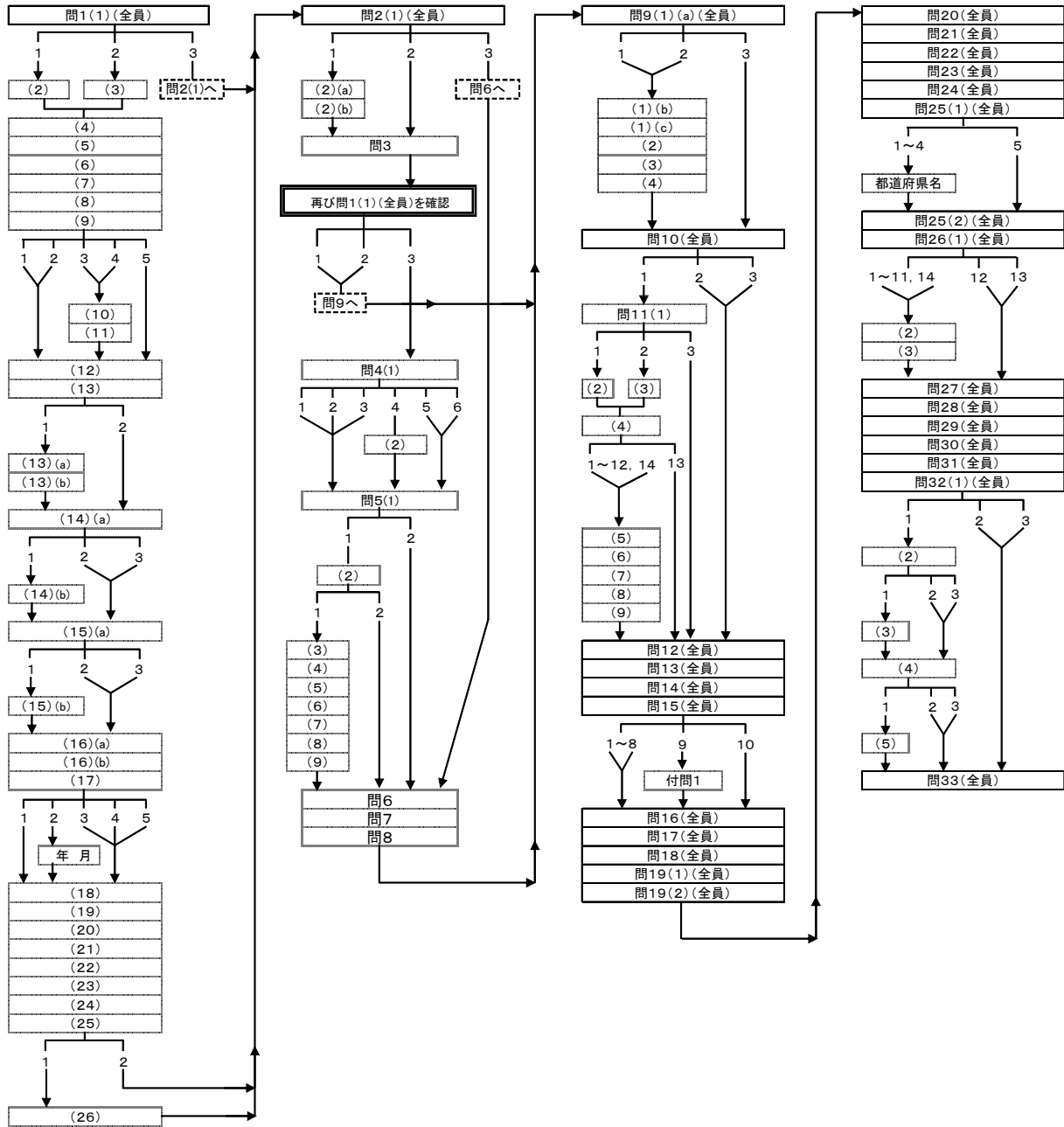
2227	ウェイト*	WEIGHT	FORMWT. OVERSAMP WTSS WTSSALL WTSSNR	
------	-------	--------	--	--

前田 幸男・田辺 俊介・木村 雅文・杉田 陽出

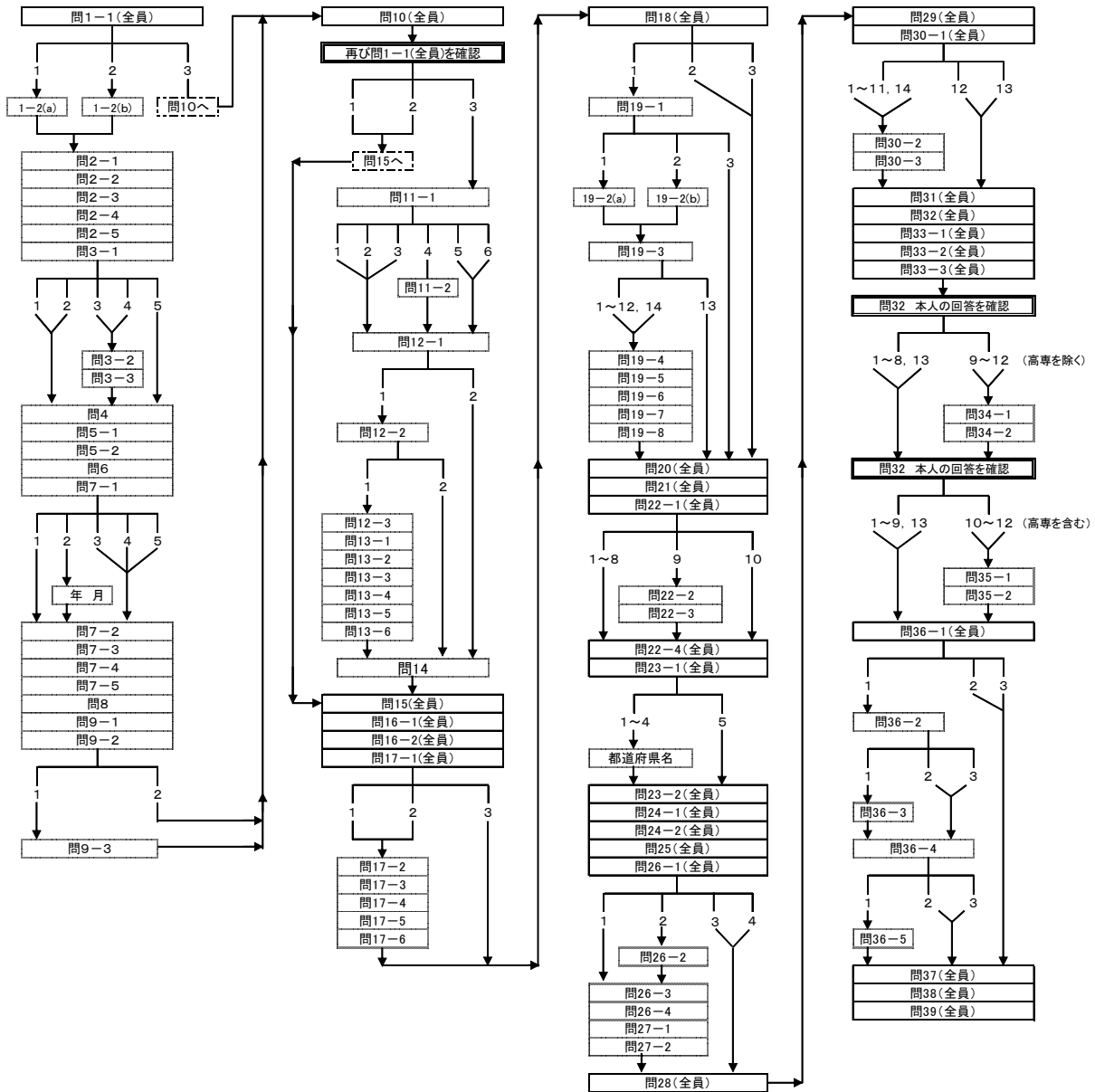
.7 面接調査票フローチャート：JGSS-2000



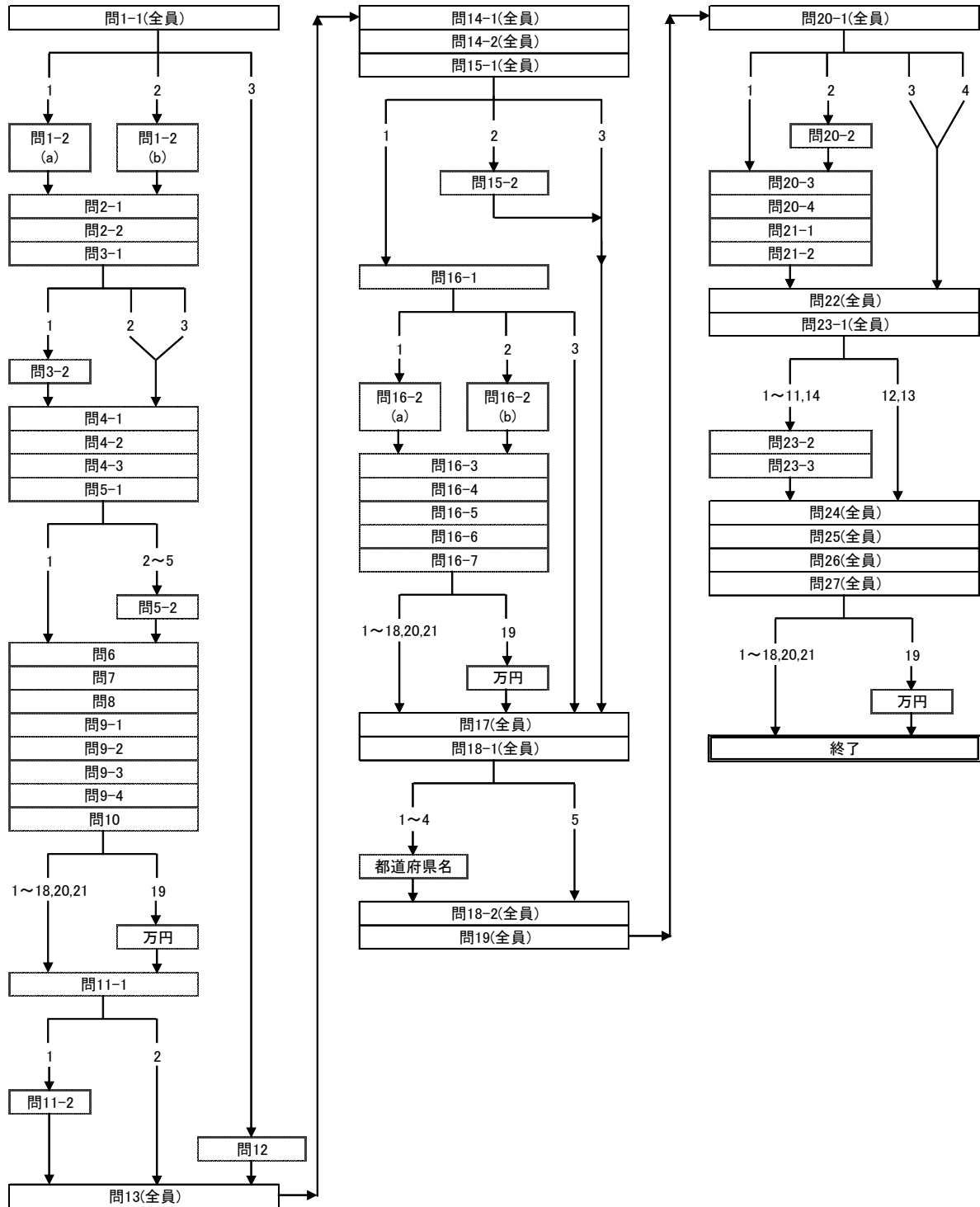
### .7 面接調査票フローチャート：JGSS-2001



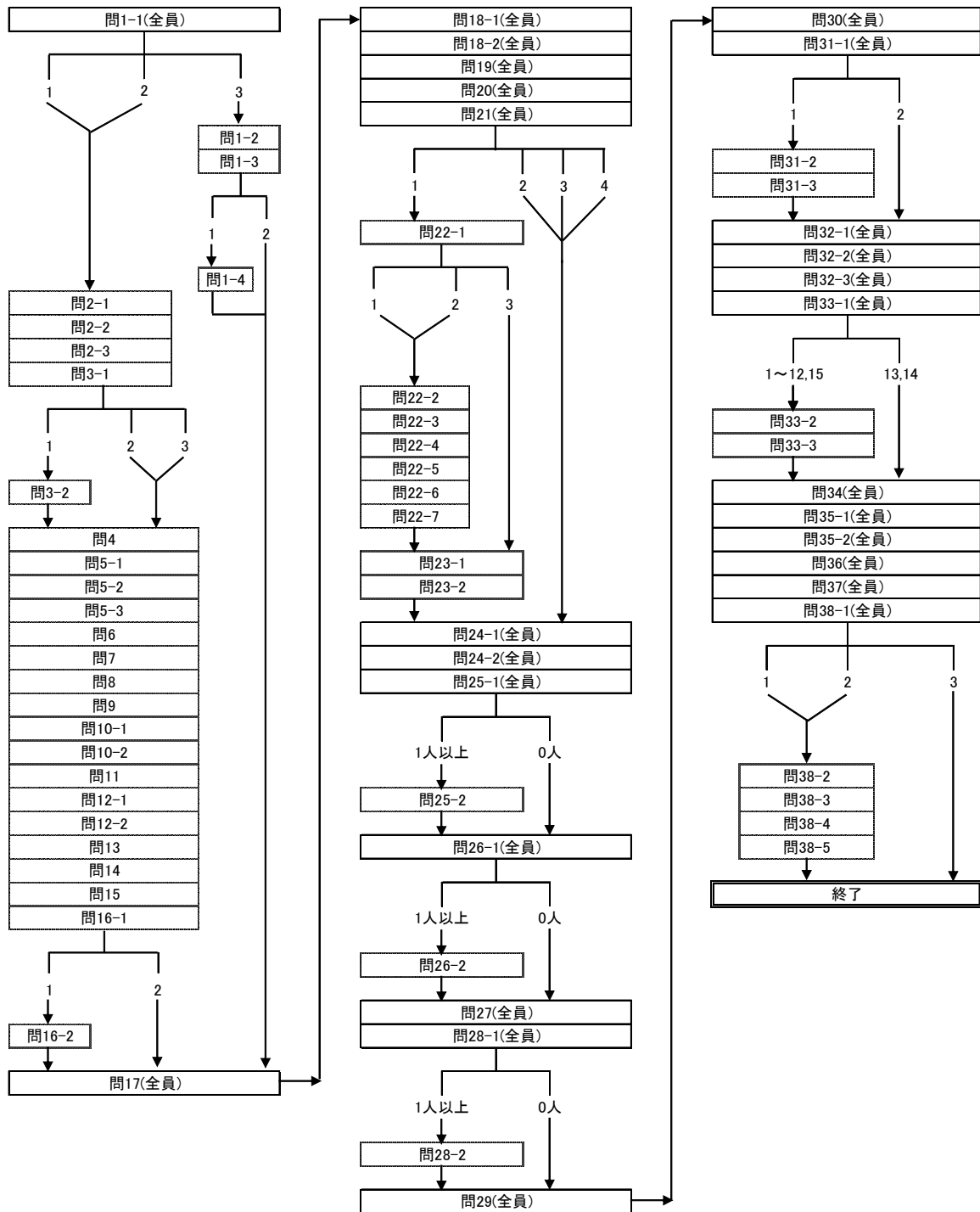
### .7 面接調査票フローチャート：JGSS-2002



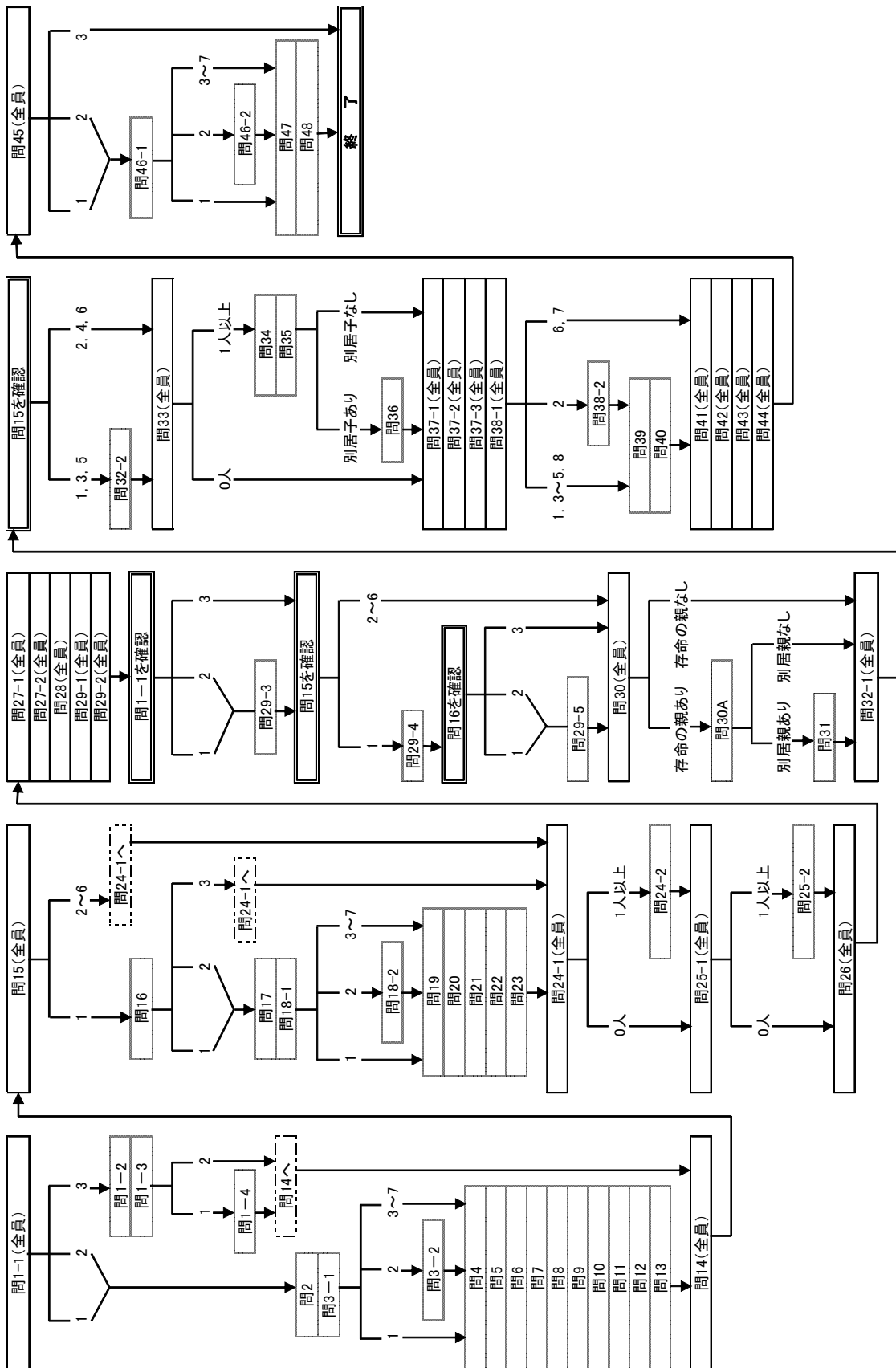
. 7 面接調査票フローチャート：JGSS-2003



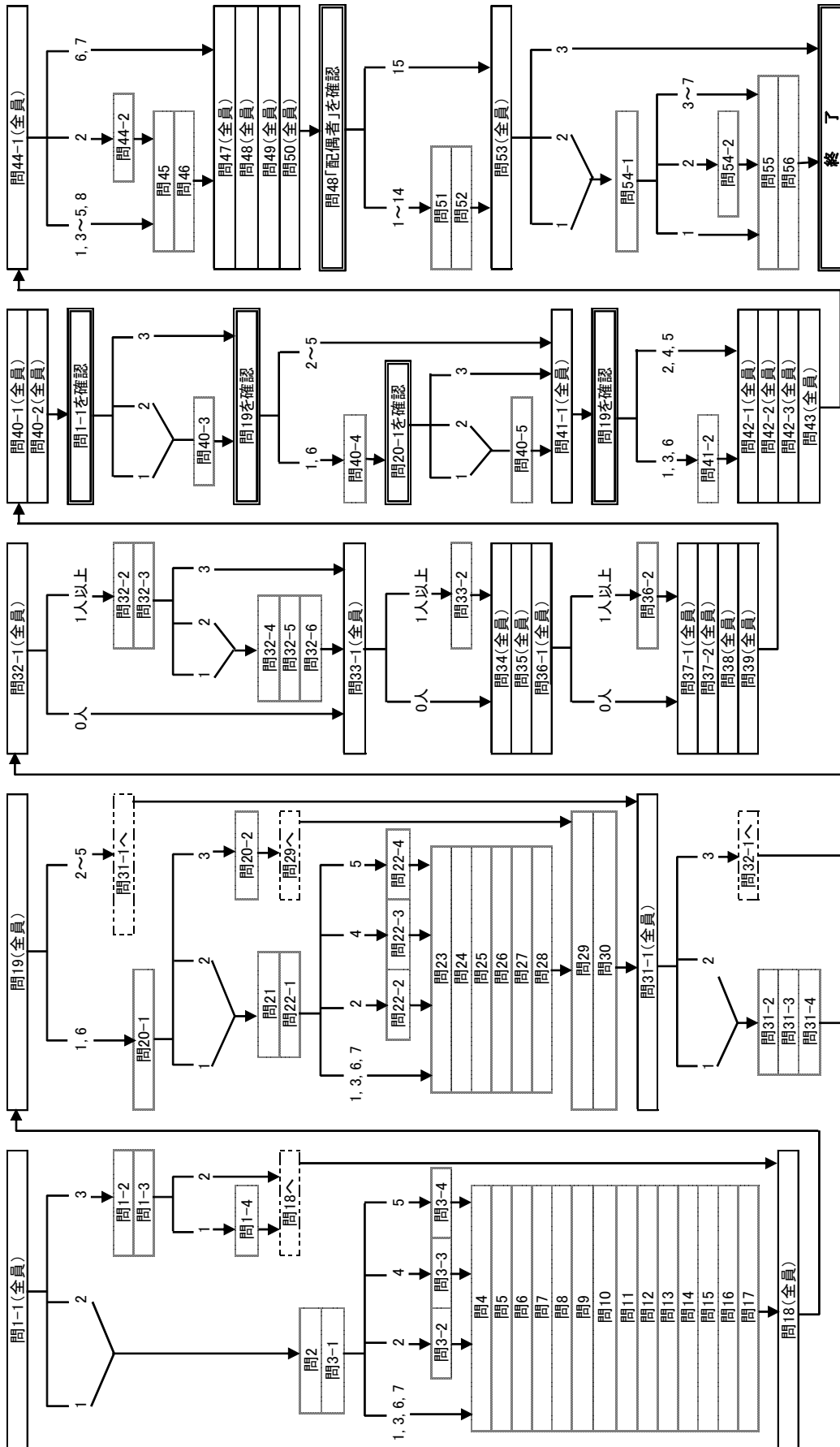
.7 面接調査票フローチャート：JGSS-2005



7. 面接調査票フローチャート：JGSS-2006

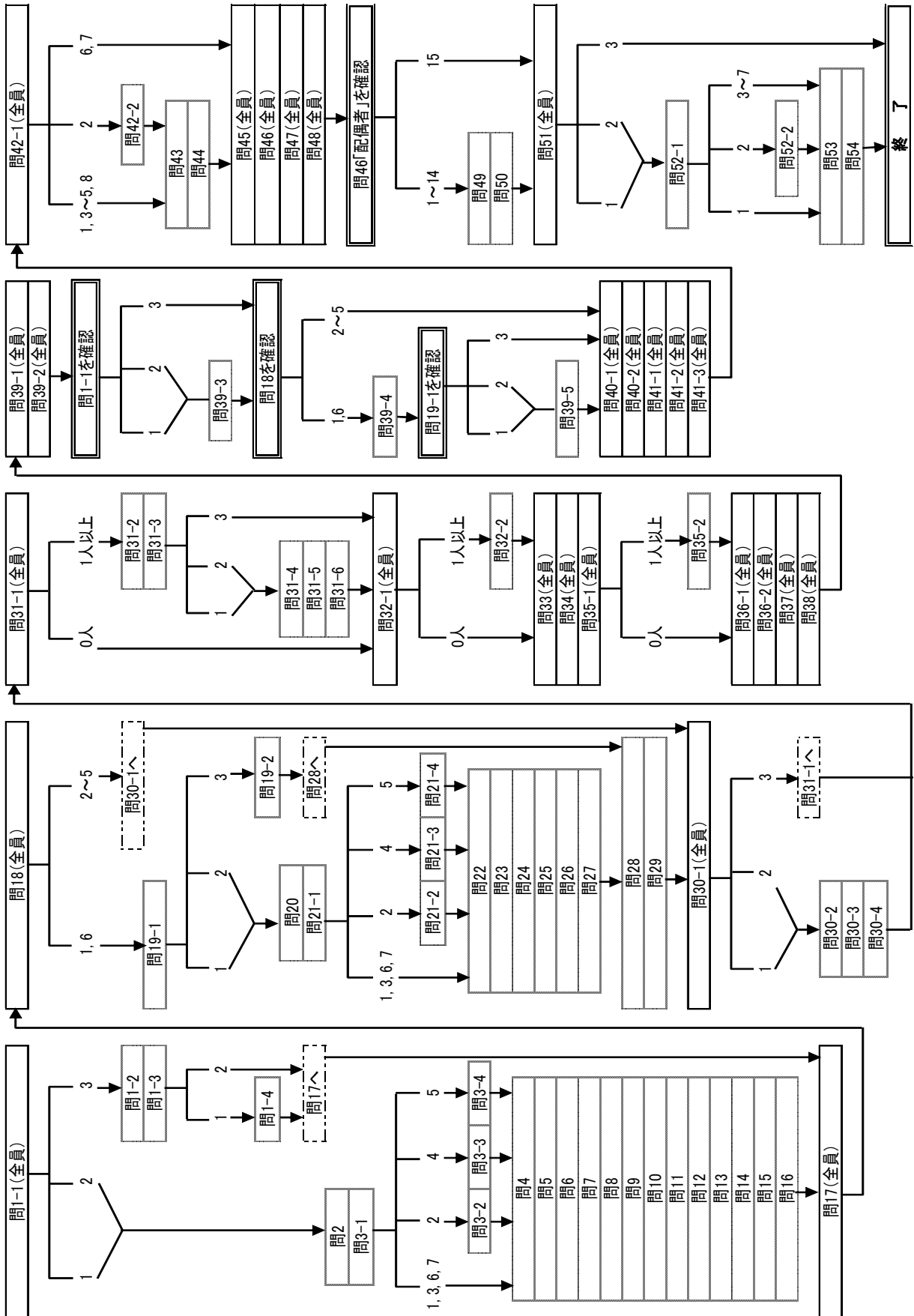


7. 面接調査票フローチャート：JGSS-2008





7. 面接調査票フローチャート：JGSS-2010



文部省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

## 生活と意識についての国際比較調査

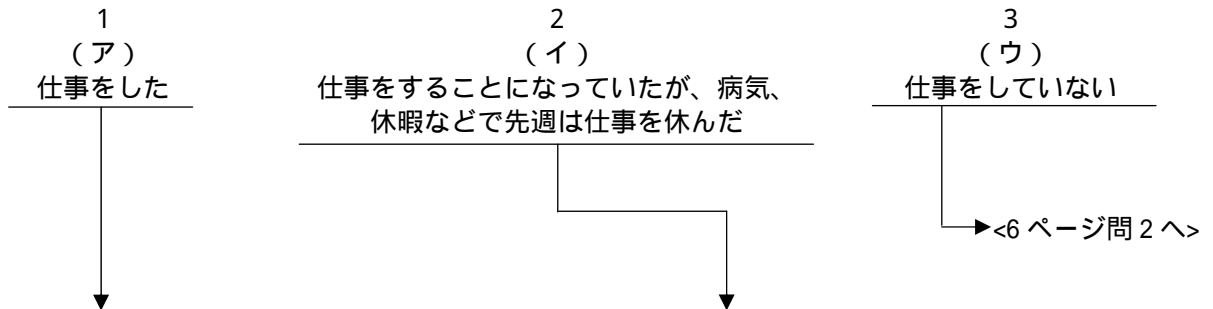
面接調査票  
2000年10月

IDUSE 識別番号  
BLOCK 地域ブロック  
PREF 都道府県名  
SIZE 市群規模  
SEXA 性別  
AGEB 年齢  
MARC 配偶者(DOMARRYの転記)  
DRAN アタック状況番号  
DOBYEAR 生年(西暦)

まずはじめに、あなたのお仕事について、おうかがいします。

問1(1)〔回答票1〕先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか、または仕事をする事になっていましたか。この中からあげてください。

XJOB1WK



XJOB1WK

週  日

XJOBHWK

週合計  時間

XOTHWK

(内) 残業  時間



問 1(10) 本社、本店はどのような事業を行っていますか。具体的にお聞かせください。

XXWPHQ

(具体的に)

問 1(11) [回答票 6] 従業員(働いている人)は、会社・組織全体で何人くらいですか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

SZTTLSTA

- |              |                |                     |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人     | 5 (オ) 30~99人   | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 2 (イ) 2~4人   | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人   | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上        |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 わからない            |

問 1(12) あなたは現在の会社・組織に通算何年働いていますか。(自営業者は自営業を行っている期間)

XJOBYSR

年間

調査員注：1年未満の場合は0(ゼロ)と記入。

問 1(13) あなたは、仕事をするうえで役立っていると考えられる教育訓練や研修を、過去1年間に受けましたか。

XTRG1YR

1 はい



2 いいえ

→ 問 1(14)へ

問 1(13)(a) [回答票 7] その教育・訓練の費用は、誰が負担しましたか。複数の教育訓練や研修を受けた場合は、すべてを想定してください。次の中で主なものを1つだけ選んでください。

WHPAYTRG

- |                        |                       |                                    |                        |
|------------------------|-----------------------|------------------------------------|------------------------|
| 1<br>(ア)<br>主に事業主が負担した | 2<br>(イ)<br>主に自分で負担した | 3<br>(ウ)<br>主に政府などの公的な<br>費用でまかかった | 4<br>(エ)<br>その他<br>( ) |
|------------------------|-----------------------|------------------------------------|------------------------|

問 1(13)(b) [回答票 8] その教育訓練や研修は合計してどのくらいの期間行われましたか。複数の教育訓練などを受けた場合は、すべての期間を合計してください。

SZTRGA

- |                       |                       |                       |                       |  |  |                          |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--|--|--------------------------|
| 1<br>(ア)<br>1週間<br>以下 | 2<br>(イ)<br>2週間<br>程度 | 3<br>(ウ)<br>3週間<br>程度 | 4<br>(エ)<br>1ヶ月<br>程度 | 5<br>(オ)<br>1ヶ月を超えて<br>3ヶ月まで<br>(3ヶ月を含む) | 6<br>(カ)<br>3ヶ月を超えて<br>半年まで<br>(半年を含む) | 7<br>(キ)<br>半年を越えた<br>期間 |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--|--|--------------------------|

問 1(14)(a) あなたには仕事の上であなたを管理・監督する方(上司など)がいますか。

DOBOSS

1 いる



2 いない

3 わからない

→ 問 1(15)へ

問 1(14)(b) その人を管理・監督する方(上司など)はいますか。

BSDOBOSS

1 いる

2 いない

3 わからない



問 1(22)〔回答票 13〕今働いている会社をやめるつもりがありますか。(または)今の事業をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA

- |             |             |               |       |
|-------------|-------------|---------------|-------|
| 1           | 2           | 3             | 4     |
| (ア)         | (イ)         | (ウ)           |       |
| 近いうちにやめるつもり | 当分やめるつもりはない | まったくやめるつもりはない | わからない |

問 1(23)〔回答票 14〕昨年度のあなたの主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料その他が引かれる前の額をお答えください。調査員注：尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

SZINCOMX

- |                     |                                     |
|---------------------|-------------------------------------|
| 1 (ア) なし            | 13 (ス) 850～1,000 万円未満               |
| 2 (イ) 70 万円未満       | 14 (セ) 1,000～1,200 万円未満             |
| 3 (ウ) 70～100 万円未満   | 15 (ソ) 1,200～1,400 万円未満             |
| 4 (エ) 100～130 万円未満  | 16 (タ) 1,400～1,600 万円未満             |
| 5 (オ) 130～150 万円未満  | 17 (チ) 1,600～1,850 万円未満             |
| 6 (カ) 150～250 万円未満  | 18 (ツ) 1,850～2,300 万円未満             |
| 7 (キ) 250～350 万円未満  | 19 (テ) 2,300 万円以上 --- (19 の場合、具体的に) |
| 8 (ク) 350～450 万円未満  | 約 _____ 万円                          |
| 9 (ケ) 450～550 万円未満  | 20 回答したくない                          |
| 10 (コ) 550～650 万円未満 | 21 わからない                            |
| 11 (サ) 650～750 万円未満 |                                     |
| 12 (シ) 750～850 万円未満 |                                     |

SZHIINCX

問 1(24)〔回答票 15〕あなたの主な給料や収入の形態はこの中のどれに該当しますか。また、支払われ方とそのおおよその金額(税金、社会保険料、その他引かれる前の額)を教えてください。ただし残業手当は除きます。調査員注：選択肢 1～7 にも (マル)をつける。

TP5PAY

- SZPAYHRX 1 (ア) 時間給 -----  円
- SZPAYDYX 2 (イ) 日 給 -----  円
- SZPAYWKX 3 (ウ) 週 給 -----  円
- SZPAYMOX 4 (エ) 月 給 -----  円
- SZPAYYRX 5 (オ) 年 俸 -----  億  万  円
- 6 (カ) 他の支払い方法  (具体的に)
- 7 わからない

問 1(25)今お答えいただいた仕事以外に先週、収入をとまなう仕事をしましたか、またはすることになっていましたか。

XSJB1WK

- |      |                |
|------|----------------|
| 1 はい | 2 いいえ          |
| ↓    | → <6 ページ問 2 へ> |

問 1(26)その他の収入の仕事を、先週合計何時間しましたか。またはすることになっていましたか。

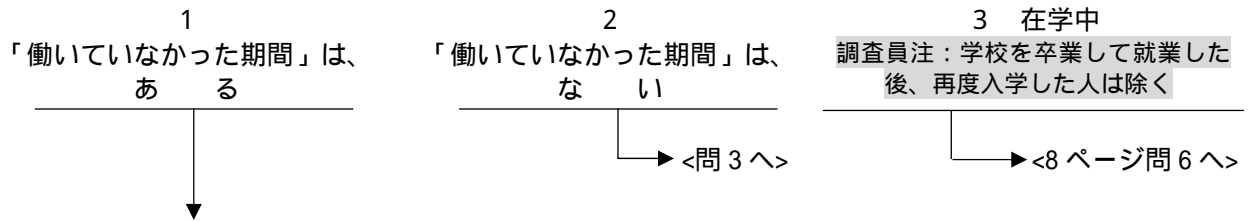
SZSJBHWK

時間

(全員に)

問 2(1)あなたが学校を卒業してから今まで、収入をとまなう仕事をしていなかった期間はありますか。現在働いていない方は現在働いていない期間も含めてお答えください。また、家業も就職と考えてください。

**XNOWORK**



問 2(2)(a)〔回答票 16〕働いていなかった期間は通算何年ですか。

**SZNOWORK**

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 (ア) 1 年未満     | 4 (エ) 5 ~ 10 年未満 |
| 2 (イ) 1 ~ 3 年未満 | 5 (オ) 10 年以上     |
| 3 (ウ) 3 ~ 5 年未満 | 6 わからない          |

問 2(2)(b)〔回答票 17〕そのうち、仕事を探していた期間はどのくらいありますか。

**SZFINDJB**

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1 (ア) 仕事を探していたことはない | 5 (オ) 5 ~ 10 年未満 |
| 2 (イ) 1 年未満         | 6 (カ) 10 年以上     |
| 3 (ウ) 1 ~ 3 年未満     | 7 わからない          |
| 4 (エ) 3 ~ 5 年未満     |                  |

問 3〔回答票 18〕あなたは、これまで正規の社員・職員としていくつの会社・組織で働きましたか。現在正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてください。

**XNUMCOWK**

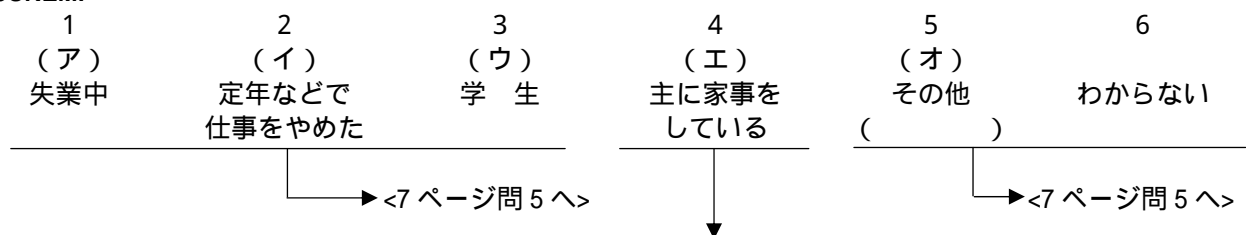
- |                                     |             |
|-------------------------------------|-------------|
| 1 (ア) 0 社 (これまで正規の社員・職員として働いたことはない) | 5 (オ) 4 社   |
| 2 (イ) 1 社                           | 6 (カ) 5 社   |
| 3 (ウ) 2 社                           | 7 (キ) 6 社以上 |
| 4 (エ) 3 社                           | 8 わからない     |

調査員注：問 1(1)で「1 (ア) 仕事をした」、「2 (イ) 仕事をするようになっていたが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」と回答した人は、9 ページ問 9 へ。

(仕事をしていない人、つまり問 1(1)で「3 (ウ) 仕事をしていない」を選択した人のみに)

問 4(1)〔回答票 19〕先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

**TP5UNEMP**



問 4(2)〔回答票 20〕『家事という仕事についている』と考えた場合、あなたは現在の家事の仕事にどの程度満足していますか。

**ST5HSWK**

- |                    |                                |                           |                                |                        |            |
|--------------------|--------------------------------|---------------------------|--------------------------------|------------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>満足している | 2<br>(イ)<br>どちらかといえば<br>満足している | 3<br>(ウ)<br>どちらとも<br>いえない | 4<br>(エ)<br>どちらかといえば<br>不満足である | 5<br>(オ)<br>不満足<br>である | 6<br>わからない |
|--------------------|--------------------------------|---------------------------|--------------------------------|------------------------|------------|





問 5(8)〔回答票 23〕従業員（働いていた人）は、会社・組織全体で何人くらいでしたか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

**SZSTFLSA**

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 1 (ア) 1 人         | 7 (キ) 300 ~ 499 人      |
| 2 (イ) 2 ~ 4 人     | 8 (ク) 500 ~ 999 人      |
| 3 (ウ) 5 ~ 9 人     | 9 (ケ) 1,000 ~ 1,999 人  |
| 4 (エ) 10 ~ 29 人   | 10 (コ) 2,000 ~ 9,999 人 |
| 5 (オ) 30 ~ 99 人   | 11 (サ) 1 万人以上          |
| 6 (カ) 100 ~ 299 人 | 12 (シ) 官公庁             |
|                   | 13 わからない               |

問 5(9)〔回答票 24〕その仕事からの年間の収入はいくらでしたか。税金、社会保険料その他が引かれる前の額をお答えください。調査員注：尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

**SZINLST**

- |                       |                                     |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 1 (ア) な し             | 13 (ス) 850 ~ 1,000 万円未満             |
| 2 (イ) 70 万円未満         | 14 (セ) 1,000 ~ 1,200 万円未満           |
| 3 (ウ) 70 ~ 100 万円未満   | 15 (ソ) 1,200 ~ 1,400 万円未満           |
| 4 (エ) 100 ~ 130 万円未満  | 16 (タ) 1,400 ~ 1,600 万円未満           |
| 5 (オ) 130 ~ 150 万円未満  | 17 (チ) 1,600 ~ 1,850 万円未満           |
| 6 (カ) 150 ~ 250 万円未満  | 18 (ツ) 1,850 ~ 2,300 万円未満           |
| 7 (キ) 250 ~ 350 万円未満  | 19 (テ) 2,300 万円以上 --- (19 の場合、具体的に) |
| 8 (ク) 350 ~ 450 万円未満  | 約 _____ 万円                          |
| 9 (ケ) 450 ~ 550 万円未満  | 20 回答したくない <b>SZHILST</b>           |
| 10 (コ) 550 ~ 650 万円未満 | 21 わからない                            |
| 11 (サ) 650 ~ 750 万円未満 |                                     |
| 12 (シ) 750 ~ 850 万円未満 |                                     |

問 6 あなたは今後、収入をとまなう仕事につきたいですか。

**WLWANTJB**

- |       |       |
|-------|-------|
| 1 は い | 2 いいえ |
|-------|-------|

問 7 あなたは現在仕事を探していますか。

**DOFINDJB**

- |       |       |
|-------|-------|
| 1 は い | 2 いいえ |
|-------|-------|

問 8〔回答票 25〕現在、あなたの生計をまかなう主な収入源は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| <b>INPEN</b>    | 1 (ア) 年 金              |
| <b>INUEB</b>    | 2 (イ) 失業保険             |
| <b>INSAVING</b> | 3 (ウ) 貯 蓄              |
| <b>INPOUSE</b>  | 4 (エ) 配偶者の収入           |
| <b>INPARENT</b> | 5 (オ) 親の収入             |
| <b>INFAMILY</b> | 6 (カ) 配偶者・親以外の家族の収入    |
| <b>INSOCSEC</b> | 7 (キ) 社会福祉（生活保護、福祉手当等） |
| <b>INIRREG</b>  | 8 (ク) 不定期的な仕事          |
| <b>INOTHER</b>  | 9 (ケ) その他（ _____ ）     |
| <b>INNOKNOW</b> | 10 わからない               |
| <b>INNOMARK</b> | （いずれも選択していない）          |

(全員に)

あなたが学校教育終了後、最初についた職業についておうかがいします。

問 9(1)〔回答票 26〕その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

調査員注：官公庁に該当する回答者にも、問 9(1)従業上の地位、(2)事業内容、(3)仕事内容を必ず尋ねる。1(ア)「経営者」と 10(コ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

TP12FSTJ

- |                  |            |                      |
|------------------|------------|----------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員     |            | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 | 役職なし       | 9 (ケ) 派遣社員           |
| 3 (ウ)            | " 職長、班長、組長 | 10 (コ) 自営業主・自由業者     |
| 4 (エ)            | " 係長、係長相当職 | 11 (サ) 家族従業者         |
| 5 (オ)            | " 課長、課長相当職 | 12 (シ) 内職            |
| 6 (カ)            | " 部長、部長相当職 | 13 (ス) 仕事についたことがない   |
| 7 (キ)            | " 役職はわからない | 14 わからない             |

(13(ス)の場合) <10 ページ問 10 へ>

問 9(2)あなたが最初についた職業で働いていた場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)は、どのような事業をしていましたか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

XXFSTWP

(具体的に)

問 9(3)あなたが最初についた職業では、どのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校の教員、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理の仕事、塾の教師、コンピュータのプログラマー、.....というように)

XXFSTJB

(具体的に)

問 9(4)〔回答票 27〕あなたが最初についた職業では、会社・組織全体で従業員(働いていた人)は何人くらいでしたか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

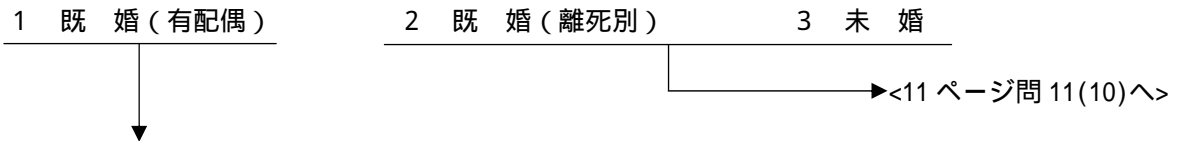
SZSTFFST

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人       | 7 (キ) 300~499人      |
| 2 (イ) 2~4人     | 8 (ク) 500~999人      |
| 3 (ウ) 5~9人     | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 4 (エ) 10~29人   | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 5 (オ) 30~99人   | 11 (サ) 1万人以上        |
| 6 (カ) 100~299人 | 12 (シ) 官公庁          |
|                | 13 わからない            |

ここからはあなたの配偶者（つれ合い）のことについておうかがいします。

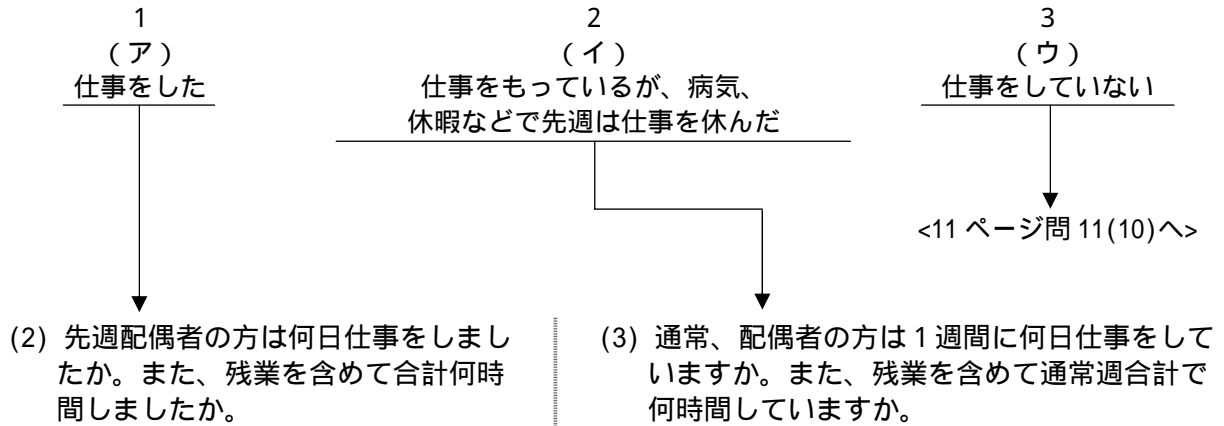
問 10 まず、あなたは結婚していますか。調査員注：婚姻届を出していない内縁の関係も含む。

DOMARRY



問 11(1)〔回答票 28〕配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

SSJB1WK



SSJBDWK                      週            日

SSJBHRWK                      週            時間

問 11(4)〔回答票 29〕配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

調査員注：官公庁に該当する回答者にも、問 11(4)従業上の地位、(5)事業内容、(6)仕事内容を必ず尋ねる。

1 (ア)「経営者」と 10(コ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

SSTP12JB

- |                              |                               |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員                 | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト          |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし        | 9 (ケ) 派遣社員                    |
| 3 (ウ)                      " | 10 (コ) 自営業主・自由業者              |
| 4 (エ)                      " | 11 (カ) 家族従業者                  |
| 5 (オ)                      " | 12 (キ) 内 職                    |
| 6 (カ)                      " | 13 (ク) 仕事についたことがない            |
| 7 (キ)                      " | 14                      わからない |

(13(ス)の場合) <11 ページ問 11(10)へ>

問 11(5)配偶者の方が働いている場所（工場、事務所、商店などの事業所）は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

SSXXHQX

(具体的に)

問 11(6)配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。主な収入の仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理の仕事、塾の教師、コンピュータのプログラマー、.....というように)

SSXXJOB

(具体的に)

問 11(7)〔回答票 30〕配偶者の方が働いている会社・組織全体で、従業員(働いている人)は何人くらいですか。配偶者自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

SSSZSTFA

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人       | 7 (キ) 300~499人      |
| 2 (イ) 2~4人     | 8 (ク) 500~999人      |
| 3 (ウ) 5~9人     | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 4 (エ) 10~29人   | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 5 (オ) 30~99人   | 11 (サ) 1万人以上        |
| 6 (カ) 100~299人 | 12 (シ) 官公庁          |
|                | 13 わからない            |

問 11(8)配偶者の方は現在の会社・組織に通算何年働いていますか。(自営業者は自営業を行っている期間)

SSSZWKYR

年間

調査員注：1年未満の場合は0(ゼロ)と記入。

問 11(9)〔回答票 31〕昨年度の配偶者の方の主な仕事からの収入はいくらでしたか。

税金、社会保険料その他が引かれる前の額をお答えください。

調査員注：尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

SSSZINCM

- |                    |                                   |
|--------------------|-----------------------------------|
| 1 (ア) なし           | 13 (ス) 850~1,000万円未満              |
| 2 (イ) 70万円未満       | 14 (セ) 1,000~1,200万円未満            |
| 3 (ウ) 70~100万円未満   | 15 (ソ) 1,200~1,400万円未満            |
| 4 (エ) 100~130万円未満  | 16 (タ) 1,400~1,600万円未満            |
| 5 (オ) 130~150万円未満  | 17 (チ) 1,600~1,850万円未満            |
| 6 (カ) 150~250万円未満  | 18 (ツ) 1,850~2,300万円未満            |
| 7 (キ) 250~350万円未満  | 19 (テ) 2,300万円以上 --- (19の場合、具体的に) |
| 8 (ク) 350~450万円未満  | 約 _____ 万円                        |
| 9 (ケ) 450~550万円未満  | 20 回答したくない                        |
| 10 (コ) 550~650万円未満 | 21 わからない                          |
| 11 (サ) 650~750万円未満 |                                   |
| 12 (シ) 750~850万円未満 |                                   |

SSHIINCX

(全員に)

ここからは、あなた自身についておうかがいします。

問 11(10)〔回答票 32〕あなたのご家庭では、掃除・料理・洗濯などの家事を中心に行うのは誰ですか。

WH3HSWK

- 1 (ア) 私自身が主に行う
- 2 (イ) 私と私以外の者(配偶者・親・お手伝いさん・ヘルパーなど)が同じくらい行う
- 3 (ウ) 私以外の者(配偶者・親・お手伝いさん・ヘルパーなど)が主に行う
- 4 わからない

問 12〔回答票 33〕ここにあげる仕事に関する項目は、あなたにとってどの程度重要であると考えますか。

調査員注：現在仕事をしていない回答者については、「もし働くとしたら、一般的にどの程度重要であると考えますか」と尋ねる。

		(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	
(a)~(j)すべてについて		非常に重要である	重要である	どちらでもない	重要でない	まったく重要ではない	わからない
IM5SECUR	(a) 雇用が安定していること	1	2	3	4	5	6
IM5HIPAY	(b) 高収入であること	1	2	3	4	5	6
IM5PROMO	(c) 昇進の機会が多いこと	1	2	3	4	5	6
IM5INTRG	(d) 興味のある仕事であること	1	2	3	4	5	6
IM5INDEP	(e) 干渉されず、独立した仕事であること	1	2	3	4	5	6
IM5OTHER	(f) 他の人のためになる仕事であること	1	2	3	4	5	6
IM5SOCTY	(g) 社会にとって有益な仕事であること	1	2	3	4	5	6
IM5FREE	(h) 働く時間、日などを自分で決定できる仕事であること	1	2	3	4	5	6
IM5FAMIL	(i) 仕事と家庭生活を両立できること	1	2	3	4	5	6
IM5TRG	(j) 教育・訓練の機会が提供されること	1	2	3	4	5	6

問 13〔回答票 34〕わたしたちの社会には上層に位置するグループや下層に位置するグループがあります。次のような上から下までのスケール(尺度)で、あなたはどこに位置すると思いますか。

OP10LVL  
一番上 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 一番下

次に政党支持についておうかがいします。

問 14〔回答票 35〕現在、あなたはどの政党を支持していますか。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	わからない
自民党	民主党	公明党	自由党	共産党	社民党	保守党	その他 ( )	特に支持する政党はない	

→ <問 15 へ>
↓
↓
↓
↓
↓
↓
↓
↓

付問 1〔回答票 36〕ふだん好ましいと思っている政党はありますか。

XX9PLPFV

1 (ア) 自民党	6 (カ) 社民党
2 (イ) 民主党	7 (キ) 保守党
3 (ウ) 公明党	8 (ク) その他の政党 ( )
4 (エ) 自由党	9 (ケ) 特に好ましく感じる政党はない
5 (オ) 共産党	10 わからない

問 15〔回答票 37〕政権を担当する能力があるのはどの政党だと思いますか。(はいくつでも)

OLDPOK	1 (ア) 自民党
ODPOK	2 (イ) 民主党
OKOMEIOK	3 (ウ) 公明党
OLPOK	4 (エ) 自由党
OCOMMPOK	5 (オ) 共産党
OSDPOK	6 (カ) 社民党
OHOSHUOK	7 (キ) 保守党
OOTHEROK	8 (ク) その他の政党 ( )
ONOPLPOK	9 (ケ) そのような政党はない
OPLPDONT	10 わからない
OPLPNOMK	(いずれも選択していない)

次に、あなたのお住まいについておうかがいします。

問 16〔回答票 38〕あなたのお住まいはこの中のどれに該当しますか。

TP8DWEL

- 1 (ア) 持ち家 (一戸建て)
- 2 (イ) 持ち家 (集合住宅)
- 3 (ウ) 民間賃貸住宅 (一戸建て)
- 4 (エ) 民間賃貸住宅 (集合住宅)
- 5 (オ) 社宅・公務員住宅等の給与住宅 (一戸建て)
- 6 (カ) 社宅・公務員住宅等の給与住宅 (集合住宅)
- 7 (キ) 公社・公団等の賃貸公営住宅 (一戸建て)
- 8 (ク) 公社・公団等の賃貸公営住宅 (集合住宅)
- 9 (ケ) その他 ( )

問 17 お住まいの広さは、どれくらいですか。居室だけでなく住宅全体の床面積をお答えください。

畳数、坪数、㎡のいずれでも結構です。

(店舗併用住宅のときは、営業用の部分も含めてください。アパート、マンションなどの場合は、専用部分の床面積を教えてください。)

SZDWEL

--	--	--	--

平方メートル

調査員注：㎡に換算して記入すること。

( \_\_\_\_\_ 畳, \_\_\_\_\_ 坪 )

次に、あなたのご家族についてうかがいます。

問 18(1)あなたが一緒に住んでいるご家族の方は、あなたを含めて何人ですか。

SZFFHERE

--

人

問 18(2)単身赴任、学業、入院、福祉施設などに入所しているなどの理由で、一時的に別居しているご家族の方はいらっしゃいますか。いらっしゃる場合は、その人数をお教えてください。

SZFFAWAY

--

人

調査員注:いない場合は0(ゼロ)と記入する。

問 19〔回答票 39〕今あげていただいた同居あるいは別居しているご家族について、おうかがいします。あなたとの続柄、性別、年齢、一緒に住んでいるかどうかを順におっしゃってください。

- 〔一緒に住んでいない(同居していない)理由〕
- |            |                        |
|------------|------------------------|
| 1 (ア) 単身赴任 | 4 (エ) 老人福祉施設・社会福祉施設に入所 |
| 2 (イ) 学業   | 5 その他の理由・わからない         |
| 3 (ウ) 入院   | 6 回答拒否                 |

調査員注:回答者との続柄の番号(01~10)は、家族の人数分すべてにをつけること。

問 18(1)と(2)の合計人数と数があわない場合は、確認をする。

続柄はアフターコードできるように質問すること。

「同居の有無」は本人から見た同・別居。

家族が10人より多い場合は(補助用紙1)に記入し、このページにはさんでおく。

年齢は、回答者から質問があった場合は、「平成12年10月1日現在」で願います。

FF**MARK	FF**REL	FF**SEX	FF**AGE	FF**HERE	FF**WHY	FF**HEAD
回答者との続柄	アフターコード	性別	年 齢	同居の有無	別居の理由	世帯主
01 本人	00	男=1 女=2	歳	同居= 1 別居= 2		1
02		男=1 女=2	歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
03		男=1 女=2	歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
04		男=1 女=2	歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
05		男=1 女=2	歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
06		男=1 女=2	歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
07		男=1 女=2	歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
08		男=1 女=2	歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
09		男=1 女=2	歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
10		男=1 女=2	歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1

SPAGEX 配偶者(同居・別居にかかわらず)の年齢

アフターコード表

00 本人	10	20	30 孫(男)	40 父	50 兄	60 祖父	70 その他 (具体的に)
01 夫	11 長男	21 長女	31 孫(女)	41 母	51 弟	61 祖母	
02 妻	12 次男	22 次女	32 孫の配偶者	42 義父 (配偶者の父)	52 姉	62 義理の祖父 (配偶者の祖父)	
	13 三男	23 三女		43 義母 (配偶者の母)	53 妹	63 義理の祖母 (配偶者の祖母)	
	14 長男の妻	24 長女の夫			54 配偶者の兄		
	15 次男の妻	25 次女の夫			55 配偶者の弟		
	16 三男の妻	26 三女の夫			56 配偶者の姉		
					57 配偶者の妹		

問 20 いまあげたご家族の中で、世帯主はどなたですか。

調査員注：問 19 の該当者の世帯主欄に をつける。世帯主は必ず 1 名のみをあげてもらおう。

二世帯同居の場合でも、回答者の判断で 1 名を選んでもらう。

問 21 これまでにお持ちになったお子様は何人ですか。独立した人、亡くなった方も含めてお答えください。調査員注：「養子、連れ子を含むのか」と尋ねられた場合は「実子のみお答え下さい」と答える。

CCNUMTTL

人

問 22 そのお子様全員の生まれた年、性別、ご健在かどうかをお聞かせください。

調査員注：上の問 21 の子供の合計人数と差がでてよい。差がある場合は確認する。

「養子、連れ子を含むのか」と尋ねられた場合は「実子のみお答えください」と答える。

「年齢」は、年齢が不確かな場合は記入不要。また、「生死」が「死亡=2」「不明=3」の場合も記入不要。

子供の人数が 7 人より多い場合は(補助用紙 2)に記入し、このページにはさんでおく。

CC**MARK	CC**BORN	CC**SEX	CC**LIVE	CC**AGE
	生 年	性 別	生 死	年 齢
1	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳
2	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳
3	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳
4	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳
5	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳
6	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳
7	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳







あなたの結婚歴についておうかがいします。

問 31(1)あなたが最初に結婚した時の年齢はいくつでしたか。

**XMARRY**

**AGE1MG**

--	--	--

1 歳の時に結婚した

2 これまで一度も結婚していない

3 わからない

↓

→<問 32 へ>

問 31(2)あなたは、これまでに離婚の経験がありますか。(あると答えた者に)何回ありましたか。

**XDIV**

**FQXDIV**

ある

--	--	--

1 回

2 ない

3 わからない

↓

→<問 31(4)へ>

問 31(3)離婚した時の年齢はいくつでしたか。その後、再婚しましたか。

(再婚した者に)それは何歳の時でしたか。

<p>(1回目)</p> <p><b>AGE1DIV</b></p> <table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p>歳の時に離婚した</p>				<p>再婚</p> <p>1 した</p> <p>2 しない</p>	<p><b>AGEMG1DV</b></p> <table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p>歳の時</p>			
<p>(2回目)</p> <p><b>AGE2DIV</b></p> <table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p>歳の時に離婚した</p>				<p>再婚</p> <p>1 した</p> <p>2 しない</p>	<p><b>AGEMG2DV</b></p> <table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p>歳の時</p>			

問 31(4)あなたは、これまでに配偶者の方と死別した経験がありますか。(あると答えた者に)何回しましたか。

**XWIDOW**

**FQWDW**

ある

--	--	--

1 回

2 ない

3 わからない

↓

→<問 32 へ>

問 31(5)死別した時の年齢はいくつでしたか。その後、再婚しましたか。

(再婚した者に)それは何歳の時でしたか。

<p>(1回目)</p> <p><b>AGE1WDW</b></p> <table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p>歳の時に死別した</p>				<p>再婚</p> <p>1 した</p> <p>2 しない</p>	<p><b>AGEMG1WD</b></p> <table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p>歳の時</p>			
<p>(2回目)</p> <p><b>AGE2WDW</b></p> <table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p>歳の時に死別した</p>				<p>再婚</p> <p>1 した</p> <p>2 しない</p>	<p><b>AGEMG2WD</b></p> <table border="1"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p>歳の時</p>			

問 32〔回答票 47〕あなたの世帯全体の昨年一年間の収入についておうかがいします。税金を差し引き前の収入でお答えください。株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。この中のどれにあてはまりますか。調査員注：尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

## SZHSINCM

- |                       |                                     |                 |
|-----------------------|-------------------------------------|-----------------|
| 1 (ア) なし              | 13 (ス) 850 ~ 1,000 万円未満             |                 |
| 2 (イ) 70 万円未満         | 14 (セ) 1,000 ~ 1,200 万円未満           |                 |
| 3 (ウ) 70 ~ 100 万円未満   | 15 (ソ) 1,200 ~ 1,400 万円未満           |                 |
| 4 (エ) 100 ~ 130 万円未満  | 16 (タ) 1,400 ~ 1,600 万円未満           |                 |
| 5 (オ) 130 ~ 150 万円未満  | 17 (チ) 1,600 ~ 1,850 万円未満           |                 |
| 6 (カ) 150 ~ 250 万円未満  | 18 (ツ) 1,850 ~ 2,300 万円未満           |                 |
| 7 (キ) 250 ~ 350 万円未満  | 19 (テ) 2,300 万円以上 --- (19 の場合、具体的に) |                 |
| 8 (ク) 350 ~ 450 万円未満  |                                     | 約 _____ 万円      |
| 9 (ケ) 450 ~ 550 万円未満  | 20 回答したくない                          | <b>SZHSINCM</b> |
| 10 (コ) 550 ~ 650 万円未満 | 21 わからない                            |                 |
| 11 (サ) 650 ~ 750 万円未満 |                                     |                 |
| 12 (シ) 750 ~ 850 万円未満 |                                     |                 |

---

これで終わりです。長時間ありがとうございました。

〔調査員記入〕

F1．回答者のインタビューへの態度はどれくらい協力的でしたか。

**COOP**

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1 とても協力的      | 3 それほど協力的ではなかった |
| 2 どちらかといえば協力的 | 4 まったく協力的ではなかった |

F2．回答者の質問への理解度はどうでしたか。

**USTAND**

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1 非常に良い      | 3 あまり良くない  |
| 2 どちらかといえば良い | 4 まったく良くない |

F3．質問内容が不明瞭（理解していない）と思われる質問はどれでしたか。

具体的に

F4．その他（どんなことでも結構ですから、気づいた点をご記入ください。）

- ・謝礼について
- ・面接、留置調査の順番について など

PROC 《調査手順》		DATE			
		調査日		調査時刻	調査所要時間
1	面接 留置	MONTH	DAY	(開始) ___時___分	DURATION
2	留置 面接	___月	___日	(終了) ___時___分	___分

調査員注：調査所要時間は、インタビューの時間であり、調査依頼のための説明時間は含まない。



文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

## 生活と意識についての国際比較調査

2001年10月  
JGSS-2001 面接調査票

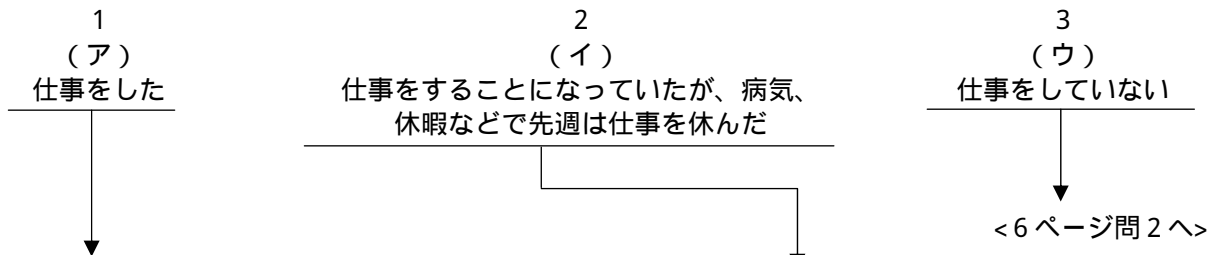
調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所

**IDUSE** 識別番号  
**BLOCK** 地域ブロック  
**PREF** 都道府県名  
**SIZE** 市群規模  
**SEXA** 性別  
**AGEB** 年齢  
**MARC** 配偶者(DOMARRYの転記)  
**DRAN** アタック状況番号  
**DOBYEAR** 生年(西暦)

まずはじめに、あなたのお仕事について、おうかがいします。

問1(1)〔回答票1〕先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか、または仕事をするようになっていましたか。この中からあげてください。

**XJOB1WK**



2つ以上仕事をしている方は主な仕事について、おうかがいします。

(2)あなたは主な収入を得る仕事を先週何日しましたか。また、週合計何時間しましたか。そのうち、残業は何時間しましたか。  
自営業など残業時間があてはまらない方は残業時間の記入は不要です。

2つ以上仕事をしている方は主な仕事について、おうかがいします。

(3)通常、あなたは主な収入を得る仕事を週何日していますか。また、通常週合計何時間していますか。そのうち残業時間はどれくらいですか。  
自営業など残業時間があてはまらない方は残業時間の記入は不要です。

**XJOB1WK** 週  日

**XJOBHWK** 週合計  時間

**XOTHWK** (内) 残業  時間

(以下、2つ以上の仕事をしている場合には、あなたの主な仕事についてうかがいます。)

問1(4)〔回答票2〕あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

調査員注：官公庁に該当する回答者にも問1(4)従業上の地位、(5)事業内容、(6)仕事内容、(7)組織規模、(8)女性割合を必ず尋ねる。1(ア)「経営者」と10(コ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

TP12JOB

- |                  |            |                      |
|------------------|------------|----------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員     |            | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 | 役職なし       | 9 (ケ) 派遣社員           |
| 3 (ウ)            | " 職長、班長、組長 | 10 (コ) 自営業主・自由業者     |
| 4 (エ)            | " 係長、係長相当職 | 11 (サ) 家族従業者         |
| 5 (オ)            | " 課長、課長相当職 | 12 (シ) 内職            |
| 6 (カ)            | " 部長、部長相当職 | 13 わからない             |
| 7 (キ)            | " 役職はわからない |                      |

問1(5)あなたが働いている場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)はどのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

XXWPL

(具体的に)

問1(6)あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように)

XXJOB

(具体的に)

問1(7)〔回答票3〕あなたが働いている場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)では何人くらいの方が働いていますか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

SZSTAF

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人       | 7 (キ) 300~499人      |
| 2 (イ) 2~4人     | 8 (ク) 500~999人      |
| 3 (ウ) 5~9人     | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 4 (エ) 10~29人   | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 5 (オ) 30~99人   | 11 (サ) 1万人以上        |
| 6 (カ) 100~299人 | 12 わからない            |

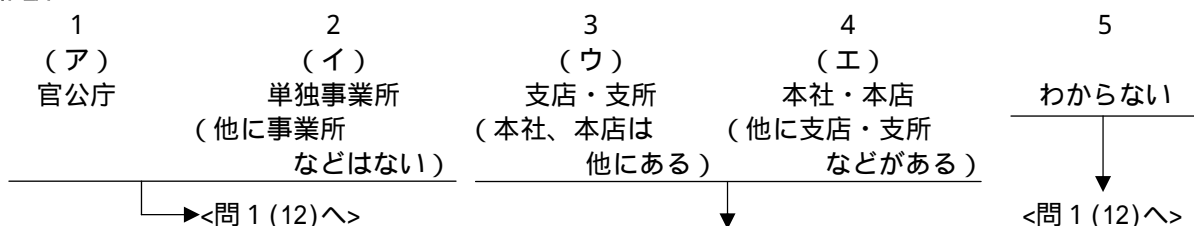
問1(8)〔回答票4〕その事業所で働いている人のうち、女性の割合はどれくらいですか。

SZWNSTF

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1 (ア) 0%     | 7 (キ) 51~60%   |
| 2 (イ) 1~10%  | 8 (ク) 61~70%   |
| 3 (ウ) 11~20% | 9 (ケ) 71~80%   |
| 4 (エ) 21~30% | 10 (コ) 81~90%  |
| 5 (オ) 31~40% | 11 (サ) 91~100% |
| 6 (カ) 41~50% | 12 わからない       |

問1(9)〔回答票5〕あなたが働く事業所はこの中のどれにあたりますか。

TP4WPLA



問 1(10) 本社、本店はどのような事業を行っていますか。具体的にお聞かせください。

XXWPHQ

(具体的に)

問 1(11) [回答票 6] 従業員 (働いている人) は、会社・組織全体で何人くらいですか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

SZTTLSTA

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人       | 7 (キ) 300~499人      |
| 2 (イ) 2~4人     | 8 (ク) 500~999人      |
| 3 (ウ) 5~9人     | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 4 (エ) 10~29人   | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 5 (オ) 30~99人   | 11 (サ) 1万人以上        |
| 6 (カ) 100~299人 | 12 わからない            |

問 1(12) あなたは現在の会社・組織に通算何年働いていますか。(自営業者は自営業を行っている期間)

XJOBYR

年間

調査員注：1年未満の場合は0(ゼロ)と記入。

問 1(13) あなたは、仕事をするうえで役立っていると考えられる教育訓練や研修を、過去1年間に受けましたか。

XTRG1YR

1 はい

2 いいえ

▶<問 1(14)へ>

問 1(13)(a) [回答票 7] その教育・訓練の費用は、誰が負担しましたか。複数の教育訓練や研修を受けた場合は、すべてを想定してください。次の中で主なものを1つだけ選んでください。

WHPAYTRG

- |            |           |                        |            |
|------------|-----------|------------------------|------------|
| 1<br>(ア)   | 2<br>(イ)  | 3<br>(ウ)               | 4<br>(エ)   |
| 主に事業主が負担した | 主に自分で負担した | 主に政府などの<br>公的な費用でまかされた | ( )<br>その他 |

問 1(13)(b) [回答票 8] その教育訓練や研修は合計してどのくらいの期間行われましたか。複数の教育訓練などを受けた場合は、すべての期間を合計してください。

SZTRGA

- |           |           |           |           |                  |                            |              |
|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------|----------------------------|--------------|
| 1<br>(ア)  | 2<br>(イ)  | 3<br>(ウ)  | 4<br>(エ)  | 5<br>(オ)         | 6<br>(カ)                   | 7<br>(キ)     |
| 1週間<br>以下 | 2週間<br>程度 | 3週間<br>程度 | 1ヶ月<br>程度 | 1ヶ月を超えて<br>3ヶ月まで | 3ヶ月を超えて<br>半年まで<br>(半年を含む) | 半年を超えた<br>期間 |

問 1(14)(a) あなたには仕事の上であなたを管理・監督する方(上司など)がいますか。

DOBOSS

1 いる

2 いない

3 わからない

▶<4ページ問 1(15)へ>

問 1(14)(b) その人を管理・監督する方(上司など)はいますか。

BSDOBOSS

1 いる

2 いない

3 わからない



問 1(15)(a)仕事の上であなたが管理・監督する人(部下など)がいますか。

DOSTAFF

- |      |       |             |
|------|-------|-------------|
| 1 いる | 2 いない | 3 わからない     |
| ↓    |       | ▶<問 1(16)へ> |

問 1(15)(b)その人には、管理・監督する人(部下など)はいますか。

STFDOSTF

- |      |       |         |
|------|-------|---------|
| 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
|------|-------|---------|

問 1(16)(a)あなたが働く職場には、労働組合が組織されていますか。

DOUNION

- |           |            |         |
|-----------|------------|---------|
| 1 組織されている | 2 組織されていない | 3 わからない |
|-----------|------------|---------|

問 1(16)(b)あなたは労働組合に入っていますか。

JOINUNI

- |                     |                       |          |
|---------------------|-----------------------|----------|
| 1 職場の労働組合に<br>入っている | 2 職場以外の労働組合に<br>入っている | 3 入っていない |
|---------------------|-----------------------|----------|

問 1(17)〔回答票 9〕あなたの現在の仕事の契約期間はこの中のどれに該当しますか。

DOCNTRCT

- |   |  |                             |            |                         |    |         |  |         |  |  |  |
|---|--|-----------------------------|------------|-------------------------|----|---------|--|---------|--|--|--|
| 1<br>(ア)<br>期限の定めのない<br>雇用契約である<br>(定年までの雇用を含む) | 2<br>(イ)<br>期限の定めのある<br>雇用契約である  | 3<br>(ウ)<br>雇用契約は<br>結んでいない | 4<br>わからない | 5<br>あてはまらない<br>(自由業など) |    |         |  |         |  |  |  |
| ↓   | ↓  |                             |            | ↓                       |    |         |  |         |  |  |  |
|   | SZCNTRCT 何年何ヶ月の契約ですか。  |                             |            |                         |    |         |  |         |  |  |  |
|   | <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40px; height: 20px;"></td> <td style="width: 10px; text-align: center;">年</td> <td style="width: 40px; height: 20px;"></td> <td style="width: 10px; text-align: center;">カ月</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">SZCNTYR</td> <td></td> <td style="text-align: center;">SZCNTMO</td> <td></td> </tr> </table> |                             | 年          |                         | カ月 | SZCNTYR |  | SZCNTMO |  |  |  |
|   | 年  |                             | カ月         |                         |    |         |  |         |  |  |  |
| SZCNTYR   |  | SZCNTMO                     |            |                         |    |         |  |         |  |  |  |

問 1(18)〔回答票 10〕今後 1 年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

OP4UNEMP

調査員注：ここでいう失業とは、自営業主が倒産などで失職する場合も含む。

- |                   |                    |                   |                    |            |
|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>かなりある | 2<br>(イ)<br>ある程度ある | 3<br>(ウ)<br>あまりない | 4<br>(エ)<br>まったくない | 5<br>わからない |
|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|------------|

問 1(19)〔回答票 11〕もし今の仕事や事業をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

OP3NEWJB

- |                      |                       |                    |            |
|----------------------|-----------------------|--------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>非常に容易である | 2<br>(イ)<br>ある程度容易である | 3<br>(ウ)<br>容易ではない | 4<br>わからない |
|----------------------|-----------------------|--------------------|------------|

問 1(20)働かなくとも生涯不自由なく暮らせるだけのお金が得られるとしたら、あなたは働くことをやめますか。働き続けますか。

WLSTOPWK

- |         |           |         |
|---------|-----------|---------|
| 1 働き続ける | 2 働くのをやめる | 3 わからない |
|---------|-----------|---------|

問 1(21)〔回答票 12〕現在の主な仕事にどのくらい満足していますか。

ST5JOB

- |                    |                                |                           |                               |                   |            |
|--------------------|--------------------------------|---------------------------|-------------------------------|-------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>満足している | 2<br>(イ)<br>どちらかといえば<br>満足している | 3<br>(ウ)<br>どちらとも<br>いえない | 4<br>(エ)<br>どちらかといえば<br>不満である | 5<br>(オ)<br>不満である | 6<br>わからない |
|--------------------|--------------------------------|---------------------------|-------------------------------|-------------------|------------|

問 1(22)〔回答票 13〕今働いている会社をやめるつもりがありますか。(または)今の事業をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA

- |                             |                             |                               |            |
|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>近いうちに<br>やめるつもり | 2<br>(イ)<br>当分<br>やめるつもりはない | 3<br>(ウ)<br>まったく<br>やめるつもりはない | 4<br>わからない |
|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|------------|

問 1(23)〔回答票 14〕昨年度のあなたの主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料その他が引かれる前の額をお答えください。調査員注：尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

SZINCOMX

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1 (ア) なし            | 13 (ス) 850～1,000 万円未満   |
| 2 (イ) 70 万円未満       | 14 (セ) 1,000～1,200 万円未満 |
| 3 (ウ) 70～100 万円未満   | 15 (ソ) 1,200～1,400 万円未満 |
| 4 (エ) 100～130 万円未満  | 16 (タ) 1,400～1,600 万円未満 |
| 5 (オ) 130～150 万円未満  | 17 (チ) 1,600～1,850 万円未満 |
| 6 (カ) 150～250 万円未満  | 18 (ツ) 1,850～2,300 万円未満 |
| 7 (キ) 250～350 万円未満  | 19 (テ) 2,300 万円以上       |
| 8 (ク) 350～450 万円未満  | 約 _____ 万円              |
| 9 (ケ) 450～550 万円未満  | 20 回答したくない              |
| 10 (コ) 550～650 万円未満 | 21 わからない                |
| 11 (サ) 650～750 万円未満 |                         |
| 12 (シ) 750～850 万円未満 |                         |

→(19の場合、具体的に)  
約 \_\_\_\_\_ 万円

SZHIINCX

問 1(24)〔回答票 15〕あなたの主な給料や収入の形態はこの中のどれに該当しますか。また、支払われ方とそのおおよその金額(税金、社会保険料、その他引かれる前の額)を教えてください。ただし残業手当は除きます。調査員注：選択肢 1～7にも (マル)をつける。

TP5PAY

SZPAYHRX 1 (ア) 時間給 →       円

SZPAYDYX 2 (イ) 日 給 →       円

SZPAYWKX 3 (ウ) 週 給 →         円

SZPAYMOX 4 (エ) 月 給 →         円

SZPAYYRX 5 (オ) 年 俸 →         円

6 (カ) 他の支払い方法 (具体的に)

7 わからない

問 1(25)今お答えいただいた仕事以外に先週、収入をとまなう仕事をしましたか、またはすることになっていましたか。

XSJB1WK 1 はい

2 いいえ → <6 ページ問 2 へ>



問 1(26)その他の収入の仕事を、先週合計何時間しましたか。またはすることになっていましたか。

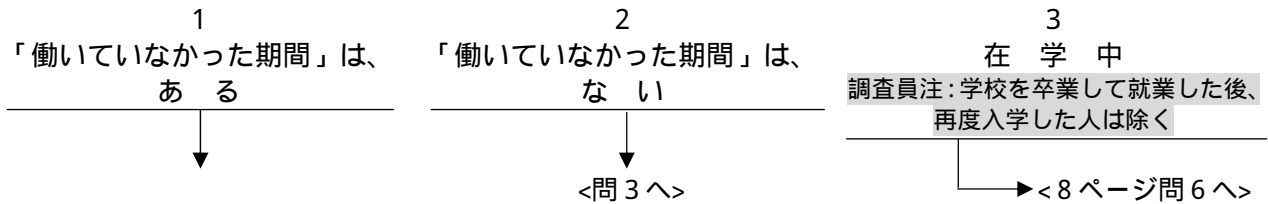
SZSJBHWK

時間

(全員に)

問 2(1)あなたが学校を卒業してから今まで、収入をとまなう仕事をしていなかった期間がありますか。現在働いていない方は現在働いていない期間も含めてお答えください。また、家業も仕事と考えてください。

XNOWORK



問 2(2)(a)〔回答票 16〕働いていなかった期間は通算何年ですか。

SZNOWORK

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 (ア) 1 年未満     | 4 (エ) 5 ~ 10 年未満 |
| 2 (イ) 1 ~ 3 年未満 | 5 (オ) 10 年以上     |
| 3 (ウ) 3 ~ 5 年未満 | 6 分からない          |

問 2(2)(b)〔回答票 17〕そのうち、仕事を探していた期間はどのくらいありますか。

SZFINDJB

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1 (ア) 仕事を探していたことはない | 5 (オ) 5 ~ 10 年未満 |
| 2 (イ) 1 年未満         | 6 (カ) 10 年以上     |
| 3 (ウ) 1 ~ 3 年未満     | 7 分からない          |
| 4 (エ) 3 ~ 5 年未満     |                  |

問 3〔回答票 18〕あなたは、これまで正規の社員・職員としていくつの会社・組織で働きましたか。

現在正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてください。

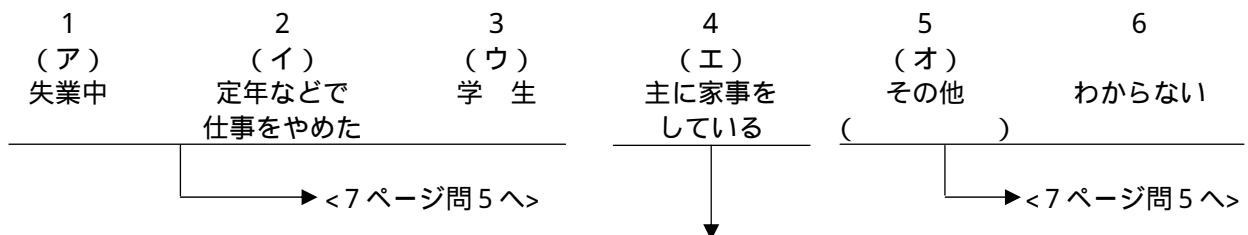
XNUMCOWK

- |                                     |             |
|-------------------------------------|-------------|
| 1 (ア) 0 社 (これまで正規の社員・職員として働いたことはない) | 5 (オ) 4 社   |
| 2 (イ) 1 社                           | 6 (カ) 5 社   |
| 3 (ウ) 2 社                           | 7 (キ) 6 社以上 |
| 4 (エ) 3 社                           | 8 分からない     |

調査員注：問 1(1)で「1(ア)仕事をした」、「2(イ)仕事をするようになっていたが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」と回答した人は、9 ページ問 9 へ。仕事をしていない人、つまり問 1(1)で「3(ウ)仕事をしていない」を選択した人のみに (問 8 まで)。

問 4(1)〔回答票 19〕先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP



問 4(2)〔回答票 20〕『家事という仕事についている』と考えた場合、あなたは現在の家事の仕事にどの程度満足していますか。

ST5HSWK

- |                    |                                |                           |                               |                   |            |
|--------------------|--------------------------------|---------------------------|-------------------------------|-------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>満足している | 2<br>(イ)<br>どちらかといえば<br>満足している | 3<br>(ウ)<br>どちらとも<br>いえない | 4<br>(エ)<br>どちらかといえば<br>不満である | 5<br>(オ)<br>不満である | 6<br>わからない |
|--------------------|--------------------------------|---------------------------|-------------------------------|-------------------|------------|





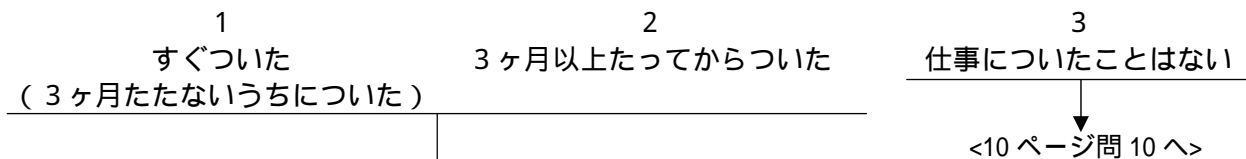
(全員に)

あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

調査員注：学校を中退している場合は、中退後に最初についた仕事について尋ねる。

問 9(1)(a)〔回答票 26〕あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

XGETJOB



問 9(1)(b)〔回答票 27〕あなたは、どのようにして、その仕事につきましたか。その主なものを 1 つ教えてください。

HOWJOB

- |                              |                  |
|------------------------------|------------------|
| 1 (ア) 学校の就職指導・紹介で            | 7 (キ) 家族・親戚の紹介で  |
| 2 (イ) 公共職業安定所の紹介で            | 8 (ク) 知人の紹介で     |
| 3 (ウ) 民間職業紹介所の紹介で            | 9 (ケ) 自分で起業・創業して |
| 4 (エ) 人材派遣企業に登録して            | 10 (コ) 家業を継いだ    |
| 5 (オ) 広告・求人情報誌等を利用して         | 11 わからない         |
| 6 (カ) 会社に直接応募して(従業員からの勧誘を含む) |                  |

問 9(1)(c)〔回答票 28〕その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

調査員注：官公庁に該当する回答者にも、問 9(1)(c)従業員上の地位、(2)事業内容、(3)仕事内容を必ず尋ねる。

1(ア)「経営者」と10(コ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

TP12FSTJ

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員          | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし | 9 (ケ) 派遣社員           |
| 3 (ウ) " 職長、班長、組長      | 10 (コ) 自営業主・自由業者     |
| 4 (エ) " 係長、係長相当職      | 11 (サ) 家族従業者         |
| 5 (オ) " 課長、課長相当職      | 12 (シ) 内職            |
| 6 (カ) " 部長、部長相当職      | 14 わからない             |
| 7 (キ) " 役職はわからない      |                      |

問 9(2)あなたが最初に働いていた場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)は、どのような事業をしていましたか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

XXFSTWP

(具体的に)

問 9(3)あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように)

XXFSTJB

(具体的に)

問 9(4)〔回答票 29〕あなたが最初についた仕事では、会社・組織全体で従業員(働いていた人)は何人くらいでしたか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

SZSTFFST

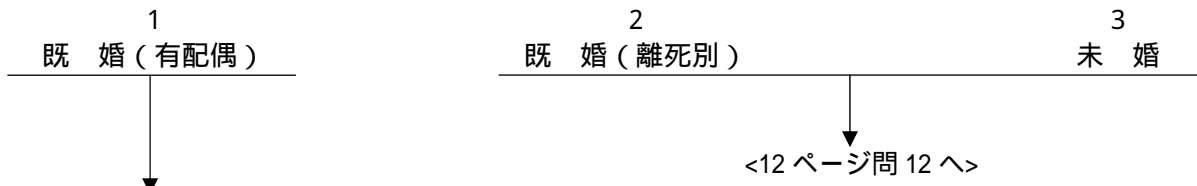
- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人       | 7 (キ) 300~499人      |
| 2 (イ) 2~4人     | 8 (ク) 500~999人      |
| 3 (ウ) 5~9人     | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 4 (エ) 10~29人   | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 5 (オ) 30~99人   | 11 (サ) 1万人以上        |
| 6 (カ) 100~299人 | 12 (シ) 官公庁          |
|                | 13 わからない            |

(全員に)

ここからはあなたの配偶者(つれ合い)のことについておうかがいします。

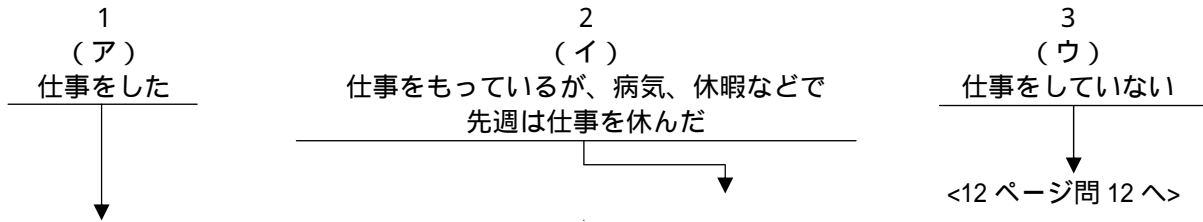
問 10 まず、あなたは結婚していますか。調査員注：婚姻届を出していない内縁の関係も含む。

DOMARRY



問 11(1)〔回答票 30〕配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

SSJB1WK



(2)先週配偶者の方は何日仕事をしましたか。また、残業を含めて合計何時間しましたか。

(3)通常、配偶者の方は1週間に何日仕事をしていますか。また、残業を含めて通常週合計で何時間していますか。

SSJBDWK

週  日

SSJBHRWK

週  時間

問 11(4)〔回答票 31〕配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

調査員注：官公庁に該当する回答者にも、問 11(4)従業上の地位、(5)事業内容、(6)仕事内容を必ず尋ねる。

1(ア)「経営者」と10(コ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

SSTP12JB

- |                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員     | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト         |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 | 9 (ケ) 派遣社員                   |
| 3 (ウ) "          | 10 (コ) 自営業主・自由業者             |
| 4 (エ) "          | 11 (サ) 家族従業者                 |
| 5 (オ) "          | 12 (シ) 内職                    |
| 6 (カ) "          | 13 (ス) 仕事についたことがない →<問 12 へ> |
| 7 (キ) "          | 14 わからない                     |

問 11(5)配偶者の方が働いている場所(工場、事務所、商店などの事業所)は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

SSXXHQX

(具体的に)

問 11(6)配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。主な収入の仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように)

SSXXJOB

(具体的に)

問 11(7)〔回答票 32〕配偶者の方が働いている会社・組織全体で、従業員（働いている人）は何人くらいですか。配偶者自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

SSSZSTFA

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人       | 7 (キ) 300～499人      |
| 2 (イ) 2～4人     | 8 (ク) 500～999人      |
| 3 (ウ) 5～9人     | 9 (ケ) 1,000～1,999人  |
| 4 (エ) 10～29人   | 10 (コ) 2,000～9,999人 |
| 5 (オ) 30～99人   | 11 (サ) 1万人以上        |
| 6 (カ) 100～299人 | 12 (シ) 官公庁          |
|                | 13 わからない            |

問 11(8)配偶者の方は現在の会社・組織に通算何年働いていますか。  
(自営業者は自営業を行っている期間)

SSSZWKYR

--	--

年間

調査員注：1年未満の場合は0（ゼロ）と記入。

問 11(9)〔回答票 33〕昨年度の配偶者の方の主な仕事からの収入はいくらでしたか。  
税金、社会保険料その他が引かれる前の額をお答えください。

調査員注：尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

SSSZINCM

- |                    |                              |
|--------------------|------------------------------|
| 1 (ア) なし           | 13 (ス) 850～1,000万円未満         |
| 2 (イ) 70万円未満       | 14 (セ) 1,000～1,200万円未満       |
| 3 (ウ) 70～100万円未満   | 15 (ソ) 1,200～1,400万円未満       |
| 4 (エ) 100～130万円未満  | 16 (タ) 1,400～1,600万円未満       |
| 5 (オ) 130～150万円未満  | 17 (チ) 1,600～1,850万円未満       |
| 6 (カ) 150～250万円未満  | 18 (ツ) 1,850～2,300万円未満       |
| 7 (キ) 250～350万円未満  | 19 (テ) 2,300万円以上             |
| 8 (ク) 350～450万円未満  | → (19の場合、具体的に)<br>約 _____ 万円 |
| 9 (ケ) 450～550万円未満  | 20 回答したくない                   |
| 10 (コ) 550～650万円未満 | 21 わからない                     |
| 11 (サ) 650～750万円未満 |                              |
| 12 (シ) 750～850万円未満 |                              |

SSHIINCX



(全員に)

ここからは、あなた自身についておうかがいします。

問 12〔回答票 34〕あなたのご家庭では、掃除・料理・洗濯などの家事を中心に行うのは誰ですか。

WH3HSWK

- 1 (ア) 私自身が主に行う
- 2 (イ) 私と私以外の者(配偶者・親・お手伝いさん・ヘルパーなど)が同じくらい行う
- 3 (ウ) 私以外の者(配偶者・親・お手伝いさん・ヘルパーなど)が主に行う
- 4 わからない

問 13〔回答票 35〕ここにおける仕事に関する項目は、あなたにとってどの程度重要であると考えますか。

調査員注：現在仕事をしていない回答者については、「もし働くとしたら、一般的にどの程度重要であると考えますか」と尋ねる。

(a)~(j)すべてについて

	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	
	非常に重要である	重要である	どちらでもない	重要でない	まったく重要でない	わからない
IM5SECUR (a)雇用が安定していること -----	1	2	3	4	5	6
IM5HIPAY (b)高収入であること -----	1	2	3	4	5	6
IM5PROMO (c)昇進の機会が多いこと -----	1	2	3	4	5	6
IM5INTRG (d)興味のある仕事であること -----	1	2	3	4	5	6
IM5INDEP (e)干渉されず、独立した仕事であること --	1	2	3	4	5	6
IM5OTHER (f)他の人のためになる仕事であること ----	1	2	3	4	5	6
IM5SOCTY (g)社会にとって有益な仕事であること ----	1	2	3	4	5	6
IM5FREE (h)働く時間、日などを自分で決定できる 仕事であること -----	1	2	3	4	5	6
IM5FAMIL (i)仕事と家庭生活を両立できること -----	1	2	3	4	5	6
IM5TRG (j)教育・訓練の機会が提供されること ----	1	2	3	4	5	6

問 14〔回答票 36〕わたしたちの社会には上層に位置するグループや下層に位置するグループがあります。次のような上から下までのスケール(尺度)で、あなたはどこに位置すると思いますか。

OP10LVL

一番上      1      2      3      4      5      6      7      8      9      10      一番下

次に政党支持についておうかがいします。

問 15〔回答票 37〕現在、あなたはどの政党を支持していますか。

XX8PLPTY

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)	(ク)	(ケ)	わからない
自民党	民主党	公明党	自由党	共産党	社民党	保守党	その他の 政党 ( )	特に支持 する政党 はない	

↓
↓
↓

<問 16 へ>
<問 16 へ>
<問 16 へ>

付問 1〔回答票 38〕ふだん好ましいと思っている政党はありますか。

XX9PLPFV

- 1 (ア) 自民党
- 2 (イ) 民主党
- 3 (ウ) 公明党
- 4 (エ) 自由党
- 5 (オ) 共産党
- 6 (カ) 社民党
- 7 (キ) 保守党
- 8 (ク) その他の政党 ( )
- 9 (ケ) 特に好ましく感じる政党はない
- 10 わからない



次に、あなたのご家族についてうかがいます。

問 19(1)あなたが一緒に住んでいるご家族の方は、あなたを含めて何人ですか。

SZFFHERE  人

問 19(2)単身赴任、学業、入院、福祉施設などに入所しているなどの理由で、一時的に別居しているご家族の方はいらっしゃいますか。いらっしゃる場合は、その人数をお教えてください。

SZFFAWAY  人 調査員注:いない場合は0(ゼロ)と記入する。

問 20〔回答票 41〕今あげていただいた同居あるいは別居しているご家族について、おうかがいします。あなたとの続柄、性別、年齢、一緒に住んでいるかどうかを順におっしゃってください。

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 〔一緒に住んでいない(同居していない)理由〕 |                        |
| 1 (ア) 単身赴任             | 4 (エ) 老人福祉施設・社会福祉施設に入所 |
| 2 (イ) 学業               | 5 その他の理由・わからない         |
| 3 (ウ) 入院               | 6 回答拒否                 |

調査員注:回答者との続柄の番号(01~10)は、家族の人数分すべてに をつけること。

問 19(1)と(2)の合計人数と数があわない場合は、確認をする。

続柄はアフターコードできるように質問すること。

「同居の有無」は本人から見た同・別居。

家族が10人より多い場合は補助用紙1(緑色)に記入し、このページにはさんでおく。

年齢は、回答者から質問があった場合は、「平成13年9月1日現在」でお願いする。

回答者との続柄		アフターコード	性別	年齢	同居の有無	別居の理由	世帯主
01	FF**MARK 本人	FF**REL 00	FF**SEX 男=1 女=2	FF**AGE 歳	FF**HERE 同居=1	FF**WHY	FF**HEAD 1
02	<input type="text"/>	<input type="text"/>	男=1 女=2	<input type="text"/> 歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
03	<input type="text"/>	<input type="text"/>	男=1 女=2	<input type="text"/> 歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
04	<input type="text"/>	<input type="text"/>	男=1 女=2	<input type="text"/> 歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
05	<input type="text"/>	<input type="text"/>	男=1 女=2	<input type="text"/> 歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
06	<input type="text"/>	<input type="text"/>	男=1 女=2	<input type="text"/> 歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
07	<input type="text"/>	<input type="text"/>	男=1 女=2	<input type="text"/> 歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
08	<input type="text"/>	<input type="text"/>	男=1 女=2	<input type="text"/> 歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
09	<input type="text"/>	<input type="text"/>	男=1 女=2	<input type="text"/> 歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1
10	<input type="text"/>	<input type="text"/>	男=1 女=2	<input type="text"/> 歳	同居= 1 別居= 2	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)	1

SPAGEX 配偶者(同居・別居にかかわらず)の年齢

アフターコード表

00 本人	10	20	30 孫(男)	40 父	50 兄	60 祖父	70 その他 (具体的に)
01 夫	11 長男	21 長女	31 孫(女)	41 母	51 弟	61 祖母	
02 妻	12 次男	22 次女	32 孫の配偶者	42 義父 (配偶者の父)	52 姉	62 義理の祖父 (配偶者の祖父)	
	13 三男	23 三女		43 義母 (配偶者の母)	53 妹	63 義理の祖母 (配偶者の祖母)	
	14 長男の妻	24 長女の夫			54 配偶者の兄		
	15 次男の妻	25 次女の夫			55 配偶者の弟		
	16 三男の妻	26 三女の夫			56 配偶者の姉		
					57 配偶者の妹		

問 21 いまあげたご家族の中で、世帯主はどなたですか。

調査員注：問 20 の該当者の世帯主欄に をつける。世帯主は必ず 1 名のみをあげてもらう。

二世帯同居の場合でも、回答者の判断で 1 名を選んでもらう。

問 22 これまでにお持ちになったお子様は何人ですか。独立した人、亡くなった方も含めてお答えください。

調査員注：「養子、連れ子を含むのか」と尋ねられた場合は「実子のみお答え下さい」と答える。

CCNUMTTL

人

問 23 そのお子様全員の生まれた年、性別、ご健在かどうかをお聞かせください。

調査員注：上の問 22 の子供の合計人数と差がでてよい。差がある場合は確認する。

「養子、連れ子を含むのか」と尋ねられた場合は「実子のみお答えください」と答える。

「年齢」は、年齢が不確かな場合は記入不要。また、「生死」が「死亡=2」・「不明=3」の場合も記入不要。

子供の人数が 7 人より多い場合は補助用紙 2 (黄色) に記入し、このページにはさんでおく。

CC**MARK	CC**BORN	CC**SEX	CC**LIVE	CC**AGE
	生 年	性 別	生 死	年 齢
1	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳
2	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳
3	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳
4	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳
5	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳
6	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳
7	大正=1 昭和=2 平成=3 年生まれ	男=1 女=2	存命=1 --- 死亡=2 不明=3	歳

問 24 あなたとあなたの配偶者についてお聞きします。それぞれの兄弟姉妹は何人ですか。

調査者注：いない場合は0(ゼロ)を記入する。義理の兄弟姉妹は除く。

あなたの場合

XNUMBER	XNUMSISE	XNUMSELF	XNUMBROY	XNUMSISY	XNUMSBLG
兄	姉	本人	弟	妹	合計
____人	____人	1 人	____人	____人	____人

調査者注：既婚(有配偶及び死別)の人に次を聞く。既婚(離別)や未婚の人には聞かない。

あなたの配偶者の場合

XSSNBROE	XSSNSISE	XSSNSELF	XSSNBROY	XSSNSISY	XSSNSBLG
兄	姉	あなたの配偶者	弟	妹	合計
____人	____人	1 人	____人	____人	____人

問 25(1)〔回答票 42〕あなたが 15 歳のころ、どのような地域にお住まいでしたか。この中の地域を選び、日本に住んでいた場合は都道府県名をお答えください。

TP5LOC15

1 (ア) 大都市	2 (イ) 中都市	3 (ウ) その他の市	4 (エ) 町・村	5 (オ) 外国
-----------------	-----------------	-------------------	-----------------	----------------

PREF15

都道府県名



(調査員 記入不要)

問 25(2)それは農山村地域でしたか。

REMOTE15

1 はい

2 いいえ

問 26(1)〔回答票 43〕あなたが 15 歳のころのお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

PPJBTP15

- |                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員     | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト      |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 | 9 (ケ) 自営業主・自由業者           |
| 3 (ウ) "          | 10 (コ) 家族従業者              |
| 4 (エ) "          | 11 (サ) 内職                 |
| 5 (オ) "          | 12 (シ) 働いていなかった →<問 27 へ> |
| 6 (カ) "          | 13 (ス) 父はいなかった →<問 27 へ>  |
| 7 (キ) "          | 14 わからない                  |
|                  | 役職なし                      |
|                  | 職長、班長、組長                  |
|                  | 係長、係長相当職                  |
|                  | 課長、課長相当職                  |
|                  | 部長、部長相当職                  |
|                  | 役職はわからない                  |

問 26(2)お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように)

PPJBXX15

(具体的に)

問 26(3)〔回答票 44〕お父さんが働いていた会社、組織全体で従業員(働いていた人)は何人くらいでしたか。

PPJBSZ15

- |                 |                            |                              |                             |                 |            |
|-----------------|----------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>1 人 | 2<br>(イ)<br>小企業<br>(2~29人) | 3<br>(ウ)<br>中企業<br>(30~299人) | 4<br>(エ)<br>大企業<br>(300人以上) | 5<br>(オ)<br>官公庁 | 6<br>わからない |
|-----------------|----------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------|------------|



あなたの結婚歴についておうかがいします。

問 32(1)あなたが最初に結婚した時の年齢はいくつでしたか。

**XMARRY**

<b>AGE1MG</b>	1	2	3
	歳の時に結婚した	これまで一度も結婚していない	わからない
↓		▶ <19 ページ問 33 へ>	

問 32(2)あなたは、これまでに離婚をしたことがありますか。(あると答えた者に)何回しましたか。

**XDIV**

<b>FQXDIV</b>	1	2	3
ある		ない	わからない
↓		▶ <問 32(4)へ>	

問 32(3)離婚した時の年齢はいくつでしたか。その後、再婚しましたか。

(再婚した者に)それは何歳の時でしたか。

<b>AGE1DIV</b>	1	<b>XMGA1DV</b>	<b>AGEMG1DV</b>
(1回目)		再婚	
	歳の時に離婚した	1 した	歳の時
		2 しない	
<b>AGE2DIV</b>	2	<b>XMGA2DV</b>	<b>AGEMG2DV</b>
(2回目)		再婚	
	歳の時に離婚した	1 した	歳の時
		2 しない	

問 32(4)あなたは、これまでに配偶者の方と死別したことがありますか。(あると答えた者に)何回しましたか。

**XWIDOW**

<b>FQWDW</b>	1	2	3
ある		ない	わからない
↓		▶ <19 ページ問 33 へ>	

問 32(5)死別した時の年齢はいくつでしたか。その後、再婚しましたか。

(再婚した者に)それは何歳の時でしたか。

<b>AGE1WDW</b>	1	<b>XMGA2WD</b>	<b>AGEMG1WD</b>
(1回目)		再婚	
	歳の時に死別した	1 した	歳の時
		2 しない	
<b>AGE2WDW</b>	2	<b>XMGA2WD</b>	<b>AGEMG2WD</b>
(2回目)		再婚	
	歳の時に死別した	1 した	歳の時
		2 しない	

問 33〔回答票 49〕あなたの世帯全体の昨年一年間の収入についておうかがいします。税金を差し引き前の収入でお答えください。株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。この中のどれにあてはまりますか。調査員注：尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

## SZHSINCM

- |                       |                           |                               |
|-----------------------|---------------------------|-------------------------------|
| 1 (ア) な し             | 13 (ス) 850 ~ 1,000 万円未満   |                               |
| 2 (イ) 70 万円未満         | 14 (セ) 1,000 ~ 1,200 万円未満 |                               |
| 3 (ウ) 70 ~ 100 万円未満   | 15 (ソ) 1,200 ~ 1,400 万円未満 |                               |
| 4 (エ) 100 ~ 130 万円未満  | 16 (タ) 1,400 ~ 1,600 万円未満 |                               |
| 5 (オ) 130 ~ 150 万円未満  | 17 (チ) 1,600 ~ 1,850 万円未満 |                               |
| 6 (カ) 150 ~ 250 万円未満  | 18 (ツ) 1,850 ~ 2,300 万円未満 |                               |
| 7 (キ) 250 ~ 350 万円未満  | 19 (テ) 2,300 万円以上         | → (19 の場合、具体的に)<br>約 _____ 万円 |
| 8 (ク) 350 ~ 450 万円未満  | 20                        | 回答したくない <b>SZSHINC</b>        |
| 9 (ケ) 450 ~ 550 万円未満  | 21                        | わからない                         |
| 10 (コ) 550 ~ 650 万円未満 |                           |                               |
| 11 (サ) 650 ~ 750 万円未満 |                           |                               |
| 12 (シ) 750 ~ 850 万円未満 |                           |                               |

---

これで終わりです。長時間ありがとうございました。



〔調査員記入〕

F1 . 回答者のインタビューへの態度はどれくらい協力的でしたか。

COOP

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1 とても協力的      | 3 それほど協力的ではなかった |
| 2 どちらかといえば協力的 | 4 まったく協力的ではなかった |

F2 . 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

USTAND

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1 非常に良い      | 3 あまり良くない  |
| 2 どちらかといえば良い | 4 まったく良くない |

F3 . 質問内容が不明瞭（理解していない）と思われる質問はどれでしたか。

具体的に

F4 . その他（どんなことでも結構ですから、気づいた点をご記入ください。）

- ・謝礼について
- ・面接、留置調査の順番について など

PROC		DATE			
《調査手順》		調査日		調査時刻	調査所要時間
1	面接 留置	MONTH	DAY	(開始) ___時___分	DURATION
2	留置 面接	___月	___日	(終了) ___時___分	___分

調査員注：調査所要時間は、インタビューの時間であり、調査依頼のための説明時間は含まない。



文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

## 生活と意識についての国際比較調査

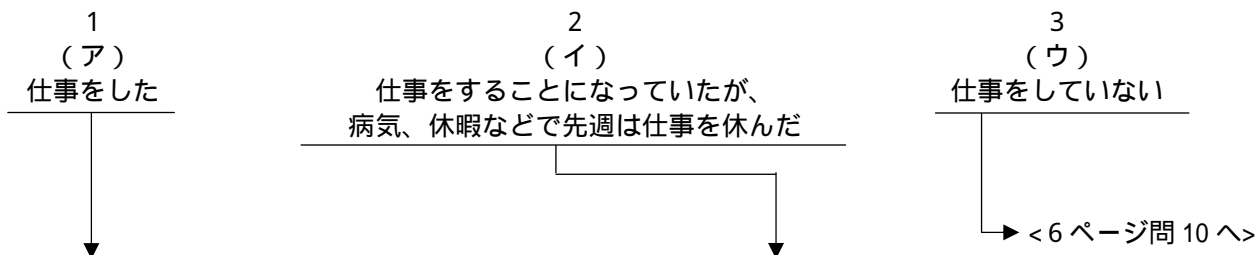
調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所

IDUSE 識別番号  
BLOCK 地域ブロック  
PREF 都道府県名  
SIZE 市群規模  
SEXA 性別  
AGEB 年齢  
MARC 配偶者 (DOMARRY の転記)  
DRAN アタック状況番号  
DOBYEAR 生年 (西暦)

まずはじめに、あなたのお仕事について、おうかがいします。

問 1-1 [ 回答票 1 ] 先週、あなたは収入をともなう仕事をしましたか、または仕事をするようになっていましたか。この中からあげてください。

XJOB1WK



2 つ以上仕事をしている方は主な仕事について、おうかがいします。

問 1-2(a)

あなたは主な収入を得る仕事を先週何日しましたか。また、週合計何時間しましたか。そのうち、残業は何時間しましたか。自営業などの残業時間があてはまらない方は残業時間の記入は不要です。

2 つ以上仕事をしている方は主な仕事について、おうかがいします。

問 1-2(b)

通常、あなたは主な収入を得る仕事を週何日していますか。また、通常週合計何時間していますか。そのうち残業時間はどれくらいですか。自営業など残業時間があてはまらない方は残業時間の記入は不要です。

XJOBDWK	週	<input type="text"/>	日
XJOBHWK	週 合 計	<input type="text"/>	時間
XOTHWK	(内) 残 業	<input type="text"/>	時間

(以下、2つ以上の仕事をしている場合には、あなたの主な仕事についてうかがいます。)

調査員注：官公庁に勤める回答者にも、問2すべておよび問3-1にも回答してもらおう。

問2-1〔回答票2〕あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

調査員注：1(ア)「経営者」と10(コ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

TP12JOB

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員          | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし | 9 (ケ) 派遣社員           |
| 3 (ウ) " 職長、班長、組長      | 10 (コ) 自営業主・自由業者     |
| 4 (エ) " 係長、係長相当職      | 11 (サ) 家族従業者         |
| 5 (オ) " 課長、課長相当職      | 12 (シ) 内職            |
| 6 (カ) " 部長、部長相当職      | 13 わからない             |
| 7 (キ) " 役職はわからない      |                      |

問2-2 あなたが働いている場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)はどのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

XXWPL

(できるだけ詳しく具体的に。会社名は不可。)

問2-3 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように)

XXJOB

(できるだけ詳しく具体的に。)

問2-4〔回答票3〕あなたが働いている場所(会社全体ではなく、工場、事務所、商店、病院などの事業所)では何人ぐらいの方が働いていますか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。調査員注：単独事業所は会社全体の規模を答えてもらう。

SZSTAF A

- |              |                |                     |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人     | 5 (オ) 30~99人   | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 2 (イ) 2~4人   | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人   | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上        |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 わからない            |

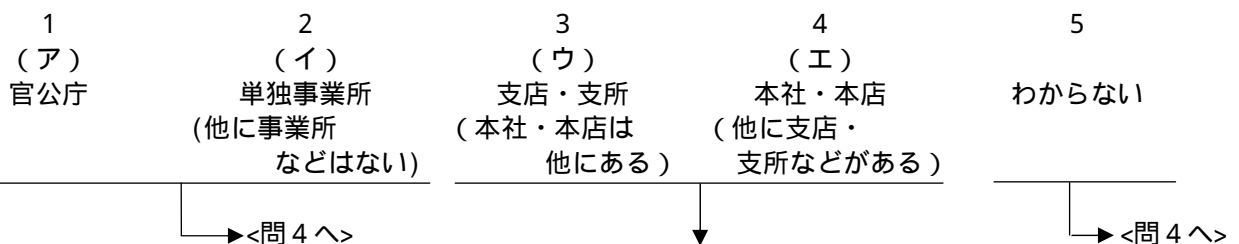
問2-5〔回答票4〕その事業所で働いている人のうち、女性の割合はどれくらいですか。

SZWNSTF

- |              |              |                |
|--------------|--------------|----------------|
| 1 (ア) 0%     | 5 (オ) 31~40% | 9 (ケ) 71~80%   |
| 2 (イ) 1~10%  | 6 (カ) 41~50% | 10 (コ) 81~90%  |
| 3 (ウ) 11~20% | 7 (キ) 51~60% | 11 (サ) 91~100% |
| 4 (エ) 21~30% | 8 (ク) 61~70% | 12 わからない       |

問3-1〔回答票5〕あなたが働く事業所はこの中のどれにあたりますか。

TP4WPLA





問 7-2〔回答票 9〕今後 1 年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

調査員注：自営業主が倒産などで失職する場合も含む。

OP4UNEMP

- |                   |                    |                   |                    |            |
|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>かなりある | 2<br>(イ)<br>ある程度ある | 3<br>(ウ)<br>あまりない | 4<br>(エ)<br>まったくない | 5<br>わからない |
|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|------------|

問 7-3〔回答票 10〕もし今の仕事や事業をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

OP3NEWJB

- |                      |                       |                    |            |
|----------------------|-----------------------|--------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>非常に容易である | 2<br>(イ)<br>ある程度容易である | 3<br>(ウ)<br>容易ではない | 4<br>わからない |
|----------------------|-----------------------|--------------------|------------|

問 7-4〔回答票 11〕現在の主な仕事にどのくらい満足していますか。

ST5JOB

- |                    |                            |                       |                           |                   |            |
|--------------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------|-------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>満足している | 2<br>(イ)<br>どちらかといえば満足している | 3<br>(ウ)<br>どちらともいえない | 4<br>(エ)<br>どちらかといえば不満である | 5<br>(オ)<br>不満である | 6<br>わからない |
|--------------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------|-------------------|------------|

問 7-5〔回答票 12〕今働いている会社をやめるつもりがありますか。(または)今の事業をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA

- |                         |                         |                           |            |
|-------------------------|-------------------------|---------------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>近いうちにやめるつもり | 2<br>(イ)<br>当分やめるつもりはない | 3<br>(ウ)<br>まったくやめるつもりはない | 4<br>わからない |
|-------------------------|-------------------------|---------------------------|------------|

問 8〔回答票 13〕昨年 1 年間のあなたの主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料、その他が引かれる前の額をお答えください。調査員注：尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

SZINCOMX

- |                     |                         |                 |
|---------------------|-------------------------|-----------------|
| 1 (ア) なし            | 13 (ス) 850~1,000 万円未満   |                 |
| 2 (イ) 70 万円未満       | 14 (セ) 1,000~1,200 万円未満 |                 |
| 3 (ウ) 70~100 万円未満   | 15 (ソ) 1,200~1,400 万円未満 |                 |
| 4 (エ) 100~130 万円未満  | 16 (タ) 1,400~1,600 万円未満 |                 |
| 5 (オ) 130~150 万円未満  | 17 (チ) 1,600~1,850 万円未満 |                 |
| 6 (カ) 150~250 万円未満  | 18 (ツ) 1,850~2,300 万円未満 |                 |
| 7 (キ) 250~350 万円未満  | 19 (テ) 2,300 万円以上       | → (19 の場合、具体的に) |
| 8 (ク) 350~450 万円未満  |                         | 約 _____ 万円      |
| 9 (ケ) 450~550 万円未満  | 20 回答したくない              | <b>SZHIINCX</b> |
| 10 (コ) 550~650 万円未満 | 21 わからない                |                 |
| 11 (サ) 650~750 万円未満 |                         |                 |
| 12 (シ) 750~850 万円未満 |                         |                 |

問 9-1〔回答票 14〕あなたの現在の主な給料や収入の形態はこの中のどれに該当しますか。また、支払われ方とのおおよその金額（税金、社会保険料、その他引かれる前の額）を教えてください。ただし残業手当は除きます。

TP5PAY 調査員注：選択肢 1～7にも（マル）をつける。

支払方法ではなく、給与や報酬の決定方法のこと。例）日給の月払いは「2 日給」に（マル）  
 自営業や出来高制の内職などは「6 他の支払方法」だが、自営業は仕事内容により、日給・時間給などもある。

SZPAYHRX	1 (ア) 時間給	→	<input type="text" value="万"/>	,	<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	円
SZPAYDYX	2 (イ) 日給	→	<input type="text" value="万"/>	,	<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	円
SZPAYWKX	3 (ウ) 週給	→	<input type="text" value="万"/>	,	<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	円
SZPAYMOX	4 (エ) 月給	→	<input type="text" value="万"/>	,	<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	円
SZPAYYRX	5 (オ) 年俸	→	<input type="text" value="億"/>	,	<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	円
	6 (カ) 他の支払い方法		<input type="text" value="(できるだけ詳しく具体的に。)"/>							
	7 わからない									

問 9-2 今お答えいただいた仕事以外に先週、収入をとまなう仕事をしましたか、またはすることになっていましたか。

XSJB1WK

1 はい	2 いいえ
↓	→ < 6 ページ問 10 へ >

問 9-3 その他の収入の仕事を、先週合計何時間しましたか。またはすることになっていましたか。

SZSJBHWK

<input type="text" value=""/>	時間
-------------------------------	----

(全員に)

問 10〔回答票 15〕あなたは、これまで正規の社員・職員としていくつの会社・組織で働きましたか。現在正規の社員・職員として働いている方は、それも含めてください。

XNUMCOWK

- |                                    |            |
|------------------------------------|------------|
| 1 (ア) 0社 (これまで正規の社員・職員として働いたことはない) | 5 (オ) 4社   |
| 2 (イ) 1社                           | 6 (カ) 5社   |
| 3 (ウ) 2社                           | 7 (キ) 6社以上 |
| 4 (エ) 3社                           | 8 わからない    |

調査員注：問 1-1 で「1 (ア) 仕事をした」、「2 (イ) 仕事をするようになっていたが、病気、休暇などで先週は仕事を休んだ」と回答した人は、8 ページ問 15 へ。仕事をしていない人、つまり問 1-1 で「3 (ウ) 仕事をしていない」を選択した人のみに問 14 まで回答してもらう。

問 11-1〔回答票 16〕先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP

- |                 |                             |                |                           |                        |            |
|-----------------|-----------------------------|----------------|---------------------------|------------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>失業中 | 2<br>(イ)<br>定年などで<br>仕事をやめた | 3<br>(ウ)<br>学生 | 4<br>(エ)<br>主に<br>家事をしている | 5<br>(オ)<br>その他<br>( ) | 6<br>わからない |
|-----------------|-----------------------------|----------------|---------------------------|------------------------|------------|
- <問 12-1 へ>
↓
→ <問 12-1 へ>

問 11-2〔回答票 17〕『家事という仕事についている』と考えた場合、あなたは現在の家事の仕事にどの程度満足していますか。

ST5HSWK

- |                    |                                |                           |                               |                   |            |
|--------------------|--------------------------------|---------------------------|-------------------------------|-------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>満足している | 2<br>(イ)<br>どちらかといえば<br>満足している | 3<br>(ウ)<br>どちらとも<br>いえない | 4<br>(エ)<br>どちらかといえば<br>不満である | 5<br>(オ)<br>不満である | 6<br>わからない |
|--------------------|--------------------------------|---------------------------|-------------------------------|-------------------|------------|

問 12-1 あなたは、これまでに収入をとまなう仕事をしたことがありますか。

XWORK

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|
- ↓
→ <8 ページ問 14 へ>

問 12-2 あなたは、その仕事を 1 年以上続けましたか。

XWORK1Y

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|
- ↓
→ <8 ページ問 14 へ>

問 12-3 最後に収入をとまなう仕事をやめたのはいつですか。

WHNSTPWK

調査員注：西暦に直す。

--	--	--	--

年

最後の主な収入を得ていた仕事についてお聞きします。

調査員注：官公庁に勤めていた回答者にも、問 13 すべてに回答してもらう。

問 13-1〔回答票 18〕あなたが、その仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。

**XXSTPJ B**

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 1 (ア) 定年など退職(引退)する年齢になった | 8 (ク) 仕事や労働条件等が不満だったので |
| 2 (イ) 早期退職(引退)を選んだ       | 9 (ケ) 開業や転職のため         |
| 3 (ウ) 早期退職(引退)をさせられた     | 10 (コ) 家族の介護のため        |
| 4 (エ) 健康上の理由で働けなくなった     | 11 (サ) 結婚したため          |
| 5 (オ) 会社が倒産したり、職場が閉鎖された  | 12 (シ) 出産・育児のため        |
| 6 (カ) 解雇された              | 13 (ス) その他( )          |
| 7 (キ) 雇用期間や契約期間が終了した     | 14 わからない               |

問 13-2〔回答票 19〕その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

調査員注：1(ア)「経営者」と10(コ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

**TP12LSTJ**

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員          | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし | 9 (ケ) 派遣社員           |
| 3 (ウ) " 職長、班長、組長      | 10 (コ) 自営業主・自由業者     |
| 4 (エ) " 係長、係長相当職      | 11 (サ) 家族従業者         |
| 5 (オ) " 課長、課長相当職      | 12 (シ) 内職            |
| 6 (カ) " 部長、部長相当職      | 13 わからない             |
| 7 (キ) " 役職はわからない      |                      |

問 13-3 あなたが働いていた場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)はどのような事業をしていましたか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

**XXLSTWPL**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名は不可。)

問 13-4 あなたはそこでどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように)

**XXLSTJB**

(できるだけ詳しく具体的に。)

問 13-5〔回答票 20〕あなたが最後についていた仕事では、会社・組織全体で従業員(働いていた人)は何人くらいでしたか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

**SZSTFLSA**

- |              |                |                     |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人     | 5 (オ) 30~99人   | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 2 (イ) 2~4人   | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人   | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上        |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 (シ) 官公庁          |
|              |                | 13 わからない            |





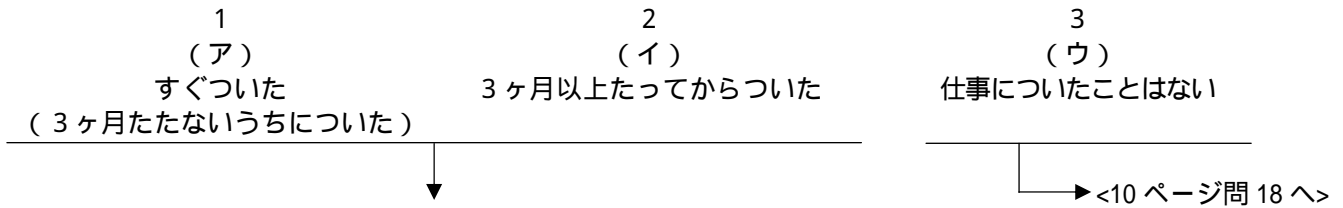
あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

調査員注：学校を中退している場合は、中退後に最初についた仕事について尋ねる。

兵役は除く。兵役後についた仕事について尋ねる。通学中の就業を、回答者が初めての仕事と思っていれば、それについて尋ねる。官公庁に該当する回答者にも、問 17 すべてに回答してもらう。

問 17-1〔回答票 23〕あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

XGETJOB



問 17-2〔回答票 24〕あなたは、どのようにして、その仕事につきましたか。その主なものを 1 つ答えてください。

HOWJOB

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 1 (ア) 学校の就職指導・紹介で    | 6 (カ) 会社に直接応募して(従業先の勧誘を含む) |
| 2 (イ) 公共職業安定所の紹介で    | 7 (キ) 家族・親戚の紹介で            |
| 3 (ウ) 民間職業紹介所の紹介で    | 8 (ク) 知人の紹介で               |
| 4 (エ) 人材派遣企業に登録して    | 9 (ケ) 自分で起業・創業して           |
| 5 (オ) 広告・求人情報誌等を利用して | 10 (コ) 家業を継いだ              |
|                      | 11 わからない                   |

問 17-3〔回答票 25〕その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

調査員注：1(ア)「経営者」と10(コ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

TP12FSTJ

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員     | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 | 9 (ケ) 派遣社員           |
| 3 (ウ) " 職長、班長、組長 | 10 (コ) 自営業主・自由業者     |
| 4 (エ) " 係長、係長相当職 | 11 (サ) 家族従業者         |
| 5 (オ) " 課長、課長相当職 | 12 (シ) 内職            |
| 6 (カ) " 部長、部長相当職 | 13 わからない             |
| 7 (キ) " 役職はわからない |                      |

問 17-4 あなたが最初に働いていた場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)は、どのような事業をしていましたか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

XXFSTWP

(できるだけ詳しく具体的に。会社名は不可。)

問 17-5 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように)

XXFSTJB

(できるだけ詳しく具体的に。)

問 17-6〔回答票 26〕あなたが最初についた仕事では、会社・組織全体で従業員(働いていた人)は何人くらいでしたか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

SZSTFFST

- |              |                |                     |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人     | 5 (オ) 30~99人   | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 2 (イ) 2~4人   | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人   | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上        |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 (シ) 官公庁          |
|              |                | 13 わからない            |

(全員に)

問 18 あなたは結婚していますか。

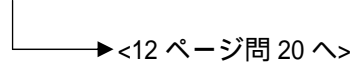
調査員注：本人の判断にまかせるが、尋ねられたら、婚姻届を出していない内縁の関係も含む。

DOMARRY

1 既 婚 (有配偶)

2 既 婚 (離死別)

3 未 婚



ここからはあなたの配偶者(つれ合い)のことについておうかがいします

問 19-1〔回答票 27〕配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

SSJB1WK

1

(ア)  
仕事をした



2

(イ)  
仕事をもっているが、病気、  
休暇などで先週は仕事を休んだ



3

(ウ)  
仕事をしていない



→ <12 ページ問 20 へ>

問 19-2(a)

配偶者の方は先週何日仕事をしましたか。また、残業を含めて合計何時間しましたか。

問 19-2(b)

通常、配偶者の方は週何日仕事をしていますか。また、残業を含めて通常週合計で何時間していますか。

SSJBDWK

週  日

SSJBHRWK

週 合 計  時間

問 19-3〔回答票 28〕配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

調査員注：配偶者が官公庁に勤めている回答者にも、問 19 すべてに回答してもらう。

1(ア)「経営者」と 10(コ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

SSTP12JB

1 (ア) 経営者・役員

8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト

2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし

9 (ケ) 派遣社員

3 (ウ) " 職長、班長、組長

10 (コ) 自営業主・自由業者

4 (エ) " 係長、係長相当職

11 (サ) 家族従業者

5 (オ) " 課長、課長相当職

12 (シ) 内職

5 (オ) " 課長、課長相当職

13 (ス) 仕事についたことがない → <問 20 へ>

7 (キ) " 役職はわからない

14 わからない

問 19-4 配偶者の方が働いている場所(工場、事務所、商店などの事業所)は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

SSXXHQX

(できるだけ詳しく具体的に。会社名は不可。)

問 19-5 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。主な収入の仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように)

SSXXJOB

(できるだけ詳しく具体的に。)

問 19-6 [回答票 29] 配偶者の方が働いている会社・組織全体で、従業員(働いている人)は何人くらいですか。配偶者自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

SSSZSTFA

- |              |                |                     |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人     | 5 (オ) 30~99人   | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 2 (イ) 2~4人   | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人   | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上        |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 (シ) 官公庁          |
|              |                | 13 わからない            |

問 19-7 配偶者の方は現在の会社・組織に通算何年働いていますか。(自営業者は自営業を行なっている期間)

SSSZWKYR

年間

調査員注：1年未満の場合は0(ゼロ)と記入

問 19-8 [回答票 30] 昨年1年間の配偶者の方の主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料、その他が引かれる前の額をお答えください。調査員注：尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

SSSZINCM

- |                    |                        |                           |
|--------------------|------------------------|---------------------------|
| 1 (ア) なし           | 13 (ス) 850~1,000万円未満   |                           |
| 2 (イ) 70万円未満       | 14 (セ) 1,000~1,200万円未満 |                           |
| 3 (ウ) 70~100万円未満   | 15 (ソ) 1,200~1,400万円未満 |                           |
| 4 (エ) 100~130万円未満  | 16 (タ) 1,400~1,600万円未満 |                           |
| 5 (オ) 130~150万円未満  | 17 (チ) 1,600~1,850万円未満 |                           |
| 6 (カ) 150~250万円未満  | 18 (ツ) 1,850~2,300万円未満 |                           |
| 7 (キ) 250~350万円未満  | 19 (テ) 2,300万円以上       | → (19の場合、具体的に) 約 _____ 万円 |
| 8 (ク) 350~450万円未満  | 20                     | 回答したくない                   |
| 9 (ケ) 450~550万円未満  | 21                     | わからない                     |
| 10 (コ) 550~650万円未満 |                        |                           |
| 11 (サ) 650~750万円未満 |                        |                           |
| 12 (シ) 750~850万円未満 |                        |                           |

SSHIINCX

(全員に)

ここからは、あなた自身についておうかがいします。

問 20〔回答票 31〕ここにあげる仕事に関する項目は、あなたにとってどの程度重要であると考えますか。

調査員注：現在仕事をしていない人は、一般論として回答してもらおう。

		(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	
		非常に重要である	重要である	どちらでもない	重要でない	まったく重要でない	わからない
A～Jすべてについて							
IM5SECUR	A 雇用が安定していること	1	2	3	4	5	6
IM5HIPAY	B 高収入であること	1	2	3	4	5	6
IM5PROMO	C 昇進の機会が多いこと	1	2	3	4	5	6
IM5INTRG	D 興味のある仕事であること	1	2	3	4	5	6
IM5INDEP	E 干渉されず、独立した仕事であること	1	2	3	4	5	6
IM5OTHER	F 他の人のためになる仕事であること	1	2	3	4	5	6
IM5SOCTY	G 社会にとって有益な仕事であること	1	2	3	4	5	6
IM5FREE	H 働く時間、日などを自分で決定できる仕事であること	1	2	3	4	5	6
IM5FAMIL	I 仕事と家庭生活を両立できること	1	2	3	4	5	6
IM5TRG	J 教育・訓練の機会が提供されること	1	2	3	4	5	6

問 21〔回答票 32〕わたしたちの社会には上層に位置するグループや下層に位置するグループがあります。

次のような上から下までのスケール(尺度)で、あなたはどこに位置すると思いますか。

OP10LVL

一番上 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 一番下

次に政党支持についておうかがいします。

問 22-1〔回答票 33〕現在、あなたはどの政党を支持していますか。

XX8PLPTY

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(ア) 自民党	(イ) 民主党	(ウ) 公明党	(エ) 自由党	(オ) 共産党	(カ) 社民党	(キ) 保守党	(ク) その他の 政党( )	(ケ) 特に支持する 政党はない	わからない
								↓	↓
									<問 22-4 へ>

問 22-2〔回答票 34〕ふだん好ましいと思っている政党はありますか。

XX9PLPFV

- |           |                      |
|-----------|----------------------|
| 1 (ア) 自民党 | 6 (カ) 社民党            |
| 2 (イ) 民主党 | 7 (キ) 保守党            |
| 3 (ウ) 公明党 | 8 (ク) その他の政党( )      |
| 4 (エ) 自由党 | 9 (ケ) 特に好ましく感じる政党はない |
| 5 (オ) 共産党 | 10 わからない             |

問 22-3〔回答票 35〕あなたが「政党を支持しない」のはどのような理由ですか。

XXWHYNO

- 1 (ア) どの政党も支持したくないから
- 2 (イ) 政党を支持したい気持ちはあるが、支持できる政党がないから
- 3 わからない



次に、あなたのご家族についてうかがいます。

問 26-1〔回答票 39〕あなたはご家族と一緒に住まいですか。

FFRESIDE

- 1 (ア)  
家族と一緒に生活
- 2 (イ)  
家族から一時的に  
離れて生活
- 3 (ウ)  
本人のみ  
(ひとり暮らし)
- 4 (エ)  
その他  
(友人などと同居)

→ <問 28 へ>

FFSEPWHY

問 26-2〔回答票 40〕その理由は、次のうちどれですか。

- 1 (ア) 単身赴任
- 4 (エ) 老人福祉施設・社会福祉施設に入所
- 2 (イ) 学業
- 5 その他の理由・わからない
- 3 (ウ) 長期入院
- 6 回答拒否

問 26-3 ご家族はあなたをのぞいて何人ですか。

SZFFONLY

SZFF TTL

家族  人 + 本人 = 合計  人  
(1人)

問 26-4 そのうち、単身赴任、学業、長期入院、福祉施設に入所しているなどの理由で、一時的に自宅を出ているご家族の方は何人いらっしゃいますか。

SZFFOUT

人

調査員注：いない場合は0(ゼロ)と記入する。

← 問 27-1「自宅」欄の「2 その他」の 数を一致させる。

問 27-1 今あげていただいたご家族全員について、おうかがいします。

あなたとの続柄、性別、年齢、自宅に住んでいるかどうか、また一時的に自宅を出ている方については、その理由を順におっしゃってください。

調査員注：「続柄」は15ページ下のアフターコード表を参照して質問する。尋ねられたら、婚姻届を出していない内縁の関係も含む。

<記入例>

家族全員が一緒に住んでいる場合：  
全員「1 自宅」に  
回答者(本人)は単身赴任、  
妻と長女は自宅、  
長男は学業で家を出ている場合：  
妻と長女は「1 自宅」に  
長男は「2 その他」に

一時的に自宅を出ている理由  
〔回答票 40〕  
1 (ア) 単身赴任  
2 (イ) 学業  
3 (ウ) 長期入院  
4 (エ) 老人・社会福祉施設に入所  
5 その他の理由・わからない  
6 回答拒否

合計の人数分につける

FF\*\*MARK

FF\*\*REL

FF\*\*SEX

FF\*\*AGE

FF\*\*HOME

↓	回答者との続柄	アフターコード 15ページ下の コードを記入	性別	年齢 (9月1日現在)	自宅
①	本人	00	1 男 2 女	歳	
②			1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他
③			1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他
④			1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他
⑤			1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他
⑥			1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他

FF\*\*OUT

一時的に自宅を出ている理由

1	2	3	4	5	6
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)		

SPAGEX 家族：配偶者の年齢

次ページ上へ続く

前ページ下より続く

	回答者との続柄	アフターコード	性別	年齢 (9月1日現在)	自宅	一時的に自宅を出ている理由
		15ページ下の コードを記入				
07		<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	1 自宅 2 その他	1 2 3 4 5 6 (ア) (イ) (ウ) (エ)
08		<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	1 自宅 2 その他	1 2 3 4 5 6 (ア) (イ) (ウ) (エ)

家族の人数がこれより多い場合は、補助用紙1(緑色)に記入し、このページにはさんでおく。

問 27-2 今あげたご家族の中で、世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「母」など、続柄でお答えください。

FFHEAD

→

調査員注：戸籍上ではなく、回答者が世帯主と認識している人のこと。  
世帯主は、必ず1名のみをあげてもらう。  
このページ下のアフターコード表から記入。

(全員に)

問 28 これまでにお持ちになったお子様は何人ですか。独立した人、亡くなった方も含めてお答えください。

CCNUMTTL

人

調査員注：「養子、連れ子を含むのか」と尋ねられた場合は「実子のみお答え下さい」と答える。

問 29 そのお子様全員の性別、生まれた年、ご健在かどうかをお聞かせください。

調査員注：死亡・不明の場合は生年を聞く。

人数分だけをつける

CC\*\*MARK

CC**MARK	CC**SEX	CC**AGE	CC**BORN		CC**LIVE
	性別	年齢	または	生年	生死
1	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	または	1 大正 2 昭和 3 平成 <input type="text"/> 年 生まれ	← 1 存命 2 死亡 3 不明
2	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	または	1 大正 2 昭和 3 平成 <input type="text"/> 年 生まれ	← 1 存命 2 死亡 3 不明
3	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	または	1 大正 2 昭和 3 平成 <input type="text"/> 年 生まれ	← 1 存命 2 死亡 3 不明
4	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	または	1 大正 2 昭和 3 平成 <input type="text"/> 年 生まれ	← 1 存命 2 死亡 3 不明
5	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳	または	1 大正 2 昭和 3 平成 <input type="text"/> 年 生まれ	← 1 存命 2 死亡 3 不明

子どもの人数がこれより多い場合は補助用紙2(黄色)に記入し、このページにはさんでおく。

アフターコード表(アフターコード記入のために利用)

調査員注：養父母・継父母、養子・連れ子も、実親・実子と同じようにアフターコードする。

00 本人			30 孫(男)	40 父	50 兄	60 祖父	
01 夫	11 長男	21 長女	31 孫(女)	41 母	51 弟	61 祖母	71 父母の 兄弟姉妹
02 妻	12 次男	22 次女	32 孫の配偶者	42 義父 (配偶者の父)	52 姉	62 配偶者の祖父	72 父母の 兄弟姉妹の 配偶者
	13 三男	23 三女	33 ひ孫(男)	43 義母 (配偶者の母)	53 妹	63 配偶者の祖母	
	14 長男の妻	24 長女の夫	34 ひ孫(女)	44 兄の妻	54 配偶者の兄	64 兄の子	
	15 次男の妻	25 次女の夫		45 弟の妻	55 配偶者の弟	65 弟の子	
	16 三男の妻	26 三女の夫		46 姉の夫	56 配偶者の姉	66 姉の子	
	17 四男	27 四女		47 妹の夫	57 配偶者の妹	67 妹の子	
	18 四男の妻	28 四女の夫					97 その他・不明



問 30-1〔回答票 41〕あなたが 15 歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

PPJBTP15

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員          | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト      |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし | 9 (ケ) 自営業主・自由業者           |
| 3 (ウ) " 職長、班長、組長      | 10 (コ) 家族従業者              |
| 4 (エ) " 係長、係長相当職      | 11 (サ) 内職                 |
| 5 (オ) " 課長、課長相当職      | 12 (シ) 働いていなかった →<問 31 へ> |
| 6 (カ) " 部長、部長相当職      | 13 (ス) 父はいなかった →<問 31 へ>  |
| 7 (キ) " 役職はわからない      | 14 わからない                  |

問 30-2 お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように)

PPJBXX15

(できるだけ詳しく具体的に。会社名は不可。)

問 30-3〔回答票 42〕お父さんが働いていた会社・組織全体で従業員(働いていた人)は何人くらいでしたか。

PPJBSZ15

- |     |                |                  |                 |     |       |
|-----|----------------|------------------|-----------------|-----|-------|
| 1   | 2              | 3                | 4               | 5   | 6     |
| (ア) | (イ)            | (ウ)              | (エ)             | (オ) |       |
| 1 人 | 小企業<br>(2~29人) | 中企業<br>(30~299人) | 大企業<br>(300人以上) | 官公庁 | わからない |

(全員に)

問 31〔回答票 43〕あなたが 15 歳の頃、お母さんは仕事をもって働いていましたか。働いていた場合には、この中のどれにあたりますか。

MMJBTP15

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1 (ア) 仕事はもっていなかった        | 7 (キ) 自営業・家族従業者 農林漁業 |
| 2 (イ) 臨時雇用・パート・アルバイト     | 8 (ク) " 農林漁業以外       |
| 3 (ウ) 常時雇用 一般職 役職なし      | 9 (ケ) 内職             |
| 4 (エ) " 管理職              | 10 (コ) 経営者・役員        |
| 5 (オ) " 専門的な仕事(看護婦、教師など) | 11 (サ) 母はいなかった       |
| 6 (カ) " わからない            | 12 わからない             |

問 32〔回答票 44〕あなたが最後に通った(または現在通っている)学校は次のどれにあたりますか。あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

	XXLSTSCH 本人	SSLSTSCH 配偶者	PPLSTSCH 父親	MMLSTSCH 母親
(ア) 旧制尋常小学校(国民学校を含む)	1	1	1	1
(イ) 旧制高等小学校	2	2	2	2
戦 (ウ) 旧制中学校・高等女学校	3	3	3	3
(エ) 旧制実業学校	4	4	4	4
前 (オ) 旧制師範学校	5	5	5	5
(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	6	6	6	6
(キ) 旧制大学・旧制大学院	7	7	7	7
(ク) 新制中学校	8	8	8	8
戦 (ケ) 新制高校	9	9	9	9
(コ) 新制短大・高専	10	10	10	10
後 (サ) 新制大学	11	11	11	11
(シ) 新制大学院	12	12	12	12
わからない	13	13	13	13
配偶者はいない		14		

問 33-1 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

DOLSTSCH

- 1 卒業                      2 中退                      3 在学中

問 33-2〔回答票 45〕あなたはここにあげた学校へ通ったことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。ただし、予備校は除きます。

- |                |                 |               |                       |                |
|----------------|-----------------|---------------|-----------------------|----------------|
| <b>XSENSHU</b> | <b>XKAKUSHU</b> | <b>XOCCUP</b> | <b>XNOSCH</b>         | <b>XNOKNOW</b> |
| 1              | 2               | 3             | 4                     | 5              |
| (ア)            | (イ)             | (ウ)           | (エ)                   |                |
| 専修学校・専門学校      | 各種学校            | 公共職業訓練校       | いずれもない                | わからない          |
|                |                 |               | (いずれも選択していない) XNOMARK |                |

問 33-3〔回答票 46〕中学 3 年生の頃、あなたの成績は学年の中でどれくらいだったと思われますか。

調査員注：戦前の学校の場合は、尋常小学校（国民学校を含む）の成績を聞く。

OP5SCHPF

- |     |       |         |       |     |         |       |
|-----|-------|---------|-------|-----|---------|-------|
| 1   | 2     | 3       | 4     | 5   | 6       | 7     |
| (ア) | (イ)   | (ウ)     | (エ)   | (オ) |         |       |
| 下の方 | やや下の方 | 真ん中のあたり | やや上の方 | 上の方 | 回答したくない | わからない |

調査員注：問 32 で本人が (ケ) (コ) (サ) (シ) と答えた人（高専は除く）に。

あなたが通った高校についてうかがいます

問 34-1〔回答票 47〕その高校であなたが学んだ学科は何でしたか。2 つ以上の場合は主な学科を 1 つお答えください。

XHSSUB

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 普通科      | 5 (オ) 家庭・家政に関する学科   |
| 2 (イ) 工業に関する学科 | 6 (カ) その他の学科（具体的に ) |
| 3 (ウ) 商業に関する学科 | 7 わからない             |
| 4 (エ) 農業に関する学科 |                     |

問 34-2〔回答票 48〕その高校では、どのくらいの割合の人が大学・短大に進学しましたか。

XHSRATE

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 (ア) ほとんど全員  | 4 (エ) 2～3 割程度 |
| 2 (イ) 7～8 割程度 | 5 (オ) ほとんどいない |
| 3 (ウ) 半数くらい   | 6 わからない       |

調査員注：問 32 で本人が (コ) (サ) (シ) と答えた人（新制短大・高専、新制大学、新制大学院）に。

あなたが最後に通った（または現在通っている）学校（大学院・大学・短大・高専）についてうかがいます。

問 35-1〔回答票 49〕その学校は国立でしたか、公立でしたか、あるいは私立（わたくしりつ）でしたか。

XUPUBLIC

- 1 (ア) 国立                      2 (イ) 公立                      3 (ウ) 私立                      4 わからない

問 35-2〔回答票 50〕その学校でのあなたの主な専攻分野は何でしたか。

調査員注：学部・学科名が専攻分野を表わしていない場合は、実際に専攻した分野を聞く。また例示されていない分野の場合は、その他に具体的に記入する。

XUSUB

- 1 (ア) 理工（理学・工学・農学）  
 2 (イ) 社会科学（経済学・経営学・商学・法学・政治学・社会学）  
 3 (ウ) 人文科学（文学・外国語・哲学・歴史学・心理学）  
 4 (エ) 教育  
 5 (オ) 家政  
 6 (カ) 保健（医学・歯学・薬学）  
 7 (キ) その他（具体的に )  
 8 わからない

(全員に) あなたの結婚歴についておうかがいします。

問 36-1 あなたが最初に結婚した時の年齢はいくつでしたか。

調査員注：本人の判断にまかせるが、尋ねられたら、内縁関係は含まない。問 18、問 27-1 と矛盾があっても構わない。

**XMARRY**

1	2	3
歳 <small>の</small> 時に結婚した	これまで一度も結婚していない	わからない
<b>AGE1MG</b>		
↓	→	→
		<19 ページ問 37 へ>

問 36-2 あなたは、これまでに離婚をしたことがありますか。(あると答えた者に)何回しましたか。

**XDIV**

1	2	3
あ る	な い	わ かり ない
回		
<b>FQXDIV</b>		
↓	→	→
		<問 36-4 へ>

問 36-3 離婚した時の年齢はいくつでしたか。その後、再婚しましたか。

(再婚した者に)それは何歳の時でしたか。

	1		2		3
( 1 回目 )	歳 <small>の</small> 時に離婚した	→	再婚	1 した	歳 <small>の</small> の時
	<b>AGE1DIV</b>			2 しない	<b>AGEMG1DV</b>
( 2 回目 )	歳 <small>の</small> 時に離婚した	→	再婚	1 した	歳 <small>の</small> の時
	<b>AGE2DIV</b>			2 しない	<b>AGEMG2DV</b>

問 36-4 あなたは、これまでに配偶者の方と死別したことがありますか。

(あると答えた者に)何回しましたか。

**XWIDOW**

1	2	3
あ る	な い	わ かり ない
回		
<b>FQWDW</b>		
↓	→	→
		<19 ページ問 37 へ>

問 36-5 死別した時の年齢はいくつでしたか。その後、再婚しましたか。

(再婚した者に)それは何歳の時でしたか。

	1		2		3
( 1 回目 )	歳 <small>の</small> 時に死別した	→	再婚	1 した	歳 <small>の</small> の時
	<b>AGE1WDW</b>			2 しない	<b>AGEMG1WD</b>
( 2 回目 )	歳 <small>の</small> 時に死別した	→	再婚	1 した	歳 <small>の</small> の時
	<b>AGE2WDW</b>			2 しない	<b>AGEMG2WD</b>

(全員に) あなたの世帯収入についておうかがいします。

問 37〔回答票 51〕昨年 1 年間のあなたの世帯収入はどのくらいですか。税金を差し引く前の収入でお答えください。株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。この中のどれにあてはまりますか。調査員注：尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

## SZHSINCM

- |                     |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| 1 (ア) なし            | 13 (ス) 850~1,000 万円未満         |
| 2 (イ) 70 万円未満       | 14 (セ) 1,000~1,200 万円未満       |
| 3 (ウ) 70~100 万円未満   | 15 (ソ) 1,200~1,400 万円未満       |
| 4 (エ) 100~130 万円未満  | 16 (タ) 1,400~1,600 万円未満       |
| 5 (オ) 130~150 万円未満  | 17 (チ) 1,600~1,850 万円未満       |
| 6 (カ) 150~250 万円未満  | 18 (ツ) 1,850~2,300 万円未満       |
| 7 (キ) 250~350 万円未満  | 19 (テ) 2,300 万円以上             |
| 8 (ク) 350~450 万円未満  | → (19 の場合、具体的に)<br>約 _____ 万円 |
| 9 (ケ) 450~550 万円未満  | 20 回答したくない                    |
| 10 (コ) 550~650 万円未満 | 21 わからない                      |
| 11 (サ) 650~750 万円未満 |                               |
| 12 (シ) 750~850 万円未満 |                               |

SZHSHINC

次に支出についておうかがいします。

問 38〔回答票 52〕あなたの世帯全体で、昨年 1 年間に住宅にかかった支出は、どのくらいですか。おおよその額をお教えてください。

調査員注：(含むもの) 家賃、地代、ローン返済、自宅マンションの管理費や駐車場代、単身赴任者の家賃、住宅購入の頭金、改築・修繕代

(除くもの) 子どもの下宿代、固定資産税

## SZEXHOUS

- |                    |                               |
|--------------------|-------------------------------|
| 1 (ア) なし           | 9 (ケ) 250~300 万円未満            |
| 2 (イ) 10 万円未満      | 10 (コ) 300~400 万円未満           |
| 3 (ウ) 10~30 万円未満   | 11 (サ) 400~500 万円未満           |
| 4 (エ) 30~50 万円未満   | 12 (シ) 500~600 万円未満           |
| 5 (オ) 50~100 万円未満  | 13 (ス) 600 万円以上               |
| 6 (カ) 100~150 万円未満 | → (13 の場合、具体的に)<br>約 _____ 万円 |
| 7 (キ) 150~200 万円未満 | 14 回答したくない                    |
| 8 (ク) 200~250 万円未満 | 15 わからない                      |

SZEXHIHS

問 39〔回答票 53〕昨年 1 年間にかけた「子ども」の教育費は、あなたの世帯全体でどのくらいですか。おおよその額をお教えてください。ただし、社会人入学の場合は除きます。

調査員注：「子ども」とは、幼児・児童・生徒・学生(大学院生を含む)

子どもの下宿代・仕送りを含む。学生には聞かない(18に)

## SZEXED

- |                   |                               |
|-------------------|-------------------------------|
| 1 (ア) なし          | 10 (コ) 100~200 万円未満           |
| 2 (イ) 3 万円未満      | 11 (サ) 200~300 万円未満           |
| 3 (ウ) 3~5 万円未満    | 12 (シ) 300~400 万円未満           |
| 4 (エ) 5~10 万円未満   | 13 (ス) 400~500 万円未満           |
| 5 (オ) 10~15 万円未満  | 14 (セ) 500 万円以上               |
| 6 (カ) 15~20 万円未満  | → (14 の場合、具体的に)<br>約 _____ 万円 |
| 7 (キ) 20~30 万円未満  | 15 (ソ) 世帯に「子どもは」いない           |
| 8 (ク) 30~50 万円未満  | 16 回答したくない                    |
| 9 (ケ) 50~100 万円未満 | 17 わからない                      |
|                   | 18 本人は学生                      |

SZEXHIED

これで終わりです。長時間ありがとうございました。

〔調査員記入〕

F1 . 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

COOP

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| 1 とても協力的      | 3 それほど協力的ではなかった |
| 2 どちらかといえば協力的 | 4 まったく協力的ではなかった |

F2 . 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

USTAND

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1 非常に良い      | 3 あまり良くない  |
| 2 どちらかといえば良い | 4 まったく良くない |

F3 . 質問内容が不明瞭（回答者が理解していない）と思われる質問はどれでしたか。

できるだけ詳しく具体的に。

F4 . その他（どんなことでも結構ですから、気づいた点をご記入ください。）

- ・ 謝礼について
  - ・ 面接、留置調査の順番についてなど
- できるだけ詳しく具体的に。

下記の調査手順、調査日、調査時刻、調査所要時間も必ず記録して下さい。

《調査手順》		調査員注：調査所要時間は、インタビューの時間であり、調査依頼のための説明時間は含まない。		
面接 留置、留置 面接、 どちらの順で実施したか をつける。		DATE	DURATION	
PROC		調査日	調査時刻	
1 面接 留置		____月____日	開始	時 分
2 留置 面接		MONTH DAY	終了	時 分
				調査所要時間 _____分



文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

## 生活と意識についての国際比較調査

2003年10月  
JGSS-2003 面接調査票

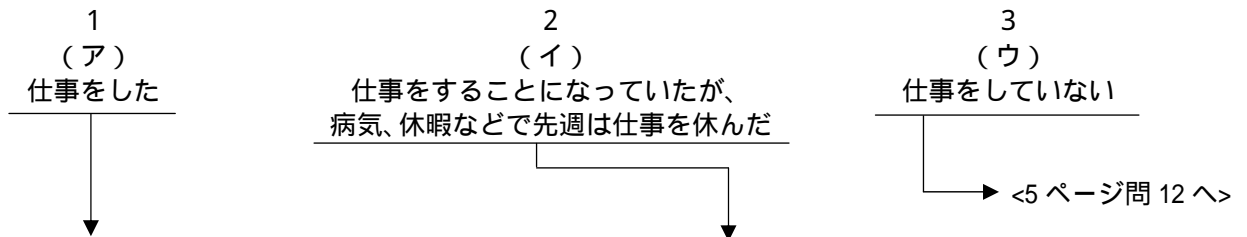
調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所

IDUSE 識別番号  
BLOCK 地域ブロック  
PREF 都道府県名  
SIZE 市郡規模  
SEXA 性別  
AGEB 年齢  
MARC 配偶者 (DOMARRY の転記)  
DRAN アタック状況番号  
DOBYEAR 生年  
FORM 留置票の種別

まずはじめに、あなたのお仕事について、おうかがいします。

問 1-1 [ 回答票 1 ] 先週、あなたは収入をとる仕事をしましたか、または仕事をするようになっていましたか。この中からあげてください。

XJOB1WK



2つ以上仕事をしている方は主な仕事について、おうかがいします。

問 1-2(a)

あなたは主な収入を得る仕事を先週何日しましたか。また、週合計何時間しましたか。そのうち、残業は何時間しましたか。自営業など残業時間があてはまらない方は残業時間の記入は不要です。

2つ以上仕事をしている方は主な仕事について、おうかがいします。

問 1-2(b)

通常、あなたは主な収入を得る仕事を週何日していますか。また、通常週合計何時間していますか。そのうち残業時間はどれくらいですか。自営業など残業時間があてはまらない方は残業時間の記入は不要です。

XJOB1WK 週  日

XJOBHWK 週合計  時間

XOTHWK (内) 残業  時間

問 2-1 あなたは通常、何曜日に仕事をしますか。働く時間が短い曜日も入れてください。

調査員注：該当する曜日すべてに○をつける

- |         |   |     |         |   |                |
|---------|---|-----|---------|---|----------------|
| DOWKMON | 1 | 月曜日 | DOWKFRI | 5 | 金曜日            |
| DOWKTUE | 2 | 火曜日 | DOWKSAT | 6 | 土曜日            |
| DOWKWED | 3 | 水曜日 | DOWKSUN | 7 | 日曜日            |
| DOWKTHU | 4 | 木曜日 | DOWKVAR | 8 | 週によって働く曜日はまちまち |
|         |   |     | DOWNOMK |   | (いずれも選択していない)  |

問 2-2〔回答票 2〕この 1 年間に、連続して 4 日以上休んだことが何回ありましたか。

調査員注：土日などの通常の休日や祝日を含めて 4 日以上の場合も入れる（盆休みや正月、ゴールデンウィークなども含む）。忌引きや本人の病気による休みは入れない。

FQWKOFF

- |     |     |     |       |     |
|-----|-----|-----|-------|-----|
| 1   | 2   | 3   | 4     | 5   |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ)   | (オ) |
| 1 回 | 2 回 | 3 回 | 4 回以上 | なし  |

問 3-1〔回答票 3〕現在、あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

DOCMT

- |   |           |             |
|---|-----------|-------------|
| 1   | 2         | 3           |
| (ア)   | (イ)       | (ウ)         |
| おおよそ <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分 | 住まいと職場は同じ | 日によって行き先が違う |
| SZCMTL  | SZCMTMIN  |             |
| SZCMTHR   |           |             |

問 3-2〔回答票 4〕通勤手段は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- |         |            |          |               |
|---------|------------|----------|---------------|
| CMTWALK | 1 (ア) 徒歩のみ | CMTTRAIN | 5 (オ) 電車      |
| CMTBCYL | 2 (イ) 自転車  | CMTCAR   | 6 (カ) 自動車     |
| CMTMCYL | 3 (ウ) バイク  | CMTBOAT  | 7 (キ) 船       |
| CMTBUS  | 4 (エ) バス   | CMTETC   | 8 (ク) その他     |
|         |            | CMTNOMK  | (いずれも選択していない) |

(以下、2 つ以上の仕事をしている場合には、あなたの主な仕事についてうかがいます。)

調査員注：官公庁に勤める回答者にも、問 4 すべておよび問 5-1 にも回答してもらおう。

問 4-1〔回答票 5〕あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

調査員注：1 (ア)「経営者」と 10 (コ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

TP12JOB

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員          | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし | 9 (ケ) 派遣社員           |
| 3 (ウ) " 職長、班長、組長      | 10 (コ) 自営業主・自由業者     |
| 4 (エ) " 係長、係長相当職      | 11 (サ) 家族従業者         |
| 5 (オ) " 課長、課長相当職      | 12 (シ) 内職            |
| 6 (カ) " 部長、部長相当職      | 13 わからない             |
| 7 (キ) " 役職はわからない      |                      |

問 4-2 あなたが働いている場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)はどのような事業をしていますか。

例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

XXWPL

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可。)





問 9-2〔回答票 10〕もし今の仕事や事業をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

OP3NEWJB

- |          |           |          |       |
|----------|-----------|----------|-------|
| 1<br>(ア) | 2<br>(イ)  | 3<br>(ウ) | 4     |
| 非常に容易である | ある程度容易である | 容易ではない   | わからない |

問 9-3〔回答票 11〕現在の主な仕事にどのくらい満足していますか。

ST5JOB

- |          |                |           |               |          |       |
|----------|----------------|-----------|---------------|----------|-------|
| 1<br>(ア) | 2<br>(イ)       | 3<br>(ウ)  | 4<br>(エ)      | 5<br>(オ) | 6     |
| 満足している   | どちらかといえば満足している | どちらともいえない | どちらかといえば不満である | 不満である    | わからない |

問 9-4〔回答票 12〕今働いている会社をやめるつもりがありますか。(または)今の事業をやめるつもりがありますか。

WLKEEPJA

- |             |             |               |       |
|-------------|-------------|---------------|-------|
| 1<br>(ア)    | 2<br>(イ)    | 3<br>(ウ)      | 4     |
| 近いうちにやめるつもり | 当分やめるつもりはない | まったくやめるつもりはない | わからない |

問 10〔回答票 13〕昨年 1 年間のあなたの主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料、その他が引かれる前の額をお答えください。調査員注：尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

SZINCOMX

- |                       |                           |
|-----------------------|---------------------------|
| 1 (ア) なし              | 13 (ス) 850 ~ 1,000 万円未満   |
| 2 (イ) 70 万円未満         | 14 (セ) 1,000 ~ 1,200 万円未満 |
| 3 (ウ) 70 ~ 100 万円未満   | 15 (ソ) 1,200 ~ 1,400 万円未満 |
| 4 (エ) 100 ~ 130 万円未満  | 16 (タ) 1,400 ~ 1,600 万円未満 |
| 5 (オ) 130 ~ 150 万円未満  | 17 (チ) 1,600 ~ 1,850 万円未満 |
| 6 (カ) 150 ~ 250 万円未満  | 18 (ツ) 1,850 ~ 2,300 万円未満 |
| 7 (キ) 250 ~ 350 万円未満  | 19 (テ) 2,300 万円以上         |
| 8 (ク) 350 ~ 450 万円未満  | (19 の場合、具体的に)             |
| 9 (ケ) 450 ~ 550 万円未満  | → 約 _____ 万円              |
| 10 (コ) 550 ~ 650 万円未満 | 20 回答したくない                |
| 11 (サ) 650 ~ 750 万円未満 | 21 わからない                  |
| 12 (シ) 750 ~ 850 万円未満 |                           |

問 11-1 これまでお答えいただいた仕事以外に、あなたは先週、別の仕事をしましたか。またはすることになっていましたか。収入をとらなう仕事についてのみお答えください。

XSJB1WK

- |      |                 |
|------|-----------------|
| 1 はい | 2 いいえ           |
| ↓    | → <5 ページ問 13 へ> |

問 11-2 その他の収入の仕事を、先週合計何時間しましたか。またはすることになっていましたか。

SZSJBHWK

- 時間  
 ↓  
 <5 ページ問 13 へ>

(問 1-1 で「3 (ウ) 仕事をしていない」を選択した人のみに)

問 12 [回答票 14] 先週のあなたは中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP

1 (ア) 失業中	2 (イ) 定年などで 仕事をやめた	3 (ウ) 学生	4 (エ) 主に家事を している	5 (オ) その他 ( )	6 わからない
-----------------	-----------------------------	----------------	---------------------------	------------------------	------------

(全員に)

問 13 あなたは現在、仕事を探していますか。

DOLOOKJB

1 はい	2 いいえ
------	-------

問 14-1 [回答票 15] 現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

問 14-2 [回答票 15] そのうち、一番中心となる収入源を1つだけ答えてください。

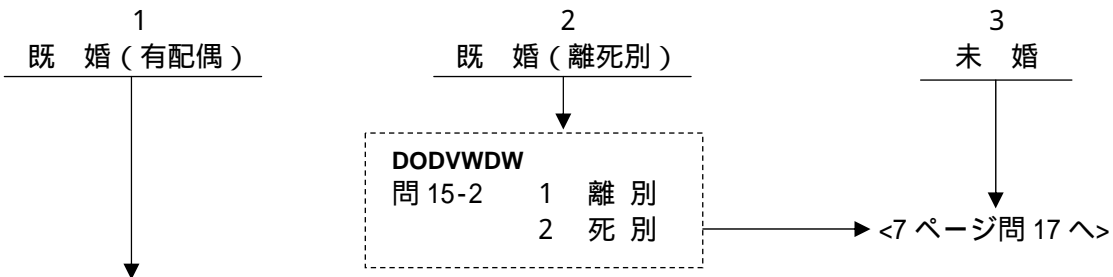
調査員注：問 14-1 であてはまるものが1つしかなければ、問 14-2 では同じものをつける。

	問 14-1 あてはまる収入源 すべてに	INCMAIN 問 14-2 中心となる収入源 1つだけに
INCSELF (ア) 自分の収入	1	1
INCSP (イ) 配偶者の収入	2	2
INCPAR (ウ) 親の収入	3	3
INCFAM (エ) 配偶者・親以外の家族の収入	4	4
INCPEN (オ) 年金	5	5
INCUEB (カ) 失業保険	6	6
INCSAVE (キ) 貯蓄	7	7
INCSOC (ク) 社会福祉(生活保護、福祉手当等)	8	8
INCIRR (ケ) 不定期的な仕事	9	9
INCOTHER (コ) その他( )	10	10
INCNOKN わからない	11	11
INCNOBK (いずれも選択していない)		

問 15-1 あなたは結婚していますか。

調査員注：本人の判断にまかせるが、尋ねられたら、婚姻届を出していない内縁の関係も含む。

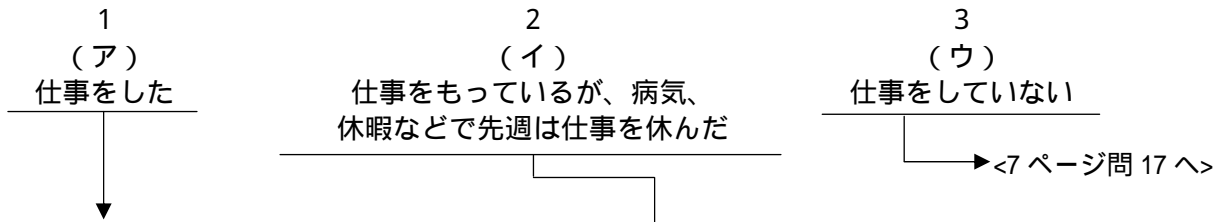
DOMARRY



ここからはあなたの配偶者（つれ合い）のことについておうかがいします

問 16-1〔回答票 16〕配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

SSJB1WK



問 16-2(a)

配偶者の方は先週何日仕事をしましたか。  
また、残業を含めて合計何時間しましたか。

問 16-2(b)

通常、配偶者の方は週何日仕事をしていますか。  
また、残業を含めて通常週合計で何時間していますか。

SSJBDWK

週  日

SSJBHRWK

週 合 計  時間

問 16-3〔回答票 17〕配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

調査員注：配偶者が官公庁に勤めている回答者にも、問 16 すべてに回答してもらう。

1(ア)「経営者」と 10(コ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

SSTP12JB

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員          | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし | 9 (ケ) 派遣社員           |
| 3 (ウ) " 職長、班長、組長      | 10 (コ) 自営業主・自由業者     |
| 4 (エ) " 係長、係長相当職      | 11 (サ) 家族従業者         |
| 5 (オ) " 課長、課長相当職      | 12 (シ) 内職            |
| 6 (カ) " 部長、部長相当職      |                      |
| 7 (キ) " 役職はわからない      | 14 わからない             |

問 16-4 配偶者の方が働いている場所（工場、事務所、商店などの事業所）は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

SSXXHQX

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可。)

問 16-5 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。主な収入の仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)

SSXXJOB

(できるだけ詳しく具体的に。)





問21-1 今あげていただいたご家族全員について、おうかがいします。

あなたとの続柄、性別、年齢、自宅に住んでいるかどうか、また一時的に自宅を出ている方については、その理由を順におっしゃってください。

調査員注: 「続柄」は8ページ下のアフターコード表を参照して質問する。続柄は、あくまでも本人にとっての続柄であることに注意する。たとえば、「おばあちゃん」と答えても、本人にとって「母」か「祖母」が確認する。父母や祖父母の場合、本人と配偶者のどちらの父母・祖父母にあたるか確認する。尋ねられたら、婚姻届を出していない内縁の関係も含む。

配偶者の年齢  
SPAGEX

<記入例>

家族全員が一緒に住んでいる場合:

全員「1 自宅」に  
回答者(本人)は単身赴任、  
妻と長女は自宅、

長男は学業で家を出ている場合:

本人は「2 その他」に  
妻と長女は「1 自宅」に  
長男は「2 その他」に

一時的に自宅を出ている理由

[回答票 24]

- 1 (ア) 単身赴任
- 2 (イ) 学業
- 3 (ウ) 長期入院
- 4 (エ) 老人・社会福祉施設に入所
- 5 その他の理由・わからない
- 6 回答拒否

FF..MARK

合計の人数分に○をつける

FF..MARK	回答者との続柄	FF..REL	FF..SEX	FF..AGE	FF..HOME	FF..OUT 一時的に自宅を出ている理由
		アフターコード 8ページ下の コードを記入	性別	年齢 (9月1日現在)	自宅	
①	本人 →	0 0	1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他	
②	→		1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他 →	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)
③	→		1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他 →	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)
④	→		1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他 →	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)
⑤	→		1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他 →	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)
⑥	→		1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他 →	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)
⑦	→		1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他 →	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)
⑧	→		1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他 →	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)
⑨	→		1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他 →	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)
⑩	→		1 男 2 女	歳	1 自宅 2 その他 →	1 2 3 4 5 6 (ア)(イ)(ウ)(エ)

家族の人数がこれより多い場合は、補助用紙(緑色)に記入し、このページにはさんでおく。

問21-2 今あげたご家族の中で、世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「母」など、続柄でお答えください。

FFHEAD

アフターコード

調査員注: 戸籍上ではなく、回答者が世帯主と認識している人のこと。世帯主は、必ず1名のみをあげてもらう。左ページ下のアフターコード表から記入。

(全員に)

問 22 これまでにお持ちになったお子様は何人ですか。独立した人、亡くなった方も含めてお答えください。

CCNUMTTL

		人
--	--	---

調査員注:「養子、連れ子を含むのか」と尋ねられた場合は「実子のみお答え下さい」と答える。いない場合は0(ゼロ)と記入。

問 23-1〔回答票 25〕あなたが 15 歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

PPJBTP15

- |                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員          | 8 (ク) 臨時雇用・パート・アルバイト       |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし | 9 (ケ) 自営業主・自由業者            |
| 3 (ウ) " 職長、班長、組長      | 10 (コ) 家族従業者               |
| 4 (エ) " 係長、係長相当職      | 11 (サ) 内職                  |
| 5 (オ) " 課長、課長相当職      | 12 (シ) 働いていなかった → <問 24 へ> |
| 6 (カ) " 部長、部長相当職      | 13 (ス) 父はいなかった → <問 24 へ>  |
| 7 (キ) " 役職はわからない      | 14 わからない                   |

問 23-2 お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)

PPJBXX15

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 23-3〔回答票 26〕お父さんが働いていた会社・組織全体で従業員(働いていた人)は何人くらいでしたか。

調査員注:農業・商店などの自営業の場合は、そこで働いている人数をめでに答えてもらう。

PPJBSZ15

- |     |                |                  |                 |     |       |
|-----|----------------|------------------|-----------------|-----|-------|
| 1   | 2              | 3                | 4               | 5   | 6     |
| (ア) | (イ)            | (ウ)              | (エ)             | (オ) |       |
| 1 人 | 小企業<br>(2~29人) | 中企業<br>(30~299人) | 大企業<br>(300人以上) | 官公庁 | わからない |

(全員に)

問 24〔回答票 27〕あなたが 15 歳の頃、お母さんは仕事をもって働いていましたか。働いていた場合には、この中のどれにあたりますか。

MMJBTP15

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| 1 (ア) 仕事はもっていなかった        | 7 (キ) 自営業・家族従業者 農林漁業 |
| 2 (イ) 臨時雇用・パート・アルバイト     | 8 (ク) " 農林漁業以外       |
| 3 (ウ) 常時雇用 一般職 役職なし      | 9 (ケ) 内職             |
| 4 (エ) " 管理職              | 10 (コ) 経営者・役員        |
| 5 (オ) " 専門的な仕事(看護婦、教師など) | 11 (サ) 母はいなかった       |
| 6 (カ) " わからない            | 12 わからない             |







2005 年 9 月  
JGSS-2005 面接調査票



文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

## 「第 5 回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所

**IDUSE** 識別番号  
**BLOCK** 地域ブロック  
**PREF** 都道府県名  
**SIZE** 市群規模

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
2	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
3	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
4	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
5	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
6	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
7	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
8	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
9	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
10	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

回収状況
面接票 1 面接完了 <b>DATE</b> ( 月 日 ) <b>MONTH DAY</b> 2 面接不能
留置票 1 回収完了 <b>DATEB</b> ( 月 日 ) <b>MONTHB DAYB</b> 2 回収不能
一方で調査不能の場合、次のページを忘れず記入する。
留置票の受取予定日時

対象者本人に会えるまでの訪問を全て記録する。  
 10 回を越えた訪問の記録は不要。  
 接触ができるまで、必ず 4 日以上訪問する。  
 (同日に 2 度訪問しても 1 日と数えるが、同日の訪問を禁止するわけではない)  
 必ず平日と休日(土日祝)の両方を訪問する。

**SEXA** 性別  
**DOBYEAR** 生年(西暦)  
**AGEB** 年齢  
**MARC** 配偶者(DOMARRY の転記)

面接票か留置票の一方でも調査不能であった場合、このページを必ず記入する。

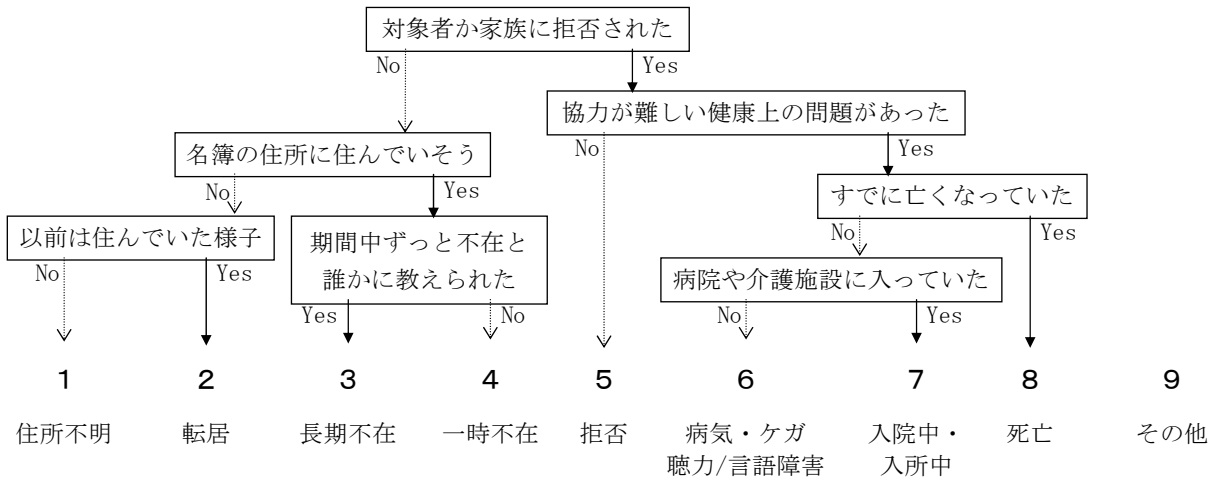
N1 調査不能と決定した日時

月 日 時 分頃  
 1 午前 時 分頃  
 2 午後 時 分頃

N2 対象者の家の種類

- 1 一戸建て      2 集合住宅（アパート・マンションなど）      3 不明

N3 調査不能の理由



上の流れ図に沿って理由を分類する。

結果に違和感がある場合や変わった状況の場合は、「9 その他」に○をつけ、下の欄を詳しく記入する。

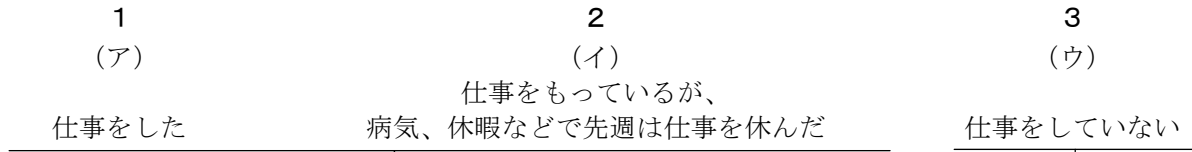
ここで○をつけた番号は、対象者名簿の「欠票 No」に転記する。

N4 調査不能の具体的な状況（複雑な状況については、詳しく記入してください）

まずはじめに、あなたのお仕事について、おうかがいします。

問 1-1 [回答票 1] 先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか、または仕事をするようになっていましたか。この中からあげてください。

**XJOB1WK**



問 1-2 [回答票 2] 先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

**TP5UNEMP**

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1 (ア) 失業中         | 4 (エ) 主に家事をしている |
| 2 (イ) 定年などで仕事をやめた | 5 (オ) その他 ( )   |
| 3 (ウ) 学生          | 6 わからない         |

問 1-3 あなたは、これまでに収入をとまなう仕事をしたことがありますか。

**XWORK**

- |      |                     |
|------|---------------------|
| 1 はい | 2 いいえ → 7 ページ問 17 へ |
|------|---------------------|

問 1-4 [回答票 3] あなたが最後の主な仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。

**XXSTPJB**

- |                            |                        |
|----------------------------|------------------------|
| 1 (ア) 定年など退職 (引退) する年齢になった | 8 (ク) 仕事や労働条件等が不満だったので |
| 2 (イ) 早期退職 (引退) を選んだ       | 9 (ケ) 開業や転職のため         |
| 3 (ウ) 早期退職 (引退) をさせられた     | 10 (コ) 家族の介護のため        |
| 4 (エ) 健康上の理由で働けなくなった       | 11 (サ) 結婚したため          |
| 5 (オ) 会社が倒産したり、職場が閉鎖された    | 12 (シ) 出産・育児のため        |
| 6 (カ) 解雇された                | 13 (ス) その他 ( )         |
| 7 (キ) 雇用期間や契約期間が終了した       | 14 わからない               |

7 ページ問 17 へ

お仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 2-1 あなたは主な収入を得る仕事を先週何日しましたか。また、週合計何時間しましたか。そのうち、残業は何時間しましたか。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

自営業など残業時間があてはまらない場合、残業時間には0 (ゼロ) と記入。

**XJOBDWK**                      週  日

**XJOBHWK**                      週 合 計  時間

**XOTHWK**                      (内) 残 業  時間

問 2-2 あなたは通常、何曜日に仕事をしますか。働く時間が短い曜日も入れてください。

該当する曜日すべてに○をつける

- |                |   |     |                |   |                |
|----------------|---|-----|----------------|---|----------------|
| <b>DOWKMON</b> | 1 | 月曜日 | <b>DOWKFRI</b> | 5 | 金曜日            |
| <b>DOWKTUE</b> | 2 | 火曜日 | <b>DOWKSAT</b> | 6 | 土曜日            |
| <b>DOWKWED</b> | 3 | 水曜日 | <b>DOWKSUN</b> | 7 | 日曜日            |
| <b>DOWKTHU</b> | 4 | 木曜日 | <b>DOWKVAR</b> | 8 | 週によって働く曜日はまちまち |

問 2-3 [回答票 4] この 1 年間に、連続して 4 日以上休んだことが何回ありましたか。

土日などの通常の休日や祝日を含めて 4 日以上の場合も入れる (盆休みや正月、ゴールデンウィークなども含む)。

忌引きや本人の病気による休みは入れない。

**FQWKOFF**

- |     |     |     |       |     |
|-----|-----|-----|-------|-----|
| 1   | 2   | 3   | 4     | 5   |
| (ア) | (イ) | (ウ) | (エ)   | (オ) |
| 1 回 | 2 回 | 3 回 | 4 回以上 | なし  |

問 3-1 [回答票 5] 現在、あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

**DOCMT**

	1	2	3
	(ア)	(イ)	(ウ)
<b>SZCMTTL</b>	時間	分	日によって 行き先が違う
およそ	<input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/>	住まいと 職場は同じ
	<b>SZCMTHR</b>	<b>SZCMTMIN</b>	

問 3-2 [回答票 6] 通勤手段は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- |                |   |          |                 |   |         |
|----------------|---|----------|-----------------|---|---------|
| <b>CMTWALK</b> | 1 | (ア) 徒歩のみ | <b>CMTTRAIN</b> | 5 | (オ) 電車  |
| <b>CMTBCYL</b> | 2 | (イ) 自転車  | <b>CMTCAR</b>   | 6 | (カ) 自動車 |
| <b>CMTMCYL</b> | 3 | (ウ) バイク  | <b>CMTBOAT</b>  | 7 | (キ) 船   |
| <b>CMTBUS</b>  | 4 | (エ) バス   | <b>CMTETC</b>   | 8 | (ク) その他 |

問 4 [回答票 7] あなたが働く事業所はこの中のどれにあたりますか。

省庁や自治体から給与を得ている場合 (公立学校の教師、消防署員など) は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**TP4WPLA**

- 1 (ア) 官公庁
- 2 (イ) 単独事業所 (他に事業所などはない)
- 3 (ウ) 支店・支所 (本社・本店は他にある)
- 4 (エ) 本社・本店 (他に支店・支所などがある)
- 5 わからない

問 5-1 [回答票 8] あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と 11 (サ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

官公庁に勤める回答者にも、問 5 すべてに回答してもらう。

**TP12JOB**

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員              | 8 (ク) " 役職はわからない     |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし     | 9 (ケ) 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 3 (ウ) " 職長、班長、組長          | 10 (コ) 派遣社員          |
| 4 (エ) " 係長、係長相当職          | 11 (サ) 自営業主・自由業者     |
| 5 (オ) " 課長、課長相当職          | 12 (シ) 家族従業者         |
| 6 (カ) " 部長、部長相当職          | 13 (ス) 内職            |
| 7 (キ) " その他の役職<br>(具体的に ) | 14 わからない             |

問 5-2 あなたが働いている場所（工場、事務所、商店、病院などの事業所）はどのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

**XXWPL**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 5-3 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

**XXJOB**

(できるだけ詳しく具体的に)

次の2問は、あなたの働いている会社・組織全体についての質問です。

問 6 [回答票 9] 従業員（働いている人）は、会社・組織全体で何人くらいですか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**SZTTLSTA**

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人       | 7 (キ) 300～499人      |
| 2 (イ) 2～4人     | 8 (ク) 500～999人      |
| 3 (ウ) 5～9人     | 9 (ケ) 1,000～1,999人  |
| 4 (エ) 10～29人   | 10 (コ) 2,000～9,999人 |
| 5 (オ) 30～99人   | 11 (サ) 1万人以上        |
| 6 (カ) 100～299人 | 12 (シ) 官公庁          |
|                | 13 わからない            |

問 7 あなたは現在の会社・組織に通算何年働いていますか。(自営業者は自営業を行なっている期間)

**XJOBYR**

年間

1年未満の場合は0（ゼロ）と記入。

問 8 [回答票 10] 昨年1年間のあなたの主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料、その他が引かれる前の額をお答えください。尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

**SZINCOMX**

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 1 (ア) なし           | 12 (シ) 750～850万円未満     |
| 2 (イ) 70万円未満       | 13 (ス) 850～1,000万円未満   |
| 3 (ウ) 70～100万円未満   | 14 (セ) 1,000～1,200万円未満 |
| 4 (エ) 100～130万円未満  | 15 (ソ) 1,200～1,400万円未満 |
| 5 (オ) 130～150万円未満  | 16 (タ) 1,400～1,600万円未満 |
| 6 (カ) 150～250万円未満  | 17 (チ) 1,600～1,850万円未満 |
| 7 (キ) 250～350万円未満  | 18 (ツ) 1,850～2,300万円未満 |
| 8 (ク) 350～450万円未満  | 19 (テ) 2,300万円以上       |
| 9 (ケ) 450～550万円未満  |                        |
| 10 (コ) 550～650万円未満 | 20 回答したくない             |
| 11 (サ) 650～750万円未満 | 21 わからない               |

問 9 仕事の上であなたが管理・監督する人（部下など）がいますか。

**DOSTAFF**

- 1 いる                      2 いない                      3 わからない

問 10-1 あなたが働く職場には、労働組合が組織されていますか。

**DOUNION**

- 1 はい                      2 いいえ                      3 わからない

問 10-2 [回答票 11] あなたは労働組合に入っていますか。

**JOINUNI**

- 1 (ア) 職場の労働組合に入っている  
2 (イ) 職場以外の労働組合に入っている  
3 (ウ) 入っていない

問 11 [回答票 12] 現在の主な仕事にどのくらい満足していますか。

**ST5JOB**

- |        |                    |               |                   |       |       |
|--------|--------------------|---------------|-------------------|-------|-------|
| 1      | 2                  | 3             | 4                 | 5     | 6     |
| (ア)    | (イ)                | (ウ)           | (エ)               | (オ)   |       |
| 満足している | どちらかといえば<br>満足している | どちらとも<br>いえない | どちらかといえば<br>不満である | 不満である | わからない |

問 12-1 [回答票 13] 賃金や時間などの自分の労働条件について不満を感じた場合、あなたは次の A・B のどちらの行動をとると思いますか。

**WLWKCND**

- A 現在の会社・団体の中でぎりぎりまで改善する努力をする  
B 現在の会社・団体に見切りをつけて、より良い条件の仕事や事業を探す

- 1 (ア) A      2 (イ) どちらかといえば A      3 (ウ) どちらかといえば B      4 (エ) B

問 12-2 [回答票 14] 会社や団体の今後の経営に不安を覚えた場合、あなたは次の A・B のどちらの行動をとると思いますか。

**WLWKMNG**

- A 現在の会社・団体の中でぎりぎりまで改善する努力をする  
B 現在の会社・団体に見切りをつけて、より安定した仕事や事業を探す

- 1 (ア) A      2 (イ) どちらかといえば A      3 (ウ) どちらかといえば B      4 (エ) B

問 13 [回答票 15] 今働いている会社をやめるつもりがありますか。(または) 今の事業をやめるつもりがありますか。

**WLKEEPJA**

- |                 |                 |                   |       |
|-----------------|-----------------|-------------------|-------|
| 1               | 2               | 3                 | 4     |
| (ア)             | (イ)             | (ウ)               |       |
| 近いうちに<br>やめるつもり | 当分<br>やめるつもりはない | まったく<br>やめるつもりはない | わからない |

問 14 [回答票 16] 今後 1 年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

自営業主が倒産などで失職する場合も含む。

**OP4UNEMP**

- |       |        |       |        |       |
|-------|--------|-------|--------|-------|
| 1     | 2      | 3     | 4      | 5     |
| (ア)   | (イ)    | (ウ)   | (エ)    |       |
| かなりある | ある程度ある | あまりない | まったくない | わからない |

問 15 [回答票 17] もし今の仕事や事業をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

**OP3NEWJB**

- |          |           |        |       |
|----------|-----------|--------|-------|
| 1        | 2         | 3      | 4     |
| (ア)      | (イ)       | (ウ)    |       |
| 非常に容易である | ある程度容易である | 容易ではない | わからない |

問 16-1 これまでお答えいただいた仕事以外に、あなたは先週、別の仕事をしましたか。またはすることになっていましたか。収入をとまなう仕事についてのみお答えください。

**XSJB1WK**

1 はい

2 いいえ

問 16-2 その他の収入の仕事を、先週合計何時間しましたか。またはすることになっていましたか。

**SZSJBHWK**

時間

時間

(全員に)

問 17 あなたは現在、仕事を探していますか。

**DOLOOKJB**

1 はい

2 いいえ

問 18-1 [回答票 18] 現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

問 18-2 [回答票 18] そのうち、一番中心となる収入源を1つだけ教えてください。

問 18-1 であてはまるものが1つしかなければ、問 18-2 では同じものに○をつける。

		問 18-1 あてはまる収入源 すべてに○	INCMAIN 問 18-2 中心となる収入源 1つだけに○
<b>INCSELF</b>	(ア) 自分の収入	1	1
<b>INCSP</b>	(イ) 配偶者の収入	2	2
<b>INCPAR</b>	(ウ) 親の収入	3	3
<b>INCFAM</b>	(エ) 配偶者・親以外の家族の収入	4	4
<b>INCPEN</b>	(オ) 年金	5	5
<b>INCUEB</b>	(カ) 失業保険	6	6
<b>INCSAVE</b>	(キ) 貯蓄	7	7
<b>INCSOC</b>	(ク) 社会福祉 (生活保護、福祉手当等)	8	8
<b>INCIRR</b>	(ケ) 不定期的な仕事	9	9
<b>INCOTHER</b>	(コ) その他 ( )	10	10
<b>INCNOKN</b>	わからない	11	11

問 19 [回答票 19] 働き方に関する次のA・Bの意見のうち、あなたの意見はどちらに近いですか。

**OPCNGJB** A さまざまな勤め先を経験する方がよい

B 一つの勤め先に長く勤める方がよい

1 (ア) A      2 (イ) どちらかといえばA      3 (ウ) どちらかといえばB      4 (エ) B

問 20 [回答票 20] かりに現在の日本の社会全体を、次のような10段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入るとお考えですか。

**OP10LVL**

一番上      1      2      3      4      5      6      7      8      9      10      一番下

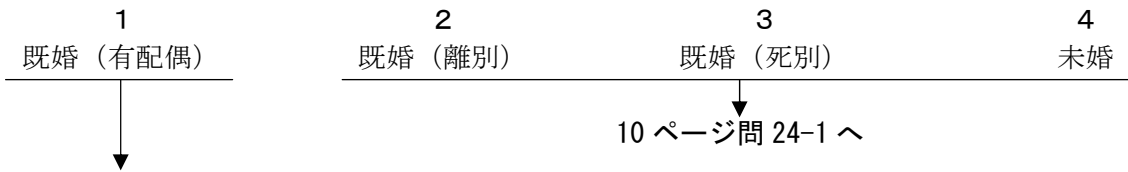


ここからはあなたのご家族のことについておうかがいします。

問 21 あなたは結婚していますか。

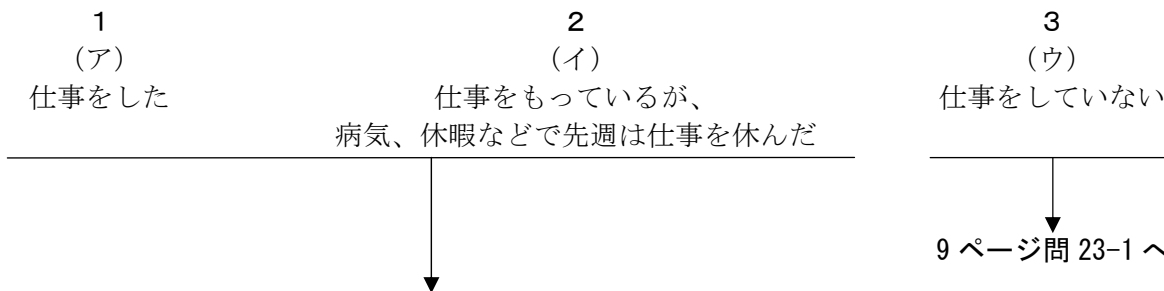
本人の判断にまかせるが、尋ねられたら、婚姻届を出していない内縁の関係も含む。

**DOMARRY**



問 22-1 [回答票 21] 配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

**SSJB1WK**



問 22-2 配偶者の方のお仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。配偶者の方は先週何日仕事をしましたか。また、残業を含めて合計何時間仕事をしましたか。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

**SSJBDWK**

週  日

**SSJBHRWK**

週合計  時間

問 22-3 [回答票 22] 配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

配偶者が官公庁に勤めている回答者にも、問 22 すべてに回答してもらう。

1 (ア)「経営者」と 11 (サ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

**SSTP12JB**

- |                            |                      |
|----------------------------|----------------------|
| 1 (ア) 経営者・役員               | 8 (ク) // 役職はわからない    |
| 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし      | 9 (ケ) 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 3 (ウ) // 職長、班長、組長          | 10 (コ) 派遣社員          |
| 4 (エ) // 係長、係長相当職          | 11 (サ) 自営業主・自由業者     |
| 5 (オ) // 課長、課長相当職          | 12 (シ) 家族従業者         |
| 6 (カ) // 部長、部長相当職          | 13 (ス) 内職            |
| 7 (キ) // その他の役職<br>(具体的に ) | 14 わからない             |

問 22-4 配偶者の方が働いている場所（工場、事務所、商店などの事業所）は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

**SSXXHQX**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 22-5 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。主な収入の仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

SSXXJOB

(できるだけ詳しく具体的に。)

問 22-6 [回答票 23] 配偶者の方が働いている会社・組織全体で、従業員(働いている人)は何人くらいですか。配偶者自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

SSSZSTFA

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人       | 7 (キ) 300~499人      |
| 2 (イ) 2~4人     | 8 (ク) 500~999人      |
| 3 (ウ) 5~9人     | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 4 (エ) 10~29人   | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 5 (オ) 30~99人   | 11 (サ) 1万人以上        |
| 6 (カ) 100~299人 | 12 (シ) 官公庁          |
|                | 13 わからない            |

問 22-7 [回答票 24] 昨年1年間の配偶者の方の主な仕事からの収入はいくらでしたか。税金、社会保険料、その他が引かれる前の額をお答えください。尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

SSSZINCM

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 1 (ア) なし           | 12 (シ) 750~850万円未満     |
| 2 (イ) 70万円未満       | 13 (ス) 850~1,000万円未満   |
| 3 (ウ) 70~100万円未満   | 14 (セ) 1,000~1,200万円未満 |
| 4 (エ) 100~130万円未満  | 15 (ソ) 1,200~1,400万円未満 |
| 5 (オ) 130~150万円未満  | 16 (タ) 1,400~1,600万円未満 |
| 6 (カ) 150~250万円未満  | 17 (チ) 1,600~1,850万円未満 |
| 7 (キ) 250~350万円未満  | 18 (ツ) 1,850~2,300万円未満 |
| 8 (ク) 350~450万円未満  | 19 (テ) 2,300万円以上       |
| 9 (ケ) 450~550万円未満  |                        |
| 10 (コ) 550~650万円未満 | 20 回答したくない             |
| 11 (サ) 650~750万円未満 | 21 わからない               |

問 23-1 配偶者の方の9月1日現在の年齢を教えてください。

SPAGEX

歳

問 23-2 配偶者の方とは一緒に暮らしていますか。

SPLVTG

- 1 同居                      2 別居(単身赴任中)                      3 別居(その他の理由)

問 24-1 あなたは、あなた自身のお父様、お母様と一緒に暮らしていますか。それぞれについてお答えください。二世帯住宅などの判断は回答者に任せるが、迷うときには「台所が同じ場合を同居とお考えください」と答える。

問 24-2 お父様、お母様の 9 月 1 日現在の年齢を教えてください。

	PPLVTG	PPAGE		MMLVTG	MMAGE
	同居・別居・死亡	死亡の場合は空欄		同居・別居・死亡	死亡の場合は空欄
父親	1 同居 2 別居 3 死亡	<input type="text"/> 歳	母親	1 同居 2 別居 3 死亡	<input type="text"/> 歳

問 25-1 これまでにお持ちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。いない場合は 0 (ゼロ) と記入。養子・連れ子について尋ねられた場合は、含めて答えてもらう。

CCNUMTTL  人

問 25-2 そのお子様全員について、一緒に暮らしているかどうか、性別、9 月 1 日現在の年齢を教えてください。一番早く生まれたお子様から順にお答えください。

	CC**LVTG	CC**SEX	CC**AGE
	同居・別居・死亡	性別	死亡の場合は空欄
第一子	1 同居 2 別居 3 死亡	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
第二子	1 同居 2 別居 3 死亡	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
第三子	1 同居 2 別居 3 死亡	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
第四子	1 同居 2 別居 3 死亡	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
第五子	1 同居 2 別居 3 死亡	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳

問 26-1 ここまでに、あなたの配偶者、あなた自身のご両親、お子様についてうかがいました。それ以外の方で、あなたと一緒に暮らしている方はいますか。いれば、その人数を教えてください。いない場合は 0 (ゼロ) と記入。養子・連れ子については、問 25-1 の子どもの中に含めてもらう。

SZFFOTHR  人

問 26-2 その全員について、あなたからみた続柄、性別、9 月 1 日現在の年齢を教えてください。続柄は「続柄コード表」を参照し、具体的に記入した上で  にコードを記入する。回答者本人からみた続柄であることに注意する。

	FFH**REL	FFH**SEX	FFH**AGE
	回答者からみた続柄	性別	年齢
(1) _____	<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
(2) _____	<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
(3) _____	<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
(4) _____	<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳

問 27 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

SZFFONLY SZFF TTL

同居者  人 + 本人 (1人) = 合計  人

問 28-1 あなたには、ここにあげるような理由で (〔回答票 25〕を見せる) 一時的に離れて暮らしているご家族がいますか。いれば、その人数を教えてください。

いない場合は0 (ゼロ) と記入。結婚して家を離れている子どもは含めない。

SZFFOUT   人

問 28-2 [回答票 25] その全員について、あなたからみた続柄と別居の主な理由を教えてください。

続柄は「続柄コード表」を参照し、具体的に記入した上で  にコードを記入する。回答者本人からみた続柄であることに注意する。

FFO**REL		FFO**WHY						
回答者からみた続柄	コード記入	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	(カ)	(キ)
		あなたの 仕事の都合	あなたの 学業	家族の 仕事の都合	家族の 学業	長期入院	老人・福祉 施設に入所	その他 ( )
(1) _____	<input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>	1	2	3	4	5	6	7
(2) _____	<input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>	1	2	3	4	5	6	7
(3) _____	<input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>	1	2	3	4	5	6	7
(4) _____	<input style="width: 50px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>	1	2	3	4	5	6	7

問 29 あなたの家の世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「夫の母」など、続柄でお答えください。

具体的に続柄を記入した上で  にコードを記入する。戸籍にかかわらず、回答者が世帯主と認識している人を記入し、必ず1名に絞ってもらう。

FFHEAD

続柄コード表 養父母・継父母、養子・連れ子も、実親・実子と同じように扱う。

00 本人			30 孫(男)	40 本人の父	50 兄	60 本人の祖父	
01 夫	11 長男	21 長女	31 孫(女)	41 本人の母	51 弟	61 本人の祖母	
02 妻	12 次男	22 次女		42 配偶者の父	52 姉	62 配偶者の祖父	
	13 三男	23 三女		43 配偶者の母	53 妹	63 配偶者の祖母	
	14 長男の妻	24 長女の夫					
	15 次男の妻	25 次女の夫					
	16 三男の妻	26 三女の夫					
							97 その他・不明
							99 無回答

問 30 [回答票 26] 昨年 1 年間のあなたの世帯収入はどのくらいですか。税金を差し引く前の収入でお答えください。株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。この中のどれにあてはまりますか。尋ねられたら「残業額も含む」と答える。

**SZHSINCM**

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1 (ア) なし            | 12 (シ) 750～850 万円未満     |
| 2 (イ) 70 万円未満       | 13 (ス) 850～1,000 万円未満   |
| 3 (ウ) 70～100 万円未満   | 14 (セ) 1,000～1,200 万円未満 |
| 4 (エ) 100～130 万円未満  | 15 (ソ) 1,200～1,400 万円未満 |
| 5 (オ) 130～150 万円未満  | 16 (タ) 1,400～1,600 万円未満 |
| 6 (カ) 150～250 万円未満  | 17 (チ) 1,600～1,850 万円未満 |
| 7 (キ) 250～350 万円未満  | 18 (ツ) 1,850～2,300 万円未満 |
| 8 (ク) 350～450 万円未満  | 19 (テ) 2,300 万円以上       |
| 9 (ケ) 450～550 万円未満  |                         |
| 10 (コ) 550～650 万円未満 | 20 回答したくない              |
| 11 (サ) 650～750 万円未満 | 21 わからない                |

問 31-1 あなたの家には、自動車はありますか。ご自分の車でない場合も含めてお答えください。

二輪車は含めない。

**DOCAR**

- |      |                     |
|------|---------------------|
| 1 ある | 2 ない → 次ページ問 32-1 へ |
|------|---------------------|
- ↓

問 31-2 [回答票 27] 次の中からあなたの家にある車をすべて選んでください。

- |                 |  |
|-----------------|--|
| <b>TPCARSTD</b> | 1 (ア) 普通乗用車 (ナンバープレートが白で、5・7 から始まる車)       |
| <b>TPCARLG</b>  | 2 (イ) 大型乗用車 (ナンバープレートが白で、3 から始まる車)         |
| <b>TPCARSM</b>  | 3 (ウ) 軽自動車・軽トラック (ナンバープレートが黄色で、4・5 から始まる車) |
| <b>TPCARTK</b>  | 4 (エ) 普通トラック (ナンバープレートが白で、1・4・6 から始まる車)    |
| <b>TPCAROTH</b> | 5 (オ) その他の車 (具体的に )                        |

問 31-3 [回答票 28] 車に関わる次のような費用は、あなたの家の家計にとってどの程度負担になっていますか。それぞれについてお答えください。

		(ア) とても負担に なっている	(イ) やや負担に なっている	(ウ) あまり負担に なっていない	(エ) 全く負担に なっていない	
<b>EXCARGAS</b>	A ガソリン代	1	2	3	4	
<b>EXCARINS</b>	B 保険料・税金	1	2	3	4	
<b>EXCARBUY</b>	C 車の購入代金・ローンの返済	1	2	3	4	
<b>EXCARFIX</b>	D 修理・車検の代金	1	2	3	4	駐車場は 借りていない
<b>EXCARPRK</b>	E 駐車場の賃貸料	1	2	3	4	



問 35-1 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

いない場合は0(ゼロ)を記入。誰を「兄弟姉妹」に含むかは本人の判断にまかせる。

あなたの兄弟姉妹

XNUMBROE	XNUMSISE	XNUMBROY	XNUMSISY
兄	姉	弟	妹
人	人	人	人

問 35-2 あなたの配偶者の兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

配偶者が死別の場合にも尋ねる。未婚や離別の人には聞かない。いない場合は0(ゼロ)を記入。

配偶者の兄弟姉妹

XSSNBROE	XSSNSISE	XSSNBROY	XSSNSISY
兄	姉	弟	妹
人	人	人	人

問 36 [回答票 33] あなたが最後に通った(または現在通っている)学校は次のどれにあたりますか。あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

配偶者については死別の場合にも尋ねる。

最後に出たのが戦後の専門学校の場合、その前に出た学校を答えてもらう(多くの場合は高校)。

\*高専(高等専門学校)は、工業分野を中心として、中学卒業後に入る5年一貫の高等教育機関。

	本人	配偶者	父親	母親
(ア) 旧制尋常小学校(国民学校を含む)	1	1	1	1
(イ) 旧制高等小学校	2	2	2	2
戦 (ウ) 旧制中学校・高等女学校	3	3	3	3
(エ) 旧制実業・商業学校	4	4	4	4
前 (オ) 旧制師範学校	5	5	5	5
(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	6	6	6	6
(キ) 旧制大学・旧制大学院	7	7	7	7
<hr/>				
(ク) 新制中学校	8	8	8	8
戦 (ケ) 新制高校	9	9	9	9
(コ) 新制短大・高専*	10	10	10	10
後 (サ) 新制大学	11	11	11	11
(シ) 新制大学院	12	12	12	12
わからない	13	13	13	13
結婚したことはない・離別した	※	14	※	※

問 37 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

DOLSTSCH

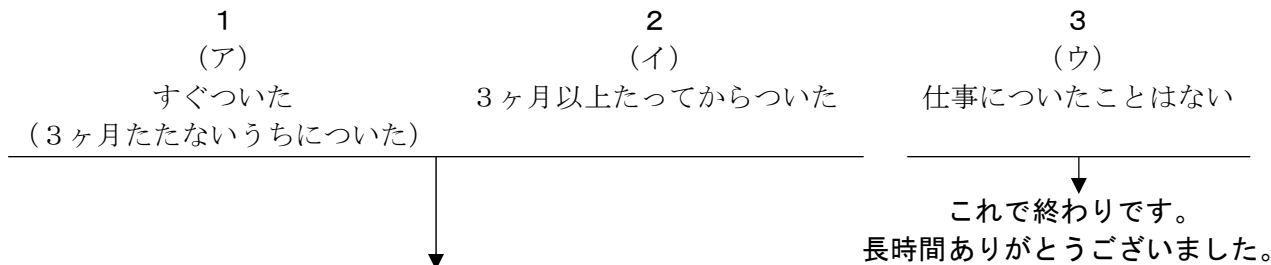
1 卒業                      2 中退                      3 在学中

あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

学校を中退している場合は、中退後に最初についた仕事について尋ねる。兵役は除く。兵役後についた仕事について尋ねる。在学中の就業を、回答者が初めての仕事と捉えていれば、それについて尋ねる。官公庁に該当する回答者にも、問38すべてに回答してもらう。

問 38-1 [回答票 34] あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

**XGETJOB**



問 38-2 [回答票 35] その仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と11(サ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

- |                 |                            |                      |
|-----------------|----------------------------|----------------------|
| <b>TP12FSTJ</b> | 1 (ア) 経営者・役員               | 8 (ク) // 役職はわからない    |
|                 | 2 (イ) 常時雇用の一般従業者 役職なし      | 9 (ケ) 臨時雇用・パート・アルバイト |
|                 | 3 (ウ) // 職長、班長、組長          | 10 (コ) 派遣社員          |
|                 | 4 (エ) // 係長、係長相当職          | 11 (サ) 自営業主・自由業者     |
|                 | 5 (オ) // 課長、課長相当職          | 12 (シ) 家族従業者         |
|                 | 6 (カ) // 部長、部長相当職          | 13 (ス) 内職            |
|                 | 7 (キ) // その他の役職<br>(具体的に ) | 14 わからない             |

問 38-3 あなたが最初に働いていた場所(工場、事務所、商店、病院などの事業所)は、どのような事業をしていましたか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

**XXFSTWP**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可。)

問 38-4 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業……というように)

**XXFSTJB**

(できるだけ詳しく具体的に。)

問 38-5 [回答票 36] あなたが最初についた仕事では、会社・組織全体で従業員(働いていた人)は何人くらいでしたか。あなた自身、家族従業者、パートタイムの方も含めてお答えください。

省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

- |                 |                |                     |
|-----------------|----------------|---------------------|
| <b>SZSTFFST</b> | 1 (ア) 1人       | 7 (キ) 300~499人      |
|                 | 2 (イ) 2~4人     | 8 (ク) 500~999人      |
|                 | 3 (ウ) 5~9人     | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
|                 | 4 (エ) 10~29人   | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
|                 | 5 (オ) 30~99人   | 11 (サ) 1万人以上        |
|                 | 6 (カ) 100~299人 | 12 (シ) 官公庁          |
|                 |                | 13 わからない            |

これで終わりです。長時間ありがとうございました。





2006 年 10 月  
JGSS-2006 面接調査票文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

## 「第 6 回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所

**IDUSE** 識別番号  
**BLOCK** 地域ブロック  
**PREF** 都道府県名  
**SIZE** 市郡規模  
**SIZE2K** 市郡規模 (2000 年時点)

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
2	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
3	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
4	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
5	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
6	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
7	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
8	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
9	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
10	月 日 ( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

対象者本人に会えるまでの訪問を全て記録する。  
 10 回を越えた訪問の記録は不要。  
 接触ができるまで、必ず 4 日以上訪問する。  
 (同日に 2 度訪問しても 1 日と数えるが、同日の訪問を禁止するわけではない)

回収状況
面接票 <b>DATE</b> 1 面接完了 ( 月 日 ) <b>MONTH DAY</b> 2 面接不能
留置票 <b>DATEB</b> 1 回収完了 ( 月 日 ) <b>MONTHB DAYB</b> 2 回収不能
一方でも調査不能の場合、次のページを忘れず記入する。
留置票の 受取予定日時

**SEXA** 性別  
**DOBYEAR** 生年(西暦)  
**AGEB** 年齢  
**MARC** 配偶者(DOMARRY の転記)  
**FORM** 留置票の種別

面接票か留置票の一方でも調査不能であった場合、このページを必ず記入する。

N1 調査不能と決定した日時

月 日 1 午前 時 分頃  
 2 午後 時 分頃

N2-1 対象者の家の種類

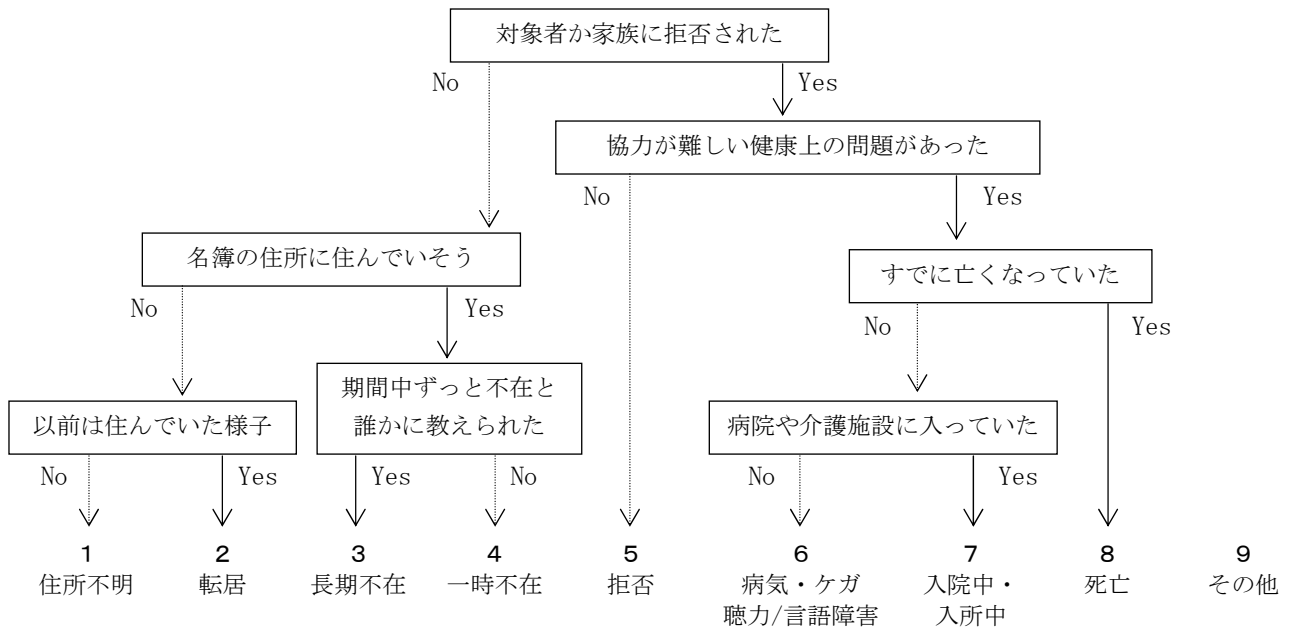
- 1 一戸建て                      2 集合住宅（アパート・マンションなど）                      3 不明

↓

N2-2 その集合住宅の入口は、オートロックでしたか。

1 はい                      2 いいえ

N3 調査不能の理由



上の流れ図に沿って理由を分類する。

結果に違和感がある場合や変わった状況の場合は、「9 その他」に○をつけ、下の欄を詳しく記入する。

ここで○をつけた番号は、対象者名簿の「欠票 No」に転記する。

N4 調査不能の具体的な状況（複雑な状況については、詳しく記入してください）

はじめに、あなたのお仕事について、おうかがいします。

問 1-1 [回答票 1] 先週、あなたは収入をとまなう仕事をしましたか、または仕事をするようになっていましたか。この中からあげてください。

**XJOB1WK**

<p><b>1</b> (ア) 仕事をした</p>	<p><b>2</b> (イ) 仕事をもっているが、 病気、休暇などで先週は仕事を休んだ</p>	<p><b>3</b> (ウ) 仕事をしていない</p>
-----------------------------------	--	--------------------------------------

---

問 1-2 [回答票 2] 先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

**TP5UNEMP**

1 (ア) 失業中	4 (エ) 主に家事をしている
2 (イ) 定年などで仕事をやめた	5 (オ) その他 (具体的に )
3 (ウ) 学生	6 わからない

---

問 1-3 あなたは、これまでに収入をとまなう仕事をしたことがありますか。

**XWORK**

1 はい	2 いいえ	→ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">6 ページ問 14 へ</span>
------	-------	---

---

問 1-4 最後に収入をとまなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。

**AGESTPWK**

--	--

 歳

6 ページ問 14 へ

---

問 2 あなたは、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

サービス残業も含め、実際に働いた時間数を答えてもらう。  
副業を持っていない場合は、副業の時間数に0 (ゼロ) と記入する。  
先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

<p><b>XJOBHWK</b></p> <p>主な仕事を週合計で <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px; height: 20px;"><tr><td style="width: 30px; border-right: 1px dashed black;"></td><td style="width: 30px; border-right: 1px dashed black;"></td><td style="width: 40px;"></td></tr></table> 時間</p>				<p><b>SZSJBHWK</b></p> <p>副業を週合計で <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px; height: 20px;"><tr><td style="width: 30px; border-right: 1px dashed black;"></td><td style="width: 30px; border-right: 1px dashed black;"></td><td style="width: 40px;"></td></tr></table> 時間</p>			

お仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問3-1〔回答票3〕あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と5 (オ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。  
公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**TPJOB**

- |            |                |                         |          |               |          |       |
|------------|----------------|-------------------------|----------|---------------|----------|-------|
| 1<br>(ア)   | 2<br>(イ)       | 3<br>(ウ)                | 4<br>(エ) | 5<br>(オ)      | 6<br>(カ) | 7     |
| 経営者<br>・役員 | 常時雇用の<br>一般従業者 | 臨時雇用 (パート・<br>アルバイト・内職) | 派遣社員     | 自営業主<br>・自由業者 | 家族従業者    | わからない |

問3-2〔回答票4〕あなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

**TPJOBP**

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職 (具体的に )
- 7 わからない

問4〔回答票5〕あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

**DOCMT**

SZCMTTL	1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)
およそ	時間	分	住まいと 職場は同じ
SZCMTHR	SZCMTMIN		日によって 行き先が違う

問5〔回答票6〕あなたが働く職場は、この中のどれにあたりますか。

省庁や自治体から給与を得ている場合 (公立学校の教師、消防署員など) は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**TP4WPLA**

- 1 (ア) 官公庁
- 2 (イ) 単独事業所 (他に事業所はない)
- 3 (ウ) 支店・支所 (本社・本店は他にある)
- 4 (エ) 本社・本店 (他に支店・支所などがある)
- 5 わからない

問6 あなたが働いている場所 (工場、事務所、商店、病院などの事業所) はどのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

**XXWPL  
XXWPLE**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可。)

問7 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

**XXJOB**  
**XXJOBE**

(できるだけ詳しく具体的に。)

問8 あなたはその仕事を先週何日しましたか。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

**XJOBDWK**

週  日

問9 あなたの仕事は、規則や契約で1週間に働く時間が決められていますか。決められている場合は、その時間数を教えてください。

**XJOBREG**

**XJOBREGH** 1

2

週合計で   時間と決められている

決められていない

問10 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

**XJOBYR**

年間

1年未満の場合は0(ゼロ)と記入。

問11 [回答票7] 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合(公立学校の教師、消防署員など)は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**SZTTLSTA**

- |              |                |                     |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人     | 5 (オ) 30~99人   | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 2 (イ) 2~4人   | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人   | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上        |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 (シ) 官公庁          |
|              |                | 13 わからない            |

問12 [回答票8] あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。

**JOINUNI**

- |               |                 |          |       |
|---------------|-----------------|----------|-------|
| 1<br>(ア)      | 2<br>(イ)        | 3<br>(ウ) | 4     |
| 職場の労働組合に入っている | 職場以外の労働組合に入っている | 入っていない   | わからない |

問13 [回答票9] 現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。

**ST5JOB**

- |          |                   |           |                  |          |       |
|----------|-------------------|-----------|------------------|----------|-------|
| 1<br>(ア) | 2<br>(イ)          | 3<br>(ウ)  | 4<br>(エ)         | 5<br>(オ) | 6     |
| 満足している   | どちらかといえ<br>満足している | どちらともいえない | どちらかといえ<br>不満である | 不満である    | わからない |

(全員に)

問 14 あなたは現在、仕事を探していますか。

**DOLOOKJB**

- 1 はい 2 いいえ

ここからは、あなたのご家族のことについておうかがいします。

問 15 [回答票 10] あなたは結婚していますか。この中から選んでください。

本人の判断にまかせるが、尋ねられたら、婚姻届を出していない内縁の関係も含む。

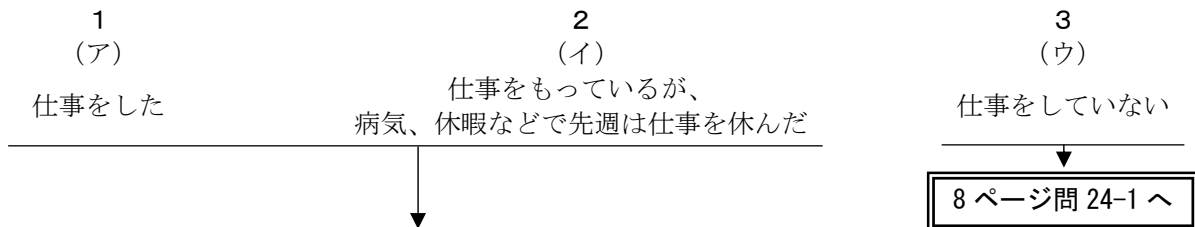
選択肢 5、6 は、あえてそのように答えた場合にのみ印を付ける。

**DOMARRY**



問 16 [回答票 11] 配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

**SSJB1WK**



問 17 配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

副業を持っていない場合は、副業の時間数に0 (ゼロ) と記入する。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

<b>SSJBHRWK</b>	<b>SSSJBHWK</b>
主な仕事を週合計で <input style="width: 60px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間	副業を週合計で <input style="width: 60px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 時間

配偶者の方のお仕事について少し詳しくおうかがいします。

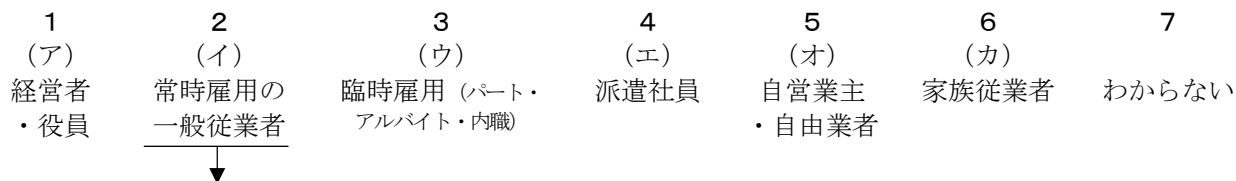
2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 18-1 [回答票 12] 配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と5 (オ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。

公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**SSTPJOB**



問 18-2 [回答票 13] 配偶者の方の役職は、この中のどれにあたりますか。

**SSTPJOBP**

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職 (具体的に )
- 7 わからない

問 19 配偶者の方が働いている場所（工場、事務所、商店などの事業所）は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

**SSXXHQX**  
**SSXXHQXE**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可。)

問 20 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように）

**SSXXJOB**  
**SSXXJOBE**

(できるだけ詳しく具体的に。)

問 21 配偶者の方はその仕事を先週何日しましたか。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

**SSJBDWK**

週  日

問 22 配偶者の方は、現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数をお答えください。

**SSSZWKYR**

年間

1 年未満の場合は 0（ゼロ）と記入。

問 23 [回答票 14] 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**SSSZTFA**

- |               |                 |                      |
|---------------|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人     | 5 (オ) 30～99 人   | 9 (ケ) 1,000～1,999 人  |
| 2 (イ) 2～4 人   | 6 (カ) 100～299 人 | 10 (コ) 2,000～9,999 人 |
| 3 (ウ) 5～9 人   | 7 (キ) 300～499 人 | 11 (サ) 1 万人以上        |
| 4 (エ) 10～29 人 | 8 (ク) 500～999 人 | 12 (シ) 官公庁           |
|               |                 | 13 わからない             |

**SPAGEX** 配偶者の年齢



(全員に)

問 24-1 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。

いない場合(回答者が一人暮らしの場合)は0(ゼロ)と記入し、問 25-1 へ。

二世帯住宅などの判断は回答者に任せるが、迷うときには「台所が同じ場合を同居とお考えください」と答える。

**SZFFONLY**

回答者を除いて

人



問 24-2 一緒に暮らしている方それぞれについて、うかがいます。タテ方向(同居者(1)についてA,B,C…の順)に尋ねるのではなく、ヨコ方向(Aについて同居者(1),同居者(2)…の順)に尋ねる。

	同居者 (1)	同居者 (2)	同居者 (3)
<b>A</b> あなたからみた続柄を順に教えてください。具体的に記入した上で、 <input style="width: 20px; height: 15px; border: 1px solid black;" type="text"/> にコードを記入する。「本人」は不要。 <b>FF**REL</b>	_____ <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>	_____ <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>	_____ <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>
<b>B</b> その方の性別を順に教えてください。 <b>FF**SEX</b>	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
<b>C</b> その方の年齢を順に教えてください。 <b>FF**AGE</b>	<input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 歳	<input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/> 歳
<b>D</b> [回答票 15] その方は、現在、結婚していますか。この中から選んで、順に教えてください。 <b>FF**MG</b>	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
<b>E</b> その方は、現在、収入をともなう仕事をしていますか。順に教えてください。 <b>FF**JOB</b>	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない

問 25-1 あなたには、ここにあげるような理由で([回答票 16]を見せる)一時的に離れて暮らしているご家族がいますか。いらっしゃる場合、何人ですか。

いない場合は0(ゼロ)と記入し、問 26 へ。結婚して家を離れている子どもは含めない。

**SZFFOUT**

人

(5人以上の場合は、補助用紙を使用)



問 25-2 その全員について、うかがいます。

	一時的な別居家族(1)	一時的な別居家族(2)	一時的な別居家族(3)	一時的な別居家族(4)
<b>A</b> あなたからみた続柄を順に教えてください。具体的に記入した上で、 <input style="width: 20px; height: 15px; border: 1px solid black;" type="text"/> にコードを記入する。 <b>FFO**REL</b>	_____ <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>	_____ <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>	_____ <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>	_____ <input style="width: 40px; height: 20px; border: 1px solid black;" type="text"/>
<b>B</b> [回答票 16] その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由は何ですか。この中から選んで、順に教えてください。 <b>FFO**WHY</b>	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他 ( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他 ( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他 ( )	1 (ア) あなたの仕事の都合 2 (イ) あなたの学業 3 (ウ) 家族の仕事の都合 4 (エ) 家族の学業 5 (オ) 長期入院 6 (カ) 老人・福祉施設に入所 7 (キ) その他 ( )

(9人以上の場合は、補助用紙を使用)

同居者 (4)	同居者 (5)	同居者 (6)	同居者 (7)	同居者 (8)
_____ <input type="text"/>	_____ <input type="text"/>	_____ <input type="text"/>	_____ <input type="text"/>	_____ <input type="text"/>
1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳
1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない

問 26 あなたの家の世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「夫の母」など、あなたからみた続柄でお答えください。

具体的に続柄を記入した上で  にコードを記入する。戸籍にかかわらず、回答者が世帯主と認識している人を記入し、必ず1名に絞ってもらう。

FFHEAD \_\_\_\_\_

続柄コード表 養父母・継父母、養子・連れ子も、実親・実子と同じように扱う。

00 本人			30 孫(男)	40 本人の父	50 兄	60 本人の祖父	
01 夫	11 長男	21 長女	31 孫(女)	41 本人の母	51 弟	61 本人の祖母	
02 妻	12 次男	22 次女		42 配偶者の父	52 姉	62 配偶者の祖父	
	13 三男	23 三女		43 配偶者の母	53 妹	63 配偶者の祖母	
	14 長男の妻	24 長女の夫					
	15 次男の妻	25 次女の夫					
	16 三男の妻	26 三女の夫					
							97 その他・不明
							99 無回答

問 27-1〔回答票 17〕 現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。この中から、あてはまるものをすべて選んでください。

問 27-2〔回答票 17〕 そのうち、一番中心となる収入源を 1 つだけ答えてください。

問 27-1 であてはまるものが 1 つしかなければ、問 27-2 では同じものに○をつける。

		<b>INCMAIN</b>	
		問 27-1 あてはまる収入源 すべてに○	問 27-2 中心となる収入源 1 つだけに○
<b>INCSELF</b>	自分の収入	1 (ア)	1 (ア)
<b>INCSP</b>	配偶者の収入	2 (イ)	2 (イ)
<b>INCPAR</b>	親の収入	3 (ウ)	3 (ウ)
<b>INCFAM</b>	配偶者・親以外の家族の収入	4 (エ)	4 (エ)
<b>INCPEN</b>	年金	5 (オ)	5 (オ)
<b>INCUEB</b>	失業保険	6 (カ)	6 (カ)
<b>INCSAVE</b>	貯蓄	7 (キ)	7 (キ)
<b>INCSOC</b>	社会福祉（生活保護、福祉手当等）	8 (ク)	8 (ク)
<b>INCIRR</b>	不定期的な仕事	9 (ケ)	9 (ケ)
<b>INCOTHER</b>	その他（具体的に )	10 (コ)	10 (コ)
<b>INCNOKN</b>	わからない	11	11

問 28〔回答票 18〕 かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入りますか。

**OP10LVL**

一番上      1      2      3      4      5      6      7      8      9      10      一番下

問 29-1 [回答票 19] 昨年 1 年間のあなたの家の世帯収入は、この中のどれにあたりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。仕事からの収入だけでなく、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

問 29-2 [回答票 19] そのうち、あなたご自身の収入はどのくらいですか。仕事以外からの収入も含めてください。

問 29-3 (仕事をしている方)のみ質問 [回答票 19] あなたの収入は、先ほどいかがだった主なお仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

問 1-1 で 1 (ア)「仕事をした」または 2 (イ)「先週は仕事を休んだ」と回答した者にのみ質問する。3 (ウ)「仕事をしていない」の場合は、問 29-3 の 23 に○をつけ、問 29-4 へ。

問 29-4 (現在、配偶者がいる方)のみ質問 [回答票 19] 配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

問 15 で 1 (ア)「現在配偶者がいる」と回答した者にのみ質問する。問 15 でそれ以外に回答した場合は、問 29-4 と問 29-5 の 22 に○をつけ、問 30 へ。

問 29-5 (配偶者が仕事をしている方) [回答票 19] 配偶者の方の収入は、先ほどいかがだった主な仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

問 16 で 1 (ア)「仕事をした」または 2 (イ)「先週は仕事を休んだ」と回答した者にのみ質問する。3 (ウ)「仕事をしていない」の場合は、問 29-5 の 23 に○をつけ、問 30 へ。

	SZHSINCM	SZINCOMA	SZINCOMX	SSSZINCA	SSSZINCM
	問 29-1	問 29-2	問 29-3	問 29-4	問 29-5
	世帯全体	本人	本人の 主な仕事	配偶者	配偶者の 主な仕事
	↓	↓	↓	↓	↓
なし	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)
70 万円未満	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)
70～100 万円未満	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)
100～130 万円未満	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)
130～150 万円未満	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)
150～250 万円未満	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)
250～350 万円未満	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)
350～450 万円未満	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)
450～550 万円未満	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)
550～650 万円未満	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)
650～750 万円未満	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)
750～850 万円未満	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)
850～1,000 万円未満	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)
1,000～1,200 万円未満	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)
1,200～1,400 万円未満	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)
1,400～1,600 万円未満	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)
1,600～1,850 万円未満	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)
1,850～2,300 万円未満	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)
2,300 万円以上	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)
回答したくない	20	20	20	20	20
わからない	21	21	21	21	21
配偶者はいない	※	※	※	22 ----▶	22
仕事はしていない	※	※	23	※	23

ここからは、ご両親のことについて、おうかがいします。

タテ方向（父親について問 30A, 問 31A, B, C…の順）に尋ねるのではなく、ヨコ方向（問 30A について父親、母親…の順に尋ね、続いて問 31A について父親、母親…の順）に尋ねる。

問 30 あなた（と配偶者）のご両親のうち、現在もご存命の方はどなたですか。

存命の親に○をつけ、その親についてのみ尋ねる。現在、配偶者がいる回答者には、配偶者の親も尋ねる。存命の親が 1 人もいない場合は問 32-1 へ。

存命の親に○	あなたの父親	あなたの母親	配偶者の父親	配偶者の母親
A その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。順に教えてください。	<b>PPLVTG</b> 1 同居 2 別居 ↓ 問 31 の「あなたの父親」に○	<b>MMLVTG</b> 1 同居 2 別居 ↓ 問 31 の「あなたの母親」に○	<b>PPLLVTG</b> 1 同居 2 別居 ↓ 問 31 の「配偶者の父親」に○	<b>MMLLVTG</b> 1 同居 2 別居 ↓ 問 31 の「配偶者の母親」に○

問 31 あなた（と配偶者）のご両親のうち、あなたと別々に暮らしている方についてのみうかがいます。

問 30 で「別居」の親についてのみ尋ねる。「同居」、「亡くなっている」場合は尋ねない。

別居の親がない場合は問 32-1 へ。

別居している親に○	あなたの父親	あなたの母親	配偶者の父親	配偶者の母親
A その方の年齢を順に教えてください。	<b>PPAGE</b> <input type="text"/> 歳	<b>MMAGE</b> <input type="text"/> 歳	<b>PPLAGE</b> <input type="text"/> 歳	<b>MMLAGE</b> <input type="text"/> 歳
[回答票 20] B その方は、現在、配偶者がいますか。順に教えてください。	<b>PPMG</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	<b>MMMGM</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	<b>PPLMG</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	<b>MMLMG</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
[回答票 21] C その方は、誰かと一緒に暮らしていますか。この中から <u>あてはまるもの 1 つ</u> を選んで、順に教えてください。  複数の子どもと同居している場合（1 (ア)、2 (イ)、3 (ウ) のうち複数の選択肢をあげた場合）は数字の小さい選択肢を優先する。	<b>PPFAM</b> 1 (ア) あなたの既婚の兄や弟 2 (イ) あなたの既婚の姉や妹 3 (ウ) あなたの未婚の兄弟姉妹 4 (エ) 夫婦で二人暮らし 5 (オ) 一人暮らし 6 (カ) 施設に入所 7 (キ) その他 ( )	<b>MMFAM</b> 1 (ア) あなたの既婚の兄や弟 2 (イ) あなたの既婚の姉や妹 3 (ウ) あなたの未婚の兄弟姉妹 4 (エ) 夫婦で二人暮らし 5 (オ) 一人暮らし 6 (カ) 施設に入所 7 (キ) その他 ( )	<b>PPLFAM</b> 1 (ア) 配偶者の既婚の兄や弟 2 (イ) 配偶者の既婚の姉や妹 3 (ウ) 配偶者の未婚の兄弟姉妹 4 (エ) 夫婦で二人暮らし 5 (オ) 一人暮らし 6 (カ) 施設に入所 7 (キ) その他 ( )	<b>MMLFAM</b> 1 (ア) 配偶者の既婚の兄や弟 2 (イ) 配偶者の既婚の姉や妹 3 (ウ) 配偶者の未婚の兄弟姉妹 4 (エ) 夫婦で二人暮らし 5 (オ) 一人暮らし 6 (カ) 施設に入所 7 (キ) その他 ( )
D その方は、現在、収入をとまなう仕事をしてますか。順に教えてください。	<b>PPJOB</b> 1 している 2 していない	<b>MMJOB</b> 1 している 2 していない	<b>PPLJOB</b> 1 している 2 していない	<b>MMLJOB</b> 1 している 2 していない

(続き)	あなたの父親 ↓	あなたの母親 ↓	配偶者の父親 ↓	配偶者の母親 ↓
[回答票 22] <b>E</b> その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。この中から選んで順に教えてください。	<b>PPDIST</b> 1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) // 1時間以内 5 (オ) // 3時間以内 6 (カ) それより遠い	<b>MMDIST</b> 1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) // 1時間以内 5 (オ) // 3時間以内 6 (カ) それより遠い	<b>PPLDIST</b> 1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) // 1時間以内 5 (オ) // 3時間以内 6 (カ) それより遠い	<b>MMLDIST</b> 1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) // 1時間以内 5 (オ) // 3時間以内 6 (カ) それより遠い
[回答票 23] <b>F</b> その方と直接会うことは、どのくらいありますか。この中から選んで順に教えてください。	<b>PPCNTA</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	<b>MMCNTA</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	<b>PPLCNTA</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	<b>MMLCNTA</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない
[回答票 23] <b>G</b> その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。この中から選んで順に教えてください。	<b>PPCNTB</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	<b>MMCNTB</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	<b>PPLCNTB</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	<b>MMLCNTB</b> 1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない

問 32-1 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

いない場合は0(ゼロ)を記入。養子・連れ子などの場合に、誰を「兄弟姉妹」に含むかは本人の判断にまかせる。

あなたの兄弟姉妹

XNUMBROE	XNUMSISE	XNUMBROY	XNUMSISY
兄	姉	弟	妹
人	人	人	人

問 32-2 現在、結婚されている方(あるいは配偶者の方と死別された方)は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。亡くなった方も含めてお答えください。

配偶者が死別の場合にも尋ねる。未婚や離別の人には聞かない。いない場合は0(ゼロ)を記入。

配偶者の兄弟姉妹

XSSNBROE	XSSNSISE	XSSNBROY	XSSNSISY
兄	姉	弟	妹
人	人	人	人

問 33 これまでにお持ちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。  
 いない場合は0（ゼロ）と記入し、問 37-1 へ。養子・連れ子について尋ねられた場合は、含めて答えてもらう。

CCNUMTTL  人

問 34 [回答票 24] 昨年1年間にかかった、あなたの子どもの教育費は、世帯全体でこの中のどれにあたりますか。社会人入学の学費は除きます。

子どもには、学業を終えていない子どもをすべて含む（幼児から専門学校生、大学生、大学院生まですべて）。  
 教育費には、在学中の子どもの下宿代・仕送りを含む。

**SZEXED**

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 1 (ア) なし          | 10 (コ) 100～200 万円未満     |
| 2 (イ) 3 万円未満      | 11 (サ) 200～300 万円未満     |
| 3 (ウ) 3～5 万円未満    | 12 (シ) 300～400 万円未満     |
| 4 (エ) 5～10 万円未満   | 13 (ス) 400～500 万円未満     |
| 5 (オ) 10～15 万円未満  | 14 (セ) 500 万円以上         |
| 6 (カ) 15～20 万円未満  | 15 (ソ) すべての子どもが学業を終えている |
| 7 (キ) 20～30 万円未満  | 16 回答したくない              |
| 8 (ク) 30～50 万円未満  | 17 わからない                |
| 9 (ケ) 50～100 万円未満 |                         |

問 35 それぞれのお子様についてうかがいます。亡くなっている方も含めて、早く生まれたお子様から順にお答えください。

タテ方向（第一子について A, B, C の順）に尋ねるのではなく、ヨコ方向（A について第一子, 第二子…の順）に尋ねる。問 33 の人数に合わせる。5 人以上の場合は、補助用紙を使用。

	第一子 ↓	第二子 ↓	第三子 ↓	第四子 ↓
<b>CC**SEX</b> A その方の性別を順に教えてください。	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性	1 男性 2 女性
<b>CC**SCH</b> B その方は、すでに学業を終えていますか。順に教えてください。	1 終えている 2 まだ終えていない 3 亡くなっている	1 終えている 2 まだ終えていない 3 亡くなっている	1 終えている 2 まだ終えていない 3 亡くなっている	1 終えている 2 まだ終えていない 3 亡くなっている
<b>CC**LVTG</b> C その方は、あなたと一緒に暮らしていますか。順に教えてください。	1 同居 2 別居 3 亡くなっている <div style="text-align: right; font-size: small;">問 36 の「第一子」に○</div>	1 同居 2 別居 3 亡くなっている <div style="text-align: right; font-size: small;">問 36 の「第二子」に○</div>	1 同居 2 別居 3 亡くなっている <div style="text-align: right; font-size: small;">問 36 の「第三子」に○</div>	1 同居 2 別居 3 亡くなっている <div style="text-align: right; font-size: small;">問 36 の「第四子」に○</div>

問 36 お子様のうち、あなたと別々に暮らしている方についてのほうがいます。

問 35 で「別居」の子どものみ尋ねる。タテ方向（第一子について A, B, C…の順）に尋ねるのではなく、ヨコ方向（A について第一子, 第二子…の順）に尋ねる。「同居」、「亡くなっている」場合は尋ねない。別居の子どもがいない場合は問 37-1 へ。第五子以降で別居者がいる場合は、補助用紙を使用。

別居の子に○	第一子	第二子	第三子	第四子
<b>CC**AGE</b> A その方の年齢を順に教えてください。	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳
<b>CC**MG</b> 〔回答票 25〕 B その方は、現在、結婚していますか。順に教えてください。	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚 5 離婚を前提に別居中 6 同棲中
<b>CC**JOB</b> C その方は、現在、収入をともなう仕事をしていますか。順に教えてください。	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない	1 している 2 していない
<b>CC**DIST</b> 〔回答票 26〕 D その方は、あなたの家からどのくらい離れた所に住んでいますか。この中から選んで順に教えてください。	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) // 1時間以内 5 (オ) // 3時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) // 1時間以内 5 (オ) // 3時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) // 1時間以内 5 (オ) // 3時間以内 6 (カ) それより遠い	1 (ア) 隣、同じ建物、同じ通り 2 (イ) 歩いて15分以内 3 (ウ) 車や電車等で30分以内 4 (エ) // 1時間以内 5 (オ) // 3時間以内 6 (カ) それより遠い
<b>CC**CNTA</b> 〔回答票 27〕 E その方と直接会うことは、どのくらいありますか。この中から選んで順に教えてください。	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない
<b>CC**CNTB</b> 〔回答票 27〕 F その方とは、直接会う以外に、電話・手紙・電子メールなどで、どのくらい連絡を取り合っていますか。この中から選んで順に教えてください。	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない	1 (ア) ほぼ毎日 2 (イ) 週に数回 3 (ウ) 週に1回程度 4 (エ) 月に1回程度 5 (オ) 年に数回 6 (カ) 年に1回程度 7 (キ) 年に1回もない







あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

学校を中退している場合は、中退後に最初についた仕事について尋ねる。兵役は除く。兵役後についた仕事について尋ねる。  
 在学中の就業を、回答者が初めての仕事と捉えていれば、それについて尋ねる。

問 45 [回答票 34] あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

**XGETJOB**

- |                                      |                           |                         |
|--------------------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 1<br>(ア)<br>すぐついた<br>(3ヶ月たたないうちについた) | 2<br>(イ)<br>3ヶ月以上たってからついた | 3<br>(ウ)<br>仕事についたことはない |
|--------------------------------------|---------------------------|-------------------------|

これで終わりです。長時間のご協力誠にありがとうございました。

問 46-1 [回答票 35] あなたが最初についた仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と5 (オ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。  
 公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**TPFSTJB**

- |                        |                            |                                     |                  |                           |                   |            |
|------------------------|----------------------------|-------------------------------------|------------------|---------------------------|-------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>経営者<br>・役員 | 2<br>(イ)<br>常時雇用の<br>一般従業者 | 3<br>(ウ)<br>臨時雇用 (パート・<br>アルバイト・内職) | 4<br>(エ)<br>派遣社員 | 5<br>(オ)<br>自営業主<br>・自由業者 | 6<br>(カ)<br>家族従業者 | 7<br>わからない |
|------------------------|----------------------------|-------------------------------------|------------------|---------------------------|-------------------|------------|

問 46-2 [回答票 36] 当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

**TPFSTJBP**

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職 (具体的に )
- 7 わからない

問 47 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業……というように)

**XXFSTJB**

**XXFSTJBE**

(できるだけ詳しく具体的に。)

問 48 [回答票 37] 同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合 (公立学校の教師、消防署員など) は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**SZSTFFST**

- |              |                |                     |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人     | 5 (オ) 30~99人   | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 2 (イ) 2~4人   | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人   | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上        |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 (シ) 官公庁          |
|              |                | 13 わからない            |

これで終わりです。長時間のご協力、誠にありがとうございました。

〔調査員記入〕

F1 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

**COOP**

- |        |                 |                   |                   |
|--------|-----------------|-------------------|-------------------|
| 1      | 2               | 3                 | 4                 |
| とても協力的 | どちらかといえば<br>協力的 | それほど<br>協力的ではなかった | まったく<br>協力的ではなかった |

F2 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

**USTAND**

- |       |            |         |          |
|-------|------------|---------|----------|
| 1     | 2          | 3       | 4        |
| 非常に良い | どちらかといえば良い | あまり良くない | まったく良くない |

F3 質問内容が不明瞭（回答者が理解していない）と思われる質問はどれでしたか。

(できるだけ詳しく具体的に)

F4 その他（どんなことでも結構ですから、気づいた点をご記入ください。）

(謝礼や回答者の反応など、できるだけ詳しく具体的に)

F5 回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

**AREA**

- 1 工場の多い地域
- 2 商店・事業所の多い地域
- 3 主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）
- 4 主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）
- 5 農山漁村
- 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

F6 面接票と留置票のどちらを先に実施しましたか。

**PROC**

- |        |        |
|--------|--------|
| 1 面接が先 | 2 留置が先 |
|--------|--------|

F7 この面接調査票の調査時刻、所要時間を必ず記録して下さい。

所要時間は、インタビューの時間であり、調査依頼のための説明時間は含まない。

**DURATION**

この面接調査票の調査時刻		所要時間
(開始) ____時__分頃	(終了) ____時__分頃	およそ__分



文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

2008年10月  
JGSS-2008 面接調査票

## 「第7回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学 JGSS 研究センター  
東京大学社会科学研究所

**IDUSE** 識別番号  
**BLOCK** 地域ブロック  
**PREF** 都道府県名  
**SIZE** 市郡規模  
**SIZE2K** 市郡規模(2000年時点)

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
2	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
3	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
4	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
5	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
6	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
7	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
8	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
9	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
10	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

対象者本人に会えるまでの訪問を全て記録する。  
10回を越えた訪問の記録は不要。  
接触ができるまで、必ず4日以上訪問する。  
(同日に2度訪問しても1日と数えるが、同日の訪問を禁止するわけではない)

回収状況
面接票 1 面接完了 DATE ( 月 日 ) MONTH DAY 2 面接不能  留置票 1 回収完了 DATEB ( 月 日 ) MONTHB DAYB 2 回収不能 一方で調査不能の場合、次のページを忘れず記入する。
留置票の受取予定日時

**SEXA** 性別  
**DOBYEAR** 生年(西暦)  
**AGEB** 年齢  
**MARC** 配偶者(DOMARRYの転記)  
**FORM** 留置票の種類

面接票か留置票の一方でも調査不能であった場合、このページを必ず記入する。

N1 調査不能と決定した日時

月  日 1 午前  時  分頃  
 2 午後

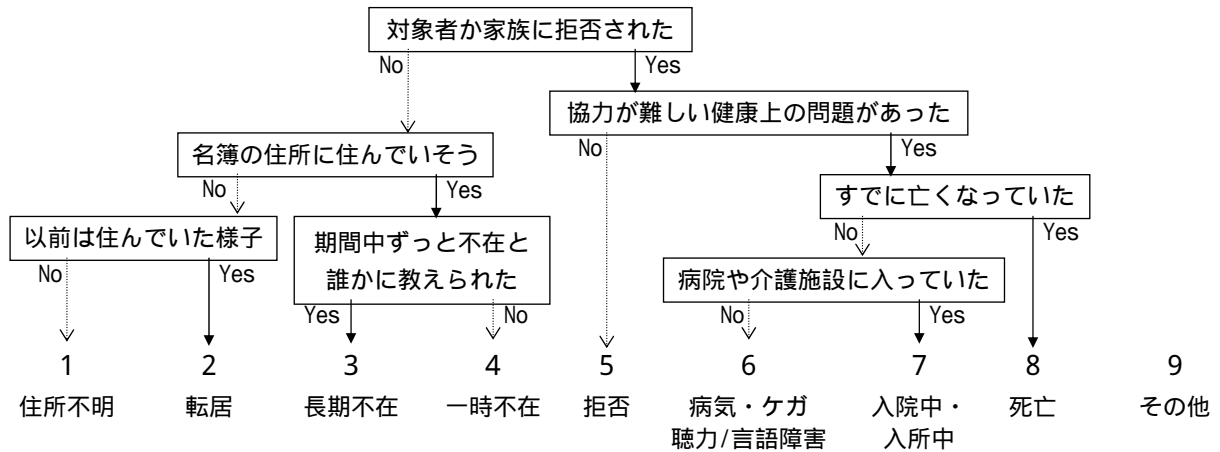
N2-1 対象者の家の種類

- 1 一戸建て      2 集合住宅（アパート・マンションなど）      3 不明

N2-2 その集合住宅の入口は、オートロックでしたか。

- 1 はい      2 いいえ

N3 調査不能の理由



上の流れ図に沿って理由を分類する。

結果に違和感がある場合や変わった状況の場合は、「9 その他」に をつけ、下の欄を詳しく記入する。

ここで をつけた番号は、対象者名簿の「欠票 No」に転記する。

N4 調査不能の具体的な状況（複雑な状況については、詳しく記入してください）



お仕事について少し詳しくおうかがいします。2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 3-1〔回答票 3〕あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と5 (オ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。  
公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**TPJOB**

- |                        |                            |  |                  |                           |                   |            |
|------------------------|----------------------------|--|------------------|---------------------------|-------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>経営者<br>・役員 | 2<br>(イ)<br>常時雇用の<br>一般従業者 | 3<br>(ウ)<br>臨時雇用<br>(パート・アルバイト<br>・内職) | 4<br>(エ)<br>派遣社員 | 5<br>(オ)<br>自営業主<br>・自由業者 | 6<br>(カ)<br>家族従業者 | 7<br>わからない |
|------------------------|----------------------------|--|------------------|---------------------------|-------------------|------------|

**TPJOBP**

問 3-2〔回答票 4〕あなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職  
(具体的に\_\_\_\_\_)
- 7 わからない

**TPJBDP**

問 3-3 それは、派遣会社に登録するタイプのものですか。

派遣会社の正社員として他社へ派遣される場合 (特定派遣) は、「いいえ」となる。

- 1 はい
- 2 いいえ

**TPJBSE**

問 3-4 家族以外に従業員を雇っていますか (アルバイトを含みます)。

- 1 はい
- 2 いいえ

問 4〔回答票 5〕あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

**DOCMT**

	1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)
およそ	<input type="text"/> 時間	住まいと 職場は同じ	日によって 行き先が違う
	<b>SZCMTTL</b>		
	<input type="text"/> 分		
	<b>SZCMTMR</b>		
	<b>SZCMTMIN</b>		

問 5〔回答票 6〕あなたが働く職場は、この中のどれにあたりますか。

省庁や自治体から給与を得ている場合 (公立学校の教師、消防署員など) は、すべて官公庁。会社は官公庁ではない。

**TP4WPLA**

- 1 (ア) 官公庁
- 2 (イ) 単独事業所 (他に事業所はない)
- 3 (ウ) 支店・支所 (本社・本店は他にある)
- 4 (エ) 本社・本店 (他に支店・支所などがある)
- 5 わからない



問 6 あなたが働いている場所（工場、事務所、商店、病院などの事業所）はどのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

XXWPL

（できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可）

問 7 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。  
（例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように）

XXJOB

XXJOBE

（できるだけ詳しく具体的に）

問 8 あなたはその仕事を先週何日しましたか。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

XJOBDWK

週  日

問 9 あなたは、通常 1 週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

XJBSCB

週合計で   時間

問 10 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

XJOBYR

年間

1 年未満の場合は 0（ゼロ）と記入。

問 11〔回答票 7〕同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

SZTTLSTA

- |            |              |                   |
|------------|--------------|-------------------|
| 1（ア）1人     | 5（オ）30～99人   | 9（ケ）1,000～1,999人  |
| 2（イ）2～4人   | 6（カ）100～299人 | 10（コ）2,000～9,999人 |
| 3（ウ）5～9人   | 7（キ）300～499人 | 11（サ）1万人以上        |
| 4（エ）10～29人 | 8（ク）500～999人 | 12（シ）官公庁          |
|            |              | 13 わからない          |

問 12〔回答票 8〕あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。

**JOINUNI**

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4
職場の労働組合に 入っている	職場以外の労働組合に 入っている	入っていない	わからない

問 13〔回答票 9〕現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。

**ST5JOB**

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4 (エ)	5 (オ)	6
満足している	どちらかといえば 満足している	どちらとも いえない	どちらかといえば 不満である	不満である	わからない

問 14〔回答票 10〕今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。

**WLKEEPJA**

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4
近いうちに やめるつもり	当分やめる つもりはない	まったくやめる つもりはない	わからない

問 15〔回答票 11〕今後 1 年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

自営業主が倒産などで失職する場合も含む。

**OP4UNEMP**

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4 (エ)	5
かなりある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない

問 16〔回答票 12〕もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

**OP3NEWJB**

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)	4
非常に 容易である	ある程度 容易である	容易ではない	わからない

問 17〔回答票 13〕あなたがお勤めの会社・組織では、原材料・部品・製品のいずれかについて、以下のような外国とのやり取りはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

<b>INTDIMP</b>	<b>INTDEXP</b>	<b>INTDPRD</b>	<b>INTDNEX</b>
1	2	3	4
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
外国から 輸入している	外国に 輸出している	外国で 生産している	外国とのやり取りは 何もない

(全員に)

問 18 あなたは現在、仕事を探していますか。

**DOLOOKJB**

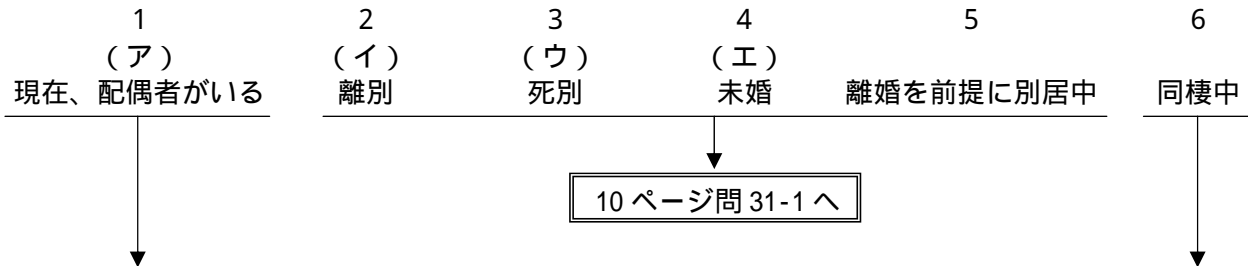
- 1 はい    2 いいえ

ここからは、あなたのご家族のことについておうかがいします。

問 19〔回答票 14〕あなたは結婚していますか。この中から選んでください。

本人の判断にまかせるが、尋ねられたら、婚姻届を出していない内縁の関係も 1 (ア)「現在、配偶者がいる」を含む。  
 選択肢 5、6 は、対象者があえてそのように答えた場合にのみ印を付ける。  
 以後の設問では、内縁や同棲中は有配偶者とみなす。

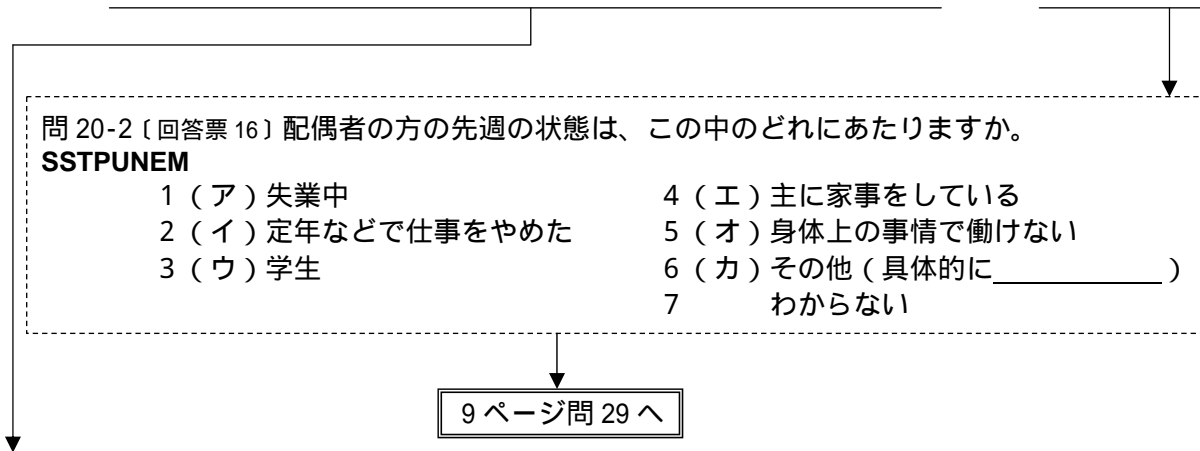
**DOMARRY**



問 20-1〔回答票 15〕配偶者の方は先週、収入をとまなう仕事をしましたか。この中からあげてください。

**SSJB1WK**

- |       |                                 |          |
|-------|---------------------------------|----------|
| 1     | 2                               | 3        |
| (ア)   | (イ)                             | (ウ)      |
| 仕事をした | 仕事をもっているが、<br>病気、休暇などで先週は仕事を休んだ | 仕事をしていない |



問 21 配偶者の方は、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をお持ちの場合は、主な仕事 1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

副業を持っていない場合は、副業の時間数に 0 (ゼロ) と記入する。  
 先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

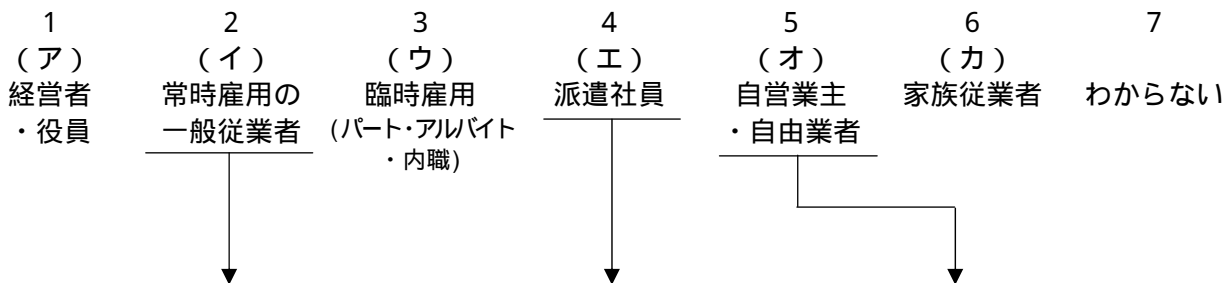
主な仕事を週合計で <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> 時間 <b>SSJBHRWK</b>	副業を週合計で <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> 時間 <b>SSSJBHWK</b>
--	--

配偶者の方のお仕事について少し詳しくおうかがいします。  
2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 22-1〔回答票 17〕配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と5 (オ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。  
公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**SSTPJOB**



**SSTPJOBP**

問 22-2〔回答票 18〕配偶者の方の役職は、この中のどれにあたりますか。

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職  
(具体的に\_\_\_\_\_)
- 7 わからない

**SSTPJBDP**

問 22-3 それは、派遣会社に登録するタイプのものですか。

派遣会社の正社員として他社へ派遣される場合(特定派遣)は、「いいえ」となる。

- 1 はい
- 2 いいえ

**SSTPJBSE**

問 22-4 家族以外に従業員を雇っていますか (アルバイトを含みます)。

- 1 はい
- 2 いいえ

問 23 配偶者の方が働いている場所 (工場、事務所、商店などの事業所) は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

**SSXXHQX**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 24 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。  
(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)

**SSXXJOB**

**SSXXJOBE**

(できるだけ詳しく具体的に)

問 25 配偶者の方はその仕事を先週何日しましたか。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

SSJBDWK

週  日

問 26 配偶者の方は、通常 1 週間に何時間働くことになっておりますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

SSXJBSCH

週合計で  時間

問 27 配偶者の方は、現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めからの年数をお答えください。

SSSZWKYR

年間

1 年未満の場合は 0 (ゼロ) と記入。

問 28〔回答票 19〕同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、すべて官公庁。会社は官公庁ではない。

SSSZSTFA

- |                 |                   |                        |
|-----------------|-------------------|------------------------|
| 1 (ア) 1 人       | 5 (オ) 30 ~ 99 人   | 9 (ケ) 1,000 ~ 1,999 人  |
| 2 (イ) 2 ~ 4 人   | 6 (カ) 100 ~ 299 人 | 10 (コ) 2,000 ~ 9,999 人 |
| 3 (ウ) 5 ~ 9 人   | 7 (キ) 300 ~ 499 人 | 11 (サ) 1 万人以上          |
| 4 (エ) 10 ~ 29 人 | 8 (ク) 500 ~ 999 人 | 12 (シ) 官公庁             |
|                 |                   | 13 わからない               |

(配偶者がいる方に)

問 29 配偶者の方の年齢を教えてください。

SPAGEX

歳

問 30 配偶者の方とは一緒に暮らしていますか。

SPLVTG

- 1 同居                      2 別居 (単身赴任中)                      3 別居 (その他の理由)

(全員に)

問 31-1 あなた自身のお父様とお母様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。  
二世帯住宅などの判断は回答者に任せるが、迷うときには「台所が同じ場合を同居とお考えください」と答える。

問 31-2 お父様、お母様の年齢を教えてください。

問 31-3〔回答票 20〕お父様、お母様の現在の婚姻状態を教えてください。

問 31-4 お父様、お母様は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

	問 31-1 同居・死亡	問 31-2 年齢 <small>死亡の場合聞かない</small>	問 31-3〔回答票 20〕 婚姻状態 <small>死亡の場合聞かない</small>	問 31-4 仕事の有無 <small>死亡の場合聞かない</small>
父親	<b>PPLVTG</b> 1 同居 2 別居 3 死亡	<b>PPAGE</b> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 歳	<b>PPMG</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	<b>PPJOB</b> 1 している 2 していない
母親	<b>MMLVTG</b> 1 同居 2 別居 3 死亡	<b>MMAGE</b> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 歳	<b>MMMGG</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	<b>MMJOB</b> 1 している 2 していない

問 32-1 これまでにお持ちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。  
いない場合は0(ゼロ)と記入。養子・連れ子について尋ねられた場合は、含めて答えてもらう。

CCNUMTTL  人 (6人以上の場合は、補助用紙を使用)

そのお子様全員についてうかがいます。

問 32-2 そのお子様の性別を教えてください。

問 32-3 そのお子様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。

問 32-4 そのお子様の年齢を教えてください。

問 32-5〔回答票 20〕そのお子様の現在の婚姻状態を教えてください。

問 32-6 そのお子様は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。

	CC**SEX 問 32-2 性別	CC**LVTG 問 32-3 同居・死亡	CC**AGE 問 32-4 年齢 <small>死亡の場合聞かない</small>	CC**MG 問 32-5〔回答票 20〕 婚姻状態 <small>死亡の場合聞かない</small>	CC**JOB 問 32-6 仕事の有無 <small>死亡の場合聞かない</small>
第1子	1 男 2 女	1 同居 2 別居 3 死亡	<input type="text"/> <input type="text"/> 歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第2子	1 男 2 女	1 同居 2 別居 3 死亡	<input type="text"/> <input type="text"/> 歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第3子	1 男 2 女	1 同居 2 別居 3 死亡	<input type="text"/> <input type="text"/> 歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第4子	1 男 2 女	1 同居 2 別居 3 死亡	<input type="text"/> <input type="text"/> 歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第5子	1 男 2 女	1 同居 2 別居 3 死亡	<input type="text"/> <input type="text"/> 歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない

【続柄コード表】養父母・継父母、養子・連れ子も、実親・実子と同じように扱う。

00 本人			30 孫(男)	40 本人の父	50 兄	60 本人の祖父	
01 夫	11 長男	21 長女	31 孫(女)	41 本人の母	51 弟	61 本人の祖母	
02 妻	12 次男	22 次女		42 配偶者の父	52 姉	62 配偶者の祖父	
	13 三男	23 三女		43 配偶者の母	53 妹	63 配偶者の祖母	
	14 長男の妻	24 長女の夫					
	15 次男の妻	25 次女の夫					97 その他・不明
	16 三男の妻	26 三女の夫					99 無回答

問 33-1 ここまでに、あなたの配偶者、あなた自身のご両親、お子様についてうかがいました。それ以外の方で、あなたと一緒に暮らしている方はいますか。例えば、お子様の配偶者、お孫さん、ごきょうだい、配偶者のご両親などです。いらっしゃる場合、その人数を教えてください。  
いない場合は0(ゼロ)と記入。養子・連れ子については、問 32 の子どもの中に含めてもらう。

SZFFOTHR  人 (5人以上の場合は、補助用紙を使用)

問 33-2 その全員について、あなたからみた続柄、性別、年齢を教えてください。  
続柄は「続柄コード表」を参照し、具体的に記入した上で  にコードを記入する。回答者本人からみた続柄であることに注意する。

FFH**REL 回答者からみた続柄	コード記入	FFH**SEX 性別	FFH**AGE 年齢
(1) _____	<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
(2) _____	<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
(3) _____	<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
(4) _____	<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳

問 34 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。  
同居者の人数が、同居の配偶者+同居の父母+同居の子ども+その他の同居家族数になっていることを確認する。

SZFFONLY SZFF TTL  
同居者  人 + 本人(1人) = 合計  人

問 35 あなたの家の世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「夫の母」など、あなたからみた続柄でお答えください。  
具体的に続柄を記入した上で  にコードを記入する。戸籍にかかわらず、回答者が世帯主と認識している人を記入し、必ず1名に絞ってもらう。

FFHEAD

問 36-1 あなたには、ここにあげるような理由で(〔回答票 21〕を見せる)一時的に離れて暮らしているご家族がいますか。例えば、「単身赴任」や「離れた大学に通う」等の理由です。いらっしゃる場合、何人ですか。いない場合は0(ゼロ)と記入し、問 37へ。結婚して家を離れている子どもは含めない。

SZFFOUT  人 (5人以上の場合は、補助用紙を使用)

問 36-2 その全員について、うかがいます。

	一時的な別居家族(1)	一時的な別居家族(2)	一時的な別居家族(3)	一時的な別居家族(4)
<b>FFO**REL</b> A あなたからみた続柄を教えてください。具体的に記入した上で <input type="text"/> にコードを記入する。	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<b>FFO**WHY</b> 〔回答票 21〕 B その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。	1(ア)あなたの仕事の都合 2(イ)あなたの学業 3(ウ)家族の仕事の都合 4(エ)家族の学業 5(オ)長期入院 6(カ)老人・福祉施設に入所 7(キ)その他( )	1(ア)あなたの仕事の都合 2(イ)あなたの学業 3(ウ)家族の仕事の都合 4(エ)家族の学業 5(オ)長期入院 6(カ)老人・福祉施設に入所 7(キ)その他( )	1(ア)あなたの仕事の都合 2(イ)あなたの学業 3(ウ)家族の仕事の都合 4(エ)家族の学業 5(オ)長期入院 6(カ)老人・福祉施設に入所 7(キ)その他( )	1(ア)あなたの仕事の都合 2(イ)あなたの学業 3(ウ)家族の仕事の都合 4(エ)家族の学業 5(オ)長期入院 6(カ)老人・福祉施設に入所 7(キ)その他( )

問 37-1〔回答票 22〕現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。この中から、あてはまるものをすべて選んでください。

問 37-2〔回答票 22〕そのうち、一番中心となる収入源を 1 つだけ答えてください。

問 37-1 であてはまるものが 1 つしかなければ、問 37-2 では同じものに をつける。

		問 37-1 あてはまる収入源 すべてに	INCMAIN 問 37-2 中心となる収入源 1 つだけに
INCSELF	自分の収入	1 (ア)	1 (ア)
INCSP	配偶者の収入	2 (イ)	2 (イ)
INCPAR	親の収入	3 (ウ)	3 (ウ)
INCFAM	配偶者・親以外の家族の収入	4 (エ)	4 (エ)
INCPEN	年金	5 (オ)	5 (オ)
INCUEB	失業保険	6 (カ)	6 (カ)
INCSAVE	貯蓄	7 (キ)	7 (キ)
INCSOC	社会福祉 (生活保護、福祉手当等)	8 (ク)	8 (ク)
INCIRR	不定期的な仕事	9 (ケ)	9 (ケ)
INCOTHER	その他 (具体的に _____)	10 (コ)	10 (コ)
INCNOKN	わからない	11	11

問 38〔回答票 23〕かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入るとお考えですか。

OP10LVL

一番上      1      2      3      4      5      6      7      8      9      10      一番下

問 39〔回答票 24〕あなたが現在、お住まいの地域は、どのような地域だと思えますか。最も近いものを 1 つ選んでください。

SIZEHMT

1 (ア) 大都市の中心部	2 (イ) 大都市の郊外	3 (ウ) 中小都市	4 (エ) 町村部	5 (オ) 人家がまばらな 農山漁村
---------------------	--------------------	------------------	-----------------	-----------------------------



問 40-1〔回答票 25〕昨年 1 年間のあなたの家の世帯収入は、この中のどれにあたりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。仕事からの収入だけでなく、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

問 40-2〔回答票 25〕そのうち、あなたご自身の収入はどのくらいですか。仕事以外からの収入も含めてください。

問 40-3 (仕事をしている方にのみ質問)〔回答票 25〕あなたの収入は、先ほどいかがだった主なお仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

問 1-1 で 1 (ア)「仕事をした」または 2 (イ)「先週は仕事を休んだ」と回答した者にのみ質問する。3 (ウ)「仕事をしていない」の場合は、問 40-3 の 23 に をつけ、問 40-4 へ。

問 40-4 (現在、配偶者がいる方にのみ質問)〔回答票 25〕配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

問 19 で 1 (ア)「現在配偶者がいる」と 6「同棲中」と回答した者にのみ質問する。問 19 でそれ以外に回答した場合は、問 40-4 と問 40-5 の 22 に をつけ、問 41 へ。

問 40-5 (配偶者が仕事をしている方に)〔回答票 25〕配偶者の方の収入は、先ほどいかがだった主な仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

問 20-1 で 1 (ア)「仕事をした」または 2 (イ)「先週は仕事を休んだ」と回答した者にのみ質問する。3 (ウ)「仕事をしていない」の場合は、問 40-5 の 23 に をつけ、問 41 へ。

	SZHSINCM 問 40-1 世帯全体	SZINCOMA 問 40-2 本人	SZINCOMX 問 40-3 本人の 主な仕事	SSSZINCA 問 40-4 配偶者	SSSZINCM 問 40-5 配偶者の 主な仕事
なし	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)
70 万円未満	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)
70～100 万円未満	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)
100～130 万円未満	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)
130～150 万円未満	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)
150～250 万円未満	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)
250～350 万円未満	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)
350～450 万円未満	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)
450～550 万円未満	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)
550～650 万円未満	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)
650～750 万円未満	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)
750～850 万円未満	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)
850～1,000 万円未満	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)
1,000～1,200 万円未満	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)
1,200～1,400 万円未満	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)
1,400～1,600 万円未満	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)
1,600～1,850 万円未満	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)
1,850～2,300 万円未満	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)
2,300 万円以上	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)
回答したくない	20	20	20	20	20
わからない	21	21	21	21	21
配偶者はいない				22 ----->	22
仕事はしていない			23		23

問 41-1 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

いない場合は0(ゼロ)を記入。養子・連れ子などの場合に、誰を「兄弟姉妹」に含むかは本人の判断にまかせる。

	XNUMBROE	XNUMSISE	XNUMBROY	XNUMSISY
あなたの兄弟姉妹	兄	姉	弟	妹
	人	人	人	人

問 41-2 現在、結婚されている方(あるいは配偶者の方と死別された方)は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。亡くなった方も含めてお答えください。

配偶者が死別の場合にも尋ねる。未婚や離別の人には聞かない。いない場合は0(ゼロ)を記入。

	XSSNBROE	XSSNSISE	XSSNBROY	XSSNSISY
配偶者の兄弟姉妹	兄	姉	弟	妹
	人	人	人	人

あなたが子どもの頃のことについておうかがいします。

問 42-1 あなたが15歳の頃、どちらにお住まいでしたか。都道府県名をお答えください。

外国の場合は「外国」と記入し、これ以降の質問にも回答してもらおう。

PREF15  都道府県  コード  調査員は記入不要

問 42-2〔回答票 26〕当時、お住まいの地域は、この中のどれにあたったと思いますか。

TP5LOC15

- |                 |                  |               |               |
|-----------------|------------------|---------------|---------------|
| 1<br>(ア)<br>大都市 | 2<br>(イ)<br>中小都市 | 3<br>(ウ)<br>町 | 4<br>(エ)<br>村 |
|-----------------|------------------|---------------|---------------|

問 42-3 そこは農山漁村地域でしたか。

REMOTE15

- 1 はい                      2 いいえ

問 43〔回答票 27〕あなたが15歳の頃、ご両親はあなたにどのように接していましたか。お父さんとお母さんのそれぞれについて、最もあてはまる項目を1つ選んでください。

	PPDCPL15 父親	MMDCPL15 母親
厳しく、一方的にしかることが多かった	1 (ア)	1 (ア)
厳しかったが、あなたの意見も聞き入れてくれた	2 (イ)	2 (イ)
やさしく、何でもいうことを聞いてくれた	3 (ウ)	3 (ウ)
あなたに無関心だった	4 (エ)	4 (エ)
いなかった	5 (オ)	5 (オ)

問 44-1〔回答票 28〕あなたが 15 歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と 4 (エ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。  
公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**PPJBT15**

- |                        |                            |  |                           |                   |                          |                         |            |
|------------------------|----------------------------|--|---------------------------|-------------------|--------------------------|-------------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>経営者<br>・役員 | 2<br>(イ)<br>常時雇用の<br>一般従業者 | 3<br>(ウ)<br>臨時雇用<br>(パート・アルバイト<br>・内職) | 4<br>(エ)<br>自営業主<br>・自由業者 | 5<br>(オ)<br>家族従業者 | 6<br>(カ)<br>働いて<br>いなかった | 7<br>(キ)<br>父は<br>いなかった | 8<br>わからない |
|------------------------|----------------------------|--|---------------------------|-------------------|--------------------------|-------------------------|------------|
- ↓
- 問 47 へ

問 44-2〔回答票 29〕当時のお父さんの役職は、この中のどれにあたりますか。

**PPJBT15P**

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職 (具体的に\_\_\_\_\_)
- 7 わからない

問 45 お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業.....というように)。

**PPJBXX15**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 46〔回答票 30〕お父さんが働いていた会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。お父さんの職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、お父さん自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合 (公立学校の教師、消防署員など) は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**PPJBSZ15**

- |                 |                               |                                 |                                  |                                  |                 |            |
|-----------------|-------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>1 人 | 2<br>(イ)<br>小企業<br>(2 ~ 29 人) | 3<br>(ウ)<br>中企業<br>(30 ~ 299 人) | 4<br>(エ)<br>大企業<br>(300 ~ 999 人) | 5<br>(オ)<br>大手大企業<br>(1,000 人以上) | 6<br>(カ)<br>官公庁 | 7<br>わからない |
|-----------------|-------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------|------------|

問 47〔回答票 31〕あなたが 15 歳の頃、お母さんは仕事をもって働いていましたか。働いていた場合には、この中のどれにあたりますか。

**MMJBTP15**

- |                           |                 |        |
|---------------------------|-----------------|--------|
| 1 (ア) 仕事はもっていなかった         | 7 (キ) 自営業・家族従業者 | 農林漁業   |
| 2 (イ) 臨時雇用・パート・アルバイト      | 8 (ク) "         | 農林漁業以外 |
| 3 (ウ) 常時雇用 一般職 役職なし       | 9 (ケ) 内職        |        |
| 4 (エ) " 管理職               | 10 (コ) 経営者・役員   |        |
| 5 (オ) " 専門的な仕事 (看護師・教師など) | 11 (サ) 母はいなかった  |        |
| 6 (カ) " 仕事内容はわからない        | 12 わからない        |        |

問 48〔回答票 32〕あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は次のどれにあたりますか。あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

配偶者については死別の場合にも尋ねる。

最後に通った学校が専門学校という場合には、以下のようにする。

高等専門学校（工業分野を中心として、中学卒業後に入る5年一貫の高等教育機関） 10（コ）に をする。

戦後の専修学校の一般課程・専門課程・高等課程（一般に専門学校と呼ばれるもの） その学校に入る前にいた学校について尋ねる。

戦前の専門学校 6（カ）に をする。

（注）（コ）と答えた人には、高専と専修学校・専門学校とを混同していないか尋ねる。

		XXLSTSCH	SSLSTSCH	PPLSTSCH	MMLSTSCH
		本人	配偶者	父親	母親
戦	（ア）旧制尋常小学校（国民学校を含む）	1（ア）	1（ア）	1（ア）	1（ア）
	（イ）旧制高等小学校	2（イ）	2（イ）	2（イ）	2（イ）
	（ウ）旧制中学校・高等女学校	3（ウ）	3（ウ）	3（ウ）	3（ウ）
	（エ）旧制実業・商業学校	4（エ）	4（エ）	4（エ）	4（エ）
	（オ）旧制師範学校	5（オ）	5（オ）	5（オ）	5（オ）
前	（カ）旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	6（カ）	6（カ）	6（カ）	6（カ）
	（キ）旧制大学・旧制大学院	7（キ）	7（キ）	7（キ）	7（キ）
戦	（ク）新制中学校	8（ク）	8（ク）	8（ク）	8（ク）
	（ケ）新制高校	9（ケ）	9（ケ）	9（ケ）	9（ケ）
	（コ）新制高専（注）	10（コ）	10（コ）	10（コ）	10（コ）
	（サ）新制短大	11（サ）	11（サ）	11（サ）	11（サ）
	（シ）新制大学	12（シ）	12（シ）	12（シ）	12（シ）
	（ス）新制大学院	13（ス）	13（ス）	13（ス）	13（ス）
後	わからない	14	14	14	14
	結婚したことはない・離別した		15		

問 49 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

「3 在学中」の場合には、学年を尋ねる。

**DOLSTSCH**

1 卒業

2 中退

**XGRADE**

3 在学中（ \_\_\_\_ 年生）

問 50 あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。旧制専門学校や新制高専は含みません。

**XSPSCH**

1 通ったことがある

2 通ったことがない

問 51（問 48 の配偶者の学歴について答えた人にのみ）あなたの配偶者は最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

「3 在学中」の場合には、学年を尋ねる。

**SSDOLSTS**

1 卒業

2 中退

**SSXGRADE**

3 在学中（ \_\_\_\_ 年生）

問 52（問 48 の配偶者の学歴について答えた人にのみ）あなたの配偶者は専門学校・専修学校に通ったことがありますか。旧制専門学校や新制高専は含みません。

**PSPSCH**

1 通ったことがある

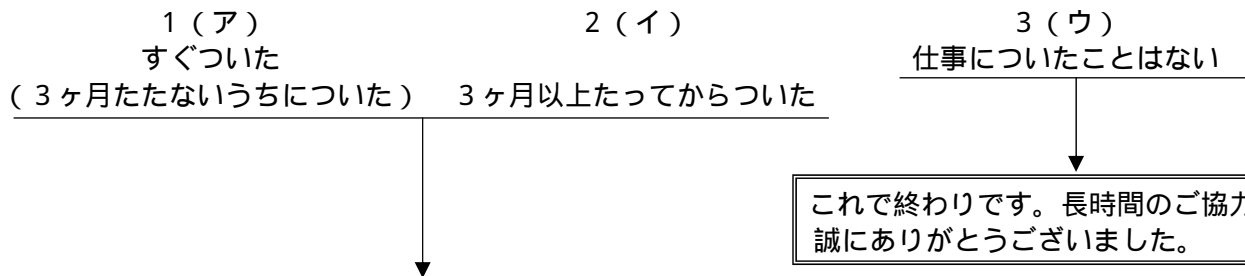
2 通ったことがない

あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

学校を中退している場合は、中退後に最初についた仕事について尋ねる。兵役は除く。兵役後についた仕事について尋ねる。  
 在学中の就業を、回答者が初めての仕事と捉えていれば、それについて尋ねる。

問 53〔回答票 33〕あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

**XGETJOB**



問 54-1〔回答票 34〕あなたが最初についた仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と5 (オ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。  
 公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**TPFSTJB**

- |                        |                            |  |                  |                           |                   |            |
|------------------------|----------------------------|--|------------------|---------------------------|-------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>経営者<br>・役員 | 2<br>(イ)<br>常時雇用の<br>一般従業者 | 3<br>(ウ)<br>臨時雇用<br>(パート・アルバイト<br>・内職) | 4<br>(エ)<br>派遣社員 | 5<br>(オ)<br>自営業主<br>・自由業者 | 6<br>(カ)<br>家族従業者 | 7<br>わからない |
|------------------------|----------------------------|--|------------------|---------------------------|-------------------|------------|
- ↓

問 54-2〔回答票 35〕当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

**TPFSTJBP**

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職 (具体的に\_\_\_\_\_)
- 7 わからない

問 55 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、外回り営業.....というように)

**XXFSTJB**

(できるだけ詳しく具体的に。)

問 56〔回答票 36〕同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合 (公立学校の教師、消防署員など) は、すべて官公庁。会社は官公庁ではない。

**SZSTFFST**

- |              |                |                     |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人     | 5 (オ) 30~99人   | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 2 (イ) 2~4人   | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人   | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上        |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 (シ) 官公庁          |
|              |                | 13 わからない            |

これで終わりです。長時間のご協力、誠にありがとうございました。

〔調査員記入〕

F1 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

**COOP**

- |        |                 |                   |                   |
|--------|-----------------|-------------------|-------------------|
| 1      | 2               | 3                 | 4                 |
| とても協力的 | どちらかといえば<br>協力的 | それほど<br>協力的ではなかった | まったく<br>協力的ではなかった |

F2 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

**USTAND**

- |       |            |         |          |
|-------|------------|---------|----------|
| 1     | 2          | 3       | 4        |
| 非常に良い | どちらかといえば良い | あまり良くない | まったく良くない |

F3 質問内容が不明瞭（回答者が理解していない）と思われる質問はどれでしたか。

（できるだけ詳しく具体的に）

F4 その他（どんなことでも結構ですから、気づいた点をご記入ください。）

（謝礼や回答者の反応など、できるだけ詳しく具体的に）

F5 回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

**AREA**

- 1 工場の多い地域
- 2 商店・事業所の多い地域
- 3 主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）
- 4 主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）
- 5 農山漁村
- 6 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

F6 面接票と留置票のどちらを先に実施しましたか。

**PROC**

- |        |        |
|--------|--------|
| 1 面接が先 | 2 留置が先 |
|--------|--------|

F7 この面接調査票の調査時刻、所要時間を必ず記録して下さい。

所要時間は、インタビューの時間であり、調査依頼のための説明時間は含まない。

**DURATION**

この面接調査票の調査時刻		所要時間
(開始) _____ 時 _____ 分頃	(終了) _____ 時 _____ 分頃	およそ _____ 分



文部科学省指定  
日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター

2010年2月  
JGSS-2010 面接調査票

## 「第8回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学 JGSS 研究センター  
協力：東京大学社会科学研究所

**IDUSE** 識別番号  
**BLOCK** 地域ブロック  
**PREF** 都道府県名  
**SIZE** 市郡規模  
**SIZE2K** 市郡規模(2000年時点)

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
2	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
3	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
4	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
5	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
6	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
7	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
8	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
9	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在
10	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

対象者本人に会えるまでの訪問を全て記録する。  
10回を越えた訪問の記録は不要。  
接触ができるまで、必ず4日以上訪問する。  
(同日に2度訪問しても1日と数えるが、同日の訪問を禁止するわけではない)

回収状況
<b>面接票</b> 1 面接完了 <b>DATE</b> ( 月 日 ) <b>MONTH DAY</b> 2 面接不能  <b>留置票</b> 1 回収完了 <b>DATEB</b> ( 月 日 ) <b>MONTHB DAYB</b> 2 回収不能 一方で調査不能の場合、次のページを忘れず記入する。
留置票の受取予定日時

**SEXA** 性別  
**DOBYEAR** 生年(西暦)  
**AGEB** 年齢  
**MARC** 配偶者(DOMARRYの転記)  
**FORM** 留置票の種類

面接票か留置票の一方でも調査不能であった場合、このページを必ず記入する。

N1 調査不能と決定した日時

月  日  1 午前  時  分頃  
 2 午後

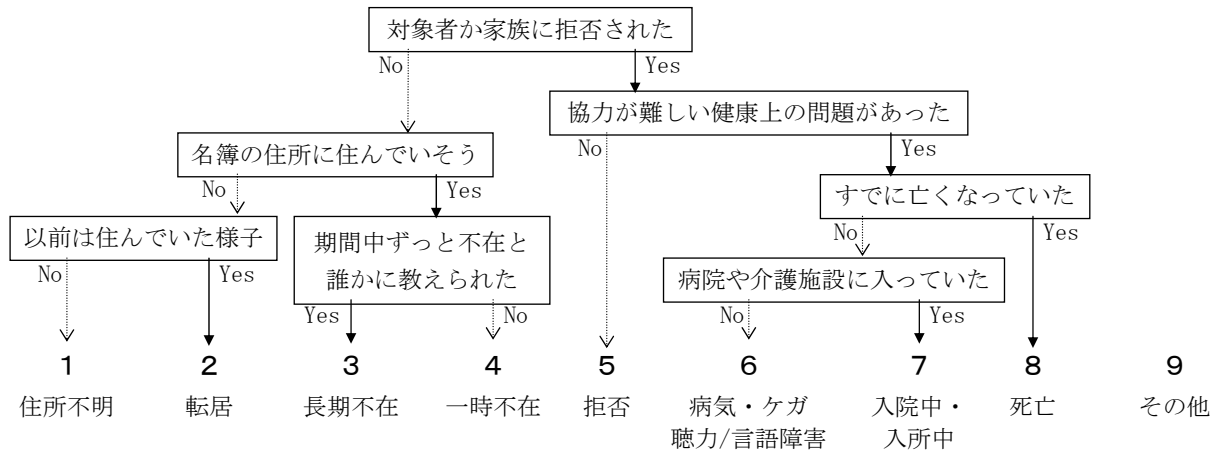
N2-1 対象者の家の種類

- 1 一戸建て      2 集合住宅（アパート・マンションなど）      3 不明

N2-2 その集合住宅の入口は、オートロックでしたか。

- 1 はい      2 いいえ

N3 調査不能の理由



上の流れ図に沿って理由を分類する。

結果に違和感がある場合や変わった状況の場合は、「9 その他」に○をつけ、下の欄を詳しく記入する。

ここで○をつけた番号は、対象者名簿の「欠票 No」に転記する。

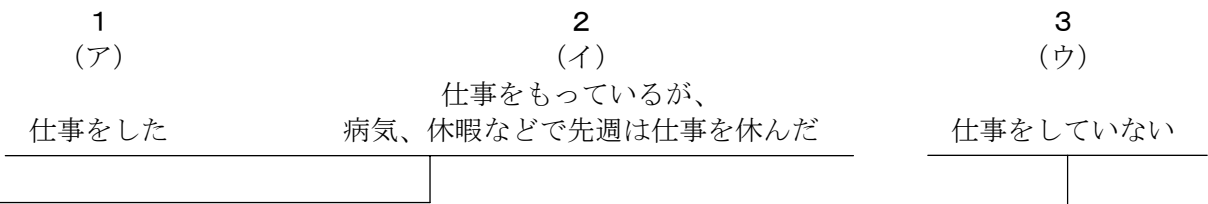
N4 調査不能の具体的な状況（複雑な状況については、詳しく記入してください）



はじめに、あなたのお仕事について、おうかがいします。

問 1-1〔回答票 1〕先週、あなたは収入をともなう仕事をしましたか、または仕事をするようになりましたか。この中からあげてください。

XJOB1WK



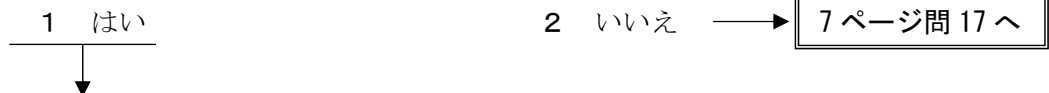
問 1-2〔回答票 2〕先週のあなたはこの中のどれにあたりますか。

TP5UNEMP

- |   |  |
|---|--|
| <p>1 (ア) 失業中</p> <p>2 (イ) 定年などで仕事をやめた</p> <p>3 (ウ) 学生</p> | <p>4 (エ) 主に家事をしている</p> <p>5 (オ) 心身上の事情で働けない</p> <p>6 (カ) その他（具体的に_____）</p> <p>7 わからない</p> |
|---|--|

問 1-3 あなたは、これまでに収入をともなう仕事をすることがあります。

XWORK



問 1-4 最後に収入をともなう主な仕事をやめたのはあなたが何歳のときですか。

AGESTPWK

--	--	--

歳

7 ページ問 17 へ

問 2 あなたは、先週、残業も含めて仕事を合計何時間しましたか。2つ以上仕事をおもちの場合は、主な仕事1つとそれ以外の仕事にわけて、それぞれの時間を教えてください。

サービス残業も含め、実際に働いた時間数を答えてもらう。  
 副業を持っていない場合は、副業の時間数に0（ゼロ）と記入する。  
 先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

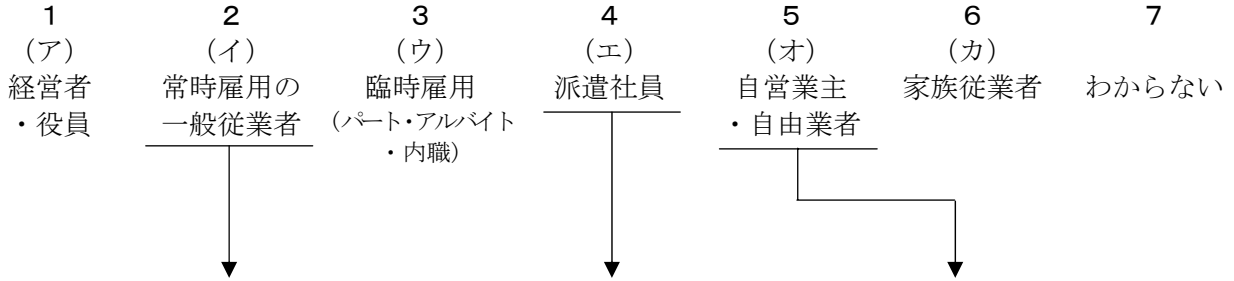
<p>主な仕事を週合計で <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 150px; height: 30px;"><tr><td style="text-align: center;"> </td><td style="text-align: center;"> </td><td style="text-align: center;"> </td></tr></table> 時間</p> <p style="text-align: center;"><b>XJOBHWK</b></p>				<p>副業を週合計で <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px; height: 30px;"><tr><td style="text-align: center;"> </td><td style="text-align: center;"> </td></tr></table> 時間</p> <p style="text-align: center;"><b>SZSJBHWK</b></p>		

お仕事について少し詳しくおかがいします。2つ以上仕事をおもちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 3-1【回答票 3】あなたの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と 5 (オ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。  
公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**TPJOB**



**TPJOBP**

問 3-2【回答票 4】あなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職  
(具体的に\_\_\_\_\_)
- 7 わからない

**TPJBDP**

問 3-3 それは、派遣会社に登録するタイプのものですか。

派遣会社の正社員として他社へ派遣される場合 (特定派遣) は、「いいえ」となる。

- 1 はい
- 2 いいえ

**TPJBSE**

問 3-4 家族以外に従業員を雇っていますか (アルバイトを含みます)。

- 1 はい
- 2 いいえ

問 4【回答票 5】あなたのお住まいから職場までの通勤時間は、片道平均どれくらいですか。

**DOCMT**

1 (ア)	2 (イ)	3 (ウ)
およそ	時間	分
SZCMTTL	SZCMTMIN	
	住まいと	日によって
	職場は同じ	行き先が違う

問 5【回答票 6】あなたが働く職場は、この中のどれにあたりますか。

省庁や自治体から給与を得ている場合 (公立学校の教師、消防署員など) は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**TP4WPLA**

- 1 (ア) 官公庁
- 2 (イ) 単独事業所 (他に事業所はない)
- 3 (ウ) 支店・支所 (本社・本店は他にある)
- 4 (エ) 本社・本店 (他に支店・支所などがある)
- 5 わからない

問 6 あなたが働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。例えば野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

**XXWPL**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 7 あなたは通常、そこでどのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。  
(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

**XXJOB**  
**XXJOBE**

(できるだけ詳しく具体的に)

問 8 あなたはその仕事を先週何日しましたか。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

**XJOBDWK**

週  日

問 9 あなたは、通常 1 週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

**XJBSCB**

週合計で   時間

問 10 現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数でお答えください。

**XJOBYR**

年間

1 年未満の場合は 0 (ゼロ) と記入。

問 11 [回答票 7] 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合 (公立学校の教師、消防署員など) は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**SZTTLSTA**

- |               |                 |                      |
|---------------|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人     | 5 (オ) 30~99 人   | 9 (ケ) 1,000~1,999 人  |
| 2 (イ) 2~4 人   | 6 (カ) 100~299 人 | 10 (コ) 2,000~9,999 人 |
| 3 (ウ) 5~9 人   | 7 (キ) 300~499 人 | 11 (サ) 1 万人以上        |
| 4 (エ) 10~29 人 | 8 (ク) 500~999 人 | 12 (シ) 官公庁           |
|               |                 | 13 わからない             |

問 12〔回答票 8〕あなたは労働組合に入っていますか。この中から選んでください。

**JOINUNI**

1	2	3	4
(ア)	(イ)	(ウ)	
職場の労働組合に入っている	職場以外の労働組合に入っている	入っていない	わからない

問 13〔回答票 9〕現在の仕事にどのくらい満足していますか。この中から選んでください。

**ST5JOB**

1	2	3	4	5	6
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	(オ)	
満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない

問 14〔回答票 10〕今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。

**WLKEEPJA**

1	2	3	4
(ア)	(イ)	(ウ)	
近いうちにやめるつもり	当分やめるつもりはない	まったくやめるつもりはない	わからない

問 15〔回答票 11〕今後 1 年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

自営業主が倒産などで失職する場合も含む。

**OP4UNEMP**

1	2	3	4	5
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)	
かなりある	ある程度ある	あまりない	まったくない	わからない

問 16〔回答票 12〕もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

**OP3NEWJB**

1	2	3	4
(ア)	(イ)	(ウ)	
非常に容易である	ある程度容易である	容易ではない	わからない

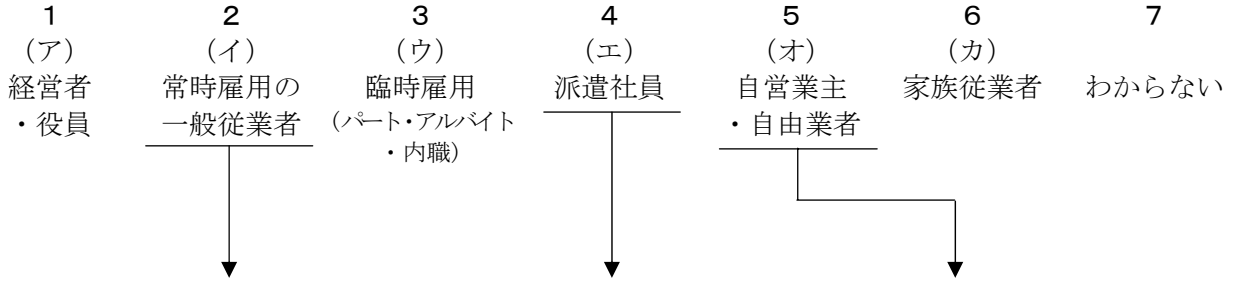


配偶者の方のお仕事について少し詳しくおうかがいします。  
2つ以上仕事をお持ちの方は、主な仕事1つについてお答えください。

問 21-1 [回答票 16] 配偶者の方の仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と5 (オ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。  
公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**SSTPJOB**



**SSTPJOBP**

問 21-2 [回答票 17] 配偶者の方の役職は、この中のどれにあたりますか。

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職  
(具体的に\_\_\_\_\_)
- 7 わからない

**SSTPJBDB**

問 21-3 それは、派遣会社に登録するタイプのものですか。

派遣会社の正社員として他社へ派遣される場合(特定派遣)は、「いいえ」となる。

- 1 はい
- 2 いいえ

**SSTPJBSE**

問 21-4 家族以外に従業員を雇っていますか (アルバイトを含みます)。

- 1 はい
- 2 いいえ

問 22 配偶者の方が働いているお勤め先は、どのような事業をしていますか。野菜の販売、自動車の製造、旅館、銀行の支店など、具体的にお聞かせください。

**SSXXHQX**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 23 配偶者の方は通常、どのような仕事をしていますか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。  
(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

**SSXXJOB**

**SSXXJOBE**

(できるだけ詳しく具体的に)

問 24 配偶者の方はその仕事を先週何日しましたか。

先週、病気や休暇などで仕事をしなかった場合は、ふだんの状態について答えてもらう。

**SSJBDWK**

週  日

問 25 配偶者の方は、通常 1 週間に何時間働くことになっていますか。所定労働時間をお答えください。自営業の方は、ご自身で定めているおよその時間をお答えください。

**SSXJBSC**

週合計で  時間

問 26 配偶者の方は、現在の会社・組織で、何年間働いてきましたか。自営業の方は、自営で働き始めてからの年数をお答えください。

**SSSZWKYR**

年間

1 年未満の場合は 0 (ゼロ) と記入。

問 27 [回答票 18] 同じ会社・組織で働いている方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、配偶者の方自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合（公立学校の教師、消防署員など）は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**SSSZSTFA**

- |               |                 |                      |
|---------------|-----------------|----------------------|
| 1 (ア) 1 人     | 5 (オ) 30~99 人   | 9 (ケ) 1,000~1,999 人  |
| 2 (イ) 2~4 人   | 6 (カ) 100~299 人 | 10 (コ) 2,000~9,999 人 |
| 3 (ウ) 5~9 人   | 7 (キ) 300~499 人 | 11 (サ) 1 万人以上        |
| 4 (エ) 10~29 人 | 8 (ク) 500~999 人 | 12 (シ) 官公庁           |
|               |                 | 13 わからない             |

(配偶者がいる方に)

問 28 配偶者の方の年齢を教えてください。

**SPAGEX**

歳

問 29 配偶者の方とは一緒に暮らしていますか。

**SPLVTG**

- 1 同居                      2 別居 (単身赴任中)                      3 別居 (その他の理由)

(全員に)

問 30-1 あなた自身のお父様とお母様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。  
二世帯住宅などの判断は回答者に任せるが、迷うときには「台所が同じ場合を同居とお考えください」と答える。

問 30-2 お父様、お母様の年齢を教えてください。

問 30-3 [回答票 19] お父様、お母様の現在の婚姻状態を教えてください。

問 30-4 お父様、お母様は、現在、収入をともなう仕事をしていますか。

	問 30-1 同居・死亡	問 30-2 年齢 <small>死亡の場合聞かない</small>	問 30-3 [回答票 19] 婚姻状態 <small>死亡の場合聞かない</small>	問 30-4 仕事の有無 <small>死亡の場合聞かない</small>
父親	<b>PPLVTG</b> 1 同居 2 別居 3 死亡	<b>PPAGE</b> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 歳	<b>PPMG</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	<b>PPJOB</b> 1 している 2 していない
母親	<b>MMLVTG</b> 1 同居 2 別居 3 死亡	<b>MMAGE</b> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 歳	<b>MMMGM</b> 1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	<b>MMJOB</b> 1 している 2 していない

問 31-1 これまでにおもちになったお子様は何人ですか。独立した方、亡くなった方も含めてお答えください。  
いない場合は0(ゼロ)と記入。養子・連れ子について尋ねられた場合は、含めて答えてもらう。

CCNUMTTL  人 (6人以上の場合は、補助用紙を使用)

そのお子様全員についてうかがいます。

問 31-2 そのお子様の性別を教えてください。

問 31-3 そのお子様はご存命ですか。ご存命の場合、あなたと一緒に暮らしていますか。

問 31-4 そのお子様の年齢を教えてください。

問 31-5 [回答票 19] そのお子様の現在の婚姻状態を教えてください。

問 31-6 そのお子様は、現在、収入をともなう仕事をしていますか。

	CC**SEX 問 31-2 性別	CC**LVTG 問 31-3 同居・死亡	CC**AGE 問 31-4 年齢 <small>死亡の場合聞かない</small>	CC**MG 問 31-5 [回答票 19] 婚姻状態 <small>死亡の場合聞かない</small>	CC**JOB 問 31-6 仕事の有無 <small>死亡の場合聞かない</small>
第1子	1 男 2 女	1 同居 2 別居 3 死亡	<input type="text"/> <input type="text"/> 歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第2子	1 男 2 女	1 同居 2 別居 3 死亡	<input type="text"/> <input type="text"/> 歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第3子	1 男 2 女	1 同居 2 別居 3 死亡	<input type="text"/> <input type="text"/> 歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第4子	1 男 2 女	1 同居 2 別居 3 死亡	<input type="text"/> <input type="text"/> 歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない
第5子	1 男 2 女	1 同居 2 別居 3 死亡	<input type="text"/> <input type="text"/> 歳	1 (ア) 現在、配偶者がいる 2 (イ) 離別 3 (ウ) 死別 4 (エ) 未婚	1 している 2 していない

**【続柄コード表】** 養父母・継父母、養子・連れ子も、実親・実子と同じように扱う。

00 本人			30 孫(男)	40 本人の父	50 兄	60 本人の祖父	
01 夫	11 長男	21 長女	31 孫(女)	41 本人の母	51 弟	61 本人の祖母	
02 妻	12 次男	22 次女		42 配偶者の父	52 姉	62 配偶者の祖父	
	13 三男	23 三女		43 配偶者の母	53 妹	63 配偶者の祖母	
	14 長男の妻	24 長女の夫					
	15 次男の妻	25 次女の夫					97 その他・不明
	16 三男の妻	26 三女の夫					99 無回答



問 32-1 ここまでに、あなたの配偶者、あなた自身のご両親、お子様についてうかがいました。それ以外の方で、あなたと一緒に暮らしている方はいますか。例えば、お子様の配偶者、お孫さん、ごきょうだい、配偶者のご両親などです。いらっしゃる場合、その人数を教えてください。  
 いない場合は0（ゼロ）と記入。養子・連れ子については、問31の子どもの中に含めてもらう。

**SZFFOTHR**  人 (5人以上の場合は、補助用紙を使用)

問 32-2 その全員について、あなたからみた続柄、性別、年齢を教えてください。  
 続柄は「続柄コード表」を参照し、具体的に記入した上で  にコードを記入する。回答者本人からみた続柄であることに注意する。

FFH**REL 回答者からみた続柄	コード記入	FFH**SEX 性別	FFH**AGE 年齢
(1) _____	<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
(2) _____	<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
(3) _____	<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳
(4) _____	<input type="text"/>	1 男 2 女	<input type="text"/> 歳

問 33 あなたと一緒に暮らしている方は、あなたをのぞいて何人になりますか。  
 同居者の人数が、同居の配偶者+同居の父母+同居の子ども+その他の同居家族数になっていることを確認する。

**SZFFONLY**  同居者 + 本人（1人） = 合計 **SZFF TTL**  人

問 34 あなたの家の世帯主はどなたですか。「本人」、「夫」、「夫の母」など、あなたからみた続柄でお答えください。  
 具体的に続柄を記入した上で  にコードを記入する。戸籍にかかわらず、回答者が世帯主と認識している人を記入し、必ず1名に絞ってもらう。

**FFHEAD**

問 35-1 あなたには、ここにあげるような理由で（〔回答票 20〕を見せる）一時的に離れて暮らしているご家族がいますか。例えば、「単身赴任」や「離れた大学に通う」等の理由です。いらっしゃる場合、何人ですか。いない場合は0（ゼロ）と記入し、問37へ。結婚して家を離れている子どもは含めない。

**SZFFOUT**  人 (5人以上の場合は、補助用紙を使用)

問 35-2 その全員について、うかがいます。

	一時的な別居家族(1)	一時的な別居家族(2)	一時的な別居家族(3)	一時的な別居家族(4)
<b>FFO**REL</b> A あなたからみた続柄を教えてください。具体的に記入した上で <input type="text"/> にコードを記入する。	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<b>FFO**WHY</b> 〔回答票 20〕 B その方と一時的に離れて暮らしている、主な理由を教えてください。	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他 ( )	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他 ( )	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他 ( )	1 (ア)あなたの仕事の都合 2 (イ)あなたの学業 3 (ウ)家族の仕事の都合 4 (エ)家族の学業 5 (オ)長期入院 6 (カ)老人・福祉施設に入所 7 (キ)その他 ( )

問 36-1 [回答票 21] 現在、あなたの生計をまかなう収入源は何ですか。この中から、あてはまるものをすべて選んでください。

問 36-2 [回答票 21] そのうち、一番中心となる収入源を1つだけ答えてください。

問 36-1 であてはまるものが1つしかなければ、問 36-2 では同じものに○をつける。

		問 36-1 あてはまる収入源 すべてに○	INCMAIN 問 36-2 中心となる収入源 1つだけに○
INCSELF	自分の収入	1 (ア)	1 (ア)
INCSP	配偶者の収入	2 (イ)	2 (イ)
INCPAR	親の収入	3 (ウ)	3 (ウ)
INCFAM	配偶者・親以外の家族の収入	4 (エ)	4 (エ)
INCPEN	年金	5 (オ)	5 (オ)
INCUEB	失業保険	6 (カ)	6 (カ)
INCSAVE	貯蓄	7 (キ)	7 (キ)
INCSOC	社会福祉 (生活保護、福祉手当等)	8 (ク)	8 (ク)
INCIRR	不定期的な仕事	9 (ケ)	9 (ケ)
INCOTHER	その他 (具体的に_____)	10 (コ)	10 (コ)
INCNOKN	わからない	11	11
「その他」の具体的記述から追加		12 は調査後の追加コード	
INCRENT	賃貸料所得		12

問 37 [回答票 22] かりに現在の日本の社会全体を、次のような 10 段階の層に分けるとすれば、あなた自身はこのどれに入るとお考えですか。

OP10LVL

一番上    1    2    3    4    5    6    7    8    9    10    一番下

問 38 [回答票 23] あなたが現在、お住まいの地域は、どのような地域だと思えますか。最も近いものを1つ選んでください。

SIZEHMT

1 (ア) 大都市の中心部	2 (イ) 大都市の郊外	3 (ウ) 中小都市	4 (エ) 町村部	5 (オ) 人家がまばらな 農山漁村
---------------------	--------------------	------------------	-----------------	-----------------------------

問 39-1 [回答票 24] 昨年 1 年間のあなたの家の世帯収入は、この中のどれにあたりますか。税金を差し引く前の収入でお答えください。仕事からの収入だけでなく、株式配当、年金、不動産収入などすべての収入を合わせてください。

問 39-2 [回答票 24] そのうち、あなたご自身の収入はどのくらいですか。仕事以外からの収入も含めてください。

問 39-3 (仕事をしている方にのみ質問) [回答票 24] あなたの収入は、先ほどかがった主なお仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

問 1-1 で 1 (ア)「仕事をした」または 2 (イ)「先週は仕事を休んだ」と回答した者にのみ質問する。3 (ウ)「仕事をしていない」の場合は、問 39-3 の 23 に○をつけ、問 39-4 へ。

問 39-4 (現在、配偶者がいる方にのみ質問) [回答票 24] 配偶者の方の収入についても教えてください。仕事以外からの収入も含めてください。

問 18 で 1 (ア)「現在配偶者がいる」と 6「同棲中」と回答した者にのみ質問する。問 18 でそれ以外に回答した場合は、問 39-4 と問 39-5 の 22 に○をつけ、問 40 へ。

問 39-5 (配偶者が仕事をしている方に) [回答票 24] 配偶者の方の収入は、先ほどかがった主な仕事からの収入だけに限ると、どのくらいになりますか。

問 19-1 で 1 (ア)「仕事をした」または 2 (イ)「先週は仕事を休んだ」と回答した者にのみ質問する。3 (ウ)「仕事をしていない」の場合は、問 39-5 の 23 に○をつけ、問 40 へ。

	SZHSINCM 問 39-1 世帯全体 ↓	SZINCOMA 問 39-2 本人 ↓	SZINCOMX 問 39-3 本人の 主な仕事 ↓	SSSZINCA 問 39-4 配偶者 ↓	SSSZINCM 問 39-5 配偶者の 主な仕事 ↓
なし	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)
70 万円未満	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)
70～100 万円未満	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)
100～130 万円未満	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)
130～150 万円未満	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)
150～250 万円未満	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)
250～350 万円未満	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)
350～450 万円未満	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)
450～550 万円未満	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)
550～650 万円未満	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)
650～750 万円未満	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)
750～850 万円未満	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)
850～1,000 万円未満	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)
1,000～1,200 万円未満	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)	14 (セ)
1,200～1,400 万円未満	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)	15 (ソ)
1,400～1,600 万円未満	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)	16 (タ)
1,600～1,850 万円未満	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)	17 (チ)
1,850～2,300 万円未満	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)	18 (ツ)
2,300 万円以上	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)	19 (テ)
回答したくない	20	20	20	20	20
わからない	21	21	21	21	21
配偶者はいない	※	※	※	22 ----->	22
仕事はしていない	※	※	23	※	23

問 40-1 あなたの兄弟姉妹は何人ですか。亡くなった方も含めてお答えください。

いない場合は0(ゼロ)を記入。養子・連れ子などの場合に、誰を「兄弟姉妹」に含むかは本人の判断にまかせる。

	XNUMBROE	XNUMSISE	XNUMBROY	XNUMSISY
あなたの兄弟姉妹	兄	姉	弟	妹
	人	人	人	人

問 40-2 現在、結婚されている方（あるいは配偶者の方と死別された方）は、配偶者の兄弟姉妹についても人数を教えてください。亡くなった方も含めてお答えください。

配偶者が死別の場合にも尋ねる。未婚や離別の人には聞かない。いない場合は0(ゼロ)を記入。

	XSSNBROE	XSSNSISE	XSSNBROY	XSSNSISY
配偶者の兄弟姉妹	兄	姉	弟	妹
	人	人	人	人

あなたが子どもの頃のことについておうかがいします。

問 41-1 あなたが15歳の頃、どちらにお住まいでしたか。都道府県名をお答えください。

外国の場合は「外国」と記入し、これ以降の質問にも回答してもらおう。

**PREF15**  都道府県    **コード** **調査員は記入不要**

問 41-2 [回答票 25] 当時、お住まいの地域は、この中のどれにあたったと思いますか。

**TP5LOC15**

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| <b>1</b> | <b>2</b> | <b>3</b> | <b>4</b> |
| (ア)      | (イ)      | (ウ)      | (エ)      |
| 大都市      | 中小都市     | 町        | 村        |

問 41-3 そこは農山漁村地域でしたか。

**REMOTE15**

- 1 はい                      2 いいえ

問 42-1〔回答票 26〕あなたが 15 歳の頃のお父さんの仕事についておうかがいします。お父さんの仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と 4 (エ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。  
公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**PPJBT15**

- |                        |                            |  |                           |                   |                          |                         |            |
|------------------------|----------------------------|--|---------------------------|-------------------|--------------------------|-------------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>経営者<br>・役員 | 2<br>(イ)<br>常時雇用の<br>一般従業者 | 3<br>(ウ)<br>臨時雇用<br>(パート・アルバイト<br>・内職) | 4<br>(エ)<br>自営業主<br>・自由業者 | 5<br>(オ)<br>家族従業者 | 6<br>(カ)<br>働いて<br>いなかった | 7<br>(キ)<br>父は<br>いなかった | 8<br>わからない |
|------------------------|----------------------------|--|---------------------------|-------------------|--------------------------|-------------------------|------------|
- 問 45 へ

問 42-2〔回答票 27〕当時のお父さんの役職は、この中のどれにあたりますか。

**PPJBT15P**

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職 (具体的に\_\_\_\_\_)
- 7 わからない

問 43 お父さんはどのような仕事をしていましたか。仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)。

**PPJBXX15**

(できるだけ詳しく具体的に。会社名のみは不可)

問 44〔回答票 28〕お父さんが働いていた会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。お父さんの職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、お父さん自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いていた方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合 (公立学校の教師、消防署員など) は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**PPJBSZ15**

- |                 |                             |                               |                                |                                  |                 |            |
|-----------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-----------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>1 人 | 2<br>(イ)<br>小企業<br>(2~29 人) | 3<br>(ウ)<br>中企業<br>(30~299 人) | 4<br>(エ)<br>大企業<br>(300~999 人) | 5<br>(オ)<br>大手大企業<br>(1,000 人以上) | 6<br>(カ)<br>官公庁 | 7<br>わからない |
|-----------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-----------------|------------|

問 45〔回答票 29〕あなたが 15 歳の頃、お母さんは仕事をもって働いていましたか。働いていた場合には、この中のどれにあたりますか。

**MMJBTP15**

- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 (ア) 仕事はもっていなかった</li> <li>2 (イ) 臨時雇用・パート・アルバイト</li> <li>3 (ウ) 常時雇用 一般職 役職なし</li> <li>4 (エ) " 管理職</li> <li>5 (オ) " 専門的な仕事 (看護師・教師など)</li> <li>6 (カ) " 仕事内容はわからない</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>7 (キ) 自営業・家族従業者 農林漁業</li> <li>8 (ク) " 農林漁業以外</li> <li>9 (ケ) 内職</li> <li>10 (コ) 経営者・役員</li> <li>11 (サ) 母はいなかった</li> <li>12 わからない</li> </ol> |
|--|---|

問 46 [回答票 30] あなたが最後に通った（または現在通っている）学校は次のどれにあたりますか。あなたの配偶者やご両親についてもわかる範囲でお答えください。なお、中退も卒業と同じ扱いでお答えください。

配偶者については死別の場合にも尋ねる。

最後に通った学校が専門学校という場合には、以下のようにする。

高等専門学校（工業分野を中心として、中学卒業後に入る5年一貫の高等教育機関）→10（コ）に○をする。

戦後の専修学校の一般課程・専門課程・高等課程（一般に専門学校と呼ばれるもの）→その学校に入る前にいた学校について尋ねる。

戦前の専門学校→6（カ）に○をする。

（注）（コ）と答えた人には、高専と専修学校・専門学校とを混同していないか尋ねる。

		XXLSTSCH	SSLSTSCH	PPLSTSCH	MMLSTSCH
		本人	配偶者	父親	母親
		↓	↓	↓	↓
戦	(ア) 旧制尋常小学校（国民学校を含む）	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)	1 (ア)
	(イ) 旧制高等小学校	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)	2 (イ)
	(ウ) 旧制中学校・高等女学校	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)	3 (ウ)
	(エ) 旧制実業・商業学校	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)	4 (エ)
	(オ) 旧制師範学校	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)	5 (オ)
前	(カ) 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)	6 (カ)
	(キ) 旧制大学・旧制大学院	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)	7 (キ)
<hr/>					
戦	(ク) 新制中学校	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)	8 (ク)
	(ケ) 新制高校	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)	9 (ケ)
	(コ) 新制高専（注）	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)	10 (コ)
	(サ) 新制短大	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)	11 (サ)
	(シ) 新制大学	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)	12 (シ)
後	(ス) 新制大学院	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)	13 (ス)
	わからない	14	14	14	14
	結婚したことはない・離別した	※	15	※	※

問 47 あなたは最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

「3 在学中」の場合には、学年を尋ねる。

**DOLSTSCH**

1 卒業

2 中退

**XGRADE**

3 在学中（\_\_\_\_\_年生）

問 48 あなたは専門学校・専修学校に通ったことがありますか。旧制専門学校や新制高専は含みません。

**XSPSCH**

1 通ったことがある

2 通ったことがない

問 49（問 46 の配偶者の学歴について答えた人にのみ）あなたの配偶者は最後に通った学校を卒業しましたか。中退しましたか。それとも、現在、在学中ですか。

「3 在学中」の場合には、学年を尋ねる。

**SSDOLSTS**

1 卒業

2 中退

**SSXGRADE**

3 在学中（\_\_\_\_\_年生）

問 50（問 46 の配偶者の学歴について答えた人にのみ）あなたの配偶者は専門学校・専修学校に通ったことがありますか。旧制専門学校や新制高専は含みません。

**PSPSCH**

1 通ったことがある

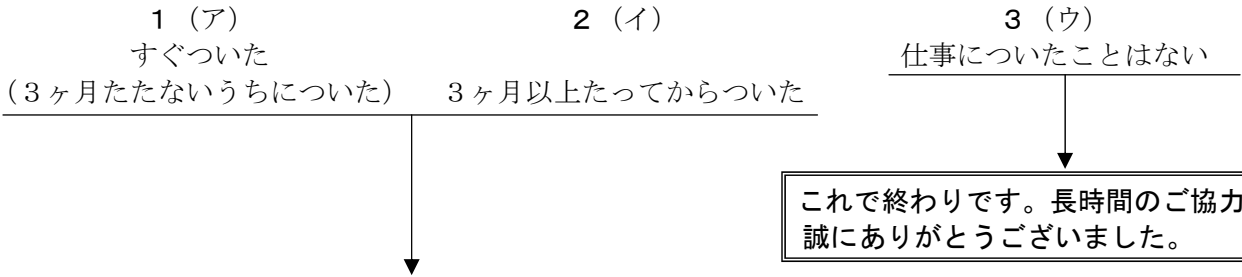
2 通ったことがない

あなたが学校教育終了後、最初についた仕事についておうかがいします。

学校を中退している場合は、中退後に最初についた仕事について尋ねる。兵役は除く。兵役後についた仕事について尋ねる。  
 在学中の就業を、回答者が初めての仕事と捉えていれば、それについて尋ねる。

問 51 [回答票 31] あなたは、学校教育終了後、すぐに仕事につきましたか。

**XGETJOB**



問 52-1 [回答票 32] あなたが最初についた仕事は、大きく分けて、この中のどれにあたりますか。

1 (ア)「経営者」と 5 (オ)「自営業主」のどちらを選択するかは、回答者自身の判断に任せる。  
 公務員の場合でも、これ以降の質問に回答してもらう。

**TPFSTJB**

- |                        |                            |  |                  |                           |                   |            |
|------------------------|----------------------------|--|------------------|---------------------------|-------------------|------------|
| 1<br>(ア)<br>経営者<br>・役員 | 2<br>(イ)<br>常時雇用の<br>一般従業者 | 3<br>(ウ)<br>臨時雇用<br>(パート・アルバイト<br>・内職) | 4<br>(エ)<br>派遣社員 | 5<br>(オ)<br>自営業主<br>・自由業者 | 6<br>(カ)<br>家族従業者 | 7<br>わからない |
|------------------------|----------------------------|--|------------------|---------------------------|-------------------|------------|
- ↓

問 52-2 [回答票 33] 当時のあなたの役職は、この中のどれにあたりますか。

**TPFSTJBP**

- 1 (ア) 役職なし
- 2 (イ) 職長・班長・組長など
- 3 (ウ) 係長 (係長相当)
- 4 (エ) 課長 (課長相当)
- 5 (オ) 部長 (部長相当)
- 6 (カ) その他の役職 (具体的に\_\_\_\_\_)
- 7 わからない

問 53 あなたが最初についた仕事の内容を具体的にお聞かせください。(例えば、小学校教員、塾の講師、農作業、バスの運転、自動車の修理、スーパーのレジ、銀行の経理、コンピュータのプログラマー、営業事務、化粧品の外回り営業……というように)

**XXFSTJB**

(できるだけ詳しく具体的に。)

問 54 [回答票 34] 同じ会社・組織で働いていた方の人数は、この中のどれにあたりますか。身近な職場だけではなく、会社・組織全体でお答えください。また、あなた自身、家族従業者、パートタイムの方など、働いている方すべてを含めてください。

省庁や自治体から給与を得ている場合 (公立学校の教師、消防署員など) は、すべて官公庁。公社は官公庁ではない。

**SZSTFFST**

- |              |                |                     |
|--------------|----------------|---------------------|
| 1 (ア) 1人     | 5 (オ) 30~99人   | 9 (ケ) 1,000~1,999人  |
| 2 (イ) 2~4人   | 6 (カ) 100~299人 | 10 (コ) 2,000~9,999人 |
| 3 (ウ) 5~9人   | 7 (キ) 300~499人 | 11 (サ) 1万人以上        |
| 4 (エ) 10~29人 | 8 (ク) 500~999人 | 12 (シ) 官公庁          |
|              |                | 13 わからない            |

これで終わりです。長時間のご協力、誠にありがとうございました。

〔調査員記入〕

F1 回答者はインタビューにどれくらい協力的でしたか。

**COOP**

- |        |                 |                   |                   |
|--------|-----------------|-------------------|-------------------|
| 1      | 2               | 3                 | 4                 |
| とても協力的 | どちらかといえば<br>協力的 | それほど<br>協力的ではなかった | まったく<br>協力的ではなかった |

F2 回答者の質問への理解度はどうでしたか。

**USTAND**

- |       |            |         |          |
|-------|------------|---------|----------|
| 1     | 2          | 3       | 4        |
| 非常に良い | どちらかといえば良い | あまり良くない | まったく良くない |

F3 質問内容が不明瞭（回答者が理解していない）と思われる質問はどれでしたか。

(できるだけ詳しく具体的に)

F4 その他（どんなことでも結構ですから、気づいた点をご記入ください。）

(謝礼や回答者の反応など、できるだけ詳しく具体的に)

F5 回答者の住んでいる地域は以下のどれですか。

**AREA**

- 1 工場の多い地域
- 2 商店・事業所の多い地域
- 3 主に古くからの住宅地（戦前からの住宅地）
- 4 主に新興住宅地（戦後できたニュータウンを含む）
- 5 農山漁村
- 6 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

F6 面接票と留置票のどちらを先に実施しましたか。

**PROC**

- |        |        |
|--------|--------|
| 1 面接が先 | 2 留置が先 |
|--------|--------|

F7 この面接調査票の調査時刻、所要時間を必ず記録して下さい。

所要時間は、インタビューの時間であり、調査依頼のための説明時間は含まない。

**DURATION**

この面接調査票の調査時刻		所要時間
(開始) _____時_____分頃	(終了) _____時_____分頃	およそ_____分



. 9 面接調査票 回答票 (サンプル) JGSS-2010

面接調査では、ほとんどの設問において調査対象者に下記のような回答票を示して、該当する番号を答えてもらっている。下記は実際に使用した回答票を縮小したものである。

問 1-1

〔回答票 1〕

---

(ア) 仕事をした

(イ) 仕事をもっているが、  
病気、休暇などで先週は仕事を休んだ

(ウ) 仕事をしていない

問 11

〔回答票 7〕

---

(ア) 1 人

(イ) 2 ~ 4 人

(ウ) 5 ~ 9 人

(エ) 10 ~ 29 人

(オ) 30 ~ 99 人

(カ) 100 ~ 299 人

(キ) 300 ~ 499 人

(ク) 500 ~ 999 人

(ケ) 1,000 ~ 1,999 人

(コ) 2,000 ~ 9,999 人

(サ) 1 万人以上

(シ) 官公庁

問 35-2 B

〔回答票 2 0〕

---

(ア) あなたの仕事の都合

(イ) あなたの学業

(ウ) 家族の仕事の都合

(エ) 家族の学業

(オ) 長期入院

(カ) 老人・福祉施設に入所

(キ) その他 ( )

問 37

〔回答票 2 2〕

---

一番上

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

一番下

文部省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

## 生活と意識についての国際比較調査

留置調査票  
2000年10月

調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所

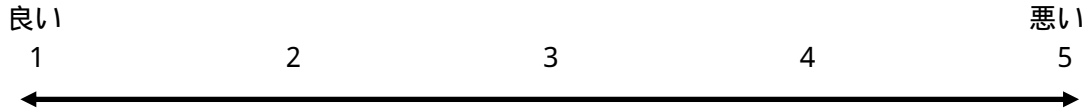


Q9 あなたは、仕事とかかわりの深い実務講座（資格取得目的など）や仕事とかかわりの少ない教養講座（文化教室など）を受講したことがありますか。

	現在受講 している	現在はしていないが 過去に受講したことがある	受講した ことはない
XLRNJB A 実務講座（資格目的など）.....	1 .....	2 .....	3
XLRNCLTR B 教養講座（文化教室など）.....	1 .....	2 .....	3

Q10 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ



Q11 かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入るとお思いますか。

OP5LEVK

1	2	3	4	5
上	中の上	中の中	中の下	下

Q12 あなたは一般に、三世同居（親・子・孫の同居）は望ましいことだと考えますか。

OP2GNR

1 望ましい	2 望ましくない
--------	----------

Q13 A～Dの意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 一般に、結婚生活がうまくいかず幸せでない場合、子どもにとっては、両親が離婚に踏み切った方がよい。

Q4CCDVY

1 賛成	2 どちらかといえは賛成	3 どちらかといえは反対	4 反対
------	--------------	--------------	------

B 一般に、結婚生活がうまくいかず幸せでない場合、妻にとっては、離婚に踏み切った方がよい。

Q4WWDVY

1 賛成	2 どちらかといえは賛成	3 どちらかといえは反対	4 反対
------	--------------	--------------	------

C 一般に、結婚生活がうまくいかず幸せでない場合、夫にとっては、離婚に踏み切った方がよい。

Q4HHDVY

1 賛成	2 どちらかといえは賛成	3 どちらかといえは反対	4 反対
------	--------------	--------------	------

D 男性も身の回りのことや炊事の仕方を身につけるべきだ。

Q4MNCKY

1 賛成	2 どちらかといえは賛成	3 どちらかといえは反対	4 反対
------	--------------	--------------	------

Q14 あなたは、死後の世界を信じますか。

QAFTRDTH

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

Q15 現在、少年法の改正が議論されていますが、あなたはどうお考えですか。

OP3JVLWY

- 1 少年法を変え、今よりも厳罰にすべきだ
- 2 少年法は変えるべきだが、厳罰化は望ましくない
- 3 今のままでよい
- 4 わからない

Q16 あなたは、死刑制度に賛成ですか、反対ですか。

Q2DTHPY

- 1 賛成
- 2 反対
- 3 わからない

Q17 犯罪者に対する、ここ数年の裁判所の判決について、あなたはどうお考えですか。

OP5JUDGE

- |           |             |           |                 |                |       |
|-----------|-------------|-----------|-----------------|----------------|-------|
| 1         | 2           | 3         | 4               | 5              | 6     |
| 厳し<br>すぎる | 少し<br>厳しすぎる | 適当<br>である | もう少し厳し<br>くすべきだ | もっと厳しく<br>すべきだ | わからない |

Q18 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行（仕事以外）をしますか。

FQ5STRIP

- |      |        |      |        |      |
|------|--------|------|--------|------|
| 1    | 2      | 3    | 4      | 5    |
| 月に数回 | 月に1回程度 | 年に数回 | 年に1回程度 | 全くなし |

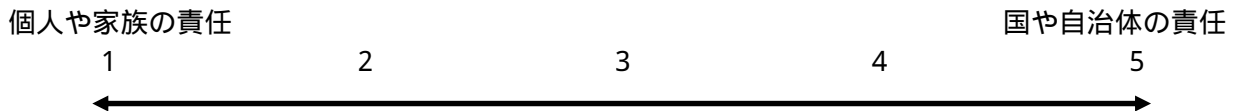
Q19 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

	ほとんど 毎日	週に 数回	週に1 回程度	月に1 回程度	年に 数回	年に1 回程度	全く なし
FQ7FFDNR A 家族そろった夕食 ----	1	2	3	4	5	6	7
FQ7FRSEE B 友人との 会食や集まり -----	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CKDNR C 夕食の用意 -----	1	2	3	4	5	6	7
FQ7WASH D 洗濯 -----	1	2	3	4	5	6	7
FQ7SHOP E 買い物 ----- (日用品や食料品の買い物)	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CLEAN F 家の掃除 -----	1	2	3	4	5	6	7

Q20 高齢者の生活保障や医療・介護は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。下記の尺度の上の番号（1～5）を1つ選んでください。

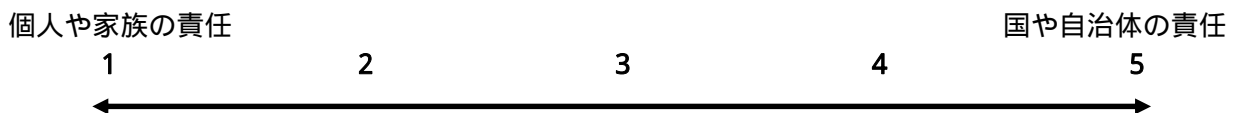
A 高齢者の生活保障（生活費）

OP5SRWFY



B 高齢者の医療・介護

OP5SRMDY



Q21 政府は、個人や企業のすべきことまで、やりすぎているでしょうか。または、もっと多くの役割を担うべきでしょうか。

**OP5LGGOZ**

政府はもっと多くの  
役割を担うべきだ

政府は多くの役割を  
担いすぎている

わからない



Q22 次に国民と選挙や政治とのかかわりについての意見があげてあります。A~Dそれぞれについて、あなたのお気持ちに近いものを1つあげてください。

		賛成	どちらかと いえば賛成	どちらかと いえば反対	反対
<b>Q4NOPWR</b>	A 自分のようなふつ々の市民には、 政府のすることに対して、それを 左右する力はない -----	1	2	3	4
<b>Q4GVC MPL</b>	B 政治や政府は複雑なので、自分 は何をやっているのかよく理解で きない -----	1	2	3	4
<b>Q4VOTE</b>	C 選挙では大勢の人々が投票するの だから、自分一人くらい投票しな くてもかまわない -----	1	2	3	4
<b>Q4MDIET</b>	D 国会議員は、大ざっぱに言って、 当選したらすぐ国民のことを考え なくなる -----	1	2	3	4

Q23 以下の問題に対する政府の支出について、あなたはどのように思いますか。

		多すぎる	適 当	少なすぎる	わからない
<b>BD3ENVA</b>	A 環境問題 -----	1	2	3	4
<b>BD3CRIME</b>	B 犯罪の取締 -----	1	2	3	4
<b>BD3EDUC</b>	C 教育 -----	1	2	3	4
<b>BD3SAFTY</b>	D 安全保障 -----	1	2	3	4
<b>BD3ODA</b>	E 海外援助 -----	1	2	3	4
<b>BD3CNSTR</b>	F 道路河川などの土木事業 -----	1	2	3	4
<b>BD3WFR</b>	G 社会保障・年金 -----	1	2	3	4
<b>BD3EMPLY</b>	H 雇用・失業対策 -----	1	2	3	4

Q24 知事候補として女性が立候補した場合に、適任であれば、あなたは彼女に投票しますか。

**ELWNGVNR**

1 はい                      2 いいえ                      3 わからない

Q25 あなたに課せられている所得税は、高いと思いますか。

**OP6TAXHI**

1                      2                      3                      4                      5                      6                      7  
低 い                      やや低い                      適 切                      やや高い                      高 い                      わからない                      課せられていない



Q30 あなたは、次あげる会や組織に入っていますか。

MEMPLTGP	A 政治関係の団体や会 -----	1	はい	.....	2	いいえ
MEMIND	B 業界団体・同業者団体 -----	1	はい	.....	2	いいえ
MEMVLNTR	C ボランティアのグループ -----	1	はい	.....	2	いいえ
MEMCIVIL	D 市民運動・消費者運動のグループ --	1	はい	.....	2	いいえ
MEMRRL	E 宗教の団体や会 -----	1	はい	.....	2	いいえ
MEMSPORT	F スポーツ関係のグループやクラブ --	1	はい	.....	2	いいえ
			└───────────▶ (具体的に		XXMEMSP	)
MEMHOBBY	G 趣味の会(コーラス・写真・山歩きなど)	1	はい	.....	2	いいえ
			└───────────▶ (具体的に		XXMEMHOB	)

Q31 あなたは、以下の事項をどのくらい行いますか。

		よくする	時々する	あまりしない	全くしない /知らない			
FQ4SHOGI	A 将棋 -----	1	.....	2	.....	3	.....	4
FQ4IGO	B 囲碁 -----	1	.....	2	.....	3	.....	4
FQ4MAJON	C 麻雀 -----	1	.....	2	.....	3	.....	4
FQ4NBS	D ナンバース・ミニロト -----	1	.....	2	.....	3	.....	4
FQ4LOTTO	E 宝くじ -----	1	.....	2	.....	3	.....	4
FQ4HORSE	F 競馬 -----	1	.....	2	.....	3	.....	4
FQ4PACHI	G パチンコ・パチスロ -----	1	.....	2	.....	3	.....	4
FQ4KARA	H カラオケ -----	1	.....	2	.....	3	.....	4
FQ4FISH	I 釣り -----	1	.....	2	.....	3	.....	4
FQ4JOG	J ジョギングやテニスなどのスポーツ -----	1	.....	2	.....	3	.....	4

Q32 あなたは、殴られたり暴行を受けた経験がありますか。

XBEATEN

1  は  い                      2  い  い  え

付問(1) それは子どもの時ですか、大人になってからですか。

WHENBEAT

1 子どもの時              2 大人になってから              3 両方

---

付問(2) それは誰からですか。

WHOMBEAT

1 家族から              2 他人から              3 両方

Q33 あなたの家から1キロ(徒歩15分程度)以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

FEARWALK

1  は  い                      2  い  い  え

Q34 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

XSTOLN1Y

1  は  い                      2  い  い  え



Q35 過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと(例えば、強盗、恐喝やひったくり)がありますか。

XROBBD1Y

1 はい 2 いいえ

Q36 過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと(例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死)を何回経験しましたか。

XTRAUM5Y

0 1 2 3 4  
なし 1回 2回 3回 4回以上

Q37 あなたの町に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

QFNRRINCR

1 賛成 2 反対

Q38 あなたは外国人と、次のようなつき合いを、日本国内でしたことがありますか。あればいくつでも選んでください。

- XFNHLLO 1 近くに住んでいる外国人とあいさつをかわしたことがある
  - XFNWORK 2 一緒に働いたことがある
  - XFNSTDY 3 学校で一緒に勉強したことがある
  - XFNACT 4 サークルや地域で一緒に活動したことがある
  - XFNMEAL 5 食事に招待したり、されたりしたことがある
  - XFNSTAY 6 自分の家に泊めたり、泊まりにいったことがある
  - FFXFNMG 7 自分または家族や親せきが、日本に住んでいる外国人と結婚している
- XFNNOMK (いずれも選択していない)

Q39 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思えますか。

APPCCNUM

0 1 2 3 4 5  
0人 1人 2人 3人 4人 5人以上  
(具体的に\_\_人)  
APPCCNMX

Q40 もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

APPCCSXB

1 男の子 2 女の子

Q41 結婚した男女は、名字をどのようにしたらよいとお考えですか。

OP4NAME

- 1 当然、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のるべきだ
- 2 現状では、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のったほうがよい
- 3 夫婦は同じ名字を名のるべきだが、どちらが名字を改めてもよい
- 4 わざわざ一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままでよい

Q42 最近、墓についていろいろな議論がなされていますが、あなた自身の墓について、どのようにお考えですか。1つだけ をつけてください。

OP7CMTRA

- 1 私の家（実家）の墓に入りたい
- 2 配偶者の家の墓に入りたい
- 3 自分と配偶者の代から始まる墓に入りたい
- 4 自分と配偶者だけの墓に入りたい（ロッカー式の納骨堂を含む）
- 5 自分一人の墓に入りたい（ロッカー式の納骨堂を含む）
- 6 合葬式の共同墓（家族以外の人々を含む）に入りたい
- 7 墓に入らず、海や山への散骨にしたい

付問「共同墓に入りたい」あるいは「墓に入らず散骨にしたい」の理由はなぜですか。  
 あてはまるものすべてに をつけて下さい。

- XCMNONE 1 家または個人の墓に入りたいが、墓を守る人がいない
- XCMCARE 2 家または個人の墓に入りたいが、墓のことで子どもをわずらわせたくない
- XCMNATR 3 自然にかえりたい
- XCMSENS 4 家または個人の墓に意味が見いだせない
- XCMETC 5 その他（具体的に\_\_\_\_\_）
- XCMNOMK（いずれも選択していない）

Q43 次の A~K の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 夫に十分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい。

Q4WWJBIA

- |     |                |                |     |
|-----|----------------|----------------|-----|
| 1   | 2              | 3              | 4   |
| 賛 成 | どちらかといえば<br>賛成 | どちらかといえば<br>反対 | 反 対 |

B なんととっても女性の幸福は結婚にある。

Q4WNNMGA

- |     |                |                |     |
|-----|----------------|----------------|-----|
| 1   | 2              | 3              | 4   |
| 賛 成 | どちらかといえば<br>賛成 | どちらかといえば<br>反対 | 反 対 |

C 仕事をもつ母親も、専業主婦と同じように、暖かく安定した親子関係を築くことができる。

Q4JBMMFM

- |     |                |                |     |
|-----|----------------|----------------|-----|
| 1   | 2              | 3              | 4   |
| 賛 成 | どちらかといえば<br>賛成 | どちらかといえば<br>反対 | 反 対 |

D 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ。

Q4MNCOOK

- |     |                |                |     |
|-----|----------------|----------------|-----|
| 1   | 2              | 3              | 4   |
| 賛 成 | どちらかといえば<br>賛成 | どちらかといえば<br>反対 | 反 対 |

E 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ。

Q4WWHHX

- |     |                |                |     |
|-----|----------------|----------------|-----|
| 1   | 2              | 3              | 4   |
| 賛 成 | どちらかといえば<br>賛成 | どちらかといえば<br>反対 | 反 対 |

F なんといっても男性の幸福は結婚にある。

Q4MNMGA

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対

G 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによく影響を与える。

Q4JBMMCC

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対

H 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない。

Q4NOCCMG

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対

I 女性が自立した人間として生きるためには、仕事をもつことが最もよい。

Q4WNJB2L

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対

J 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である。

Q4WWHPHH

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対

K 一般的にいて、結婚していない人よりも結婚している人の方が幸せである。

Q4MGHAPP

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対

Q44 「親による体罰は、時により必要である」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

Q5PMSPNK

1	2	3	4	5
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらとも いえない	どちらかといえば 反対	反対

Q45 「教師による体罰は、時により必要である」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

Q5TTSPNK

1	2	3	4	5
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらとも いえない	どちらかといえば 反対	反対



Q55 あなたは、普段お酒を飲みますか。

DO7DRINK

- |      |    |       |       |    |       |      |
|------|----|-------|-------|----|-------|------|
| 1    | 2  | 3     | 4     | 5  | 6     | 7    |
| ほとんど | 週に | 週に    | 月に    | 年に | 年に    | 全くなし |
| 毎日   | 数回 | 1 回程度 | 1 回程度 | 数回 | 1 回程度 |      |

Q56 あなたは、「臓器提供意思表示カード(ドナーカード)」を持っていますか。

DOCARD

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 持っている | 2 持っていない |
|---------|----------|

付問「臓器提供意思表示カード(ドナーカード)」に署名していますか。

DO3SIGN

- 1 臓器提供の意思(一部提供も含む)を表示して、署名している
- 2 臓器提供を希望しない意思を表示して、署名している
- 3 カードは持っているが、署名していない

Q57 あなたは、信仰している宗教がありますか。

DORL

- |      |                      |      |
|------|----------------------|------|
| 1 ある | 2 特に信仰していないが、家の宗教はある | 3 ない |
|------|----------------------|------|

付問(1) それは何ですか。

XXRL

(具体的に )

付問(2) あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

DO3PIOUS

- 1 熱心である
- 2 まあまあ熱心である
- 3 そんなに熱心ではない

Q58 現在、年金を受け取っている人達に比べて、あなたが老後に受け取る年金の額は、どうなっていると思いますか。

OP5PENSN

- |            |           |        |           |            |       |            |
|------------|-----------|--------|-----------|------------|-------|------------|
| 1          | 2         | 3      | 4         | 5          | 6     | 7          |
| かなり良くなっている | 少し良くなっている | だいたい同じ | 少し悪くなっている | かなり悪くなっている | わからない | 現在年金を受けている |

Q59 政治的な考え方を、保守的から革新的までの5段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

OP5RADCA

保守的 革新的

- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|







Q67 家計の管理のことについておたずねします。あなた方ご夫婦の場合は、収入をどのように管理していますか。

**RR6ACCT**

- 1 夫のこづかい以外は、妻がすべて管理している
- 2 妻のこづかい以外は、夫がすべて管理している
- 3 日常の支出以外は、夫が管理している
- 4 すべての収入をひとつにまとめていて、夫と妻はそれぞれ必要な額をそこから支出している
- 5 夫と妻の収入を一部は一緒にしているが、大部分は夫と妻が別々に管理している
- 6 夫と妻は、それぞれの収入を別々に管理している

---

ご協力ありがとうございました。担当の調査員にお渡してください。

**WEIGHT**





文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

## 生活と意識についての国際比較調査

2001年10月  
JGSS-2001 留置調査票

調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所

Q1 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

**FQ5NEWSP**

- |           |          |              |           |             |
|-----------|----------|--------------|-----------|-------------|
| 1<br>ほぼ毎日 | 2<br>週数回 | 3<br>週 1 回程度 | 4<br>それ以下 | 5<br>全く読まない |
|-----------|----------|--------------|-----------|-------------|

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。（マンガ、雑誌を除く）

**FQ5READ**

- |               |           |           |           |           |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 0<br>ほとんど読まない | 1<br>1冊程度 | 2<br>2冊程度 | 3<br>3冊程度 | 4<br>4冊以上 |
|---------------|-----------|-----------|-----------|-----------|

Q3 平均して1日に何時間くらいテレビを見ますか。

**HRTV**

--	--

 時間くらい

Q4 この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

**OP3ECN3A**

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 1 良くなった | 2 悪くなった | 3 変わらない |
|---------|---------|---------|

Q5 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

**OP5FFINX**

- |                     |                  |           |                 |                    |
|---------------------|------------------|-----------|-----------------|--------------------|
| 1<br>平均より<br>かなり少ない | 2<br>平均より<br>少ない | 3<br>ほぼ平均 | 4<br>平均より<br>多い | 5<br>平均より<br>かなり多い |
|---------------------|------------------|-----------|-----------------|--------------------|

Q6 あなたが15歳の頃のあなたの世帯の収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

**OPFFIX15**

- |                     |                  |           |                 |                    |
|---------------------|------------------|-----------|-----------------|--------------------|
| 1<br>平均より<br>かなり少ない | 2<br>平均より<br>少ない | 3<br>ほぼ平均 | 4<br>平均より<br>多い | 5<br>平均より<br>かなり多い |
|---------------------|------------------|-----------|-----------------|--------------------|

Q7 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

**OP5CHNCA**

- |            |            |                   |            |           |
|------------|------------|-------------------|------------|-----------|
| 1<br>充分にある | 2<br>少しはある | 3<br>どちらも<br>いけない | 4<br>あまりない | 5<br>全くない |
|------------|------------|-------------------|------------|-----------|

Q8 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。

満足  不満

	( 回答例 ) ○○○○○○○	1	2	3	4	5
<b>ST5AREAY</b>	A 住んでいる地域	1	2	3	4	5
<b>ST5LEISY</b>	B 余暇の過ごし方	1	2	3	4	5
<b>ST5LIFEY</b>	C 家庭生活	1	2	3	4	5
<b>ST5ECNY</b>	D 現在の家計の状態	1	2	3	4	5
<b>ST5FRIY</b>	E 友人関係	1	2	3	4	5
<b>ST5HLTHY</b>	F 健康状態	1	2	3	4	5





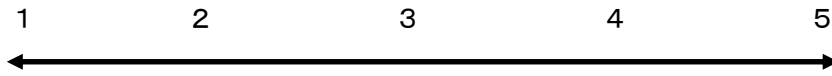
Q20 政府は、個人や企業のすべきことまで、やりすぎているでしょうか。または、もっと多くの役割を担うべきでしょうか。

**OP5LGGOZ**

政府はもっと多くの役割を担うべきだ

政府は多くの役割を担いすぎている

わからない



Q21 次に国民と選挙や政治とのかかわりについての意見があげてあります。A～D それぞれについて、あなたのお気持ちに近いものを1つあげてください。

		賛成	どちらかと いえば賛成	どちらかと いえば反対	反対
<b>Q4NOPWR</b>	A 自分のようなふつうの市民には、政府のすることに対して、それを左右する力はない ----->	1	2	3	4
<b>Q4GVCMLP</b>	B 政治や政府は複雑なので、自分には何をやっているのかよく理解できない ----->	1	2	3	4
<b>Q4VOTE</b>	C 選挙では大勢の人々が投票するのだから、自分一人くらい投票しなくてもかまわない ----->	1	2	3	4
<b>Q4MDIET</b>	D 国会議員は、大ざっぱに言って、当選したらすぐ国民のことを考えなくなる ----->	1	2	3	4

Q22 以下の問題に対する政府の支出について、あなたはどう思いますか。

		多すぎる	適 当	少なすぎる	わからない
<b>BD3ENVA</b>	A 環境問題 ----->	1	2	3	4
<b>BD3CRIME</b>	B 犯罪の取締 ----->	1	2	3	4
<b>BD3EDUC</b>	C 教育 ----->	1	2	3	4
<b>BD3SAFTY</b>	D 安全保障 ----->	1	2	3	4
<b>BD3ODA</b>	E 海外援助 ----->	1	2	3	4
<b>BD3CNSTR</b>	F 道路河川などの土木事業 ----->	1	2	3	4
<b>BD3WFR</b>	G 社会保障・年金 ----->	1	2	3	4
<b>BD3EMPLY</b>	H 雇用・失業対策 ----->	1	2	3	4

Q23 知事候補として女性が立候補した場合に、適任であれば、あなたは彼女に投票しますか。

**ELWNGVNR**

1 はい                      2 いいえ                      3 わからない

Q24 あなたに課せられている所得税は、高いと思いますか。

**OP6TAXHI**

1                      2                      3                      4                      5                      6                      7  
 低 い              やや低い              適 切              やや高い              高 い              わからない              課せられていない



Q29 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。

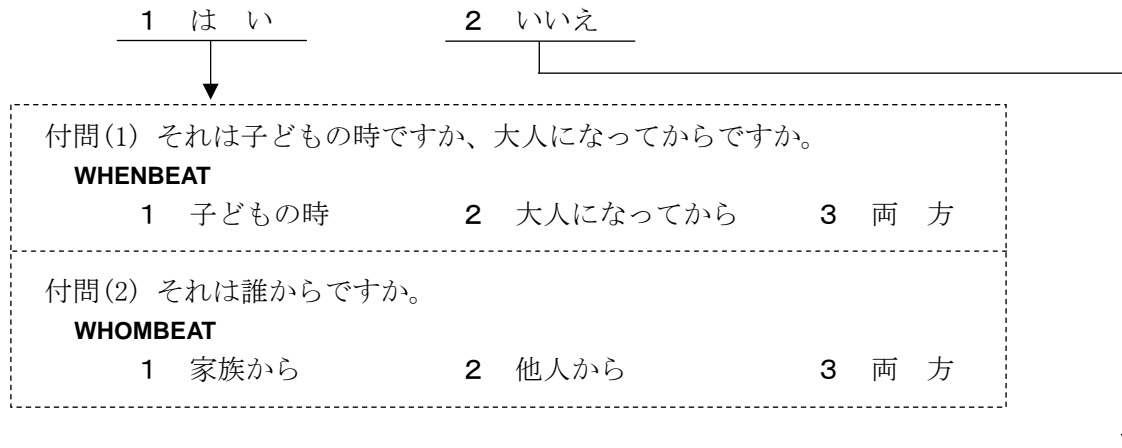
- |                 |                           |   |   |       |   |     |
|-----------------|---------------------------|---|---|-------|---|-----|
| <b>MEMPLTGP</b> | A 政治関係の団体や会 ----->        | 1 | はい  | ..... | 2 | いいえ |
| <b>MEMIND</b>   | B 業界団体・同業者団体 ----->       | 1 | はい  | ..... | 2 | いいえ |
| <b>MEMVLNTR</b> | C ボランティアのグループ ----->      | 1 | はい  | ..... | 2 | いいえ |
| <b>MEMCIVIL</b> | D 市民運動・消費者運動のグループ --->    | 1 | はい  | ..... | 2 | いいえ |
| <b>MEMRL</b>    | E 宗教の団体や会 ----->          | 1 | はい  | ..... | 2 | いいえ |
| <b>MEMSPORT</b> | F スポーツ関係のグループやクラブ --->    | 1 | はい  | ..... | 2 | いいえ |
|                 |                           |   | └──────────┬──────────> (具体的に <b>XXMEMSP</b> )  |       |   |     |
| <b>MEMHOBBY</b> | G 趣味の会 (コーラス・写真・山歩きなど) -> | 1 | はい  | ..... | 2 | いいえ |
|                 |                           |   | └──────────┬──────────> (具体的に <b>XXMEMHOB</b> ) |       |   |     |

Q30 あなたは、以下の事項をどのくらい行いますか。

- |                 |                           |   |       |   |       |   |        |   |                |
|-----------------|---------------------------|---|-------|---|-------|---|--------|---|----------------|
|                 |                           |   | よくする  |   | 時々する  |   | あまりしない |   | 全くしない<br>/知らない |
| <b>FQ4SHOGI</b> | A 将棋 ----->               | 1 | ..... | 2 | ..... | 3 | .....  | 4 |                |
| <b>FQ4IGO</b>   | B 囲碁 ----->               | 1 | ..... | 2 | ..... | 3 | .....  | 4 |                |
| <b>FQ4MAJON</b> | C 麻雀 ----->               | 1 | ..... | 2 | ..... | 3 | .....  | 4 |                |
| <b>FQ4NBS</b>   | D ナンバーズ・ミニロト ----->       | 1 | ..... | 2 | ..... | 3 | .....  | 4 |                |
| <b>FQ4LOTTO</b> | E 宝くじ ----->              | 1 | ..... | 2 | ..... | 3 | .....  | 4 |                |
| <b>FQ4TOTO</b>  | F サッカーくじ (toto) ----->    | 1 | ..... | 2 | ..... | 3 | .....  | 4 |                |
| <b>FQ4HORSE</b> | G 競馬 ----->               | 1 | ..... | 2 | ..... | 3 | .....  | 4 |                |
| <b>FQ4PACHI</b> | H パチンコ・パチスロ ----->        | 1 | ..... | 2 | ..... | 3 | .....  | 4 |                |
| <b>FQ4KARA</b>  | I カラオケ ----->             | 1 | ..... | 2 | ..... | 3 | .....  | 4 |                |
| <b>FQ4FISH</b>  | J 釣り ----->               | 1 | ..... | 2 | ..... | 3 | .....  | 4 |                |
| <b>FQ4JOG</b>   | K ジョギングやテニスなどのスポーツ -----> | 1 | ..... | 2 | ..... | 3 | .....  | 4 |                |

Q31 あなたは、殴られたり暴行をうけた経験がありますか。

**XBEATEN**



Q32 あなたの家から1キロ (徒歩15分程度) 以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

**FEARWALK**

- |   |    |  |   |     |
|---|----|--|---|-----|
| 1 | はい |  | 2 | いいえ |
|---|----|--|---|-----|

Q33 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

**XSTOLN1Y**

- |   |    |  |   |     |
|---|----|--|---|-----|
| 1 | はい |  | 2 | いいえ |
|---|----|--|---|-----|

Q34 過去 1 年間に、力づくで物品を奪い取られたこと（例えば、強盗、恐喝やひったくり）がありますか。

**XROBBD1Y**

- 1 はい 2 いいえ

Q35 過去 5 年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと（例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死）を何回経験しましたか。

**XTRAUM5Y**

- 0 1 2 3 4  
なし 1 回 2 回 3 回 4 回以上

Q36 あなたの町に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

**QFNINCR**

- 1 賛成 2 反対

Q37 あなたは外国人と、次のようなつき合いを、日本国内でしたことがありますか。あればいくつでも選んでください。

- XFNLLO** 1 近くに住んでいる外国人とあいさつをかわしたことがある  
**XFNWORK** 2 一緒に働いたことがある  
**XFNSTDY** 3 学校で一緒に勉強したことがある  
**XFNACT** 4 サークルや地域で一緒に活動したことがある  
**XFNMEAL** 5 食事に招待したり、されたりしたことがある  
**XFNSTAY** 6 自分の家に泊めたり、泊まりにいったことがある  
**FFXFNMG** 7 自分または家族や親せきが、日本に住んでいる外国人と結婚している  
**XFNNOMK** (いずれも選択していない)

Q38 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思えますか。

**APPCCNUM**

- 0 1 2 3 4 5  
0 人 1 人 2 人 3 人 4 人 5 人以上  
(具体的に\_\_\_\_人)

**APPCCNMX**

Q39 もし、子どもを 1 人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

**APPCCSXB**

- 1 男の子 2 女の子

Q40 結婚した男女は、名字をどのようにしたらよいとお考えですか。

**OP4NAME**

- 1 当然、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のるべきだ  
 2 現状では、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のったほうがよい  
 3 夫婦は同じ名字を名のるべきだが、どちらが名字を改めてもよい  
 4 わざわざ一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままよい

Q41 あなたは、家族を介護（1ヶ月以上）したことがありますか。

**XCARE**

- 1 したことがない  
 2 現在行なっている  
 3 過去に行なったことがある



Q42 最近、墓についていろいろな議論がなされていますが、あなた自身の墓について、どのようにお考えですか。1つだけ○をつけてください。

**OP7CMTRA**

- 1 私の家（実家）の墓に入りたい
- 2 配偶者の家の墓に入りたい
- 3 自分と配偶者の代から始まる墓に入りたい
- 4 自分と配偶者だけの墓に入りたい（ロッカー式の納骨堂を含む）
- 5 自分一人の墓に入りたい（ロッカー式の納骨堂を含む）
- 6 合葬式の共同墓（家族以外の人々を含む）に入りたい
- 7 墓に入らず、海や山への散骨にしたい

付問 「共同墓に入りたい」あるいは「墓に入らず散骨にしたい」の理由はなぜですか。  
あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- XCMNONE** 1 家または個人の墓に入りたいが、墓を守る人がいない
- XCMCARE** 2 家または個人の墓に入りたいが、墓のことで子どもをわずらわせたくない
- XCMNATR** 3 自然にかえりたい
- XCMSSENS** 4 家または個人の墓に意味が見いだせない
- XCMETC** 5 その他（具体的に\_\_\_\_\_）
- XCMNOMK** (いずれも選択していない)

Q43 次のA～Kの意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 夫に十分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい。

**Q4WWJBIA**

- |    |                |                |    |
|----|----------------|----------------|----|
| 1  | 2              | 3              | 4  |
| 賛成 | どちらかといえば<br>賛成 | どちらかといえば<br>反対 | 反対 |

B なんとんでも女性の幸福は結婚にある。

**Q4WNMGGA**

- |    |                |                |    |
|----|----------------|----------------|----|
| 1  | 2              | 3              | 4  |
| 賛成 | どちらかといえば<br>賛成 | どちらかといえば<br>反対 | 反対 |

C 仕事をもつ母親も、専業主婦と同じように、暖かく安定した親子関係を築くことができる。

**Q4JBMMFM**

- |    |                 |                 |    |
|----|-----------------|-----------------|----|
| 1  | 2               | 3               | 4  |
| 賛成 | どちらかとい<br>えれば賛成 | どちらかとい<br>えれば反対 | 反対 |

D 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ。

**Q4MNCOOK**

- |    |                     |                     |    |
|----|---------------------|---------------------|----|
| 1  | 2                   | 3                   | 4  |
| 賛成 | どちらかとい<br>えばと<br>賛成 | どちらかとい<br>えれば<br>反対 | 反対 |

E 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ。

**Q4WWHHX**

- |    |                     |                     |    |
|----|---------------------|---------------------|----|
| 1  | 2                   | 3                   | 4  |
| 賛成 | どちらかとい<br>えれば<br>賛成 | どちらかとい<br>えれば<br>反対 | 反対 |

F なんといっても男性の幸福は結婚にある。

**Q4MNMGA**

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対

G 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによくない影響を与える。

**Q4JBMMCC**

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対

H 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない。

**Q4NOCCMG**

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対

I 女性が自立した人間として生きるためには、仕事をもつことが最もよい。

**Q4WNJB2L**

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対

J 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である。

**Q4WWHPHH**

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対

K 一般的にいて、結婚していない人よりも結婚している人の方が幸せである。

**Q4MGHAPP**

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対

Q44 「親による体罰は、時により必要である」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

**Q5PMSPNK**

1	2	3	4	5
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらとも いけない	どちらかといえば 反対	反対

Q45 「教師による体罰は、時により必要である」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

**Q5TTSPNK**

1	2	3	4	5
賛成	どちらかといえば 賛成	どちらとも いけない	どちらかといえば 反対	反対









Q67 家計の管理のことについておたずねします。あなた方ご夫婦の場合は、収入をどのように管理していますか。

**RR6ACCT**

- 1 夫のこづかい以外は、妻がすべて管理している
- 2 妻のこづかい以外は、夫がすべて管理している
- 3 日常の支出以外は、夫が管理している
- 4 すべての収入をひとつにまとめていて、夫と妻はそれぞれ必要な額をそこから支出している
- 5 夫と妻の収入を一部は一緒にしているが、大部分は夫と妻が別々に管理している
- 6 夫と妻は、それぞれの収入を別々に管理している

---

Q68 あなたの配偶者は、家族を介護（1ヶ月以上）したことがありますか。  
(あなた自身が配偶者から介護を受けた場合も含みます)

**SSCARE**

- 1 したことがない
- 2 現在行なっている
- 3 過去に行なったことがある

---

ご協力ありがとうございました。担当の調査員にお渡してください。

**WEIGHT**



2002 年 10 月  
JGSS-2002 留置調査票

文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

## 生活と意識についての国際比較調査

調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所



Q1 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP

1 ほぼ毎日      2 週数回      3 週1回程度      4 それ以下      5 全く読まない

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ

0 ほとんど読まない      1 1冊程度      2 2冊程度      3 3冊程度      4 4冊以上

Q3 この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

OP3ECN3A

1 良くなった      2 悪くなった      3 変わらない

Q4 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

OP5FFINX

1 平均よりかなり少ない      2 平均より少ない      3 ほぼ平均      4 平均より多い      5 平均よりかなり多い

Q5 あなたが15歳の頃のあなたの世帯の収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

OPFFIX15

1 平均よりかなり少ない      2 平均より少ない      3 ほぼ平均      4 平均より多い      5 平均よりかなり多い

Q6 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

OP5CHNCA

1 充分にある      2 少しはある      3 どちらともいえない      4 あまりない      5 全くない

Q7 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。

満足 ←-----→ 不満

		( 回答例 )				
		1	2	3	4	5
	○○○○○○○○○					
ST5AREAY	A 住んでいる地域	1	2	3	4	5
ST5LEISY	B 余暇の過ごし方	1	2	3	4	5
ST5LIFEY	C 家庭生活	1	2	3	4	5
ST5ECNY	D 現在の家計の状態	1	2	3	4	5
ST5FRIY	E 友人関係	1	2	3	4	5
ST5HLTHY	F 健康状態	1	2	3	4	5

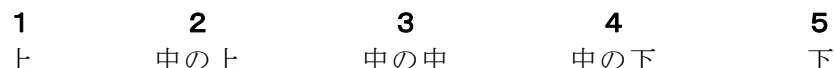
Q8 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ



Q9 かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると  
思いますか。

OP5LEVK



Q10 あなたは一般に、三世同居（親・子・孫の同居）は望ましいことだと考えますか。

OP2GNR

**1** 望ましい                      **2** 望ましくない

Q11 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

		ほとんど 毎日	週に 数回	週に1 回程度	月に1 回程度	年に 数回	年に1 回程度	全く なし
FQ7FFDNR	A 家族そろった夕食	1	2	3	4	5	6	7
FQ7FRSEE	B 友人との会食や集まり	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CKDNR	C 夕食の用意	1	2	3	4	5	6	7
FQ7WASH	D 洗濯	1	2	3	4	5	6	7
FQ7SHOP	E 買い物(日用品や食料品の買い物)	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CLEAN	F 家の掃除	1	2	3	4	5	6	7
FQ7GARB	G ゴミ出し	1	2	3	4	5	6	7

Q12 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。下記の尺度の  
上の番号（1～5）を1つ選んでください。

		個人や家族の責任			国や自治体の責任	
		<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>
←—————→						

OP5SRWFY	A 高齢者の生活保障（生活費）	1	2	3	4	5
OP5SRMDY	B 高齢者の医療・介護	1	2	3	4	5
OP5CCED	C 子どもの教育	1	2	3	4	5
OP5CCARE	D 保育・育児	1	2	3	4	5

Q13 一般的に、人は信用できると思いますか。

OP3TRUST

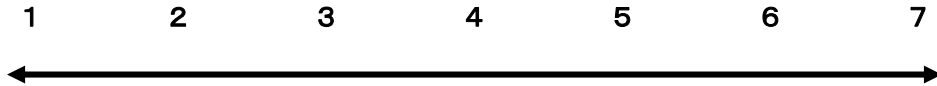
1 はい                      2 いいえ                      3 場合による

Q14 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。下記の尺度の上の番号（1～7）を1つ選んでください。

OP7GDEVO

人間の本性は  
本来「悪」である

人間の本性は  
本来「善」である



Q15 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。A～Gそれぞれについて、お答えください。

- |          |                       |        |   |    |       |   |     |
|----------|-----------------------|--------|---|----|-------|---|-----|
| MEMPLTGP | A 政治関係の団体や会           | —————> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| MEMIND   | B 業界団体・同業者団体          | —————> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| MEMVLNTR | C ボランティアのグループ         | —————> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| MEMCIVIL | D 市民運動・消費者運動のグループ     | —————> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| MEMRL    | E 宗教の団体や会             | —————> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| MEMSPORT | F スポーツ関係のグループやクラブ     | —————> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| MEMHOBBY | G 趣味の会（コーラス・写真・山歩きなど） | —————> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |

XXMEMHOB    ↘（具体的に \_\_\_\_\_）

Q16 次にあげる A～O について、あなたはどれくらい信頼していますか。

- |          |            | とても    | 少しは    | ほとんど    |       |       |   |       |   |
|----------|------------|--------|--------|---------|-------|-------|---|-------|---|
|          |            | 信頼している | 信頼している | 信頼していない | わからない |       |   |       |   |
| TR3CORPZ | A 大企業      | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3RLGPZ | B 宗教団体     | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3SCHLZ | C 学校       | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3BCRAZ | D 中央官庁     | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3UNNZ  | E 労働組合     | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3NWSPZ | F 新聞       | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3HSPLZ | G 病院       | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3TVZ   | H テレビ      | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3SPCAZ | I 裁判所      | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3ACDAZ | J 学者・研究者   | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3CGMNZ | K 国会議員     | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3CITYZ | L 市区町村議会議員 | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3DEFZ  | M 自衛隊      | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3COPZ  | N 警察       | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |
| TR3FINZ  | O 金融機関     | —————> | 1      | .....   | 2     | ..... | 3 | ..... | 4 |

Q17 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思いますか。

APPCNUM

0            1            2            3            4            5  
 0 人        1 人        2 人        3 人        4 人        5人以上(具体的に\_\_人)  
APPCNMX

Q18 もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

APPCCSXB

1 男の子                                  2 女の子

Q19 結婚した男女は、名字をどのようにしたらよいとお考えですか。

OP4NAME

- 1 当然、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のるべきだ
- 2 現状では、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のったほうがよい
- 3 夫婦は同じ名字を名のるべきだが、どちらが名字を改めてもよい
- 4 わざわざ一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままよい

Q20 あなたは、家族を介護（1ヶ月以上）したことがありますか。

XCARE

- 1 したことがない
- 2 現在行なっている
- 3 過去に行なったことがある

Q21 次のA~Iの意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

		賛 成	どちらかと いえば賛成	どちらかと いえば反対	反 対
Q4DIVOK	A 結婚しても、相手に満足できないときは いつでも離婚すればよい	1	2	3	4
Q4WWJBIA	B 夫に十分な収入がある場合には、 妻は仕事をもたない方がよい	1	2	3	4
Q4WNMGA	C なんととっても女性の幸福は結婚にある	1	2	3	4
Q4MNCOOK	D 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ	1	2	3	4
Q4WWHHX	E 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
Q4MNMGA	F なんととっても男性の幸福は結婚にある	1	2	3	4
Q4JBMCC	G 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の 子どもによく影響を与える	1	2	3	4
Q4NOCCMG	H 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4
Q4WWPHH	I 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、 夫の仕事の手助けをする方が大切である	1	2	3	4

Q22 あなたは過去1年間に、以下の事項を何回くらい行ないましたか。 (8,9)=12

A 宝くじ (ナンバーズやミニロトなどは含まない)

FQLOT

1	2	3	4	5	6
買わなかった	1～2回	3～5回	6～10回	11～20回	21回以上

SZLOT

付問 平均して1回にいくら買いますか。

(およそ \_\_\_\_\_ 円)

B サッカーくじ (toto)

FQTOTO

1	2	3	4	5	6
買わなかった	1～2回	3～5回	6～10回	11～20回	21回以上

SZTOTO

付問 平均して1回にいくら買いますか。

(およそ \_\_\_\_\_ 円)

C 公営ギャンブル (競馬、競輪、競艇など) 1日に複数レースに賭けた場合も1回と数えます。

FQRACE

1	2	3	4	5	6
賭けなかった	1～2回	3～5回	6～10回	11～20回	21回以上

NUMRACE

付問(1) 平均して1日に何レース賭けますか。

1	2	3
1～2レース	3～5レース	6レース以上

SZRACE

付問(2) 平均して1レースにいくら賭けますか。

(およそ \_\_\_\_\_ 円)

D パチンコ・パチスロ

FQPACHI

1	2	3	4	5
やらなかった	1年に数回	月に1回程度	週に1回程度	週に2～3回以上

SZPACHI

付問 1日に使う金額の上限は平均していくらですか。

(およそ \_\_\_\_\_ 円)

Q23 あなたは、以下の事項をどのくらい行ないますか。

		よくする	時々する	あまりしない	全くしない /知らない
FQ4DRIVE	A ドライブ	1	2	3	4
FQ4KARA	B カラオケ	1	2	3	4
FQ4MOVIE	C 映画鑑賞 (ビデオを含む)	1	2	3	4
FQ4MUSIC	D 音楽鑑賞 (CD・ラジオ・コンサートなど)	1	2	3	4
FQ4GAME	E テレビゲーム (PCゲーム・携帯用を含む)	1	2	3	4
FQ4GREEN	F 園芸・庭いじり	1	2	3	4
FQ4SHOGI	G 将棋	1	2	3	4
FQ4IGO	H 囲碁	1	2	3	4
FQ4MAJON	I 麻雀	1	2	3	4
FQ4NBS	J ナンバーズ・ミニロト	1	2	3	4

Q24 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ (ウォーキング、水泳、野球など) を行なっていますか。

FQSPORT

1 週に数回以上      2 週に1回程度      3 月に1回程度      4 年に数回程度      5 ほとんどしない

XXSPORT

付問 どのようなスポーツをしていますか。  
(具体的に \_\_\_\_\_ )

Q25 あなたの家から1キロ (徒歩15分程度) 以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

FEARWALK

1 はい      2 いいえ

Q26 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

XSTOLN1Y

1 はい      2 いいえ

Q27 過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと (例えば、強盗、恐喝やひったくり) がありますか。

XROBBD1Y

1 はい      2 いいえ

Q28 過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと (例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死) を何回経験しましたか。

XTRAUM5Y

0 なし      1 1回      2 2回      3 3回      4 4回以上

Q29 学校は、あなたにとってどのような意義がありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。在学中の方は、現在通っている学校について、すでに卒業されている方は、最後に通った学校についてお答えください。

- |                 |          |             |           |                |                 |
|-----------------|----------|-------------|-----------|----------------|-----------------|
| <b>MSBASIC</b>  | <b>1</b> | 基礎的な知識の習得   | <b>7</b>  | 先生から生き方を学ぶ     | <b>MSTEACHR</b> |
| <b>MSSPEC</b>   | <b>2</b> | 専門的な知識の習得   | <b>8</b>  | 就職が有利になった      | <b>MSFINDJB</b> |
| <b>MSJSKILL</b> | <b>3</b> | 仕事に必要な技能の習得 | <b>9</b>  | 配偶者との出会い       | <b>MSSPOUSE</b> |
| <b>MSQUALF</b>  | <b>4</b> | 学歴や資格の取得    | <b>10</b> | 自由な時間を利用できた    | <b>MSFRTIME</b> |
| <b>MSTALENT</b> | <b>5</b> | 自分の才能をのばせた  | <b>11</b> | その他(具体的に_____) | <b>MSETC</b>    |
| <b>MSFRIEND</b> | <b>6</b> | 友達づくり       | <b>12</b> | 特に意義はなかった      | <b>MSNONE</b>   |

「11 その他」の具体的記述から追加した変数 スポーツ・部活動 人間関係・社会性 精神的成長 (いずれも選択していない)	<b>MSSPORT</b> <b>MSHUMAN</b> <b>MSMENTAL</b> <b>MSNOMARK</b>
--	--

Q30 教育について次のような意見があります。それぞれについてあなたはどう思われますか。

- |                 |   |                                      | どちらかと<br>いえば | どちらかと<br>いえば | そう<br>思わない |   |
|-----------------|---|--------------------------------------|--------------|--------------|------------|---|
|                 |   |                                      | そう思う         | そう思う         | そう思わない     |   |
| <b>OP4EDABI</b> | A | 学歴は、本人の実力によってほぼ決まる →                 | 1            | 2            | 3          | 4 |
| <b>OP4EDPAR</b> | B | 学歴は、親の教育方針によってほぼ決まる →                | 1            | 2            | 3          | 4 |
| <b>OP4EDECN</b> | C | 学歴は、親の収入や資産などの経済的な<br>状況によってほぼ決まる →  | 1            | 2            | 3          | 4 |
| <b>OP4EDINC</b> | D | 高い学歴を得れば、収入面で恵まれる →                  | 1            | 2            | 3          | 4 |
| <b>OP4EDHI</b>  | E | 子どもには、できるだけ高い学歴をつけ<br>させることが重要だ →    | 1            | 2            | 3          | 4 |
| <b>OP4EDUNI</b> | F | 同じ大卒でも、どの大学を出るかに<br>よって人生が大きく左右される → | 1            | 2            | 3          | 4 |

Q31 あなたは小学生や中学生の頃に、塾に通ったり、家庭教師についたりしたことがありますか。半年以上の経験があるものすべてに○をつけてください。半年未満またはいずれも経験のない方は、「**4 経験がない**」に○をつけてください。

- |                     |                |                   |                |
|---------------------|----------------|-------------------|----------------|
| <b>XSJUKU</b>       | <b>XSTUTOR</b> | <b>XSCORR</b>     | <b>XSNONE</b>  |
| <b>1</b> 塾(進学塾や学習塾) | <b>2</b> 家庭教師  | <b>3</b> 通信(添削)教育 | <b>4</b> 経験がない |

(いずれも選択していない) **XSNOMARK**

Q32 あなたやあなたの同居しているご家族の中に、次の症状のある方はいらっしゃいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |         | <b>HAATOPI</b> | <b>HAKAFUN</b> | <b>HAZENSOK</b> | <b>HAFOOD</b> | <b>HANONE</b> |
|---------|----------------|----------------|-----------------|---------------|---------------|
|         | <b>1</b>       | <b>2</b>       | <b>3</b>        | <b>4</b>      | <b>5</b>      |
| A あなた → | アトピー性<br>皮膚炎   | 花粉症            | ぜんそく            | 食物<br>アレルギー   | いずれも<br>ない    |

(いずれも選択していない) **HANOMARK**

- |          | <b>FAATOPI</b> | <b>FAKAFUN</b> | <b>FAZENSOK</b> | <b>FAFOOD</b> | <b>FANONE</b> | <b>FANOFF</b> |
|----------|----------------|----------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|
|          | <b>1</b>       | <b>2</b>       | <b>3</b>        | <b>4</b>      | <b>5</b>      | <b>6</b>      |
| B 同居家族 → | アトピー性<br>皮膚炎   | 花粉症            | ぜんそく            | 食物<br>アレルギー   | いずれも<br>ない    | 同居家族は<br>いない  |

(いずれも選択していない) **FANOMARK**

**Q33** 不治の病におかされた患者が、痛みを伴わない安楽死を望んでいるとします。その家族も同意している場合に、医者が安楽死を行なえる法律をつくるべきだと思いますか。

**QDDKILLA**

- 1 はい                                  2 いいえ                                  3 わからない

**Q34** 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

**Q5GVEQAA**

- |          |                |               |                |          |
|----------|----------------|---------------|----------------|----------|
| <b>1</b> | <b>2</b>       | <b>3</b>      | <b>4</b>       | <b>5</b> |
| 賛成       | どちらかといえ<br>ば賛成 | どちらとも<br>いえない | どちらかといえ<br>ば反対 | 反対       |

**Q35** あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。

**DOSMOKEX**

- |                  |                       |                          |
|------------------|-----------------------|--------------------------|
| <b>1</b> 現在吸っている | <b>2</b> 以前は吸っていたがやめた | <b>3</b> ほとんど／全く吸ったことはない |
|------------------|-----------------------|--------------------------|

**XQTSMOKE**

**付問** 禁煙しようとしたことがありますか。

1 はい                                  2 いいえ

**Q36** あなたは、普段お酒を飲みますか。

**DO7DRINK**

- |          |          |          |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| <b>1</b> | <b>2</b> | <b>3</b> | <b>4</b> | <b>5</b> | <b>6</b> | <b>7</b> |
| ほとんど毎日   | 週に数回     | 週に1回程度   | 月に1回程度   | 年に数回     | 年に1回程度   | 全くなし     |

**Q37** あなたは、信仰している宗教がありますか。

**DORL**

- |             |                             |             |
|-------------|-----------------------------|-------------|
| <b>1</b> ある | <b>2</b> 特に信仰していないが、家の宗教はある | <b>3</b> ない |
|-------------|-----------------------------|-------------|

**XXRL**

**付問(1)** それは何ですか。

(具体的に \_\_\_\_\_)

**DO3PIOUS**

**付問(2)** あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

<b>1</b>	熱心である
<b>2</b>	まあまあ熱心である
<b>3</b>	そんなに熱心ではない



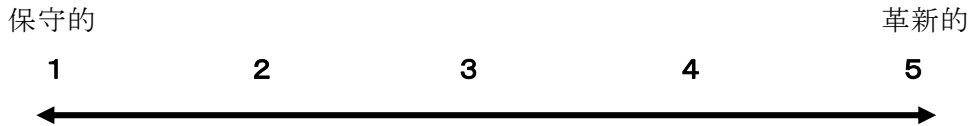
Q38 現在、年金を受け取っている人達に比べて、あなたが老後に受け取る年金の額は、どうなっていると思いますか。

OP5PENSN

- |                |               |            |               |                |           |                |
|----------------|---------------|------------|---------------|----------------|-----------|----------------|
| <b>1</b>       | <b>2</b>      | <b>3</b>   | <b>4</b>      | <b>5</b>       | <b>6</b>  | <b>7</b>       |
| かなり良く<br>なっている | 少し良く<br>なっている | だいたい<br>同じ | 少し悪く<br>なっている | かなり悪く<br>なっている | わから<br>ない | 現在年金を<br>受けている |

Q39 政治的な考え方を、保守的から革新的までの 5 段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

OP5RADCA

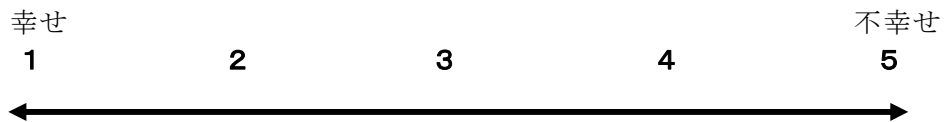


Q40 次の項目で、あなたが利用しているものすべてに○をしてください。

- |          |                      |                                 |                 |
|----------|----------------------|---------------------------------|-----------------|
| DOEMAILJ | <b>1</b> 電子メール（仕事）   | <b>5</b> インターネットによるショッピング・バンキング | <b>DONETSB</b>  |
| DOEMAILP | <b>2</b> 電子メール（私用）   | <b>6</b> インターネットによる株取引          | <b>DONETSTK</b> |
| DOCOMPJ  | <b>3</b> パソコン（職場で利用） | <b>7</b> 携帯電話または PHS            | <b>DOPHS</b>    |
| DOCOMPJ  | <b>4</b> パソコン（自宅で利用） | <b>8</b> ファックス                  | <b>DOFAX</b>    |
|          |                      | （いずれも選択していない）                   | <b>DONONE</b>   |

Q41 あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ



Q42 あなたの町に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

QFNRIOCR

- |          |     |          |     |
|----------|-----|----------|-----|
| <b>1</b> | 賛 成 | <b>2</b> | 反 対 |
|----------|-----|----------|-----|

Q43 あなたは日頃、外国人と顔を合わせる機会がありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |          |  |
|----------|--|
| XFNWORKX | <b>1</b> 一緒に働いたことがある                         |
| XFNSTDYX | <b>2</b> 学校で一緒に勉強したことがある                     |
| XFNASSOX | <b>3</b> 友人としてつき合っている／つき合っていた                |
| XFNMGX   | <b>4</b> 自分または家族や親せきが、日本に住んでいる外国人と結婚している     |
| XFNHLLX  | <b>5</b> 近くに住んでいる外国人とあいさつをしている／していた          |
| XFNCLUBX | <b>6</b> 国際交流などを目的としたサークルや地域の活動と一緒に参加したことがある |
| XFNETCX  | <b>7</b> その他のサークルや地域の活動と一緒に参加したことがある         |
| XFNOMKX  | （いずれも選択していない）                                |

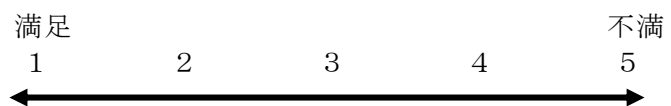
Q44 あなたがよく読む新聞すべてに○をつけてください。

- |          |            |          |                    |
|----------|------------|----------|--------------------|
| NPASAHI  | 1 朝日新聞     | NPHOKKAI | 11 北海道新聞           |
| NPSANKEI | 2 産経新聞     | NPTOKYO  | 12 東京新聞            |
| NPNIKKEI | 3 日本経済新聞   | NPCHUNI  | 13 中日新聞            |
| NPMAINI  | 4 毎日新聞     | NPWESTJP | 14 西日本新聞           |
| NPYOMIUR | 5 読売新聞     | NPJAPAN  | 15 Japan Times     |
| NPSANSP  | 6 サンケイスポーツ | NPGENDAI | 16 日刊ゲンダイ          |
| NPSPNIP  | 7 スポーツニッポン | NPFUJI   | 17 夕刊フジ            |
| NPDAYS   | 8 デイリースポーツ | NPAKAHAT | 18 赤旗              |
| NPNIKSP  | 9 日刊スポーツ   | NPSEIKYO | 19 聖教新聞            |
| NPHOUCHI | 10 報知新聞    | NPETC    | 20 その他 (具体的に_____) |
|          |            | NPETCX1  | 「20 その他」の1番目の記述    |
|          |            | NPETCX2  | 「20 その他」の2番目の記述    |
|          |            | NPNOMARK | (いずれも選択していない)      |

Q45 あなたは、以下の事項をどのくらい行ないますか。

		よくする	時々する	あまりしない	全くしない
FQ4DENKI	A 電気は、こまめに消す →	1	2	3	4
FQ4WATER	B 節水を心がける →	1	2	3	4
FQ4MEND	C 故障した物は修理して使う →	1	2	3	4
FQ4RECYC	D 再生 (リサイクル) の商品を買う (トイレットペーパー・ノートなど) →	1	2	3	4
FQ4REFIL	E 詰め替え商品を買う (洗剤・シャンプーなど) →	1	2	3	4
FQ4NOYAK	F 無農薬や有機栽培の野菜を買う →	1	2	3	4
FQ4BAG	G 買物には袋などを持参する →	1	2	3	4
FQ4PACK	H 包装を簡単にしてもらう (本のカバー・ラッピングなど) →	1	2	3	4
FQ4USED	I リサイクルショップなどを利用する (古着・古本・家具など) →	1	2	3	4
FQ4BUS	J なるべく公共交通機関を利用する (バス・電車など) →	1	2	3	4
FQ4SORT	K ゴミは分別して捨てる →	1	2	3	4
FQ4TAIHI	L 生ゴミを堆肥にしている →	1	2	3	4

Q46 「国」、「自治体」、「企業」の環境問題への取り組みに、あなたはどのくらい満足していますか。



STECONAT	A 「国」の取り組み	1	2	3	4	5
STECOLOC	B 「自治体」の取り組み	1	2	3	4	5
STECOCO	C 「企業」の取り組み	1	2	3	4	5

Q47 冷蔵庫・洗たく機などを購入する時、あなたにとって次の項目はどの程度重要ですか。A~I のすべてについて、それぞれ最も近いものに○をつけてください。

		←—————→				
		非常に重要				全く重要ではない
		1	2	3	4	5
IM5PRICE	A 値段の安さ	1	2	3	4	5
IM5BRAND	B メーカー名	1	2	3	4	5
IM5FUNC	C 色々な機能がついている	1	2	3	4	5
IM5DESN	D 色や形の良さ	1	2	3	4	5
IM5LAST	E 長持ちすること	1	2	3	4	5
IM5SAVE	F 省エネ・省資源である	1	2	3	4	5
IM5RECYC	G 再生利用（リサイクル）ができる	1	2	3	4	5
IM5SERV	H 修理・点検などのアフターサービスが充実	1	2	3	4	5
IM5TRADE	I 無料下取りサービスがある	1	2	3	4	5

Q48 あなたは過去1年間に、定期的にボランティア活動を行なったことがありますか。

XVLREG

<b>1</b> ある ↓	<b>2</b> ない ↓
------------------	------------------

SZVLREG

付問 平均して、1ヶ月にどのくらいの時間を使いましたか。  
 (月平均 \_\_\_\_\_ 時間くらい)

Q49 あなたは過去1年間に、不定期にボランティア活動を行なったことがありますか(突発的な事件や災害への支援を含む)。

XVLIRREG

<b>1</b> ある ↓	<b>2</b> ない ↓
------------------	------------------

SZVLIRREG

付問 過去1年間に、合計何日くらい行ないましたか。  
 (1日30分でも1日と数える)  
 (年間合計 \_\_\_\_\_ 日くらい)

Q50 ボランティア活動を実施している団体やグループに、下記のような支援を行なったことがありますか。あなたが過去1年間に行なったものすべてに○をつけてください。

- |          |   |                                |   |
|----------|---|--------------------------------|---|
| XVLDONAT | 1 | 寄付・募金                          |   |
| XVLCARD  | 2 | ボランティア貯金(郵便局)・寄付金つきクレジットカードの利用 | 「7 その他」の具体的記述から追加した変数<br>清掃・環境 <b>XVLENV</b><br>介護・福祉 <b>XVLWF</b><br>文化的奉仕 <b>XVLCUL</b><br>労働奉仕 <b>XVLLABOR</b><br>指導 <b>XVLTEACH</b> |
| XVLSTAMP | 3 | 寄付金つき切手・はがき・エコカードなどの購入         |   |
| XVLUSED  | 4 | 古着や毛布などの寄贈                     |   |
| XVLBAZZR | 5 | バザーへの出品                        |   |
| XVLBLOOD | 6 | 献血                             |   |
| XVLETC   | 7 | その他 (具体的に_____)                |   |
| XVLNOMK  |   | (いずれも選択していない)                  |   |

Q51 あなたは、機会があれば今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。

WLVLDO

- 1 ぜひ参加したい      2 できれば参加したい      3 参加したいと思わない

Q52 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビを見ますか。

HRTV

--	--

時間くらい

Q53 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行(仕事以外)をしますか。

FQ5TRIP

- |          |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| <b>1</b> | <b>2</b> | <b>3</b> | <b>4</b> | <b>5</b> |
| 月に数回     | 月に1回程度   | 年に数回     | 年に1回程度   | 全くなし     |

Q54 あなたは、英語でどのくらい会話ができますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

ENGTALK

- 1 日常生活や仕事の英会話が、充分できる
- 2 日常生活や仕事の英会話は、なんとかできる程度
- 3 道をたずねたり、レストランで注文できる程度
- 4 あいさつができる程度
- 5 ほとんど話せない

Q55 あなたの英語の読解力は、どのくらいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

ENGREAD

- 1 英語の本や新聞が、スラスラ読める
- 2 英語の本や新聞を、なんとか読める
- 3 短い英語の文章なら読める
- 4 簡単な英単語ならわかる
- 5 ほとんど読めない

Q56 あなたは、日常生活や仕事で英語を使いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

EUNO

- 1 ほとんど使う機会はない

EUTOKI

- 2 仕事で時々使う

EUYOKU

- 3 仕事でよく使う

EUFRIEND

- 4 外国人の友人や知人との付き合いで使う

EUFAMLY

- 5 家族とのコミュニケーションに使う

EUHOBBY

- 6 趣味・娯楽・海外旅行などで使う

EUETC

- 7 その他 (具体的に\_\_\_\_\_)

EUCLASS

学校や資格取得で使う

「7 その他」の具体的記述から追加した変数

EUKIDS

子ども(孫)に教える

EUNOMARK

(いずれも選択していない)

Q57 英語について、次のような学習・経験をしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                 |           |                             |
|-----------------|-----------|-----------------------------|
| <b>XECLASS</b>  | <b>1</b>  | 英会話学校や文化教室（カルチャーセンター）       |
| <b>XECIRCLE</b> | <b>2</b>  | 学校・地域・職場などの英会話サークル          |
| <b>XEMEDIA</b>  | <b>3</b>  | テレビやラジオの英語教育番組やニュース         |
| <b>XESELF</b>   | <b>4</b>  | 英語教材（テープ・ビデオ・CDなど）を使って自分で学習 |
| <b>XESHANAI</b> | <b>5</b>  | 社内研修（国内で実施）                 |
| <b>XEOSTRIP</b> | <b>6</b>  | 海外旅行                        |
| <b>XEOSSTDY</b> | <b>7</b>  | 海外留学や海外研修                   |
| <b>XEOSJOB</b>  | <b>8</b>  | 海外での勤務や居住                   |
| <b>XEFRIEND</b> | <b>9</b>  | 外国人の友人や知人との付き合い             |
| <b>XENONE</b>   | <b>10</b> | 上記のいずれも経験はない                |
| <b>XENOMARK</b> |           | （いずれも選択していない）               |

Q58 あなたに課せられている所得税は、高いと思いますか。

**OP6TAXHI**

- |          |          |          |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| <b>1</b> | <b>2</b> | <b>3</b> | <b>4</b> | <b>5</b> | <b>6</b> | <b>7</b> |
| 低い       | やや低い     | 適切       | やや高い     | 高い       | わからない    | 課せられていない |

Q59 現在いくつかの自治体において、カジノの合法化に関する議論が起こっています。あなたは賛成ですか、反対ですか。一番近いものに○をつけてください。

**OPCASINO**

- 1** 日本でのカジノの合法化には反対
- 2** 特定の場所に限定するならば、合法化に賛成
- 3** 日本でのカジノの合法化には賛成
- 4** 賛成とも反対とも決められない
- 5** カジノについて、よく知らない

Q60 もし日本にカジノができれば、あなたは行こうと思いますか。

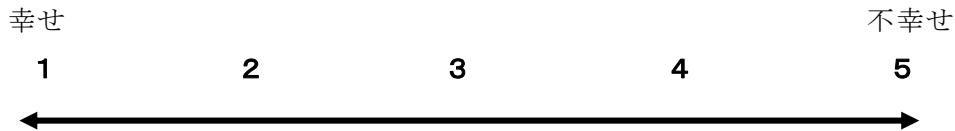
**WLCASINO**

- |                 |                   |                |
|-----------------|-------------------|----------------|
| <b>1</b> 行ってみたい | <b>2</b> 行こうと思わない | <b>3</b> わからない |
|-----------------|-------------------|----------------|

以下は**現在、配偶者（つれ合い）のいらっしゃる方のみ**、お答えください。  
 未婚の方や離別・死別された方はこれで終わりです。  
 ご協力ありがとうございました。担当の調査員にお渡してください。

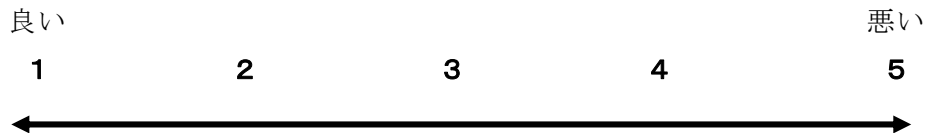
Q61 あなたの結婚生活は、幸せですか。

FF5HAPPZ



Q62 あなたの配偶者の現在の健康状態は、いかがですか。

SS5HLTHZ



Q63 あなたの配偶者は、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

			ほとんど 毎日	週に 数回	週に1 回程度	月に1 回程度	年に 数回	年に1 回程度	全く なし
SSFQ7CK	A 夕食の用意	→	1	2	3	4	5	6	7
SSFQ7WSH	B 洗濯	→	1	2	3	4	5	6	7
SSFQ7SHP	C 買い物(日用品や食料品の買い物)	→	1	2	3	4	5	6	7
SSFQ7CLN	D 家の掃除	→	1	2	3	4	5	6	7
SSFQ7GRB	E ゴミ出し	→	1	2	3	4	5	6	7

Q64 あなたの配偶者は、家族を介護（1ヶ月以上）したことがありますか。

(あなた自身が配偶者から介護を受けた場合も含みます)

SSCARE

- 1 したことがない
- 2 現在行なっている
- 3 過去に行なったことがある

ご協力ありがとうございました。担当の調査員にお渡してください。

WEIGHT



文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

## 生活と意識についての国際比較調査

2003 年 10 月  
JGSS-2003 留置調査票 A 票

調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所





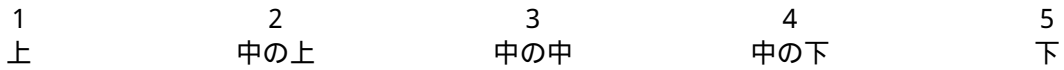
Q8 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ



Q9 かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層に分けるとすれば、あなた自身は、どれに入りますか。

OP5LEVK



Q10 あなたは一般に、三世同居（親・子・孫の同居）は望ましいことだと考えますか。

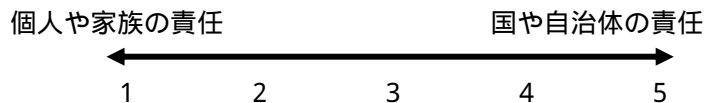
OP2GNR



Q11 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

		ほとんど毎日	週に数回	週に1回程度	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	全くなし
FQ7FFDNR	A 家族そろった夕食 -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
FQ7FRSEE	B 友人との会食や集まり -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
FQ7CKDNR	C 夕食の用意 -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
FQ7WASH	D 洗濯 -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
FQ7SHOP	E 買い物 ----- (日用品や食料品の買い物)	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
FQ7CLEAN	F 家の掃除 -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7
FQ7GARB	G ゴミ出し -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5 .....	6 .....	7

Q12 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。下記の尺度の上の番号（1～5）を1つ選んでください。



OP5SRWFY	A 高齢者の生活保障（生活費）	1	2	3	4	5
OP5SRMDY	B 高齢者の医療・介護	1	2	3	4	5
OP5CCED	C 子どもの教育	1	2	3	4	5
OP5CCARE	D 保育・育児	1	2	3	4	5

Q13 一般的に、人は信用できると思いますか。

OP3TRUST

- 1 はい                                    2 いいえ                                    3 場合による

Q14 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。下記の尺度の上の番号（1～7）を1つ選んでください。

OP7GDEVO



Q15 次にあげる A～O について、あなたはどれくらい信頼していますか。

		とても 信頼している	少しは 信頼している	ほとんど 信頼していない	わからない
TR3CORPZ	A 大企業	1	2	3	4
TR3RLGPZ	B 宗教団体	1	2	3	4
TR3SCHLZ	C 学 校	1	2	3	4
TR3BCRAZ	D 中央官庁	1	2	3	4
TR3UNNZ	E 労働組合	1	2	3	4
TR3NWSPZ	F 新 聞	1	2	3	4
TR3HSPLZ	G 病 院	1	2	3	4
TR3TVZ	H テレビ	1	2	3	4
TR3SPCAZ	I 裁判所	1	2	3	4
TR3ACDAZ	J 学者・研究者	1	2	3	4
TR3CGMNZ	K 国会議員	1	2	3	4
TR3CITYZ	L 市区町村議会議員	1	2	3	4
TR3DEFZ	M 自衛隊	1	2	3	4
TR3COPZ	N 警 察	1	2	3	4
TR3FINZ	O 金融機関	1	2	3	4

Q16 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思いますか。

APPCCNUM

0 1 2 3 4 5  
 0 人 1 人 2 人 3 人 4 人 5人以上(具体的に\_\_\_\_人)  
 APPCCNMX

Q17 もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

APPCCSXB

1 男の子 2 女の子

Q18 結婚した男女は、名字をどのようにしたらよいとお考えですか。

OP4NAME

- 1 当然、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のべきだ
- 2 現状では、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のったほうがよい
- 3 夫婦は同じ名字を名のべきだが、どちらが名字を改めてもよい
- 4 わざわざ一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままでよい

Q19 次のA~Iの意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

		賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対
Q4DIVOK	A 結婚しても、相手に満足できないときは、いつでも離婚すればよい -----	1	2	3	4
Q4WWJBIA	B 夫に十分な収入がある場合には、妻は仕事を もたない方がよい -----	1	2	3	4
Q4WNMGA	C なんといっても女性の幸福は結婚にある	1	2	3	4
Q4MNCOOK	D 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ	1	2	3	4
Q4WWHHX	E 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ --	1	2	3	4
Q4MNMGA	F なんといっても男性の幸福は結婚にある	1	2	3	4
Q4JBMCC	G 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の 子どもによく影響を与える -----	1	2	3	4
Q4NOCCMG	H 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要は ない -----	1	2	3	4
Q4WWHPHH	I 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、夫 の仕事の手助けをする方が大切である --	1	2	3	4

Q20 あなたは、次あげる会や組織に入っていますか。A~C それぞれについて、お答えください。

<b>MEMCOOP</b>	A 消費生活協同組合(生協) -----	1 はい .....	2 いいえ
<b>MEMRL</b>	B 宗教の団体や会 -----	1 はい .....	2 いいえ
<b>MEMHOBBY</b>	C 趣味の会(コーラス・写真・山歩きなど) ---	1 はい .....	2 いいえ

**XXMEMHOB**  
 (具体的に \_\_\_\_\_ )

Q21 あなたの身近な人の中で、学校でいじめ(暴行・恐喝・無視や言葉による暴力など)にあった人はいますか。

**XSBULLY**

1 いる                      2 いない                      3 わからない

Q22 学校でのいじめにより生徒が自殺した場合、下記のそれぞれにどれくらい責任があると思いますか。

		かなり 責任がある	ある程度 責任がある	責任は あまりない	責任は 全くない	わからない
<b>SUSELF</b>	A 本人 -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 ...	5
<b>SUBULLY</b>	B いじめた生徒 -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 ...	5
<b>SUCMATE</b>	C それ以外のクラスメート(同級生) -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 ...	5
<b>SUTCHER</b>	D クラスの担任 -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 ...	5
<b>SUSCHL</b>	E 学校 -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 ...	5
<b>SUFFSLF</b>	F 本人の保護者(親など) -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 ...	5
<b>SUFFBUL</b>	G いじめた生徒の保護者 -----	1 .....	2 .....	3 .....	4 ...	5

Q23 中学校の体育系クラブ活動に、顧問の教員が常時立ち会うべきかどうか議論されています。あなたは、教員が常時立ち会うべきだと思いますか。

**OPCLUBT**

1 常時立ち会うべきだ  
 2 できるだけ立ち会うべきだ  
 3 立ち会うのは、時々でよい  
 4 立ち会わなくてもよい  
 5 わからない

Q24 知事候補として女性が立候補した場合に、適任であれば、あなたは彼女に投票しますか。

ELWNGVNR

- 1 はい      2 いいえ      3 わからない

Q25 女性の知事が、大相撲の表彰式において、土俵上で知事賞を手渡すことに、あなたは賛成ですか、反対ですか。

QWNSUMO

- 1 賛成      2 反対      3 どちらともいえない

Q26-1 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ（ウォーキング、水泳、野球など）を行なっていますか。

FQSPORT

- 1                      2                      3                      4                      5  
週に数回以上      週に1回程度      月に1回程度      年に数回程度      ほとんどしない

Q26-2 どのようなスポーツをしていますか。

XXSPORT

(具体的に \_\_\_\_\_ )

Q27 あなたやあなたの同居しているご家族の中に、次の症状のある方はいらっしゃいますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

	HAATOPI	HAKAFUN	HAZENSOK	HAFOOD	HANONE	HANOMARK
	1	2	3	4	5	
A あなた	アトピー性 皮膚炎	花粉症	ぜんそく	食物 アレルギー	いずれも ない	(いずれも選択していない)
<hr/>						
	FAATOPI	FAKAFUN	FAZENSOK	FAFOOD	FANONE	FANOFF
	1	2	3	4	5	6
B 同居家族	アトピー性 皮膚炎	花粉症	ぜんそく	食物 アレルギー	いずれも ない	同居家族はいない
						FANOMARK (いずれも選択していない)

Q28 現在、少年法の改正が議論されていますが、あなたはどうお考えですか。

OP3JVLWY

- 1 少年法を変え、今よりも厳罰にすべきだ
- 2 少年法は変えるべきだが、厳罰化は望ましくない
- 3 今のままでよい
- 4 わからない

Q29 あなたは、以下の事項をどのくらい行ないますか。

		よくする	時々する	あまりしない	全くしない /知らない
FQ4DRIVE	A ドライブ-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4KARA	B カラオケ-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4MOVIE	C 映画鑑賞(ビデオを含む)-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4MUSIC	D 音楽鑑賞(CD・ラジオ・コンサートなど)	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4GAME	E テレビゲーム(PCゲーム・携帯用を含む)	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4GREEN	F 園芸・庭いじり-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4SHOGI	G 将棋-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4IGO	H 囲碁-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4MAJON	I 麻雀-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4NBS	J ナンバース・ミニロト-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4LOTTO	K 宝くじ-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4TOTO	L サッカーくじ(toto)-----	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4PGAM	M 公営ギャンブル(競馬・競輪・競艇など)	1 .....	2 .....	3 .....	4
FQ4PACHI	N パチンコ・パチスロ-----	1 .....	2 .....	3 .....	4

Q30 あなたの家から1キロ(徒歩15分程度)以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

FEARWALK

1 はい 2 いいえ

Q31 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

XSTOLN1Y

1 はい 2 いいえ

Q32 過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと(例えば、強盗、恐喝やひったくり)がありますか。

XROBBD1Y

1 はい 2 いいえ

Q33 過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと(例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死)を何回経験しましたか。

XTRAUM5Y

0 1 2 3 4  
なし 1回 2回 3回 4回以上

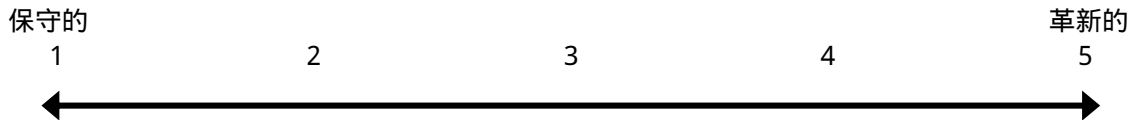
Q34 現在、年金を受け取っている人達に比べて、あなたが老後に受け取る年金の額は、どうなっていると思いますか。

OP5PENSN

- |            |           |        |           |            |       |            |
|------------|-----------|--------|-----------|------------|-------|------------|
| 1          | 2         | 3      | 4         | 5          | 6     | 7          |
| かなり良くなっている | 少し良くなっている | だいたい同じ | 少し悪くなっている | かなり悪くなっている | わからない | 現在年金を受けている |

Q35 政治的な考え方を、保守的から革新的までの5段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

OP5RADCA

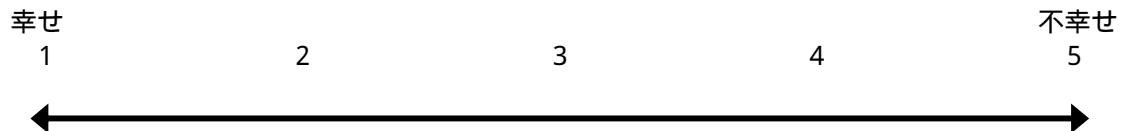


Q36 次の項目で、あなたが利用しているものすべてに をしてください。

- |          |   |             |   |                        |          |
|----------|---|-------------|---|------------------------|----------|
| DOEMAILJ | 1 | 電子メール(仕事)   | 5 | インターネットによるショッピング・バンキング | DONETSB  |
| DOEMAILP | 2 | 電子メール(私用)   | 6 | インターネットによる株取引          | DONETSTK |
| DOCOMPJ  | 3 | パソコン(職場で利用) | 7 | 携帯電話またはPHS             | DOPHS    |
| DOCOMPJ  | 4 | パソコン(自宅で利用) | 8 | ファックス                  | DOFAX    |
|          |   |             |   | (いずれも選択していない)          | DONONE   |

Q37 あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ



Q38 あなたがよく読む新聞すべてに をつけてください。

- |          |   |          |          |    |          |          |    |             |
|----------|---|----------|----------|----|----------|----------|----|-------------|
| NPASAHI  | 1 | 朝日新聞     | NPDAYS   | 8  | デイリースポーツ | NPJAPAN  | 15 | Japan Times |
| NPSANKEI | 2 | 産経新聞     | NPNIKSP  | 9  | 日刊スポーツ   | NPGENDAI | 16 | 日刊ゲンダイ      |
| NPNIKKEI | 3 | 日本経済新聞   | NPHOUCHI | 10 | 報知新聞     | NPFUJI   | 17 | 夕刊フジ        |
| NPMAINI  | 4 | 毎日新聞     | NPHOKKAI | 11 | 北海道新聞    | NPAKAHAT | 18 | 赤旗          |
| NPYOMIUR | 5 | 読売新聞     | NPTOKYO  | 12 | 東京新聞     | NPSEIKYO | 19 | 聖教新聞        |
| NPSANSP  | 6 | サンケイスポーツ | NPCHUNI  | 13 | 中日新聞     | NPETC    | 20 | その他         |
| NPSNIP   | 7 | スポーツニッポン | NPWESTJP | 14 | 西日本新聞    |          |    | (具体的に_____) |

NPETCX1 「20 その他」の1番目の記述  
 NPETCX2 「20 その他」の2番目の記述  
 NPNOMARK (いずれも選択していない)

Q39 あなたは外国人と以下のようなつき合いがありますか。あてはまるものすべてに をつけてください  
(過去の経験も含む)

- |          |   |                                   |
|----------|---|-----------------------------------|
| XFNWORKX | 1 | 一緒に働いている(働いていた)                   |
| XFNSTDYX | 2 | 学校で一緒に勉強している(していた)                |
| XFNASSOX | 3 | 友人としてつき合っている(つき合っていた)             |
| XFNMGX   | 4 | 自分または親せきが、外国人と結婚して日本に住んでいる(住んでいた) |
| XFNCLUBX | 5 | 国際交流のグループで一緒に活動している(していた)         |
| XFNETCX  | 6 | その他のグループや地域活動と一緒に参加している(していた)     |
| XFNHLLGX | 7 | 外国人とあいさつ程度のつき合いはある(あった)           |
| XFNONE   | 8 | 外国人の知り合いはいないし、つき合ったこともない          |
| XFNOMKX  |   | (いずれも選択していない)                     |

Q40 あなたが生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくありますか。

FQ4FNR

- |   |      |   |      |   |       |   |      |
|---|------|---|------|---|-------|---|------|
| 1 | よくある | 2 | 時々ある | 3 | あまりない | 4 | 全くない |
|---|------|---|------|---|-------|---|------|

Q41 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

QFNRINCR

- |   |    |   |    |
|---|----|---|----|
| 1 | 賛成 | 2 | 反対 |
|---|----|---|----|

Q42 あなたが生活している地域に外国人が増えると、どのような影響があると思いますか。あてはまるものすべてに をつけてください。

- |          |    |                                 |
|----------|----|---------------------------------|
| FNLANG   | 1  | 外国語を学ぶ機会が増える                    |
| FNCULT   | 2  | 外国の文化・風習に触れる機会が増える              |
| FNJCUL   | 3  | 日本固有の文化がそこなわれる                  |
| FNUNIQ   | 4  | 日本人の単一性が失なわれる                   |
| FNVARTY  | 5  | 社会に多様性が生まれる                     |
| FNLOCAL  | 6  | 地域性がそこなわれる                      |
| FNLOPOP  | 7  | 過疎地の活性化につながる                    |
| FNPREUP  | 8  | 異文化に対する偏見が強くなる                  |
| FNPREDN  | 9  | 異文化に対する偏見が弱くなる                  |
| FNPEACE  | 10 | 国際平和につながる                       |
| FNINTNL  | 11 | 国際情勢への関心が高まる                    |
| FNSAFE   | 12 | 治安・風紀が乱れる                       |
| FNWORK   | 13 | 一定の職業における労働力が補充される              |
| FNWKCHN  | 14 | 住民の雇用機会が奪われる                    |
| FNTAXUP  | 15 | 教育・福祉・住宅などの受け入れ整備のために税金からの負担が増す |
| FNNONE   | 16 | 特に影響はない                         |
| FNNOKNOW | 17 | わからない                           |
| FNETC    | 18 | その他(具体的に )                      |
| FNNOMK   |    | (いずれも選択していない)                   |



Q43 不治の病におかされた患者が、痛みを伴わない安楽死を望んでいるとします。その家族も同意している場合に、医者が安楽死を行なえる法律をつくるべきだと思いますか。

**QDDKILLA**

- 1 はい                      2 いいえ                      3 わからない

Q44 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

**Q5GVEQAA**

- |    |            |           |            |    |
|----|------------|-----------|------------|----|
| 1  | 2          | 3         | 4          | 5  |
| 賛成 | どちらかといえば賛成 | どちらともいえない | どちらかといえば反対 | 反対 |

Q45-1 あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。

**DOSMOKEX**

- |                  |                   |                          |
|------------------|-------------------|--------------------------|
| 1<br>現在<br>吸っている | 2<br>以前は吸っていたがやめた | 3<br>ほとんど/全く<br>吸ったことはない |
|------------------|-------------------|--------------------------|

Q45-2 禁煙しようとしたことがありますか。

**XQTSMOKE**

- 1 はい                      2 いいえ

Q46 あなたは、普段お酒を飲みますか。

**DO7DRINK**

- |            |          |            |            |          |            |      |
|------------|----------|------------|------------|----------|------------|------|
| 1          | 2        | 3          | 4          | 5        | 6          | 7    |
| ほとんど<br>毎日 | 週に<br>数回 | 週に<br>1回程度 | 月に<br>1回程度 | 年に<br>数回 | 年に<br>1回程度 | 全くなし |

Q47-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

**DORL**

- 1 ある                      2 特に信仰していないが、家の宗教はある                      3 ない

Q47-2 それは何ですか。

**XXRL**

(具体的に\_\_\_\_\_)

Q47-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

**DO3PIOUS**

- 1 熱心である  
2 まあまあ熱心である  
3 そんなに熱心ではない

Q48 買物をする時にあなたは、以下のことをよくしますか。

		よくする	たまにする	あまりしない
SFQSTK	A 数日分の食料品や日用品をまとめ買いする	1	2	3
SFQCHNC	B 買物がついでの時にする	1	2	3
SFQIMPLS	C 衝動買いをする	1	2	3
SFQSHOP	D 食料品や日用品は特定の店で買う	1	2	3
SFQQLTY	E 値段にはあまりこだわらず品質の良い物を買う	1	2	3
SFQSORY	F 買ったあと後悔する	1	2	3
SFQADVTS	G 折り込みチラシなどを見て買物する	1	2	3
SFQSAME	H 他人の持ち物が気になって同じ物を買う	1	2	3
SFQINET	I インターネットで下調べをしてから買う	1	2	3
SFQELEC	J 電化製品はいくつかの店を見てから買う	1	2	3
SFQDATE	K 賞味期限・製造年月日を見てから買う	1	2	3
SFQLOC	L 生鮮食料品は産地を確かめてから買う	1	2	3

Q49 4～5年前に比べ、あなたは以下についてどのように変わりましたか。

		よくする ようになった	4～5年前と 変わらない	しないよう になった	以前も今も したことがない
XSCATL	A 通信販売を利用する（加叻・レビなど）	1	2	3	4
XSBRAND	B 高級ブランド品を買う	1	2	3	4
XSLRNQL	C 資格に関する講座を受ける（通信教育も含む）	1	2	3	4
XSCLED	D 趣味や教養の講座を受ける（通信教育も含む）	1	2	3	4
XSREFIL	E 詰替え商品を買う（洗剤・シャンプーなど）	1	2	3	4
XSRECYC	F 再生商品を買う（トレット・パ・ノートなど）	1	2	3	4
XSRESHOP	G リサイクルショップなどを利用する （古着・古本・家具など）	1	2	3	4
XSAGCHEM	H 無農薬や有機栽培の野菜を買う	1	2	3	4
XSMEAL	I 健康に気をつけて食事をする	1	2	3	4
XSEXER	J 健康のために運動をする	1	2	3	4
XSEATOUT	K 外食をする	1	2	3	4
XSPRICE	L 値段にこだわって買う	1	2	3	4
XSQLTY	M 品質にこだわって買う	1	2	3	4
XSJAPAN	N 日本のメーカーの製品を買う	1	2	3	4

Q50 現在住んでいる地域に、あなたは愛着を感じていますか。

LKLOCAL

1	2	3	4
愛着を感じている	どちらかという 愛着を感じている	どちらかという 愛着を感じていない	愛着を感じていない

Q51 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

XLIVEYR

1 生まれてからずっと	5 5年～10年未満
2 1年未満	6 10年～20年未満
3 1年～3年未満	7 20年～30年未満
4 3年～5年未満	8 30年以上

Q52 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

WLLIVE

1	2	3	4
ずっと住みたい	当分の間は住みたい	できれば引越したい	すぐにも引越したい

Q53 あなたがお住まいの地域で、顔見知りの子ども（小学校5・6年生）が万引きしているのを見かけたとします。あなたはどのような行動をとりますか。あてはまるものすべてにをつけてください。

SLSELF	1 本人に注意する
SLFAMILY	2 家族に知らせる
SLCLERK	3 店の人に知らせる
SLSCHL	4 学校に知らせる
SLNODO	5 何もしない
SLETC	6 その他（具体的に ）
SLNOMK	（いずれも選択していない）

Q54 あなたは、家の近くで、コンビニ（コンビニエンスストア）を利用しますか。

FQCONVI

1	2	3	4	5	6	7
ほとんど 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	ほとんど 利用しない	家の近くに コンビニはない

Q55 あなたは、日常生活や仕事で英語を使いますか。あてはまるものすべてにをつけてください。

EUNO	1 ほとんど使う機会はない
EUTOKI	2 仕事で時々使う
EUYOKU	3 仕事でよく使う
EUFRIEND	4 外国人の友人や知人とのつき合いで使う
EUFAMILY	5 家族とのコミュニケーションに使う
EUHOBBY	6 趣味・娯楽・海外旅行などで使う
EUETC	7 その他（具体的に ）
EUKIDS	子ども(孫)に教える
EUNOMARK	（いずれも選択していない）

Q56 あなたは、英語でどのくらい会話ができますか。あてはまるものに 1つだけ をつけてください。  
**ENGTALK**

- 1 日常生活や仕事の英会話が、充分できる
- 2 日常生活や仕事の英会話は、なんとかできる程度
- 3 道をたずねたり、レストランで注文できる程度
- 4 あいさつができる程度
- 5 ほとんど話せない

Q57 あなたの英語の読解力は、どのくらいですか。あてはまるものに 1つだけ をつけてください。  
**ENGREAD**

- 1 英語の本や新聞が、スラスラ読める
- 2 英語の本や新聞を、なんとか読める
- 3 短い英語の文章なら読める
- 4 簡単な英単語ならわかる
- 5 ほとんど読めない

Q58 あなたは学校での授業以外に、英語を学習したことがありますか。テレビ・ラジオの英語番組、英会話教室、サークルなどを含みます。

**XLRNENG**

- |            |                         |             |
|------------|-------------------------|-------------|
| 1 現在学習している | 2 以前学習していたが<br>現在はしていない | 3 学習したことはない |
|------------|-------------------------|-------------|

Q59-1 あなたは今後、英語を学習するつもりですか。

**WLRNENG**

- |                 |                 |                     |            |
|-----------------|-----------------|---------------------|------------|
| 1               | 2               | 3                   | 4          |
| 積極的に<br>学習するつもり | 機会があれば<br>学習したい | しかた<br>仕方なく<br>学習する | 学習するつもりはない |

Q59-2 英語学習の理由は何ですか。あてはまるものすべてに をつけてください。

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| <b>ELGRADE</b>  | 1 卒業・進級に必要なだから           |
| <b>ELGETJOB</b> | 2 就職・転職に役立つから            |
| <b>ELTASK</b>   | 3 仕事上役立つから               |
| <b>ELQUALF</b>  | 4 資格を得るため                |
| <b>ELPROMO</b>  | 5 昇進・昇格に必要なだから           |
| <b>ELENJOY</b>  | 6 英語を学習するのが楽しいから         |
| <b>ELWEST</b>   | 7 アメリカやイギリスなどが好きだから      |
| <b>ELVISION</b> | 8 視野を広めたいから              |
| <b>ELNEW</b>    | 9 新しいことを学ぶのが好きだから        |
| <b>ELTRAVL</b>  | 10 海外旅行のため               |
| <b>ELCHILD</b>  | 11 自分の子どもの教育に役立つから       |
| <b>ELINET</b>   | 12 インターネットを英語で利用するため     |
| <b>ELMOVIE</b>  | 13 英語のニュース・映画などを理解したいから  |
| <b>ELETC</b>    | 14 その他（具体的に            ） |
| <b>ELNOMK</b>   | （いずれも選択していない）            |

Q60 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビを見ますか。

HRTV

時間くらい

Q61 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行（仕事以外）をしますか。

FQ5TRIP

1	2	3	4	5
月に数回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	全くなし

Q62 あなたは、代理母による出産を認める法律を日本でも作るべきだと思いますか。

「代理母による出産」とは人工受精により妻以外の女性に出産してもらうことです。

OSUBMOM

1 はい                      2 いいえ                      3 わからない

Q63 あなたに課せられている所得税は、高いと思いますか。

OP6TAXHI

1	2	3	4	5	6	7
低い	やや低い	適切	やや高い	高い	わからない	課せられていない

Q64 現在いくつかの自治体において、カジノの合法化に関する議論が起こっています。あなたは賛成ですか、反対ですか。一番近いものにをつけてください。

OPCASINO

- 1 日本でのカジノの合法化には反対
- 2 特定の場所に限定するならば、合法化に賛成
- 3 日本でのカジノの合法化には賛成
- 4 賛成とも反対とも決められない
- 5 カジノについて、よく知らない

Q65 もし日本にカジノができれば、あなたは行こうと思いますか。

WLCASINO

- 1 行ってみたい                      2 行こうと思わない                      3 わからない

ご協力ありがとうございました。担当の調査員にお渡してください。

WEIGHT



文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

## 生活と意識についての国際比較調査

2003 年 10 月  
JGSS-2003 留置調査票 B 票

調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所

## メモ用紙

この用紙は回収しません。  
また、調査員に見せる必要はありません。

あなたが、重要なことを話したり、悩みを相談する人

A	B	C	D
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

あなたが、日本の政治家や選挙・政治について話をする人

E	F	G	H
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

仕事について相談したり、仕事上のアドバイスをもらう人

I	J	K	L
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

このメモ用紙は、調査票にご自分で記入する際にも必要となりますので、  
面接終了後も調査票とともに保管していただきますようお願いいたします。  
調査票回収の際には、このメモ用紙を調査員に渡さないで下さい。

## 調査員へ

### この調査票（B票）の調査手順

- ・まず、面接調査票（ページュ）を完了してから、この調査票（B票）を始める。
- ・始める前に、先の面接票 問1-1の回答を、B票の1ページ目冒頭欄の「先週の仕事の有無」に転記する。
- ・B票の問1～問4（3～6ページ）は、面接聞き取り法で行ない、調査員が記入する。
- ・その際、回答者にメモ用紙を渡して記入してもらい、それを見ながら答えてもらう。
- ・B票の面接部分の終了後、問5（9ページ）以降の質問（留置）で、回答不要の部分があれば調査票に×で消す（7ページに指示あり）。
- ・回答者に、調査票の留置き部分の記入を依頼する。

#### メモ用紙の取り扱いについて。

- ・原則として調査員は回答者の記入したメモ用紙を見てはならない。しかしながら、記入方法の説明や確認の際に、回答者自身が見せた場合においては、調査員の判断にまかせる。
- ・面接に使用したメモ用紙は留置き部分の回答にも必要なので、なくさないよう回答者に注意を促す。
- ・メモ用紙は回収しない。回収の際に、調査票の間に入っていないかどうかを確認し、入っていた場合は回答者に返す。

黒字部分「 」内を読み上げること。

赤字は、調査員に対する説明。注意書きに沿って調査・記入すること。

#### 調査員記入

問1から問4の面接部分の所要時間を、下の欄に記入してください。

注：インタビュー開始から、回答者に調査票を渡すまでの時間。

<問1から問4の調査時刻>

(開始) \_\_\_\_\_時\_\_\_\_\_分 (終了) \_\_\_\_\_時\_\_\_\_\_分 所要時間

ZTIME

	分
--	---





**面接：調査員記入**

問2 「次に、あなたが日本の政治家や選挙・政治について話をする人たちを思い浮かべてください。何かのついでに、少し話題になるという程度でもかまいません。先の質問と同じ人がいても結構です。」  
**考える時間を与える。選挙の時にたまたま話した、ということでもよい。**

「では、メモ用紙のEからHの四角の中に、先程の質問と同じように、その人が誰かわかるように書いてください。お名前あるいは頭文字（イニシャル）、愛称・ニックネームなどでも結構です。」

問 2-1 「何人の名前（頭文字など）を書きましたか？」

**該当する人数に○をつける。**

Z2NUM    0 人    1 人    2 人    3 人    4 人

問 2-2    Z2ELSE  
 「それ以外に、あなたが日本の政治家や選挙・政治について話をする人は何人いますか？」  
 |  人

問 2-3 「EからHのうち、名前が記入されていないのは どの欄ですか？」

**記入のない欄の四角の中に×をつける。×の数と問 2-1 の人数との合計が「4」にならない場合は、問 2-1 と問 2-3 を見直す。**

E	F	G	H
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
Z2XXE	Z2XXF	Z2XXG	Z2XXH

「問1と同じように、E欄に書いた人をEさん、F欄に書いた人をFさん、G欄に書いた人をGさん・・・というように呼びます。」

問 2-4 「今メモ用紙に書いた人たちは、お互いに知り合いですか？」

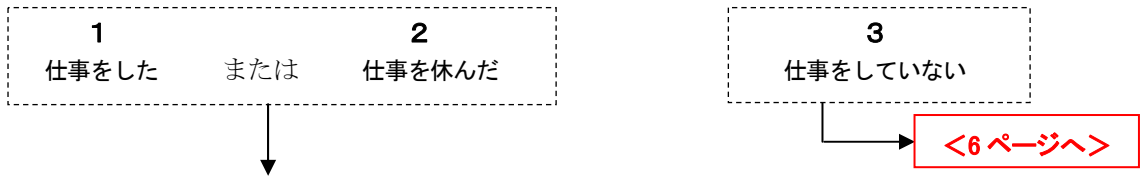
**問 2-1 で「0人」「1人」の場合、「4 該当する人はいない」にすべて○をつける。**

Z2KNOW\*\*    \*\*には下記のアルファベットが入る

	知り合い	知り合いではないと思う	わからない	該当する人はいない
EF ① 「EさんとFさんは、知り合いですか？」	1	2	3	4
EG ② 「EさんとGさんは、知り合いですか？」	1	2	3	4
EH ③ 「EさんとHさんは、知り合いですか？」	1	2	3	4
FG ④ 「FさんとGさんは、知り合いですか？」	1	2	3	4
FH ⑤ 「FさんとHさんは、知り合いですか？」	1	2	3	4
GH ⑥ 「GさんとHさんは、知り合いですか？」	1	2	3	4

面接：調査員記入

問3に入る前に、「先週の仕事の有無」(1 ページ目冒頭欄) の回答と同じ番号に○をつける。



問3 「では、あなたが仕事について相談したり、仕事上のアドバイスをもらう人たちを思い浮かべてください。先程の質問と同じ人がいても結構です。」  
**考える時間を与える。**

「では、メモ用紙の I から L の四角の中に、先程の質問と同じように、その人が誰かわかるように書いてください。お名前あるいは頭文字 (イニシャル)、愛称・ニックネームなどでも結構です。」

問 3-1 「何人の名前 (頭文字など) を書きましたか？」  
**該当する人数に○をつける。**

Z3NUM    0 人    1 人    2 人    3 人    4 人

---

問 3-2 「それ以外に、あなたが仕事について相談したり仕事上のアドバイスをもらう人は何人いますか？」

人

Z3ELSE

問 3-3 「I から L のうち、名前が記入されていないのは どの欄ですか？」  
**記入のない欄の四角の中に×をつける。×の数と問 3-1 の人数との合計が「4」にならない場合は、問 3-1 と問 3-3 を見直す。**

I

Z3XXI

J

Z3XXJ

K

Z3XXK

L

Z3XXL

「先の間と同じように、I 欄に書いた人を I さん、J 欄に書いた人を J さん、K 欄に書いた人を K さん・・ というように呼びます。」

問 3-4 「今メモ用紙に書いた人たちは、お互いに知り合いですか？」  
**問 3-1 で「0 人」「1 人」の場合、「4 該当する人はいない」にすべて○をつける。**

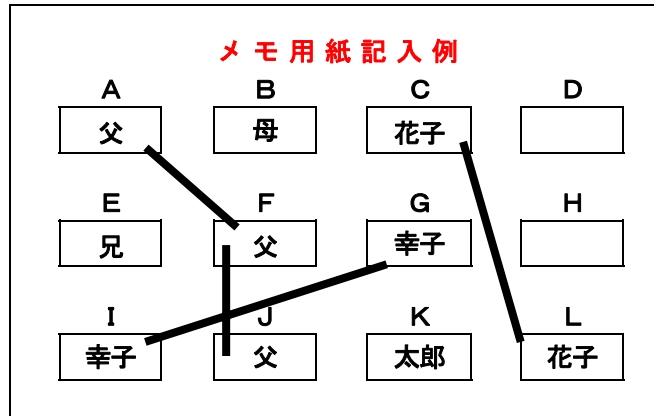
Z3KNOW\*\*    \*\*には下記のアルファベットが入る

		知り合い	知り合いでは ないと思う	わからない	該当する人 はいない
IJ ① 「IさんとJさんは、知り合いですか？」	----->	1 .....	2 .....	3	4
IK ② 「IさんとKさんは、知り合いですか？」	----->	1 .....	2 .....	3	4
IL ③ 「IさんとLさんは、知り合いですか？」	----->	1 .....	2 .....	3	4
JK ④ 「JさんとKさんは、知り合いですか？」	----->	1 .....	2 .....	3	4
JL ⑤ 「JさんとLさんは、知り合いですか？」	----->	1 .....	2 .....	3	4
KL ⑥ 「KさんとLさんは、知り合いですか？」	----->	1 .....	2 .....	3	4

面接：調査員記入

下記の「メモ用紙記入例」（【例1】）を見せながら、  
 「この例のように、お手元のメモ用紙に、同じ人の四角を線で結んでください。」  
 同じ人がいない場合は、右ページへ。

【例1】



問4「線で結んだ人は、誰と誰ですか。アルファベットでお答えください。」【例2】を参照。

コード用  
 調査員は記入不要

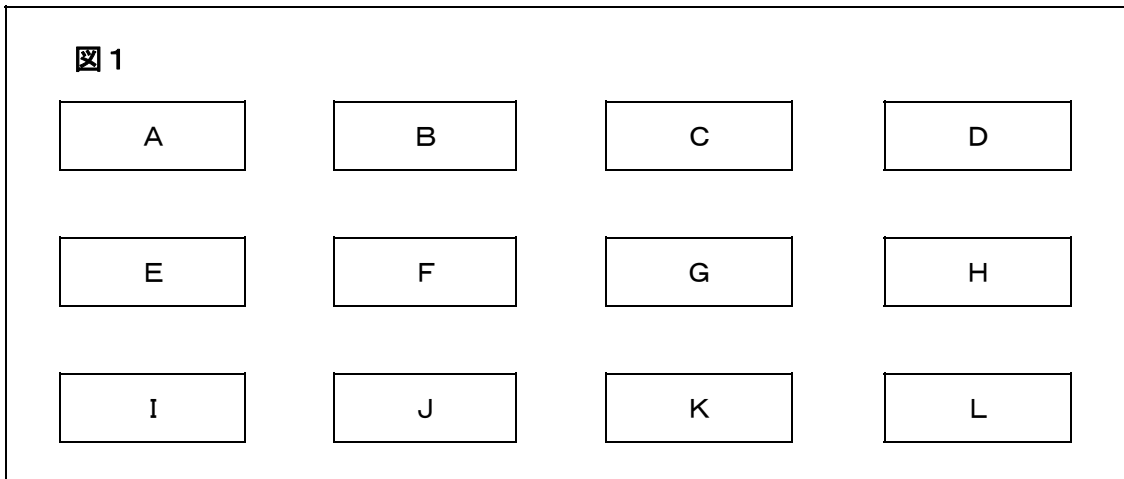
- ZSAME1 (1) 同じ人は \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_
- ZSAME2 (2) 同じ人は \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_
- ZSAME3 (3) 同じ人は \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_
- ZSAME4 (4) 同じ人は \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_
- ZSAME5 (5) 同じ人は \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_
- ZSAME6 (6) 同じ人は \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_

【例2】

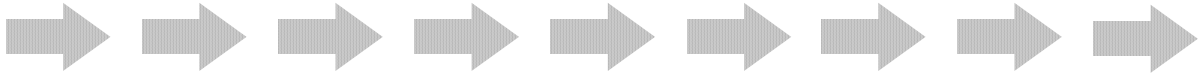
**【例1】の場合**

同じ人は	<u>A</u>	と	<u>F</u>	と	<u>J</u>
同じ人は	<u>C</u>	と	<u>L</u>	と	
同じ人は	<u>G</u>	と	<u>I</u>	と	
同じ人は		と		と	

上記の回答を見ながら、下の図に同じ人の線を記入する。  
 出来上がったら、回答者に見せる。回答者のメモの線と同じかどうかを回答者に確認してもらう。  
 違う場合は質問をやり直し、図を修正する。



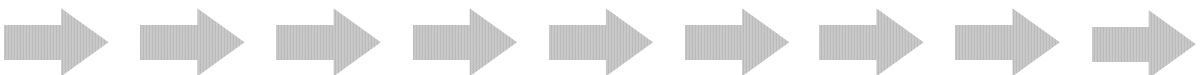




**次のページからご記入ください。**

**メモ用紙を見ながらお答えください。**

**ただし、調査員が×で消した部分は回答不要です。**



あなたが**重要なことを話したり、悩みを相談する人たち**（A さん・B さん・C さん・D さん）についてうかがいます。お手元のメモ用紙を見ながらお答えください。

問5-1 その人たちは、あなたにとってどのような間柄ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	* A A さんは?	* B B さんは?	* C C さんは?	* D D さんは?
ZSS*	配偶者（夫または妻）	1	1	1
ZKIN1*	親または子ども	2	2	2
ZKIN2*	兄弟姉妹・その他の家族・親せき	3	3	3
ZJOBREL*	職場の上司または部下	4	4	4
ZJOBCOL*	職場の同僚（上司・部下以外）	5	5	5
ZJOBETC*	その他の仕事関係	6	6	6
ZTEAM*	同じ組織や団体に加入している人	7	7	7
ZNEIB*	近所の人	8	8	8
ZFRIE*	友人	9	9	9
ZRELETC*	その他	10	10	10
ZRLNOMK*	(いずれも選択していない)			

問5-2 その人たちは男性ですか、女性ですか。

	* A A さんは?	* B B さんは?	* C C さんは?	* D D さんは?
ZSEX*	男性	1	1	1
	女性	2	2	2

問5-3 その人たちの年齢を、以下に記入してください。だいたい年齢で結構です。

	* A A さんは?	* B B さんは?	* C C さんは?	* D D さんは?
ZAGE*	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳

問5-4 その人たちと知り合ったのは、いまから何年前でしたか。だいたい年数で結構です。

	* A A さんは?	* B B さんは?	* C C さんは?	* D D さんは?
ZKNOWYR*	<input type="text"/> 年前	<input type="text"/> 年前	<input type="text"/> 年前	<input type="text"/> 年前

問5-5 その人たちとあなたは、通常どのくらいの頻度で話をしますか（電話やメールも含みます）。

	* A A さんは?	* B B さんは?	* C C さんは?	* D D さんは?
ZFQTALK*	ほとんど毎日	1	1	1
	週に数回	2	2	2
	週に1回程度	3	3	3
	月に1回程度	4	4	4
	年に数回	5	5	5

問5-6 その人たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。  
 なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

ZLSTSCH\*

	* A A さんは？	* B B さんは？	* C C さんは？	* D D さんは？
中学校（旧制小学校）	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	2	2	2	2
短大・高専	3	3	3	3
専門学校	4	4	4	4
大学（旧制高校・大学）・大学院	5	5	5	5
わからない	6	6	6	6

問5-7 その人たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。学生でアルバイトをしている場合は「学生」を選んでください。

ZTP7JOB\*

	* A A さんは？	* B B さんは？	* C C さんは？	* D D さんは？
自営業主・自由業者・家族従業員	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
経営者・役員	2	2	2	2
正規の職員・社員	3	3	3	3
公務員	4	4	4	4
パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	5	5	5	5
学生	6	6	6	6
仕事をしていない（専業主婦、退職者など）	7	7	7	7
わからない	8	8	8	8

問5-8 その人たちが現在行なっている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

ZJOB\*

	* A A さんは？	* B B さんは？	* C C さんは？	* D D さんは？
上級管理職（経営者、役員、部長など）	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
中間管理職（課長、店長など）	2	2	2	2
専門・技術（技術者、教員、弁護士など）	3	3	3	3
事務（総務、経理、企画、営業事務など）	4	4	4	4
販売（小売店主、店員、外交員など）	5	5	5	5
サービス（理美容、調理、家事サービスなど）	6	6	6	6
運輸・通信（運転手、船員、通信員、郵便外務など）	7	7	7	7
保安・警備（守衛、警官、自衛官など）	8	8	8	8
製造・建設（工場作業・建築作業など）	9	9	9	9
農林漁業・鉱業	10	10	10	10
わからない	11	11	11	11



問5-9 あなたは、その人たちとどのくらい親しいですか。

ZCLOSE\*

	* A A さんは?	* B B さんは?	* C C さんは?	* D D さんは?
とても親しい.....	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
親しい.....	2	2	2	2
それほど親しくない.....	3	3	3	3

問5-10 その人たちとはこのところ政治家や選挙・政治についてどのくらい話題になりましたか。

ZPLTALK\*

	* A A さんは?	* B B さんは?	* C C さんは?	* D D さんは?
話題になった.....	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
あまり話題にならなかった.....	2	2	2	2

問5-11 その人たちは、国政選挙ではどの政党の候補者に投票する(あるいは投票した)と思いますか。  
1つだけ○をつけてください。

ZVOTE\*

	* A A さんは?	* B B さんは?	* C C さんは?	* D D さんは?
自民党.....	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
民主党.....	2	2	2	2
公明党.....	3	3	3	3
<del>自由党.....</del>	<del>4</del>	<del>4</del>	<del>4</del>	<del>4</del>
共産党.....	5	5	5	5
社民党.....	6	6	6	6
保守新党.....	7	7	7	7
その他の政党.....	8	8	8	8
わからない.....	9	9	9	9
投票に行かないと思う.....	10	10	10	10
選挙権がない.....	11	11	11	11

問5-12 その人たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

	* A A さんは?	* B B さんは?	* C C さんは?	* D D さんは?
ZCOHOBB* 共通の趣味や娯楽を持っている.....	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
ZCOUTG* 最近6ヶ月間に、遊びや食事のために いっしょに出かけたことがある.....	2	2	2	2
ZCOMONY* まとまったお金を借りることができる.....	3	3	3	3
ZCONOMK* (いずれも選択していない)				

では次に、あなたが**日本の政治家や選挙・政治について話をする人たち**（Eさん～Hさん）についてうかがいます。お手元のメモ用紙を見ながらお答えください。

問6-1 その人たちは、あなたにとってどのような間柄ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	* E Eさんは？	* F Fさんは？	* G Gさんは？	* H Hさんは？
ZSS*	配偶者（夫または妻）	1	1	1
ZKIN1*	親または子ども	2	2	2
ZKIN2*	兄弟姉妹・その他の家族・親せき	3	3	3
ZJOBREL*	職場の上司または部下	4	4	4
ZJOBCOL*	職場の同僚（上司・部下以外）	5	5	5
ZJOBETC*	その他の仕事関係	6	6	6
ZTEAM*	同じ組織や団体に加入している人	7	7	7
ZNEIB*	近所の人	8	8	8
ZFRIE*	友人	9	9	9
ZRELETC*	その他	10	10	10
ZRLNOMK*	(いずれも選択していない)			

問6-2 その人たちは男性ですか、女性ですか。

	* E Eさんは？	* F Fさんは？	* G Gさんは？	* H Hさんは？
ZSEX*	男性	1	1	1
	女性	2	2	2

問6-3 その人たちの年齢を、以下に記入してください。だいたい年齢で結構です。

	* E Eさんは？	* F Fさんは？	* G Gさんは？	* H Hさんは？
ZAGE*	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳	<input type="text"/> 歳

問6-4 その人たちと知り合ったのは、いまから何年前でしたか。だいたい年数で結構です。

	* E Eさんは？	* F Fさんは？	* G Gさんは？	* H Hさんは？
ZKNOWYR*	<input type="text"/> 年前	<input type="text"/> 年前	<input type="text"/> 年前	<input type="text"/> 年前

問6-5 その人たちとあなたは、通常どのくらいの頻度で話をしますか（電話やメールも含みます）。

	* E Eさんは？	* F Fさんは？	* G Gさんは？	* H Hさんは？
ZFQTALK*	ほとんど毎日	1	1	1
	週に数回	2	2	2
	週に1回程度	3	3	3
	月に1回程度	4	4	4
	年に数回	5	5	5

問6-6 その人たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。  
 なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

ZLSTSCH\*

	* E E さんは？	* F F さんは？	* G G さんは？	* H H さんは？
	↓	↓	↓	↓
中学校（旧制小学校）	1	1	1	1
高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	2	2	2	2
短大・高専	3	3	3	3
専門学校	4	4	4	4
大学（旧制高校・大学）・大学院	5	5	5	5
わからない	6	6	6	6

問6-7 その人たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。学生でアルバイトをしている場合は「学生」を選んでください。

ZTP7JOB\*

	* E E さんは？	* F F さんは？	* G G さんは？	* H H さんは？
	↓	↓	↓	↓
自営業主・自由業者・家族従業員	1	1	1	1
経営者・役員	2	2	2	2
正規の職員・社員	3	3	3	3
公務員	4	4	4	4
パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	5	5	5	5
学生	6	6	6	6
仕事をしていない（専業主婦、退職者など）	7	7	7	7
わからない	8	8	8	8

問6-8 その人たちが現在行なっている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。前間で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

ZJOB\*

	* E E さんは？	* F F さんは？	* G G さんは？	* H H さんは？
	↓	↓	↓	↓
上級管理職（経営者、役員、部長など）	1	1	1	1
中間管理職（課長、店長など）	2	2	2	2
専門・技術（技術者、教員、弁護士など）	3	3	3	3
事務（総務、経理、企画、営業事務など）	4	4	4	4
販売（小売店主、店員、外交員など）	5	5	5	5
サービス（理美容、調理、家事サービスなど）	6	6	6	6
運輸・通信（運転手、船員、通信員、郵便外務など）	7	7	7	7
保安・警備（守衛、警官、自衛官など）	8	8	8	8
製造・建設（工場作業・建築作業など）	9	9	9	9
農林漁業・鉱業	10	10	10	10
わからない	11	11	11	11

問6-9 あなたは、その人たちとどのくらい親しいですか。

ZCLOSE\*

	* E E さんは?	* F F さんは?	* G G さんは?	* H H さんは?
とても親しい.....	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
親しい .....	2	2	2	2
それほど親しくない .....	3	3	3	3

問6-10 その人たちとはこのところ政治家や選挙・政治についてどのくらい話題になりましたか。

ZPLTALK\*

	* E E さんは?	* F F さんは?	* G G さんは?	* H H さんは?
話題になった .....	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
あまり話題にならなかった .....	2	2	2	2

問6-11 その人たちは、国政選挙ではどの政党の候補者に投票する(あるいは投票した)と思いますか。  
1 つだけ○をつけてください。

ZVOTE\*

	* E E さんは?	* F F さんは?	* G G さんは?	* H H さんは?
自民党 .....	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
民主党 .....	2	2	2	2
公明党 .....	3	3	3	3
<del>自由党</del> .....	<del>4</del>	<del>4</del>	<del>4</del>	<del>4</del>
共産党 .....	5	5	5	5
社民党 .....	6	6	6	6
保守新党 .....	7	7	7	7
その他の政党 .....	8	8	8	8
わからない .....	9	9	9	9
投票に行かないと思う .....	10	10	10	10
選挙権がない .....	11	11	11	11

問6-12 その人たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

	* E E さんは?	* F F さんは?	* G G さんは?	* H H さんは?
ZCOHOBB* 共通の趣味や娯楽を持っている .....	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
ZCOUTG* 最近6ヶ月間に、遊びや食事のために いっしょに出かけたことがある .....	2	2	2	2
ZCOMONY* まとまったお金を借りることができる .....	3	3	3	3
ZCONOMK* (いずれも選択していない)				

現在仕事をしている方のみご記入下さい

現在仕事をしていない方は18ページの間8にすすんでください。

あなたが**仕事について相談したり、仕事上のアドバイスをもらう人たち**（I さん～L さん）についてうかがいます。お手元のメモ用紙を見ながらお答えください。

問7-1 その人たちは、あなたにとってどのような間柄ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

	* I I さんは?	* J J さんは?	* K K さんは?	* L L さんは?
ZSS*	配偶者（夫または妻）	↓ 1	↓ 1	↓ 1
ZKIN1*	親または子ども	↓ 2	↓ 2	↓ 2
ZKIN2*	兄弟姉妹・その他の家族・親せき	↓ 3	↓ 3	↓ 3
ZJOBREL*	職場の上司または部下	↓ 4	↓ 4	↓ 4
ZJOBCOL*	職場の同僚（上司・部下以外）	↓ 5	↓ 5	↓ 5
ZJOBETC*	その他の仕事関係	↓ 6	↓ 6	↓ 6
ZTEAM*	同じ組織や団体に加入している人	↓ 7	↓ 7	↓ 7
ZNEIB*	近所の人	↓ 8	↓ 8	↓ 8
ZFRIE*	友人	↓ 9	↓ 9	↓ 9
ZRELETC*	その他	↓ 10	↓ 10	↓ 10
ZRLNOMK*	(いずれも選択していない)			

問7-2 その人たちは男性ですか、女性ですか。

	* I I さんは?	* J J さんは?	* K K さんは?	* L L さんは?
ZSEX*	男性	↓ 1	↓ 1	↓ 1
	女性	↓ 2	↓ 2	↓ 2

問7-3 その人たちの年齢を、以下に記入してください。だいたい年齢で結構です。

	* I I さんは?	* J J さんは?	* K K さんは?	* L L さんは?
ZAGE*	↓	↓	↓	↓
	□   □ 歳	□   □ 歳	□   □ 歳	□   □ 歳

問7-4 その人たちと知り合ったのは、いまから何年前でしたか。だいたいの年数で結構です。

	* I I さんは?	* J J さんは?	* K K さんは?	* L L さんは?
ZKNOWYR*	↓	↓	↓	↓
	□   □ 年前	□   □ 年前	□   □ 年前	□   □ 年前

問7-5 その人たちとあなたは、通常どのくらいの頻度で話をしますか（電話やメールも含みます）。

	* I I さんは?	* J J さんは?	* K K さんは?	* L L さんは?
ZFQTALK*	↓	↓	↓	↓
	1	1	1	1
ほとんど毎日	↓	↓	↓	↓
週に数回	2	2	2	2
週に1回程度	↓	↓	↓	↓
月に1回程度	3	3	3	3
年に数回	↓	↓	↓	↓
	4	4	4	4
	↓	↓	↓	↓
	5	5	5	5

**現在仕事をしている方のみご記入下さい**

問7-6 その人たちが最後に通学した（または現在通学している）学校は、次のどれにあたりますか。  
 なお、中退の場合も、その学校をお答えください。

ZLSTSCH\*

	*I I さんは？	*J J さんは？	*K K さんは？	*L L さんは？
中学校（旧制小学校）	1	1	1	1
高校（旧制中学校・高等女学校・実業学校・師範学校）	2	2	2	2
短大・高専	3	3	3	3
専門学校	4	4	4	4
大学（旧制高校・大学）・大学院	5	5	5	5
わからない	6	6	6	6

問7-7 その人たちは、現在どのようなかたちで仕事をしていますか。学生でアルバイトをしている場合は「学生」を選んでください。

ZTP7JOB\*

	*I I さんは？	*J J さんは？	*K K さんは？	*L L さんは？
自営業主・自由業者・家族従業員	1	1	1	1
経営者・役員	2	2	2	2
正規の職員・社員	3	3	3	3
公務員	4	4	4	4
パート・アルバイト・嘱託・臨時・派遣	5	5	5	5
学生	6	6	6	6
仕事をしていない（専業主婦、退職者など）	7	7	7	7
わからない	8	8	8	8

問7-8 その人たちが現在行なっている仕事の内容は、以下のどれにあたりますか。前問で「学生」と「仕事をしていない」を選んだ人については回答の必要はありません。

ZJOB\*

	*I I さんは？	*J J さんは？	*K K さんは？	*L L さんは？
上級管理職（経営者、役員、部長など）	1	1	1	1
中間管理職（課長、店長など）	2	2	2	2
専門・技術（技術者、教員、弁護士など）	3	3	3	3
事務（総務、経理、企画、営業事務など）	4	4	4	4
販売（小売店主、店員、外交員など）	5	5	5	5
サービス（理美容、調理、家事サービスなど）	6	6	6	6
運輸・通信（運転手、船員、通信員、郵便外務など）	7	7	7	7
保安・警備（守衛、警官、自衛官など）	8	8	8	8
製造・建設（工場作業・建築作業など）	9	9	9	9
農林漁業・鉱業	10	10	10	10
わからない	11	11	11	11

現在仕事をしている方のみご記入下さい

問7-9 あなたは、その人たちとどのくらい親しいですか。

ZCLOSE\*

	*I I さんは?	*J J さんは?	*K K さんは?	*L L さんは?
とても親しい.....	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
親しい.....	2	2	2	2
それほど親しくない.....	3	3	3	3

問7-10 その人たちとはこのところ政治家や選挙・政治についてどのくらい話題になりましたか。

ZPLTALK\*

	*I I さんは?	*J J さんは?	*K K さんは?	*L L さんは?
話題になった.....	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
あまり話題にならなかった.....	2	2	2	2

問7-11 その人たちは、国政選挙ではどの政党の候補者に投票する(あるいは投票した)と思いますか。  
1つだけ○をつけてください。

ZVOTE\*

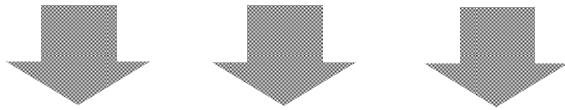
	*I I さんは?	*J J さんは?	*K K さんは?	*L L さんは?
自民党.....	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
民主党.....	2	2	2	2
公明党.....	3	3	3	3
<del>自由党.....</del>	<del>4</del>	<del>4</del>	<del>4</del>	<del>4</del>
共産党.....	5	5	5	5
社民党.....	6	6	6	6
保守新党.....	7	7	7	7
その他の政党.....	8	8	8	8
わからない.....	9	9	9	9
投票に行かないと思う.....	10	10	10	10
選挙権がない.....	11	11	11	11

問7-12 その人たちについて、次のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

	*I I さんは?	*J J さんは?	*K K さんは?	*L L さんは?
ZCOHOBB* 共通の趣味や娯楽を持っている.....	↓ 1	↓ 1	↓ 1	↓ 1
ZCOUTG* 最近6ヶ月間に、遊びや食事のために いっしょに出かけたことがある.....	2	2	2	2
ZCOMONY* まとまったお金を借りることができる.....	3	3	3	3
ZCONOMK* (いずれも選択していない)				

全員ご記入下さい

ここからは全員ご記入ください。



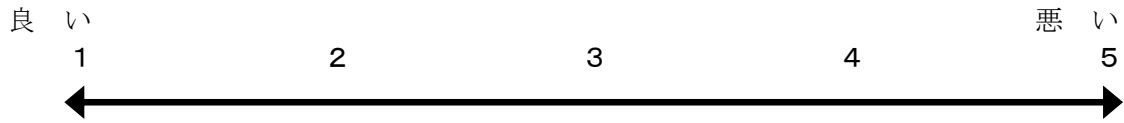
問 8 今日の日付をご記入ください。

XXTODAY

月  日

問 9 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ



問 10 この 2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

OP3ECN3A

- 1 良くなった                      2 悪くなった                      3 変わらない

問 11 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

OP5CHNCA

- 1 充分にある                      2 少しはある                      3 どちらともいえない                      4 あまりない                      5 全くない

問 12 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。



( 回答例 )							
○○○○○○○○○		1	2	3	4	5	
ST5AREAY	A 住んでいる地域	1	2	3	4	5	
ST5LEISY	B 余暇の過ごし方	1	2	3	4	5	
ST5LIFEY	C 家庭 生活	1	2	3	4	5	
ST5ECNY	D 現在の家計の状態	1	2	3	4	5	
ST5FRIY	E 友 人 関 係	1	2	3	4	5	
ST5HLTHY	F 健 康 状 態	1	2	3	4	5	
ST5SSREL	G 配偶者との関係	1	2	3	4	5	6 配偶者はいない



**全員ご記入下さい**

問 13 次の A～E の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

		賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対
<b>Q4DIVOK</b>	A 結婚しても、相手に満足できないときは、 いつでも離婚すればよい ----->	1	2	3	4
<b>Q4WWJBIA</b>	B 夫に十分な収入がある場合には、妻は仕事を もたない方がよい ----->	1	2	3	4
<b>Q4WWHHX</b>	C 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ ---->	1	2	3	4
<b>Q4JBMMCC</b>	D 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の 子どもによく影響をあたえる ----->	1	2	3	4
<b>Q4NOCCMG</b>	E 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要は ない ----->	1	2	3	4

問 14 かりに現在の日本の社会全体を、以下の 5 つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入りますか。

<b>OP5LEVK</b>	1	2	3	4	5
	上	中の上	中の中	中の下	下

問 15 選挙のある／なしにかかわらず、いつも政治に関心を持っている人もいますし、あまり関心を持たない人もいます。あなたは政治上の出来事に、どれくらい注意をはらっていますか。

- DOPOLIT**
- 1 つねに注意をはらっている
  - 2 ときどき注意をはらっている
  - 3 たまに注意をはらっている
  - 4 ほとんど注意をはらっていない

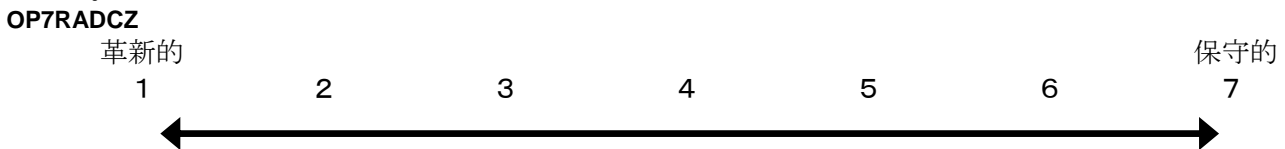
問 16 あなたは、小泉内閣のこれまでの実績についてどう思われますか。

<b>OKOIZUM</b>	1	2	3	4	5
	かなり良い	まあ良い	どちらともいえない	やや悪い	かなり悪い

問 17 今の日本の景気はどのような状態だと思いますか。

<b>OBUSINS</b>	1	2	3	4	5
	かなり良い	まあ良い	どちらともいえない	やや悪い	かなり悪い

問 18 政治的な考え方を、革新的から保守的までの 7 段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。



**全員ご記入下さい**

問 19 次に国民と政治とのかかわりについての意見があげてあります。A~D それぞれについて、あなたのお気持ちに近いものを1つあげてください。

		賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対
<b>Q4NOPWR</b>	A 自分のようなふつうの市民には、政府のすることに対して、それを左右する力はない ----->	1	2	3	4
<b>Q4GVC MPL</b>	B 政治や政府は複雑なので、自分には何をやっているのかよく理解できない ----->	1	2	3	4
<b>Q4VOTE</b>	C 選挙では大勢の人々が投票するのだから、自分一人くらい投票しなくてもかまわない ----->	1	2	3	4
<b>Q4MDIET</b>	D 国会議員は、大ざっぱに言って、当選したらすぐ国民のことを考えなくなる ----->	1	2	3	4

問 20 以下の問題に対する政府の支出について、あなたはどのように思いますか。

		多すぎる	適 当	少なすぎる	わからない
<b>BD3ENVA</b>	A 環境問題 ----->	1	2	3	4
<b>BD3CRIME</b>	B 犯罪の取締 ----->	1	2	3	4
<b>BD3EDUC</b>	C 教育 ----->	1	2	3	4
<b>BD3SAFTY</b>	D 安全保障 ----->	1	2	3	4
<b>BD3ODA</b>	E 海外援助 ----->	1	2	3	4
<b>BD3CNSTR</b>	F 道路河川などの土木事業 ----->	1	2	3	4
<b>BD3WFR</b>	G 社会保障・年金 ----->	1	2	3	4
<b>BD3EMPLY</b>	H 雇用・失業対策 ----->	1	2	3	4

問 21 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。

<b>MEMPLTGP</b>	A 政治関係の団体や会	1	はい	2	いいえ
<b>MEMIND</b>	B 業界団体・同業者団体	1	はい	2	いいえ
<b>MEMVLNTR</b>	C ボランティアのグループ	1	はい	2	いいえ
<b>MEMCIVIL</b>	D 市民運動・消費者運動のグループ	1	はい	2	いいえ
<b>MEMRL</b>	E 宗教の団体や会	1	はい	2	いいえ
<b>MEMSPORT</b>	F スポーツ関係のグループやクラブ	1	はい	2	いいえ
<b>MEMHOBBY</b>	G 趣味の会 (コーラス・写真・山歩きなど)	1	はい	2	いいえ

↓ (具体的に \_\_\_\_\_ )  
**XXMEMHOB**

全員ご記入下さい

次に政党支持についておうかがいします。  
 問 22-1 現在、あなたはどの政党を支持していますか。

**XX8PLPTY**

- |     |     |     |                |     |     |      |                   |                     |           |
|-----|-----|-----|----------------|-----|-----|------|-------------------|---------------------|-----------|
| 1   | 2   | 3   | <del>4</del>   | 5   | 6   | 7    | 8                 | 9                   | 10        |
| 自民党 | 民主党 | 公明党 | <del>自由党</del> | 共産党 | 社民党 | 保守新党 | その他の<br>政党<br>( ) | 特に支持<br>する政党<br>はない | わから<br>ない |

問 22-2 ふだん好ましいと思っている政党はありますか。

**XX9PLPFV**

1 自民党	6 社民党
2 民主党	7 保守新党
3 公明党	8 その他の政党 ( )
<del>4 自由党</del>	9 特に好ましく感じる政党はない
5 共産党	10 わからない

問 23 政権を担当する能力があるのはどの政党だと思いますか。(○はいくつでも)

- |                 |                  |                 |               |
|-----------------|------------------|-----------------|---------------|
| <b>OLDPOK</b>   | 1 自民党            | <b>OSDPOK</b>   | 6 社民党         |
| <b>ODPOK</b>    | 2 民主党            | <b>OHOSHUK</b>  | 7 保守新党        |
| <b>OKOMEIOK</b> | 3 公明党            | <b>OOTHEROK</b> | 8 その他の政党 ( )  |
|                 | <del>4 自由党</del> | <b>ONOPLPOK</b> | 9 そのような政党はない  |
| <b>OCOMMPOK</b> | 5 共産党            | <b>OPLPDONT</b> | 10 わからない      |
|                 |                  | <b>OPLPNOMK</b> | (いずれも選択していない) |

問 24 福祉と負担について、次の A・B のような意見があります。あなたの意見はどちらに近いですか。

**OWELFTAX**

- A 増税をしてでも、福祉などの公共サービスを充実させるべきである。  
 B 福祉などの公共サービスが低下しても、税負担を軽減すべきである。

- 1 Aに近い    2 どちらかといえばA    3 どちらかといえばB    4 Bに近い

問 25 社会と個人について、次の A・B のような意見があります。あなたの意見はどちらに近いですか。

**ONATIND**

- A 個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきである。  
 B 国民全体の利益よりも個人の利益を大切にすべきである。

- 1 Aに近い    2 どちらかといえばA    3 どちらかといえばB    4 Bに近い

問 26 あなたにとって、政治とはどのような存在かについておたずねします。あなたのお考えに近いものを、それぞれお答えください。

- |                 |                           |        |         |         |         |   |  |  |  |
|-----------------|---------------------------|--------|---------|---------|---------|---|--|--|--|
|                 |                           |        |         |         |         |   |  |  |  |
|                 |                           | まあ     | あまりそう   | そう      |         |   |  |  |  |
|                 |                           | そう思う   | そう思う    | 思わない    | 思わない    |   |  |  |  |
| <b>OPLSELF</b>  | A 政治とは、自分から積極的に働きかけるものである | -----> | 1 ..... | 2 ..... | 3 ..... | 4 |  |  |  |
| <b>OPLWATCH</b> | B 政治とは、監視していくものである        | -----> | 1 ..... | 2 ..... | 3 ..... | 4 |  |  |  |
| <b>OPLCANT</b>  | C 政治とは、なるようにしかならないものである   | -----> | 1 ..... | 2 ..... | 3 ..... | 4 |  |  |  |
| <b>OPLNOREL</b> | D 政治的なことにはできればかわりたくない     | -----> | 1 ..... | 2 ..... | 3 ..... | 4 |  |  |  |

**全員ご記入下さい**

問 27 あなたには次のようなお知り合いがいますか。あなたが話をすることがあるくらいよく知っている人のことです。それは男性ですか、女性ですか。どちらもいれば両方に○をつけてください。

			*M 男性がいる		*F 女性がいる		*N いない		*X いずれも選択していない
ZKJICHI*	A	町内会・自治会の役員	→	1	.....	2	.....	3	
ZKVOL*	B	ボランティア団体・市民運動団体の役員	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKTRDE*	C	同業組合の役員	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKUNI*	D	労働組合の役員	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKTOWN*	E	役所・役場(市区町村)の部課長以上の役職者	→	1	.....	2	.....	3	
ZKREF*	F	都道府県庁の部課長以上の役職者	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKGMT*	G	中央官庁(省庁)の部課長以上の役職者	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKMAYR*	H	市区町村の首長(市長、村長など)	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKLOCAL*	I	地方議会議員	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKDIET*	J	国会議員	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKSECR*	K	政治家の後援会の世話役(議員秘書も含む)	→	1	.....	2	.....	3	
ZKMEDIA*	L	新聞・テレビ等の記者・ディレクター・編集者	→	1	.....	2	.....	3	
ZKDOC*	M	医師	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKSMALL*	N	中小企業経営者	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKINS*	O	保険の勧誘員	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKBANK*	P	銀行員	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKFCTRY*	Q	工場作業員	-----	1	.....	2	.....	3	
ZKCOMP*	R	コンピュータ・プログラマー、情報処理技術者	→	1	.....	2	.....	3	

問 28 次のうち、あなたがこの5年間に経験したことすべてに○をつけてください。

- X5YVOTE 1 選挙で投票した
- X5YJICHI 2 自治会や町内会で活動した
- X5YCNTC1 3 必要があって地元の有力者と接触した(会う、手紙を書くなど)
- X5YCNTC2 4 必要があって政治家や官僚と接触した
- X5YPETIT 5 議会や役所に請願や陳情に行った
- X5YPOLMG 6 選挙や政治に関する集会に出席した
- X5YCMPGN 7 選挙運動を手伝った(候補者の応援など)
- X5YCITZN 8 市民運動や住民運動に参加した
- X5YSIGN 9 請願書に署名した
- X5YDONAT 10 献金やカンパをした
- X5YNONE 11 この中のどれもしたことがない
- X5YNOMK (いずれも選択していない)

全員ご記入下さい
----------

問 29 あなたは日頃、次のようなことをどのくらいしていますか。

		ほぼ毎日 する	ときどき する	たまに する	ほとんど しない
<b>FQ4PLNP</b>	A 新聞で政治の記事を読む ----->	1	2	3	4
<b>FQ4PLTV</b>	B テレビで政治ニュースを見る ----->	1	2	3	4
<b>FQ4PLMAG</b>	C 雑誌で政治の記事を読む ----->	1	2	3	4
<b>FQ4PLWEB</b>	D インターネットで政治ニュースを見る →	1	2	3	4
<b>FQ4PLFAM</b>	E 政治について家族と話す ----->	1	2	3	4
<b>FQ4PLFRI</b>	F 政治について友人や同僚と話す ----->	1	2	3	4

ご協力ありがとうございました。担当の調査員にお渡してください。

**WEIGHT**

2005 年 9 月  
JGSS-2005 留置調査票



文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

## 「第 5 回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所

最初に、あなたの日常的な生活についておうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビを見ますか。全く見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV 

--	--

 時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない

Q4 あなたがよく読む新聞すべてに○をつけてください。

<b>NPASAHI</b>	1 朝日新聞	<b>NPDAYS</b>	8 デイリースポーツ	<b>NPJAPAN</b>	15 Japan Times
<b>NPSANKEI</b>	2 産経新聞	<b>NPNIKSP</b>	9 日刊スポーツ	<b>NPGENDAI</b>	16 日刊ゲンダイ
<b>NPNIKKEI</b>	3 日本経済新聞	<b>NPHOUCHI</b>	10 報知新聞	<b>NPFUJI</b>	17 夕刊フジ
<b>NPMAINI</b>	4 毎日新聞	<b>NPHOKKAI</b>	11 北海道新聞	<b>NPAKAHAT</b>	18 赤旗
<b>NPYOMIUR</b>	5 読売新聞	<b>NPTOKYO</b>	12 東京新聞	<b>NPSEIKYO</b>	19 聖教新聞
<b>NPSANSP</b>	6 サンケイスポーツ	<b>NPCHUNI</b>	13 中日新聞	<b>NPETC</b>	20 その他(具体的に_____)
<b>NPSPNIP</b>	7 スポーツニッポン	<b>NPWESTJP</b>	14 西日本新聞	<b>NPNONE</b>	21 よく読む新聞はない
				<b>NPETCX1</b>	「20 その他」の1番目の記述
				<b>NPETCX2</b>	「20 その他」の2番目の記述

Q5 次の項目で、あなたが利用しているものすべてに○をつけてください。

<b>DOCOMPJ</b>	<b>DOCOMP</b>	<b>DOPHS</b>	<b>DOFAX</b>	<b>DONONEX</b>
1	2	3	4	5
パソコン (職場・学校で)	パソコン (自宅で)	携帯電話 (PHSを含む)	ファックス	いずれも 利用していない

Q6 あなたはパソコンや携帯電話 (PHSを含む) で、電子メールのやり取りをしていますか。

DOEMAIL

1	2	3	4
パソコンのみ	携帯のみ	両方でしている	していない

Q7 あなたは、パソコンまたは携帯電話で次のことを行なっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

<b>DOINBR</b>	<b>DOINSHOP</b>	<b>DOINBANK</b>	<b>DOINHP</b>	<b>DOINNONE</b>
1	2	3	4	5
情報検索	インターネット ショッピング	インターネット バンキング	ホームページの 作成	いずれも 行なっていない

Q8 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

		ほとんど 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	全く なし
FQ7FFDNR	A 家族と一緒に夕食	1	2	3	4	5	6	7
FQ7FRSEE	B 友人との会食や集まり	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CKDNR	C 夕食の用意	1	2	3	4	5	6	7
FQ7WASH	D 洗濯	1	2	3	4	5	6	7
FQ7SHOP	E 買い物（日用品や食料品の買い物）	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CLEAN	F 家の掃除	1	2	3	4	5	6	7
FQ7GARB	G ゴミ出し	1	2	3	4	5	6	7

Q9 あなたは、以下のことをどのくらい行ないますか。

		よくする	時々する	あまりしない	全くしない /知らない
FQ4DRIVE	A ドライブ	1	2	3	4
FQ4KARA	B カラオケ	1	2	3	4
FQ4MOVIE	C 映画鑑賞（ビデオを含む）	1	2	3	4
FQ4MUSIC	D 音楽鑑賞（CD・ラジオ・コンサートなど）	1	2	3	4
FQ4GAME	E テレビゲーム（PCゲーム・携帯用を含む）	1	2	3	4
FQ4GREEN	F 園芸・庭いじり	1	2	3	4
FQ4SHGIG	G 将棋・囲碁	1	2	3	4
FQ4LOTTO	H 宝くじ	1	2	3	4
FQ4PACHI	I パチンコ・パチスロ	1	2	3	4

Q10-1 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ（ウォーキング、水泳、野球など）を行なっていますか。

FQSPORT

1	2	3	4	5
週に数回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんどしない

Q10-2 どのようなスポーツをしていますか。

XXSPORT 具体的に（ \_\_\_\_\_ ）

Q11-1 あなたは、何か趣味の会（コーラス・写真・山歩きなど）に入っていますか。

MEMHOBBY 1 はい 2 いいえ

Q11-2 どのような会に入っていますか。

XXMEMHOB 具体的に（ \_\_\_\_\_ ）

Q12 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行（仕事以外）をしますか。

FQ5TRIP

1	2	3	4	5
月に数回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくなし



Q13-1 あなたは自動車の運転免許を持っていますか。(二輪車の免許は含みません)

DOCLCNS

1 免許を持っている

2 免許を持っていない

Q13-2 あなたは次のような目的で車を運転することがありますか。

それぞれについてお答えください。

		ほぼ 毎日	週に 3,4日 程度	週に 1,2日 程度	月に 1,2日 程度	年に 数回	その目的では 運転して いない
USCARCMT	A 自分の通勤・通学	1	2	3	4	5	6
USCARTFF	B 家族の送り迎え	1	2	3	4	5	6
USCARSHP	C 日常の買物・用事	1	2	3	4	5	6
USCARWK	D 仕事中の移動・運搬	1	2	3	4	5	6
USCARLSR	E レジャー	1	2	3	4	5	6

Q14 あなたは自家用車に関する次の A~F の意見についてどう思いますか。それぞれについてお答えください。

		そう 思う	どちらかと いえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかと いえば そう思わない	そう 思わない
OPCARDLF	A 車がないと日常生活に支障がある	1	2	3	4	5
OPCARFLD	B 車がないと行動範囲が狭くなる	1	2	3	4	5
OPCARDRV	C 車があるとドライブの楽しみが持てる	1	2	3	4	5
OPCARCST	D 車にかかる費用は高すぎる	1	2	3	4	5
OPCARACC	E 車は事故を起こしやすい乗り物だ	1	2	3	4	5
OPCARECO	F 車による環境汚染が心配だ	1	2	3	4	5

Q15 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。(回答例のように番号に○をつけてください)

満足 ←————→ 不満

( 回答例 )		1	2	3	④	5	
ST5AREAY	A 住んでいる地域	1	2	3	4	5	
ST5LEISY	B 余暇の過ごし方	1	2	3	4	5	
ST5LIFEY	C 家庭生活	1	2	3	4	5	
ST5ECNY	D 現在の家計の状態	1	2	3	4	5	
ST5FRIY	E 友人関係	1	2	3	4	5	
ST5HLTHY	F 健康状態	1	2	3	4	5	
ST5SSREL	G 配偶者との関係	1	2	3	4	5	6 配偶者はいない

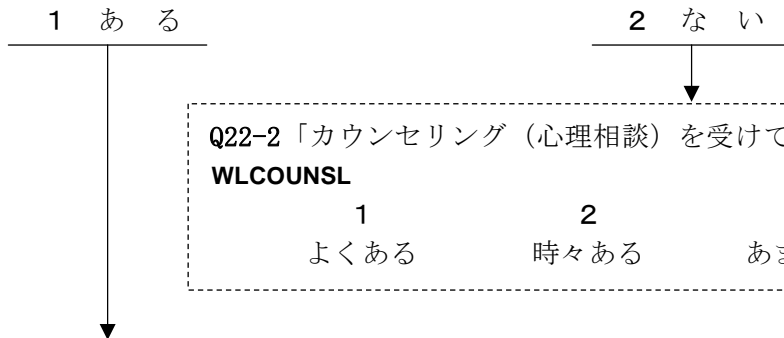


**Q21** 社会が激しく変化する中で、心の健康が重大な問題になっています。もし、あなたが個人的な悩みやストレスを多く抱え、「ノイローゼかもしれない」と不安になったとしたら、誰に相談したいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                 |               |                 |                         |
|-----------------|---------------|-----------------|-------------------------|
| <b>WLADFF</b>   | 1 家族          | <b>WLADPSY</b>  | 5 臨床心理士・カウンセラーなど心理学の専門家 |
| <b>WLADFRI</b>  | 2 友人・知人・恋人    | <b>WLADRLGN</b> | 6 僧侶・牧師などの宗教家           |
| <b>WLADDDSP</b> | 3 精神科・心療内科の医師 | <b>WLADOTHR</b> | 7 その他（具体的に_____）        |
| <b>WLADDD</b>   | 4 その他の医師      | <b>WLADNONE</b> | 8 誰にも相談しない              |

**Q22-1** あなたは、過去5年間に、精神科医やカウンセラーなどが行なうカウンセリング（心理相談）を受けたことがありますか。

**XCOUNSLR**



**Q23** あなたと一緒に暮らしているご家族の中で、過去5年間に、カウンセリング（心理相談）を受けたことがある方はいますか。

**XCOUNSLF**

- |      |       |              |
|------|-------|--------------|
| 1 いる | 2 いない | 3 誰とも同居していない |
|------|-------|--------------|

**Q24** あなたは、一般の人に比べて、カウンセリングや心理学についての知識がある方だと思いますか。

**KWCOUNSL**

- |             |            |            |             |
|-------------|------------|------------|-------------|
| 1<br>ある程度ある | 2<br>少しはある | 3<br>あまりない | 4<br>まったくない |
|-------------|------------|------------|-------------|

**Q25** 「これからの学校教育は、学力をつけることよりも心を育てることを、特に重視するべきだ」という意見があります。あなたはこの意見についてどう思いますか。

**OPEDMND**

- |           |                       |                         |             |
|-----------|-----------------------|-------------------------|-------------|
| 1<br>そう思う | 2<br>どちらかといえば<br>そう思う | 3<br>どちらかといえば<br>そう思わない | 4<br>そう思わない |
|-----------|-----------------------|-------------------------|-------------|

**Q26** 少年少女が殺人などの凶悪犯罪をおかす場合、次にあげるA～Eは、その原因としてどの程度関係していると思いますか。

		ほとんどの事件で 関係している	多くの事件で 関係している	一部の事件で 関係している	ほとんどの事件で 関係していない
<b>OPJVMNTL</b>	A 加害少年少女の心理状態	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>OPJVFF</b>	B 加害少年少女の家庭環境	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>OPJVSCHL</b>	C 加害少年少女の学校での生活環境	1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>OPJVLAW</b>	D 少年法などの現行の法律制度	--> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>OPJVECN</b>	E 社会における経済的な格差	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4



ここからは、あなたの暮らし向きや政治に関するお考えについておうかがいします。

Q28-1 あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

**OWNHOUSE**

- 1 持ち家（親などが持ち主の場合も含む）
- 2 民間の賃貸住宅
- 3 社宅・公務員住宅等の給与住宅
- 4 公社・公団等の公営の賃貸住宅
- 5 その他（\_\_\_\_\_）

Q28-2 あなたの現在のお住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。

**TPHOUSE**

- 1 一戸建て
- 2 集合住宅（アパート・マンションなど）

Q29 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

**XLIVEYR**

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 生まれてからずっと | 5 5年～10年未満  |
| 2 1年未満      | 6 10年～20年未満 |
| 3 1年～3年未満   | 7 20年～30年未満 |
| 4 3年～5年未満   | 8 30年以上     |

Q30 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

**WLLIVE**

- |           |             |                  |                  |
|-----------|-------------|------------------|------------------|
| 1 ずっと住みたい | 2 当分の間は住みたい | 3 できれば他の地域に引越したい | 4 すぐにも他の地域に引越したい |
|-----------|-------------|------------------|------------------|

Q31 この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

**OP3ECN3A**

- 1 良くなった
- 2 悪くなった
- 3 変わらない

Q32 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

**OP5FFINX**

- |              |           |        |          |             |
|--------------|-----------|--------|----------|-------------|
| 1 平均よりかなり少ない | 2 平均より少ない | 3 ほぼ平均 | 4 平均より多い | 5 平均よりかなり多い |
|--------------|-----------|--------|----------|-------------|

Q33 あなたが15歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

**OPFFIX15**

- |              |           |        |          |             |
|--------------|-----------|--------|----------|-------------|
| 1 平均よりかなり少ない | 2 平均より少ない | 3 ほぼ平均 | 4 平均より多い | 5 平均よりかなり多い |
|--------------|-----------|--------|----------|-------------|

Q34 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

**OP5CHNCA**

- |         |         |             |         |          |
|---------|---------|-------------|---------|----------|
| 1 充分にある | 2 少しはある | 3 どちらともいえない | 4 あまりない | 5 まったくない |
|---------|---------|-------------|---------|----------|

**Q35** 現在、年金を受け取っている人達に比べて、あなたが老後に受け取る年金の額は、どうなっていると思いますか。

**OP5PENSN**

1	2	3	4	5	6	7
かなり良くなっている	少し良くなっている	だいたい同じ	少し悪くなっている	かなり悪くなっている	わからない	現在年金を受けている

**Q36** かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると思っていますか。

**OP5LEVK**

1	2	3	4	5
上	中の上	中の中	中の下	下


**Q37** あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

**QFNRINCR**

1 賛成	2 反対
------	------

**Q38** 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。


個人や家族の責任 国や自治体の責任

1      2      3      4      5  


<b>OP5SRWFY</b>	A 高齢者の生活保障（生活費）	1	2	3	4	5
<b>OP5SRMDY</b>	B 高齢者の医療・介護	1	2	3	4	5
<b>OP5CCED</b>	C 子どもの教育	1	2	3	4	5
<b>OP5CCARE</b>	D 保育・育児	1	2	3	4	5

**Q39** 政治的な考え方を、保守的から革新的までの5段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

**OP5RADCA**

保守的					革新的
1	2	3	4	5	
					

**Q40** あなたに課せられている所得税は、高いと思いますか。

**OP6TAXHI**

1	2	3	4	5	6	7
低い	やや低い	適切	やや高い	高い	わからない	課せられていない

**Q41** 不治の病におかされた患者が、痛みを伴わない安楽死を望んでいるとします。その家族も同意している場合に、医者が安楽死を行なえる法律をつくるべきだと思いますか。

**QDDKILLA**

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

**Q42** 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。

**Q5GVEQAA**

- |    |                |               |                |    |
|----|----------------|---------------|----------------|----|
| 1  | 2              | 3             | 4              | 5  |
| 賛成 | どちらかといえ<br>ば賛成 | どちらとも<br>いえない | どちらかといえ<br>ば反対 | 反対 |

**Q43-1** 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

**XX8PLPTY**

- |     |     |     |     |     |               |                 |       |
|-----|-----|-----|-----|-----|---------------|-----------------|-------|
| 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6             | 7               | 8     |
| 自民党 | 民主党 | 公明党 | 共産党 | 社民党 | その他の政党<br>( ) | 特に支持する<br>政党はない | わからない |

**Q43-2** ふだん好ましいと思っている政党はありますか。1つだけ選んでください。

**XX9PLPFV**

- |     |     |     |     |     |            |                    |       |
|-----|-----|-----|-----|-----|------------|--------------------|-------|
| 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6          | 7                  | 8     |
| 自民党 | 民主党 | 公明党 | 共産党 | 社民党 | その他の政党 ( ) | 特に好ましく感じる<br>政党はない | わからない |

**Q44** あなたの家から1キロ（徒歩15分程度）以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

**FEARWALK**

- |    |     |
|----|-----|
| 1  | 2   |
| はい | いいえ |

**Q45** 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

**XSTOLN1Y**

- |    |     |
|----|-----|
| 1  | 2   |
| はい | いいえ |

**Q46** 過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと（例えば、強盗、恐喝やひったくり）がありますか。

**XROBBD1Y**

- |    |     |
|----|-----|
| 1  | 2   |
| はい | いいえ |

**Q47** 「暮らしを豊かにするためには、ある程度の借金をしてもかまわない」という意見についてどう思いますか。

**Q4DEBT**

- |    |                |                |    |
|----|----------------|----------------|----|
| 1  | 2              | 3              | 4  |
| 賛成 | どちらかといえ<br>ば賛成 | どちらかといえ<br>ば反対 | 反対 |

**Q48** クレジット・カードに対する次のA~Dの意見について、あなたはどう思いますか。

- |                 |                         |        |              |              |        |       |   |       |   |
|-----------------|-------------------------|--------|--------------|--------------|--------|-------|---|-------|---|
|                 |                         |        | どちらかといえ<br>ば | どちらかといえ<br>ば |        |       |   |       |   |
|                 |                         | そう思う   | そう思う         | そう思わない       | そう思わない |       |   |       |   |
| <b>OPCDUSFL</b> | A 持っている<br>と便利だ         | -----> | 1            | .....        | 2      | ..... | 3 | ..... | 4 |
| <b>OPCDOVER</b> | B 使いすぎる<br>恐れがある        | -----> | 1            | .....        | 2      | ..... | 3 | ..... | 4 |
| <b>OPCDCRM</b>  | C 犯罪に利用<br>される恐れ<br>がある | ---->  | 1            | .....        | 2      | ..... | 3 | ..... | 4 |
| <b>OPCDCM</b>   | D 宣伝を法律<br>で制限すべ<br>きだ  | -----> | 1            | .....        | 2      | ..... | 3 | ..... | 4 |

**Q49-1** あなたは、クレジットカードを何枚持っていますか。使っていないものも含めてお答えください。

**NUMCARD**

0	1	2	3	4	5	6
持っていない	1枚	2枚	3枚	4枚	5枚	6枚以上

**Q49-2** 次の支払いに、あなたはクレジットカードをどのくらい利用していますか。

		よく 利用する	たまに 利用する	あまり 利用しない	まったく 利用しない
<b>USCDDAY</b>	A 日常の買い物	1	2	3	4
<b>USCDHIGH</b>	B 高額な買い物	1	2	3	4
<b>USCDEAT</b>	C 外食の代金	1	2	3	4
<b>USCDCHRG</b>	D 公共料金・通信費	1	2	3	4

**Q49-3** クレジット・カードの次の機能を、あなたはどのくらい利用していますか。

		よく 利用する	たまに 利用する	あまり 利用しない	まったく 利用しない
<b>FNCDDONE</b>	A 1回払いの買い物	1	2	3	4
<b>FNC DINST</b>	B 分割払いの買い物	1	2	3	4
<b>FNC DREVO</b>	C 毎月定額を支払うリボ払い	1	2	3	4
<b>FNC DCASH</b>	D 現金を引き出すキャッシング	1	2	3	4

**Q50** このところ、無人契約機などで手軽にお金を借りられる消費者金融が普及しています。消費者金融に対する次のA~Dの意見について、あなたはどのように思いますか。

		そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
<b>OPCSUSFL</b>	A あると便利だ	1	2	3	4
<b>OPCSOVER</b>	B 使いすぎる恐れがある	1	2	3	4
<b>OPCSCRM</b>	C 犯罪に利用される恐れがある	1	2	3	4
<b>OPCSCM</b>	D 宣伝を法律で制限すべきだ	1	2	3	4

**Q51-1** あなたは、過去3年の間に消費者金融でお金を借りたことがありますか。

**NUMCONSF**

0	1	2	3	4
まったくない	1回ある	2~5回ある	6~9回ある	10回以上ある

次ページ Q52 へ

**Q51-2** どのような支払いに消費者金融を利用したことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

<b>USCSDAY</b>	1 日常の生活費	<b>USCSSOC</b>	5 友人・知人との交際費
<b>USCSMD</b>	2 医療費	<b>USCSHOB</b>	6 趣味の費用
<b>USCSEDU</b>	3 教育費	<b>USCSCLTH</b>	7 服飾品の費用
<b>USCSBUS</b>	4 事業資金	<b>USCSBANK</b>	8 他の金融機関への支払い
		<b>USCSOTHR</b>	9 その他（具体的に_____）



ここからは、あなたの家庭生活や人づきあいに関するお考えについておうかがいします。

Q52 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思いますか。

APPCCNUM

0 1 2 3 4 5  
 0 人 1 人 2 人 3 人 4 人 5人以上  
 (具体的に\_\_人)

APPCCNMX

Q53 もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

APPCCSXB 1 男の子 2 女の子

Q54 次のA~Iの意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

		賛成	どちらかと いえば賛成	どちらかと いえば反対	反対
<b>Q4DIVOK</b>	A 結婚しても、相手に満足できないときは、 いつでも離婚すればよい ----->	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>Q4WWJBIA</b>	B 夫に十分な収入がある場合には、 妻は仕事をもたない方がよい ----->	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>Q4WNMGA</b>	C なんとんでも女性の幸福は結婚にある ----->	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>Q4MNCOOK</b>	D 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ ----->	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>Q4WWHHX</b>	E 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ ----->	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>Q4MNMGA</b>	F なんとんでも男性の幸福は結婚にある ----->	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>Q4JBMCC</b>	G 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の 子どもによく影響を与える ----->	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>Q4NOCCMG</b>	H 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない ->	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>Q4WWPHH</b>	I 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、 夫の仕事の手助けをする方が大切である ----->	1 .....	2 .....	3 .....	4

Q55 あなたは一般に、三世同居（親・子・孫の同居）は望ましいことだと考えますか。

OP2GNR

1 望ましい 2 望ましくない

Q56 一般的に、人は信用できると思いますか。

OP3TRUST

1 はい 2 いいえ 3 場合による

Q57 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号（1～7）を1つ選んでください。

OP7GDEVO

人間の本性は  
本来「悪」である

1 2 3 4 5 6 7

人間の本性は  
本来「善」である

Q58-1 あなたは過去1年間に、定期的にボランティア活動を行なったことがありますか。

XVLREG

1 ある

2 ない

Q58-2 平均して、1ヶ月にどのくらいの時間を使いましたか。

SZVLREG 月平均 \_\_\_\_\_ 時間くらい

Q58-3 どのような活動をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- XVLRENV 1 環境保護・清掃に関する活動
- XVLRWF 2 介護・福祉に関する活動
- XVLRUL 3 文化・芸術に関する活動
- XVLRCH 4 教育・技術指導に関する活動
- XVLRDNT 5 寄付金を集める活動（募金集め、バザーの手伝いなど）
- XVLRTHR 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_）

Q59-1 あなたは過去1年間に、不定期にボランティア活動を行なったことがありますか（突発的な事件や災害への支援を含む）。

XVLIRREG

1 ある

2 ない

Q59-2 過去1年間に、合計何日くらい行ないましたか。

（1日30分でも1日と数える）

SZVLIRRG 年間合計 \_\_\_\_\_ 日くらい

Q59-3 どのような活動をしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- XVLTEV 1 環境保護・清掃に関する活動
- XVLTWF 2 介護・福祉に関する活動
- XVLTUL 3 文化・芸術に関する活動
- XVLTCH 4 教育・技術指導に関する活動
- XVLTDNT 5 寄付金を集める活動（募金集め、バザーの手伝いなど）
- XVLTTHR 6 その他（具体的に \_\_\_\_\_）

Q60 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。A~Fそれぞれについて、お答えください。

- MEMPLTGP A 政治関係の団体や会 -----> 1 はい ..... 2 いいえ
- MEMIND B 業界団体・同業者団体 -----> 1 はい ..... 2 いいえ
- MEMVLNTR C ボランティアのグループ -----> 1 はい ..... 2 いいえ
- MEMCIVIL D 市民運動・消費者運動のグループ --> 1 はい ..... 2 いいえ
- MEMRL E 宗教の団体や会 -----> 1 はい ..... 2 いいえ
- MEMSPORT F スポーツ関係のグループやクラブ --> 1 はい ..... 2 いいえ

Q61-1 あなたは過去1年間に、以下の寄付をしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- XDNTREG** 1 定期的に寄付をした  
**XDNTBOX** 2 街かどやコンビニなどで募金箱に寄付した  
**XDNTSCH** 3 学校や地域の募金活動を通して寄付した  
**XDNTMASS** 4 マスコミなどの呼びかけに応じて寄付した（銀行振込み・インターネット・電話など）  
**XDNTOTHR** 5 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

**XDNTNONE** 6 寄付はしていない

Q61-2 過去1年間に、合計いくらぐらい寄付しましたか。

- SZDNT**
- |   |          |   |            |
|---|----------|---|------------|
| 1 | 500円まで   | 5 | ～50,000円   |
| 2 | ～1,000円  | 6 | ～100,000円  |
| 3 | ～5,000円  | 7 | 100,000円以上 |
| 4 | ～10,000円 |   |            |

Q62-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

**DORL**

- 1 ある                      2 特に信仰していないが、家の宗教はある                      3 ない

Q62-2 それは何ですか。

**XXRL**                      （具体的に\_\_\_\_\_）

Q62-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

- DO3PIOUS**
- |   |            |
|---|------------|
| 1 | 熱心である      |
| 2 | まあまあ熱心である  |
| 3 | そんなに熱心ではない |

Q63 あなたの高齢期の過ごし方で、次のA～Iの活動は、どの程度重要だと思いますか。

			非常に重要	重要	どちらとも いけない	重要 ではない	まったく 重要ではない
<b>IMOAWORK</b>	A 仕事	----->	1	2	3	4	5
<b>IMOACOM</b>	B 町内会・老人会等での地域活動	---->	1	2	3	4	5
<b>IMOACRCL</b>	C 文化・スポーツサークルへの参加	--->	1	2	3	4	5
<b>IMOAVLTR</b>	D ボランティア・社会貢献活動	---->	1	2	3	4	5
<b>IMOALSR</b>	E 娯楽・レジャー活動	----->	1	2	3	4	5
<b>IMOALRN</b>	F 読書・学習・研究活動	----->	1	2	3	4	5
<b>IMOAFF</b>	G 家族や親族と過ごす時間	----->	1	2	3	4	5
<b>IMOAFRI</b>	H 友人と過ごす時間	----->	1	2	3	4	5
<b>IMOALON</b>	I 自分一人の時間	----->	1	2	3	4	5

Q64 あなたの高齢期の生活を充実させるうえで、次のA~Jとの関係は、どの程度重要だと思いますか。

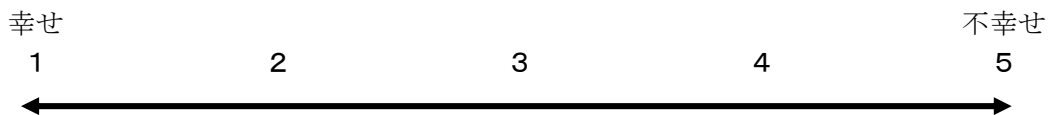
			非常に重要	重要	どちらとも いけない	重要 ではない	まったく 重要ではない
IMORSS	A	配偶者	1	2	3	4	5
IMORCC	B	子ども	1	2	3	4	5
IMORSIB	C	きょうだい	1	2	3	4	5
IMORCCG	D	孫	1	2	3	4	5
IMORPAR	E	親	1	2	3	4	5
IMORFRWK	F	仕事関係の友人・昔の同僚	1	2	3	4	5
IMORFRSC	G	学校時代の友人	1	2	3	4	5
IMORFRCC	H	参加団体・サークルの友人	1	2	3	4	5
IMORCOM	I	近所の人	1	2	3	4	5
IMORPET	J	ペット	1	2	3	4	5

Q65 次にあげるA~Oについて、あなたはどれくらい信頼していますか。

			とても 信頼している	少しは 信頼している	ほとんど 信頼していない	わからない
TR3CORPZ	A	大企業	1	2	3	4
TR3RLGPZ	B	宗教団体	1	2	3	4
TR3SCHLZ	C	学校	1	2	3	4
TR3BCRAZ	D	中央官庁	1	2	3	4
TR3UNNZ	E	労働組合	1	2	3	4
TR3NWSPZ	F	新聞	1	2	3	4
TR3HSPLZ	G	病院	1	2	3	4
TR3TVZ	H	テレビ	1	2	3	4
TR3SPCAZ	I	裁判所	1	2	3	4
TR3ACDAZ	J	学者・研究者	1	2	3	4
TR3CGMNZ	K	国会議員	1	2	3	4
TR3CITYZ	L	市区町村議会議員	1	2	3	4
TR3DEFZ	M	自衛隊	1	2	3	4
TR3COPZ	N	警察	1	2	3	4
TR3FINZ	O	金融機関	1	2	3	4

Q66 あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ



ご協力ありがとうございました。担当の調査員にお渡してください。

WEIGHT



文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

2006 年 10 月  
JGSS-2006 留置調査票 A 票

## 「第 6 回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所

最初に、あなたの日常的な生活についておうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV(AB 共通 B 票 Q1) 

--	--

 時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

**FQ5READ**(AB 共通 B 票 Q2)

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

**FQ5NEWSP**(AB 共通 B 票 Q3)

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない

Q4-1 次の項目で、あなたが利用しているものすべてに○をつけてください。

<b>DOCOMPJ</b>	<b>DOCOMP</b>	<b>DOPHS</b>	<b>DONONEX</b>
1	2	3	4
パソコン (職場・学校で)	パソコン (自宅で)	携帯電話 (PHSを含む)	いずれも利用 していない

Q4-2 あなたは、パソコンまたは携帯電話 (PHS を含む) のインターネットを利用して、次のことを行なっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

<b>DOINBR</b>	<b>DOINSHOP</b>	<b>DOINBANK</b>	<b>DOINHP</b>	<b>DOINNONE</b>
1	2	3	4	5
情報検索	インターネット ショッピング	インターネット バンキング	ホームページの 作成	いずれも 行なっていない

Q4-3 あなたは、携帯電話 (PHS を含む) やパソコンを利用して、次のことをどのくらい行なっていますか。

	1日に 5回以上	1日に 3~4回	1日に 1~2回	週に 数回	週に 1回以下	まったく利用 していない
<b>FQMPTALK</b>						
A 携帯電話 (PHS を含む) での通話	1	2	3	4	5	6
<b>FQMPMAIL</b>						
B 携帯電話 (PHS を含む) からの メール送信	1	2	3	4	5	6
<b>FQPCMAIL</b>						
C パソコンからのメール送信	1	2	3	4	5	6

Q5 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ (ウォーキング、水泳、野球など) を行なっていますか。

**FQSPORT**

1	2	3	4	5
週に数回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんどしない



Q10-1 あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。

**DOSMOKEX**

1  
現在  
吸っている

2  
以前は吸って  
いたがやめた

3  
ほとんど／まったく  
吸ったことはない

Q10-2 禁煙しようと努力したことがありますか。

**XQTSMOKE**

1 はい 2 いいえ

Q11 あなたは、普段お酒を飲みますか。

**DO7DRINK**

1 ほとんど 2 週に 3 週に 4 月に 5 年に 6 年に 7 まったく  
毎日 数回 1回程度 1回程度 数回 1回程度 飲まない

Q12 過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと（例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死）を何回経験しましたか。

**XTRAUM5Y**(AB 共通B票 Q12)

0 なし 1 1回 2 2回 3 3回 4 4回以上

Q13 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。回答例のように、それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。

満足 ←-----→ 不満

(回答例)	1	2	3	4	5	
<b>ST5AREAY</b> (AB 共通 B 票 Q14A) A 住んでいる地域	1	2	3	4	5	
<b>ST5LEISY</b> (AB 共通 B 票 Q14B) B 余暇の過ごし方	1	2	3	4	5	
<b>ST5LIFEY</b> (AB 共通 B 票 Q14C) C 家庭生活	1	2	3	4	5	
<b>ST5ECNY</b> (AB 共通 B 票 Q14D) D 現在の家計の状態	1	2	3	4	5	
<b>ST5FRIY</b> (AB 共通 B 票 Q14E) E 友人関係	1	2	3	4	5	
<b>ST5HLTHY</b> (AB 共通 B 票 Q14F) F 健康状態	1	2	3	4	5	
<b>ST5SSREL</b> (AB 共通 B 票 Q14G) G 配偶者（夫や妻）との関係	1	2	3	4	5	6 配偶者はいない

Q14 あなたは、現在幸せですか。

**OP5HAPPZ**

1 幸せ 2 3 4 5 不幸せ



ここからは、あなたと外国語や外国人との関わりについて、おうかがいします。

Q15 あなたは過去1年間に、以下のことで英語を読んだり、聴いたり、話したりしたことが少しでもありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                |   |                 |
|----------------|---|-----------------|
| <b>EABUS</b>   | 1 | 仕事              |
| <b>EASOC</b>   | 2 | 外国人の友人や知人とのつき合い |
| <b>EAART</b>   | 3 | 映画鑑賞・音楽鑑賞・読書    |
| <b>EAINET</b>  | 4 | インターネット         |
| <b>EATRIP</b>  | 5 | 海外旅行            |
| <b>EAOTHER</b> | 6 | その他（具体的に_____）  |
| <b>EANONE</b>  | 7 | まったく使ったことがない    |
| <b>EALEARN</b> |   | 学習              |

Q16 あなたは、英語でどのくらい会話ができますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

**ENGTALK**

- 1 日常生活や仕事の英会話が、充分できる
- 2 日常生活や仕事の英会話は、なんとかできる程度
- 3 道をたずねたり、レストランで注文できる程度
- 4 あいさつができる程度
- 5 ほとんど話せない

Q17 あなたの英語の読解力は、どのくらいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

**ENGREAD**

- 1 英語の本や新聞が、スラスラ読める
- 2 英語の本や新聞を、なんとか読める
- 3 短い英語の文章なら読める
- 4 簡単な英単語ならわかる
- 5 ほとんど読めない

Q18 あなたは今後、英語を学習するつもりですか。

**WLRNENG**

- |                 |                 |               |                |
|-----------------|-----------------|---------------|----------------|
| <b>1</b>        | <b>2</b>        | <b>3</b>      | <b>4</b>       |
| 積極的に<br>学習するつもり | 機会があれば<br>学習したい | しかたなく<br>学習する | 学習する<br>つもりはない |

Q19 あえて英語以外の外国語を学ぶとすれば、あなたは何語を学ぶことに興味がありますか。もっとも興味がある外国語1つに○をつけてください。

**INTFLANG**

- |   |        |    |                |
|---|--------|----|----------------|
| 1 | ドイツ語   | 6  | ロシア語           |
| 2 | フランス語  | 7  | 中国語            |
| 3 | スペイン語  | 8  | ハングル（韓国・朝鮮語）   |
| 4 | ポルトガル語 | 9  | アラビア語          |
| 5 | イタリア語  | 10 | その他（具体的に_____） |

「その他」の具体的記述から追加

- 11 興味がある外国語はない



Q24 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

**XLIVEYR** (AB 共通 B 票 Q17)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 生まれてからずっと | 5 5年～10年未満  |
| 2 1年未満      | 6 10年～20年未満 |
| 3 1年～3年未満   | 7 20年～30年未満 |
| 4 3年～5年未満   | 8 30年以上     |

Q25 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

**WLLIVE**

- |             |               |                    |                    |
|-------------|---------------|--------------------|--------------------|
| 1           | 2             | 3                  | 4                  |
| ずっと<br>住みたい | 当分の間は<br>住みたい | できれば<br>他の地域に引越したい | すぐにも<br>他の地域に引越したい |

Q26-1 あなたは、現在、何か収入をとまなう仕事を持っていますか。

**XJOBX**

- |       |        |
|-------|--------|
| 1     | 2      |
| 持っている | 持っていない |

Q26-2 今働いている会社（自営の場合は今の事業）をやめるつもりがありますか。

**WLKEEPJA**

- |                 |                 |                   |       |
|-----------------|-----------------|-------------------|-------|
| 1               | 2               | 3                 | 4     |
| 近いうちに<br>やめるつもり | 当分やめる<br>つもりはない | まったくやめる<br>つもりはない | わからない |

Q26-3 今後1年間にあなたが失業する可能性があると思いますか。

**OP4UNEMP**

- |       |        |       |        |       |
|-------|--------|-------|--------|-------|
| 1     | 2      | 3     | 4      | 5     |
| かなりある | ある程度ある | あまりない | まったくない | わからない |

Q26-4 もし今の仕事をやめた場合、現在と同じ程度の年収・福利厚生を提供してくれる他の会社に就職することは、どの程度容易だと思いますか。

**OP3NEWJB**

- |              |               |        |       |
|--------------|---------------|--------|-------|
| 1            | 2             | 3      | 4     |
| 非常に<br>容易である | ある程度<br>容易である | 容易ではない | わからない |

Q27 この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

**OP3ECN3A**

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1     | 2     | 3     |
| 良くなった | 悪くなった | 変わらない |

Q28 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

**OP5FFINX** (AB 共通 B 票 Q18)

- |                |             |      |            |               |
|----------------|-------------|------|------------|---------------|
| 1              | 2           | 3    | 4          | 5             |
| 平均より<br>かなり少ない | 平均より<br>少ない | ほぼ平均 | 平均より<br>多い | 平均より<br>かなり多い |







Q47 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

**XX8PLPTY**(AB 共通 B 票 Q27)

- 1 自民党
- 2 民主党
- 3 公明党
- 4 共産党
- 5 社民党
- 6 その他の政党 ( )
- 7 特に支持する政党はない
- 8 わからない

Q48 政権を担当する能力があるのはどの政党だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- OLDPOK** 1 自民党
- ODPOK** 2 民主党
- OKOMEIOK** 3 公明党
- OCOMMPOK** 4 共産党
- OSDPOK** 5 社民党
- OOTHEROK** 6 その他の政党 ( )
- ONOPLPOK** 7 そのような政党はない
- OPLPDONT** 8 わからない

ここからは、防犯についてのあなたのお考えを、おうかがいします。

Q49 あなたの家から1キロ（徒歩15分程度）以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

**FEARWALK**

- 1 はい
- 2 いいえ

Q50 過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと（例えば、強盗、恐喝やひったくり）がありますか。

**XROBBD1Y**

- 1 はい
- 2 いいえ

Q51 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

**XSTOLN1Y**

- 1 はい
- 2 いいえ

Q52 あなた、またはあなたの住居の管理者は、防犯のために次のようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- DOACSECC** 1 警備会社と契約
- DOACCAM** 2 監視カメラを設置
- DOACDOG** 3 防犯のために犬を飼う
- DOACKEY** 4 ドアや窓の鍵に工夫（オートロックを含む）
- DOACOTHR** 5 上記以外の防犯対策（具体的に )
- DOACNONE** 6 特に防犯対策はしていない
- DOACLIT** 明かりに工夫

Q53 あなたは、防犯のために次のような対策をとることについて、どう思いますか。

		賛成	どちらかといえば 賛成	どちらかといえば 反対	反対
<b>OPACCAM</b>	A 路上を監視するカメラの設置----->	1	2	3	4
<b>OPACSEXC</b>	B 性犯罪歴のある人の住所の公表----->	1	2	3	4
<b>OPACPTRL</b>	C 地域住民によるパトロール----->	1	2	3	4
<b>OPACINET</b>	D インターネットの書き込み内容の監視-->	1	2	3	4

Q54 いっしょに自殺をしてくれる仲間をインターネットなどで探す人がいます。あなたは、このような人の気持ちが理解できますか。

**OPSCDIN**

- |             |               |               |                |
|-------------|---------------|---------------|----------------|
| 1           | 2             | 3             | 4              |
| よく<br>理解できる | ある程度<br>理解できる | あまり<br>理解できない | まったく<br>理解できない |

Q55 どうしようもない困難に陥った人は、自殺をしてもやむをえないと思いますか。

**OPSCD**

- |      |                  |                    |        |
|------|------------------|--------------------|--------|
| 1    | 2                | 3                  | 4      |
| そう思う | どちらかといえば<br>そう思う | どちらかといえば<br>そう思わない | そう思わない |

Q56 あなたは、ここ5年の間に「自殺をしたい」と考えたことがありましたか。

**XWNTSCD**

- |     |                    |       |
|-----|--------------------|-------|
| 1   | 2                  | 3     |
| あった | ここ5年はないが、それ以前にはあった | 一度もない |

ここからは、教育についてのあなたのお考えを、おうかがいします。

Q57 一般的に、子どもにとって以下のことはどの程度重要だと思いますか。

(AB 共通 B 票 Q23A~D)

		非常に 重要である	重要である	少しは 重要である	重要でない
<b>IMEDLSSN</b>	A 習い事をする事----->	1	2	3	4
<b>IMEDCRAM</b>	B 塾や予備校に通う事----->	1	2	3	4
<b>IMEDUNIV</b>	C 大学に入る事----->	1	2	3	4
<b>IMEDHRU</b>	D 大学のなかでも高いレベルの大学に入る事----->	1	2	3	4

Q58 教育について次のような意見があります。それぞれについてあなたはどう思いますか。

(AB 共通 B 票 Q24A~C)

		そう 思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない
<b>OP4EDJOB</b>	A 高い学歴を得れば、希望する仕事につくことができる----->	1	2	3	4
<b>OP4EDINC</b>	B 高い学歴を得れば、収入面で恵まれる----->	1	2	3	4
<b>OP4EDMG</b>	C 高い学歴を得れば、よりよい結婚ができる----->	1	2	3	4

Q59 あなたご自身は、経済的な理由で進学を断念したことがありますか。

**XQTEDU**

- |     |     |
|-----|-----|
| 1   | 2   |
| あ る | な い |







Q67-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

**DORL**(AB 共通 B 票 Q9-1)

1 ある

2 特に信仰していないが、家の宗教はある

3 ない

Q67-2 それは何ですか。

**XXRL**(AB 共通 B 票 Q9-2)

(具体的に \_\_\_\_\_)

Q67-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

**DO3PIOUS**(AB 共通 B 票 Q9-3)

1 熱心である

2 まあまあ熱心である

3 そんなに熱心ではない

Q68 次にあげる A～O について、あなたはどれくらい信頼していますか。

		とても 信頼している	少しは 信頼している	ほとんど 信頼していない	わからない
<b>TR3CORPZ</b>	A 大企業	1	2	3	4
<b>TR3RLGPZ</b>	B 宗教団体	1	2	3	4
<b>TR3SCHLZ</b>	C 学 校	1	2	3	4
<b>TR3BCRAZ</b>	D 中央官庁	1	2	3	4
<b>TR3UNNZ</b>	E 労働組合	1	2	3	4
<b>TR3NWSPZ</b>	F 新 聞	1	2	3	4
<b>TR3HSPLZ</b>	G 病 院	1	2	3	4
<b>TR3TVZ</b>	H テレビ	1	2	3	4
<b>TR3SPCAZ</b>	I 裁判所	1	2	3	4
<b>TR3ACDAZ</b>	J 学者・研究者	1	2	3	4
<b>TR3CGMNZ</b>	K 国会議員	1	2	3	4
<b>TR3CITYZ</b>	L 市区町村議会議員	1	2	3	4
<b>TR3DEFZ</b>	M 自衛隊	1	2	3	4
<b>TR3COPZ</b>	N 警 察	1	2	3	4
<b>TR3FINZ</b>	O 金融機関	1	2	3	4

長時間のご協力、誠にありがとうございました。担当の調査員にお渡してください。

**WEIGHT**

2006 年 10 月

JGSS-2006 留置調査票 B 票



文部科学省指定

学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

## 「第 6 回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学比較地域研究所  
東京大学社会科学研究所

最初に、あなたの日常的な生活についておうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV(AB 共通 A 票 Q1)

--	--

時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ(AB 共通 A 票 Q2)

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP(AB 共通 A 票 Q3)

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない

Q4 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行(仕事以外)をしますか。

FQ5TRIP(AB 共通 A 票 Q6)

1	2	3	4	5
月に数回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくしない

Q5 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

	ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	まったく していない
FQ7CKDNR(AB 共通 A 票 Q7C) A 夕食の用意----->	1	2	3	4	5	6	7
FQ7WASH(AB 共通 A 票 Q7D) B 洗濯----->	1	2	3	4	5	6	7
FQ7SHOP(AB 共通 A 票 Q7E) C 買い物(日用品や食料品の買い物)→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CLEAN(AB 共通 A 票 Q7F) D 家の掃除----->	1	2	3	4	5	6	7
FQ7GARB(AB 共通 A 票 Q7G) E ゴミ出し----->	1	2	3	4	5	6	7

Q6-1 あなたの家では、現在、犬・猫またはその他のペットを飼っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

DOPDOGE	DOPDOGI	DOPCATE	DOPCATI	DOPOTHR	DOPNONE
1	2	3	4	5	6
犬(室外で)	犬(室内で)	猫(室外で)	猫(室内で)	その他のペット	何も飼っていない

↓

Q6-2 あなた自身は、そのペットの世話をしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

DOPCDOGE	DOPCDOGI	DOPCCATE	DOPCCATI	DOPCOTHR	DOPCNONE
1	2	3	4	5	6
犬(室外で)	犬(室内で)	猫(室外で)	猫(室内で)	その他のペット	世話はしていない

↓

Q7 あなたは、これまでに、飼っていた犬または猫の死を経験したことがありますか。

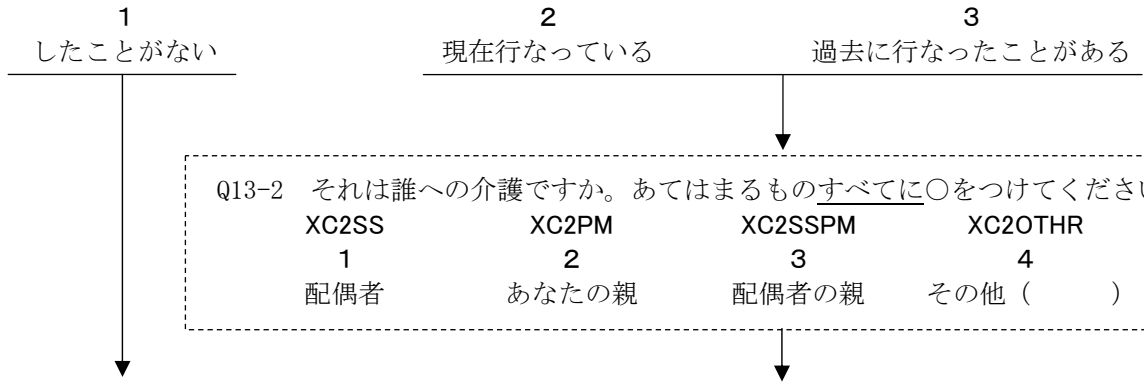
XDTHPET

1 ある	2 ない
------	------



Q13-1 あなたは、家族を介護(1ヶ月以上)したことがありますか。

XCARE



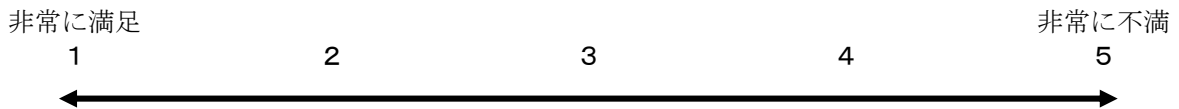
Q14 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。回答例のように、それぞれについて番号(1~5)を1つ選んでください。



(回答例)	1	2	3	4	5	
ST5AREAY(AB共通A票Q13A) A 住んでいる地域	1	2	3	4	5	
ST5LEISY(AB共通A票Q13B) B 余暇の過ごし方	1	2	3	4	5	
ST5LIFEY(AB共通A票Q13C) C 家庭生活	1	2	3	4	5	
ST5ECNY(AB共通A票Q13D) D 現在の家計の状態	1	2	3	4	5	
ST5FRIY(AB共通A票Q13E) E 友人関係	1	2	3	4	5	
ST5HLTHY(AB共通A票Q13F) F 健康状態	1	2	3	4	5	
ST5SSREL(AB共通A票Q13G) G 配偶者(夫や妻)との関係	1	2	3	4	5	6 配偶者はいない

Q15 あなたは、現在の生活全般に満足していますか。

STALLLF



ここからは、あなたの暮らし向きや政治に関するお考えについておうかがいします。

Q16-1 あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

OWNHOUSE(AB共通A票Q23-1)

- 1 持ち家(親などが持ち主の場合も含む)
- 2 民間の賃貸住宅
- 3 社宅・公務員住宅等の給与住宅
- 4 公社・公団等の公営の賃貸住宅
- 5 その他(具体的に\_\_\_\_\_)









Q35 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A どのような状況においても、父親の権威は尊重されるべきだ

Q7FFAUTH

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

B 親の誇りとなるように、子どもは努力するべきだ

Q7FFHNR

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

C 長男が、多くの財産を相続するべきだ

Q7FFMAN

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

D 親の世話をした子どもが、多くの財産を相続するべきだ

Q7FFCARE

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

E 家系の存続のためには、息子を少なくとも1人もつべきだ

Q7FFNDMN

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

F 先祖伝来の墓は、大切に守って子どもに伝えるべきだ

Q7FFGRV

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

Q36 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 夫と妻の両方の親族が、妻の助けを必要としている時には、妻は夫の親族を優先して助けるべきだ

Q7PRMAN

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

B 自分の幸福よりも、家族の幸福や利益を優先するべきだ

Q7PRFF

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

Q37-1 あなたご自身のご両親との関係についておうかがいします。あなた自身のご両親はご存命ですか。

PMDTH

1	2	3	4
両親とも存命	父親のみ存命	母親のみ存命	両親ともすでに亡くなっている

Q37-2 過去1年間に、あなたはご自身の親へ、次のことをどの程度しましたか。

		あなた → 親				
		非常に <small>ひんぱん</small> 頻繁に	頻繁に	時々	ほとんど どない	まったく くない
HLPE2PM	A 経済的な支援	1	2	3	4	5
HLPP2PM	B 家事（掃除・料理・買い物・雑用 など）や介護	1	2	3	4	5

Q37-3 過去1年間に、あなたの親はあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

		親 → あなた				
		非常に <small>ひんぱん</small> 頻繁に	頻繁に	時々	ほとんど どない	まったく くない
HLPEFPM	A 経済的な支援	1	2	3	4	5
HLPPFPM	B 家事（掃除・料理・買い物・雑用 など）や育児	1	2	3	4	5

Q37-4 ご両親の現在の健康状態は、いかがですか。

		非常に良い				非常に悪い		亡くなっている
		←	→	→	→	→	→	
PPHLTH	あなたの父親	1	2	3	4	5	6	
MMHLTH	あなたの母親	1	2	3	4	5	6	

ここからは、結婚や夫婦の関係について、あなたのご意見をおうかがいします。

Q38 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 夫は、妻より年上であるべきだ

Q7MGOLD

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかと いえば賛成	どちらとも いえない	どちらかと いえば反対	反対	強く反対

B 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない

Q7MGCC

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかと いえば賛成	どちらとも いえない	どちらかと いえば反対	反対	強く反対

C 結婚している男性は、結婚していない男性より幸せだ

Q7MGMNHP

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかと いえば賛成	どちらとも いえない	どちらかと いえば反対	反対	強く反対

D 結婚している女性は、結婚していない女性より幸せだ

Q7MGWNHP

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかと いえば賛成	どちらとも いえない	どちらかと いえば反対	反対	強く反対

E 結婚するつもりがなくても、男女が同棲するのはかまわない

Q7MGCOH

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

F 離婚したくても、子どもが大きくなるまで待つべきだ

Q7MGDVCC

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

G 結婚生活がうまくいかなかったら、たいていの場合、離婚するのが一番よい

Q7MGDVGD

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

Q39 結婚した男女は、名字をどのようにしたらよいとお考えですか。

OP4NAME

- 1 当然、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のるべきだ
- 2 現状では、妻が名字を改めて、夫のほうの名字を名のったほうがよい
- 3 夫婦は同じ名字を名のるべきだが、どちらが名字を改めてもよい
- 4 わざわざ一方に合わせる必要はなく、夫と妻は別々の名字のままよい

Q40 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 妻にとっては、自分自身の仕事よりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である

Q7WWHPHH

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

B 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ

Q7WWHHX

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

C 男性はもっと家事をするべきだ

Q7WWMNCK

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

D 景気が悪いときには、男性よりも女性を先に解雇してよい

Q7WWLOFF

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

Q41 次の意見について、あなたはどのように思いますか。

A 夫婦が離婚した後、子どもは両方の親と接するほうがよい

OPDVCNT

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

B 結婚相手の連れ子に対しても、実の親と同じように育てることができる

OPDVSTEP

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

C ひとり親家庭であっても、子どもは立派に育つ

OPDVSGL

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

ここからは、あなたご自身の家庭生活について、おうかがいします。

Q42 あなたの家では、あなたを含めて家族一緒に夕食をとることがどのくらいありますか。(ここでの家族は、一緒に暮らしている方々を指します)

FQFFDNRE

1	2	3	4	5	6	7	8
ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	年に1回 もない	家族とは一緒に 暮らしていない

Q43 あなたの家では、あなたを含めて家族一緒にレジャー活動を行なうことがどのくらいありますか。(ここでの家族は、一緒に暮らしている方々を指します)

FQFFLSR

1	2	3	4	5	6	7	8
ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	年に1回 もない	家族とは一緒に 暮らしていない

Q44 あなたは家族と一緒に夕食をとるときに、以下のものをどの程度利用していますか。ひとり暮らしの方は、あなたご自身のことについてお答えください。

FQFDOUT

A 外食 -----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6 ..... 7

FQFDBOX

B 市販の弁当 -----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6 ..... 7

FQFDFRZN

C 市販の惣菜・調理済み冷凍食品-> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6 ..... 7

Q45 あなたはこれまでに結婚をしたことがありますか。ある方は何回ありますか。

XMARRY

NUMMARRY

1

2

回結婚したことがある

結婚したことがない →

これで終わりです。  
長時間のご協力、誠にありがとうございました。

Q46 結婚したのは、あなたが何歳の時ですか。複数ある場合はそれぞれの場合についてお答えください。

AGE1MG	AGE2MG	AGE3MG	AGE4MG
1回目 <input type="text"/> 歳	2回目 <input type="text"/> 歳	3回目 <input type="text"/> 歳	4回目 <input type="text"/> 歳

Q47 現在、配偶者（夫や妻）はいますか。

DOMARRYZ

1 現在、配偶者がいる

2 離婚した

3 死に別れた

15 ページ Q62 へ

14 ページ Q57-1 へ

Q48 配偶者の方の現在の年齢を教えてください。

SPAGEZ

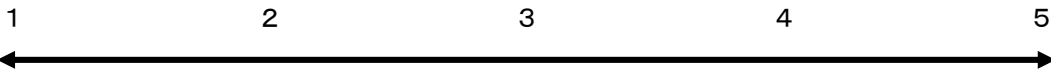
		歳
--	--	---

Q49 あなたの配偶者の現在の健康状態は、いかがですか。

SS5HLTHE

非常に良い

非常に悪い



Q50 あなたの配偶者は、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。

	ほぼ毎日	週に数回	週に1回程度	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくしていない
SSFQ7CK A 夕食の用意	1	2	3	4	5	6	7
SSFQ7WSH B 洗濯	1	2	3	4	5	6	7
SSFQ7SHP C 買い物(日用品や食料品の買い物)	1	2	3	4	5	6	7
SSFQ7CLN D 家の掃除	1	2	3	4	5	6	7
SSFQ7GRB E ゴミ出し	1	2	3	4	5	6	7

Q51-1 あなたの配偶者は、家族を介護(1ヶ月以上)したことがありますか。(あなた自身が配偶者から介護を受けた場合も含みます)

SSCARE

1  
したことがない

2  
現在行なっている

3  
過去に行なったことがある

Q51-2 それは誰への介護ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

SSC2R	SSC2PM	SSC2SSPM	SSC2OTHR
1	2	3	4
あなた	あなたの親	配偶者の親	その他( )

Q52 あなたの配偶者は、あなたの悩みを聞いてくれますか。

SSTRLSTN

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

Q53 あなたの配偶者は、あなたに悩みを打ち明けてくれますか。

SSTRSPK

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

Q54 次のことは、主にどなたが決めていますか（決めていましたか）。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	いつも私	だいたい私	私と配偶者が同程度に	だいたい配偶者	いつも配偶者	その他の家族	そのようなことを決める機会はなかった
<b>DMCCED</b>							
A 子どものしつけや教育----->	1	2	3	4	5	6	7
<b>DMPPSPPT</b>							
B 自分の親の世話の仕方----->	1	2	3	4	5	6	7
<b>DMEXP</b>							
C 家計の管理----->	1	2	3	4	5	6	7
<b>DMHIEXP</b>							
D 高価な品物の購入----->	1	2	3	4	5	6	7

Q55-1 配偶者のご両親はご存命ですか。

PMLDTH

1	2	3	4
両親とも存命	父親のみ存命	母親のみ存命	両親ともすでに亡くなっている

Q55-2 過去 1 年間に、あなたは配偶者の親へ、次のことをどの程度しましたか。

あなた → 配偶者の親		非常に頻繁に	頻繁に	時々	ほとんどない	まったくない
HLPE2PML	A 経済的な支援----->	1	2	3	4	5
HLPP2PML	B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や介護----->	1	2	3	4	5

Q55-3 過去 1 年間に、配偶者の親はあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

配偶者の親 → あなた		非常に頻繁に	頻繁に	時々	ほとんどない	まったくない
HLPEFPML	A 経済的な支援----->	1	2	3	4	5
HLPPFPML	B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や育児----->	1	2	3	4	5

Q55-4 配偶者のご両親の現在の健康状態は、いかがですか。

		非常に良い ←-----→ 非常に悪い					亡くなっている
PPLHLTH	配偶者の父親-->	1	2	3	4	5	6
MMLHLTH	配偶者の母親-->	1	2	3	4	5	6

Q56 あなたは、現在の結婚生活に全体として満足していますか。

STMGLF

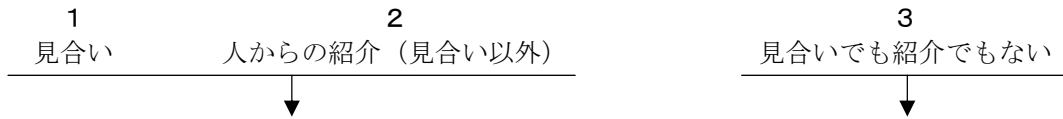
非常に満足	2	3	4	非常に不満
1				5



ここからは、あなたが結婚した時のことについておうかがいします。  
再婚した方は、一番最近の結婚についてお答えください。

Q57-1 あなたは配偶者の方とどのようなかたちで出会いましたか。

FSTMTSS



Q57-2A どなたがお相手を紹介したり、見合いの準備をしたりしましたか。

WHOINTSS

- 1 きょうだい・いとこ
- 2 親・その他の親族
- 3 友人・クラスメイト
- 4 同僚
- 5 近所の人
- 6 結婚相手を紹介する個人や機関
- 7 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

Q57-2B どこで配偶者の方と出会いましたか。

WHRMTSS

- 1 近所で
- 2 学校で
- 3 職場で
- 4 その他の機会で  
（具体的に\_\_\_\_\_）

Q58 配偶者の方にとって、あなたとの結婚は初婚でしたか、再婚でしたか。

XSSRMG

- |       |       |
|-------|-------|
| 1 初 婚 | 2 再 婚 |
|-------|-------|

Q59 あなたが配偶者の方との結婚を決めた時、あなたの親の意見はどの程度影響しましたか。

INFLPMMG

- 1 かなり影響した
- 2 ある程度影響した
- 3 あまり影響しなかった
- 4 まったく影響しなかった
- 5 親はその時すでに亡くなっていた

Q60 結婚後、あなたは、あなた自身の親から経済的な援助（住宅の購入資金、親の土地に家を建てること、賃貸住宅の家賃、起業資金など）を受けましたか。

HLPMGPM

- 1 かなり受けた
- 2 少し受けた
- 3 まったく受けていない
- 4 親は結婚前に亡くなっていた

Q61 結婚後、あなたは、配偶者の親から経済的な援助（住宅の購入資金、親の土地に家を建てること、賃貸住宅の家賃、起業資金など）を受けましたか。

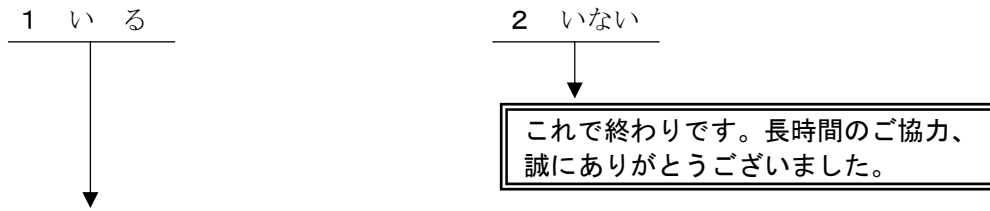
HLPMGPML

- 1 かなり受けた
- 2 少し受けた
- 3 まったく受けていない
- 4 配偶者の親は結婚前に亡くなっていた

最後に、お子さんとのご関係についておうかがいします。

Q62 あなたには、18歳以上の子どもがいますか。

XCC18



Q63 18歳以上のお子さんのうち、日ごろ、あなたともっともよく接しているのは、次のうちどなたですか。電話やメール、インターネットでのやり取りも含みます。やり取りが同じくらいのお子さんが、2人以上いる場合は、最近、もっともよく話しているお子さん 1人 を選んでください。

CC18CNT

- |            |              |
|------------|--------------|
| 1 息子（長男）   | 5 娘（長女）の夫    |
| 2 息子（長男以外） | 6 娘（長女以外）の夫  |
| 3 娘（長女）    | 7 息子（長男）の妻   |
| 4 娘（長女以外）  | 8 息子（長男以外）の妻 |

Q64 そのお子さんとは同居されていますか。

LVTGCC18

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

Q65 過去1年間に、あなたはその子どもへ、次のことをどの程度しましたか。

		あなた → その子ども	非常に <small>ひんぱん</small> 頻繁に	頻繁に	時々	ほとんど ない	まったく ない
HLPE2CC	A 経済的な支援	----->	1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
HLPP2CC	B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や育児	----->	1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5

Q66 過去1年間に、その子どもはあなたへ、次のことをどの程度しましたか。

		その子ども → あなた	非常に <small>ひんぱん</small> 頻繁に	頻繁に	時々	ほとんど ない	まったく ない
HLPEFCC	A 経済的な支援	----->	1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
HLPPFCC	B 家事（掃除・料理・買い物・雑用など）や介護	----->	1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5

長時間のご協力、誠にありがとうございました。担当の調査員にお渡ししてください。

WEIGHT

2008 年 10 月  
JGSS-2008 留置調査票 A 票



文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

## 「第 7 回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学 JGSS 研究センター  
東京大学社会科学研究所

最初に、あなたの日常的な生活について、おうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV(AB 共通 B 票 Q1)

--

時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ(AB 共通 B 票 Q2)

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP(AB 共通 B 票 Q3)

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない

Q4-1 次の項目で、あなたが利用しているものすべてに○をつけてください。(AB 共通 B 票 Q4-1)

**DOCOMPJ**

**DOCOMPP**

**DOPHS**

**DONONEX**

1

2

3

4

パソコン  
(職場・学校で)

パソコン  
(自宅で)

携帯電話  
(PHSを含む)

いずれも利用  
していない

↓

Q4-2 あなたは、パソコンまたは携帯電話 (PHS を含む) のインターネットを利用して、次のことを行なっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(AB 共通 B 票 Q4-2)

**DOINBRS**

**DOINSHOP**

**DOINBANK**

**DOINHP**

**DOINNONE**

1

2

3

4

5

情報検索

インターネット  
ショッピング

インターネット  
バンキング

ホームページの  
作成

いずれも  
行なっていない

Q4-3 あなたは、携帯電話 (PHS を含む) やパソコンを利用して、次のことをどのくらい行なっていますか。

(AB 共通 B 票 Q4-3)

1日に 5回以上	1日に 3~4回	1日に 1~2回	週に 数回	週に 1回以下	まったく利用 していない
-------------	-------------	-------------	----------	------------	-----------------

**FQMPTALK** A 携帯電話 (PHS を含む) での通話 -----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6

**FQMPMAIL** B 携帯電話 (PHS を含む) からのメール送信 -----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6

**FQPCMAIL** C パソコンからのメール送信 -----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6

↓

Q5 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ (ウォーキング、水泳、野球など) を行なっていますか。

FQSPORT(AB 共通 B 票 Q5)

1	2	3	4	5
週に数回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんどしない

Q6 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行（仕事以外）をしますか。

FQ5TRIP (AB 共通 B 票 Q6)

1	2	3	4	5
月に数回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくしない

Q7 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。(AB 共通 B 票 Q7)

		ほぼ毎日	週に数回	週に1回程度	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくしていない
FQ7FFDNR	A 家族と一緒に夕食 ----->	1	2	3	4	5	6	7
FQ7FRSEE	B 友人との会食や集まり ----->	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CKDNR	C 夕食の用意 ----->	1	2	3	4	5	6	7
FQ7WASH	D 洗濯 ----->	1	2	3	4	5	6	7
FQ7SHOP	E 買い物(日用品や食料品の買い物)→	1	2	3	4	5	6	7
FQ7CLEAN	F 家の掃除 ----->	1	2	3	4	5	6	7
FQ7GARB	G ゴミ出し ----->	1	2	3	4	5	6	7

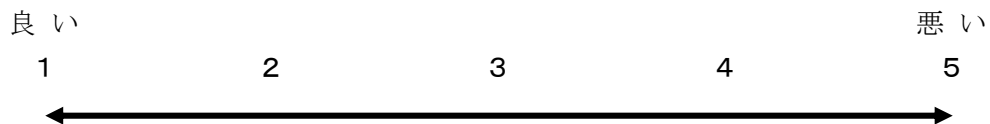
Q8 あなたは、以下のことをどのくらい行ないますか。(AB 共通 B 票 Q8)

		よくする	時々する	あまりしない	まったくしない/知らない
FQ4DRIVE	A ドライブ ----->	1	2	3	4
FQ4KARA	B カラオケ ----->	1	2	3	4
FQ4MOVIE	C 映画鑑賞 (ビデオを含む) ----->	1	2	3	4
FQ4MUSIC	D 音楽鑑賞 (CD・ラジオ・コンサートなど) ----->	1	2	3	4
FQ4GAME	E テレビゲーム (PCゲーム・携帯用を含む) ----->	1	2	3	4
FQ4GREEN	F 園芸・庭いじり ----->	1	2	3	4
FQ4SHGIG	G 将棋・囲碁 ----->	1	2	3	4
FQ4LOTTO	H 宝くじ ----->	1	2	3	4
FQ4PACHI	I パチンコ・パチスロ ----->	1	2	3	4

ここからは、あなたの心身の健康について、おうかがいします。

Q9 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

OP5HLTHZ (AB 共通 B 票 Q9)



Q10-1 あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。

DOSMOKEX

1  
現在  
吸っている

2  
以前は吸って  
いたがやめた

3  
ほとんど／まったく  
吸ったことはない

Q10-2 禁煙しようと努力したことがありますか。

XQTSMOKE 1 はい 2 いいえ

Q11 あなたは、普段お酒を飲みますか。

DO7DRINK

1	2	3	4	5	6	7
ほとんど 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	まったく 飲まない

Q12 過去5年間に、深く心に傷を受けるような衝撃的なできごと（例えば、離婚、失業、大きな病気やケガ、身近な人の死）を何回経験しましたか。

XTRAUM5Y (AB 共通 B 票 Q10)

0	1	2	3	4
なし	1 回	2 回	3 回	4 回以上

Q13 生活面に関する以下の項目について、あなたはどのくらい満足していますか。回答例のように、それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。

(AB 共通 B 票 Q11)

満足 ←————→ 不満

(回答例)		1	2	3	4	5	
ST5AREAY	A 住んでいる地域	1	2	3	4	5	
ST5LEISY	B 余暇の過ごし方	1	2	3	4	5	
ST5LIFEY	C 家庭生活	1	2	3	4	5	
ST5ECNY	D 現在の家計の状態	1	2	3	4	5	
ST5FRIY	E 友人関係	1	2	3	4	5	
ST5HLTHY	F 健康状態	1	2	3	4	5	
ST5SSREL	G 配偶者(夫や妻)との関係	1	2	3	4	5	6 配偶者はいない

Q14 あなたは、現在幸せですか。

OP5HAPPZ

幸 せ ←————→ 不幸せ

1                      2                      3                      4                      5

Q15 過去1年間に、あなたはどのくらいの頻度で、病院や診療所（歯医者も含む）に行きましたか。あなた自身の病気やケガによるものについてお答えください。付き添いやお見舞いは除きます。

**FQHSPLZ**

1	2	3	4	5	6	7
ほとんど毎日	週に数回	週に1回程度	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく行かなかった

Q16-1 過去1年間に、病気やケガにもかかわらず、病院や診療所に行くのを控えた<sup>ひか</sup>ことがありますか。軽い風邪や、虫歯の場合も含めてお答えください。

**DORFHSP**

1 控えた ことがある	2 控えた ことはない	3 病気・ケガは していない
-------------------	-------------------	----------------------

Q16-2 それはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- RHPTLNG 1 待ち時間が長い
- RHPCTM 2 費用がかかる
- RHPNHN 3 病院が近くにない
- RHPDKWG 4 どの病院に行ったらよいかわからない
- RHPHNTF 5 交通手段がない
- RHPDLSD 6 病院に行くのは好きではない
- RHPNTSD 7 忙しくて時間がない
- RHPTNNG 8 病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した
- RHPOTHR 9 その他（ ）

Q17 あなたは定期的に次のような健康診断（人間ドックを含む）を受けていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- HLCWRKSL 1 職場や学校の健康診断
- HLCLGV 2 自治体の健康診断・検診
- HLCOTHR 3 その他に個人的に受けている
- HLCNONE 4 どれも受けていない

Q18 ご自身やご家族の将来のことを考えたとき、「必要なときに医療を受けられない」という不安をどのくらい感じますか。

**WRNBLHC**

1 とても 感じている	2 ある程度 感じている	3 あまり 感じている	4 まったく 感じている
-------------------	--------------------	-------------------	--------------------

Q19-1 あなたは、子どもの時に、殴られたり、暴行をうけたりした経験がありますか。

XPBCL

1 はい

2 いいえ

Q19-2 それは誰からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |         |   |           |         |   |        |
|---------|---|-----------|---------|---|--------|
| XPBCLPA | 1 | 親         | XPBCLFD | 5 | 友人     |
| XPBCLBS | 2 | きょうだい     | XPBCLAQ | 6 | その他の知人 |
| XPBCLFM | 3 | その他の家族・親族 | XPBCLST | 7 | 知らない人  |
| XPBCLTA | 4 | 先生        |         |   |        |

Q20-1 あなたは、大人になってから、殴られたり、暴行をうけたりした経験がありますか。

XPBAD

1 はい

2 いいえ

Q20-2 それは誰からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |         |   |           |         |   |           |
|---------|---|-----------|---------|---|-----------|
| XPBADPA | 1 | 親         | XPBADSV | 5 | 職場の上司     |
| XPBADSP | 2 | 配偶者・恋人    | XPBADCW | 6 | 職場の同僚や部下  |
| XPBADCC | 3 | 子ども       | XPBADFA | 7 | その他の知人・友人 |
| XPBADFM | 4 | その他の家族・親族 | XPBADST | 8 | 知らない人     |

Q21-1 あなたは過去5年間に、ひどくけなされたり、怒鳴<sup>どな</sup>られたりした経験がありますか。

XSCYP

1 はい

2 いいえ

Q21-2 それは誰からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |         |   |           |         |   |           |
|---------|---|-----------|---------|---|-----------|
| XSCYPPA | 1 | 親         | XSCYPSV | 5 | 職場の上司     |
| XSCYPSP | 2 | 配偶者・恋人    | XSCYPCW | 6 | 職場の同僚や部下  |
| XSCYPCC | 3 | 子ども       | XSCYPFA | 7 | その他の知人・友人 |
| XSCYPFM | 4 | その他の家族・親族 | XSCYPST | 8 | 知らない人     |

Q22 あなたの地域における救急医療の体制に、不安を感じていますか。

AXSEMCC

- |       |       |       |        |        |
|-------|-------|-------|--------|--------|
| 1     | 2     | 3     | 4      | 5      |
| とても   | ある程度  | どちらとも | あまり    | まったく   |
| 感じている | 感じている | いけない  | 感じていない | 感じていない |



ここからは、あなたの暮らし向きについて、おうかがいします。

Q23-1 あなたの現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。

**OWNHOUSE**(AB 共通 B 票 Q13-1)

- 1 持ち家（親などが持ち主の場合も含む）
- 2 民間の賃貸住宅
- 3 社宅・公務員住宅等の給与住宅
- 4 公社・公団等の公営の賃貸住宅
- 5 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

Q23-2 あなたの現在のお住まいは、一戸建てですか、集合住宅ですか。

**TPHOUSE**(AB 共通 B 票 Q13-2)

- 1 一戸建て
- 2 集合住宅（アパート・マンションなど）

Q24 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。

**XLIVEYR**(AB 共通 B 票 Q14)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 生まれてからずっと | 5 5年～10年未満  |
| 2 1年未満      | 6 10年～20年未満 |
| 3 1年～3年未満   | 7 20年～30年未満 |
| 4 3年～5年未満   | 8 30年以上     |

Q25 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。

**WLLIVE**

- |             |               |                    |                    |
|-------------|---------------|--------------------|--------------------|
| 1           | 2             | 3                  | 4                  |
| ずっと<br>住みたい | 当分の間は<br>住みたい | できれば<br>他の地域に引越したい | すぐにも<br>他の地域に引越したい |

Q26 この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。

**OP3ECN3A**

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1     | 2     | 3     |
| 良くなった | 悪くなった | 変わらない |

Q27 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。

**OP5FFINX**(AB 共通 B 票 Q15)

- |                |             |      |            |               |
|----------------|-------------|------|------------|---------------|
| 1              | 2           | 3    | 4          | 5             |
| 平均より<br>かなり少ない | 平均より<br>少ない | ほぼ平均 | 平均より<br>多い | 平均より<br>かなり多い |

Q28 あなたが15歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

**OPFFIX15**(AB 共通 B 票 Q16)

- |                |             |      |            |               |
|----------------|-------------|------|------------|---------------|
| 1              | 2           | 3    | 4          | 5             |
| 平均より<br>かなり少ない | 平均より<br>少ない | ほぼ平均 | 平均より<br>多い | 平均より<br>かなり多い |

**Q29** 中学3年生の頃、あなたの成績は学年の中でどれくらいだったと思いますか。戦前の学校の場合は、義務教育の最後の年の成績について、お答えください。

**OP5SCHPF**(AB 共通 B 票 Q17)

1 2 3 4 5  
 下の方 やや下の方 真ん中のあたり やや上の方 上の方

**Q30** 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。

**OP5CHNCA**(AB 共通 B 票 Q18)

1 2 3 4 5  
 充分にある 少しはある どちらともいえない あまりない まったくない

**Q31** 現在、年金を受け取っている人達に比べて、あなたが老後に受け取る年金の額は、どうなっていると思いますか。

**OP5PENSN**

1 2 3 4 5 6 7  
 かなり良く 少し良く だいたい 少し悪く かなり悪く わからない 現在年金を  
 なっている なっている 同じ なっている なっている 受けている

**Q32** かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると思っていますか。

**OP5LEVK**(AB 共通 B 票 Q19)

1 2 3 4 5  
 上 中の上 中の中 中の下 下

**Q33** 今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。

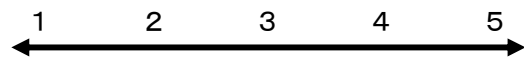
**AXECNSF**

1 2 3 4 5  
 とても ある程度 どちらとも あまり まったく  
 感じている 感じている いえない 感じていない 感じていない

ここからは、政治や政策についてのあなたのお考えをうかがいます。

**Q34** 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号(1~5)を1つ選んでください。

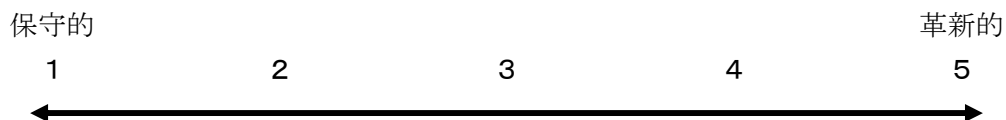
個人や家族の責任 国や自治体の責任



<b>OP5SRWFY</b>	A 高齢者の生活保障(生活費)	1	2	3	4	5
<b>OP5SRMDY</b>	B 高齢者の医療・介護	1	2	3	4	5
<b>OP5CCED</b>	C 子どもの教育	1	2	3	4	5
<b>OP5CCARE</b>	D 保育・育児	1	2	3	4	5

**Q35** 政治的な考え方を、保守的から革新的までの5段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。

**OP5RADCA**(AB 共通 B 票 Q20)





**Q43** 次に国民と政治とのかかわりについての意見があげてあります。A~D それぞれについて、あなたのお気持ちに近いものを1つあげてください。

		賛成	どちらかといえは賛成	どちらかといえは反対	反対
<b>Q4NOPWR</b>	A 自分のようなふつうの市民には、政府のすることに対して、それを左右する力はない ----->	1	2	3	4
<b>Q4GVC MPL</b>	B 政治や政府は複雑なので、自分には何をやっているのかよく理解できない ----->	1	2	3	4
<b>Q4VOTE</b>	C 選挙では大勢の人々が投票するのだから、自分一人くらい投票しなくてもかまわない ----->	1	2	3	4
<b>Q4MDIET</b>	D 国会議員は、大ざっぱに言って、当選したらすぐ国民のことを考えなくなる ----->	1	2	3	4

**Q44** 一般に、知事を同じ人が務めるのは何期ぐらいが適当だと思いますか。

**OPGVNTM**

- 1 1 期 (4年)
- 2 2 期 (8年)
- 3 3 期 (12年)
- 4 4 期 (16年)
- 5 5 期 (20年)
- 6 それ以上 (具体的に\_\_\_\_\_)
- 7 わからない

**Q45-1** あなたは、お住まいの都道府県の現在の知事が誰か知っていますか。

**GVNNAME**

1  
知っている

2  
知らない

**Q45-2** あなたはその知事を支持しますか。

**GVNSPRT**

1                      2                      3  
支持する              支持しない              わからない

**Q46** 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

**XX8PLPTY** (AB 共通 B 票 Q22)

- |     |     |     |     |     |               |                 |           |
|-----|-----|-----|-----|-----|---------------|-----------------|-----------|
| 1   | 2   | 3   | 4   | 5   | 6             | 7               | 8         |
| 自民党 | 民主党 | 公明党 | 共産党 | 社民党 | その他の政党<br>( ) | 特に支持する<br>政党はない | わから<br>ない |

**Q47** 政権を担当する能力があるのはどの政党だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- |                 |       |                 |               |
|-----------------|-------|-----------------|---------------|
| <b>OLDPOK</b>   | 1 自民党 | <b>OSDPOK</b>   | 5 社民党         |
| <b>ODPOK</b>    | 2 民主党 | <b>OOTHEROK</b> | 6 その他の政党      |
| <b>OKOMEIOK</b> | 3 公明党 | <b>ONOPLPOK</b> | 7 特に支持する政党はない |
| <b>OCOMMPOK</b> | 4 共産党 | <b>OPLPDONT</b> | 8 わからない       |

Q48 あなたは、以下の事項をどのくらい行ないますか。

		よく する	時々 する	あまり しない	まったく しない
<b>FQ4DENKI</b>	A 電気は、こまめに消す-----→	1	2	3	4
<b>FQ4BUS</b>	B なるべく公共交通機関を利用する(バス・電車など)---→	1	2	3	4
<b>FQ4BAG</b>	C 買物には袋などを持参する-----→	1	2	3	4
<b>FQ4MEND</b>	D 故障した物は修理して使う-----→	1	2	3	4
<b>FQ4RECYC</b>	E 再生(リサイクル)の商品を買う(トレットペーパー・ノートなど)----→	1	2	3	4
<b>FQ4NOYAK</b>	F 無農薬や有機栽培の野菜を買う-----→	1	2	3	4

Q49 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 地球環境の保護よりも、経済成長を優先すべきだ。

**QECOVGE**

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対

B 地球環境の悪化を防ぐためならば、生活が不便になってもかまわない。

**QNCVLGE**

1	2	3	4
賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対

Q50 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

**QFNRINCR**(AB 共通 B 票 Q24)

1 賛成	2 反対
------	------

Q51 あなたは食品を購入する際に、国産のものを好む方だと思えますか。

**QPRFDF**(AB 共通 B 票 Q25)

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

Q52-1 あなたは過去5年間に、環境保護や企業倫理の観点から、特定の企業の商品を買うのをやめたり、積極的に買ったりしたことがありますか。

**XPBEPCE**

1	2
したことがある	したことがない

**Q52-2** あなたは過去5年間に、政治や外交的な理由から、特定の国の商品を買うのをやめたり、積極的に買ったりしたことがありますか。

**XPBPDR**

- |         |         |
|---------|---------|
| 1       | 2       |
| したことがある | したことがない |

**Q53** 次の項目で、あなたのご自宅で利用しているものすべてに○をつけてください。(AB 共通 B 票 Q27)

- |                 |   |   |
|-----------------|---|---|
| <b>DOECSLP</b>  | 1 | ソーラーパネル (太陽光発電)                                 |
| <b>DOECMNP</b>  | 2 | 深夜電力 (深夜電力の割引契約)                                |
| <b>DOECWC</b>   | 3 | エコウィル (ガス発電給湯暖冷房システム)・エコキュート (自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機) |
| <b>DOECLMC</b>  | 4 | 低公害車 (LPG 車やハイブリッド車など)                          |
| <b>DOECNONE</b> | 5 | いずれも利用していない                                     |

**Q54** あなたの家から1キロ (徒歩15分程度) 以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

**FEARWALK**(AB 共通 B 票 Q34)

- |    |     |
|----|-----|
| 1  | 2   |
| はい | いいえ |

**Q55** 過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと (例えば、強盗、恐喝やひったくり) がありますか。

**XROBBD1Y**(AB 共通 B 票 Q35)

- |    |     |
|----|-----|
| 1  | 2   |
| はい | いいえ |

**Q56** 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

**XSTOLN1Y**(AB 共通 B 票 Q36)

- |    |     |
|----|-----|
| 1  | 2   |
| はい | いいえ |

ここからは、家庭についてのあなたのお考えをうかがいます。

**Q57** 一般に、家庭にとって理想的な子どもの数は何人だと思えますか。

**APPCCNUM**

- |     |     |     |     |     |                  |
|-----|-----|-----|-----|-----|------------------|
| 0   | 1   | 2   | 3   | 4   | 5                |
| 0 人 | 1 人 | 2 人 | 3 人 | 4 人 | 5人以上 (具体的に____人) |

**APPCCNMX**

**Q58** もし、子どもを1人だけもつとしたら、男の子を希望しますか、女の子を希望しますか。

**APPCCSXB**

- |     |     |
|-----|-----|
| 1   | 2   |
| 男の子 | 女の子 |

**Q59-1** 5歳頃の子どものしつけについて A・B の意見があります。あなたの意見は次の 1~4 のどれにあてはまりますか。

**LMTCCBH**

- A 子どもの行動は、親が制限すべきだ。  
 B 子どもの行動には、親が口出しせず、自由にさせるべきだ。

- |      |            |            |      |
|------|------------|------------|------|
| 1    | 2          | 3          | 4    |
| Aに近い | どちらかといえば A | どちらかといえば B | Bに近い |



Q64 次の A～I の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

		賛成	どちらかと いえば賛成	どちらかと いえば反対	反対
Q4DIVOK	A 結婚しても、相手に満足できないときは、いつでも離婚すればよい-----→	1	2	3	4
Q4WWJBIA	B 夫に十分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい-----→	1	2	3	4
Q4WNMGA	C なんとんでも女性の幸福は結婚にある---→	1	2	3	4
Q4MNCOOK	D 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ---→	1	2	3	4
Q4WWHHX	E 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ---→	1	2	3	4
Q4MNMGA	F なんとんでも男性の幸福は結婚にある---→	1	2	3	4
Q4JBMCC	G 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の子どもによく影響を与える-----→	1	2	3	4
Q4NOCCMG	H 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない-----→	1	2	3	4
Q4WWHPHH	I 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である---→	1	2	3	4

最後に、人や組織についてのあなたのお考えをうかがいます。

Q65 一般的に、人は信用できると思いますか。

OP3TRUST (AB 共通 B 票 Q37)

1	2	3
はい	いいえ	場合による

Q66 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号（1～7）を1つ選んでください。

OP7GDEVO (AB 共通 B 票 Q38)

人間の本性は 本来「悪」である	1	2	3	4	5	6	7	人間の本性は 本来「善」である
←-----→								

Q67 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。

(AB 共通 B 票 Q39)

MEMPLTGP	政治関係の団体や会 -----→	1	はい	.....	2	いいえ
MEMIND	業界団体・同業者団体 -----→	1	はい	.....	2	いいえ
MEMVLNTR	ボランティアのグループ -----→	1	はい	.....	2	いいえ
MEMCIVIL	市民運動・消費者運動のグループ -----→	1	はい	.....	2	いいえ
MEMRL	宗教の団体や会 -----→	1	はい	.....	2	いいえ
MEMSPORT	スポーツ関係のグループやクラブ -----→	1	はい	.....	2	いいえ
MEMHOBBY	趣味の会（コーラス・写真・山歩きなど）→	1	はい	.....	2	いいえ
MEMCOOP	消費生活協同組合（生協）-----→	1	はい	.....	2	いいえ



Q68-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。

DORL (AB 共通 B 票 Q40-1)

- 1 ある                      2 特に信仰していないが、家の宗教はある                      3 ない

Q68-2 それは何ですか。

XXRL (AB 共通 B 票 Q40-2)

(具体的に \_\_\_\_\_ )

Q68-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。

DO3PIOUS (AB 共通 B 票 Q40-3)

- 1 熱心である  
2 まあまあ熱心である  
3 そんなに熱心ではない

Q69 あなたは、死後の世界を信じますか。

QAFTRDTH

- 1 はい                      2 いいえ                      3 わからない

Q70 次にあげる A～O について、あなたはどれくらい信頼していますか。

		とても 信頼している	少しは 信頼している	ほとんど 信頼していない	わからない
TR3CORPZ	A 大企業	1	2	3	4
TR3RLGPZ	B 宗教団体	1	2	3	4
TR3SCHLZ	C 学 校	1	2	3	4
TR3BCRAZ	D 中央官庁	1	2	3	4
TR3UNNZ	E 労働組合	1	2	3	4
TR3NWSPZ	F 新 聞	1	2	3	4
TR3HSPLZ	G 病 院	1	2	3	4
TR3TVZ	H テレビ	1	2	3	4
TR3SPCAZ	I 裁判所	1	2	3	4
TR3ACDAZ	J 学者・研究者	1	2	3	4
TR3CGMNZ	K 国会議員	1	2	3	4
TR3CITYZ	L 市区町村議会議員	1	2	3	4
TR3DEFZ	M 自衛隊	1	2	3	4
TR3COPZ	N 警 察	1	2	3	4
TR3FINZ	O 金融機関	1	2	3	4

Q71 最後に、今日の日付をご記入ください。(AB 共通 B 票 Q68)

XXTODAY       月       日

長時間のご協力、誠にありがとうございました。担当の調査員にお渡してください。

WEIGHT

2008 年 10 月  
JGSS-2008 留置調査票 B 票



文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

## 「第 7 回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学 JGSS 研究センター  
東京大学社会科学研究所

最初に、あなたの日常的な生活について、おうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビを見ますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。

HRTV(AB 共通 A 票 Q1)  時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く)

FQ5READ(AB 共通 A 票 Q2)

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。

FQ5NEWSP(AB 共通 A 票 Q3)

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない

Q4-1 次の項目で、あなたが利用しているものすべてに○をつけてください。(AB 共通 A 票 Q4-1)

<b>DOCOMPJ</b>	<b>DOCOMPP</b>	<b>DOPHS</b>	<b>DONONEX</b>
1	2	3	4
パソコン (職場・学校で)	パソコン (自宅で)	携帯電話 (PHSを含む)	いずれも利用 していない

Q4-2 あなたは、パソコンまたは携帯電話 (PHS を含む) のインターネットを利用して、次のことを行なっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

(AB 共通 A 票 Q4-2)

<b>DOINBRS</b>	<b>DOINSHOP</b>	<b>DOINBANK</b>	<b>DOINHPB</b>	<b>DOINNONE</b>
1	2	3	4	5
情報検索	インターネット ショッピング	インターネット バンキング	ホームページの 作成(ブログを含む)	いずれも 行なっていない

Q4-3 あなたは、携帯電話 (PHS を含む) やパソコンを利用して、次のことをどのくらい行なっていますか。

(AB 共通 A 票 Q4-3)

1日に 5回以上	1日に 3~4回	1日に 1~2回	週に 数回	週に 1回以下	まったく利用 していない
-------------	-------------	-------------	----------	------------	-----------------

<b>FQMPTALK</b> A	携帯電話 (PHS を含む) での通話	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	..... 6
<b>FQMPMAIL</b> B	携帯電話 (PHS を含む) からのメール送信	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	..... 6
<b>FQPCMAIL</b> C	パソコンからのメール 送信	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	..... 6

Q5 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ (ウォーキング、水泳、野球など) を行なっていますか。

FQSPORT(AB 共通 A 票 Q5)

1	2	3	4	5
週に数回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんどしない







Q22 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。

XX8PLPTY (AB 共通 A 票 Q46)

1	2	3	4	5	6	7	8
自民党	民主党	公明党	共産党	社民党	その他の政党 ( )	特に支持する 政党はない	わから ない

Q23 あなたが生活している地域で、外国人と顔を合わせることがよくありますか。

FQ4FNR

1	2	3	4
よくある	時々ある	あまりない	まったくない

Q24 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

QFNRINCR (AB 共通 A 票 Q50)

1 賛成	2 反対
------	------

Q25 あなたは食品を購入する際に、国産のものを好む方だと思いますか。

QPRFDF (AB 共通 A 票 Q51)

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

Q26 あなたは電器製品を購入する際に、日本のメーカーのものを好むほうだと思いますか。

PRFJPAPL

1	2	3	4	5	6	7
強く そう思う	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いけない	どちらかといえば そう思わない	そう 思わない	強く そう思わない

Q27 次の項目で、あなたのご自宅で利用しているものすべてに○をつけてください。

(AB 共通 A 票 Q53)

DOECSLP	1	ソーラーパネル (太陽光発電)
DOECMNP	2	深夜電力 (深夜電力の割引契約)
DOECWC	3	エコウィル (ガス発電給湯暖冷房システム)・エコキュート (自然冷媒ヒートポンプ式電気給湯機)
DOECLMC	4	低公害車 (LPG 車やハイブリッド車など)
DOECNONE	5	いずれも利用していない

Q28 現在いくつかの自治体において、カジノの合法化に関する議論が起こっています。あなたは賛成ですか、反対ですか。一番近いものに○をつけてください。

OPCASINO

1	日本でのカジノの合法化には反対
2	特定の場所に限定するならば、合法化に賛成
3	日本でのカジノの合法化には賛成
4	賛成とも反対とも決められない
5	カジノについて、よく知らない

Q29 もし日本にカジノができれば、あなたは行こうと思いますか。

**WLCASINO**

- 1 行ってみたい      2 行こうと思わない      3 わからない

Q30 既婚者が、配偶者以外の異性と性的関係をもつことについて、あなたの考えは以下のどれですか。

**Q4ADLTRY**

- 1 例外なく悪い      2 たいていの場合悪い      3 必ずしも悪くない      4 悪くない

Q31 同性間の性的関係について、あなたの考えは以下のどれですか。

**Q4HOMSEA**

- 1 例外なく悪い      2 たいていの場合悪い      3 必ずしも悪くない      4 悪くない

Q32 ポルノは社会道徳を腐敗させると思いますか。

**OPPORNK**

- 1 はい                      2 いいえ                      3 わからない

Q33 次の意見のうち、ポルノの規制に対するあなたの考えに一番近いものはどれですか。

**Q3PORNNO**

- 1 ポルノの販売は、年齢にかかわらず禁止されるべきだ  
2 ポルノの販売は、18歳未満に対しては禁止されるべきだ  
3 ポルノの販売は、完全に自由化されるべきだ

Q34 あなたの家から1キロ（徒歩15分程度）以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

**FEARWALK**(AB 共通 A 票 Q54)

- 1 はい                      2 いいえ

Q35 過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと（例えば、強盗、恐喝やひったくり）がありますか。

**XROBBD1Y**(AB 共通 A 票 Q55)

- 1 はい                      2 いいえ

Q36 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

**XSTOLN1Y**(AB 共通 A 票 Q56)

- 1 はい                      2 いいえ

ここからは、人や組織についてのあなたのお考えをうかがいます。

Q37 一般的に、人は信用できると思いますか。

**OP3TRUST**(AB 共通 A 票 Q65)

- 1                              2                              3  
はい                      いいえ                      場合による





Q42 あなたは、自分の子どもの名前を考えたときに、姓名判断を参考にしたことがありますか。

**FRTNCN**

- |     |     |                  |
|-----|-----|------------------|
| 1   | 2   | 3                |
| あ る | な い | 子どもをもった<br>ことはない |

Q43 あなたは、結婚式・引越し・お葬式といった特別な日の日取りについて、縁起の良し悪しをどのくらい気にしますか。

**AUSDYSP**

- |         |          |          |           |
|---------|----------|----------|-----------|
| 1       | 2        | 3        | 4         |
| かなり気にする | ある程度気にする | あまり気にしない | まったく気にしない |

Q44 あなたは友人とつきあうときに、以下のような特長をどの程度重視しますか。それぞれの特長について、お答えください。

		非常に 重視する	重視する	どちらとも いえない	重視しない	まったく 重視しない
<b>IMPQTHS</b>	A 正直である ----->	1	2	3	4	5
<b>IMPQTRSP</b>	B 責任感がある ----->	1	2	3	4	5
<b>IMPQTITG</b>	C 頭がよい ----->	1	2	3	4	5
<b>IMPQTCLT</b>	D 教養がある ----->	1	2	3	4	5
<b>IMPQTPWF</b>	E 権力がある ----->	1	2	3	4	5
<b>IMPQTWLT</b>	F 裕福である ----->	1	2	3	4	5
<b>IMPQTLYL</b>	G 忠実である ----->	1	2	3	4	5
<b>IMPQTWRM</b>	H 思いやりがある ----->	1	2	3	4	5

Q45 次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ。

**Q7WWHHX**

- |      |     |                |               |                |     |      |
|------|-----|----------------|---------------|----------------|-----|------|
| 1    | 2   | 3              | 4             | 5              | 6   | 7    |
| 強く賛成 | 賛 成 | どちらかと<br>いえば賛成 | どちらとも<br>いえない | どちらかと<br>いえば反対 | 反 対 | 強く反対 |

B どのような状況においても、父親の権威は尊重されるべきだ。

**Q7FFAUTH**

- |      |     |                |               |                |     |      |
|------|-----|----------------|---------------|----------------|-----|------|
| 1    | 2   | 3              | 4             | 5              | 6   | 7    |
| 強く賛成 | 賛 成 | どちらかと<br>いえば賛成 | どちらとも<br>いえない | どちらかと<br>いえば反対 | 反 対 | 強く反対 |

C 自分の意見と違って、多数派の人々の意見には従う方が無難である。

**Q7FLWMJ**

- |      |     |                |               |                |     |      |
|------|-----|----------------|---------------|----------------|-----|------|
| 1    | 2   | 3              | 4             | 5              | 6   | 7    |
| 強く賛成 | 賛 成 | どちらかと<br>いえば賛成 | どちらとも<br>いえない | どちらかと<br>いえば反対 | 反 対 | 強く反対 |

D よい関係を保つためには、不満があっても口に出さない方がよい。

**Q7EXPCMP**

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

E 人を雇うとしたら、初対面の候補者の方が適任そうに見えても、親族や友人の候補者がいれば、そちらを採用するほうがよい。

**Q7HIRE**

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

F 同郷の人が社会で活躍すると、自分も誇らしい気持ちになる。

**Q7SMTWN**

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

G 上司と意見が合わなくても、部下は上司の指示に従うべきだ。

**Q7SBORD**

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

H 有能なリーダーには、すべての決定を<sup>ゆだ</sup>委ねた方がよい。

**Q7CPLDR**

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

I 平凡で安定した人生よりも、不安定だが可能性に満ちた人生の方が好ましい。

**Q7RSKLF**

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

J 余分なお金があれば、私は危険性が高くても見返りの多いものに投資をするだろう。

**Q7CPINV**

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかといえ ば賛成	どちらとも いえない	どちらかといえ ば反対	反対	強く反対

Q46 あなたは、次の地域にどのくらい愛着がありますか。

			かなり 愛着がある	ある程度 愛着がある	あまり 愛着がない	まったく 愛着がない
<b>EMCLTWN</b>	A 今住んでいる都市や町	----->	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>EMCLJPN</b>	B 日本	----->	1 .....	2 .....	3 .....	4
<b>EMCLSA</b>	C 東アジア	----->	1 .....	2 .....	3 .....	4

Q47 あなたは、どのくらい次の音楽が好きですか。

			非常に 好き	好き	どちらとも いえない	嫌い	非常に 嫌い
<b>MSPRFCL</b>	A クラシック音楽	----->	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5
<b>MSPRFRC</b>	B ロック	----->	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5
<b>MSPRFJZ</b>	C ジャズ・ブルース	----->	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5
<b>MSPRFPOP</b>	D ポピュラー音楽	----->	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5
<b>MSPRFENK</b>	E 演歌	----->	1 .....	2 .....	3 .....	4 .....	5

Q48-1 外国に行く人の中には、そこで性風俗関係の娯楽を楽しむ人がいます。あなたの友人や同僚、近所の人の中に、外国でそのような娯楽を楽しんだことのある人はいますか。

**NUMSXENT**

1	2	3	4	5
大勢いる	ある程度いる	ほんの少しいる	まったくいない	わからない

Q48-2 その人たちが、どこで性風俗関係の娯楽を楽しんだか知っていますか。  
知っていれば、次のうちあてはまる地域すべてに○をつけてください。

<b>SXENTEA</b>	<b>SXENTSA</b>	<b>SXENTEP</b>	<b>SXENTNA</b>	<b>SXENTOT</b>	<b>SXENTDK</b>
1	2	3	4	5	6
東アジア	東南アジア	ヨーロッパ	北アメリカ (アメリカ・カナダなど)	その他 (具体的に_____)	わからない

Q49 国際問題について、家族や友人・知人と話すことは、どのくらいありますか。

**FQCNVII**

1	2	3	4	5	6	7
ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	まったく ない

Q50 あなたは、何を通して海外のニュースを知りますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

SRCINN	SRCINRD	SRCINTV	SRCININT	SRCINPN	SRCINOT
1	2	3	4	5	6
新聞	ラジオ	テレビ	インターネット	知人	その他

Q51 あなたは次にあげる国や地域に行ったことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

VSTCN	VSTSK	VSTTW	VSTSA	VSTEP	VSTNA	VSTOT	VSTNO
1	2	3	4	5	6	7	8
中国	韓国	台湾	東南アジア	ヨーロッパ	北アメリカ (アメリカ・カナダなど)	その他の 外国	外国に行った ことがない

Q52 あなたは次にあげる国や地域出身の人に、知り合いはいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

FRNAQCN	FRNAQSK	FRNAQTW	FRNAQSA	FRNAQEP	FRNAQNA	FRNAQOT	FRNAQNO
1	2	3	4	5	6	7	8
中国	韓国	台湾	東南アジア	ヨーロッパ	北アメリカ (アメリカ・カナダなど)	その他の 外国	外国人の知り 合いはいる いない

Q53 あなたは、次にあげる国や地域出身の人が同じ職場で働くことについて抵抗なく受け入れることができますか、それともできませんか。以下の出身地それぞれについてお答えください。

		受け入れることができる		受け入れることができない
ACPFWCN	中国	----->	1 .....	2
ACPFWSK	韓国	----->	1 .....	2
ACPFWTW	台湾	----->	1 .....	2
ACPFWSA	東南アジア	----->	1 .....	2
ACPFWEP	ヨーロッパ	----->	1 .....	2
ACPFWNA	北アメリカ (アメリカ・カナダなど)	----->	1 .....	2

Q54 あなたは、次にあげる国や地域出身の人が近所に住むことについて抵抗なく受け入れることができますか、それともできませんか。以下の出身地それぞれについてお答えください。

		受け入れることができる		受け入れることができない
ACPFNBCN	中国	----->	1 .....	2
ACPFNBK	韓国	----->	1 .....	2
ACPFNBW	台湾	----->	1 .....	2
ACPFNBSA	東南アジア	----->	1 .....	2
ACPFNBEP	ヨーロッパ	----->	1 .....	2
ACPFNBNA	北アメリカ (アメリカ・カナダなど)	----->	1 .....	2

Q55 あなたは、次にあげる国や地域出身の人が国際結婚によって親類になることについて抵抗なく受け入れることができますか、それともできませんか。以下の出身地それぞれについてお答えください。

		受け入れることができる	受け入れることができない
ACPFRCN	中国 ----->	1 .....	2
ACPFRSK	韓国 ----->	1 .....	2
ACPFRTW	台湾 ----->	1 .....	2
ACPFRSA	東南アジア ----->	1 .....	2
ACPFREP	ヨーロッパ ----->	1 .....	2
ACPFRNA	北アメリカ ----->	1 .....	2
		(アメリカ・カナダなど)	

Q56 日本で働く外国人は増えた方がよいと思いますか、減った方がよいと思いますか。

OPFRNWRK

1	2	3	4	5
大いに 増えた方がよい	ある程度 増えた方がよい	今のままで よい	ある程度 減った方がよい	大いに 減った方がよい

Q57 日本に花嫁としてやって来る外国人は増えた方がよいと思いますか、減った方がよいと思いますか。

OPFRNBRD

1	2	3	4	5
大いに 増えた方がよい	ある程度 増えた方がよい	今のままで よい	ある程度 減った方がよい	大いに 減った方がよい

Q58 日本と他の国々との関係についてお尋ねします。次の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。

A 日本経済を守るために外国製品の輸入は制限すべきだ。

OPFRNPRD

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかと いえば賛成	どちらとも いけない	どちらかと いえば反対	反対	強く反対

B 他の国々と対立するとしても、日本は自国の国益を追求すべきだ。

OPNTLINT

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかと いえば賛成	どちらとも いけない	どちらかと いえば反対	反対	強く反対

C 外国の映画や音楽、本に触れる機会が増えることで、日本固有の文化が損<sup>そこ</sup>なわれている。

OPDMGCLT

1	2	3	4	5	6	7
強く賛成	賛成	どちらかと いえば賛成	どちらとも いけない	どちらかと いえば反対	反対	強く反対

Q59 ヒト・モノ・カネなどが、国や地域を越えて動くことが増えています。そのことは、次の事柄にとって良いことだと思いますか、悪いことだと思いますか。

			非常に良い	良い	い え ば 良 い	ど ち ら か と	ど ち ら と も い え な い	ど ち ら か と い え ば 悪 い	悪い	非常に悪い	わからない
OPGLBECN	A	日本の経済にとって-----	1	2	3	4	5	6	7	8	
OPGLBWRK	B	日本人の雇用機会にとって-----	1	2	3	4	5	6	7	8	
OPGLBENV	C	日本の環境にとって-----	1	2	3	4	5	6	7	8	
OPGLBCNS	D	日本の消費者にとって-----	1	2	3	4	5	6	7	8	
OPGLBJBO	E	あなた自身の雇用機会・雇用の安定にとって→	1	2	3	4	5	6	7	8	
OPGLBLIF	F	あなた自身の消費生活にとって----→	1	2	3	4	5	6	7	8	

Q60 あなたは以下のことがどのくらいできますか。A~Cのそれぞれについて、お答えください。

			非常によく できる	よく できる	少しは できる	あまり できない	ほとんど/ まったくできない
EANWP	A	英字新聞の短い記事を読む -----	1	2	3	4	5
EACHTT	B	英語でおしゃべりする -----	1	2	3	4	5
EALTR	C	英語で手紙を書く -----	1	2	3	4	5

Q61 あなたは外国の大学または大学院に1年以上通ったことがありますか。

XARDCLG

	1	2	3
外国の大学・大学院を卒業した		通ったが卒業していない	通ったことがない

Q62 あなたは外国で5日間以上の教育・研修を受けたことがありますか

XARDEDU

1	ある	2	ない
---	----	---	----

Q63 あなたの主な勤め先は、外資系企業ですか。

JOBFCAP

1	外資系企業	2	それ以外	3	現在、仕事をしていない
---	-------	---	------	---	-------------

Q64 あなたの主な勤め先は、公益的な団体（病院、学校、市役所、非営利組織等）ですか。

JOBNPO

1	公益的な団体	2	それ以外	3	現在、仕事をしていない
---	--------	---	------	---	-------------

Q65 あなたの配偶者の主な勤め先は、公益的な団体（病院、学校、市役所、非営利組織等）ですか。

SSJBNPO

1	公益的な団体	2	それ以外	3	現在、仕事をしていない	4	配偶者はいない
---	--------	---	------	---	-------------	---	---------

最後に、あなたの人付き合いについて、おうかがいします。

Q66-1 家族や親類以外で、あなたが今年の正月に新年の挨拶を交わした人は、何人くらいですか。(電話、年賀状、メール、訪問、知人の集まりなど、すべて含めます)。

**NYGRTOT**

1	2	3	4	5	6	7
0人	1～4人	5～9人	10～19人	20～49人	50～99人	100人以上

Q66-2 今年の正月に、あなたが新年の挨拶を交わした家族や親類は、同居している人を除いて何人くらいですか。(電話、年賀状、メール、訪問、親類の集まりなど、すべて含めます)。

**NYGRTFA**

1	2	3	4	5	6	7
0人	1～4人	5～9人	10～19人	20～49人	50～99人	100人以上

Q66-3 家族や親類以外で、あなたがふだん1日に接する人は、何人くらいですか(電話、手紙、メール、直接会うことなど、すべて含めます)。

**PINTDOT**

1	2	3	4	5	6	7
0人	1～4人	5～9人	10～19人	20～49人	50～99人	100人以上

Q66-4 あなたがふだん1日に接する家族や親類は、同居している人を除いて何人くらいですか(電話、手紙、メール、直接会うことなど、すべて含めます)。

**PINTDFA**

1	2	3	4	5	6	7
0人	1～4人	5～9人	10～19人	20～49人	50～99人	100人以上

Q67 先の Q66-1 から Q66-4 の 4 つの質問で思い浮かべた人たちの中に、次のような職業の人はいますか。

		い	る	い	ない
<b>OCPLGSR</b>	議員・上級公務員・自治体幹部 ----->	1	.....	2	
<b>OCPMNGR</b>	管理職 ----->	1	.....	2	
<b>OCPPRO</b>	専門職 ----->	1	.....	2	
<b>OCPTECH</b>	技術支援職・専門補佐職 ----->	1	.....	2	
<b>OCPCLRG</b>	事務的職業 ----->	1	.....	2	
<b>OCPSALE</b>	サービスの職業・販売的職業 ----->	1	.....	2	
<b>OCPAGFF</b>	農林漁業従事者 ----->	1	.....	2	
<b>OCPCRFT</b>	技能工・職人 ----->	1	.....	2	
<b>OCPMNOP</b>	簡単な機械や乗り物の操作をする職業 ----->	1	.....	2	
<b>OCPELEM</b>	特に熟練を要しない簡易な職業 ----->	1	.....	2	

Q68 最後に、今日の日付をご記入ください。(AB 共通 A 票 Q71)

**XXTODAY**     月     日

長時間のご協力、誠にありがとうございました。担当の調査員にお渡しください。

**WEIGHT**



2010 年 2 月

JGSS-2010 留置調査票 A 票



文部科学大臣認定  
日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター

## 「第 8 回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学 JGSS 研究センター

協 力：東京大学社会科学研究所

最初に、あなたの日常的な生活について、おうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。(AB 共通 B 票 Q1)

HRTV 

--	--

 時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く) (AB 共通 B 票 Q2)

**FQ5READ**

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。(AB 共通 B 票 Q3)

**FQ5NEWSP**

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない

Q4-1 次の項目で、あなたが利用しているものすべてに○をつけてください。

<b>DOCOMPJ</b>	<b>DOCOMP</b>	<b>DOPHS</b>	<b>DONONEX</b>
1	2	3	4
パソコン (職場・学校で)	パソコン (自宅で)	携帯電話 (PHSを含む)	いずれも利用 していない

Q4-2 あなたは、パソコンまたは携帯電話 (PHS を含む) のインターネットを利用して、次のことを行なっていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

<b>DOINBRS</b>	<b>DOINSHOP</b>	<b>DOINBANK</b>	<b>DOINHPB</b>	<b>DOINNONE</b>
1	2	3	4	5
情報検索	インターネット ショッピング	インターネット バンキング	ホームページの 作成(ブログを含む)	いずれも 行なっていない

Q4-3 あなたは、携帯電話 (PHS を含む) やパソコンを利用して、次のことをどのくらい行なっていますか。

	1日に 5回以上	1日に 3~4回	1日に 1~2回	週に 数回	週に 1回以下	まったく利用 していない						
<b>FQMPTALK</b> A	携帯電話 (PHS を含む) での通話 → 1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5	.....	6	
<b>FQMPMAIL</b> B	携帯電話 (PHS を含む) からの メール送信 -----→	1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5	.....	6
<b>FQPCMAIL</b> C	パソコンからのメール送信 -----→	1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5	.....	6

Q5 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ (ウォーキング、水泳、野球など) を行なっていますか。

**FQSPORT** (AB 共通 B 票 Q5)

1	2	3	4	5
週に数回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんどしない

Q6 あなたは、どのくらいの頻度で1泊以上の旅行（仕事以外）をしますか。

**FQ5TRIP**

1	2	3	4	5
月に数回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくしない

Q7 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。（AB 共通 B 票 Q9）

		ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	まったく していない		
<b>FQ7FFDNR</b>	A	家族と一緒にの夕食	----->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6.....	7
<b>FQ7FRSEE</b>	B	友人との会食や集まり	----->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6.....	7
<b>FQ7CKDNR</b>	C	夕食の用意	----->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6.....	7
<b>FQ7WASH</b>	D	洗濯	----->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6.....	7
<b>FQ7SHOP</b>	E	買い物（日用品や食料品の買い物）	----->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6.....	7
<b>FQ7CLEAN</b>	F	家の掃除	----->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6.....	7
<b>FQ7GARB</b>	G	ゴミ出し	----->	1.....	2.....	3.....	4.....	5.....	6.....	7

ここからは、あなたの心身の健康について、おうかがいします。

Q8 あなたの現在の健康状態は、いかがですか。

**OP5HLTHZ**

良	い					悪	い
1		2		3		4	5
←----->							

Q9-1 あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。（AB 共通 B 票 Q47-1）

**DOSMOKEX**

1	2	3
現 在 吸 っ て い る	以 前 は 吸 っ て い た が や め た	ほ と ん ど ／ ま っ た く 吸 っ た こ と は な い

Q9-2 禁煙しようと努力したことがありますか。

**XQTSMOKE**

1	2
はい	いいえ

Q10 あなたは、普段お酒を飲みますか。

**DO7DRINK**

1	2	3	4	5	6	7
ほとん ど 毎 日	週に 数 回	週に 1 回 程 度	月に 1 回 程 度	年に 数 回	年に 1 回 程 度	ま っ た く 飲 ま な い



ここからは、英語学習について、おうかがいします。

Q16 あなたは、英語でどのくらい会話ができますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

**ENGTALK**

- 1 日常生活や仕事の英会話が、充分できる
- 2 日常生活や仕事の英会話は、なんとかできる程度
- 3 道をたずねたり、レストランで注文できる程度
- 4 あいさつができる程度
- 5 ほとんど話せない

Q17 あなたの英語の読解力は、どのくらいですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

**ENGREAD**

- 1 英語の本や新聞が、スラスラ読める
- 2 英語の本や新聞を、なんとか読める
- 3 短い英語の文章なら読める
- 4 簡単な英単語ならわかる
- 5 ほとんど読めない

Q18 あなたは過去1年間に、以下のことで英語を読んだり、聴いたり、話したりしたことが少しでもありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- EABUS** 1 仕事
- EASOC** 2 外国人の友人や知人とのつき合い
- EAART** 3 映画鑑賞・音楽鑑賞・読書
- EAINET** 4 インターネット
- EATRIP** 5 海外旅行
- EAOTHER** 6 その他（具体的に\_\_\_\_\_）
- EANONE** 7 まったく使ったことがない
- 「その他」の具体的記述から追加
- EALEARN** 学習

Q19 あなたの仕事にとって、英語の力を高めることはどのくらい役に立つと思いますか。

**OPEUWK**

- |        |             |        |               |               |              |
|--------|-------------|--------|---------------|---------------|--------------|
| 1      | 2           | 3      | 4             | 5             | 6            |
| とても役立つ | ある程度<br>役立つ | 少しは役立つ | ほとんど<br>役立たない | まったく<br>役立たない | 仕事は<br>していない |

Q20 あなたの趣味や人づきあいにとって、英語の力を高めることはどのくらい役に立つと思いますか。

**OPEUSOC**

- |        |         |        |               |               |
|--------|---------|--------|---------------|---------------|
| 1      | 2       | 3      | 4             | 5             |
| とても役立つ | ある程度役立つ | 少しは役立つ | ほとんど<br>役立たない | まったく<br>役立たない |

Q21 学校での英語教育は、どのくらいの時期から始めるのがよいと思いますか。

**OPTTED**

- |              |                |                |                |       |
|--------------|----------------|----------------|----------------|-------|
| 1            | 2              | 3              | 4              | 5     |
| 小学校<br>入学前から | 小学校<br>1・2年生から | 小学校<br>3・4年生から | 小学校<br>5・6年生から | 中学校から |



Q28 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。(AB 共通 B 票 Q18)

**OP5FFINX**

1	2	3	4	5
平均より かなり少ない	平均より少ない	ほぼ平均	平均より多い	平均より かなり多い

Q29 あなたが 15 歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

(AB 共通 B 票 Q19)

**OPFFIX15**

1	2	3	4	5
平均より かなり少ない	平均より少ない	ほぼ平均	平均より多い	平均より かなり多い

Q30 中学 3 年生の頃、あなたの成績は学年の中でどれくらいだったと思いますか。戦前の学校の場合は、義務教育の最後の年の成績について、お答えください。

**OP5SCHPF**

1	2	3	4	5
下の方	やや下の方	真ん中のあたり	やや上の方	上の方

Q31 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。(AB 共通 B 票 Q20)

**OP5CHNCA**

1	2	3	4	5
充分にある	少しはある	どちらとも いけない	あまりない	まったくない

Q32 現在、年金を受け取っている人達に比べて、あなたが老後に受け取る年金の額は、どうなっていると思いますか。

**OP5PENSN**

1	2	3	4	5	6	7
かなり良く なっている	少し良く なっている	だいたい 同じ	少し悪く なっている	かなり悪く なっている	わからない	現在年金を 受けている

Q33 かりに現在の日本の社会全体を、以下の 5 つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると思いますか。(AB 共通 B 票 Q21)

**OP5LEVK**

1	2	3	4	5
上	中の上	中の中	中の下	下

Q34 今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。(AB 共通 B 票 Q22)

**AXECNSF**

1	2	3	4	5
とても 感じている	ある程度 感じている	どちらとも いけない	あまり 感じていない	まったく 感じていない





Q40 次に国民と政治とのかかわりについての意見があげてあります。A～D それぞれについて、あなたのお気持ちに近いものを1つ選んでください。

			どちらかと 賛成	どちらかと いえば賛成	どちらかと いえば反対	反対
<b>Q4NOPWR</b>	A	自分のようなふつうの市民には、政府のすること に対して、それを左右する力はない	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>Q4GVC MPL</b>	B	政治や政府は複雑なので、自分には何を やっているのかよく理解できない	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>Q4VOTE</b>	C	選挙では大勢の人々が投票するのだから、 自分一人くらい投票しなくてもかまわない	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>Q4MDIET</b>	D	国会議員は、大ざっぱに言って、当選したら すぐ国民のことを考えなくなる	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4

Q41 不治の病におかされた患者が、痛みを伴わない安楽死を望んでいるとします。その家族も同意している場合に、医者が安楽死を行なえる法律をつくるべきだと思いますか。

**QDDKILLA**

1	2	3
はい	いいえ	わからない

Q42 あなたは、死刑制度に賛成ですか、反対ですか。

**Q2DTHPY**

1	2	3
賛成	反対	わからない

Q43 犯罪者に対する、ここ数年の裁判所の判決について、あなたはどうお考えですか。

**OP5JUDGE**

1	2	3	4	5	6
厳しすぎる	少し 厳しすぎる	適当 である	もう少し厳しく すべきだ	もっと厳しく すべきだ	わからない

Q44 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。(AB 共通 B 票 Q25)

**Q5GVEQAA**

1	2	3	4	5
賛成	どちらかと いえば賛成	どちらとも いえない	どちらかと いえば反対	反対

Q45 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。(AB 共通 B 票 Q26)

**XX8PLPTY**

- |               |                        |
|---------------|------------------------|
| 1 自民党         | <b>9～13 は調査後の追加コード</b> |
| 2 民主党         |                        |
| 3 公明党         |                        |
| 4 共産党         |                        |
| 5 社民党         |                        |
| 6 その他の政党 ( )  |                        |
| 7 特に支持する政党はない |                        |
| 8 わからない       |                        |
| 9 みんなの党       |                        |
| 10 国民新党       |                        |
| 11 幸福実現党      |                        |
| 12 たちあがれ日本    |                        |
| 13 新党日本       |                        |

Q46 政権を担当する能力があるのはどの政党だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

<b>OLDPOK</b>	1	自民党		「その他」の具体的記述から追加
<b>ODPOK</b>	2	民主党	<b>OMINNAOK</b>	みんなの党
<b>OKOMEIOK</b>	3	公明党	<b>OKOKUMOK</b>	国民新党
<b>OCOMMPOK</b>	4	共産党	<b>OKOUFUOK</b>	幸福実現党
<b>OSDPOK</b>	5	社民党	<b>OTACHIOK</b>	たちあがれ日本
<b>OOTHEROK</b>	6	その他の政党 ( )	<b>OSHINTOK</b>	新党日本
<b>ONOPLPOK</b>	7	そのような政党はない		
<b>OPLPDONT</b>	8	わからない		

Q47 あなたが生活している地域に外国人が増えることに賛成ですか、反対ですか。

<b>QFNRINCR</b>	1	賛成	2	反対
-----------------	---	----	---	----

Q48 あなたの家から1キロ（徒歩15分程度）以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。  
(AB共通B票Q27)

<b>FEARWALK</b>	1	はい	2	いいえ
-----------------	---	----	---	-----

Q49 過去1年間に、力づくで物品を奪い取られたこと（例えば、強盗、恐喝やひったくり）がありますか。

<b>XROBBD1Y</b>	1	はい	2	いいえ
-----------------	---	----	---	-----

Q50 過去1年間に、あなたの家は空き巣に入られたことがありますか。

<b>XSTOLN1Y</b>	1	はい	2	いいえ
-----------------	---	----	---	-----

Q51 あなたは過去5年間に、環境保護や企業倫理の観点から、特定の企業の商品を買うのをやめたり、積極的に買ったりしたことがありますか。

<b>XPBEPCE</b>	1	ある	2	ない
----------------	---	----	---	----

Q52 あなたは以下のような政策に賛成ですか、反対ですか。

		どちらかと		どちらかと								
		賛成	い	え	ば	賛成	い	え	ば			
			ば	賛成	い	ば	賛成	い	ば			
			賛成	い	ば	反対	反対	わからない				
<b>OPCCMON</b>	A	中学卒業まで「子ども手当」を支給	→	1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5
<b>OPHGSCH</b>	B	公立高校の実質無償化／私立高校生に 相当額助成	-----→	1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5
<b>OPHGWAY</b>	C	高速道路の無料化	-----→	1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5
<b>OPCO2EM</b>	D	二酸化炭素の排出量を2020年までに 1990年に比べて25%削減	-----→	1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5
<b>OPMNWG</b>	E	最低賃金の引き上げ	-----→	1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5
<b>OPSWST</b>	F	性別・年齢・雇用形態にかかわらず同じ 職場で同じ仕事をしている人は同じ賃金 (同一労働同一賃金)	-----→	1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5
<b>OPATDS</b>	G	配偶者控除制度の廃止	-----→	1	.....	2	.....	3	.....	4	.....	5

Q53 あなたは消費税をどのくらいにすべきだと思いますか。

<b>OPCNSMTX</b>	1	2	3	4	5	6
	0%	1～4%	5% (現在)	6～7%	8～9%	10%以上

Q54 政党について、A・B の意見があります。あなたの意見は次の 1～4 のどれにあてはまりますか。

**OPMNFST**

- A 政党は、いかなる場合も選挙で示したマニフェスト（政権公約）に基づいて行動するべきだ。
- B 政党は、マニフェスト（政権公約）に縛られることなく、状況に応じて行動するべきだ。

- |       |            |            |       |
|-------|------------|------------|-------|
| 1     | 2          | 3          | 4     |
| A に近い | どちらかといえば A | どちらかといえば B | B に近い |

Q55-1 あなたは、臓器提供の意思表示ができるカードまたはシール（健康保険証の意思表示欄への記入を含む）を持っていますか。

**DOCARD**

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 持っている | 2 持っていない |
|---------|----------|

Q55-2 それに臓器提供意思表示の署名をしていますか。

**DO3SIGN**

- 1 臓器提供の意思（一部提供も含む）を表示して、署名している
- 2 臓器提供を希望しない意思を表示して、署名している
- 3 持っているが、署名していない

Q56 仮に、ご自分が脳死と判定された場合、あなたは心臓や肝臓などの臓器が提供されてもよいと思いますか。

**WLGIVORG**

- |      |                  |                    |        |
|------|------------------|--------------------|--------|
| 1    | 2                | 3                  | 4      |
| そう思う | どちらかといえば<br>そう思う | どちらかといえば<br>そう思わない | そう思わない |

Q57 仮に、心臓移植をしなければ生きられない状態になった場合、あなたは移植を受けたいと思いますか。

**WLACCORG**

- |      |                  |                    |        |
|------|------------------|--------------------|--------|
| 1    | 2                | 3                  | 4      |
| 受けたい | どちらかといえば<br>受けたい | どちらかといえば<br>受けたくない | 受けたくない |

Q58 2009 年 5 月に開始された裁判員制度（殺人・放火・誘拐などの裁判に一般の人が参加する制度）を、あなたは支持しますか。

**OPCJSYS**

- |      |                  |                   |       |
|------|------------------|-------------------|-------|
| 1    | 2                | 3                 | 4     |
| 支持する | どちらかといえば<br>支持する | どちらかといえば<br>支持しない | 支持しない |

Q59 もしも、あなたが裁判員に選ばれたとしたら、凶悪な犯罪であっても死刑を主張することをためらいますか。

**OPCJDTH**

- |      |                  |                    |        |
|------|------------------|--------------------|--------|
| 1    | 2                | 3                  | 4      |
| ためらう | どちらかといえば<br>ためらう | どちらかといえば<br>ためらわない | ためらわない |



Q65 夫婦別姓を認めた場合、子どもたちの名字はどのようにしたらよいと思いますか。

**OPCCSNM**

- 1 夫の名字にそろえる
- 2 妻の名字にそろえる
- 3 どちらか一方の名字にそろえる必要はない（きょうだい間で名字が異なってもよい）

Q66 次の A~I の意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。（AB 共通 B 票 Q28）

			どちらかと 賛成	どちらかと いえば賛成	どちらかと いえば反対	反対		
<b>Q4DIVOK</b>	A 結婚しても、相手に満足できないときは、 いつでも離婚すればよい ----->	1	.....	2	.....	3	.....	4
<b>Q4WWJBIA</b>	B 夫に十分な収入がある場合には、 妻は仕事をもたない方がよい ----->	1	.....	2	.....	3	.....	4
<b>Q4WNMGA</b>	C なんとんでも女性の幸福は結婚にある ----->	1	.....	2	.....	3	.....	4
<b>Q4MNCOOK</b>	D 男性も身の回りのことや炊事をすべきだ ----->	1	.....	2	.....	3	.....	4
<b>Q4WWHHX</b>	E 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ ----->	1	.....	2	.....	3	.....	4
<b>Q4MNMGA</b>	F なんとんでも男性の幸福は結婚にある ----->	1	.....	2	.....	3	.....	4
<b>Q4JBMMCC</b>	G 母親が仕事をもつと、小学校へあがる前の 子どもによく影響を与える ----->	1	.....	2	.....	3	.....	4
<b>Q4NOCCMG</b>	H 結婚しても、必ずしも子どもをもつ必要はない ----->	1	.....	2	.....	3	.....	4
<b>Q4WWHPHH</b>	I 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、 夫の仕事の手助けをする方が大切である ----->	1	.....	2	.....	3	.....	4

最後に、人や組織についてのあなたのお考えをうかがいます。

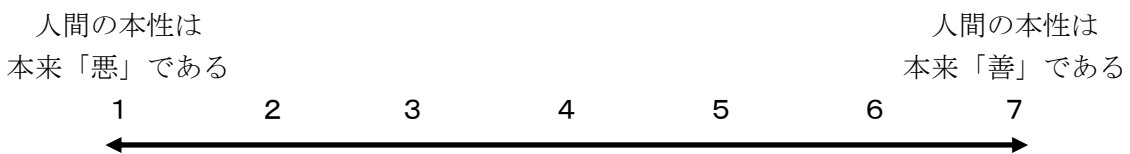
Q67 一般的に、人は信用できると思いますか。

**OP3TRUST**

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 場合による

Q68 人間の本性について、あなたはどのようにお考えですか。番号（1~7）を1つ選んでください。

**OP7GDEVO**



Q69 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。(AB 共通 B 票 Q29)

<b>MEMPLTGP</b>	A	政治関係の団体や会	----->	1	は	い	.....	2	いいえ
<b>MEMIND</b>	B	業界団体・同業者団体	----->	1	は	い	.....	2	いいえ
<b>MEMVLNTR</b>	C	ボランティアのグループ	----->	1	は	い	.....	2	いいえ
<b>MEMCIVIL</b>	D	市民運動・消費者運動のグループ	----->	1	は	い	.....	2	いいえ
<b>MEMRL</b>	E	宗教の団体や会	----->	1	は	い	.....	2	いいえ
<b>MEMSPORT</b>	F	スポーツ関係のグループやクラブ	----->	1	は	い	.....	2	いいえ
<b>MEMHOBBY</b>	G	趣味の会 (コーラス・写真・山歩きなど)	→	1	は	い	.....	2	いいえ
<b>MEMCOOP</b>	H	消費生活協同組合 (生協)	----->	1	は	い	.....	2	いいえ

Q70 あなたの世帯は、町内会・自治会に入っていますか。

**MEMNBAS**

<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>
入っている	入っていない	わからない

Q71 あなたご自身は、どのくらいの頻度で、町内会・自治会の活動 (これに関連した地域活動を含む) に参加していますか。

**FQNBAS**

<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>6</b>
ほぼ毎週	月に2~3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく 参加していない

Q72 あなたは過去1年間に、以下のようなボランティア活動を行なったことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- XVLIMPRT**    1    まちづくりのための活動 (道路や公園等の清掃、道路に花を植える活動、まちおこしなど)
- XVLNTENV**    2    自然や環境を守るための活動 (森林や緑を守る活動、リサイクル活動、ゴミを減らす活動など)
- XVLSAFE**     3    安全な生活のための活動 (防犯パトロール、防災活動、交通安全活動など)
- XVLSPTS**     4    スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動 (スポーツの指導、伝統文化の普及活動、知識や技術の提供など)
- XVLELD**     5    高齢者を対象とした活動 (高齢者の日常生活の手助け、高齢者とのレクリエーションなど)
- XVLCC**       6    子どもを対象とした活動 (子ども会の世話、子育て支援、いじめ電話相談など)
- XVLOTHR**     7    その他のボランティア活動 (具体的に\_\_\_\_\_)
- XVLNONE**    8    いずれも行なっていない

「その他」の具体的記述から追加

**XVLDISAB**     障害者を対象とした活動

Q73-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。(AB 共通 B 票 Q30-1)

**DORL**

- 1 ある                      2 特に信仰していないが、家の宗教はある                      3 ない

Q73-2 それは何ですか。(AB 共通 B 票 Q30-2)

**XXRL**

(具体的に \_\_\_\_\_)

Q73-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思えますか。(AB 共通 B 票 Q30-3)

**DO3PIOUS**

- 1 熱心である  
2 まあまあ熱心である  
3 そんなに熱心ではない

Q74 次にあげる A～O について、あなたはどれくらい信頼していますか。

		とても	少しは	ほとんど	
		信頼している	信頼している	信頼していない	わからない
<b>TR3CORPZ</b>	A 大企業	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3RLGPZ</b>	B 宗教団体	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3SCHLZ</b>	C 学 校	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3BCRAZ</b>	D 中央官庁	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3UNNZ</b>	E 労働組合	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3NWSPZ</b>	F 新 聞	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3HSPLZ</b>	G 病 院	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3TVZ</b>	H テレビ	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3SPCAZ</b>	I 裁判所	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3ACDAZ</b>	J 学者・研究者	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3CGMNZ</b>	K 国会議員	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3CITYZ</b>	L 市区町村議会議員	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3DEFZ</b>	M 自衛隊	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3COPZ</b>	N 警 察	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>TR3FINZ</b>	O 金融機関	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4

長時間のご協力、誠にありがとうございました。担当の調査員にお渡してください。

**WEIGHT**

2010 年 2 月

JGSS-2010 留置調査票 B 票



文部科学大臣認定  
日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター

## 「第 8 回 生活と意識についての国際比較調査」

調査企画：大阪商業大学 JGSS 研究センター

協 力：東京大学社会科学研究所



最初に、あなたの日常的な生活について、おうかがいします。

Q1 あなたは、平均して1日に何時間くらいテレビをみますか。まったく見ない方は0(ゼロ)とご記入ください。(AB 共通 A 票 Q1)

HRTV 

--	--

 時間くらい

Q2 あなたは、1ヶ月に何冊くらい本を読みますか。(マンガ、雑誌を除く) (AB 共通 A 票 Q2)

**FQ5READ**

0	1	2	3	4
ほとんど読まない	1冊程度	2冊程度	3冊程度	4冊以上

Q3 あなたは、どのくらいの頻度で新聞を読みますか。(AB 共通 A 票 Q3)

**FQ5NEWSP**

1	2	3	4	5
ほぼ毎日	週数回	週1回程度	それ以下	まったく読まない

Q4 あなたは、携帯電話 (PHS を含む) やパソコンを利用して、次のことをどのくらい行なっていますか。

1日に 5回以上	1日に 3~4回	1日に 1~2回	週に 数回	週に 1回以下	まったく利用 していない
-------------	-------------	-------------	----------	------------	-----------------

**FQMPTALX** A 携帯電話 (PHS を含む) での通話 -----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6

**FQMPMAIX** B 携帯電話 (PHS を含む) からのメール送信 → 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6

**FQPCMAIX** C パソコンからのメール送信 -----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6

Q5 あなたは現在、定期的に運動やスポーツ (ウォーキング、水泳、野球など) を行なっていますか。(AB 共通 A 票 Q5)

**FQSPORT**

1	2	3	4	5
週に数回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	ほとんどしない

Q6 あなたは、どのくらいの頻度で旅行 (仕事以外で1泊以上) をしますか。

月に 数回	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	数年に 1回程度	まったく しない
----------	------------	----------	------------	-------------	-------------

**FQDMTRP** A 国内旅行 -----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6

**FQOSTRP** B 海外旅行 -----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5 ..... 6

Q7 あなたの希望としては、どのくらいの頻度で旅行（仕事以外で1泊以上）に行きたいですか。

		月に 数回	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	数年に 1回程度	行きたく ない
<b>APDMTRP</b>	A 国内旅行 ----->	1	2	3	4	5	6
<b>APOSTRP</b>	B 海外旅行 ----->	1	2	3	4	5	6

Q8 あなたは旅行（仕事以外で1泊以上）で何をすることを重視していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

<b>IMTRPCUL</b>	1 旅行先の文化にふれる	<b>IMTRPSTR</b>	6 ストレスを解消する
<b>IMTRPPPL</b>	2 旅行先の人々とふれ合う	<b>IMTRPNAT</b>	7 自然を楽しむ
<b>IMTRPREL</b>	3 家族や友人との関係を深める	<b>IMTRPFRE</b>	8 自由気ままに過ごす
<b>IMTRPEX</b>	4 刺激的な経験をする	<b>IMTRPREF</b>	9 自分自身を見つめなおす
<b>IMTRPSHP</b>	5 買い物や食事を楽しむ	<b>IMTRPOTH</b>	10 その他（具体的に_____）
		<b>IMTRPNON</b>	11 特にない
			「その他」の具体的記述から追加
		<b>IMTRPHSP</b>	温泉がある

Q9 あなたは、どのくらいの頻度で次のことをしていますか。（AB 共通 A 票 Q7）

		ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	年に 1回程度	まったく していない
<b>FQ7FFDNR</b>	A 家族と一緒にの夕食 ----->	1	2	3	4	5	6	7
<b>FQ7FRSEE</b>	B 友人との会食や集まり ---->	1	2	3	4	5	6	7
<b>FQ7CKDNR</b>	C 夕食の用意 ----->	1	2	3	4	5	6	7
<b>FQ7WASH</b>	D 洗 濯 ----->	1	2	3	4	5	6	7
<b>FQ7SHOP</b>	E 買い物（日用品や食料品の買い物）	1	2	3	4	5	6	7
<b>FQ7CLEAN</b>	F 家の掃除 ----->	1	2	3	4	5	6	7
<b>FQ7GARB</b>	G ゴミ出し ----->	1	2	3	4	5	6	7

Q10 あなたは、以下のことをどのくらい行ないますか。

		よく する	時々 する	あまり しない	まったく しない ／知らない
<b>FQ4GAME</b>	A テレビゲーム（PC ゲーム・携帯用を含む）→	1	2	3	4
<b>FQ4NBS</b>	B ナンバーズ・ミニロト・ロト6 ----->	1	2	3	4
<b>FQ4LOTTO</b>	C 宝くじ ----->	1	2	3	4
<b>FQ4TOTO</b>	D サッカーくじ（toto） ----->	1	2	3	4
<b>FQ4PGAM</b>	E 公営ギャンブル（競馬・競輪・競艇など）→	1	2	3	4
<b>FQ4PACHI</b>	F パチンコ・パチスロ ----->	1	2	3	4



Q15 あなたは、現在の地域にどれくらい住んでいますか。(AB 共通 A 票 Q25)

**XLIVEYR**

- |   |           |   |           |
|---|-----------|---|-----------|
| 1 | 生まれてからずっと | 5 | 5年～10年未満  |
| 2 | 1年未満      | 6 | 10年～20年未満 |
| 3 | 1年～3年未満   | 7 | 20年～30年未満 |
| 4 | 3年～5年未満   | 8 | 30年以上     |

Q16 あなたは、これからも現在の地域に住みたいと思いますか。(AB 共通 A 票 Q26)

**WLLIVE**

- |             |               |                    |                    |
|-------------|---------------|--------------------|--------------------|
| 1           | 2             | 3                  | 4                  |
| ずっと<br>住みたい | 当分の間は<br>住みたい | できれば<br>他の地域に引越したい | すぐにも<br>他の地域に引越したい |

Q17 この2～3年の間に、あなたの経済状態はどう変わりましたか。(AB 共通 A 票 Q27)

**OP3ECN3A**

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 1     | 2     | 3     |
| 良くなった | 悪くなった | 変わらない |

Q18 世間一般と比べて、あなたの世帯収入はどれくらいですか。(AB 共通 A 票 Q28)

**OP5FFINX**

- |                |         |      |        |               |
|----------------|---------|------|--------|---------------|
| 1              | 2       | 3    | 4      | 5             |
| 平均より<br>かなり少ない | 平均より少ない | ほぼ平均 | 平均より多い | 平均より<br>かなり多い |

Q19 あなたが15歳の頃のあなたの世帯収入は、当時の平均的な世帯と比べて、どうでしたか。

(AB 共通 A 票 Q29)

**OPFFIX15**

- |                |         |      |        |               |
|----------------|---------|------|--------|---------------|
| 1              | 2       | 3    | 4      | 5             |
| 平均より<br>かなり少ない | 平均より少ない | ほぼ平均 | 平均より多い | 平均より<br>かなり多い |

Q20 今の日本の社会には、あなたやあなたの家族の生活水準を向上させる機会が、どのくらいありますか。(AB 共通 A 票 Q31)

**OP5CHNCA**

- |       |       |               |       |        |
|-------|-------|---------------|-------|--------|
| 1     | 2     | 3             | 4     | 5      |
| 充分にある | 少しはある | どちらとも<br>いえない | あまりない | まったくない |

Q21 かりに現在の日本の社会全体を、以下の5つの層にわけるとすれば、あなた自身は、どれに入ると思いますか。(AB 共通 A 票 Q33)

**OP5LEVK**

- |   |     |     |     |   |
|---|-----|-----|-----|---|
| 1 | 2   | 3   | 4   | 5 |
| 上 | 中の上 | 中の中 | 中の下 | 下 |

Q22 今後の生活について、経済的に不安を感じていますか。(AB 共通 A 票 Q34)

**AXECNSF**

- |              |               |               |               |                |
|--------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 1            | 2             | 3             | 4             | 5              |
| とても<br>感じている | ある程度<br>感じている | どちらとも<br>いえない | あまり<br>感じていない | まったく<br>感じていない |

ここからは、政治や政策についてのあなたのお考えをうかがいます。

Q23 以下の項目は、個人や家族の責任でしょうか、国や地方自治体の責任でしょうか。それぞれについて番号（1～5）を1つ選んでください。（AB 共通 A 票 Q35）

		個人や家族の責任			国や自治体の責任	
		1	2	3	4	5
<b>OP5SRWFY</b>	A 高齢者の生活保障（生活費）	1	2	3	4	5
<b>OP5SRMDY</b>	B 高齢者の医療・介護	1	2	3	4	5
<b>OP5CCED</b>	C 子どもの教育	1	2	3	4	5
<b>OP5CCARE</b>	D 保育・育児	1	2	3	4	5

Q24 政治的な考え方を、保守的から革新的までの5段階にわけるとしたら、あなたはどれにあてはまりますか。（AB 共通 A 票 Q36）

		保守的			革新的	
		1	2	3	4	5
<b>OP5RADCA</b>						

Q25 「政府は、裕福な家庭と貧しい家庭の収入の差を縮めるために、対策をとるべきだ」という意見に、あなたは賛成ですか、反対ですか。（AB 共通 A 票 Q44）

		1	2	3	4	5
<b>Q5GVEQAA</b>		賛成	どちらかといえば賛成	どちらともいえない	どちらかといえば反対	反対

Q26 現在、あなたはどの政党を支持していますか。1つだけ選んでください。（AB 共通 A 票 Q45）

<b>XX8PLPTY</b>	1 自民党	5 社民党	9 みんなの党
	2 民主党	6 その他の政党（ ）	10 国民新党
	3 公明党	7 特に支持する政党はない	11 幸福実現党
	4 共産党	8 わからない	12 たちあがれ日本
			13 新党日本

9～13は調査後の追加コード

Q27 あなたの家から1キロ（徒歩15分程度）以内で、夜の一人歩きが危ない場所がありますか。

（AB 共通 A 票 Q48）

<b>FEARWALK</b>	1 はい	2 いいえ
-----------------	------	-------

Q28 次のA～Eの意見について、あなたは賛成ですか、反対ですか。（AB 共通 A 票 Q66）

		どちらかといえば賛成		どちらかといえば反対		反対
		賛成				
<b>Q4WWJBIA</b>	A 夫に十分な収入がある場合には、妻は仕事をもたない方がよい	1	2	3	4	
<b>Q4WNMGA</b>	B なんとんでも女性の幸福は結婚にある	1	2	3	4	
<b>Q4WWHHX</b>	C 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4	
<b>Q4MNMGA</b>	D なんとんでも男性の幸福は結婚にある	1	2	3	4	
<b>Q4WWHPHH</b>	E 妻にとっては、自分の仕事をもつよりも、夫の仕事の手助けをする方が大切である	1	2	3	4	

Q29 あなたは、次にあげる会や組織に入っていますか。(AB 共通 A 票 Q69)

- |                 |   |                      |        |   |    |       |   |     |
|-----------------|---|----------------------|--------|---|----|-------|---|-----|
| <b>MEMPLTGP</b> | A | 政治関係の団体や会            | -----> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| <b>MEMIND</b>   | B | 業界団体・同業者団体           | -----> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| <b>MEMVLNTR</b> | C | ボランティアのグループ          | -----> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| <b>MEMCIVIL</b> | D | 市民運動・消費者運動のグループ      | -----> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| <b>MEMRL</b>    | E | 宗教の団体や会              | -----> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| <b>MEMSPORT</b> | F | スポーツ関係のグループやクラブ      | -----> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| <b>MEMHOBBY</b> | G | 趣味の会 (コーラス・写真・山歩きなど) | →      | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |
| <b>MEMCOOP</b>  | H | 消費生活協同組合 (生協)        | -----> | 1 | はい | ..... | 2 | いいえ |

Q30-1 あなたは、信仰している宗教がありますか。(AB 共通 A 票 Q73-1)

**DORL**

- 1 ある                      2 特に信仰していないが、家の宗教はある                      3 ない

Q30-2 それは何ですか。(AB 共通 A 票 Q73-2)

**XXRL** (具体的に \_\_\_\_\_)

Q30-3 あなたは、自分が熱心な信者だと思いますか。(AB 共通 A 票 Q73-3)

**DO3PIOUS**

- 1 熱心である  
2 まあまあ熱心である  
3 そんなに熱心ではない

Q31 あなたの主な勤め先は、公益的な団体 (病院、学校、市役所、非営利組織等) ですか。

**JOBNPO**

- 1 公益的な団体      2 それ以外      3 現在、仕事をしていない

Q32 あなたの配偶者の主な勤め先は、公益的な団体 (病院、学校、市役所、非営利組織等) ですか。

**SSJBNPO**

- 1 公益的な団体      2 それ以外      3 現在、仕事をしていない      4 配偶者はいない

Q33 あなたは次の意見について、どう思いますか。

- |                 |   |                          |        |         |          |      |                   |   |       |   |       |   |
|-----------------|---|--------------------------|--------|---------|----------|------|-------------------|---|-------|---|-------|---|
|                 |   |                          | そう     | どちらかと   | どちらかといえば | そう   | 働いていない/<br>同僚はいない |   |       |   |       |   |
|                 |   |                          | 思う     | いえばそう思う | そう思わない   | 思わない |                   |   |       |   |       |   |
| <b>OPWSLPW</b>  | A | 私の職場では、人々の中の<br>連帯感が強い   | -----> | 1       | .....    | 2    | .....             | 3 | ..... | 4 | ..... | 5 |
| <b>OPWSLRES</b> | B | 私は職場の人々との<br>連帯感を強くもっている | →      | 1       | .....    | 2    | .....             | 3 | ..... | 4 | ..... | 5 |

ここからは、心身の健康についておうかがいします。

Q34 あなたの健康状態は、いかがですか。

**SFHLCND**

1	2	3	4	5
最高に良い	とても良い	良い	あまり良くない	良くない

Q35 以下の質問は、日常よく行なわれている活動です。あなたは健康上の理由で、こうした活動をするのがむずかしいと感じますか。むずかしいとすればどのくらいですか。

とても むずかしい	少し むずかしい	ぜんぜん むずかしくない
--------------	-------------	-----------------

**SFLMTMA** A 適度の活動、例えば、家や庭のそうじをする、1～2時間散歩するなど -----> 1 ..... 2 ..... 3

**SFLMTSTR** B 階段を数階上までのぼる -----> 1 ..... 2 ..... 3

Q36 過去1カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、身体的な理由で次のような問題がありましたか。

ほとんど いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
-------------	-------------	------	-----	------------

**SFPHUSL** A 仕事やふだんの活動が思ったほど、  
できなかった-----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5

**SFPHCNT** B 仕事やふだんの活動の内容によっては、  
できないものがあった-----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5

Q37 過去1カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、心理的な理由で（例えば、気分がおちこんだり不安を感じたりしたために）、次のような問題がありましたか。

ほとんど いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
-------------	-------------	------	-----	------------

**SFMNTUSL** A 仕事やふだんの活動が思ったほど、  
できなかった-----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5

**SFMNTCNT** B 仕事やふだんの活動がいつもほど、  
集中してできなかった-----> 1 ..... 2 ..... 3 ..... 4 ..... 5

Q38 過去1カ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）が痛みのために、どのくらい妨げられましたか。<sup>さまた</sup>

**SFINTFPN**

1	2	3	4	5
ぜんぜん 妨げられなかった	わずかに 妨げられた	少し 妨げられた	かなり 妨げられた	非常に 妨げられた





Q44 過去1カ月間に、皮膚のかゆみでどの程度困りましたか。

**SKITCH**

- |                |        |     |        |        |
|----------------|--------|-----|--------|--------|
| 1              | 2      | 3   | 4      | 5      |
| まったく<br>困らなかった | すこし困った | 困った | かなり困った | ひどく困った |

Q45 あなたの身長を教えてください。

**HEIGHT**

センチメートル

Q46 あなたの体重を教えてください（現在、妊娠中の方は、妊娠前の体重をお書きください）。

**BDWEIGHT**

キログラム

ここからは、あなたの生活習慣についておうかがいします。

Q47-1 あなたは煙草（タバコ）を吸いますか。（AB 共通 A 票 Q9-1）

**DOSMOKEX**

- 1  
現在  
吸っている

- 2  
以前は吸って  
いたがやめた

- 3  
ほとんど／まったく  
吸ったことはない

Q47-2 あなたは、現在どのくらいの頻度で、タバコを吸っていますか。

**FQSMOKE**

- |    |      |      |        |
|----|------|------|--------|
| 1  | 2    | 3    | 4      |
| 毎日 | 週に数回 | 月に数回 | 年に数回以下 |

Q47-3 あなたは、これまで何年間くらいタバコを吸っていますか。現在吸っていない方は過去の経験についてお答えください。

**SMOKEYR**

年間くらい

Q48 あなたは、どのくらいの頻度でお酒（アルコール含有飲料）を飲みますか。

**DO5DRINK**

- |    |      |      |        |          |
|----|------|------|--------|----------|
| 1  | 2    | 3    | 4      | 5        |
| 毎日 | 週に数回 | 月に数回 | 年に数回以下 | まったく飲まない |

Q49 あなたは以下のことを、まわりの人から「やりすぎだ」と注意されたことがありますか。

(AB 共通 A 票 Q14)

- |                |  |   |          |   |     |
|----------------|--|---|----------|---|-----|
| <b>ADALC</b>   | A 飲酒 ----->                            | 1 | はい ..... | 2 | いいえ |
| <b>ADSMOKE</b> | B 喫煙 ----->                            | 1 | はい ..... | 2 | いいえ |
| <b>ADGMBL</b>  | C ギャンブル（パチンコを含む） -->                   | 1 | はい ..... | 2 | いいえ |
| <b>ADGAME</b>  | D テレビゲーム／ネットゲーム<br>(携帯などもすべて含む) -----> | 1 | はい ..... | 2 | いいえ |

Q50 あなたと一緒に暮らしている方の中には、以下のことを「やりすぎている」人がいますか。

(AB 共通 A 票 Q15)

- ADFALC** A 飲酒 -----> 1 い る … 2 い ない … 3 ひ と り 暮 ら し
- ADFSMOKE** B 喫煙 -----> 1 い る … 2 い ない … 3 ひ と り 暮 ら し
- ADFGMBL** C ギャンブル (パチンコを含む) --> 1 い る … 2 い ない … 3 ひ と り 暮 ら し
- ADFGAME** D テレビゲーム/ネットゲーム  
(携帯などもすべて含む) -----> 1 い る … 2 い ない … 3 ひ と り 暮 ら し

Q51 あなたは、どのくらいの頻度で汗をかいたり、息が切れるような運動 (20 分以上) をしていますか。

**FQEXER**

- |     |      |      |        |               |
|-----|------|------|--------|---------------|
| 1   | 2    | 3    | 4      | 5             |
| 毎 日 | 週に数回 | 月に数回 | 年に数回以下 | まったく<br>していない |

Q52 過去 3 年の間に、あなたは健康診断を受けましたか。

**XHLTCHK**

- |         |         |        |
|---------|---------|--------|
| 1       | 2       | 3      |
| 定期的に受けた | 不定期に受けた | 受けていない |

Q53-1 あなたは、ご自身の体型について、どの程度気になりますか。

**CAREBDS**

- |         |          |         |            |
|---------|----------|---------|------------|
| 1       | 2        | 3       | 4          |
| 非常に気になる | ある程度気になる | 少しは気になる | まったく気にならない |

Q53-2 体型が気になるのは、どのような理由からですか。あてはまるもの  
すべてに○をつけてください。

- RCBDEYE** 1 見た目に対する周りの人の目
- RCBDFEEL** 2 見た目に対する自分自身の気持ち
- RCBDHLT** 3 健康の問題
- RCBDWR** 4 服の問題
- RCBDOTH** 5 その他 (具体的に \_\_\_\_\_ )

Q53-3 体型管理のために、何かを行なっていますか。あてはまるもの  
すべてに○をつけてください。

- MBDEXE** 1 運動
- MBDFD** 2 食事の量や質のコントロール
- MBDSUPP** 3 サプリメント (栄養補助食品) の摂取
- MBDOTH** 4 その他 (具体的に \_\_\_\_\_ )
- MBDNONE** 5 特に何も行なっていない

Q54 あなたは、現在の体重について、どのように思っていますか。

**OPWGHT**

- |       |         |          |         |       |
|-------|---------|----------|---------|-------|
| 1     | 2       | 3        | 4       | 5     |
| 減らしたい | 少し減らしたい | 現在のままで良い | 少し増やしたい | 増やしたい |

ここからは、医療や保険に関することをおうかがいします。

Q55 過去1年間に、あなたはどのくらいの頻度で、医師の診断を受けましたか。あなた自身の病気やケガによるものについてお答えください（現在、妊娠中の方は、妊娠前の状況をお書きください）。

**FQ6DCTR**

1	2	3	4	5	6
週に数回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったくない

Q56-1 過去1年間に、病気やケガにもかかわらず、医師の診断を受けることを控えた<sup>ひか</sup>ことがありますか。風邪や虫歯の場合も含めてお答えください。

**XRFDCTR**

1	2	3
控えたことがある	控えたことは ない	過去1年間に病気・ ケガはしていない

Q56-2 それはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- RFDRWL** 1 待ち時間が長い
- RFDRCS** 2 費用がかかる
- RFDRDIS** 3 病院が近くにない
- RFDRDK** 4 どの病院に行ったらよいかわからない
- RFDRTRNS** 5 交通手段がない
- RFDRAVSN** 6 病院に行くのは好きではない
- RFDRBSY** 7 忙しくて時間がない
- RFDRSLGT** 8 病院に行くほどの病気・ケガではないと判断した
- RFDRINS** 9 保険が使えない
- RFDROTH** 10 その他（具体的に\_\_\_\_\_）

Q57 あなたは、どのような医療保険に入っていますか。

**TPHLINS**

1	2	3	4	5
公的医療保険のみ	公的医療保険と 民間の医療保険	民間の 医療保険のみ	医療保険には 入っていない	わからない

Q58 過去1年間に、あなたは以下の療法を受けたことがありますか。それぞれについてお答えください。

- XOMDACU** A 鍼・灸 -----> 1 はい ..... 2 いいえ
- XOMDHRB** B 漢方薬 -----> 1 はい ..... 2 いいえ
- XOMDMAS** C 指圧・マッサージ -----> 1 はい ..... 2 いいえ

Q59 ご自身やご家族の将来のことを考えたとき、以下の点についてどの程度不安を感じますか。

		非常に 不安	やや 不安	あまり 不安はない	まったく 不安はない
<b>FRMDREC</b>	A 必要なときに医療を受けられない	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>FRMDPAY</b>	B 深刻な病気にかかったときに 医療費を払えない	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4



Q64 あなたがお住まいの地域で、次の問題はどの程度深刻ですか。

			とても 深刻	ある程度 深刻	あまり 深刻ではない	まったく 深刻ではない
<b>ENHMAP</b>	A	大気汚染	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>ENHMWP</b>	B	水質汚染	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>ENHMNP</b>	C	騒音被害	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>ENHMSUN</b>	D	日照被害	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4

Q65 あなたの家から1キロ（徒歩15分程度）以内の近隣の状況についておうかがいします。以下のことはどの程度あてはまりますか。それぞれについてお答えください。

			よく あてはまる	あて はまる	どちらとも いえない	あて はまらない	まったく あてはまらない
<b>OPNBEXE</b>	A	ジョギングや散歩などの運動をするのに適している	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
<b>OPNBFD</b>	B	新鮮な果物や、野菜がいろいろと手に入る	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
<b>OPNBPF</b>	C	公共施設（公民館・図書館・公園など）が整っている	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
<b>OPNBSAFE</b>	D	安心して生活できる	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
<b>OPNBMTCN</b>	E	近所の人は、お互いに気にかけている	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5
<b>OPNBASS</b>	F	近所の人は、私が困っていたら手助けしてくれる	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5

ここからは、健康問題に関するあなたの考えや行動についておうかがいします。

Q66 日頃の生活で、あなたは以下のことを、どのくらい感じていますか。

			とても 感じている	ある程度 感じている	あまり 感じていない	まったく 感じていない
<b>TMAFFL</b>	A	時間的なゆとり	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>PCMIND</b>	B	心のゆとり	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4
<b>LONELY</b>	C	孤独感	-----> 1	..... 2	..... 3	..... 4

Q67 あなたは、次のことをどのくらい行なっていますか。

			ほぼ 毎日	週に 数回	週に 1回程度	月に 1回程度	年に 数回	まったく しない
<b>FRLXBATH</b>	A	温泉・銭湯・サウナに行く	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	..... 6
<b>FRLXMSSG</b>	B	マッサージ、リフレクソロジーなどを受ける	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	..... 6
<b>FRLXNATR</b>	C	自然の中で過ごす（森林浴、海・川などへ行く）	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	..... 6
<b>FRLXPET</b>	D	ペットと過ごす	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	..... 6
<b>FRLXEXE</b>	E	体操（ヨガ、ストレッチ、ピラティスなど）をする	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	..... 6
<b>FRLXMSC</b>	F	音楽を聴く・歌をうたう	----> 1	..... 2	..... 3	..... 4	..... 5	..... 6



## 「生活と意識についての国際比較調査」へのご協力をお願い 文部省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

このたび大阪商業大学比較地域研究所と東京大学社会科学研究所が共同で、日本人の生活と意識についての国際比較調査を実施することになりました。アメリカ、イギリス、ドイツなどでは、同様の調査が毎年実施され、国民の生活や意識の変化を総合的に把握することが可能となっています。日本では、海外と比較できる形での調査が実施されておらず、生活や意識の変化を正確に把握することが難しい状況にあります。そこで今般、文部省の助成を受け、急速に変化している日本人の生活や意識の実態を海外と比較できる形で正確に把握するため、この調査を実施することになりました。

この調査の結果は、日本人の生活や意識について研究をすすめている日本および海外の研究者に、回答者が識別できない形で無料で公開、提供されます。また本調査の分析は、学術論文、両大学のホームページ、さらには新聞などを通じて公表する予定です。

設問数が多く、また国際比較のために回答しにくい質問があるかと存じますが、なにとぞ調査の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願い申し上げます。

ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理されますので、結果が、回答者個人を特定化できる形で利用されることは決してございません。

また、粗品（図書券千円）を同封いたしましたので、ご笑納ください。

なお、本調査の実施は、専門機関である 社団法人 中央調査社に委託しましたので、中央調査社から調査員が、調査へのご協力の依頼に伺います。中央調査社は、政府が実施する意識調査の実査を数多く手がけるなど信頼のおける調査機関です。調査へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

2000年10月

研究プロジェクト代表

谷岡 一郎（大阪商業大学 教授・学長）

仁田 道夫（東京大学 社会科学研究所 教授）

この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

調査委託先（本 社） 東京都品川区西五反田7-1-1

社団法人 中央調査社 電話 03-5487-2314



2001年10月

研究プロジェクト代表

谷岡 一郎 (大阪商業大学 学長・教授)

仁田 道夫 (東京大学社会科学研究所 所長・教授)

「生活と意識についての国際比較調査」へのご協力のお願い  
文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

このたび大阪商業大学比較地域研究所と東京大学社会科学研究所が共同で、日本人の生活と意識についての国際比較調査を実施することになりました。アメリカ、イギリス、ドイツなどでは、同様の調査が毎年実施され、国民の生活や意識の変化を総合的に把握することが可能となっています。日本では、海外と比較できる形での調査が実施されておらず、生活や意識の変化を正確に把握することが難しい状況にあります。そこで今般、文部科学省の助成を受け、急速に変化している日本人の生活や意識の実態を海外と比較できる形で正確に把握するため、この調査を実施することになりました。

この調査の結果は、日本人の生活や意識について研究を進めている日本および海外の研究に活かされます。また本調査の分析は、学術論文、両大学のホームページ、さらには新聞などを通じて公表する予定です。

設問数が多く、また国際比較のために回答しにくい質問があるかと存じますが、なにとぞ調査の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願い申し上げます。

ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理されますので、回答者個人を特定化できる形で結果が利用されることは決してございません。

また、粗品(図書券千円)を同封いたしましたのでご笑納ください。けっして、ご協力を強要するものではありません。

なお、本調査の実施は、専門機関である 社団法人 中央調査社に委託しましたので、中央調査社から調査員が調査に伺います。中央調査社は、政府が実施する意識調査の実査を数多く手がけるなど信頼のおける調査機関です。調査へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

この調査についてのお問い合わせは、下記へお願いいたします。

(勝手ながら、平日 9:00~17:00 にお願いします)

【調査の実施について】

調査委託先：社団法人 中央調査社

(本社) 〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-1-1 電話 03-5487-2314

【調査の内容について】

大阪商業大学 JGSS 事務局 (担当：大澤)

〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10 電話 06-6785-6013

E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

東京大学社会科学研究所 (担当：西村)

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 電話 03-5841-4977

E-mail: nisimura@iss.u-tokyo.ac.jp





2002年10月

研究プロジェクト代表

谷岡 一郎 (大阪商業大学学長・教授)

仁田 道夫 (東京大学社会科学研究所所長・教授)

「生活と意識についての国際比較調査」へのご協力をお願い  
文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

このたび、大阪商業大学比較地域研究所と東京大学社会科学研究所が共同で、上記調査を実施することになりましたので、ご協力をお願い申し上げます。

この調査は 1999 年から文部科学省の助成を受け、日本人の生活や意識の実態を海外と比較できる形で正確に把握することを目的に、継続的に実施しています。調査結果は統計的に処理され、日本や海外の大学・研究機関などにおいて学術研究・教育に活かされています(回答していただいた内容は統計以外の目的に使われることは絶対にありません)。2000 年度の調査結果については、『日本人の姿 JGSS にみる意識と行動』として有斐閣より解説書が出ています。

なお、実査は社団法人中央調査社に委託しております。中央調査社は、国の世論調査をはじめ、数多くの実績を有する信頼のおける調査機関です。中央調査社から調査員(身分証明書を携帯)が直接お宅まで伺いして、ご都合の良い時にアンケート調査をさせていただきます。調査についてのご質問や、留守がちなどご都合の悪い場合は、調査員または下記の問い合わせ先までご連絡いただければ幸いです。

また、勝手ながら粗品(図書券千円分)を同封いたしました。ご協力を強要するものではありませんので、ご協力の有無に関わらず、お納めください。

設問数が多く、また回答しにくい質問があるかと存じますが、何とぞ調査の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願い申し上げます。

#### お問い合わせ

(勝手ながら、お電話は平日 9:00~17:00 をお願いいたします)

##### 【調査の実施について】

社団法人 中央調査社 (本社)  
〒141-0031 東京都品川区西五反田 7-1-1 TEL:03-5487-2314

##### 【調査の内容について】

大阪商業大学 JGSS 事務局 (担当: 大澤) E-mail: jgss@daishodai.ac.jp  
〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10 TEL: 06-6785-6013 FAX: 06-6785-6011

東京大学 社会科学研究所 (担当: 西村) E-mail: nisimura@iss.u-tokyo.ac.jp  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 TEL: 03-5841-4977 FAX: 03-5841-4905



## 「生活と意識についての国際比較調査」について

### 調査の目的は？

この調査は、仕事や日常生活に対する考え方などをアンケートの形で調査して、日本人の考え方や行動を統計的に研究するものです。調査は毎年実施（今回で3回目）し、日本人の行動や考え方を分析し、外国の調査結果との比較を行いません。

### どんな質問？

就業状況、家族関係、政治についての考え方、宗教、レジャーなど生活全般について伺います。ほとんどの場合、「はい」、「いいえ」などの選択肢を選んで回答していただきます。

### どんな調査方法？

面接票と留め置き票の両方をお願いしています。

**面接票**：調査員がお宅に伺い、質問させていただきます。口頭でお答え下さい。

**留め置き票**：調査員がお渡しします。ご都合が良い時にご記入下さい。後日、回収に伺いますので、こちらで用意した封筒に入れて調査員にお渡し下さい。

### どれくらい時間がかかるの？

過去の調査の平均では、面接に20～30分、留め置きに20分程度です。

### 調査員はいつ来るの？

10月17日から11月25日までの間に伺います。

### どうして私が選ばれたの？

地域や性別、年代が偏らないように日本全国からまんべんなく回答者を選びました。今回の調査では、5,000人を全国の選挙人名簿から何人おきという具合に、無作為に選ばせていただきました（層化2段無作為抽出法：全国341地点、満20歳～89歳までの方を対象に、各地点から15名程度）。

### 私のプライバシー保護は？

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですから、調査員の職業倫理として、回答を第三者に漏らしてはならないことが厳しく定められています。また、誰にアンケート調査をしているかも漏らしてはならないと定められています。選挙人名簿の閲覧については、お名前や住所などを漏らしたり、調査以外に使用しないことなどを誓約書にして申請し、選挙管理委員会から許可をいただきました。また、回答いただいた内容はすべて統計的に処理されるので、調査結果や分析からは回答者個人を特定することはできません。

### 調査結果はどこで見ることができますか？

調査の約1年半後には、結果をまとめた基礎集計表や研究論文集が出版されます。また、調査の方法、基礎集計、質問内容などは、ホームページ（<http://jgss.daishodai.ac.jp>）で公開・発信しています。

今回の調査の基礎集計は2004年3月に発信を予定しています。

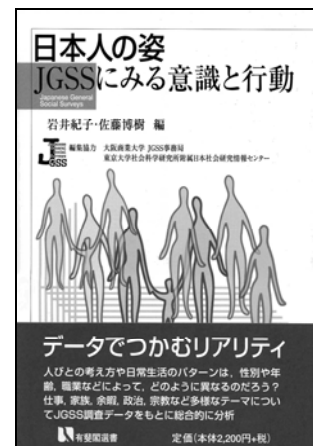
### 答えたくない質問は？

どの質問も重要で、すべてにお答えいただきたいのですが、回答は決して強要するものではありません。

どうしても答えたくない質問は飛ばして次の質問に移って下さい。面接の場合、その質問には「答えたくない（ノーコメント）」とおっしゃってください。

### 留守が多いのですが...

調査員が何らかの形（メモを残すなど）で連絡をとります。



（出版社：有斐閣）

ご協力いただけない場合は、お伺いした調査員にその旨をお伝え下さい。  
または、本紙の裏面下部にある連絡先までご一報いただければ幸いです。



2003年10月

研究プロジェクト代表

谷岡 一郎(大阪商業大学学長・教授)

仁田 道夫(東京大学社会科学研究所所長・教授)

「生活と意識についての国際比較調査」へのご協力をお願い  
文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

このたび、大阪商業大学比較地域研究所と東京大学社会科学研究所が共同で、上記調査を実施することになりましたので、ご協力をお願い申し上げます。

この調査は 1999 年から文部科学省の助成を受け、日本人の生活や意識の実態を海外と比較できる形で正確に把握することを目的に、継続的に実施しています。調査結果は統計的に処理され、日本や海外の大学・研究機関などにおいて学術研究・教育に活かされています(回答していただいた内容は統計以外の目的に使われることは絶対にありません)。2000 年度の調査結果については、『日本人の姿 JGSS にみる意識と行動』として有斐閣より解説書が出ています。

なお、実査は社団法人中央調査社に委託しております。中央調査社は、国の世論調査をはじめ、数多くの実績を有する信頼のおける調査機関です。中央調査社から調査員(身分証明書を携帯)が直接お宅まで伺いして、ご都合の良い時にアンケート調査をさせていただきます。調査についてのご質問や、留守がちなどご都合の悪い場合は、調査員または下記の問い合わせ先までご連絡いただければ幸いです。

ご協力をいただいた場合には、薄謝ではございますが図書券千円分をご用意しております。設問数が多く、また回答しにくい質問があるかと存じますが、何とぞ調査の趣旨をご理解いただき、調査へのご協力をお願い申し上げます。

#### お問い合わせ

(勝手ながら、お電話は平日 9:00~17:00 にお願いいたします)

##### 【調査の実施について】

社団法人 中央調査社 (本社 事務局) E-mail: office@crs.or.jp  
〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12 TEL:0120-48-5351(フリーダイヤル)

##### 【調査の内容について】

大阪商業大学 JGSS 事務局 (担当:大澤) E-mail: jgss@daishodai.ac.jp  
〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10 TEL: 06-6785-6013 FAX: 06-6785-6011

東京大学 社会科学研究所 (担当:篠崎) E-mail: shinozaki@iss.u-tokyo.ac.jp  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 TEL: 03-5841-4977 FAX: 03-5841-4905



## 「生活と意識についての国際比較調査」について

### 調査の目的は？

この調査は、仕事や日常生活に対する考え方などをアンケートの形で調査して、日本人の考え方や行動を統計的に研究するものです。調査は毎年実施（今回で4回目）し、日本人の行動や考え方を分析し、外国の調査結果との比較を行ないます。

### どんな質問？

就業状況、家族関係、政治についての考え方、宗教、レジャーなど生活全般について伺います。ほとんどの場合、「はい」、「いいえ」などの選択肢を選んで回答していただきます。

### どんな調査方法？

面接票と留め置き票の両方をお願いしています。

**面接票**：調査員がお宅に伺い、質問させていただきます。口頭でお答え下さい。

**留め置き票**：調査員がお渡しします。ご都合が良い時にご記入下さい。後日、回収に伺いますので、こちらで用意した封筒に入れて調査員にお渡し下さい。

### 調査員はいつ来るの？

10月16日から11月25日までの間に伺います。

### どうして私が選ばれたの？

地域や性別、年代が偏らないように日本全国からまんべんなく回答者を選びました。今回の調査では、7,200人を全国の選挙人名簿から何人おきという具合に、無作為に選ばせていただきました（層化2段無作為抽出法：全国489地点、満20歳～89歳までの方を対象に、各地点から15名程度）。

### 私のプライバシー保護は？

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですから、調査員の職業倫理として、回答を第三者に漏らしてはならないことが厳しく定められています。また、誰にアンケート調査をしているかも漏らしてはならないと定められています。選挙人名簿の閲覧については、お名前や住所などを漏らしたり、調査以外に使用しないことなどを誓約書にして申請し、選挙管理委員会から許可をいただきました。また、回答いただいた内容はすべて統計的に処理されるので、調査結果や分析からは回答者個人を特定することはできません。

### 調査結果はどこで見ることができますか？

調査の約1年半後には、結果をまとめた基礎集計表や研究論文集が出版されます。また、調査の方法、基礎集計、質問内容などは、ホームページ（<http://jgss.daishodai.ac.jp>）で公開・発信しています。

今回の調査の基礎集計は2005年3月に発信を予定しています。

### 答えたくない質問は？

どの質問も重要で、すべてにお答えいただきたいのですが、回答は決して強要するものではありません。

どうしても答えたくない質問は飛ばして次の質問に移して下さい。面接の場合、その質問には「答えたくない（ノーコメント）」とおっしゃってください。

### 留守が多いのですが...

調査員が何らかの形（メモを残すなど）で連絡をとります。



（出版社：有斐閣，2002）

ご協力いただけない場合は、お伺いした調査員にその旨をお伝え下さい。または、本紙の裏面下部にある連絡先までご一報いただければ幸いです。



「第5回 生活と意識についての国際比較調査」ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私ども「大阪商業大学 比較地域研究所」と「東京大学 社会科学研究所」では、文部科学省からの助成を受け、1999年から継続して、日本人の生活と意識の実態を把握するための調査研究を行っております。このたび、その第5回目の調査を実施させていただくことになりました。

この調査の目的は、仕事や家庭生活、余暇活動など、日本人の日常的な暮らし方や考え方の実態を、海外の調査結果と比較できる形で、正確に把握することにあります。調査結果は、日本や海外の大学・研究機関などにおいて、学術研究および教育に活かされています。

今回あなた様を無作為抽出法という統計的手法によって選ばせていただきました。お忙しいところ恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査は「社団法人 中央調査社」に委託しております。中央調査社は、国の世論調査をはじめ、数多くの実績を有する信頼のおける調査機関です。この法人の調査員証を携帯した調査員が直接お宅までおうかがいして、ご都合のよい時間に合わせてアンケート調査をさせていただきます。

調査でお答えいただいた事柄は、すべて統計的に処理され、あなた様のお名前や回答内容を他に漏らすことは絶対にございませので、調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

敬具

2005年8月

文部科学省指定

学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

研究代表 谷岡 一郎（大阪商業大学 学長・教授）

仁田 道夫（東京大学社会科学研究所 教授）

この調査は強制力を持つものではございませんので、どうしてもご協力いただけない場合は、調査員にその旨をお話しいただくか、お手数ですが下記(フリーダイヤル)へご連絡いただければ幸いです。

ご回答いただいた場合には、薄謝ではございますが図書券 1000 円分をご用意しております。

(勝手ながら、お電話は月～金曜日の 9:00～17:00 にお願いいたします)

【調査の実施について】

社団法人 中央調査社 (本社 管理部) 〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12

TEL: 0120-48-5351 (フリーダイヤル)

E-mail: office@crs.or.jp

【調査の内容について】

大阪商業大学 比較地域研究所 JGSS 事務局 (担当: 大澤) 〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10

TEL: 06-6785-6013 / FAX: 06-6785-6011

E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

東京大学 社会科学研究所 (担当: 三輪) 〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

TEL: 03-5841-4977 / FAX: 03-5841-4905

E-mail: miwa@iss.u-tokyo.ac.jp



## 「第5回 生活と意識についての国際比較調査」について

### ◇ 調査の目的は？

この調査は、日常的な生活や考え方をアンケートの形でたずね、日本人の考え方や行動を統計的に研究するためのものです。調査は継続的に行われており、今回で5回目となります。外国の調査結果と比較しながら分析され、さまざまな研究のために役立てられています。

### ◇ どんな質問？

お仕事、レジャー、家族関係、友人関係、政治についての考え方など、生活全般についてうかがいます。ほとんどの質問は、「はい」「いいえ」などの選択肢で回答いただきます。

### ◇ どんな調査方法？

調査員が質問用紙をもってお宅にうかがい、まず、一部の質問を口頭でたずねます。その後で、調査員が質問用紙をお渡ししますので、ご都合がよいときに回答をご記入ください。後日、調査員が回収にうかがいます。こちらで用意した封筒に入れてお渡しくください。

### ◇ 調査員はいつ来るの？

8月25日から11月1日までの間にうかがいます。

### ◇ どうして私が選ばれたの？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように、日本全国からまんべんなく4,500人を選ばせていただきました。これらの方々には、全国の自治体の住民リスト（選挙人名簿または住民基本台帳）から何人おきという具合に、まったく無作為に選んでいます（20歳～89歳を対象に、層化2段無作為抽出法で、全国307地点、各地点から15名程度）。

### ◇ 私のプライバシー保護は？

どんなことでもご本人にとっては大切なプライバシーです。調査を実施する（社）中央調査社は、（財）日本情報処理開発協会の審査を受け、適正なプライバシー保護を行っている機関として認定され、その証となる「プライバシーマーク」の使用を許可されています。調査員は、プライバシー情報の管理を徹底いたしますので、回答を第三者に漏らすことは決してありません。また、誰にアンケート調査をしているかを他人に漏らすこともありません。回答いただいた内容はすべて統計的に処理されるので、調査結果や分析からは回答者個人を特定することはできません。



### 調査結果はどこで見ることができるの？

調査の約1年半後(2007年3月)に、結果をまとめた基礎集計と研究論文集が出版されます。また、調査の方法、基礎集計、質問内容などは、ホームページ (<http://jgss.daishodai.ac.jp>) にも掲載されます。2000年度の調査結果については、『日本人の姿 JGSS にみる意識と行動』として有斐閣より解説書が出ています。

### ◇ 答えたくない質問は？

どの質問も重要で、すべてにお答えいただきたいのですが、回答は決して強要するものではありません。どうしても答えたくない質問は飛ばして次の質問に移って下さい。面接調査の場合、その質問には「答えたくない」とおっしゃってください。

### ◇ 留守が多いのですが…

調査員が何らかの形（メモを残すなど）で連絡をとりますが、中央調査社までご連絡いただければ幸いです。



(有斐閣刊 2002)

調査にご協力いただけない場合は、お伺いした調査員にその旨をお伝え下さい。

または、中央調査社（TEL: 0120-48-5351 / [office@crs.or.jp](mailto:office@crs.or.jp)）までご一報いただければ幸いです。



文部科学省指定

学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

## 「第6回 生活と意識についての国際比較調査」 ご協力のお願い

私ども[大阪商業大学 比較地域研究所]と[東京大学 社会科学研究所]では、文部科学省からの助成を受け、1999年から継続して調査研究を行なっております。今回、第6回目の調査の実施にあたり、誠に勝手ながら、あなた様のご協力を賜りたく、このような書面を郵送させていただきました。

この調査の目的は、仕事や家庭生活、余暇活動など、日本人の日常的な暮らし方や考え方の実態を、海外の調査結果と比較できる形で正確に把握し、その結果を社会に還元することです。調査結果は、これまでに日本や海外のさまざまな教育・研究機関において活用され（学生など、のべ約7,000人）、日本人の意識や行動の傾向や、現代社会のさまざまな問題が分析されております。

調査の結果はすべて統計的に処理されますので、ご回答いただいた内容から個人が特定されることはございません。調査の実施を委託しております(社)中央調査社は、国の世論調査をはじめ、数多くの実績を有する信頼のおける調査機関です。この法人の調査員証を携帯した調査員が10月3日～12月3日の間に、直接お宅までおうかがいして、あなた様のご都合をお聞きしてから、アンケート調査をさせていただきます。

なお、同封させていただいた図書カード(500円分)は、突然の書状で心中をお騒がせしたお詫びとしてお納めください。調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらに図書カード(500円分)とペンセットを御用意しております。

この調査の詳細や、ご質問、お問い合わせ先は、同封のパンフレットをご覧ください。ご多忙の中、誠に申し訳ございませんが、調査へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

2006年10月

研究プロジェクト代表

谷岡 一郎(大阪商業大学 学長・教授)

仁田 道夫(東京大学社会科学研究所・教授)



文部科学省指定

学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

## 「第7回 生活と意識についての国際比較調査」 ご協力をお願い

私ども[大阪商業大学 JGSS 研究センター]と[東京大学 社会科学研究所]では、文部科学省からの助成を受け、1999 年から継続して調査研究を行なっております。今回、第7回目の調査の実施にあたり、誠に勝手ながら、あなた様のご協力を賜りたく、このような書面を郵送させていただきました。

この調査の目的は、仕事や家庭生活、余暇活動など、日本人の日常的な暮らし方や考え方の実態を、海外の調査結果と比較できる形で正確に把握し、その結果を社会に還元することです。調査結果は、これまでに日本や海外のさまざまな教育・研究機関において活用され（約 1 万人の学生と研究者）、日本人の意識や行動の特徴や、現代社会のさまざまな問題が分析されております。

調査の結果はすべて統計的に処理されますので、ご回答いただいた内容から個人が特定されることはございません。調査の実施を委託しております(社)中央調査社は、国の世論調査をはじめ、数多くの実績を有する信頼のおける調査機関です。この法人の調査員証を携帯した調査員が 10 月1日～12 月7日の間に、直接お宅までおうかがいして、あなた様のご都合をお聞きしてから、アンケート調査をさせていただきます。

なお、同封させていただいた図書カード(500 円分)は、このようなご時勢に突然の書状で心中をお騒がせしたお詫びと、この文書に目を通していただいた御礼としてお納めください。調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらに図書カード(500 円分)とペンセットを御用意しております。

この調査の詳細や、ご質問、お問い合わせ先は、同封のパンフレットをご覧ください。ご多忙の中、誠に申し訳ございませんが、調査へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

2008 年 10 月

研究プロジェクト代表

谷岡 一郎(大阪商業大学 学長・教授)

仁田 道夫(東京大学社会科学研究所 教授)





文部科学大臣認定  
日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター

## 「第 8 回 生活と意識についての国際比較調査」 ご協力をお願い

私ども[大阪商業大学 JGSS 研究センター]と[東京大学 社会科学研究所]では、文部科学省からの助成を受け、1999 年から継続して調査研究を行なっております。今回、第 8 回目の調査の実施にあたり、誠に勝手ながら、あなた様のご協力を賜<sup>たまわ</sup>りたく、このような書面を郵送させていただきました。

この調査の目的は、仕事や家庭生活、健康状況、余暇活動など、日本人の日常的な暮らし方や考え方の実態を、海外の調査結果と比較できる形で正確に把握し、その結果を社会に還元<sup>かんげん</sup>することです。調査の結果は、私どもだけではなく、日本や海外の多くの教育・研究機関において活用されます。今までに、約 1 万 2 千人の学生や研究者がさまざまな問題の分析に取り組んできました。

調査の結果はすべて統計的に処理されますので、ご回答いただいた内容から個人が特定されることはございません。調査の実施を委託しております(社)中央調査社は、国の世論調査をはじめ、数多くの実績を有する信頼のおける調査機関です。この法人の調査員証を携帯した調査員が 2 月中旬から 4 月中旬までの間に、直接お宅までおうかがいして、あなた様のご都合をお聞きしてから、アンケート調査をさせていただきます。

なお、同封させていただいた図書カード(500 円分)は、このようなご時勢に突然の書状で心中をお騒がせしたお詫びと、この文書に目を通していただいた御礼としてお納めください。調査にご協力いただいた場合には、薄謝ではございますが、さらに図書カード(500 円分)とペンセットをご用意しております。

この調査の詳細や、ご質問、お問い合わせ先は、同封のパンフレットをご覧ください。ご多忙の中、誠に申し訳ございませんが、調査へのご協力を重ねてお願い申し上げます。

2010 年 2 月

研究代表

谷岡 一郎 (大阪商業大学 学長・教授)

仁田 道夫 (東京大学社会科学研究所 教授)



文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点研究プロジェクト

「第6回 生活と意識についての国際比較調査」について

(調査企画) 大阪商業大学 比較地域研究所  
東京大学 社会科学研究所  
(調査実施) 社団法人 中央調査社

調査の目的

この調査は、学術調査として文部科学省からの指定を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。調査結果は、日本や海外のさまざまな教育・研究機関、行政機関において活用され、日本人の意識や行動の特徴や、現代社会の問題が分析されます。

調査の時期

調査は10月3日～12月3日までの2ヶ月間に全国いっせいに行なわれます。中央調査社の十分に経験を積んだプロの調査員が、皆様のご都合をお聞きしてから、調査を実施します。調査員は調査員証(図：右)を携帯しております。



ご協力をお願いする回答者の皆様

9月1日時点で日本に在住する満20～89歳の8,000人の方々です。法律にもとづいて、お名前や住所などを漏らさないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受け、住民リスト(選挙人名簿または住民基本台帳)を閲覧させていただきました。地域や性別、年齢がかたよらないように、何人おきという具合に、日本全国から無作為に選ばせていただきました。

お問い合わせ先 (勝手ながら、お電話は月～金曜日の9:00～17:00にお願いいたします)

○調査の実施に関するご質問やご都合が悪い場合のご連絡

社団法人 中央調査社 E-mail: office@crs.or.jp  
〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-12 TEL:0120-48-5351 (フリーダイヤル)

○調査の趣旨や調査の内容についてのご質問

大阪商業大学 JGSS 事務局 (担当: 岡本) E-mail: jgss@daishodai.ac.jp  
〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10 TEL: 06-6785-6013  
FAX: 06-6785-6011

東京大学 社会科学研究所 (担当: 三輪) E-mail: miwa@iss.u-tokyo.ac.jp  
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 TEL: 03-5841-4977  
FAX: 03-5841-4905

これまでにお寄せいただいたご質問は裏面に記載しております。参考までにご覧ください。

## [Q&A] よくあるご質問と回答

### ◇ 調査の目的は？

この調査は、学術調査として、文部科学省からの指定を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。日常的生活や考え方をアンケートの形でたずね、日本人の考え方や行動の基礎的なデータ（資料）を集めます。調査は毎年、または2年に1回、継続して行なわれ、今回で6回目となります。外国の調査結果と比較しながら分析され、さまざまな教育・研究機関や行政機関において活用されています（これまでに学生などのべ約7,000人）。

### ◇ どんな質問？

お仕事、レジャー、家族関係、友人関係、政治についての考え方など、生活全般についてうかがいます。ほとんどの質問は「はい」「いいえ」などの選択肢で回答いただきます。

### ◇ どんな調査方法？

まず、調査員が皆様のご都合をお聞きします。調査にご協力いただける場合には、いくつかの質問を口頭でたずねます。その後で、調査員が質問用紙をお渡しします。お時間がある時に回答をご記入ください。後日、調査員が受け取りにまいりますので、こちらで用意した封筒に入れて、お渡しください。

### ◇ 調査員はいつ来るの？

10月3日から12月3日までの間にうかがいます。

### ◇ どうして私が選ばれたの？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から約500箇所を選び、それぞれの地点でさらに約15人の方々（合計で8,000人）を選ばせていただきました。法律にもとづいて、お名前や住所などを漏らさないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受けて、住民リスト（選挙人名簿または住民基本台帳）を閲覧させていただきました。ご協力をお願いする回答者の皆様は、そのリストから何人おきという具合に、まったく無作為に選ばれています（20歳～89歳の男女個人を対象に、層化2段無作為抽出法で、全国526地点、各地点から15名程度）。

### ◇ 留守が多いのですが…

調査員が何らかの形（メモを残すなど）で連絡をとりますが、中央調査社までご連絡いただければ幸いです。

### ◇ 答えたくない質問は？

どの質問も重要で、できれば、すべてにお答えいただきたいのですが、回答は決して強要するものではありません。どうしても答えたくない質問は飛ばして次の質問に移って下さい。口頭での面接の場合、その質問には「答えたくない」とおっしゃってください。

## ◇ 調査結果はどこで見ることができるの？

調査の約 1 年半後（2008 年 3 月）に、結果をまとめた基礎集計と研究論文集が出版されます。2000 年度の調査結果については、『日本人の姿 JGSS にみる意識と行動』として有斐閣より解説書が出ています（図：左）。また、調査の概要、プロジェクトのメンバー、研究報告（図：中）、基礎集計、質問内容、個人情報保護への取り組みなどは、ホームページ（図：右）（<http://jgss.daishodai.ac.jp>）にも掲載されています。



## ◇ 私のプライバシー保護は？

質問される皆様にとっては、どんなことでも大切なプライバシーです。調査を実施する（社）中央調査社は、（財）日本情報処理開発協会の審査を受け、適正なプライバシー保護を行なっている機関の証となる「プライバシーマーク（図：左）」を認定されています。調査員は、プライバシー情報の管理を徹底いたしますので、回答結果や誰にアンケートを行なったのかを第三者に漏らすことは決してありません。また、調査の企画から報告書の作成にいたる過程では、専門的な知識や実践能力、倫理観を身につけた複数の「専門社会調査士」（社会調査士資格認定機構が認定）が指導にあたります。回答いただいた内容はすべて統計的に処理されるので、調査結果や分析からは回答者個人を特定することはできません。個人情報とは一定期間後、破棄します。本調査プロジェクトは、皆様のご協力に支えられながら、堅実な調査研究活動を続けることができております。2003 年 11 月 28 日には、（財）日本統計協会から平成 15 年度「統計活動奨励賞」をいただいております（図：右）。



調査にご協力いただけない場合は、お伺いした調査員にその旨をお伝え下さい。

または、中央調査社（TEL: 0120-48-5351 / [office@crs.or.jp](mailto:office@crs.or.jp)）までご一報いただければ幸いです。

## これまでの調査を生かした結果の一部

性別や年齢で、働き方はどうちがっているの？

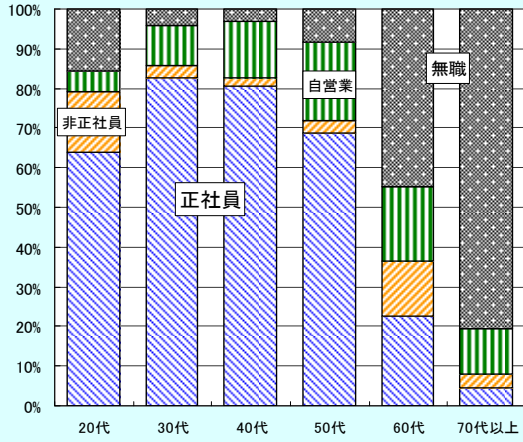


図1 男性の働き方 (2000-2003)

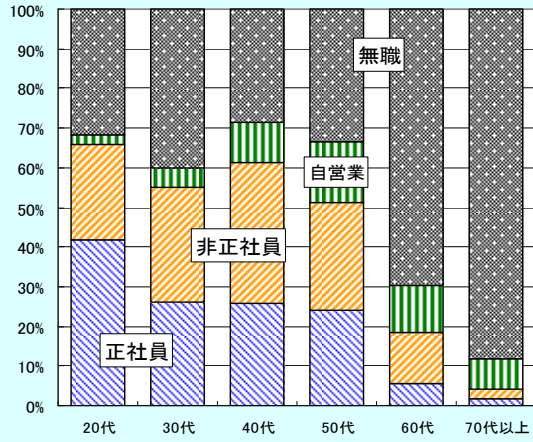


図2 女性の働き方 (2000-2003)

注) 非正社員は、派遣社員、臨時雇用・パート、内職。自営業には、家族従業員を含む。ウエイト値を使用。

パソコンや携帯電話は、どのくらいの人が使っているの？

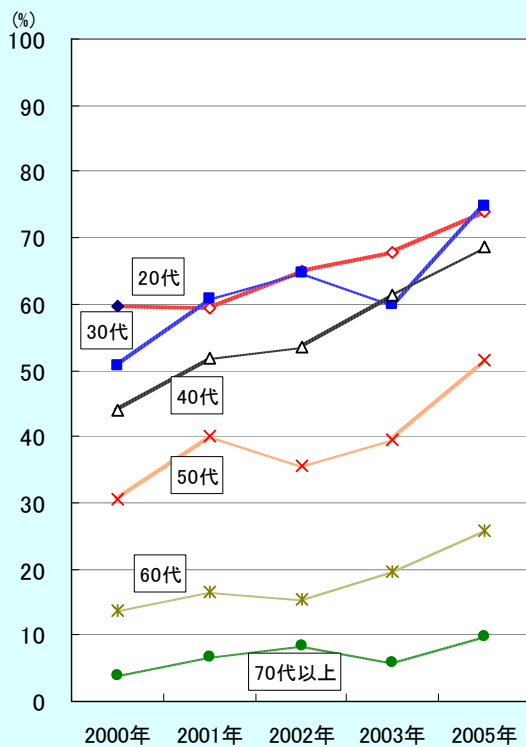


図3 パソコンの利用率の推移

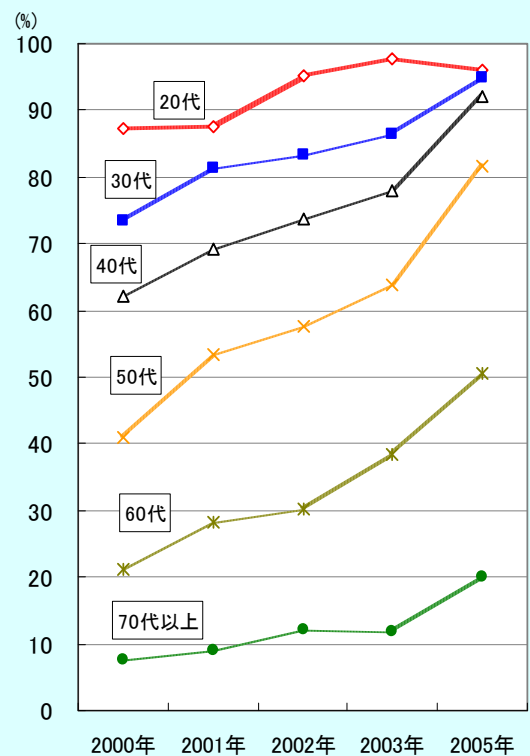


図4 携帯電話の利用率の推移

皆様のご協力に支えられながら、社会に役立つ調査・研究活動を継続していきたく存じます。ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。



文部科学省指定  
学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト

## 「第7回 生活と意識についての国際比較調査」について

(調査企画) 大阪商業大学 JGSS 研究センター  
東京大学 社会科学研究所  
(調査実施) 社団法人 中央調査社

### 調査の目的

この調査は、学術調査として文部科学省からの助成を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。調査結果は、日本や海外のさまざまな教育・研究機関、行政機関において活用され、日本人の意識や行動の特徴や、現代社会の問題が分析されます。

### 調査の時期

調査は10月初旬より12月初旬までの2ヶ月間に全国いっせいに行なわれます。中央調査社の十分に経験を積んだブロの調査員が、皆様のご都合をお聞きしてから、調査を実施します。調査員は調査員証(図:右)を携帯しております。



### ご協力をお願いする回答者の皆様

日本に在住する満20～89歳の8,000人の方々が対象です。法律にもとづいて、お名前や住所などを漏らさないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受け、住民基本台帳を閲覧させていただきました。地域や性別、年齢がかたよらないように、何人おきというように、日本全国から無作為に選ばせていただきました。

### お問い合わせ先 (勝手ながら、お電話は月～金曜日の9:00～17:00にお願いいたします)

#### ○調査の実施に関するご質問やご都合が悪い場合のご連絡

社団法人 中央調査社 E-mail: office@crs.or.jp  
〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-12 TEL: 0120-48-5351 (フリーダイヤル)

#### ○調査の趣旨や内容についてのご質問

大阪商業大学 JGSS 研究センター(担当: 岡本) E-mail: jgss@daishodai.ac.jp  
〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10 TEL: 06-6785-6013  
FAX: 06-6785-6011

東京大学 社会科学研究所(担当: 前田) E-mail: ymaeda@iss.u-tokyo.ac.jp  
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 TEL: 03-5841-4866  
FAX: 03-5841-4905

これまでにお寄せいただいたご質問は裏面に記載しております。参考までにご覧ください。

## [Q&A] よくあるご質問と回答

### ◇ 調査の目的は？

この調査は、学術調査として、文部科学省からの助成を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。日常的生活や考え方をアンケートの形でたずね、日本人の考え方や行動の基礎的なデータ（資料）を集めます。調査は毎年、または2年に1回、継続して行なわれ、今回で7回目となります。外国の調査結果と比較しながら分析され、さまざまな教育・研究機関や行政機関において活用されています（これまでに学生などのべ約1万人）。

### ◇ どんな質問？

お仕事、レジャー、家族関係、友人関係、政治についての考え方など、生活全般についてうかがいます。ほとんどの質問は「はい」「いいえ」などの選択肢で回答いただきます。

### ◇ どんな調査方法？

まず、調査員が皆様のご都合をお聞きします。調査にご協力いただける場合には、いくつかの質問を口頭でたずねます。その後で、調査員が質問用紙をお渡しします。お時間がある時に回答をご記入ください。後日、調査員が受け取りにまいりますので、こちらで用意した封筒に入れて、お渡してください。

### ◇ 調査員はいつ来るの？

10月1日から12月7日までの間にうかがいます。

### ◇ どうして私が選ばれたの？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から約530箇所を選び、それぞれの地点で約15人の方々（合計で8,000人）を選ばせていただきました。法律にもとづいて、お名前や住所などを漏らさないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受けて、住民基本台帳を閲覧させていただきました。ご協力をお願いする回答者の皆様は、台帳から何人おきというように、まったく無作為に選ばれています。

### ◇ 留守が多いのですが…

調査員が何らかの形（メモを残すなど）で連絡をとりますが、中央調査社までご連絡いただければ幸いです。

### ◇ 答えたくない質問は？

どの質問も重要で、できれば、すべてにお答えいただきたいのですが、回答は決して強要するものではありません。どうしても答えたくない質問は飛ばして次の質問に移って下さい。口頭での面接の場合、その質問には「答えたくない」とおっしゃってください。

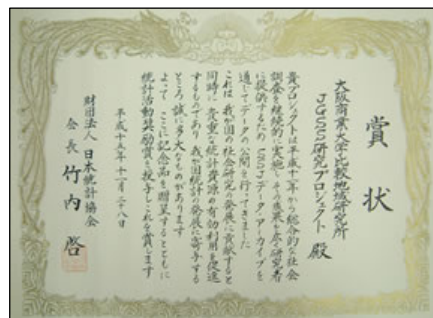
◇ 調査結果はどこで見ることができるの？

調査の約 1 年半後（2010 年 3 月）に、結果をまとめた基礎集計と研究論文集が出版されます。2000 年度の調査結果については、『日本人の姿』として有斐閣より解説書が出ています（図：左）。また、2000 年～2003 年度の結果については、『日本人の意識と行動』として東京大学出版会から研究書が出ています（図：中）。調査の概要、プロジェクトのメンバー、研究報告、基礎集計、質問内容、個人情報保護への取り組みなどは、ホームページ（図：右）（<http://jgss.daishodai.ac.jp>）に掲載されています。



◇ 私のプライバシー保護は？

質問される皆様にとっては、どんなことでも大切なプライバシーです。調査を実施する（社）中央調査社は、（財）日本情報処理開発協会の審査を受け、適正なプライバシー保護を行なっている機関の証となる「プライバシーマーク（図：左）」を認定されています。調査員は、プライバシー情報の管理を徹底いたしますので、回答結果や誰にアンケートを行なったのかを第三者に漏らすことは決してありません。また、調査の企画から報告書の作成にいたる過程では、専門的な知識や実践能力、倫理観を身につけた複数の「専門社会調査士」（社会調査士資格認定機構が認定）が指導にあたります。回答いただいた内容はすべて統計的に処理されるので、調査結果から回答者個人を特定することはできません。個人情報は一定期間後、破棄します。本調査プロジェクトは、皆様のご協力に支えられながら、堅実な調査研究活動を続けることができます。2003 年 11 月 28 日には、（財）日本統計協会から平成 15 年度「統計活動奨励賞」をいただいております（図：右）。



調査にご協力いただけない場合は、お伺いした調査員にその旨をお伝え下さい。または、中央調査社（TEL: 0120-48-5351 / [office@crs.or.jp](mailto:office@crs.or.jp)）までご一報いただければ幸いです。



## これまでの調査を生かした結果の公表の一部

この調査の結果は、様々なメディアで取り上げられています。行政機関の白書でも参照されています。「研究室訪ね歩き 信頼できる社会調査を」(右下: 2006年12月4日 毎日新聞)、「日本の父権威危うく」(左: 2008年6月3日 東京新聞)、「朝ズバッ！」(2008年6月4日 TBS放送)

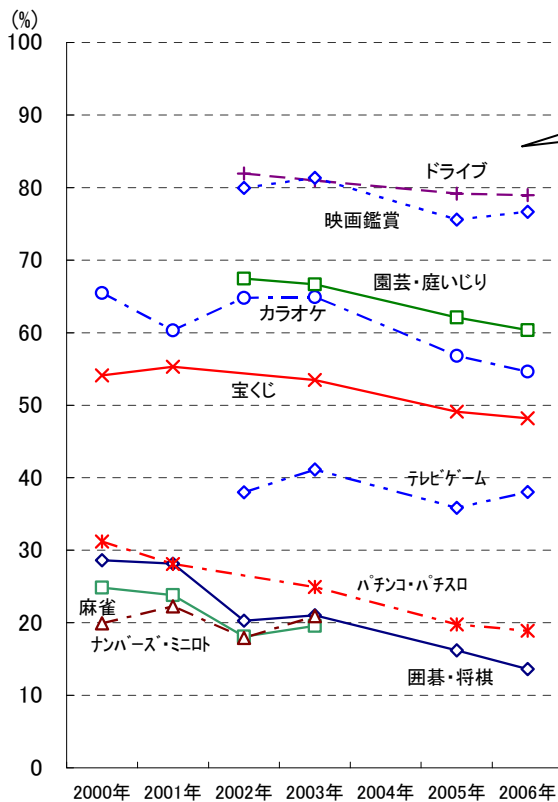


図1 各種レジャーをする人の割合

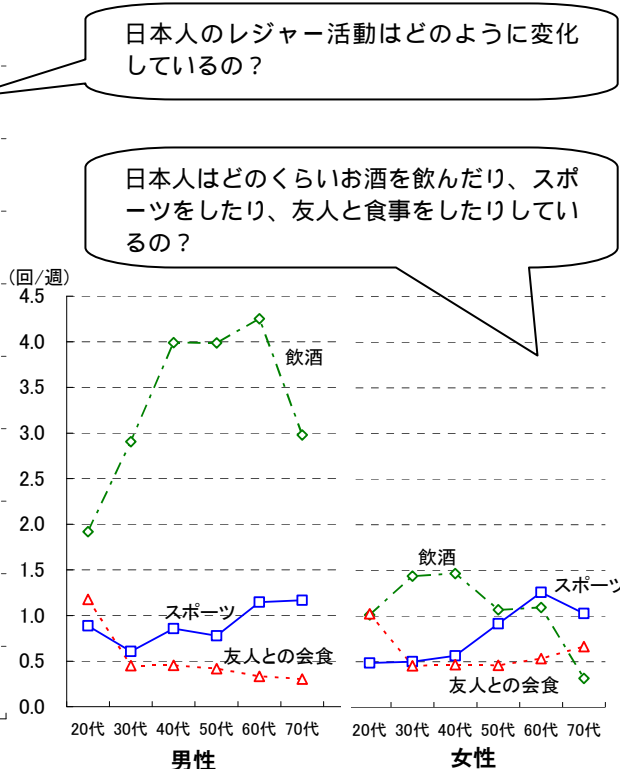


図2 飲酒・スポーツ・友人との会食の頻度

皆様のご協力に支えられながら、社会に役立つ調査・研究活動を継続していきたく存じます。ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。



文部科学大臣認定  
日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター

## 「第8回 生活と意識についての国際比較調査」について

(調査企画) 大阪商業大学 JGSS 研究センター  
(協力) 東京大学 社会科学研究所  
(調査実施) 社団法人 中央調査社

### 調査の目的

この調査は、学術調査として文部科学省からの助成を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。調査結果は、日本や海外のさまざまな教育・研究機関、行政機関において活用され、日本人の意識や行動の特徴や、現代社会の問題が分析されます。

### 調査の時期

調査は2月中旬から4月中旬までの2ヶ月間に全国いっせいに行なわれます。中央調査社の十分に経験を積んだプロの調査員が、皆様のご都合をお聞きしてから、調査を実施します。調査員は調査員証を携帯しております。



### ご協力をお願いする回答者の皆様

日本に在住する満20～89歳の9,000人の方々が対象です。法律にもとづいて、お名前や住所などを漏らさないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受け、住民基本台帳を閲覧させていただきました。地域や性別、年齢がかたよらないように、何人おきというように、日本全国から無作為に選ばせていただきました。

### お問い合わせ先 (勝手ながら、お電話は月～金曜日の9:00～17:00にお願いいたします)

#### ●調査の実施に関するご質問やご都合が悪い場合のご連絡

社団法人 中央調査社 E-mail: office@crs.or.jp  
〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-12 TEL:0120-48-5351 (フリーダイヤル)

#### ●調査の趣旨や内容についてのご質問

大阪商業大学 JGSS 研究センター(担当:石神) E-mail: jgss@daishodai.ac.jp  
〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10 TEL: 06-6785-6013  
FAX: 06-6785-6011

東京大学 社会科学研究所(担当:前田) E-mail: ymaeda@iss.u-tokyo.ac.jp  
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 TEL: 03-5841-4866  
FAX: 03-5841-4905

これまでにお寄せいただいたご質問は裏面に記載しております。参考までにご覧ください。

## [Q&A] よくあるご質問と回答

### ◆ どうして私が選ばれたの？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から約 600 箇所を選び、それぞれの地点で約 15 人の方々（合計で 9,000 人）を選ばせていただきました。法律にもとづいて、お名前や住所などを漏らさないことを誓約し、全国の自治体の厳正な審査を受けて、住民基本台帳を閲覧させていただきました。ご協力をお願いする回答者の皆様は、台帳から何人おきというように、まったく無作為に選ばれています。

### ◆ 調査員はいつ来るの？

2 月中旬から 4 月中旬までの間に、直接お宅までおうかがいして、あなた様のご都合をお聞きしてから、アンケート調査をさせていただきます。

### ◆ どんな調査方法？

まず、調査員が皆様のご都合をお聞きします。調査にご協力いただける場合には、いくつかの質問を口頭でたずねます。その後で、調査員が質問用紙をお渡しします。お時間がある時に回答をご記入ください。後日、調査員が受け取りにまいりますので、こちらで用意した封筒に入れて、お渡しください。

### ◆ どんな質問？

お仕事、レジャー、家族関係、友人関係、健康状況、政治についての考え方など、生活全般についてうかがいます。ほとんどの質問は「はい」「いいえ」などの選択肢で回答いただきます。

### ◆ 調査の目的は？

この調査は、学術調査として、文部科学省からの助成を受けて行なわれております。営利目的の調査ではありません。日常的な生活や考え方をアンケートの形でたずね、日本人の考え方や行動の基礎的なデータ（資料）を集めます。調査は毎年、または 2 年に 1 回、継続して行なわれ、今回で 8 回目となります。調査の結果は、私どもだけではなく、日本や海外の多くの教育・研究機関において活用されます。今までに、約 1 万 2 千人の学生や研究者がさまざまな問題の分析に取り組んできました。

### ◆ 留守が多いのですが…

調査員が何らかの形（メモを残すなど）で連絡をとりますが、中央調査社までご連絡（フリーダイヤル:0120-48-5351）いただければ幸いです。

### ◆ 答えたくない質問は？

どの質問も重要で、できれば、すべてにお答えいただきたいのですが、回答は決して強要するものではありません。どうしても答えたくない質問は飛ばして次の質問に移って下さい。口頭での面接の場合、その質問には「答えたくない」とおっしゃってください。

### ◇調査結果はどこで見ることができるの？

調査の約2年後(2012年3月)に、結果をまとめた基礎集計と研究論文集が出版されます。これまでの調査結果は、『日本人の姿』(有斐閣)、『日本人の意識と行動』(東京大学出版会)、『データで見る東アジアの家族観』(ナカニシヤ出版)等の刊行物として公表しています。調査の概要、プロジェクトのメンバー、研究報告、基礎集計、質問内容、個人情報保護への取り組みなどは、ホームページ(<http://jgss.daishodai.ac.jp/>)に掲載しています。調査の結果は、さまざまな新聞やテレビでも取り上げられています。行政機関の白書でも参照されています。



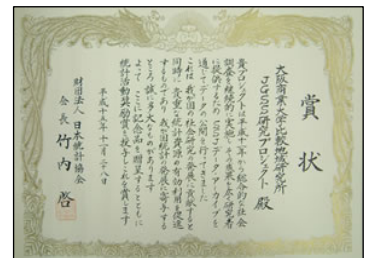
(共同通信社配信)

### ◇ 私のプライバシー保護は？

質問される皆様にとっては、どんなことでも大切なプライバシーです。調査を実施する(社)中央調査社は、適正なプライバシー保護を行なっている機関の証となる「プライバシーマーク」を認定されています。調査員は、プライバシー情報の管理を徹底いたしますので、誰にアンケートを行なったのかを第三者に漏らすことは決してありません。また、調査の企画から報告書の作成にいたる過程では、「専門社会調査士」(一般社団法人社会調査協会の認定)が指導にあたります。



回答いただいた内容はすべて統計的に処理されるので、調査結果から回答者個人を特定することはできません。個人情報は一定期間後、破棄します。本調査プロジェクトは、皆様のご協力に支えられながら、堅実な調査研究活動を続けることができいております。2003年11月28日には、(財)日本統計協会から「統計活動奨励賞」を受賞しています。



## これまでの調査結果の一部

図1 性・年齢別の「働き方」(2008年)

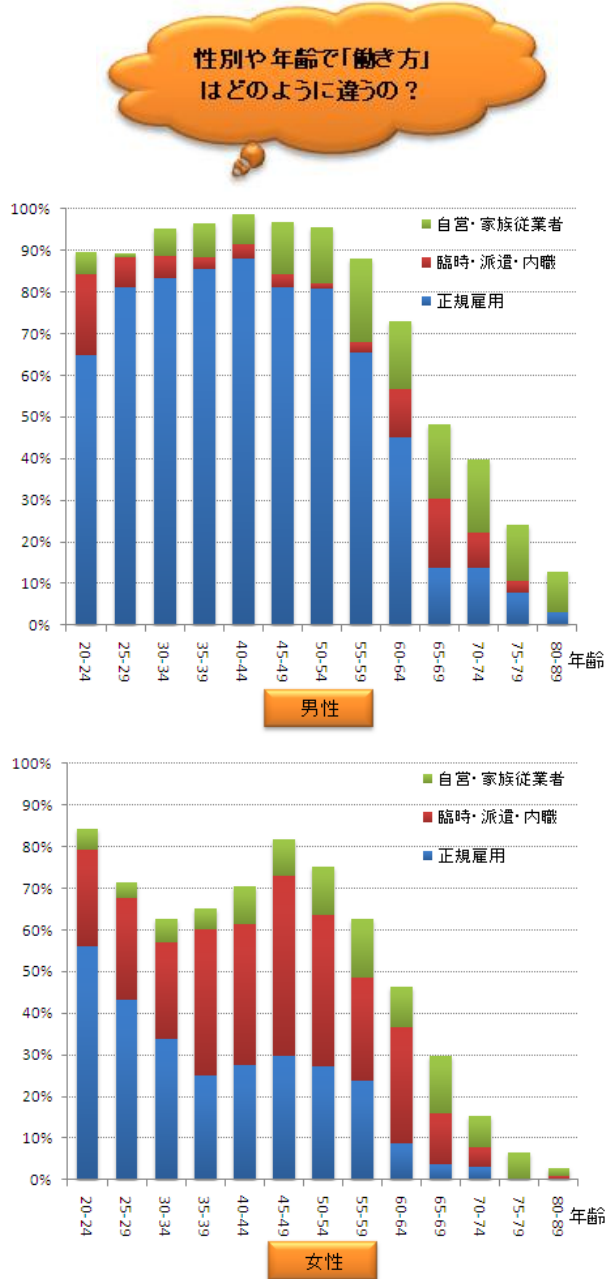
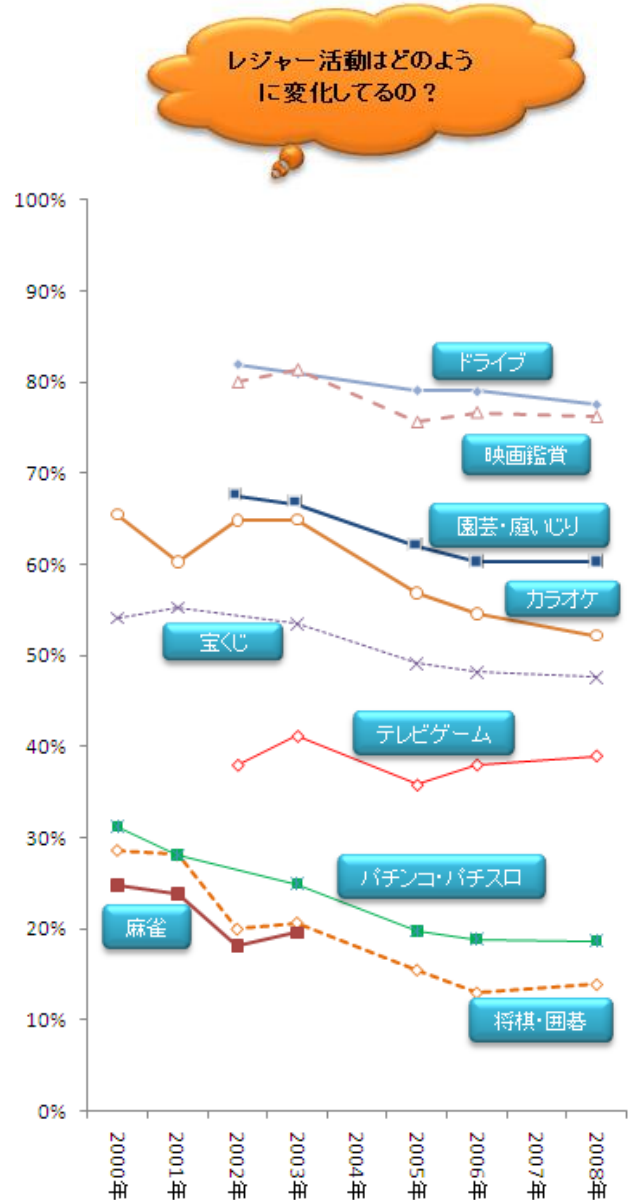


図2 各種レジャー経験の変化



皆様のご協力に支えられながら、社会に役立つ調査・研究活動を継続していきたく存じます。ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

調査にご協力いただけない場合は、お伺いした調査員にその旨をお伝え下さい。

または、中央調査社(TEL: 0120-48-5351 / office@crs.or.jp)までご一報いただければ幸いです。

# 生活と意識についての国際比較調査

## ( 調査要領 )

2000年10月  
社団法人 中央調査社

### 1. 主な調査書類の種類 種類を確認すること

調査要領	
対象者名簿	通常と異なる用紙を使っている
面接調査票	すべての対象者に行う
回答票(面接用)	
留置調査票(青色)	すべての対象者に行う
欠票調査票(1ページ、桃色)	欠票対象の記録用。すべての欠票対象を記録する
挨拶状	持参配布用
正規対象宛お願い状(謝礼入り)	調査員自身が必ず郵送する。(投函時期は適宜)
予備対象宛お願い状(謝礼入り)	予備対象に調査する場合に使用。(使用時には郵送する)
謝礼品(図書券1000円分)	緊急用
その他必要な書類	調査員記入票(精算用紙)、調査員証明書

### 2. この調査の特徴

#### (1) 共同学術・国際比較研究調査

就業状況や家族関係、生活意識など生活に関する項目を網羅した調査で、社会科学の諸分野の大学研究者の共同学術調査であり、時系列研究や国際比較を行い、現代の社会構造や意識構造の解明を目的としている。(対象者への説明は別項参照)

#### (2) 面接票と留置票のセット完了が必須

面接票と留置票に分けているので、同一対象者に面接調査と留置調査をし、両方完了しなければならない。

#### (3) 正規対象全員に挨拶状と謝礼品を事前に調査員が郵送する

全正規対象に、挨拶状と謝礼品(図書券1000円分)を入れた封書を調査員が実施前に郵送する。事前挨拶状の効果を高めるため、調査員が実施時期の頃合いを見計らって投函する。必ず郵送すること。

#### (4) 予備対象は、正規対象が「住所不明」「転居」「死亡」のみに使用

正規対象が「住所不明」「転居」「死亡」の場合のみ予備対象を使用する。

なお、単身赴任や遠隔地での下宿など一時的に離れて住んでいる場合は「長期不在」で、予備対象を使用してはいけない。

#### (5) 予備対象は番号順に使用する

予備の対象番号は「21」「22」「23」「24」「25」となっており、番号順に使用する。

#### (6) 予備対象も「住所不明」「転居」「死亡」なら次の予備を使用

その予備も「住所不明」「転居」「死亡」の場合、さらに次の予備対象を使用する。

これらのケースでは、対象者名簿の「欠票になった具体的な状況」欄に理由を書いた余白に「次の予備へ」と書き、さらに「アタック状況番号」も同欄に記入する。

アタック状況番号	対象者(正規・予備)アタック状況
「0」	正規
「1」	予備(1番目の予備)
「2」	予備の予備
「3」	予備の予備の予備
「4」	予備の予備の予備の予備
「5」	予備の予備の予備の予備の予備

この「アタック状況番号」は、調査票(面接票、留置票、欠票調査票)の1ページの「支局・地点・対象番号」欄の「D欄」に転記する。

予備対象については、対象者へのアタックの順序や流れを見るために、対象者名簿の「元対

象 No.」欄に、それぞれの予備をアタックするきっかけとなった欠票対象の対象番号を記入する。正規が欠票になり、予備にアタックした場合は、その前のアタックのきっかけとなった正規対象番号を記入する。予備の予備にアタックした場合、そのアタックのきっかけとなった予備の対象番号を記入する。

(7)完了しても予備対象の対象番号は変えない

完了した予備対象の番号は、「21」「22」「23」「24」「25」の予備番号をそのまま使う。

(8)すべての欠票に欠票調査票を作成

正規対象であっても予備対象であっても、欠票はすべて、欠票調査票を作成する。

アタック前に本社や支社局に転居や拒否の連絡があったものについても、欠票調査票を作成する。

(9)使用する予備対象には調査員が事前に挨拶状と謝礼品を郵送する

予備対象を調査することになったら、調査員が予備対象宛の謝礼入りお願い状の封筒に宛名を書いて投函すること。

必ず郵送すること。

(10)現地リスティングはしない

現地リスティングは一切しない。

(11)回収率を上げるため最低4回訪問

欠票をなくすため、対象者に不信感や不安感、ずさんな印象を持たれないように言動・態度に気をつけ、調査の趣旨を理解してもらうために、わかりやすい説明や説得をすること。

「一時不在」を少なくするため、相手に応じて日時を変えて最低4回は訪問すること。

### 3. 調査の概要

この調査に関する質問があった場合の説明例

Q. この調査の目的は？

「この調査は、世の中や日常生活に対する人びとの考え方や仕事についての実態などをアンケート調査して、人びとの考え方や行動が年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究しようとするものです。

さらに、この調査を続けることにより（同じ人に繰り返して調査をすることはありません）、人びとの意識が時代とともにどう変わっていくのか時系列分析をしたり、外国で実施した調査と比較研究をする国際的な学術研究です」

Q. 協力をお願い状に書いてある一文部省指定・学術フロンティア推進拠点・研究プロジェクトとは？

「大阪商業大学の比較地域研究所と東京大学の社会科学研究所が、文部省の助成を受け日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする計画です」

Q. どうして私が選ばれたのか？

「いろいろな人びとの考えを聞くために、地域や性別、年代が偏らないように、選挙人名簿から何人おき、という具合にまったく無作為に選ばせていただきました。なお、この研究の目的やお名前などを漏らさないことなどを誓約書にして有権者名簿の閲覧を申請し、選挙管理委員会から許可をいただきました」

Q. どんな人が何人くらい選ばれたのか？

「全国から300地点を選び、各地点から満20歳～89歳までの方を15名ずつ、あわせて4500人を無作為に選びました」

Q. 家族や仕事のことを細かく聞くのはどうして？

「現代人の家庭の成り立ちや家族や仕事への思い、仕事の環境などを多角的に研究し、社会の問題点や改善点を探り出すことを目的にしています。私たちの子や孫たちに温かい家庭や暮らしやすい社会をつくる為に学術的に貢献しようとするものです」

Q. プライバシーは守られるのか？

「どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですから、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理で厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言ってはならないと定められています」

Q. どうしても答えたくない項目は？

「どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところ

があってもやむを得ません。その質問には「答えたくない」（ノーコメント）とおっしゃってください」

Q. 調査の結果は発表するのか？

「全国規模で調査を継続し統計的にまとめた後、1年後には、研究参加者が論文や出版物にしたり、学会で発表したり、国内や外国の研究者とシンポジウムをする予定です」（特に求められたら）「調査に関する情報は、JGSS のホームページ（[www.jgss.daishodai.ac.jp](http://www.jgss.daishodai.ac.jp)）または、東京大学社会科学研究所データアーカイブのホームページ（[www.iss.u-tokyo.ac.jp/ssjda](http://www.iss.u-tokyo.ac.jp/ssjda)）でご覧になれます」

4. 実施の注意

(1) 調査方法、対象者限定の厳守

面接票を記入依頼してはならない。ただし、耳の不自由な人には記入依頼法でも構わない。面接調査では、質問の順序変更、省略、言い換え、勝手な説明などはしてはならない。留置票については記入依頼を原則とするが、目の不自由な人には面接聴取法でも構わない。同性・同年代の家族であっても、抽出された対象者を変えてはならない。

(2) 対象者のプライバシー保護には十分配慮すること

対象者名簿の記載内容が他人の目に触れないように気をつける。電話ボックスに対象者名簿などを置き忘れたり、記入済みの留置票を他の対象者に渡さないよう注意する。

(3) 調査員証明書などを忘れないように

調査の趣旨をようやく理解してくれても、調査員証明書を忘れると信用されない。

(4) 留置票には担当調査員名や回収約束日をきちんと書き入れたうえで依頼する

あらかじめ回収日時を約束し、留置票に記入して渡す。記入すべきことをしていないと、ずさんな印象を持たれる。対象者に完全な記入を求めるなら、まず調査員がきちんと記入しなければならない。

(5) 約束の日は必ず守る

(6) 対象者本人とコンタクトをとる努力をする

伝言が正確に伝わらない人（幼児など）に頼んではならない。家族の誰にも会わずにポストなどに調査票を入れて依頼してはならない。

5. 対象者名簿に関する注意

(1) 必要事項を漏れなく記入する。

(2) 年齢が6月25日現在になっているか確認する。

(3) 完了対象には、欠票には×をつける。

(4) 対象番号は正規も予備も元の番号を変えない。

(5) 「欠票 No.」欄には、対象者名簿下部の「欠票理由番号」を記入する。

(6) 「欠票になった具体的状況」欄には、以下を記入。

a. 詳細な状況

b. アタック状況番号

アタック状況番号	対象者(正規・予備)アタック状況
「0」	正規
「1」	予備(1番目の予備)
「2」	予備の予備
「3」	予備の予備の予備
「4」	予備の予備の予備の予備
「5」	予備の予備の予備の予備の予備

このアタック状況番号は、調査票(面接票、留置票、欠票調査票)の1ページの「支局・地点・対象番号」欄の「D欄」に転記する。

(7) 予備対象については、対象者へのアタックの順序や流れを見るために、対象者名簿の「元対象 No.」欄に、それぞれの予備をアタックするきっかけとなった欠票対象の対象番号を記入する。正規が欠票になり、予備にアタックした場合は、その前のアタックのきっかけとなった正規対象番号を記入する。予備の予備にアタックした場合、そのアタックのきっかけと



なった予備の対象番号を記入する。

(8)欠票理由について

調査期間中に、不在が4回以上続いた場合には、欠票理由は「一時不在」とするが、家族や近所の人から旅行中、長期出張中などと確認できた場合は「長期不在」とする。単身赴任や遠隔地での下宿など一時的に離れて住んでいる場合は「長期不在」とする。「一時不在」および「長期不在」の場合はいずれも、予備にはいかない。

6. 調査票に関する注意

(1)支局・地点・対象番号：対象者名簿の左上、「支局地点」および第1列目の「対象番号」を転記。（面接も留置も同じ）

(2)記入欄のA欄、B欄、C欄、D欄、E欄について

面接調査票 1 ページ上段 および留置票 1 ページ下段（E欄は面接票のみ）

A欄 性別（1=男、2=女）に をする。

B欄 年齢 対象者名簿から年齢を転記（6月25日現在）。

C欄 結婚状況を面接票 10 ページ問 10 の回答を見て、転記  
1 = 既婚（有配偶）、 2 = 既婚（離死別）、 3 = 未婚

D欄 対象者名簿の「欠票になった具体的状況」欄の「アタック状況番号」を転記。

E欄 対象者名簿から生年月日を転記する。（面接票のみ）

(3)面接調査票について

2 ページ問 1 (5)(6)など、働いている事業所の事業内容や仕事の内容を具体的に聞く質問が多いが、後で研究者が理解し分類できるように、できるだけ詳しく聞くこと。

2 ページ問 1 (7)は、会社全体でなく、その事業所（店舗、工場、営業所など）の従業員規模を聞いている。単独事業所は会社全体の規模と同じになる。

5 ページ問 1 (22)は、雇用期間の有無とは関係なく、就業希望をたずねる設問。

5 ページ問 1 (24)は、給与でない自営業の場合は「6 他の支払い方法」が多い。ただし、自営業に分類されるフリーのカメラマンの報酬は日給の場合もあるので、機械的に判断してはならない。また、内職などで出来高払いの場合は「6 他の支払い方法」になる。

なお、この設問は、給与や報酬の決定方法をたずねるもので、支払い形態をたずねるものではない。日給の月払いは「2 日給」、時間給与の月払いは「1 時間給」となる。

9 ページ問 9 の最初についた職業（初職）とは、学校教育終了後初めてついた職業を指す。定時制や夜間課程、通信制の学校に通いながら就業している場合は、その仕事を最初とする。ただし、その仕事を（初職）と認識するかしないかは対象者の判断にまかせる。

「兵役」は職業とみなさない。兵役の後について仕事について答えてもらうこと。

10 ページ問 10、問 11 では、有配偶には婚姻届を出していない内縁の関係を含む。

また、14 ページ問 19 も内縁の関係を含む。ただし、18 ページ問 31 は内縁の関係は含まない。これらは、特に婚姻届を出しているか聞かなくてよい。問 10、問 11 と問 31 に矛盾があってもやむを得ない。

14 ページ問 18 (1)は、2 世帯住宅でも「一緒に住んでいる」と意識していれば同居に含めてよい。物理的なものより日頃の接触等による意識を大切にする。

15 ページ問 20 の世帯主は、戸籍上でなく、世帯主と意識している人でよい。

15 ページ問 22 は、問 21 で聞いたすべての子どもについて、現在の年齢などを聞く設問。養子で出た子や継子を含めるかは対象者判断でよい。

生年を覚えていなかったり答えられない場合があってもやむを得ない。

生年または現在の年齢のどちらかを記入する。亡くなった子の場合は、生年を聞く。

16 ページ問 23 は、亡くなった兄弟姉妹、継父母の子どもも含めるが、対象者の認識にまかせる。義理の兄弟姉妹は含めない。

調査票の最後のページ：回答者の協力状況について、気がついたことはできるだけ詳しく書く。

面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか（面接 留置）、留置を先に実施し

面接を後から実施（留置 面接）したか、調査票末尾の 調査手順 に つける。  
調査票末尾の調査日、調査時刻、所要時間も記録する。

(4) 留置調査票について

記入を依頼する相手を間違えないようにすること。

留置を依頼する時には、回収日時を約束し、調査票の表紙に「調査員の氏名」と「回収日」を記入して預けること。

7. 回収時の注意

できるかぎり、留置票を受け取った時に、その場で、次のようなチェックをする。

(1) 「様 ご本人のお答えですね」

(2) 「一応、パラパラと拝見します」

(3) 回答欄が空欄の場合、回答漏れかノーコメントかを確認する。回答漏れの場合は、その場で記入してもらう。

(調査票を見られることを嫌がっているような場合)

(1) 「様 ご本人のお答えですね」と確認する。

(2) 全ての質問に回答したかどうかを再確認してもらう。  
回答漏れがある場合には、その場で記入してもらう。

8. 欠票調査票の記入の注意

(1) 本社や支社局に転居や拒否の連絡があったものも含め、欠票はすべて欠票調査票に必要事項を記入する。

(2) 「D 欄」のアタック状況番号は対象者名簿より転記する。

9. 提出に関する注意

(1) 対象者名簿には必要事項がすべて記入されているか確認する。

(2) 欠票調査票は別にしない。

(3) 面接票と留置票をセットにし、欠票調査票とともに対象番号順にそろえて提出する。

10. 年齢早見表(次ページ)

対象者名簿の年齢：誕生日が6月26日以降の人は、早見表より1を引いて算出。

B 欄：対象者名簿の年齢を転記。

ただし、調査票の設問における年齢は10月1日現在を目安とするが、厳密でなくてよい。

年号	西暦	干支		年齢
明治43	1910	戌	いぬ	90
44	1911	亥	いのしし	89
45/元	1912	子	ねずみ	88
大正2	1913	丑	うし	87
3	1914	寅	とら	86
4	1915	卯	うさぎ	85
5	1916	辰	たつ	84
6	1917	巳	へび	83
7	1918	午	うま	82
8	1919	未	ひつじ	81
9	1920	申	さる	80
10	1921	酉	とり	79
11	1922	戌	いぬ	78
12	1923	亥	いのしし	77
13	1924	子	ねずみ	76
14	1925	丑	うし	75
15/元	1926	寅	とら	74
昭和2	1927	卯	うさぎ	73
3	1928	辰	たつ	72
4	1929	巳	へび	71
5	1930	午	うま	70
6	1931	未	ひつじ	69
7	1932	申	さる	68
8	1933	酉	とり	67
9	1934	戌	いぬ	66
10	1935	亥	いのしし	65
11	1936	子	ねずみ	64
12	1937	丑	うし	63
13	1938	寅	とら	62
14	1939	卯	うさぎ	61

年号	西暦	干支		年齢
昭和15	1940	辰	たつ	60
16	1941	巳	へび	59
17	1942	午	うま	58
18	1943	未	ひつじ	57
19	1944	申	さる	56
20	1945	酉	とり	55
21	1946	戌	いぬ	54
22	1947	亥	いのしし	53
23	1948	子	ねずみ	52
24	1949	丑	うし	51
25	1950	寅	とら	50
26	1951	卯	うさぎ	49
27	1952	辰	たつ	48
28	1953	巳	へび	47
29	1954	午	うま	46
30	1955	未	ひつじ	45
31	1956	申	さる	44
32	1957	酉	とり	43
33	1958	戌	いぬ	42
34	1959	亥	いのしし	41
35	1960	子	ねずみ	40
36	1961	丑	うし	39
37	1962	寅	とら	38
38	1963	卯	うさぎ	37
39	1964	辰	たつ	36
40	1965	巳	へび	35
41	1966	午	うま	34
42	1967	未	ひつじ	33
43	1968	申	さる	32
44	1969	酉	とり	31

年号	西暦	干支		年齢
昭和45	1970	戌	いぬ	30
46	1971	亥	いのしし	29
47	1972	子	ねずみ	28
48	1973	丑	うし	27
49	1974	寅	とら	26
50	1975	卯	うさぎ	25
51	1976	辰	たつ	24
52	1977	巳	へび	23
53	1978	午	うま	22
54	1979	未	ひつじ	21
55	1980	申	さる	20
56	1981	酉	とり	19
57	1982	戌	いぬ	18
58	1983	亥	いのしし	17
59	1984	子	ねずみ	16
60	1985	丑	うし	15
61	1986	寅	とら	14
62	1987	卯	うさぎ	13
63	1988	辰	たつ	12
64/元	1989	巳	へび	11
平成2	1990	午	うま	10
3	1991	未	ひつじ	9
4	1992	申	さる	8
5	1993	酉	とり	7
6	1994	戌	いぬ	6
7	1995	亥	いのしし	5
8	1996	子	ねずみ	4
9	1997	丑	うし	3
10	1998	寅	とら	2
11	1999	卯	うさぎ	1
12	2000	辰	たつ	0

以上



# 生活と意識についての国際比較調査 ( 調査要領 )

2001年10月  
社団法人 中央調査社

## 1. 主な調査書類の種類 種類を確認すること

調査要領	
対象者名簿	通常と異なる用紙を使っている
面接調査票(再生紙)	すべての対象者に行う
回答票(面接用)	
補助用紙1(緑色)	面接調査票の問20用。(適宜使用)
補助用紙2(黄色)	面接調査票の問23用。(適宜使用)
留置調査票(青色)	すべての対象者に行う
欠票調査票(ピンク)	欠票対象の記録用。すべての欠票対象を記録する
お願い状	持参配布用
正規対象宛お願い状(謝礼入り)	調査員自身が必ず郵送する。(投函時期は適宜)
予備対象宛お願い状(謝礼入り)	予備対象に調査する場合に使用。(使用時には郵送する)
謝礼品(図書券1000円分)	緊急用
その他必要な書類	調査員記入票(精算用紙)、調査員証明書

## 2. この調査の特徴

この調査は、他の調査と違う点が多いので、間違えないように以下をよく読んで理解すること。

### (1) 共同学術・国際比較研究調査

就業状況や家族関係、生活意識など生活に関する項目を網羅した調査で、社会科学の諸分野の大学研究者の共同学術調査であり、時系列研究や国際比較を行い、現代の社会構造や意識構造の解明を目的としている。(対象者への説明は別項参照)

### (2) 面接票と留置票のセット完了が必須

面接票と留置票に分けているので、同一対象者に面接調査と留置調査をし、両方完了しなければならない。

### (3) 正規対象全員に挨拶状と謝礼品を事前に調査員が郵送する

全正規対象に、挨拶状と謝礼品(図書券1000円分)を入れた封書を調査員が実施前に郵送する。事前挨拶状の効果を高めるため、調査員が実施時期の頃合いを見計らって投函する。必ず郵送すること。

### **重要** (4) 欠票理由の分類と予備の使用

**予備の使用を間違える調査員が大変多いので、予備の使い方には細心の注意を払うこと。**

欠票の場合、対象者名簿の【欄2】に欠票理由1~9を記入する。その際、対象者名簿の右側の指示に従う。

この欠票理由の分類は他の調査と違うので注意する。

**予備対象は、正規対象の欠票理由が「1.住所不明」「2.転居」「8.死亡」の場合のみ使用。**

予備を使用するかどうかは、対象者名簿の【欄2】「欠票理由」の指示に従う。指示に「終了」とあれば、予備にはあたらない。

### (5) 予備対象は番号順に使用する

予備の対象番号は「21」「22」「23」「24」「25」(対象者名簿参照)で、番号順に使用する。

- (6)完了しても予備対象の対象番号は変えない  
完了した予備対象の番号は、「21」「22」「23」「24」「25」の予備番号をそのまま使う。
- (7)予備対象も「住所不明」「転居」「死亡」なら次の予備を使用  
その予備も「住所不明」「転居」「死亡」の場合、さらに次の予備対象を使用する。  
これらの流れを記録するため、対象者名簿の【欄3】「アタック状況番号」を記入。  
その際、対象者名簿【欄3】の指示に従う。

**重要** この【欄3】「アタック状況番号」は、調査票(面接票、留置票)の1ページの「支局・地点番号・対象番号」欄の右の「D欄」に転記する。

- (8)同様に、対象者名簿の【欄4】「元対象番号」に、それぞれの予備をアタックするきっかけとなった欠票対象の対象番号を記入する。その際、対象者名簿【欄4】の指示に従う。
- (9)すべての欠票に欠票調査票を作成  
正規対象であっても予備対象であっても、欠票はすべて、欠票理由にかかわらず欠票調査票(ピンク)を作成する。アタック前に本社や支社局に転居や拒否の連絡があったものについても、欠票調査票を作成する。
- (10)使用する予備対象には調査員が事前にお問い合わせ状と謝礼品を郵送する  
予備対象を調査することになったら、調査員が予備対象宛の謝礼入りお問い合わせ状の封筒に宛名を書いて投函すること。必ず郵送すること。
- (11)現地リスティングはしない  
現地リスティングは一切しない。
- (12)回収率をあげるため最低4回訪問  
「一時不在」を少なくするため、相手に応じて日時を変えて最低4回は訪問すること。  
調査の趣旨を理解してもらい、欠票をできるだけ少なくするために、対象者に不信感や不安感、ずさんな印象を持たれないように言動・態度に気をつけ、わかりやすく説明し説得をすること。

### 3. 調査の概要 この調査に関する質問があった場合の説明例

Q. この調査の目的は？

「この調査は、世の中や日常生活に対する人びとの考え方や仕事についての実態などをアンケート調査して、人びとの考え方や行動が年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究しようとするものです。

さらに、この調査を続けることにより(同じ人に繰り返して調査をすることはありません)、人びとの意識が時代とともにどう変わっていくのか時系列分析をしたり、外国で実施した調査と比較研究をする国際的な学術研究です」

Q. 協力のお問い合わせに書いてある一文部科学省指定・学術フロンティア推進拠点・研究プロジェクトとは？

「大阪商業大学の比較地域研究所と東京大学の社会科学研究所が、文部科学省の助成を受け日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする研究プロジェクトです」

Q. どうして私が選ばれたのか？

「いろいろな人びとの考えを聞くために、地域や性別、年代が偏らないように、選挙人名簿から何人おき、という具合にまったく無作為に選ばせていただきました。なお、お名前や住所などを漏らさないことなどを誓約書にして有権者名簿の閲覧を申請し、選挙管理委員会から許可をいただきました」

Q. どんな人が何人くらい選ばれたのか？

「全国から 300 地点を選び、各地点から満 20 歳～89 歳までの方を 15 名ずつ、あわせて 4500 人を無作為に選びました」

Q. 家族や仕事のことを細かく聞くのはどうして？

「現代人の家庭の成り立ちや家族や仕事への思い、仕事の環境などを多角的に研究し、社会の問題点や改善点を探り出すことを目的にしています。私たちの子や孫たちに温かい家庭や暮らしやすい社会をつくる為に学術的に貢献しようとするものです」

Q. プライバシーは守られるのか？

「どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですから、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理で厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言ってはならないと定められています」

Q. どうしても答えたくない項目は？

「どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあってもやむを得ません。その質問には「答えたくない」(ノーコメント)とおっしゃってください」

Q. 調査の結果は発表するのか？

「全国規模で調査を継続し統計的にまとめた後、1 年後には、研究参加者が論文や出版物にしたり、学会で発表したり、国内や外国の研究者とシンポジウムをする予定です」(特に求められたら)「調査に関する情報は、JGSS のホームページ ([www.jgss.daishodai.ac.jp](http://www.jgss.daishodai.ac.jp)) または、東京大学社会科学研究所データアーカイブのホームページ ([www.iss.u-tokyo.ac.jp/ssjda/](http://www.iss.u-tokyo.ac.jp/ssjda/)) でご覧になれます」

#### 4. 実施の注意

(1) 調査方法、対象者限定の厳守

面接票を記入依頼してはならない。ただし、耳の不自由な人には記入依頼法でも構わない。面接調査では、質問の順序変更、省略、言い換え、勝手な説明などはしてはならない。留置票については記入依頼を原則とするが、目の不自由な人には面接聴取法でも構わない。同性・同年代の家族であっても、抽出された対象者を変えてはならない。

(2) 対象者のプライバシー保護には十分配慮すること

対象者名簿の記載内容が他人の目に触れないように気をつける。  
電話ボックスに対象者名簿などを置き忘れたり、記入済みの留置票を他の対象者に渡したりしないよう注意する。

(3) 調査員証明書などを忘れないように

調査の趣旨をようやく理解してくれても、調査員証明書を忘れると信用されない。

(4) 留置票には担当調査員名や回収約束日をきちんと書き入れたうえで依頼する

あらかじめ回収日時を約束し、留置票に記入して渡す。  
記入すべきことをしていないと、ずさんな印象を持たれる。  
対象者に完全な記入を求めるなら、まず調査員がきちんと記入しなければならない。

(5) 約束の日は必ず守る

(6) 対象者本人とコンタクトをとる努力をする

伝言が正確に伝わらない人(幼児など)に頼んではならない。  
家族の誰にも会わずにポストなどに調査票を入れて依頼してはならない。

5. **重要** 対象者名簿に関する注意

- (1) 通常の対象者名簿と違うので注意する。
- (2) 必要事項を漏れなく記入する。
- (3) 年齢が9月1日現在になっているか確認する。
- (4) 対象者名簿右側の指示を厳守する。
- (5) 予備の使用や欠票理由の決定に自信がない時は、調査会社の担当者に指示をあおぐ。

6. 調査票に関する注意

(1) 支局・地点番号・対象番号

対象者名簿の右上、「支局地点」および名簿中央の「対象番号」(01~25)を転記。(面接票・留置票・欠票調査票)

(2) 記入欄のA欄、B欄、C欄、D欄、E欄について

面接票1ページ上段 および留置票1ページ下段 (E欄は面接票のみ)

- |    |   |
|----|---|
| A欄 | 性別(1=男、2=女)に をする。                                     |
| B欄 | 年齢 対象者名簿から年齢を転記。                                      |
| C欄 | 結婚状況を面接票10ページ問10の回答を見て、転記<br>1=既婚(有配偶)、2=既婚(離死別)、3=未婚 |
| D欄 | 対象者名簿の【欄3】の「アタック状況番号」(0~5)を転記。<br>(正規対象の場合は「0」)。      |
| E欄 | 対象者名簿から生年月日を転記する。(面接票のみ)                              |

(3) 面接調査票について

- 2ページ問1(5)(6)など、働いている事業所の事業内容や仕事の内容を具体的に聞く質問が多いが、後で研究者が理解し分類できるように、できるだけ詳しく聞くこと。
- 2ページ問1(7)は、会社全体でなく、その事業所(店舗、工場、営業所など)の従業員規模を聞いている。単独事業所は会社全体の規模と同じになる。
- 5ページ問1(22)は、雇用期間の有無とは関係なく、就業希望をたずねる設問。
- 5ページ問1(24)は、給与でない自営業の場合は「6 他の支払い方法」が多い。ただし、自営業に分類されるフリーのカメラマンの報酬は日給の場合もあるので、機械的に判断してはならない。また、内職などで出来高払いの場合は「6 他の支払い方法」になる。なお、この設問は、給与や報酬の決定方法をたずねるもので、支払い形態をたずねるものではない。日給の月払いは「2 日給」、時間給の月払いは「1 時間給」となる。
- 9ページ問9の最初についた仕事(初職)とは、学校教育終了後初めてついた仕事を指す。定時制や夜間課程、通信制の学校に通いながら就業していた場合は、その仕事を最初とする。ただし、その仕事を「初職」と認識するかしないかは対象者の判断にまかせる。「兵役」は仕事とみなさない。兵役の後についた仕事について答えてもらうこと。
- 10ページ問10、問11では、有配偶には婚姻届を出していない内縁の関係を含む。また、14ページ問20も内縁の関係を含む。ただし、18ページ問32は内縁の関係は含まない。これらは、特に婚姻届を出しているか聞かなくてよい。問10、問11と問32に矛盾があってもやむを得ない。
- 14ページ問19(1)は、2世帯住宅でも「一緒に住んでいる」と意識していれば同居に含めてよい。物理的なものより日頃の接触等による意識を大切にする。
- 15ページ問21の世帯主は、戸籍上でなく、世帯主と意識している人でよい。
- 15ページ問23は、問22で聞いたすべての子どもについて、現在の年齢などを聞く設問。養子で出た子や継子を含めるかは対象者判断でよい。生年を覚えていなかったり答えられない場合があってもやむを得ない。生年または現在の年齢のどちらかを記入する。亡くなった子の場合、生年を聞く。
- 16ページ問24は、亡くなった兄弟姉妹、継父母の子どもも含めるが、対象者の認識にまかせる。配偶者については内縁の関係を含む。
- 調査票の最後のページ：回答者の協力状況について、気がついたことはできるだけ詳しく書く。

面接調査を先に実施し留置調査を後から依頼したか（面接 留置）、留置を先に実施し面接を後から実施（留置 面接）したか、調査票末尾の 調査手順 に をつける。調査票末尾の調査日、調査時刻、所要時間も記録する。

(4)留置調査票について

記入を依頼する相手を間違えないようにすること。

留置を依頼する時には、回収日時を約束し、調査票の表紙に「調査員の氏名」と「回収日」を記入して預けること。

7. 回収時の注意

できるかぎり、留置票を受け取った時に、その場で、次のようなチェックをする。

(1) 「様 ご本人のお答えですね」

(2) 「一応、パラパラと拝見します」

(3) 回答欄が空欄の場合、回答漏れかノーコメントかを確認する。回答漏れの場合は、その場で記入してもらう。

（調査票を見られることを嫌がっているような場合）

(1) 「様 ご本人のお答えですね」と確認する。

(2) 全ての質問に回答したかどうかを再確認してもらう。  
回答漏れがある場合には、その場で記入してもらう。

8. 欠票調査票の記入の注意

(1) 本社や支社局に転居や拒否の連絡があったものも含め、欠票はすべて欠票調査票に必要事項を記入する。

(2) 対象者名簿からの転記部分が多いが、研究のため必要な情報なので、間違いのないように転記する。

9. 提出に関する注意

(1) 対象者名簿には必要事項がすべて記入されているか確認する。

(2) 欠票調査票は別にしない。

(3) 面接票と留置票をセットにし、欠票調査票とともに対象番号順にそろえて提出する。

10. 年齢早見表

年齢は、9月1日現在のものとし、<年齢早見表>により算出する。なお、誕生日が9月2日以降の人は、早見表より1を引くこと。

ただし、調査票の設問における年齢は9月1日現在を目安とするが、厳密でなくてよい。



< 年齢早見表 >

年号	西暦	干支		年齢
明治44	1911	亥	いのしし	90
45/元	1912	子	ねずみ	89
大正2	1913	丑	うし	88
3	1914	寅	とら	87
4	1915	卯	うさぎ	86
5	1916	辰	たつ	85
6	1917	巳	へび	84
7	1918	午	うま	83
8	1919	未	ひつじ	82
9	1920	申	さる	81
10	1921	酉	とり	80
11	1922	戌	いぬ	79
12	1923	亥	いのしし	78
13	1924	子	ねずみ	77
14	1925	丑	うし	76
15/元	1926	寅	とら	75
昭和2	1927	卯	うさぎ	74
3	1928	辰	たつ	73
4	1929	巳	へび	72
5	1930	午	うま	71
6	1931	未	ひつじ	70
7	1932	申	さる	69
8	1933	酉	とり	68
9	1934	戌	いぬ	67
10	1935	亥	いのしし	66
11	1936	子	ねずみ	65
12	1937	丑	うし	64
13	1938	寅	とら	63
14	1939	卯	うさぎ	62
昭和15	1940	辰	たつ	61

年号	西暦	干支		年齢
16	1941	巳	へび	60
17	1942	午	うま	59
18	1943	未	ひつじ	58
19	1944	申	さる	57
20	1945	酉	とり	56
21	1946	戌	いぬ	55
22	1947	亥	いのしし	54
23	1948	子	ねずみ	53
24	1949	丑	うし	52
25	1950	寅	とら	51
26	1951	卯	うさぎ	50
27	1952	辰	たつ	49
28	1953	巳	へび	48
29	1954	午	うま	47
30	1955	未	ひつじ	46
31	1956	申	さる	45
32	1957	酉	とり	44
33	1958	戌	いぬ	43
34	1959	亥	いのしし	42
35	1960	子	ねずみ	41
36	1961	丑	うし	40
37	1962	寅	とら	39
38	1963	卯	うさぎ	38
39	1964	辰	たつ	37
40	1965	巳	へび	36
41	1966	午	うま	35
42	1967	未	ひつじ	34
43	1968	申	さる	33
44	1969	酉	とり	32
昭和45	1970	戌	いぬ	31

年号	西暦	干支		年齢
46	1971	亥	いのしし	30
47	1972	子	ねずみ	29
48	1973	丑	うし	28
49	1974	寅	とら	27
50	1975	卯	うさぎ	26
51	1976	辰	たつ	25
52	1977	巳	へび	24
53	1978	午	うま	23
54	1979	未	ひつじ	22
55	1980	申	さる	21
56	1981	酉	とり	20
57	1982	戌	いぬ	19
58	1983	亥	いのしし	18
59	1984	子	ねずみ	17
60	1985	丑	うし	16
61	1986	寅	とら	15
62	1987	卯	うさぎ	14
63	1988	辰	たつ	13
64/元	1989	巳	へび	12
平成2	1990	午	うま	11
3	1991	未	ひつじ	10
4	1992	申	さる	9
5	1993	酉	とり	8
6	1994	戌	いぬ	7
7	1995	亥	いのしし	6
8	1996	子	ねずみ	5
9	1997	丑	うし	4
10	1998	寅	とら	3
11	1999	卯	うさぎ	2
12	2000	辰	たつ	1
13	2001	巳	へび	0

以上



# 生活と意識についての国際比較調査

〔 調査要領 〕

2002年10月

社団法人 中央調査社

## 1. 主な調査書類の種類 ... 種類を確認すること

調査要領	
対象者名簿	通常と異なる用紙を使っている
面接調査票（再生紙）	すべての対象者に行なう
回答票（面接用）	
補助用紙 1（緑色）	面接調査票の問 27 用（適宜使用）
補助用紙 2（黄色）	面接調査票の問 29 用（適宜使用）
留置調査票（青色）	すべての対象者に行なう
欠票調査票（ピンク）	欠票対象の記録用(すべての欠票対象を記録する)
依頼状	持参配布用
正規対象宛の依頼状 （謝礼品図書券 1000 円分入り）	調査員自身が必ず郵送する（適宜投函する）
予備対象宛の依頼状 （謝礼品図書券 1000 円分入り）	予備対象に調査する場合に使用（使用時には郵送する）
謝礼品（図書券 1000 円分）	緊急用
謝礼品（ペンセット）	面接終了時に対象者に手渡しする
その他必要な書類	調査員記入票(精算用紙)、調査員証明書

## 2. この調査の特徴

この調査は、他の調査と違う点が多いので、間違えないように以下をよく読んで理解すること。

### 1) 共同学術・国際比較調査

就業状況や家族関係、生活意識など生活に関する項目を網羅した調査で、社会科学の諸分野に亘る大学研究者による共同学術調査であり、時系列研究や国際比較を行ない、現代の社会構造や意識構造の解明を目的としている。（対象者への説明は p.5 参照）

### 2) 面接票と留置票のセット完了が必須

面接票と留置票に分けているので、同一対象者に面接調査と留置調査をし、両方完了しなければならない。

### 3) 正規対象全員に依頼状と謝礼品（図書券 1000 円分）を事前に調査員が郵送する

全正規対象に、依頼状と謝礼品（図書券 1000 円分）を入れた封書を、調査員が実施前に郵送する。事前依頼状の効果を高めるため、調査員が実施時期の頃合いを見計らって投函する。必ず郵送すること。

### 4) 欠票理由の分類と予備の使用

**予備の使用を間違える調査員が大変多いので、予備の使い方には細心の注意を払うこと。**

欠票の場合、対象者名簿の【欄 2】に欠票理由 1～9 を記入する。その際、対象者名簿の右側の指示に従う。

この欠票理由の分類は他の調査と違うので注意する。

**予備対象は、正規対象の欠票理由が「1.住所不明」「2.転居」「8.死亡」の場合のみ使用。**

予備を使用するかどうかは、p.2の「欠票処理」および対象者名簿の【欄 2】「欠票理由」の指示に従う。指示に「終了」とあれば、予備にはあたらない。

欠票処理

対象者の状況		対象者名簿への記入		その後の処理
		【欄1】 回収状況 回収 ×欠票	【欄2】 欠票理由	
調査に協力してくれた				終了
住所不明	表札なし、部屋番号不明など	×	1	予備へ
転居	引越、家を出て下宿・寮・一人暮らし(学生も含む)、 3ヶ月以上の入院・入所 養護・介護施設への入所(期間に関わらず)	×	2	予備へ
長期不在	長期不在であることが家族や近所の人から確認 できた場合など(単身赴任を含む)	×	3	終了
一時不在	不在が4回以上続いた時など	×	4	終了
拒否	どうしても調査を拒まれた	×	5	終了
病気・ケガ、 聴力・言語障害	病気・ケガで療養中や、聴力・言語障害などの場合	×	6	終了
入院中・入所中	3ヶ月未満の入院・入所の場合 3ヶ月以上の入院・入所は「転居」 「養護・介護施設への入所」の場合は、 期間に関わらず「転居」として予備へ。	×	7	終了
死亡	死亡	×	8	予備へ
その他の理由	その他(調査担当者に報告・確認すること)	×	9	終了

5) 予備対象は番号順に使用する

予備の対象番号は「21」「22」「23」「24」「25」で、番号順に使用する。

6) 完了しても予備対象の対象番号は変えない

完了した予備対象の番号は、「21」「22」「23」「24」「25」の予備番号をそのまま使う。

7) 予備対象も「住所不明」「転居」「死亡」なら、次の予備を使用

その予備も「住所不明」「転居」「死亡」の場合、さらに次の予備対象を使用する。  
これらの流れを記録するため、対象者名簿の【欄3】に「アタック状況番号」を記入。  
その際、対象者名簿【欄3】の指示に従う。

この【欄3】「アタック状況番号」は、調査票(面接票、留置票)の1ページの「支局・地点  
番号・対象番号」欄の右の「D欄」および、欠票調査票の「4.アタック状況番号」欄に転記する。

8) 同様に、対象者名簿の【欄4】「元対象番号」に、それぞれの予備をアタックするきっかけと  
なった欠票対象の対象番号を記入する。その際、対象者名簿【欄4】の指示に従う。

9) すべての欠票に欠票調査票を作成

正規対象であっても予備対象であっても、欠票はすべて、欠票理由にかかわらず欠票調査  
票(ピンク)を作成する。アタック前に本社や支局に転居や拒否の連絡があったものにつ  
いても、欠票調査票を作成する。

- 10) 使用する予備対象には、調査員が事前に依頼状と謝礼品（図書券 1000 円分）を郵送する予備対象を調査することになったら、調査員が予備対象宛の依頼状と謝礼品（図書券 1000 円分入り）が入った封筒に、宛名を書いて投函すること。必ず郵送すること。
- 11) 現地リスティングはしない  
現地リスティングは一切しない。
- 12) 回収率をあげるため最低 4 回訪問  
「一時不在」を少なくするため、相手に応じて日時を変えて最低 4 回は訪問すること。  
調査の趣旨を理解してもらい、欠票をできるだけ少なくするために、対象者に不信感や不安感、ずさんな印象を持たれないよう言動・態度に気をつけ、わかりやすく説明して説得すること。

### 3. 実施の注意

- 1) 調査方法、対象者限定の厳守  
面接票を記入依頼してはならない。  
面接調査では、質問の順序変更、省略、言い換え、勝手な説明などはしてはならない。  
留置票については記入依頼を原則とするが、目の不自由な人には面接聴取法でも構わない。  
同性・同年代の家族であっても、抽出された対象者を変えてはならない。
- 2) 対象者のプライバシー保護には十分配慮すること  
対象者名簿の記載内容が他人の目に触れないように気をつける。  
電話ボックスに対象者名簿などを置き忘れたり、記入済みの留置票を他の対象者に渡したりしないよう注意する。
- 3) 調査員証明書などを忘れないように  
調査の趣旨をようやく理解してくれても、調査員証明書を忘れると信用されない。
- 4) 留置票に担当調査員名や回収約束日をきちんと書き入れたうえで依頼する  
あらかじめ回収日時を約束し、留置票に記入して渡す。  
記入すべきことをしていないと、ずさんな印象を持たれる。  
対象者に完全な記入を求めるなら、まず調査員がきちんと記入しなければならない。
- 5) 約束の日は必ず守る
- 6) 対象者本人とコンタクトをとる努力をする  
伝言が正確に伝わらない人（幼児など）に頼んではならない。  
家族の誰にも会わずにポストなどに調査票を入れて依頼してはならない。
- 7) 謝礼品（ペンセット）を渡す  
面接調査票終了時に、謝礼としてペンセットを必ず手渡しする。

### 4. 対象者名簿に関する注意

- 1) 通常の対象者名簿と違うので注意する。
- 2) 必要事項を漏れなく記入する。
- 3) 年齢が 9 月 1 日現在になっているか確認する。
- 4) 対象者名簿右側の指示を厳守する。
- 5) 予備の使用や欠票理由の決定に自信がない時は、調査会社の担当者に指示をあおぐ。

## 5. 調査票に関する注意

### 1) 支局・地点番号・対象番号

対象者名簿の右上の「支局地点」、および名簿中央の「対象番号」(01~25)を転記。(面接票・留置票・欠票調査票)

### 2) 留置調査票について

記入を依頼する相手を間違えないようにすること。

留置を依頼する時には、回収日時を約束し、調査票の表紙に「調査員の氏名」と「回収約束日」を記入して預けること。

## 6. 回収時の注意

できるかぎり、留置票を受け取った時に、その場で、次のようなチェックをする。

1) 「様 ご本人のお答えですね」

2) 「一応、パラパラと拝見します」

3) 回答欄が空欄の場合、回答漏れかノーコメントかを確認する。回答漏れの場合は、その場で記入してもらう。

< 調査票を見られることを嫌がっているような場合 >

1) 「様 ご本人のお答えですね」と確認する。

2) 全ての質問に回答したかどうかを再確認してもらう。  
回答漏れがある場合には、その場で記入してもらう。

## 7. 欠票調査票の記入に関する注意

1) 本社や支局に転居や拒否の連絡があったものも含め、欠票はすべて欠票調査票に必要事項を記入する。

2) 対象者名簿からの転記部分が多いが、研究のために必要な情報なので、間違いのないように転記する。

## 8. 提出時の注意

1) 対象者名簿に必要事項がすべて記入されているか確認する。

2) 面接票と留置票をセットにし、欠票調査票とともに対象番号順にそろえて提出する。

**対象者への説明例 …… この調査に関する質問があった場合の説明例**

**Q.この調査の目的は？**

この調査は、世の中や日常生活に対する人びとの考え方や仕事についての実態などをアンケートの形で調査して、人びとの考え方や行動が年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究しようとするものです。

さらに、この調査を続けることにより（同じ人に繰り返して調査をすることはありません）、人びとの意識が時代とともにどう変わっていくのか時系列分析をしたり、外国で実施した調査と比較研究をする国際的な学術研究です。

**Q.依頼状に書いてある「文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト」とは？**

大阪商業大学の比較地域研究所と東京大学の社会科学研究所が、文部科学省の助成を受け日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする研究プロジェクトです。

**Q.どうして私が選ばれたのか？**

いろいろな人びとの考えを聞くために、地域や性別、年代が偏らないように、選挙人名簿から何人おきという具合に、まったく無作為に選ばせていただきました。なお、お名前や住所などを漏らさないことなどを誓約書にして選挙人名簿の閲覧を申請し、各選挙管理委員会から許可をいただきました。

**Q.どんな人が何人くらい選ばれたのか？**

全国から 341 地点を選び、各地点から満 20 歳～89 歳までの方を 15 名程度、あわせて 5000 人を無作為に選びました。

**Q.家族や仕事のことを細かく聞くのはどうして？**

現代人の家庭の成り立ちや家族や仕事への思い、仕事の環境などを多角的に研究し、社会の問題点や改善点を探り出すことを目的にしています。私たちの子や孫たちに温かい家庭や暮らしやすい社会をつくる為に学術的に貢献しようとするものです。

**Q.プライバシーは守られるのか？**

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですから、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理として厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言ってはならないと定められています。

**Q.どうしても答えたくない質問は？**

どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあった場合、その質問には「答えたくない」（ノーコメント）とおっしゃってください。

**Q.調査の結果は発表するのか？**

調査実施から約一年半後には調査結果が統計的に発表され、研究参加者が論文や出版物にしたり、学会で発表したり、国内外の研究者とシンポジウムをする予定です。

（特に求められたら）調査に関する情報は、以下のホームページでご覧になれます。

JGSS のホームページ …………… <http://jgss.daishodai.ac.jp>

東京大学社会科学研究所データ・アーカイブ …………… <http://www.iss.u-tokyo.ac.jp/ssjda/>

< 年齢早見表 >

年齢は、9月1日現在のものとし、< 年齢早見表 > により算出する。なお、誕生日が9月2日以降の人は、早見表より1を引くこと。ただし、調査票の設問における年齢は9月1日現在を目安とするが、厳密でなくてよい。

年号	西暦	干支	年齢
明治 45 / 元	1912	子 ねずみ	90
大正 2	1913	丑 うし	89
3	1914	寅 とら	88
4	1915	卯 うさぎ	87
5	1916	辰 たつ	86
6	1917	巳 へび	85
7	1918	午 うま	84
8	1919	未 ひつじ	83
9	1920	申 さる	82
10	1921	酉 とり	81
11	1922	戌 いぬ	80
12	1923	亥 いのしし	79
13	1924	子 ねずみ	78
14	1925	丑 うし	77
大正 15 / 元	1926	寅 とら	76
昭和 2	1927	卯 うさぎ	75
3	1928	辰 たつ	74
4	1929	巳 へび	73
5	1930	午 うま	72
6	1931	未 ひつじ	71
7	1932	申 さる	70
8	1933	酉 とり	69
9	1934	戌 いぬ	68
10	1935	亥 いのしし	67
11	1936	子 ねずみ	66
12	1937	丑 うし	65
13	1938	寅 とら	64
14	1939	卯 うさぎ	63
15	1940	辰 たつ	62
16	1941	巳 へび	61

年号	西暦	干支	年齢
昭和 17	1942	午 うま	60
18	1943	未 ひつじ	59
19	1944	申 さる	58
20	1945	酉 とり	57
21	1946	戌 いぬ	56
22	1947	亥 いのしし	55
23	1948	子 ねずみ	54
24	1949	丑 うし	53
25	1950	寅 とら	52
26	1951	卯 うさぎ	51
27	1952	辰 たつ	50
28	1953	巳 へび	49
29	1954	午 うま	48
30	1955	未 ひつじ	47
31	1956	申 さる	46
32	1957	酉 とり	45
33	1958	戌 いぬ	44
34	1959	亥 いのしし	43
35	1960	子 ねずみ	42
36	1961	丑 うし	41
37	1962	寅 とら	40
38	1963	卯 うさぎ	39
39	1964	辰 たつ	38
40	1965	巳 へび	37
41	1966	午 うま	36
42	1967	未 ひつじ	35
43	1968	申 さる	34
44	1969	酉 とり	33
45	1970	戌 いぬ	32
46	1971	亥 いのしし	31

年号	西暦	干支	年齢
昭和 47	1972	子 ねずみ	30
48	1973	丑 うし	29
49	1974	寅 とら	28
50	1975	卯 うさぎ	27
51	1976	辰 たつ	26
52	1977	巳 へび	25
53	1978	午 うま	24
54	1979	未 ひつじ	23
55	1980	申 さる	22
56	1981	酉 とり	21
57	1982	戌 いぬ	20
58	1983	亥 いのしし	19
59	1984	子 ねずみ	18
60	1985	丑 うし	17
61	1986	寅 とら	16
62	1987	卯 うさぎ	15
63	1988	辰 たつ	14
64 / 元	1989	巳 へび	13
平成 2	1990	午 うま	12
3	1991	未 ひつじ	11
4	1992	申 さる	10
5	1993	酉 とり	9
6	1994	戌 いぬ	8
7	1995	亥 いのしし	7
8	1996	子 ねずみ	6
9	1997	丑 うし	5
10	1998	寅 とら	4
11	1999	卯 うさぎ	3
12	2000	辰 たつ	2
13	2001	巳 へび	1



第 7 5 3 5 号

JGSS-2003 調査

## 生活と意識についての国際比較調査

〔 調査要領 〕

2003年10月  
社団法人 中央調査社

### 1. 主な調査書類の種類 ... 種類を確認すること

調査要領	
対象者名簿	通常と異なる用紙を使っている
面接調査票 (ページュ)	すべての対象者に行なう
回答票 (面接用)	
補助用紙 (緑色)	面接調査票の問 21-1 用 (適宜使用)
留置調査票 A 票 (青色)	対象者名簿の指示通り使用
留置調査票 B 票 (ふじ色)	対象者名簿の指示通り使用
欠票調査票 (ピンク)	欠票対象の記録用(すべての欠票対象を記録する)
依頼状	持参配布用
正規対象宛の依頼状	調査員自身が必ず郵送する (適宜投函する)
予備対象宛の依頼状	予備対象に調査する場合に使用 (使用時には郵送する)
謝礼品 (図書券 1000 円分)	調査完了時に対象者に手渡す
謝礼品 (ペンセット)	適時、対象者に手渡す
その他必要な書類	調査員記入票(精算用紙)、調査員証明書

### 2. この調査の特徴

この調査は、他の調査と違う点が多いので、間違えないように以下をよく読んで理解すること。

#### 1) 共同学術・国際比較調査

就業状況や家族関係、生活意識など生活に関する項目を網羅した調査で、社会科学の諸分野に亘る大学研究者による共同学術調査であり、時系列研究や国際比較を行ない、現代の社会構造や意識構造の解明を目的としている。(対象者への説明は 6 ページ参照)

#### 2) 面接票と留置票のセット完了が必須

面接票と留置票に分けているので、同一対象者に面接調査と留置調査をし、両方完了しなければならない。

#### 3) 留置調査票には A 票・B 票の 2 種類がある

A 票・B 票のどちらを使うかは、回答者ごとに事前に決まっているので、対象者名簿の記載どおりに使用する。

#### 4) 予備対象には、欠票となった元の対象者に決められた留置票 (A 票・B 票) を使用する

#### 5) 留置 B 票は問 1 ~ 問 4 まで面接調査となっている

面接調査票を実施した後にこの部分に関しても面接を行ない、必要な処理を行ってから置いてくること (先に留置き部分の記入を依頼してはならない)。

#### 6) 依頼状は、正規対象全員に事前に調査員が郵送する

全正規対象に、依頼状 (封書) を、調査員が実施前に郵送する。事前依頼状の効果を高めるため調査員が実施時期の頃合いを見計らって投函する。必ず郵送すること。

#### 7) ペンセットと図書券は、謝礼として使用

図書券 (1000 円分) は、面接・留置調査の両方が完了した時に渡す。

ペンセットは、最終的に調査の完了・未完了にかかわらず、いつ渡してもよい。調査がやりやすいように、渡すタイミングを判断する。



8) 欠票理由の分類と予備の使用

**予備の使用を間違える調査員が大変多いので、予備の使い方には細心の注意を払うこと。**

欠票の場合、対象者名簿の【欄2】に欠票理由1～9を記入する。その際、対象者名簿の右側の指示に従う。

この欠票理由の分類は他の調査と違うので注意する。

**予備対象は、正規対象の欠票理由が「4 一時不在」「5 拒否」以外すべて使用。**

予備を使用するかどうかは、下記の「欠票処理」の表、および対象者名簿の【欄2】「欠票理由」の指示に従う。指示に「終了」とあれば、予備にはあたらない。

留置票と面接票の一方しか回収できなかった場合、あるいは面接票の回答途中で拒否をされた場合など、調査を途中まで行なったものの欠票となったときには、その理由を「4 一時不在」「5 拒否」などと記し、予備にはあたらない。安易に「9 その他の理由」としないこと。

9) 予備対象は番号順に使用する

予備の対象番号は「21」「22」「23」「24」「25」で、番号順に使用する。

10) 完了しても予備対象の対象番号は変えない

完了した予備対象の番号は、「21」「22」「23」「24」「25」の予備番号をそのまま使う。

欠票処理

対象者の状況		対象者名簿への記入		その後の処理
		【欄1】 回収状況 回収 ×欠票	【欄2】 欠票理由	
調査に協力してくれた			/	終了
住所不明	表札なし、部屋番号不明など	×	1	予備へ
転居	引越、家を出て下宿・寮・一人暮らし(学生も含む)、 3ヶ月以上の入院・入所 養護・介護施設への入所(期間にかかわらず)	×	2	予備へ
長期不在	長期不在であることが家族や近所の人から確認できた場合など(単身赴任を含む)	×	3	予備へ
一時不在	不在が4回以上続いた時など	×	4	終了
拒否	どうしても調査を拒まれた	×	5	終了
病気・ケガ、 聴力・言語障害	病気・ケガで療養中や、聴力・言語障害などの場合	×	6	予備へ
入院中・入所中	3ヶ月未満の入院・入所の場合 3ヶ月以上の入院・入所は「転居」 「養護・介護施設への入所」の場合は、 期間にかかわらず「転居」として予備へ。	×	7	予備へ
死亡	死亡	×	8	予備へ
その他の理由	その他(調査担当者に報告・確認すること) 留置票と面接票の一方しか回収できなかった場合は、その他ではないので注意。	×	9	予備へ

- 11) 予備対象も欠票理由が「一時不在」・「拒否」以外は、すべて次の予備を使用  
その予備が「一時不在」・「拒否」以外は、すべてさらに次の予備対象を使用する。  
これらの流れを記録するため、対象者名簿の【欄3】に「アタック状況番号」を記入。  
その際、対象者名簿【欄3】の指示に従う。

この【欄3】「アタック状況番号」は、調査票(面接票、留置票)の1ページの「支局・地点番号・対象番号」欄の右の「D欄」および、欠票調査票の「4.アタック状況番号」欄に転記する。

- 12) 同様に、対象者名簿の【欄4】「元対象番号」に、それぞれの予備をアタックするきっかけとなった欠票対象の対象番号を記入する。その際、対象者名簿【欄4】の指示に従う。
- 13) 予備対象に対してA票・B票のいずれを使用したかを記入する。
- 14) すべての欠票に欠票調査票を作成  
正規対象であっても予備対象であっても、欠票はすべて、欠票理由にかかわらず欠票調査票(ピンク)を作成する。アタック前に本社や支局に転居や拒否の連絡があったものについても、欠票調査票を作成する。
- 15) 使用する予備対象には、調査員が事前に依頼状を郵送する  
予備対象を調査することになったら、調査員が予備対象宛の依頼状を投函すること。必ず郵送すること。
- 16) 現地リスティングは一切しない
- 17) 回収率をあげるため最低4回訪問  
「一時不在」を少なくするため、相手に応じて日時を変えて最低4回は訪問すること。調査の趣旨を理解してもらい、欠票をできるだけ少なくするために、対象者に不信感や不安感、ずさんな印象を持たれないよう言動・態度に気をつけ、わかりやすく説明して説得すること。

### 3. 対象者名簿に関する注意

- 1) 通常の対象者名簿と違うので注意する。
- 2) 必要事項を漏れなく記入する。
- 3) 年齢が9月1日現在になっているか確認する。
- 4) 対象者名簿右側の指示を厳守する。
- 5) 予備の使用や欠票理由の決定に自信がない時は、調査会社の担当者に指示をあおぐ。

### 4. 実施の注意

- 1) 調査方法、対象者限定の厳守  
面接票を記入依頼してはならない。  
面接調査では、質問の順序変更、省略、言い換え、勝手な説明などはしてはならない。  
留置票については記入依頼を原則とするが、目の不自由な人には面接聴取法でも構わない。  
同性・同年代の家族であっても、抽出された対象者を変えてはならない。
- 2) 対象者のプライバシー保護には十分配慮すること  
対象者名簿の記載内容が他人の目に触れないように気をつける。  
電話ボックスに対象者名簿などを置き忘れたり、記入済みの留置票を他の対象者に渡したりしないよう注意する。
- 3) 調査員証明書などを忘れないように  
調査の趣旨をようやく理解してくれても、調査員証明書を忘れると信用されない。
- 4) 約束の日時は必ず守る

5) 対象者本人とコンタクトをとる努力をする

伝言が正確に伝わらない人（幼児など）に頼んではならない。  
 家族の誰にも会わずにポストなどに調査票を入れて依頼してはならない。

5. 調査票に関する注意

1) 支局・地点番号・対象番号

対象者名簿の上の「支局地点」、および名簿中央の「対象番号」(01~25)を転記（面接票・留置票・欠票調査票）。

2) 留置調査票について

記入を依頼する相手を間違えないようにすること。  
 留置を依頼する時には、回収日時を約束し、調査票の表紙に「調査員の氏名」と「回収約束日」を記入して預けること。

3) 面接・留置の実施順序

留置 B 票（ふじ色）の対象者については、面接調査票（ページュ）を必ず先に行ない、引き続き留置 B 票の面接部分を行なう。B 票の最初 7 ページは面接、残りのページは留置。  
 留置 A 票（青色）の対象者には、状況に応じて面接・留置のどちらを先に実施しても構わない。

4) 留置 B 票の実施

B 票の面接部分は、2 色刷になっている。黒字の「 」内を読み上げ、赤字の調査員注に従うこと。面接の際に使用するメモ用紙（回答者用）は、調査票から切り取って回答者に渡す。7 ページまで面接聞き取り法で行ない、調査員が記入した後、留置部分の記入を依頼する。

5) 留置票に担当調査員名や回収約束日をきちんと書き入れた上で依頼する

あらかじめ回収日時を約束し、留置票に記入して渡す。  
 記入すべきことをしていないと、ずさんな印象を持たれる。  
 対象者に完全な記入を求めるなら、まず調査員がきちんと記入しなければならない。

6) 産業・職業の記述に関しては、下記に留意して調査し、記述すること

「働いている場所の事業」（産業）及び「仕事の内容」（職業）については、会社名や取り扱う製品名だけでなく、「何を、どこで、どのように、どうする」産業や職業であるのかわかるように記述する。悪い記述例と良い記述例を示す。

a. 産業の記述に関する例示

「ガス管」など製品名のみでなく、「ガス管の製造」、「ガス管の販売」、「ガス管の修理」など事業の内容が、製造なのか、販売なのか、サービスなのかわかるようにする。

b. 職業の記述に関する例示

「営業」や「建設」だけでなく、仕事の仕方や取り扱い製品がわかるようにする。  
 例えば、「介護」のみでなく「介護福祉士の資格を持ち、特養で寝たきり老人を介護」など、「営業」のみでなく「化粧品を訪問販売する外勤の営業」や「電話で自然食品の注文を取る営業」など、「建設関係の仕事」でなく「コンクリート舗装作業」や「ショベルマシンの運転」など、「住宅設備」でなく「ビル空調の調整」などと記述する。

記述方法に関して下記を参照する。

a. 楷書体で丁寧に記述する。

b. 通常、漢字で記述するものはカタカナでなく漢字で記述する。

（例）コセキジム 戸籍事務、ジキ 磁気、ソージ 掃除、カン理 管理、  
 機カイ 機械など。

c. 助詞にカタカナを使わない。

（例）大学ノ教授 大学の教授、子供服ノ販売 子供服の販売など。

d. 助詞の代わりに「、」や「・」を使わない。

(例)「公用車、運転業務」 「公用車の運転業務」、「看護婦、市立病院」 「市立病院の看護婦」など。

e. 誤字・脱字に気をつけ、当て字・略語は使わない。

## 6. 回収時の注意

できるかぎり、留置票を受け取った時に、その場で、次のようなチェックをする。

- 1) 「 様 ご本人のお答えですね」
- 2) 「一応、パラパラと拝見します」
- 3) 回答欄が空欄の場合、回答漏れかノーコメントかを確認する。回答漏れの場合は、その場で記入してもらう。
- 4) B票のメモ用紙は回収しない。

< 調査票を見られることを嫌がっているような場合 >

- 1) 「 様 ご本人のお答えですね」と確認する。
- 2) 全ての質問に回答したかどうかを再確認してもらう。  
回答漏れがある場合には、その場で記入してもらう。

## 7. 欠票調査票の記入に関する注意

- 1) 本社や支局に転居や拒否の連絡があったものも含め、欠票はすべて欠票調査票に必要事項を記入する。
- 2) 対象者名簿からの転記部分が多いが、研究のために必要な情報なので、間違いのないように転記する。

## 8. 提出時の注意

- 1) 対象者名簿に必要事項がすべて記入されているか確認する。
- 2) 面接票と留置票をセットにし、欠票調査票とともに対象番号順にそろえて提出する。
- 3) 面接票と留置票が揃っていないなどの理由で無効な調査票も、いっしょに提出する。

参考資料となるので、一部でも回答が記入された調査票は、けっして捨てない。

ただし、回答者が回答途中で拒否を表明し、それまでの回答もすべて無効にして破棄したいと要請した場合は、無理に回収する必要はない。欠票調査票にその旨を明記する。

**対象者への説明例 …… この調査に関する質問があった場合の説明例**

**Q.この調査の目的は？**

この調査は、世の中や日常生活に対する人びとの考え方や仕事についての実態などをアンケートの形で調査して、人びとの考え方や行動が年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究することを目的としています。

さらに、この調査を続けることにより（同じ人に繰り返して調査をすることはありません）人びとの意識が時代とともにどう変わっていくのかを時系列分析をしたり、外国で実施した調査と比較研究をする国際的な学術研究です。

**Q.依頼状に書いてある「文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト」とは？**

大阪商業大学の比較地域研究所と東京大学の社会科学研究所が、文部科学省の助成を受け日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする研究プロジェクトです。

**Q.どうして私が選ばれたのか？**

いろいろな人びとの考えを聞くために、地域や性別、年代が偏らないように、選挙人名簿から何人おきという具合に、まったく無作為に選ばせていただきました。なお、お名前や住所などを漏らさないことなどを誓約し、各選挙管理委員会から許可を得て、選挙人名簿の閲覧をさせていただきました。

**Q.どんな人が何人くらい選ばれたのか？**

全国から 489地点を選び、各地点から満 20 歳～89 歳までの方を 15 名程度ずつ、あわせて 7,200 人を無作為に選びました。

**Q.どのくらい時間がかかるの？**

人によってさまざまですが、だいたい面接 20 分、留め置きに 20 分程度です。

**Q.家族や仕事のことを細かく聞くのはどうして？**

現代人の家庭の成り立ちや家族や仕事への思い、仕事の環境などを多角的に研究し、社会の問題点や改善点を探り出すことを目的にしています。私たちの子や孫たちに温かい家庭や暮らしやすい社会をつくる為に学術的に貢献しようとするものです。

**Q.プライバシーは守られるのか？**

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですから、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理として厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言ってはならないと定められています。

**Q.どうしても答えたくない質問は？**

どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあった場合、その質問には「答えたくない」(ノーコメント)とおっしゃってください。

**Q.調査の結果は発表するのか？**

調査実施から約 1 年半後には調査結果が統計的に発表され、研究参加者が論文や出版物にしたり、学術学会で発表したり、国内外の研究者とシンポジウムを行なっています。

(特に求められたら) 調査に関する情報は、以下のホームページでご覧になれます。

JGSS のホームページ ..... <http://jgss.daishodai.ac.jp>

東京大学社会科学研究所 SSJ データ・アーカイブ ..... <http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/>

< 年齢早見表 >

年齢は、9月1日現在のものとし、< 年齢早見表 >により算出する。なお、誕生日が9月2日以降の人は、早見表より1を引くこと。ただし、調査票の設問における年齢は9月1日現在を目安とするが、厳密でなくてよい。

年号	西暦	干支	年齢	年号	西暦	干支	年齢	年号	西暦	干支	年齢
大正 2	1913	丑 うし	90	昭和 18	1943	未 ひつじ	60	昭和 48	1973	丑 うし	30
3	1914	寅 とら	89	19	1944	申 さる	59	49	1974	寅 とら	29
4	1915	卯 うさぎ	88	20	1945	酉 とり	58	50	1975	卯 うさぎ	28
5	1916	辰 たつ	87	21	1946	戌 いぬ	57	51	1976	辰 たつ	27
6	1917	巳 へび	86	22	1947	亥 いのしし	56	52	1977	巳 へび	26
7	1918	午 うま	85	23	1948	子 ねずみ	55	53	1978	午 うま	25
8	1919	未 ひつじ	84	24	1949	丑 うし	54	54	1979	未 ひつじ	24
9	1920	申 さる	83	25	1950	寅 とら	53	55	1980	申 さる	23
10	1921	酉 とり	82	26	1951	卯 うさぎ	52	56	1981	酉 とり	22
11	1922	戌 いぬ	81	27	1952	辰 たつ	51	57	1982	戌 いぬ	21
12	1923	亥 いのしし	80	28	1953	巳 へび	50	58	1983	亥 いのしし	20
13	1924	子 ねずみ	79	29	1954	午 うま	49	59	1984	子 ねずみ	19
14	1925	丑 うし	78	30	1955	未 ひつじ	48	60	1985	丑 うし	18
15/元	1926	寅 とら	77	31	1956	申 さる	47	61	1986	寅 とら	17
昭和 2	1927	卯 うさぎ	76	32	1957	酉 とり	46	62	1987	卯 うさぎ	16
3	1928	辰 たつ	75	33	1958	戌 いぬ	45	63	1988	辰 たつ	15
4	1929	巳 へび	74	34	1959	亥 いのしし	44	64/元	1989	巳 へび	14
5	1930	午 うま	73	35	1960	子 ねずみ	43	平成 2	1990	午 うま	13
6	1931	未 ひつじ	72	36	1961	丑 うし	42	3	1991	未 ひつじ	12
7	1932	申 さる	71	37	1962	寅 とら	41	4	1992	申 さる	11
8	1933	酉 とり	70	38	1963	卯 うさぎ	40	5	1993	酉 とり	10
9	1934	戌 いぬ	69	39	1964	辰 たつ	39	6	1994	戌 いぬ	9
10	1935	亥 いのしし	68	40	1965	巳 へび	38	7	1995	亥 いのしし	8
11	1936	子 ねずみ	67	41	1966	午 うま	37	8	1996	子 ねずみ	7
12	1937	丑 うし	66	42	1967	未 ひつじ	36	9	1997	丑 うし	6
13	1938	寅 とら	65	43	1968	申 さる	35	10	1998	寅 とら	5
14	1939	卯 うさぎ	64	44	1969	酉 とり	34	11	1999	卯 うさぎ	4
15	1940	辰 たつ	63	45	1970	戌 いぬ	33	12	2000	辰 たつ	3
16	1941	巳 へび	62	46	1971	亥 いのしし	32	13	2001	巳 へび	2
17	1942	午 うま	61	47	1972	子 ねずみ	31	14	2002	午 うま	1



## 第5回 生活と意識についての国際比較調査 (JGSS-2005)

## 〔調査要領〕

2005年8月

社団法人 中央調査社

## 1. 調査関係の書類・物品一覧

最初に、必要なものがすべてそろっていることを確認すること。

調査要領	本紙
対象者名簿	
面接調査票 (ページュ)	
回答票	面接調査で使用
補助用紙 (緑色)	面接調査で必要があれば使用
留置調査票 (青色)	
郵送用依頼状 (封書)	調査員が事前に対象者に郵送
持参用依頼状	訪問時に説明のために持参
図書券 1000 円分	謝礼品。調査完了時に対象者に手渡す
ペンセット	謝礼品。適時、対象者に手渡す
調査員記入票	精算のための情報を記入
調査員証明書	

## 2. この調査の特徴

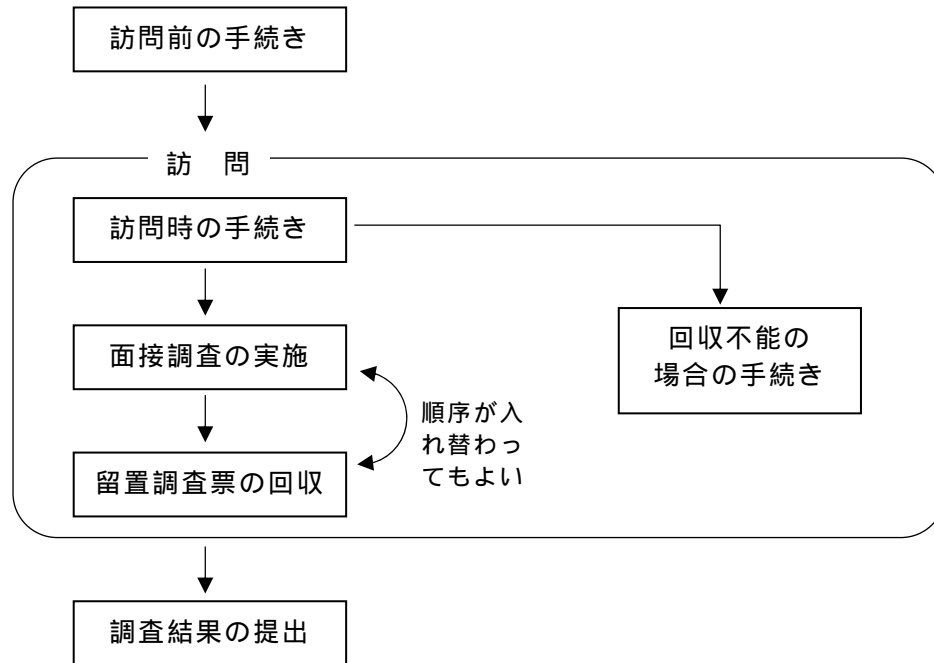
「生活と意識についての国際比較調査」は、正式名称を JGSS (Japanese General Social Surveys、日本版総合的社会調査) とし、過去に4回行われている継続調査である。社会科学の諸分野にわたる大学研究者たちが共同で行っている学術調査であり、文部科学省からの助成を受けて実施されている。就業状況や家族関係、生活意識など生活全般に関して網羅的に調査しており、時系列分析や国際比較によって、広く現代日本の社会構造や意識構造を解明することを目的としている。(対象者への説明は7ページ参照)

調査の実施にあたって、特に以下の点については、他の調査と異なる場合が多いので、注意が必要である。他にも重要な点があるので、調査要領を隅々まで熟読し、間違いのないよう注意されたい。

- ・1人の対象者が2つの調査票(面接調査票と留置調査票)に回答する。両方を完了しなければならない。
- ・対象者への調査依頼状は、調査実施前に調査員が郵送する。
- ・どのような理由でも予備対象者との置き換えは行わない(予備は用意していない)。

### 3. 調査の流れ

調査員は以下の流れで調査を実施する。



### 4. 訪問前の手続き

対象者の家を訪問する前に以下のことをすべて済ませておく。

#### a) 調査要領・調査票の確認

調査要領を隅々まで熟読し、頭に入れておく。また、調査票の内容を確認し、不明な点があれば事前に担当者に問い合わせる。

#### b) 対象者名簿の確認

対象者名簿に記入漏れや不明な点がないか、あらかじめ確認しておく。特に、年齢が9月1日現在のものになっていることを本紙8ページの「年齢早見表」で確認しておく。確認の上で、対象者名簿の指示に従い、必要な情報を調査票（面接と留置の両方）の表紙に記入しておく。

#### c) 依頼状の郵送

すべての対象者にあらかじめ依頼状（封書）を郵送する。訪問を予告することで警戒をやわらげる意味があるので、必ず発送すること。発送の時期は、訪問の2週間ほど前がよいとされているが、調査員が状況に応じて判断する。早すぎても忘れられるのでよくない。

### 5. 訪問時の手続き

対象者の家を訪問する際には、以下の点に注意する。

#### a) 対象者の家の確認

調査を効率よく進めるために、1日目になるべくすべての家を訪問し、位置を確認する。

#### b) 訪問日時の記録

訪問をした際には、そのつど面接調査票の表紙に記録をとる。対象者本人と会えた後の訪問については、記録しないでもよい。



(記入例)

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	9月 11日(日)	<del>午前</del> 午後 11時 15分頃	本人 家族のみ <del>不在</del>
2	9月 11日(日)	午前 <del>午後</del> 2時 00分頃	本人 <del>家族のみ</del> 不在
3	9月 12日(月)	午前 <del>午後</del> 3時 30分頃	<del>本人</del> 家族のみ 不在
4	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

本人と会えた際の訪問まで記録  
その後の記録は不要

c) 訪問の打ち切りが認められる条件

できるかぎり、すべての対象者に会うように努力する。不在が多い場合も、会うことができるまで何度でも訪問する(6ページの「在宅率の情報」を参照)。

少なくとも、次の2つの条件を両方とも満たすまで、訪問を打ち切ってはならない(拒否された場合などは、もちろん訪問を打ち切る)。

- ・その対象者を、4日以上にわたって訪問した
- ・その対象者を、平日と休日(土日祝)の両方、訪問した

「4回以上」ではなく「4日以上」であることに注意する。2回ずつ×2日=計4回訪問しても、2日でしかないので訪問を打ち切ってはならない(ただし、同じ日に2回以上訪問することを禁止するわけではない。むしろ、時間を変えて何度でも訪問することは望ましい)。

(例1)

9月10日(土) 午前  
9月11日(日) 午前  
9月11日(日) 午後  
9月13日(火) 午前  
9月13日(火) 午後

3日しか訪問していないので継続

(例2)

9月12日(月) 午後  
9月13日(火) 午前  
9月14日(水) 午後  
9月15日(木) 午前  
9月15日(木) 午後

平日だけで休日を訪問していないので継続

(例3)

9月10日(土) 午前  
9月10日(土) 午後  
9月11日(日) 午後  
9月13日(火) 午後  
9月14日(水) 午前

訪問を打ち切ってよい(できるだけ継続)

d) 多くの対象者に協力してもらうために

対象者やその家族に会えた際には、調査の趣旨を理解してもらい、できるかぎり多くの方に協力してもらえるように努力する(ノルマはないが、逆にこれで十分という上限もない)。以下のような点に気をつける。

- ・事前に依頼状を送ったことを告げる(持参用依頼状を見せながら)
- ・調査員証明書を提示する
- ・清潔な服装をこころがける(ただし、訪問販売と誤解されそうな服装は避ける)
- ・ずさんな印象を持たれないよう、言動や態度を丁寧にする
- ・協力してもらえるかどうか、性急に回答を求めない
- ・不信感・不安感を取り除くため、なるべく詳しく説明を続ける

調査の目的、大学が企画者、文部科学省の助成、社団法人が実務、謝礼品がある、全国調査である、過去に4回行われている、他の人では回答できない、対象者が選ばれた理由、プライバシーの保護、必要な時間、すべて答えなくてもよい、等々(依頼状や本紙の7ページなどを参照)

e) 謝礼品について

図書券は、面接・留置調査票の両方が完了してから渡す。ペンセットは、いつ渡してもよく、調査を進めやすいタイミングで手渡す。回収不能になった場合でも、渡したままでかまわない。

f) プライバシーへの配慮

対象者のプライバシー保護には、細心の注意が必要である。特に、対象者名簿が他人の目に触れないように気をつける（電話ボックスでの置き忘れなどがよく発生する）。また、誤って記入済みの調査票を他の対象者に手渡したりしないように注意する。

g) 間接的なコンタクトについて

伝言が正確に伝わらない人（幼児など）に、伝言を頼んではならない。また、家族の誰にも会わずに勝手にポストに調査票を入れて、調査をお願いしてはならない。

6. 面接調査の実施

調査への協力が承諾されたならば、面接調査票と留置調査票の両方に回答をしてもらう。状況に応じてどちらが先でもかまわないが、面接が先の方がスムーズなことが多い。

面接調査にあたっては、以下の点に注意する。

a) 対象者本人に依頼

必ず対象者本人に回答を依頼する。同性・同年代でも、他の人に依頼をしてはならない。

b) 調査員が記入

面接調査票は、調査員が質問文を読み上げ、調査員が回答を記入する。回答者に直接記入することをお願いしてはならない。

c) 質問文をそのまま読み上げる

調査員は、質問文をまず「そのまま」読み上げる。勝手に省略したり、言葉を補ったりしてはならない。ただし、文中の網がけ（）の部分は、調査員への注釈なので読み上げない。回答者から不明な点を尋ねられた場合には、注釈を参考にしながら対応する。

d) 回答票の使用

質問文の前に〔回答票 〕と書かれている場合は、その番号の回答票を相手に示し、その中から回答を選んでもらう。回答は回答票ではなく、調査票に記入する。

e) 補助用紙の使用

補助用紙は、問 25-2、問 26-2、問 28-2 のいずれかで回答欄が足りなくなった場合に使用する。使用した補助用紙は、支局番号・地点番号・対象番号を転記した上で、使用したページの間に挟んでおく。

f) 年齢の記入について

この調査ではすべて「9月1日現在の」年齢を尋ねているが、これは調査期間と誕生日が重なった場合に答えやすくするためであり、厳密に考えなくともよい。また、年齢がわかりにくい場合には、8ページの年齢早見表を参照する。

g) 産業・職業の記述について

いくつかの質問で、「働いている場所の事業」（産業）および「仕事の内容」（職業）の具体的な記入を求めている。産業と職業の記述は、後からコンピュータで分類コードをあてるので、特に記入に注意する。会社名のみでの記入では産業・職業の内容がわからないので不可。以下の点に注意してなるべく詳しく記入すること。

- ・産業は、「ガス管」など製品名のみでなく、「ガス管の製造」、「ガス管の販売」、「ガス管の修理」など事業の内容が、製造なのか、販売なのか、サービスなのかわかるようにする。
- ・職業は、「営業」や「建設」だけでなく、仕事の仕方や取り扱い製品がわかるようにする。例

例えば、「介護」のみでなく「介護福祉士の資格を持ち、特養で寝たきり老人を介護」など、「営業」のみでなく「化粧品を訪問販売する外勤の営業」や「電話で自然食品の注文を取る営業」など、「建設関係の仕事」でなく「コンクリート舗装作業」や「ショベルマシンの運転」など、「住宅設備」でなく「ビル空調の調整」などと記入する。

- ・楷書体で丁寧に書く（面接時に速記しても、後で書き直しておく）。
- ・単語はカタカナではなく漢字で記述する。  
（例）セイ産技術 生産技術、コセキジム 戸籍事務、ジキ 磁気、ソージ 掃除 など
- ・誤字・脱字に気をつけ、当て字や略語を使わない。
- ・「の」や「を」などの助詞にカタカナを使わない。  
（例）大学ノ教授 大学の教授、子供服ノ販売 子供服の販売 など
- ・「の」や「を」の代わりに「、」や「・」や空白などを使わない。  
（例）「公用車、運転業務」× 「公用車の運転業務」、  
「看護婦、市立病院」× 「市立病院の看護婦」 など

#### h) 面接調査後の記入

面接調査が終わった後には、最終ページの「調査員記入」欄を調査員が記入する。また、表紙の「回収状況」欄に印を付け、面接調査が完了した日付を記入する。

### 7. 留置調査票の回収

留置調査にあたっては、以下の点に注意する。

#### a) 対象者本人に依頼

面接調査票と同じく、必ず対象者本人に回答を依頼する。相手に手渡すときに、配偶者など他の家族が回答してはならないことを念押しする。

#### b) 調査員ではなく回答者自身が記入

留置調査票は、回答者に手渡し、回答者自身に記入をお願いする。ただし、目が不自由な場合などは、調査員が読み上げたり、記入したりしてもかまわない。

#### c) 回収の日時の約束

回答者に留置調査票を手渡す際には、いつごろまでに回答してもらえそうかを尋ね、回収のために再訪問する日時を約束する。必ず留置調査票の表紙に約束した日時を記入してから手渡す（記入していないと、ずさんな調査という印象をもたれることがある）。また、同じ日時を面接調査票の表紙にもメモし、忘れないようにしておく。当然であるが、約束の日時には必ず訪問する。

#### d) 回収時のチェック

回答済みの調査票を受け取った際には、その場で、以下のチェックを行う。

- ・「様、ご本人のお答えですね」
- ・「記入漏れがないか、パラパラと確認してもかまいませんか」  
「かまわない」 確認し回答がない項目があれば、記入漏れかノーコメントかを尋ねる。  
記入漏れの場合は、その場で記入してもらう。  
「見られたくない」 回答者本人に、記入漏れがないかもう一度確認してもらう。

#### e) 留置調査後の記入

面接調査票の表紙の「回収状況」欄に印を付け、日付を記入する。面接調査・留置調査の両方が完了したならば、対象者名簿の「対象番号」を印で囲む。

8. 調査不能の場合の手続き

どうしても面接・回収できない調査票が出た場合には、以下の手続きをとる。

- ・面接調査票の表紙にある「回収状況」欄に、面接不能/回収不能の印を付ける。
- ・面接調査票の2ページに、調査不能に関する状況を記入する。
- ・対象者名簿の「欠票 No」に、面接調査票の「調査不能の理由」から番号を転記する。
- ・対象者名簿の「対象番号」の上から×印を付ける。

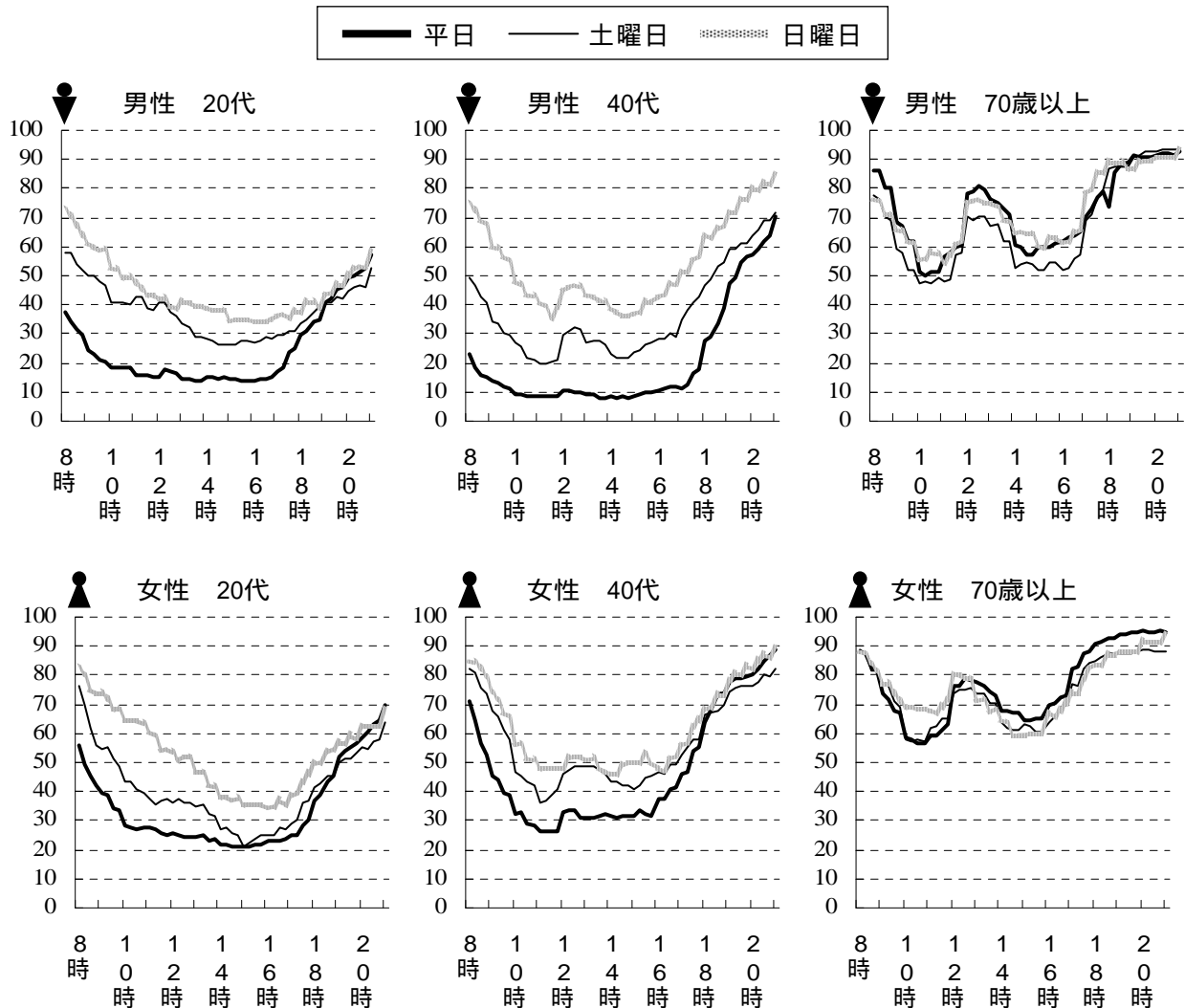
9. 調査結果の提出

全ての対象者の調査が完了したならば、以下の点に注意して調査結果を提出する。

- ・面接調査票 問 21 への回答を、調査票の表紙「婚姻状態 = D 欄」に転記する。
- ・対象者名簿の「対象番号」に 印か×印のいずれかが付いていることを確認する。
- ・1人の調査票を面接・留置の順でセットにした上で、対象番号順にそろえる。  
(調査不能であった対象者の調査票も、いっしょに並べて提出する)
- ・他の書類・物品一式といっしょにすべての調査票を提出する。

在宅率の情報

訪問の参考のために、時間帯による在宅率(%)の情報をのせておく(NHK 生活時間調査 2000 より)。ただし、地域差、個人差が大きいので、目安として参照すること。



対象者への説明例 …… この調査に関する質問があった場合の説明例

**Q.この調査の目的は？**

この調査は、世の中や日常生活に対する人びとの考え方や仕事についての実態などをアンケートの形で調査して、人びとの考え方や行動が年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究することを目的としています。

さらに、この調査を続けることにより（同じ人に繰り返して調査をすることはありません）人びとの意識が時代とともにどう変わっていくのかを時系列的に分析したり、外国で実施した調査と比較研究をする国際的な学術研究です。

**Q.依頼状に書いてある「文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト」とは？**

大阪商業大学の比較地域研究所と東京大学の社会科学研究所が、文部科学省の助成を受け日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする研究プロジェクトです。1999年から継続しています。

**Q.どうして私が選ばれたのか？**

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国からまんべんなく4,500人の回答者を選ばせていただきました。回答者は、全国の自治体の住民リスト（選挙人名簿または住民基本台帳）から何人おきという具合に、まったく無作為に選んでいます。お名前や住所などを漏らさないことなどを誓約し、許可を得て名簿を閲覧しています。

**Q.どんな人が何人くらい選ばれたのか？**

全国から307地点を選び、各地点から満20歳～89歳までの方を15名程度ずつ、あわせて4,500人を無作為に選びました。

**Q.どのくらい時間がかかるの？**

人によってさまざまですが、だいたい面接20分、留め置きに20分程度です。

**Q.家族や仕事のことを細かく聞くのはどうして？**

現代人の家庭の成り立ちや家族や仕事への思い、仕事の環境などを多角的に研究し、社会の問題点や改善点を探り出すことを目的にしています。私たちの子や孫たちに温かい家庭や暮らしやすい社会をつくる為に学術的に貢献しようとするものです。

**Q.プライバシーは守られるのか？**

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですから、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理として厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言うてはならないと定められています。

**Q.どうしても答えたくない質問は？**

どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあった場合、その質問には「答えたくない」(ノーコメント)とおっしゃってください。

**Q.調査の結果は発表するのか？**

調査実施から約1年半後には調査結果が統計的に発表され、研究参加者が論文や出版物にしたり、学術学会で発表したり、国内外の研究者とシンポジウムを行なっています。

（特に求められたら）調査に関する情報は、以下のホームページでご覧になれます。

JGSSのホームページ ..... <http://jgss.daishodai.ac.jp>

東京大学社会科学研究所 SSJ データ・アーカイブ ..... <http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/>

年齢早見表

年齢は、9月1日現在のものとするが、目安であり厳密でなくてよい。この表は、誕生日が1月1日～9月1日の場合の年齢を示している。誕生日が9月2日以降の場合は、年齢を1つ引くこと。

年号	西暦	干支		年齢	年号	西暦	干支		年齢	年号	西暦	干支		年齢
大正 4	1915	卯	うさぎ	90	昭和 20	1945	酉	とり	60	昭和 50	1975	卯	うさぎ	30
5	1916	辰	たつ	89	21	1946	戌	いぬ	59	51	1976	辰	たつ	29
6	1917	巳	へび	88	22	1947	亥	いのしし	58	52	1977	巳	へび	28
7	1918	午	うま	87	23	1948	子	ねずみ	57	53	1978	午	うま	27
8	1919	未	ひつじ	86	24	1949	丑	うし	56	54	1979	未	ひつじ	26
9	1920	申	さる	85	25	1950	寅	とら	55	55	1980	申	さる	25
10	1921	酉	とり	84	26	1951	卯	うさぎ	54	56	1981	酉	とり	24
11	1922	戌	いぬ	83	27	1952	辰	たつ	53	57	1982	戌	いぬ	23
12	1923	亥	いのしし	82	28	1953	巳	へび	52	58	1983	亥	いのしし	22
13	1924	子	ねずみ	81	29	1954	午	うま	51	59	1984	子	ねずみ	21
14	1925	丑	うし	80	30	1955	未	ひつじ	50	60	1985	丑	うし	20
15/元	1926	寅	とら	79	31	1956	申	さる	49	61	1986	寅	とら	19
昭和 2	1927	卯	うさぎ	78	32	1957	酉	とり	48	62	1987	卯	うさぎ	18
3	1928	辰	たつ	77	33	1958	戌	いぬ	47	63	1988	辰	たつ	17
4	1929	巳	へび	76	34	1959	亥	いのしし	46	64/元	1989	巳	へび	16
5	1930	午	うま	75	35	1960	子	ねずみ	45	平成 2	1990	午	うま	15
6	1931	未	ひつじ	74	36	1961	丑	うし	44	3	1991	未	ひつじ	14
7	1932	申	さる	73	37	1962	寅	とら	43	4	1992	申	さる	13
8	1933	酉	とり	72	38	1963	卯	うさぎ	42	5	1993	酉	とり	12
9	1934	戌	いぬ	71	39	1964	辰	たつ	41	6	1994	戌	いぬ	11
10	1935	亥	いのしし	70	40	1965	巳	へび	40	7	1995	亥	いのしし	10
11	1936	子	ねずみ	69	41	1966	午	うま	39	8	1996	子	ねずみ	9
12	1937	丑	うし	68	42	1967	未	ひつじ	38	9	1997	丑	うし	8
13	1938	寅	とら	67	43	1968	申	さる	37	10	1998	寅	とら	7
14	1939	卯	うさぎ	66	44	1969	酉	とり	36	11	1999	卯	うさぎ	6
15	1940	辰	たつ	65	45	1970	戌	いぬ	35	12	2000	辰	たつ	5
16	1941	巳	へび	64	46	1971	亥	いのしし	34	13	2001	巳	へび	4
17	1942	午	うま	63	47	1972	子	ねずみ	33	14	2002	午	うま	3
18	1943	未	ひつじ	62	48	1973	丑	うし	32	15	2003	未	ひつじ	2
19	1944	申	さる	61	49	1974	寅	とら	31	16	2004	申	さる	1



## 第6回 生活と意識についての国際比較調査

### 〔 調査要領 〕

2006年10月 (社)中央調査社

#### 1. 調査関係の書類・物品一覧

最初に、必要なものがすべてそろっていることを確認すること。

調査要領	本紙
対象者名簿	
面接調査票（ページユ）	
回答票	面接調査で使用
補助用紙（緑色）	面接調査で必要があれば使用
留置調査票 A（青色）	対象者名簿の指示通り使用
留置調査票 B（ふじ色）	対象者名簿の指示通り使用
郵送用依頼状（封書）	調査員が事前に対象者に郵送 500 円分の図書カード同封
持参用依頼状	訪問時に説明のために持参
図書カード 500 円分	謝礼品。調査完了時に対象者に手渡す
ペンセット	謝礼品。適時、対象者に手渡す
調査員記入票	精算のための情報を記入
調査員証明書	対象者から提示が求められることがある
その他	（何かあれば中央調査社が記入）

#### 2. この調査の特徴

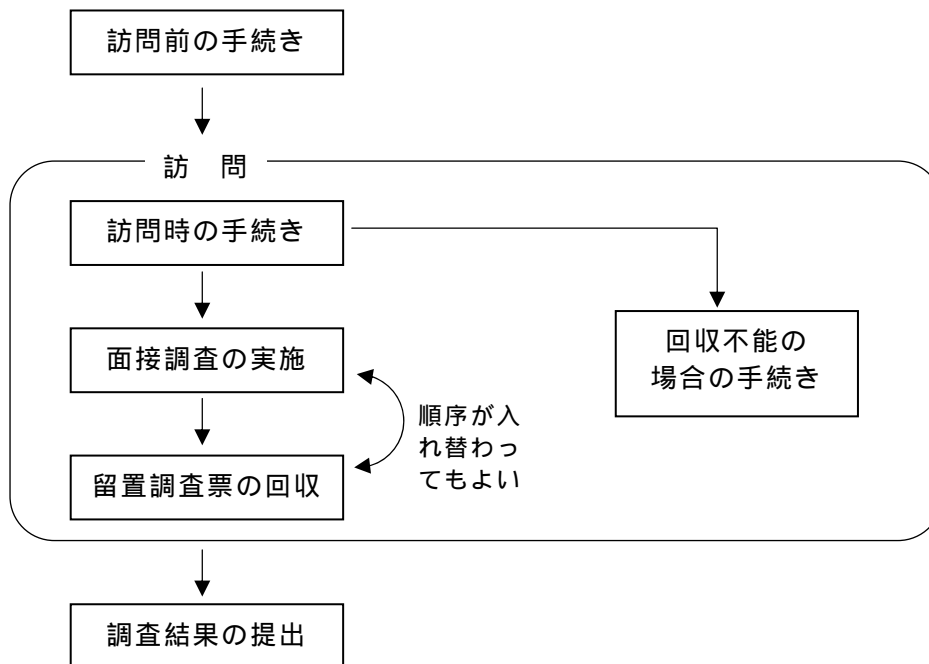
「生活と意識についての国際比較調査」は、正式名称を JGSS (Japanese General Social Surveys=日本版総合的社会調査) とし、過去に 5 回行なわれている継続調査である。社会科学の諸分野にわたる大学研究者たちが共同で行なっている学術調査であり、文部科学省からの助成を受けて実施されている。就業状況や家族関係、生活意識など生活全般に関して網羅的に調査しており、時系列分析や国際比較によって、広く現代日本の社会構造や意識構造を解明することを目的としている（対象者への説明は 8 ページ参照）。

調査の実施にあたって、特に以下の点については、他の調査と異なる場合が多いので、注意が必要である。他にも重要な点があるので、調査要領を隅々まで熟読し、間違いのないよう注意されたい。

- ・ 1 人の対象者が 2 つの調査票（面接調査票と留置調査票）に回答する。両方を完了しなければならない。
- ・ 留置調査票は、A 票と B 票の 2 種類がある。A 票・B 票のどちらを使うかは、回答者ごとに事前に決まっているので、対象者名簿の記載どおりに使用する。
- ・ 対象者への調査依頼状は、調査実施前に調査員が郵送する。この依頼状のなかには、500 円分の図書カードが既に同封されている。調査に協力してくれた回答者には、さらに 500 円分の図書カード（合計 1000 円分）を渡すこと。
- ・ どのような理由でも予備対象者との置き換えは行なわない（予備は用意していない）。

### 3. 調査の流れ

調査員は以下の流れで調査を実施する。



### 4. 訪問前の手続き

対象者の家を訪問する前に以下のことをすべて済ませておく。

#### a) 調査要領・調査票の確認

調査要領を隅々まで熟読し、頭に入れておく。また、調査票の内容を確認し、不明な点があれば事前に担当者に問い合わせる。また、今回の調査では、留置票が AB の 2 種類用意されている。対象者名簿に記載されている通りに留置票を用いる。

#### b) 対象者名簿の確認

対象者名簿に記入漏れや不明な点がないか、あらかじめ確認しておく。特に、年齢が 9 月 1 日現在のものになっていることを本紙 9 ページの「年齢早見表」で確認しておく。確認の上で、対象者名簿の指示に従い、必要な情報を調査票（面接と留置の両方）の表紙に記入しておく。また、「対象数」の欄には、留置票 AB のそれぞれの数が記載されている。留置票が数通りに配布されているか確認する。留置票 AB は、各調査地点の対象者に ABAB...（または BABA...）の順に、交互に振り分けられている。

#### c) 依頼状の郵送

すべての対象者にあらかじめ依頼状（封書）を郵送する（このなかには持参する 500 円分の図書カードとは別に、500 円分の図書カードが既に同封されている）。訪問を予告することで警戒をやわらげる意味があるので、必ず発送すること。発送の時期は、訪問の 2 週間ほど前がよいとされているが、調査員が状況に応じて判断する。早すぎても忘れられるのでよくない。



## 5. 訪問時の手続き

対象者の家を訪問する際には、以下の点に注意する。

### a) 対象者の家の確認

調査を効率よく進めるために、1日目になるべくすべての家を訪問し、位置を確認する。

### b) 訪問日時の記録

訪問をした際には、そのつど面接調査票の表紙に記録をとる。対象者本人と会えた後の訪問については、記録しないでよい。

(記入例)

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	9月 11日(日)	<del>午前</del> 午後 11時 15分頃	本人 家族のみ <del>不在</del>
2	9月 11日(日)	午前 <del>午後</del> 2時 00分頃	本人 <del>家族のみ</del> 不在
3	9月 12日(月)	午前 <del>午後</del> 3時 30分頃	<del>本人</del> 家族のみ 不在
4	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

本人と会えた際の訪問まで記録  
その後の記録は不要

### c) 訪問の打ち切りが認められる条件

できるかぎり、すべての対象者に会うように努力する。不在が多い場合も、会うことができるまで何度でも訪問する(7ページの「在宅率の情報」を参照)。

少なくとも、「その対象者を、4日以上にわたって訪問する」という条件を満たすまで、訪問を打ち切ってはならない(拒否された場合などは、もちろん訪問を打ち切る)。

「4回以上」ではなく「4日以上」であることに注意する。2回ずつ×2日=計4回訪問しても、2日でしかないので訪問を打ち切ってはならない(ただし、同じ日に2回以上訪問することを禁止するわけではない。むしろ、時間を変えて何度でも訪問することは望ましい)。

### d) 多くの対象者に協力してもらうために

対象者やその家族に会えた際には、調査の趣旨を理解してもらい、できるかぎり多くの方に協力をしてもらえるように努力する(ノルマはないが、逆にこれで十分という上限もない)。以下のような点に気をつける。

- ・事前に依頼状を送ったことを告げる(持参用依頼状: お願いの文書と説明のパンフレットの両方を見せながら)。
- ・調査員証を提示する。対象者へ郵送した事前の書面では、調査員証がどのようなものかを例示し、「十分に経験を積んだプロの調査員」が訪問すると書かれている。
- ・清潔な服装をこころがける(ただし、訪問販売と誤解されそうな服装は避ける)。
- ・ずさんな印象を持たれないよう、言動や態度を丁寧にする。
- ・協力してもらえるかどうか、性急に回答を求めない。
- ・不信感・不安感を取り除くため、なるべく詳しく説明を続ける。

調査の目的、大学が企画者、文部科学省の助成、社団法人が実務、謝礼品がある、全国調査である、過去に5回行われている、他の人では回答できない、対象者が選ばれた理由、プライバシーの保護、必要な時間、すべて答えなくてもよい、等々(依頼状・パンフレットや本紙の8ページなどを参照)

### e) 謝礼品について

持参した図書カードは、面接・留置調査票の両方が完了してから渡す。ペンセットは、いつ渡してもよく、調査を進めやすいタイミングで手渡す。回収不能になった場合でも、ペンセットは渡したままでかまわない。

f) プライバシーへの配慮

対象者のプライバシー保護には、細心の注意が必要である。特に、対象者名簿が他人の目に触れないように気をつける（電話ボックスでの置き忘れなどがよく発生する）。また、誤って記入済みの調査票を他の対象者に手渡したりしないように注意する。

g) 間接的なコンタクトについて

伝言が正確に伝わらない人（幼児など）に、伝言を頼んではならない。また、家族の誰にも会わずに勝手にポストに調査票を入れて、調査をお願いしてはならない。

6. 面接調査の実施

調査への協力が承諾されたならば、面接調査票と留置調査票の両方に回答をしてもらう。状況に応じてどちらが先でもかまわないが、面接が先の方がスムーズなことが多い。

面接調査にあたっては、以下の点に注意する。

a) 対象者本人に依頼

必ず対象者本人に回答を依頼する。同性・同年代でも、他の人に依頼をしてはならない。

b) 調査員が記入

面接調査票は、調査員が質問文を読み上げ、調査員が回答を記入する。回答者に直接記入することをお願いしてはならない。

c) 質問文をそのまま読み上げる

調査員は、質問文をまず「そのまま」読み上げる。勝手に省略したり、言葉を補ったりしてはならない。ただし、文中の網がけ（ ）の部分は、調査員への注釈なので読み上げない。回答者から不明な点を尋ねられた場合には、注釈を参考にしながら対応する。

d) 回答票の使用

質問文の前に〔回答票  〕と書かれている場合は、その番号の回答票を相手に示し、その中から回答を選んでもらう。回答は回答票ではなく、調査票に記入する。

e) 補助用紙の使用

補助用紙は、問 24-2（同居家族が 9 人以上の場合）、問 25-2（一時別居家族が 5 人以上の場合）、問 35 と問 36（子どもが 5 人以上の場合）のいずれかで回答欄が足りなくなった場合に使用する。使用した補助用紙は、支局番号・地点番号・対象番号を転記した上で、使用したページの間に挟んでおく。

f) 年齢の記入について

対象者本人の年齢は「9月1日現在の」年齢であるが、対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢は、9月1日現在の年齢ではなく、調査している時点の年齢を記入する。対象者が対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢を年号や西暦で答えた場合は、9 ページの年齢早見表（0 歳から 100 歳まで記載されている）を参照する。対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢は、対象者本人もはっきり覚えていないことが多いため、あまり厳密に考えることはない。

g) 産業・職業の記述について

いくつかの質問で、「働いている場所の事業」（産業）および「仕事の内容」（職業）の具体的な記入を求めている。産業と職業の記述は、後からコンピュータで分類コードをあてるので、特に記入に注意する。会社名のみでの記入では産業・職業の内容がわからないので不可。以下の点に注意してなるべく詳しく記入すること。

- ・産業は、「ガス管」など製品名のみでなく、「ガス管の製造」、「ガス管の販売」、「ガス管の修理」など事業の内容が、製造なのか、販売なのか、サービスなのかわかるようにする。
- ・職業は、「営業」や「建設」だけでなく、仕事の仕方や取り扱い製品がわかるようにする。例えば、「介護」のみでなく「介護福祉士の資格を持ち、特養で寝たきり老人を介護」など、「営業」のみでなく「化粧品を訪問販売する外勤の営業」や「電話で自然食品の注文を取る営業」など、「建設関係の仕事」でなく「コンクリート舗装作業」や「ショベルマシンの運転」など、「住宅設備」でなく「ビル空調の調整」などと記入する。
- ・職業の内容を詳しく聞くときには、特に、資格が必要な仕事かどうか注意到意する。例えば、「福祉関係の仕事」では資格が要るかどうか分からないので、「ケアマネージャー」「介護福祉士」「訪問介護の手伝い(資格はない)」などと、資格の有無を含めて、職業の内容を記述する。また、物を作る仕事の場合には、手作業で行う仕事なのか、機械を操作する仕事なのかを区別するように注意する。例えば、「人形作り」では手作業か機械操作かわからないので、「手作業で人形に色付けをする仕事」「人形の型に材料を流し込む機械の操作」というように詳しく記述する。
- ・楷書体で丁寧に書く(面接時に速記しても、後で書き直しておく)。
- ・単語はカタカナではなく漢字で記述する。  
(例)セイ産技術 生産技術、コセキジム 戸籍事務、ジキ 磁気、ソージ 掃除 など
- ・誤字・脱字に気をつけ、当て字や略語を使わない。
- ・「の」や「を」などの助詞にカタカナを使わない。  
(例)大学ノ教授 大学の教授、子供服ノ販売 子供服の販売 など
- ・「の」や「を」の代わりに「、」や「・」や空白などを使わない。  
(例)「公用車、運転業務」 「公用車の運転業務」  
「看護婦、市立病院」 「市立病院の看護婦」 など

#### h) 同居家族成員や親、子どもの設問について

今回の調査では、問 24-2、問 25-2、問 30、問 31、問 35、問 36 といった回答者の家族や親族の一人一人の情報を聞き取る設問が非常に多くなっている。これらの設問は、回答票の使用や、調査時間の短縮を考慮して、タテ方向(列方向=人単位)ではなく、ヨコ方向(行方向=設問単位)の順序で尋ねること。

#### i) 面接調査後の記入

面接票・留置 A 票・留置 B 票の表紙下部の D 欄には、面接票 問 15(婚姻状態)の回答と同じ数字に をつける。面接調査が終わった後には、最終ページの「調査員記入」欄を調査員が記入する。また、表紙の「回収状況」欄に印を付け、面接調査が完了した日付を記入する。

## 7. 留置調査票の回収

留置調査にあたっては、以下の点に注意する。

#### a) 対象者本人に依頼

面接調査票と同じく、必ず対象者本人に回答を依頼する。相手に手渡すときに、配偶者など他の家族が回答してはならないことを念押しする。

b) 調査員ではなく回答者自身が記入

留置調査票は、回答者に手渡し、回答者自身に記入をお願いする。ただし、目が不自由な場合などは、調査員が読み上げたり、記入したりしてもかまわない。

c) 回収の日時の約束

回答者に留置調査票を手渡す際には、いつごろまでに回答してもらえそうかを尋ね、回収のために再訪問する日時を約束する。必ず留置調査票の表紙に約束した日時を記入してから手渡す（記入していないと、ずさんな調査という印象をもたれることがある）。また、同じ日時を面接調査票の表紙にもメモし、忘れないようにしておく。当然であるが、約束の日時には必ず訪問する。

d) 回収時のチェック

回答済みの調査票を受け取った際には、その場で、以下のチェックを行う。

- ・「様、ご本人のお答えですね」
- ・「記入漏れがないか、パラパラと確認してもかまいませんか」
  - 「かまわない」 確認し回答がない項目があれば、記入漏れかノーコメントかを尋ねる。  
記入漏れの場合は、その場で記入してもらう。
  - 「見られたくない」 回答者本人に、記入漏れがないかも一度確認してもらう。
- ・この確認作業の際、今回の調査では次のことに特に注意する。面接票問 15 と留置 B 票 Q47 の設問（両方とも婚姻状態の設問）は同一である。この 2 つの設問で回答が異なることは重大な矛盾になる。留置 B 票回収時に面接票問 15 と留置 B 票 Q47 の回答が一致しているかを、留置 B 票の表紙「D 欄」で確認する。（問 15 と Q47 が 1-1（有配偶） 2-2（離別） 3-3（死別） 4-[回答なし]（未婚）のように対応しているかを確認する。問 15 が 5（別居中）や 6（同棲中）の場合は、どう対応していても構わない）不一致の場合は、回答者に修正を求めること。

e) 留置調査後の記入

面接調査票の表紙の「回収状況」欄に印を付け、日付を記入する。面接調査・留置調査の両方が完了したならば、対象者名簿の「対象番号」を印で囲む。

8. 調査不能の場合の手続き

どうしても面接・回収できない調査票が出た場合には、以下の手続きをとる。

- ・面接調査票の表紙にある「回収状況」欄の面接不能 / 回収不能に印を付ける。
- ・面接調査票の 2 ページ目に、調査不能に関する状況を記入する。
- ・対象者名簿の「欠票 No.」に、面接調査票の「調査不能の理由」から番号を転記する。
- ・対象者名簿の「対象番号」の上から×印を付ける。

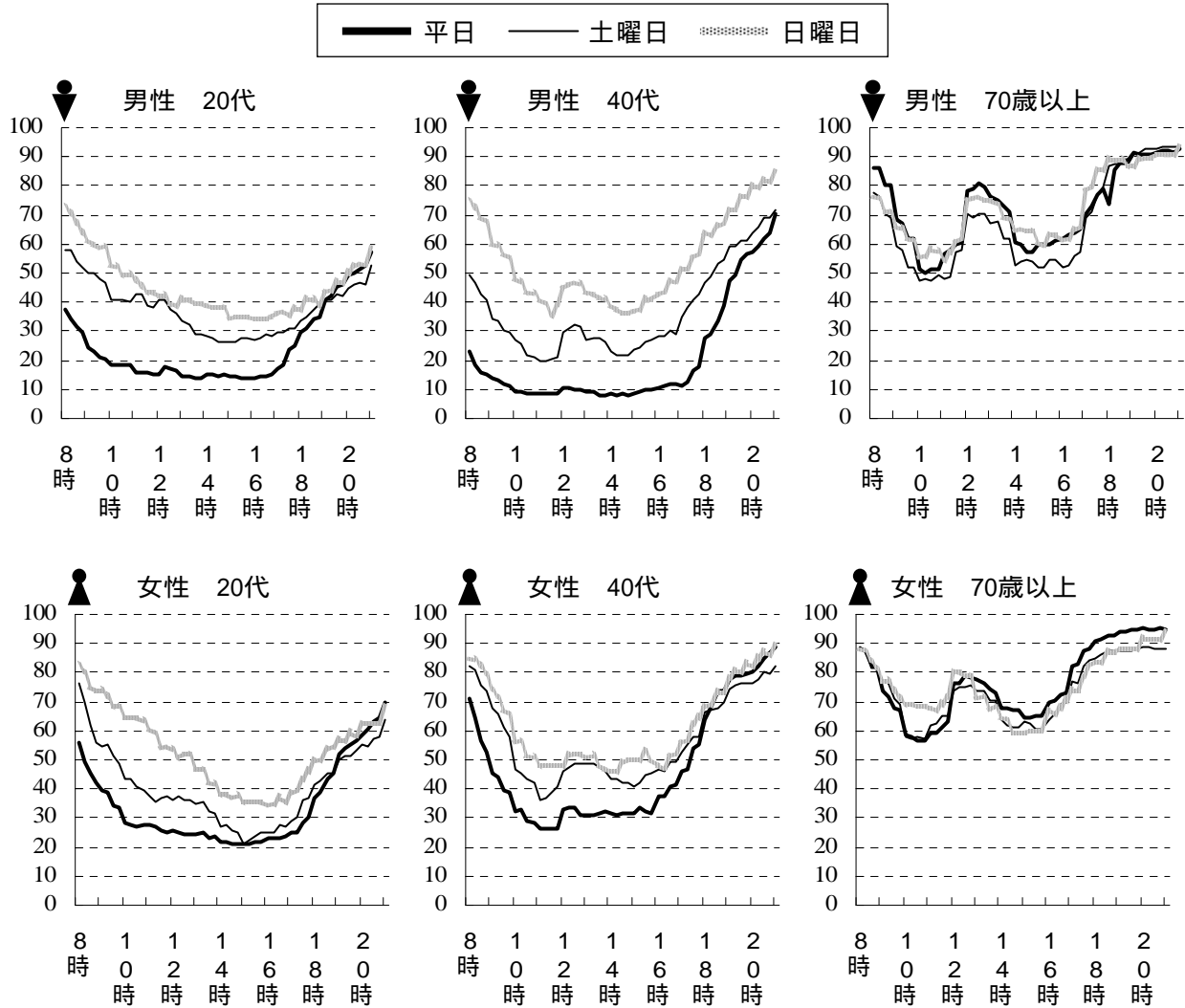
9. 調査結果の提出

全ての対象者の調査が完了したならば、以下の点に注意して調査結果を提出する。

- ・対象者名簿の「対象番号」に印か×印のいずれかが付いていることを確認する。
- ・1人の調査票を面接・留置の順でセットにした上で、対象番号順にそろえる。  
（調査不能であった対象者の調査票も、いっしょに並べて提出する）
- ・他の書類・物品一式といっしょにすべての調査票を提出する。

## 在宅率の情報

訪問の参考のために、時間帯による在宅率(%)の情報をのせておく(NHK 生活時間調査 2000 より)。ただし、地域差、個人差が大きいので、目安として参照すること。



## 対象者への説明例 …… この調査に関する質問があった場合の説明例

### Q. この調査の目的は？

この調査は、世の中や日常生活に対する人びとの考え方や仕事についての実態などをアンケートの形で調査して、人びとの考え方や行動が年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究することを目的としています。

さらに、この調査を続けることにより（同じ人に繰り返して調査をすることはありません）人びとの意識が時代とともにどう変わっていくのかを分析し、外国で実施した調査と比較研究をする国際的な学術研究です。皆様から得られた結果は、個人がまったく特定されないかたちのデータになり、様々な教育・研究・行政機関で活用されます。

### Q. 依頼状に書いてある「文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト」とは？

大阪商業大学の比較地域研究所と東京大学の社会科学研究所が、文部科学省の助成を受け日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする研究プロジェクトです。1999年から継続しています。

### Q. どうして私が選ばれたのか？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から約 500 地点を選び、さらにそれぞれの地点から 15 名を選ばせていただきました（合計で 8,000 人の回答者になります）。回答者は、全国の自治体の住民リスト（選挙人名簿または住民基本台帳）から何人おきという具合に、まったく無作為に選んでいます。お名前や住所などを漏らさないことなどを誓約し、厳正な審査を経たあと、法律に基づく許可を得て住民リストを閲覧しています。

### Q. どんな人が何人くらい選ばれたのか？

全国から約 500 地点を選び、各地点から満 20 歳～89 歳までの方を 15 名程度ずつ、あわせて 8,000 人を無作為に選びました。

### Q. どのくらい時間がかかるの？

人によってさまざまですが、だいたい面接 20 分、留め置きに 20 分程度です。

### Q. 家族や仕事のことを細かく聞くのはどうして？

現代人の家庭の成り立ちや家族や仕事への思い、仕事の環境などを多角的に研究し、社会の問題点や改善点を探り出すことを目的にしています。私たちの子や孫たちに温かい家庭や暮らしやすい社会をつくる為に学術的に貢献しようとするものです。

### Q. プライバシーは守られるのか？

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですから、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理として厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言ってはならないと定められています。

### Q. どうしても答えたくない質問は？

どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあった場合、その質問には「答えたくない」（ノーコメント）とおっしゃってください。

### Q. 調査の結果は発表するのか？

調査実施から約 1 年半後には調査結果が統計的に発表され、研究参加者が論文や出版物にしたり、学術学会で発表したり、国内外の研究者とシンポジウムを行なっています。

（特に求められたら）調査に関する情報は、以下のホームページでご覧になれます。

JGSS のホームページ ..... <http://jgss.daishodai.ac.jp>

東京大学社会科学研究所 SSJ データ・アーカイブ ..... <http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/>

### 年齢早見表（2006年版）

対象者本人の年齢は、9月1日現在のものとするが、目安であり厳密でなくてよい。この表は、誕生日が1月1日～9月1日の場合の年齢を示している。誕生日が9月2日以降の場合は、年齢を1つ引くこと。

また、面接票のなかでは、対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢も聞いている。対象者以外の人々の年齢は、9月1日現在の年齢ではなく、調査している時点の年齢を記入する。年号や西暦で答えた場合に、この表を参照すればよい。誕生日の月日まで答えた場合は、誕生日が調査時点以降の場合に、年齢を1つ引くこと。

年号	西暦	干支	年齢
明治 39	1906	午 うま	100
40	1907	未 ひつじ	99
41	1908	申 さる	98
42	1909	酉 とり	97
43	1910	戌 いぬ	96
44	1911	亥 いのしし	95
45/元	1912	子 ねずみ	94
大正 2	1913	丑 うし	93
3	1914	寅 とら	92
4	1915	卯 うさぎ	91
5	1916	辰 たつ	90
6	1917	巳 へび	89
7	1918	午 うま	88
8	1919	未 ひつじ	87
9	1920	申 さる	86
10	1921	酉 とり	85
11	1922	戌 いぬ	84
12	1923	亥 いのしし	83
13	1924	子 ねずみ	82
14	1925	丑 うし	81
15/元	1926	寅 とら	80
昭和 2	1927	卯 うさぎ	79
3	1928	辰 たつ	78
4	1929	巳 へび	77
5	1930	午 うま	76
6	1931	未 ひつじ	75
7	1932	申 さる	74
8	1933	酉 とり	73
9	1934	戌 いぬ	72
10	1935	亥 いのしし	71
11	1936	子 ねずみ	70
12	1937	丑 うし	69
13	1938	寅 とら	68
14	1939	卯 うさぎ	67

年号	西暦	干支	年齢
昭和 15	1940	辰 たつ	66
16	1941	巳 へび	65
17	1942	午 うま	64
18	1943	未 ひつじ	63
19	1944	申 さる	62
20	1945	酉 とり	61
21	1946	戌 いぬ	60
22	1947	亥 いのしし	59
23	1948	子 ねずみ	58
24	1949	丑 うし	57
25	1950	寅 とら	56
26	1951	卯 うさぎ	55
27	1952	辰 たつ	54
28	1953	巳 へび	53
29	1954	午 うま	52
30	1955	未 ひつじ	51
31	1956	申 さる	50
32	1957	酉 とり	49
33	1958	戌 いぬ	48
34	1959	亥 いのしし	47
35	1960	子 ねずみ	46
36	1961	丑 うし	45
37	1962	寅 とら	44
38	1963	卯 うさぎ	43
39	1964	辰 たつ	42
40	1965	巳 へび	41
41	1966	午 うま	40
42	1967	未 ひつじ	39
43	1968	申 さる	38
44	1969	酉 とり	37
45	1970	戌 いぬ	36
46	1971	亥 いのしし	35
47	1972	子 ねずみ	34
48	1973	丑 うし	33

年号	西暦	干支	年齢
昭和 49	1974	寅 とら	32
50	1975	卯 うさぎ	31
51	1976	辰 たつ	30
52	1977	巳 へび	29
53	1978	午 うま	28
54	1979	未 ひつじ	27
55	1980	申 さる	26
56	1981	酉 とり	25
57	1982	戌 いぬ	24
58	1983	亥 いのしし	23
59	1984	子 ねずみ	22
60	1985	丑 うし	21
61	1986	寅 とら	20
62	1987	卯 うさぎ	19
63	1988	辰 たつ	18
64/元	1989	巳 へび	17
平成 2	1990	午 うま	16
3	1991	未 ひつじ	15
4	1992	申 さる	14
5	1993	酉 とり	13
6	1994	戌 いぬ	12
7	1995	亥 いのしし	11
8	1996	子 ねずみ	10
9	1997	丑 うし	9
10	1998	寅 とら	8
11	1999	卯 うさぎ	7
12	2000	辰 たつ	6
13	2001	巳 へび	5
14	2002	午 うま	4
15	2003	未 ひつじ	3
16	2004	申 さる	2
17	2005	酉 とり	1
18	2006	戌 いぬ	0



## 第7回 生活と意識についての国際比較調査

### 〔調査要領〕

2008年10月 (社)中央調査社

#### 1. 調査関係の書類・物品一覧

最初に、必要なものがすべてそろっていることを確認すること。

調査要領	本紙
対象者名簿	
面接調査票（ページユ）	
回答票	面接調査で使用
補助用紙（緑色）	面接調査が必要があれば使用
留置調査票 A（青色）	対象者名簿の指示通り使用
留置調査票 B（ふじ色）	対象者名簿の指示通り使用
郵送用依頼状（封書）	調査員が事前に対象者に郵送 500 円分の図書カード同封
持参用依頼状	訪問時に説明のために持参
図書カード 500 円分	謝礼品。調査完了時に対象者に手渡す
ペンセット	謝礼品。適時、対象者に手渡す
調査員記入票	精算のための情報を記入
調査員証明書	対象者から提示が求められることがある
その他	（何かあれば中央調査社が記入）

#### 2. この調査の特徴

「生活と意識についての国際比較調査」（正式名称は Japanese General Social Surveys(JGSS)=日本版総合的社会調査)とし、文部科学大臣から指定を受けている大阪商業大学 JGSS 研究センターが実施している調査である。2000 年からの継続調査であり、過去に既に 6 回行なわれている。この社会調査は、社会科学の諸分野にわたる大学研究者たちが共同で行なっている。就業状況や家族関係、生活意識など生活全般に関して網羅的に調査しており、時系列分析や国際比較によって、広く現代日本の社会構造や意識構造を解明することを目的としている(対象者への説明は 8 ページ参照)。

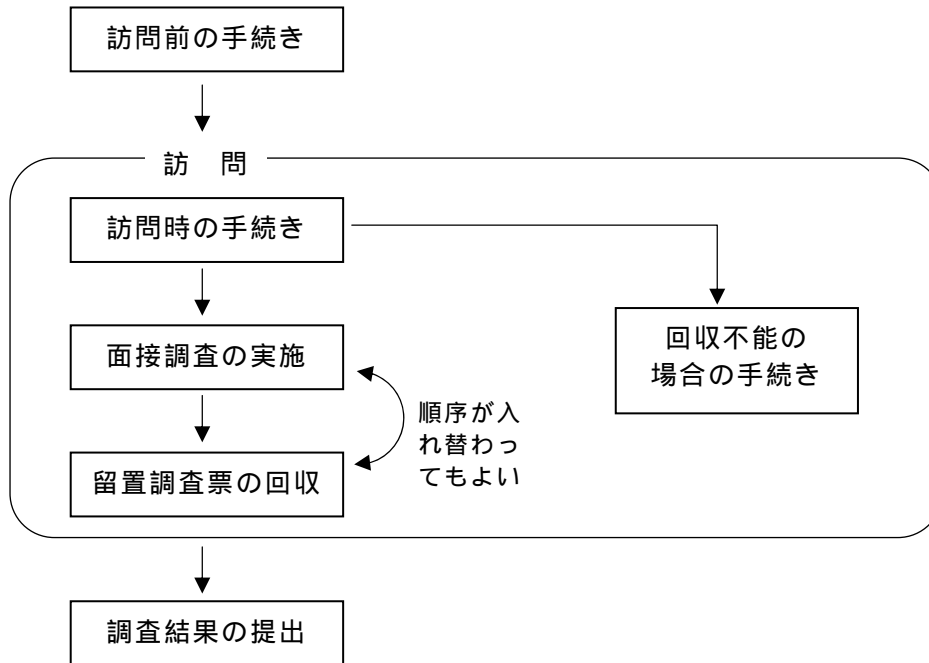
調査の実施にあたって、特に以下の点については、他の調査と異なる場合が多いので、注意が必要である。他にも重要な点があるので、調査要領を隅々まで熟読し、間違いのないよう注意されたい。

- ・1 人の対象者が 2 つの調査票（面接調査票と留置調査票）に回答する。両方を完了しなければならない。
- ・留置調査票は、A 票と B 票の 2 種類がある。A 票・B 票のどちらを使うかは、回答者ごとに事前に決まっているので、対象者名簿の記載どおりに使用する。
- ・対象者への調査依頼状は、調査実施前に調査員が郵送する。この依頼状のなかには、500 円分の図書カードが既に同封されている。調査に協力してくれた回答者には、さらに 500 円分の図書カード（合計 1000 円分）を渡すこと。
- ・どのような理由でも予備対象者との置き換えは行なわない（予備は用意していない）。



### 3. 調査の流れ

調査員は以下の流れで調査を実施する。



### 4. 訪問前の手続き

対象者の家を訪問する前に以下のことをすべて済ませておく。

#### a) 調査要領・調査票の確認

調査要領を隅々まで熟読し、頭に入れておく。また、調査票の内容を確認し、不明な点があれば事前に担当者に問い合わせる。また、今回の調査では、留置票が AB の 2 種類用意されている。対象者名簿に記載されている通りに留置票を用いる。

#### b) 対象者名簿の確認

対象者名簿に記入漏れや不明な点がないか、あらかじめ確認しておく。特に、年齢が 8 月 31 日現在のものになっていることを本紙 9 ページの「年齢早見表」で確認しておく。確認の上で、対象者名簿の指示に従い、必要な情報を調査票（面接と留置の両方）の表紙に記入しておく。また、「対象数」の欄には、留置票 AB のそれぞれの数が記載されている。留置票が数通りに配布されているか確認する。留置票 AB は、各調査地点の対象者に ABAB...（または BABA...）の順に、交互に振り分けられている。

#### c) 依頼状の郵送

すべての対象者にあらかじめ依頼状（封書）を郵送する（このなかには持参する 500 円分の図書カードとは別に、500 円分の図書カードが既に同封されている）。訪問を予告することで警戒をやわらげる意味があるので、必ず発送すること。発送の時期は、訪問の 2 週間ほど前がよいとされているが、調査員が状況に応じて判断する。早すぎても忘れられるのでよくない。

## 5. 訪問時の手続き

対象者の家を訪問する際には、以下の点に注意する。

### a) 対象者の家の確認

調査を効率よく進めるために、1日目になるべくすべての家を訪問し、位置を確認する。

### b) 訪問日時の記録

訪問をした際には、そのつど面接調査票の表紙に記録をとる。対象者本人と会えた後の訪問については、記録しないでよい。

(記入例)

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	9月 11日(日)	<del>午前</del> 午後 11時 15分頃	本人 家族のみ <del>不在</del>
2	9月 11日(日)	午前 <del>午後</del> 2時 00分頃	本人 <del>家族のみ</del> 不在
3	9月 12日(月)	午前 <del>午後</del> 3時 30分頃	<del>本人</del> 家族のみ 不在
4	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

本人と会えた際の訪問まで記録  
その後の記録は不要

### c) 訪問の打ち切りが認められる条件

できるかぎり、すべての対象者に会うように努力する。不在が多い場合も、会うことができるまで何度でも訪問する(7ページの「在宅率の情報」を参照)。

少なくとも、「その対象者を、4日以上にわたって訪問する」という条件を満たすまで、訪問を打ち切ってはならない(ただし、拒否された場合などは、もちろん訪問を打ち切る)。

「4回以上」ではなく「4日以上」であることに注意する。2回ずつ×2日=計4回訪問しても、2日でしかないので訪問を打ち切ってはならない(ただし、同じ日に2回以上訪問することを禁止するわけではない。むしろ、時間を変えて何度でも訪問することは望ましい)。

### d) 多くの対象者に協力してもらうために

対象者やその家族に会えた際には、調査の趣旨を理解してもらい、できるかぎり多くの方に協力をしてもらえるように努力する(ノルマはないが、逆にこれで十分という上限もない)。以下のような点に気をつける。

- ・事前に依頼状を送ったことを告げる(持参用依頼状: お願いの文書と説明のパンフレットの両方を見せながら)。
- ・調査員証を提示する。対象者へ郵送した事前の書面では、調査員証がどのようなものかを例示し、「十分に経験を積んだプロの調査員」が訪問すると書かれている。
- ・清潔な服装をこころがける(ただし、訪問販売と誤解されそうな服装は避ける)。
- ・ずさんな印象を持たれないよう、言動や態度を丁寧にする。
- ・協力してもらえるかどうか、性急に回答を求めない。
- ・不信感・不安感を取り除くため、なるべく詳しく説明を続ける。

調査の目的、大学が企画者、文部科学省の助成、社団法人が実務、謝礼品がある、全国調査である、過去に6回行われている、他の人では回答できない、対象者が選ばれた理由、プライバシーの保護、必要な時間、すべて答えなくてもよい、等々(依頼状・パンフレットや本紙の8ページなどを参照)

### e) 謝礼品について

持参した図書カードは、面接・留置調査票の両方が完了してから渡す。ペンセットは、いつ渡してもよく、調査を進めやすいタイミングで手渡す。回収不能になった場合でも、ペンセットは渡したままでもかまわない。

f) プライバシーへの配慮

対象者のプライバシー保護には、細心の注意が必要である。特に、対象者名簿が他人の目に触れないように気をつける（電話ボックスでの置き忘れなどがよく発生する）。また、誤って記入済みの調査票を他の対象者に手渡したりしないように注意する。

g) 間接的なコンタクトについて

伝言が正確に伝わらない人（幼児など）に、伝言を頼んではならない。また、家族の誰にも会わずに勝手にポストに調査票を入れて、調査をお願いしてはならない。

6. 面接調査の実施

調査への協力が承諾されたならば、面接調査票と留置調査票の両方に回答をしてもらう。状況に応じてどちらが先でもかまわないが、面接が先の方がスムーズなことが多い。

面接調査にあたっては、以下の点に注意する。

a) 対象者本人に依頼

必ず対象者本人に回答を依頼する。同性・同年代でも、他の人に依頼をしてはならない。

b) 調査員が記入

面接調査票は、調査員が質問文を読み上げ、調査員が回答を記入する。回答者に直接記入することをお願いしてはならない。

c) 質問文をそのまま読み上げる

調査員は、質問文をまず「そのまま」読み上げる。勝手に省略したり、言葉を補ったりしてはならない。ただし、文中の網がけ（）の部分は、調査員への注釈なので読み上げない。回答者から不明な点を尋ねられた場合には、注釈を参考にしながら対応する。

d) 回答票の使用

質問文の前に〔回答票  〕と書かれている場合は、その番号の回答票を相手に示し、その中から回答を選んでもらう。回答は回答票ではなく、調査票に記入する。

e) 補助用紙の使用

補助用紙は、問 32-2（子どもが 6 人以上の場合）、問 33-2（配偶者・両親・子ども以外の同居家族が 5 人以上の場合）、問 36-2（一時的に別居している家族が 5 人以上の場合）のいずれかで回答欄が足りなくなった場合に使用する。使用した補助用紙は、支局番号・地点番号・対象番号を転記した上で、使用したページの間に挟んでおく。

f) 年齢の記入について

対象者本人の年齢は「8 月 31 日現在の」年齢であるが、対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢は、8 月 31 日現在の年齢ではなく、調査している時点の年齢を記入する。対象者が対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢を年号や西暦で答えた場合は、9 ページの年齢早見表（0 歳から 100 歳まで記載されている）を参照する。対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢は、対象者本人もはっきり覚えていないことが多いため、あまり厳密に考えることはない。

g) 産業・職業の記述について

いくつかの質問で、「働いている場所の事業」（産業）および「仕事の内容」（職業）の具体的な記入を求めている。産業と職業の記述は、後からコンピュータで分類コードをあてるので、特に記入に注意する。会社名だけの記入では産業・職業の内容がわからないので不可。以下の点に注意してなるべく詳しく記入すること。

・産業は、「ガス管」など製品名のみでなく、「ガス管の製造」、「ガス管の販売」、「ガス管の修

理」など事業の内容が、製造なのか、販売なのか、サービスなのかわかるようにする。

- ・職業は、「営業」や「建設」だけでなく、仕事の仕方や取り扱い製品がわかるようにする。例えば、「介護」のみでなく「介護福祉士の資格を持ち、特養で寝たきり老人を介護」など、「営業」のみでなく「化粧品を訪問販売する外勤の営業」や「電話で自然食品の注文を取る営業」など、「建設関係の仕事」でなく「コンクリート舗装作業」や「ショベルマシンの運転」など、「住宅設備」でなく「ビル空調の調整」などと記入する。
- ・職業の内容を詳しく聞くとときには、特に、資格が必要な仕事かどうか注意する。例えば、「福祉関係の仕事」では資格が要るかどうか分からないので、「ケアマネージャー」「介護福祉士」「訪問介護の手伝い(資格はない)」などと、資格の有無を含めて、職業の内容を記述する。また、物を作る仕事の場合には、手作業で行う仕事なのか、機械を操作する仕事なのかを区別するように注意する。例えば、「人形作り」では手作業か機械操作かわからないので、「手作業で人形に色付けをする仕事」「人形の型に材料を流し込む機械の操作」というように詳しく記述する。
- ・楷書体で丁寧に書く(面接時に速記しても、後で書き直しておく)。
- ・単語はカタカナではなく漢字で記述する。  
(例)セイ産技術 生産技術、コセキジム 戸籍事務、ジキ 磁気、ソージ 掃除 など
- ・誤字・脱字に気をつけ、当て字や略語を使わない。
- ・「の」や「を」などの助詞にカタカナを使わない。  
(例)大学ノ教授 大学の教授、子供服ノ販売 子供服の販売 など
- ・「の」や「を」の代わりに「、」や「・」や空白などを使わない。  
(例)「公用車、運転業務」 「公用車の運転業務」  
「看護婦、市立病院」 「市立病院の看護婦」 など

#### h) 面接調査後の記入

面接票・留置 A 票・留置 B 票の表紙下部の D 欄には、面接票 問 19(婚姻状態)の回答と同じ数字に をつける。面接調査が終わった後には、最終ページの「調査員記入」欄を調査員が記入する。また、表紙の「回収状況」欄に印を付け、面接調査が完了した日付を記入する。

## 7. 留置調査票の回収

留置調査にあたっては、以下の点に注意する。

### a) 対象者本人に依頼

面接調査票と同じく、必ず対象者本人に回答を依頼する。相手に手渡すときに、配偶者など他の家族が回答してはならないことを念押しする。

### b) 調査員ではなく回答者自身が記入

留置調査票は、回答者に手渡し、回答者自身に記入をお願いする。ただし、目が不自由な場合などは、調査員が読み上げたり、記入したりしてもかまわない。

### c) 回収の日時の約束

回答者に留置調査票を手渡す際には、いつごろまでに回答してもらえそうかを尋ね、回収のために再訪問する日時を約束する。必ず留置調査票の表紙に約束した日時を記入してから手渡す(記入していないと、ずさんな調査という印象をもたれることがある)。また、同じ日時を面

面接調査票の表紙にもメモし、忘れないようにしておく。当然であるが、約束の日時には必ず訪問する。

d) 回収時のチェック

回答済みの調査票を受け取った際には、その場で、以下のチェックを行う。

- ・「様、ご本人のお答えですね」
- ・「記入漏れがないか、パラパラと確認してもかまいませんか」  
「かまわない」 確認し回答がない項目があれば、記入漏れかノーコメントかを尋ねる。  
記入漏れの場合は、その場で記入してもらう。  
「見られたくない」 回答者本人に、記入漏れがないかもう一度確認してもらう。

e) 留置調査後の記入

面接調査票の表紙の「回収状況」欄に印を付け、日付を記入する。面接調査・留置調査の両方が完了したならば、対象者名簿の「対象番号」を 印で囲む。

8. 調査不能の場合の手続き

どうしても面接・回収できない調査票が出た場合には、以下の手続きをとる。

- ・面接調査票の表紙にある「回収状況」欄の面接不能/回収不能に印を付ける。
- ・面接調査票の2ページ目に、調査不能に関する状況を記入する。
- ・対象者名簿の「欠票 No.」に、面接調査票の「調査不能の理由」から番号を転記する。
- ・対象者名簿の「対象番号」の上から×印を付ける。

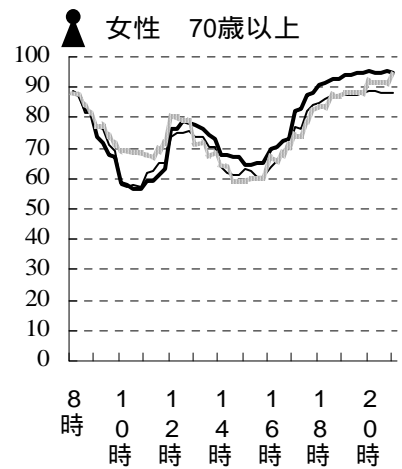
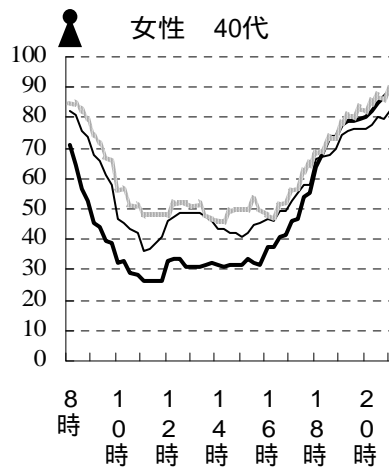
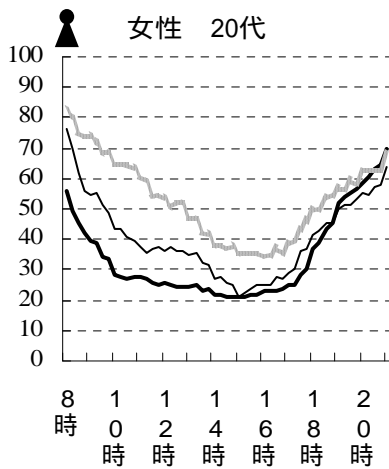
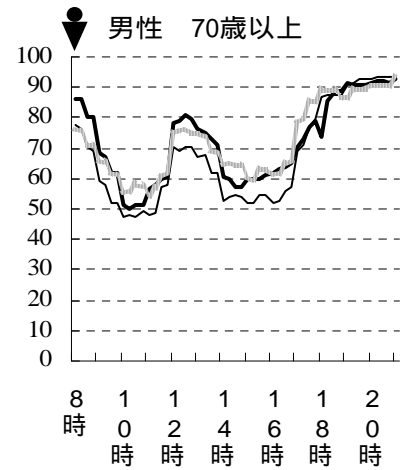
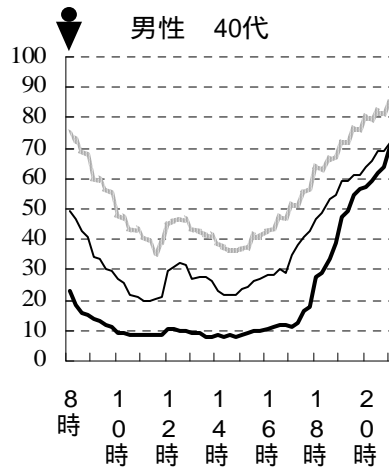
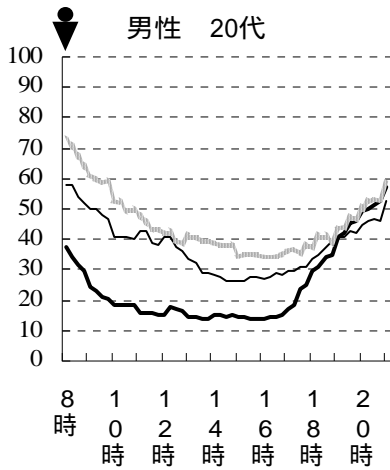
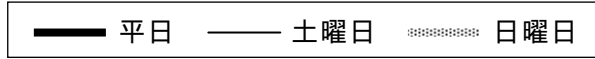
9. 調査結果の提出

全ての対象者の調査が完了したならば、以下の点に注意して調査結果を提出する。

- ・対象者名簿の「対象番号」に 印か×印のいずれかが付いていることを確認する。
  - ・1人の調査票を面接・留置の順でセットにした上で、対象番号順にそろえる。  
(調査不能であった対象者の調査票も、いっしょに並べて提出する)
  - ・他の書類・物品一式といっしょにすべての調査票を提出する。
-

## 在宅率の情報

訪問の参考のために、時間帯による在宅率(%)の情報をのせておく(NHK 生活時間調査 2000 より)。ただし、地域差、個人差が大きいので、目安として参照すること。



## 対象者への説明例 …… この調査に関する質問があった場合の説明例

### Q. この調査の目的は？

この調査は、世の中や日常生活に対する人びとの考え方や仕事についての実態などをアンケートの形で調査して、人びとの考え方や行動が年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究することを目的としています。

さらに、この調査を続けることにより（同じ人に繰り返して調査をすることはありません）、人びとの意識が時代とともにどう変わっていくのかを分析し、外国で実施した調査と比較研究をする国際的な学術研究です。皆様から得られた結果は、個人がまったく特定されないかたちのデータになり、様々な教育・研究・行政機関で活用されます。

### Q. 依頼状に書いてある「文部科学省指定 学術フロンティア推進拠点 研究プロジェクト」とは？

大阪商業大学の比較地域研究所と東京大学の社会科学研究所が、文部科学省の助成を受け日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする研究プロジェクトです。1999 年から継続しています。

### Q. どうして私が選ばれたのか？

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から約 530 地点を選び、さらにそれぞれの地点から 15 名を選ばせていただきました（合計で 8,000 人の回答者になります）。回答者は、全国の自治体の住民基本台帳から何人おきという具合に、まったく無作為に選んでいます。お名前や住所などを漏らさないことなどを誓約し、厳正な審査を経たあと、法律に基づく許可を得て住民基本台帳を閲覧しています。

### Q. どんな人が何人くらい選ばれたのか？

全国から約 530 地点を選び、各地点から満 20 歳～89 歳までの方を 15 名程度ずつ、あわせて 8,000 人を無作為に選びました。

### Q. どのくらい時間がかかるの？

人によってさまざまですが、だいたい面接 20 分、留め置きに 20 分程度です。

### Q. 家族や仕事のことを細かく聞くのはどうして？

現代人の家庭の成り立ちや家族や仕事への思い、仕事の環境などを多角的に研究し、社会の問題点や改善点を探り出すことを目的にしています。私たちの子や孫たちに温かい家庭や暮らしやすい社会をつくる為に学術的に貢献しようとするものです。

### Q. プライバシーは守られるのか？

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですから、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理として厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言ってはならないと定められています。

### Q. どうしても答えたくない質問は？

どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあった場合、その質問には「答えたくない」（ノーコメント）とおっしゃってください。

### Q. 調査の結果は発表するのか？

調査実施から約 1 年半後には調査結果が統計的に発表され、研究参加者が論文や出版物にしたり、学術学会で発表したり、国内外の研究者とシンポジウムを行なっています。

（特に求められたら）調査に関する情報は、以下のホームページでご覧になれます。

JGSS のホームページ ..... <http://jgss.dai.shodai.ac.jp>

東京大学社会科学研究所 SSJ データ・アーカイブ ..... <http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/>

年齢早見表 (2008 年版)

対象者本人の年齢は、8月31日現在のものとするが、目安であり厳密でなくてよい。この表は、誕生日が1月1日～8月31日の場合の年齢を示している。誕生日が9月1日以降の場合は、年齢を1つ引くこと。

また、面接票のなかでは、対象者以外の人(同居家族員や親、子ども等)の年齢も聞いている。対象者以外の人(同居家族員)の年齢は、8月31日現在の年齢ではなく、調査している時点の年齢を記入する。年号や西暦で答えた場合に、この表を参照すればよい。誕生日の月日まで答えた場合は、誕生日が調査時点以降の場合に、年齢を1つ引くこと。

年号	西暦	干支	年齢
明治 41	1908	申 さる	100
42	1909	酉 とり	99
43	1910	戌 いぬ	98
44	1911	亥 いのしし	97
45/大正元年	1912	子 ねずみ	96
大正 2	1913	丑 うし	95
3	1914	寅 とら	94
4	1915	卯 うさぎ	93
5	1916	辰 たつ	92
6	1917	巳 へび	91
7	1918	午 うま	90
8	1919	未 ひつじ	89
9	1920	申 さる	88
10	1921	酉 とり	87
11	1922	戌 いぬ	86
12	1923	亥 いのしし	85
13	1924	子 ねずみ	84
14	1925	丑 うし	83
15/昭和元年	1926	寅 とら	82
昭和 2	1927	卯 うさぎ	81
3	1928	辰 たつ	80
4	1929	巳 へび	79
5	1930	午 うま	78
6	1931	未 ひつじ	77
7	1932	申 さる	76
8	1933	酉 とり	75
9	1934	戌 いぬ	74
10	1935	亥 いのしし	73
11	1936	子 ねずみ	72
12	1937	丑 うし	71
13	1938	寅 とら	70
14	1939	卯 うさぎ	69
15	1940	辰 たつ	68
16	1941	巳 へび	67
17	1942	午 うま	66
18	1943	未 ひつじ	65
19	1944	申 さる	64
20	1945	酉 とり	63
21	1946	戌 いぬ	62
22	1947	亥 いのしし	61
23	1948	子 ねずみ	60
24	1949	丑 うし	59
25	1950	寅 とら	58
26	1951	卯 うさぎ	57
27	1952	辰 たつ	56
28	1953	巳 へび	55
29	1954	午 うま	54
30	1955	未 ひつじ	53
31	1956	申 さる	52
32	1957	酉 とり	51

年号	西暦	干支	年齢
昭和 33	1958	戌 いぬ	50
34	1959	亥 いのしし	49
35	1960	子 ねずみ	48
36	1961	丑 うし	47
37	1962	寅 とら	46
38	1963	卯 うさぎ	45
39	1964	辰 たつ	44
40	1965	巳 へび	43
41	1966	午 うま	42
42	1967	未 ひつじ	41
43	1968	申 さる	40
44	1969	酉 とり	39
45	1970	戌 いぬ	38
46	1971	亥 いのしし	37
47	1972	子 ねずみ	36
48	1973	丑 うし	35
49	1974	寅 とら	34
50	1975	卯 うさぎ	33
51	1976	辰 たつ	32
52	1977	巳 へび	31
53	1978	午 うま	30
54	1979	未 ひつじ	29
55	1980	申 さる	28
56	1981	酉 とり	27
57	1982	戌 いぬ	26
58	1983	亥 いのしし	25
59	1984	子 ねずみ	24
60	1985	丑 うし	23
61	1986	寅 とら	22
62	1987	卯 うさぎ	21
63	1988	辰 たつ	20
64/平成元年	1989	巳 へび	19
平成 2	1990	午 うま	18
3	1991	未 ひつじ	17
4	1992	申 さる	16
5	1993	酉 とり	15
6	1994	戌 いぬ	14
7	1995	亥 いのしし	13
8	1996	子 ねずみ	12
9	1997	丑 うし	11
10	1998	寅 とら	10
11	1999	卯 うさぎ	9
12	2000	辰 たつ	8
13	2001	巳 へび	7
14	2002	午 うま	6
15	2003	未 ひつじ	5
16	2004	申 さる	4
17	2005	酉 とり	3
18	2006	戌 いぬ	2
19	2007	亥 いのしし	1
20	2008	子 ねずみ	0





## 第 8 回 生活と意識についての国際比較調査

### 〔 調査要領 〕

2010 年 1 月 (社)中央調査社

#### 1. 調査関係の書類・物品一覧

最初に、必要なものがすべてそろっていることを確認すること。

調査要領	本紙
対象者名簿	
面接調査票 ( ページュ )	
回答票	面接調査で使用
補助用紙 ( 緑色 )	面接調査が必要があれば使用
留置調査票 a ( 青色 )	対象者名簿の指示通り使用
留置調査票 b ( 藤色 )	対象者名簿の指示通り使用
郵送用依頼状 ( 封書 )	調査員が事前に対象者に郵送 ( 500 円分の図書カード同封 )
持参用依頼状	訪問時に説明のために持参
図書カード 500 円分	謝礼品。調査完了時に対象者に手渡す
ペンセット	謝礼品。適時、対象者に手渡す
調査員記入票	精算のための情報を記入
調査員証明書	対象者から提示が求められることがある
その他	( 何かあれば中央調査社が記入 )

#### 2. この調査の特徴

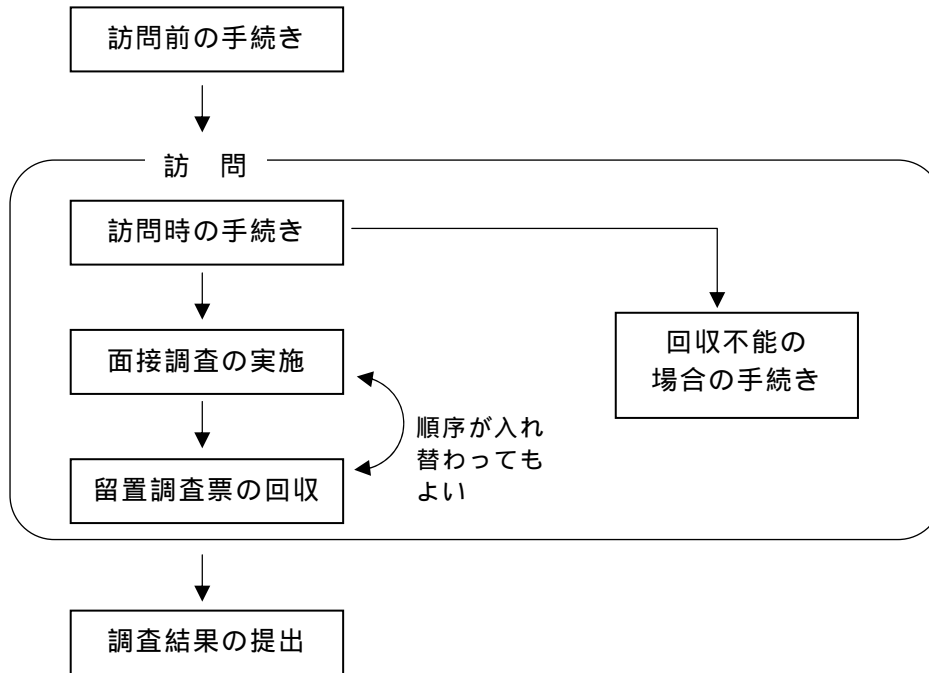
この調査は、文部科学大臣から「共同研究拠点」の指定を受けている大阪商業大学 JGSS 研究センターが実施している。研究協力機関として東京大学社会科学研究所が参加している。調査の名前は「生活と意識についての国際比較調査」(正式名称は Japanese General Social Surveys(JGSS)=日本版総合的社会調査)である。2000 年から継続して行なわれ、過去に 7 回実施されている。この調査は、社会科学諸分野の研究者が共同で行なっている。就業状況や家族関係、生活意識など生活全般に関して網羅的に尋ねており、時系列分析や国際比較によって、広く現代日本の社会構造や意識構造を解明することを目的としている(対象者への説明は 8 ページ参照)。

調査の実施にあたっては、以下の点について注意が必要である。他にも重要な点があるので、調査要領を隅々まで熟読し、間違いのないよう注意されたい。

- ・ 1 人の対象者が 2 つの調査票 ( 面接調査票と留置調査票 ) に回答する。両方を完了しなければならない。
- ・ 留置調査票は、a 票 ( 青色 ) と b 票 ( 藤色 ) の 2 種類がある。a 票・b 票のどちらを使うかは、回答者ごとに事前に決まっているので、対象者名簿の記載どおりに使用する。
- ・ 対象者名簿に記載されている a 票と b 票の区別と、手書きで記入する A ( 男性 ) と B ( 女性 ) の区別を混同しないように注意する。
- ・ 対象者への調査依頼状は、調査実施前に調査員が郵送する。この依頼状のなかには、500 円分の図書カードが同封されている。調査に協力してくれた回答者には、さらに 500 円分の図書カード ( 合計で 1,000 円分 ) を渡すこと。
- ・ どのような理由でも予備対象者との置き換えは行なわない ( 予備は用意していない )。

### 3. 調査の流れ

調査員は以下の流れで調査を実施する。



### 4. 訪問前の手続き

対象者の家を訪問する前に以下のことをすべて済ませておく。

#### a) 調査要領・調査票の確認

調査要領を隅々まで熟読し、頭に入れておく。また、調査票の内容を確認し、不明な点があれば事前に担当者に問い合わせる。また、今回の調査では、留置票が ab の 2 種類用意されている。対象者名簿に記載されている通りに留置票を用いる。

#### b) 対象者名簿の確認

対象者名簿に記入漏れや不明な点がないか、あらかじめ確認しておく。特に、年齢が 2009 年 12 月 31 日時点のものになっていることを本紙 9 ページの「年齢早見表」で確認しておく。確認の上で、対象者名簿の指示に従い、必要な情報を調査票（面接と留置の両方）の表紙に記入しておく。また、「対象数」の欄には、留置票 ab のそれぞれの数が記載されている。留置票が数通りに配布されているか確認する。留置票 ab は、各調査地点の対象者に abab...（または baba...）の順に、交互に振り分けられている。

#### c) 依頼状の郵送

すべての対象者にあらかじめ依頼状（封書）を郵送する（このなかには持参する 500 円分の図書カードとは別に、500 円分の図書カードが既に同封されている）。訪問を予告することで警戒をやわらげる意味があるので、必ず発送すること。発送の時期は、訪問の 2 週間ほど前がよいとされているが、調査員が状況に応じて判断する。早すぎても忘れられるのでよくない。

5. 訪問時の手続き

対象者の家を訪問する際には、以下の点に注意する。

a) 対象者の家の確認

調査を効率よく進めるために、1日目になるべくすべての家を訪問し、位置を確認する。

b) 訪問日時の記録

訪問をした際には、そのつど面接調査票の表紙に記録をとる。対象者本人と会えた後の訪問については、記録しないでよい。

(記入例)

	訪問日	訪問時間	話をした人
1	9月 11日(日)	<del>午前</del> 午後 11時 15分頃	本人 家族のみ <del>不在</del>
2	9月 11日(日)	午前 <del>午後</del> 2時 00分頃	本人 <del>家族のみ</del> 不在
3	9月 12日(月)	午前 <del>午後</del> 3時 30分頃	<del>本人</del> 家族のみ 不在
4	月 日( )	午前・午後 時 分頃	本人 家族のみ 不在

本人と会えた際の訪問まで記録  
その後の記録は不要

c) 訪問の打ち切りが認められる条件

できるかぎり、すべての対象者に会うように努力する。不在が多い場合も、会うことができるまで何度でも訪問する(7ページの「在宅率の情報」を参照)。

少なくとも、「その対象者を、4日以上にわたって訪問する」という条件を満たすまで、訪問を打ち切ってはならない(ただし、拒否された場合などは、もちろん訪問を打ち切る)。

「4回以上」ではなく「4日以上」であることに注意する。2回ずつ×2日=計4回訪問しても、2日でしかないので訪問を打ち切ってはならない(ただし、同じ日に2回以上訪問することを禁止するわけではない。むしろ、時間を変えて何度でも訪問することは望ましい)。

d) 多くの対象者に協力してもらうために

対象者やその家族に会えた際には、調査の趣旨を理解してもらい、できるかぎり多くの方に協力をしてもらえるように努力する(ノルマはないが、逆にこれで十分という上限もない)。以下のような点に気をつける。

- ・事前に依頼状を送ったことを告げる(持参用依頼状: お願いの文書と説明のパンフレットの両方を見せながら)
- ・調査員証を提示する。対象者へ郵送した事前の書面では、調査員証がどのようなものかを例示し、「十分に経験を積んだプロの調査員」が訪問すると書かれている。
- ・清潔な服装をこころがける(ただし、訪問販売と誤解されそうな服装は避ける)
- ・ずさんな印象を持たれないよう、言動や態度を丁寧にする。
- ・協力してもらえるかどうか、性急に回答を求めない。
- ・不信任・不安感を取り除くため、なるべく詳しく説明を続ける。

調査の目的、大学が企画者、文部科学省の助成、社団法人が実務、謝礼品がある、全国調査である、過去に7回行なわれている、他の人では回答できない、対象者は無作為に選ばれている、プライバシーの保護、調査にかかる時間、すべて答えなくてもよい、等々(依頼状・パンフレットや本紙の8ページなどを参照)

e) 謝礼品について

持参した図書カードは、面接・留置調査票の両方が完了してから渡す。ペンセットは、いつ渡してもよく、調査を進めやすいタイミングで手渡す。回収不能になった場合でも、ペンセットは渡したままでかまわない。

f) プライバシーへの配慮

対象者のプライバシー保護には、細心の注意が必要である。特に、対象者名簿が他人の目に触れないように気をつける（電話ボックスでの置き忘れなどがよく発生する）。また、誤って記入済みの調査票を他の対象者に手渡ししたりしないように注意する。

g) 間接的なコンタクトについて

伝言が正確に伝わらない人（幼児など）に、伝言を頼んではならない。また、家族の誰にも会わずに勝手にポストに調査票を入れて、調査をお願いしてはならない。

6. 面接調査の実施

調査への協力が承諾されたならば、面接調査票と留置調査票の両方に回答をしてもらう。状況に応じてどちらが先でもかまわないが、面接が先の方がスムーズなことが多い。

面接調査にあたっては、以下の点に注意する。

a) 対象者本人に依頼

必ず対象者本人に回答を依頼する。同性・同年代でも、他の人に依頼をしてはならない。

b) 調査員が記入

面接調査票は、調査員が質問文を読み上げ、調査員が回答を記入する。回答者に直接記入することをお願いしてはならない。

c) 質問文をそのまま読み上げる

調査員は、質問文をまず「そのまま」読み上げる。勝手に省略したり、言葉を補ったりしてはならない。ただし、文中の網がけ（）の部分は、調査員への注釈なので読み上げない。回答者から不明な点を尋ねられた場合には、注釈を参考にしながら対応する。

d) 回答票の使用

質問文の前に〔回答票 〕と書かれている場合は、その番号の回答票を相手に示し、その中から回答を選んでもらう。回答は回答票ではなく、調査票に記入する。

e) 補助用紙の使用

補助用紙は、問 31-1（子どもが 6 人以上の場合）、問 32-1（配偶者・両親・子ども以外の同居家族が 5 人以上の場合）、問 35-1（一時的に別居している家族が 5 人以上の場合）のいずれかで回答欄が足りなくなった場合に使用する。使用した補助用紙は、支局番号・地点番号・対象番号を転記した上で、使用したページの間挟んでおく。

f) 年齢の記入について

対象者本人の年齢は「12 月 31 日現在の」年齢であるが、対象者以外の人（配偶者、父母、子ども、同居家族員等）の年齢は、12 月 31 日現在の年齢ではなく、調査している時点の年齢を記入する。対象者が対象者以外の人（配偶者、父母、子ども、同居家族員等）の年齢を年号や西暦で答えた場合は、9 ページの年齢早見表（0 歳から 100 歳まで記載されている）を参照する。対象者以外の人（配偶者、父母、子ども、同居家族員等）の年齢は、対象者本人もはっきり覚えていないことが多いため、あまり厳密に考えることはない。

g) 産業・職業の記述について

いくつかの質問で、「働いている勤め先の事業」（産業）および「仕事の内容」（職業）の具体的な記入を求めている。産業と職業の記述は、後からコンピュータで分類コードをあてるので、特に記入に注意する。会社名のみでの記入では産業・職業の内容がわからないので不可。以下の点に注意してなるべく詳しく記入すること。

- ・産業は、「ガス管」など製品名のみでなく、「ガス管の製造」、「ガス管の販売」、「ガス管の修理」など事業の内容が、製造なのか、販売なのか、サービスなのかわかるようにする。
- ・職業は、「営業」や「建設」だけでなく、仕事の仕方や取り扱い製品がわかるようにする。例えば、「介護」のみでなく「介護福祉士の資格を持ち、特養で寝たきり老人を介護」など、「営業」のみでなく「化粧品を訪問販売する外勤の営業」や「電話で自然食品の注文を取る営業」など、「建設関係の仕事」でなく「コンクリート舗装作業」や「ショベルマシンの運転」など、「住宅設備」でなく「ビル空調の調整」などと記入する。
- ・職業の内容を詳しく聞くとときには、特に、資格が必要な仕事かどうか注意到する。例えば、「福祉関係の仕事」では資格が要るかどうか分からないので、「ケアマネージャー」「介護福祉士」「訪問介護の手伝い(資格はない)」などと、資格の有無を含めて、職業の内容を記述する。また、物を作る仕事の場合には、手作業で行なう仕事なのか、機械を操作する仕事なのかを区別するように注意する。例えば、「人形作り」では手作業か機械操作かわからないので、「手作業で人形に色付けをする仕事」「人形の型に材料を流し込む機械の操作」というように詳しく記述する。
- ・楷書体で丁寧に書く(面接時に速記しても、後で書き直しておく)。
- ・単語はカタカナではなく漢字で記述する。  
(例)セイ産技術 生産技術、コセキジム 戸籍事務、ジキ 磁気、ソージ 掃除 など
- ・誤字・脱字に気をつけ、当て字や略語を使わない。
- ・「の」や「を」などの助詞にカタカナを使わない。  
(例)大学ノ教授 大学の教授、子供服ノ販売 子供服の販売 など
- ・「の」や「を」の代わりに「、」や「・」や空白などを使わない。  
(例)「公用車、運転業務」 「公用車の運転業務」  
「看護婦、市立病院」 「市立病院の看護婦」など

#### h) 面接調査後の記入

面接票・留置 a 票・留置 b 票の表紙下部の D 欄には、面接票 問 18 (婚姻状態) の回答と同じ数字に をつける。面接調査が終わった後には、最終ページの「調査員記入」欄を調査員が記入する。また、表紙の「回収状況」欄に印を付け、面接調査が完了した日付を記入する。

### 7. 留置調査票の回収

留置調査にあたっては、以下の点に注意する。

#### a) 対象者本人に依頼

面接調査票と同じく、必ず対象者本人に回答を依頼する。相手に手渡すときに、配偶者など他の家族が回答してはならないことを念押しする。

#### b) 調査員ではなく回答者自身が記入

留置調査票は、回答者に手渡し、回答者自身に記入をお願いする。ただし、目が不自由な場合などは、調査員が読み上げたり、記入したりしてもかまわない。

#### c) 回収の日時の約束

回答者に留置調査票を手渡す際には、いつごろまでに回答してもらえそうかを尋ね、回収のために再訪問する日時を約束する。必ず留置調査票の表紙に約束した日時を記入してから手渡す(記入していないと、ずさんな調査という印象をもたれることがある)。また、同じ日時を面接調査票の表紙にもメモし、忘れないようにしておく。当然であるが、約束の日時には必ず訪問する。

d) 回収時のチェック

回答済みの調査票を受け取った際には、その場で、以下のチェックを行なう。

- ・「様、ご本人のお答えですね」
- ・「記入漏れがないか、パラパラと確認してもかまいませんか」  
「かまわない」 確認し回答がない項目があれば、記入漏れかノーコメントかを尋ねる。  
記入漏れの場合は、その場で記入してもらう。  
「見られたくない」 回答者本人に、記入漏れがないかも一度確認してもらう。

e) 留置調査後の記入

面接調査票の表紙の「回収状況」欄に印を付け、日付を記入する。面接調査・留置調査の両方が完了したならば、対象者名簿の「対象番号 (no)」を 印で囲む。

8. 調査不能の場合の手続き

どうしても面接・回収できない調査票が出た場合には、以下の手続きをとる。

- ・面接調査票の表紙にある「回収状況」欄の面接不能/回収不能に印を付ける。
- ・面接調査票の2ページ目に、調査不能に関する状況を記入する。
- ・対象者名簿の「欠票 No.」に、面接調査票の「調査不能の理由」から番号を転記する。
- ・対象者名簿の「対象番号 (no)」の上から×印を付ける。

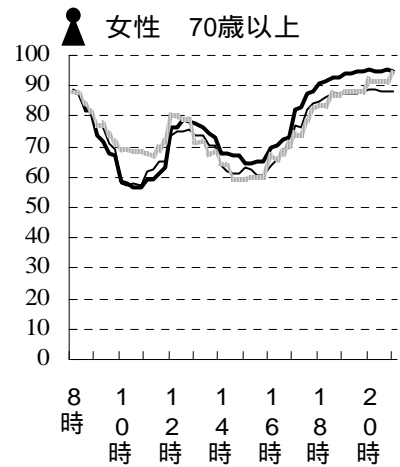
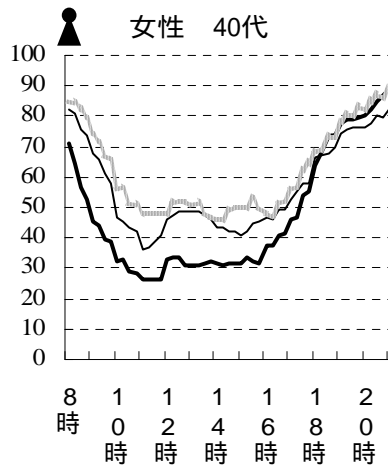
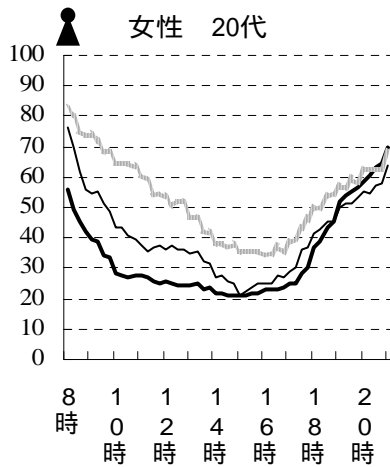
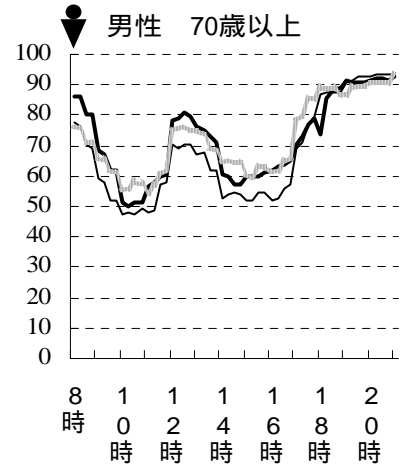
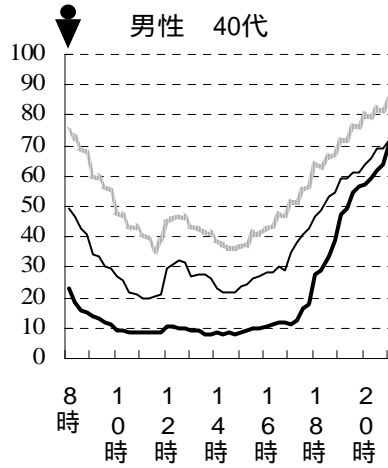
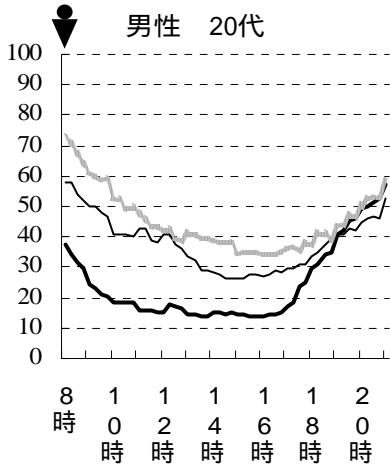
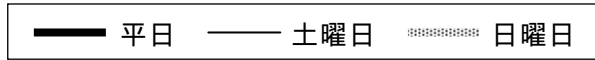
9. 調査結果の提出

全ての対象者の調査が完了したならば、以下の点に注意して調査結果を提出する。

- ・対象者名簿の「対象番号 (no)」に 印か×印のいずれかが付いていることを確認する。
  - ・1人の調査票を面接・留置の順でセットにした上で、対象番号順にそろえる。  
(調査不能であった対象者の調査票も、いっしょに並べて提出する)
  - ・他の書類・物品一式といっしょにすべての調査票を提出する。
-

## 在宅率の情報

訪問の参考のために、時間帯による在宅率(%)の情報をのせておく(NHK 生活時間調査 2000 より)。ただし、地域差、個人差が大きいので、目安として参照すること。



対象者への説明例 …… この調査に関する質問があった場合の説明例

**Q.この調査の目的は？**

この調査は、世の中や日常生活に対する人びとの考え方、健康状況、仕事についての実態などをアンケートの形で調査して、それらが年代や立場・環境によってどのように違うのかを統計的に研究することを目的としています。

さらに、この調査は、継続して実施することにより（同じ人に繰り返して調査をすることはありません）人びとの意識が時代とともにどう変わっていくのかを分析し、外国で実施した調査と比較研究をする国際的な学術調査です。皆様から得られた結果は、個人がまったく特定されないかたちのデータになり、様々な教育・研究・行政機関で活用されます。

**Q.依頼状に書いてある「文部科学大臣認定 日本版総合的社会調査」とは？**

大阪商業大学の JGSS 研究センターと東京大学の社会科学研究所が、文部科学省の助成を受け日本人の生活や意識について共同で調査・研究をして、多角的な分析をしようとする研究プロジェクトです。1999 年から継続しています。

**Q.どうして私が選ばれたのか？**

正確な統計を得るために、地域や性別、年齢がかたよらないように日本全国から約 600 地点を選び、さらにそれぞれの地点から 15 名を選ばせていただきました（合計で 9,000 人の回答者になります）。回答者は、全国の自治体の住民基本台帳から何人おきという具合に、まったく無作為に選んでいます。お名前や住所などを漏らさないことなどを誓約し、厳正な審査を経たあと、法律に基づく許可を得て住民基本台帳を閲覧しています。

**Q.どんな人が何人くらい選ばれたのか？**

全国から約 600 地点を選び、各地点から満 20 歳～89 歳までの方を 15 名程度ずつ、あわせて 9,000 人を無作為に選びました。

**Q.どのくらい時間がかかるの？**

人によってさまざまですが、だいたい面接 20 分、留め置きに 20 分程度です。

**Q.家族や仕事のことを細かく聞くのはどうして？**

現代人の家庭の成り立ちや家族や仕事への思い、仕事の環境などを多角的に研究し、社会の問題点や改善点を探り出すことを目的にしています。私たちの子や孫たちに温かい家庭や暮らしやすい社会をつくる為に学術的に貢献しようとするものです。

**Q.プライバシーは守られるのか？**

どんなことでもご本人にとっては大事なプライバシーですので、お答えを第三者に漏らしてはならないことを私たちの職業倫理として厳しく定められています。また、ほかに誰に答えていただいているかも言ってはならないと定められています。

**Q.どうしても答えたくない質問は？**

どの質問も重要で、ぜひともお答え願いたいのですが、どうしても答えたくないところがあった場合、その質問には「答えたくない」（ノーコメント）とおっしゃってください。

**Q.調査の結果は発表するのか？**

調査実施から約 2 年後には調査結果を発表し、論文や出版物として公表したり、学会で発表したり、国内外の研究者とシンポジウムを行ったりします。各新聞社にも分析結果を公表します。

（特に求められたら）調査に関する情報は、以下のホームページでご覧になれます。

JGSS 研究センター ..... <http://jgss.daishodai.ac.jp/>

東京大学社会科学研究所 SSJ データ・アーカイブ ..... <http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/>



年齢早見表（2009年版）

対象者本人の年齢は、12月31日現在のものとする。面接票のなかでは、対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢も尋ねている。対象者以外の人（同居家族員や親、子ども等）の年齢は、12月31日現在の年齢ではなく、調査している時点の年齢を記入する。年号や西暦で答えた場合に、この表を参照すればよい。

年号	西暦	干支	年齢
明治 42	1909	酉 とり	100
43	1910	戌 いぬ	99
44	1911	亥 いのしし	98
45/大正元年	1912	子 ねずみ	97
大正 2	1913	丑 うし	96
3	1914	寅 とら	95
4	1915	卯 うさぎ	94
5	1916	辰 たつ	93
6	1917	巳 へび	92
7	1918	午 うま	91
8	1919	未 ひつじ	90
9	1920	申 さる	89
10	1921	酉 とり	88
11	1922	戌 いぬ	87
12	1923	亥 いのしし	86
13	1924	子 ねずみ	85
14	1925	丑 うし	84
15/昭和元年	1926	寅 とら	83
昭和 2	1927	卯 うさぎ	82
3	1928	辰 たつ	81
4	1929	巳 へび	80
5	1930	午 うま	79
6	1931	未 ひつじ	78
7	1932	申 さる	77
8	1933	酉 とり	76
9	1934	戌 いぬ	75
10	1935	亥 いのしし	74
11	1936	子 ねずみ	73
12	1937	丑 うし	72
13	1938	寅 とら	71
14	1939	卯 うさぎ	70
15	1940	辰 たつ	69
16	1941	巳 へび	68
17	1942	午 うま	67
18	1943	未 ひつじ	66
19	1944	申 さる	65
20	1945	酉 とり	64
21	1946	戌 いぬ	63
22	1947	亥 いのしし	62
23	1948	子 ねずみ	61
24	1949	丑 うし	60
25	1950	寅 とら	59
26	1951	卯 うさぎ	58
27	1952	辰 たつ	57
28	1953	巳 へび	56
29	1954	午 うま	55
30	1955	未 ひつじ	54
31	1956	申 さる	53
32	1957	酉 とり	52
33	1958	戌 いぬ	51
34	1959	亥 いのしし	50

年号	西暦	干支	年齢
昭和 35	1960	子 ねずみ	49
36	1961	丑 うし	48
37	1962	寅 とら	47
38	1963	卯 うさぎ	46
39	1964	辰 たつ	45
40	1965	巳 へび	44
41	1966	午 うま	43
42	1967	未 ひつじ	42
43	1968	申 さる	41
44	1969	酉 とり	40
45	1970	戌 いぬ	39
46	1971	亥 いのしし	38
47	1972	子 ねずみ	37
48	1973	丑 うし	36
49	1974	寅 とら	35
50	1975	卯 うさぎ	34
51	1976	辰 たつ	33
52	1977	巳 へび	32
53	1978	午 うま	31
54	1979	未 ひつじ	30
55	1980	申 さる	29
56	1981	酉 とり	28
57	1982	戌 いぬ	27
58	1983	亥 いのしし	26
59	1984	子 ねずみ	25
60	1985	丑 うし	24
61	1986	寅 とら	23
62	1987	卯 うさぎ	22
63	1988	辰 たつ	21
64/平成元年	1989	巳 へび	20
平成 2	1990	午 うま	19
3	1991	未 ひつじ	18
4	1992	申 さる	17
5	1993	酉 とり	16
6	1994	戌 いぬ	15
7	1995	亥 いのしし	14
8	1996	子 ねずみ	13
9	1997	丑 うし	12
10	1998	寅 とら	11
11	1999	卯 うさぎ	10
12	2000	辰 たつ	9
13	2001	巳 へび	8
14	2002	午 うま	7
15	2003	未 ひつじ	6
16	2004	申 さる	5
17	2005	酉 とり	4
18	2006	戌 いぬ	3
19	2007	亥 いのしし	2
20	2008	子 ねずみ	1
21	2009	丑 うし	0







JGSS-2002 調査

生活と意識についての国際比較調査  
〔 欠票調査票 〕

調査員注：欠票調査票は、依頼状の郵送段階で転居、拒否が判明した分も含め、すべての欠票について作成すること。  
対象者名簿より支局・地点番号・対象番号などを転記する。

2002年10月 (社)中央調査社

支 局		地 点 番 号			対象番号		調 査 員 名		点 検 者	

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)

(8)(9)=15 (10)=skip

以下について、対象者名簿からを転記、または記述する。

1. 対象者 性別..... 1 男性 2 女性 (11)

2. 対象者 生年月日・年齢..... 対象者名簿から転記

1 大正   年   月   日生まれ   歳  
 2 昭和   年   月   日生まれ   歳  
 (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20)

3. 欠票理由..... 対象者名簿の【欄2】から転記  (21)

4. アタック状況番号..... 対象者名簿の【欄3】から転記  (正規対象ならば「0」を記入) (22)

5. 元対象番号..... 対象者名簿の【欄4】から転記   (23,24)

6. 欠票状況..... 対象者名簿の「欠票になった具体的状況」をさらに詳しく記述

.....

.....

.....

.....

7. 欠票決定日時 (24時間制で記入) ..... 対象者名簿から転記

欠票決定日時   月   日   時   分頃

(25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32)

8. 訪問回数 ..... 対象者名簿から転記  回 (33)

9. 最終接触状況

- 1 本人に会えた
- 2 家族に会えた
- 3 事前に電話・手紙で連絡があって欠票となった
- 4 誰にも会えなかった
- 5 その他 ( ) (34)

10. 欠票状態..... 1 面接・留置ともに欠票 2 面接のみ欠票 3 留置のみ欠票 (35)



JGSS-2003 調査

## 生活と意識についての国際比較調査

### 〔 欠 票 調 査 票 〕

調査員注：欠票調査票は、依頼状の郵送段階で転居、拒否が判明した分も含め、すべての欠票について作成すること。対象者名簿より支局・地点番号・対象番号などを転記する。

2003年10月 (社)中央調査社

支 局	地 点 番 号	対象番号	留置票の種類	調 査 員 名	点 検 者
			どちらかに A・B		

以下について、対象者名簿から転記、または記述する。

1. 対象者 性別 ..... 1 男性                    2 女性

2. 対象者 生年月日・年齢 ..... 対象者名簿から転記

〔 2 大正      年      月      日生まれ      歳  
3 昭和      年      月      日生まれ      歳

3. 欠票理由 ..... 対象者名簿の【欄2】から転記

4. アタック状況番号 ..... 対象者名簿の【欄3】から転記  (正規対象ならば「0」を記入)

5. 元対象番号 ..... 対象者名簿の【欄4】から転記

6. 欠票状況 ..... 対象者名簿の「欠票になった具体的状況」をさらに詳しく記述

.....

.....

.....

7. 欠票決定日時 (24時間制で記入) ..... 対象者名簿から転記

欠票決定日時   月      日      時      分頃

8. 訪問回数 ..... 対象者名簿から転記  回

9. 最終接触状況

- |                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| 1 本人に会えた                | 4 誰にも会えなかった                  |
| 2 家族に会えた                | 5 その他 (                    ) |
| 3 事前に電話・手紙で連絡があって欠票となった |                              |

10. 欠票状態 ..... 1 面接・留置ともに欠票                    2 面接のみ欠票                    3 留置のみ欠票

↓

「6. 欠票状況」に、一方しか回収できなかった理由を必ず記入する。  
また、回収できた一方の調査票は、参考資料として提出すること。

## .15 JGSS / EASS 関連の文献

各文献は以下、最大 2 分野まで内容を分類して掲載している。

1 JGSS プロジェクト	23 生活史・ライフコース
2 EASS プロジェクト	24 法律・制度
3 社会変動・トレンド	25 国際関係・異文化理解
4 社会集団・組織	26 国際比較
5 階級・階層・社会移動	28 高齢者・世代
6 家族	29 知識・科学
7 都市・農村・地域社会	30 余暇・スポーツ
9 地理	31 環境・エコロジー
10 政治・政策・政治意識	32 ネットワーク・社会関係資本
11 英語	33 ペット
12 労働・産業	34 市民活動・NPO・ボランティア
13 人口	35 幸福感・満足度
14 教育	36 ジェンダー
15 文化・宗教・道徳	37 結婚・離婚
16 社会心理・社会意識	38 分析法
17 マスメディア・IT	39 消費行動
18 社会病理・社会問題	40 女性の就業
19 医療・社会福祉・健康	
20 開発援助・国際協力	98 政府刊行物 / 白書など
21 社会調査 (抽出・測定・コーディング)	99 実習報告書
22 家計・所得	100 JGSS 出版物

### 1 JGSS プロジェクト

- 安藏伸治, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (5) GSS と JGSS を用いた分析例と課題」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』 p.23.
- 稲葉太一・岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (2) JGSS 第 2 回予備調査の回収率と欠票の分析」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.26.
- ISHIDA, Hiroshi, 1999, “Social Science Japan Data Archive and Japanese General Social Surveys,” Japan Sociologists Network Panel, 94th Annual Meeting of the American Sociological Association, Chicago.
- ISHIDA, Hiroshi, 2000, “Doing Social Science Research in Japan: Data Archives and Japanese General Social Surveys,” 4th Annual Asian Studies Conference Japan.
- 岩井紀子, 1999, 「日本版 GSS の第 1 回予備調査を用いた家族測定項目の検討」『第 9 回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.82-83.
- 岩井紀子, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (3) Split-Ballot による質問項目の検討」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』 p.21.
- 岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (1) JGSS 第 2 回予備調査の目的と方法」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』 p.25.
- 岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備データによる調査方法論上の検討—謝礼のタイミングの影響および Split-Ballot による質問項目の検討」『日本社会心理学会第 41 回大会発表論文集』 pp.118-119.
- 岩井紀子, 2000, 「日本の総合社会調査 Japanese General Social Surveys」佐藤博樹・石田浩・池田謙一編『社会調査の公開データ：2 次分析への招待』東京大学出版会, pp.83-87.
- 岩井紀子, 2000, 「<プロジェクト概要> 日本版 GSS の構想と経過報告—1999~2003 年度共同研究」『Milepost』第 3 号, pp.1-2.
- 岩井紀子, 2000, 「アメリカにおける公開データを利用した研究と教育の現状と JGSS データのもたらす可能性」SSJ データ・アーカイブ第 4 回公開セミナー『公開データを利用した研究と教育のあり方：データ・アーカイブと 2 次分析』(11 月 20 日; 東京大学社会科学研究所) SSJ Data Archive Research Paper Series 13 (SSJDA-13),

- 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.30-34.
- 岩井紀子, 2001, 「 < JGSS 発 > 第 1 回本調査 ( JGSS2000 ) の実施」『 Milepost 』 第 6 号, 大阪商業大学比較地域研究所, pp.5-6.
- 岩井紀子, 2001, 「 JGSS プロジェクトの紹介と予備調査の結果から」『 中央調査報 』 No.528, pp.1-4.
- IWAI, Noriko, 2003, “Research Designs for the JGSS,” Thematic Lecture Series on East Asia [Theme 1] Social Surveys in East Asia, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- IWAI, Noriko, 2003, “Japanese General Social Surveys: Beginning and Development” 大阪商業大学比較地域研究所編 『 JGSS 国際シンポジウム 2003 報告書 』 ( 2004 ) , pp.161-184.
- IWAI, Noriko, 2003, “Research Designs for the JGSS,” Thematic Lecture on Japanese and Korean Social Surveys, Institute of Sociology, Academic Sinica, Taiwan.
- 岩井紀子, 2004, “Japanese General Social Surveys: Beginning and Development, 4th edition” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『 日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動 』 pp.241-271.
- 岩井紀子, 2004, 「 JGSS プロジェクト ( 7 ) JGSS データの活用と展望」『 統計 』 4 月号, pp.53-56.
- IWAI, Noriko, 2004, “Japanese General Social Surveys: Beginning and Development,” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences [ed.], 36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts ( Papers Presented in Sessions ), pp.82-83.
- IWAI, Noriko, 2004, “Japanese General Social Survey: Beginning and Development,” ZA ( Zentralarchiv für Empirische Sozialforschung an der Universität zu Köln ) - Information No.55, pp.99-113.
- IWAI, Noriko, 2005, “On East Asian Social Surveys” 大阪商業大学比較地域研究所編 『 JGSS Colloquium 2005 報告書 』 pp.25-29.
- 岩井紀子, 2006, 「 Japanese General Social Surveys ( JGSS ) の取り組みと最近の成果の紹介」第 326 回関西社会心理学研究会 ( 5 月 20 日, 大阪商業大学 ) .
- 岩井紀子, 2010, 「日本の家族の変化とこれから— JGSS-2000 ~ 2010 からみた家族の現状と変化—」『 第 20 回日本家族社会学大会報告要旨 』 pp.144-145.
- 岩井紀子, 2010, 「日本の全国調査の系譜— JGSS ( 日本版総合的社会調査 ) —」社会調査協会特別シンポジウム ( 11 月 14 日, 如水会館 ) .
- 岩井紀子, 2011, 「 JGSS-2000 ~ 2010 からみた家族の現状と変化」『 家族社会学研究 』 Vol.23 No.1, pp.30-42.
- 岩井紀子, 2011, 「社会調査とデータ・アーカイブ: 公開調査データの作成と寄託— JGSS ( 日本版総合的社会調査 ) の経験—」『 第 62 回関西社会学大会報告要旨集 』 p.78.
- 岩井紀子, 2011, 「長期継続調査の現状と課題 JGSS ( 日本版総合的社会調査 ) の経験」2011 年度日本世論調査協会研究大会 ( 11 月 11 日, 中央大学駿河台記念館 ) .
- 岩井紀子, 2012, 「 Column : JGSS ( Japanese General Social Surveys 日本版総合的社会調査 ) 」金井雅之・小林盾・渡邊大輔編 『 社会調査の応用 量的調査編: 社会調査士 E・G 科目対応 』 弘文堂, 69p.
- 김현성 ( KIM, Hyun Sung ), 2010, 「실증적 일본연구와 일본관 종합사회조사 ( JGSS ) ( Empirical Japan Study and Japanese General Social Surveys )」『 일본학연구 ( Japanese Studies ) 』 第 29 集, pp.159-177. ( 韓国語 )
- 木村雅文, 1999, 「日本版 General Social Surveys ( JGSS ) の調査方法論上の問題について ( 2 ) JGSS 予備調査の目的と方法」『 第 72 回日本社会学大会報告要旨 』 p.20.
- 小林盾, 2010, 「 ( 小特集 社会調査教育をめぐって ) 社会学と社会調査教育: 日本社会学大会シンポジウムより」『 社会と調査 』 No.4, pp.52-60.
- KOJIMA, Hiroshi, 2001, “The Development of the Japanese General Social Surveys and Its Relevance to Korea,” The Academy of Korean Studies Colloquium, Seoul, Korea.
- 中尾啓子, 1999, 「日本版 General Social Surveys ( JGSS ) の調査方法論上の問題について ( 4 ) 国際比較上の問題点 ( GSS との比較 )」『 第 72 回日本社会学大会報告要旨 』 p.22.
- 大井方子, 2000, 「日本版 General Social Surveys ( JGSS ) の調査方法論上の問題について ( 5 ) 情報化と所得格差と学校教育: JGSS データを用いて」『 第 73 回日本社会学大会報告要旨 』 p.29.
- 大澤美苗, 2004, 「 JGSS プロジェクト ( 5 ) 海外の社会調査: 米国とオーストラリア」『 統計 』 2 月号, pp.52-59.
- 大澤美苗, 2004, 「 JGSS プロジェクト ( 6 ) 海外の社会調査: 韓国・中国・台湾」『 統計 』 3 月号, pp.55-61.
- 大澤美苗, 2004, 「 JGSS 国際シンポジウム 2003 報告」『 Milepost 』 第 11 号, pp.9-11.
- 大澤美苗, 2004, 「 JGSS の表彰<報告>」『 Milepost 』 第 11 号, p.12.
- 大澤美苗, 2005, 「第 2 期 JGSS プロジェクトの構想」『 Milepost 』 第 13 号, pp.1-2.
- 佐藤博樹, 1999, 「日本版 General Social Surveys ( JGSS ) の調査方法論上の問題について ( 1 ) JGSS の目的と意義」『 第 72 回日本社会学大会報告要旨 』 p.19.
- SATO, Hiroki, 2000, “The Japanese General Social Survey: Aims and Rational,” Social Science Japan, No.19, Institute of

- Social Science, The University of Tokyo, pp.27-29.
- 佐藤博樹, 2000, 「データアーカイブと『実証的』な社会科学研究」『ESTRELA』(6月), pp.2-6.
- 佐藤博樹, 2001, 「日本版 GSS と社会科学研究」『よろん・日本世論調査協会報』87号, pp.5-9.
- 佐藤博樹, 2003, 「JGSS の授業への利用: 日本社会学会での報告・議論を参考に」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.233-236.
- 佐藤朋彦・佐藤博樹, 2006, 「データアーカイブの役割と SSJ データアーカイブの現状: 実証研究における再現性を担保するために」『日本労働研究雑誌』pp.42-54.
- 嶋崎尚子, 2006, 「社会調査教育におけるデータアーカイブの活用—JGSS 2次分析演習の事例—」『ESTRELA』2006年6月(No.147), pp.10-13.
- 清水誠, 2001, 「JGSS 第1回本調査における比推定の試み」『第74回日本社会学会大会報告要旨』p.193.
- SMITH, Tom W., KIM, Jibum, KOCH, Achim, and PARK, Alison, 2005, “Social-Science Research And The General Social Surveys,” Zentrum für Umfrage, Methoden und Analysen (ZUMA), ZUMA-Nachrichten, 56, pp.68-77.
- 杉田陽出・岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について(3) Split-Ballot による質問項目の検討」『第73回日本社会学会大会報告要旨』p.27.
- 高橋和子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について(4) 産業・職業コーディング自動化支援システム」『第73回日本社会学会大会報告要旨』p.28.
- 谷岡一郎, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) 計画の進捗状況報告と今後の発展可能性について」『日本犯罪社会学会第27回大会報告要旨集』pp.59-61.
- 谷岡一郎, 2008, 「Column 「世界の調査/日本の調査」JGSS (日本版総合的社会調査)—開始から10年を経て」社会調査士資格認定機構編『社会と調査』創刊号, 有斐閣, pp.108.
- 谷岡一郎・岩井紀子, 2003, 「JGSS プロジェクト(1) 誕生とその背景」『統計』10月号, pp.47-54.
- 谷岡一郎・岩井紀子, 2005, 「国際比較可能なマイクロデータの提供を目指して—JGSS プロジェクトの意義と課題—」『ESP (Economy Society Policy)』3月号, pp.68-74.
- 谷岡一郎・岩井紀子, 2008, 「調査紹介 JGSS: 日本版総合的社会調査—開始から10年を経て—」『よろん・日本世論調査協会報』101号, pp.65-73.
- 轟亮・杉野勇編著, 2010, 『入門・社会調査法 2ステップで基礎から学ぶ』法律文化社, 235p.
- 保田時男, 2006, 「反復横断調査としての JGSS の意義—調査間隔の短さがもつ利点」早稲田社会学会編『社会学年誌』47号, pp.19-33.
- 保田時男・宍戸邦章・岩井紀子・都村聞人, 2007, 「回収率はなぜ向上したのか: JGSS-2005 と 2006 の比較」『第80回日本社会学会大会報告要旨集』p.30.

## 2 EASS プロジェクト

- BIAN, Yanjie (邊燕杰), and LI, Lulu (李路路), 2007, “CGSS Pretest Results of 2008 EASS Globalization Module” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』pp.139-141.
- 曹陽・柴田由己・岩井紀子, 2011, 「East Asian Social Survey 2012 Network Social Capital Module の作成—日韓中台によるプリテスト調査票の作成—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.219-257.
- 張晉芬(CHANG, Chin-fen)・張翰璧(CHANG, Han-pi), 2009, 「台湾人の多元文化觀與實踐(Multiculturalism in Taiwan: From Concept to Practice)」『台灣社會變遷基本調查第十四次研討會暨 2009 東亞社會調查研討會 會議論文集(Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium)』(11月18日, 中央研究院社會學研究所, 台北).
- CHANG, Chin-fen (張晉芬), and CHEN, Mei-hua (陳美華), 2009, “Sex Tourism by Taiwanese: Where Did They Go and Who Are They?,” Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- CHEN, Chao-Nan, 2007, “The Impact of Household Distance on Intergenerational Support Exchanges in Taiwan” 台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会学研究所, 台北.
- CHEN, Duan-Rung, 2008, “Obesity, Socioeconomic Inequality, and Spatial Dependence in Taiwan,” presented at KGSS-EASS Conference ‘Family and Social Life in East Asia,’ Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- 鄭麗珍(CHENG, Lai-Chun), 2007, 「不同婚姻狀態對代間支持交換的影響(Effect of Marital Status on Exchange of Intergenerational Support)」台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会学研究所, 台北.
- CHEN, Yu-Hua, 2007, “Cohort and Age Effects on Marriage” 台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会学研究所, 台北.
- East Asian Social Survey Data Archive, 2010, EASSDA newsletter, November 2010 Vol.1.



- East Asian Social Survey Data Archive, 2011, EASSDA newsletter, November 2011 Vol.2.
- 榎木美樹, 2008, 「EASS 2008 Culture Module の作成—JGSS によるプリテストの結果を中心に—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集 [7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.195-232.
- ENOKI, Miki, and IWAI, Noriko, 2007, “Pretest Results of EASS 2008 Culture Module and Proposed Changes by JGSS” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.115-132.
- EUN, Ki-Soo, 2007, “Direct and Indirect Contacts between Family Members in Korea:A Preliminary Analysis of the Korean General Social Survey 2006 Data” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.41-57.
- EUN, Ki-Soo, 2007, “Are There ‘Asian’ Family Values in Korea? An Exploratory Study,” presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- GOBO, Giampietro, 2010, “La Globalizzazione Della Survey: Storia, Limiti e Opportunità,” Studi di Sociologia Vol.48 3/4, pp.251-273.
- HAN, Gyounghae, and KIM, Sang-Wook, 2007, “Intergenerational Relationships in Korean Families:Lineage Differences,” presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- HAN, Gyounghae, and KIM, Sang-Wook, 2007, “Intergenerational Relationships in Korea;Lineage Differences” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.1-22.
- HAN, Gyounghae, LEE, Yoon-Seo, and KIM, Sang-Wook, 2008, “From Patrilineal to Bilateral?: Intergenerational Relationship in Korea,” presented at KGSS-EASS Conference ‘Family and Social Life in East Asia,’ Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- 埴淵知哉, 2009, 「EASS 2010 Health Module の作成—JGSS によるプリテストの結果を中心に—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』 pp.211-242.
- IWAI, Noriko, 2011, “EASS project, outline of the survey methods and its overall results,” ISA RC06 (CFR) Workshop, September 13, Kyoto.
- KIM, Sang-Wook, 2006, “Intergenerational Support Relations in Korea:Evidence from 2006 EASS Module Survey,” presented at EASS 2006 Taipei Conference, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.
- KIM, Sang-Wook and KOH, Chi-Young, 2007, “KGSS Comments on EASS 2008 Questionnaire” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.133-137.
- KIM, Sang-Wook, KO, Dongwoo, KOH, Chi-Young, KIM, Seokho, KIM, Jae-On, NAM, Eun-Young, PARK, Byoung-Jin, YANG, Jonghoe, LEE, Kyung-Mee, LEE, Jang-Young, LEE, Jung-Jin, CHUNG, Byung-Eun, and CHOI, Yoo-Jung, 2007, 2006 Korean General Social Survey, Sungkyunkwan University Press, Seoul, Korea. (in Korean).
- KOH, Chi-Young, 2007, “Intergenerational Support and Children’s Marital Satisfaction:Gender Differences” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.23-39.
- LIN, Ju-Ping, and YI, Chin-Chun, 2007, “Intergenerational Exchange in Taiwan:The Provision of Adult Children to Older Parents,” presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- 林如萍 (LIN, Ru-Pin)・伊慶春 (YI Chin-Chun), 2007, 「成年子女與老年父母的代間交換 (Intergenerational Exchanges between Adult Children and Their Elderly Parents)」台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会学研究所, 台北.
- LU, Luo, KAO, Shu-Fan, WU, Hsin-Pei, and CHANG, Ting-Ting, 2007, “I or We?: Family Socialization Values in a National Probability Sample in Taiwan” 台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会学研究所, 台北.
- 呂寶靜 (LU, Pau-Ching), 2007, 「誰來照顧老人? 台湾民衆對照顧老人責任方法之初探 (Who Takes Care of the Elderly? Exploratory Analysis of Ways the Taiwanese See Who Takes Responsibility of Nursing the Elderly)」台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会学研究所, 台北.
- LU, Yilong (陸益龍), 2007, “Do ‘Little Emperors’ Enhance Marital Stability? -Evidence from Urban China” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.59-76.
- 三輪加奈・岩井紀子, 2010, 「East Asian Social Survey 2010 Health Module の作成 (2) —日韓中台のプリテストに基づく調整—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.297-322.
- NITTA, Michio, 2008, “Development of East Asian Social Surveys” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』 pp.135-137.
- SMITH, Tom W., 2010, “The Globalization of Survey Research,” HARKNESS, J.A. et al. [eds.], Survey Methods in Multinational, Multiregional, and Multicultural Contexts, pp.477-484, John Wiley & Sons, Inc., doi:

10.1002/9780470609927.ch25.

SMITH, Tom W., KIM, Jibum, KOCH, Achim, and PARK, Alison, 2006, "Social-Science Research and the General Social Surveys," *Comparative Sociology* 5, pp.33-43.

蘇碩斌 (SU, Shuo-bing), 2009, 「日常生活的全球化：論人際信任與系統信任 (Cultural Globalization of Everyday Life: Personal Trust and Systematic Trust)」『台灣社會變遷基本調查第十四次研討會暨 2009 東亞社會調查研討會會議論文集 (Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium)』(11 月 18 日, 中央研究院社會學研究所, 台北)。

TSAI, Ming-chang (蔡明璋) and CHANG, Chin-fen (張晉芬), 2007, "Pretest Results of Taiwan Social Change Survey, the Fourth Phase of Fifth Wave: Using East Asian Social Survey (2008 Culture Module) Questionnaire" 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』pp.107-114.

WONG, Thomas, 2007, "EASS Family Survey 2006 (Hong Kong) Report on Preliminary Findings," presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.

XIE, Guihua(謝桂華), 2006, "Review of the Studies of Globalization's Impact on Value in China," EASS Conference 2006, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.

XIE, Guihua(謝桂華), 2007, "Living Arrangement of Aged People in China," presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.

葉光輝 (YEH, Kuang-Hui), 2007, 「孝道觀念與代間互動 (Filial Piety and Intergenerational Interaction)」台灣社會變遷基本調查第九次檢討會, 中央研究院社會科學研究所, 台北。

YI, Chin-Chun, and CHAN, Chao-Wen, 2007, "The Social Basis of Mate Selection Patterns in Taiwan: with a Discussion of Its Possible Linkage to Marital Satisfaction," presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.

### 3 社会変動・トレンド

橋本健二, 2009, 『「格差」の戦後史—階級社会 日本の履歴書』河出書房新社, 229 p.

岩井紀子・宍戸邦章, 2006, 「JGSS 累積データ 2000-2003 にみる日本人の意識と行動の変化」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2: 日本版 General Social Surveys 研究論文集 [5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-17.

岩井紀子・宍戸邦章, 2006, 「日本人の意識と行動の変化—JGSS 累積データ 2000-2003 にみるトレンド—」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨集』p.48.

IWAI, Noriko, and SHISHIDO, Kuniaki, 2006, "Trends of Japanese Values and Behavioral Patterns based on JGSS Cumulative Data 2000-2003," EASS Conference 2006, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.

IWAI, Noriko, and SHISHIDO, Kuniaki, 2007, "Trends of Japanese Values and Behavioral Patterns based on JGSS Cumulative Data 2000-2003" 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3: 日本版 General Social Surveys 研究論文集 [6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.25-43.

岩井紀子・宍戸邦章, 2008, 「21 世紀初頭における日本人の意識と行動の変化」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.19-43.

IWAI, Noriko, and SHISHIDO, Kuniaki, 2009, "The Changes in Consciousness and Behavior of the Japanese," International Scientific Conference 'Ethnos in Cross-Cultural Cooperation: The Ukrainian-Japanese Cultural Parallels,' March 27, Rylsky Institute of Art Studies, Folklore and Ethnology and Japan Foundation, Kyiv, Ukraine.

岩井紀子・宍戸邦章, 2009, 「日本人の意識と行動の変化—JGSS 累積データ 2000-2008 にみるトレンド—」『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』p.61.

OKUTSU, Mari, 2007, "Career Analysis of Today's Japanese from Different Angles: Dramatic Change of the Japanese Society and Workers' Way of Life," *Japan Labor Review*, Vol.4, No.2, pp.121-138.

篠崎武久, 2006, 「JGSS から見た主観的階層の経年変化」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2: 日本版 General Social Surveys 研究論文集 [5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.33-45.

篠崎武久, 2008, 「所得の水準とばらつきの時系列的推移について—JGSS と政府統計の比較—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4: 日本版 General Social Surveys 研究論文集 [7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.147-157.

宍戸邦章, 2007, 「JGSS 累積データ 2000-2006 にみる家族に関わる意識の変化」『第 17 回日本家族社会学会報告要旨』pp.36-37.

SHISHIDO, Kuniaki, and IWAI, Noriko, 2008, "Trends of Japanese Values and Behavioral Patterns based on JGSS Cumulative Data 2000-2006" 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of

East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』pp.105-134.

- 穴戸邦章・岩井紀子, 2008, 「日本人の意識と行動の変化—JGSS 累積データ 2000-2006 にみるトレンド—」『第 81 回日本社会学会大会報告要旨集』p.251.
- 穴戸邦章・岩井紀子, 2009, 「JGSS 累積データ 2000-2006 にみる日本人の意識と行動の変化」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』pp.1-22.
- 穴戸邦章・岩井紀子, 2010, 「JGSS 累積データ 2000-2008 にみる日本人の意識と行動の変化」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.1-22.
- 谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子, 2008, 「日本人の意識と行動」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.3-18.

#### 4 社会集団・組織

- HARA, Hitomi, and KAWAGUCHI, Daiji, 2006, “What Do Unions Do in Japan?,” COE/RES Discussion Paper Series, No.171, pp.1-46.
- 岩淵亜希子, 2004, 「信頼の機能と社会階層」直井優・太郎丸博編『情報化社会に関する全国調査中間報告書』大阪大学大学院人間科学研究科, pp.141-156.
- IWAI, Noriko, 2011, “What Japanese People Think and Do After the Great East Japan Earthquake, Tsunami and the Fukushima Nuclear Accident,” California Sociological Association Meeting 2011, November 4, Berkeley.
- 川口大司・原ひろみ, 2007, 「日本の労働組合は役に立っているのか?—組合効果の計測—」『JILPT Discussion Paper』07-02, 35p.
- 小林盾, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査にみる仕事への取りくみ—仕事量、アイデア提案、同僚サポートの分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.251-260.
- 松本涉, 2004, 「NPO の組織化原理と環境状況」東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻学位論文, 217p.
- 松本涉, 2004, 「NPO に参加する人々の背景要因の解明」東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター『多様な働き方の構造分析』SSJ Data Archive Research Paper Series 30, pp.71-110.
- 松本涉, 2006, 「組織に対する信頼の安定性—JGSS 累積データ 2000-2003 を用いた多母集団同時分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.59-69.
- 宮田尚子, 2007, 「職場への帰属意識と相談ネットワーク—組織的適応期における複合的な相談ネットワークの効果—」大阪大学大学院人間科学研究科『年報人間科学』第 28 号, pp.99-116.
- 宮田尚子, 2007, 「職場への帰属意識と相談ネットワーク—組織適応期における相談ネットワークの型と密度—」『第 58 回関西社会学会大会報告要旨集 2007』p.18.
- 仁田道夫・篠崎武久, 2008, 「労働組合の賃金効果の検証」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.121-133.
- 阪口祐介, 2010, 「リスクとリスク認知の社会的形成メカニズムに関する計量研究—失業・環境・犯罪リスクの比較分析—」大阪大学大学院人間科学研究科課程博士学位論文, 117p.
- SATO, Yoshimichi, 2009, “Reviews:Jeffrey C. Alexander, The Civil Sphere, New York and Oxford University Press, 2006, xix+793 pp., ISBN9780195612509,” International Sociology, March 2009, pp.262-267.
- 都留康・吉中孝・榎広之・徳田秀信, 2008, 「労働組合の経済効果と未組織労働者の組織化支持—失われた 10 年の前後比較—」『一橋大学経済研究所 Discussion Paper Series』A No.505.
- 都留康・吉中孝・榎広之・徳田秀信, 2009, 「労働組合の賃金・発言効果と未組織労働者の組織化支持—失われた 10 年の前後比較—」『経済研究』第 60 巻第 2 号, pp.140-155.

#### 5 階級・階層・社会移動

- 相澤真一, 2007, 「後期中等教育拡大期の学歴と職歴の連関①—世代内移動と職業構造の変化に基づく探索的時期区分を手がかりとして—」『第 80 回日本社会学会大会報告要旨集』p.189.
- 相澤真一・香川めい, 2007, 「後期中等教育拡大期における高卒就職者の世代内移動—社会移動研究における時系列的探索分析の試み—」『第 55 回関東社会学会大会報告要旨集』pp.36-37.
- 相澤真一・香川めい, 2008, 「後期中等教育拡大期の高卒就職者の世代内移動—JGSS 累積データを用いた社会移動研究における時系列的探索分析の試み—」関東社会学会『年報社会学論集』第 21 号, pp.131-142.
- GRUSKY, David B., SATO, Yoshimichi, JONSSON, Jan O., MIWA, Satoshi, DI CARLO, Matthew, POLLAK, Reinhard, and BRINTON, Mary C., 2008, “Social Mobility in Japan: A New Approach to Modeling Trend in Mobility” 渡邊勉編『社会階層と社会移動』(2005 年 SSM 調査シリーズ 3) 科学研究費補助金成果報告書, pp.1-25.
- 埴淵知哉, 2010, 「医療と健康の格差—JGSS-2008 に基づく医療アクセスの分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センタ

- 一編 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.99-110.
- 橋本健二, 2006, 「アンダークラス化する若年層—近代的階級構造の変貌—」東北社会学会 『社会学年報』 No.35, pp.19-46.
- 橋本健二, 2006, 『階級社会 現代日本の格差を問う』講談社, 226p.
- 橋本健二, 2006, 「教育機会の不平等と、平等のための教育—社会政策」『月刊 世界の労働』 11月号(第56巻第11号), pp.38-45.
- 橋本健二, 2007, 「格差社会と教育格差」『消費者情報』 2007.4 (No.380), pp.12-13.
- 橋本健二, 2007, 『新しい階級社会 新しい階級闘争』光文社, 239p.
- 橋本健二, 2009, 『「格差」の戦後史—階級社会 日本の履歴書』河出書房新社, 229p.
- 橋本摂子, 2008, 「現代日本におけるメディア環境の階層特性: JGSS-2005によるテレビ・新聞・インターネット接触を用いた実証分析」『Discussion Paper』 No.08-06, 東京工業大学大学院, 17p.
- 平尾一朗・太郎丸博, 2007, 「女性と男性の世代間移動—Association Modelを用いて—」第44回数理社会学会大会萌芽セッション(9月15日, 広島修道大学).
- 平尾一朗・太郎丸博, 2008, 「世代間移動パターンにおける非正規雇用の位置—RCモデルを用いて—」第59回関西社会学会大会(5月25日, 松山大学).
- HIRAO, Ichiro, and TAROHMARU, Hiroshi, 2011, “The Location of Nonstandard Employment in an Intergenerational Mobility Regime” 『現代日本の階層状況の解明—マイクロ-マクロ連結からのアプローチ 科学研究費補助金基盤研究(A)研究成果報告書(研究課題番号: 20243029)』 第1分冊 社会階層・社会移動, pp.59-73.
- 平尾一朗・太郎丸博, 2011, 「世代間移動レジームにおける非正規雇用の位置」『理論と方法』Vol.26 No.2, pp.355-370.
- 石田浩, 2002, 「世代間移動からみた社会的不平等の趨勢—JGSS-2000にみる最近の傾向—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.17-31.
- 石田浩, 2002, 「親の世代と子どもの世代—世代間移動」岩井紀子・佐藤博樹編 『日本人の姿: JGSSにみる意識と行動』有斐閣選書, pp.136-143.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, “Educational Expansion and Inequality in Access to Higher Education in Japan,” 98th Annual Meeting of the American Sociological Association August 16-19 2003, Atlanta, USA.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, “Educational Expansion and Inequality in Access to Higher Education in Japan,” Research Committee 28 on Social Stratification, International Sociological Association, New York, USA.
- 石田浩, 2003, 「社会階層と階層意識の国際比較」樋口美雄・財務省財務総合政策研究所編 『日本の所得格差と社会階層』日本評論社, pp.105-126.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, “Inequality in Access to Higher Education in Post-war Japan,” ISS Discussion Paper Series No.F-111, Institute of Social Science, University of Tokyo, pp.1-35.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, “Class Structure, Intergenerational Mobility and Status Consciousness in Japan and Industrial Nations,” Thematic Lecture Series on East Asia [Theme 3]:Social Inequality, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- ISHIDA, Hiroshi, 2004, “Does Class Matter in Japan? Demographics of Class Structure and Class Mobility in Comparative Perspective,” Conference on Researching Social Class in Japan, Center for Japanese Studies, University of Michigan, March 20-21, Michigan, USA.
- 石田浩, 2004, 「社会的不平等と階層意識の国際比較」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.149-161.
- ISHIDA, Hiroshi, 2005, “Class Mobility and Subjective Social Status in Japan” 尾嶋史章編 『現代日本におけるジェンダーと社会階層に関する総合的研究』同志社大学文学部, pp.141-159.
- 石田浩, 2005, 「後期青年期と階層・労働市場」『教育社会学研究』第76集(2005年), pp.41-57.
- ISHIDA, Hiroshi, 2006, “The Persistence of Social Inequality in Postwar Japan,” Social Science Japan (Newsletter of the Institute of Social Science, University of Tokyo) No.35, pp.7-10.
- ISHIDA, Hiroshi, 2007, “Japan: Educational Expansion and Inequality in Access to Higher Education,” SHAVIT, Yossi, ARUM, Richard and GAMORAN, Adam [eds.], Stratification in Higher Education: A Comparative Study, Stanford University Press, pp.63-86.
- ISHIDA, Hiroshi, 2009, “Does Class Matter in Japan? Demographics of Class Structure and Class Mobility from a Comparative Perspective,” ISHIDA, Hiroshi, and SLATER, David [eds.], Social Class in Contemporary Japan, Routledge, pp.33-56.
- 岩淵亜希子, 2004, 「信頼の機能と社会階層」直井優・太郎丸博編 『情報化社会に関する全国調査中間報告書』大阪大学大学院人間科学研究科, pp.141-156.
- 岩井八郎, 2011, 「高齢者の社会的地位と格差」佐藤嘉倫・尾嶋史章編 『現代の階層社会 1 格差と多様性』, 東京大学出版会, pp.191-206.

- IWAI, Hachiro, and NAKAO, Keiko, 2010, "Cross-cultural Comparisons on the Process of Status Attainment: Comparisons among Four East Asian Societies based on EASS 2008," EASS Conference 2010, November 25, Osaka University of Commerce.
- JONSSON, Jan O., GRUSKY, David B., DICARLO, Matthew, POLLAK, Reinhard and BRINTON, Mary C., 2006, "The Role of Occupational Inheritance in the Social Mobility Process," Institute of Sociology of the Academy of Science of the Czech Republic, paper were discussed at sociology seminars at the University of Umeå and Gothenburg in March 2005, revised on February 19, 2006, 42p.
- JONSSON, Jan O., GRUSKY, David B., DICARLO, Matthew, POLLAK, Reinhard and BRINTON, Mary C., 2007, "Micro-Class Mobility: Social Reproduction in Four Counties," Mannheimer Zentrum Für Europäische sozialforschung (MZES), paper submitted to MZES, in July 2007, 47p.
- 神林博史, 2005, 「生活水準向上機会認知と社会階層—「希望格差社会」論の予備的検討—」東北社会学会『社会学年報』第 34 号, pp.287-301.
- 川田恵介・湯川志保, 2007, 「賃金格差の要因について 親の所得が子どもの賃金に与える影響」(2006 年度「経済学会学生検証論文」1 等入選論文)。
- KIM, Joon Young, 2007, "Is Good Beginning Half Done? :Measuring the impacts of non-regular initial employment on future employment prospects in Japan" 『노동정책 연구』2007. 제 8 권 제 1 호 pp.63-93.
- 김기현 (KIM, Ki Hun)・방하남 (PHANG, Hanam), 2005, 「고등교육 진학에 있어 가족배경의 영향과 성별 격차 (Social Class and Gender Differentials in Korean and Japanese Higher Education:A Comparative Study)」『韓國社會學 (The Korean Journal of Sociology)』Vol.39 No.5, pp.119-151. (韓国語)
- 木下博之, 2010, 「社会階層と階級概念との連関—多変量解析と社会学理論による分析」日本統計学会第 78 回大会 (9 月 6 日, 早稲田大学)。
- 小林美樹, 2009, 「所得不平等が主観的健康に及ぼす影響」『生活経済学研究』No.29, pp.17-31.
- 小林美樹, 2009, 「所得不平等が健康に及ぼす影響—日米比較—」日本経済学会 2009 年度春季大会 (6 月 6 日, 京都大学)。
- 小林美樹, 2010, 「所得格差の大きさと主観的健康状態の関連—マルチレベル分析による日米比較—」『医療と社会』Vol.19 No.4, pp.321-334.
- 眞鍋倫子, 2004, 「女性の就労行動の学歴差—夫の収入と妻の就労—」『東京学芸大学紀要 1 部門』55, pp.29-36.
- 三輪哲, 2005, 「父不在・無職層の帰結—将来の地位達成格差とその意味—」平成 15 年度~平成 16 年度 科学研究費補助金 基盤研究 (B) (1) 研究成果報告書 (尾嶋史章代表) 『現代日本におけるジェンダーと社会階層に関する総合的研究』pp.223-234.
- MIWA, Satoshi, 2005, "Educational Homogamy in Contemporary Japan," Social Science Japan, No.33, Institute of Social Science, The University of Tokyo, pp.9-11.
- 三輪哲, 2006, 「JGSS 累積データ 2000-2003 にみる現代日本の世代間社会移動パターン」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.47-58.
- 三輪哲, 2006, 「離婚と社会階層の関連にかんする試論的考察」『共働社会の到来とそれをめぐる葛藤—夫婦関係—』SSJ Data Archive Research Paper Series 34 (SSJDA-34), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.45-60.
- 三輪哲, 2007, 「なぜ離婚リスクは社会階層により異なるのか」永井暁子・松田茂樹編『対等な夫婦は幸せか』勁草書房, pp.29-43.
- 三輪哲, 2008, 「教育達成過程にみられる出身階層の影響」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.225-236.
- 三輪哲, 2009, 「社会的格差をとらえるためのマイクロクラス・アプローチ—JGSS 累積データ 2000-2006 による計量的分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-12.
- 三輪哲, 2011, 「「開かれた社会」への遠き道程—社会移動の構造と趨勢—」盛山和夫ほか編『日本の社会階層とそのメカニズム』白桃書房, pp.1-33.
- 水落正明, 2007, 「統計から見える高齢女性の姿—経済格差とその変動—」『F-GENS Journal』No.7, p.116.
- 村瀬洋一, 2009, 「流動化の中の不平等と社会階層研究」高校生のための社会学編集委員会編『高校生のための社会学 未知なる日常への冒険』ハーベスト社, pp.157-170.
- MURATA, Chiyoe, 2010, "Concern about Health Care and Socio-economic Status," Journal of Epidemiology, Vol.20 (supplement 1), p.S281.
- 村田千代栄, 2010, 「医療不安と社会経済的地位の関連—JGSS-2008 に基づく分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.111-122.

- 長尾由希子, 2008, 「専修学校の位置付と進学者層の変化—中等後教育機関から高等教育機関へ—」『教育社会学研究』第 83 集, pp.85-106.
- 長尾由希子, 2010, 「短大進学率の変動にみる教育知のシフトとその支持層：教養知から職業知へ」『東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト ディスカッションペーパーシリーズ』No.33, 25p.
- 中尾啓子, 2001, 「階層帰属意識と生活意識」『日本行動計量学会第 29 回発表論文抄録集』pp.38-39.
- 中尾啓子, 2002, 「地位達成過程における転職—JGSS-2000 調査データを用いての検討—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.1-16.
- 中尾啓子, 2002, 「社会階層とジェンダー」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.155-160.
- 中尾啓子, 2002, 「階層帰属意識と生活意識」『理論と方法』Vol.17 No.2, pp.135-149.
- 中尾啓子, 2008, 「正規雇用者の転職と地位達成」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.135-150.
- NAKAO, Keiko, and IWAI, Hachiro, 2010, “Cross-Cultural Comparisons on the Process of Status-Attainment: Comparison among Four East Asian Societies,” Conference Abstracts: XVII ISA World Congress of Sociology, July 16, Gothenburg, Sweden, p.334.
- 西村幸満, 2002, 「「中」意識の変化とその要因」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.149-154.
- 西村幸満, 2002, 「学歴と社会階層」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.161-166.
- 西村幸満, 2002, 「COLUMN：生活向上の機会は開かれているか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, p.167.
- 西村幸満, 2004, 「2 世代内初大学入学者に生じる格差（1）—個票データを用いた因果モデルの時点間比較—」関西国際大学高等教育研究所『高等教育研究叢書』No.5, pp.1-17.
- 野崎祐子, 2006, 「女性の高学歴化と経済格差」2006 年度生活経済学会中国部会（11 月 25 日, 広島県立大学）.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2008, “Income inequality, poverty, social welfare, and self-rated health; a multilevel analysis in Japan,” Graduate school of economics, Kobe University, Discussion Paper No.0815, 32p.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2009, “Income inequality, area-level poverty, perceived aversion to inequality, and self-rated health in Japan,” Social Science & Medicine Vol.69 No.3 (2009), pp.317-326.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2011, “Area-Level Income Inequality and individual Happiness: Evidence from Japan,” Journal of Happiness Studies (2011) Vol.12 No.4, pp.633-649.
- OSHIO, Takashi, SANO, Shinpei, and KOBAYASHI, Miki, 2009, “Child poverty as a determinant of life outcomes: Evidence from nationwide surveys in Japan,” Graduate School of Economics, Kobe University, Discussion Paper No.0911, 37p.
- OSHIO, Takashi, SANO, Shinpei, and KOBAYASHI, Miki, 2010, “Child Poverty as a Determinant of Life Outcomes: Evidence from Nationwide Surveys in Japan,” Social Indicators Research Vol.99 No1, pp.81-99.
- 太田拓紀, 2009, 「現代の教師における社会的出自の特性」『神戸女子大学教育諸学研究』第 23 卷平成 21 年, pp.23-34.
- 佐藤香, 2008, 「働きかたの多様性と社会的格差」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.179-191.
- 佐藤雅浩, 2006, 「「健康の不平等」の現在—主観的健康状態と社会経済的地位（socioeconomic status）の関連—」阿部正大・新雅史・石田浩・佐藤雅浩・高橋康二・立石祐二・中澤篤史・三輪哲・渡辺彰規『JGSS から読む日本人の行動と意識』SSJ Data Archive Research Paper Series 33（SSJDA-33）, 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.48-59.
- SATO, Yoshimichi, 2006, “Trust and Social Mobility: An Empirical Study of the Effect of Job Change on Trust,” presented at the 101st Annual Meeting of the American Sociological Association.
- 佐藤嘉倫・吉田崇, 2007, 「貧困の世代間連鎖の実証研究—所得異動の観点から—」『日本労働研究雑誌』第 563 号（2007 年 6 月号）, pp.75-83.
- 関根さや花, 2008, 「子に対する母親の影響—世代間移動に関する要因分析—」『経済学研究論集』第 30 号, 明治大学, pp.97-114.
- 関根さや花, 2009, 「教育の世代間移動—再生産とメリトクラシーの因果構造—」『経済学研究論集』第 31 号, 明治大学, pp.23-41.
- 関根さや花, 2009, 「子に対する母親の影響—世代間移動に関する要因分析」電通育英会大学院奨学生夏期セミナー—2009（8 月 8 日, クロスウェーブ幕張）.
- 篠崎武久, 2006, 「JGSS から見た主観的階層の経年変化」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[5] JGSS で見た日本人の意識と行動』

pp.33-45.

- 白川俊之, 2009, 「情報機器の利用における格差と社会的文脈の変化—JGSS データを用いて—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』pp.93-106.
- 白川俊之, 2011, 「教育の垂直・水平的格差次元と地位達成—1990 年以降の教育とキャリア軌跡—」『第 62 回関西社会学会大会報告要旨集』p.13.
- 橋木俊詔・浦川邦夫, 2006, 『日本の貧困研究』東京大学出版会, 358p.
- 橋木俊詔・松浦司, 2009, 『学歴格差の経済学』勁草書房.
- 竹之下弘久, 2009, 「国際移動に伴う階層移動に関する国際比較研究」『国際科学研究費補助金研究成果報告書』研究代表者: 竹之下弘久.
- 寺沢拓敬, 2008, 「家庭環境・社会環境に起因する英語力格差とその世代間変容」『日本言語政策学会第 10 回大会予稿集』pp.20-22.
- 寺沢拓敬, 2009, 「社会環境・家庭環境が日本人の英語力に与える影響—JGSS-2002・2003 の 2 次分析を通して—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.107-120.
- 寺沢拓敬, 2009, 「日本社会における英語の教育機会の構造とその変容—英語力格差の統計的分析を通して—」『言語政策』第 5 号, pp.21-42.
- TERASAWA, Takunori, 2009, “‘English Skills’ Divide in Japan Caused by Different Social and Family Environments:Through Statistical Analysis of the Data of Japanese General Social Surveys,” presented at ASIA TEFL International Conference, August 8, Bangkok.
- 鳶島修治, 2010, 「戦後日本における教員の再生産構造—JGSS-2002 のデータを用いた分析—」『日本教育社会学会第 62 回大会発表要旨集録』pp.242-243.
- 董莊敬, 2008, 「個人化の視点からみる日本の若年世代の格差」『語文興国際研究』Vol.5 December 2008, pp.67-96.
- 矢部愛子, 2008, 「階層帰属意識の決定要因としての主観的変数の検討—生活満足感に焦点をあわせて—」『淑徳大学大学院総合福祉研究科研究紀要』第 15 号, pp.163-179.

## 6 家族

- 安藤由美, 2009, 「沖縄総合社会調査 2006 (1) 全国データとの比較に見る沖縄の家族意識」『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』p.258.
- 安藏伸治, 2002, 「進む少子化—出生コーホート別の子どもの数・子どもをもつ必要性」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.44-49.
- 朝井友紀子・水落正明, 2010, 「結婚タイミングを決める要因は何か」『結婚の壁 非婚・晩婚の構造』勁草書房, pp.144-158.
- 曹陽, 2010, 「幼い子供をもつ母親の公共施設の選択行動」日本公共選択学会第 14 回全国大会 (6 月 27 日, 慶應義塾大学).
- 曹陽, 2010, 「子ども数に関する現実と理想—EASS 2006 データを用いた日韓中台の比較—」『日本社会心理学会第 51 回大会発表論文集』pp.576-577.
- 曹陽・松本茂・村田忠彦, 2010, 「個人と社会」の文脈における家族計画の影響要因」日本人口学会第 62 回大会 (6 月 12 日, お茶の水女子大学).
- EUN, Ki-Soo, 2007, “Direct and Indirect Contacts between Family Members in Korea:A Preliminary Analysis of the Korean General Social Survey 2006 Data” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』pp.41-57.
- EUN, Ki-Soo, 2007, “Are There ‘Asian’ Family Values in Korea? An Exploratory Study,” presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- 福田順・久本憲夫, 2010, 「女性の就労と親世代の子育て参加の関係」社会政策学会第 121 回大会 (10 月 30 日, 愛媛大学).
- FUSE, Kana, 2006, “Daughter Preference in Japan:A Reflection of Shift in Gender Role Attitudes (or not)?” paper presented at session 57 (Implications of Gender Interactions and Ideologies for Reproductive Behavior) at Population Association of America 2006 Annual Meeting, March 30-April 1, Los Angeles, California.
- 星野智子・和田美智代, 2010, 『家族のこれから—社会学・法学・社会福祉学からのアプローチ』三学出版, p.84, 201.
- 石倉裕美, 2006, 「子育て解放期の余暇活動の現状および関連要因の検討」『大正大学大学院研究論集』第 30 号, pp.274-261.
- 岩井八郎, 2007, 「子どもとの同居は幸せか—JGSS-2002 による高齢者の経済的地位・家族形態・幸福感の分析」『第 17 回日本家族社会学会報告要旨』pp.96-97.
- IWAI, Hachiro, 2008, “Stability and changes in the Japanese Family-Oriented Regimes:An Analysis of Economic Status,

- Family and Sense of Happiness for the Elderly,” 46th Interim CFR (Committee on Family Research) Conference, International Sociological Association, September 10, ISCSPP, Lisbon, Portugal.
- 岩井八郎, 2010, 「家族主義の定着と変容—ライフコースがはらむ新たな問題」大阪ガスエネルギー・文化研究所『CEL 94号』pp.20-23.
- IWAI, Hachiro, 2011, “The Expansion of Women’s Education and its effects on Family Values: A Comparative Study Based on East Asian Social Survey 2006,” AAS-ICAS Joint conference, April 1, Honolulu, Hawaii.
- IWAI, Hachiro, 2011, “The Expansion of Women’s Higher Education and its Effects on Family Values and Practices in Asian Societies: A Comparative Study based on EASS 2006 and Thai & Vietnam Family Surveys 2010,” ISA RC06-CFR Kyoto Seminar, September 13, Kyoto University.
- 岩井紀子, 2001, 「<墓>意識の多様化の背景—JGSS 第1回本調査(JGSS-2000)のデータ分析を通して—」『第74回日本社会学会大会報告要旨』p.218.
- 岩井紀子, 2001, 「家族意識についての実証的研究—JGSS-2000の結果から—」大阪商業大学商経学会第224回研究発表会『大阪商業大学論集』第124号, p.165.
- 岩井紀子, 2002, 「<墓>意識の多様化の背景—JGSS-2000 データ分析を通して—」『大阪商業大学論集』第124号, pp.57-72.
- 岩井紀子, 2002, 「夫の家事」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.25-34.
- 岩井紀子, 2002, 「母親の就業・妻の就業」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.16-24.
- 岩井紀子, 2002, 「シングル・ライフ」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.56-64.
- 岩井紀子, 2002, 「COLUMN：夫婦別姓—民法改正のゆくえは」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.72-74.
- 岩井紀子, 2002, 「COLUMN：サイフのひもは誰の手に？」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, p.75.
- 岩井紀子, 2002, 「墓と日本人」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.307-312.
- 岩井紀子, 2003, 「<墓>意識の多様化の背景—JGSS-2000/2001のデータ分析を通して—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.163-178.
- 岩井紀子, 2003, 「配偶関係と幸福感の関係から」日本健康心理学会第16回大会会員企画シンポジウム I 心と体の健康を創る：QOLの視点から『第16回大会発表論文集』p.55.
- IWAI, Noriko, 2004, “The Diversification of Attitudes toward Graves:Based on Japanese General Social Surveys (JGSS-2000/2001),” Proceedings for EASS Conference 2004, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea, p.20.
- IWAI, Noriko, 2005, “Gender Differences in Attitudes toward Graves:Based on Japanese General Social Surveys (JGSS-2000/2001),” Abstract Book for Women’s Worlds 2005:9th International Interdisciplinary Congress on Women, Ewha Womens University, Seoul, Korea.
- IWAI, Noriko, 2007, “Trends in doing housework and factors affecting doing housework based on JGSS data,” EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- 岩井紀子, 2007, 「家事頻度からみたライフスタイル—JGSS 累積データ 2000-2006 の分析」『第80回日本社会学会大会報告要旨集』p.243.
- 岩井紀子, 2008, 「墓 意識の多様化の背景」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.103-118.
- 岩井紀子, 2008, 「東アジアの家族—East Asian Social Survey 2006 を用いて—」『第18回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.82-83.
- IWAI, Noriko, 2008, “Features of Housework in Japan: In Comparison with Taiwan, Korea and China Based on the EASS 2006 Data,” presented at KGSS-EASS Conference ‘Family and Social Life in East Asia,’ Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- 岩井紀子, 2008, 「日本人の家事頻度の特徴—EASS 2006 にもとづく東アジアの比較分析—」『第81回日本社会学会大会報告要旨集』p.95.
- IWAI, Noriko, 2009, “Housework in Japan: In comparison with Taiwan, Korea and China based on the EASS 2006 Data,” Open Roundtable Session, 104th Annual Meeting of American Sociological Association, August 10, San Francisco, U.S.A.
- IWAI, Noriko, 2010, “Housework by husband and wife in Japan, China, Korea and Taiwan,” Conference Abstracts: XVII ISA World Congress of Sociology, July 12, Gothenburg, Sweden, p.216.



- 岩井紀子, 2010, 「日本の家族の変化とこれから—JGSS-2000~2010 からみた家族の現状と変化—」『第20回日本家族社会学大会報告要旨』 pp.144-145.
- 岩井紀子, 2011, 「JGSS-2000~2010 からみた家族の現状と変化」『家族社会学研究』 Vol.23 No.1, pp.30-42.
- 岩井紀子, 2011, 「日本の家族の変化とこれから」『家族社会学研究』 Vol.23 No.1, pp.19-22.
- 岩井紀子・保田時男, 2008, 「世代間援助における夫側と妻側のバランスについての分析—世代間関係の双系化論に対する実証的アプローチ—」『家族社会学研究』 第20巻第2号, pp.34-47.
- IWAI, Noriko, and YASUDA, Tokio, 2008, “Intergenerational Support Relations in Japan: Balance between Paternal and Maternal Lines Based on JGSS Data,” 103rd Annual Meeting of the American Sociological Association, August 3, Boston, USA.
- IWAI, Noriko, and YASUDA, Tokio, 2008, “Intergenerational Support Relations in Japan: Balance between Paternal and Maternal Lines Based on JGSS Data,” 46th Interim CFR (Committee on Family Research) Conference, International Sociological Association, September 10, ISCSP, Lisbon, Portugal.
- 岩井紀子・保田時男編, 2009, 『データで見る東アジアの家族観—東アジア社会調査による日韓中台の比較』ナカニシヤ出版, 107p.
- IWAI, Noriko, and YASUDA, Tokio [eds.], 2011, Family Values in East Asia:A comparison among Japan, South Korea, China, and Taiwan based on East Asian Social Survey 2006 (データで見る東アジアの家族観—東アジア社会調査による日韓中台の比較[英語版], 佐々木尚之・篠原さやか・林光訳), ナカニシヤ出版, 107p.
- IWAI, Noriko, YASUDA, Tokio, SHISHIDO, Kuniaki, SASAKI, Takayuki, and HANIBUCHI, Tomoya, 2008, “Results of EASS 2006 Family Module” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』 pp.139-162.
- 岩井紀子・保田時男・宍戸邦章・田淵六郎, 2007, 「JGSS-2006 にみる実親および義親との世代間援助関係」『第17回日本家族社会学大会報告要旨』 pp.58-59.
- IWAI, Noriko, YASUDA, Tokio, SHISHIDO, Kuniaki, and TABUCHI, Rokuro, 2007, “Analysis of Intergenerational Assistance to/from Parents and Parents-in-law: First trial using JGSS-2006,” presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- IWAI, Noriko, YASUDA, Tokio, SHISHIDO, Kuniaki, and TABUCHI, Rokuro, 2007, “Intergenerational Assistance to/from Own Parents and Parents-in-law seen in JGSS-2006” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.77-95.
- KASUYA, Masashi and SEKITA, Yasuyoshi, 2005, “Empirical Analyses of Household Income and Well-being for Family Caregivers,” presented at the 5th World Congress of International Health Economics Association.
- 片桐恵子, 2011, 「東アジアにおける伝統的家族規範・性別役割規範とサポートにない態度—EASS データによる日本・韓国・中国・台湾4カ国比較」『老年社会科学第53回大会報告要旨号』 Vol.33-2, p.266.
- KATAGIRI, Keiko, 2011, “Comparison of family values in East Asian countries: The Relationship between the traditional family norm, sex role norm, and attitudes toward supporting parents,” Proceedings:9th Biennial Conference of Asian Association of Social Psychology, p95.
- KATAGIRI, Keiko, 2011, “Comparison of traditional family norms and intergenerational support in four East-Asian Countries,” Proceedings: 64th Annual Scientific Meeting, the Gerontological Society of America, p.199.[FE]
- KAWAGUCHI, Daiji and MIYAZAKI, Junko, 2005, “Working Mothers and Son’s Preferences Regarding Female Labor:Direct Evidence from Stated Preferences,” Discussion Paper Series (Hitotsubashi University) No.110.
- KAWAGUCHI, Daiji, and MIYAZAKI, Junko, 2009, “Working Mothers and Son’s Preferences regarding Female Labor Supply:Direct Evidence from Stated Preferences,” Journal of Population Economics (2009) 22, pp.115-130.
- 菊地真理, 2008, 「離婚後の別居親子の接触の賛否を規定する要因—JGSS-2006 を用いた分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集 [7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.93-105.
- 小島宏, 2001, 「選択肢提示順による性別選好規定要因の相違」日本世論調査協会 2001 年度研究大会.
- KOJIMA, Hiroshi, 2001, “Determinants of Japanese Attitudes toward Fertility and Policy Interventions:A Comparative Analysis of the IPP 1990/1995 Surveys and the JGSS-2000,” 2001 Second Annual Meeting of the Population Association of Korea, Yonsei University, Seoul, Korea.
- 小島宏, 2002, 「選択肢提示順による性別選好規定要因の相違」『よろん・日本世論調査協会報』 89号, pp.13-16.
- 小島宏, 2002, 「理想の子ども数・女兒選好」岩井紀子・佐藤博樹編 『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』 有斐閣選書, pp.50-55.
- KOJIMA, Hiroshi, 2002, “Who Are More Likely to Make a Neutral Choice in Japan?:The Case of Opinion about Non-Obligation to Have Children After Marriage,” International Conference on Improving Surveys (ICIS 2002), August 25-28, University of Copenhagen, Denmark.

- 小島宏, 2002, 「一般的理想子ども数の規定要因—人口問題意識調査(1990/1995)とJGSS-2000の比較分析—」『第75回日本社会学会大会報告要旨』p.231.
- 小島宏, 2003, 「子どもに関する意識の規定要因—人口問題意識調査(1990/1995)とJGSS-2000/2001の比較分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSSで見た日本人の意識と行動』pp.1-24.
- KOJIMA, Hiroshi, 2003, “Determinants of Attitudes toward Children in Japan: An Analysis of Split-Ballots in the JGSS,” Paper presented at the 54th Session of the International Statistical Institute, 13-20 August 2003, Berlin, Germany.
- KOJIMA, Hiroshi, 2003, “Determinants of Japanese Attitudes toward Children,” Seminar on Japanese Marriage and Fertility and Japanese Attitude towards Children, Institute of Policy Studies, Singapore.
- KOJIMA, Hiroshi, 2003, “Determinants of Attitudes toward Children:A Comparative Analysis of the JGSS-2000/2001 and the Taiwan Social Change Survey 2001,” Max Planck Institute for Demographic Research Seminar, Rostock, Germany.
- KOJIMA, Hiroshi, 2004, “Determinants of Gender Preference for Children in Japan:A Comparison with Korea,” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences [ed.], 36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts (Papers Presented in Sessions), pp.82-83.
- KOJIMA, Hiroshi, 2004, “Determinants of Attitudes toward Children in Japan and Taiwan:A Comparative Analysis of JGSS-2000/2001/2002 and TSCS-2001,” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences [ed.], 36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts (Papers Presented in Sessions), pp.101-102.
- KOJIMA, Hiroshi, 2005, “Determinants of Attitudes toward Children in Japan, Korea and Taiwan:A Comparative Analysis of JGSS, KNFS and TSCS,” Proceedings of the IUSSP XXV International Population Conference, Tours, France, pp.1-10.
- KOJIMA, Hiroshi, 2007, “A Comparative Analysis of Fertility-Related Attitudes in Japan, Korea and Taiwan,” presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- 小島宏, 2007, 「日本・韓国・台湾における子どもの必要性と性別選好—JGSS、KNFS、TSCSの比較分析—」『第80回日本社会学会大会報告要旨集』p.244.
- KOJIMA, Hiroshi, 2008, “A Comparative Analysis of Attitudes toward Children in East Asia,” 46th Interim CFR (Committee on Family Research) Conference, International Sociological Association, September 10, ISCSIP, Lisbon, Portugal.
- LU, Luo, KAO, Shu-Fan, WU, Hsin-Pei, and CHANG, Ting-Ting, 2007, “I or We?: Family Socialization Values in a National Probability Sample in Taiwan” 台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会学研究所, 台北.
- 溝口佑爾, 2011, 「共同報告: 東アジアの高学歴化と家族観の変容—EASS 2006の分析から—(1)世代間援助意識の変容にみる女性の高学歴化の影響」『第62回関西社会学会大会報告要旨集』p.14.
- 水落正明, 2010, 「男性に求められる経済力と結婚」佐藤博樹・永井暁子・三輪哲編著『結婚の壁 非婚・晩婚の構造』勁草書房, pp.129-143.
- 永井暁子, 2010, 「未婚化社会における再婚の増加の意味」佐藤博樹・永井暁子・三輪哲編著『結婚の壁 非婚・晩婚の構造』勁草書房, pp.172-182.
- 西川真規子, 2002, 「夫婦の労働供給に関する一考察—JGSS-2000 データによる検討—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.33-44.
- NOZAKI, Yuko, 2009, “The Psychological Burden of Child Rearing and Fertility Behavior: Moms Less Likely to Have More Kids, but why?” 国立社会保障人口問題研究所編『職場・家庭・地域環境と少子化との関連性に関する理論的・実証的研究』平成20年度報告書』pp.189-214.
- 岡田丈祐, 2011, 「共同報告: 東アジアの高学歴化と家族観の変容—EASS 2006の分析から—(3)子育て方針の決定をめぐる夫婦関係と高学歴化」『第62回関西社会学会大会報告要旨集』p.16.
- ONO, Hiromi, 2009, “Husbands’ and Wives’ Education and Divorce in the United States and Japan, 1946-2000,” Journal of Family History, 34(3): pp.292-322.
- ONO, Hiroyuki, and HAYO, Bernd, 2009, “Livelihood and Care of the Elderly:Determinants of Public Attitudes in Japan,” 東京経済研究センター TCER Working Paper, E-12.
- 大高瑞郁・唐沢かおり, 2009, 「親との政治的会話と子どもの政治的有効感覚の関連」日本社会心理学会第50回大会・日本グループ・ダイナミックス学会第56回大会合同大会(10月11日, 大阪大学).
- 崎原健志, 2009, 「親子同居に対する影響—成人子とその親についての同居要因分析—」『経済学研究論集』第31号, 明治大学, pp.1-21.
- 佐野茂, 2006, 「家庭教育の変容に関する一考察—戦前と戦後の比較考察論から—」『大阪商業大学論集』第142号, pp.51-62.

- 佐野茂, 2005, 「地域への愛着と子どもへの関わりに関する一考察—JGSS-2003 データより—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集 [4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.33-46.
- 佐々木尚之, 2009, 「JGSS-2008 データにみる日本人の子育て観—家庭のしつけの力は低下したのか—」『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』p.120.
- 佐々木尚之, 2010, 「日本人の子育て観—JGSS-2008 データに見る社会の育児能力に対する評価—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.35-47.
- 佐々木尚之, 2010, 「子育ての悩みの類型—JGSS-2009 ライフコース調査による人間発達学的検証—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.261-272.
- 佐々木尚之, 2010, 「ゼロ年代のライフコース(3)—JGSS-2009 ライフコース調査による子育て世代の分析—」『第 20 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.32-33.
- SASAKI, Takayuki, 2010, “Healthy aging for older adults in Japan,” International Symposium on Healthy Aging, September 13, Berkeley, CA.
- 佐々木尚之, 2010, 「JGSS-2009LCS データにみる日本人の子育ての悩み—人間発達の観点から—」日本心理学会第 74 回大会(9月20日, 大阪大学).
- 佐々木尚之, 2011, 「JGSS 累積データ 2000-2010 にみる日本人の性別役割分業意識の趨勢—Age-Period-Cohort Analysis の適用—」『第 21 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.40-41.
- SASAKI, Takayuki, 2012, “Gender role attitude and modernization in Japan: An examination of JGSS cumulative data 2000-2010,” The 40th World Congress of the International Institute of Sociology, February 17, Delhi, India.
- 佐藤博樹・永井暁子・三輪哲, 2010, 『結婚の壁 非婚・晩婚の構造』勁草書房, 198p.
- 佐藤博樹・(財)連合総合生活開発研究所編, 2008, 『バランスのとれた働き方—不均衡からの脱却』エイデル研究所, pp.16-22.
- 清水誠, 2002, 「COLUMN: 家計の状況」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.168-170.
- 宍戸邦章, 2007, 「JGSS 累積データ 2000-2006 にみる家族に関わる意識の変化」『第 17 回日本家族社会学会報告要旨』pp.36-37.
- 宍戸邦章, 2008, 「実親・義親への世代間援助にみる「家」の原理—JGSS-2006 に基づく分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集 [7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-12.
- 宍戸邦章, 2009, 「介護の社会化に関する意識変化の研究」『第 19 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.26-27.
- 杉田陽出, 2001, 「日本人のペットに対する意識とその傾向: 日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査をもとに」『ヒトと動物の関係学会第 7 回学術大会予稿集』p.24.
- 杉田陽出, 2001, 「コミュニケーション相手としてのペットの存在感に関する一調査: 日本人のペットに対する意識とその傾向」『日本コミュニケーション学会第 31 回年次大会プログラム』p.22.
- 杉田陽出, 2002, 「ペットのいる生活: 室外犬からザリガニまで」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.281-287.
- 杉田陽出, 2002, 「日本人のペットの存在感に関する一考察: 日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査のデータを基に」『大阪商業大学論集』第 124 号, pp.73-86.
- 杉田陽出, 2002, 「同居世帯人数にみるペットの存在感: 同居している子どもの有無を中心として」『ヒトと動物の関係学会第 8 回学術大会予稿集』p.45.
- 杉田陽出, 2002, 「JGSS-2000 のデータにみる同居世帯人数がペットの評価に及ぼす影響: 同居している子どもの有無の観点から」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.135-147.
- 杉田陽出, 2002, 「『子ども』としてのペットの存在感に関する一考察: 同居している子どもの有無と年齢の観点から」『日本コミュニケーション学会第 32 回年次大会プログラム』p.30.
- 杉田陽出, 2002, 「日本人のペットの飼育時間に影響を及ぼす要因について: 飼育者の属性を中心として」『大阪商業大学論集』第 126 号, pp.51-64.
- 杉田陽出, 2003, 「犬の飼育と犬に対する愛着度が飼い主の身体的健康と精神的健康に及ぼす効果: JGSS-2001 のデータから」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.127-143.
- 杉田陽出, 2005, 「子どもの代替としての犬の役割に関する一考察: JGSS のデータから」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS

- で見た日本人の意識と行動』 pp.111-129.
- 杉田陽出, 2005, 「子どもの代替としての猫の役割に関する一考察：犬に関する分析結果との比較を含めて」『大阪商業大学論集』第 138 号, pp.25-40.
- 杉田陽出, 2005, 「飼主の子どもの有無と愛着度に見る犬の役割」『日本社会心理学会第 46 回大会論文集』pp.196-197.
- SUGITA, Hizuru, 2005, “The effects of children on attachment to dogs in Japanese households: Using JGSS data” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2005 報告書』 pp.31-45.
- SUGITA, Hizuru, 2006, “The relationship between the presence of children and the degree of attachment to dogs in Japanese households: Using JGSS data” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.105-118.
- SUGITA, Hizuru, 2007, “The effect of life stages on the pet keeping rate and on the perceptions of pets in Japanese households,” Proceedings:11th International Conference on Human-Animal Interactions, p.44.
- 杉田陽出, 2009, 「不治の病にかかったペットは安楽死させるべきか？—JGSS-2006 のデータに見る日本人のペットの安楽死観—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』 pp.53-72.
- 杉田陽出, 2010, 「[ 研究ノート ] 2001 ~ 2006 年の犬飼育率と犬飼育者の属性の推移—一室外犬から室内犬へ—」『大阪商業大学論集』第 156 号, pp.71-86.
- TABUCHI, Rokuro, 2007, “Parental Housing Assistance as a Determinant of Parent-Child Proximity: Japanese Case” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.97-105.
- 田淵六郎, 2008, 「親からの住宅援助と親子の居住関係—JGSS-2006 データによる検討—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.13-23.
- TAKAGI, Emiko and SILVERSTEIN, Merrill, 2006, “Intergenerational Coresidence of the Japanese Elderly: Are Cultural Norms Proactive or Reactive?” Research on Aging, 28(4), pp.473-492.
- 高山育子, 2002, 「就学前教育の制度化と「三歳児神話」—JGSS-2000 データによる規定要因分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.159-169.
- 竹内麻貴, 2011, 「共同報告：東アジアの高学歴化と家族観の変容—EASS 2006 の分析から—(2)日本・台湾・韓国女性の性別役割意識と高学歴化」『第 62 回関西社会学会大会報告要旨集』 p.15.
- 田中慶子, 2007, 「全国データによる家族意識の規定要因の比較—JGSS と NFRJ を用いて—」東京大学社会科学研究所日本社会研究情報センター2006 年度二次分析報告会（家族形成に関する実証研究）(2月2日, 東京大学社会科学研究所) .
- TANAKA, Kimiko, 2007, “Graves and Families in Japan: Continuity and Change,” History of the Family, 12, pp.178-188.
- TANAKA, Kimiko, 2007, “Graves and the Family in Japan,” presented at the Population Association of America 2007 Annual Meeting, March 29, New York.
- TANAKA, Kimiko, and JOHNSON, Nan E., 2005, “Childlessness, Only Children, and the Second Demographic Transition in Japan,” Conference Papers, American Sociological Association, 2005 Annual Meeting, pp.1-30.
- 田中隆一, 2005, “Working Mother as a Role Model for Daughters: An Empirical Study of Human Capital Accumulation” 日本経済学会 2005 年度秋季大会 (9月18日, 中央大学) .
- 筒井淳也, 2008, 『親密性の社会学：縮小する家族のゆくえ』世界思想社, 239p.
- TSUTSUI, Jun'ya, CHEN, Yu-hua, and KOH Chi-young, 2010, “The Transitional Phase of Mate Selection in East Asian Countries,” Conference Abstracts:XVII ISA World Congress of Sociology, p.94.
- 植村良太郎, 2008, 「役割保有、性差、飲酒行動」『第 18 回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.24-25.
- 渡辺朝子, 2006, 「母親の就業が子どもに与える影響—その意識を規定する要因の分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.179-189.
- XIE, Guihua(謝桂華), 2007, “Living Arrangement of Aged People in China,” presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- YANG, Juhua, 2008, “A Comparative Analysis of Family Structures across Four EA Societies: Findings from the 2006 EASS,” presented at KGSS-EASS Conference ‘Family and Social Life in East Asia,’ Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- YANG, Juhua, 2010, “Parent-Child Dynamics and Family Solidarity: A Comparative Study of East Asian Societies,” presented at the Population Association of America 2010 Annual Meeting, April 16, Dallas, Texas.
- YANG, Juhua, and LI, Lulu, 2009, “Intergenerational Dynamics and Family Solidarity: A Comparative Study of Mainland China, Japan, Korea and Taiwan,” Sociological Studies, DOI: CNKI:SUN:SHXJ.0.2009-03-003.

- 保田時男, 2006, 「反復横断調査としての JGSS の意義—調査間隔の短さがもつ利点」早稲田社会学会編『社会学年誌』47号, pp.19-33.
- YASUDA, Tokio, and IWAI, Noriko, 2008, “Balance of Intergenerational Support between Husband’s Side and Wife’s Side: Cross-cultural Comparison Based on EASS Data” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』pp.237-248.
- 保田時男・岩井紀子, 2008, “An Analysis of Balance between Support for Husbands’ Parents and that for Wives’ Parents:A Comparative Study in East Asia based on EASS 2006” 『第 18 回日本家族社会学会大会報告要旨』p.86.
- YASUDA, Tokio, IWAI, Noriko, YI, Chin-chun, and XIE, Guihua, 2011, “Intergenerational Coresidence in China, Japan, South Korea and Taiwan: Comparative Analyses Based on the East Asian Social Survey 2006,” Journal of Comparative Family Studies, Vol.42 No.5, pp.703-722.
- 余田翔平, 2011, 「家族の個人化が家族の二極化か—JGSS による結婚・離婚の分析—」『第 58 回東北社会学会大会要旨集』pp.51-52.
- 余田翔平, 2011, 「子ども期の家族構造と教育達成格差—二人親世帯/母子世帯/父子世帯の比較—」『第 21 回日本家族社会学会大会要旨集』pp.98-99.

## 7 都市・農村・地域社会

- WESTLUND, Hans, and CALIDONI-LUNDBERG, Federica, 2007, “Social Capital and the Creative Class:Civil Society, Regional Development and High-Tech Industry in Japan,” paper presented at Joint Congress of the European Regional Science Association (47th Congress) and Association de Science Régionale de Langue Française (44th Congress), Paris, August 29-September 2, 2007, Abstract No.294.
- YAMAMURA, Eiji, 2009, “Comparison of the effects of homeownership by individuals and their neighbors on social capital formation: Evidence from Japanese General Social Surveys,” MPRA Paper No.19495, University Library of Munich, Germany.
- YAMAMURA, Eiji, 2011, “Comparison of the effects of homeownership by individuals and their neighbors on social capital formation: Evidence from Japanese General Social Surveys,” Journal of Socio-Economics 40(2011), pp.637-644.
- 古谷嘉一郎・浦光博, 2006, 「犯罪防止に役立つ地域内活動・地域間活動・インターネットのチカラ—地域内・地域間活動・インターネット利用は犯罪防止に役立つのか?」『日本グループダイナミクス学会 第 53 回大会論文集』pp.82-85. (日本グループダイナミクス学会 優秀発表賞).
- 佐野茂, 2005, 「地域への愛着と子どもへの関わりに関する一考察—JGSS-2003 データより—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集 [4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.33-46.
- 清水誠, 2002, 「生活・意識にみられる地域差」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.144-148.
- 石橋健一・豊田祐輔・大槻知史, 2009, 「大規模市民意識調査データを用いた都市居住環境評価の試み」日本地域学会第 46 回年次大会 (10 月 10 日, 広島大学).
- 赤枝尚樹, 2010, 「都市は人間関係をどのように変えるのか—コミュニティ喪失論・存続論・変容論の対比から—」『第 83 回日本社会学会大会報告要旨集』p.35.
- 赤枝尚樹, 2010, 「同類結合に対する都市効果の検討—エゴセントリック・ネットワークデータに対するマルチレベル分析の適用—」『第 50 回数理学会大会研究報告要旨集』pp.19-22.
- 赤枝尚樹, 2011, 「現代日本の都市的生活様式とその生成メカニズムに関する計量研究—コミュニティとパーソナリティのあり方に注目して」大阪大学大学院人間科学研究科 博士学位論文, 137p.
- 赤枝尚樹, 2011, 「都市における非通念性の複合的生成過程—下位文化理論とコミュニティ解放論の観点から—」『第 84 回日本社会学会大会報告要旨集』p.36.
- 赤枝尚樹, 2011, 「都市は人間関係をどのように変えるのか—コミュニティ喪失論・存続論・変容論の対比から—」『社会学評論』62(2), pp.189-206.
- 赤枝尚樹, 2011, 「同類結合に対する都市効果の検討—エゴセントリック・ネットワークデータに対するマルチレベル分析の適用—」『理論と方法』Vol26 No.2, pp.321-337.
- 孫飛舟, 2007, 「JGSS-2005 から見た自動車の保有と使用に関する社会意識—都市と地方、保有者と非保有者の差異を中心に—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.57-68.
- 福田友子, 2007, 「外国人との接触経験と「地域の国際化」」玉野和志 (研究代表者)『都市の構造転換とコミュニティの変容に関する実証的研究 平成 15 年度～平成 17 年度科学研究費補助金(基盤研究 C)研究成果報告書』pp.207-219.
- 豊田祐輔・石橋健一・大槻知史, 2011, 「大規模調査データを用いた都市形態が与える社会的絆への影響に関する

研究」『地域学研究』Vol.41 No.1, pp.219-233.

## 9 地理

BALLAS, Dimitris, NAKAYA, Tomoki, and HANIBUCHI, Tomoya, 2011, “Exploring the geographical and socio-economic determinants of subjective happiness in Japan,” the 17th European Colloquium on Quantitative and Theoretical Geography (ECQTG2011), September 2-6, Harokopio University of Athens, Athens.

埴淵知哉・花岡和聖・村中亮夫・中谷友樹, 2010, 「社会調査のマイクロデータと地理的マクロデータの結合—JGSS-2008 を用いた健康と社会関係資本の分析を事例に—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.87-98.

埴淵知哉・村中亮夫・花岡和聖・中谷友樹, 2009, 「社会調査のマイクロデータと地理的マクロデータの結合による健康の分析」第 68 回日本公衆衛生学会総会自由集会(10月21日, 奈良女子大学).

埴淵知哉・村中亮夫・花岡和聖・中谷友樹, 2011, 「社会調査における回収率の地域差—JGSS 累積データ 2000-2006 の回収状況データを用いた分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.181-192.

埴淵知哉・村中亮夫・花岡和聖・中谷友樹, 2011, 「社会調査の回収率とその地理的傾向」日本地理学会 2011 年秋季学術大会(9月23日, 大分大学).

村中亮夫・中谷友樹・埴淵知哉, 2009, 「社会地区類型に着目した花粉症有病率の地域差—日本版総合的社会調査(JGSS) データによる分析—」2009 年人文地理学会大会(11月8日, 名古屋大学).

村中亮夫・中谷友樹・埴淵知哉, 2010, 「社会地区類型に着目した花粉症有病率の地域差—日本版総合的社会調査(JGSS) データによる分析—」地理情報システム学会第 19 回研究発表大会(10月24日, 立命館大学).

村中亮夫・中谷友樹・埴淵知哉, 2010, 「社会地区類型に着目した花粉症有病率の地域差—日本版総合的社会調査(JGSS) データによる分析—」地理情報システム学会編『地理情報システム学会講演論文集 19 巻』CD-ROM.

村中亮夫・中谷友樹・埴淵知哉, 2011, 「社会地区類型に着目した花粉症有病率の地域差」『GIS-理論と応用』Vol.19 No.2, pp.71-81.

中谷友樹, 2011, 「健康な街 / 不健康な街」を視る—GIS を用いた小地域における地理的健康格差の視覚化—『日本循環器病予防学会誌』46(1), pp.38-55.

中谷友樹・埴淵知哉, 2009, 「社会調査のマイクロデータとジオデモグラフィクスのデータリンケージ—JGSS 累積データ 2000-2003 に基づく主観的健康感の小地域解析への適用—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』pp.23-36.

NAKAYA, Tomoki, and HANIBUCHI, Tomoya, 2011, “Japanese league of healthy and unhealthy neighbourhoods: geodemographic profiling of Japanese population health,” the 14th International Medical Geography Symposium, July, 14, Durham University, UK.

中谷友樹・村中亮夫・埴淵知哉, 2010, 「地理情報を用いた身体活動と近隣環境の関係に関する研究」下光輝一編『厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)健康づくり支援環境の効果的な整備施策および政策目標の設定に関する研究 平成 21 年度総括・分担研究報告書』pp.125-131.

中谷友樹・村中亮夫・埴淵知哉・瀬戸寿一・谷端郷, 2011, 「地理情報を用いた身体活動と近隣環境の関係に関する研究」下光輝一編『厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)健康づくり支援環境の効果的な整備施策および政策目標の設定に関する研究 平成 20~22 年度総合研究報告書』pp.145-160.

清水誠, 2002, 「生活・意識にみられる地域差」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.144-148.

## 10 政治・政策・政治意識

相澤優子, 2007, 「保革意識と争点態度—JGSS-2000 にみる身近な争点の影響—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.169-179.

FUSE, Kana, and HANADA, Nanaho, 2009, “Political distrust and Gendered Attitudes: The Japanese State and Women,” Sex Roles, Vol.60 No.11-12, pp.843-858.

浜銀総合研究所, 2010, 『教育財政及び教育費負担の在り方についての調査研究 各国における教育財政及び教育費負担等の状況に関する調査 報告書』p.113.

橋本健二, 2006, 「教育機会の不平等と、平等のための教育—社会政策」『月刊 世界の労働』11月号(第56巻第11号), pp.38-45.

HAYO, Bernd, and ONO, Hiroyuki, 2010, “Livelihood and Care of the Elderly:Determinants of Public Attitudes in Japan,” Annual Meeting of the European Public Choice Society, April 8-11, Izmir-Turkey.

- 細井雅代, 2009, 「女性就労の促進政策がもたらす財政への影響—地方自治体の子育て支援の追加的費用と収入の比較分析—」『都市問題研究』第 61 巻第 6 号, 都市問題研究会, pp.22-48.
- 池田謙一, 2005, 「政治的・非政治的ネットワークは社会関係資本を育み、政治のリアリティを規定するか—JGSS-2003 ソーシャルネットワーク項目群の分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.169-203.
- 池田謙一, 2008, 「社会関係資本と政治意識」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.273-294.
- IKEDA, Ken'ichi, 2009, "Differential effects of multiple social networks on political participation in Japan," paper prepared for a Dialogic Conference on Civic Engagement and Social Capital in Asia, May 8-10, University of Toronto, Toronto, Canada.
- IKEDA, Ken'ichi, 2012, "Differential effects of multiple social networks on political participation in Japan," DANIERE, Amrita, and Hy Van Luong [eds.], *The Dynamics of Social Capital and Civic Engagement in Asia: Vibrant Societies*, Routledge, London, Cpter 4.
- IKEDA, Ken'ichi, and BOASE, Jeffrey, 2011, "Multiple Discussion Networks and Their Consequence for Political Participation," *Communication Research*, 38(5), pp.660-683.
- 岩井八郎, 2002, 「高齢者の生活保障・介護は誰の手で？」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.35-42.
- 岩井紀子, 2002, 「COLUMN：女性知事の誕生」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.76-77.
- KIM, Bumsoo, 2009, "A Comparison of Liberal Democratic Party (LDP) Supporters and Democratic Party of Japan (DPJ) Supporters: From Analysis of the 2006 Japanese General Social Survey (JGSS)," *The Institute of Korean Political Studies, Seoul National University [ed.], Journal of Korean Politics Vol.18, No.3*, pp.165-197. (韓国語)
- KIM, Bumsoo, 2009, "Who Are Japan's "Nonpartisans"? Socioeconomic and Ideological Characteristics of Japan's nonpartisans from Analysis of the 2006 Japanese General Social Survey (JGSS)" *韓国地域学会 (The Korean Association of Area Studies) 『世界地域研究論叢』* 27-3, pp.147-180. (韓国語)
- 木村雅文, 2008, 「新聞読者層の社会的構成と政治意識」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.295-309.
- 前田幸男, 2006, 「就業と家庭における性役割分業が政治参加に与える影響について」『共働社会の到来とそれをめぐる葛藤—人間関係—』SSJ Data Archive Research Paper Series 35 (SSJDA-35), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.32-57.
- 前田幸男, 2007, 「性別役割分業と政治参加」永井暁子・松田茂樹編『対等な夫婦は幸せか』勁草書房, pp.97-118.
- 前田幸男, 2010, 「知事支持率の研究—JGSS-2008 を利用して—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.23-34.
- 松永佳甫・奥山尚子, 2009, 「政府支出は民間寄付を誘発するか」『パブリック・プライベート・パートナーシップの経済分析』RIETI Policy Discussion Paper Series 09-P-003, pp.47-62.
- 仁平典宏, 2003, 「<市民>と「ボランティア」の間 参加とネオリベリズムの共振に関する一考察」『日本教育社会学会第 55 回大会発表要旨集録』pp.70-71.
- 野村亜希子, 2008, 「日常生活を通じて得られる情報が政治的意思決定に与える影響—JGSS-2001 データの分析から—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.251-258.
- 大野裕之, 2009, 「所得税の重税感—『日本版総合的社会調査』個票データによる諸要因の分析—」東京経済研究センター TCER Working Paper, J-2, 27p.
- 大野裕之, 2009, 「所得税の重税感—『日本版総合的社会調査』個票データを用いた実証分析—」2009 年度日本応用経済学会春季大会 (6 月 13 日, 名古屋大学)。
- 大野裕之, 2009, 「所得税の重税感—『日本版総合的社会調査』個票データを用いた実証研究」日本経済学会 2009 年度秋季大会 (10 月 11 日, 専修大学)。
- 大野裕之・HAYO, Bernd, 2008, 「老後生活保障は自助か公助か～国民意識調査の個票データによる要因分析」日本財政学会第 65 回大会 (10 月 25 日, 京都大学)。
- 大野裕之・HAYO, Bernd, 2009, "Livelihood and Care of the Elderly: Determinants of Public Attitudes in Japan" 日本経済学会 2009 年春季大会 (6 月 7 日, 京都大学)。
- 大高瑞郁・唐沢かおり, 2009, 「親との政治的会話と子どもの政治的有効感覚の関連」日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第 56 回大会合同大会 (10 月 11 日, 大阪大学)。
- 佐藤智子, 2010, 「政治への心理的関与に対する社会教育の効果と政策的課題」『日本教育行政学会年報』No.36,

pp.176-192.

- 篠崎武久, 2005, 「再分配政策への支持を決定する要因—先行研究の結果と JGSS データを用いた分析結果の比較—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.205-218.
- 田鹿鈴子, 2005, 「イデオロギーの果たす役割—保革イデオロギーは支持政党・政策態度の決定に影響しているか?—」日本版 General Social Surveys (JGSS) の分析から—大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.273-284.
- 高木竜輔, 2007, 「政治意識と政治参加」玉野和志(研究代表者)『都市の構造転換とコミュニティの変容に関する実証的研究 平成 15 年度~平成 17 年度科学研究費補助金(基盤研究 C)研究成果報告書』pp.229-236.
- 武田祐佳, 2010, 「政治参加におけるジェンダー・ギャップ—JGSS-2003 による資源・政治的関与要因の検討—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.323-335.
- YAMAMURA, Eiji, 2010, “Government size and trust,” MPRA Paper No.19727, University Library of Munich, Germany, 27p.
- 安野智子, 2003, 「JGSS-2001 にみる有権者の政治意識」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.75-91.
- 安野智子, 2005, 「JGSS - 2003 にみるパーソナル・ネットワークと政治意識」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.153-167.
- 安野智子, 2006, 「JGSS 累積データ 2000-2003 にみる政党支持および政党評価の規定要因」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.71-82.
- 安野智子, 2006, 『重層的な世論形成過程 メディア・ネットワーク・公共性』東京大学出版会, 210p.
- 安野智子, 2008, 「政党支持と政党評価の規定要因」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.239-253.
- 安野智子・池田謙一, 2002, 「JGSS-2000 にみる有権者の政治意識」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.81-105.
- 安野智子・池田謙一, 2002, 「支持政党—政党好感度と政権担当能力」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.172-179.
- 安野智子・池田謙一, 2002, 「イデオロギーと政府の役割」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.180-188.
- 安野智子・池田謙一, 2002, 「国民と政治の関わり—政治の有効性感覚と社会関係資本」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.189-195.
- 安野智子・池田謙一, 2002, 「COLUMN: 政府は信頼されているのか—組織への信頼」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.196-197.
- 安野智子・池田謙一, 2002, 「COLUMN: 高齢者福祉の責任」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.198-199.

## 11 英語

- カレイラ松崎順子, 2011, 「JGSS-2010 による早期英語教育に関する意識調査」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.35-45.
- 小磯かをる, 2005, 「日本人英語学習者の動機付け—JGSS-2003 のデータ分析を通して—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.79-91.
- 小磯かをる, 2005, 「成人教育としての英語教育に関する一考察—JGSS 等の世論調査から見える特性と問題点—」大阪商業大学論集』第 138 号, pp.13-23.
- 小磯かをる, 2005, 「世論調査にみる日本人英語学習者と動機付け」日本英語コミュニケーション学会第 31 回関西支部フォーラム.
- 小磯かをる, 2005, 「日本人の英語能力とその規定要因—JGSS のデータ分析を基に—」日本英語コミュニケーション学会第 14 回年次大会.
- KOISO, Kaoru, 2006, “The Characteristics of Motivation of Japanese Adult English Learners from JGSS-2003 Data” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.95 -104.



- 小磯かをる, 2006, 「英語学習経験と英語使用が日本人の英語力に及ぼす影響—JGSS のデータ分析を基に」『日本英語コミュニケーション学会紀要』第 15 巻第 1 号, pp.141-149.
- 小磯かをる, 2008, 「英語力習得への道—英語学習経験と現在の英語使用—」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.369-381.
- 小磯かをる, 2009, 「日本人英語使用者の特徴と英語能力—JGSS-2002 と JGSS-2006 のデータから—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』pp.123-137.
- 小磯かをる, 2010, 「情意要因が英語の読解力と会話力に及ぼす影響—JGSS-2008 のデータから—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.163-172.
- 小磯かをる, 2011, 「中国・日本・韓国・台湾における成人の英語力の比較と各国/地域の若者層の英語力の規定要因—EASS 2008 のデータをもとに—」『大阪商業大学論集』第 162 号, pp.19-33.
- 杉田陽出, 2004, 「英語の学習経験が日本人の英会話力に及ぼす効果: JGSS-2002 のデータから」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.45-57.
- 寺沢拓敬, 2008, 「家庭環境・社会環境に起因する英語力格差とその世代間変容」『日本言語政策学会第 10 回大会予稿集』pp.20-22.
- 寺沢拓敬, 2009, 「社会環境・家庭環境が日本人の英語力に与える影響—JGSS-2002・2003 の 2 次分析を通して—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.107-120.
- 寺沢拓敬, 2009, 「日本社会における英語の教育機会の構造とその変容—英語力格差の統計的分析を通して—」『言語政策』第 5 号, pp.21-42.
- 寺沢拓敬, 2009, 「日本人」の英語使用・英語学習経験の規定要因」『日本言語政策学会第 11 回大会予稿集』pp.17-19.
- TERASAWA, Takunori, 2009, “‘English Skills’ Divide in Japan Caused by Different Social and Family Environments: Through Statistical Analysis of the Data of Japanese General Social Surveys,” presented at ASIA TEFL International Conference (August 8, Bangkok).
- 寺沢拓敬, 2009, 「英語格差の実態—英語スキルが労働賃金に与える影響」『日本教育社会学会第 61 回大会発表要旨収録』pp.45-46.
- TERASAWA, Takunori, 2011, “Japanese People’s Valuation of English Skills: Sociometric Analysis of JGSS-2010” 大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.47-57.
- 渡辺彰規, 2006, 「英語学習意欲の規定要因—八ピトゥス論と界の視点から—」阿部正大・新雅史・石田浩・佐藤雅浩・高橋康二・立石祐二・中澤篤史・三輪哲・渡辺彰規『JGSS から読む日本人の行動と意識』SSJ Data Archive Research Paper Series 33 (SSJDA-33), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.72-88.
- 12 労働・産業
- 阿部真大, 2006, 「仕事における「自分らしさ」志向」阿部正大・新雅史・石田浩・佐藤雅浩・高橋康二・立石祐二・中澤篤史・三輪哲・渡辺彰規『JGSS から読む日本人の行動と意識』SSJ Data Archive Research Paper Series 33 (SSJDA-33), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.37-47.
- 阿形健司, 2011, 「従業上の地位の変化と職業資格との関連—JGSS-2009 ライフコース調査による分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.71-78.
- 相澤真一, 2007, 「日本人の「なりたかった職業」の形成要因とその行方—JGSS-2006 データの分析から—」『日本教育社会学会第 59 回大会発表要旨収録』pp.223-224.
- 相澤真一, 2008, 「日本人の「なりたかった職業」の形成要因とその行方—JGSS-2006 データの分析から—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.81-92.
- CHIAVACCI, David, 2007, “The Social Basis of Developmental Capitalism in Japan: From Post-war Mobilization to Current Stress Symptoms and Future Disintegration,” *Asian Business & Management*, 6, pp.35-55.
- 不破麻紀子, 2009, 「両立支援・労働環境の地域差と女性の就労」『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』p.263.
- 玄田有史, 2010, 「少子化・もう一つの背景—就業二極化と性行動—」『人間に格はない』ミネルヴァ書房, pp.237-260.
- 玄田有史・川上淳之, 2006, 「就業二極化と性行動」『日本労働研究雑誌』No.556, pp.92-105.
- 玄田有史・斎藤珠里, 2007, 『仕事とセックスのあいだ』(朝日新書 024) 朝日新聞社, 205 p.
- HARA, Hitomi and KAWAGUCHI, Daiji, 2006, “What Do Unions Do in Japan?,” COE/RES Discussion Paper Series,

- No.171, pp.1-46.
- HARA, Hiromi, and KAWAGUCHI, Daiji, 2008, "The Union Wage Effect in Japan," INDUSTRIAL RELATIONS, Vol.47, No.4 (October 2008), pp.569-590.
- 林拓也, 2004, 「職業志向の多元的構造を捉える枠組み—プロフィール法によるコンジョイント分析モデルの適用に向けて—」『人文学報』349号, 東京都立大学, pp.67-88.
- 平尾一朗・太郎丸博, 2008, 「世代間移動パターンにおける非正規雇用の位置—RCモデルを用いて—」第59回関西社会学会大会(5月25日, 松山大学).
- 平尾一朗・太郎丸博, 2011, 「世代間移動レジームにおける非正規雇用の位置」『理論と方法』Vol.26 No.2, pp.355-370.
- 本田由紀, 2002, 「何が仕事の満足度を決めるのか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.93-98.
- 本田由紀, 2002, 「長期継続雇用の現実」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.114-119.
- 本田由紀, 2002, 「COLUMN: 定年と引退」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, p.132.
- 本田由紀, 2003, 「若年労働市場における非典型雇用の拡大とその背景—JGSS-2000とJGSS-2001の統合データを用いて—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.47-59.
- 石田浩, 2005, 「後期青年期と階層・労働市場」『教育社会学研究』第76集(2005年), pp.41-57.
- 石田浩, 2006, 「学校から職場への移行」労働政策研究・研修機構編『現代日本人の視点別キャリア分析—日本社会の劇的な変化と労働者の生き方』pp.9-38.
- 岩井八郎, 2008, 「失われた10年」と女性のライフコース—第二次ベビーブーム世代の学歴と職歴を中心に—『教育社会学研究』第82集, pp.61-87.
- 香川めい, 2007, 「学校から職場への移行に関する二つの経路—「間断」のない移行と「学校経由」の就職—」『東京大学大学院教育学研究科紀要』第46巻, pp.155-164.
- 片山悠樹, 2010, 「学校から製造業への移行」『NUCB JOURNAL OF ECONOMICS AND INFORMATION SCIENCE』Vol.55 No.1, pp.19-32.
- 川上淳之・玄田有史, 2006, 「就業二極化と性行動—出生現象のミクロ的背景—」DISCUSSION PAPER SERIES J-147, 東京大学社会科学研究所, 25p.
- KIM, Joon Young, 2007, "Escaping the Nonstandard Jobs Trap: A Study of the Effect of Initial Labor Market Entry on Career Prospects in Japan," Governance Problems on the Process of Economic Development: Young Scholars' Contributions from the Beijing Workshop, Discussion Paper no.141, pp.40-59.
- KIM, Joon Young, 2007, "Is Good Beginning Half Done? : Measuring the impacts of non-regular initial employment on future employment prospects in Japan" 『노동정책 연구』2007. 제8권 제1호 pp.63-93.
- 児玉直美, 2005, 「自営業者は幸福か?」『小さな企業の創業と経営』(SSJDA-32), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.34-47.
- 小島宏, 2009, 「東アジアにおける就業と家族形成—ミクロデータの比較分析—」『第19回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.102-103.
- KONDO, Ayako, 2005, "State Dependency in Employment Status in Japan: Does the First Step Matter?" 日本経済学会2005年度春季大会(京都産業大学).
- KONDO, Ayako, 2006, "Does the First Job Really Matter? State Dependency in Employment Status in Japan" 大阪大学社会経済研究所森口賞入選論文.
- KONDO, Ayako, 2007, "Does the First Job Really Matter? State Dependency in Employment Status in Japan," Journal of the Japanese and International Economies, 21(3), pp.379-402.
- 松本涉, 2007, 「ボランティア活動や非営利組織への参加と就労観—JGSS-2005を用いたデータ分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.83-94.
- 宮田尚子, 2010, 「[研究ノート] 新入社員の仕事満足度の要因分析—役割意向簿の適応に対するネットワーク構造の影響—」大阪大学大学院人間科学研究科『年報人間科学』第31号, pp.197-214.
- MOROZUMI, Ryoko, 2007, "Testing Unitary Models of Labor Supply on Decision-making Systems: Evidence from Japan," Working Paper (Faculty of Economics, University of Toyama) No.217, 32p.
- 中尾啓子, 2002, 「地位達成過程における転職—JGSS-2000調査データを用いての検討—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.1-16.
- 中尾啓子, 2008, 「正規雇用者の転職と地位達成」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版

- 総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.135-150.
- 中澤涉, 2011, 「若年層の正規 / 非正規労働の地位と離転職傾向の関係—JGSS-2009 ライフコース調査の職業経歴を用いた分析—」『第 51 回数理社会学会大会発表要旨収録』 pp.45-48.
- 西川真規子, 2002, 「「今時の若者」の働き方」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿 : JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.99-105.
- 西村幸満, 2002, 「就業者における所得関数の計測—JGSS-2000 からみた日本の雇用システムの一側面—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.55-68.
- 西村幸満, 2002, 「COLUMN : 何のために働くのか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿 : JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, p.133.
- 西村幸満, 2003, 「自営業 : 就業選択と所得関数の推計—JGSS-2000 と JGSS-2001 を利用して—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.61-74.
- 西村幸満, 2004, 「収入決定における教育、職業、役職の効果—JGSS データにみる長期雇用存続の検証—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.135-147.
- 西村幸満, 2008, 「減少する自営業の現在—初職と現職の就業選択—」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.151-163.
- NITTA, Michio, and SHINOZAKI, Takehisa, 2008, “Testing Union Wage Effects Using JGSS Data,” presented at KGSS-EASS Conference ‘Family and Social Life in East Asia,’ Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- 仁田道夫・篠崎武久, 2011, 「JGSS データを用いた労働組合の賃金効果の異時点間比較」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』 pp.105-117.
- 野崎華世, 2011, 「JGSS-2009 ライフコース調査を用いた職種経験と所得に関する分析」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』 pp.93-104.
- 野崎華世, 2011, 「同一職種経験年数と本人所得に関する実証分析—JGSS-2009LCS を用いた分析—」日本経済政策学会第 68 回全国大会 (5 月 29 日, 駒沢大学) .
- 野崎祐子, 2008, “Labor Supply of Older Married Couples,” 生活経済学会第 24 回研究大会 (6 月 8 日, 関西学院大学) .
- 野崎祐子, 2008, “Risk Aversion on Fertility Behavior” 職場・家庭・地域環境と少子化との関連性に関する理論的・実証的研究ワークショップ 2008 : 国立社会保障・人口問題研究所 (12 月 20 日, ホテルはあといん乃木坂) .
- 野崎祐子, 2008, “Risk Aversion on Fertility Behavior” 関西労働研究会 (12 月 23 日, 大阪大学) .
- NOZAKI, Yuko, 2009, “Risk Aversion on Fertility Behavior,” Midwest Economics Association 73rd Annual Meeting, Marriott Cleveland Downtown at Key Center, U.S.A.
- 野崎祐子, 2011, 「ワーク・ライフ・アンバランスはどこで起こっているか」樋口美雄編『ワーク・ライフ・バランスと家族形成』第 4 章, 東京大学出版会.
- 大橋正彦, 2009, 「産学官連携実施中小企業における事業リスクの規定因」2009 年日本リスク・プロフェッショナル学会九州部会 (12 月 12 日, 熊本学園大学) .
- 大橋正彦, 2010, 「産学官連携によるわが国中小製造企業の事業リスク軽減効果の規定因」日本ソーシャル・リスクマネジメント学会会報『実践危機管理』第 22 号, pp.62-66.
- 大橋正彦, 2010, 「わが国消費者におけるエコ諸行動の変化と小売商業施設—JGSS-2008 および 2002 より—」日本商業施設学会編『日本商業施設学会第 9 回研究発表論集』 pp.104-111.
- 大橋正彦, 2010, 「CSR によるソーシャル・リスクマネジメント」日本ソーシャル・リスクマネジメント学会会報『実践危機管理』第 24 号, pp.11-16.
- 大橋正彦, 2011, 「製造企業のための環境リスクマネジメント—持続可能マーケティングからの接近—」大阪商業大学商経学会『大阪商業大学論集』第 161 号, pp.139-148.
- 大橋正彦ほか, 2009, 「産学官連携による中小企業の活性化と診断—調査にみる効率的な連携推進のための諸条件—」『企業経営とその診断におけるサービスサイエンスの視点—日本経営診断学会論集⑧』同友館, pp.41-46.
- 岡田文祐, 2010, 「職業能力の獲得パターンに関する基礎的分析—JGSS-2009 ライフコース調査より—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.239-250.
- OKUTSU, Mari, 2007, “Career Analysis of Today’s Japanese from Different Angles:Dramatic Change of the Japanese Society and Workers’ Way of Life,” Japan Labor Review, Vol.4, No.2, pp.121-138.
- 大竹文雄, 2010, 『競争と公平感 市場経済の本当のメリット』中公新書 2045, 245p.
- PARK, Hyunjoon, 2010, “The Stability of Self-Employment:A Comparison between Japan and Korea,” International Sociology, Vol.25(1), pp.98-122.

- 阪口祐介・太郎丸博, 2008, 「失業リスクと失業不安の関係性—実態と意識の比較分析—」『第 81 回日本社会学会大会報告要旨集』p.328.
- 佐藤博樹, 2002, 「非典型労働に従事する人びと」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.80-87.
- 佐藤博樹, 2002, 「自営業とその働き方」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.88-92.
- 佐藤博樹, 2002, 「COLUMN: 賃金のさまざまな支払い形態」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.106-107.
- 佐藤博樹, 2002, 「COLUMN: 労働組合は消えていくのか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.108-110.
- 佐藤博樹, 2002, 「COLUMN: 曖昧な雇用契約」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.111-112.
- 佐藤博樹, 2002, 「失業と再就業の可能性」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.120-124.
- 佐藤博樹・(財)連合総合生活開発研究所編, 2008, 『バランスのとれた働き方—不均衡からの脱却』エイデル研究所, pp.16-22.
- 佐藤香, 2004, 「JGSS-2002 にみる働きかたの多様化・雇用条件・職業観」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.109-120.
- 佐藤香, 2005, 「多様化する働きかたとライフスタイル—2003 年 JGSS 調査データより—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-15.
- 佐藤香, 2006, 「働きかたの多様化とライフスタイル—JGSS 累積データ 2000-2003 による分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.19-31.
- 佐藤香, 2008, 「働きかたの多様性と社会的格差」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.179-191.
- SATO, Yoshimichi, 2006, "Trust and Social Mobility: An Empirical Study of the Effect of Job Change on Trust," presented at the 101st Annual Meeting of the American Sociological Association.
- 清水洋平, 2005, 「労働時間はいかにして決まるか? 個人の意識を規定要因とした分析」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.257-271.
- 篠崎武久, 2004, 「非就業・非在学・非求職中の若年無業者 (NEET) に関する一考察—日本版総合社会調査 (JGSS) から見る NEET、失業者、就業者の比較—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.121-134.
- 篠崎武久, 2004, 「非就業・非在学・非求職中の若年無業者 (NEET) に関する一考察」日本経済学会 2004 年度秋季大会報告 (9 月 25 日, 岡山大学).
- 篠崎武久, 2008, 「非在学・非就業・非求職中の若年無業者 (ニート) の特徴」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.165-178.
- 白川俊之, 2008, 「若年労働市場における非典型雇用・無業とジェンダー—JGSS 統合データによる分析から—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.133-145.
- 高橋康二, 2006, 「現代日本のワーカホリック—新自由主義を担っているのはどのような人々か」阿部正大・新雅史・石田浩・佐藤雅浩・高橋康二・立石祐二・中澤篤史・三輪哲・渡辺彰規『JGSS から読む日本人の行動と意識』SSJ Data Archive Research Paper Series 33 (SSJDA-33), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.17-36.
- 轟亮, 2010, 「若年層の職業能力開発に関する意識—JGSS-2009 ライフコース調査データから—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7: 日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.229-237.
- 轟亮・歸山亜紀, 2011, 「現代の若年男性の職業意識—web 調査データの分析から—」『日本教育社会学会第 63 回大会発表要旨集録』pp.352-355.
- 安田宏樹, 2009, 「雇用主は性役割意識を持っているのか—JGSS を用いた検証—」日本経済学会 2009 年度春季大会 (6 月 6 日, 京都大学).
- 安田宏樹, 2010, 「マイクロデータを用いた日本の労働市場に関する実証分析」慶應義塾大学大学院経済学研究科博士學位論文, 146p.
- 湯田道生, 2010, 「健康状態と労働生産性」『日本労働研究雑誌』pp.25-36.

湯田道生, 2010, 「健康水準と労働生産性」への付録」中京大学経済学部附属経済研究所『DISCUSSION PAPER』No.1005, 16 p.

### 13 人口

赤川学, 2004, 『子どもが減って何が悪い!』(ちくま新書 511) 筑摩書房, 222p.

赤川学, 2005, 「人口減少社会における選択の自由と負担の公平: 男女共同参画と子育て支援の最適配分をめぐって」『社会学評論』56(1), pp.20-37.

安藏伸治, 2000, 「共通論題 A 情報化時代の人口統計: 人口研究発展のための個票レベルのデータの公開」『第 52 回日本人口学会大会』pp.40-42.

安藏伸治, 2001, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) と人口学研究への応用」人口学研究会編『人口学研究会紀要』No.43, p.8.

安藏伸治, 2001, 「離婚に関する要因分析: 日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査を用いて」『第 53 回日本人口学会大会』p.128.

安藏伸治, 2002, 「進む少子化—出生コーホート別の子ども数・子どもをもつ必要性」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.44-49.

安藏伸治, 2002, 「離婚の要因と背景」『日本人口学会第 54 回大会要旨集』pp.17-19.

安藏伸治, 2003, 「離婚とその要因—わが国における離婚に関する要因分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.25-45.

安藏伸治, 2004, 「少子社会の結婚—JGSS-2000, JGSS-2001, および JGSS-2002 を用いて—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.13-28.

安藏伸治, 2005, 「未婚化、晩婚化、非婚化の実証分析—なぜ『いい人』がいないのか—」『ESTRELA』2005 年 5 月 (No.134), pp.3-11.

安藏伸治, 2008, 「少子社会における結婚観」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.73-89.

朝井友紀子・佐藤博樹・田中慶子・筒井淳也・中村真由美・永井暁子・水落正明・三輪哲, 2007, 『家族形成に関する実証研究』SSJ Data Archive Research Paper Series 37 (SSJDA-37), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, 94p.

玄田有史, 2010, 「少子化・もう一つの背景—就業二極化と性行動」『人間に格はない』ミネルヴァ書房, pp.237-260.

玄田有史・川上淳之, 2006, 「就業二極化と性行動」『日本労働研究雑誌』No.556, pp.92-105.

玄田有史・斎藤珠里, 2007, 『仕事とセックスのあいだ』(朝日新書 024) 朝日新聞社, 205 p.

HIRAO, Keiko, 2008, “Effects of Sibship Size and Gender on Educational Attainment in Japan: Analyses of JGSS-2006,” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.33-44.

本田由紀, 2005, 「子どもというリスク」橋木俊詔編『現代女性の労働・結婚・子育て』ミネルヴァ書房, pp.65-93.

川上淳之・玄田有史, 2006, 『就業二極化と性行動—出生現象のミクロ的背景—』DISCUSSION PAPER SERIES J-147, 東京大学社会科学研究所, 25p.

KOJIMA, Hiroshi, 2001, “Determinants of Japanese Attitudes toward Fertility and Policy Interventions: A Comparative Analysis of the IPP 1990/1995 Surveys and the JGSS-2000,” 2001 Second Annual Meeting of the Population Association of Korea, Yonsei University, Seoul, Korea.

小島宏, 2002, 「理想の子ども数・女兒選好」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.50-55.

小島宏, 2002, 「一般的理想子ども数の規定要因—人口問題意識調査(1990/1995)とJGSS-2000の比較分析—」『第 75 回日本社会学会大会報告要旨』p.231.

小島宏, 2003, 「子どもに関する意識の規定要因—人口問題意識調査(1990/1995)とJGSS-2000/2001の比較分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-24.

KOJIMA, Hiroshi, 2003, “Determinants of Japanese Attitudes toward Children,” Seminar on Japanese Marriage and Fertility and Japanese Attitude towards Children, Institute of Policy Studies, Singapore.

小島宏, 2004, 「子どもに関する意識の規定要因—JGSS-2000/2001/2002と台湾社会変遷基本調査 2001の比較分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-11.

小島宏, 2004, 「日本・韓国・台湾における子どもに関する意識の規定要因—JGSS-2000/2001/2002、KNFS-2000、

- TSCS-2001 の比較分析—『韓国・台湾・シンガポール等における少子化と少子化対策に関する比較研究平成 15 年度総括研究報告書』 pp.26-54.
- 小島宏, 2005, 「日本・台湾・韓国における子どもに対する意識の規定要因」『第 14 回日本家族社会学大会報告要旨』 pp.38-39.
- KOJIMA, Hiroshi, 2005, “Gender Preference for Children in Japan, Korea and Taiwan: A Comparative Analysis of JGSS, KNFS and TSCS,” Abstracts of Women’s Worlds 2005, 9th International Interdisciplinary Congress on Women, June 19-24, Ewha Womens University, Seoul, Korea, p.56.
- KOJIMA, Hiroshi, 2005, “A Comparative Analysis of Fertility-Related Attitudes in Japan, Korea and Taiwan,” Proceedings of the International Conference on Low Fertility and Rapid Aging in East and South East Asian Societies, Dong-A University, Pusan, Korea, pp.1-25.
- KOJIMA, Hiroshi, 2006, “A Comparative Analysis of Fertility-Related Attitudes in Japan, Korea and Taiwan,” F-GENS Journal, No.5, pp.324-336.
- 小島宏, 2008, 「日本・韓国・台湾における子どもの必要性意識と性別選好」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.59-72.
- 小島宏, 2008, 「日本と台湾における既婚女性の就業中断と出生—JGSS と TSCS の比較分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集 [7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.45-55.
- 小島宏, 2008, 「日本と台湾における既婚女性の出生行動・出生意識—JGSS、TSCS、WMFES の比較分析—」『男女労働者の働き方が東アジアの低出生力に与えた影響に関する国際比較研究平成 19 年度総括研究報告書』 pp.61-82.
- 小島宏, 2009, 「東アジアにおける就業と家族形成意識・行動—JGSS、TSCS、WMFES、EASS の比較分析—」『男女労働者の働き方が東アジアの低出生力に与えた影響に関する国際比較研究平成 20 年度総括研究報告書』.
- 小島宏, 2009, 「東アジアにおける就業と家族形成意識・行動—JGSS、TSCS、WMFES、EASS の比較分析—」『早稲田社会科学総合研究』第 10 号 1 号 (July.2009), pp.47-73.
- 松浦司, 2008, 「何が理想子ども数と現実子ども数の差を生み出すのか」『季刊家計経済研究』No.78, pp.52-60.
- 水ノ上智邦, 2009, 「所得が出生と教育に与える影響—日本の家計データを用いた分析—」『徳島文理大学研究紀要』第 77 号 (2009), pp.51-59.
- 水落正明, 2006, 「保育サービスの量的・質的充実が女性の就業と出産に与える影響」『東北経済学会誌』2005 年度版, pp.45-49.
- 野崎祐子, 2008, “Risk Aversion on Fertility Behavior” 職場・家庭・地域環境と少子化との関連性に関する理論的・実証的研究ワークショップ 2008: 国立社会保障・人口問題研究所 (12 月 20 日, ホテルはあといん乃木坂).
- 野崎祐子, 2008, “Risk Aversion on Fertility Behavior” 関西労働研究会 (12 月 23 日, 大阪大学).
- NOZAKI, Yuko, 2009, “Risk Aversion on Fertility Behavior,” Midwest Economics Association 73rd Annual Meeting, Marriott Cleveland Downtown at Key Center, U.S.A.
- 野崎祐子・福田亘孝, 2009, 「教育と出産行動—晩産化と出産ペナルティー—」労働経済学コンファレンス (11 月 14 日, 東京国際フォーラム).
- RøNSEN, Marit, 2004, “Fertility and family policy in Norway:A reflection on trends and possible,” Max Planck Institute for Demographic Research, Demographic Research, 10, pp.265-286.
- 清水誠, 2002, 「所得が出生に及ぼす影響—JGSS-2000 への Butz and Ward Model の適用—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.149-158.
- 清水誠, 2008, 「所得と出産行動」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.47-57.
- TANAKA, Kimiko, and JOHNSON, Nan E., 2005, “Childlessness, Only Children, and the Second Demographic Transition in Japan,” Conference Papers, American Sociological Association, 2005 Annual Meeting, pp.1-30.
- 筒井淳也, 2008, 『親密性の社会学: 縮小する家族のゆくえ』世界思想社, 239p.

#### 14 教育

- 相澤真一, 2007, 「後期中等教育拡大期の学歴と職歴の連関①—世代内移動と職業構造の変化に基づく探索的時期区分を手がかりとして—」『第 80 回日本社会学大会報告要旨集』 p.189.
- 相澤真一・香川めい, 2007, 「後期中等教育拡大期における高卒就職者の世代内移動—社会移動研究における時系列的探索分析の試み—」『第 55 回関東社会学大会報告要旨集』 pp.36-37.
- 相澤真一・香川めい, 2008, 「後期中等教育拡大期の高卒就職者の世代内移動—JGSS 累積データを用いた社会移動研究における時系列的探索分析の試み—」関東社会学『年報社会学論集』第 21 号, pp.131-142.

- CHEN, Wan-chi (陳婉琪), and LIN, Kuei-hsiu (林桂綉), 2009, "How Education Matters for Happiness?: Commonalities across Three East Asian Countries," Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- 橋本健二, 2007, 「格差社会と教育格差」『消費者情報』2007.4 (No.380), pp.12-13.
- 平木耕平, 2011, 「教育収益率の地域差と地域移動効果—JGSS データを用いた所得関数の分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.273-285.
- HIRAO, Keiko, 2008, "Effects of Sibship Size and Gender on Educational Attainment in Japan: Analyses of JGSS-2006," 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[7] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.33-44.
- HIRAO, Keiko, 2008, "Changing Patterns of Educational Investment for Women in Japan," 103rd Annual Meeting of the American Sociological Association, August 4, Boston, USA.
- 本田由紀, 2002, 「継続教育訓練経験の国際比較—JGSS-2000 と国際成人識字調査結果より—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.69-80.
- 本田由紀, 2002, 「COLUMN: 教育訓練」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, p.134.
- 本田由紀, 2004, 「高校教育・大学教育のレリバンス」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.29-44.
- 本田由紀, 2008, 「高校教育・大学教育のレリバンス」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.211-223.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, "Educational Expansion and Inequality in Access to Higher Education in Japan," 98th Annual Meeting of the American Sociological Association August 16-19 2003, Atlanta, USA.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, "Educational Expansion and Inequality in Access to Higher Education in Japan," Research Committee 28 on Social Stratification, International Sociological Association, New York, USA.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, "Inequality in Access to Higher Education in Post-war Japan," ISS Discussion Paper Series No.F-111, Institute of Social Science, University of Tokyo, pp.1-35.
- 石田浩, 2006, 「学校から職場への移行」労働政策研究・研修機構編『現代日本人の視点別キャリア分析—日本社会の劇的な変化と労働者の生き方』pp.9-38.
- ISHIDA, Hiroshi, 2007, "Japan: Educational Expansion and Inequality in Access to Higher Education," SHAVIT, Yossi, ARUM, Richard and GAMORAN, Adam [eds.], Stratification in Higher Education: A Comparative Study, Stanford University Press, pp.63-86.
- 岩井八郎, 2007, 「儀礼としての体罰—JGSS による「体罰」に対する意識の計量分析」『日本教育社会学会第 59 回大会発表要旨収録』pp.277-278.
- 岩井八郎, 2008, 「儀礼としての体罰」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.313-328.
- IWAI, Hachiro, 2011, "The Expansion of Women's Education and its effects on Family Values: A Comparative Study Based on East Asian Social Survey 2006," AAS-ICAS Joint conference, April 1, Honolulu, Hawaii.
- IWAI, Hachiro, 2011, "The Expansion of Women's Higher Education and its Effects on Family Values and Practices in Asian Societies: A Comparative Study based on EASS 2006 and Thai & Vietnam Family Surveys 2010," ISA RC06-CFR Kyoto Seminar, September 13, Kyoto University.
- 岩井八郎・岡田丈祐・伊達平和, 2011, 「1990 年代以降の高等教育機会と社会階層—JGSS-2009 ライフコース調査の分析—」『第 63 回日本教育社会学会大会発表要旨収録』pp.66-69.
- 岩井八郎・轟亮・阿形健司・岡田丈祐, 2010, 「ゼロ年代の教育と初期キャリア—JGSS-2009 ライフコース調査の分析—」『日本教育社会学会第 62 回大会発表要旨集録』pp.42-47.
- 香川めい, 2007, 「学校から職業への移行に関する二つの経路—「間断」のない移行と「学校経由」の就職—」『東京大学大学院教育学研究科紀要』第 46 巻, pp.155-164.
- 片山悠樹, 2010, 「学校から製造業への移行」『NUCB JOURNAL OF ECONOMICS AND INFORMATION SCIENCE』Vol.55 No.1, pp.19-32.
- KIKUCHI, Nobuyoshi, 2011, "Estimating The Returns to Higher Education in Japan" 東京経済研究センター・一橋大学 GCOE・東京労働経済学ワークショップ共催コンファレンス: 人的資本の早期形成と経済格差の世代間継承(6月18日, 一橋大学).
- KIM, Ki Hun, 2004, "Trends and Differentials in School Transitions in Korea and Japan," paper presented at the conference 'Inequality and Stratifications: Broadening the Comparative Scope' of Research Committee 28 (Social stratification and Mobility) of International Sociological Association, Rio de Janeiro, Brazil, August 7-9, 2004, 49p.

- KIM, Ki Hun, and MIWA, Satoshi, 2005, "System Context Revisited: Educational Reform and Inequality in Japan and Korea," paper presented at the conference 'Inequality and Mobility in Family, School, and Work' of Research Committee 28 (Social stratification and Mobility) of International Sociological Association, August 18-20, 2005, 32p.
- 近藤博之, 2004, 「所得と教育達成—関連の強さと変化に関する検証—」『日本教育社会学会第 56 回大会発表要旨集録』 pp.230-231.
- 近藤博之, 2005, 「親の所得と大学教育機会—関連の強さと変化に関する検証」『大阪大学教育年報』第 10 号, pp.1-16.
- 三輪哲, 2008, 「教育達成過程にみられる出身階層の影響」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.225-236.
- 長尾由希子, 2008, 「専修学校の位置付と進学者層の変化—中等後教育機関から高等教育機関へ—」『教育社会学研究』第 83 集, pp.85-106.
- 長尾由希子, 2010, 「短大進学率の変動にみる教育知のシフトとその支持層：教養知から職業知へ」『東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト ディスカッションペーパーシリーズ』No.33, 25p.
- 長尾由希子, 2010, 「高等教育進学と専攻の変化に関する一考察—教養知・職業知および男女比の観点から—」『日本教育社会学会第 62 回大会発表要旨集録』 p.380-381.
- 長尾由希子, 2010, 「高等教育における専攻の男女差—実学志向の展開と支持層に注目して—」お茶の水女子大学グローバル COE プログラム「格差センシティブな人間発達科学の創成」PROCEEDINGS 12 Grant-In-Aid Research Awards, pp.81-90.
- 中澤涉, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査にみる高等教育進学行動の分析—日本における相対リスク回避説の検証—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.217-227.
- NAKAZAWA, Wataru, 2011, "Nonstandard Educational Trajectories and Their Impact on School-to-Work Transition in Japan," ISA RC28, August 10, University of Iowa.
- 西村幸満, 2002, 「JGSS-2000 を利用した講義分析—3 大学(学部)間の比較—」『第 75 回日本社会学会大会報告要旨』 p.196.
- 西村幸満, 2002, 「学歴と社会階層」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.161-166.
- 西村幸満, 2004, 「2 世代内初大学入学者に生じる格差(1)—個票データを用いた因果モデルの時点間比較—」関西国際大学高等教育研究所『高等教育研究叢書』No.5, pp.1-17.
- 西村幸満, 2006, 「2 世代内初大学入学者に生じる格差(1)—個票データを用いた因果モデルの時点間比較—」『ユニバーサル段階における“大学第一世代”への学習支援に関する基礎的研究』平成 15~17 年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書, pp.5-19.
- 野崎祐子, 2006, 「女性の高学歴化と経済格差」2006 年度生活経済学会中国部会(広島県立大学).
- 野崎祐子, 2007, 「雇用不安時代における女性の高学歴化と結婚タイミング—JGSS データによる検証—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.131-146.
- 野崎祐子, 2007, 「女性の高学歴化と経済格差に関する研究」広島大学博士学位論文, pp.47-65, pp.67-86.
- 野崎祐子, 2009, 「Split Population Duration Model による結婚スクイズの検証—JGSS データをもとに—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』 pp.37-51.
- 野崎祐子・福田巨孝, 2009, 「教育と出産行動—晩産化と出産ペナルティー—」労働経済学コンファレンス(11月14日, 東京国際フォーラム).
- 佐野茂, 2006, 「家庭教育の変容に関する一考察—戦前と戦後の比較考察論から—」『大阪商業大学論集』第 142 号, pp.51-62.
- 佐野晋平・安井健悟, 2009, 「日本における教育のリターンの推計」『国民経済雑誌』第 200 巻第 5 号, pp.71-86.
- 佐々木尚之, 2009, 「JGSS-2008 データにみる日本人の子育て観—家庭のしつけの力は低下したのか—」『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.120.
- 佐々木尚之, 2010, 「日本人の子育て観—JGSS-2008 データに見る社会の育児能力に対する評価—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.35-47.
- 佐藤智子, 2006, 「市民社会における学級・講座の意義—社会教育と地方行政の計量分析—」『東京大学大学院教育学研究科紀要』第 45 巻, pp.317-324.
- 佐藤智子, 2010, 「社会的ネットワークの形成に対する成人学習機会の効果」『日本教育学会大会研究発表要項』No.69, pp.408-409.
- 佐藤智子, 2011, 「社会関係資本に対する成人学習機会の効果—教育は社会的ネットワークを促進するか?—」『日



- 本社会教育学会紀要』No.47, pp.31-40.
- 関根さや花, 2009, 「教育の世代間移動—再生産とメリトクラシーの因果構造—」『経済学研究論集』第 31 号, 明治大学, pp.23-41.
- 白川俊之, 2011, 「教育の垂直・水平的格差次元と地位達成—1990 年以降の教育とキャリア軌跡—」『第 62 回関西社会学会大会報告要旨集』p.13.
- 橋木俊詔・松浦司, 2009, 『学歴格差の経済学』勁草書房.
- 高山育子, 2002, 「自己投資は不可欠か—教養講座・実務講座」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.239-243.
- 高山育子, 2002, 「就学前教育の制度化と「三歳児神話」—JGSS-2000 データによる規定要因分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.159-169.
- TANAKA, Ryuichi, 2008, “The gender-asymmetric effect of working mothers on children’s education: Evidence from Japan,” *Journal of The Japanese and International Economies* 22 (2008), pp.586-604.
- 都村聞人, 2003, 「女性の社会的地位の変化と子どもの教育達成」『日本教育社会学会第 55 回大会発表要旨集録』pp.90-91.
- 都村聞人, 2006, 「教育費負担に影響を及ぼす諸要因—JGSS-2002 データによる分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.135-148.
- 都村聞人, 2006, 「家計の教育費に影響を及ぼす諸要因—JGSS-2002 データを用いた分析」『日本教育社会学会第 58 回大会発表要旨集録』pp.47-48.
- 都村聞人, 2007, 「親の教育意識が家計の教育費負担に及ぼす影響—JGSS-2006 データによる分析」『第 80 回日本社会学会大会報告要旨集』p.186.
- 都村聞人, 2008, 「親の教育意識が家計の教育費負担に及ぼす影響—JGSS-2006 データによる分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.69-80.
- 都村聞人, 2010, 「家計の教育費支出構造の長期的変化」『日本教育社会学会第 62 回大会発表要旨集録』pp.346-347.
- 都村聞人・岩井八郎, 2008, 「家計における教育費負担」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.195-210.
- TSUTSUI, Jun’ya, 2005, “Factors of Late Marriage; A Survival Analysis of Life Courses for Marriage in Japan,” *NUCB Journal of Economics and Information Science*, Vol.49, No.2, pp.223-234.
- 山内乾史, 2011, 「JGSS-2009LCS データに基づく高等教育就学の規定要因に関する考察」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.79-91.
- 保田直美, 2007, 「JGSS-2005 にみる日本の心理主義—心理学知識と心理還元主義の擬似相関—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集 [6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.119-130.
- 保田直美, 2008, 「心理学知識の受容が学校にもたらす意味の再検討」『教育社会学研究』第 82 集, pp.185-204.
- 余田翔平, 2011, 「子ども期の家族構造と教育達成格差—二人親世帯/母子世帯/父子世帯の比較—」『第 21 回日本家族社会学会大会要旨集』pp.98-99.

## 15 文化・宗教・道徳

- 張晉芬( CHANG, Chin-fen )・張翰璧( CHANG, Han-pi ), 2009, 「台湾人の多元文化觀與實踐( Multiculturalism in Taiwan: From Concept to Practice )」『台灣社會變遷基本調查第十四次研討會暨 2009 東亞社會調查研討會 會議論文集 ( Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium )』( 11 月 18 日, 中央研究院社會學研究所, 台北 ).
- CHANG, Chin-fen ( 張晉芬 ), and CHEN, Mei-hua ( 陳美華 ), 2009, “Sex Tourism by Taiwanese: Where Did They Go and Who Are They?,” *Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium*, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- 石井研士, 2007, 『データブック 現代日本人の宗教』新曜社, pp.30-32.
- 岩井紀子, 2002, 「性にまつわる意識」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.222-230.
- 岩井紀子, 2002, 「墓と日本人」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.307-312.
- 岩井紀子, 2002, 「COLUMN：死後の世界を信じますか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.316-317.
- 정형 ( JUNG, Hyong ), 2009, 『일본 일본인 일본문화 ( 日本、日本人、日本文化 )』다락원 ( 多樂園 ), p.132. ( 韓

国語)

- 木村雅文, 2002, 「現代日本人の宗教意識—JGSS-2000 からのデータを中心として—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.125-134.
- 木村雅文, 2002, 「こんなにある日本の宗教」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.294-299.
- 木村雅文, 2002, 「COLUMN：「宗教の団体や会」とは、どのような存在か」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, p.313.
- 木村雅文, 2003, 「現代日本人と“家の宗教”—JGSS-2000/2001 からのデータを中心として—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.145-162.
- 木村雅文, 2005, 「若者のこころを探る」永井広克編著『若者と現代社会』学文社, pp.163-180.
- 小島宏, 2005, 「東アジアにおける宗教と出生意識」『日本人口学会 第 57 回大会報告要旨集』pp.45-46.
- 松谷満, 2002, 「宗教性と社会意識—キリスト教信者アンケート調査を事例に—」『ソシオロジ』第 47 巻第 1 号, pp.91-108.
- 松谷満, 2004, 「社会意識の規定因としての宗教—「信者」層・「家の宗教」層・「無宗教」層の比較—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.187-198.
- MINATO, Kunio, 2009, “Cross-cultural Contact and Attitude Toward Foreign Culture of the Japanese Seen from JGSS-2008”『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』p.311.
- ROEMER, Michael, 2006, “Do Religious Beliefs and Membership Affect Life Satisfaction and Happiness in Japan?,” presented at the annual meeting of the American Sociological Association.
- ROEMER, Michael, 2007, “Untangling the Enigma of Religious Affiliation in Contemporary Japan,” Conference papers of the American Sociological Association 2007 Annual Meeting.
- ROEMER, Michael, 2009, “Religious Affiliation in Contemporary Japan:Untangling the Enigma,” Review of Religious Research 2009, 50(3), pp.298-320.
- 孫郁雯, 2010, 「日本アニメ視聴者の国際比較分析—JGSS-2008 と TSCS-2008 のデータを用いて—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.173-182.
- 蘇碩斌 (SU, Shuo-bing), 2009, 「日常生活的全球化：論人際信任與系統信任 (Cultural Globalization of Everyday Life:Personal Trust and Systematic Trust)」『台灣社會變遷基本調查第十四次研討會暨 2009 東亞社會調查研討會會議論文集 (Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium)』(11 月 18 日, 中央研究院社會學研究所, 台北)。
- TANAKA, Kimiko, 2007, “Graves and Families in Japan:Continuity and Change,” History of the Family, 12, pp.178-188.
- TANAKA, Kimiko, 2007, “Graves and the Family in Japan,” presented at the Population Association of America 2007 Annual Meeting, March 29, New York.
- 谷岡一郎, 2002, 「人間の本性は「悪」か「善」か—一般的に、人は信用できるか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.207-211.
- 寺沢重法, 2010, 「マクロデータからみた現代日本におけるソーシャル・キャピタルと宗教」日本宗教学会第 69 回学術大会 (9 月 5 日, 東洋大学)。
- 寺沢重法, 2010, 「宗教団体への所属と「地位橋渡し型ソーシャル・キャピタル」—JGSS-2003 の分析から—」『北海道大学大学院文学研究科研究論集』第 10 号, pp.267-283.
- 寺沢重法, 2011, 「マクロデータからみた現代日本の宗教とソーシャル・キャピタル」『宗教研究』84(4), pp.1030-1031.
- TERAZAWA, Shigenori, 2011, “Faith and Publicness in Contemporary Japan: from the analysis of JGSS-2000-2003,” presented at the 31st Conference of the International Society for the Sociology of Religion, Aix-en-Provence, France.
- 寺沢重法, 2011, 「現代日本における宗教とボランティア活動：JGSS (日本版 General Social Surveys) の計量分析から」日韓次世代学術フォーラム国際学術大会 (8 月 22-23 日, 東亜大学校, 釜山)。

## 16 社会心理・社会意識

- CHANG, Chin-fen, and TSAI, Ming-chang, 2008, “Women’s Subjective Social Identify in East Asia:How Does Family Matter?” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』pp.183-201.
- 岩井紀子, 2002, 「性にまつわる意識」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.222-230.

- 岩井紀子, 2002, 「COLUMN: 死後の世界を信じますか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.316-317.
- 岩井紀子, 2008, 「墓 意識の多様化の背景」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.103-118.
- IWAI, Noriko, 2009, "Values across China, Japan, South Korea and Taiwan," presented at The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- IWAI, Noriko, 2011, "East Asian Identity and Social Distance among China, Japan, SouthKorea, and Taiwan: Based on the East Asian Social Survey 2008," AAS-ICAS Joint conference, April 3, Honolulu, Hawaii.
- 岩井紀子・宍戸邦章, 2006, 「JGSS 累積データ 2000-2003 にみる日本人の意識と行動の変化」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-17.
- 岩井紀子・宍戸邦章, 2006, 「日本人の意識と行動の変化—JGSS 累積データ 2000-2003 にみるトレンド—」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨集』p.48.
- IWAI, Noriko, and SHISHIDO, Kuniaki, 2006, "Trends of Japanese Values and Behavioral Patterns based on JGSS Cumulative Data 2000-2003," EASS Conference 2006, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.
- IWAI, Noriko, and SHISHIDO, Kuniaki, 2007, "Trends of Japanese Values and Behavioral Patterns based on JGSS Cumulative Data 2000-2003" 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.25-43.
- 岩井紀子・宍戸邦章, 2008, 「21 世紀初頭における日本人の意識と行動の変化」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.19-43.
- IWAI, Noriko, and SHISHIDO, Kuniaki, 2009, "The Changes in Consciousness and Behavior of the Japanese," International Scientific Conference 'Ethnos in Cross-Cultural Cooperation:The Ukrainian-Japanese Cultural Parallels,' March 27, Rylsky Institute of Art Studies, Folklore and Ethnology and Japan Foundation, Kyiv, Ukraine.
- 岩井紀子・宍戸邦章, 2009, 「日本人の意識と行動の変化—JGSS 累積データ 2000-2008 にみるトレンド—」『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』p.61.
- 정형 (JUNG, Hyong), 2009, 『일본 일본인 일본문화 (日本、日本人、日本文化)』다락원 (多樂園), p.132. (韓国語)
- 片桐恵子, 2008, 「企業への信頼に関連する要因」『日本社会心理学会第 49 回大会発表論文集』pp.294-295.
- 木下博之, 2011, 「権威主義の多元性」日本社会学会第 84 回大会 (9 月 17 日, 関西大学).
- 小林盾, 2010, 「フリーライダーとライフスタイル—JGSS-2009 ライフコース調査の分析—」『第 50 回数理社会学会大会研究報告要旨集』pp.65-68.
- 松田茂樹, 2005, 「現代日本における母親の就労の子どもへの影響に関する規範意識」渡辺秀樹編, 叢書 21COE-CCC 多文化世界における市民意識の動態 6 『現代日本の社会意識 家族・子ども・ジェンダー』慶應義塾大学出版会, pp.85-105.
- 中尾啓子, 2001, 「階層帰属意識と生活意識」『日本行動計量学会第 29 回発表論文抄録集』pp.38-39.
- 中尾啓子, 2002, 「階層帰属意識と生活意識」『理論と方法』Vol.17 No.2, pp.135-149.
- 仁田道夫, 2010, 「制度への信頼」『産政研フォーラム』No.86, pp.8-12.
- 重松洋司・谷岡一郎, 2000, 「男性的文化とギャンブリング/ゲーミング行動—麻雀、囲碁、宝くじの比較研究を中心として—」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』p.192.
- 重松洋司・谷岡一郎, 2001, 「男性的文化 (マッチョ・カルチャー) と麻雀—特に囲碁および宝くじとの比較研究を中心として—」『Gambling & Gaming』pp.15-35.
- SHINOHARA, Sayaka, 2011, "Changes in Attitudes Toward Marriage in Japan," EASS 2011 Symposium, November 17, Academia Sinica, Taiwan.
- SHISHIDO, Kuniaki, and IWAI, Noriko, 2008, "Trends of Japanese Values and Behavioral Patterns based on JGSS Cumulative Data 2000-2006" 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』pp.105-134.
- 宍戸邦章・岩井紀子, 2008, 「日本人の意識と行動の変化—JGSS 累積データ 2000-2006 にみるトレンド—」『第 81 回日本社会学会大会報告要旨集』p.251.
- 宍戸邦章・岩井紀子, 2009, 「JGSS 累積データ 2000-2006 にみる日本人の意識と行動の変化」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』pp.1-22.
- 宍戸邦章・岩井紀子, 2010, 「JGSS 累積データ 2000-2008 にみる日本人の意識と行動の変化」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.1-22.
- 田中豊, 2007, 「JGSS でみる日本人の遺伝子組換え食品に対する態度」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の

- 意識と行動』 pp.95-106.
- 田中豊, 2007, 「日本人の遺伝子組み換え食品に対する態度—JGSS-2005 データの分析—」『日本リスク研究学会第20回研究発表会講演論文集』 pp.407-412.
- 谷岡一郎, 2003, 「マッチョ・カルチャーと犯罪被害経験—JGSS-2001 データによるルーティーン・アクティビティ・セオリーの検証: 暴行、空き巣、強盗の比較を兼ねて—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.93-112.
- 谷岡一郎, 2006, 「力の誇示・英雄願望 (マッチョ・カルチャー) の発露としてのカラオケ—JGSS-2001 データによるカラオケ選択とプレイ頻度に関する仮説実証研究—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.83-94.
- 谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子, 2008, 「日本人の意識と行動」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.3-18.
- 鳶島修治, 2010, 「戦後日本における教員の再生産構造—JGSS-2002 のデータを用いた分析—」『日本教育社会学会第62回大会発表要旨集録』 pp.242-243.
- 董莊敬, 2008, 「個人化の視点からみる日本の若年世代の格差」『語文興国際研究』 Vol.5 December 2008, pp.67-96.
- 上田光明, 2010, 「メディアへの接触が体感治安と厳罰化の意見に与える影響の分析—JGSS-2008 を用いて」日本犯罪社会学会第37回大会 (10月2日, 国士舘大学).
- 上田光明, 2011, 「体感治安を規定する要因の時系列変化に関する分析—JGSS 累積データ 2000-2010 を用いて—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』 pp.167-179.
- UEDA, Mitsuaki, and TSUTOMI, Hiroshi, 2011, “Determinants of Fear of Crime in Japan: Using JGSS-2000-2010 Cumulative Data Sets,” The Stockholm Criminology Symposium, June 14, City Conference Center in Stockholm.
- UEDA, Mitsuaki, and TSUTOMI, Hiroshi, 2011, “A Time-series Analysis of Determinants of Fear of Crime,” 16th World Congress of the International Society for Criminology, August 5, Kobe International Conference Center.
- 上田光明・津富宏, 2011, 「新しい視点からの犯罪不安規定要因の検討」日本犯罪社会学会第38回大会 (10月22日, 立命館大学).
- 山本博子, 2009, 「裁判員制度導入以前における日本の死刑制度の賛否に関する世論の分析—JGSS 累積データ 2000-2001 における死刑反対の根拠について—」京都大学文学部社会学研究室『京都社会学年報』第17号, pp.67-85.
- YAMAMURA, Eiji, 2010, “Government size and trust,” MPRA Paper No.19727, University Library of Munich, Germany, 27p.
- YOSHIDA, Akiko, 2010, “Role of Cultural Lag in Marriage Decline for Japan’s Boom and Bust Cohorts,” Marriage & Family Review 46:1, pp.60-78.
- YOSHIDA, Akiko, 2010, “Cultural Lag, Anomie, and Single Women in Japan,” Doctoral dissertation, University of Oklahoma.
- 17 マスメディア・IT
- 古谷嘉一郎・浦光博, 2006, 「犯罪防止に役立つ地域内活動・地域間活動・インターネットのチカラ—地域内・地域間活動・インターネット利用は犯罪防止に役立つのか?—」『日本グループダイナミクス学会 第53回大会論文集』 pp.82-85. (日本グループダイナミクス学会 優秀発表賞).
- 橋本摂子, 2008, 「現代日本におけるメディア環境の階層特性: JGSS-2005 によるテレビ・新聞・インターネット接触を用いた実証分析」『Discussion Paper』 No.08-06, 東京工業大学大学院, 17p.
- 木村雅文, 2002, 「IT時代の到来」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.244-249.
- 木村雅文, 2004, 「現代日本の新聞読者層—JGSS-2002 からのデータをもとにして—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.59-75.
- 木村雅文, 2008, 「新聞読者層の社会的構成と政治意識」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.295-309.
- 野村亜希子, 2008, 「日常生活を通じて得られる情報が政治的意思決定に与える影響—JGSS-2001 データの分析から—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.251-258.
- 大橋正彦, 2005, 「わが国消費者の情報探索行動とその規定因—JGSS-2003 データによる検証結果—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論

- 文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.17-32.
- 大橋正彦, 2005, 「わが国消費者における情報探索行動の規定因と経営診断—JGSS-2003 年データによる—」日本経営診断学会第 38 回全国大会 (10 月 1-2 日, 久留米大学).
- 大橋正彦, 2006, 「わが国消費者における情報探索行動の規定因と経営診断—JGSS-2003 年データによる検証結果」『経営診断のニューフロンティア—日本経営診断学会論集⑥』 同友館, pp.106-118.
- 白川俊之, 2009, 「情報機器の利用における格差と社会的文脈の変化—JGSS データを用いて—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』 pp.93-106.
- 高山育子, 2002, 「日本人の情報収集量—新聞・テレビ・本」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.232-238.
- 上田光明, 2010, 「メディアへの接触が体感治安と厳罰化の意見に与える影響の分析—JGSS-2008 を用いて」日本犯罪社会学会第 37 回大会 (10 月 2 日, 国士館大学).
- 山本明, 2010, 「国際ニュースへの接触と東アジアへの心理的近接性」『日本社会心理学会第 51 回大会発表論文集』 pp.210-211.
- 18 社会病理・社会問題
- 朝田佳尚, 2008, 「監視カメラの賛否に影響を与える要因とは何か—JGSS-2006 を用いた分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.121-132.
- 藤澤三宝子, 2008, 「日本の低所得と生活保護制度—JGSS データによる社会扶助受給決定要因分析を通して—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.263-275.
- 石田光規, 2007, 「誰にも頼れない人たち—JGSS2003 から見る孤立者の背景」『季刊家計経済研究』No.73, pp.71-79.
- 石田光規, 2009, 「家族に頼れないのはどのような人たちか?」大妻女子大学人間関係学部紀要『人間関係学研究』10, pp.1-12.
- 石田祐, 2009, 「ソーシャル・キャピタルが地域の犯罪リスク認知に与える影響—JGSS-2006 による実証分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』 pp.73-92.
- 岩井八郎, 2003, 「経験の連鎖—JGSS-2000/2001 による「体罰」に対する意識の分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.113-125.
- 岩井八郎, 2007, 「儀礼としての体罰—JGSS による「体罰」に対する意識の計量分析」『日本教育社会学会第 59 回大会発表要旨収録』 pp.277-278.
- 岩井八郎, 2008, 「儀礼としての体罰」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.313-328.
- 岩井八郎, 2010, 「容認される「親による体罰」—JGSS-2008 による「体罰」に対する意識の分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.49-59.
- 小林美樹, 2010, 「地域の貧困と人々の幸福度」『生活経済学研究』第 31 巻, pp.1-11.
- 森田次朗, 2008, 「自殺願望の規定要因に関する一考察—JGSS-2006 データによる分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.107-119.
- 西川純司, 2010, 「CPTED の実践を規定する要因—JGSS-2006 を用いた分析」『社会システム研究』第 13 号, 京都大学大学院人間・環境学研究科社会システム研究刊行会, pp.113-127.
- 西村幸満, 2005, 「老後の不安—不安要因のトレンドと規定要因の変遷」『季刊社会保障研究』第 41 巻 1 号, pp.4-11.
- 岡元陽一, 2009, 「進化心理学による包括適応度と自殺念慮の関係の検討」, 日本社会心理学会第 50 回大会・日本グループ・ダイナミクス学会第 56 回大会合同大会 (10 月 10-12 日, 大阪大学)
- 岡元陽一, 2009, 「一般的信頼は人間関係に自殺念慮を減らす力を与えるか?—互惠的利他主義の議論から人間関係満足度の自殺念慮への効果の調整変数としての一般的信頼の検討」『第 2 回日本人間行動進化学会大会プログラム・抄録集』 p.28.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2010, "Association of smoking and drinking with socioeconomic factors: A comparative study based on bivariate probit model analysis," Hitotsubashi University CIS Discussion Paper No.476, 27p.
- 阪口祐介, 2006, 「犯罪リスク知覚の規定構造—国際比較からみる日本の特殊性—」『第 57 回関西社会学会大会報告要旨』 p.61.

- 阪口祐介, 2008, 「犯罪リスク知覚の規定構造—国際比較からみる日本の特殊性—」『社会学評論』59(3), pp.462-477.
- 阪口祐介, 2010, 「リスクとリスク認知の社会的形成メカニズムに関する計量研究—失業・環境・犯罪リスクの比較分析—」大阪大学大学院人間科学研究科課程博士学位論文, 117p.
- 佐藤嘉倫・吉田崇, 2007, 「貧困の世代間連鎖の実証研究—所得異動の観点から—」『日本労働研究雑誌』第 563 号(2007 年 6 月号), pp.75-83.
- 島田貴仁, 2004, 「JGSS による犯罪リスク知覚と犯罪被害の測定—他の犯罪被害調査との比較—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.227-240.
- 島田貴仁, 2008, 「犯罪リスク知覚と犯罪被害の測定—JGSS と他の犯罪被害者調査との比較—」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.329-342.
- 篠崎武久, 2004, 「非就業・非在学・非求職中の若年無業者 (NEET) に関する一考察—日本版総合社会調査 (JGSS) から見る NEET、失業者、就業者の比較—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.121-134.
- 篠崎武久, 2004, 「非就業・非在学・非求職中の若年無業者 (NEET) に関する一考察」日本経済学会 2004 年度秋季大会報告 (9 月 25 日, 岡山大学).
- 篠崎武久, 2008, 「非在学・非就業・非求職中の若年無業者 (ニート) の特徴」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.165-178.
- 橋本俊詔・浦川邦夫, 2006, 『日本の貧困研究』東京大学出版会, 358p.
- 谷岡一郎, 2002, 「日本の治安を考える—空き巣・ひったくりの被害と一人歩きの危ない場所」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.202-206.
- 谷岡一郎, 2002, 「少年法改正の議論」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.212-216.
- 谷岡一郎, 2002, 「裁判所の判決と死刑制度・裁判所への信頼感—犯罪の凶悪化・増加は本当か」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.217-221.
- 谷岡一郎, 2003, 「マッチョ・カルチャーと犯罪被害経験—JGSS-2001 データによるルーティーン・アクティビティ・セオリーの検証: 暴行、空き巣、強盗の比較を兼ねて—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.93-112.
- 谷岡一郎, 2011, 「日本人の耽溺行動—JGSS-2010 による「ギャンブル」「ゲーム (TV/ネット/携帯)」項目の基礎的分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.25-33.
- 上田光明, 2011, 「体感治安を規定する要因の時系列変化に関する分析—JGSS 累積データ 2000-2010 を用いて—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.167-179.
- UEDA, Mitsuaki, and TSUTOMI, Hiroshi, 2011, “Determinants of Fear of Crime in Japan: Using JGSS-2000-2010 Cumulative Data Sets,” The Stockholm Criminology Symposium, June 14, City Conference Center in Stockholm.
- UEDA, Mitsuaki, and TSUTOMI, Hiroshi, 2011, “A Time-series Analysis of Determinants of Fear of Crime,” 16th World Congress of the International Society for Criminology, August 5, Kobe International Conference Center.
- 上田光明・津富宏, 2011, 「新しい視点からの犯罪不安規定要因の検討」日本犯罪学会第 38 回大会 (10 月 22 日, 立命館大学).
- 浦光博, 2009, 『排他と受容の行動科学—社会と心が作り出す孤立—』サイエンス社, pp.174-178.
- 浦光博・古谷嘉一郎, 2008, 「ソーシャル・キャピタルが犯罪防止に及ぼす効果の検討」広島県警察・広島大学『「減らそう犯罪」共同研究の成果』pp.27-38.

## 19 医療・社会福祉・健康

- CHEN, Duan-Rung, 2008, “Obesity, Socioeconomic Inequality, and Spatial Dependence in Taiwan,” presented at KGSS-EASS Conference ‘Family and Social Life in East Asia,’ Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- CHIAVACCI, David, 2007, “The Social Basis of Developmental Capitalism in Japan: From Post-war Mobilization to Current Stress Symptoms and Future Disintegration,” Asian Business & Management, 6, pp.35-55.
- 藤井暢弥, 2011, 「年齢層別の将来不安と主観的健康感との関連についての研究—JGSS-2008 データを用いた分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.155-166.
- 藤澤由和, 2005, 「ソーシャル・キャピタルと主観的健康の関連性」近藤克則 (研究代表者) 『社会経済的因子による「健康における不平等」の研究』平成 14 年度~平成 16 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B) (2)) 研究成果報告書, pp.271-276.

- 藤澤由和・濱野強・NAM, Eun Woo・EDIRIPPULIGE, Sisira・小藪明生, 2005, 「ソーシャル・キャピタルと健康の関連性に関する予備的研究」『新潟医療福祉学会誌』Vol.4, No.2, pp.82-89.
- 福田節也, 2009, 「高齢者の生活と福祉」兼清弘之・安藏伸治編著『人口学ライブラリー7 人口減少時代の社会保障』原書房, pp.43-73.
- HANAOKA, Chie, 2008, “The Effects of Sociodemographic Characteristics on Smoking Participation among Japanese Men and Women,” PIE CIS Discussion Paper, 22p.
- 埴淵知哉, 2010, 「医療と健康の格差—JGSS-2008 に基づく医療アクセスの分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.99-110.
- HANIBUCHI, Tomoya, NAKAYA, Tomoki, and MURANAKA, Akio, 2010, “Neighborhoods and health in Japan: An analysis of nationally representative samples linked to neighborhoods’ indicators,” 2010 AAG Annual Meeting, April 17 2010, Marriott Wardman Park Hotel and Omni Shoreham Hotel, Washington, DC.
- 埴淵知哉・中谷友樹・村田千代栄, 2009, 「東アジアにおける健康と社会経済的地位の関連—日本・韓国・中国・台湾の比較」『日本公衆衛生雑誌(第68回日本公衆衛生学会総会抄録集)』56(10), p.S506.
- HANIBUCHI, Tomoya, NAKAYA, Tomoki, and MURATA, Chiyoe, 2010, “Socio-economic status and self-rated health in East Asia: a comparison of China, Japan, South Korea and Taiwan,” The European Journal of Public Health 2010; doi: 10.1093/eurpub/ckq174.
- HAYO, Bernd, and ONO, Hiroyuki, 2007, “Comparing Public Attitudes Towards Providing for the Livelihood of the Elderly in Two Aging Societies:Germany and Japan,” paper submitted to Faculty of Business Administration and Economics, Philipps-University Marburg, No.03-2007.
- 日比野由利・高木二郎・神林康弘・中村裕之, 2011, 「ソーシャル・キャピタルと主観的健康感—JGSS(日本版総合社会調査)データから—」『日本予防医学会雑誌』Vol.6 No.1, pp.7-16.
- 池田広男, 2009, 「社会ネットワークと働く人の健康」『流通・経営学論集』第35巻第1号, pp.1-37.
- 井上智・石井太, 2011, 「狂犬病の感受性動物の生態把握のための調査研究(我が国の飼育犬頭数推計手法に関する研究について)」『厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業)ワンヘルズ理念に基づく動物等対感染症制御に関する研究 平成22年度総括・分担研究報告書』pp.103-119.
- 岩井八郎, 2002, 「加齢と生活保障—JGSS-2000による高齢者の分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.45-54.
- 岩井紀子, 2002, 「COLUMN: ドナーカードの保有—意外に多い若者の保有、コンビニの効果?」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.314-315.
- IWAI, Noriko, and TAKEGAMI, Misa, 2011, “Health-related Quality of life in East Asia,” WAPOR 64th Annual Conference, September 23, Amsterdam.
- IWAI, Noriko, and TAKEGAMI, Misa, 2011, “Health-related Quality of Life in East Asia,” EASS 2011 Symposium, November 17, Academia Sinica, Taiwan.
- KIM, Sang-Wook, 2011, “Factors Leading to Desired Body Weight in Korea and Japan,” EASS 2011 Symposium, November 17, Academia Sinica, Taiwan.
- 小林美樹, 2009, 「所得不平等が主観的健康に及ぼす影響」『生活経済学研究』No.29, pp.17-31.
- 小林美樹, 2009, 「所得不平等が健康に及ぼす影響—日米比較—」日本経済学会 2009 年度春季大会(6月6日, 京都大学).
- 小林美樹, 2010, 「所得格差の大きさと主観的健康状態の関連—マルチレベル分析による日米比較—」『医療と社会』Vol.19 No.4, pp.321-334.
- 小島宏, 2004, 「社会調査による疫学的研究の可能性—JGSS-2002 を用いたアレルギー性疾患要因分析」『2004 年度統計関連学会連合大会講演報告集』pp.255-256.
- 小島宏, 2005, 「アレルギー疾患の規定要因—JGSS-2002 の予備的分析と探索的コンテクスチュアル分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.47-77.
- 小島宏, 2005, 「JGSS-2002 によるアレルギー疾患要因のコンテクスチュアル分析」『環境経済・政策学会 2005 年大会報告要旨集』(CD-ROM), pp.116-117.
- KOJIMA, Hiroshi, 2006, “A Contextual Analysis of Allergies in Japan, Drawing on the JGSS-2002 Micro-Data and the PRTR Macro-Data,” Proceedings of the International Workshop on Spatio-Temporal Modelling (METMA3), 27-29 September, Pamplona, Spain, pp.197-201.
- KOJIMA, Hiroshi, 2008, “Gendered Determinants of Allergies in Japanese Families,” 46th Interim CFR (Committee on Family Research) Conference, International Sociological Association, September 10, ISCSP, Lisbon, Portugal.
- KOJIMA, Hiroshi, 2008, “Gendered Determinants of Allergies in Japanese Families”『早稲田社会科学総合研究』第9 第2号(Dec.2008), pp.65-81.

- 小島宏, 2011, 「日韓における健康と家族形成—EASS2010 の比較分析—」『第 21 回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.14-15.
- LONG, Susan Orpett, 2005, *Final days: Japanese culture and choice at the end of life*, University of Hawaii Press.
- LONG, Susan Orpett・岩井紀子, 2002, 「安楽死の法制化」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.300-306.
- 三澤仁平, 2009, 「将来的な経済的不安感と主観的健康感との関連」第 68 回日本公衆衛生学会総会(10月22日, 奈良県文化会館).
- 三澤仁平, 2010, 「将来における経済的不安感と主観的健康感との関連についての研究—JGSS-2008 データを用いた分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7: 日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.123-135.
- MOROZUMI, Ryoko, 2007, “An Empirical Study of Health-related Consumption and Subjective Health Status,” Doctoral dissertation, Graduate School of Economics, the University of Tokyo.
- 村中亮夫・中谷友樹・埴淵知哉, 2009, 「社会地区類型に着目した花粉症有病率の地域差—日本版総合的社会調査(JGSS) データによる分析」2009 年人文地理学会大会(11月8日, 名古屋大学).
- 村中亮夫・中谷友樹・埴淵知哉, 2010, 「社会地区類型に着目した花粉症有病率の地域差—日本版総合的社会調査(JGSS) データによる分析—」地理情報システム学会第 19 回研究発表大会(10月24日, 立命館大学).
- 村中亮夫・中谷友樹・埴淵知哉, 2010, 「社会地区類型に着目した花粉症有病率の地域差—日本版総合的社会調査(JGSS) データによる分析—」地理情報システム学会編『地理情報システム学会講演論文集 19 巻』CD-ROM.
- 村中亮夫・中谷友樹・埴淵知哉, 2011, 「社会地区類型に着目した花粉症有病率の地域差」『GIS-理論と応用』Vol.19 No.2, pp.71-81.
- MURATA, Chiyoe, 2009, “Factors Associated with Concern about Health Care in Japan,” Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- MURATA, Chiyoe, 2010, “Concern about Health Care and Socio-economic Status,” *Journal of Epidemiology*, Vol.20 (supplement 1), p.S281.
- 村田千代栄, 2010, 「医療不安と社会経済的地位の関連—JGSS-2008 に基づく分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7: 日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.111-122.
- 村田千代栄・埴淵知哉・中谷友樹・尾島俊之・早坂信哉・野田龍也, 2009, 「東アジアにおける主観的健康感の性差 日本・韓国・中国・台湾の比較」『日本公衆衛生雑誌(第 68 回日本公衆衛生学会総会抄録集)』56(10), p.S506.
- 中谷友樹, 2011, 「健康な街 / 不健康な街」を視る—GIS を用いた小地域における地理的健康格差の視覚化—『日本循環器病予防学会誌』46(1), pp.38-55.
- 中谷友樹・埴淵知哉, 2009, 「社会調査のマイクロデータとジオデモグラフィクスのデータリンケージ—JGSS 累積データ 2000-2003 に基づく主観的健康感の小地域解析への適用—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6: 日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』 pp.23-36.
- NAKAYA, Tomoki, and HANIBUCHI, Tomoya, 2009, “Japanese league of healthy and unhealthy neighbourhoods: Geodemographics, self-rated health and social capital. Social Capital and Health: Cross-National Comparative Perspectives,” June 19 2009, Harvard Center for Population and Development Studies, Cambridge, MA.
- NAKAYA, Tomoki, and HANIBUCHI, Tomoya, 2011, “Japanese league of healthy and unhealthy neighbourhoods: geodemographic profiling of Japanese population health,” the 14th International Medical Geography Symposium, July, 14, Durham University, UK.
- 中谷友樹・村中亮夫・埴淵知哉・瀬戸寿一・谷端郷, 2011, 「地理情報を用いた身体活動と近隣環境の関係に関する研究」下光輝一編『厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)健康づくり支援環境の効果的な整備施策および政策目標の設定に関する研究 平成 20~22 年度総合研究報告書』 pp.145-160.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2008, “Income inequality, poverty, social welfare, and self-rated health; a multilevel analysis in Japan,” Graduate school of economics, Kobe University, Discussion Paper No.0815, 32p.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2009, “Income inequality, area-level poverty, perceived aversion to inequality, and self-rated health in Japan,” *Social Science & Medicine* Vol.69 No.3 (2009), pp.317-326.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2009, “The effect of smoking on individual well-being: a propensity score matching analysis based on nationwide surveys in Japan,” PIE/CIS Discussion Paper No.453, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, 24p.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2010, “Income inequality, perceived happiness, and self-rated health: Evidence from nationwide surveys in Japan,” *Social Science & Medicine* Vol.70 No.9, pp.1358-1366.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2010, “Association of smoking and drinking with socioeconomic factors: A comparative study based on bivariate probit model analysis,” Hitotsubashi University CIS Discussion Paper No.476,



27p.

- 佐藤雅浩, 2006, 「健康の不平等」の現在—主観的健康状態と社会経済的地位 ( socioeconomic status ) の関連—」阿部正大・新雅史・石田浩・佐藤雅浩・高橋康二・立石祐二・中澤篤史・三輪哲・渡辺彰規『JGSS から読む日本人の行動と意識』SSJ Data Archive Research Paper Series 33 ( SSJDA-33 ), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.48-59.
- 白川俊之, 2010, 「ライフコース初 - 中期における社会的ネットワークと精神的健康—JGSS-2009LCS による実証—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.273-284.
- 杉田陽出, 2003, 「JGSS-2000 と JGSS-2001 のデータに見る犬の飼い主の健康状態」大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS 国際シンポジウム 2003 報告書』( 2004 ), pp.277-292.
- 杉田陽出, 2004, 「JGSS-2000 と JGSS-2001 のデータに見る犬の飼い主の健康状態」『大阪商業大学論集』第 132 号, pp.101-122.
- 竹上未紗, 2011, 「Hopelessness と健康関連 QOL の関連—JGSS-2010 に基づく分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.1-12.
- 竹上未紗・山本洋介・岩井紀子, 2012, 「Hopelessness と健康関連 QOL の関連: Japanese General Social Survey 2010 の結果より」第 22 回日本疫学会学術総会 ( 1 月 27 日, 学術総合センター・一橋記念講堂).
- 谷岡一郎, 2002, 「わかっちゃいるけどやめられない—飲酒と喫煙」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.276-280.
- 山本洋介, 2011, 「そう痒と主観的な環境要因との関連—JGSS-2010 データを用いて—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.13-24.
- YAMAMURA, Eiji, 2010, “Effects of Female Labor Participation and Marital Status on Smoking Behavior in Japan,” MPRA Paper No.21789, University Library of Munich, Germany, 14p.
- YUDA, Michio, 2010, “The Impacts of Recent Smoking Control Policies on Individual Smoking Choice” 中京大学経済学部附属経済研究所『DISCUSSION PAPER』No.1006, 38 p.
- 湯田道生, 2010, 「健康状態と労働生産性」『日本労働研究雑誌』pp.25-36.
- 湯田道生, 2010, 「健康水準と労働生産性」への付録」中京大学経済学部附属経済研究所『DISCUSSION PAPER』No.1005, 16 p.

## 20 開発援助・国際協力

- 埴淵知哉, 2009, 「国際協力活動への参加と関連する地域要因の探索—JGSS-2006 による分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.67-78.
- 湊邦生, 2007, 「日本人の開発援助観—JGSS-2006 データからの検討」『第 18 回国際開発学会全国大会報告論文集』pp.237-240.
- 湊邦生, 2008, 「途上国援助に対する日本人の意識と行動—JGSS-2006 データからの検討—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.57-66.

## 21 社会調査 (抽出・測定・コーディング)

- 安藏伸治, 2000, 「共通論題 A 情報化時代の人口統計: 人口研究発展のための個票レベルのデータの公開」『第 52 回日本人口学会大会』pp.40-42.
- 青森大学社会学部吉村治正研究室編, 2001, 『青森生活意識調査第一回調査報告』.
- 青森大学社会学部吉村治正研究室編, 2002, 『青森生活意識調査第二回調査報告』.
- 青森大学社会学部吉村治正研究室編, 2003, 『青森生活意識調査第三回調査報告』.
- 青森大学社会学部吉村治正研究室編, 2003, 『青森生活意識調査第四回調査報告』.
- 朝倉真粧美, 2004, 「社会調査における「不明回答」」『第 77 回日本社会学会大会報告要旨』p.132.
- 朝倉真粧美, 2005, 「面接調査と留置調査の無回答」『日本社会心理学会第 46 回大会論文集』pp.222-223.
- 朝倉真粧美, 2006, 「無回答の発生要因」立教大学大学院社会学研究科『社会学研究科年報』No.13, pp.41-54.
- 朝倉真粧美, 2006, 「住居形態による回答者属性と回答の差異」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨集』p.261.
- 朝倉真粧美, 2007, 「訪問調査におけるデータの偏り—住居形態が及ぼす影響—」立教大学大学院社会学研究科『社会学研究科年報』No.14, pp.69-81.
- 朝倉真粧美, 2008, 「訪問調査の回答者の属性—大都市居住者に着目して—」立教大学大学院社会学研究科『社会学研究科年報』No.15, pp.95-107.
- BIAN, Yanjie ( 邊燕杰 ), and LI, Lulu ( 李路路 ), 2007, “CGSS Pretest Results of 2008 EASS Globalization Module” 大

- 阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』pp.139-141.
- 曹陽・柴田由己・岩井紀子, 2011, 「East Asian Social Survey 2012 Network Social Capital Module の作成—日韓中台によるプリテスト調査票の作成—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.219-257.
- 榎木美樹, 2008, 「EASS 2008 Culture Module の作成—JGSS によるプリテストの結果を中心に—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.195-232.
- ENOKI, Miki, and IWAI, Noriko, 2007, “Pretest Results of EASS 2008 Culture Module and Proposed Changes by JGSS” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』pp.115-132.
- FU, Yang-chi, and CHU, Yun-han, 2008, “Different Survey Modes and International Comparisons,” DONSBACH, W., and TRAUOGOTT, M. W. [eds.], The SAGE Handbook of Public Opinion Research, pp.284-293.
- 埴淵知哉, 2009, 「EASS 2010 Health Module の作成—JGSS によるプリテストの結果を中心に—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』pp.211-242.
- 埴淵知哉・村中亮夫・花岡和聖・中谷友樹, 2011, 「社会調査における回収率の地域差—JGSS 累積データ 2000-2006 の回収状況データを用いた分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.181-192.
- 埴淵知哉・村中亮夫・花岡和聖・中谷友樹, 2011, 「社会調査の回収率とその地理的傾向」日本地理学会 2011 年秋季学術大会 (9月23日, 大分大学).
- 稲葉太一, 2002, 「全国調査での層化2段抽出法における最適な地点数割り当て法—JGSS-2000 の地点数割り当ての評価—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.185-191.
- 稲葉太一, 2005, 「JGSS でみる層化2段抽出法の地点数割当数の精度評価—JGSS-2000 での割り当てを例にとって—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.219-224.
- 稲葉太一・岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (2) JGSS 第2回予備調査の回収率と欠票の分析」『第73回日本社会学会大会報告要旨』p.26.
- ISHIDA, Hiroshi, 1999, “Social Science Japan Data Archive and Japanese General Social Surveys,” Japan Sociologists Network Panel, 94th Annual Meeting of the American Sociological Association, Chicago.
- ISHIDA, Hiroshi, 2000, “Doing Social Science Research in Japan:Data Archives and Japanese General Social Surveys,” 4th Annual Asian Studies Conference Japan.
- 岩井八郎, 2010, 「ゼロ年代のライフコース(1)—JGSS-2009 ライフコース調査の設計・研究視角・予備的分析結果—」『第20回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.28-29.
- 岩井紀子, 1999, 「日本版 GSS の第1回予備調査を用いた家族測定項目の検討」『第9回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.82-83.
- 岩井紀子, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (3) Split-Ballot による質問項目の検討」『第72回日本社会学会大会報告要旨』p.21.
- 岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (1) JGSS 第2回予備調査の目的と方法」『第73回日本社会学会大会報告要旨』p.25.
- 岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) 第2回予備データによる調査方法論上の検討—謝礼のタイミングの影響および Split-Ballot による質問項目の検討」『日本社会心理学会第41回大会発表論文集』pp.118-119.
- 岩井紀子, 2001, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) と家族測定項目—第1回予備調査データの検討」『家族社会学研究』第12号, pp.261-270.
- IWAI, Noriko, 2003, “Research Designs for the JGSS,” Thematic Lecture Series on East Asia [Theme 1] Social Surveys in East Asia, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- 岩井紀子, 2003, 「JGSS プロジェクト(2) 調査方法と調査項目」『統計』11月号, pp.48-55.
- IWAI, Noriko, 2003, “Japanese General Social Surveys:Beginning and Development” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS 国際シンポジウム 2003 報告書』(2004), pp.161-184.
- IWAI, Noriko, 2003, “Research Designs for the JGSS,” Thematic Lecture on Japanese and Korean Social Surveys, Institute of Sociology, Academic Sinica, Taiwan.
- IWAI, Noriko, 2004, “Japanese General Social Surveys:Beginning and Development,” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences [ed.], 36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts (Papers Presented in Sessions), pp.82-83.
- IWAI, Noriko, 2005, “Japanese General Social Surveys (2) Methodological Experiments in Administering the Questionnaire,

- Incentives, Scales and Wording,” ZA (Zentralarchiv für Empirische Sozialforschung an der Universität zu Köln)-Information, No.57, pp.83-102.
- IWAI, Noriko, 2005, “On East Asian Social Surveys” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2005 報告書』 pp.25-29.
- 岩井紀子, 2008, 「JGSS の調査票の設計」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.399-406.
- 岩井紀子・稲葉太一, 2006, 「住民基本台帳の閲覧制度と社会調査—JGSS-2005 での抽出からみた問題点と対応—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.161-177.
- 岩井紀子・稲葉太一, 2008, 「調査対象者に謝礼を渡すタイミングの影響」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.423-433.
- 岩井紀子・宍戸邦章・佐々木尚之, 2011, 「East Asian Social Survey を通してみた国際比較調査の困難と課題」『社会と調査』第7号, pp.18-25.
- 岩井紀子・杉田陽出, 2008, 「JGSS 調査票の測定尺度と選択肢」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.407-422.
- KIM, Sang-Wook and KOH, Chi-Young, 2007, “KGSS Comments on EASS 2008 Questionnaire” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.133-137.
- 木村雅文, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (2) JGSS 予備調査の目的と方法」『第72回日本社会学会大会報告要旨』 p.20.
- 小林盾, 2010, 「(小特集 社会調査教育をめぐって) 社会学と社会調査教育: 日本社会学会シンポジウムより」『社会と調査』No.4, pp.52-60.
- 小島宏, 2001, 「選択肢提示順による性別選好規定要因の相違」日本世論調査協会 2001 年度研究大会.
- 小島宏, 2002, 「選択肢提示順による性別選好規定要因の相違」『よろん・日本世論調査協会報』89号, pp.13-16.
- KOJIMA, Hiroshi, 2002, “Who Are More Likely to Make a Neutral Choice in Japan?: The Case of Opinion about Non-Obligation to Have Children After Marriage,” International Conference on Improving Surveys (ICIS 2002), August 25-28, University of Copenhagen, Denmark.
- KOJIMA, Hiroshi, 2003, “Determinants of Attitudes toward Children in Japan: An Analysis of Split-Ballots in the JGSS,” Paper presented at the 54th Session of the International Statistical Institute, 13-20 August 2003, Berlin, Germany.
- 小島宏, 2003, 「中立的回答選択の規定要因—JGSS 予備調査 Split Ballot の分析—」2003 年度日本世論調査協会研究大会.
- 小島宏, 2004, 「中立的回答選択の規定要因—JGSS 予備調査 Split Ballot の分析—」『よろん・日本世論調査協会報』第93号, pp.11-15.
- MINATO, Kunio, 2006, “Cross-National Social Surveys in East Asia: AsiaBarometer, East Asia Value Survey, ISSP, World Values Survey, and East Asian Social Surveys,” EASS Conference 2006, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.
- 湊邦生, 2007, 「東アジアにおける国際比較社会調査とその課題—世界価値観調査、ISSP、アジア・バロメーター、東アジア価値観国際比較調査から EASS へ—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.1-23.
- MINATO, Kunio, 2008, “Cross-national Social Survey in East Asia: World Values Survey, ISSP, AsiaBarometer, Asian Barometer, East Asia Value Survey and EASS” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.159-193.
- MINATO, Kunio, 2008, “Cross-national Social Surveys in East Asia: World Values Survey, ISSP, AsiaBarometer, Asian Barometer, East Asia Value Survey and EASS” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys: Results of EASS 2006 Family Module』 pp.65-82.
- 三輪加奈・岩井紀子, 2010, 「East Asian Social Survey 2010 Health Module の作成 (2) —日韓中台のプリテストに基づく調整—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.297-322.
- 中尾啓子, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (4) 国際比較上の問題点 (GSS との比較)」『第72回日本社会学会大会報告要旨』 p.22.
- 中尾啓子, 2002, 「選択肢の選択: 日米調査データにおける職業価値観の比較から得られた知見」『日本行動計量学会第30回大会発表論文抄録集』 pp.352-353.
- 中尾啓子, 2005, 「複合ネットワークの概要—3種類の社会ネットワークの複合と重複—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.131-152.

- 中尾啓子, 2008, 「社会ネットワークの重複と複合ネットワーク」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.255-271.
- 中尾啓子・池田謙一・安野智子, 2003, 「JGSS-2003 ネットワークモジュールに向けて—予備調査の結果報告—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.193-232.
- 西村幸満・石田浩, 2001, 「JGSS-2000 調査(2000年11月)職業・産業コーディングインストラクション」SSJ Data Archive Research Paper Series 18 (SSJDA-18), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, 22p.
- NITTA, Michio, 2008, “Development of East Asian Social Surveys” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』pp.135-137.
- 大井房子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について(5) 情報化と所得格差と学校教育: JGSS データを用いて」『第73回日本社会学会大会報告要旨』p.29.
- 鈴木規之編, 2008, 『沖縄の社会構造と生活世界—二次利用として公開可能なマイクロデータの構築をめざして—沖縄総合社会調査 2006』平成17~19年度文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書, 沖縄総合社会的調査委員会(琉球大学法文学部社会学講座), pp.1-7.
- 大澤美苗, 2001, 「データの信頼性に関する実務の留意点と使いやすいデータへの配慮」『第74回日本社会学会大会報告要旨』p.192.
- 佐々木尚之, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査の設計・実施・分析—調査方法の創意工夫と結果概要—」『第83回日本社会学会大会報告要旨集』p.189.
- 佐々木尚之・岩井八郎・岩井紀子・保田時男, 2009, 「ライフコースの多様性をとらえる—JGSS-2009 ライフコース調査の設計に関するノート—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』pp.175-210.
- 佐藤博樹, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について(1) JGSS の目的と意義」『第72回日本社会学会大会報告要旨』p.19.
- 佐藤博樹・石田浩・池田謙一編著, 2000, 『社会調査の公開データ: 2次分析への招待』東京大学出版会, 260p.
- 清水誠, 2001, 「JGSS 第2回予備調査データセットのウエイトについて」SSJ Data Archive Research Paper Series 14 (SSJDA-14), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, 17p.
- 清水誠, 2001, 「JGSS 第1回本調査における比推定の試み」『第74回日本社会学会大会報告要旨』p.193.
- 穴戸邦章, 2006, 「国際比較調査における選択肢の検討—韓国・台湾・中国との比較に関する JGSS プロジェクトの経験—」『第79回日本社会学会大会報告要旨集』p.106.
- SHISHIDO, Kuniaki, and IWAI, Noriko, 2011, “Designing Response Categories of Agreement Scales for East Asian Social Survey,” WAPOR 64th Annual Conference, September 23, Amsterdam.
- SHISHIDO, Kuniaki, IWAI, Noriko, and YASUDA, Tokio, 2009, “Designing Response Categories of Agreement Scales for Cross-national Surveys in East Asia:The Approach of the Japanese General Social Surveys,” International Journal of Japanese Sociology, No.18, pp.97-111.
- SHISHIDO, Kuniaki, IWAI, Noriko, and YASUDA, Tokio, 2010, “Challenges of Agreement Scales in Cross-national Surveys:From the Aspect of East Asia”『大阪商業大学論集』第158号, pp.63-76.
- 杉田陽出・岩井紀子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について(3) Split-Ballot による質問項目の検討」『第73回日本社会学会大会報告要旨』p.27.
- 杉田陽出・岩井紀子, 2003, 「JGSS プロジェクト(3) 測定尺度と選択肢」『統計』12月号, pp.49-56.
- 高橋和子, 2000, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について(4) 産業・職業コーディング自動化支援システム」『第73回日本社会学会大会報告要旨』p.28.
- 高橋和子, 2002, 「JGSS-2000 における職業・産業コーディング自動化システムの適用」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.171-183.
- 高橋和子, 2002, 「職業・産業コーディング自動化システムの活用」『言語処理学会第8回年次大会発表論文集』pp.491-494.
- 高橋和子, 2002, 「職業・産業コーディング自動化システムの活用」『情報処理学会自然言語処理研究会報告』2002-NL-147(8), pp.47-53.
- 高橋和子, 2003, 「JGSS-2001 における職業・産業コーディング自動化システムの適用」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.179-191.
- 高橋和子, 2003, 「機械学習による職業コーディングルールによる自動コーディングシステムとの比較—」『第36回数理社会学会大会研究報告要旨集』pp.68-71.
- 高橋和子, 2004, 「職業コーディングにおける ROCCO システムと SVM の組み合わせ」大阪商業大学比較地域研究

- 所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.163-174.
- 高橋和子, 2006, 「統計処理に向けたテキスト型データのコーディング方法—カテゴリーに自動分類する場合—」 原純輔編『学術資源学の構想—平成 15~17 年度科学研究費補助金(萌芽)論文集—』 pp.57-70.
- 高橋和子, 2007, 「機械学習を用いた自由回答分類の高度化に関する研究」東京工業大学博士学位論文, 106p.
- 高橋和子, 2008, 「コーディングの自動化」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.459-471.
- 高橋和子, 2008, 「機械学習による ISCO 自動コーディング」前田忠彦編『2005 年 SSM 調査シリーズ 12 社会調査における測定と分析をめぐる諸問題』2005 年 SSM 調査研究会, pp.47-68.
- 高橋和子, 2011, 「ISCO 自動コーディングシステムの分類精度向上に向けて—SSM および JGSS データセットによる実験の結果—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』 pp.193-205.
- 高橋和子・須山敦・村山紀文・高村大也・奥村学, 2004, 「職業コーディング支援システム(NANACO)の開発」『第 37 回数理社会学会大会研究報告要旨集』 pp.20-23.
- 高橋和子・須山敦・村山紀文・高村大也・奥村学, 2005, 「職業コーディング支援システム(NANACO)の開発と JGSS-2003 における適用」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.225-241.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2004, 「機械学習とルールベースによる職業コーディング」『情報処理学会自然言語処理研究会報告』2004-NL-159(9), pp.53-60.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2004, 「機械学習とルールベースの組み合わせによる職業コーディング」『言語処理学会第 10 回年次大会発表論文集』 pp.737-740.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2004, 「ルールベース手法と機械学習による自由回答の分類—職業コーディング自動化の方法—」『理論と方法』Vol.19 No.2, pp.177-196.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2005, 「機械学習とルールベースの組み合わせによる自動職業コーディング」『言語処理学会論文誌 自然言語処理』Vol.12 No.2, pp.4-23.
- TAKAHASHI, Kazuko, TAKAMURA, Hiroya and OKUMURA, Manabu, 2005, “Automatic Occupation Coding with Combination of Machine Learning and Hand-Crafted Rules,” Proceeding:the 9th International Conference on Pacific-Asia Knowledge Discovery and Data Mining (PAKDD-05), Springer-Verlag Berlin Heidelberg, Lecture Notes in Artificial Intelligence Vol. 3518, pp.269-279.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2005, 「分類スコアに基づいたクラス事後確率の推定」『情報処理学会自然言語処理研究会報告』2005-NL-170(16), pp.97-104.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2006, 「分類スコアに基づいたクラス事後確率の推定」『言語処理学会『第 12 回年次大会発表論文集』 pp.376-379.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2007, 「複数の分類スコアを用いたクラス所属確率の推定」『言語処理学会第 13 回年次大会発表論文集』 pp.542-545.
- TAKAHASHI, Kazuko, TAKAMURA, Hiroya and OKUMURA, Manabu, 2007, “Estimation of Class Membership Probabilities in the Document Classification,” Proceeding: the 11th International Conference on Pacific-Asia Knowledge Discovery and Data Mining (PAKDD-07), Lecture Notes in Artificial Intelligence Vol. 4426, Springer-Verlag Berlin Heidelberg, pp.284-295.
- 高橋和子・高村大也・奥村学, 2008, 「複数の分類スコアを用いたクラス所属確率の推定」『言語処理学会論文誌 自然言語処理』Vol.15 No.2, pp.1-36.
- TAKAHASHI, Kazuko, TAKAMURA, Hiroya and OKUMURA, Manabu, 2008, “Direct estimation of class membership probabilities for multiclass classification using multiple scores,” Knowledge and Information Systems (KAIS), ISSN:0219-1377 (Print) 0219-3116 (Online), Vol.19, No.2, pp.185-210. (2009) DOI:10.1007/s10115-008-0165-z, Springer-Verlag London.
- 谷岡一郎, 2000, 『「社会調査」のウソ—リサーチ・リテラシーのすすめ』文藝春秋, 222p.
- 谷岡一郎・大澤美苗, 2004, 「JGSS プロジェクト(4) 調査方法の国際比較」『統計』1月号, pp.47-54.
- 轟亮・杉野勇編著, 2010, 『入門・社会調査法 2 ステップで基礎から学ぶ』法律文化社, 235p.
- TSAL, Ming-chang (蔡明璋) and CHANG, Chin-fen (張晉芬), 2007, “Pretest Results of Taiwan Social Change Survey, the Fourth Phase of Fifth Wave: Using East Asian Social Survey (2008 Culture Module) Questionnaire” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.107-114.
- 山本耕資, 2007, 「標本調査における性別・年齢による層化の効果: 100 万人シミュレーション」東京大学社会科学研究所『パネル調査プロジェクトディスカッションペーパーシリーズ』No.1, 38p.
- 保田時男, 2004, 「一般化  $\chi^2$  適合度検定の可能性—大規模サンプルの共有公開データが引き起こす問題への対処

- 」『第 37 回数理学学会大会研究報告要旨集』 pp.14-17.
- 保田時男, 2005, 「JGSS データによる父学歴の欠損メカニズムの分析— わからない と 無回答 の違い—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.243-256.
- 保田時男, 2006, 「測定理念の実現を妨げる被調査者との乖離」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.105.
- 保田時男, 2008, 「低下する回収率と回収不能の要因」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.447-458.
- 保田時男, 2009, 「JGSS における調査員の訪問記録の分析」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.79-90.
- 保田時男・稲葉太一, 2008, 「サンプルの抽出と代表性」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.435-446.
- 保田時男・宍戸邦章・岩井紀子, 2008, 「大規模調査の回収率改善のための調査員の行動把握—JGSS における訪問記録の分析から—」『理論と方法』Vol.23 No.2 2008, pp.129-136.
- 保田時男・宍戸邦章・岩井紀子・都村聞人, 2007, 「回収率はなぜ向上したのか：JGSS-2005 と 2006 の比較」『第 80 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.30.
- 善教将大, 2011, 「回答拒否者の論理—JGSS を用いた一般的信頼感と「協力の程度」の分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』 pp.259-271.

## 22 家計・所得

- CHANG, Chin-fen, 2009, “Gender Inequality in Earnings in Industrialized East Asia,” Shorenstein APARC Dispatches, February 2009.
- CHANG, Chin-fen, and ENGLAND, Paula, 2011, “Gender inequality in earnings in industrialized East Asia,” Social Science Research, Vol.40(1), pp.1-14.
- 藤澤三宝子, 2008, 「日本の低所得と生活保護制度—JGSS データによる社会扶助受給決定要因分析を通して—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.263-275.
- 浜銀総合研究所, 2010, 『教育財政及び教育費負担の在り方についての調査研究 各国における教育財政及び教育費負担等の状況に関する調査 報告書』 p.113.
- HARA, Hiromi, and KAWAGUCHI, Daiji, 2008, “The Union Wage Effect in Japan,” INDUSTRIAL RELATIONS, Vol.47, No.4 (October 2008), pp.569-590.
- HASHIGUCHI, Michiyo, 2009, “Skills Formation and Work-life Balance among Diverse Forms of Employment” 大阪大学大学院国際公共政策研究科博士学位論文.
- 岩井紀子, 2002, 「COLUMN：サイフのひもは誰の手に？」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, p.75.
- KASUYA, Masashi and SEKITA, Yasuyoshi, 2005, “Empirical Analyses of Household Income and Well-being for Family Caregivers,” presented at the 5th World Congress of International Health Economics Association.
- 川口大司・原ひろみ, 2007, 「日本の労働組合は役に立っているのか？—組合効果の計測—」JILPT Discussion Paper』 07-02, 35p.
- 川田恵介・湯川志保, 2007, 「賃金格差の要因について 親の所得が子どもの賃金に与える影響」(2006 年度「経済学会学生検証論文」1 等入選論文).
- KIKUCHI, Nobuyoshi, 2011, “Estimating The Returns to Higher Education in Japan” 東京経済研究センター・一橋大学 GCOE・東京労働経済学ワークショップ共催コンファレンス：人的資本の早期形成と経済格差の世代間継承(6 月 18 日, 一橋大学).
- 小林美樹, 2010, 「所得格差と生活の質に関する研究」神戸大学大学院経済学研究科博士学位論文, 102p.
- 近藤博之, 2004, 「所得と教育達成—関連の強さと変化に関する検証—」『日本教育社会学会第 56 回大会発表要旨集録』 pp.230-231.
- 近藤博之, 2005, 「親の所得と大学教育機会—関連の強さと変化に関する検証」『大阪大学教育年報』第 10 号, pp.1-16.
- 栢永佳甫, 2009, 「ソーシャルキャピタルと賃金」『社会イノベーション研究会 SCWG 2008 年度報告書』 pp.36-47.
- 栢永佳甫, 2010, 「ソーシャルキャピタルと賃金」『ESRI ディスカッションペーパーシリーズ No.240』内閣府経済社会総合研究所.
- MATSUNAGA, Yoshiho, 2010, “Salary is Commensurate with Social Capital,” 9th International Conference, International Society for Third Sector Research, July 7, Kadir Has University, Istanbul, Turkey.
- 三澤仁平, 2009, 「将来的な経済的不安感と主観的健康感との関連」第 68 回日本公衆衛生学会総会(10 月 22 日, 奈

- 良県文化会館).
- 三澤仁平, 2010, 「将来における経済的不安感と主観的健康感との関連についての研究—JGSS-2008 データを用いた分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.123-135.
- 水ノ上智邦, 2009, 「所得が出生と教育に与える影響—日本の家計データを用いた分析—」『徳島文理大学研究紀要』第 77 号 (2009), pp.51-59.
- 水落正明, 2008, 「結婚市場と結婚条件」『家族形成に関する実証研究 II』SSJ Data Archive Research Paper Series 39 (SSJDA-39), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.15-28.
- 西村幸満, 2002, 「就業者における所得関数の計測—JGSS-2000 からみた日本の雇用システムの一側面—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.55-68.
- 西村幸満, 2003, 「自営業:就業選択と所得関数の推計—JGSS-2000 と JGSS-2001 を利用して—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.61-74.
- 西村幸満, 2004, 「収入決定における教育、職業、役職の効果—JGSS データにみる長期雇用存続の検証—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.135-147.
- 西村幸満, 2010, 「世帯収入による貧困の測定とその分布の特性分析」厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業『「低所得者の実態と社会保障のあり方に関する研究」平成 21 年度総括研究報告書』pp.51-65.
- 西村幸満, 2010, 「低収入就業世帯の規定要因の分析」厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業『「低所得者の実態と社会保障のあり方に関する研究」平成 21 年度総括研究報告書』pp.231-241.
- 西村幸満, 2010, 「世帯収入による貧困測定を試み—1999-2005 年の貧困率と世帯主の特徴との関連について—」『季刊社会保障研究』Vol.46 No.2, pp.127-138.
- 仁田道夫・篠崎武久, 2008, 「労働組合の賃金効果の検証」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.121-133.
- NITTA, Michio, and SHINOZAKI, Takehisa, 2008, “Testing Union Wage Effects Using JGSS Data,” presented at KGSS-EASS Conference ‘Family and Social Life in East Asia,’ Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- 仁田道夫・篠崎武久, 2011, 「JGSS データを用いた労働組合の賃金効果の異時点間比較」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.105-117.
- 野崎華世, 2009, 「日本における男女間賃金格差と職業決定」『Working Paper Series』No.252, 神戸大学大学院経済学研究科, 17p.
- 野崎華世, 2009, 「日本における女性の働き方・生き方に関する経済分析」神戸大学大学院経済学研究科博士学位論文, 122p.
- 野崎華世, 2010, 「日本における男女間賃金格差と職業選択」『季刊家計経済研究』No.87, pp.51-63.
- 野崎祐子, 2006, 「男女間賃金格差の要因分解—学歴別検証—」『生活経済学研究』第 22・23 巻合併号, pp.151-166.
- NOZAKI, Yuko, and FUKUDA, Nobutaka, 2010, “Wage Penalty Associated to Late Motherhood in Japan,” Eastern Economics Association 36th Annual Conference, February 27, Loew’s Philadelphia Hotel, U.S.A.
- 野崎祐子・福田亘孝, 2009, 「女性の高学歴化が及ぼす出産行動・賃金水準への影響・晩産ペナルティの推計」広島大学経済学部 Discussion Paper, 2009-6.
- 大野裕之, 2009, 「所得税の重税感—『日本版総合的社会調査』個票データによる諸要因の分析—」東京経済研究センター TCER Working Paper, J-2, 27p.
- 大野裕之, 2009, 「所得税の重税感—『日本版総合的社会調査』個票データを用いた実証分析—」2009 年度日本応用経済学会春季大会 (6 月 13 日, 名古屋大学).
- 大野裕之, 2009, 「所得税の重税感—『日本版総合的社会調査』個票データを用いた実証研究」日本経済学会 2009 年度秋季大会 (10 月 11 日, 専修大学).
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2009, “Happiness, self-rated health, and income inequality: Evidence from nationwide surveys in Japan,” PIE/CIS Discussion Paper No.451, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, 25p.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2009, “Regional income inequality and happiness: Evidence from Japan,” PIE/CIS Discussion Paper No.460, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, 22p.
- 尾崎裕子, 2006, 「家計のペット飼育選択に関する実証的研究」日本女子大学博士学位論文, 230p.
- 佐野晋平・安井健悟, 2009, 「日本における教育のリターンの推計」『国民経済雑誌』第 200 巻第 5 号, pp.71-86.
- 佐藤博樹, 2002, 「COLUMN: 賃金のさまざまな支払い形態」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.106-107.

- 清水誠, 2002, 「所得が出生に及ぼす影響—JGSS-2000 への Butz and Ward Model の適用—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.149-158.
- 清水誠, 2008, 「所得と出産行動」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.47-57.
- 篠崎武久, 2005, 「再分配政策への支持を決定する要因—先行研究の結果と JGSS データを用いた分析結果の比較—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.205-218.
- 篠崎武久, 2008, 「所得の水準とばらつきの時系列的推移について—JGSS と政府統計の比較—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.147-157.
- 寺沢拓敬, 2009, 「英語格差の実態—英語スキルが労働賃金に与える影響」『日本教育社会学会第 61 回大会発表要旨収録』pp.45-46.
- 都村聞人, 2006, 「家計の教育費に影響を及ぼす諸要因—JGSS-2002 データを用いた分析」『日本教育社会学会第 58 回大会発表要旨集録』pp.47-48.
- 都村聞人, 2007, 「親の教育意識が家計の教育費負担に及ぼす影響—JGSS-2006 データによる分析」『第 80 回日本社会学会大会報告要旨集』p.186.
- 都村聞人, 2008, 「親の教育意識が家計の教育費負担に及ぼす影響—JGSS-2006 データによる分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.69-80.
- 都村聞人, 2010, 「家計の教育費支出構造の長期的変化」『日本教育社会学会第 62 回大会発表要旨集録』pp.346-347.
- 都村聞人・岩井八郎, 2008, 「家計における教育費負担」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.195-210.
- 都留康・吉中孝・榎広之・徳田秀信, 2008, 「労働組合の経済効果と未組織労働者の組織化支持—失われた 10 年の前後比較—」『一橋大学経済研究所 Discussion Paper Series』A No.505.
- 都留康・吉中孝・榎広之・徳田秀信, 2009, 「労働組合の賃金・発言効果と未組織労働者の組織化支持—失われた 10 年の前後比較—」『経済研究』第 60 巻第 2 号, pp.140-155.
- 吉岡慎一, 2010, 「2000 年代の所得不平等度と貧困度の推移—JGSS と官庁統計—」『西南学院大学経済学論集』第 45 巻第 3 号, pp.89-111.
- 勇上和史・佐々木昇一, 2011, 「所得格差と女性の婚姻率：地域の結婚市場の視点から」『国民経済雑誌』第 204 巻第 3 号, pp.65-79.
- 23 生活史・ライフコース
- 阿形健司, 2011, 「従業上の地位の変化と職業資格との関連—JGSS-2009 ライフコース調査による分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.71-78.
- 安東千晶・石田章・横山繁樹・会田陽久, 2008, 「子ども時代の生育環境と成人後のガーデニングへの取組との関連」『農業生産技術管理学会誌』15(2), pp.87-92.
- 平尾桂子, 2010, 「職業経歴と結婚イベント—JGSS-2009 ライフコース調査による動態的分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.205-216.
- 平尾桂子, 2010, 「ゼロ年代のライフコース(2)—JGSS-2009 ライフコース調査による職歴と結婚イベントの分析—」『第 20 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.30-31.
- 平尾桂子, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査の設計・実施・分析—イベントヒストリー分析の適用—」『第 83 回日本社会学会大会報告要旨集』p.191.
- IWAI, Hachiro, 2007, “Changing Patterns of Women’s Life Course in the Japanese Lost Decade,” Global COE Kickoff Symposium (京都大学).
- 岩井八郎, 2008, 「失われた 10 年」と女性のライフコース—第二次ベビーブーム世代の学歴と職歴を中心に—『教育社会学研究』第 82 集, pp.61-87.
- 岩井八郎, 2010, 「戦後日本型ライフコースの変容—JGSS-2009 ライフコース調査の研究視角と予備的分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.193-204.
- 岩井八郎, 2010, 「ゼロ年代のライフコース(1)—JGSS-2009 ライフコース調査の設計・研究視角・予備的分析結果—」『第 20 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.28-29.
- 岩井八郎, 2010, 「家族主義の定着と変容—ライフコースがはらむ新たな問題」大阪ガスエネルギー・文化研究所



- 『CEL 94号』 pp.20-23.
- 岩井八郎, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査の設計・実施・分析—回顧的経歴データの視覚的分析—」『第83回日本社会学会大会報告要旨集』 p.190.
- 岩井八郎・岡田丈祐・伊達平和, 2011, 「1990年代以降の高等教育機会と社会階層—JGSS-2009 ライフコース調査の分析—」『第63回日本教育社会学会大会発表要旨収録』 pp.66-69.
- 岩井八郎・轟亮・阿形健司・岡田丈祐, 2010, 「ゼロ年代の教育と初期キャリア—JGSS-2009 ライフコース調査の分析—」『日本教育社会学会第62回大会発表要旨集録』 pp.42-47.
- 小林盾, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査にみる仕事への取りくみ—仕事量、アイデア提案、同僚サポートの分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.251-260.
- 小林盾, 2010, 「フリーライダーとライフスタイル—JGSS-2009 ライフコース調査の分析—」『第50回数理社会学会大会研究報告要旨集』 pp.65-68.
- 中澤涉, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査にみる高等教育進学行動の分析—日本における相対リスク回避説の検証—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.217-227.
- 中澤涉, 2011, 「若年層の正規/非正規労働の地位と離転職傾向の関係—JGSS-2009 ライフコース調査の職業経歴を用いた分析—」『第51回数理社会学会大会発表要旨収録』 pp.45-48.
- NAKAZAWA, Wataru, 2011, “Nonstandard Educational Trajectories and Their Impact on School-to-Work Transition in Japan,” ISA RC28, August 10, University of Iowa.
- 野崎華世, 2011, 「JGSS-2009 ライフコース調査を用いた職種経験と所得に関する分析」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』 pp.93-104.
- 岡田丈祐, 2010, 「職業能力の獲得パターンに関する基礎的分析—JGSS-2009 ライフコース調査より—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.239-250.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2011, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2009LCS』.
- 佐々木尚之, 2010, 「子育ての悩みの類型—JGSS-2009 ライフコース調査による人間発達学的検証—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.261-272.
- 佐々木尚之, 2010, 「ゼロ年代のライフコース(3)—JGSS-2009 ライフコース調査による子育て世代の分析—」『第20回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.32-33.
- 佐々木尚之, 2010, 「JGSS-2009LCS データにみる日本人の子育ての悩み—人間発達の観点から—」日本心理学会第74回大会(9月20日, 大阪大学).
- 佐々木尚之, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査の設計・実施・分析—調査方法の創意工夫と結果概要—」『第83回日本社会学会大会報告要旨集』 p.189.
- 佐々木尚之・岩井八郎・岩井紀子・保田時男, 2009, 「ライフコースの多様性をとらえる—JGSS-2009 ライフコース調査の設計に関するノート—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』 pp.175-210.
- 轟亮, 2010, 「若年層の職業能力開発に関する意識—JGSS-2009 ライフコース調査データから—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.229-237.
- TSUTSUI, Jun'ya, 2005, “Factors Affecting Life Courses of Young Adults in Japan: Possible Causes for Late Marriage in Recent Years,” paper presented at the American Sociological Association 100th Annual Meeting.
- 山内乾史, 2011, 「JGSS-2009LCS データに基づく高等教育就学の規定要因に関する考察」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』 pp.79-91.
- 野崎華世, 2011, 「同一職種経験年数と本人所得に関する実証分析—JGSS-2009LCS を用いた分析—」日本経済政策学会第68回全国大会(5月29日, 駒沢大学).

## 24 法律・制度

- 石井将智, 2004, 「人間観と懲罰観について」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.215-226.
- 岩井紀子, 2002, 「COLUMN: 夫婦別姓—民法改正のゆくえは」岩井紀子・佐藤博樹編 『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.72-74.
- LONG, Susan Orpett, 2005, Final days: Japanese culture and choice at the end of life, University of Hawaii Press.
- LONG, Susan Orpett・岩井紀子, 2002, 「安楽死の法制化」岩井紀子・佐藤博樹編 『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.300-306.

- 西村幸満, 2010, 「世帯収入による貧困の測定とその分布の特性分析」厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業『「低所得者の実態と社会保障のあり方に関する研究」平成 21 年度総括研究報告書』pp.51-65.
- 西村幸満, 2010, 「低収入就業世帯の規定要因の分析」厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業『「低所得者の実態と社会保障のあり方に関する研究」平成 21 年度総括研究報告書』pp.231-241.
- 谷岡一郎, 2002, 「少年法改正の議論」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.212-216.
- 谷岡一郎, 2002, 「裁判所の判決と死刑制度・裁判所への信頼感—犯罪の凶悪化・増加は本当か」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.217-221.
- 谷岡一郎, 2004, 「カジノ合法化に対する日本人の意識—JGSS-2002 データによる地域差、都市化レベル、そして社会的属性の研究—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.77-92.
- TANIOKA, Ichiro, 2004, “Attitude Toward the Legalization of Casino Gaming in Japan: The Difference in Regions, Urbanization Levels, and by Socio-Economic Background,” EASS Conference 2004, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- 谷岡一郎・梁亨恩, 2004, 「カジノ合法化に対する日本人の意識—JGSS-2002 データより—」『ギャンブル学・ゲーミング学研究』創刊号, pp.40-47.
- 山本博子, 2009, 「裁判員制度導入以前における日本の死刑制度の賛否に関する世論の分析—JGSS 累積データ 2000-2001 における死刑反対の根拠について—」京都大学文学部社会学研究室『京都社会学年報』第 17 号, pp.67-85.
- YUDA, Michio, 2010, “The Impacts of Recent Smoking Control Policies on Individual Smoking Choice” 中京大学経済学部附属経済研究所『DISCUSSION PAPER』No.1006, 38 p.

## 25 国際関係・異文化理解

- CHANG, Chin-fen, 2011, “Who Are 'Global'? A Test of Propositions of Globalization in East Asia,” WAPOR 64th Annual Conference, September 23, Amsterdam.
- 福田友子, 2007, 「外国人との接触経験と「地域の国際化」」玉野和志(研究代表者)『都市の構造転換とコミュニティの変容に関する実証的研究 平成 15 年度～平成 17 年度科学研究費補助金(基盤研究 C)研究成果報告書』pp.207-219.
- GOBO, Giampietro, 2010, “La Globalizzazione Della Survey: Storia, Limiti e Opportunità,” Studi di Sociologia Vol.48 3/4, pp.251-273.
- 石井健一, 2011, 「韓国ドラマ視聴の要因分析—対外意識とコンテンツ利用の関連」『Discussion Paper Series』No.1282, 筑波大学大学院システム情報工学研究科, 11p.
- 岩井紀子, 2002, 「COLUMN：外国人とのつき合い・外国人が増えることに賛成ですか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.250-252.
- KIM, Seokho (김석호), SHIN, Incheol (신인철), and KIM, Byungsoo (김병수), 2011, “이주노동자에 대한 태도에 영향을 미치는 교육의 효과 분해 (Decomposition of Educational Effects on Attitudes toward migrant workers: A Comparative Study on Korea, Japan, and Taiwan),” 한국인구학 (Korean Journal of Population Studies), Vol.34 No.1, pp.129-157.
- 小島宏, 2006, 「外国人に関する意識の規定要因—ESS と JGSS の比較分析—」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨集』p.344.
- KOJIMA, Hiroshi, 2007, “A Comparative Analysis of Attitudes toward Immigration among Europeans and Japanese, drawing on the ESS-2002/2003 and the JGSS-2003,” Proceedings of the European Sociological Association 8th Conference, September 3-6, Glasgow, UK, p.304.
- KOJIMA, Hiroshi, 2009, “Determinants of Attitudes toward Immigration among Europeans and Japanese, drawing on the ESS-2002/2003 and the JGSS-2003,” XXVI International Population Conference, September 27-October 2, Marrakech, Morocco.
- KUNG, Hsiang-Ming, and SU, Shuo-Bin, 2010, “Does Social Distance Explain Everything? Effects of Sociodemographic Factors on Attitudes toward Immigrants in East Asian Countries,” EASS Conference 2010, November 25, Osaka University of Commerce.
- 李容玲, 2009, 「日本人と外国人の共生を促す決定要因について—JGSS-2005 データに反映する制度と意識の相関性—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.121-140.
- 湊邦生, 2009, 「JGSS-2006 から見た日本におけるモンゴル国の好感度—東アジア各国・地域との比較検討—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』

- pp.139-156.
- MINATO, Kunio, 2009, "Cross-cultural Contact and Attitude Toward Foreign Culture of the Japanese Seen from JGSS-2008" 『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.311.
- MINATO, Kunio, 2010, "Affinity with a Neighbor Approaching from Afar: The Japanese Attitude toward Mongolia Seen from Survey Data" 『立命館産業社会論集』 第 46 巻第 3 号, pp.63-80.
- 永吉希久子, 2008, 「排外意識に対する接触と脅威認知の効果—JGSS-2003 の分析から—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.259-270.
- NAGAYOSHI, Kikuko, 2009, "Whose Size Counts? Multilevel Analysis of Japanese Anti-Immigrant Attitudes Based on JGSS-2006" 大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』 pp.157-174.
- 永吉希久子, 2010, 「多文化状況における社会統合に対する信頼感の影響—JGSS-2008 の分析から—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.149-162.
- 中澤涉, 2007, 「在日外国人の多寡と外国人に対する偏見との関係」『ソシオロジ』 第 52 巻第 2 号, pp.75-91.
- NAOI, Megumi, 2010, "Why Low-Income Citizens Are Protectionist Consumers: A Research Note on JGSS-2008" 大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.137-148.
- NUKAGA, Misako, 2006, "Xenophobia and the Effects of Education: Determinants of Japanese Attitudes toward Acceptance of Foreigners" 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.191-202.
- 大槻茂実, 2006, 「外国人接触と外国人意識—JGSS-2003 データによる接触仮説の再検討—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.149-159.
- 大槻茂実, 2007, 「外国人の増加に対する日本人の見解—JGSS-2003 データを用いて—」『社会学論考』 第 28 号, pp.1-25.
- 岡太彬訓, 2011, 「スペクトル分解による外国人に対する親近感の分析—EASS 2008 のデータを用いた非対称多次元尺度構成法の応用—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』 pp.119-128.
- 大岡栄美, 2011, 「社会関係資本と外国人に対する寛容さに関する研究—JGSS-2008 の分析から—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』 pp.129-141.
- 大竹文雄, 2010, 『競争と公平感 市場経済の本当のメリット』中公新書 2045, 245p.
- PARK, Jaehyun, and KIM, Seokho, 2009, "Perception of and Attitude towards Globalization:A Comparative Study on China, Japan, South Korea, and Taiwan," Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- SATO, Yoshimichi, 2009, "Reviews:Jeffrey C. Alexander, The Civil Sphere, New York and Oxford University Press, 2006, xix+793 pp., ISBN9780195612509," International Sociology, March 2009, pp.262-267.
- 宍戸邦章, 2011, 「生活の質 ( QOL ) と主観的幸福感(Well-being)」大川一郎ほか編著 『シリーズ生涯発達心理学⑤ エピソードでつかむ 老年心理学』 ミネルヴァ書房, pp.178-181.
- TAKENOSHITA, Hirohisa, 2009, "The Economic Incorporation of Brazilian Migrants in Comparative Perspective:A Comparative Study of Brazilian Labour Market Outcome in Japan and the United States," International Sociological Association, the 2008 Summer Meeting of RC28, August 6-9, Stanford University.
- 田辺俊介, 2001, 「外国人への排他性と接触経験」『社会学論考』 第 22 号, pp.1-14.
- 田辺俊介, 2004, 「国別好感度から見る「日本人」の世界認知—JGSS 第一次予備調査を用いて—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.199-213.
- TANABE, Shunsuke, 2008, "Japanese Perspectives on "Asia": Analyses of JGSS-2006 Data" 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』 pp.83-90.
- TANABE, Shunsuke, 2009, "Japanese Perspectives on "Asia":Analyses of JGSS-2006" 大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編 『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.13-25.
- TSAI, Ming-chang ( 蔡明璋 ), 2009, "Transnational Travels and Acquaintances in Four East Asian Societies," Proceedings

- of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- TSAI, Ming-Chang (蔡明璋), 2010, "Transnational Travels and Acquaintances in Four East Asian Societies," JGSS Research Seminar, January 11, JGSS Research Center, Osaka University of Commerce.
- WANG, Weidong (王衛東), 2009, "The Social Distance between East Asian Societies," presented at The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- WANG, Weidong (王衛東), 2010, "Social Distance of East Asia," JGSS Research Seminar, January 11, JGSS Research Center, Osaka University of Commerce.
- WANG, Weidong, and SASAKI, Takayuki, 2010, "Globalization and social distance of East Asia," Conference Abstracts:XVII ISA World Congress of Sociology, July 16, Gothenburg, Sweden, p.521.
- WANG, Yujun, and WANG, Weidong, 2010, "Pan-Asian Identity?: The Study of China, Japan, South Korea, and Taiwan," EASS Conference 2010, November 25, Osaka University of Commerce.
- XIE, Guihua(謝桂華), 2006, "Review of the Studies of Globalization's Impact on Value in China," EASS Conference 2006, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.
- YAMAMURA, Eiji, 2009, "Frequency of contact with foreigners in a homogenous society:perceived consequences of foreigner increases in Japan," MPRA Paper No.14646.

## 26 国際比較

- 安藏伸治, 2002, 「離婚の推移とその要因—アメリカと日本の離婚について—」『統計』10月号, pp.16-22.
- BIAN, Yanjie, 2011, "East Asian Conceptualization of Network Social Capital," WAPOR 64th Annual Conference, September 23, Amsterdam.
- BOASE, Jeffrey, and IKEDA, Ken'ichi, 2012, "Core Discussion Networks in Japan and America," Human Communication Research, 38, pp.95-120.
- 曹陽, 2010, 「子ども数に関する現実と理想—EASS 2006 データを用いた日韓中台の比較—」『日本社会心理学会第51回大会発表論文集』pp.576-577.
- CHANG, Chin-fen, 2011, "Who Are 'Global'? A Test of Propositions of Globalization in East Asia," WAPOR 64th Annual Conference, September 23, Amsterdam.
- CHANG, Chin-fen, and TSAI, Ming-chang, 2008, "Women's Subjective Social Identify in East Asia:How Does Family Matter?" 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』pp.183-201.
- CHEN, Wan-chi, 2011, "How Education Enhances Happiness: Comparison of Mediating Factors in Four East Asian Countries," Social Indicators Research, DOI:10.1007/s11205-011-9798-5.
- CHEN, Yu-Hua, and CHANG, Ching-fen, 2010, "The Heterogeneity of Gender Role Attitudes among China, Japan, Korea and Taiwan," EASS Conference 2010, November 25, Osaka University of Commerce.
- CHEN, Yu-Hua, TSUTSUI, Jun'ya, and KOH, Chi-Young, 2008, "Mate Selection Trends in Japan, Korea, and Taiwan:An Analysis Using EASS2006" 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』pp.163-181.
- 千早健次, 2010, 「配偶者選択における第三者からの結婚相手の紹介と学歴同類婚—EASS 2006 の日本と中国のデータから—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.183-191.
- East Asian Social Survey Data Archive [ed.], 2010, EASS 2006 'Families in East Asian' Codebook, Sungkyunkwan University.
- East Asian Social Survey Data Archive [ed.], 2010, EASS 2008 'Culture Module' Codebook, Sungkyunkwan University.
- FU, Yang-chi, and CHU, Yun-han, 2008, "Different Survey Modes and International Comparisons," DONSBACH, W., and TRAUOGOTT, M. W. [eds.], The SAGE Handbook of Public Opinion Research, pp.284-293.
- HAN, Gyounghae, and KIM, Sang-Wook, 2008, "Lineage Differences in Inter-generational Relations:A Cross-national Comparisons" 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』pp.217-235.
- HAN, Gyounghae, and KIM, Sang-Wook, 2008, "Generation in the Middle:A Comparison of Support Provisions between Korean and Japan," presented at KGSS-EASS Conference 'Family and Social Life in East Asia,' Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- HAN, Gyounghae, and KIM, Sang-Wook, 2008, "Lineage Difference in Intergenerational Support Relationships:A Comparison between Korea and Japan" 『第18回日本家族社会学会大会報告要旨』p.87.
- HAN, Gyounghae, LEE, Yun-Suk, and KIM, Sang-Wook, 2008, "A Typology of Inter-generational Relations: Comparison

- between Korea and Japan” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』 pp.203-215.
- 埴淵知哉・中谷友樹・村田千代栄, 2009, 「東アジアにおける健康と社会経済的地位の関連—日本・韓国・中国・台湾の比較」 『日本公衆衛生雑誌 (第 68 回日本公衆衛生学会総会抄録集)』 56(10), p.S506.
- HANIBUCHI, Tomoya, NAKAYA, Tomoki, and MURATA, Chiyoe, 2010, “Socio-economic status and self-rated health in East Asia: a comparison of China, Japan, South Korea and Taiwan,” *The European Journal of Public Health* 2010; doi: 10.1093/eurpub/ckq174.
- HAYO, Bernd, and ONO, Hiroyuki, 2007, “Comparing Public Attitudes Towards Providing for the Livelihood of the Elderly in Two Aging Societies:Germany and Japan,” paper submitted to Faculty of Business Administration and Economics, Philipps-University Marburg, No.03-2007.
- 本田由紀, 2002, 「継続教育訓練経験の国際比較—JGSS-2000 と国際成人識字調査結果より—」 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.69-80.
- INOUCHI, Takashi, and FUJII, Seiji, 2007, *The AsiaBarometer: Its Aim, Its Scope and Its Development*.
- 石田浩, 2003, 「社会階層と階層意識の国際比較」 樋口美雄・財務省財務総合政策研究所編 『日本の所得格差と社会階層』 日本評論社, pp.105-126.
- ISHIDA, Hiroshi, 2003, “Class Structure, Intergenerational Mobility and Status Consciousness in Japan and Industrial Nations,” Thematic Lecture Series on East Asia [Theme 3]:Social Inequality, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- ISHIDA, Hiroshi, 2004, “Does Class Matter in Japan? Demographics of Class Structure and Class Mobility in Comparative Perspective,” Conference on Researching Social Class in Japan, Center for Japanese Studies, University of Michigan, March 20-21, Michigan, USA.
- 石田浩, 2004, 「社会的不平等と階層意識の国際比較」 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.149-161.
- ISHIDA, Hiroshi, 2009, “Does Class Matter in Japan? Demographics of Class Structure and Class Mobility from a Comparative Perspective,” ISHIDA, Hiroshi, and SLATER, David [eds.], *Social Class in Contemporary Japan*, Routledge, pp.33-56.
- 石田賢示, 2011, 「社会的紐帯の形成に関する日米比較分析」 第 51 回数理社会学会大会 (3 月 8 日, 沖縄国際大学).
- IWAI, Hachiro, and NAKAO, Keiko, 2010, “Cross-cultural Comparisons on the Process of Status Attainment:Comparisons among Four East Asian Societies based on EASS 2008,” EASS Conference 2010, November 25, Osaka University of Commerce.
- 岩井紀子, 2008, 「東アジアの家族—East Asian Social Survey 2006 を用いて—」 『第 18 回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.82-83.
- IWAI, Noriko, 2008, “Features of Housework in Japan: In Comparison with Taiwan, Korea and China Based on the EASS 2006 Data,” presented at KGSS-EASS Conference ‘Family and Social Life in East Asia,’ Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- 岩井紀子, 2008, 「日本人の家事頻度の特徴—EASS 2006 にもとづく東アジアの比較分析—」 『第 81 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.95.
- IWAI, Noriko, 2009, “Housework in Japan: In comparison with Taiwan, Korea and China based on the EASS 2006 Data,” Open Roundtable Session, 104th Annual Meeting of American Sociological Association, August 10, San Francisco, U.S.A.
- IWAI, Noriko, 2009, “Values across China, Japan, South Korea and Taiwan,” presented at The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- IWAI, Noriko, 2010, “Housework by husband and wife in Japan, China, Korea and Taiwan,” Conference Abstracts: XVII ISA World Congress of Sociology, July 12, Gothenburg, Sweden, p.216.
- IWAI, Noriko, 2011, “East Asian Identity and Social Distance among China, Japan, SouthKorea, and Taiwan: Based on the East Asian Social Survey 2008,” AAS-ICAS Joint conference, April 3, Honolulu, Hawaii.
- 岩井紀子・宍戸邦章・佐々木尚之, 2011, 「East Asian Social Survey を通してみた国際比較調査の困難と課題」 『社会と調査』 第 7 号, pp.18-25.
- IWAI, Noriko, and TAKEGAMI, Misa, 2011, “Health-related Quality of life in East Asia,” WAPOR 64th Annual Conference, September 23, Amsterdam.
- IWAI, Noriko, and TAKEGAMI, Misa, 2011, “Health-related Quality of Life in East Asia,” EASS 2011 Symposium, November 17, Academia Sinica, Taiwan.
- 岩井紀子・上田光明編, 2011, 『データで見る東アジアの文化と価値観—東アジア社会調査による日韓中台の比較 2』 ナカニシヤ出版, 132p.

- IWAI, Noriko, and UEDA, Mitsuaki [eds.], 2011, Culture and Values in East Asia:A comparison among Japan, South Korea, China, and Taiwan based on East Asian Social Survey 2008 (データで見る東アジアの文化と価値観—東アジア社会調査による日韓中台の比較 2[英語版]), ナカニシヤ出版.
- 岩井紀子・保田時男編, 2009, 『データで見る東アジアの家族観—東アジア社会調査による日韓中台の比較』ナカニシヤ出版, 107p.
- IWAI, Noriko, and YASUDA, Tokio [eds.], 2011, Family Values in East Asia:A comparison among Japan, South Korea, China, and Taiwan based on East Asian Social Survey 2006 (データで見る東アジアの家族観—東アジア社会調査による日韓中台の比較[英語版], 佐々木尚之・篠原さやか・林光訳), ナカニシヤ出版, 107p.
- IWAI, Noriko, YASUDA, Tokio, SHISHIDO, Kuniaki, SASAKI, Takayuki, and HANIBUCHI, Tomoya, 2008, “Results of EASS 2006 Family Module” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』 pp.139-162.
- IWAI, Noriko, YASUDA, Tokio, SHISHIDO, Kuniaki, and TABUCHI, Rokuro, 2007, “Analysis of Intergenerational Assistance to/from Parents and Parents-in-law: First trial using JGSS-2006,” presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- JONSSON, Jan O., GRUSKY, David B., DICARLO, Matthew, POLLAK, Reinhard and BRINTON, Mary C., 2006, “The Role of Occupational Inheritance in the Social Mobility Process,” Institute of Sociology of the Academy of Science of the Czech Republic, paper were discussed at sociology seminars at the University of Umeå and Gothenburg in March 2005, revised on February 19, 2006, 42p.
- JONSSON, Jan O., GRUSKY, David B., DICARLO, Matthew, POLLAK, Reinhard and BRINTON, Mary C., 2007, “Micro-Class Mobility: Social Reproduction in Four Counties,” Mannheimer Zentrum Für Europäische sozialforschung (MZES), paper submitted to MZES, in July 2007, 47p.
- 片桐恵子, 2011, 「東アジアにおける伝統的家族規範・性別役割規範とサポートにないする態度—EASS データによる日本・韓国・中国・台湾 4 力国比較」『老年社会科学第 53 回大会報告要旨号』 Vol.33-2, p.266.
- KATAGIRI, Keiko, 2011, “Comparison of family values in East Asian countries: The Relationship between the traditional family norm, sex role norm, and attitudes toward supporting parents,” Proceedings:9th Biennial Conference of Asian Association of Social Psychology, p95.
- KATAGIRI, Keiko, 2011, “Comparison of traditional family norms and intergenerational support in four East-Asian Countries,” Preceedings: 64th Annual Scientific Meeting, the Gerontological Society of America, p.199.[FE]
- KIM, Jibum, 2011, “Aging Anxiety in Japan, Korea, and the United States,” EASS 2011 Symposium, November 17, Academia Sinica, Taiwan.
- KIM, Jibum, KIM, Seokho, and YOO, Hongjoon, 2010, “Paranormal Beliefs in East Asia,” presented at the 63rd Annual Conference of the World Association of Public Opinion Research, Chicago, IL.
- KIM, Ki Hun, 2004, “Trends and Differentials in School Transitions in Korea and Japan,” paper presented at the conference ‘Inequality and Stratifications: Broadening the Comparative Scope’ of Research Committee 28 (Social stratification and Mobility) of International Sociological Association, Rio de Janeiro, Brazil, August 7-9, 2004, 49p.
- KIM, Ki Hun, and MIWA, Satoshi, 2005, “System Context Revisited: Educational Reform and Inequality in Japan and Korea,” paper presented at the conference ‘Inequality and Mobility in Family, School, and Work’ of Research Committee 28 (Social stratification and Mobility) of International Sociological Association, August 18-20, 2005, 32p.
- 김기헌 (KIM, Ki Hun)・방하남 (PHANG, Hanam), 2005, 「고등교육 진학에 있어 가족배경의 영향과 성별 격차 (Social Class and Gender Differentials in Korean and Japanese Higher Education:A Comparative Study)」『韓國社會學 (The korean journal of sociology)』 Vol.39 No.5, pp.119-151. (韓国語)
- KIM, Sang-Wook, 2004, “A Comparison of the Characteristics of General Social Surveys in East Asia,” Academy of East Asian Studies, Sungkyun Journal of East Asian Studies, 4(2), pp.137-154.
- KIM, Sang-Wook, 2011, “Factors Leading to Desired Body Weight in Korea and Japan,” EASS 2011 Symposium, November 17, Academia Sinica, Taiwan.
- KIM, Seokho (김석호), SHIN, Incheol (신인철), and KIM, Byungsoo (김병수), 2011, “이주노동자에 대한 태도에 영향을 미치는 교육의 효과 분해 (Decomposition of Educational Effects on Attitudes toward migrant workers: A Comparative Study on Korea, Japan, and Taiwan),” 한국인구학 (Korean Journal of Population Studies), Vol.34 No.1, pp.129-157.
- 小磯かをる, 2011, 「中国・日本・韓国・台湾における成人の英語力の比較と各国/地域の若者層の英語力の規定要因—EASS 2008 のデータをもとに—」『大阪商業大学論集』第 162 号, pp.19-33.
- KOJIMA, Hiroshi, 2001, “The Development of the Japanese General Social Surveys and Its Relevance to Korea,” The Academy of Korean Studies Colloquium, Seoul, Korea.
- KOJIMA, Hiroshi, 2003, “Determinants of Attitudes toward Children:A Comparative Analysis of the JGSS-2000/2001 and

- the Taiwan Social Change Survey 2001,” Max Planck Institute for Demographic Research Seminar, Rostock, Germany.
- 小島宏, 2004, 「子どもに関する意識の規定要因—JGSS-2000/2001/2002 と台湾社会変遷基本調査 2001 の比較分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-11.
- 小島宏, 2004, 「日本・韓国・台湾における子どもに関する意識の規定要因—JGSS-2000/2001/2002、KNFS-2000、TSCS-2001 の比較分析—」『韓国・台湾・シンガポール等における少子化と少子化対策に関する比較研究平成 15 年度総括研究報告書』pp.26-54.
- KOJIMA, Hiroshi, 2004, “Determinants of Gender Preference for Children in Japan:A Comparison with Korea,” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences [ed.], 36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts (Papers Presented in Sessions), pp.82-83.
- KOJIMA, Hiroshi, 2004, “Determinants of Attitudes toward Children in Japan and Taiwan:A Comparative Analysis of JGSS-2000/2001/2002 and TSCS-2001,” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences [ed.], 36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts (Papers Presented in Sessions), pp.101-102.
- 小島宏, 2005, 「日本・台湾・韓国における子どもに対する意識の規定要因」『第 14 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.38-39.
- 小島宏, 2005, 「東アジアにおける宗教と出生意識」『日本人口学会 第 57 回大会報告要旨集』pp.45-46.
- KOJIMA, Hiroshi, 2005, “Gender Preference for Children in Japan, Korea and Taiwan: A Comparative Analysis of JGSS, KNFS and TSCS,” Abstracts of Women’s Worlds 2005, 9th International Interdisciplinary Congress on Women, June 19-24, Ewha Womens University, Seoul, Korea, p.56.
- KOJIMA, Hiroshi, 2005, “Determinants of Attitudes toward Children in Japan, Korea and Taiwan:A Comparative Analysis of JGSS, KNFS and TSCS,” Proceedings of the IUSSP XXV International Population Conference, Tours, France, pp.1-10.
- KOJIMA, Hiroshi, 2005, “A Comparative Analysis of Fertility-Related Attitudes in Japan, Korea and Taiwan,” Proceedings of the International Conference on Low Fertility and Rapid Aging in East and South East Asian Societies, Dong-A University, Pusan, Korea, pp.1-25.
- KOJIMA, Hiroshi, 2006, “A Comparative Analysis of Fertility-Related Attitudes in Japan, Korea and Taiwan,” F-GENS Journal, No.5, pp.324-336.
- 小島宏, 2006, 「外国人に関する意識の規定要因—ESS と JGSS の比較分析—」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨集』p.344.
- KOJIMA, Hiroshi, 2007, “A Comparative Analysis of Fertility-Related Attitudes in Japan, Korea and Taiwan,” presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- KOJIMA, Hiroshi, 2007, “A Comparative Analysis of Attitudes toward Immigration among Europeans and Japanese, drawing on the ESS-2002/2003 and the JGSS-2003,” Proceedings of the European Sociological Association 8th Conference, September 3-6, Glasgow, UK, p.304.
- 小島宏, 2007, 「日本・韓国・台湾における子どもの必要性と性別選好—JGSS、KNFS、TSCS の比較分析—」『第 80 回日本社会学会大会報告要旨集』p.244.
- 小島宏, 2008, 「日本・韓国・台湾における子どもの必要性意識と性別選好」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.59-72.
- 小島宏, 2008, 「日本と台湾における既婚女性の就業中断と出生—JGSS と TSCS の比較分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集 [7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.45-55.
- 小島宏, 2008, 「日本と台湾における既婚女性の出生行動・出生意識—JGSS、TSCS、WMFES の比較分析—」『男女労働者の働き方が東アジアの低出生力に与えた影響に関する国際比較研究平成 19 年度総括研究報告書』pp.61-82.
- KOJIMA, Hiroshi, 2008, “A Comparative Analysis of Attitudes toward Children in East Asia,” 46th Interim CFR (Committee on Family Research) Conference, International Sociological Association, September 10, ISCSIP, Lisbon, Portugal.
- 小島宏, 2009, 「東アジアにおける就業と家族形成意識・行動—JGSS、TSCS、WMFES、EASS の比較分析—」『男女労働者の働き方が東アジアの低出生力に与えた影響に関する国際比較研究平成 20 年度総括研究報告書』.
- 小島宏, 2009, 「東アジアにおける就業と家族形成意識・行動—JGSS、TSCS、WMFES、EASS の比較分析—」『早稲田社会科学総合研究』第 10 号 1 号 (July.2009), pp.47-73.
- 小島宏, 2009, 「東アジアにおける就業と家族形成—マイクロデータの比較分析—」『第 19 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.102-103.

- KOJIMA, Hiroshi, 2009, "Determinants of Attitudes toward Immigration among Europeans and Japanese, drawing on the ESS-2002/2003 and the JGSS-2003," XXVI International Population Conference, September 27-October 2, Marrakech, Morocco.
- 小島宏, 2011, 「日韓における健康と家族形成—EASS2010 の比較分析—」『第 21 回日本家族社会学会大会報告要旨』 pp.14-15.
- 小島宏, 2011, 「東アジアにおける同棲とその人口学的意味」『中日韓三国における人口問題と社会発展』国際シンポジウム (9 月 24 日, 中国社会科学院日本研究所, 北京市).
- KUMLIN, Johanna, 2007, "The Sex Wage Gap in Japan and Sweden: The Role of Human Capital, Workplace Sex Composition, and Family Responsibility," Oxford University Press, *European Sociological Review*, 23(2), pp.203-221.
- KUNG, Hsiang-Ming, and SU, Shuo-Bin, 2010, "Does Social Distance Explain Everything? Effects of Sociodemographic Factors on Attitudes toward Immigrants in East Asian Countries," EASS Conference 2010, November 25, Osaka University of Commerce.
- LEE, Kristen Schultz, and ONO, Hiroshi, 2006, "Specialization and Happiness:A U.S.-Japan Comparison," SSE/EFI Working Paper Series in Economics and Finance, No.631.
- LEE, Kristen Schultz, and ONO, Hiroshi, 2008, "Specialization and happiness in marriage: A U.S.-Japan comparison," *Social Science Research* 37, pp.1216-1234. (=林浩一郎訳, 2010, 「第 8 章 家庭内分業と結婚の幸福度:日米比較」大竹文雄・白石小百合・筒井義郎編著『日本の幸福度—格差・労働・家族』日本評論社, pp.205-235.)
- LIN, Ju-Ping, and YI, Chin-Chun, 2011, "Filial Norms and Intergenerational Support to Aging Parents in China and Taiwan," *International Journal of Social Welfare* 20, pp.S109-S120.
- MINATO, Kunio, 2006, "Cross-National Social Surveys in East Asia:AsiaBarometer, East Asia Value Survey, ISSP, World Values Survey, and East Asian Social Surveys," EASS Conference 2006, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.
- 湊邦生, 2007, 「東アジアにおける国際比較社会調査とその課題—世界価値観調査、ISSP、アジア・バロメーター、東アジア価値観国際比較調査から EASS へ—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.1-23.
- MINATO, Kunio, 2008, "Cross-national Social Survey in East Asia:World Values Survey, ISSP, AsiaBarometer, Asian Barometer, East Asia Value Survey and EASS" 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.159-193.
- MINATO, Kunio, 2008, "Cross-national Social Surveys in East Asia:World Values Survey, ISSP, AsiaBarometer, Asian Barometer, East Asia Value Survey and EASS" 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』 pp.65-82.
- 湊邦生, 2009, 「JGSS-2006 から見た日本におけるモンゴル国の好感度—東アジア各国・地域との比較検討—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』 pp.139-156.
- 宮田尚子, 2009, 「相談ネットワークの規定要因の日米比較」『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.121.
- 溝口佑爾, 2011, 「共同報告:東アジアの高学歴化と家族観の変容—EASS 2006 の分析から—(1)世代間援助意識の変容にみる女性の高学歴化の影響」『第 62 回関西社会学会大会報告要旨集』 p.14.
- 村田千代栄・埴淵知哉・中谷友樹・尾島俊之・早坂信哉・野田龍也, 2009, 「東アジアにおける主観的健康感の性差 日本・韓国・中国・台湾の比較」『日本公衆衛生雑誌(第 68 回日本公衆衛生学会総会抄録集)』56(10), p.S506.
- 中尾啓子, 2002, 「選択肢の選択:日米調査データにおける職業価値観の比較から得られた知見」『日本行動計量学会第 30 回大会発表論文抄録集』 pp.352-353.
- NAKAO, Keiko, and IWAI, Hachiro, 2010, "Cross-Cultural Comparisons on the Process of Status-Attainment:Comparison among Four East Asian Societies," Conference Abstracts:XVII ISA World Congress of Sociology, July 16, Gothenburg, Sweden, p.334.
- 大橋正彦, 2006, 「日米消費者の環境行動と持続可能マーケティング—JGSS-2002 より—」日本経営診断学会第 135 回関西部会 (12 月 16 日, 近畿大学)。
- 岡太彬訓, 2011, 「スペクトル分解による外国人に対する親近感の分析—EASS 2008 のデータを用いた非対称多次元尺度構成法の応用—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』 pp.119-128.
- 岡田丈祐, 2011, 「共同報告:東アジアの高学歴化と家族観の変容—EASS 2006 の分析から—(3)子育て方針の決定をめぐる夫婦関係と高学歴化」『第 62 回関西社会学会大会報告要旨集』 p.16.
- ONO, Hiromi, 2009, "Husbands' and Wives' Education and Divorce in the United States and Japan, 1946-2000," *Journal of Family History*, 34(3): pp.292-322.
- ONO, Hiromi, 2010, "Divorced Japanese Women's Socioeconomic Status and Children:Comparisons with the U.S.,"



- International Journal of Law, Policy and the Family.
- 小野浩, 2011, 「幸せな結婚の条件—日米比較・男女比較」『経済セミナー』No.658, pp.30-35.
- ONO, Hiroshi and LEE, Kristen Schultz, 2006, “Specialization and Happiness: A U.S.-Japan Comparison” 日本経済学会 2006 年度秋季大会 (10 月 21 日, 大阪市立大学) .
- 大阪商業大学比較地域研究所編, 2008, 『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 .
- 大阪商業大学比較地域研究所編, 2008, 『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys: Results of EASS 2006 Family Module』 248p.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2009, 『East Asian Social Survey:EASS 2006 Family Module Codebook』 342p.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2010, 『East Asian Social Survey:EASS 2008 Culture Module Codebook』 286p.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2011, 『East Asian Social Survey:EASS Conference 2010 報告書』 .
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2012, 『East Asian Social Survey:EASS Conference 2011 報告書』 .
- OSHIO, Takashi, NOZAKI, Kayo, and KOBAYASHI, Miki, 2010, “Relative income and happiness in Asia: Evidence from nationwide surveys in China, Japan, and Korea,” Hitotsubashi University CIS Discussion Paper, No.487, 33p.
- OSHIO, Takashi, NOZAKI, Kayo, and KOBAYASHI, Miki, 2011, “Division of Household Labor and Marital Satisfaction in China, Japan, and Korea,” Hitotsubashi University CIS Discussion Paper, No.502, 31p.
- OSHIO, Takashi, NOZAKI, Kayo, and KOBAYASHI, Miki, 2011, “Relative Income and Happiness in Asia: Evidence from Nationwide Surveys in China, Japan, and Korea,” Social Indicators Research (2011) Vol.104 No.3, pp.351-367.
- PARK, Hyunjoon, 2010, “The Stability of Self-Employment:A Comparison between Japan and Korea,” International Sociology, Vol.25(1), pp.98-122.
- PARK, Jaehyun, and KIM, Seokho, 2009, “Perception of and Attitude towards Globalization:A Comparative Study on China, Japan, South Korea, and Taiwan,” Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- RICH, Susan Lynne, 2008, “Marital Instability in East Asian Societies: A Comparative Study of China, Taiwan, and South Korea,” Doctoral Dissertaion, Mississippi State University.
- RICH, Susan Lynne, and XU, Xiaohe, 2009, “Marital Instability: A Comparative Study of China and Taiwan,” The Global Studies Journal 2, pp.153-168.
- RøNSEN, Marit, 2004, “Fertility and family policy in Norway:A reflection on trends and possible,” Max Planck Institute for Demographic Research, Demographic Research, 10, pp.265-286.
- 阪口祐介, 2006, 「犯罪リスク知覚の規定構造—国際比較からみる日本の特殊性—」『第 57 回関西社会学会大会報告要旨』 p.61.
- 阪口祐介, 2008, 「犯罪リスク知覚の規定構造—国際比較からみる日本の特殊性—」『社会学評論』59(3), pp.462-477.
- SASAKI, Takayuki, 2010, “Healthy aging for older adults in Japan,” International Symposium on Healthy Aging, September 13, Berkeley, CA.
- 宍戸邦章, 2006, 「国際比較調査における選択肢の検討—韓国・台湾・中国との比較に関する JGSS プロジェクトの経験—」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.106.
- SHISHIDO, Kuniaki, and IWAI, Noriko, 2011, “Designing Response Categories of Agreement Scales for East Asian Social Survey,” WAPOR 64th Annual Conference, September 23, Amsterdam.
- SHISHIDO, Kuniaki, IWAI, Noriko, and YASUDA, Tokio, 2009, “Designing Response Categories of Agreement Scales for Cross-national Surveys in East Asia:The Approach of the Japanese General Social Surveys,” International Journal of Japanese Sociology, No.18, pp.97-111.
- SHISHIDO, Kuniaki, IWAI, Noriko, and YASUDA, Tokio, 2010, “Challenges of Agreement Scales in Cross-national Surveys:From the Aspect of East Asia” 『大阪商業大学論集』第 158 号, pp.63-76.
- 孫郁雯, 2010, 「日本アニメ視聴者の国際比較分析—JGSS-2008 と TSCS-2008 のデータを用いて—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』 pp.173-182.
- 竹之下弘久, 2009, 「国際移動に伴う階層移動に関する国際比較研究」『国際科学研究費補助金研究成果報告書』研究代表者: 竹之下弘久.
- TAKENOSHITA, Hirohisa, 2009, “The Economic Incorporation of Brazilian Migrants in Comparative Perspective:A Comparative Study of Brazilian Labour Market Outcome in Japan and the United States,” International Sociological Association, the 2008 Summer Meeting of RC28, August 6-9, Stanford University.
- 竹内麻貴, 2011, 「共同報告: 東アジアの高学歴化と家族観の変容—EASS 2006 の分析から—(2)日本・台湾・韓国女性の性別役割意識と高学歴化」『第 62 回関西社会学会大会報告要旨集』 p.15.
- TSAL, Ming-chang (蔡明璋), 2009, “Transnational Travels and Acquaintances in Four East Asian Societies,” Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica,

- Taipei.
- TSAL, Ming-Chang (蔡明璋), 2010, "Transnational Travels and Acquaintances in Four East Asian Societies," JGSS Research Seminar, January 11, JGSS Research Center, Osaka University of Commerce.
- TSUTSUI, Jun'ya, 2007, "An Alternate Model for the Comparative Analysis of the Mate-Selection Process," presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- TSUTSUI, Jun'ya, 2008, "From Arranged Marriage to Love Marriage?: An Alternate View of Mate Selection in East Asian Countries" 『第 81 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.66.
- TSUTSUI, Jun'ya, CHEN, Yu-hua, and KOH, Chi-young, 2008, "Shifting Trends and Variety of Mate Selection in East Asian Countries: Finding from EASS 2006" 『第 18 回日本家族社会学会大会報告要旨』 p.85.
- TSUTSUI, Jun'ya, CHEN, Yu-hua, and KOH, Chi-young, 2010, "The Transitional Phase of Mate Selection in East Asian Countries," Conference Abstracts: XVII ISA World Congress of Sociology, p.94.
- TSUTSUI, Jun'ya, and KOH, Chi-Young, 2009, "Mate Selection in Korea and Japan: Facts and Future Research Agenda," *Ritsumeikan Social Sciences Review*, 44(4):pp.49-66.
- WANG, Weidong (王衛東), 2009, "The Social Distance between East Asian Societies," presented at The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- WANG, Weidong (王衛東), 2010, "Social Distance of East Asia," JGSS Research Seminar, January 11, JGSS Research Center, Osaka University of Commerce.
- WANG, Weidong, and SASAKI, Takayuki, 2010, "Globalization and social distance of East Asia," Conference Abstracts: XVII ISA World Congress of Sociology, July 16, Gothenburg, Sweden, p.521.
- WANG, Yujun, and WANG, Weidong, 2010, "Pan-Asian Identity?: The Study of China, Japan, South Korea, and Taiwan," EASS Conference 2010, November 25, Osaka University of Commerce.
- WONG, Thomas, 2007, "EASS Family Survey 2006 (Hong Kong) Report on Preliminary Findings," presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- 山本明, 2010, 「国際ニュースへの接触と東アジアへの心理的近接性」 『日本社会心理学会第 51 回大会発表論文集』 pp.210-211.
- YANG, Juhua, 2008, "A Comparative Analysis of Family Structures across Four EA Societies: Findings from the 2006 EASS," presented at KGSS-EASS Conference 'Family and Social Life in East Asia,' Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- YANG, Juhua, 2010, "Parent-Child Dynamics and Family Solidarity: A Comparative Study of East Asian Societies," presented at the Population Association of America 2010 Annual Meeting, April 16, Dallas, Texas.
- YANG, Juhua, and LI, Lulu, 2009, "Intergenerational Dynamics and Family Solidarity: A Comparative Study of Mainland China, Japan, Korea and Taiwan," *Sociological Studies*, DOI: CNKI:SUN:SHXJ.0.2009-03-003.
- YASUDA, Tokio, and IWAI, Noriko, 2008, "Balance of Intergenerational Support between Husband's Side and Wife's Side: Cross-cultural Comparison Based on EASS Data" 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys: Results of EASS 2006 Family Module』 pp.237-248.
- 保田時男・岩井紀子, 2008, "An Analysis of Balance between Support for Husbands' Parents and that for Wives' Parents: A Comparative Study in East Asia based on EASS 2006" 『第 18 回日本家族社会学会大会報告要旨』 p.86.
- YASUDA, Tokio, IWAI, Noriko, YI, Chin-chun, and XIE, Guihua, 2011, "Intergenerational Coresidence in China, Japan, South Korea and Taiwan: Comparative Analyses Based on the East Asian Social Survey 2006," *Journal of Comparative Family Studies*, Vol.42 No.5, pp.703-722.

## 28 高齢者・世代

- CHEN, Chao-Nan, 2007, "The Impact of Household Distance on Intergenerational Support Exchanges in Taiwan" 台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会学研究所, 台北.
- 鄭麗珍 (CHENG, Lai-Chun), 2007, 「不同婚姻状態對代間支持交換的影響 (Effect of Marital Status on Exchange of Intergenerational Support)」台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会学研究所, 台北.
- 福田節也, 2009, 「高齢者の生活と福祉」兼清弘之・安藏伸治編著 『人口学ライブラリー 7 人口減少時代の社会保障』原書房, pp.43-73.
- HAN, Gyounghae, and KIM, Sang-Wook, 2007, "Intergenerational Relationships in Korean Families: Lineage Differences," presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- HAN, Gyounghae, and KIM, Sang-Wook, 2007, "Intergenerational Relationships in Korea; Lineage Differences" 大阪商業

- 大学比較地域研究所編 『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.1-22.
- HAN, Gyounghae, and KIM, Sang-Wook, 2008, “Lineage Differences in Inter-generational Relations:A Cross-national Comparisons” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』 pp.217-235.
- HAN, Gyounghae, and KIM, Sang-Wook, 2008, “Generation in the Middle:A Comparison of Support Provisions between Korean and Japan,” presented at KGSS-EASS Conference ‘Family and Social Life in East Asia,’ Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- HAN, Gyounghae, and KIM, Sang-Wook, 2008, “Lineage Difference in Intergenerational Support Relationships:A Comparison between Korea and Japan” 『第 18 回日本家族社会学学会大会報告要旨』 p.87.
- HAN, Gyounghae, LEE, Yoon-Seo, and KIM, Sang-Wook, 2008, “From Patrilineal to Bilateral?: Intergenerational Relationship in Korea,” presented at KGSS-EASS Conference ‘Family and Social Life in East Asia,’ Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- HAN, Gyounghae, LEE, Yun-Suk, and KIM, Sang-Wook, 2008, “A Typology of Inter-generational Relations: Comparison between Korea and Japan” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』 pp.203-215.
- HAYO, Bernd, and ONO, Hiroyuki, 2010, “Livelihood and Care of the Elderly:Determinants of Public Attitudes in Japan,” Annual Meeting of the European Public Choice Society (April 8-11, Izmir-Turkey).
- 本田由紀, 2002, 「COLUMN : 定年と引退」 岩井紀子・佐藤博樹編 『日本人の姿 : JGSS にみる意識と行動』 有斐閣選書, p.132.
- 岩井八郎, 2002, 「加齢と生活保障—JGSS-2000 による高齢者の分析—」 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』 pp.45-54.
- 岩井八郎, 2002, 「高齢者の生活保障・介護は誰の手で？」 岩井紀子・佐藤博樹編 『日本人の姿 : JGSS にみる意識と行動』 有斐閣選書, pp.35-42.
- 岩井八郎, 2007, 「高齢者の社会的地位の変化と幸福感—「ライフコースと階層」研究の視点から—」 財団法人長寿社会開発センター 『生きがい研究』 第 13 号, pp.47-72.
- 岩井八郎, 2007, 「子どもとの同居は幸せか—JGSS-2002 による高齢者の経済的地位・家族形態・幸福感の分析」 『第 17 回日本家族社会学学会報告要旨』 pp.96-97.
- 岩井八郎, 2010, 「戦後日本型ライフコースの変容—JGSS-2009 ライフコース調査の研究視点と予備的分析—」 大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集 [10]』 pp.193-204.
- IWAI, Hachiro, 2010, “Changing Patterns of the Course of Women’s Live in Japan’s Lost Decade: An Analysis of the Work History of the Second Generation Baby Boomers,” Journal of Intimate and Public Spheres, Pilot Issue March 2010, pp.55-71.
- 岩井八郎, 2011, 「高齢者の社会的地位と格差」 佐藤嘉倫・尾嶋史章編 『現代の階層社会 1 格差と多様性』, 東京大学出版会, pp.191-206.
- 岩井紀子・保田時男, 2008, 「世代間援助における夫側と妻側のバランスについての分析—世代間関係の双系化論に対する実証的アプローチ—」 『家族社会学研究』 第 20 巻第 2 号, pp.34-47.
- IWAI, Noriko, and YASUDA, Tokio, 2008, “Intergenerational Support Relations in Japan: Balance between Paternal and Maternal Lines Based on JGSS Data,” 103rd Annual Meeting of the American Sociological Association, August 3, Boston, USA.
- IWAI, Noriko, and YASUDA, Tokio, 2008, “Intergenerational Support Relations in Japan: Balance between Paternal and Maternal Lines Based on JGSS Data,” 46th Interim CFR (Committee on Family Research) Conference, International Sociological Association, September 10, ISCSP, Lisbon, Portugal.
- 岩井紀子・保田時男・宍戸邦章・田淵六郎, 2007, 「JGSS-2006 にみる実親および義親との世代間援助関係」 『第 17 回日本家族社会学学会報告要旨』 pp.58-59.
- IWAI, Noriko, YASUDA, Tokio, SHISHIDO, Kuniaki, and TABUCHI, Rokuro, 2007, “Intergenerational Assistance to/from Own Parents and Parents-in-law seen in JGSS-2006” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.77-95.
- KIM, Jibum, 2011, “Aging Anxiety in Japan, Korea, and the United States,” EASS 2011 Symposium, November 17, Academia Sinica, Taiwan.
- KIM, Sang-Wook, 2006, “Intergenerational Support Relations in Korea:Evidence from 2006 EASS Module Survey,” presented at EASS 2006 Taipei Conference, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.
- KOH, Chi-Young, 2007, “Intergenerational Support and Children’s Marital Satisfaction:Gender Differences” 大阪商業大学比較地域研究所編 『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.23-39.

- LIN, Ju-Ping, and YI, Chin-Chun, 2007, "Intergenerational Exchange in Taiwan: The Provision of Adult Children to Older Parents," presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- LIN, Ju-Ping, and YI, Chin-Chun, 2011, "Filial Norms and Intergenerational Support to Aging Parents in China and Taiwan," *International Journal of Social Welfare* 20, pp.S109-S120.
- 林如萍 (LIN, Ru-Pin)・伊慶春 (YI Chin-Chun), 2007, 「成年子女與老年父母的代間交換 (Intergenerational Exchanges between Adult Children and Their Elderly Parents)」台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会学研究所, 台北.
- 呂寶靜 (LU, Pau-Ching), 2007, 「誰来照顧老人? 台湾民衆对照顧老人責任方法之初探 (Who Takes Care of the Elderly? Exploratory Analysis of Ways the Taiwanese See Who Takes Responsibility of Nursing the Elderly)」台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会学研究所, 台北.
- 水落正明, 2007, 「統計から見える高齢女性の姿—経済格差とその変動—」『F-GENS Journal』No.7, p.116.
- 西川真規子, 2002, 「「今時の若者」の働き方」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.99-105.
- ONO, Hiroyuki, and HAYO, Bernd, 2009, "Livelihood and Care of the Elderly: Determinants of Public Attitudes in Japan," 東京経済研究センター TCER Working Paper, E-12.
- 大野裕之・HAYO, Bernd, 2008, 「老後生活保障は自助か公助か～国民意識調査の個票データによる要因分析」日本財政学会第 65 回大会 (10 月 25 日, 京都大学).
- 大野裕之・HAYO, Bernd, 2009, "Livelihood and Care of the Elderly: Determinants of Public Attitudes in Japan" 日本経済学会 2009 年春季大会 (6 月 7 日, 京都大学).
- 崎原健志, 2009, 「親子同居に対する影響—成人子とその親についての同居要因分析—」『経済学研究論集』第 31 号, 明治大学, pp.1-21.
- 宍戸邦章, 2005, 「高齢期における社会的ネットワークの「多様性」に関する研究—JGSS-2003 データを用いた「相談」ネットワークの分析—」『第 78 回日本社会学会大会報告要旨』p.79.
- 宍戸邦章, 2006, 「高齢期における社会的ネットワークの「多様性」—JGSS-2003 データを用いた「相談」ネットワークの分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.119-134.
- 宍戸邦章, 2006, 「中高年齢者の余暇生活満足度を規定する要因—JGSS データを用いた分析—」『第 16 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.40-41.
- 宍戸邦章, 2007, 「高齢期における幸福感規定要因の男女差について—JGSS-2000/2001 統合データに基づく検討—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.45-56.
- 宍戸邦章, 2007, 「高齢者の社会的ネットワークと余暇生活満足度—JGSS データに基づく分析—」『大阪商業大学論集』第 147 号, p.151.
- 宍戸邦章, 2008, 「高齢者の社会的ネットワーク」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.91-102.
- 宍戸邦章, 2008, 「実親・義親への世代間援助にみる「家」の原理—JGSS-2006 に基づく分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-12.
- 宍戸邦章, 2008, 「中年層が抱く高齢期ライフスタイルの分析—JGSS-2005 を用いて—」『大阪商業大学論集』第 150 号, pp.85-100.
- 宍戸邦章, 2009, 「介護の社会化に関する意識変化の研究」『第 19 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.26-27.
- 宍戸邦章, 2009, 「中高年の地域ボランティア活動の研究—JGSS-2006 に基づく分析—」『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』p.171.
- 宍戸邦章, 2011, 「ストレスとストレス対処」大川一郎ほか編著『シリーズ生涯発達心理学⑤エピソードでつかむ老年心理学』ミネルヴァ書房, pp.186-191.
- 宍戸邦章・佐々木尚之, 2011, 「日本人の幸福感—階層的 APC Analysis による JGSS 累積データ 2000-2010 の分析—」『社会学評論』62(3), pp.336-355.
- 宍戸邦章・佐々木尚之, 2011, 「日本人の幸福感—JGSS 累積データ 2000-2010 に基づく年齢・時代・世代効果の検討—」『第 84 回日本社会学会大会報告要旨集』p.55.
- 田淵六郎, 2008, 「親からの住宅援助と親子の居住関係—JGSS-2006 データによる検討—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.13-23.
- TAKAGI, Emiko and SILVERSTEIN, Merrill, 2006, "Intergenerational Coresidence of the Japanese Elderly: Are Cultural

Norms Proactive or Reactive?” Research on Aging, 28(4), pp.473-492.

安野智子・池田謙一, 2002, 「COLUMN: 高齢者福祉の責任」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.198-199.

葉光輝 (YEH, Kuang-Hui), 2007, 「孝道觀念與代間互動 (Filial Piety and Intergenerational Interaction)」台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会科学研究所, 台北.

## 29 知識・科学

保田直美, 2007, 「JGSS-2005 にみる日本の心理主義—心理学知識と心理還元主義の擬似相関—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3: 日本版 General Social Surveys 研究論文集 [6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.119-130.

保田直美, 2008, 「心理学知識の受容が学校にもたらす意味の再検討」『教育社会学研究』第 82 集, pp.185-204.

## 30 余暇・スポーツ

安東千晶・石田章・横山繁樹・会田陽久, 2008, 「子ども時代の生育環境と成人後のガーデニングへの取組との関連」『農業生産技術管理学会誌』15(2), pp.87-92.

新雅史・中澤篤史, 2006, 「ウォーキングの増加とスポーツ実践の個人化」阿部正大・新雅史・石田浩・佐藤雅浩・高橋康二・立石祐二・中澤篤史・三輪哲・渡辺彰規『JGSS から読む日本人の行動と意識』SSJ Data Archive Research Paper Series 33 (SSJDA-33), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.60-71.

林幸史, 2011, 「観光行動の促進要因と阻害要因—JGSS-2010 のデータを用いて—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.59-69.

石井健一, 2011, 「韓国ドラマ視聴の要因分析—対外意識とコンテンツ利用の関連」『Discussion Paper Series』No.1282, 筑波大学大学院システム情報工学研究科, 11p.

石倉裕美, 2006, 「子育て解放期の余暇活動の現状および関連要因の検討」『大正大学大学院研究論集』第 30 号, pp.274-261.

岩井紀子, 2002, 「生涯学習と余暇」『東大阪市生涯学習情報ニュース』No.8, p.1.

中谷友樹・村中亮夫・埴淵知哉, 2010, 「地理情報を用いた身体活動と近隣環境の関係に関する研究」下光輝一編『厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)健康づくり支援環境の効果的な整備施策および政策目標の設定に関する研究 平成 21 年度総括・分担研究報告書』pp.125-131.

佐和良作・松永佳甫・松村正樹, 2008, 「カラオケ愛好者の志向と行動様式に関する定量分析—JGSS 累積データ 2000-2003 による検証—」『大阪商業大学アミューズメント産業研究所紀要』カラオケ産業研究特集号(2008 年 3 月), pp.65-92.

重松洋司・谷岡一郎, 2000, 「男性的文化とギャンブリング/ゲーミング行動—麻雀、囲碁、宝くじの比較研究を中心として—」『第 73 回日本社会学会大会報告要旨』p.192.

重松洋司・谷岡一郎, 2001, 「男性的文化(マッチョ・カルチャー)と麻雀—特に囲碁および宝くじとの比較研究を中心として—」『Gambling & Gaming』pp.15-35.

穴戸邦章, 2008, 「中年層が抱く高齢期ライフスタイルの分析—JGSS-2005 を用いて—」『大阪商業大学論集』第 150 号, pp.85-100.

孫郁雯, 2007, 「運動頻度を規定する要因—JGSS-2003 による分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.147-157.

高山育子, 2002, 「日本人のストレス発散—カラオケは根づいたのか? 釣りブームは?」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.260-265.

高山育子, 2002, 「旅に出る」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.266-270.

高山育子, 2002, 「COLUMN: 会への参加—スポーツクラブ・趣味の会」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.288-290.

高山育子, 2002, 「COLUMN: 友人との会食・集まり」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.291-292.

谷岡一郎, 2002, 「将棋を好む人、囲碁を好む人—どう違うのか、なぜ違うのか?」『余暇活動における代替行動選択』仮説の検証—大阪商業大学アミューズメント産業研究所『Gambling & Gaming』vol.4, pp.1-14.

谷岡一郎, 2002, 「宝くじは社会的弱者への税金か?—JGSS-2000 データによるナンバーズ・ミニロトとの比較研究: 「Friedman=Savage モデル」の日本における検証を兼ねて—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.107-124.

谷岡一郎, 2002, 「一発中の期待、勝負する快感—ゲーム・ギャンブルの嗜好度」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.271-275.

- 谷岡一郎, 2004, 「カジノ合法化に対する日本人の意識—JGSS-2002 データによる地域差、都市化レベル、そして社会的属性の研究—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.77-92.
- TANIOKA, Ichiro, 2004, “The Reason People Buy a Lottery Ticket:A test of ‘Friedman-Savage model’ of Gambling Behavior in Japan through JGSS-2000 Data,” Institute of Sociology, Chinese Academy of Social Sciences [ed.], 36th World Congress of International Institute of Sociology Abstracts (Papers Presented in Sessions), pp.82-83.
- TANIOKA, Ichiro, 2004, “Attitude Toward the Legalization of Casino Gaming in Japan:The Difference in Regions, Urbanization Levels, and by Socio-Economic Background,” EASS Conference 2004, Sungkyunkwan University, Seoul, Korea.
- 谷岡一郎, 2005, 「パチンコ・パチスロをする人々—JGSS-2002 によるプレイ比率、頻度、そして使用金額に関する研究—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.93-109.
- 谷岡一郎, 2006, 「力の誇示・英雄願望(マッチョ・カルチャー)の発露としてのカラオケ—JGSS-2001 データによるカラオケ選択とプレイ頻度に関する仮説実証研究—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.83-94.
- 谷岡一郎, 2008, 「宝くじは社会的弱者への税金か—Friedman = Savage モデルの日本における検証を兼ねて—」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.383-395.
- 谷岡一郎・尾崎盛幸, 2008, 「カラオケを好む人はこんな人—JGSS-2001 データによる基本属性と関連変数に関する研究—」『大阪商業大学アミューズメント産業研究所紀要』カラオケ産業研究特集号(2008年3月), pp.49-63.
- 谷岡一郎・梁亨恩, 2004, 「カジノ合法化に対する日本人の意識—JGSS-2002 データより—」『ギャンブリング・ゲーミング学研究』創刊号, pp.40-47.

### 31 環境・エコロジー

- 會田陽久・石田章・陰山善照・矢部光保, 2007, 「有機農産物の購入変化と消費者の属性分析」『農業市場研究』第16巻第1号(通巻65号), pp.68-72.
- 平尾桂子, 2010, 「環境と家事のあいだ—誰がごみを分別しているか—」上智地球環境学会編『地球環境学』第5巻, pp.49-58.
- HIRAO, Keiko, 2010, “Emergence of a New Domestic Work?:Gender and Pro-Environmental Activities in Japan,” 105th Annual Meeting of the American Sociological Association, August 14-17, Atlanta.
- 石田章・會田陽久, 2005, 「消費者の有機農産物購買行動に関する一考察—JGSS・2002 データを用いて—」日本農業市場学会編『農業市場研究』第14巻第2号(通巻62号), pp.45-54.
- 松本茂, 2011, 「環境配慮行動の規定要因」『経済研究』第3号, 青山学院大学経済研究所, pp.59-82.
- 大橋正彦, 2004, 「JGSS-2002 データにみるわが国消費者のエコ諸行動とその規定因」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.93-107.
- 大橋正彦, 2005, 「循環型社会におけるエコ価格政策とその診断—2002年 JGSS データの解析結果より—」日本経営診断学会編『経営診断学の基礎理論と未来展望—日本経営診断学会論集5』同友館, pp.59-68.
- 大橋正彦, 2006, 「わが国消費者における環境行動の規定因と持続可能マーケティング—JGSS-2002 のデータより—」『大阪商業大学論集』第141号, pp.123-139.
- 大橋正彦, 2006, 「日米消費者の環境行動と持続可能マーケティング—JGSS-2002 より—」日本経営診断学会第135回関西西部会(12月16日, 近畿大学).
- 大橋正彦, 2008, 「ライフスタイル研究とロハス志向—JGSS-2003 より—」日本経営診断学会第141回関西西部会(3月22日, 大阪商業大学).
- 大橋正彦, 2008, 「消費者の環境行動」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.345-354.
- 大橋正彦, 2009, 「変化するわが国消費者におけるエコ行動の規定因と経営診断—JGSS-2008 より—」日本経営診断学会第147回関西西部会(12月19日, 近畿大学).
- 大橋正彦, 2010, 「わが国消費者におけるエコ諸行動とその規定因—JGSS-2002 と JGSS-2008 の比較を中心に—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.61-72.
- 大橋正彦, 2010, 「変化するわが国消費者のエコ諸行動と企業における環境リスク—JGSS-2008 および 2002 より—」2010年日本リスクマネジメント学会関西西部会(3月15日, 沖縄大学).

- 大橋正彦, 2010, 「わが国消費者におけるエコ諸行動の変化と小売商業施設—JGSS-2008 および 2002 より—」日本商業施設学会第 13 回関西西部会 (2 月 6 日, 大阪商業大学)。
- 大橋正彦, 2010, 「わが国消費者におけるエコ諸行動の変化と小売商業施設—JGSS-2008 および 2002 より—」日本商業施設学会第 9 回全国大会 (8 月 8 日, 文化女子大学)。
- 大橋正彦, 2010, 「わが国消費者におけるエコ諸行動の変化と小売商業施設—JGSS-2008 および 2002 より—」日本商業施設学会編『日本商業施設学会第 9 回研究発表論集』pp.104-111。
- 大橋正彦, 2011, 「わが国消費者におけるエコ諸行動の規定因と環境リスク—JGSS-2008 のデータより—」日本リスクマネジメント学会『危険と管理』第 42 号, pp.138-147。
- 大橋正彦, 2011, 「製造企業のための環境リスクマネジメント—持続可能マーケティングからの接近—」大阪商業大学商経学会『大阪商業大学論集』第 161 号, pp.139-148。
- 竹橋洋毅, 2011, 「幸福感と環境配慮行動の関係性—JGSS-2008 による分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.143-154。
- 田中豊, 2007, 「JGSS でみる日本人の遺伝子組換え食品に対する態度」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.95-106。
- 田中豊, 2007, 「日本人の遺伝子組み換え食品に対する態度—JGSS-2005 データの分析—」『日本リスク研究会第 20 回研究発表会講演論文集』pp.407-412。
- 立石祐二, 2006, 「節約志向とエコ購入志向—現代日本の環境配慮行動と環境意識」阿部正大・新雅史・石田浩・佐藤雅浩・高橋康二・立石祐二・中澤篤史・三輪哲・渡辺彰規『JGSS から読む日本人の行動と意識』SSJ Data Archive Research Paper Series 33 (SSJDA-33), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.1-16。
- 山本理子, 2007, 「無農薬・有機栽培野菜の購入を規定する要因—JGSS-2002 を用いた分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.181-192。
- 山本洋介, 2011, 「そう痒と主観的な環境要因との関連—JGSS-2010 データを用いて—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.13-24。
- 竹橋洋毅, 2011, 「環境配慮行動と幸福感の関係性」『日本心理学会第 75 回大会発表論文集』p.1303。

## 32 ネットワーク・社会関係資本

- 赤枝尚樹, 2010, 「同類結合に対する都市効果の検討—エゴセントリック・ネットワークデータに対するマルチレベル分析の適用—」『第 50 回数理社会学会大会研究報告要旨集』pp.19-22。
- 赤枝尚樹, 2010, 「都市は人間関係をどのように変えるのか—コミュニティ喪失論・存続論・変容論の対比から—」『第 83 回日本社会学会大会報告要旨集』p.35。
- 赤枝尚樹, 2011, 「都市は人間関係をどのように変えるのか—コミュニティ喪失論・存続論・変容論の対比から—」『社会学評論』62(2), pp.189-206。
- 赤枝尚樹, 2011, 「同類結合に対する都市効果の検討—エゴセントリック・ネットワークデータに対するマルチレベル分析の適用—」『理論と方法』Vol26 No.2, pp.321-337。
- BIAN, Yanjie, 2011, “East Asian Conceptualization of Network Social Capital,” WAPOR 64th Annual Conference, September 23, Amsterdam.
- BOASE, Jeffrey, and IKEDA, Ken'ichi, 2012, “Core Discussion Networks in Japan and America,” Human Communication Research, 38, pp.95-120.
- 藤澤由和, 2005, 「ソーシャル・キャピタルと主観的健康の関連性」近藤克則 (研究代表者)『社会経済的因子による「健康における不平等」の研究』平成 14 年度～平成 16 年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)(2)) 研究成果報告書, pp.271-276。
- 藤澤由和・濱野強・NAM, Eun Woo・EDIRIPPULIGE, Sisira・小藪明生, 2005, 「ソーシャル・キャピタルと健康の関連性に関する予備的研究」『新潟医療福祉学会誌』Vol.4, No.2, pp.82-89。
- 埴淵知哉・村中亮夫・花岡和聖・中谷友樹, 2009, 「社会調査のマイクロデータと地理的マクロデータの結合による健康の分析」第 68 回日本公衆衛生学会総会自由集会 (10 月 21 日, 奈良女子大学)。
- 埴淵知哉・花岡和聖・村中亮夫・中谷友樹, 2010, 「社会調査のマイクロデータと地理的マクロデータの結合—JGSS-2008 を用いた健康と社会関係資本の分析を事例に—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.87-98。
- HANIBUCHI, Tomoya, NAKAYA, Tomoki, and MURANAKA, Akio, 2010, “Neighborhoods and health in Japan: An analysis of nationally representative samples linked to neighborhoods' indicators,” 2010 AAG Annual Meeting, April 17 2010, Marriott Wardman Park Hotel and Omni Shoreham Hotel, Washington, DC.

- 日比野由利・高木二郎・神林康弘・中村裕之, 2011, 「ソーシャル・キャピタルと主観的健康感—JGSS(日本版総合社会調査) データから—」『日本予防医学会雑誌』 Vol.6 No.1, pp.7-16.
- 平松闊・鶴飼孝造・宮垣元・星敦士, 2010, 『社会ネットワークのリサーチ・メソッド「つながり」を調査する』 ミネルヴァ書房, 218p.
- 池田広男, 2009, 「社会ネットワークと働く人の健康」『流通・経営学論集』第 35 巻第 1 号, pp.1-37.
- 池田謙一, 2005, 「政治的・非政治的ネットワークは社会関係資本を育み、政治のリアリティを規定するか—JGSS-2003 ソーシャルネットワーク項目群の分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.169-203.
- 池田謙一, 2008, 「社会関係資本と政治意識」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.273-294.
- IKEDA, Ken'ichi, 2008, "The Effects of Network Social Capital on Personal and Collective Outcomes in Japan:The JGSS 2003 Dataset," Paper prepared for a Conference on Social Capital, May 29-30, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.
- IKEDA, Ken'ichi, 2009, "Differential effects of multiple social networks on political participation in Japan," paper prepared for a Dialogic Conference on Civic Engagement and Social Capital in Asia, May 8-10, University of Toronto, Toronto, Canada.
- IKEDA, Ken'ichi, 2012, "Differential effects of multiple social networks on political participation in Japan," DANIERE, Amrita, and Hy Van Luong [eds.], The Dynamics of Social Capital and Civic Engagement in Asia: Vibrant Societies, Routledge, London, Cpter 4.
- IKEDA, Ken'ichi, and BOASE, Jeffrey, 2011, "Multiple Discussion Networks and Their Consequence for Political Participation," Communication Research, 38(5), pp.660-683.
- 石田賢示, 2011, 「社会的紐帯の形成に関する日米比較分析」第 51 回数理社会学会大会 (3 月 8 日, 沖縄国際大学).
- 石田光規, 2007, 「誰にも頼れない人たち—JGSS2003 から見る孤立者の背景」『季刊家計経済研究』No.73, pp.71-79.
- 石田光規, 2009, 「家族に頼れないのはどのような人たちか?」大妻女子大学人間関係学部紀要『人間関係学研究』10, pp.1-12.
- 石田祐, 2009, 「ソーシャル・キャピタルが地域の犯罪リスク認知に与える影響—JGSS-2006 による実証分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合社会調査共同研究拠点 研究論文集 [9]』 pp.73-92.
- 小藪明生・濱野強・藤澤由和, 2006, 「ソーシャル・キャピタルにおける一般的信頼の規定要因に関する検討」『新潟医療福祉学会誌』 Vol.6, No.1, pp.48-55.
- 松本渉, 2006, 「組織に対する信頼の安定性—JGSS 累積データ 2000-2003 を用いた多母集団同時分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.59-69.
- MATSUNAGA, Yoshiho, 2007, "Is Japanese Participation in Philanthropic Activities a Beneficial Consequence of Social Capital Accumulation?," the 2007 ARNOVA Conference paper, Nov.15-17, Atlanta, USA.
- 栢永佳甫, 2007, 「日本人の慈善行為とソーシャルキャピタル—孤独なボーリング第 7 章と JGSS-2005 による検証—」NPO 研究フォーラム (12 月 16 日, 大阪大学).
- 栢永佳甫, 2007, 「日本人の慈善行為とソーシャルキャピタル—孤独なボーリング第 7 章と JGSS-2005 による検証—」ソーシャル・キャピタル政策展開研究会(自主的な地域経営の再構築:住民自らの知恵と資源を活かす“信頼”“規範”ネットワーク)の醸成)(12 月 19 日, 株式会社日本総合研究所東京本社).
- 栢永佳甫, 2008, 「日本人のソーシャルキャピタルとフィランソロピーに関する定量分析—JGSS-2005 データによる検証—」第 10 回日本 NPO 学会 (3 月 15 日, 中央大学後楽園キャンパス).
- MATSUNAGA, Yoshiho, 2008, "Japanese Philanthropic Behavior and Social Capital Flow:An Econometric Analysis:Using JGSS-2005" 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys:Results of EASS 2006 Family Module』 pp.91-104.
- 栢永佳甫, 2009, 「ソーシャルキャピタルと賃金」『社会イノベーション研究会 SCWG 2008 年度報告書』 pp.36-47.
- 栢永佳甫, 2010, 「ソーシャルキャピタルと賃金」『ESRI ディスカッションペーパーシリーズ No.240』内閣府経済社会総合研究所.
- MATSUNAGA, Yoshiho, 2010, "Salary is Commensurate with Social Capital," 9th International Conference, International Society for Third Sector Research, July 7, Kadir Has University, Istanbul, Turkey.
- 宮田尚子, 2007, 「職場への帰属意識と相談ネットワーク—組織的適応期における複合的な相談ネットワークの効果—」大阪大学大学院人間科学研究科『年報人間科学』第 28 号, pp.99-116.
- 宮田尚子, 2007, 「職場への帰属意識と相談ネットワーク—組織的適応期における相談ネットワークの型と密度—」第 58 回関西社会学会大会報告要旨集 2007』 p.18.



- 宮田尚子, 2008, 「仕事の満足度に対する相談ネットワークの効果—組織適応期における相談ネットワークのタイプと密度」『第 46 回数理社会学会大会研究報告要旨集』pp.17-20.
- 宮田尚子, 2009, 「相談ネットワークの規定要因の日米比較」『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』p.121.
- 宮田尚子, 2009, 「新入社員の仕事満足度と相談ネットワーク」経済社会学会西部部会研究会 (12 月 5 日, 神戸大学).
- 宮田尚子, 2010, 「[ 研究ノート ] 新入社員の仕事満足度の要因分析—役割意向簿の適応に対するネットワーク構造の影響—」大阪大学大学院人間科学研究科『年報人間科学』第 31 号, pp.197-214.
- 永吉希久子, 2010, 「多文化状況における社会統合に対する信頼感の影響—JGSS-2008 の分析から—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7: 日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.149-162.
- 中尾啓子, 2005, 「複合ネットワークの概要—3 種類の社会ネットワークの複合と重複—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.131-152.
- 中尾啓子, 2008, 「社会ネットワークの重複と複合ネットワーク」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.255-271.
- 中尾啓子・池田謙一・安野智子, 2003, 「JGSS-2003 ネットワークモジュールに向けて—予備調査の結果報告—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.193-232.
- NAKAYA, Tomoki, and HANIBUCHI, Tomoya, 2009, “Japanese league of healthy and unhealthy neighbourhoods: Geodemographics, self-rated health and social capital. Social Capital and Health: Cross-National Comparative Perspectives,” June 19 2009, Harvard Center for Population and Development Studies, Cambridge, MA.
- 野崎華世, 2011, 「JGSS 統計分析セミナー2010—Ego-Centric なネットワークを用いた「他者の影響」の分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.207-218.
- OMORI, Takashi and YONEZAWA, Akiyoshi, 2002, “Measurement of Social Capital in Japan,” paper presented at Social Capital Measurement Conference held jointly by the OECD and the UK Office of National Statistics.
- 大岡栄美, 2011, 「社会関係資本と外国人に対する寛容さに関する研究—JGSS-2008 の分析から—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8: 日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.129-141.
- PEKKANEN, Robert, 2006, Japan's Dual Civil Society: Members Without Advocates, Stanford University Press, p.126.
- 佐藤智子, 2010, 「社会的ネットワークの形成に対する成人学習機会の効果」『日本教育学会大会発表要項』No.69, pp.408-409.
- 佐藤智子, 2011, 「社会関係資本に対する成人学習機会の効果—教育は社会的ネットワークを促進するか?—」『日本社会教育学会紀要』No.47, pp.31-40.
- 白川俊之, 2010, 「ライフコース初 - 中期における社会的ネットワークと精神的健康—JGSS-2009LCS による実証—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7: 日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.273-284.
- 宍戸邦章, 2005, 「高齢期における社会的ネットワークの「多様性」に関する研究—JGSS-2003 データを用いた「相談」ネットワークの分析—」『第 78 回日本社会学会大会報告要旨』p.79.
- 宍戸邦章, 2006, 「高齢期における社会的ネットワークの「多様性」—JGSS-2003 データを用いた「相談」ネットワークの分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.119-134.
- 宍戸邦章, 2008, 「高齢者の社会的ネットワーク」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.91-102.
- 田中慶子, 2008, 「対人ネットワークと「結婚観」」『家族形成に関する実証研究 II』SSJ Data Archive Research Paper Series 39 (SSJDA-39), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.49-58.
- 谷岡一郎, 2002, 「人間の本性は「悪」か「善」か—一般的に、人は信用できるか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.207-211.
- 寺沢重法, 2010, 「マクロデータからみた現代日本におけるソーシャル・キャピタルと宗教」日本宗教学会第 69 回学術大会 (9 月 5 日, 東洋大学).
- 寺沢重法, 2010, 「宗教団体への所属と「地位橋渡し型」ソーシャル・キャピタル—JGSS-2003 の分析から—」『北海道大学大学院文学研究科研究論集』第 10 号, pp.267-283.
- 寺沢重法, 2011, 「マクロデータからみた現代日本の宗教とソーシャル・キャピタル」『宗教研究』84(4), pp.1030-1031.
- 豊田祐輔・石橋健一・大槻知史, 2011, 「大規模調査データを用いた都市形態が与える社会的絆への影響に関する

- 研究」『地域学研究』Vol.41 No.1, pp.219-233.
- 浦光博, 2009, 『排他と受容の行動科学—社会と心が作り出す孤立—』サイエンス社, pp.174-178.
- 浦光博・古谷嘉一郎, 2008, 「ソーシャル・キャピタルが犯罪防止に及ぼす効果の検討」広島県警察・広島大学『「減らそう犯罪」共同研究の成果』pp.27-38.
- WESTLUND, Hans, and CALIDONI-LUNDBERG, Federica, 2007, “Social Capital and the Creative Class:Civil Society, Regional Development and High-Tech Industry in Japan,” paper presented at Joint Congress of the European Regional Science Association (47th Congress) and Association de Science Régionale de Langue Française (44th Congress), Paris, August 29-September 2, 2007, Abstract No.294.
- YAMAMURA, Eiji, 2009, “Comparison of the effects of homeownership by individuals and their neighbors on social capital formation: Evidence from Japanese General Social Surveys,” MPRA Paper No.19495, University Library of Munich, Germany.
- YAMAMURA, Eiji, 2011, “Comparison of the effects of homeownership by individuals and their neighbors on social capital formation: Evidence from Japanese General Social Surveys,” Journal of Socio-Economics 40(2011), pp.637-644.
- 安野智子, 2005, 「JGSS - 2003 にみるパーソナル・ネットワークと政治意識」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.153-167.
- 安野智子, 2006, 『重層的な世論形成過程 メディア・ネットワーク・公共性』東京大学出版会, 210p.
- 安野智子・池田謙一, 2002, 「COLUMN: 政府は信頼されているのか—組織への信頼」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.196-197.

### 33 ペット

- 井上智・石井太, 2011, 「狂犬病の感受性動物の生態把握のための調査研究(我が国の飼育犬頭数推計手法に関する研究について)」『厚生労働科学研究費補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業)ワンヘルズ理念に基づく動物等対感染症制御に関する研究 平成 22 年度総括・分担研究報告書』pp.103-119.
- 尾崎裕子, 2004, 「飼育動物の選択には何が影響を与えるか—日本版総合社会調査を用いて—」『Animal Nursing』Vol.8, No.2, pp.12-24.
- 尾崎裕子, 2004, 「ペット飼育の規定要因—日本版総合社会調査マイクロデータを用いて—」『生活経済学研究』第 19 巻, pp.21-34.
- 尾崎裕子, 2006, 「家計のペット飼育選択に関する実証的研究」日本女子大学博士学位論文, 230p.
- 杉田陽出, 2001, 「日本人のペットに対する意識とその傾向: 日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査をもとに」『ヒトと動物の関係学会第 7 回学術大会予稿集』p.24.
- 杉田陽出, 2001, 「コミュニケーション相手としてのペットの存在感に関する一調査: 日本人のペットに対する意識とその傾向」『日本コミュニケーション学会第 31 回年次大会プログラム』p.22.
- 杉田陽出, 2002, 「ペットのいる生活: 室外犬からザリガニまで」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.281-287.
- 杉田陽出, 2002, 「日本人のペットの存在感に関する一考察: 日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査のデータを基に」『大阪商業大学論集』第 124 号, pp.73-86.
- 杉田陽出, 2002, 「同居世帯人数にみるペットの存在感: 同居している子どもの有無を中心として」『ヒトと動物の関係学会第 8 回学術大会予稿集』p.45.
- 杉田陽出, 2002, 「JGSS-2000 のデータにみる同居世帯人数がペットの評価に及ぼす影響: 同居している子どもの有無の観点から」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.135-147.
- 杉田陽出, 2002, 「『子ども』としてのペットの存在感に関する一考察: 同居している子どもの有無と年齢の観点から」『日本コミュニケーション学会第 32 回年次大会プログラム』p.30.
- 杉田陽出, 2002, 「日本人のペットの飼育時間に影響を及ぼす要因について: 飼育者の属性を中心として」『大阪商業大学論集』第 126 号, pp.51-64.
- 杉田陽出, 2003, 「犬の飼育と犬に対する愛着度が飼い主の身体的健康と精神的健康に及ぼす効果: JGSS-2001 のデータから」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.127-143.
- 杉田陽出, 2003, 「JGSS-2000 と JGSS-2001 のデータに見る犬の飼い主の健康状態」大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS 国際シンポジウム 2003 報告書』(2004), pp.277-292.
- 杉田陽出, 2004, 「JGSS-2000 と JGSS-2001 のデータに見る犬の飼い主の健康状態」『大阪商業大学論集』第 132 号, pp.101-122.
- 杉田陽出, 2005, 「子どもの代替としての犬の役割に関する一考察: JGSS のデータから」大阪商業大学比較地域研

- 研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.111-129.
- 杉田陽出, 2005, 「子どもの代替としての猫の役割に関する一考察：犬に関する分析結果との比較を含めて」『大阪商業大学論集』第 138 号, pp.25-40.
- 杉田陽出, 2005, 「飼主の子どもの有無と愛着度に見る犬の役割」『日本社会心理学会第 46 回大会論文集』pp.196-197.
- SUGITA, Hizuru, 2005, “The effects of children on attachment to dogs in Japanese households: Using JGSS data” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2005 報告書』pp.31-45.
- SUGITA, Hizuru, 2006, “The relationship between the presence of children and the degree of attachment to dogs in Japanese households: Using JGSS data” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.105-118.
- SUGITA, Hizuru, 2007, “The effect of life stages on the pet keeping rate and on the perceptions of pets in Japanese households,” Proceedings:11th International Conference on Human-Animal Interactions, p.44.
- 杉田陽出, 2008, 「ペットブームの背景」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.355-367.
- 杉田陽出, 2009, 「不治の病にかかったペットは安楽死させるべきか?—JGSS-2006 のデータに見る日本人のペットの安楽死観—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』pp.53-72.
- 杉田陽出, 2010, 「[研究ノート] 2001~2006 年の犬飼育率と犬飼育者の属性の推移—室外犬から室内犬へ—」『大阪商業大学論集』第 156 号, pp.71-86.
- 34 市民活動・NPO・ボランティア
- 埴淵知哉, 2009, 「国際協力活動への参加と関連する地域要因の探索—JGSS-2006 による分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.67-78.
- 稲増一憲・池田謙一, 2010, 「パイコットと社会参加の社会心理学的研究—JGSS-2008 データを用いた検討—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.73-85.
- 前田幸男, 2009, 「JGSS-2005 にみる性別役割分業と自発的社会奉仕活動—政治参加との比較の観点から—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.27-40.
- 松本涉, 2004, 「NPO の組織化原理と環境状況」東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻学位論文, 217p.
- 松本涉, 2004, 「NPO に参加する人々の背景要因の解明」東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター『多様な働き方の構造分析』SSJ Data Archive Research Paper Series 30, pp.71-110.
- 松本涉, 2004, 「NPO 参加者の背景分析」『2004 年度組織学会研究発表大会報告要旨集』pp.49-52.
- 松本涉, 2007, 「ボランティア活動や非営利組織への参加と就労観—JGSS-2005 を用いたデータ分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.83-94.
- MATSUNAGA, Yoshiho, 2006, “Is time more variable than money?,” The 35th Annual ARNOVA Conference Association for Research on Nonprofit Organizations and Voluntary Action (ARNOVA).
- MATSUNAGA, Yoshiho, 2007, “To give, or not to give; to volunteer, or not to volunteer, that is the question: Evidence on Japanese philanthropic behavior revealed by the JGSS-2005 data set” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.69-81.
- MATSUNAGA, Yoshiho, 2007, “Is Japanese Participation in Philanthropic Activities a Beneficial Consequence of Social Capital Accumulation?,” the 2007 ARNOVA Conference paper, Nov.15-17, Atlanta, USA.
- 杉永佳甫, 2007, 「日本人の慈善行為とソーシャルキャピタル—孤独なボーリング第 7 章と JGSS-2005 による検証—」NPO 研究フォーラム(12月16日, 大阪大学).
- 杉永佳甫, 2007, 「日本人の慈善行為とソーシャルキャピタル—孤独なボーリング第 7 章と JGSS-2005 による検証—」ソーシャル・キャピタル政策展開研究会(自主的な地域経営の再構築:住民自らの知恵と資源を活かす“信頼”“規範”ネットワーク)の醸成(12月19日, 株式会社日本総合研究所東京本社).
- 杉永佳甫, 2008, 「日本人のソーシャルキャピタルとフィランソロピーに関する定量分析—JGSS-2005 データによる検証—」第 10 回日本 NPO 学会(3月15日, 中央大学後楽園キャンパス).
- 杉永佳甫, 2008, 「慈善活動とソーシャル・キャピタル」『日本のソーシャル・キャピタルと政策—日本総研 2007 年全国アンケート調査結果報告書』pp.133-135.

- MATSUNAGA, Yoshiho, 2008, "Giving Japan," Giving Korea, The 8th International Symposium on Giving Culture—Giving, Convergence and Divergence!, The Beautiful Foundation, Korea, pp.98-113.
- MATSUNAGA, Yoshiho, 2008, "Japanese Philanthropic Behavior and Social Capital Flow: An Econometric Analysis: Using JGSS-2005" 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys: Results of EASS 2006 Family Module』 pp.91-104.
- 柏永佳甫・奥山尚子, 2009, 「政府支出は民間寄付を誘発するか」『パブリック・プライベート・パートナーシップの経済分析』RIETI Policy Discussion Paper Series 09-P-003, pp.47-62.
- 仁平典宏, 2003, 「<市民>と「ボランティア」の間 参加とネオリベリズムの共振に関する一考察」『日本教育学会第 55 回大会発表要旨集録』 pp.70-71.
- 荻野亮吾, 2009, 「ボランティア活動の規定要因についての計量分析—「参加」の観点からの JGSS データの分析—」『日本生涯教育学会年報』 第 30 号, pp.63-72.
- 荻野亮吾, 2009, 「ボランティア活動の規定構造と効果に関する計量分析」『日本社会教育学会第 56 回研究大会発表要旨収録』 p.72.
- 奥山尚子, 2009, 「地域ボランティア活動の決定要因—JGSS-2006 を用いた実証分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.6: 日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』 pp.107-122.
- 穴戸邦章, 2009, 「中高年の地域ボランティア活動促進要因と地域生活満足度—JGSS-2006 に基づく分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[8] JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.41-65.
- 穴戸邦章, 2009, 「中高年の地域ボランティア活動の研究—JGSS-2006 に基づく分析—」『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.171.
- 穴戸邦章, 2010, 「ボランティア活動経験の年齢層別規定要因—JGSS-2005 に基づく分析—」『第 83 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.272.
- TANIGUCHI, Hiromi, 2010, "Who Are Volunteers in Japan?," Nonprofit and Voluntary Sector Quarterly, Vol.39, No.1, pp.161-179.
- 35 幸福感・満足度**
- BALLAS, Dimitris, NAKAYA, Tomoki, and HANIBUCHI, Tomoya, 2011, "Exploring the geographical and socio-economic determinants of subjective happiness in Japan," the 17th European Colloquium on Quantitative and Theoretical Geography (ECQTG2011), September 2-6, Harokopio University of Athens, Athens.
- CHEN, Wan-chi, 2011, "How Education Enhances Happiness: Comparison of Mediating Factors in Four East Asian Countries," Social Indicators Research, DOI:10.1007/s11205-011-9798-5.
- CHEN, Wan-chi (陳婉琪), and LIN, Kuei-hsiu (林桂綉), 2009, "How Education Matters for Happiness?: Commonalities across Three East Asian Countries," Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- 本田由紀, 2002, 「何が仕事の満足度を決めるのか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.93-98.
- 岩井八郎, 2007, 「高齢者の社会的地位の変化と幸福感—「ライフコースと階層」研究の視点から—」財団法人長寿社会開発センター『生きがい研究』 第 13 号, pp.47-72.
- IWAI, Hachiro, 2008, "Stability and changes in the Japanese Family-Oriented Regimes: An Analysis of Economic Status, Family and Sense of Happiness for the Elderly," 46th Interim CFR (Committee on Family Research) Conference, International Sociological Association, September 10, ISCSP, Lisbon, Portugal.
- 岩井紀子, 2002, 「幸せですか—日本人の幸福感」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.2-8.
- 岩井紀子, 2002, 「結婚生活は幸せですか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.9-15.
- 岩井紀子, 2002, 「幸せでなければ離婚した方がよいか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.65-71.
- 岩井紀子, 2003, 「配偶関係と幸福感の関係から」日本健康心理学会第 16 回大会会員企画シンポジウム I 心と体の健康を創る: QOL の視点から『第 16 回大会発表論文集』 p.55.
- 木村雅文, 2002, 「日本人の幸福感と生活満足度」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.254-259.
- 小林美樹, 2010, 「所得格差と生活の質に関する研究」神戸大学大学院経済学研究科博士学位論文, 102p.
- 小林美樹, 2010, 「地域の貧困と人々の幸福度」『生活経済学研究』 第 31 巻, pp.1-11.
- 児玉直美, 2005, 「自営業者は幸福か?」『小さな企業の創業と経営』(SSJDA-32), 東京大学社会科学研究所附属

- 日本社会研究情報センター, pp.34-47.
- KUROKI, Masanori, 2011, "Does Social Trust Increase Individual Happiness in Japan?," *The Japanese Economic Review*, doi: 10111/j.1468-5876.2011.00533.x, 16p.
- LEE, Kristen Schultz, and ONO, Hiroshi, 2006, "Specialization and Happiness:A U.S.-Japan Comparison," SSE/EFI Working Paper Series in Economics and Finance, No.631.
- LEE, Kristen Schultz, and ONO, Hiroshi, 2008, "Specialization and happiness in marriage: A U.S.-Japan comparison," *Social Science Research* 37, pp.1216-1234. (=林浩一郎訳, 2010, 「第8章 家庭内分業と結婚の幸福度:日米比較」大竹文雄・白石小百合・筒井義郎編著『日本の幸福度—格差・労働・家族』日本評論社, pp.205-235.)
- 宮田尚子, 2008, 「仕事の満足度に対する相談ネットワークの効果—組織適応期における相談ネットワークのタイプと密度」『第46回数理社会学会大会研究報告要旨集』pp.17-20.
- 宮田尚子, 2009, 「新入社員の仕事満足度と相談ネットワーク」経済社会学会西部部会研究会(12月5日, 神戸大学).
- 野崎華世, 2009, 「日本における仕事満足度と性差」『Working Paper Series』No.254, 神戸大学大学院経済学研究科, 16p.
- 野崎華世, 2010, 「日本における仕事満足度と性差」『生活経済学研究』第32巻, pp.33-49.
- ONO, Hiroshi and LEE, Kristen Schultz, 2006, "Specialization and Happiness: A U.S.-Japan Comparison" 日本経済学会 2006年度秋季大会(10月21日, 大阪市立大学).
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2009, "Happiness, self-rated health, and income inequality:Evidence from nationwide surveys in Japan," PIE/CIS Discussion Paper No.451, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, 25p.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2009, "Regional income inequality and happiness:Evidence from Japan," PIE/CIS Discussion Paper No.460, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, 22p.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2009, "The effect of smoking on individual well-being:a propensity score matching analysis based on nationwide surveys in Japan," PIE/CIS Discussion Paper No.453, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, 24p.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2010, "Income inequality, perceived happiness, and self-rated health: Evidence from nationwide surveys in Japan," *Social Science & Medicine* Vol.70 No.9, pp.1358-1366.
- OSHIO, Takashi, and KOBAYASHI, Miki, 2011, "Area-Level Income Inequality and individual Happiness: Evidence from Japan," *Journal of Happiness Studies* (2011) Vol.12 No.4, pp.633-649.
- OSHIO, Takashi, NOZAKI, Kayo, and KOBAYASHI, Miki, 2010, "Relative income and happiness in Asia: Evidence from nationwide surveys in China, Japan, and Korea," Hitotsubashi University CIS Discussion Paper, No.487, 33p.
- OSHIO, Takashi, NOZAKI, Kayo, and KOBAYASHI, Miki, 2011, "Division of Household Labor and Marital Satisfaction in China, Japan, and Korea," Hitotsubashi University CIS Discussion Paper, No.502, 31p.
- OSHIO, Takashi, NOZAKI, Kayo, and KOBAYASHI, Miki, 2011, "Relative Income and Happiness in Asia: Evidence from Nationwide Surveys in China, Japan, and Korea," *Social Indicators Research* (2011) Vol.104 No.3, pp.351-367.
- ROEMER, Michael, 2006, "Do Religious Beliefs and Membership Affect Life Satisfaction and Happiness in Japan?," presented at the annual meeting of the American Sociological Association.
- 宍戸邦章, 2006, 「中高年齢者の余暇生活満足度を規定する要因—JGSS データを用いた分析—」『第16回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.40-41.
- 宍戸邦章, 2007, 「高齢期における幸福感規定要因の男女差について—JGSS-2000/2001 統合データに基づく検討—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.45-56.
- 宍戸邦章, 2007, 「高齢者の社会的ネットワークと余暇生活満足度—JGSS データに基づく分析—」『大阪商業大学論集』第147号, p.151.
- 宍戸邦章, 2009, 「中高年の地域ボランティア活動促進要因と地域生活満足度—JGSS-2006 に基づく分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.41-65.
- 宍戸邦章, 2011, 「生活の質(QOL)と主観的幸福感(Well-being)」大川一郎ほか編著『シリーズ生涯発達心理学⑤ エピソードでつかむ 老年心理学』ミネルヴァ書房, pp.178-181.
- 宍戸邦章・佐々木尚之, 2011, 「日本人の幸福感—階層的 APC Analysis による JGSS 累積データ 2000-2010 の分析—」『社会学評論』62(3), pp.336-355.
- 宍戸邦章・佐々木尚之, 2011, 「日本人の幸福感—JGSS 累積データ 2000-2010 に基づく年齢・時代・世代効果の検討—」『第84回日本社会学会大会報告要旨集』p.55.
- 竹上未紗, 2011, 「Hopelessness と健康関連 QOL の関連—JGSS-2010 に基づく分析—」大阪商業大学 JGSS 研究セン

- ター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.1-12.
- 竹上未紗・山本洋介・岩井紀子, 2012, 「Hopelessness と健康関連 QOL の関連: Japanese General Social Survey 2010 の結果より」第 22 回日本疫学会学術総会(1月27日,学術総合センター・一橋記念講堂).
- 竹橋洋毅, 2011, 「幸福感と環境配慮行動の関係性—JGSS-2008 による分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.143-154.
- 竹橋洋毅, 2011, 「環境配慮行動と幸福感の関係性」『日本心理学会第 75 回大会発表論文集』p.1303.
- 矢部愛子, 2008, 「階層帰属意識の決定要因としての主観的変数の検討—生活満足感に焦点をあわせて—」『淑徳大学大学院総合福祉研究科研究紀要』第 15 号, pp.163-179.
- 山田憂子, 2007, 「『勝ち組・負け組』論の真実—JGSS-2002 データにおける幸福感規定要因分析からの考察—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.159-167.

### 36 ジェンダー

- 赤川学, 2005, 「人口減少社会における選択の自由と負担の公平: 男女共同参画と子育て支援の最適配分をめぐって」『社会学評論』56(1), pp.20-37.
- CHANG, Chin-fen, 2009, “Gender Inequality in Earnings in Industrialized East Asia,” Shorenstein APARC Dispatches, February 2009.
- CHANG, Chin-fen, and ENGLAND, Paula, 2011, “Gender inequality in earnings in industrialized East Asia,” Social Science Research, Vol.40(1), pp.1-14.
- CHEN, Yu-Hua, and CHANG, Ching-fen, 2010, “The Heterogeneity of Gender Role Attitudes among China, Japan, Korea and Taiwan,” EASS Conference 2010, November 25, Osaka University of Commerce.
- FUSE, Kana, and HANADA, Nanaho, 2009, “Political distrust and Gendered Attitudes: The Japanese State and Women,” Sex Roles, Vol.60 No.11-12, pp.843-858.
- FUSE, Kana, 2006, “Daughter Preference in Japan:A Reflection of Shift in Gender Role Attitudes (or not)?” paper presented at session 57 (Implications of Gender Interactions and Ideologies for Reproductive Behavior) at Population Association of America 2006 Annual Meeting, March 30-April 1, Los Angeles, California.
- HASHIGUCHI, Michiyo, 2009, “Skills Formation and Work-life Balance among Diverse Forms of Employment” 大阪大学大学院国際公共政策研究科博士学位論文.
- 平尾一朗・太郎丸博, 2007, 「女性と男性の世代間移動—Association Model を用いて—」第 44 回数理社会学会大会萌芽セッション(9月15日, 広島修道大学).
- 平尾桂子, 2010, 「環境と家事のあいだ—誰がごみを分別しているか—」上智地球環境学会編『地球環境学』第 5 巻, pp.49-58.
- HIRAO, Keiko, 2010, “Emergence of a New Domestic Work?: Gender and Pro-Environmental Activities in Japan,” 105th Annual Meeting of the American Sociological Association, August 14-17, Atlanta.
- 岩井紀子, 2002, 「COLUMN: 女性知事の誕生」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.76-77.
- 岩井紀子, 2002, 「夫の家事」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.25-34.
- IWAI, Noriko, 2005, “Gender Differences in Attitudes toward Graves:Based on Japanese General Social Surveys (JGSS-2000/2001),” Abstract Book for Women’s Worlds 2005:9th International Interdisciplinary Congress on Women, Ewha Womens University, Seoul, Korea.
- IWAI, Noriko, 2007, “Trends in doing housework and factors affecting doing housework based on JGSS data,” EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- KOJIMA, Hiroshi, 2008, “Gendered Determinants of Allergies in Japanese Families,” 46th Interim CFR (Committee on Family Research) Conference, International Sociological Association, September 10, ISCSP, Lisbon, Portugal.
- KOJIMA, Hiroshi, 2008, “Gendered Determinants of Allergies in Japanese Families”『早稲田社会科学総合研究』第 9 第 2 号 (Dec.2008), pp.65-81.
- 前田幸男, 2006, 「就業と家庭における性別役割分業が政治参加に与える影響について」『共働社会の到来とそれをめぐる葛藤—人間関係—』SSJ Data Archive Research Paper Series 35 (SSJDA-35), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.32-57.
- 前田幸男, 2007, 「性別役割分業と政治参加」永井暁子・松田茂樹編『対等な夫婦は幸せか』勁草書房, pp.97-118.
- 前田幸男, 2009, 「JGSS-2005 にみる性別役割分業と自発的社会奉仕活動—政治参加との比較の観点から—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.27-40.

- 水落正明, 2010, 「男性に求められる経済力と結婚」佐藤博樹・永井暁子・三輪哲編著『結婚の壁 非婚・晩婚の構造』勁草書房, pp.129-143.
- 長尾由希子, 2010, 「高等教育における専攻の男女差—実学志向の展開と支持層に注目して—」お茶の水女子大学グローバル COE プログラム「格差センシティブな人間発達科学の創成」PROCEEDINGS 12 Grant-In-Aid Research Awards, pp.81-90.
- 長尾由希子, 2010, 「高等教育進学と専攻の変化に関する一考察—教養知・職業知および男女比の観点から—」『日本教育社会学会第 62 回大会発表要旨集録』p.380-381.
- 中尾啓子, 2002, 「社会階層とジェンダー」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.155-160.
- 野崎華世, 2009, 「日本における仕事満足度と性差」『Working Paper Series』No.254, 神戸大学大学院経済学研究科, 16p.
- 野崎華世, 2010, 「日本における仕事満足度と性差」『生活経済学研究』第 32 巻, pp.33-49.
- NOZAKI, Yuko, 2009, “The Psychological Burden of Child Rearing and Fertility Behavior: Moms Less Likely to Have More Kids, but why?” 国立社会保障人口問題研究所編『「職場・家庭・地域環境と少子化との関連性に関する理論的・実証的研究」平成 20 年度報告書』pp.189-214.
- 野崎祐子, 2011, 「ワーク・ライフ・アンバランスはどこで起こっているか」樋口美雄編『ワーク・ライフ・バランスと家族形成』第 4 章, 東京大学出版会.
- 野崎祐子・福田亘孝, 2009, 「女性の高学歴化が及ぼす出産行動・賃金水準への影響・晩産ペナルティの推計」広島大学経済学部 Discussion Paper, 2009-6.
- NOZAKI, Yuko, and FUKUDA, Nobutaka, 2010, “Wage Penalty Associated to Late Motherhood in Japan,” Eastern Economics Association 36th Annual Conference, February 27, Loew’s Philadelphia Hotel, U.S.A.
- 野崎祐子・松浦克己, 2008, 「性比が男女生涯既婚率に与える影響—性比ギャップが迫る家族の変貌—」日本経済学会 2008 年度春季大会(東北大学).
- NOZAKI, Yuko, and MATSUURA, Katsumi, 2010, “The increasingly high sex ratio and lifelong unmarried rate in Japan,” Journal of Population Research Vol.27 No.1, pp.43-57.
- ONO, Hiromi, and SANDERS, James, 2009, “Divorce in Contemporary Japan and Its Gendered Patterns,” International Journal of Sociology of the Family. 35, pp.169-188.
- 佐々木尚之, 2011, 「JGSS 累積データ 2000-2010 にみる日本人の性別役割分業意識の趨勢—Age-Period-Cohort Analysis の適用—」『第 21 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.40-41.
- SASAKI, Takayuki, 2012, “Gender role attitude and modernization in Japan: An examination of JGSS cumulative data 2000-2010,” The 40th World Congress of the International Institute of Sociology, February 17, Delhi, India.
- 島直子, 2010, 「妻の常雇就労が夫の性別役割分業意識に及ぼす影響—夫の経済力による交互作用—」『国際ジェンダー学会誌』Vol.8 (2010), pp.99-112.
- 白川俊之, 2008, 「若年労働市場における非典型雇用・無業とジェンダー—JGSS 統合データによる分析から—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.133-145.
- 武田祐佳, 2010, 「政治参加におけるジェンダー・ギャップ—JGSS-2003 による資源・政治的関与要因の検討—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集 [10]』pp.323-335.
- TANAKA, Ryuichi, 2008, “The gender-asymmetric effect of working mothers on children’s education: Evidence from Japan,” Journal of The Japanese and International Economies 22 (2008), pp.586-604.
- 植村良太郎, 2008, 「役割保有、性差、飲酒行動」『第 18 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.24-25.
- 安田宏樹, 2009, 「雇用主は性別役割意識を持っているのか—JGSS を用いた検証—」日本経済学会 2009 年度春季大会(6月6日, 京都大学).
- 安田宏樹, 2010, 「マイクロデータを用いた日本の労働市場に関する実証分析」慶應義塾大学大学院経済学研究科博士學位論文, 146p.
- 安田宏樹, 2011, 「雇用主の性別役割意識に関する実証分析—雇用主が持つのは「好みによる差別」意識か、「固定観念」か—」『経済分析』184号, pp.51-74.
- 37 結婚・離婚
- AKABAYASHI, Hideo, 2007, “Who suffered from the superstition in the marriage market? The case of Hinoeuma in Japan,” presented at American Economic Association Annual Meeting.
- 赤枝尚樹, 2009, 「非恠念的結婚観に対する都市効果の再検討—マルチレベルモデルを用いて—」『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』p.199.

- 安藏伸治, 2001, 「離婚に関する要因分析：日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査を用いて」『第 53 回日本人口学会大会』p.128.
- 安藏伸治, 2002, 「離婚の要因と背景」『日本人口学会第 54 回大会要旨集』pp.17-19.
- 安藏伸治, 2002, 「離婚の推移とその要因—アメリカと日本の離婚について—」『統計』10月号, pp.16-22.
- 安藏伸治, 2003, 「離婚とその要因—わが国における離婚に関する要因分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.25-45.
- 安藏伸治, 2004, 「少子社会の結婚—JGSS-2000, JGSS-2001, および JGSS-2002 を用いて—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.13-28.
- 安藏伸治, 2005, 「未婚化、晩婚化、非婚化の実証分析—なぜ『いい人』がいないのか—」『ESTRELA』2005年5月 (No.134), pp.3-11.
- 安藏伸治, 2008, 「少子社会における結婚観」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.73-89.
- 朝井友紀子・佐藤博樹・田中慶子・筒井淳也・中村真由美・永井暁子・水落正明・三輪哲, 2007, 『家族形成に関する実証研究』SSJ Data Archive Research Paper Series 37 (SSJDA-37), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, 94p.
- CHEN, Yu-Hua, 2007, “Cohort and Age Effects on Marriage” 台湾社会変遷基本調査第九次検討会, 中央研究院社会学研究所, 台北.
- CHEN, Yu-Hua, TSUTSUI, Jun'ya, and KOH, Chi-Young, 2008, “Mate Selection Trends in Japan, Korea, and Taiwan: An Analysis Using EASS2006” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys: Results of EASS 2006 Family Module』pp.163-181.
- 千早健次, 2010, 「配偶者選択における第三者からの結婚相手の紹介と学歴同類婚—EASS 2006 の日本と中国のデータから—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7: 日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.183-191.
- 平尾桂子, 2010, 「職業経歴と結婚イベント—JGSS-2009 ライフコース調査による動態的分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7: 日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.205-216.
- 岩井紀子, 2002, 「結婚生活は幸せですか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.9-15.
- 岩井紀子, 2002, 「シングル・ライフ」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.56-64.
- 岩井紀子, 2002, 「幸せでなければ離婚した方がよいか」岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿：JGSS にみる意識と行動』有斐閣選書, pp.65-71.
- 菊地真理, 2008, 「離婚後の別居親子の接触の賛否を規定する要因—JGSS-2006 を用いた分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.93-105.
- 小島宏, 2011, 「東アジアにおける同棲とその人口学的意味」『中日韓三国における人口問題と社会発展』国際シンポジウム (9月24日, 中国社会科学院日本研究所, 北京市).
- LU, Yilong (陸益龍), 2007, “Do ‘Little Emperors’ Enhance Marital Stability? –Evidence from Urban China” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』pp.59-76.
- LU, Yilong, 2008, “Are Simi-Matched Marriages More Stable? An Analysis on Marital Matching Structure and Divorce Risk” 『第 18 回日本家族社会学大会報告要旨』p.84.
- MIWA, Satoshi, 2005, “Educational Homogamy in Contemporary Japan,” Social Science Japan, No.33, Institute of Social Science, The University of Tokyo, pp.9-11.
- 三輪哲, 2006, 「離婚と社会階層の関連にかんする試論的考察」『共働社会の到来とそれをめぐる葛藤—夫婦関係—』SSJ Data Archive Research Paper Series 34 (SSJDA-34), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.45-60.
- 三輪哲, 2007, 「なぜ離婚リスクは社会階層により異なるのか」永井暁子・松田茂樹編『対等な夫婦は幸せか』勁草書房, pp.29-43.
- 水落正明, 2006, 「学卒直後の雇用状態が結婚タイミングに与える影響」『生活経済学研究』第 22・23 巻合併号, pp.167-176.
- 水落正明, 2008, 「結婚市場と結婚条件」『家族形成に関する実証研究 II』SSJ Data Archive Research Paper Series 39 (SSJDA-39), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.15-28.
- 野崎祐子, 2006, 「晩婚化・未婚化に関する一考察」生活経済学会第 22 回研究大会 (6月10-11日, 小樽商科大学).



- 野崎祐子, 2007, 「マクロ経済要因が及ぼす結婚行動への影響」日本経済学会 2007 年度秋季大会 (日本大学).
- 野崎祐子, 2007, 「雇用不安時代における女性の高学歴化と結婚タイミング—JGSS データによる検証—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.131-146.
- 野崎祐子, 2008, “Labor Supply of Older Married Couples,” 生活経済学会第 24 回研究大会(6 月 8 日, 関西学院大学).
- 野崎祐子, 2009, 「Split Population Duration Model による結婚スクイズの検証—JGSS データをもとに—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.6:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[9]』 pp.37-51.
- 野崎祐子・松浦克己, 2008, 「性比が男女生涯既婚率に与える影響—性比ギャップが迫る家族の変貌—」日本経済学会 2008 年度春季大会 (東北大学).
- NOZAKI, Yuko, and MATSUURA, Katsumi, 2010, “The increasingly high sex ratio and lifelong unmarried rate in Japan,” *Journal of Population Research* Vol.27 No.1, pp.43-57.
- ONO, Hiromi, 2010, “Divorced Japanese Women’s Socioeconomic Status and Children:Comparisons with the U.S.,” *International Journal of Law, Policy and the Family*.
- ONO, Hiromi, and SANDERS, James, 2009, “Divorce in Contemporary Japan and Its Gendered Patterns,” *International Journal of Sociology of the Family*. 35, pp.169-188.
- 小野浩, 2011, 「幸せな結婚の条件—日米比較・男女比較—」『経済セミナー』 No.658, pp.30-35.
- RICH, Susan Lynne, 2008, “Marital Instability in East Asian Societies: A Comparative Study of China, Taiwan, and South Korea,” Doctoral Dissertaion, Mississippi State University.
- RICH, Susan Lynne, and XU, Xiaohe, 2009, “Marital Instability: A Comparative Study of China and Taiwan,” *The Global Studies Journal* 2, pp.153-168.
- 佐藤博樹・永井暁子・三輪哲, 2010, 『結婚の壁 非婚・晩婚の構造』勁草書房, 198p.
- SHINOHARA, Sayaka, 2011, “Changes in Attitudes Toward Marriage in Japan,” EASS 2011 Symposium, November 17, Academia Sinica, Taiwan.
- 田中慶子, 2008, 「対人ネットワークと「結婚観」」『家族形成に関する実証研究 II』SSJ Data Archive Research Paper Series 39 (SSJDA-39), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.49-58.
- 戸口愛泰, 2003, 「結婚観における因子的不変性の検討—JGSS2000 データを用いて—」『人間科学』第 59 号, pp.191-203.
- TSUTSUI, Jun’ya, 2005, “Factors of Late Marriage; A Survival Analysis of Life Courses for Marriage in Japan,” *NUCB Journal of Economics and Information Science*, Vol.49, No.2, pp.223-234.
- TSUTSUI, Jun’ya, 2005, “Factors Affecting Life Courses of Young Adults in Japan:Possible Causes for Late Marriage in Recent Years,” paper presented at the American Sociological Association 100th Annual Meeting.
- TSUTSUI, Jun’ya, 2007, “An Alternate Model for the Comparative Analysis of the Mate-Selection Process,” presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- 筒井淳也, 2007, 「配偶者の選択方法の趨勢と帰結: JGSS-2006 による分析」『第 17 回日本家族社会学会報告要旨』 pp.94-95.
- 筒井淳也, 2008, 「日本における配偶者選択方法の決定要因—JGSS-2006 による分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.25-32.
- TSUTSUI, Jun’ya, 2008, “From Arranged Marriage to Love Marriage?:An Alternate View of Mate Selection in East Asian Countries” 『第 81 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.66.
- TSUTSUI, Jun’ya, CHEN, Yu-hua, and KOH, Chi-young, 2008, “Shifting Trends and Variety of Mate Selection in East Asian Countries:Finding from EASS 2006” 『第 18 回日本家族社会学会大会報告要旨』 p.85.
- TSUTSUI, Jun’ya, and KOH, Chi-Young, 2009, “Mate Selection in Korea and Japan:Facts and Future Research Agenda,” *Ritsumeikan Social Sciences Review*, 44(4):pp.49-66.
- 山田憂子, 2007, 「『勝ち組・負け組』論の真実—JGSS-2002 データにおける幸福感規定要因分析からの考察—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.159-167.
- YI, Chin-Chun, and CHAN, Chao-Wen, 2007, “The Social Basis of Mate Selection Patterns in Taiwan:with a Discussion of Its Possible Linkage to Marital Satisfaction,” presented at EASS Symposium on East Asian Societies and the Family, July 17, Hong Kong University of Science and Technology, Hong Kong.
- 余田翔平, 2011, 「家族の個人化が家族の二極化か—JGSS による結婚・離婚の分析—」『第 58 回東北社会学会大会要旨集』 pp.51-52.

YOSHIDA, Akiko, 2010, "Role of Cultural Lag in Marriage Decline for Japan's Boom and Bust Cohorts," *Marriage & Family Review* 46:1, pp.60-78.

YOSHIDA, Akiko, 2010, "Cultural Lag, Anomie, and Single Women in Japan," Doctoral dissertation, University of Oklahoma.

勇上和史・佐々木昇一, 2011, 「所得格差と女性の婚姻率：地域の結婚市場の視点から」『国民経済雑誌』第 204 巻 第 3 号, pp.65-79.

### 38 分析法

安藏伸治, 1999, 「日本版 General Social Surveys (JGSS) の調査方法論上の問題について (5) GSS と JGSS を用いた分析例と課題」『第 72 回日本社会学会大会報告要旨』p.23.

朝倉真粧美, 2004, 「社会調査における「不明回答」」『第 77 回日本社会学会大会報告要旨』p.132.

朝倉真粧美, 2006, 「無回答の発生要因」立教大学大学院社会学研究科『社会学研究科年報』No.13, pp.41-54.

朝倉真粧美, 2007, 「訪問調査におけるデータの偏り—住居形態が及ぼす影響—」立教大学大学院社会学研究科『社会学研究科年報』No.14, pp.69-81.

朝倉真粧美, 2008, 「訪問調査の回答者の属性—大都市居住者に着目して—」立教大学大学院社会学研究科『社会学研究科年報』No.15, pp.95-107.

林拓也, 2004, 「職業志向の多元的構造を捉える枠組み—プロファイル法によるコンジョイント分析モデルの適用に向けて—」『人文学報』349 号, 東京都立大学, pp.67-88.

平松闊・鶴飼孝造・宮垣元・星敦士, 2010, 『社会ネットワークのリサーチ・メソッド「つながり」を調査する』ミネルヴァ書房, 218p.

平尾桂子, 2010, 「ゼロ年代のライフコース(2)—JGSS-2009 ライフコース調査による職歴と結婚イベントの分析—」『第 20 回日本家族社会学会大会報告要旨』pp.30-31.

平尾桂子, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査の設計・実施・分析—イベントヒストリー分析の適用—」『第 83 回日本社会学会大会報告要旨集』p.191.

星野崇宏・前田忠彦, 2006, 「傾向スコアを用いた補正法の優位抽出による標本調査への応用と共変量の選択法の提案」『数理統計』Vol.54, No.1, pp.191-206.

岩井八郎, 2010, 「JGSS-2009 ライフコース調査の設計・実施・分析—回顧的経歴データの視覚的分析—」『第 83 回日本社会学会大会報告要旨集』p.190.

岩井紀子・保田時男, 2007, 『調査データ分析の基礎—JGSS データとオンライン集計の活用—』有斐閣, 296p.

三輪加奈・菅澤貴之, 2010, 「JGSS 統計分析セミナー2009—傾向スコアを用いた因果分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』pp.285-296.

三輪哲, 2009, 「社会的格差をとらえるためのマイクロクラス・アプローチ—JGSS 累積データ 2000-2006 による計量的分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-12.

水落正明, 2009, 「計量社会学ワンステップアップ講座(2)打ち切り・切断データの分析」『理論と方法』Vol.24 No.1, pp.129-138.

野崎華世, 2011, 「JGSS 統計分析セミナー2010—Ego-Centric なネットワークを用いた「他者の影響」の分析—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点研究論文集[11]』pp.207-218.

大澤美苗, 2001, 「データの信頼性に関する実務の留意点と使いやすいデータへの配慮」『第 74 回日本社会学会大会報告要旨』p.192.

佐々木尚之, 2009, 「JGSS 統計分析セミナー—イベントヒストリー分析の適用例—」大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.91-105.

高橋和子・高村大也・奥村学, 2006, 「分類スコアに基づいたクラス事後確率の推定」『言語処理学会』第 12 回年次大会発表論文集』pp.376-379.

高橋和子・高村大也・奥村学, 2007, 「複数の分類スコアを用いたクラス所属確率の推定」『言語処理学会第 13 回年次大会発表論文集』pp.542-545.

都村閭人・岩井紀子・保田時男・宍戸邦章, 2008, 「JGSS-2005 を用いた通信機器利用の潜在クラスモデル—統計分析セミナーにおける適用例—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4:日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.233-249.

保田時男, 2004, 「大規模サンプルに対する一般化  $\chi^2$  適合度検定—JGSS データへの適用例—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.175-186.

- 保田時男, 2004, 「一般化  $\chi^2$  適合度検定の可能性—大規模サンプルの共有公開データが引き起こす問題への対処—」『第 37 回数理社会学会大会研究報告要旨集』 pp.14-17.
- 保田時男, 2005, 「JGSS データによる父学歴の欠損メカニズムの分析— わからない と 無回答 の違い—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.243-256.
- 保田時男, 2006, 「社会調査のデータ解析テキストをめぐる問題—学生インタビューの結果から—」『大阪商業大学論集』第 142 号, pp.87-98.
- 保田時男, 2006, 「測定理念の実現を妨げる被調査者との乖離」『第 79 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.105.
- 保田時男, 2008, 「調査データ分析の教育におけるリモート集計システムの活用」『ESTRELA』2008 年 10 月 (No.175) pp.10-17.

### 39 消費行動

- 會田陽久・石田章・陰山善照・矢部光保, 2007, 「有機農産物の購入変化と消費者の属性分析」『農業市場研究』第 16 巻第 1 号 (通巻 65 号), pp.68-72.
- 稲増一憲・池田謙一, 2010, 「パイロットと社会参加の社会心理学的研究—JGSS-2008 データを用いた検討—」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集 [10]』 pp.73-85.
- 石田章・會田陽久, 2005, 「消費者の有機農産物購買行動に関する一考察—JGSS・2002 データを用いて—」日本農業市場学会編『農業市場研究』第 14 巻第 2 号 (通巻 62 号), pp.45-54.
- 松沢陽子, 2007, 「クレジットカードの利用に関する一考察—JGSS-2005 の分析から—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.107-118.
- MOROZUMI, Ryoko, 2007, “An Empirical Study of Health-related Consumption and Subjective Health Status,” Doctoral dissertation, Graduate School of Economics, the University of Tokyo.
- 長崎千津香・石田章・横山繁樹, 2007, 「コンビニエンスストアの利用頻度と消費者属性に関する考察」『農業生産技術管理学会誌』第 14 巻第 2 号, pp.115-120.
- NAOI, Megumi, 2010, “Why Low-Income Citizens Are Protectionist Consumers: A Research Note on JGSS-2008” 大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集 [10]』 pp.137-148.
- 大橋正彦, 2004, 「JGSS-2002 データにみるわが国消費者のエコ諸行動とその規定因」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.93-107.
- 大橋正彦, 2004, 「JGSS-2002 年データによる持続可能な価格政策に関する実証研究」大阪商業大学商経学会『大阪商業大学論集』第 133 号, pp.25-47.
- 大橋正彦, 2005, 「わが国消費者の情報探索行動とその規定因—JGSS-2003 データによる検証結果—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.1:日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.17-32.
- 大橋正彦, 2005, 「わが国消費者における情報探索行動の規定因と経営診断—JGSS-2003 年データによる—」日本経営診断学会第 38 回全国大会 (10 月 1-2 日, 久留米大学).
- 大橋正彦, 2005, 「循環型社会におけるエコ価格政策とその診断—2002 年 JGSS データの解析結果より—」日本経営診断学会編『経営診断学の基礎理論と未来展望—日本経営診断学会論集 5』同友館, pp.59-68.
- 大橋正彦, 2006, 「わが国消費者における環境行動の規定因と持続可能マーケティング—JGSS-2002 のデータより—」『大阪商業大学論集』第 141 号, pp.123-139.
- 大橋正彦, 2006, 「わが国消費者における情報探索行動の規定因と経営診断—JGSS-2003 年データによる検証結果—」『経営診断のニューフロンティア—日本経営診断学会論集⑥』同友館, pp.106-118.
- 大橋正彦, 2008, 「ライフスタイル研究とロハス志向—JGSS-2003 より—」日本経営診断学会第 141 回関西西部会 (3 月 22 日, 大阪商業大学).
- 大橋正彦, 2008, 「消費者の環境行動」谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, pp.345-354.
- 大橋正彦, 2008, 「わが国消費者における生活・買物志向の実態とその規定因—JGSS-2003 年データより—」『大阪商業大学論集』第 147 号, pp.91-109.
- 大橋正彦, 2009, 「変化するわが国消費者におけるエコ行動の規定因と経営診断—JGSS-2008 より—」日本経営診断学会第 147 回関西西部会 (12 月 19 日, 近畿大学).
- 大橋正彦, 2010, 「わが国消費者におけるエコ諸行動とその規定因—JGSS-2002 と JGSS-2008 の比較を中心に—」大

- 阪商業大学 JGSS 研究センター編 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集 [10]』 pp.61-72.
- 大橋正彦, 2010, 「変化するわが国消費者のエコ諸行動と企業における環境リスク—JGSS-2008 および 2002 より—」 2010 年日本リスクマネジメント学会関西西部会 (3月15日, 沖縄大学).
- 大橋正彦, 2010, 「わが国消費者におけるエコ諸行動の変化と小売商業施設—JGSS-2008 および 2002 より—」 日本商業施設学会第 13 回関西西部会 (2月6日, 大阪商業大学).
- 大橋正彦, 2010, 「わが国消費者におけるエコ諸行動の変化と小売商業施設—JGSS-2008 および 2002 より—」 日本商業施設学会第 9 回全国大会 (8月8日, 文化女子大学).
- 大橋正彦, 2011, 「わが国消費者におけるエコ諸行動の規定因と環境リスク—JGSS-2008 のデータより—」 日本リスクマネジメント学会 『危険と管理』 第 42 号, pp.138-147.
- 清水誠, 2002, 「COLUMN: 家計の状況」 岩井紀子・佐藤博樹編 『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』 有斐閣選書, pp.168-170.
- 孫飛舟, 2007, 「JGSS-2005 から見た自動車の保有と使用に関する社会意識—都市と地方、保有者と非保有者の差異を中心に—」 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.57-68.
- 立石祐二, 2006, 「節約志向とエコ購入志向—現代日本の環境配慮行動と環境意識」 阿部正大・新雅史・石田浩・佐藤雅浩・高橋康二・立石祐二・中澤篤史・三輪哲・渡辺彰規 『JGSS から読む日本人の行動と意識』 SSJ Data Archive Research Paper Series 33 (SSJDA-33), 東京大学社会科学研究所附属日本社会研究情報センター, pp.1-16.
- 山本理子, 2007, 「無農薬・有機栽培野菜の購入を規定する要因—JGSS-2002 を用いた分析—」 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編 『JGSS Research Series No.3:日本版 General Social Surveys 研究論文集 [6]JGSS で見た日本人の意識と行動』 pp.181-192.
- 40 女性の就業
- 福田順・久本憲夫, 2010, 「女性の就労と親世代の子育て参加の関係」 社会政策学会第 121 回大会 (10月30日, 愛媛大学).
- 不破麻紀子, 2009, 「両立支援・労働環境の地域差と女性の就労」 『第 82 回日本社会学会大会報告要旨集』 p.263.
- 本田由紀, 2005, 「子どもというリスク」 橋木俊紹編 『現代女性の労働・結婚・子育て』 ミネルヴァ書房, pp.65-93.
- 細井雅代, 2009, 「女性就労の促進政策がもたらす財政への影響—地方自治体の子育て支援の追加的費用と収入の比較分析—」 『都市問題研究』 第 61 巻第 6 号, 都市問題研究会, pp.22-48.
- 岩井八郎, 2002, 「働く女性のキャリア」 岩井紀子・佐藤博樹編 『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』 有斐閣選書, pp.125-131.
- IWAI, Hachiro, 2007, “Changing Patterns of Women’s Life Course in the Japanese Lost Decade,” Global COE Kickoff Symposium (京都大学).
- IWAI, Hachiro, 2010, “Changing Patterns of the Course of Women’s Live in Japan’s Lost Decade: An Analysis of the Work History of the Second Generation Baby Boomers,” Journal of Intimate and Public Spheres, Pilot Issue March 2010, pp.55-71.
- 岩井紀子, 2002, 「母親の就業・妻の就業」 岩井紀子・佐藤博樹編 『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』 有斐閣選書, pp.16-24.
- KAWAGUCHI, Daiji and MIYAZAKI, Junko, 2005, “Working Mothers and Son’s Preferences Regarding Female Labor: Direct Evidence from Stated Preferences,” Discussion Paper Series (Hitotsubashi University) No.110.
- KAWAGUCHI, Daiji, and MIYAZAKI, Junko, 2009, “Working Mothers and Son’s Preferences regarding Female Labor Supply: Direct Evidence from Stated Preferences,” Journal of Population Economics (2009) 22, pp.115-130.
- KUMLIN, Johanna, 2007, “The Sex Wage Gap in Japan and Sweden: The Role of Human Capital, Workplace Sex Composition, and Family Responsibility,” Oxford University Press, European Sociological Review, 23(2), pp.203-221.
- 眞鍋倫子, 2004, 「女性の就労行動の学歴差—夫の収入と妻の就労—」 『東京学芸大学紀要 1 部門』 55, pp.29-36.
- 松田茂樹, 2005, 「現代日本における母親の就労の子どもへの影響に関する規範意識」 渡辺秀樹編, 叢書 21COE-CCC 多文化世界における市民意識の動態 6 『現代日本の社会意識 家族・子ども・ジェンダー』 慶應義塾大学出版会, pp.85-105.
- 水落正明, 2006, 「保育サービスの量的・質的充実が女性の就業と出産に与える影響」 『東北経済学会誌』 2005 年度版, pp.45-49.
- 水落正明, 2006, 「学卒直後の雇用状態が結婚タイミングに与える影響」 『生活経済学研究』 第 22・23 巻合併号, pp.167-176.
- 西川真規子, 2002, 「夫婦の労働供給に関する一考察—JGSS-2000 データによる検討—」 大阪商業大学比較地域研究

- 所・東京大学社会科学研究所編『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』pp.33-44.
- 野崎華世, 2009, 「日本における男女間賃金格差と職業決定」『Working Paper Series』No.252, 神戸大学大学院経済学研究科, 17p.
- 野崎華世, 2009, 「日本における女性の働き方・生き方に関する経済分析」神戸大学大学院経済学研究科博士学位論文, 122p.
- 野崎華世, 2010, 「日本における男女間賃金格差と職業選択」『季刊家計経済研究』No.87, pp.51-63.
- 野崎祐子, 2006, 「男女間賃金格差の要因分解—学歴別検証—」『生活経済学研究』第 22・23 巻合併号, pp.151-166.
- 野崎祐子, 2007, 「女性の高学歴化と経済格差に関する研究」広島大学博士学位論文, pp.47-65, pp.67-86.
- 関根さや花, 2008, 「子に対する母親の影響—世代間移動に関する要因分析—」『経済学研究論集』第 30 号, 明治大学, pp.97-114.
- 関根さや花, 2009, 「子に対する母親の影響—世代間移動に関する要因分析」電通育英会大学院奨学生夏期セミナー—2009 (8月8日, クロスウェーブ幕張).
- 島直子, 2010, 「妻の常雇就労が夫の性別役割分業意識に及ぼす影響—夫の経済力による交互作用—」『国際ジェンダー学会誌』Vol.8 (2010), pp.99-112.
- 嶋崎尚子, 2004, 「女性のキャリアを取り巻く情勢を知ろう」J-CAREER WASEDA PROJECT SESSION 2 (早稲田大学).
- 田中隆一, 2005, “Working Mother as a Role Model for Daughters: An Empirical Study of Human Capital Accumulation” 日本経済学会 2005 年度秋季大会 (9月18日, 中央大学).
- 都村聞人, 2003, 「女性の社会的地位の変化と子どもの教育達成」『日本教育社会学会第 55 回大会発表要旨集録』pp.90-91.
- 渡辺朝子, 2006, 「母親の就業が子どもに与える影響—その意識を規定する要因の分析—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.2:日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.179-189.
- YAMAMURA, Eiji, 2010, “Effects of Female Labor Participation and Marital Status on Smoking Behavior in Japan,” MPRA Paper No.21789, University Library of Munich, Germany, 14p.
- 安田宏樹, 2011, 「雇用主の性別役割意識に関する実証分析—雇用主が持つのは「好みによる差別」意識か、「固定観念」か—」『経済分析』184 号, pp.51-74.

## 98 政府刊行物 / 白書

- 中小企業庁編, 2005, 『中小企業白書 2005 年版』ぎょうせい.
- 内閣府編, 2006, 『平成 18 年版経済財政白書』pp.276-278.
- 内閣府編, 2007, 『平成 19 年版国民生活白書 つながりが築く豊かな国民生活』p.16, p.49.
- 山内直人・田中敬文・河井孝仁編, 2007, 『NPO 白書 2007』NPO 研究情報センター, p.121.
- 横須賀市都市政策研究所編, 2010, 『よこすか白書 2009』pp.84-85.

## 99 実習報告書

- 同志社大学文学部社会学科社会学専攻, 2002, 『社会現象を読み解く—JGSS データの二次分析を中心に—』(2001 年度社会調査実習報告書, 指導担当: 藤本昌代).
- 川口大司編, 2005, 『SSJ データアーカイブデータ利用報告書 Japanese General Social Surveys を用いた日本の労働市場の実証分析』筑波大学第三学群国際総合学類国際学ゼミナール, 82p.
- 国際基督教大学計量社会学分析Ⅱ(代表石生義人)編, 2009, 『2008 年度計量社会学分析Ⅱ研究成果集』44p.
- 国際基督教大学計量社会学分析Ⅱ(代表石生義人)編, 2010, 『2009 年度計量社会学分析Ⅱ研究成果集』42p.
- 奈良女子大学文学部国際社会文化学科, 2009, 『2008 年度文学部科目社会情報学実習Ⅰ・Ⅱ 奈良女子大生の生活と意識に関する調査報告書』(担当教員 林拓也), 147p.
- 奈良女子大学文学部国際社会文化学科, 2010, 『2009 年度文学部科目社会情報学実習Ⅰ・Ⅱ 奈良女子大生の生活と意識に関する調査報告書』(担当教員 林拓也), 126p.
- 奈良女子大学文学部人文社会学科, 2011, 『2010 年度文学部科目社会調査実習Ⅰ・Ⅱ 奈良女子大生の生活と意識に関する調査報告書』(担当教員 林拓也), 211p.
- 立教大学社会学部村瀬ゼミ, 2009, 立教大学社会学部専門演習 2 論文集, 233p.
- 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部社会学研究室, 2008, 『日本版 General Social Survey データの二次分析』2007 年度社会調査実習報告書(担当教員: 白波瀬佐和子) 225p.
- 東洋大学社会学部社会調査室, 2002, 『2001 年度社会調査および実習 21 調査報告書 家族・ジェンダー関係についての社会的考察』(担当教員: 西村純子).

- 東洋大学社会学部社会調査室, 2002, 『2001 年度社会調査及び実習 31 調査報告書 社会階層と社会的ネットワーク』(担当教員: 竹之下弘久).
- 東洋大学社会学部朝霞校舎社会調査室編, 2004, 『2003 年度社会調査及び実習 19 「職業生活と家族生活に関する計量社会学」調査報告書』(担当教員: 竹之下弘久).

100 JGSS 出版物

- 岩井紀子・佐藤博樹編, 2002, 『日本人の姿 JGSS にみる意識と行動』有斐閣, 326p.
- 岩井紀子・上田光明編, 2011, 『データで見る東アジアの文化と価値観—東アジア社会調査による日韓中台の比較 2』ナカニシヤ出版, 132p.
- 岩井紀子・保田時男, 2007, 『調査データ分析の基礎—JGSS データとオンライン集計の活用—』有斐閣, 296p.
- 岩井紀子・保田時男編, 2009, 『データで見る東アジアの家族観—東アジア社会調査による日韓中台の比較』ナカニシヤ出版, 107p.
- IWAI, Noriko, and YASUDA, Tokio [eds.], 2011, Family Values in East Asia: A comparison among Japan, South Korea, China, and Taiwan based on East Asian Social Survey 2006 (データで見る東アジアの家族観—東アジア社会調査による日韓中台の比較[英語版], 佐々木尚之・篠原さやか・林光訳), ナカニシヤ出版, 107p.
- 大阪商業大学比較地域研究所編, 2004, 『JGSS 国際シンポジウム 2003 報告書』.
- 大阪商業大学比較地域研究所編, 2006, 『JGSS Colloquium 2005 報告書』.
- 大阪商業大学比較地域研究所編, 2008, 『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』.
- 大阪商業大学比較地域研究所編, 2008, 『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys: Results of EASS 2006 Family Module』248p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2000, 『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 1 回予備調査基礎集計表・コードブック』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2001, 『日本版 General Social Surveys (JGSS) 第 2 回予備調査基礎集計表・コードブック』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2002, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2000 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第 19 集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2002, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集 JGSS-2000 で見た日本人の意識と行動』東京大学社会科学研究所資料第 20 集, 東京大学社会科学研究所, 204p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2003, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2001 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第 21 集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2003, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[2]JGSS で見た日本人の意識と行動』東京大学社会科学研究所資料第 22 集, 東京大学社会科学研究所, 249p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2004, 『日本版 General Social Surveys JGSS-2002 基礎集計表・コードブック』東京大学社会科学研究所資料第 23 集, 東京大学社会科学研究所.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2004, 『日本版 General Social Surveys 研究論文集[3]JGSS で見た日本人の意識と行動』東京大学社会科学研究所資料第 24 集, 東京大学社会科学研究所, 289p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2005, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2003』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2005, 『JGSS Research Series No.1: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[4]JGSS で見た日本人の意識と行動』大阪商業大学比較地域研究所, 317p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2006, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS 累積データ 2000-2003』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2006, 『JGSS Research Series No.2: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[5]JGSS で見た日本人の意識と行動』大阪商業大学比較地域研究所, 202p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2007, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2005』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2007, 『JGSS Research Series No.3: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[6]JGSS で見た日本人の意識と行動』大阪商業大学比較地域研究所, 192p.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2008, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2006』.
- 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編, 2008, 『JGSS Research Series No.4: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[7]JGSS で見た日本人の意識と行動』大阪商業大学比較地域研究所, 317p.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2009, 『East Asian Social Survey: EASS 2006 Family Module Codebook』342p.
- 大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2009, 『JGSS Research Series No.6: 日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論

文集[9]』242p.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2010, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2008』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2010, 『East Asian Social Survey:EASS 2008 Culture Module Codebook』286p.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2010, 『JGSS Research Series No.7:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[10]』374p.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2011, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2009LCS』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2011, 『日本版 General Social Surveys 基礎集計表・コードブック JGSS-2010』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2011, 『JGSS Research Series No.8:日本版総合的社会調査共同研究拠点 研究論文集[11]』352p.

大阪商業大学 JGSS 研究センター編, 2011, 『East Asian Social Survey:EASS Conference 2010 報告書』.

大阪商業大学 JGSS 研究センター・東京大学社会科学研究所編, 2009, 『JGSS Research Series No.5:日本版 General Social Surveys 研究論文集[8]JGSS で見た日本人の意識と行動』140p.

谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子編, 2008, 『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会, 483p.

#### 新聞記事・テレビ報道

赤林英夫, 2009, 「経済教室:「家族の経済学」からみた子ども手当 母親への直接支給が有効」『日本経済新聞』(2009.12.11 掲載).

朝日新聞, 2008.12.11 掲載「ニッポン 人・脈・記 民の心を測る⑩宝の山みんなのものに」.

朝日放送, 2008.6.4, 6:00-6:45 放送「[とことん]父親の権威」『おはようコール ABC』.

磯田直史, 2008, 「日本人の意識と行動」『読売新聞』書評欄(2008.4.13 掲載).

岩井八郎, 2009, 「変わるライフコースと人生設計⑧非正規雇用の拡大」『日本経済新聞』やさしい経済学—「社会科学」で今を読み解く(2009.12.16 掲載).

時事通信社, 2010.5.15 配信ニュース, 「アラサー、2割が新卒就職せず=「氷河期」アラフォー比較でくつきり」

[WEB NEWS 掲載]: 時事ドットコム

[新聞記事掲載]: 東京新聞.

共同通信社, 2008.6.3 配信ニュース, 「日本の父、権威危うし 中韓台との意識比較」

[WEB NEWS 掲載]: 47NEWS, 北海道新聞, 河北新報, 東奥日報, 秋田魁新報, 山形新聞, 岩手日報, 福島民報, 福島民友新聞, 東京新聞, 茨城新聞, 神奈川新聞, 山梨日日新聞, 信濃毎日新聞, 新潟日報, 中日新聞, 中日スポーツ, 静岡新聞, 岐阜新聞, 北日本新聞, 北國新聞, 福井新聞, 神戸新聞, 山陽新聞, 中國新聞, 山陰中央新報, 四国新聞, 徳島新聞, 高知新聞, 西日本新聞, 大分合同新聞, 長崎新聞, 佐賀新聞, 熊本日日新聞

[新聞記事掲載]: 北海道新聞, 河北新報, 秋田魁新報, 山形新聞, 福島民報, 東京新聞, 茨城新聞, 神奈川新聞, 山梨日日新聞, 信濃毎日新聞, 新潟日報, 静岡新聞, 岐阜新聞, 北日本新聞, 北國新聞, 京都新聞, 山陽新聞, 山陰中央新報, 四国新聞, 徳島新聞, 高知新聞, 大分合同新聞.

共同通信社, 2010.4.28 配信ニュース, 「アラサー世代も 非正規率アラフォーの2.5倍」

[WEB NEWS 掲載]: 47NEWS, 河北新報, 東奥日報, 秋田魁新報, 山形新聞, 岩手日報, 福島民報, 福島民友新聞, 東京新聞, 下野新聞, 茨城新聞, 千葉日報, 神奈川新聞, 山梨日日新聞, 信濃毎日新聞, 新潟日報, 中日新聞, 静岡新聞, 岐阜新聞, 北日本新聞, 北國新聞, 福井新聞, 京都新聞, 神戸新聞, 大阪日日新聞, 山陽新聞, 中國新聞, 日本海新聞, 山陰中央新報, 四国新聞, 徳島新聞, 高知新聞, 西日本新聞, 大分合同新聞, 宮崎日日新聞, 長崎新聞, 佐賀新聞, 熊本日日新聞, スポニチ, デイリースポーツ

[新聞記事掲載]: 東奥日報, 秋田魁新報, 東京新聞, 信濃毎日新聞, 京都新聞, 中國新聞, 高知新聞, 大分合同新聞.

毎日新聞, 2005.3.2 掲載「『女性が土俵に』賛成多数—各年齢層で 大阪商大調査—」.

毎日新聞, 2006.12.4 掲載「大阪商業大学 JGSS プロジェクト—信頼できる社会調査を—」.

日本経済新聞, 2008.9.1 掲載「経済教室:外国人労働 影響はいかに」.

日本経済新聞, 2010.4.28 掲載「非正規雇用 アラサー世代はアラフォーの2.5倍」.

ニッポン放送, 2008.6.11, 15:45-15:50 放送「夕焼けホットライン」父の日特集『高嶋ひでたけの特ダネラジオ』.

産経新聞, 2007.6.14 掲載「性犯罪歴のある人の住所公表—4人に3人が賛成」.

産経新聞, 2008.6.3 掲載「日本のオヤジ 尊厳なし?」

[WEB NEWS 掲載]: MSN 産経ニュース, Fuji Sankei Business i

[新聞記事掲載]: フジサンケイ ビジネスアイ 2008.6.4.

産経新聞, 2010.4.28 掲載「アラサー悲し 初就職「非正規」40代の2.5倍」.

TBS, 2008.6.4, 6:58-7:00 放送「[ニュースめぐり斬り]父親の権威」『みのもんた朝ズバッ!』.

読売新聞東京版(斉藤雄介), 2011.12.18 掲載「日曜の朝に: 親がかりへの覚悟」.  
読売テレビ, 2007.6.25, 13: 55-16: 43 放送「カジノ」関連『情報ライブミヤネ屋』.

書評

- 相澤真一, 2010, 「シリーズ・本を読む; 岩井紀子・保田時男編『データで見る東アジアの家族観—東アジア社会調査による日韓中台の比較』(2009年3月1日ナカニシヤ出版)」『CAPS Newsletter』No.105 January, 2010, 成蹊大学アジア太平洋研究センター, p.13.
- DE BOER, Connie, 2003, “Recent Books in the Field of Public Opinion Research,” International Journal of Public Opinion Research 2003, 15(2), pp.226-227.
- 藤吉圭二, 2003, 「社会調査の公開データ—2次分析への招待」『記録と史料』第13号, pp.58-61.
- 橋口毅, 2000, 「『社会調査』のウソ」『よろん・日本世論調査協会報』第86号, pp.50-55.
- 稲垣武, 2000, 「マスコミに騙されぬための手引書『社会調査』のウソ」『文藝春秋』7月号(本の話).
- 磯田直史, 2008, 「日本人の意識と行動」『読売新聞』書評欄(2008.4.13掲載).
- 伊藤彰彦, 2010, 「書評: データで見る 東アジアの家族観 東アジア社会調査による日韓中台の比較」『統計』7月号, pp.46-47.
- 片山千亜紀, 2008, 「書籍紹介『日本人の意識と行動—日本版総合的社会調査 JGSS による分析—』」『中央調査報』No.607, p.7.
- 菊澤佐江子, 2003, 「日本人の姿 JGSS にみる意識と行動」『家族社会学研究』Vol.14, No.2, p.180.
- 小島秀夫, 2000, 「『社会調査』のウソ」『理論と方法』Vol.16 No.1, pp.145-147.
- 間淵領吾, 2008, 「調査データ分析の基礎—JGSS データとオンライン集計の活用—」『理論と方法』Vol.23, No.1, pp.134-136.
- 松田芳郎, 2011, 「書評: 『日本人の姿: JGSS にみる意識と行動』」『調査データ分析の基礎: JGSS データとオンライン集計の活用』『日本人の意識と行動: 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』『統計』1月号, pp.63-68.
- 三浦麻子, 2008, 「調査データ分析の基礎 JGSS データとオンライン集計の活用」『社会心理学研究』第23巻第3号, p.298.
- 守一雄, 2002, 「日本人の姿 JGSS にみる意識と行動」『信濃毎日新聞』書評欄(2002.6.23掲載).
- 日本労働研究機構, 2002.5.27 掲載, 「日本人の姿」『週刊労働ニュース』.
- 日本新聞協会, 2000.7.4 掲載, 「『社会調査』のウソ」『新聞協会報』「週間メモ」欄.
- 西村幸満, 2001, 「書評『社会調査の公開データ: 2次分析への招待』」『ESTRELA』(4月), pp.58-59.
- 野矢茂樹, 2000, 「『社会調査』のウソ」『読売新聞』書評欄(2000.7.16掲載).
- 尾嶋史章, 2001, 「社会調査の公開データ」『社会学評論』.52(.2), pp.377-379.
- 菅野剛, 2009, 「書評『日本人の意識と行動—日本版総合的社会調査 JGSS による分析』」『社会と調査』第2号, pp.100.
- 鈴木透, 2010, 「文献紹介 データでみる東アジアの家族観—東アジア社会調査による日韓中台の比較—」『家族社会学研究』Vol.22 No.1, p.109.
- 田中慶子, 2010, 「文献紹介: データで見る東アジアの家族観—東アジア社会調査による日韓中台の比較」『季刊家計経済研究』No.85, p.70.
- 有斐閣, 2002, 「日本人の姿」『書斎の窓』2002年 No.515 「編集室の窓」.



お願い

この基礎集計表・コードブックを利用して発表を行われた方は、  
その掲載誌などを下記の JGSS 研究センター宛に 1 部お送り下さい。  
本誌の掲載内容やデータの修正については、JGSS ホームページで掲示いたします。

大阪商業大学 JGSS 研究センター

〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10  
Tel : 06-6785-6013 Fax : 06-6785-6011  
E-mail: jgss@daishodai.ac.jp  
<http://jgss.daishodai.ac.jp>

2012 年 3 月 31 日発行 (非売品)

文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」

日本版 General Social Surveys  
基礎集計表・コードブック  
JGSS 累積データ 2000-2010

編集・発行

日本版総合的社会調査共同研究拠点  
大阪商業大学 JGSS 研究センター

印刷

(株)NPC コーポレーション